岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第332集

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業

(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業

序

岩手県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財があり、岩手県教育委員会のまとめでは、9,800箇所を超える遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは私たち県民に課せられた責務であります。

一方、本調査の原因となりました畑地帯総合土地改良事業を例にあげるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活をおくるための地域開発も県民の切実な願いであります。そのなかで埋蔵文化財の保護、保存と地域開発の調和が今日の課題とされております。

財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財保護の立場に立ち、県教育委員会の指導と調整のもと、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡について発掘調査を行い、その記録を残す措置をとってまいりました。

本書は藤沢町黄海地区の畑地帯総合開発事業に関連して平成７・８年度に発掘調査を実施した相ノ沢遺跡の調査結果をまとめたものであります。遺跡は縄文時代後期～晩期を主体とすることが明らかになり、多くの遺物が出土したことで該期の貴重な資料を提供することができました。

本書が広く活用され、考古学の研究に寄与するとともに埋蔵文化財に対する関心と理解をいっそう深める一助となることを切に希望いたします。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご協力とご援助を賜りました岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会をはじめとする関係機関、関係各位に衷心より感謝申し上げます。

平成12年３月

財団法人岩手県文化振興事業団
理事長　船　越　昭　治

例　言

1．本報告書は岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田和263番地ほかに所在する相ノ沢遺跡の発掘調査の成果を収録したものである。

2．本遺跡の岩手県遺跡台帳の遺跡番号はOE29－0315、遺跡略号はAS－95・AS－96である。

3．本遺跡の調査は畑地帯総合土地改良事業にともなう緊急調査である。調査は岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所と岩手県教育委員会文化課との協議を経て、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所の委託を受けた財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。

4．野外調査の期間と調査面積・調査担当者は次の通りである。

平成７年４月10日～７月31日　720m²　松本建速・宮本節子

平成８年４月８日～６月28日　400m²　宮本節子・菊地榮壽

5．室内整理の期間と担当者は次の通りである。

平成７年11月１日～平成８年３月31日　松本建速・宮本節子

平成８年11月１日～平成９年３月31日　宮本節子

平成９年４月１日～平成10年３月31日　宮本節子

平成10年４月１日～平成11年３月31日　宮本節子

6．出土品の鑑定および分析は次の個人、機関に委託した。（敬称略）

石材鑑定　佐藤二郎（長内水源工業株式会社）

樹種同定　早坂松次郎（岩手県木炭協会）

アスファルト分析　小笠原正明（北海道大学高等教育機能開発センター）

アスファルト保存処理　赤沼秀男（岩手県立博物館）

黒曜石・翡翠同定　藁科哲男（京都大学原子炉実験所）

獣骨同定　佐々木務（岩手県教育委員会文化課）

7．座標原点の測量および空中写真撮影、一部の石器実測・トレースは次の機関に委託した。

座標原点の測量　株式会社東開技術

空中写真撮影　東邦航空株式会社

石器実測・トレース　エーティック環境文化研究所

8．野外での遺構写真撮影は調査員、遺物の写真撮影は当センター写真技師岩渕希士、村田憙鴻、福士昭夫が担当した。

9．野外調査において、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会、黄海地区をはじめとする地元の方々の御協力をいただいた。

10．本書の執筆、編集は宮本節子が担当した。

11．本遺跡の出土遺物、記録類は岩手県立埋蔵文化財センターが保管している。

目　次

序
例言

〈 本 文 〉

Ⅰ　調査に至る経過……1
Ⅱ　遺跡の立地と環境……1
　1　遺跡の立地と地質・地形……1
　2　基本層序……2
　3　周辺の遺跡……3
Ⅲ　調査方法と整理方法……11
　1　野外調査……11
　2　室内整理……12
Ⅳ　検出された遺構、遺物……15
　1　竪穴住居跡……15
　2　竪穴住居状遺構……16
　3　土　坑……17
　4　配石遺構……28
　5　焼土遺構……30
　6　埋設土器……35
　7　石斧埋納状況……35
　8　土偶埋納状況……36
　9　柱穴状小ピット……36
　10　捨て場……36
　11　土　塁……37
　12　溝……37
　13　道路状遺構……37
　14　炭　窯……37
Ⅴ　出土遺物……66
　1　縄文土器……66
　2　土製品……67
　3　石器・石製品……68
　4　獣　骨……71
　5　炭化物……71
　6　水　晶……71
　7　焼粘土塊……71
　8　アスファルト付き土器……72

9　縄文時代以外の遺物……72
VI　考　察……330
VII　まとめ……336
(1)　遺　構……336
(2)　遺　物……337
参考・引用文献……338
附編1　岩手県相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析……340
附編2　岩手県相ノ沢遺跡から出土したアスファルトの成分分析……353
附編3　岩手県相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の産地分析……356

〈 表 〉

第1表　周辺の遺跡一覧……9
第2表　遺構名変更一覧……62
第3表　遺物観察表……250
(1)　土器……250
(2)　石器……303
(3)　石製品……314
(4)　土製品……317
(5)　土偶……321
(6)　骨角器・獣骨……327
(7)　焼粘土塊……329
(8)　縄文時代以外の遺物観察表……329
第4表　後期縄文土器底部資料グリッド別文様比較……331
第5表　グリッド別剥片出土量……332
第6表　グリッド別土器・石器出土分布図……333
第7表　グリッド別土製品出土分布図……334
第8表　グリッド別石器・石製品出土分布図……335

〈 図 版 〉

第1図　岩手県図の中の遺跡の位置……5
第2図　遺跡周辺の地形図……6
第3図　地形分類図……7
第4図　基本層序模式図……7
第5図　藤沢町遺跡分布図……8
第6図　遺構・土器・石器実測図凡例……14
第7図　遺構配置図……38
第8図　土層観察ベルト位置図……38
第9図　1号住居跡、1・2号住居状遺構……39
第10図　2号住居跡、39号土坑……40
第11図　1号～9号土坑……41
第12図　10号～18号土坑……42
第13図　19号～27号土坑……43
第14図　28号～36号、38号土坑……44
第15図　37号、40号～47号土坑……45
第16図　1号～8号配石遺構……46
第17図　1号～6号、8号焼土遺構……47
第18図　7号、9号～20号焼土遺構……48

第19図　21号焼土遺構、１号～５号埋設
　　土器、１号地山ハイキブロック……49
第20図　溝、土塁、炭窯、１－４南北ベルト……50
第21図　柱穴配置図１……51
第22図　柱穴配置図２……52
第23図　柱穴配置図３……53
第24図　柱穴配置図４……54
第25図　土層観察ベルト１……55
第26図　土層観察ベルト２……56
第27図　土層観察ベルト３……57
第28図　土層観察ベルト４……58
第29図　土層観察ベルト５……59
第30図　土層観察ベルト６……60
第31図　土層観察ベルト７……61
第32図　遺物出土状況……66
第33図　遺構内出土遺物土器１……73
第34図　遺構内出土遺物土器２……74
第35図　遺構内出土遺物土器３……75
第36図　遺構内出土遺物土器４……76
第37図　遺構内出土遺物土器５……77
第38図　遺構内出土遺物土器６……78
第39図　遺構外出土遺物土器１……79
第40図　遺構外出土遺物土器２……80
第41図　遺構外出土遺物土器３……81
第42図　遺構外出土遺物土器４……82
第43図　遺構外出土遺物土器５……83
第44図　遺構外出土遺物土器６……84
第45図　遺構外出土遺物土器７……85
第46図　遺構外出土遺物土器８……86
第47図　遺構外出土遺物土器９……87
第48図　遺構外出土遺物土器10……88
第49図　遺構外出土遺物土器11……89
第50図　遺構外出土遺物土器12……90
第51図　遺構外出土遺物土器13……91
第52図　遺構外出土遺物土器14……92
第53図　遺構外出土遺物土器15……93
第54図　遺構外出土遺物土器16……94
第55図　遺構外出土遺物土器17……95
第56図　遺構外出土遺物土器18……96
第57図　遺構外出土遺物土器19……97
第58図　遺構外出土遺物土器20……98
第59図　遺構外出土遺物土器21……99
第60図　遺構外出土遺物土器22……100
第61図　遺構外出土遺物土器23……101
第62図　遺構外出土遺物土器24……102
第63図　遺構外出土遺物土器25……103
第64図　遺構外出土遺物土器26……104
第65図　遺構外出土遺物土器27……105
第66図　遺構外出土遺物土器28……106
第67図　遺構外出土遺物土器29……107
第68図　遺構外出土遺物土器30……108
第69図　遺構外出土遺物土器31……109
第70図　遺構外出土遺物土器32……110
第71図　遺構外出土遺物土器33……111
第72図　遺構外出土遺物土器34……112
第73図　遺構外出土遺物土器35……113
第74図　遺構外出土遺物土器36……114
第75図　遺構外出土遺物土器37……115
第76図　遺構外出土遺物土器38……116
第77図　遺構外出土遺物土器39……117
第78図　遺構外出土遺物土器40……118
第79図　遺構外出土遺物土器41……119
第80図　遺構外出土遺物土器42……120
第81図　遺構外出土遺物土器43……121
第82図　遺構外出土遺物土器44……122
第83図　遺構外出土遺物土器45……123
第84図　遺構外出土遺物土器46……124
第85図　遺構外出土遺物土器47……125
第86図　遺構外出土遺物土器48……126
第87図　遺構外出土遺物土器49……127
第88図　遺構外出土遺物土器50……128
第89図　遺構外出土遺物土器51……129
第90図　遺構外出土遺物土器52……130
第91図　遺構外出土遺物土器53……131
第92図　遺構外出土遺物土器54……132
第93図　遺構外出土遺物土器55……133

第94図　遺構外出土遺物土器56 ……134
第95図　遺構外出土遺物土器57 ……135
第96図　遺構外出土遺物土器58 ……136
第97図　遺構外出土遺物土器59 ……137
第98図　遺構外出土遺物土器60 ……138
第99図　遺構外出土遺物土器61 ……139
第100図 遺構外出土遺物土器62 ……140
第101図 遺構外出土遺物土器63 ……141
第102図 遺構外出土遺物土器64 ……142
第103図 遺構外出土遺物土器65 ……143
第104図 遺構外出土遺物土器66 ……144
第105図 遺構外出土遺物土器67 ……145
第106図 遺構外出土遺物土器68 ……146
第107図 遺構外出土遺物土器69 ……147
第108図 遺構外出土遺物土器70 ……148
第109図 遺構外出土遺物土器71 ……149
第110図 遺構外出土遺物土器72 ……150
第111図 遺構外出土遺物土器73 ……151
第112図 遺構外出土遺物土器74 ……152
第113図 遺構外出土遺物土器75 ……153
第114図 遺構外出土遺物土器76 ……154
第115図 遺構外出土遺物土器77 ……155
第116図 遺構外出土遺物土器78 ……156
第117図 遺構外出土遺物土器79 ……157
第118図 遺構外出土遺物土器80 ……158
第119図 遺構外出土遺物土器81 ……159
第120図 遺構外出土遺物土器82 ……160
第121図 遺構外出土遺物土器83 ……161
第122図 遺構外出土遺物土器84 ……162
第123図 遺構外出土遺物土器85 ……163
第124図 遺構外出土遺物土器86 ……164
第125図 遺構外出土遺物土器87 ……165
第126図 遺構外出土遺物土器88 ……166
第127図 遺構外出土遺物土器89 ……167
第128図 遺構外出土遺物土器90 ……168
第129図 遺構外出土遺物土器91 ……169
第130図 遺構外出土遺物土器92 ……170
第131図 遺構外出土遺物土器93 ……171
第132図 遺構外出土遺物土器94 ……172
第133図 遺構外出土遺物土器95 ……173
第134図 遺構外出土遺物土器96 ……174
第135図 遺構外出土遺物土器97 ……175
第136図 遺構外出土遺物土器98 ……176
第137図 遺構外出土遺物土器99 ……177
第138図 遺構外出土遺物土器100……178
第139図 遺構外出土遺物土器101……179
第140図 遺構外出土遺物土器102……180
第141図 遺構外出土遺物土器103……181
第142図 遺構外出土遺物土器104……182
第143図 出土遺物石器 1 ……183
第144図 出土遺物石器 2 ……184
第145図 出土遺物石器 3 ……185
第146図 出土遺物石器 4 ……186
第147図 出土遺物石器 5 ……187
第148図 出土遺物石器 6 ……188
第149図 出土遺物石器 7 ……189
第150図 出土遺物石器 8 ……190
第151図 出土遺物石器 9 ……191
第152図 出土遺物石器10 ……192
第153図 出土遺物石器11 ……193
第154図 出土遺物石器12 ……194
第155図 出土遺物石器13 ……195
第156図 出土遺物石器14 ……196
第157図 出土遺物石器15 ……197
第158図 出土遺物石器16 ……198
第159図 出土遺物石器17 ……199
第160図 出土遺物石器18 ……200
第161図 出土遺物石器19 ……201
第162図 出土遺物石器20 ……202
第163図 出土遺物石器21 ……203
第164図 出土遺物石器22 ……204
第165図 出土遺物石器23 ……205
第166図 出土遺物石器24 ……206
第167図 出土遺物石器25 ……207
第168図 出土遺物石器26 ……208
第169図 出土遺物石器27 ……209

第170図 出土遺物石器28 ……210
第171図 出土遺物石器29 ……211
第172図 出土遺物石器30 ……212
第173図 出土遺物石器31 ……213
第174図 出土遺物石製品 1 ……214
第175図 出土遺物石製品 2 ……215
第176図 出土遺物石製品 3 ……216
第177図 出土遺物石製品 4 ……217
第178図 出土遺物石製品 5 ……218
第179図 出土遺物石製品 6 ……219
第180図 出土遺物石製品 7 ……220
第181図 出土遺物石製品 8 ……221
第182図 出土遺物石製品 9 ……222
第183図 出土遺物石製品10 ……223
第184図 出土遺物石製品11・骨角器 ……224
第185図 出土遺物土製品 1 ……225
第186図 出土遺物土製品 2 ……226
第187図 出土遺物土製品 3 ……227
第188図 出土遺物土製品 4 ……228
第189図 出土遺物土製品 5 ……229
第190図 出土遺物土製品 6 ……230
第191図 出土遺物土製品 7 ……231
第192図 出土遺物土製品 8 ……232
第193図 出土遺物土製品 9 ……233
第194図 出土遺物土製品10 ……234
第195図 出土遺物土製品11 ……235
第196図 出土遺物土製品12 ……236
第197図 出土遺物土製品13 ……237
第198図 出土遺物土製品14 ……238
第199図 出土遺物土製品15 ……239
第200図 出土遺物土製品16 ……240
第201図 出土遺物土製品17 ……241
第202図 出土遺物土製品18 ……242
第203図 出土遺物土製品19 ……243
第204図 出土遺物土製品20 ……244
第205図 出土遺物土製品21 ……245
第206図 出土遺物土製品22 ……246
第207図 出土遺物土製品23 ……247
第208図 出土遺物土製品24 ……248
第209図 出土遺物・縄文時代以外の遺物 ……249

＜写真図版＞

写真図版 1　遺跡遠景（空中写真） ……373
写真図版 2　調査区近景　炭窯 ……374
写真図版 3　土層断面 ……375
写真図版 4　溝、土塁、土層断面、
1 号住居跡 ……376
写真図版 5　1・2 号住居跡 ……377
写真図版 6　1・2 号住居状遺構、
1 ～ 3 号埋設土器 ……378
写真図版 7　4・5 号埋設土器、1 ～ 3 号
地山ハイキブロック ……379
写真図版 8　1 ～ 8 号土坑 ……380
写真図版 9　9 ～14号土坑 ……381
写真図版10　15～21号土坑 ……382
写真図版11　22～26号土坑 ……383
写真図版12　27～34号土坑 ……384
写真図版13　35～43号土坑 ……385
写真図版14　46～48号土坑、1・2 号
配石遺構 ……386
写真図版15　3 ～ 5 号土坑 ……387
写真図版16　6 ～ 8 配石遺構、1 号焼土遺構 …388
写真図版17　2 ～ 6 号焼土遺構 ……389
写真図版18　7 ～14号焼土遺構 ……390
写真図版19　15～20号焼土遺構 ……391
写真図版20　21号焼土遺構、2・10・27・
28号柱穴 ……392
写真図版21　21・25・36・37・140号柱穴……393
写真図版22　遺物出土状況 1 ……394
写真図版23　遺物出土状況 2 ……395
写真図版24　遺物出土状況 3 ……396
写真図版25　遺構内出土遺物・土器 1 ……397
写真図版26　遺構内出土遺物・土器 2 ……398
写真図版27　遺構内出土遺物・土器 3 ……399

写真図版28　遺構内出土遺物・土器４ ……400
写真図版29　遺構内出土遺物・土器５、
　　遺構外出土遺物・土器１ ……401
写真図版30　遺構外出土遺物・土器２ ……402
写真図版31　遺構外出土遺物・土器３ ……403
写真図版32　遺構外出土遺物・土器４ ……404
写真図版33　遺構外出土遺物・土器５ ……405
写真図版34　遺構外出土遺物・土器６ ……406
写真図版35　遺構外出土遺物・土器７ ……407
写真図版36　遺構外出土遺物・土器８ ……408
写真図版37　遺構外出土遺物・土器９ ……409
写真図版38　遺構外出土遺物・土器10 ……410
写真図版39　遺構外出土遺物・土器11 ……411
写真図版40　遺構外出土遺物・土器12 ……412
写真図版41　遺構外出土遺物・土器13 ……413
写真図版42　遺構外出土遺物・土器14 ……414
写真図版43　遺構外出土遺物・土器15 ……415
写真図版44　遺構外出土遺物・土器16 ……416
写真図版45　遺構外出土遺物・土器17 ……417
写真図版46　遺構外出土遺物・土器18 ……418
写真図版47　遺構外出土遺物・土器19 ……419
写真図版48　遺構外出土遺物・土器20 ……420
写真図版49　遺構外出土遺物・土器21 ……421
写真図版50　遺構外出土遺物・土器22 ……422
写真図版51　遺構外出土遺物・土器23 ……423
写真図版52　遺構外出土遺物・土器24 ……424
写真図版53　遺構外出土遺物・土器25 ……425
写真図版54　遺構外出土遺物・土器26 ……426
写真図版55　遺構外出土遺物・土器27 ……427
写真図版56　遺構外出土遺物・土器28 ……428
写真図版57　遺構外出土遺物・土器29 ……429
写真図版58　遺構外出土遺物・土器30 ……430
写真図版59　遺構外出土遺物・土器31 ……431
写真図版60　遺構外出土遺物・土器32 ……432
写真図版61　遺構外出土遺物・土器33 ……433
写真図版62　遺構外出土遺物・土器34 ……434
写真図版63　遺構外出土遺物・土器35 ……435
写真図版64　遺構外出土遺物・土器36 ……436
写真図版65　遺構外出土遺物・土器37 ……437
写真図版66　遺構外出土遺物・土器38 ……438
写真図版67　遺構外出土遺物・土器39 ……439
写真図版68　遺構外出土遺物・土器40 ……440
写真図版69　遺構外出土遺物・土器41 ……441
写真図版70　遺構外出土遺物・土器42 ……442
写真図版71　遺構外出土遺物・土器43 ……443
写真図版72　遺構外出土遺物・土器44 ……444
写真図版73　遺構外出土遺物・土器45 ……445
写真図版74　遺構外出土遺物・土器46 ……446
写真図版75　遺構外出土遺物・土器47 ……447
写真図版76　遺構外出土遺物・土器48 ……448
写真図版77　遺構外出土遺物・土器49 ……449
写真図版78　遺構外出土遺物・土器50 ……450
写真図版79　遺構外出土遺物・土器51 ……451
写真図版80　遺構外出土遺物・土器52 ……452
写真図版81　遺構外出土遺物・土器53 ……453
写真図版82　遺構外出土遺物・土器54 ……454
写真図版83　遺構外出土遺物・土器55 ……455
写真図版84　遺構外出土遺物・土器56 ……456
写真図版85　遺構外出土遺物・土器57 ……457
写真図版86　遺構外出土遺物・土器58 ……458
写真図版87　遺構外出土遺物・土器59 ……459
写真図版88　遺構外出土遺物・土器60 ……460
写真図版89　遺構外出土遺物・土器61 ……461
写真図版90　遺構外出土遺物・土器62 ……462
写真図版91　遺構外出土遺物・土器63 ……463
写真図版92　遺構外出土遺物・土器64 ……464
写真図版93　遺構外出土遺物・土器65 ……465
写真図版94　遺構外出土遺物・土器66 ……466
写真図版95　遺構外出土遺物・土器67 ……467
写真図版96　遺構外出土遺物・土器68 ……468
写真図版97　遺構外出土遺物・土器69 ……469
写真図版98　遺構外出土遺物・土器70 ……470
写真図版99　遺構外出土遺物・土器71 ……471
写真図版100　遺構外出土遺物・土器72 ……472
写真図版101　遺構外出土遺物・土器73 ……473
写真図版102　遺構外出土遺物・土器74 ……474

写真図版103 遺構外出土遺物・土器75 ……475
写真図版104 遺構外出土遺物・底部 1 ……476
写真図版105 遺構外出土遺物・底部 2 ……477
写真図版106 遺構外出土遺物・底部 3 ……478
写真図版107 出土遺物石器 1 ……479
写真図版108 出土遺物石器 2 ……480
写真図版109 出土遺物石器 3 ……481
写真図版110 出土遺物石器 4 ……482
写真図版111 出土遺物石器 5 ……483
写真図版112 出土遺物石器 6 ……484
写真図版113 出土遺物石器 7 ……485
写真図版114 出土遺物石器 8 ……486
写真図版115 出土遺物石器 9 ……487
写真図版116 出土遺物石器10 ……488
写真図版117 出土遺物石器11……89
写真図版118 出土遺物石器12 ……490
写真図版119 出土遺物石器13 ……491
写真図版120 出土遺物石器14 ……492
写真図版121 出土遺物石器15 ……493
写真図版122 出土遺物石器16 ……494
写真図版123 出土遺物石器17 ……495
写真図版124 出土遺物石器18 ……496
写真図版125 出土遺物石器19 ……497
写真図版126 出土遺物石器20 ……498
写真図版127 出土遺物石器21 ……499
写真図版128 出土遺物石器22 ……500
写真図版129 出土遺物石製品 1 ……501
写真図版130 出土遺物石製品 2 ……502
写真図版131 出土遺物石製品 3 ……503
写真図版132 出土遺物石製品 4 ……504
写真図版133 出土遺物石製品 5 ……505
写真図版134 出土遺物石製品 6 ……506
写真図版135 出土遺物石製品 7 ……507
写真図版136 出土遺物石製品 8 ……508
写真図版137 出土遺物石製品 9 ……509
写真図版138 出土遺物土製品 1 ……510
写真図版139 出土遺物土製品 2 ……511
写真図版140 出土遺物土製品 3 ……512
写真図版141 出土遺物土製品 4 ……513
写真図版142 出土遺物土製品 5 ……514
写真図版143 出土遺物土製品 6 ……515
写真図版144 出土遺物土製品 7 ……516
写真図版145 出土遺物土製品 8 ……517
写真図版146 出土遺物土製品 9 ……518
写真図版147 出土遺物土製品10 ……519
写真図版148 出土遺物土製品11 ……520
写真図版149 出土遺物土製品12 ……521
写真図版150 出土遺物土製品13 ……522
写真図版151 出土遺物土製品14 ……523
写真図版152 出土遺物土製品15 ……524
写真図版153 出土遺物土製品16 ……525
写真図版154 出土遺物土製品17 ……526
写真図版155 出土遺物土製品18 ……527
写真図版156 出土遺物焼粘土塊 ……528
写真図版156 出土遺物焼粘土塊、
アスファルト付土器 ……529
写真図版157 出土遺物骨角器、獣骨、水晶 ……530
写真図版158 出土遺物（縄文時代以外） ……531

I　調査に至る経過

相ノ沢遺跡は「畑地帯総合土地改良事業　藤崎地区」に関連する遺跡として緊急発掘調査された。この事業に関連する遺跡の取り扱いについては、岩手県教育委員会文化課と両磐土地改良事業所との間で協議が重ねられてきた。町指定の遺跡である相ノ沢遺跡について文化課が内容の把握のため、平成6年度内に試掘調査を行うこととなり、同年10月20～21日に実施された。試掘調査の結果道路に面した法面で縄文晩期の土器が出土し、文化課は工事の施工に先立って現道路拡張範囲に含まれる北側の区域について本調査が必要であると判断した。

発掘調査は文化課の調整によって、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの委託事業とすることとなり、両磐土地改良事業所と事業団との協議・打合せの結果、北側地区1,120 m²について平成7年4月3日付けの委託契約が結ばれた。この委託契約を受けて、当埋蔵文化財センターは同年4月10日～7月31日まで発掘調査を行ったが、予想外に遺物包含層が厚く遺物量が多かったため、調査区全域について調査は終了できず、残り400 m²を次年度に持ち越した。

平成8年4月1日付で前年度の残り400 m²についての委託契約が結ばれ、同年4月8日～6月28日まで調査を実施し、当事業に関わる遺跡の調査を全て終了した。

II　遺跡の立地と環境

1．遺跡の立地と地質・地形

相ノ沢遺跡は東経141°17′08″、北緯38°51′46″付近、海抜約90 mの丘陵地西面の斜面上に分布する。現況は山林である。

本遺跡および周辺の基盤岩類はいわゆる北上古生層および南部北上山地南端を構成する中生層で、これらを覆ってわずかに新第三系および段丘堆積物が分布する。中・古生層は二日市付近を通る南北性の稲村断層（坂東1956 MS）を境として東西で層序が異なる。西側黄海地域では下位より、錦織層、天神ノ木層、登米層（山崎礫岩を含む）に区分され、東部西口・保呂羽・大籠地域では下位より錦織層、東深萱層、新田層、大籠層、千松層に区分される。主たる構成岩は石灰岩、石灰岩質頁岩、頁岩、黒色頁岩、縞状頁岩、砂岩、粘板岩である。

また、遺跡周辺の北上川東岸に分布する海抜177.0 m～194.9mの相ノ沢周辺の小起伏山地および高位丘陵地は、新第三系ないし前期更新世の中山層で構成される。構成岩類は硅質泥岩、凝灰質泥岩、硬質泥岩を主体とし、他に火成岩類としての安山岩類である。

錦織層：黄海中山地区の柳沢中流部から館ヶ森地域とその北方にのみ分布する。灰色～黒色の泥質石灰岩を主体とし、石灰質頁岩、黒色頁岩を伴う。

天神ノ木層：錦織層の西側に、相川の東岸に沿って分布する。砂岩薄層を挟む灰黒色縞状頁岩を主体とする。館ヶ森西方では礫岩層が挟在する。

山崎礫岩：主に黄海上中山付近、七日市北方の北上川左岸に分布する。花崗質岩礫を主体とし、砂岩あるいは頁岩を挟在する。礫種は花崗岩類の他、チャート、岩類、凝灰岩類、石灰岩、砂岩、頁岩などから構成される。

下位の天神ノ木層、錦織層と断層で接し、上位の登米層とは指交関係にある。

登米層：黄海一帯に広く分布し、無層理で黒色頁岩を主体とする。六体キヌイ沢下流部および箕輪から山

谷北方の地域では灰黒色縞状頁岩層が発達し、箕輪南方では下位に砂岩・頁岩互層が発達する。

東深萱層：東深萱、十文字、二日市東方、新地、藤沢南方、粉香木、平蕨、荒屋敷、外ノ山西方に分布する。無層理の黒色頁岩および灰黒色の縞状頁岩を主体とする。東深萱、西深萱、粉香木付近では上部に数層の薄衣式礫岩層を挟在する。

新田層：新田付近、七曲峠、吉高、およびその南方、榴、舟木、繰石峠、洞ノ木、矢作、大宝城、館山西方、大平、小戸沢、徳田長沢南方に分布する。灰色～灰緑色粗粒砂岩の発達が特徴だが、層相は地域により異なり砂岩は一部石灰質を呈する。

大籠層：千松を除く大籠一帯、新田南方、保呂羽地域に広く分布する。本層は大きく上・中・下部に区分され、下部は灰黒色縞状頁岩を主体とする。上大籠沢内およびその北方、大平、蜂ノ森および矢作西方では砂岩・頁岩互層が発達する。中部は無理層の黒色頁岩から成る。上部は下部同様の縞状頁岩から成り、下大籠右名沢北方では中部に砂岩・頁岩互層が発達している。

千松層：千松一帯、保呂羽東方安道峠およびその北方に分布する。無理層の黒色頁岩を主体とし、一部縞状を呈する。

以上、遺跡周辺の基盤岩類を構成する頁岩、泥岩類、粘板岩、深成岩の花層崗岩、花崗閃緑岩が遺跡に搬入されており、採集地と近接する。

また遺跡は西向きの海抜 90 m の斜面上に立地し、遺跡の西側には相ノ沢側が南流し、水源地としても好位置にある。約 1.5 km 西には北上川が南流している。（第 3 図参照）

2．基本層序

今回報告する相ノ沢遺跡は前述のようにほぼ西向きの斜面に位置しており、調査区の大部分は、遺構構築時の廃土や土器・石器の廃棄など人間の行為によって堆積した土で構成されている。そのため堆積状況は複雑で、面的な広がりを十分に把握できたとはいえない。また斜面に堆積した土層であるため、時間の経過とともに層の崩落、相互の混入が生じ、複雑な堆積状況となっている。基本層序として十分なものではないが、以下に概略を述べる。第 4 図は深堀り断面を基に作成した模式柱状図で（1）が 1－4～2－4 グリッド、（2）が 1－8～3－8 グリッド、（3）が 1－12～2－12 グリッド周辺を示している。

Ⅰ層：腐植土　調査時の表土　縄文後～晩期の遺物を包含する。層厚は数 cm と薄い。

Ⅱ層：10 YR5/4　にぶい黄褐色粘土　上層と下層に細分され、上層には遺物がほとんど含まれない。下層は遺物を大量に包含する。層厚 20～30 cm で地区によって異なる。調査区の北側では表土をⅠ・Ⅱ層に細分できたが南側では分けることができなかった。

Ⅲ層：縄文時代の後～晩期の遺物包含層。縄文時代の廃棄行為によって形成された層。
地区によって晩期を主体とするⅢA層と、後期を主体とするⅢB層に細分できる。調査区の北西端と南東端ではⅢA・ⅢBに分けられない区がある。

ⅢA層：10 YR3/2～4/2　黒褐色～灰黄褐色シルト　縄文晩期の遺物を大量に包含する層。調査区中央では比較的厚く、北端・南端ではこの層がなく表土直下にⅢB層が存在する場合もある。炭化物、地山ブロック、焼土粒の混入、また晩期前葉～後葉の時期差からさらにⅢ Aa～Ⅲ Ac 層に細分される。層厚は厚いところで 70 cm に達する。

ⅢB層：10 YR4/2～5/4　灰黄褐色シルト　縄文後期の遺物を大量に包含する層。調査区のほぼ全域に分布

する。色調、炭化物、地山ブロック、焼土粒の混入、また後期前葉～後葉時期差からさらに細分される。層厚は厚いところで70 cmに達する。

IV層：10 YR6/6　明黄褐色土　凝灰岩質粘板岩同化礫層　I層からIII層に混入している地山ブロックの起源となる層。最終遺構検出面である。

3．周辺の遺跡

藤沢町では、平成7年度の岩手県教育委員会文化課作成の埋蔵文化財包蔵地一覧によれば、約90箇所の遺跡が知られている。

遺跡の分布はほぼ現在の集落分布と重複し、河川沿いの平地、丘陵地に位置するものが多い。藤沢町での発掘調査は藤沢町教育委員会が主体となって行われた昭和55年のドウメキ沢遺跡、平成4年の十文字遺跡、平成5年の富周舘遺跡、当センターが主体となって行われた平成7・8年の相ノ沢遺跡、平成8・9年の上野平遺跡などで事例は少ない。以下、各々の遺跡について概略を述べる。

ドウメキ沢遺跡は、大籠字青松にある通称ドウメキ沢の南側に立地する、近世の製鉄遺跡である。中国地方のたたら製鉄技術や文献との関わりから、昭和55年学術調査が行われた。検出された遺構は、製鉄用炉の地下構造（炉床）と推定される遺構と、関連施設と考えられる遺構面である。遺物は磁器片が2片、寛永通宝1点、吹子の羽口片、鉄製品2点、製錬滓と考えられる多量の鉄滓が出土している。

磁器の年代と寛永通宝の流通時期から、遺構は江戸時代後期に構築されたと考えられる。

十文字遺跡は西口字十文字の丘陵地に立地する、縄文時代中期中葉から後葉を主体とする遺跡である。検出された遺構は、竪穴住居跡4棟、掘立柱建物跡1棟、集石遺構1基、石囲炉1基、土坑13基で、「捨て場」と考えられる遺物包含層から200箱を超える大量の遺物を出土している。

縄文土器は大木8 a式、8 b式、9式、10式、後期初頭と幅を持つが、主体は大木8 b式、大木9式、大木10式である。石器の主なものは石鏃764点、石斧33点、石錐76点、石皿10点である。他に岩偶をはじめ各種の石製品、骨角器1点、多数の獣骨片が出土している。

富周舘遺跡は、西口字玉川の黄海川左岸50 mの崖上に立地する中世城館跡である。

「藤原姓佐藤氏家譜」（宮城県気仙沼市階上佐藤吉助氏蔵）によれば佐藤備後守秀長隠居所とされている。検出された遺構は空堀1条、掘立柱穴跡13基、溝状遺構2条、陥し穴状遺構1基、氏神社床下遺構1である。遺物は陶磁器141点、鉄製品21点、土師器片3点、縄文土器片4点、石器片6点、羽口片1点、その他22点が出土しており、陶磁器の年代から16世紀中葉には築城されたと考えられる。

上野平遺跡は、保呂羽字上野平の黄金山から南西に延びる緩やかな尾根に立地する、縄文時代中期後葉～後期前葉を主体とする遺跡である。検出された遺構は竪穴住居跡9棟、掘立柱建物3棟、柱穴125基、柱穴状小土坑155基、土坑60基、埋設土器1基、炉跡・焼土遺構5基、集石遺構2基である。

遺物は「捨て場」と考えられる遺物包含層を中心に300箱と多量の遺物を出土している。土器は前期前葉～晩期後葉までの幅を持つが、遺跡の主体となる中期後葉～後期前葉の土器が9割を占める。石器は石鏃、石匙、不定形石器、磨石、凹石、石棒などが出土しており、石鏃の出土数は1,500点を超える。

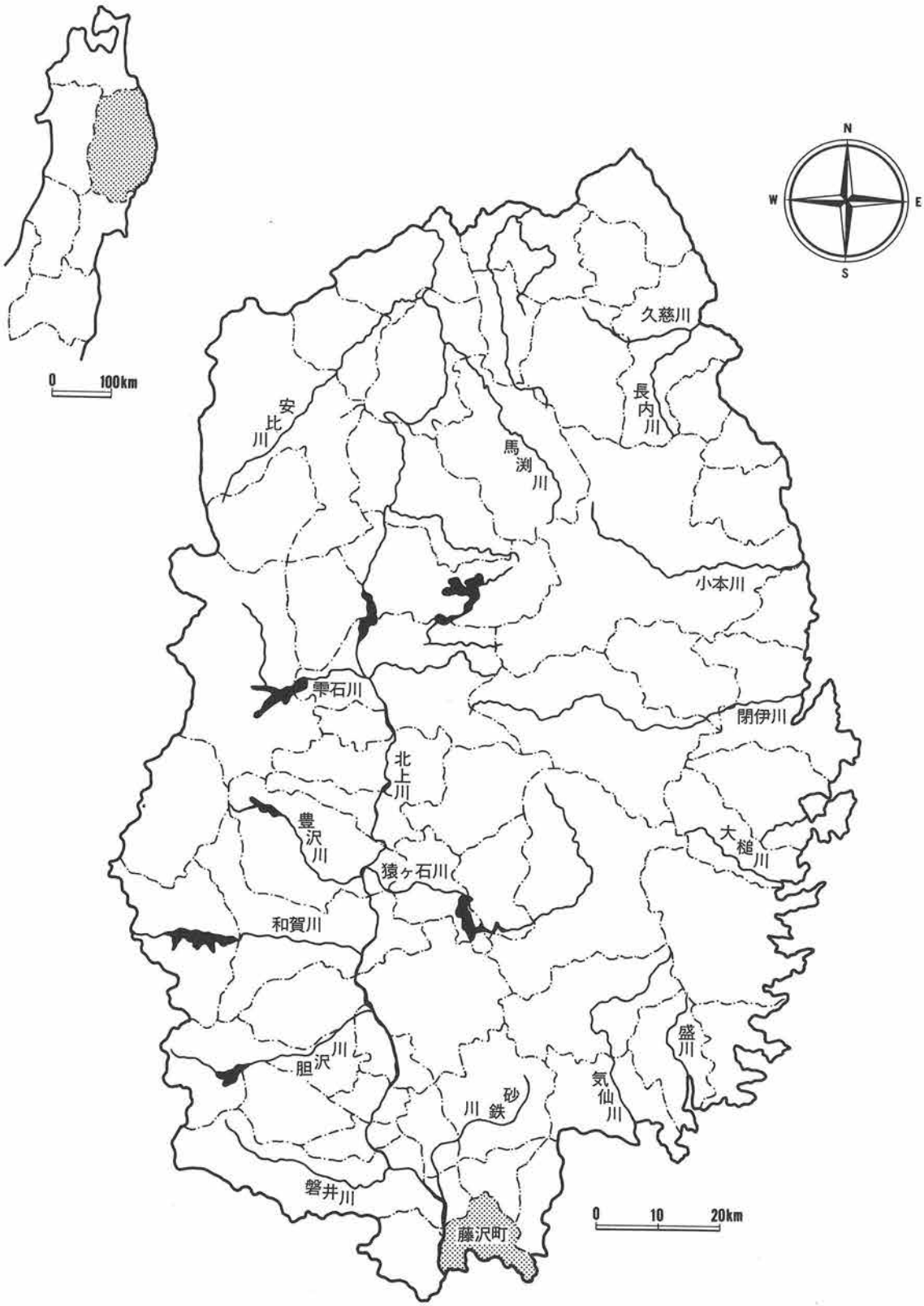
藤沢町の遺跡は第5図・第1表に総括一覧、および分布図として図示したとおりである。

これらの遺跡は、弥生、縄文時代後・晩期は沖積低位面以上、縄文早・前・中期は沖積高位面以上に分布する。散布地として登録されている遺跡が大半を占めるが、未調査の遺跡が多いためである。また旧石器時代については花泉町金森遺跡、下舘銅屋遺跡で確認されており、これらの面は黄海中学校の載る海抜約30 m

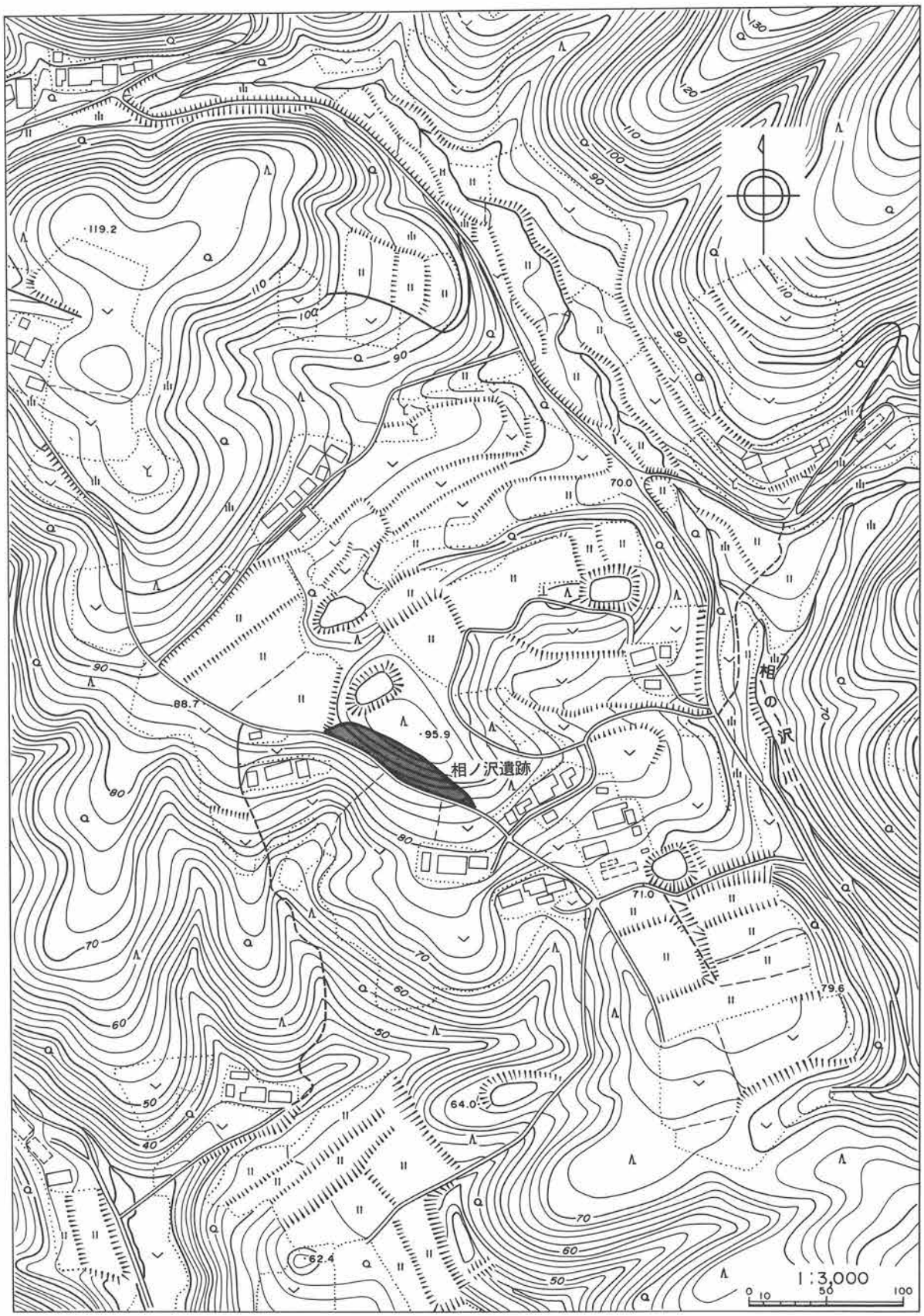
の段丘に対比され、本段丘以上に分布する。藤沢町史によると後期旧石器時代に属する局部磨製石斧が出土しているが、出土地点・層準は不明である。

また、洪積中位段丘および丘陵地IIは、宮城県座散乱木遺跡、高森遺跡など前・中期旧石器時代の遺跡が立地する地形面である。本面にはNY（荷坂・柳沢火山灰）などより古期の火山灰層を載せている。

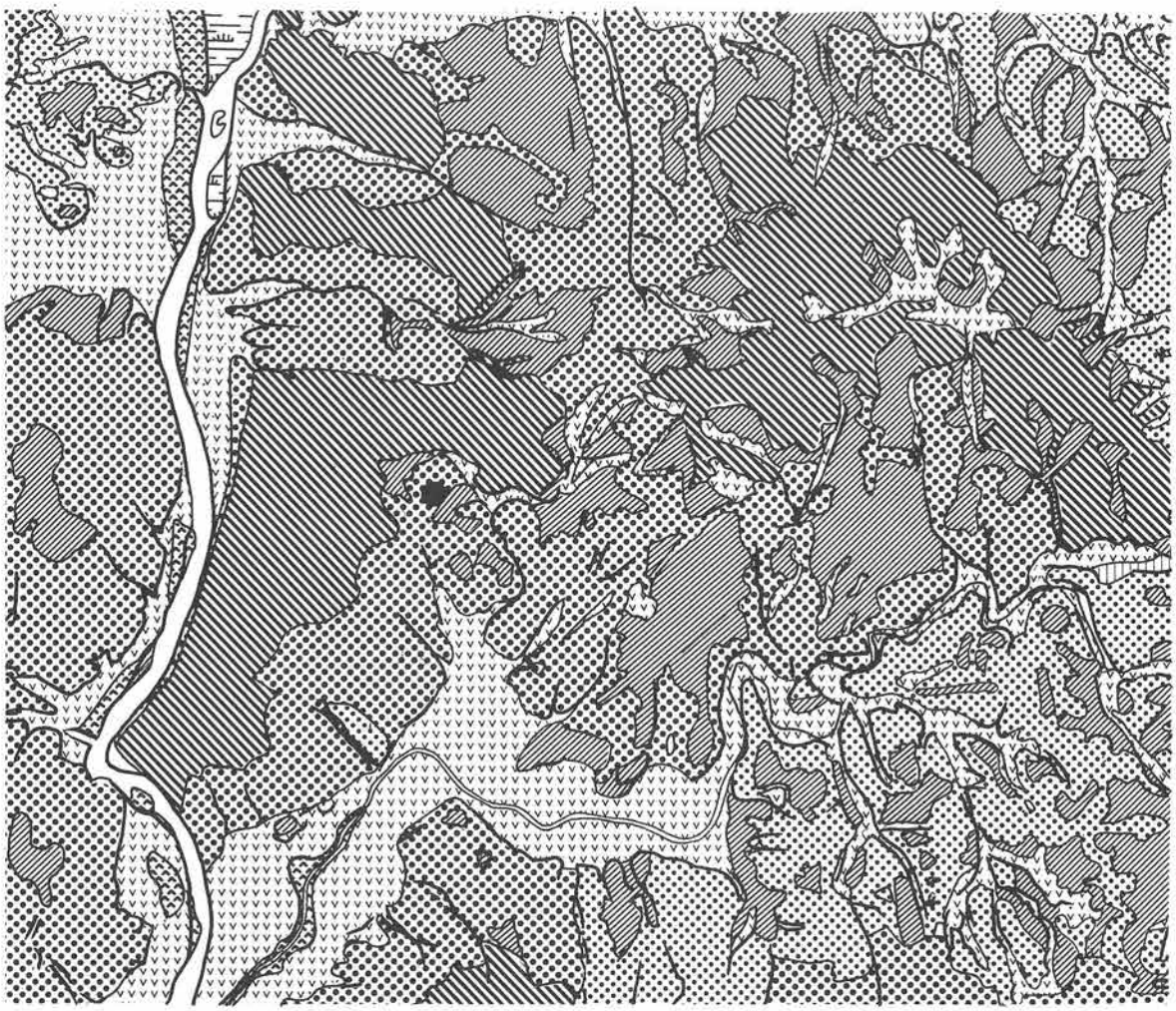
中世の舘跡は黄海、西口両地区に集中し、段丘の縁および丘陵地の端部に立地している。



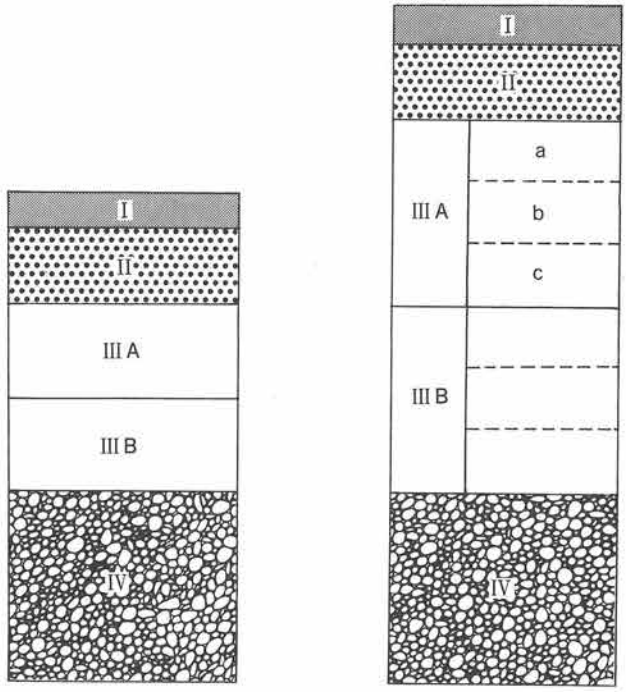
第１図　岩手県図の中の遺跡の位置



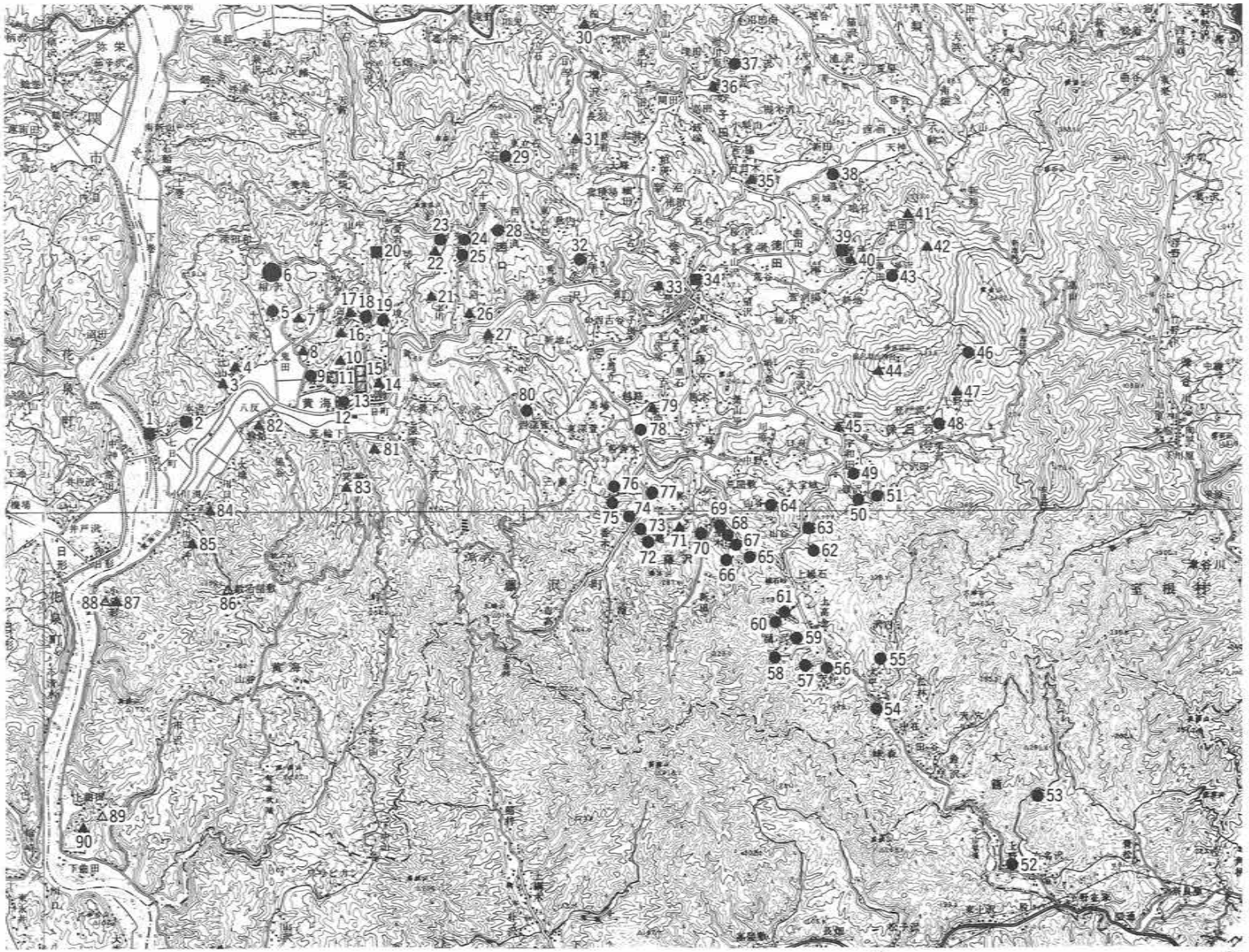
第2図　遺跡周辺の地形図



第 3 図　地形分類図



第 4 図　基本層序模式図



第5図　藤沢町遺跡分布図

第1表　周辺の遺跡一覧

番号	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	備考
1	黄海川岸場	渡し場跡	近世		黄海字天沼	
2	シダ森	散布地	縄文	縄文土器、石鏃	〃　本沢	
3	大木沢館（大木下館）	城館跡	中世	郭状の平場	〃　辻山	
4	辻山館	〃	〃	主郭、二の郭、腰郭、物見	〃　〃	
5	十六将	散布地	縄文	縄文土器、石器	〃　十六将	
6	相ノ沢	〃	〃	〃　（晩）土偶、石器	〃　相ノ沢	
7	上海館	城館跡	中世	空堀、主郭	〃　古堂	
8	古堂西平	〃	〃	郭、腰郭状の平場	〃　〃	
9	白幡	散布地	縄文	縄文土器	〃　天堤	
10	古館	城館跡	中世	茶碗、皿、主郭、二の郭、空堀	〃　〃	
11	長昌寺	散布地	古代	縄文土器（後期）、須恵器	〃　〃	
12	七郎五郎	〃	縄文	〃　（後、晩期）石器	〃　〃	
13	天堤II	〃	古代	須恵器	〃　〃	
14	玉崎館	城館跡	中世	土塁、空堀	〃　上場	
15	天堤I	散布地	古代	土器片	〃　天堤	
16	古堂館（小堂館）	城館跡	中世	主郭、二の郭、三の郭、空堀	〃　古堂	
17	坂氏居館	〃	〃		〃　〃	
18	古堂	散布地	縄文平安	縄文土器、須恵器	〃　〃	
19	平吾	〃	縄文？	土器片	〃　白石	
20	大塚	墳墓	近世	塚	〃　〃	
21	柳沢館	城館跡	中世	平場、腰郭	西口字玉川	
22	狐田館（惣の城）	〃	〃	主郭、二の郭、空堀	〃　切付	
23	切付	散布地	縄文	縄文土器、石棒、石斧	〃　〃	
24	十文字留の森	〃	〃	〃　、石鏃	〃　玉川留の森	
25	十文字	〃	〃	石鏃、石棒	〃　十文字	
26	富周館	城館跡	中世	空堀、主郭、平場	〃　玉川	
27	和子館	〃	〃	〃　〃　〃	〃　白沢	
28	六十里	散布地	縄文	縄文土器、石棒	〃　六十里	
29	東立石	〃	〃？	土器片	増沢字立石	
30	久手館（館）	城館跡	中世	空堀、主郭、二の郭	〃　上久手	
31	要害館A	〃	〃	空堀	〃　中ノ森	
32	玉ノ沢	散布地	縄文	縄文土器（後期）	藤沢字大平	
33	藤沢城	〃	平安	土師器	〃　香木	
34	新町塚	藩境塚	近世		〃　仁郷	
35	砂子館	城館跡	中世	空堀	砂子田字野々田	
36	新城館	〃	〃	空堀、主郭、二の郭、帯郭	〃　新城沢	
37	金山沢	散布地	縄文	縄文土器、両頭石棒、石刀	〃　金山沢	
38	袖ノ沢	〃	〃	縄文土器	徳田字袖ノ沢	
39	西光寺供養塔	その他	近世	一字一石供養塔	徳田字馬場44	
40	馬場館（徳田城）	城館跡	中世	腰郭	徳田字馬場	
41	天神山	〃	〃	空堀	〃　時天神山	
42	山口山の陣	〃	〃		〃　山口	
43	長沢	散布地	縄文	縄文土器	〃　長沢	
44	陣ケ森館	城館跡	中世	空堀、主郭、二の郭、帯郭	保呂羽　保呂羽神社付近	
45	大返矢	〃	〃		保呂羽字二本柳	

番号	遺　跡　名	種　別	時　代	遺構・遺物	所　在　地	備　考
46	苅萱	散布地	縄文	石鏃、石斧、石棒、縄文土器	保呂羽　苅萱	
47	要害館B	城館跡	中世	空堀、平場	〃　上野平	
48	上野平	散布地	縄文	縄文土器、石鏃、石斧	〃　〃	
49	宇和田	〃	〃	〃　、石斧	〃　宇和田	
50	嶺沢1	〃	〃	〃　〃	〃　嶺沢	
51	〃　2	〃	〃	〃	〃　〃	
52	大篭キリシタン	祭祀跡	〃		大籠字大籠	
53	沢入炯屋跡	製鉄跡	〃	鉄滓	〃　〃	
54	沼倉館	城館跡	〃		〃　保登子	
55	休場	散布地	〃	縄文土器	〃　休場	
56	樋の沢2	〃	〃	〃	〃　樋ノ沢29	
57	〃　1	〃	〃	〃	〃　〃　2	
58	曲木	〃	〃	〃　(晩期)	〃　曲木	
59	洞木1	散布地	〃	〃	〃　洞木	
60	〃　3	〃	〃	〃	〃　〃	
61	〃　2	〃	〃	〃	〃　〃	
62	又木沢金山	金山跡	〃		保呂羽	
63	山谷	散布地	〃	剝片	〃　山谷	
64	大宝城	〃	〃	縄文土器	〃　大宝城275	
65	板橋5	〃	〃	〃	藤沢字板橋101	
66	〃　4	〃	〃	〃	〃　〃79	
67	〃　3	〃	〃	〃	〃　〃53	
68	〃　2	〃	〃	〃	〃　〃33	
69	〃　1	〃	縄文古代	〃	〃　〃33	
70	船木	〃	縄文	〃	〃　船木	
71	榴	〃	中世	〃	〃　榴114	
72	粉香木4	〃		〃	〃　粉香木	
73	〃　3	〃	縄文	〃	〃　〃	
74	〃　1	〃	〃	〃	〃　〃	
75	〃　5	〃	〃	〃	〃　〃	
76	〃　2	〃	縄文、平安	〃　石鏃	〃　〃	
77	平蕨	散布地	縄文	石鏃	藤沢字平蕨	
78	中島	〃	〃	縄文土器（後期）石鏃	〃　中島	
79	佐々布館（佐物館）	城館跡	中世	空堀、帯郭、主郭、二の郭	〃　八沢	
80	山ノ坊	散布地	縄文	縄文土器（後期）、石器	黄海字東深萱	
81	深堀館（黄色城）	城館跡	中世	空堀、本丸、二の丸、物見台	〃　〃	
82	熊館（楓樹ケ城）	〃	〃	〃	〃　熊館	
83	金山沢館	〃	〃	土塁	〃　深堀	
84	川口館	〃	〃	〃　、空堀、主郭、二の郭、腰郭	〃　川口沖	
85	藤の巻館	〃	〃	空堀、主郭	〃　〃	
86	鍛治屋敷	製鉄跡	その他	鉄滓	〃　小日形	
87	鴇単館（小日形館）	城館跡	中世		〃　〃	
88	皇徳寺跡	寺院跡	その他		〃　〃	
89	黄海経塚	経塚	〃		〃　曲田	
90	曲田館（大西館）	城館跡	中世	井戸跡、経塚	〃　〃	

III　調査方法と整理方法

1．野外調査

（1）グリッドの設定

今回の調査では、X＝126,120.000・Y＝39,250.000・H＝92.830を基点1、X＝－126,150.000・Y＝39,300.000・H＝90.460を基点2として、この2点を結んだ線を基準線とした。この基準線を延長し、直交する線で5 m×5 mのメッシュで全調査区を区画した。この区画に北西端を原点として東西方向に西から0～18の番号を与え、南北方向に北から0～3の番号を与え、0－1、1－1と表示した。このグリッドは平面直角座標(第X系)に対してN－30°－Wの傾きを持つ。必要に応じてグリッドを四分し、A～D区と表示した。

（2）粗掘りと遺構検出

地形の傾斜に沿った方向で設定した試掘トレンチにより、土層の堆積状況や遺物分布状況を観察した。ほぼ全域で表土中から遺物を大量に包含していることが、確認できたため、重機による表土除去は一部区域にとどめ、人力による遺構検出、精査を行った。なお、遺構確認の掘り下げはIV層まで行った。

（3）遺構名の登録

遺構の命名は、各グリッド毎で検出順に、1－1－P1、2－13－SI1というようにグリッド名と遺構の種類を組み合わせて行った。報告書掲載に当たって各遺構毎に東西方向に西から1号土坑、2号土坑というように改称した。(一部この方針が徹底していないものがある)旧遺構名と新遺構名の関係は次の通りである。(第7図・第2表参照)

（4）遺構の精査と実測・遺物の取り上げ

調査区のほぼ全域が遺物包含層であったため、精査は地形の傾斜に沿った土層観察用ベルトと傾斜に直交するベルトを残し、混入物や固さなど土の変化、含まれる遺物の時期差を観察しながら層毎に掘り下げ、包含層中の遺構の検出を行った。ベルトは最大限残し、廃棄の状況を想定できるよう務めた。

検出された遺構は竪穴住居跡、竪穴住居状遺構、炭窯は四分法、土坑、配石遺構、柱穴、焼土遺構類については二分法を原則として精査を行ったが必要に応じて他の方法も併用した。検出段階で新旧関係が把握できない重複する遺構については併行して精査を行い、埋土断面から判断するようにした。

遺構内の遺物は埋土上部、下部、床面などの区分をするよう務めたが、徹底していない。遺構外の遺物についてはグリッド単位、層位毎に取り上げた。

一括出土遺物や特殊な遺物等の出土に際しては写真撮影、実測図作成によって出土状況の記録を行っている。

（5）実測と写真撮影

遺構の平面実測に当たっては原則としてグリッドに合わせた1 mメッシュを基本とする簡易遣り方測量で行った。広範囲の焼土遺構、地山ブロック廃棄面など一部の遺構は平板測量を行った。実測図の縮尺は、平面図・断面図とも1/20を原則とし平板測量では1/40の縮尺も用いた。遺構の埋土が単層である場合は土層断面図の作成を省略したものがある。レベルは基準点をもとに絶対高で記録した。

（6）写真撮影

写真撮影は、検出状況、埋土断面、完掘状況等必要に応じ行った。

撮影は35 mmモノクロームとカラースライド各1台、モノクローム6×7判1台を使用した。撮影に当たっては、整理時の混乱を避けるため撮影カードを利用した。また平成7年度調査では、調査の終了段階で業

者に委託し、空中写真の撮影を実施している。

2．室内整理

（1）整理経過

各年度の室内整理の人数、作業内容は以下の通りである。

平成7年11月1日～平成8年3月31日：遺物水洗（5名）、
石器仕分け・図面・写真・台帳類整理（調査員）

平成8年4月1日～10月31日：遺物水洗（4名）

平成8年11月1日～平成9年3月31日：遺物水洗・石器登録（3名）
石器の仕分けと遺構記録類の整理・第二原図の作成（調査員）

平成9年4月1日～10月31日：土器接合復元・遺物実測（9名）
掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成9年11月1日～平成10年3月31日：遺物実測・トレース（4名）
掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成10年4月1日～10月31日：遺物実測・トレース・土器採拓・石器計測・図版作成（8名）
掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成10年11月1日～平成11年3月31日：石器計測・図版作成・収納（作業員6名）
各作業指示・点検・観察表作成・原稿執筆（調査員）
遺物写真撮影は各年度に行った。

（2）遺構の整理と掲載

遺構実測図は調査中に、遺構名、グリッド、レベル、注記などに記載の誤り、漏れがないかどうか点検を行ったが徹底することができず、室内整理の段階で平面図と断面図の照合・修正が可能なものについては第2原図を作成しこれを掲載した。野外での記載に不備が多く、修正が困難なものについてはそのまま掲載した。遺構名の変更は前述した通りである。

遺構の掲載順と図版の縮尺については以下の通りである。

縄文時代の竪穴住居跡：1/40
竪穴状遺構：1/40
土坑：1/40
配石遺構：1/40
焼土遺構：1/40・1/80
埋設土器：1/40
地山廃棄ブロック：1/40・1/80
中世の溝・土墓　：1/40
近代の炭窯　：1/40

（3）遺物の整理と掲載

今回の調査で出土した遺物は、土器類がコンテナで約310箱、総重量約6.2t、土製品・石器・石製品類がコンテナで約40箱、その他少量の金属製品、陶磁器である。遺物の水洗は調査中から平行して進めたが、大部分は未洗で引き上げ室内整理時に水洗している。水洗が終了した時点で種別に仕分けし、登録から収納ま

で行った。

土器は遺構内出土がごくわずかだったため、遺構外出土土器から着手した。整理の期間・スペースが限られていたため、同一グリッド内→隣接グリッドの順で接合を行ったが、遠隔グリッド・遺構内との接合関係の把握は不十分である。遺構内出土土器は埋設土器、土坑出土の一部を除いて接合が困難な破片が大部分だったため、遺構の時期決定の資料となるものを選択するにとどまった。

掲載土器は各層の時期決定となる資料を中心に、他の時期がどれだけ混入するかを示す資料を選択した。大部分の層に複数の時期の遺物が含まれるため、出土数と掲載数の比率が等しくなるよう務めたが、徹底できなかった。結果的に、地文のみの粗製深鉢などは掲載数が極端に少なくなった。

立体とならなかった底部資料は、圧痕のあるもの、周辺加工のあるものを選択した。選択した土器は仮登録番号で登録され、実測・採拓作業に進んだ。

完形資料、径を復元できる資料は実測(一部は反転実測)、破片資料は採拓を原則とし、実測は通常の方法と埋文スコープⅠ型を併用して行った。

図版掲載の縮尺は、実測土器・採拓土器：1/3、一部の大型土器：1/4、1/5、ミニチュア土器：1/2 を用い、1/3 以外のものについては個々にスケールを付した。写真図版もこの縮尺に準じている。器面の剝落した部分は点線で表現した。掲載順は、斜面の上部から下部へ、調査区北西端から東へ０－０グリッドから０－１、０－２、１－１、２－１グリッドの順とし、グリッド内では上層から下層の順で掲載した。

石器は水洗後、大まかな器種毎に仕分けし出土グリッド順に登録を行った。登録点数は 10,483 点にのぼる。登録後、石質鑑定、器種の確認、器種により形態分類を行い、掲載遺物の選択、実測作業と計測作業を平行して進めた。掲載遺物は器種毎に各形態を代表するものを選択したが、出土数と掲載数の比率は一定ではない。

実測面は器種ごとに一定とはせず、使用痕を表現できるよう個体毎に定めた。時間短縮のため、剝片石器の大部分の実測・トレースを外部委託とした。礫石器の使用面には第 6 図の凡例に示したとおり、作用の種類毎にスクリーントーンを使い分けて表現している。

図版掲載の縮尺は以下のように器種毎に定めた。

石鏃・石錐その他剝片石器：2/3

石斧、石皿、礫石器類：1/3

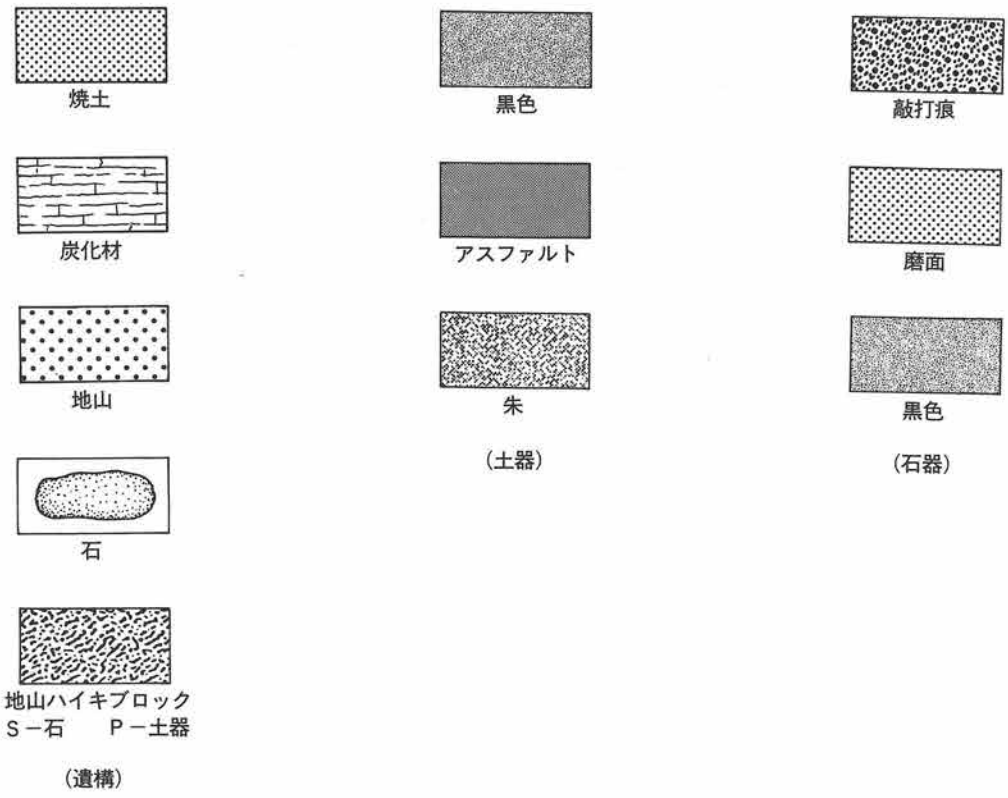
石製品類：1/2

観察表中の計測値の単位は長・幅・厚は cm、重量は g である。また計測値に（ ）をつけたものは残存部分での数値である。

土製品は種類毎に登録し、実測、トレース、写真撮影を行い図版を作成した。焼粘土塊については実測を行わず、写真図版のみの掲載とし縮尺概数を頁下に記した。図版掲載の縮尺は 1/2 である。骨角器・金属製品、・陶磁器その他の縮尺は各ページにスケールで示してある。動植物遺存体については文章掲載のみとした。

遺構配置・土層観察ベルト配置は第 7 ～ 8 図に示した通りである。柱穴状小ピットは相互の関係が把握できず、また全体図が煩雑になることを考慮し、第 21～24 図に一括掲載した。

各土層ベルトの断面図は第 25～31 図に掲載した。



第6図　遺構・土器・石器実測図凡例

IV　検出された遺構、遺物

遺構の概要

今回の調査の結果、縄文時代後期から近代にいたるまでの各種遺構・遺物が検出された。

以下に概略を記す。縄文時代の遺構としては、石囲炉を伴う竪穴住居2棟、住居状遺構2棟、土坑50基、配石遺構7基、焼土遺構21基、埋設土器5基、地山廃棄ブロック3、柱穴140基、それ以外の時代では中世の土塁1基、溝1条、近代の炭窯1基が検出されている。

1　竪穴住居跡

1号竪穴住居跡（第9図・写真図版5）

＜位置＞　2－12グリッド

＜検出状況＞　調査員の不注意から、住居の存在に気付くのが遅れ、検出時の詳細な記録はない。2－12東西ベルト6層を掘り下げる途中、偏平礫、その下から石囲炉が検出され、以後精査を行った。

＜形態・規模＞　壁の残存が北西側の1/4弱であるため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから長軸3.8m、短軸2.8m前後、壁高は最大40cmと思われる。

＜埋土＞　埋土は堆積状況から、2－12東西ベルトの2・3・6層と考えられる。黒褐色土、灰黄褐色土を主体とし、炭化物、地山ブロックなどの混入具合に差がある。土の廃棄による堆積と考えられる。

＜床･壁＞　住居のベルトB－B′1～5層は、IV層上に5cm程貼床したと考えられ、固くしまっている。1・2層は火熱による変色、6層より高いレベルの5・7層は、1号住居より古い遺構の可能性がある。壁面の立ち上がりはわずかしか検出しておらず、詳細は不明である。

＜炉＞　直径約65cmの円形に亜角礫を配した石囲炉を検出した。石の一部は失われている。巨大な偏平礫(約50×70×5 cm)が炉全体を覆い、礫の下面は石囲炉に密着しているが、焼成を受けた痕跡はない。焼土厚は約3 cmで、混入物はほとんどない。

＜柱穴＞　検出していない。

＜遺物＞　遺物は貼床した土から土器（図版番号1～4）、石鏃1点、磨製石斧1点、イノシシの獣骨片、石器製作時の剝片が出土している。

＜小結＞　形態、出土遺物から後期中葉以降の竪穴住居と考えられる。ベルトB－B′1層部分のIV層への掘り込みは、この住居より古い遺構があった可能性を示す。石囲炉を巨礫で覆った類例は大日向II遺跡のHIV 07住居跡に見られ、後期後葉の住居とされている。住居廃棄時の儀礼、再利用のための保護の可能性等が考えられる。

2号竪穴住居跡（第10図・写真図版5）

＜位置＞　1－13グリッド

＜検出状況＞　平成7年度の調査で、2－13東西ベルトを残しながら包含層を掘り下げたところ、南東面15層で炭化物の混入した焼土と弓状に配列された石を検出した。精査は8年度に持ち越し、ベルト断面の記録後、ベルトを掘り下げ焼土と炭化材の広がりを記録した。

＜形態・規模＞　壁の残存が北側の1/4弱のため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから直径4 m前後、壁高は最大35cmと思われる。

＜埋土＞　埋土は堆積状況から2－13東西ベルト6・12・13・14・15層と考えられる。灰黄褐色土を主体

とし、炭化物、地山ブロックなどの混入具合に差がある。土の廃棄による堆積と考えられる。

＜床・壁＞　住居のベルトA－A′2～8層はIV層に貼床したと考えられ、固くしまっている。壁は2－13東西ベルトの14層と16層の境目と考えられ、外斜して立ち上がる。

＜炉＞　直径約70 cmの亜角礫を円形に配した石囲炉を検出した。石の一部は失われている。焼土厚は約10 cmで黒褐色土、炭化物の混入が多い。

＜柱穴＞　検出していない。

＜施設＞　北壁際に土坑1基を検出した(39号土坑)。径約1 m、深さ約20 cmで土器(図版番号77・78・80・79・81)、礫が出土した。78は正位で、81は横位で土坑の底部に下面を接して埋められていた。どちらも胴部下半を失っている。78・81の地文は縄文横位回転で、横位の内面調整を持つ。81は胴部にススの付着が見られる。礫は埋土最上部と最下部から出土している。埋土は単層である。

＜遺物＞　遺物は貼床した土から土器(図版番号5～11)の他土器片37片(後期主体、晩期混じる)、石鏃30点、磨石1点、敲石1点、獣骨片、床面と直上の埋土から剝片、焼成クルミが出土している。

＜小結＞　出土遺物から縄文晩期中葉以降の住居と考えられる。炭化材と焼土の残存から焼失住居の可能性がある。柱材と考えられる炭化材の大部分はナラでスギと雑木が一部混じっている。

2　竪穴住居状遺構

1号住居状遺構(第9図・写真図版6)

＜位置＞　1－11グリッド

＜検出状況＞　平成7年度の調査で包含層を掘り下げたところ、IV層を掘り込んだ遺構が確認された。

＜形態・規模＞　壁の残りが北西側1/4強のため正確な形状は不明だが、残存部のプランから隅丸方形と考えられる。壁高は最大30 cmになる。

＜埋土＞　灰黄褐色土主体の単層で、固くしまっている。

＜床・壁＞　床面はIV層と考えられ、ほぼ平坦である。

＜遺物＞　埋土から土器(図版番号12～14)の他土器片159片、石鏃10点、石錐1点、敲石1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。調査時の不手際により、詳細は不明だが北側の土坑らしい遺構を切って構築されている。本遺構は25号土坑に切られている。

2号住居状遺構(第9図・写真図版6)

＜位置＞　1－14グリッド

＜検出状況＞　平成7年度の調査で包含層を掘り下げたところ、IV層を掘り込んだ遺構が確認されたが、大部分がすでに失われていた。

＜形態・規模＞　壁の残りがわずかなため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから、長軸2.6 m、短軸2 m前後の楕円形と推定される。

＜埋土＞　灰黄褐色土主体の単層で、上部に焼土粒が多く含まれる。固くしまっている。

＜床・壁＞　床面はIV単層と考えられ、ほぼ平坦である。

＜柱穴＞　埋土の下から柱穴が2基検出されたが、本遺構との関連は不明である。

＜遺物＞　埋土から土器(図版番号15～17)、石鏃2点、石匙1点、磨石1点が出土している。整理段階で

44号土坑出土土器との混乱があり、詳細は不明だが200点前後の土器片が出土している。

＜小結＞　北側の44号土坑を切って、構築されている。出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。また、規模の大きな土坑の可能性もある。

3　土坑

1号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　1－1グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形を呈し、開口部1.28×0.82m、底部1.16×0.77m、主軸方位N 21°E、深さは最大22cmである。底面は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロックを少量含む、にぶい黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　埋土中から、土器（図版番号18・22）の他土器片81片（後期主体？）、石鏃4点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

2号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッド、ⅢB下層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形を呈し、開口部1.42×（0.80）m、底部1.14×（0.72）m、主軸方位N 3°W、深さは最大14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　埋土中から土器（図版番号23・24）の他土器片31片（後期主体）、石鏃3点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。3号土坑、2号配石遺構に切られている。

3号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッド、ⅢB下層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形を呈し、開口部0.80×0.54m、底部0.66×0.38m、主軸方向N 27°、深さ最大14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・焼土粒を少量含む、褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　埋土中から土器（図版番号19・21）の他土器片12片（後期主体）、石鏃1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

4号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形を呈し、開口部1.30×0.82m、底部1.14×0.78m、主軸方向N 39°E、深さ最大16cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック、炭化物、焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　埋土中から土器（図版番号25・26）の他土器片122片（後期主体、晩期少量含む）、石鏃2点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

5号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　楕円形を呈し、開口部1.00×0.74m、底部0.68×0.58m、主軸方向N°56°W、深さは最大23cmである。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号22・27）の他土器片25片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

6号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　2－2グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、開口部1.24×1.09m、底部0.92×0.72m、主軸方向ＮＳ、深さは最大25cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。壁に沿って礫が埋められている。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄褐色土層で埋め戻されている。固くしまる。この層は2－2東西ベルトの7層に相当する。

＜遺物＞　土器（図版番号28・29）の他、土器片56片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。本遺構の断面は2－2東西ベルトに表れているが、断面から遺構の上部を確認することができない。崩落により失われた可能性があり、他の遺構の中にも、同様に上部構造を失ったものがあると推定される。

7号土坑（第11図）

＜位置・検出状況＞　2－2グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、開口部0.70×0.59m、底部0.60×0.52m、主軸方向Ｎ28°Ｅ、深さは最大10cmである。底部は中央がやや高く、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号30・31）の他土器片9片（後期主体）、石鏃1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

8号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞　2－2グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　楕円形で、開口部1.00×0.70m、底部0.78×0.42m、主軸方向Ｎ40°Ｅ、深さは最大31cmである。底部は中央がやや高く、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック、炭化物を少量含む褐色土の単層で、埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がなく詳細は不明だが、形態・埋土などから縄文時代の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

9号土坑（第11図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　1－3グリッド、ⅢB中層最下面で検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、開口部1.42×1.28m、底部1.32×1.04m、主軸方向N 17°W、深さは最大27cmである。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土の単層（＝ⅢB中層中部）で、埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号32～34）の他土器片205片（後期主体）、石鏃3点、石錐1点、磨石1点が出土している。

＜小結＞　32は晩期前葉の土器であるが、出土遺物と埋土から後期前葉以降の遺構と考えられる。

10号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　2－3グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部0.81×0.69m、底部0.73×0.57m、主軸方向N 11°Wで、深さは最大7 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、暗褐色土の単層（＝ⅢB中層）で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号35・36）の他土器片45片（後期主体）、石鏃4点、石皿1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

11号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　1－6グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な楕円形で、開口部0.92×0.72m、底部0.78×0.58m、主軸方向N 34°深さは最大20cmである。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む褐色土の単層で、埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号38～40）の他土器片38片（後期主体）、土偶（図版番号146）、石鏃4点、石匙1点、敲石1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

12号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　2－6グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　調査時の不手際のため、検出時のプランが楕円形で、0.70×0.60m、主軸方向N 35°E、レベル92.031m、土器が重なって出土の他、記録なし。

＜埋土＞　埋土の記録はない。レベルから2－6南北ベルト9層の可能性が考えられる。

＜遺物＞　土器（図版番号41・42）の他土器片61片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

13号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　0－6グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形で、開口部1.50×0.72 m、底部0.54×0.44 m、主軸方向N 42°W、深さは最大で60 cmである。底部はほぼ平坦で壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロックを少量含む、にぶい黄褐色土で埋め戻されている。あまりしまっていない。

＜遺物＞　出土していない。

＜小結＞　遺物が出土していないため詳細は不明だが、埋土・形態から他の土坑とは構築時期、目的が異なると考えられる。また、断面の観察が短軸方向のみで断定できないが、プランから2つの遺構が重なっている可能性がある。

14号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞　0－7グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部0.92×（0.74）m、底部0.74×0.60 m、主軸方向N 81°W、深さは最大10 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器片5片（後期主体）、石錐1点、凹石1点が出土している。土器片は磨滅が著しい。

＜小結＞　出土遺物から、後期の遺構と考えられる。

15号土坑（第12図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　0－7グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　円形で、開口部0.55×0.53 m、底部0.46×0.41 m、主軸方向N 51°E、深さ最大10 cmである。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号48）の他土器片7片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

16号土坑（第12図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　1－8グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　円形で、開口部0.50×0.48 m、底部0.38×0.36 m、主軸方向N 26°E、深さ21 cmである。底部は中央がくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号49・50）の他土器片10片（後期主体）、石鏃1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

17号土坑（第12図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　2－8グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　円形で、開口部0.56×0.50 m、底部0.44×0.42 m、主軸方向N 78°W、深さ最大8 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器片7片（後期主体、晩期わずかに含む？）が出土している。土器片は磨滅が著しい。

＜小結＞　出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。

18号土坑（第12図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　2－9グリッド、Ⅳ層で検出した。南東側を1－9東西ベルト掘り下げのため、削られている。

＜形態・規模＞　開口部（0.84）×（0.74）m、底部（0.79）×（0.71）mと残存がわずかなため、詳細は不明である。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄橙色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器片17片（後期主体）、石鏃2点が出土している。土器片は磨滅が著しい。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。

19号土坑（第13図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　1－9グリッド、Ⅳ層で検出した。南西側約1/4が、すでに削られている。

＜形態・規模＞　開口部（1.41）×（1.30）m、底部（1.12）×（0.96）m、主軸方向N 62°E，深さは最大12 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。プランは楕円形と推定される。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、黒褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号51･52）の他土器片31片、石鏃3点、石錐1点、磨石1点、獣骨片少量、焼粘土塊が出土している。

＜小結＞　51･52は後期前葉の土器だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。南西側を遺構状に削られていたが、調査員の不手際により詳細は不明である。

20号土坑（第13図）

＜位置・検出状況＞　1－9グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態･規模＞　ほぼ円形で、開口部0.50×0.44 m、底部0.40×0.38 m、主軸方向N 56°W、深さ最大12 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　遺物は出土していない。

＜小結＞　遺物が出土していないため詳細は不明だが、埋土から後～晩期の遺構と考える。

21号土坑（第13図・写真図版10）

＜位置・検出状況＞　3－9グリッド、Ⅳ層で検出した。西側約1/2がすでに削られている。

＜形態･規模＞　開口部（1.22）×（1.03）m、底部（0.63）×（0.56）m、主軸方向N 30°E、深さは最大23 cmである。底部は中央がくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。プランは楕円形と推定される。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号53～55）の他土器片13片（後･晩期）、石鏃4点、石錐1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期後葉の遺構と考えられる。調査時の不手際から、22号土坑との重複の有無は確認できなかった。出土遺物から本遺構が新しいと考える。断面と完掘状況から本遺構が22号土坑以外の遺

構と重複していた可能性がある。

22号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞　3－9グリッド、Ⅳ層で検出した。西側1/2はすでに削られている。

＜形態・規模＞　開口部（0.84）×（0.80）m、底部（0.74）×（0.50）m、主軸方向N 81°E、深さ最大12cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。プランは楕円形と推定される。

＜埋土＞　地山ブロックを少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号56）の他土器片1片、石鏃3点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

23号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞　2－10グリッド、Ⅳ層で検出した。南側約1/2はすでに削られている。

＜形態・規模＞　不整な楕円形で、開口部（1.70）×（0.88）m、底部（1.58）×（0.80）m、主軸方向N 84°E、底部は中央が高く、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土主体の土で埋め戻され、3層に分かれている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号60・61）の他土器片72片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。南側が遺構状に削られていたが、調査員の不手際により、詳細は不明である。

24号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞　1－11グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、1.32×1.30m、底部1.28×0.94m、主軸方向N 52°E、深さは最大27cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号172・175）の他63片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物と、埋土から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

25号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞　1－11グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　楕円形で、1.22×0.99m、底部1.02×0.82m、主軸方向N 67°W、深さは最大32cmである。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。しまっていない。下部に巨礫が埋められている。

＜遺物＞　土器（図版番号57・58）の他土器片103片、石鏃1点、石匙1点、敲石1点、焼粘土塊少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物と埋土から後～晩期の遺構と考えられる。本遺構は1号住居状遺構を切っている。

26号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞　2－11グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な楕円形で、0.66×0.46m、底部0.43×0.30m、主軸方向N 23°E、深さは最大34cmである。底部は不規則な形で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　4層に分けられるが、地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号59）の他土器片51片、石鏃2点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

27号土坑（第13図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞　2－10グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　8の字形で、開口部0.98×0.70m、底部0.89×0.50m、主軸方向N 74°E、深さは最大16cmである。底部は中央がくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　埋土の記録はない。

＜遺物＞　石鏃2点、石錐2点、獣骨片が少量出土している。

＜小結＞　出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。埋土の記録がないため詳細は不明だが、プランと断面から柱穴状の遺構と重複している可能性がある。

28号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞　2－11グリッド、2－11東西ベルト6層を掘り込んで、土坑状のくぼみが検出された。東側はすでに削られている。

＜形態・規模＞　不整形で、開口部（0.80）×0.60m、底部（0.68）×0.44m、主軸方向N 19°E、深さは最大18cmである。底部は中央がわずかに高く、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　炭化物・多量の焼土粒を含む、黒褐色土の単層である。（＝2－11東西ベルト5層）最下部に礫が埋められている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　遺物が出土していないため詳細は不明だが、検出面が29号土坑と同じことから、ほぼ同時期の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

29号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞　2－11グリッド、2－11グリッドの6層を掘り込んで、土坑状のくぼみが検出された。東側はすでに削られている。

＜形態・規模＞　と開口部（0.92）×（0.80）m、底部（0.77）×（0.73）m、主軸方向N 25°W、深さは最大20cmである。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　炭化物・多量の焼土粒を含む黒褐色土の単層である。（＝2－11東西ベルト5層）

＜遺物＞　土器（図版番号62～65）の他土器片138片（晩期主体）、石鏃4点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

30 号土坑（第 14 図）

＜位置・検出状況＞　0 －11 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形で、(1.54)×0.38 m、底部 (1.32)×0.26 m、主軸方向ＮＥ、深さは最大 18 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　灰黄褐色土の単層で、埋め戻されている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、形態から他の土坑とは構築目的が異なる可能性がある。37 号土坑と検出面、形態がよく似ている。103 号柱穴に切られている。

31 号土坑（第 14 図・写真図版 12）

＜位置・検出状況＞　1 －12 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、開口部 0.67×0.62 m、底部 0.40×0.32 m、主軸方向Ｎ 61°Ｅ、深さ最大 8 cm である。底部は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、縄文後～晩期の遺構と考えられる。

32 号土坑（第 14 図・写真図版 12）

＜位置・検出状況＞　1 －12 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な楕円形で、開口部 1.08×0.63 m、底部 0.94×0.32 m、主軸方向Ｎ 34°Ｅ、深さは最大 14 cm である。底部は不整形で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号 67・68）の他土器片 28 片（後期主体）、石鏃 1 点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。プランと断面から他の遺構と重複している可能性がある。

33 号土坑（第 14 図・写真図版 12）

＜位置・検出状況＞　1 －12 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　円形で、開口部 0.81×0.79 m、底部 0.71×0.66 m、主軸方向Ｎ 31°Ｗ、深さは最大 31 cm である。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土で埋め戻され 2 層に分かれる。

＜遺物＞　土器（図版番号 69～71）の他土器片 80 片（後期主体）、石棒 1 点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から、後期前葉の遺構と考えられる。

34 号土坑（第 14 図・写真図版 12）

＜位置・検出状況＞　2 －12 グリッド、検出面の記録はない。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部 1.12×1.02 m、0.80×0.75 m、主軸方向Ｎ 81°Ｅ、深さは最大 55 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土で埋め戻され3層に分かれている。固くしまる。埋土中～下部にかけて15×15×45 cm前後の角礫が、底面に対して約60°の角度で埋められている。

＜遺物＞　土器（図版番号72～75）の他土器片84片（後期主体）、凹石1点、円盤状土製品1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。調査時の不手際により、精査の途中で本遺構が北西側の土坑状の遺構を切って構築されたことに気づいた。この遺構から遺物の出土はなく、埋土は本遺構によく似ている。

35号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　2－12グリッド、20×30 cm前後の礫が2個検出され、礫の下にⅣ層を掘り込んだ遺構を確認した。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部0.51×0.42 m、底部0.31×0.30 m、主軸方向N 33°W、深さは最大14 cmである。底部・壁は残存がわずかなため、詳細は不明である。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む・黒褐色土と灰黄褐色土の2層に分けられる。固くしまる。

＜遺物＞　土器片132片（後・晩期）、磨製石斧1点が出土している。土器は磨滅が著しい。

＜小結＞　出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。土坑とするには不十分な検出状況だが、上部が失われた可能性を考え遺構とした。構築目的、礫と遺構との関連は不明である。

36号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置＞　1－12グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整形で開口部1.40×0.50 m、底部1.20×0.34 m、主軸方向N 85°W、深さは最大で15 cmである。底部はほぼ平坦で、壁の立ち上がりは対称ではない。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　土器（図版番号76）の他土器片11片が出土している。磨滅が著しい。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。適切な位置で断面を採らなかったため、詳細は不明だが、2つの遺構が重複している可能性がある。

37号土坑（第15図）

＜位置・検出状況＞　0－13グリッド、Ⅳ層で検出した。北側は調査区外に続いている。

＜形態・規模＞　長楕円形で、開口部は1.16×0.40 m、底部0.98×0.22 m、主軸方向N 4°E、深さは最大20 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　石鏃1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、後～晩期の遺構と考えられる。形態から他の土坑とは構築目的が異なる可能性がある。30号土坑と検出面、形態がよく似ている。

38号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　1－13グリッド、検出時の記録はない。

＜形態・規模＞　円形で、開口部0.38×0.38m、底部0.32×0.31m、主軸方向はN 20°E、深さは4 cmである。底部は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層である。

＜遺物＞　土器片2片が出土している。磨滅が著しい。

＜小結＞　残存がわずかで詳細は不明だが、後～晩期の遺構と考える。

39号土坑（第10図・写真図版5）

2号住居に伴う遺構のため15ページ参照。

40号土坑（第15図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　1－13グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形で、開口部1.32×0.65m、底部0.94×0.48m、主軸方向ＮＳ、深さは最大32 cmである。

＜埋土＞　埋土の記録はない。

＜遺物＞　土器（図版番号82・83）の他土器片83片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

41号土坑（第15図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　2－13グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部0.55×0.50m、底部0.46×0.40m、主軸方向N 33°E、深さ8 cmである。底部は中央がややくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、黒褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号84～87）の他土器片148片（晩期主体、後期含む）、石鏃1点、石棒1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

42号土坑（第15図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　2－13グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　長楕円形で、開口部1.54×0.71m、底部1.44×0.62m、主軸方向N 13°W、深さは最大25 cmである。底部は中央がややくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　埋土の記録はない。

＜遺物＞　土器（図版番号88・89）の他土器片18片（後期主体）、石鏃1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

43号土坑（第15図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞　3－13グリッド、検出面の記録はない。南側は調査区外に続いている。

＜形態・規模＞　開口部は（1.00）×0.70m、底部（0.94）×0.60m、主軸方向N 33°E，深さは10 cmである。プランは不整な楕円形と推定される。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、後～晩期の遺構と考えられる。

44号土坑（第15図）

＜位置・検出状況＞　1－14グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　開口部（0.48）×0.43m、底部（0.40）×0.28m、主軸方向N 24°E、深さは最大22cmである。プランは楕円形と推定される。

＜埋土＞　埋土の記録はない。

＜遺物＞　土器（図版番号90～92）の他、土器片104片（後・晩期）、石鏃3点、石錐1点、磨石1点、石皿1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。2号住居状遺構に切られているが、出土遺物から大きな時期差はないと考えられる。

45号土坑（第15図）

＜位置・検出状況＞　2－15グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　不整な円形で、開口部0.77×0.62m、底部0.44×0.33m、主軸方向N 89°E、深さは最大23cmである。底部は中央部がくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　埋土の記録はない。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため、詳細は不明だが後・晩期の遺構と考えられる。

46号土坑（第15図・写真図版14）

＜位置・検出状態＞　2－17グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　ほぼ円形で、開口部1.36×1.26m、底部0.28×0.22m、主軸方向N 21°E、深さ最大24cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物が少量含まれる、暗褐色土の単層で埋め戻されている。しまっていない。

＜遺物＞　石鏃1点、磨石1点が出土している。

＜小結＞　土器が出土していないため詳細は不明だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。

47号土坑（第15図・写真図版14）

＜位置・検出状況＞　2－17グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　円形で、開口部0.94×0.92m、底部0.66×0.62m、主軸方向はN 51°W、深さは13cmである。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒が少量含まれる、褐色土で埋め戻され、2層に分かれる。しまっていない。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。

48号土坑（写真図版14）

＜位置・検出状況＞　2－14グリッド、1－14～2－14東西ベルト中で検出された。

＜形態・規模＞　調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む黒褐色土単層（＝1－14～2－14東西ベルト8層）で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号93・94）の他土器片122片（晩期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

49号土坑

＜位置・検出状況＞　2－14グリッド、1－14東西ベルト中で検出された。

＜形態・規模＞　調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。

＜埋土＞　地山ブロックが小量含まれる、にぶい黄褐色土の単層（＝1－14～2－14東西ベルト4層）で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞　（図版番号95～98）の他、土器片49片（晩期主体、後期含む）、凹石1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

50号土坑

＜位置・検出状況＞　2－14グリッド、1－14～2－14東西ベルト中で検出された。

＜形態・規模＞　調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、黒褐色土の単層（＝1－14～2－14東西ベルト7層）で埋め戻されている。ややしまる。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。

4　配石遺構

1号配石遺構（第16図・写真図版14）

＜位置・検出状況＞　2－1グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　40×20×7 cm前後の凝灰岩質の礫を、斜面に対して約50°の角度で埋めている。礫は下面がくぼみ、石皿によく似ているが使用痕はない。

＜埋土＞　礫はⅣ層を掘り込み、埋められている。埋土はⅣ層とほぼ同じだがやわらかい。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　配石遺構とするには不十分な検出状況だが、掘り込みが確認され、周辺の礫が失われた可能性を考え遺構とした。礫は構築時より傾いた可能性がある。出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

2号配石遺構（第16図・写真図版14）

＜位置・検出状況＞　1－1グリッド、ⅢB中層相当層で検出した。

＜形態・規模＞　土坑を伴い、礫は壁に沿って7個埋められている。2個は安山岩で他は粘板岩である。土坑は楕円形で開口部1.16×0.58m、底部1.06×0.44m、主軸方向はN 22°E、深さは14cmである。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を小量含む、褐色土の単層で埋められている。

＜出土遺物＞　土器（図版番号107・108）の他土器片19片（後期主体）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

3号配石遺構（第16図・写真図版15）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッド、ⅢB中層で検出した。

＜形態・規模＞　30×50cm前後の粘板岩が、3個階段状に配列されている。

＜埋土＞　掘り込みは確認されず、地山ブロック・炭化物・焼土粒を小量含む暗褐色土（＝2－1～2－2南北ベルト3層）上に置かれている。

＜遺物＞　周辺から土器（図版番号109～111）の他土器片46片（後期主体）、石鏃1点、獣骨片、焼粘土塊少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

4号配石遺構（第16図・写真図版15）

＜位置・検出状況＞　1－3グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　50×40×10cm前後の粘板岩質の礫を、斜面に対し約70°の角度で埋めている。

＜埋土＞　礫はⅣ層を掘り込み埋められている。埋土は地山ブロックを少量含むにぶい黄褐色土と、Ⅳ層とほぼ同じだがやわらかい土である。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　配石遺構とするには不十分な検出状況だが、掘り込みが確認され、周辺の礫が失われた可能性を考え遺構とした。礫は構築時より傾いた可能性がある。出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

5号配石遺構（第16図・写真図版15）

＜位置・検出状況＞　1－4グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　土坑を伴い、礫は壁際と埋土中に不規則に埋められている。礫のうち1個は掘り込みが深く、隣接して石皿（図版番号387）が出土している。土坑は楕円形で、開口部1.40×0.80m、底部1.32×0.64m、主軸方向はN 37°E、深さは最大40cmである。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土単層で埋められている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

6号配石遺構（第16図・写真図版16）

＜位置・検出状況＞　1－7グリッド、Ⅳ層で検出。

＜形態･規模＞　頁岩質、粘板岩質の礫が不規則に配置され、礫の1個は斜面に対して40°の角度で埋められている。不整形な土坑を伴い、開口部2.12×0.85m、底部1.32×0.64m、主軸方向N 18°E、深さ最大40

cmである。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土で4層に分かれる。

＜遺物＞　土器（図版番号112～117）の他土器片259片、石鏃2点、削掻器1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。礫は構築時より倒れた可能性がある。

7号配石遺構（第16図・写真図版16）

＜位置・検出状況＞　2－8グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　粘板岩質の礫が、斜面に対して30°の角度で埋められている。土坑を伴い、開口部1.66×0.88m、底部1.60×0.76m、主軸方向N 54°E、深さは最大36cmある。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土で、2層に分かれる。

＜遺物＞　土器（図版番号118･119）の他土器片97片、円盤状土製品1点、石鏃4点、石錐1点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。土坑である可能性も高い。

8号配石遺構（第16図・写真図版16）

＜位置・検出状況＞　1－9グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　60×45cm前後の粘板岩が、4個階段状に配置されている。

＜埋土＞　地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土（＝1－9東西ベルト4層相当層）上に置かれている。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　1－9東西ベルト4・5層出土土器（図版番号1548～1551）が後期前～中葉であることから、近い時期の遺構と推定される。

5　焼土遺構

1号焼土遺構（第17図・写真図版16）

＜位置・検出状況＞　1－2グリッド、10YR4/2灰黄褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模1.52×0.86m、焼土厚12cmである。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号120～122）の他土器片42片（後期主体）、石鏃3点、獣骨片少量が出土している。土器は焼成を受けていない。

＜小結＞　後～晩期の遺構と考えられる。周辺から礫が検出しているが、本遺構との関連は不明である。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

2号焼土遺構（第17図・写真図版17）

＜位置・検出状況＞　1－4グリッド、10YR3/2黒褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模0.72×0.42m、焼土厚の記録はない。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　検出面から3号・4号焼土遺構とほぼ同時期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

3号焼土遺構（第17図・写真図版17）

＜位置・検出状況＞　1－-4グリッド、10YR3/2黒褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模0.88×0.42m、焼土厚の記録はない。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号123）、石鏃1点、獣骨片が少量出土している。

＜小結＞　検出面から、2号・4号焼土遺構とほぼ同時期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

4号焼土遺構（第17図・写真図版17）

＜位置・検出状況＞　1－4グリッド、10YR3/2黒褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模1.72×0.54m、焼土厚の記録はない。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10YR3/2黒褐色土、炭化物が混入している。上面に45×10×1 cmほどの炭化物が残っている。

＜遺物＞　土器（図版番号124～126）の他土器片13片、石鏃2点、石錐5点、石匙1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

5号焼土遺構（第17図・写真図版17）

＜位置・検出状況＞　1－5グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　平面は長楕円形で、規模0.83×0.25m、焼土厚11 cmである。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号127）の他土器片13片、石鏃1点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

6号焼土遺構（第17図・写真図版17）

＜位置・検出状況＞　2－5グリッド、10YR4/2灰黄褐色土（＝1－5東西ベルト2層）上で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模1.55×1.20m、焼土厚14 cmである。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10YR3.5/2黒褐色土40％、炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号128～133）の他土器片194片（晩期主体）、円盤状土製品（図版番号3、4）の他2点、耳飾り（図版番号117）、石鏃（図版番号20，91）の他18点、石錐3点、石匙1点、石棒（図版番号73）、岩版（図版番号35）、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

7号焼土遺構（第18図・写真図版18）

＜位置・検出状況＞　2－6グリッド、8号焼土遺構より5～10 cm高いレベルで検出された。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模1.60×0.44 m、焼土厚の記録はない。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10 YR3/2黒褐色土、炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号134・135）の他土器片14片（後期主体）、獣骨片が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

8号焼土遺構（第17図・写真図版18）

＜位置・検出状況＞　2－6グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模2.42×1.92 m、焼土厚14 cmである。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10 YR3/2黒褐色土30％、炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号136～141）の他土器片109片、石鏃1点、石錐1点、コイ科の魚類を含む獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　141は晩期前葉の土器だが、出土遺物と検出面から後期前葉以降の遺構と考えられる。7号焼土遺構とごく近い時期に形成され、焼土の状態から異地性のものと考えられる。

9号焼土遺構（第18図・写真図版18）

＜位置・検出状況＞　1－7グリッドで検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模0.92×0.50 m、焼土厚6 cmである。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10 YR4/2灰黄褐色土、炭化物、地山ブロックが混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号142）の他土器片6片（後期主体）、獣骨片が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

10号焼土遺構（第18図・写真図版18）

＜位置・検出状況＞　1－8グリッド、ⅢB上層で検出した。11号焼土遺構を切って構築されている。

＜形態・規模＞　平面はほぼ円形で、規模0.65×0.62 m、焼土厚8 cmである。

＜焼土＞　5 YR4/8赤褐色粘土で固くしまる。上部に10 YR4/2灰黄褐色土（＝ⅢB上層）が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号143～145）の他土器片54片（後期主体）、石鏃2点、鳥類を含む獣骨片が少量出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

11号焼土遺構（第18図・写真図版18）

＜位置・検出状況＞　1－8グリッド、ⅢB上層で検出した。10号焼土遺構に切られている。

＜形態・規模＞　平面はほぼ楕円形で、規模0.52×（0.32）、焼土厚3 cmである。

＜焼土＞　5 YR4/8赤褐色土粘土、混入物はなく、固くしまる。

＜遺物＞　土器（図版番号146）の他土器片4片（後期主体）、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

12 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 18）

＜位置・検出状況＞　1－8 グリッド、ⅢB 上層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模は 0.56×0.26 m、焼土厚 3 cm である。

＜焼土＞　5 YR4/8 赤褐色粘土、混入物はなく、固くしまる。

＜遺物＞　（図版番号 147）の他土器片 4 片（後期主体）、石鏃 1 点、獣骨片が少量出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

13 号焼土遺構（第 18 図）

＜位置・検出状況＞　1－9 グリッド、4 層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模は 0.54×0.26 m、焼土厚 10 cm である。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10 YR4/2 灰黄褐色土、炭化物が混入している。

＜遺物＞　石鏃 1 点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

14 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 18）

＜位置・検出状況＞　1－9 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模 0.38×0.33 m、焼土厚は 4 cm である。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。10 YR4/2 灰黄褐色土、炭化物が混入している。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

15 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出状況＞　2－9 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で規模 0.46×0.31 m、焼土厚 2 cm である。

＜焼土＞　色調の記録はない。固くしまる。10 YR4/2 灰黄褐色土、炭化物が混入している。

＜遺物＞　出土遺物はない。

＜小結＞　後～晩期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

16 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出状況＞　2－9 グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模は 1.01×0.41 m、焼土厚 3 cm である。

＜焼土＞　色調の記録はない。混入物はなく、固くしまっている。

＜遺物＞　土器（図版番号 148・149）の他土器片 25 片（後期主体）、石鏃 2 点、獣骨片少量が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考える。

17 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出状況＞　2 － 9 グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模 0.65×0.28 m、焼土厚 5 cm である。

＜焼土＞　色調の記録はない。固くしまる。上部に炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器（図版番号 150）の他土器片 19 片（後期主体）、石鏃 1 点、焼粘土塊が少量出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

18 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出状況＞　2 － 9 グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞　平面はほぼ円形で、規模 0.36×（0.31）m、焼土厚 8 cm である。

＜焼土＞　色調の記録はない。固くしまる。上部に炭化物が集中している。

＜遺物＞　土器（図版番号 151）の他土器片 8 片（後期主体）、獣骨片が少量出土している。

＜小結＞　出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

19 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出遺構＞　2 － 9 グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模 0.29×0.17 m、焼土厚 2 cm である。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器片 9 片（後・晩期）、石鏃 1 点が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

20 号焼土遺構（第 18 図・写真図版 19）

＜位置・検出状況＞　2 － 9 グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模 0.42×0.31 m、焼土厚 3 cm である。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞　土器片（図版番号 152）の他 5 片（後・晩期）が出土している。

＜小結＞　出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

21 号焼土遺構（第 19 図・写真図版 20）

＜位置・検出状況＞　2 －11 グリッド、灰黄褐色土層（地山ブロック 7 %散在）上で検出した。この層には晩期中葉の土器が含まれ、さらに下の層には後期の土器が含まれる。（＝ⅢB上層相当か？）また、この上の層にも晩期の層が厚く堆積している。

＜形態・規模＞　平面は不整形で、規模は 5.78×4.99 m、焼土厚 20 cm である。

＜焼土＞　色調、固さの記録はない。焼土に 10 YR3/2 黒褐色土が 60 %程混入している。（＝ 2 －11 東西ベルト 5 層）

＜遺物＞　土器片 131 片（晩期主体、後期少量混じる）、土偶（図版番号 326）、石鏃 4 点、石匙 1 点、磨石

4点、焼粘土塊が出土している。

＜小結＞　出土遺物から晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

6　埋設土器

1号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞　1－5グリッド、Ⅳ層で検出した。

＜形態・規模＞　Ⅳ層中に、焼土粒を60％ほど含む0.40×0.30mのごく浅い土坑状のものがあり、小型深鉢の胴部下半から底部が、斜面に対し水平に埋められている。(図版番号99)土器に火を受けた形跡はない。

＜小結＞　上部は調査以前、あるいは途中で失われたと考えられる。また遺構と認定すべきか疑問は残る。出土遺物から後期の遺構と考えられる。

2号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞　1－6グリッド、10YR4/2灰黄褐色土層（＝ⅢB層）で検出した。

＜形態・規模＞　上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の口縁から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。(図版番号100)

＜小結＞　出土遺物から晩期の遺構と考えられる。

3号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞　1－6グリッド、10YR4/2灰黄褐色土層（＝ⅢB層）で検出した。

＜形態・規模＞　上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の胴部下半から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。(図版番号101)

＜小結＞　上部は調査以前、あるいは途中で失われたと考えられる。出土遺物から晩期の遺構と考えられる。

4号埋設土器（第19図・写真図版7）

＜位置・検出状況＞　1－8グリッド、晩期前葉の遺物を含む層で検出した。

＜形態・規模＞　上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の口縁から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。(図版番号102)

＜小結＞　出土遺物から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

5号埋設土器（第19図・写真図版7）

＜位置・検出状況＞　2－14グリッド、東西ベルト南東面8層中から検出された。

＜形態・規模＞　2－13ベルト南東面8層中に焼土粒40％ほど含む直径0.42cmの土坑状のものがあり、鉢形土器の口縁から胴部上半が、斜面に対し水平に埋められている。

＜小結＞　出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

7　石斧埋納状況

2－11グリッド、南北ベルト中ⅢAb層最下部に、ほぼ完形の磨製石斧が3本、斜面に対し水平な状態で

埋められている。(図版番号310～312・写真図版22) 軸線は北東一南西で平面・断面双方から掘り方は確認できなかった。時期は後期中葉頃と推定される。皮袋などに入れられた状態で埋納された可能性が考えられる。

8　土偶埋納状況

2－8グリッド、III Ac層に、右肩上部と右脚付け根の突起のみ欠損した中空土偶が、斜面に対しほぼ水平に、頭を東に向け埋められている。(図版番号270・写真図版149) 首と胴体、左腕と胴体、左脚と胴体羽1～2 mm離れていたが土圧による破損と考えられる。頭部、胴体の一部に朱が残っている。この層には大洞C2式（古段階）の土器片が多く含まれているが、土偶の周辺は比較的土器片が少なかった。

3－8グリッド、III Ac層より一段上の層（10 YR4/2 灰黄褐色土層）からも中空土偶が出土し、頭部、肩から胸にかけて朱が残っている。左肩の破損部にアスファルトが付着している。(図版番号271・写真図版150)

9　柱穴状小ピット

調査区全体から138基検出された。大部分は0～1グリッドの平坦部から検出され、居住区と捨て場の境目と考えられる。(図版番号第21～24図) 柱痕跡の残っているものは少なく、埋土の主体は10 YR4/2 灰黄褐色土・単層で、第IV層で検出されたものが大部分である。直径が50 cmを超えるものは2・8・57・140号柱穴のみで、比較的小規模なものが多く、建物を構成することはできなかったため構築の目的は不明である。

1－13グリッド周辺の119～130号柱穴も、第IV層で検出されたが、ほぼ円形の配列から小規模な住居状の建物であった可能性が考えられる。出土遺物、柱穴痕の残っているものについては第21～24図掲載の一覧表を参照されたい。紙面の都合上、埋土が単層のものについては数値のみ掲載し、断面図は割愛した。

10　捨て場

基本層序でも述べたが調査区の大部分は、縄文時代後期前葉から晩期後葉にかけての「捨て場」であり、北東側の平担部が居住区であったと考えられる。調査区が、斜面中腹のごく限られた範囲だったため、推測の域を出ないが、平担部をはさみ裏側の斜面（現況は畑）から、また北西側の開田工事の際に大量の土器・石器が出土したことから、「捨て場」は周辺の丘陵一帯に広がっていたと考えられる。

「捨て場」として利用された時期は前述した通りだが、わずかに後期初頭、晩期末葉と見られる土器、土製品が出土している。出土遺物の量から考えると、後期前葉から中葉にかけて、相ノ沢は集落の中心であったが、後葉に入ると集落の移動に伴いここでの生活は途絶え、再び晩期前葉にこの地での生活が始まったと推定される。大洞A′式の頃を最後に人々はこの地を去り、中世に至るまで生活の痕跡は残っていない。「捨て場」は時期によって形成個所が移動しており、後期前葉には調査区中央より北西側に中心があり、次第に中央に移動し、晩期前葉から中葉にかけてはほぼ調査区中央が中心となっている。後葉から末葉の時期には中央より南西側に中心が移動している。「捨て場」の土は斜面上部では20～30 cm、下部では最も厚い所で1 m程堆積している。廃棄の状態は、土器・石器・土製品・石製品が未製品・完成品・破損品と入り交じって出土している。グリッドにより出土量の変化はあるが、廃棄の様相で大きな変化はない。(第32図　遺物出土状況参照)

11　土塁

＜位置＞　1－4～0－5グリッド

＜検出状況＞　調査開始時、ゆるやかな逆U字形の起伏が観察され、(調査時の)表土を除いた後、土塁と確認された。土塁は作った当時の表土の上面に、更に表土と地山の土を盛って構築されている。その下部には、ⅢB上層・ⅢB下層に相当すると考えられる混合土層がある。構築当時の表土下部とⅢB層下層には、後期の土器片が比較的多く含まれている。

＜形態・規模＞　高さ1.22m（現代の表土を除く)、長さ3.4m。

＜小結＞　調査部分がわずかなため、全体の規模は不明である。盛り土の高さは、中世の館に付随すると仮定した場合、非常に規模が小さく、構築目的は不明である。

12　溝

＜位置＞　0－4～1－5グリッド

＜検出状況＞　調査開始時、前述の起伏に続くゆるやかな窪みが観察され、土塁の精査進行に伴って溝であることが確認された。溝はⅢB上層からⅣ層を掘り込んで、構築されている。埋土は土塁斜面からの崩落土（＝ⅢB下層か？)、ⅢB上層、構築当時の表土の混合土層と考えられる。

＜形態・規模＞　深さ0.71m、長さ3.4m、底部は平坦で、幅0.57m。

＜小結＞　調査部分がわずかなため、全体の規模は不明である。溝の深さは、中世の館に付随すると仮定した場合、非常に規模が小さく、構築目的は不明である。

13　道路状遺構

＜位置＞　2－13グリッド（第7図遺構位置図参照)

＜検出状況＞　調査開始時、斜面が人為的に切り出され段差を形成している。(写真図版2・切り出された段)

＜形態・規模＞　長さ約10m、幅約5mで道路状を呈する。

＜小結＞　2－13グリッド、2－13東西ベルトの1～5層が、中世末頃に盛られたものと考えられるが、その時期にここで切り出された土である可能性がある。構築目的は不明だが形態から命名した。

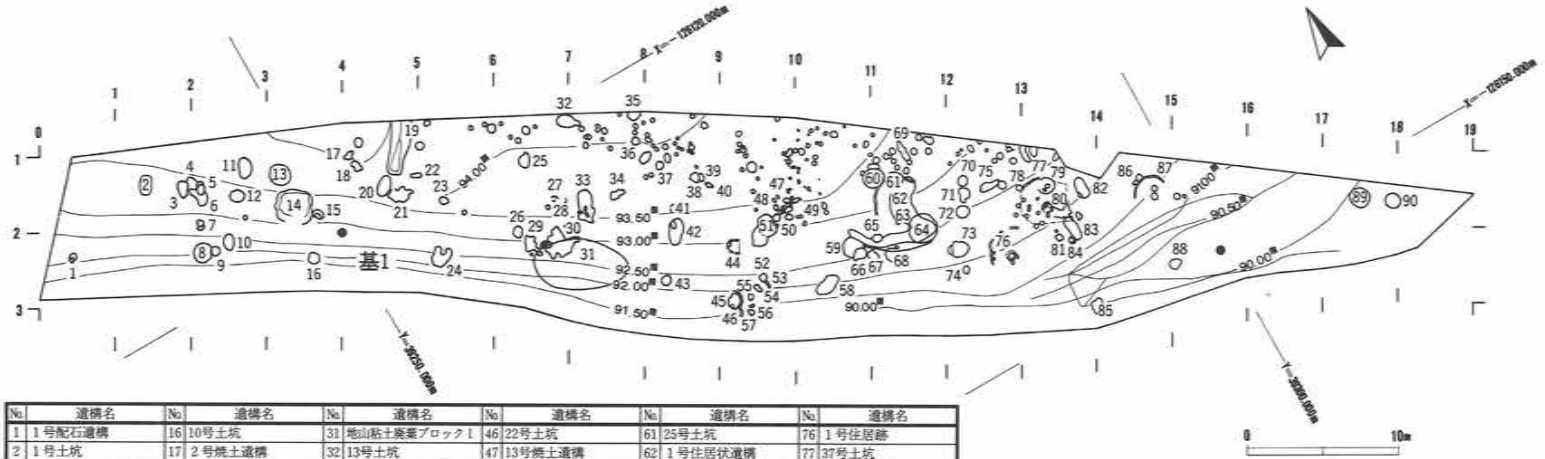
14　炭窯

＜位置＞　1－3グリッド

＜検出状況＞　調査開始時、わずかな窪みが観察され精査進行に伴って、炭窯であることが確認された。

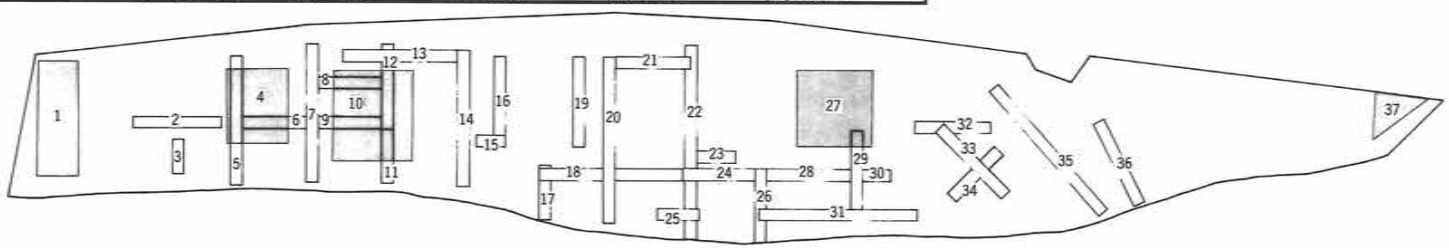
＜形態・規模＞　2.5×（2.2）m、深さ0.41mの隅丸方形。

＜小結＞　伏焼という種類の炭窯で、家庭用の炭を焼くことは少なく、鍛冶用の炭を焼くことが多い。中～下部から検出された炭化材は栗が大部分で、火力の調節が必要な鍛冶に適した材が選ばれている。炭化材は横一方向に置かれている。似た方法に穴焼があるが、材を雑多な方向に特徴がある。時代は明治以前と考えられるが、伏焼自体は昭和初期まで続けられた。



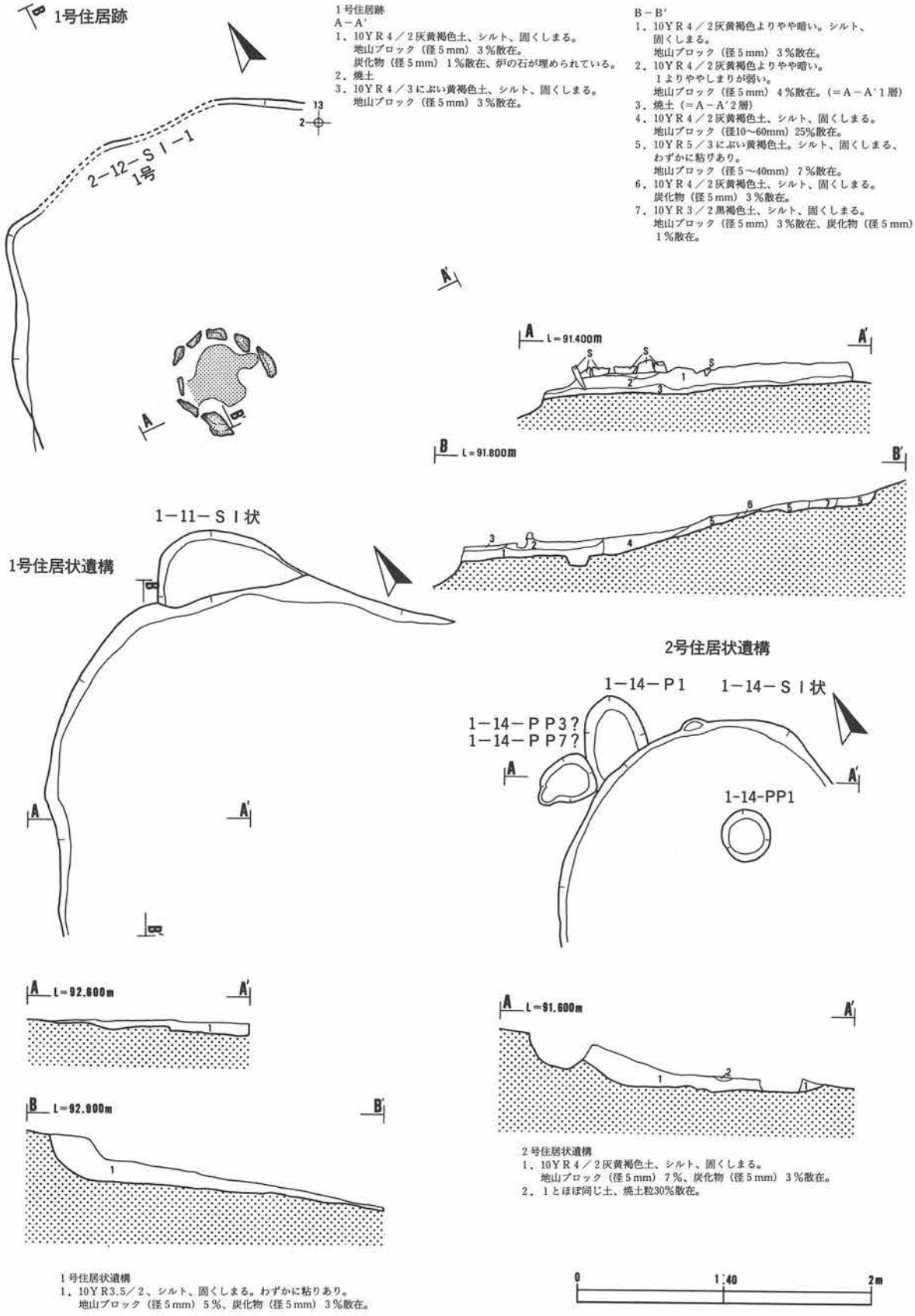
第７図　遺構配置図

No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名
1	1号配石遺構	16	10号土坑	31	地山粘土廃棄ブロック1	46	22号土坑	61	25号土坑	76	1号住居跡
2	1号土坑	17	2号焼土遺構	32	13号土坑	47	13号焼土遺構	62	1号住居状遺構	77	37号土坑
3	2号配石遺構	18	3号焼土遺構	33	6号配石遺構	48	14号焼土遺構	63	21号焼土遺構	78	38号土坑
4	2号土坑	19	溝1	34	9号焼土遺構	49	8号配石遺構	64	地山粘土ハイキブロック3	79	39号土坑
5	3号土坑	20	5号配石遺構	35	14号土坑	50	20号土坑	65	26号土坑	80	2号住居跡
6	1号焼土遺構	21	4号焼土遺構	36	15号土坑	51	19号土坑	66	27号土坑	81	41号土坑
7	3号配石遺構	22	5号焼土遺構	37	16号土坑	52	15号焼土遺構	67	28号土坑	82	40号土坑
8	6号土坑	23	1号埋設土器	38	10号焼土遺構	53	16号焼土遺構	68	29号土坑	83	42号土坑
9	7号土坑	24	6号焼土遺構	39	11号焼土遺構	54	17号焼土遺構	69	30号土坑	84	5号埋設土器
10	8号土坑	25	11号土坑	40	12号焼土遺構	55	18号焼土遺構	70	31号土坑	85	43号土坑
11	4号土坑	26	12号土坑	41	4号埋設土器	56	19号焼土遺構	71	32号土坑	86	44号土坑
12	5号土坑	27	2号埋設土器	42	7号配石遺構	57	20号焼土遺構	72	33号土坑	87	2号住居状遺構
13	9号土坑	28	3号埋設土器	43	17号土坑	58	23号土坑	73	34号土坑	88	45号土坑
14	炭窯1	29	7号焼土遺構	44	18号土坑	59	地山粘土廃棄ブロック2	74	35号土坑	89	46号土坑
15	4号配石遺構	30	8号焼土遺構	45	21号土坑	60	24号土坑	75	36号土坑	90	47号土坑



第８図　土層観察ベルト位置図

No.	ベルト名	No.	ベルト名	No.	ベルト名	No.	ベルト名
1	トレンチNo. 1	11	2－4東西ベルトB	21	1－8南北ベルト	31	3－10～3－11南北ベルト
2	2－1～2－2南北ベルト	12	1－5東西ベルト（実測図なし）	22	1－9東西ベルト	32	1－12南北ベルト
3	2－2東西ベルト	13	1－4南北ベルト95	23	2－9南北ベルト95	33	2－12東西ベルト
4	トレンチNo. 2	14	1－6東西ベルトA	24	2－9南北ベルト96	34	2－12南北ベルト
5	1－3東西ベルト	15	2－6南北ベルト	25	3－8南北ベルト	35	2－13東西ベルト
6	1－3南北ベルト	16	1－6東西ベルトB（実測図なし）	26	2－10南北ベルト	36	1－14～2－14東西ベルト
7	1－4東西ベルト	17	2－7東西ベルト	27	トレンチNo. 4	37	トレンチNo. 5
8	1－4南北ベルト96	18	2－7～2－8南北ベルト	28	2－10南北ベルト		
9	2－4南北ベルト	19	1－7東西ベルト（実測図なし）	29	2－11東西ベルト		
10	トレンチNo. 3	20	1－8東西ベルト	30	2－11南北ベルト		



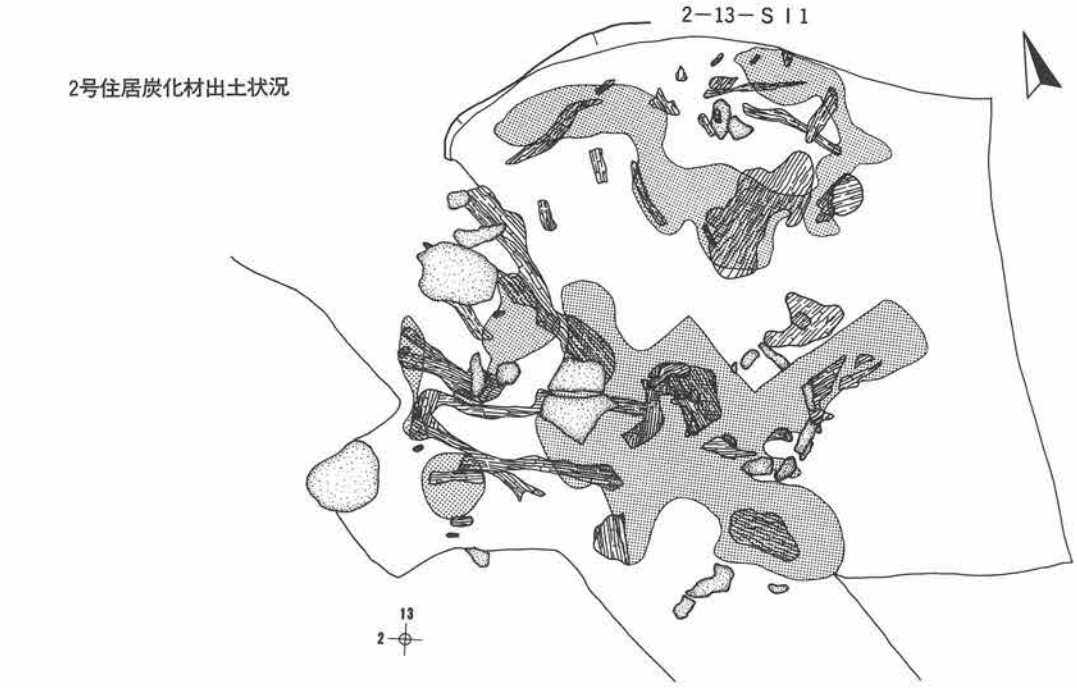
1号住居跡
A－A′
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在。
炭化物（径5mm）1%散在、炉の石が埋められている。
2．焼土
3．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在。

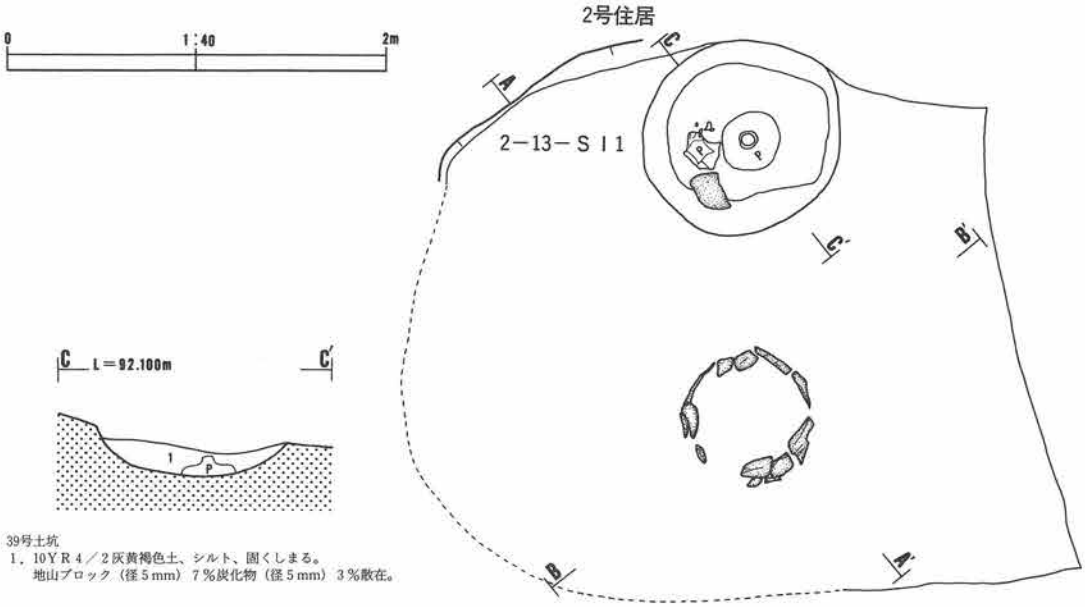
B－B′
1．10YR4／2灰黄褐色よりやや暗い。シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在。
2．10YR4／2灰黄褐色よりやや暗い。
1よりややしまりが弱い。
地山ブロック（径5mm）4%散在。（＝A－A′1層）
3．焼土（＝A－A′2層）
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径10～60mm）25%散在。
5．10YR5／3にぶい黄褐色土。シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。
地山ブロック（径5～40mm）7%散在。
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5mm）3%散在。
7．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在、炭化物（径5mm）1%散在。

1号住居状遺構
1．10YR3.5／2、シルト、固くしまる。わずかに粘りあり。
地山ブロック（径5mm）5%、炭化物（径5mm）3%散在。

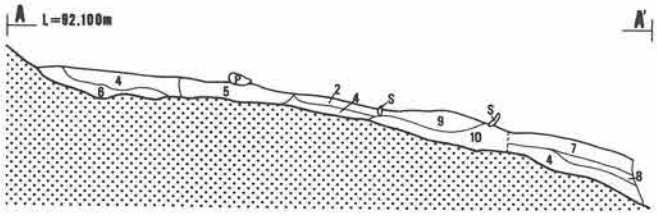
2号住居状遺構
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、炭化物（径5mm）3%散在。
2．1とほぼ同じ土、焼土粒30%散在。

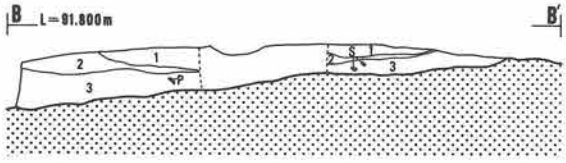
第9図　1号住居跡、1・2号住居状遺構





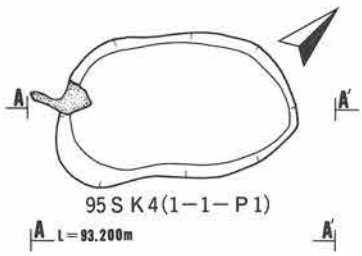
39号土坑
1．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5mm）7%炭化物（径5mm）3%散在。



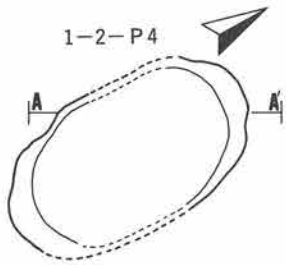


2号住居跡
1．10YR 3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
　焼土粒（径5mm）15%散在、炭化物（径5mm）3%散在。
2．10YR 3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
　焼土粒（径5mm）3%散在、炭化材30%散在。
3．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5mm）3%散在、炭化物（径5mm）2%散在。
4．10YR 5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5～20mm）7%散在、炭化物（5mm）3%散在。
5．10YR 5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5mm）10%散在、炭化物（5mm）3%散在。
6．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　焼土粒（径5mm）10%散在。
7．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5～20mm）7～10%散在、炭化物（径5mm）3%散在。
8．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5～40mm）15%散在、炭化物（径5mm）1%散在。
9．10YR 3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
　焼土粒（径5mm）25%散在、炭化物片含む。
10．10YR 4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
　地山ブロック（径5mm）7%、炭化物片（径5mm）3%散在。
　下部に径20～40mmの地山ブロックが4～5個混じる。

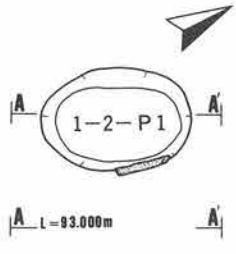
第10図　2号住居跡、39号土坑



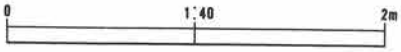
1号土坑（1－1－P1、SK4）
1．10YR3／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）20%散在。

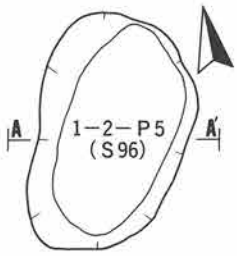


2号土坑（1－2－P4）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径2mm）3%、炭化物（径1mm）5%、
焼土粒（径2mm）2%散在。

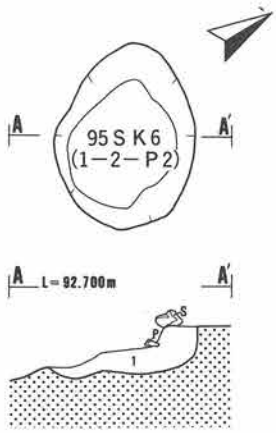


3号土坑（1－2－P1、SK5）
1．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径3～7mm）20%、
炭化物（径5mm）3%、焼土粒わずかに散在。

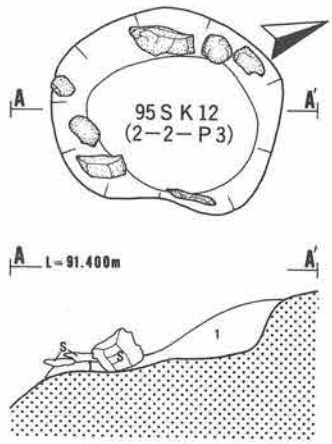




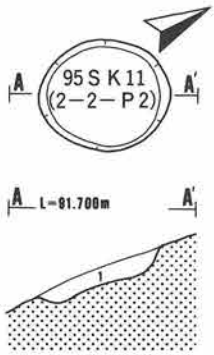
4号土坑（1－2－P5）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、
炭化物（径2～5mm（10%）、
焼土粒（径2mm）2%散在。



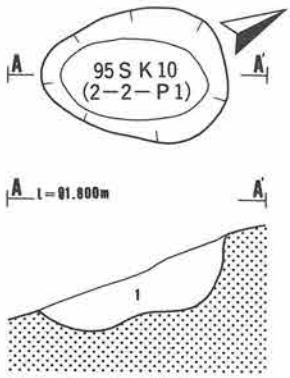
5号土坑（1－2－P2、SK6）
1．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径3～7mm）15%、
炭化物（径3～5mm）5%散在



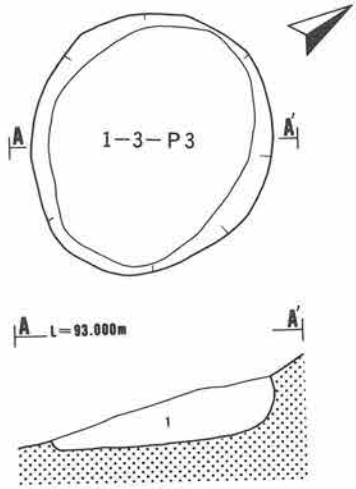
6号土坑（2－2－P3、SK12）
1．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～30mm）15%、炭化物少量散在。



7号土坑（2－2－P2、SK11）
1．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～7mm）5%、
炭化物（径5mm）少量、
埋土下部に焼土粒少量散在。

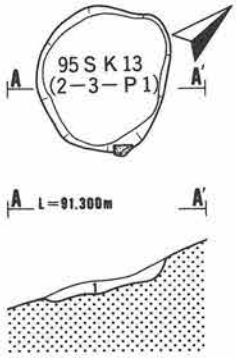


8号土坑（2－2－P1、SK10）
1．10YR4／3褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～10mm）15%、
炭化物（径5mm）散在。

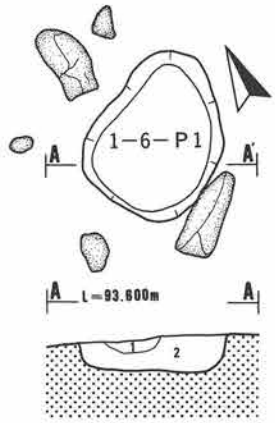


9号土坑（1－3－P3、SK7）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%、
炭化物（径5mm）1%散在。

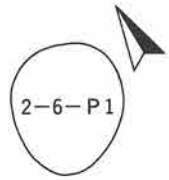
第11図　1号～9号土坑



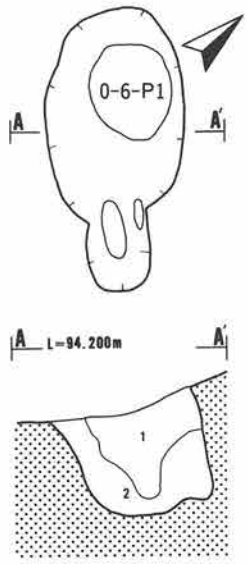
10号土坑（2－3－P1、SK13）
1．10YR3／4暗褐色土、シルト、固くしまる。
わずかに粘りあり。地山ブロック（径5～10mm）7%、
炭化物（径5～10mm）少量散在。



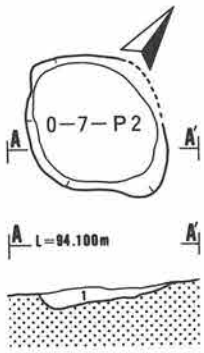
11号土坑（1－6－P1）
1．10YR3.5／2褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%、炭化物（径5mm）
1%散在。
2．1とほぼ同じ土主体。
地山ブロック（径5～40mm）30～40%、
炭化物（径5mm）散在。



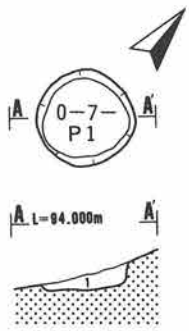
12号土坑
埋土の記録なし



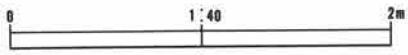
13号土坑（0－6－P1）
1．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、
あまりしまっていない。
地山ブロック（径5～15mm）5%散在。
2．10YR6／4にぶい黄橙色、シルト、1より
ややしまっている、わずかに粘りあり。
地山ブロック（径15～60mm）60～70%散在。

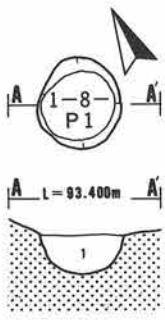


14号土坑（0－7－P2）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。
地山ブロック（径5mm）7%、炭化物（径3mm）3%、
焼土粒（径1mm）2%散在。

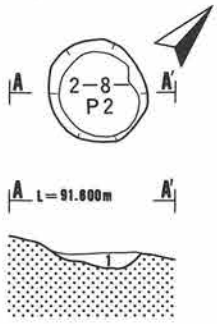


15号土坑（0－7－P1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。
地山ブロック（径1mm）3%、炭化物（1mm）
5%、焼土粒（3mm）2%散在。

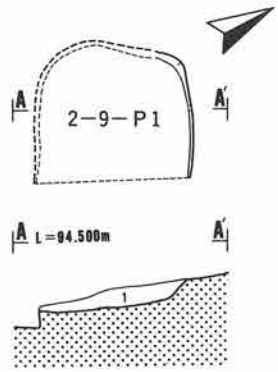




16号土坑（1－8－P1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。
地山ブロック（径2～10mm）5%、
炭化物（径2～10mm）、
焼土粒（3mm）2%散在。

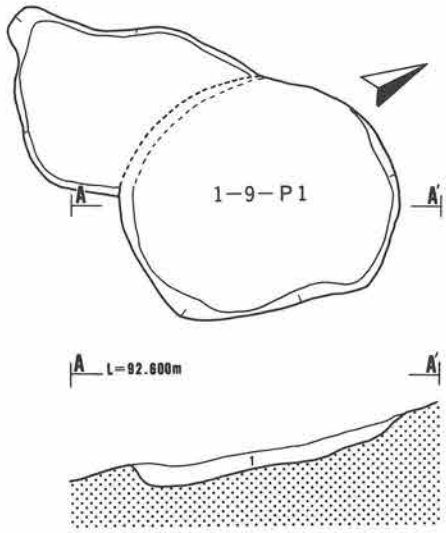


17号土坑（2－8－P2）
1．10YR5／2灰黄褐色土、シルト。
地山ブロック（径3～5mm）3%、
炭化物（径2mm）3%、焼土粒（径3mm）1%散在。

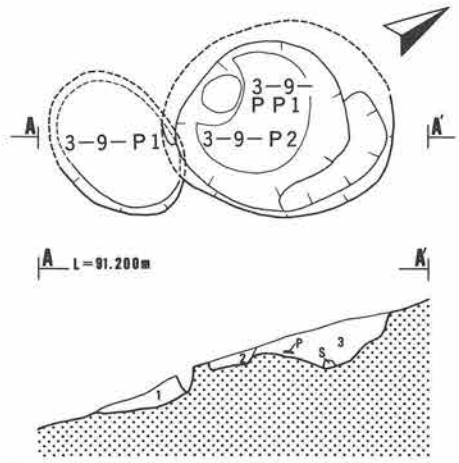


18号土坑（2－9－P1）
1．10YR6／3.5にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～10mm）7%、
炭化物（径5mm）4%散在。

第12図　10号～18号土坑

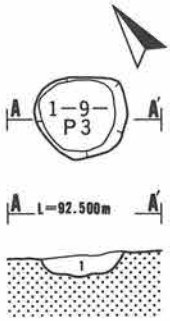


19号土坑（1－9－P1）
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）、炭化物（径5～10mm）10%散在。

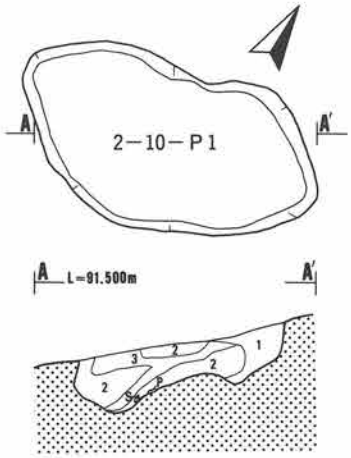


22号土坑（3－9－P1）
1．10YR3.5／2褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在。

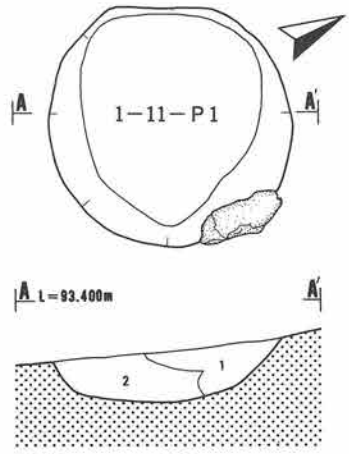
21号土坑（3－9－P2）
1．10YR3.5／2褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%、炭化物
（径5～10mm）4%散在。



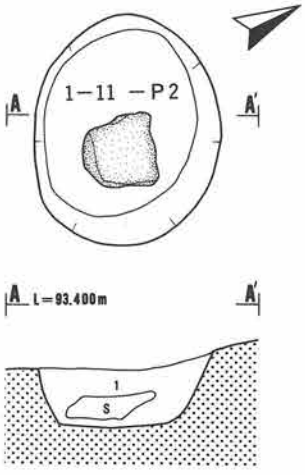
20号土坑（1－9－P3）
1．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）5%、炭化物（径5mm）
3%散在。



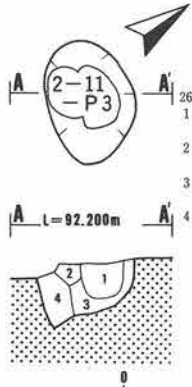
23号土坑（2－10－P1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、炭化物（径5mm）3%散在。
2．10YR6／4にぶい黄橙色よりやや暗い。
地山ブロック（径5～40mm）30%散在。
3．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～30mm）20%散在。



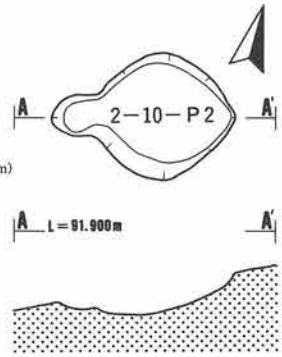
24号土坑（1－11－P1、SK8）
1．10YR4／4褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック（径6～15mm）散在。
2．10YR3／3暗褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック少量散在、底部には炭化物、焼土粒散在。



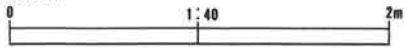
25号土坑（1－11－P2、SK9）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック（径5～10mm）、焼土粒、炭化物散在。



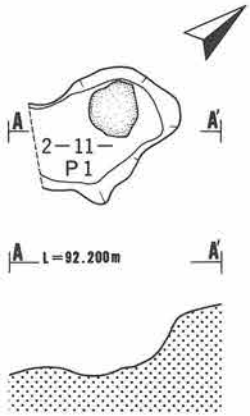
26号土坑（2－11－P3）
1．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～6mm）40%散在。
2．10YR5／4にぶい灰黄褐色土、炭化物（径5mm）
1%散在。
3．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7～10%散在。
4．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（5mm）3%、地山ブロック（5mm）
7%散在。（＝2－11東西ベルト6層）



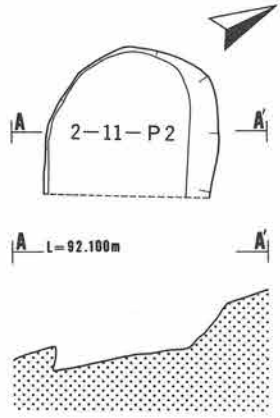
27号土坑（2－10－P2）
埋土の記録なし



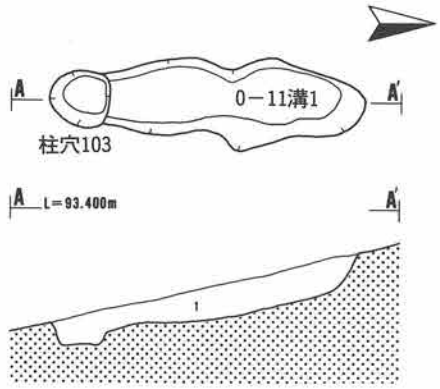
第13図　19号～27号土坑



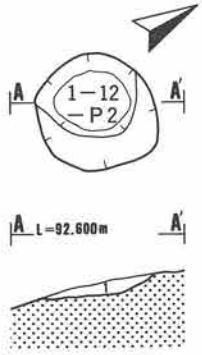
28号土坑（2－11－P1）
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%散在、
炭化物（径5mm）1%、焼土粒40%散在。



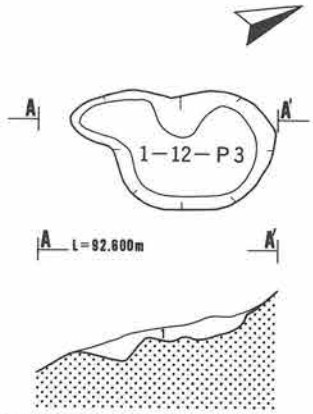
29号土坑（2－11－P2）
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%散在、
炭化物（径5mm）1%、焼土粒40%散在。



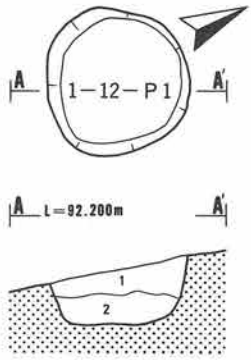
30号土坑（0－11－溝1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、しまりなり。



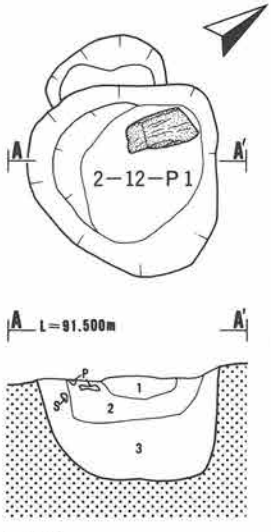
31号土坑（1－12－P2）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、
炭化物（1mm）3%、焼土粒（径2mm）2%散在。



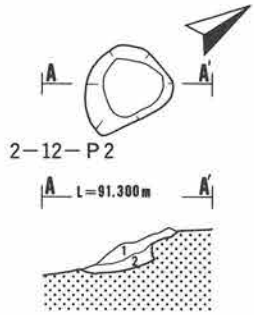
32号土坑（1－12－P3）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、
炭化物（径1mm）3%、焼土粒（径2mm）2%散在。



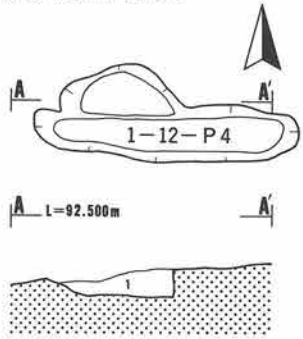
33号土坑（1－12－P1）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、
炭化物（径1mm）3%、焼土粒（径2mm）2%散在。
2．1とほぼ同じ土、地山ブロック（径20mm）10～20%、
炭化物（径1mm）3%散在。



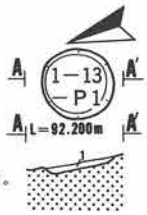
34号土坑（2－12－P1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%、炭化物（径5mm）1%散在
2．1とほぼ同じ土、地山ブロック（径5～15mm）13%散在
3．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。
地山ブロック（径10～60mm）散在。



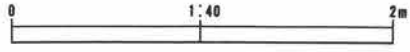
35号土坑（2－12－P2）
1．10YR3／1.5黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）4%、炭化物（径5mm）1%散在。
2．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、炭化物（径5mm）1%散在。



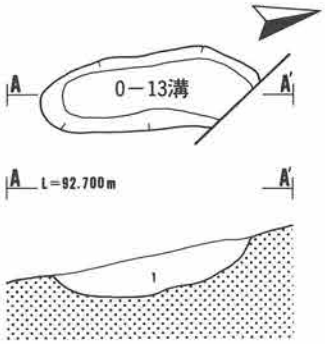
36号土坑（1－12－P4）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）7%、炭化物（径1mm）3%、
焼土粒（径2mm）2%散在。



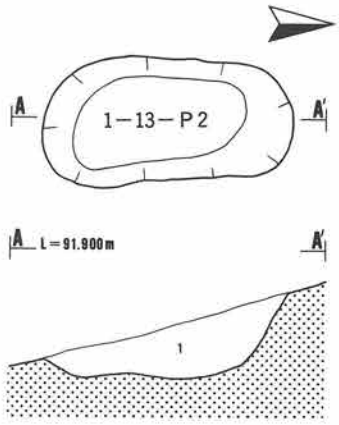
38号土坑（1－13－P1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、
ややしまっている。炭化物（径1mm）1%、
焼土粒（径2mm）1%、地山ブロック
（径3mm）2%散在。



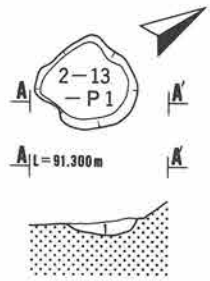
第14図　28号～36号、38号土坑



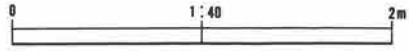
37号土坑（0－13－溝）
1．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。
炭化物（径５mm）３%、地山ブロック（径５mm）３%散在。

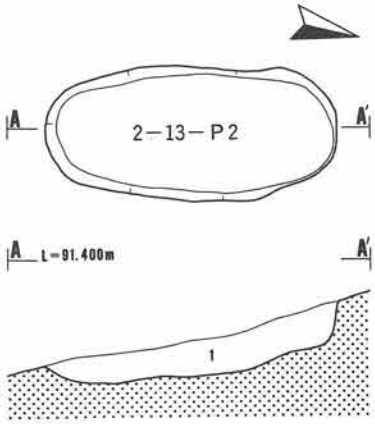


40号土坑（1－13－P2）
埋土の記録なし

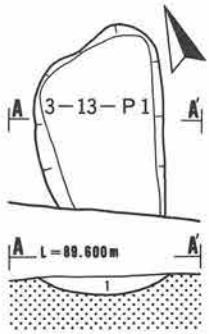


41号土坑（2－13－P1）
1．10YR３／２黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径15mm）３%、
炭化物（径５～10mm）７%、焼土粒（径５mm）５%散在。

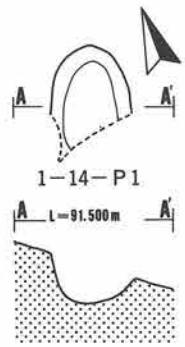




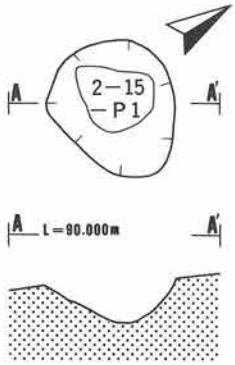
42号土坑（2－13－P2）
埋土の記録なし



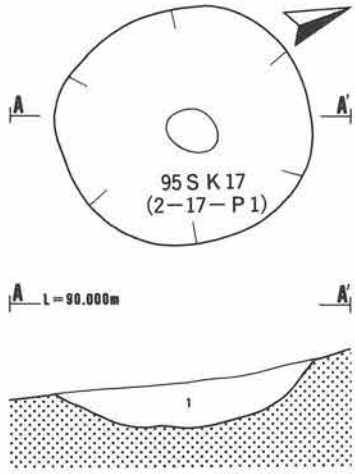
43号土坑（3－13－P1）
1．10YR4.5／２灰黄褐色土、シルト。
炭化物（２mm）５%、焼土粒（１mm）３%、
地山ブロック（２mm）７%散在。



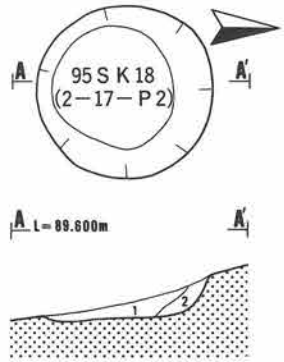
44号土坑（1－14－P1）
埋土の記録なし



45号土坑（2－15－P1）
埋土の記録なし

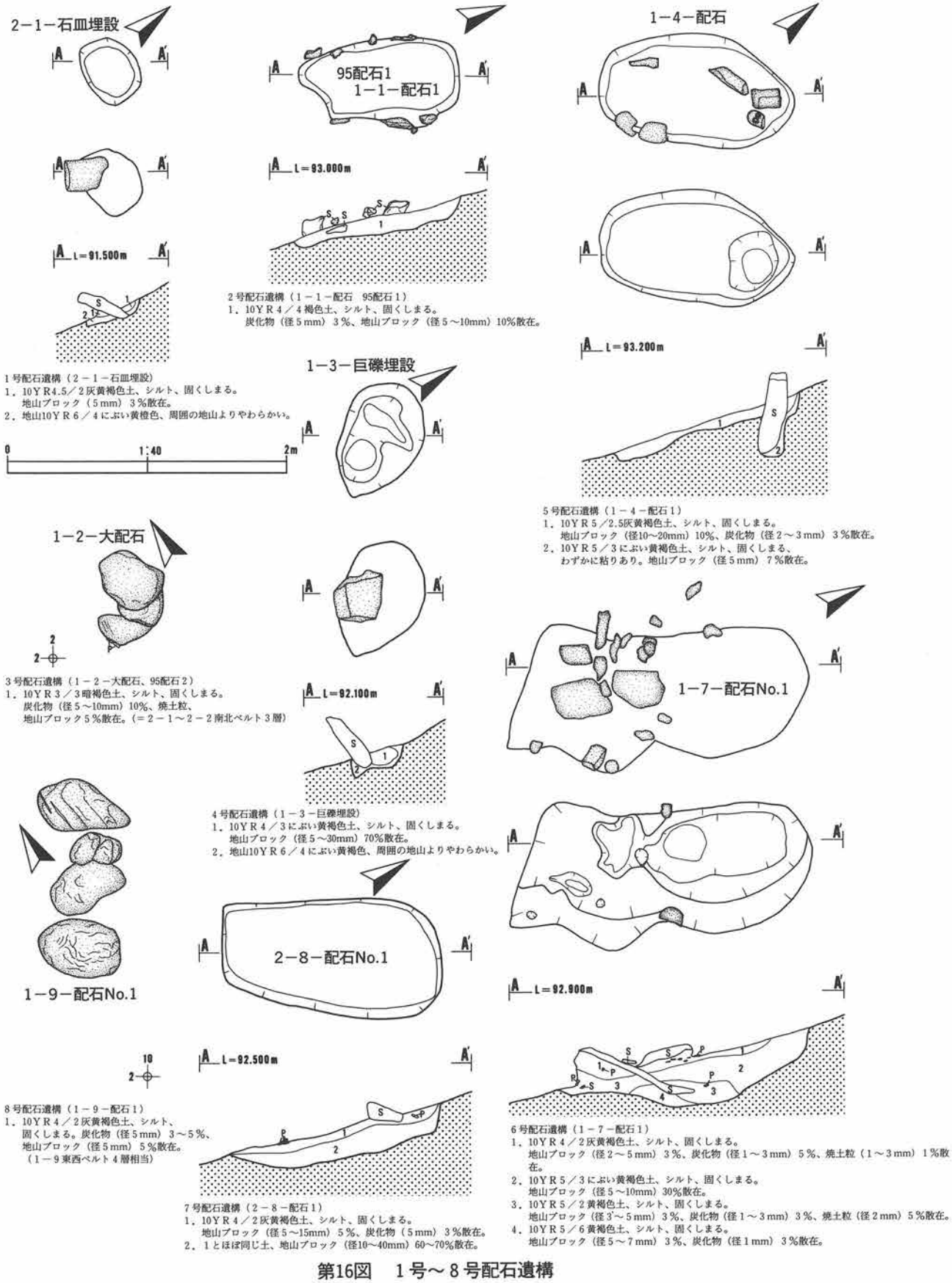


46号土坑（2－17－P1（ＳＫ17）
1．10YR３／４暗褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック（径３～７mm）20%、炭化物（５～７mm）３%散在。



47号土坑（2－17－P2（ＳＫ18）
1．10YR４／４褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック（径３～７mm）13%、炭化物、
焼土粒（径３～７mm）１%散在。
2．10YR４／４褐色土、シルト、しまりなし、
やや粘りあり。
地山ブロック（７～20mm）25%散在。

第15図　37号、40号～47号土坑



1号配石遺構（2－1－石皿埋設）
1．10YR4.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（5mm）3％散在。
2．地山10YR6／4にぶい黄橙色、周囲の地山よりやわらかい。

2号配石遺構（1－1－配石　95配石1）
1．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5mm）3％、地山ブロック（径5～10mm）10％散在。

3号配石遺構（1－2－大配石、95配石2）
1．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5～10mm）10％、焼土粒、
地山ブロック5％散在。（＝2－1～2－2南北ベルト3層）

4号配石遺構（1－3－巨礫埋設）
1．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～30mm）70％散在。
2．地山10YR6／4にぶい黄褐色、周囲の地山よりやわらかい。

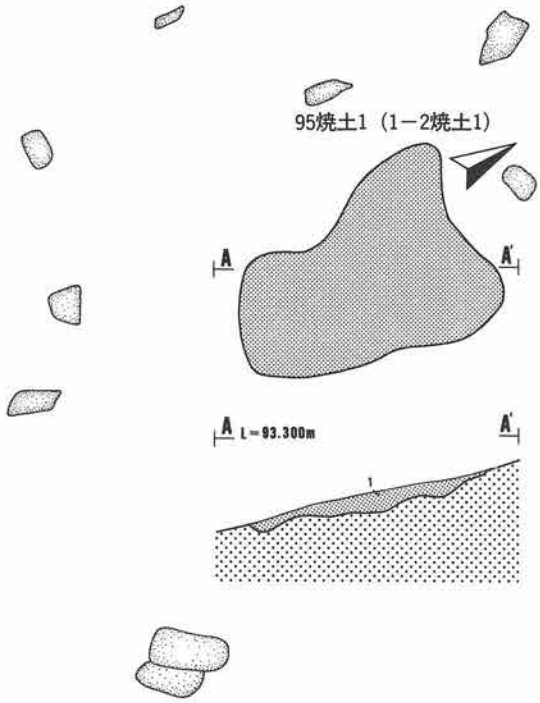
5号配石遺構（1－4－配石1）
1．10YR5／2.5灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径10～20mm）10％、炭化物（径2～3mm）3％散在。
2．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる、
わずかに粘りあり。地山ブロック（径5mm）7％散在。

6号配石遺構（1－7－配石1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径2～5mm）3％、炭化物（径1～3mm）5％、焼土粒（1～3mm）1％散在。
2．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～10mm）30％散在。
3．10YR5／2黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径3～5mm）3％、炭化物（径1～3mm）3％、焼土粒（径2mm）5％散在。
4．10YR5／6黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～7mm）3％、炭化物（径1mm）3％散在。

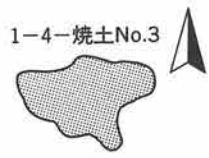
8号配石遺構（1－9－配石1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、
固くしまる。炭化物（径5mm）3～5％、
地山ブロック（径5mm）5％散在。
（1－9東西ベルト4層相当）

7号配石遺構（2－8－配石1）
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5～15mm）5％、炭化物（5mm）3％散在。
2．1とほぼ同じ土、地山ブロック（径10～40mm）60～70％散在。

第16図　1号～8号配石遺構

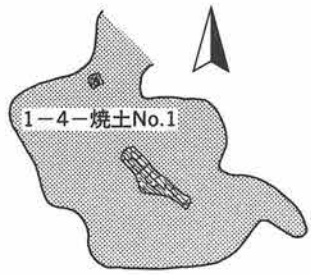


1号焼土遺構（1−2−焼土2）
1．焼土、色調、固さの記録なし。炭化物混入。

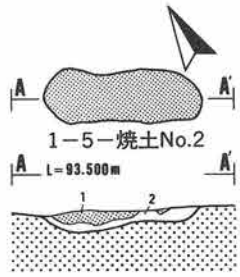


2号焼土遺構（1−4−焼土3）
1．焼土、色調、固さの記録なし。
炭化物混入。

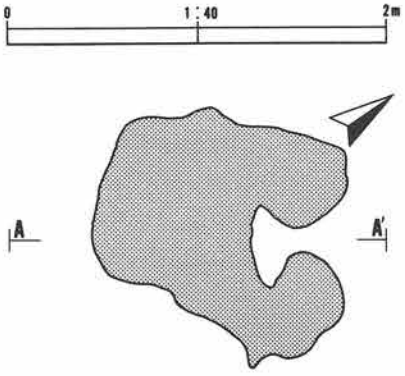
3号焼土遺構（1−4−焼土2）
1．焼土、色調、固さの記録なし、炭化物混入。



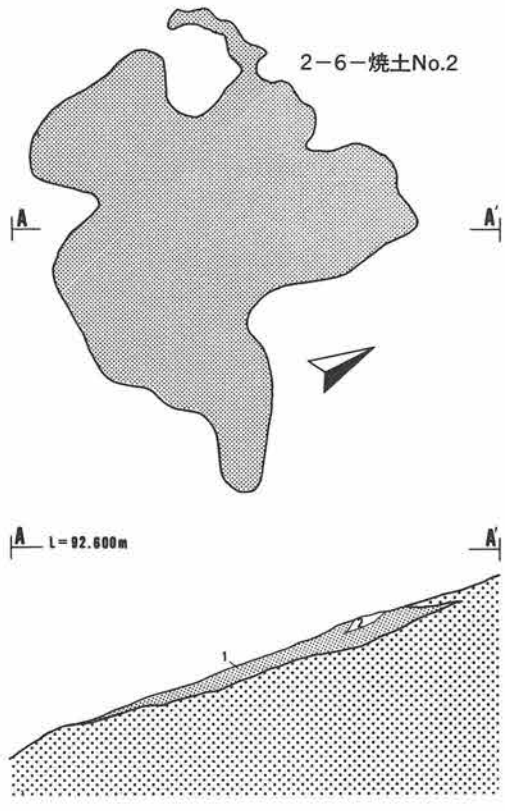
4号焼土遺構（1−4−焼土1）
1．焼土、色調、固さの記録なし。
10YR3／2黒褐色土、炭化物混入。



5号焼土遺構（1−5−焼土2）
1．焼土、色調、固さの記録なし、炭化物混入。
2．記録なし。

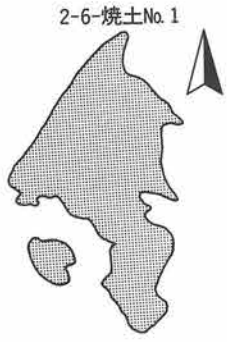


6号焼土遺構（2−5−焼土1）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR3.5／2黒褐色土
40%、炭化物混入。
2．10YR4／2、灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）3%散在、（＝1−5東西ベルト2層炭化物多量部）

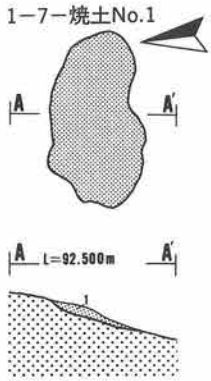


8号焼土遺構（2−6−焼土2）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR3／2黒褐色土30%。
炭化物混入。
2．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径5mm）1%、炭化物（径5mm）1%散在。

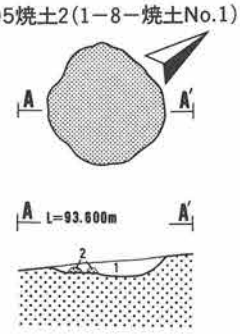
第17図　1号〜6号、8号焼土遺構



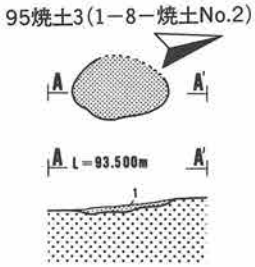
7号焼土遺構（2－6－焼土1）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR3／2黒褐色土30%、
炭化物（径5mm）3～5%混入。



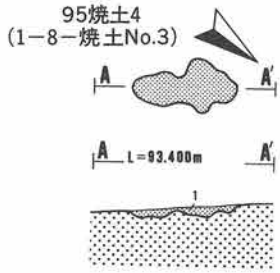
9号焼土遺構（1－7－焼土1）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR4／2灰黄褐色土。
炭化物（径5mm）3%、地山ブロック（径2mm）1%混入。



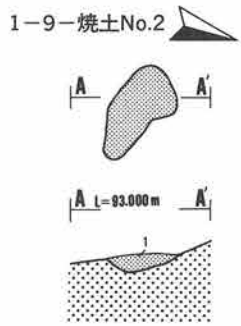
10号焼土遺構（1－8－焼土1）
1．色調、固さの記録なし。焼土に10YR4／2灰黄褐色土が
混入。
2．焼土、5YR4／8赤褐色粘土。



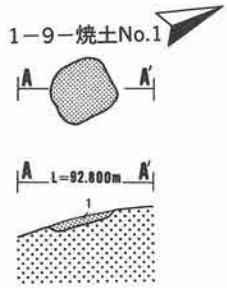
11号焼土遺構（1－8－焼土2）
1．焼土、5YR4／8赤褐色粘土、固くしまる。



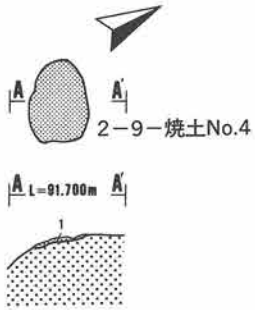
12号焼土遺構（1－8－焼土3）
1．焼土、5YR4／8赤褐色粘土、固くしまる。



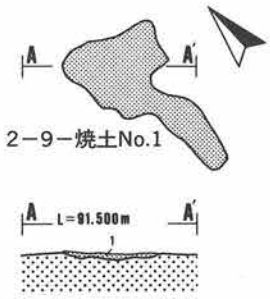
13号焼土遺構（1－9－焼土2）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR4／2
灰黄褐色土混入。



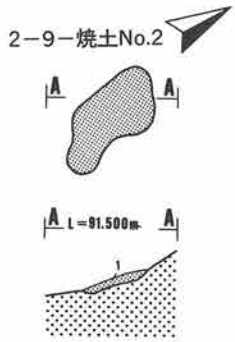
14号焼土遺構（1－9－焼土1）
1．焼土、色調、固さの記録なし。10YR4／2。
灰黄褐色土、炭化物が混入。



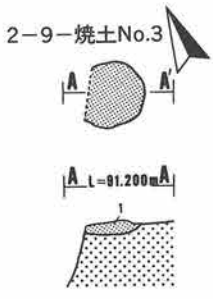
15号焼土遺構（2－9－焼土4）
1．焼土、色調の記録なし。10YR4／2
灰黄褐色土。
炭化物混入。



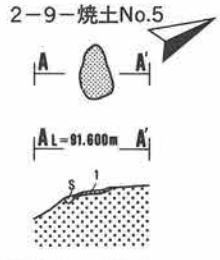
16号焼土遺構（2－9－焼土1）
1．焼土、色調の記録なし。固くしまる。
混入物なし。



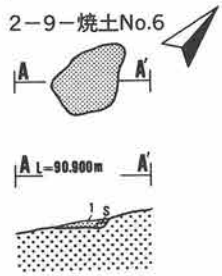
17号焼土遺構（2－9－焼土2）
1．焼土、色調の記録なし。固くしまる。
上部に炭化物が集中している。



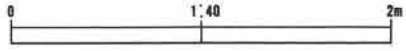
18号焼土遺構（2－9－焼土3）
1．焼土、色調の記録なし。固くしまる。
上部に炭化物が集中。



19号焼土遺構（2－9－焼土5）
1．焼土、色調、固さの記録なし。炭化物混入。

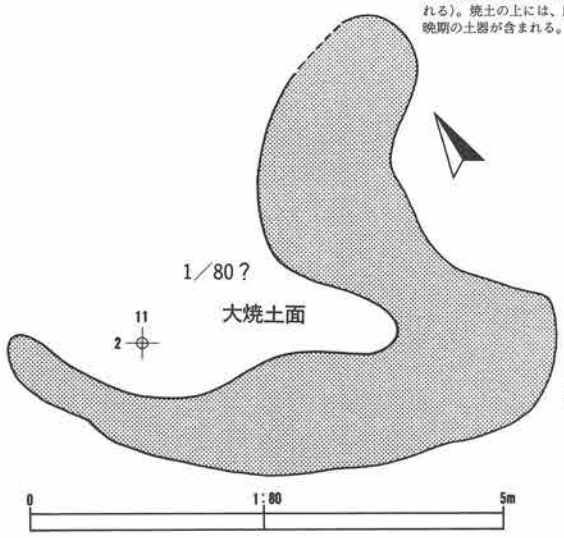


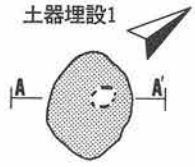
20号焼土遺構（2－9－焼土6）
1．焼土（色調、固さの記録なし）炭化物混入。

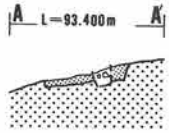


第18図　7号、9号～20号焼土遺構

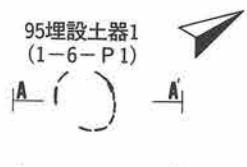
21号焼土遺構（2－11－大焼土面、95焼土5）
1、色調の記録なし、焼土に10YR3／2黒褐色土（シルト、固くしまる、地山ブロック（径5mm）7％、炭化物（径5mm）1％散在）が60％程混入。（＝2－11－東西ベルト5層）平面形は、不整形で黒褐色土の混入から異地性と考えられる。焼土の厚さは、20cmほどで後期と晩期中葉頃の遺物を含む。焼土は灰黄褐色土（地山ブロック散在）上面に広がり、この層中には晩期の土器が含まれる。さらに下の層には後期の土器が含まれる（ⅢB上層相当と考えられる）。焼土の上には、灰黄褐色土（地山ブロック7％散在）が堆積しており、この層の中には晩期の土器が含まれる。

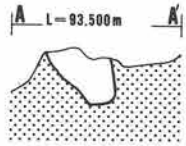




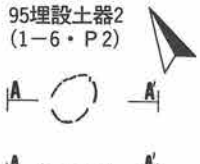


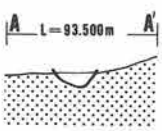
1号埋設土器（1－5－焼土1）
1、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒40％、炭化物7％散在。



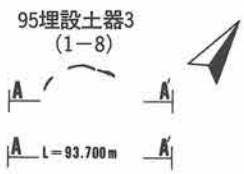


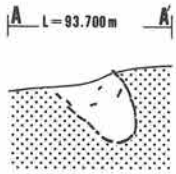
2号埋設土器（95埋設土器1、1－6－P1）
1、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5mm）3％、地山ブロック（径5mm）7％散在（＝1－7－1層）を掘り込んで埋められている。
掘り方は確認できなかった。



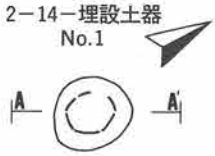


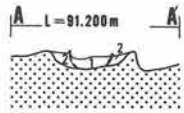
3号埋設土器（95埋設土器2、1－6－P2）
1、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5mm）3％、地山ブロック（径5mm）7％散在（＝1－7－1層）を掘り込んで埋められている。
掘り方は確認できなかった。



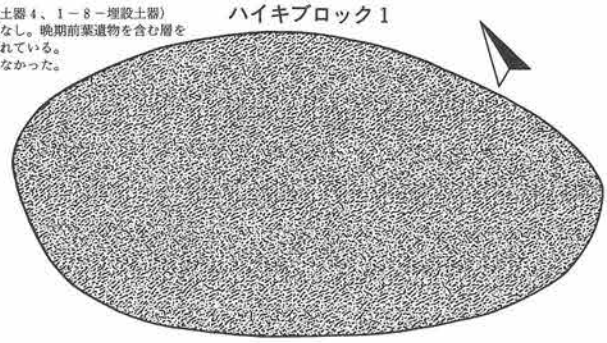


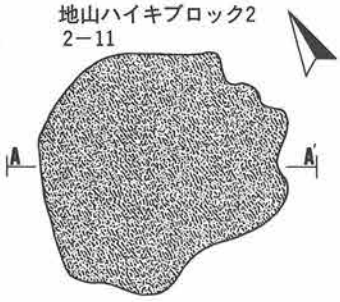
4号埋設土器（95埋設土器4、1－8－埋設土器）
1、色調、固さの記録なし。晩期前葉遺物を含む層を掘り込んで埋められている。
掘り方は確認できなかった。

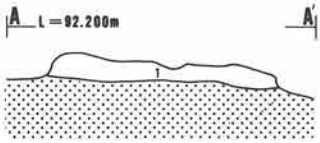




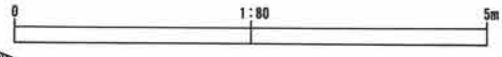
5号埋設土器（2－14－埋設土器1）
1、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒（径5mm）7％散在。下部に炭化物集中。
2、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒（径5mm以下）10～13％、
炭化物（径5～10mm）3～5％散在。

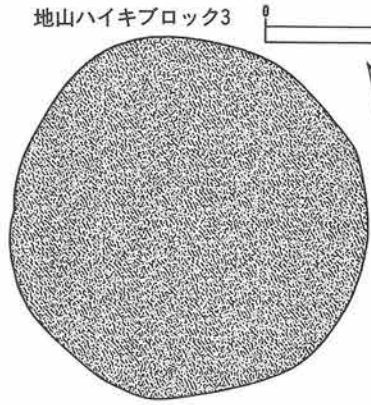


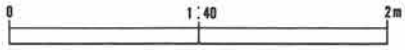




S＝1／40

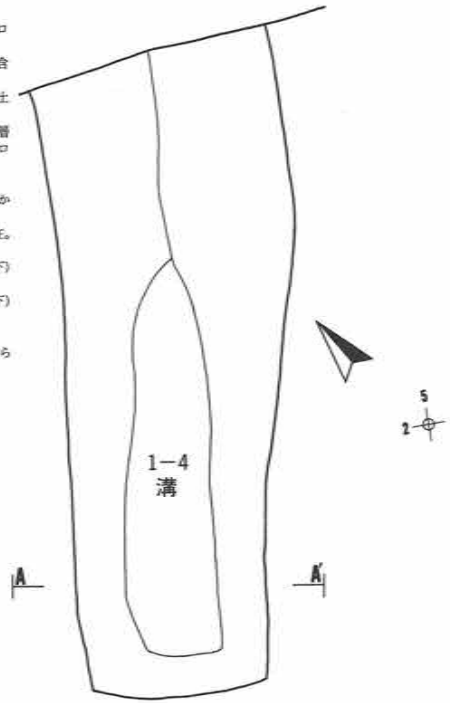


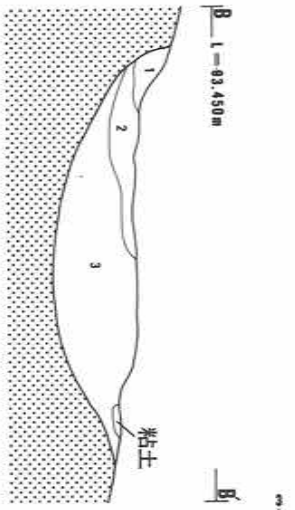


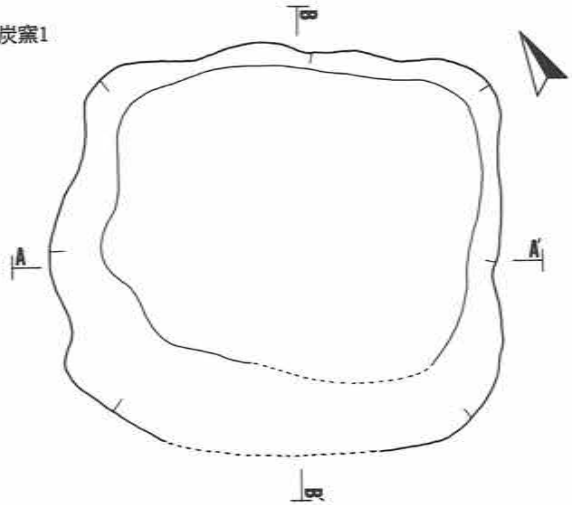


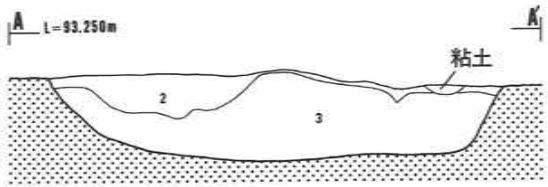
第19図 21号焼土遺構、1号～5号埋設土器、1号地山ハイキブロック

1－4南北ベルト95
1．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、しまりなし。表土
2．10YR4／4褐色土、シルト。表土II層、溝と土塁が作られた時の表土か。
3．10YR4／3にぶい黄褐色、シルト。地山ブロック1％散在。
4．10YR4／3にぶい黄褐色、シルト、しまりなし。地山ブロックは含まれない。
2～4は溝を掘った時の土を、盛り上げた混合土層
5．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、焼土粒、炭化物、地山ブロック（径5mm以下）2～3％散在。IIIB上層
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。焼土粒、地山ブロックは含まれない。IIIB上層
7．10YR4／3にぶい黄褐色、シルトしまりなし。IIIB上層、土塁が作られた時の表土か。
8．7層とほぼ同じ土だが、やや暗い色調。IIIB中層炭化物多量層
9．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロックは含まれない。
10．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。
11．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、後期の土器片がわずかに含まれる。すぐ横のIIIB下層が崩落したものか。
12．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、地山ブロック5％散在。
9～12は溝の埋土
13．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、地山ブロック（径5mm以下）1％散在。IIIB中層相当
14．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、地山ブロック（径5mm以下）5％散在。3B中層相当
15．IIIB中層上部に相当
2'、2層とほぼ同じ土だが、溝が12→11→10→9→2の順で埋められたため、2層とは時期が異なる。





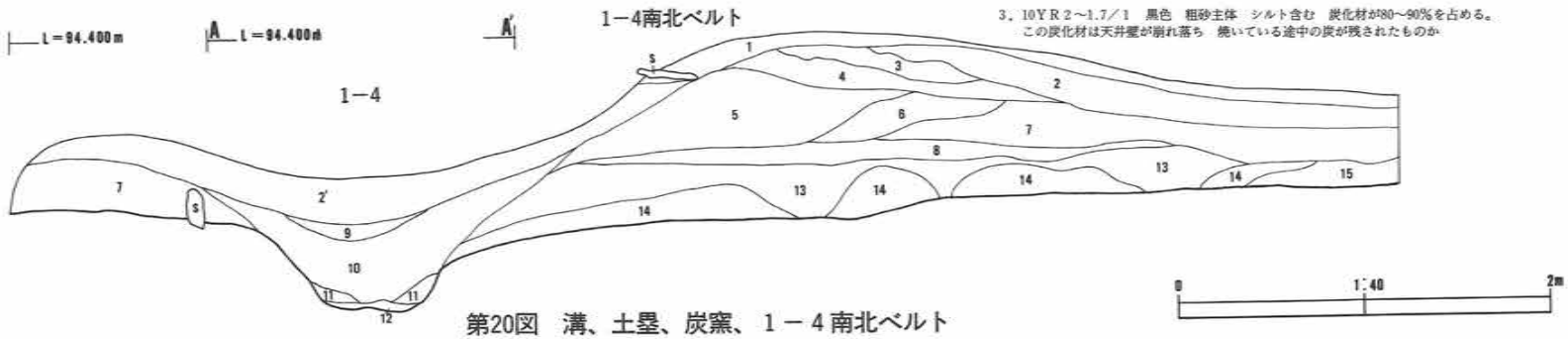




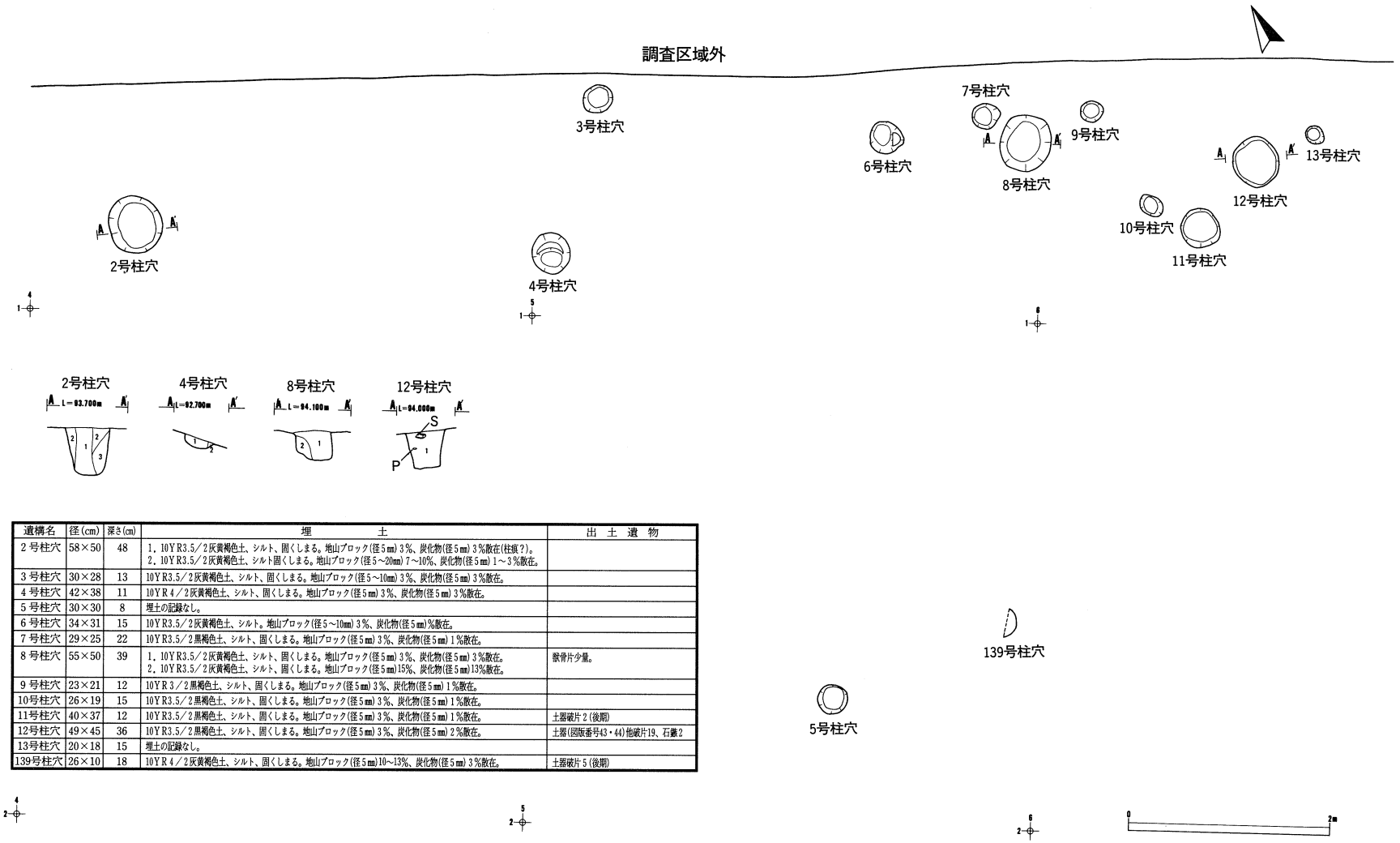
1．10YR3／4暗褐色　細砂主体　シルトが粗砂よりやや多く含まれる。炭化物片（径10mm以下）2％混入。
斜面上部の土が流されて堆積したものが調査中に混入したものか

2．10YR3／3暗褐色　細砂主体　シルトが粘土よりやや多く含まれる。
炭化物片（径20～30mm）7％散在　炭窯の天井または壁が崩れ落ち　3尺の炭化物が混入したものか

3．10YR2～1.7／1　黒色　粗砂主体　シルト含む　炭化材が80～90％を占める。
この炭化材は天井壁が崩れ落ち　焼いている途中の炭が残されたものか

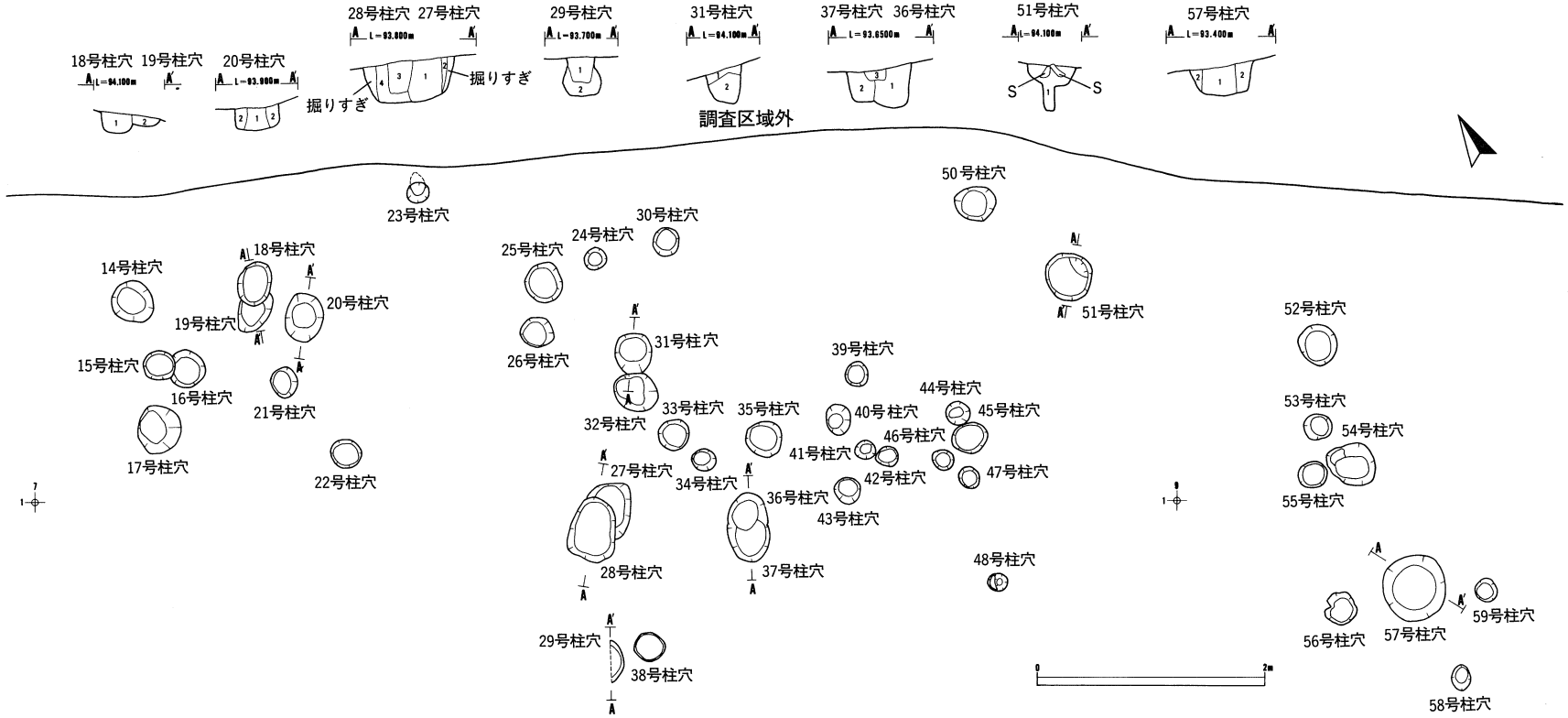


第20図　溝、土塁、炭窯、1－4南北ベルト



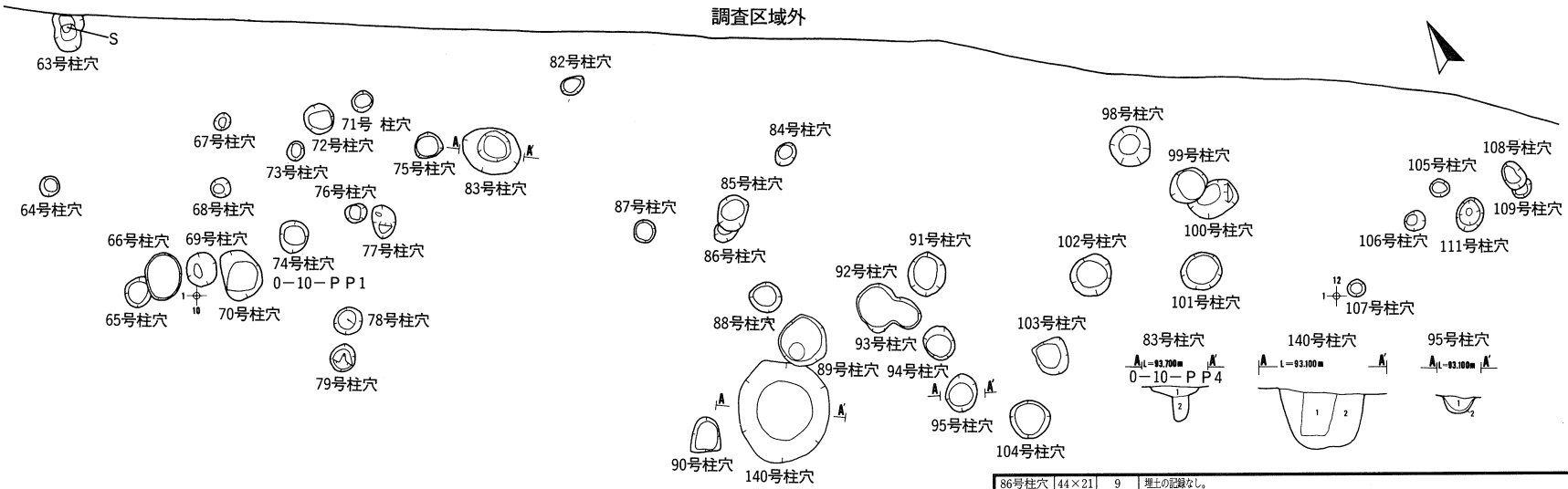
遺構名	径(cm)	深さ(cm)	埋　土	出 土 遺 物
2号柱穴	58×50	48	1．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)3%散在(柱痕?)。 2．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト固くしまる。地山ブロック(径5～20㎜)7～10%、炭化物(径5㎜)1～3%散在。	
3号柱穴	30×28	13	10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10㎜)3%、炭化物(径5㎜)3%散在。	
4号柱穴	42×38	11	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)3%散在。	
5号柱穴	30×30	8	埋土の記録なし。	
6号柱穴	34×31	15	10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト。地山ブロック(径5～10㎜)3%、炭化物(径5㎜)%散在。	
7号柱穴	29×25	22	10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)1%散在。	
8号柱穴	55×50	39	1．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)3%散在。 2．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)15%、炭化物(径5㎜)13%散在。	獣骨片少量。
9号柱穴	23×21	12	10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)1%散在。	
10号柱穴	26×19	15	10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)1%散在。	
11号柱穴	40×37	12	10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)1%散在。	土器破片2(後期)
12号柱穴	49×45	36	10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3%、炭化物(径5㎜)2%散在。	土器(図版番号43・44)他破片19、石鏃2
13号柱穴	20×18	15	埋土の記録なし。	
139号柱穴	26×10	18	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)10～13%、炭化物(径5㎜)3%散在。	土器破片5(後期)

第21図　柱穴配置図1



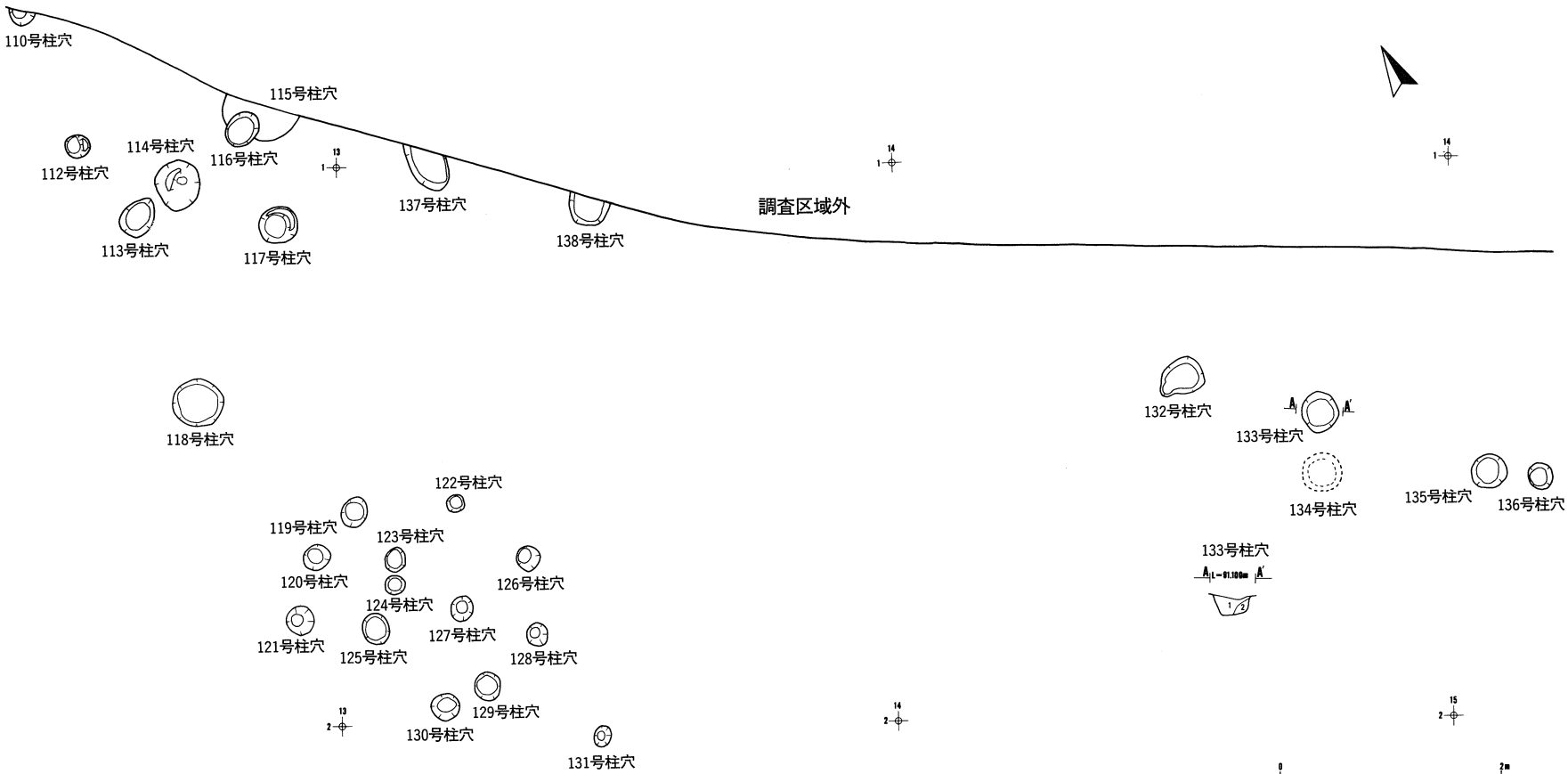
遺構名	径(cm)	深さ(cm)	埋土	出土遺物
14号柱穴	38×36	27	10YR3/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片11、獣骨片少量
15号柱穴	28×26	5	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	
16号柱穴	34×33	24	10YR3/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	獣骨片少量
17号柱穴	42×38	35	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片17、石鏃2、獣骨片少量
18号柱穴	37×28	20	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号154)
19号柱穴	41×27	9	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片9(後期)
20号柱穴	47×33	20	1. 10YR5/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。 2. 10YR5/3にぶい黄褐色土シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)2%散在。	
21号柱穴	27×25	28	10YR4.5/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)3%散在。	
22号柱穴	28×26	5	埋土の記録なし。	土器破片10(後・晩期)
23号柱穴	26×19	32	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)1%散在。	
24号柱穴	20×20	39	埋土の記録なし。	土器破片4(後期)
25号柱穴	36×33	56	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)7%散在。	土器(図版番号46.47)他11、石鏃2
26号柱穴	30×26	33	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5~10mm)10%、炭化物(径5mm)3%散在	土器破片2
27号柱穴	40×36	36	1.10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)3%、下半に焼土粒10%散在。 2. 1とほぼ同じ土。地山ブロック(径5~10mm)7~10%散在。	土器(図版番号155・156)他58(後期)、石鏃1、獣骨片少量
28号柱穴	42×26	35	3. 1とほぼ同じ土。地山ブロック(径5~10mm)10%、炭化物(径5mm)3%散在。 4. 1とほぼ同じ土。地山ブロック(径10~40mm)70%散在。	土器(図版番号157・158)他18(後・晩期)、石鏃2
29号柱穴	25×5	35	1. 10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)1%散在。 2. 1とほぼ同じ土。地山ブロック(径5~40mm)60%散在。	
30号柱穴	25×23	17	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(5mm)2%散在。	
31号柱穴	35×33	34	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)5%散在。	土器破片11(後期)
32号柱穴	41×33	27	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)5%散在。	土器(図版番号159)他1
33号柱穴	28×27	5	10YR4/2灰黄褐色土/シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
34号柱穴	22×19	20	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径10~30mm)60%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号160)他5(後期)、石鏃1
35号柱穴	32×30	10	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)5%散在。	
36号柱穴	36×33	26	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)2%散在。	土器破片24(後期)。
37号柱穴	38×36	37	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5~15mm)3%、炭化物(径5mm)5%散在。	
38号柱穴	28×25	21	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)5%散在。	
39号柱穴	21×20	23	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
40号柱穴	26×21	11	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)5%散在。	
41号柱穴	19×17	21	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)5%散在。	
42号柱穴	20×17	6	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	
43号柱穴	23×22	20	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	土器破片11(後期)
44号柱穴	22×21	20	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	土器破片12(後期)、石鏃1
45号柱穴	32×26	11	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	
46号柱穴	20×18	5	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
47号柱穴	20×18	6	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
48号柱穴	18×16	16	10YR4/2灰黄褐色土、固くしまる。地山ブロック(径5mm)5%、炭化物(径5mm)5%散在。	
50号柱穴	37×29	15	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
51号柱穴	43×41	40	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)2%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片10(後期)、石鏃1。
52号柱穴	36×33	29	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	
53号柱穴	26×23	12	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片3(後期)。
54号柱穴	46×37	13	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片3、石鏃1。
55号柱穴	26×24	5	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
56号柱穴	29×24	9	10YR3.5/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	土器破片3。
57号柱穴	57×55	25	1. 10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)1%散在。 2. 10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5~10mm)13%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器(図版番号162・163)他33(後期)、石鏃1、獣骨片少量
58号柱穴	21×17	6	10YR3.5/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
59号柱穴	20×19	6	10YR3.5/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	
60号柱穴	29×25	8	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)7%散在。	
62号柱穴	21×20	17	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在、下部に炭化物多い。	

第22図　柱穴配置図2



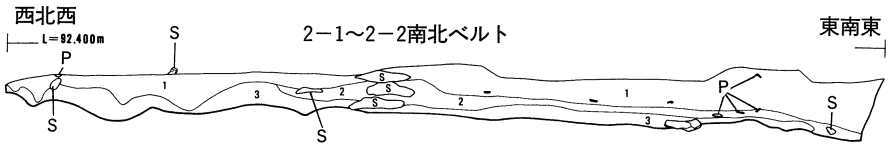
遺構名	径(cm)	深さ(cm)	埋　土	出　土　遺　物
61号柱穴	28×26	29	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
63号柱穴	32×23	28	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
64号柱穴	19×18	12	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
65号柱穴	25×23	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)7％散在。	土器破片4(後期)
66号柱穴	42×32	17	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)7％散在。	獣骨片少量。
67号柱穴	16×15	23	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
68号柱穴	18×17	10	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
69号柱穴	30×26	11	10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
70号柱穴	45×32	15	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片9(後期)、獣骨片少量。
71号柱穴	19×19	29	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
72号柱穴	27×26	24	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片1(後期)
73号柱穴	18×15	11	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
74号柱穴	28×25	10	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
75号柱穴	26×23	19	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	土器破片1(後期)
76号柱穴	20×17	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
77号柱穴	30×20	10	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
78号柱穴	26×25	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)2％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
79号柱穴	25×23	4	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)2％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
80号柱穴	46×30	6	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)2％、炭化物(径5㎜)2％散在。	土器(図版番号164)他8(後期)。
81号柱穴	17×17	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片1(後期)。
82号柱穴	22×17	11	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
83号柱穴	53×42	30	1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。 2．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10㎜)7％、炭化物(径5㎜)5％散在。	土器(図版番号、165、166)他25、石鏃1。
84号柱穴	20×19	20	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
85号柱穴	20×18	20	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	土器(図版番号167)他4(後期)、石鏃1。
86号柱穴	44×21	9	埋土の記録なし。	
87号柱穴	20×19	10	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
88号柱穴	30×27	17	埋土の記録なし。	土器破片2(後期)。
89号柱穴	45×42	23	埋土の記録なし。	土器(図版番号168)他8(後期)。
90号柱穴	31×20	15	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)2％散在。	土器(図版番号169)他3(後期)。
91号柱穴	38×35	27	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～15㎜)10％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器(図版番号170)他35(後・晩期)。
92号柱穴	33×36	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片2(後期)。
93号柱穴	27×26	4	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片3(後期)。
94号柱穴	30×26	11	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
95号柱穴	32×28	15	10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
96号柱穴	26×26	11	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)2％散在。	
97号柱穴	30×29	11	埋土の記録なし。	
98号柱穴	35×35	32	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)1％散在。	土器破片6(後期)。
99号柱穴	40×30	35	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)1％散在。	土器(図版番号171)他31(後・晩期)、石鏃1。
100号柱穴	62×33	20	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)1％散在。	土器破片6(後期)。
101号柱穴	36×34	28	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)3％散在。	土器破片13(後・晩期)、石鏃1。
102号柱穴	37×36	16	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)5％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
103号柱穴	35×33	30	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)4％散在。	石鏃1。
104号柱穴	37×34	18	10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)3％散在。	
105号柱穴	18×15	4	埋土の記録なし。	
106号柱穴	18×18	3	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
107号柱穴	16×16	7	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)7％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
108号柱穴	22×19	6	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％、炭化物(径5㎜)1％散在。	
109号柱穴	18×12	5	10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5㎜)3％散在。	
111号柱穴	30×25	4	埋土の記録なし。	
140号柱穴	100×80	46	1．10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～15㎜)15％、炭化物(径5㎜)15％散在、柱痕。 2．1とほぼ同じ土。地山ブロック(径30㎜)30％散在。	土器(図版番号172・173)他53(後期)。

第23図　柱穴配置図3



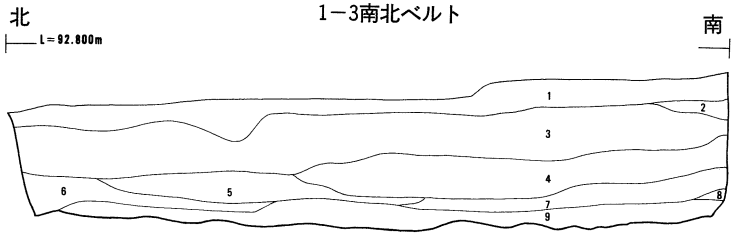
遺構名	径(cm)	深さ(cm)	埋土	出土遺物
110号柱穴	23×13	19	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10mm)7%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器破片1(後期)。
112号柱穴	24×21	9	埋土の記録なし。	
113号柱穴	37×29	14	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片12(後期)。
114号柱穴	45×41	39	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)3%散在。	
115号柱穴	65×20	計測不可	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径10～20mm)7%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号176)他2(後期)
116号柱穴	34×28	1	10YR3/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～20mm)7%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器破片1(後期)。
117号柱穴	34×32	21	埋土の記録なし。	
118号柱穴	45×42	6	10YR3.5/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)2%散在。	土器(図版番号177)他8(後期)。
119号柱穴	28×23	21	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～30mm)10%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器(図版番号178)他1、石鏃1。
120号柱穴	25×21	30	10YR3/2黒褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～15mm)7～10%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号179)他6(後期)。
121号柱穴	25×25	22	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～40mm)10%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器(図版番号180)他2(後期)。
122号柱穴	18×16	7	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	
123号柱穴	22×18	4	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	
124号柱穴	19×18	6	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	
125号柱穴	28×24	8	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	
126号柱穴	23×22	24	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	
127号柱穴	23×21	6	埋土の記録なし。	土器破片1(後期)。
128号柱穴	20×19	6	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10mm)5%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器破片3(後期)。
129号柱穴	26×23	35	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)3%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号181・182)他11(後期)。
130号柱穴	25×24	29	埋土の記録なし。	土器破片9(後期)。
131号柱穴	18×15	12	10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～10mm)5%、炭化物(径5mm)1%散在。	獣骨片少量。
132号柱穴	44×30	21	埋土の記録なし。	
133号柱穴	37×33	16	1．10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)4%、炭化物(径5mm)1%散在。 2．10YR4/2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5mm)7%、炭化物(径5mm)3%散在。	土器(図版番号183・184)他12(後・晩期)
134号柱穴	推図×推図	不明	埋土の記録なし。	
135号柱穴	32×31	20	10YR3/3暗褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～40mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	土器破片3(後期)
136号柱穴	25×22	5	10YR3/3暗褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック(径5～40mm)3%、炭化物(径5mm)1%散在。	石鏃1。
137号柱穴	30×18	8	埋土の記録なし。	
138号柱穴	34×15	4	埋土の記録なし。	土器破片2(後期)。

第24図　柱穴配置図4



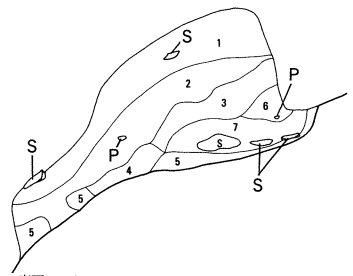
2－1～2－2南北ベルト

2－1～2－2南北ベルト
1．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。2層とよく似ているが、炭化物がやや少なく焼土は見られない。土器片が少量含まれる。ⅢB中層
2．10YR3／3暗褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5～10mm）10%、地山ブロック5%散在、焼土が含まれ、土器片が集中している。ⅢB中層
この層に、3号配石遺構の粘板岩3個が置かれている。
3．10YR3／3褐色土、シルト、固くしまる、かなり粘りあり。炭化物（径5mm）3%、地山ブロック（径3～10mm）20%散在。ⅢB下層



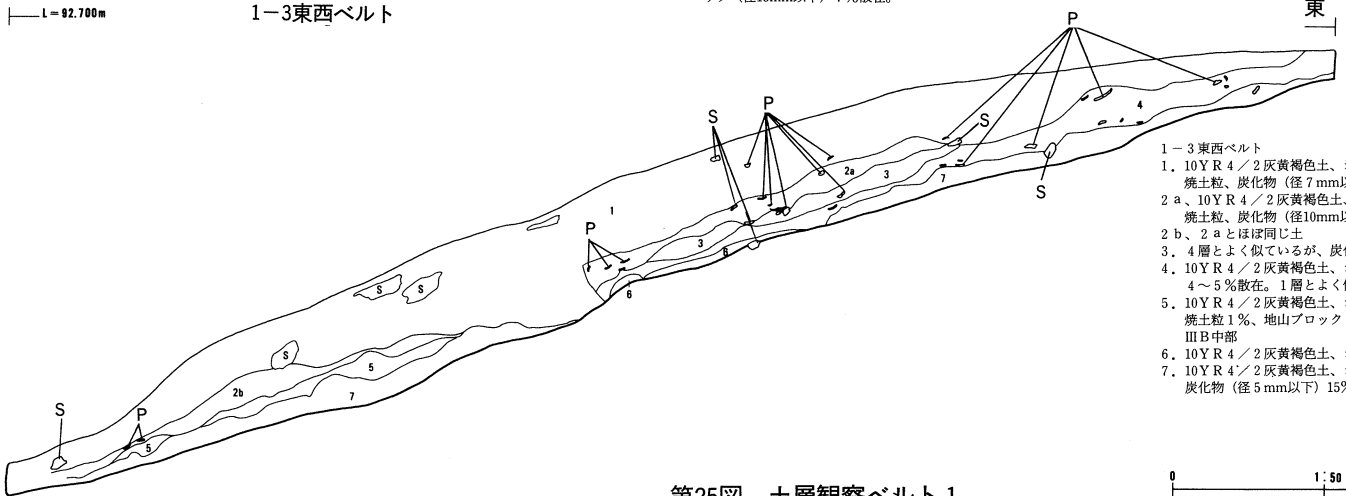
1－3南北ベルト

1－3南北ベルト
1．10YR3／2黒褐色土、シルト。表土下部
2．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。焼土粒が1%以下、地山ブロック（径5mm）1%散在。部分的に10YR5／4にぶい黄褐色土部がレンズ状に入る。ⅢB上層
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。焼土粒1%以下、炭化物（径10mm以下）5%、地山ブロック（径5mm以下）3%散在。ⅢB中層
5．3層によく似た土、10YR5／4にぶい黄褐色土部も比較的広く分布。ⅢB中層
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。7層とほぼ同じ土。ⅢB中層
7．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）15%散在。後期の土器が多量含まれる。ⅢB中層
8．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト。地山ブロック（径5mm）2%散在。ところどころに炭化物集中区がある。ⅢB中層
9．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径15mm以下）7%散在。



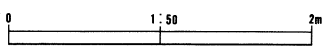
2－2－東西ベルト

2－2－東西ベルト
1．10YR4／4褐色、シルト、しまりなし。地山ブロックがわずかに混じる。表土
2．10YR3／3暗褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロックがわずかに混じる。表土
3．10YR4／4よりやや明るい褐色土、シルト、2層よりややしまる、かなり粘りあり。地山ブロック（径6～12mm）10%散在。ⅢB上層に相当する層か。
4．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。地山ブロック（径2～6mm）散在。ⅢB下層
5．地山
6．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径3～5mm）3%、地山ブロック（径3～6mm）3%散在。土器片を多く含む。ⅢB中層
7．10YR4／4褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径3～5mm）3%、地山ブロック（径15%含む。）粘板岩3個が斜面に対し水平に埋められており、6号土坑の埋土とも考えられる層。土坑の東側の壁は、斜面の高い方から低い方へ地山が崩れ、埋土に混じっている。西側の壁は、いつ崩れたのか不明だがベルトの壁から判断することができない。

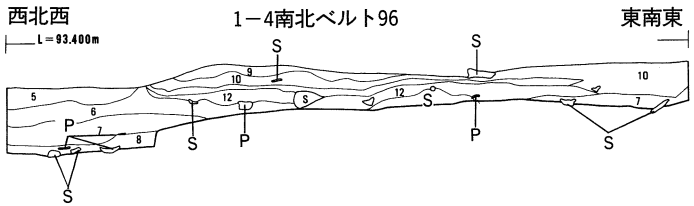


1－3東西ベルト

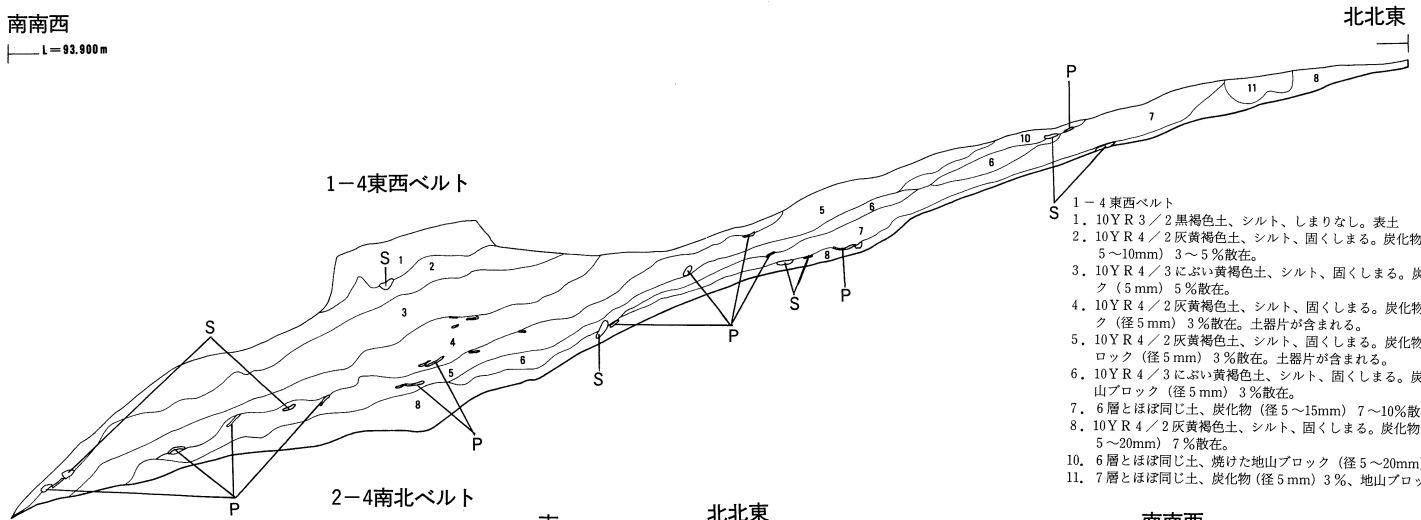
1－3東西ベルト
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒、炭化物（径7mm以下）2～3%、地山ブロック2～3%散在。
2a、10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒、炭化物（径10mm以下）5～6%、地山ブロック2～3%散在。
2b、2aとほぼ同じ土
3．4層とよく似ているが、炭化物の割合がやや多い。
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒、炭化物（径10mm以下）4～5%散在。1層とよく似ているがやや暗い色調。
5．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
焼土粒1%、地山ブロック1%散在、10YR5／4にぶい黄褐色土部も広く分布。ⅢB中部
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。7層とほぼ同じ土。ⅢB中部
7．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
炭化物（径5mm以下）15%散在。後期の土器が多量含まれる。



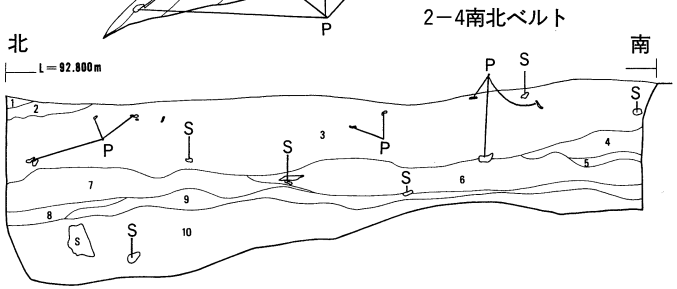
第25図　土層観察ベルト1



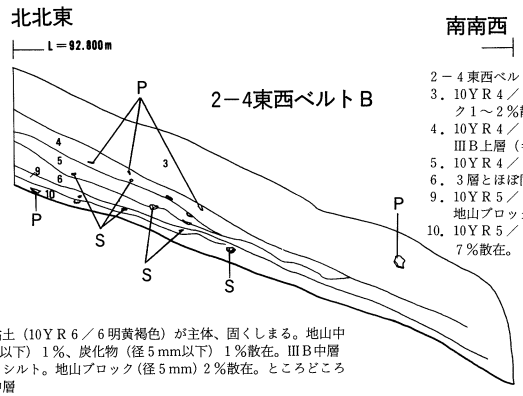
1－4－南北ベルト96
5．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５～10mm）７～10%、地山ブロック（径５mm）３%散在。土器片が含まれる。（＝１－４東西ベルト５層）
6．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５～10mm）７～10%、地山ブロック（径５mm）３%散在。土器片が含まれる。（＝１－４東西ベルト６層）
地山ブロック１～２%散在。ⅢＢ上層
7．６層とほぼ同じ土、炭化物（径５～15mm）７～10%散在。（＝１－４東西ベルト７層、１－５東西ベルト６層）
8．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）１%、地山ブロック（径５～20mm）７%散在。（＝１－４東西ベルト８層、１－５東西ベルト７層）
9．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）３%散在、地山ブロック（径５mm）３%散在。
10．９層とほぼ同じ土、炭化物（径５mm）５%散在。
11．９層とほぼ同じ土、炭化物（径５mm）７～10%散在。（＝１－５東西ベルト５層）
12．10ＹＲ５／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）５%、地山ブロック（径５mm）５%散在。



1－４東西ベルト
1．10ＹＲ３／２黒褐色土、シルト、しまりなし。表土
2．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５mm)１%、地山ブロック(径５～10mm)３～５%散在。
3．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５mm)３%、地山ブロック（５mm）５%散在。
4．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５～15mm)５%、地山ブロック（径５mm）３%散在。土器片が含まれる。
5．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５～10mm)７～10%、地山ブロック（径５mm）３%散在。土器片が含まれる。
6．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５～15mm)５～７%、地山ブロック（径５mm）３%散在。
7．６層とほぼ同じ土、炭化物（径５～15mm）７～10%散在。
8．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５mm)１%、地山ブロック(径５～20mm)７%散在。
10．６層とほぼ同じ土、焼けた地山ブロック（径５～20mm）７%散在。
11．７層とほぼ同じ土、炭化物（径５mm）３%、地山ブロック（径５～30mm）７～10%散在。



2－４南北ベルト
1．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト。表土
2．10ＹＲ４／２黄褐色土、シルト。炭化物少量、地山ブロック(径10mm以下)15%散在、この層の中には焼土面あるいは焼土が捨てられたブロックがある。
晩期の土器片が少量含まれる。
3．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物(径15mm以下)１%、焼土粒１%、地山ブロック１～２%散在。ⅢＢ上層
4．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）１%散在。
ⅢＢ上層
5．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物（径５mm以下）２%、地山ブロック（径５mm以下）１%散在。



2－４東西ベルト
3．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物(径15mm以下)１%、焼土粒１%、地山ブロック１～２%散在。ⅢＢ上層（＝２－４南北ベルト３層）
4．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）１%散在。
ⅢＢ上層（＝２－４南北ベルト４層）
5．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物(径５mm以下)２%、地山ブロック(径５mm)
6．３層とほぼ同じ土、炭化物（径５mm）３～５%、地山ブロック（径５mm）５%散在。
9．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、シルト、一部に炭化物集中部あり。
地山ブロック（径５mm）２%散在。
10．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径15mm以下）７%散在。

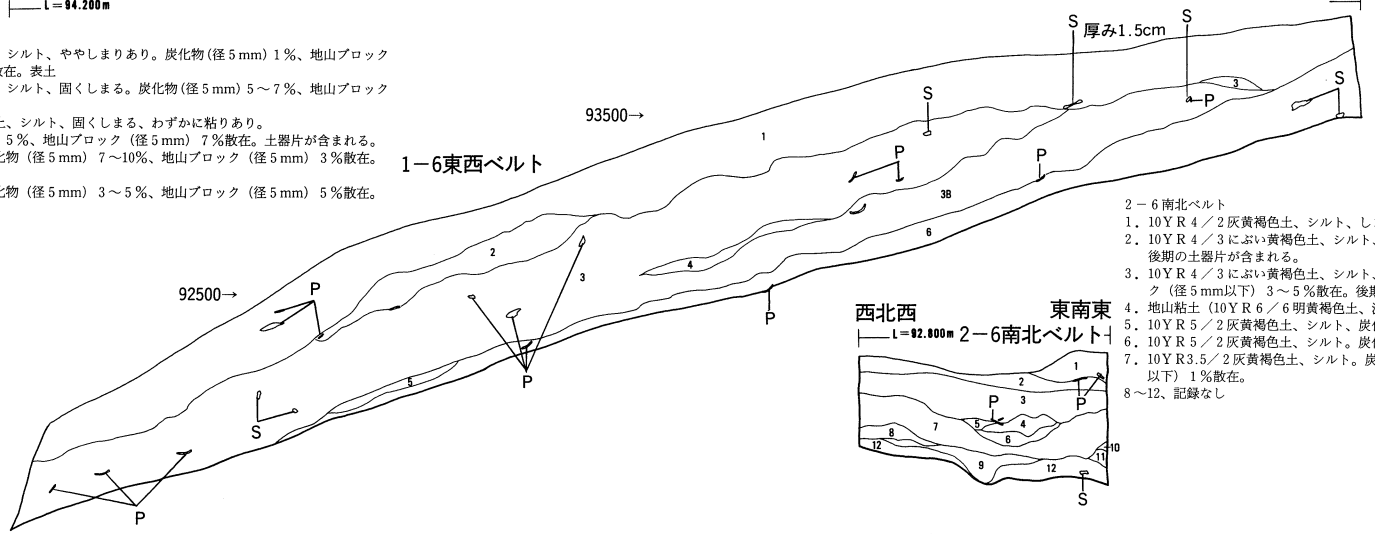
6．10ＹＲ５／６黄褐色土、地山粘土（10ＹＲ６／６明黄褐色）が主体、固くしまる。地山中に含まれる泥岩小片（径５mm以下）１%、炭化物（径５mm以下）１%散在。ⅢＢ中層
7．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、シルト。地山ブロック(径５mm)２%散在。ところどころに炭化物集中区がある。ⅢＢ中層
8．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、シルト。
炭化物（径５mm以下）、後期中葉の土器片、粘板岩の大礫が多量に含まれる。
9．６層とほぼ同じ土
10．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、シルト。固くしまる。
地山ブロック（径15mm以下）７%散在。

0　1：50　2m

第26図　土層観察ベルト２

南南西
L＝94.200m

1－6東西ベルトA
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、ややしまりあり。炭化物(径5mm) 1%、地山ブロック（径5mm） 1～3%散在。表土
2．10YR2／2黒褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径5mm) 5～7%、地山ブロック（径5mm） 5%散在。
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物（径5～10mm） 5%、地山ブロック（径5mm） 7%散在。土器片が含まれる。
4．3層とほぼ同じ土、炭化物（径5mm） 7～10%、地山ブロック（径5mm） 3%散在。
5．4層とほぼ同じ土。
6．3層とほぼ同じ土、炭化物（径5mm） 3～5%、地山ブロック（径5mm） 5%散在。

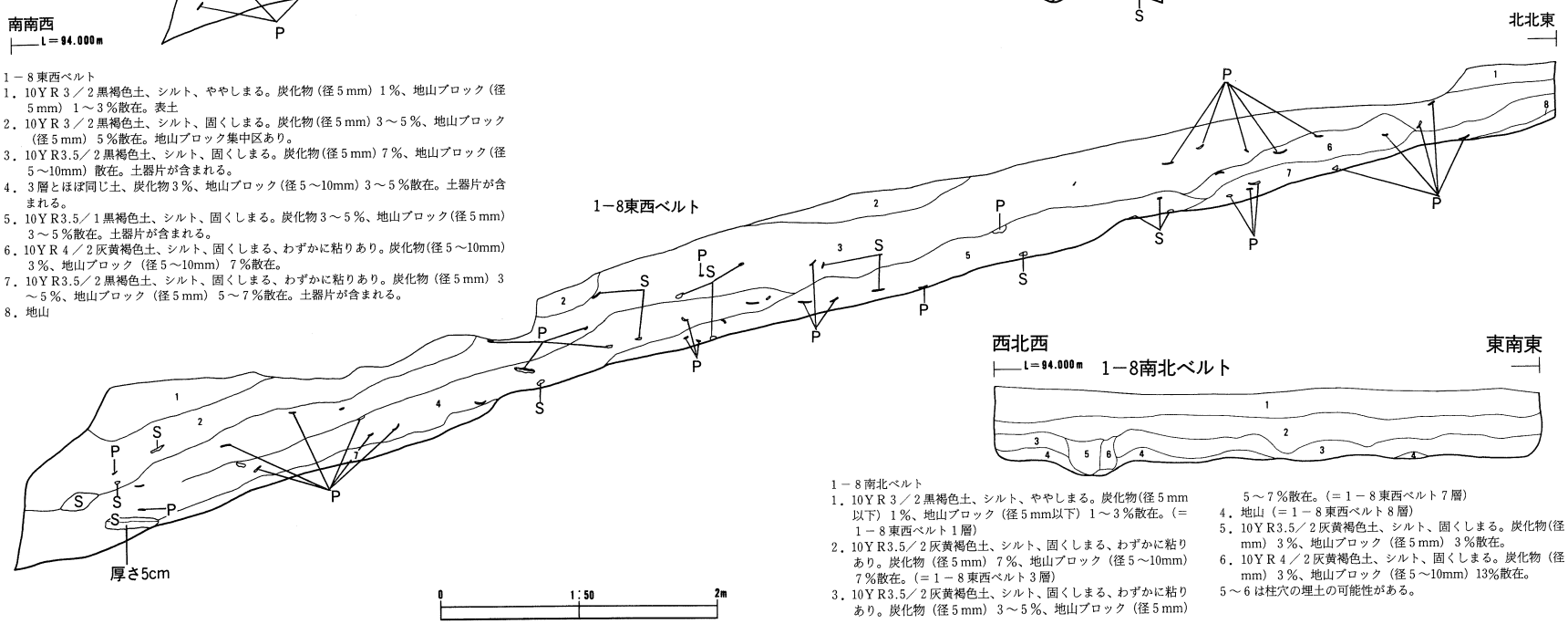


西北西
L＝92.800m
2－6南北ベルト
東南東

2－6南北ベルト
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロック（径5mm） 2%散在。
2．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径5mm） 2%散在。後期の土器片が含まれる。
3．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径5mm以下)、地山ブロック（径5mm以下） 3～5%散在。後期の土器片が含まれる。
4．地山粘土（10YR6／6明黄褐色土、泥岩）が主体。炭化物（径10mm以下）少量散在。
5．10YR5／2灰黄褐色土、シルト、炭化物（径5mm以下）少量散在。
6．10YR5／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）10%散在。
7．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト。炭化物(径15mm以下) 3%、地山ブロック(径5mm以下） 1%散在。
8～12、記録なし

南南西
L＝94.000m

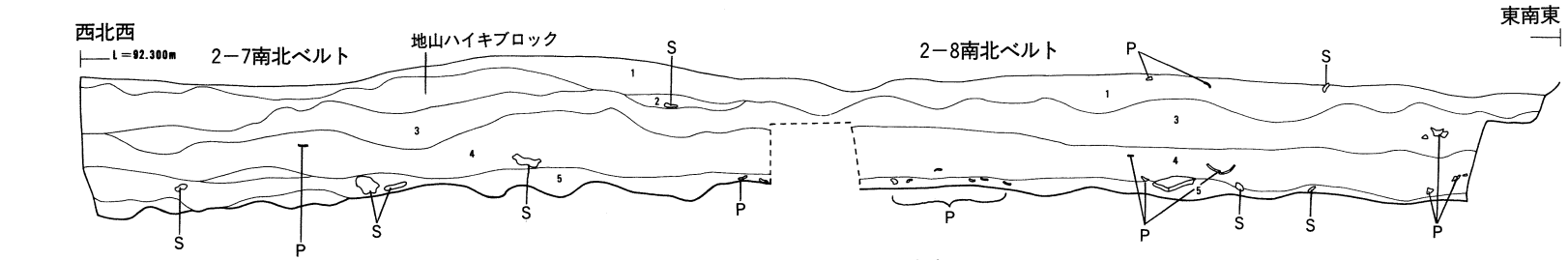
1－8東西ベルト
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、ややしまる。炭化物（径5mm） 1%、地山ブロック（径5mm） 1～3%散在。表土
2．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径5mm) 3～5%、地山ブロック（径5mm） 5%散在。地山ブロック集中区あり。
3．10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径5mm) 7%、地山ブロック(径5～10mm) 散在。土器片が含まれる。
4．3層とほぼ同じ土、炭化物3%、地山ブロック(径5～10mm) 3～5%散在。土器片が含まれる。
5．10YR3.5／1黒褐色土、シルト、固くしまる。炭化物3～5%、地山ブロック(径5mm) 3～5%散在。土器片が含まれる。
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物(径5～10mm) 3%、地山ブロック（径5～10mm） 7%散在。
7．10YR3.5／2黒褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物（径5mm） 3～5%、地山ブロック（径5mm） 5～7%散在。土器片が含まれる。
8．地山

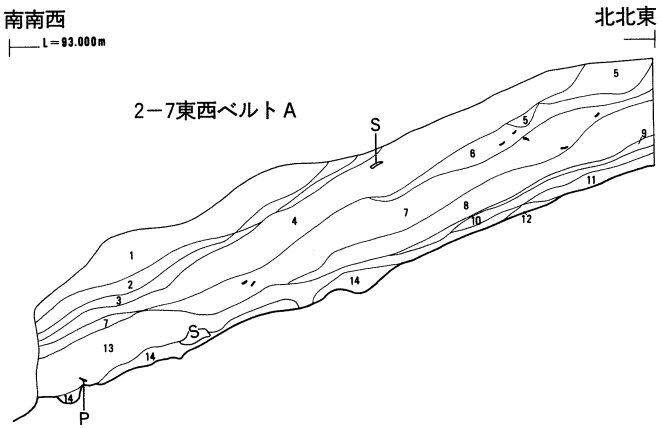


西北西
L＝94.000m
1－8南北ベルト
東南東

1－8南北ベルト
1．10YR3／2黒褐色土、シルト、ややしまる。炭化物(径5mm以下) 1%、地山ブロック（径5mm以下） 1～3%散在。(＝1－8東西ベルト1層)
2．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物（径5mm） 7%、地山ブロック（径5～10mm） 7%散在。(＝1－8東西ベルト3層)
3．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物（径5mm） 3～5%、地山ブロック（径5mm） 5～7%散在。(＝1－8東西ベルト7層)
4．地山（＝1－8東西ベルト8層）
5．10YR3.5／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径5mm） 3%、地山ブロック（径5mm） 3%散在。
6．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径7mm） 3%、地山ブロック（径5～10mm） 13%散在。
5～6は柱穴の埋土の可能性がある。

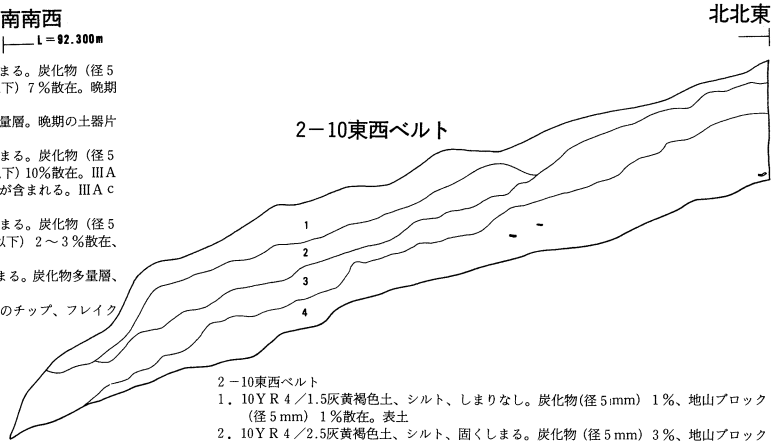
第27図　土層観察ベルト3



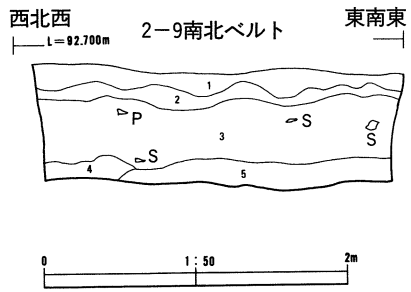


2－7東西ベルト
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、しまりなし。炭化物、地山ブロック（径5mm以下）3％散在。晩期の土器片が多量に含まれる。ⅢAa層
2．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト。地山ブロック（径5mm以下）2％散在。ⅢAa層
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）10%散在。ⅢAb層
4．地山粘土ハイキブロック1とした層、地山粘土ブロックで構成
5．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径3mm以下）1％散在。
6．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）1％、地山ブロック10%散在。ⅢAc層相当か
7．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）1％、焼土粒1％、地山ブロック1％散在。ⅢB上層上部
8．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）1％散在、土器片や径10cm程の中礫が含まれる。
9．10YR4／2灰黄褐色土、炭化物多量層、ⅢB中層
10．10YR5／4にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）1％、地山ブロック（径5mm以下）2～3％散在。
11．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）1％散在。
12．焼土面
13．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。炭化物（径5mm以下）1％散在。
14．記録なし

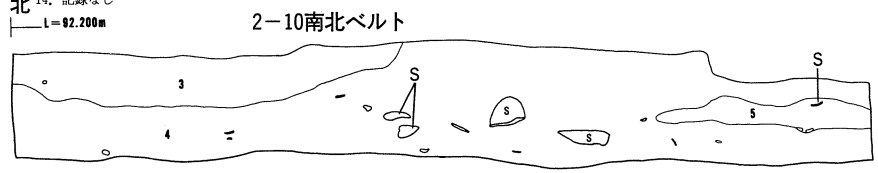
2－7～2－8南北ベルト
1．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）2％、地山ブロック（径5mm以下）7％散在。晩期の土器片が含まれる。ⅢAa層
2．10YR3／2黒褐色土、シルト、炭化物多量層。晩期の土器片が含まれる。ⅢAb層
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）少量、地山ブロック（径5mm以下）10%散在。ⅢAa層より黄色粘土粒が多い。晩期の土器片が含まれる。ⅢAc層
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm以下）少量、地山ブロック（径5mm以下）2～3％散在、後期の土器片が含まれる。ⅢB上層
5．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物多量層、地山ブロック（径5mm以下）1％散在。
ベルト全体に、粘板岩、土器片、剝片石器のチップ、フレイクが多量に含まれる。

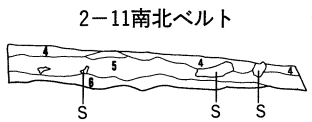


2－10東西ベルト
1．10YR4／1.5灰黄褐色土、シルト、しまりなし。炭化物(径5mm) 1％、地山ブロック（径5mm）1％散在。表土
2．10YR4／2.5灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径5mm）3％、地山ブロック（径5mm）3％散在。
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物(径5～10mm) 4％、地山ブロック（径5mm）7％散在。
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。焼土粒、炭化物(径8mm以下)1％、地山ブロック(径10mm以下) 2～3％散在。



2－9南北ベルト
1．10YR3／2黒褐色土、シルト。地山ブロック少量散在。
2．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト。
3．10YR4／3にぶい黄褐色土、シルト。焼土粒1％、炭化物1％、地山ブロック15%散在。ⅢAc層相当
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。地山ブロック1％散在。
5．10YR6／6明黄褐色土、シルト。地山ブロック15%散在。



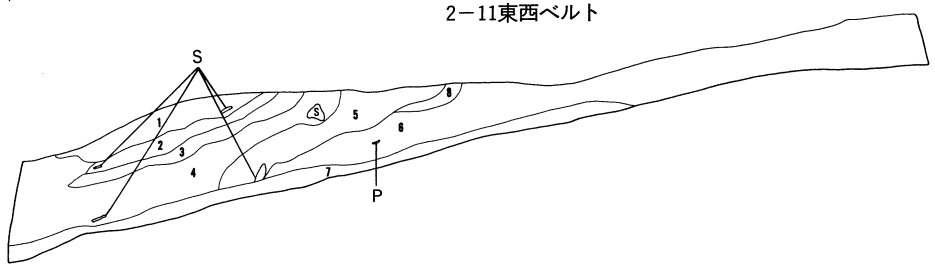


南
2－10～2－11南北ベルト
3．10YR4／2灰黄褐色土、シルト、固くしまる、わずかに粘りあり。炭化物(径5～10mm) 4％、地山ブロック（径5mm）7％散在。(＝2－10東西ベルト3層)
4．10YR4／2灰黄褐色土、シルト。焼土粒、炭化物(径8mm以下)1％、地山ブロック(径10mm以下) 2～3％散在。(＝2－10東西ベルト4層、2－11東西ベルト4層)
5．10YR3／2黒褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒40%、炭化物(径5mm) 1％、地山ブロック（径5mm）7％散在。(＝2－11東西ベルト5層)
この層の最下部に完形の磨製石斧が3本埋納されていた。
6．10YR5／3にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒、炭化物1％散在。地山ブロック（径5mm以下）5％散在。(＝2－11東西ベルト6層)

第28図　土層観察ベルト4

南南西 L＝92.900m　　北北東

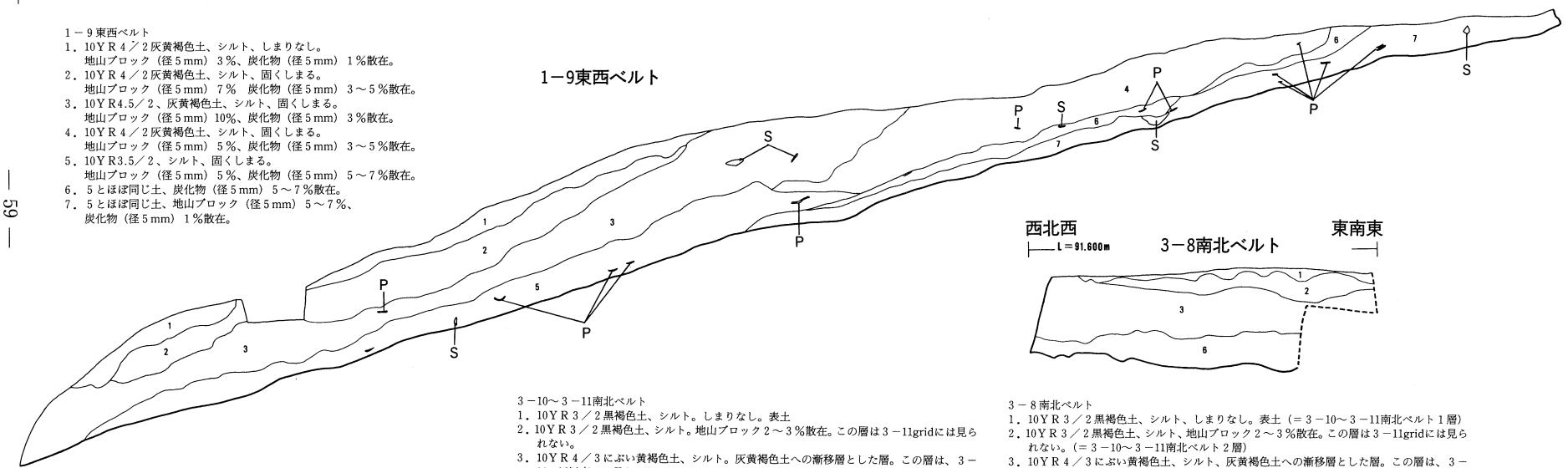
2－11東西ベルト



2－11東西ベルト
1．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５mm) ３％、地山ブロック(径５mm) ５％散在。
2．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物(径５mm) ３～５％、地山ブロック（径５mm) ７％散在。
3．10YR４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物(径５mm) ３％、地山ブロック(径５～20mm) 散在。
4．10YR４／２灰黄褐色土、シルト。焼土粒、炭化物(径８mm以下) １％、地山ブロック(径10mm以下) ２～３％散在。
5．10YR３／２黒褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒40％、炭化物(径５mm) １％、地山ブロック（径５mm) ７％散在。
6．10YR５／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒、炭化物１％散在。地山ブロック（径５mm以下) ５％散在。
7．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる、やや粘りあり。炭化物（径５mm) １％、地山ブロック（径５mm) ３％散在。
8．10YR４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物（径５mm) ３％、地山ブロック（径５mm) ３％散在。

南南西 L＝93.700m　　北北東

1－9東西ベルト



1－9東西ベルト
1．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。
地山ブロック（径５mm) ３％、炭化物（径５mm) １％散在。
2．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径５mm) ７％　炭化物（径５mm) ３～５％散在。
3．10YR4.5／２、灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径５mm) 10%、炭化物（径５mm) ３％散在。
4．10YR４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径５mm) ５％、炭化物（径５mm) ３～５％散在。
5．10YR3.5／２、シルト、固くしまる。
地山ブロック（径５mm) ５％、炭化物（径５mm) ５～７％散在。
6．５とほぼ同じ土、炭化物（径５mm) ５～７％散在。
7．５とほぼ同じ土、地山ブロック（径５mm) ５～７％、炭化物（径５mm) １％散在。

西北西 L＝91.600m　　東南東

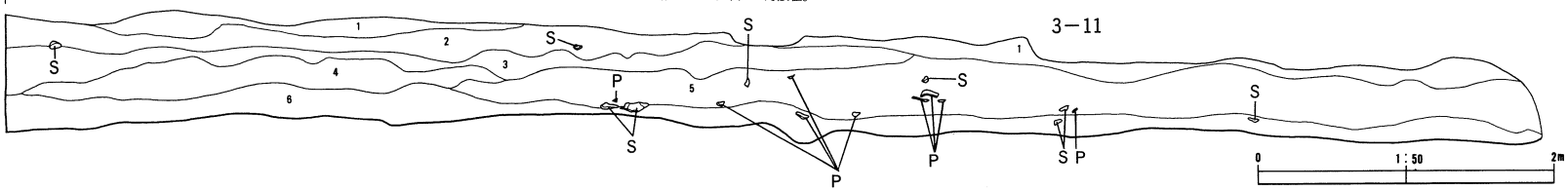
3－8南北ベルト

3－8南北ベルト
1．10YR３／２黒褐色土、シルト、しまりなし。表土（＝３－10～３－11南北ベルト１層）
2．10YR３／２黒褐色土、シルト、地山ブロック２～３％散在。この層は３－11gridには見られない。（＝３－10～３－11南北ベルト２層）
3．10YR４／３にぶい黄褐色土、シルト、灰黄褐色土への漸移層とした層。この層は、３－11glid以南には見られない。（＝３－10～３－11南北ベルト３層）
6．10YR４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒１％、炭化物(径５mm以下) １％、地山ブロック（径５mm以下) １％散在。（＝３－10～３－11南北ベルト６層）

3－10～3－11南北ベルト
1．10YR３／２黒褐色土、シルト。しまりなし。表土
2．10YR３／２黒褐色土、シルト。地山ブロック２～３％散在。この層は３－11gridには見られない。
3．10YR４／３にぶい黄褐色土、シルト。灰黄褐色土への漸移層とした層。この層は、３－11grid以南には見られない。
4．10YR５／４にぶい黄褐色土、シルト。ⅢＡｃ層に相当。この層は２－10gridの北半までしか広がらない。
5．灰黄褐色土＋黒色土
6．10YR４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒１％、炭化物(径５mm以下) １％、地山ブロック（径５mm以下) １％散在。

西北西 L＝91.800m　　東南東

3－10 南北ベルト　　3－11

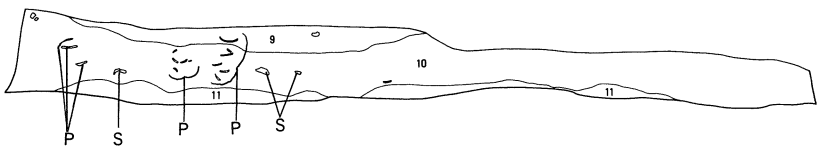


第29図　土層観察ベルト５

西北西 L＝92.200m

1－12南北ベルト

東南東

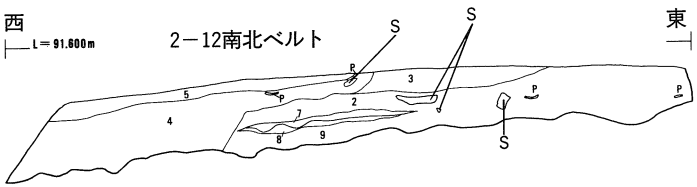


1－12南北ベルト
9．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。（＝２－12東西ベルト９層）
10．10ＹＲ６／４にぶい黄褐色土、非常に固い。地山小ブロック、地山粒と10ＹＲ４／２粘土が混じってできた土か。炭化物、焼土粒１％散在、遺物をほとんど含まない。（＝２－12東西ベルト10層）
11．地山（＝２－12東西ベルト11層）

西 L＝91.600m

2－12南北ベルト

東

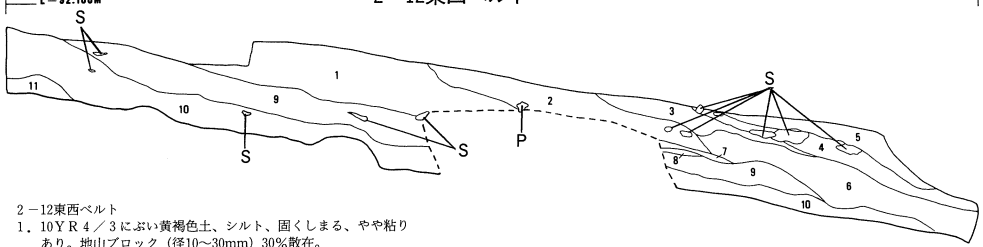


２－12南北ベルト
２．10ＹＲ３／３暗褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径10mm以下）、地山ブロック（径５～10mm）10％散在。（＝２－12東西ベルト２層）
３．10ＹＲ３／２黒褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロック（径５mm以下）３％散在。（＝２－12東西ベルト３層）
４．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。大礫が少量含まれる。（＝２－12東西ベルト４層）
５．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。表土（＝２－12東西ベルト５層）
７．埋土の記録なし（＝２－12東西ベルト７層）
８．焼土が散在、しまりなし、異地性と考えられる。（＝２－12東西ベルト８層）
９．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。（＝２－12東西ベルト６層）

北 L＝92.100m

2－12東西ベルト

南

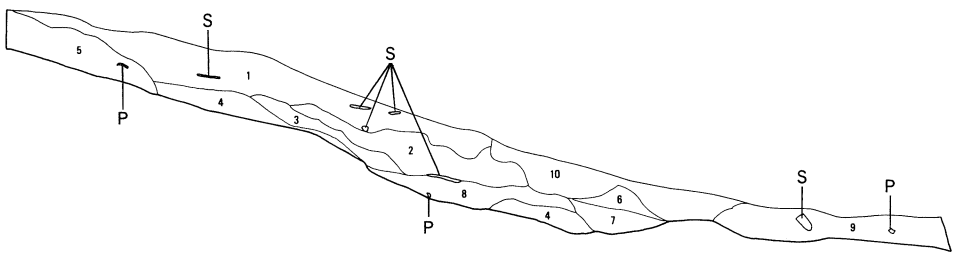


２－12東西ベルト
１．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる、やや粘りあり。地山ブロック（径10～30mm）30％散在。
２．10ＹＲ３／３暗褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径10mm以下）、地山ブロック（径５～10mm）10％散在。
３．10ＹＲ３／２黒褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロック（径５mm以下）３％散在。黒色土として遺物を取り上げた層。
４．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。大礫が少量含まれる。中世末期頃に攪乱を受けたと考えられる。
５．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、しまりなし。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。表土
６．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）３～５％散在。２層とほぼ同時期の堆積と考えられる。
７．埋土の記録なし
８．焼土が散在、しまりなし、異地性と考えられる。
９．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。
10．10ＹＲ６／４にぶい黄褐色土、非常に固い。地山小ブロック、地山粒と、10ＹＲ４／２粘土が混じってできた土か。炭化物、焼土粒１％散在、遺物をほとんど含まない。

北 L＝91.500m

1－14～2－14東西ベルト

南



１－14～２－14東西ベルト
１．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）１％、地山ブロック（径５mm）３％散在。
２．10ＹＲ５／４にぶい黄褐色土、地山ブロック（径10～60mm）主体、土坑などの埋土か。
３．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）１％、地山ブロック（径５～10mm）７％散在。
４．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径10～60mm）25％散在。49号土坑の埋土。
５．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）３％、地山ブロック（径５mm）７％散在。
６．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５～30mm）15％散在。
７．10ＹＲ３／２黒褐色土、シルト、ややしまる。炭化物（径５mm）３％、地山ブロック（径５～10mm）５％散在。50号土坑の埋土。
８．10ＹＲ３／２黒褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）、地山ブロック（径５mm）３％散在。48号土坑埋土、焼土面を含む灰黄褐色土を掘り込んで作られた土坑にＣ２式土器片が含まれる。
９．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、ややしまる。地山ブロック（径５mm）３％散在。
10．10ＹＲ４／３にぶい黄褐色土、シルト、ややしまる。地山ブロック（径５mm）１％散在。土坑の可能性あり。

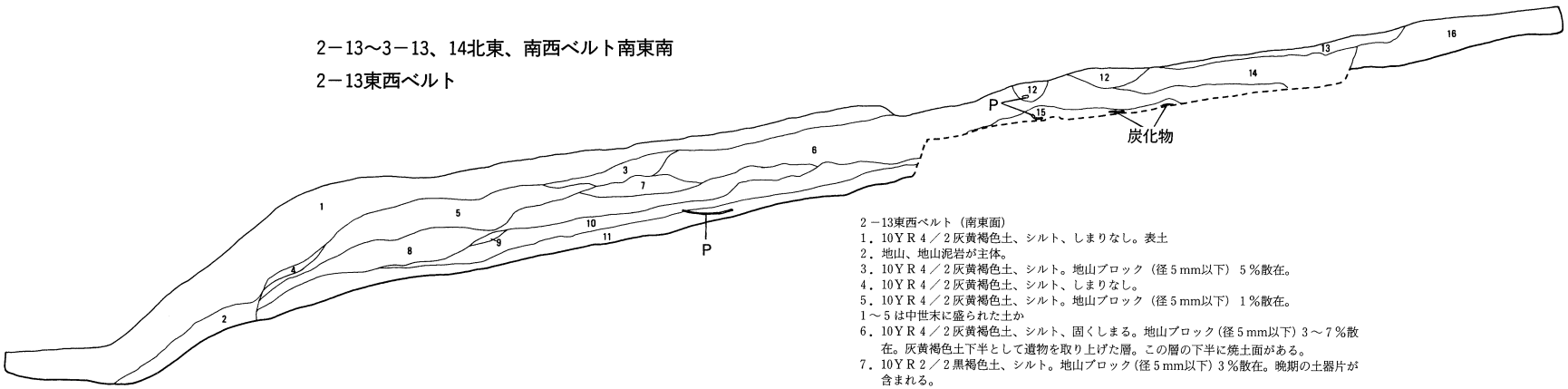
0　1：50　2m

第30図　土層観察ベルト６

南南東
L＝92.700m

北北西

2－13～3－13、14北東、南西ベルト南東南
2－13東西ベルト

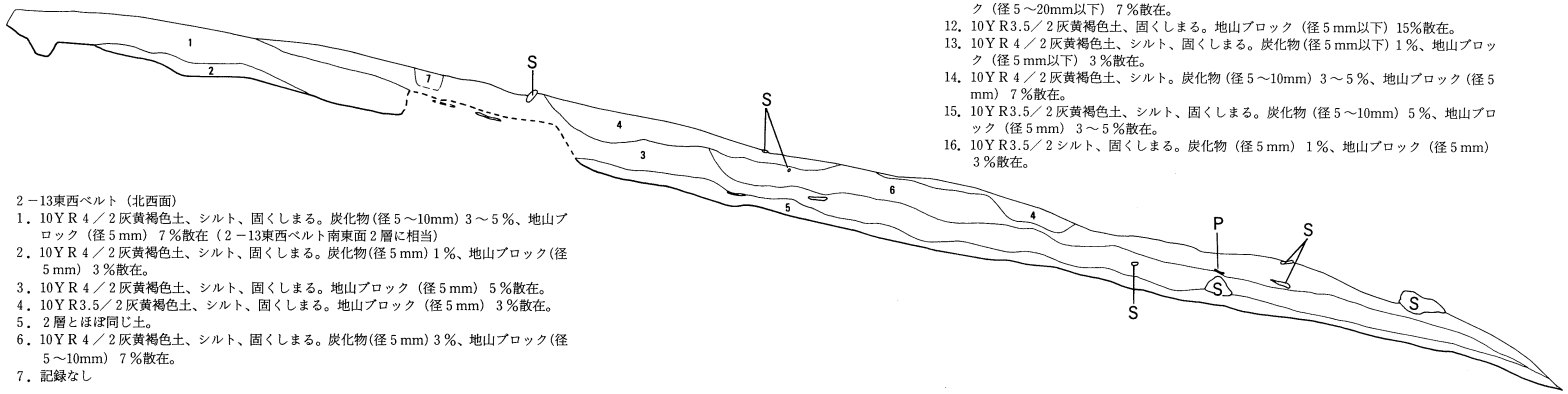


2－13東西ベルト（南東面）
1．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。表土
2．地山、地山泥岩が主体。
3．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）５％散在。
4．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、しまりなし。
5．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）１％散在。
1～５は中世末に盛られた土か
6．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm以下）３～７％散在。灰黄褐色土下半として遺物を取り上げた層。この層の下半に焼土面がある。
7．10ＹＲ２／２黒褐色土、シルト。地山ブロック（径５mm以下）３％散在。晩期の土器片が含まれる。
8．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒１％、地山ブロック（径５mm以下）７～10％散在。
9．埋土の記録なし
10．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。焼土粒１％、地山ブロック（径５mm以下）３～５％散在。
11．10ＹＲ５／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm以下）３％、地山ブロック（径５～20mm以下）７％散在。
12．10ＹＲ3.5／２灰黄褐色土、固くしまる。地山ブロック（径５mm以下）15％散在。
13．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm以下）１％、地山ブロック（径５mm以下）３％散在。
14．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト。炭化物（径５～10mm）３～５％、地山ブロック（径５mm）７％散在。
15．10ＹＲ3.5／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５～10mm）５％、地山ブロック（径５mm）３～５％散在。
16．10ＹＲ3.5／２シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）１％、地山ブロック（径５mm）３％散在。

北東
L＝92.600m

2－13東西ベルト（北西面）

南西



2－13東西ベルト（北西面）
1．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５～10mm）３～５％、地山ブロック（径５mm）７％散在（２－13東西ベルト南東面２層に相当）
2．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）１％、地山ブロック（径５mm）３％散在。
3．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm）５％散在。
4．10ＹＲ3.5／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。地山ブロック（径５mm）３％散在。
5．２層とほぼ同じ土。
6．10ＹＲ４／２灰黄褐色土、シルト、固くしまる。炭化物（径５mm）３％、地山ブロック（径５～10mm）７％散在。
7．記録なし

第31図　土層観察ベルト７

0　1:50　2m

第2表　遺構名変更一覧　No. 1

旧遺構名	新遺構名	旧遺構名	新遺構名
2－12－SI1	1号住居跡	1－12－P3	32号土坑
2－13－SI1	2号住居跡	1－12－P1	33号土坑
1－11－SI状	1号住居状遺構	2－12－P1	34号土坑
1－14－SI状	2号住居状遺構	2－12－P2	35号土坑
1－1－P1	1号土坑	1－12－P4	36号土坑
1－2－P4	2号土坑	0－13－溝	37号土坑
1－2－P1	3号土坑	1－13－P1	38号土坑
1－2－P5	4号土坑	2－13－SI1－P1	39号土坑
1－2－P2	5号土坑	1－13－P2	40号土坑
2－2－P3	6号土坑	2－13－P1	41号土坑
2－2－P2	7号土坑	2－13－P2	42号土坑
2－2－P1	8号土坑	2－13－P1	43号土坑
1－3－P3	9号土坑	1－14－P1	44号土坑
2－3－P1	10号土坑	2－15－P1	45号土坑
1－6－P1	11号土坑	2－17－P1	46号土坑
2－6－P1	12号土坑	2－17－P2	47号土坑
0－6－P1	13号土坑	2－14－P1	48号土坑
0－7－P2	14号土坑	2－14－P2	49号土坑
0－7－P1	15号土坑	2－14－P3	50号土坑
1－8－P1	16号土坑	2－1－石皿埋設	1号配石遺構
2－8－P2	17号土坑	1－1－配石1	2号配石遺構
2－9－P1	18号土坑	1－2－大配石	3号配石遺構
1－9－P1	19号土坑	1－3－巨礫埋設	4号配石遺構
1－9－P3	20号土坑	1－4－配石No. 1	5号配石遺構
3－9－P2	21号土坑	1－7－配石No. 1	6号配石遺構
3－9－P1	22号土坑	2－8－P1	7号配石遺構
2－10－P1	23号土坑	1－9－配石No. 1	8号配石遺構
1－11－P1	24号土坑	1－2－焼土No. 1	1号焼土遺構
1－11－P2	25号土坑	1－4－焼土No. 3	2号焼土遺構
2－11－P3	26号土坑	1－4－焼土No. 2	3号焼土遺構
2－10－P2	27号土坑	1－4－焼土No. 1	4号焼土遺構
2－11－P1	28号土坑	1－5－焼土No. 2	5号焼土遺構
2－11－P2	29号土坑	2－5－焼土No. 1	6号焼土遺構
0－11－溝1	30号土坑	2－6－焼土No. 1	7号焼土遺構
1－12－P2	31号土坑	2－6－焼土No. 2	8号焼土遺構

遺構名変更一覧　No. 2

旧　遺　構　名	新　遺　構　名	旧　遺　構　名	新　遺　構　名
1－7－焼土No. 1	9号焼土遺構	1－7－PP6	18号柱穴
1－8－焼土No. 1	10号焼土遺構	1－7－PP7	19号柱穴
1－8－焼土No. 2	11号焼土遺構	0－7－PP6	20号柱穴
1－8－焼土No. 3	12号焼土遺構	0－7－PP2	21号柱穴
1－9－焼土No. 2	13号焼土遺構	1－7－PP1	22号柱穴
1－9－焼土No. 1	14号焼土遺構	0－7－PP4	23号柱穴
2－9－焼土No. 4	15号焼土遺構	0－8－PP8	24号柱穴
2－9－焼土No. 1	16号焼土遺構	0－7－PP1	25号柱穴
2－9－焼土No. 2	17号焼土遺構	0－7－PP7	26号柱穴
2－9－焼土No. 3	18号焼土遺構	1－7－PP2	27号柱穴
2－9－焼土No. 5	19号焼土遺構	1－7－PP3	28号柱穴
2－9－焼土No. 6	20号焼土遺構	1－7－PP4	29号柱穴
大焼土面	21号焼土遺構	0－8－PP6	30号柱穴
1－5－焼土No. 1	1号埋設土器	0－8－PP7	31号柱穴
1－6－P1	2号埋設土器	0－8－PP15	32号柱穴
1－6－P2	3号埋設土器	0－8－PP13	33号柱穴
1－8－埋設土器	4号埋設土器	0－8－PP14	34号柱穴
2－14－埋設土器No. 1	5号埋設土器	0－8－PP9	35号柱穴
1－2－PP1	1号柱穴	1－8－PP2	36号柱穴
0－4－PP1	2号柱穴	1－8－PP1	37号柱穴
0－5－PP2	3号柱穴	1－7－PP9	38号柱穴
1－5－PP1	4号柱穴	0－8－PP4	39号柱穴
1－5－PP2	5号柱穴	0－8－PP10	40号柱穴
0－5－PP1	6号柱穴	0－8－PP16	41号柱穴
0－5－PP5	7号柱穴	0－8－PP18	42号柱穴
0－5－PP3	8号柱穴	0－8－PP5	43号柱穴
0－5－PP4	9号柱穴	0－8－PP3	44号柱穴
0－6－PP1	10号柱穴	0－8－PP17	45号柱穴
0－6－PP2	11号柱穴	0－8－PP11	46号柱穴
0－6－PP3	12号柱穴	0－7－PP12	47号柱穴
0－6－PP4	13号柱穴	1－8－PP3	48号柱穴
0－7－PP5	14号柱穴	3－9－PP1	49号柱穴
1－7－PP8	15号柱穴	0－8－PP2	50号柱穴
0－7－PP3	16号柱穴	0－8－PP1	51号柱穴
1－7－PP5	17号柱穴	0－9－PP2	52号柱穴

遺構名変更一覧　No.3

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
0－9－PP3	53号柱穴	0－10－PP13	88号柱穴
0－9－PP4	54号柱穴	1－11－PP9	89号柱穴
0－9－PP6	55号柱穴	1－11－PP2	90号柱穴
1－9－PP1	56号柱穴	1－11－PP15	91号柱穴
1－9－P2	57号柱穴	1－11－PP7	92号柱穴
1－9－PP2	58号柱穴	1－11－PP6	93号柱穴
1－9－PP3	59号柱穴	1－11－PP4	94号柱穴
1－9－PP7	60号柱穴	1－11－PP3	95号柱穴
1－9－PP6	61号柱穴	1－11－PP12	96号柱穴
1－9－PP8	62号柱穴	2－11－PP3	97号柱穴
0－9－PP5	63号柱穴	0－11－PP3	98号柱穴
0－9－PP1	64号柱穴	0－11－PP1	99号柱穴
1－9－PP4	65号柱穴	0－11－PP2	100号柱穴
1－9－PP5	66号柱穴	1－11－PP13	101号柱穴
0－10－PP15	67号柱穴	1－11－PP14	102号柱穴
0－10－PP7	68号柱穴	1－11－PP5	103号柱穴
0－10－PP18	69号柱穴	1－11－PP1	104号柱穴
0－10－PP12	70号柱穴	0－12－PP7	105号柱穴
0－10－PP5	71号柱穴	0－12－PP4	106号柱穴
0－10－PP6	72号柱穴	0－12－PP6	107号柱穴
0－10－PP11	73号柱穴	0－12－PP2	108号柱穴
0－10－PP1	74号柱穴	0－12－PP3	109号柱穴
0－10－PP14	75号柱穴	0－12－PP1	110号柱穴
0－10－PP2	76号柱穴	0－12－PP5	111号柱穴
0－10－PP3	77号柱穴	0－12－PP8	112号柱穴
1－10－PP2	78号柱穴	0－13－PP6	113号柱穴
1－10－PP3	79号柱穴	0－13－PP5	114号柱穴
1－10－PP4	80号柱穴	0－13－PP4	115号柱穴
1－10－PP1	81号柱穴	0－13－PP1	116号柱穴
0－10－PP17	82号柱穴	0－13－PP7	117号柱穴
0－10－PP4	83号柱穴	1－12－PP1	118号柱穴
0－10－PP16	84号柱穴	2－13－PP2	119号柱穴
0－10－PP9	85号柱穴	2－13－PP1	120号柱穴
0－10－PP10	86号柱穴	2－13－PP10	121号柱穴
0－10－PP8	87号柱穴	2－13－PP12	122号柱穴

遺構名変更一覧　No.4

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
2－13－PP8	123号柱穴	2－1～2－2南北ベルト2層	3層
2－13－PP7	124号柱穴	2－1～2－2南北ベルト1層	4層
2－13－PP6	125号柱穴	2－4南北ベルトB表土	1層
2－13－PP11	126号柱穴	2－4南北ベルトB　1層	2層
2－13－PP13	127号柱穴	2－4南北ベルトB　2層	3層
2－13－PP4	128号柱穴	2－4南北ベルトB　3層	4層
2－13－PP3	129号柱穴	2－4南北ベルトB　4層	5層
2－13－PP9	130号柱穴	2－4南北ベルトB　5層	6層
2－13－PP5	131号柱穴	2－4南北ベルトB　6層	7層
1－14－PP4	132号柱穴	2－4南北ベルトB　7層	8層
1－14－PP1	133号柱穴	2－4南北ベルトB　9層	10層
1－14－PP5	134号柱穴	2－12南北ベルトA(96)	1－12－南北ベルト
1－14－PP2	135号柱穴	2－12南北ベルトA(96)1層	9層
1－14－PP3	136号柱穴	2－12南北ベルトA(96)2層	10層
0－13－PP2	137号柱穴	2－12南北ベルトA(96)3層	11層
0－13－PP3	138号柱穴	2－12東西ベルト(95)1層	2－12南北ベルト5層
1－6－PP1	139号柱穴	2－12東西ベルト(95)4層	2－12南北ベルト2層
1－11－P1	140号柱穴	2－12東西ベルト(95)3層	2－12南北ベルト3層
2－13東西ベルト（南東面）		2－12東西ベルト(95)2層	2－12南北ベルト4層
2－13東西ベルト（南東面）③層	13層	2－12東西ベルト(95)6層	2－12南北ベルト8層
2－13東西ベルト（南東面）⑤層	12層	2－12東西ベルト(95)7層	2－12南北ベルト9層
2－13東西ベルト（南東面）④層	6層	2－12東西ベルト(95)5層	2－12南北ベルト7層
2－13東西ベルト（南東面）⑥層	15層	2－12南北ベルトB(96)1層	2－12南北ベルト2層
2－13東西ベルト（南東面）①層	16層	2－12南北ベルトB(96)0層	2－12南北ベルト2層
2－13東西ベルト(南東面)⑦⑧層	8層		
2－4南北ベルトB2層	3層		
2－4南北ベルトB3層	4層		
2－4南北ベルトB4層	5層		
2－4南北ベルトB5層	6層		
2－4南北ベルトB8層	9層		
2－4南北ベルトB9層	10層		
2－11東西ベルト9層	8層		
2－1～2－2南北ベルト			
2－1～2－2南北ベルト4層	1層		
2－1～2－2南北ベルト3層	2層		

V　出土遺物

包含層からの出土遺物の総量は、コンテナ（42×32×30 cm）で 260 箱である。内訳は土器・土製品が 220 箱、石器・石製品が 40 箱である。遺構から出土した遺物は少なく、大半は「捨て場」に土と同時に廃棄されたものである。遺物量が多く、層位・グリッドごとの正確な出土量の把握はできなかったが、ⅢA・ⅢB層、灰黄褐色土層、黒褐色土層、各ベルトの縄文後期・晩期の層からの出土が多く、表土Ⅰ・Ⅱ層からの出土は比較的少ない印象がある。また焼土遺構からの出土量は、他の包含層と比較して変化は見られない。

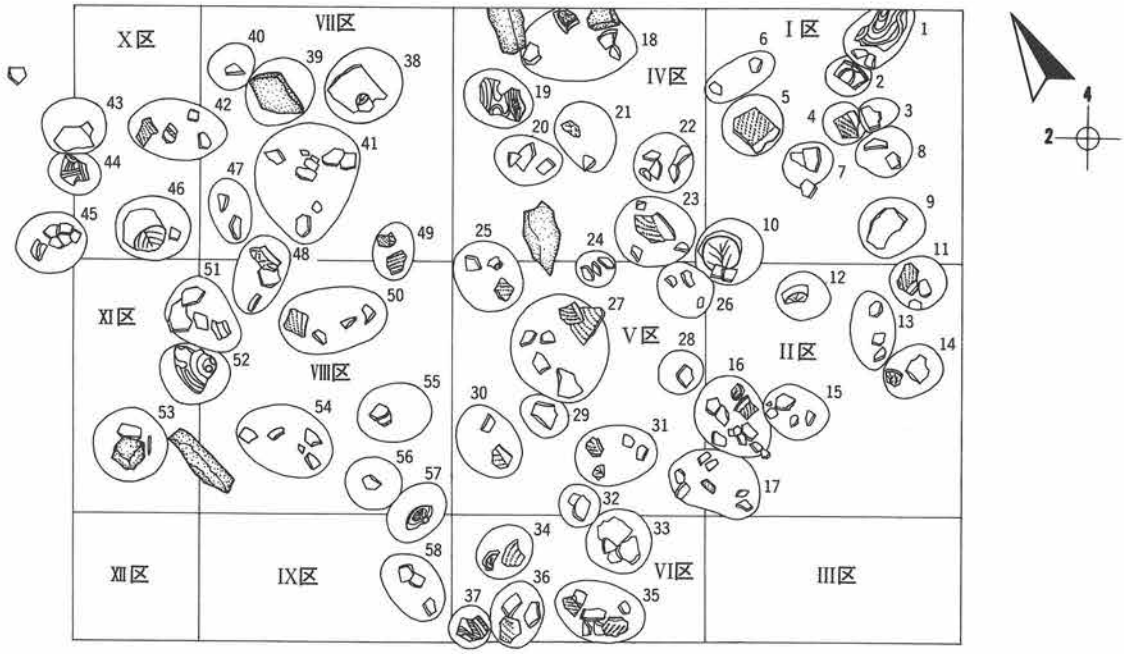
種類には、土器、陶磁器、土製品、石器、石製品、骨角器、古銭、羽口、鉄滓、自然遺物がある。

1．縄文土器（第 33 図～第 104 図・1～2453）

出土総量は約 4,400 kg で、グリッドごとの出土量は剝片・土偶・円盤状土製品・磨製石斧の出土分布とほぼ一致する。5 × 5 m のグリッドごとに上部・中部・下部等に分けて取り上げた。グリッドによってはA～D区に四分して取り上げた所もある。土層観察用のベルトは上部から 1，2，3 層と分けて取り上げた。掲載にあたっては時期ごとの分類は行わず、遺構内出土、遺構外出土の順とし、1－1→2－1→3－1グリッド→2－1→2－2→2－3と斜面の上部から下部へ、また調査区の北西から南東の順に掲載した。層位は各グリッドとも上層から下層の順に掲載した。

掲載選択の基準は、各層が複数の時期の土器を包含しているため、すべての時期を網羅し、時期ごとの出土量の割合に比例するよう努めた。

器種は深鉢が最も多く、他の同時期の遺跡と大きな変化はない。特徴としては、蓋形土器、注口の出土が比較的多いことである。（注口土器出土分図は、注口部分のみ数えたため実際は 151 個を上回る）蓋形土器は、対応する鉢等が出土していないこと、煤の付着・熱を受けた痕跡が見られないことから現代の蓋と同様に使用されたのか疑問が残る。



第32図　遺物出土状況

底部資料（2407～2453）は、網代痕・木葉痕の模様の代表的なものを掲載した。人為的な穿孔の痕があるもの、周辺を打ち欠き、木の葉型の製品？を作ろうとしたもの、数種類の葉・網代を利用したもの、砂底の可能性があるものを選択した。網代痕と木葉痕の出土の割合は、第3表の縄文土器底部資料グリッド別文様比較を参照されたい。

後期初頭から前葉にかけての土器は、岩手県大迫町の立石遺跡の第III群土器に類似し、後期中葉の土器は同IV類に類似するが、当遺跡では、蓋付壺の出土は見られなかった。東北北部の形式では、十腰内Ⅰ～III群に比定される。

晩期の土器は大洞BC～A′式すべての土器が出土している。土器の大部分は破損後に廃棄されたらしく、実測した土器も完全に復元できたものは少なく、個体の1/3程度にとどまるものが大部分であった。残りの部分は、調査区外に広がる「捨て場」に廃棄されたと考えられる。この様相は、他の土偶、石器、石製品にも共通である。

土器の保存状況は、県南の同時期の遺跡と同様に、表裏・欠け口の磨滅がひどく接合に苦心した。焼土遺構から出土したものの中には、比較的保存状態の良いものが見られた。

2．土製品（第185図～第208図・1～352）

土製品には土偶、円盤状土製品、土版、鐸状土製品、耳飾り、腕輪状土製品、スプーン状土製品、土錘、土面等がある。出土量の多い土偶、円盤状土製品をまとめ、その他の土製品については一括して述べる。

土偶（第191～第208図・146～352）

遺構から1点、包含層から205点が出土している。時期的には後期の土偶と晩期の土偶に分けられる。完形品は1点もなく、197、230、270、271、286、320、339、340の8点は中空土偶で、270、271には、ほぼ全体に朱が付着している。147、198、225、228、233、256、261、271、287、296、299、306、327、333の14点には、破損部分にアスファルトによる補修の痕が残っている。立像ではない土偶は160、181、203、261、298、329？、352の6点で座った姿勢で腕を組んでいる可能性がある。160には焼成時に何かに載せたのか、正方形と推定される痕が残っている。また、160、176、245、270、301には成形時か焼成時に固定するためか、股間に串刺し状の穴が見られる。190、225、239、262、282、313、318には髪を結った状態が、185、282、313には、刺青あるいは化粧？の様子が表現されており、興味深い。181、249、348は衣服を表現した可能性がある。

円盤状土製品（第185図～第186図・1～65）

包含層から266点が出土している。いずれも土器破片の周辺を、打ち欠くか研磨して製作されている。時期的には、後期のものと晩期のものがあり、晩期のものが全体に薄手である。中央部に穿孔されているものは20点あり、残存状態の良いものの計測値は、長径が最大7.3cm、最小2.2cm、平均4.20cm、重量が最大61.54g、最小が2.29g、平均15.35g、厚さが最大1.2cm、最小が、0.4cm、平均が0.66cmである。

この他の土製品（第187図～第190図・66～145）

上記以外の土製品を一括した。66～74が鐸状土製品で70、72、73には沈線、71には刺突で文様が施されている。75～81は腕輪状土製品で77には斜行縄文がわずかに残っている。

82～83 は土版で沈線と刺突による文様が施され、2 点とも穿孔がある。84～90 は使途不明の製品である。84 は皮袋のミニチュアか。。85 は石斧を模した土製品と考えられ、斜行縄文が施されている。
86 はクルミ大の製品で全体に亀裂が入っている。88 はボタン状の製品でうずまき状の文様が施されている。89～91 は環状土製品で 89 には沈線と刺突、90 には沈線で文様が施されている。
92～94 はスプーン状土製品と考えられるが、柄の部分は失われている。95～96 は使途不明の製品で、2 点とも一端が破損している。
97 は土面で眉・鼻梁・眼窩は隆帯・沈線で表現されている。98 は人面付土器（注口土器か？）の一部である可能性がある。

99～101 はイノシシ型の土製品で 100 は口から肛門まで貫通孔がある。101 は中空になっており、先の 2 点とは異なる製品である可能性が高い。102～104 は土玉で形態は微妙に異なる。

105～128 は耳飾りで 105、120、123、126、127、128 以外は貫通孔がある。106、107、112、121、124、125 には朱が付着している。117 には三叉文、123 には刺突、127 には沈線で文様が施されている。129～144 は土錘で 131、133、134、136、140、145 には円形の貫通孔が、144 にはU字形の貫通孔がある。網に固定するための溝は一文字、十文字の 2 種類があるが、用途あるいは時期の差によるものであろうか。後述するが、石錘が 4 点・コイ科魚類の骨・アオザメの歯が出土しており、イノシシ・シカの狩猟の他、北上川や周辺の沼での漁労生活が想定される。

3．石器・石製品（第 143 図～第 184 図・ 1 ～404、 1 ～100）

出土した石器・石製品の総量は（42×32×30 cm）で 40 箱、総数は 10,000 点を超える。（これらは使用痕の認められない剝片、破損や風化の激しい礫石器等を除いた点数である）整理期間の都合で、一部の不定形石器等は登録しなかったため、実際の石器の出土数はさらに増える。10,000 点余りの登録の中で、定形石器として石鏃、石錐、石匙、尖頭器に分け、これら以外の剝片石器は不定形石器として扱った。また全面が加工成形された石器は異形石器として分類した。礫石器、石核石器は形態、使用痕によって磨製石斧、打製石斧（石鍬）、磨石、敲石、凹石、抉入石器、砥石、石皿等に分類した。

掲載の選択基準は、各器種を形態により分類し、代表的なもの、より完形に近いものを 405 点掲載した。器種別の出土数は、石鏃 8071 点、石錐 810 点、石匙 138 点、尖頭器？3 点、削掻器 199 点、石斧 257 点(磨製石斧 167 点•打製石斧•石鍬 43 点)、異形石器 2 点、Uフレイク 3 点、不定形石器 2 点、砥石 30 点、磨石 295 点、敲石 145 点、凹石 126 点が出土している。なお、破損品が多く全体の形状が不明なものが多い石棒、石剣、石刀は一括して石棒・石剣類とした。

石鏃（第 143 図～148 図・ 1 ～208）

総数 8071 点が出土しており、全石器中の割合は 77 %で最も多い。茎の有無と基部の形状から分類可能な 5896 点について 8 種類に細分した。出土数は 1 類が 1787 点、2 類が 307 点、3 類が 800 点、4 類が 878 点、5 類が 1398 点、6 類が 405 点、7 類が 28 点、8 類が 298 点である。

1 類は、凹基無茎鏃でａ～ｅに細分した。１ａは抉りが円形で・全長の 1/2 を超える深さのもの、１ｂは抉りが円形・全長の 1/2 前後のもの、１ｃは抉りが円形・ごくわずかのもの、１ｄは抉りがV字・全長の 1/2 前後のもの、１ｅは抉りがごくわずかで直線状のもの。

2 類は、平基無茎鏃で、ａ～ｃに細分した。２ａは基部が画鋭角的なもの、２ｂは丸みを帯びたもの、２ｃ

は形状が2等辺三角形状のもの。

3類は、凹基有茎鏃で、a～bに細分した。3aは形状が正三角形状のもの、3bは二等辺三角形状のもの。

4類は、平基有茎鏃で、a～bに細分した。4aは形状が正三角形状のもの、4bは二等辺三角形状のもの。

5類は、凸基有茎鏃で、a～bに細分した。5aは形状が正三角形状のもの、5bは二等辺三角形状のもの。

6類は、凸基無茎鏃で、菱形を呈する。

7類は、凸基無茎鏃で、紡錘形を呈する。

8類は、円基鏃である。

石錐（第148図～第150図・215～264）

総数810点が出土しており、3種類に細分した。

1類はつまみの作りがはっきりしたもの。

2類はつかみの作りがはっきりしないもの。

3類は両端が錐として利用されているもの。いずれも剝片を利用製作されたものである。

異形石器（第148図・208～214）

総数6点が出土しており、全点を掲載した。210は特殊な石鏃の可能性が考えられる。212～214は嘴状石器と呼ばれているが、削掻器の一種なのか用途は不明である。

削掻器（第150図～第151図・266～276）

総数199点が出土しているが、削器と掻器の細分は行わなかった。石器の全周、あるいは2辺に刃部が形成され、つまみのないものを削掻器として分類した。265～272、275刃全周に加工が見られる。
265は法量が突出しており、形態も他と異なることから石槍とする方が、妥当かもしれない。

石匙（第151図～第154図・277～306）

総数138点が出土しており、形状から3種類に細分した。出土数は1類が41点、2類が49点、3類が9点である。

1類は形状が横長のもの。

2類は形状が縦長のもの。

3類は形状が縦横同寸に近いもの。

抉入石器（第154図・307～309）

総数3点が出土している。抉りの部分は断面図からわかるように、摩耗して丸みを帯びている。
石棒・石剣・石刀等の研磨に使用された可能性がある。

磨製石斧（第155図～第156図・310～337）

総数167点が出土している。

完形品は、埋納されたと考えられる 310～312 のみで、他は使用による破損が見られる。破損後に再加工されているもの（316）、凹石のように再利用されているもの（318、324、330）が見られる。また 328 は未製品である可能性が高い。

333～337 は小型の石斧でのみのような用途を持っていた、あるいは祭祀に使用された可能性がある。

打製石斧・石鍬（第 157～159 図・338～352）

三味線の撥形、あるいは括れを持つ長方形の石器である。土掘りに使用された石器と捉え、加工痕の少ないもの（350、351）もここに分類した。大部分は木の枝等に固定し使用されたと考えられるが、345 は両端に刃部の加工があり、手で直接持って使用した可能性がある。出土したものの大部分に使用による破損が見られるが、実用品と考えられる。352 は刃部の成形が不十分で、法量が突出していることから祭祀などに使用された可能性がある。表土からⅢA層の出土が多い。

凹石・磨石・敲石（第 160～第 165 図・353～385）

自然礫を利用し、植物や顔料などを「擦る、敲く、潰す」等の機能を持った石器である。使用痕によって機能分類されるが、ひとつの石器が複数の機能を有する場合が多く、正確な分類はできなかった。使用による磨滅や破損に応じて、転用されることがしばしばあったと考えられる。

総数は 566 点が出土しているが、残存部のわずかなものは登録しなかったため、実際の使用数はさらに多かったと推定される。

364 には、植物の汁？と推定される変色の痕が、380 には火熱を受けた痕が、384 には朱の付着が見られる。また 372、377 に類似した大きさ、擦り・敲き痕のある石器が多数出土し、同様の大きさ・石質で未使用の礫が、調査区に相当数持ち込まれていたことから、特定の使用目的があった可能性がある。

石皿（第 166 図～第 172 図・387～400）

5 号配石遺構から出土した 387 以外は、すべて包含層からの出土で総数 88 点を数える。打製石斧同様表土からⅢA層の出土が多い。形態による分類は行っていないが、縁・脚の作り出しがはっきりしたもの、火熱を受けたもの等特徴のあるものを掲載した。完形品は 1 点もない。390、395 は黒色の部分の部位から、破損後に火熱を受けたと推定される。397 は出土した中で唯一使用面が中高のものである。

砥石（第 172 図～173 図・399～404）

総数は 30 点が出土しているが、使用痕が比較的、太い溝状になっているもの、細い線状のものに 2 分され、各々数点を掲載した。砥石としての用途が異なっていたと推定される。太い溝状のものは磨製石斧等に使用されたのだろうか。

石製品（第 174 図～184 図・ 1～100）

石製品には、硬玉、垂飾品、抉状耳飾り、有孔石製品、岩板、石錘、独鈷石形石製品、その他使途不明の石製品、石棒・石剣・石刀がある。硬玉は 1－1、1－2、2－1 グリッドからまとまって出土しており、墓壙の副葬品であったものが、遺構の上部崩壊によって、包含層中に流出した可能性が考えられる。1～10 に破損はほとんど見られない。

18は抉状の耳飾りの未製品と考えられる。11～32(12、20、21は除く)は有孔石製品で、12、20、21と合わせ装飾品である可能性が高い。23、25、28は穿孔の途中で放棄されたものかも知れない。32は石錘である可能性がある。33～38は岩板で、線刻により文様が施されている。33は、ほぼ完形品だが、34～38は破損している。34には黒色付着物が見られる。40～43は石錘で、43以外には黒色付着物が見られる。網に固定した痕と考えられる。39、44～48、50～55は使途不明の製品である。44～48(46は除く)は自然礫に鋭い、あるいはゆるやかな切り込みを入れたもので、46は研磨により円盤状に加工している。49は小型の石棒類か？　50、51は舌状を呈する製品で51は、側面に溝が掘られている。51は釘状を呈するが使途は不明である。52は独鈷石形石製品で、両端が破損している。54は完形品で、3本の線刻が施されている。55は下半に磨石状の使用痕があり、特殊磨石に分類した。56～58は他の石棒類とは、形態が異なるため特殊石器として分類した。59～64は、総数25が出土している。いずれも周辺を打ち欠き、中には研磨したものも見られる。
65～100は石棒類で、67、70がほぼ完形の他は、すべて破損している。敲打と研磨により、成形され刀身(72、77、97)、柄(88、100)に線刻を施したものが見られる。

4．獣骨(第184図・1～4)

骨角器が4点出土している。すべてが破損しているため、使途は不明だが、1は種名・部位は不明で装飾品の可能性がある。2～4は環状の製品の一部らしく、内側に加工痕が見られる。2はイノシシの右大腿骨、3～4は鹿角を使用している。獣骨の出土量は約3,300gでグリッド・層位による出土量の大きな差は見られない。資料のすべてに熱を受けた痕跡が見られる。出土した種名・部位は、イノシシ、タヌキ？の骨、シカの骨・角、種不明の鳥類の骨、コイ科の魚類の骨、アオザメの歯(写真図版158)、大型哺乳類の環椎(写真図版158)等である。同定可能な資料は96点あったが、イノシシが58点を占め、中でも骨が未ゆ合の状態にある幼獣が多いのが特徴である。

5．炭化物(図版・写真図版なし)

調査区のほぼ全域から炭化物が出土している。出土状況は、土器・石器・焼土・廃棄された土に混じって出土しており、特に偏りは見られない。日常の炉の使用や土器製作時にできたものが、廃棄されたと考えられる。樹種が判明したものではクリが大部分を占め、ナラ、スギ、雑木が多少検出されている。また、1－2、2－2、1－3のⅢB中層には、針葉樹(節を含む)が集中している。

焼失住居(2号住居跡)の炭化材については、前述したとおり大部分をナラが占めている。

6．水晶(写真図版158)

目立った加工痕は見られないが、水晶の結晶が5点出土している。産地は特定できなかったが、垂飾り品等の加工を目的に、搬入されたと推定される。写真はすべて原寸である。

7．焼粘土塊(写真図版156)

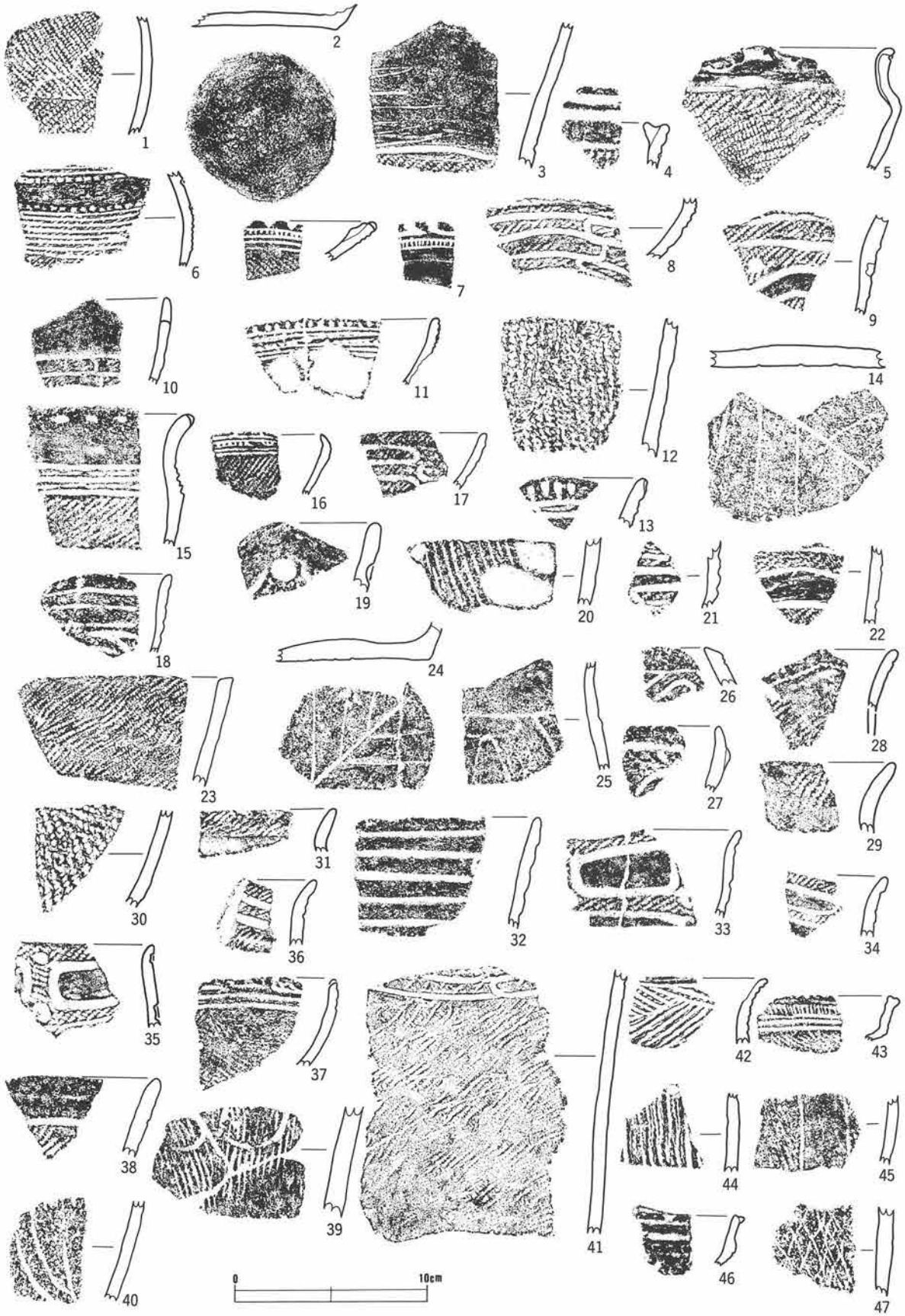
総数303点、総重量1627.75gが出土している。形態は不整形な塊状のものが大部分だが、2、6、10、13、14は板状を呈し、2には縄目？、6には板状のもの？と推定される圧痕が見られる。使途は不明だが、住居の床・壁に使用された可能性も考えられる。全体に土器・土製品より焼成が弱いのが特徴である。

8．アスファルト付き土器（写真図版157）

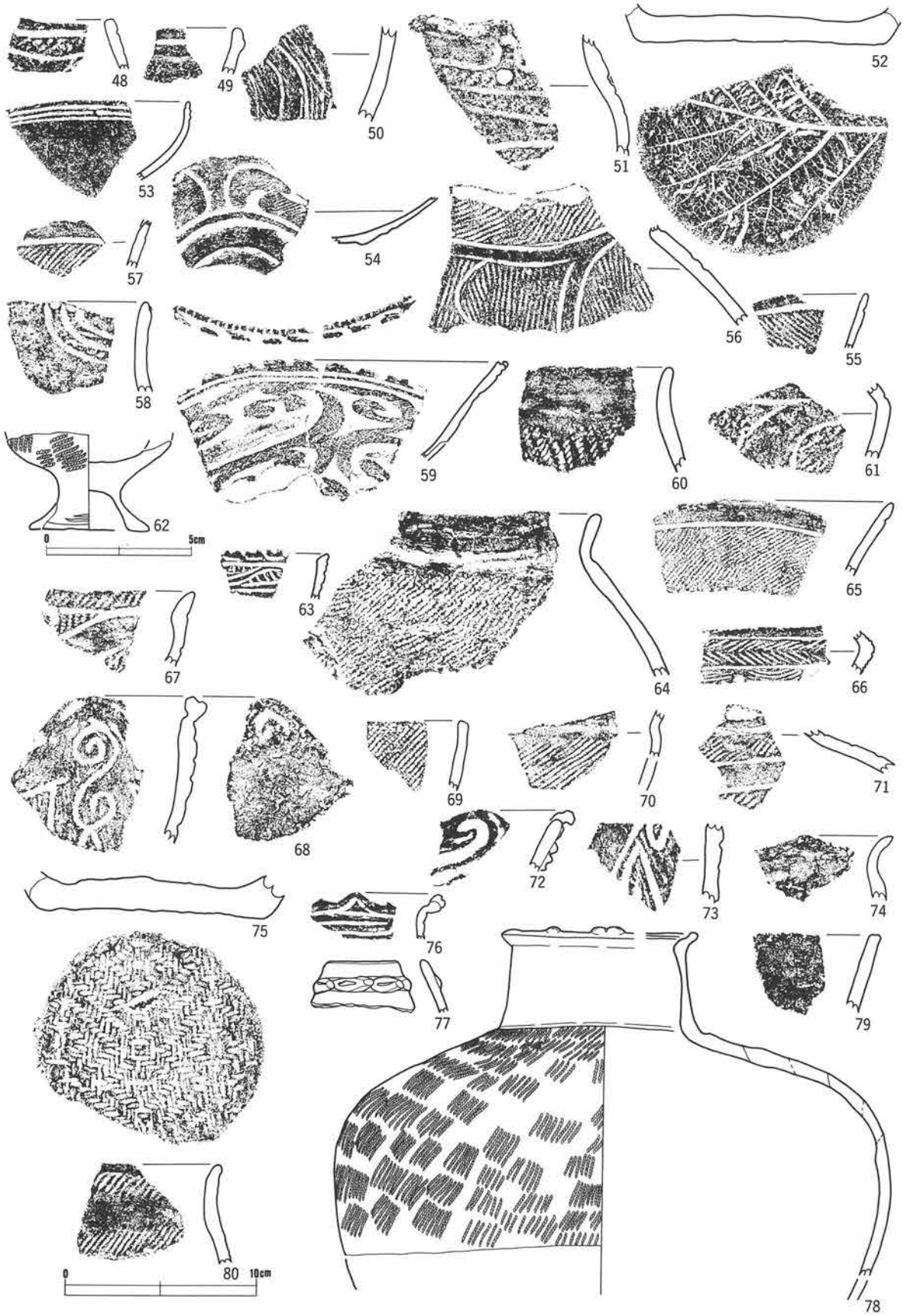
1－8グリッド、3B上層からアスファルト入りの土器（図版番号1370）が出土しているが、土器と接する面に、草葉の痕が見られた。植物の種類は特定できなかったが、アスファルトの採集・保管・輸送との関わりが興味深い。当遺跡でも土偶・石鏃等に利用されているが、18～20は破損した土器を、パレット？のように利用している様子がうかがわれる。

9．縄文時代以外の遺物（第209図・1～8）

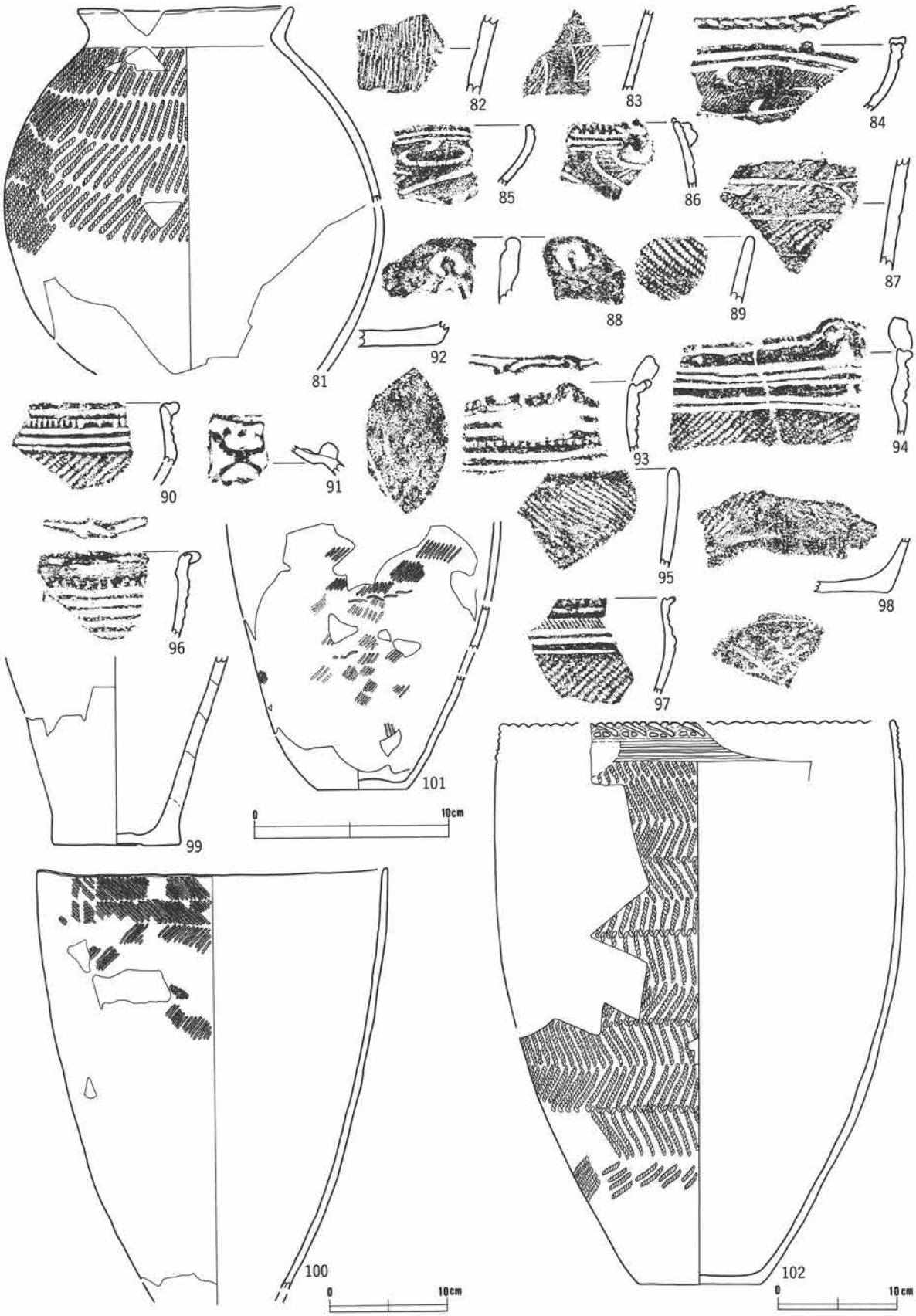
1の石臼の残存は1/6弱、上臼の部分で穀物等の供給口を持つ。下部の「ふくみ」の傾きは、ゆるやかで時代は中世～近代と考えられる。2は青磁の碗で、15世紀頃流通していたものと考えられる。3は羽口で、時期は不明である。4は鋳型？で部分的なハネと被熱が見られ、製作炉・鍛冶炉の羽口を支える石材か。鍛冶炉の場合はまれに炉体にも石材をはさむ例がある。出土した羽口が鍛冶用とすれば、その可能性が高い。砂岩で砂の目があるため、金床石等には向かない。5は鉄滓で詳細は不明である。6は永楽通宝、7は洪武通宝、8は開元通宝で、いずれも中世～江戸初期に流通していたものである。



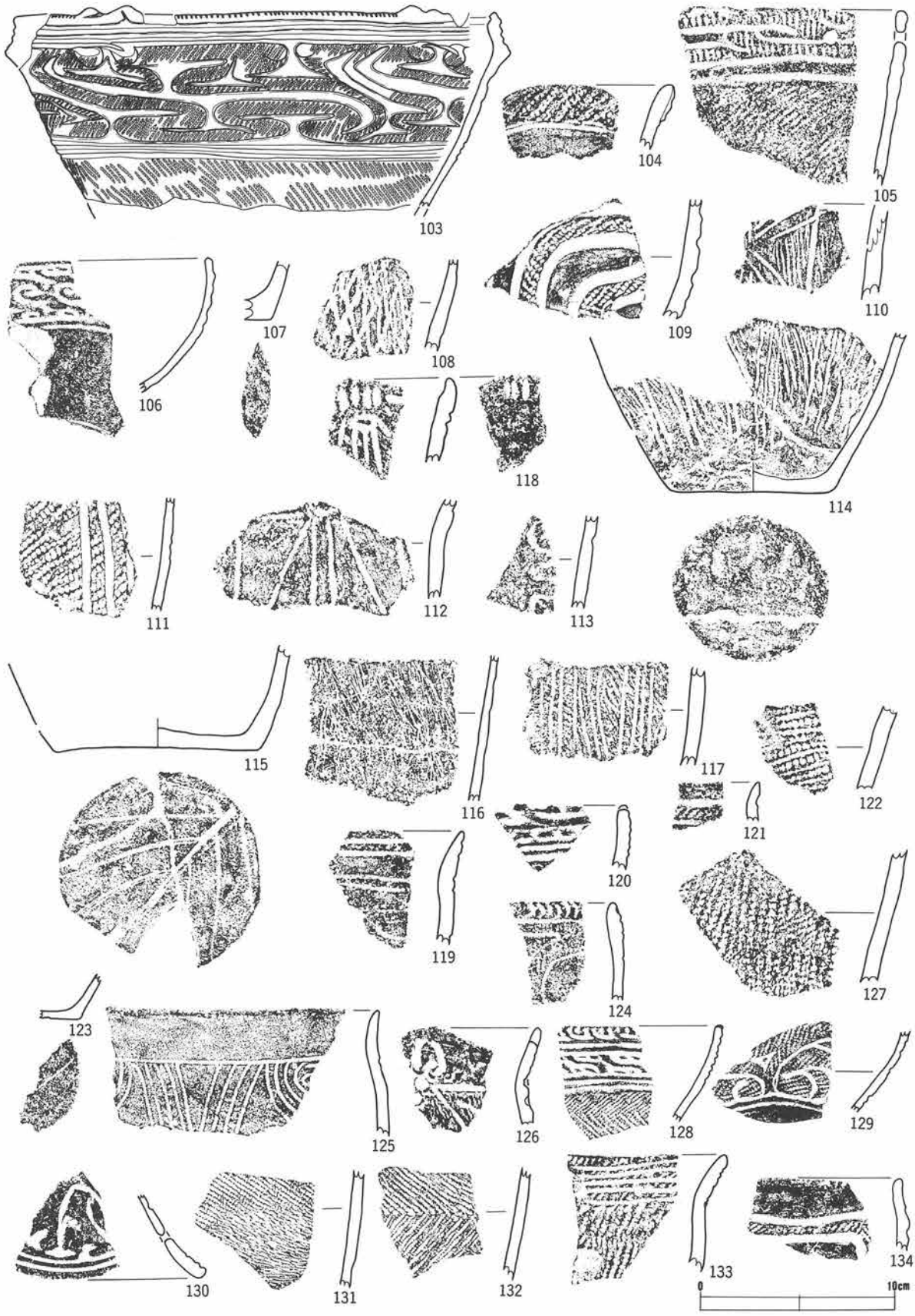
第33図　遺構内出土遺物土器 1



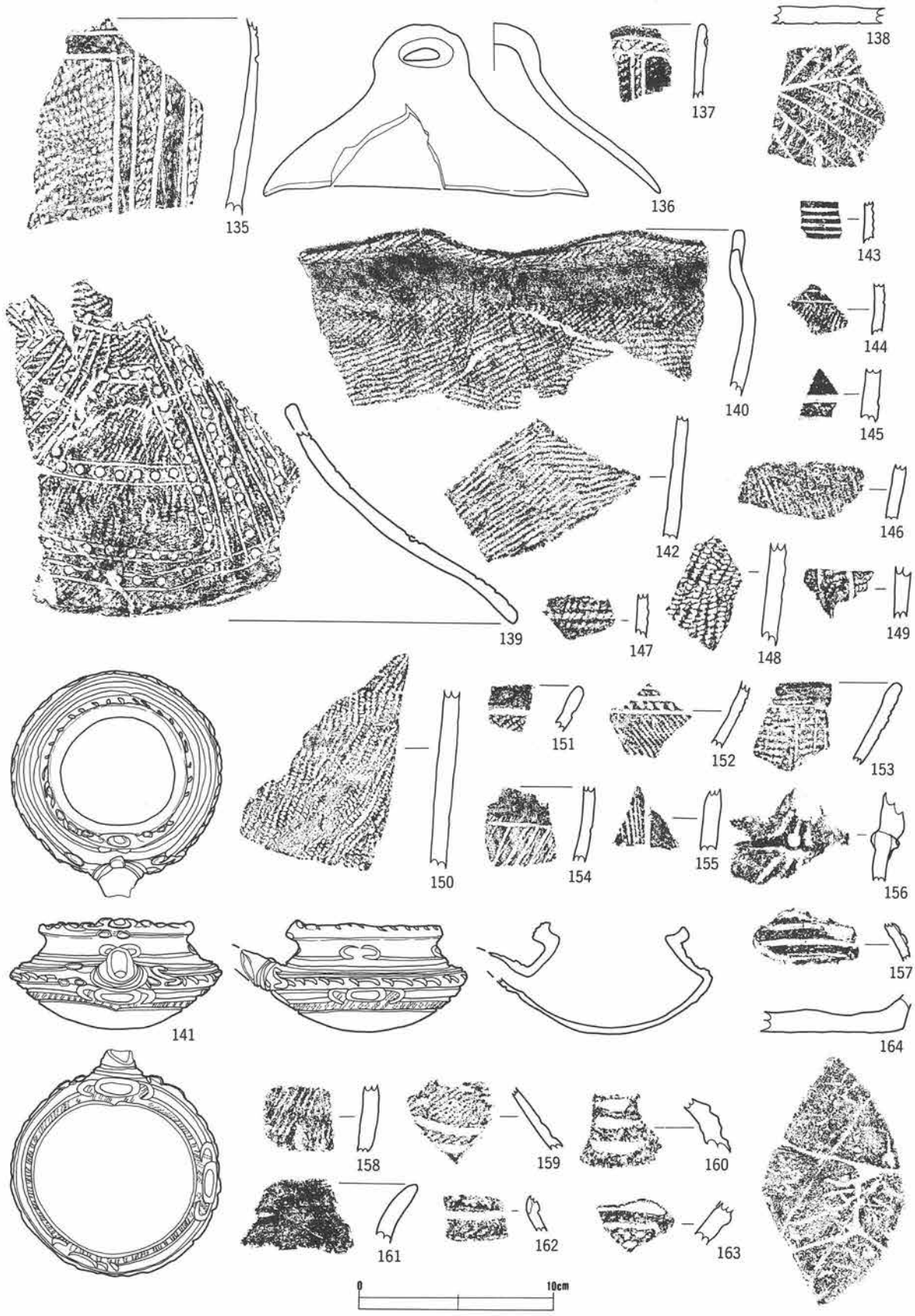
第34図　遺構内出土遺物土器 2



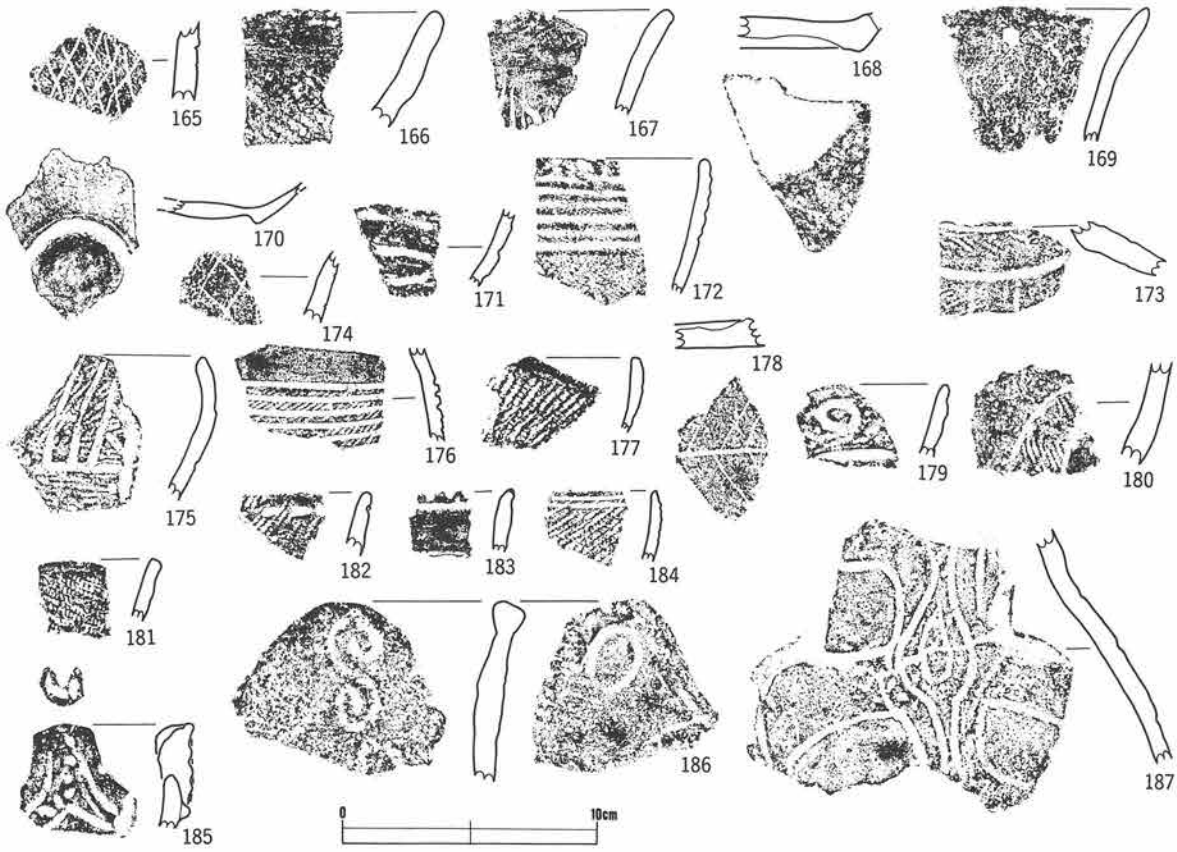
第35図　遺構内出土遺物土器 3



第36図　遺構内出土遺物土器 4

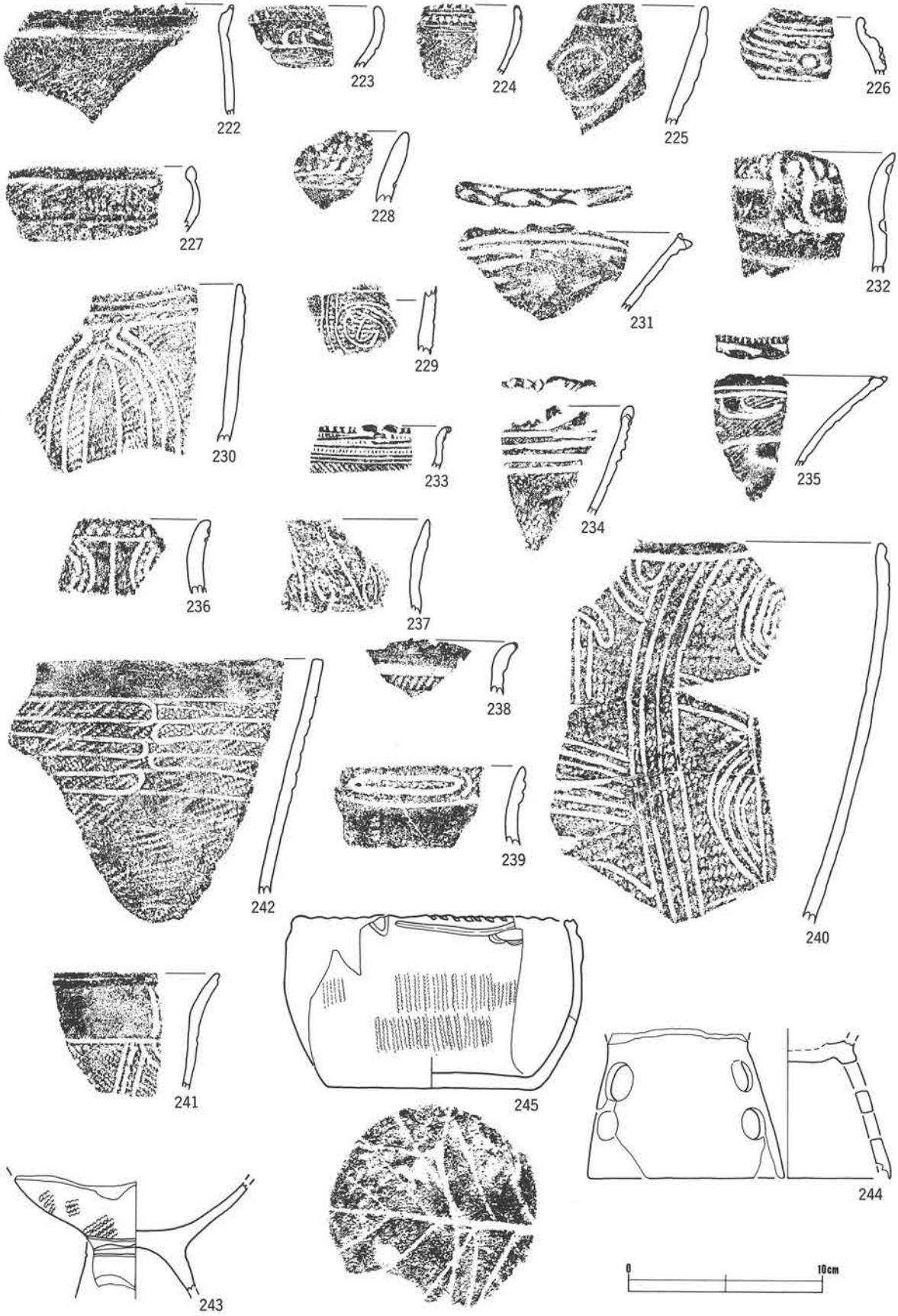


第37図　遺構内出土遺物土器 5

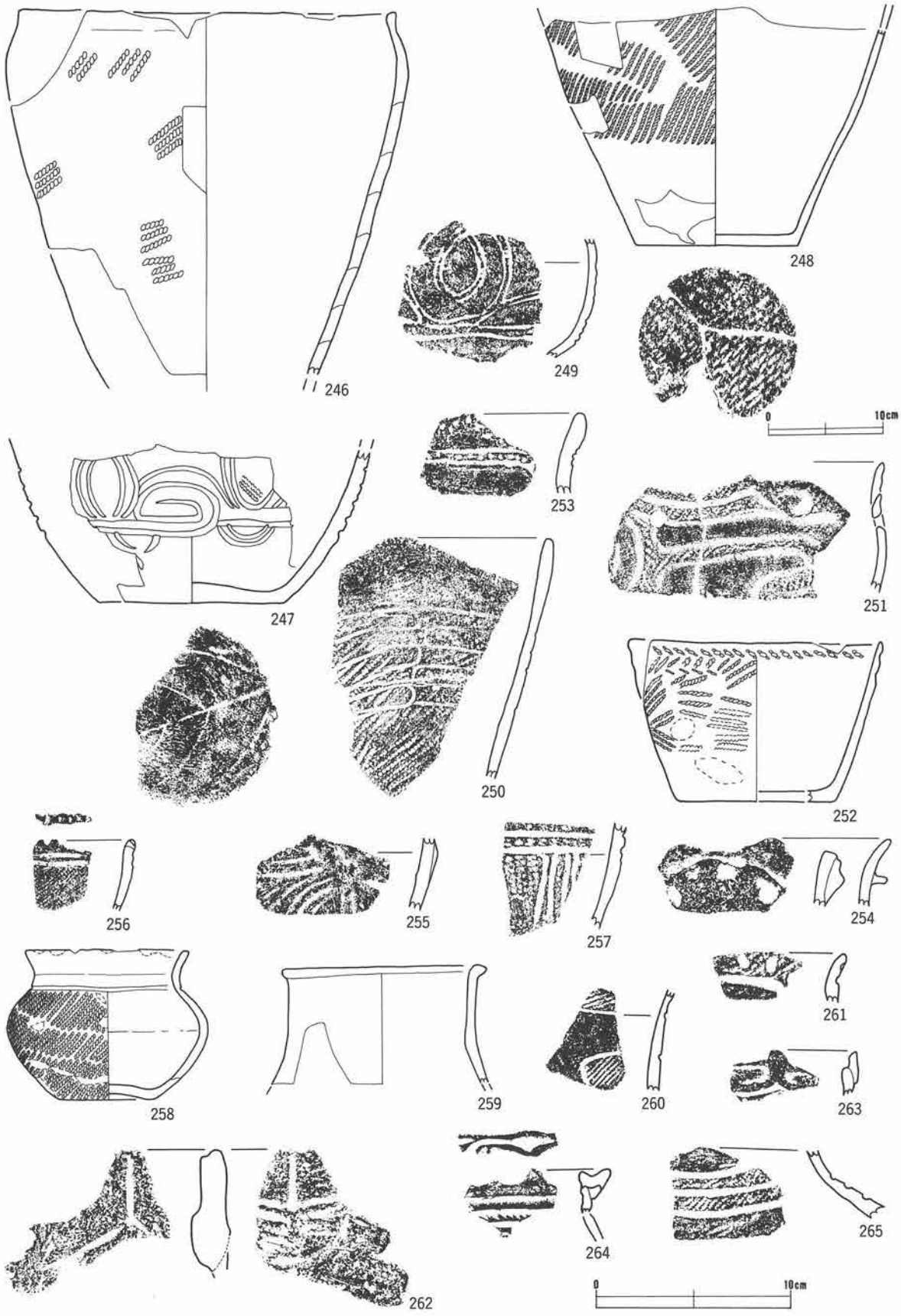


第38図　遺構内出土遺物土器 6

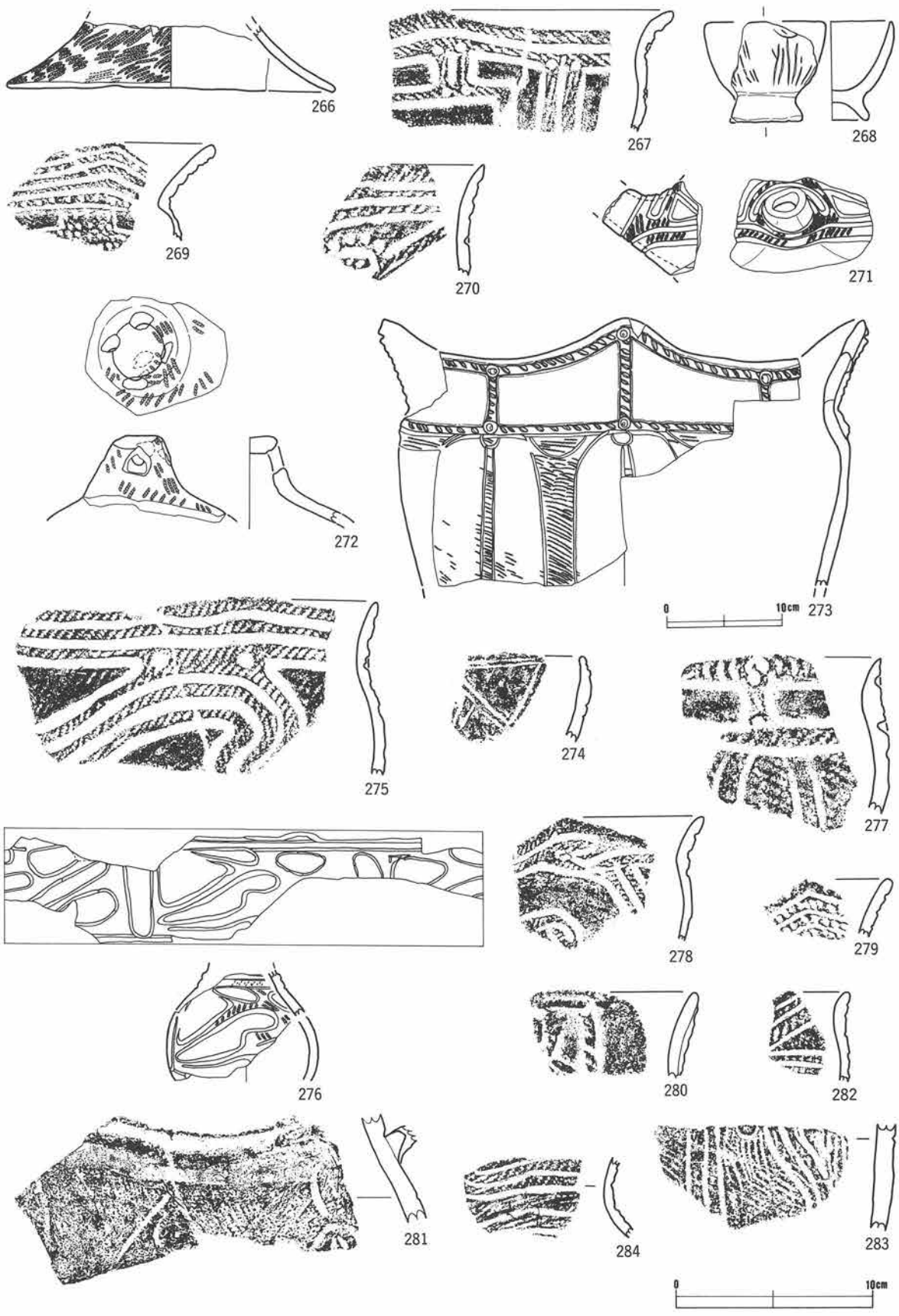
第39図　遺構外出土遺物土器 1



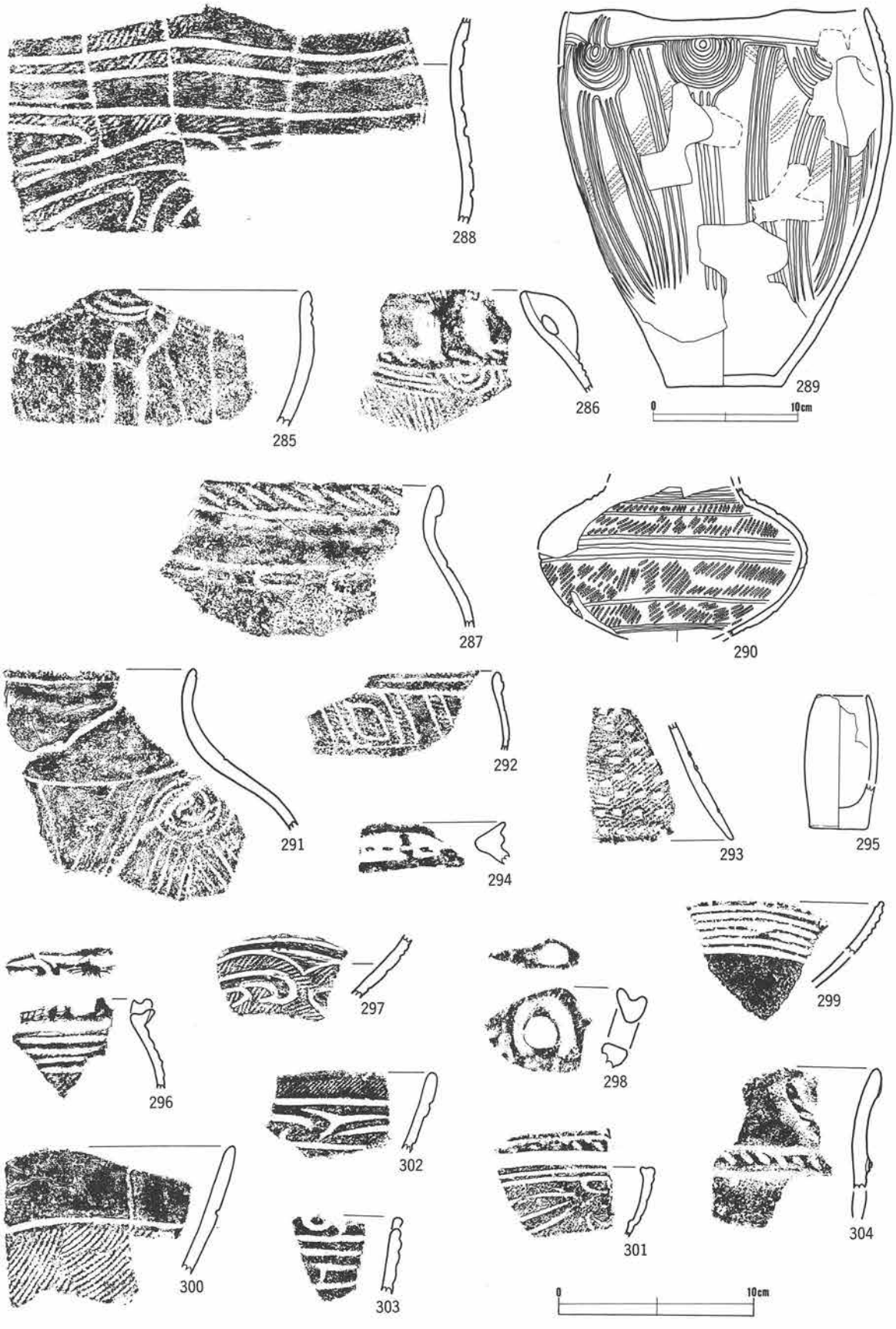
第40図　遺構外出土遺物土器 2



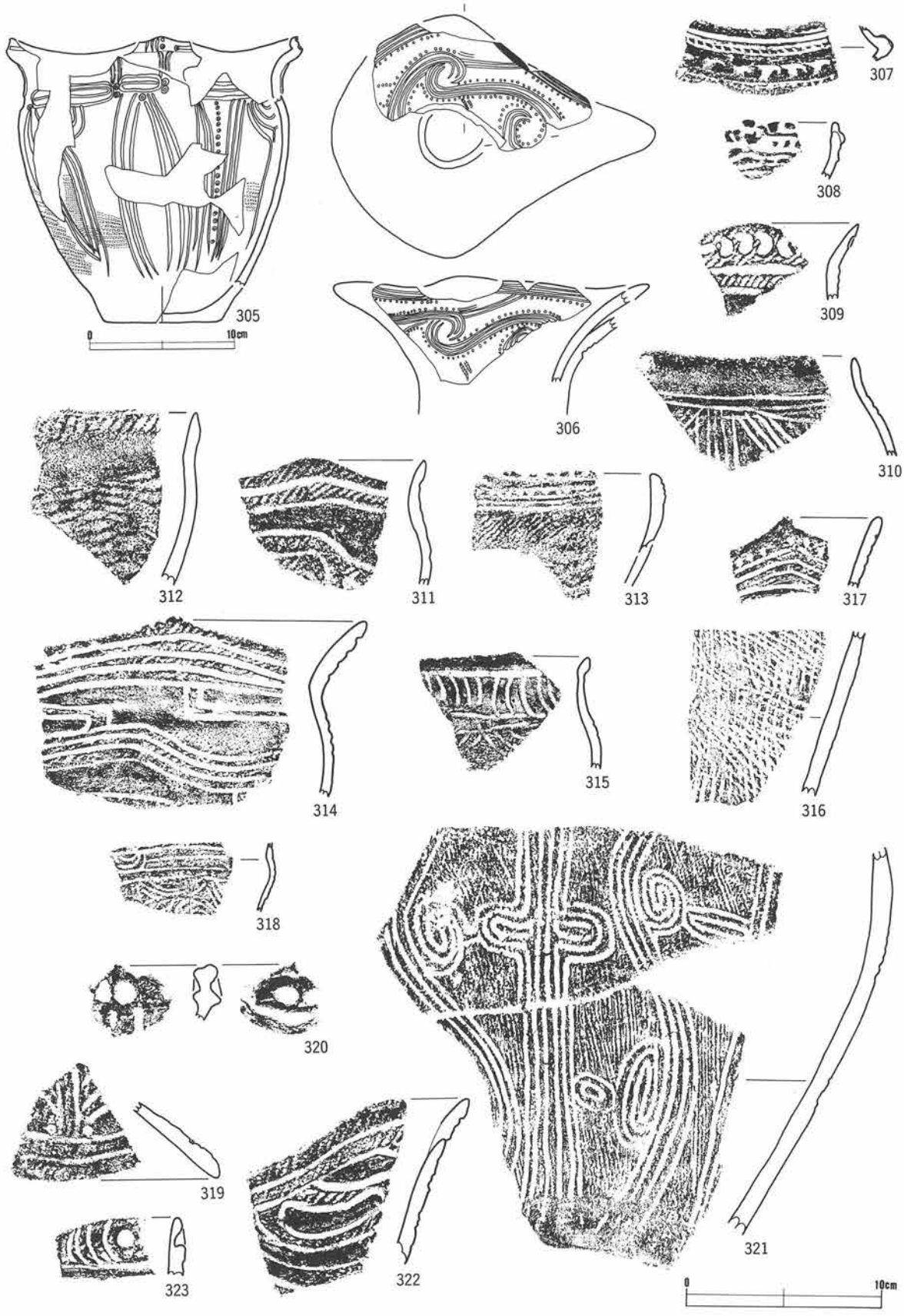
第41図　遺構外出土遺物土器 3



第42図　遺構外出土遺物土器４

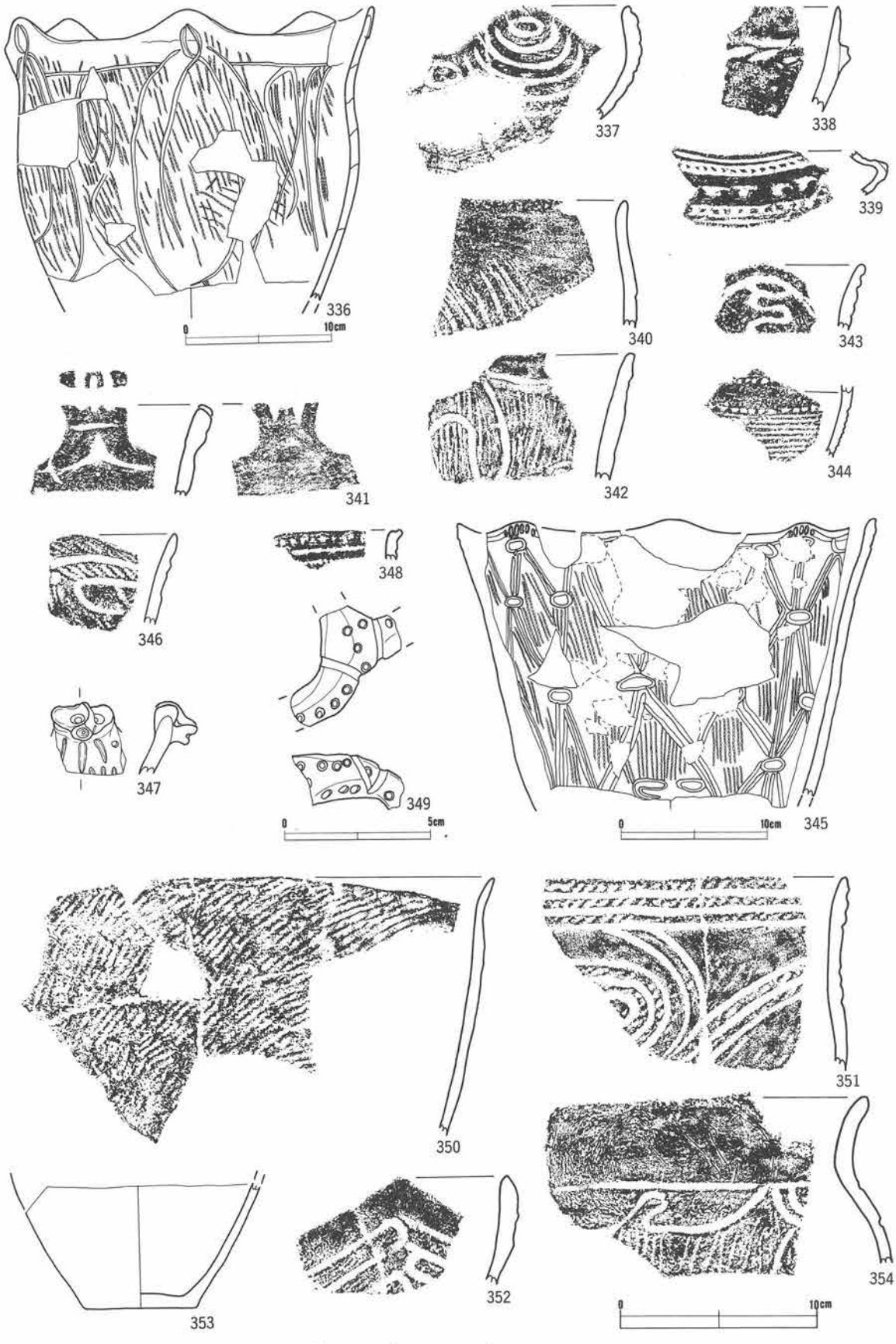


第43図　遺構外出土遺物土器 5

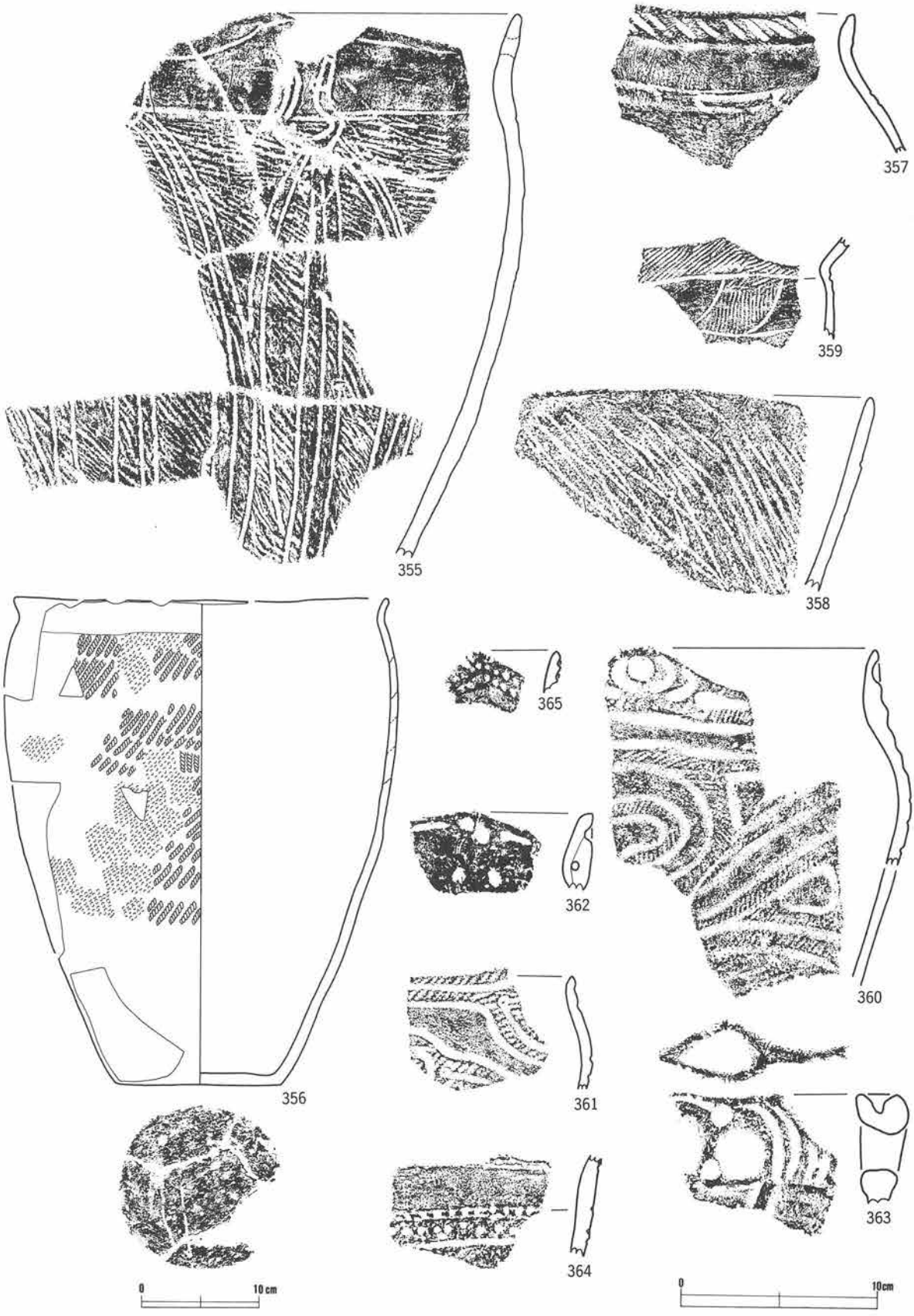


第44図　遺構外出土遺物土器 6

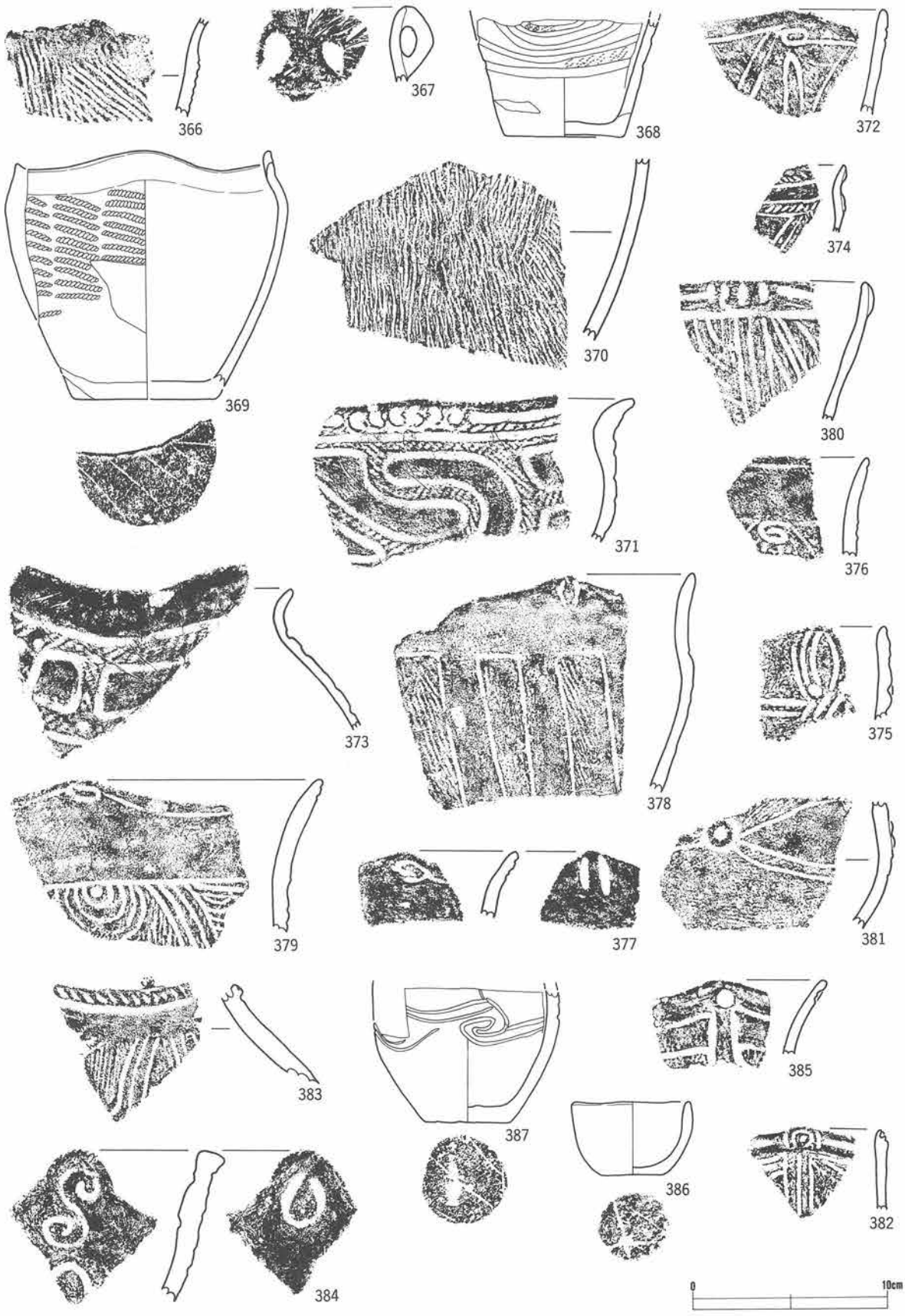
第45図　遺構外出土遺物土器 7



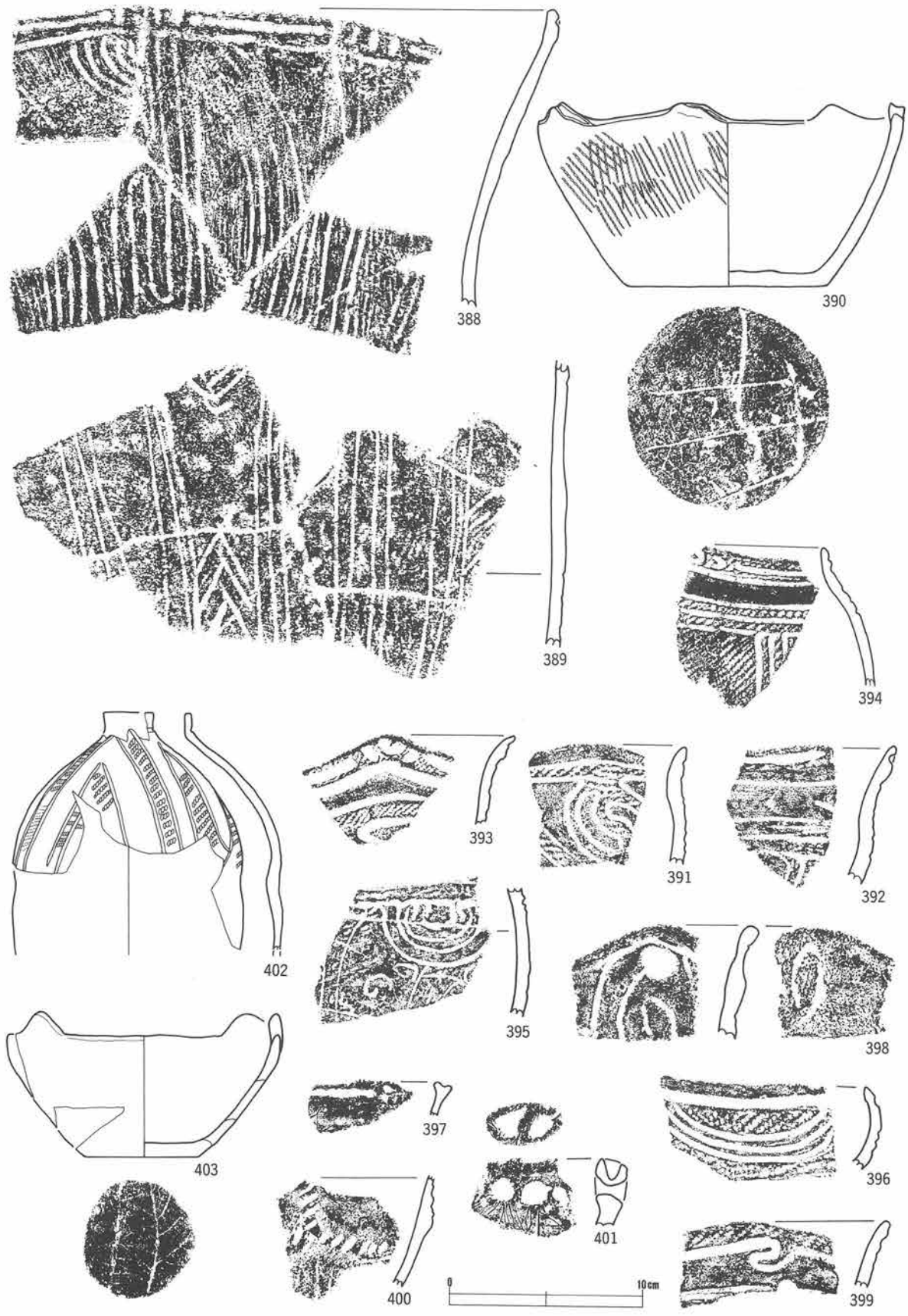
第46図　遺構外出土遺物土器 8



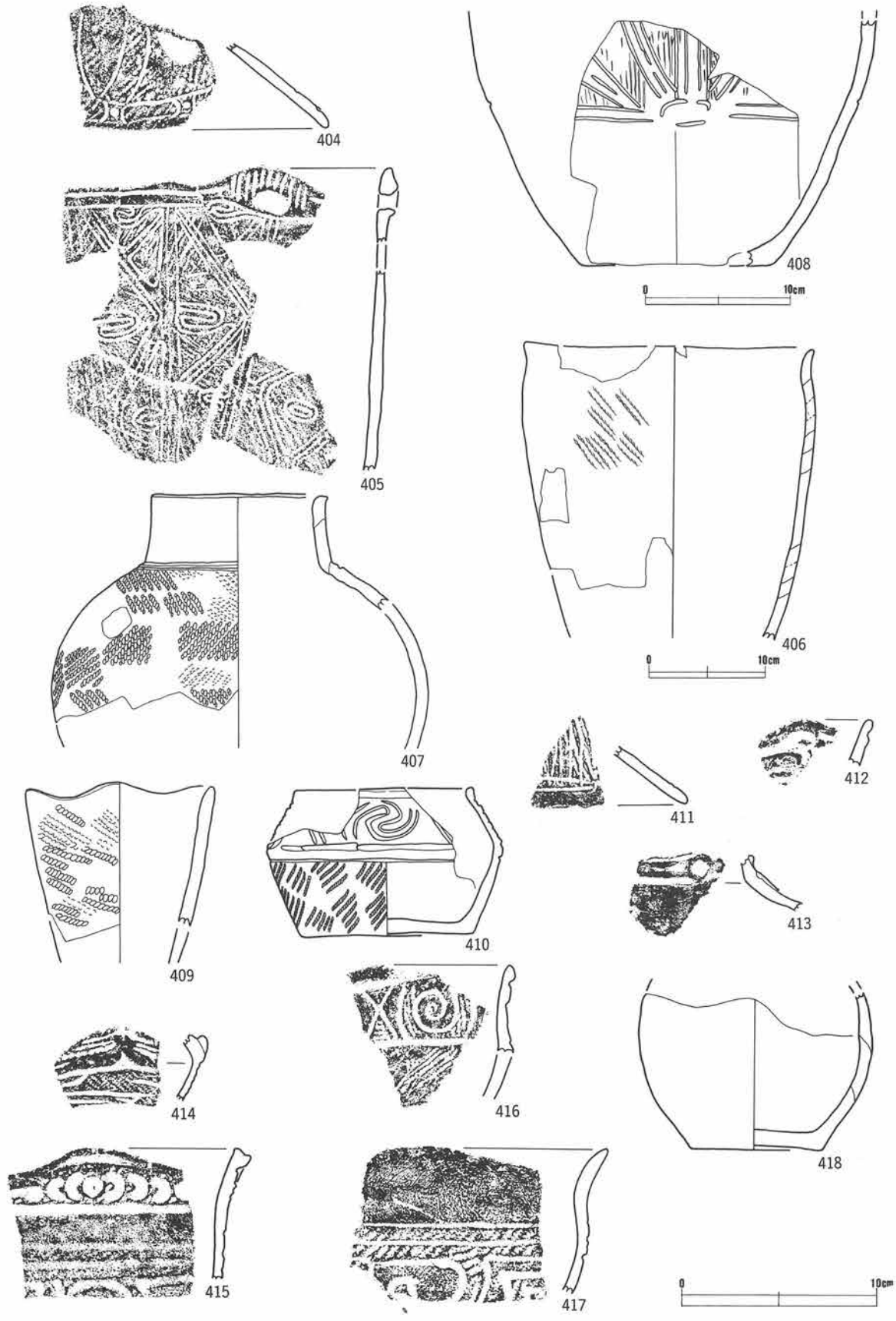
第47図　遺構外出土遺物土器 9



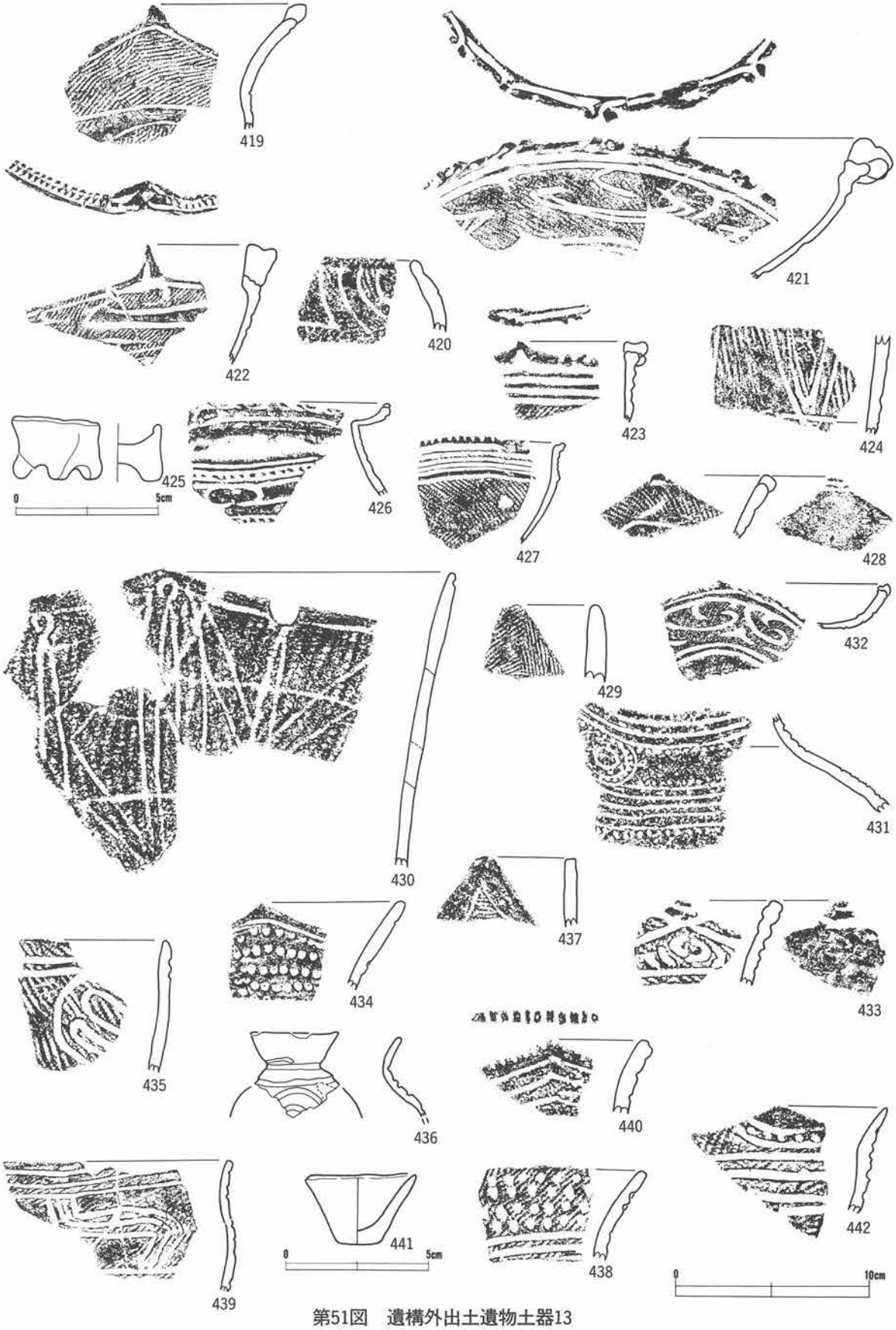
第48図　遺構外出土遺物土器10



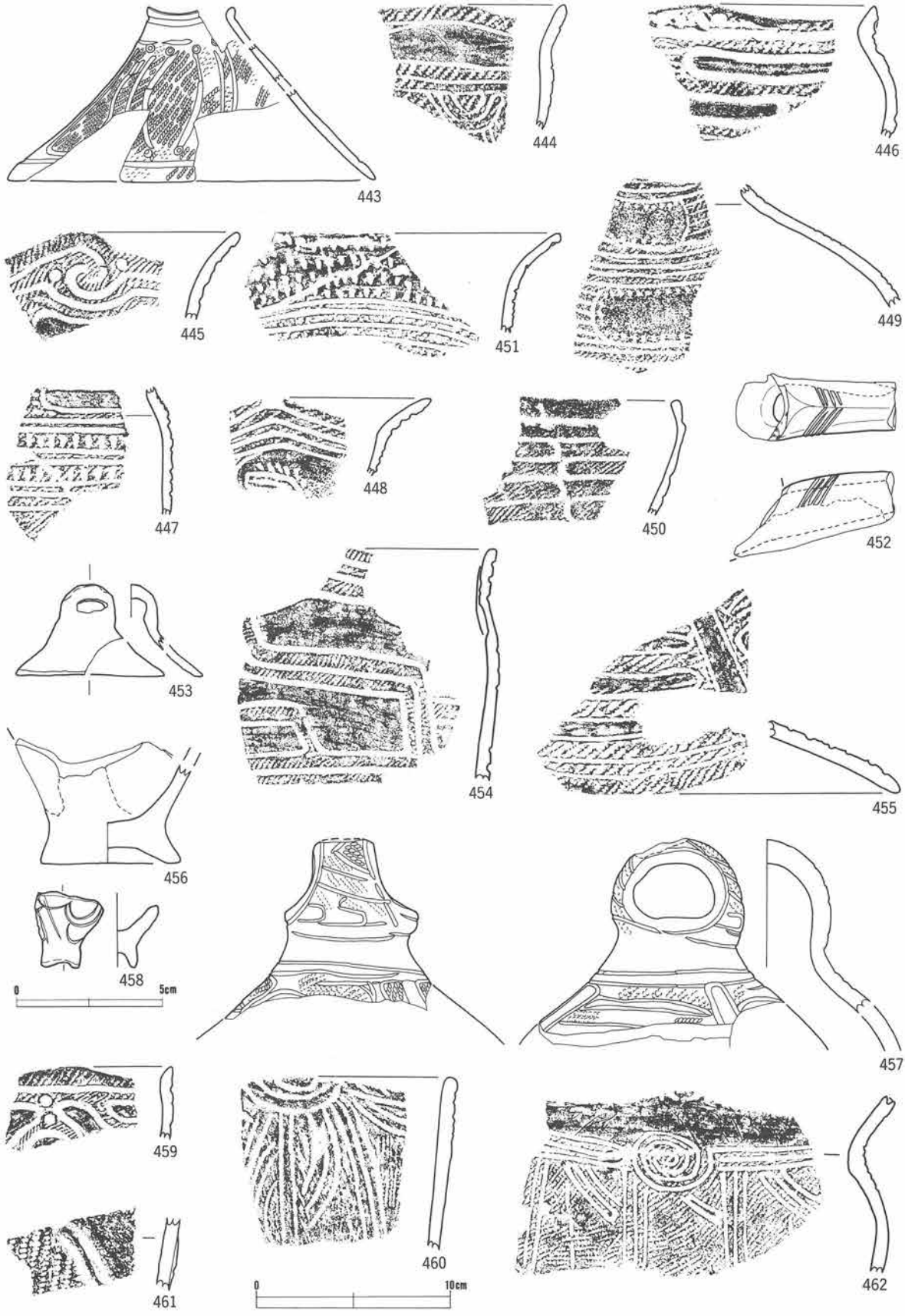
第49図　遺構外出土遺物土器11



第50図　遺構外出土遺物土器12



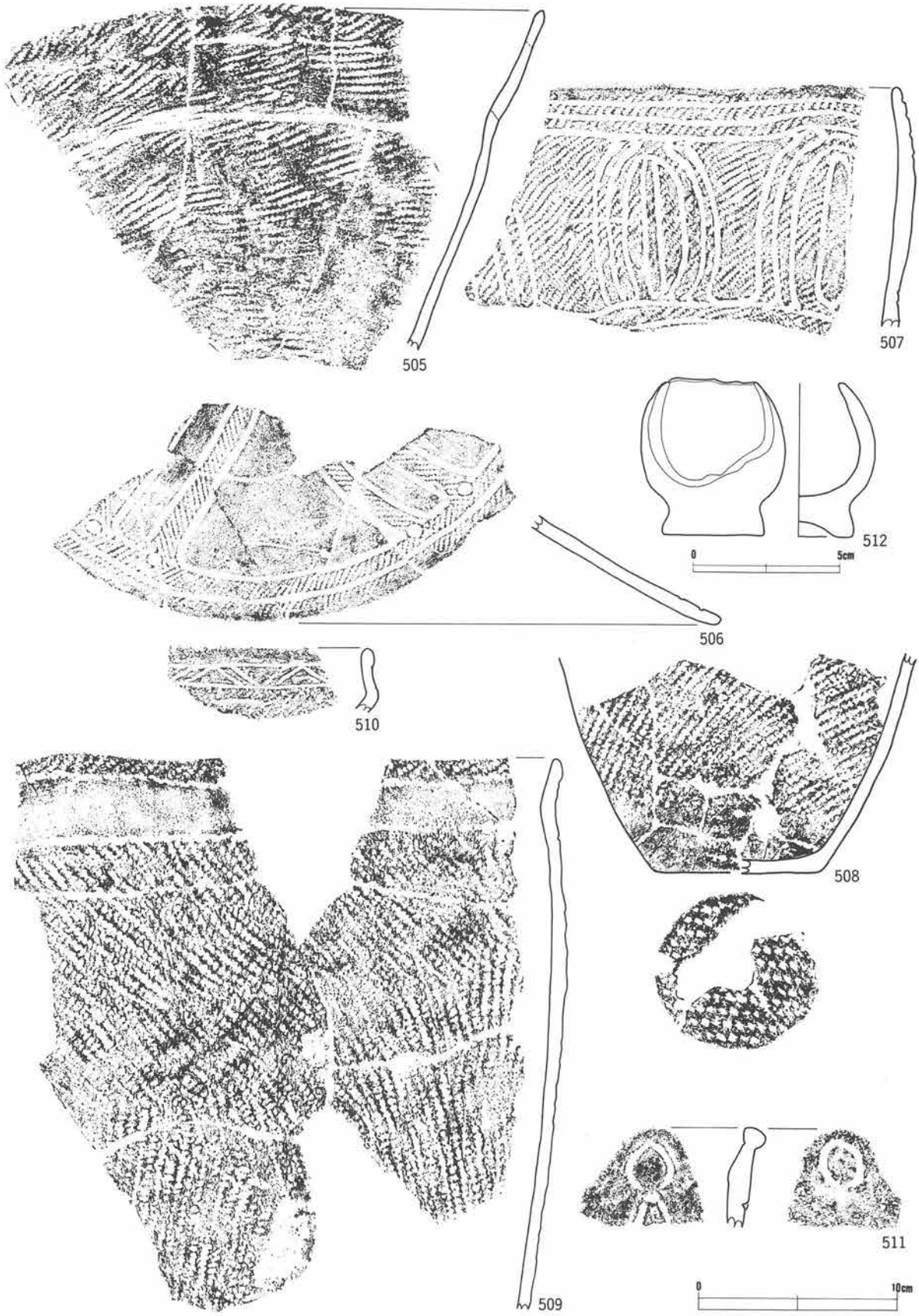
第51図　遺構外出土遺物土器13



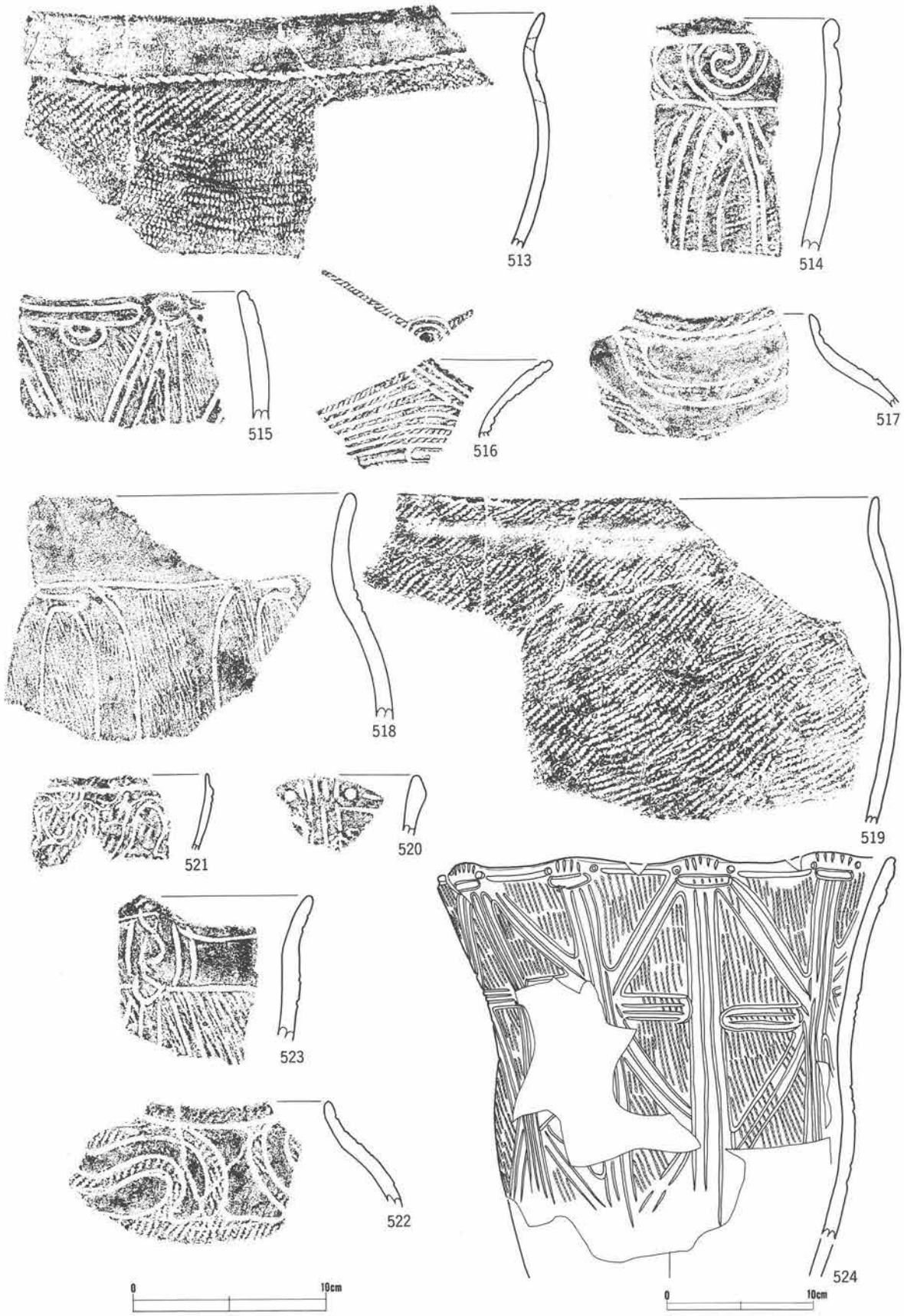
第52図　遺構外出土遺物土器14

第53図　遺構外出土遺物土器15

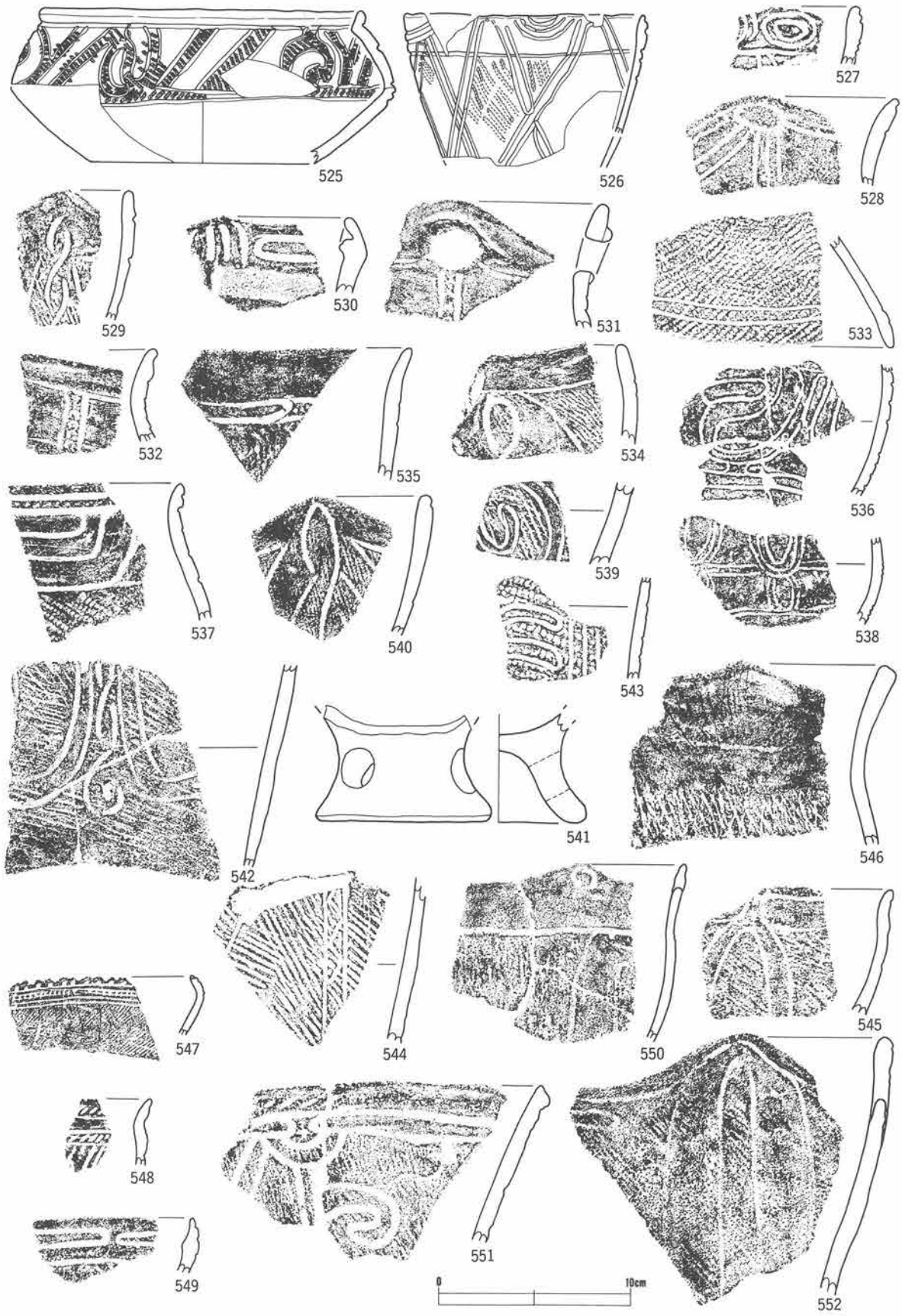
第54図　遺構外出土遺物土器16



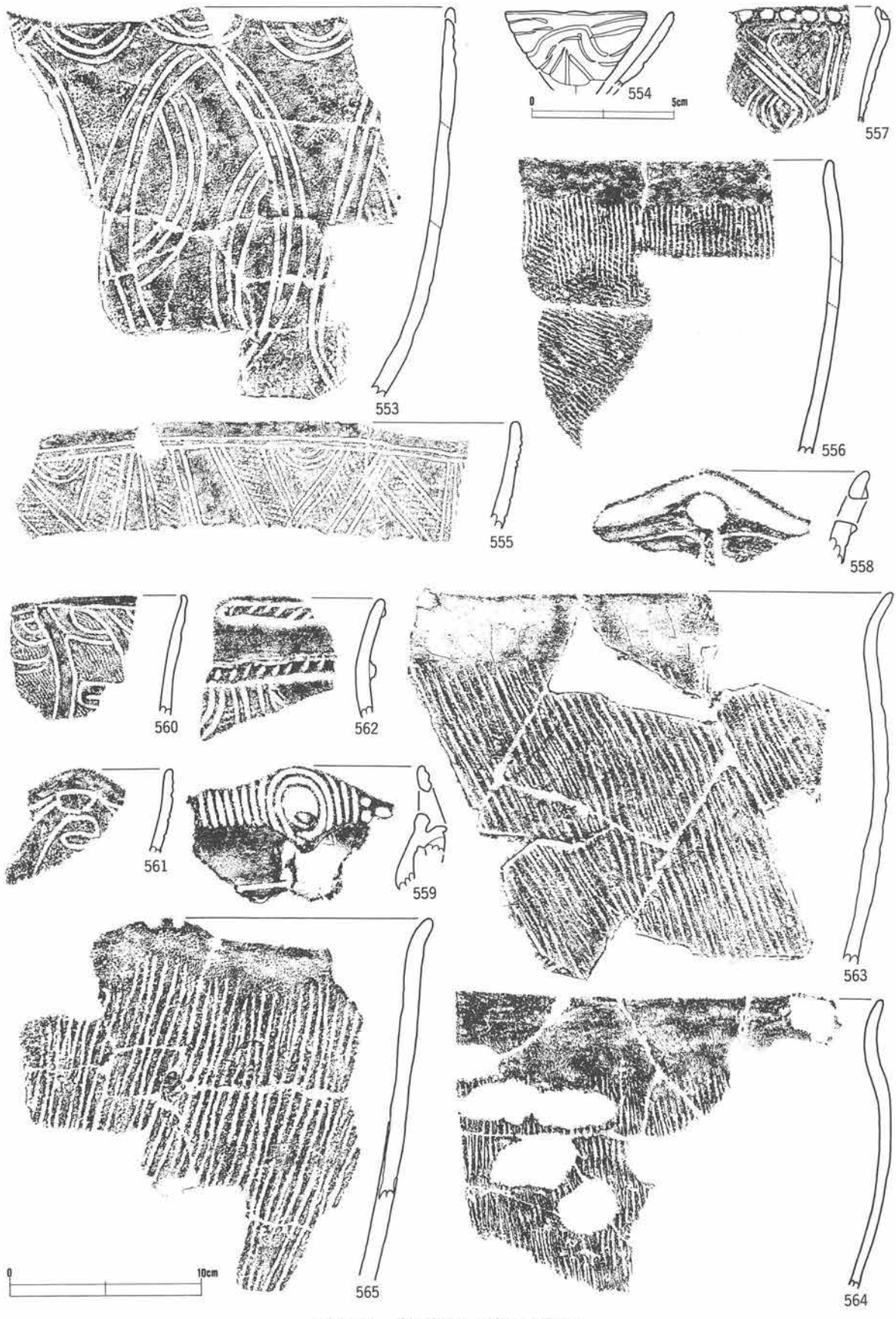
第55図　遺構外出土遺物土器17



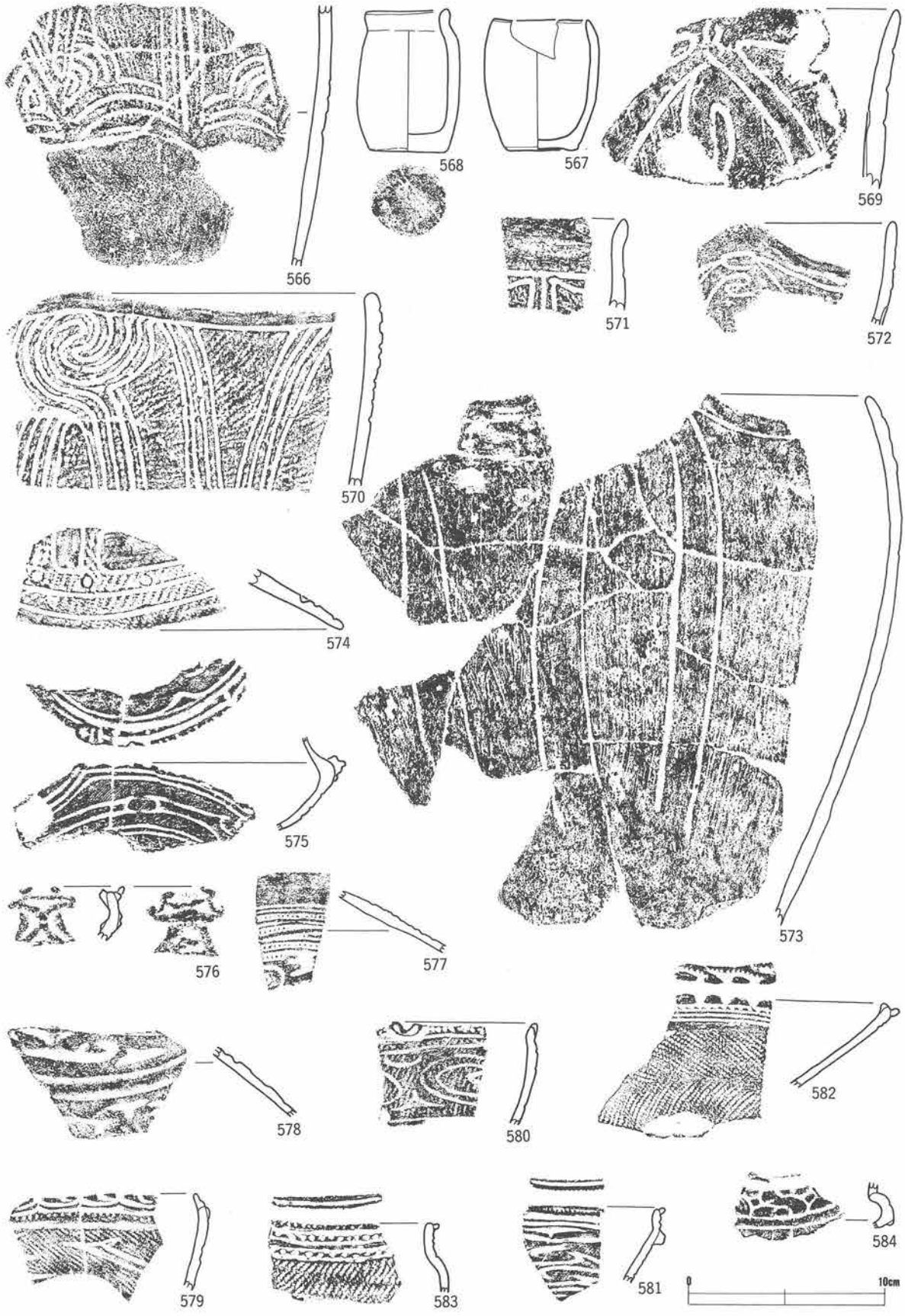
第56図　遺構外出土遺物土器18



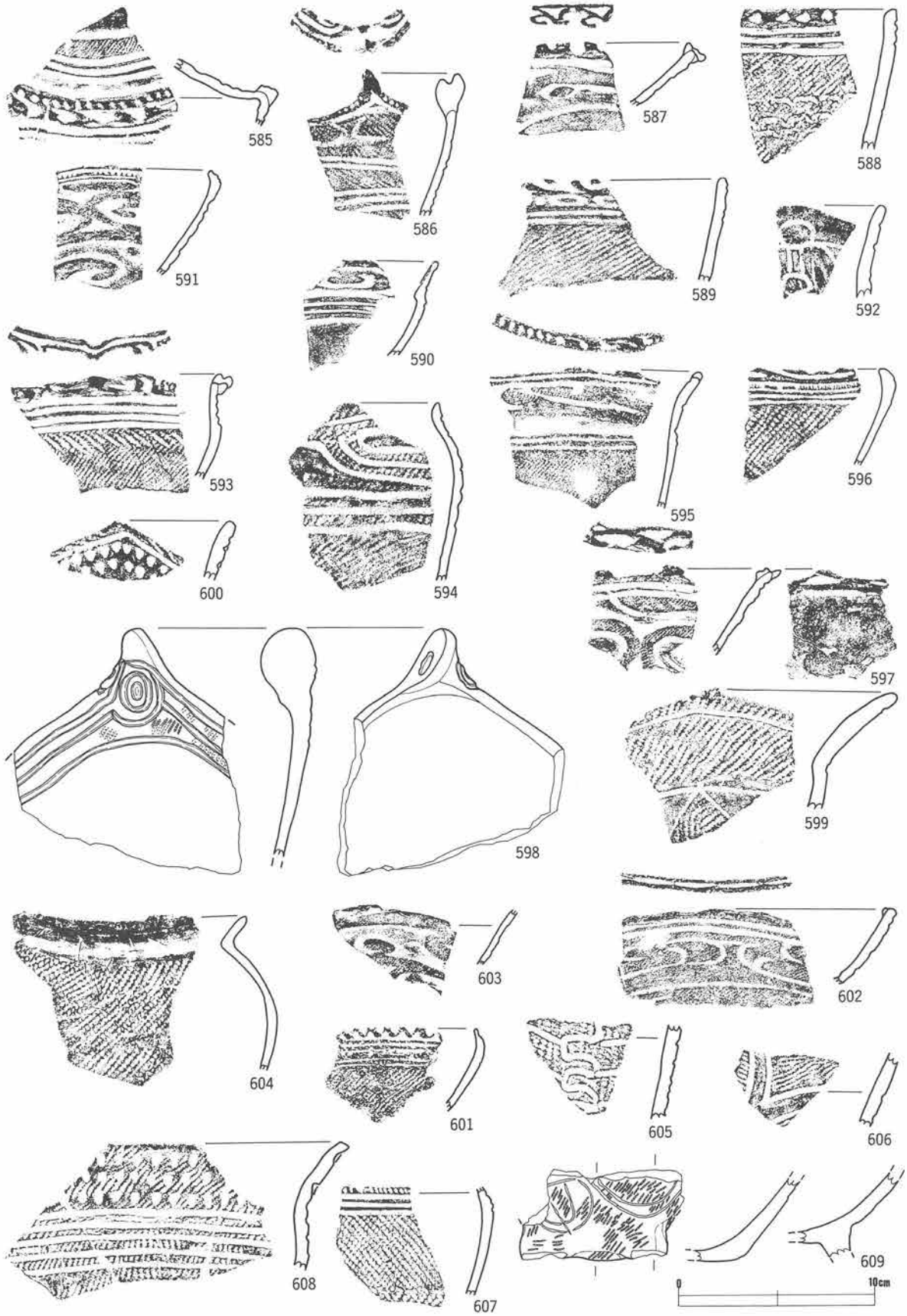
第57図　遺構外出土遺物土器19



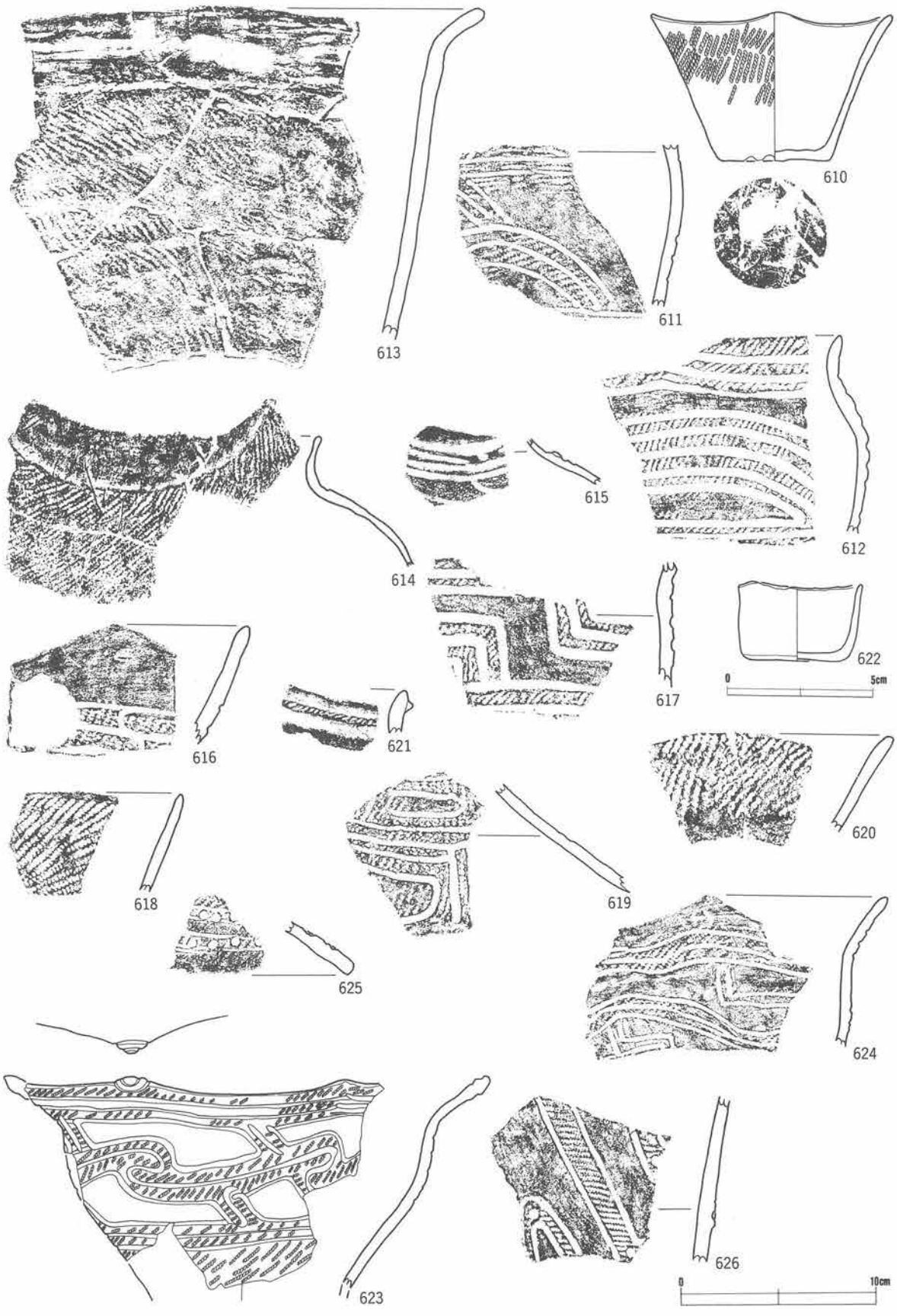
第58図　遺構外出土遺物土器20



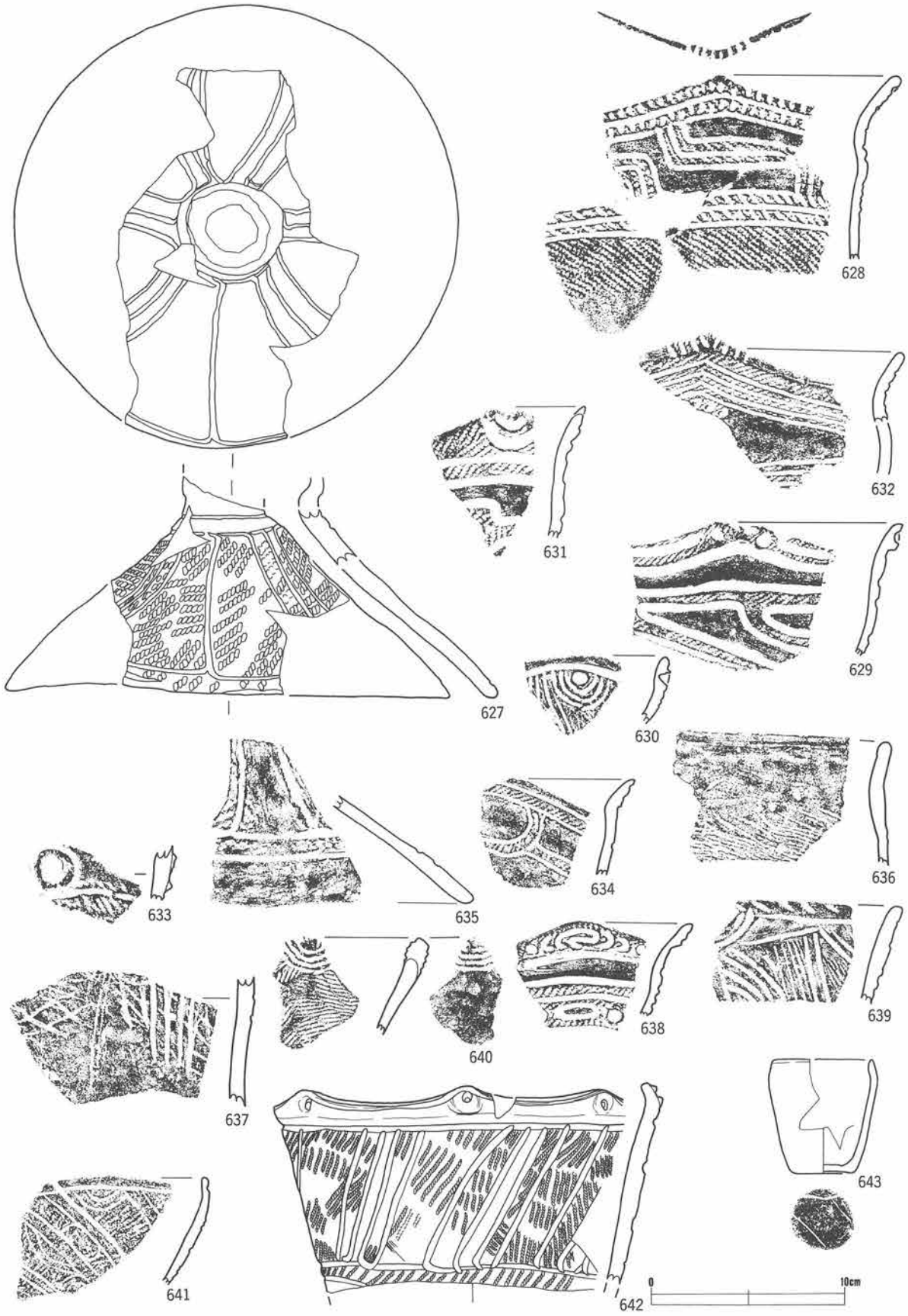
第59図　遺構外出土遺物土器21



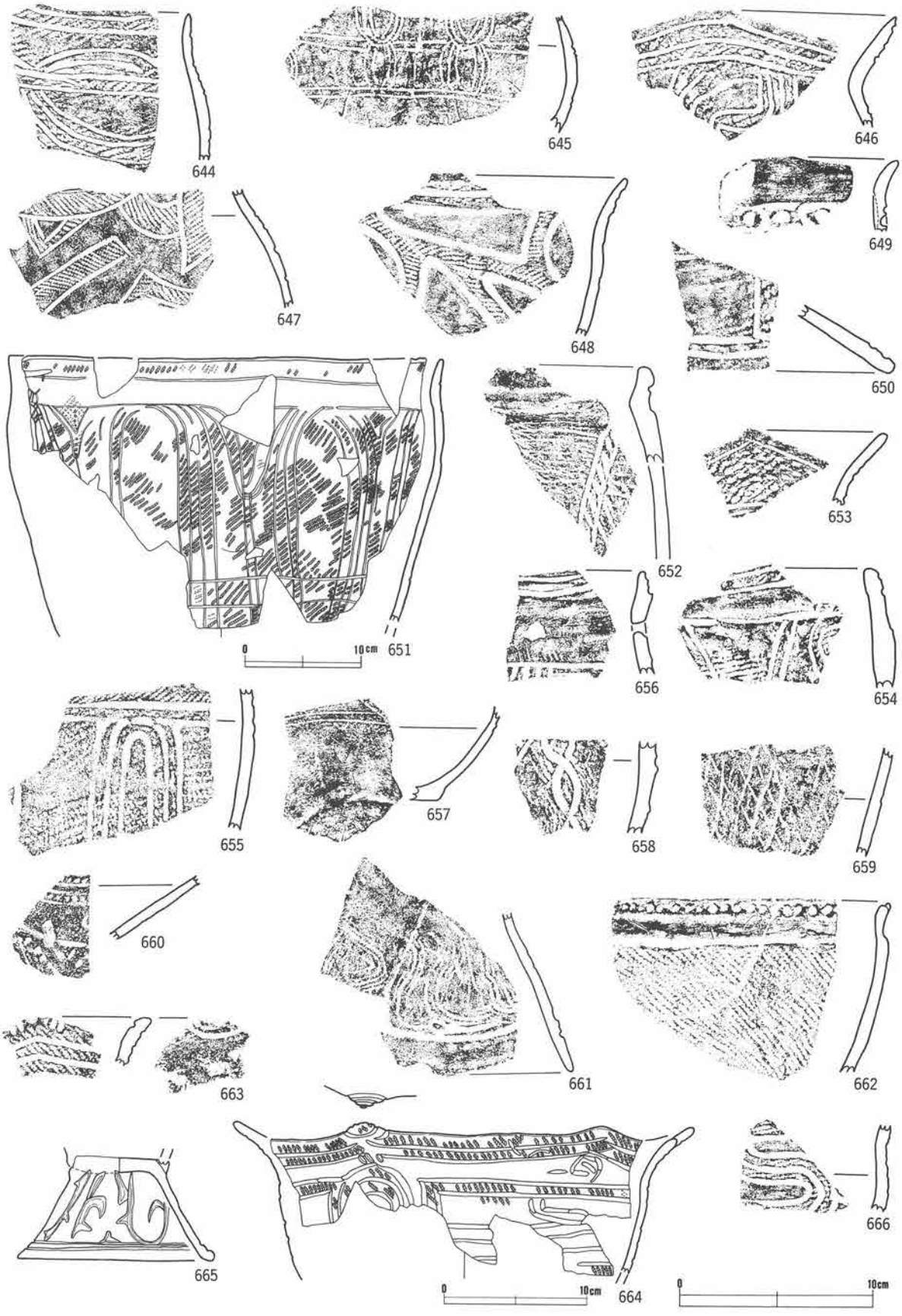
第60図　遺構外出土遺物土器22



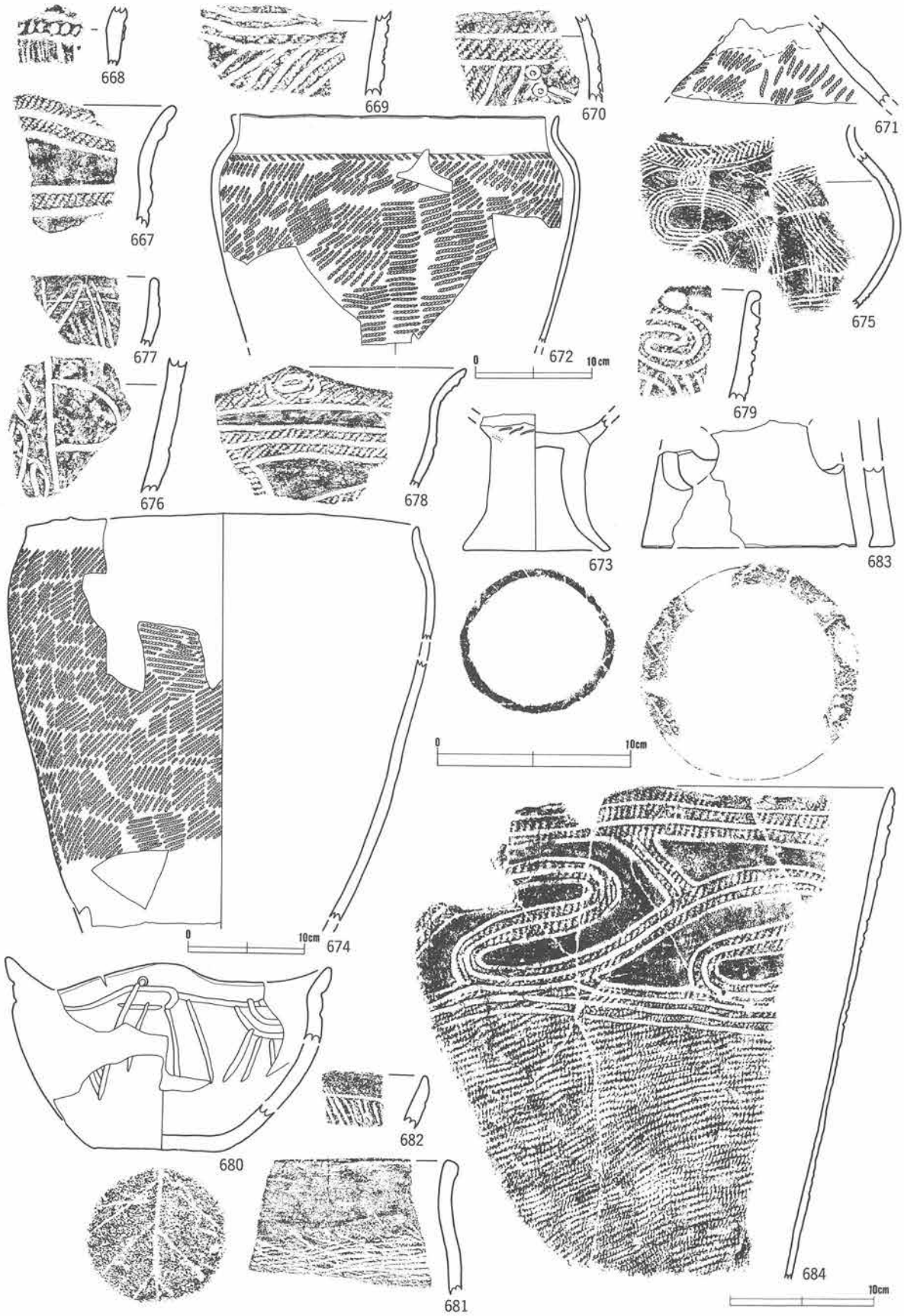
第61図　遺構外出土遺物土器23



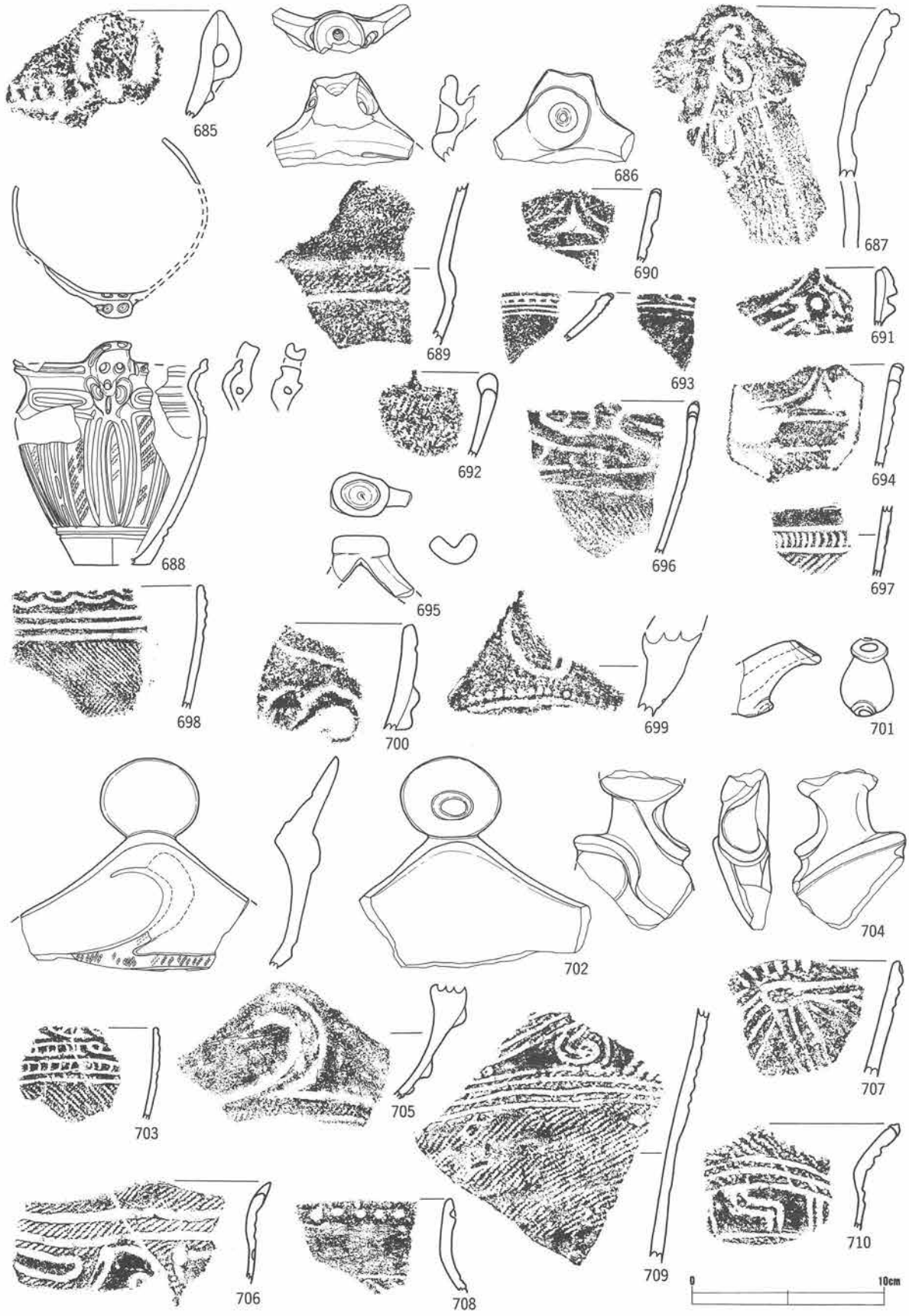
第62図　遺構外出土遺物土器24



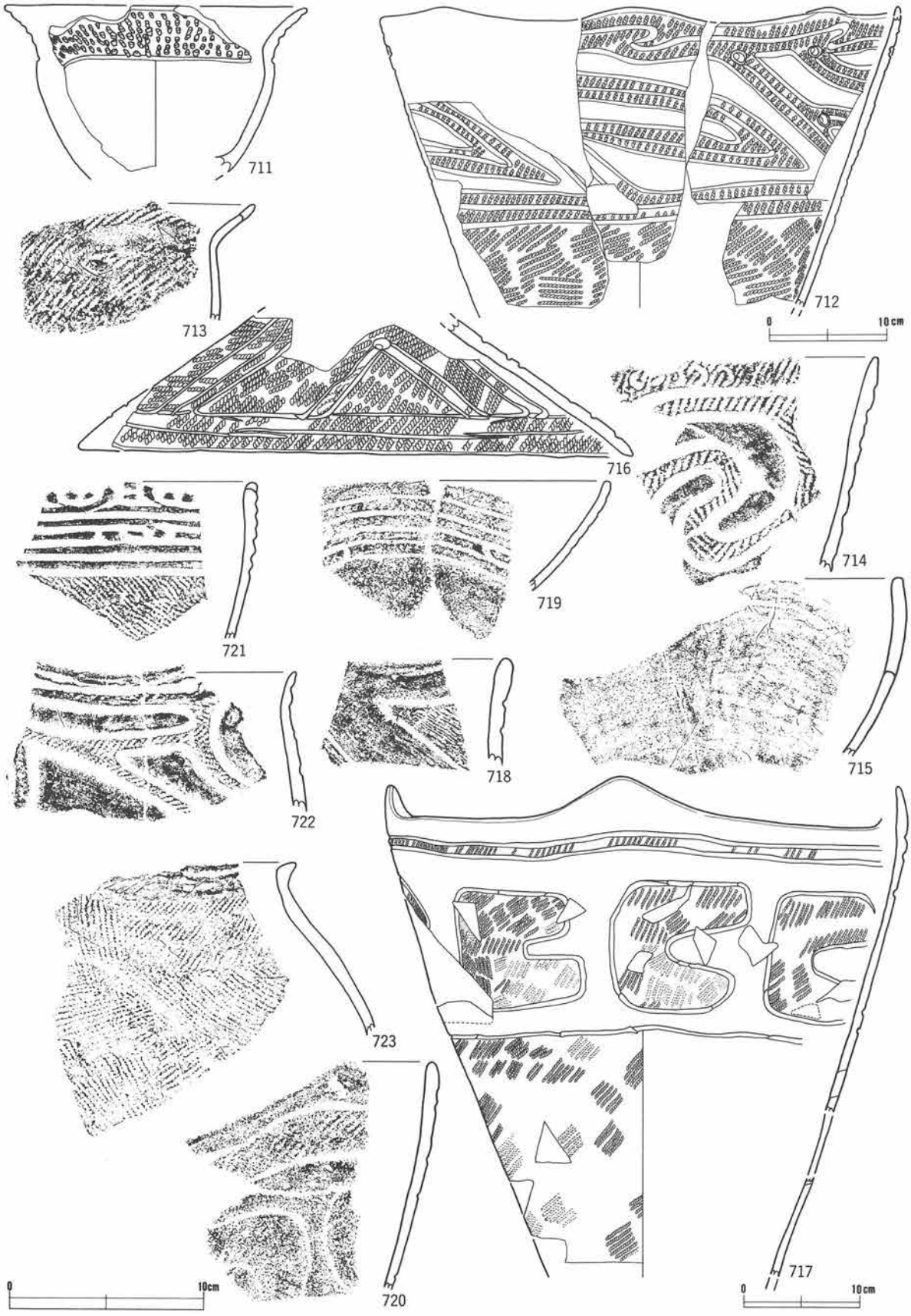
第63図　遺構外出土遺物土器25



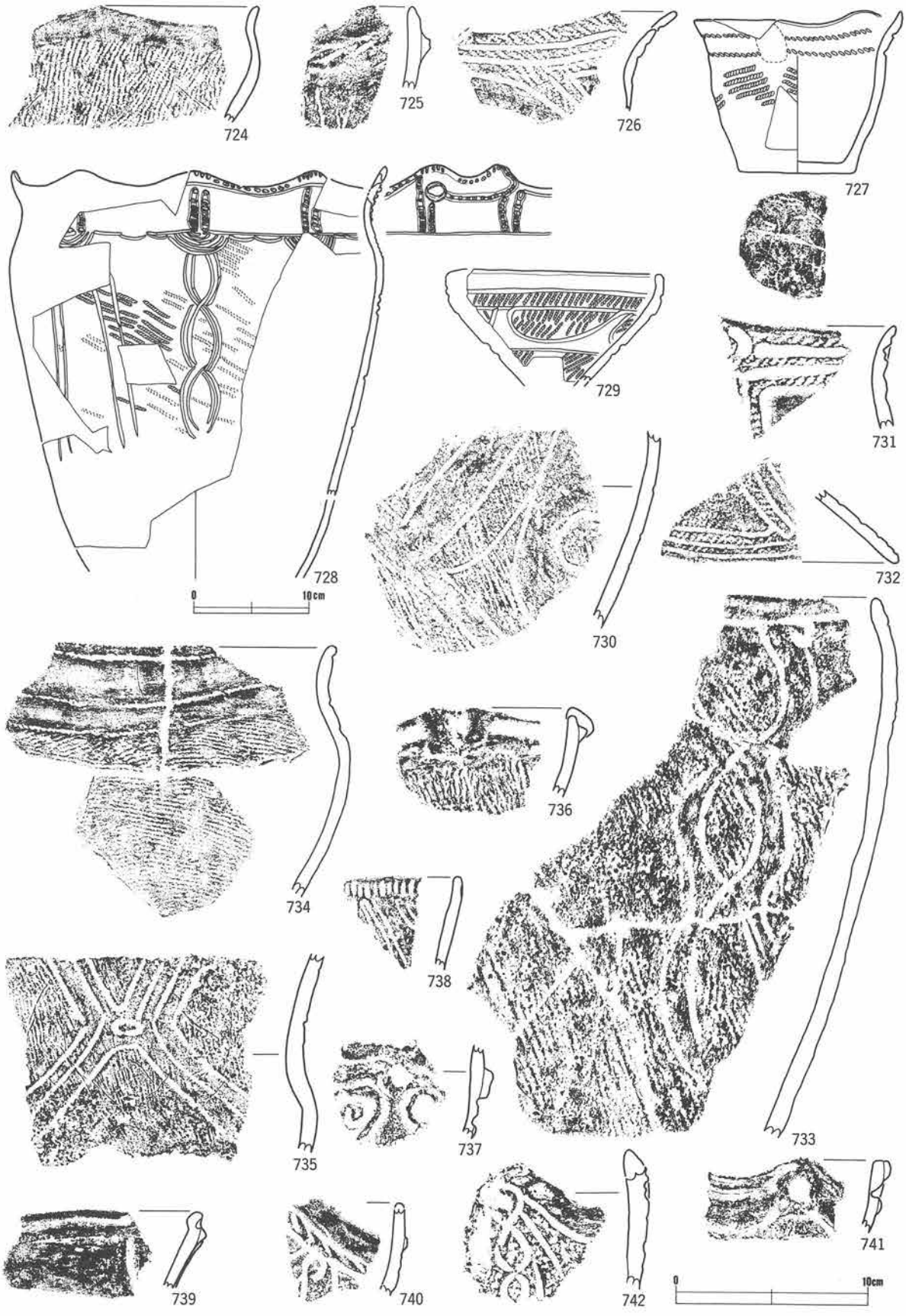
第64図　遺構外出土遺物土器26



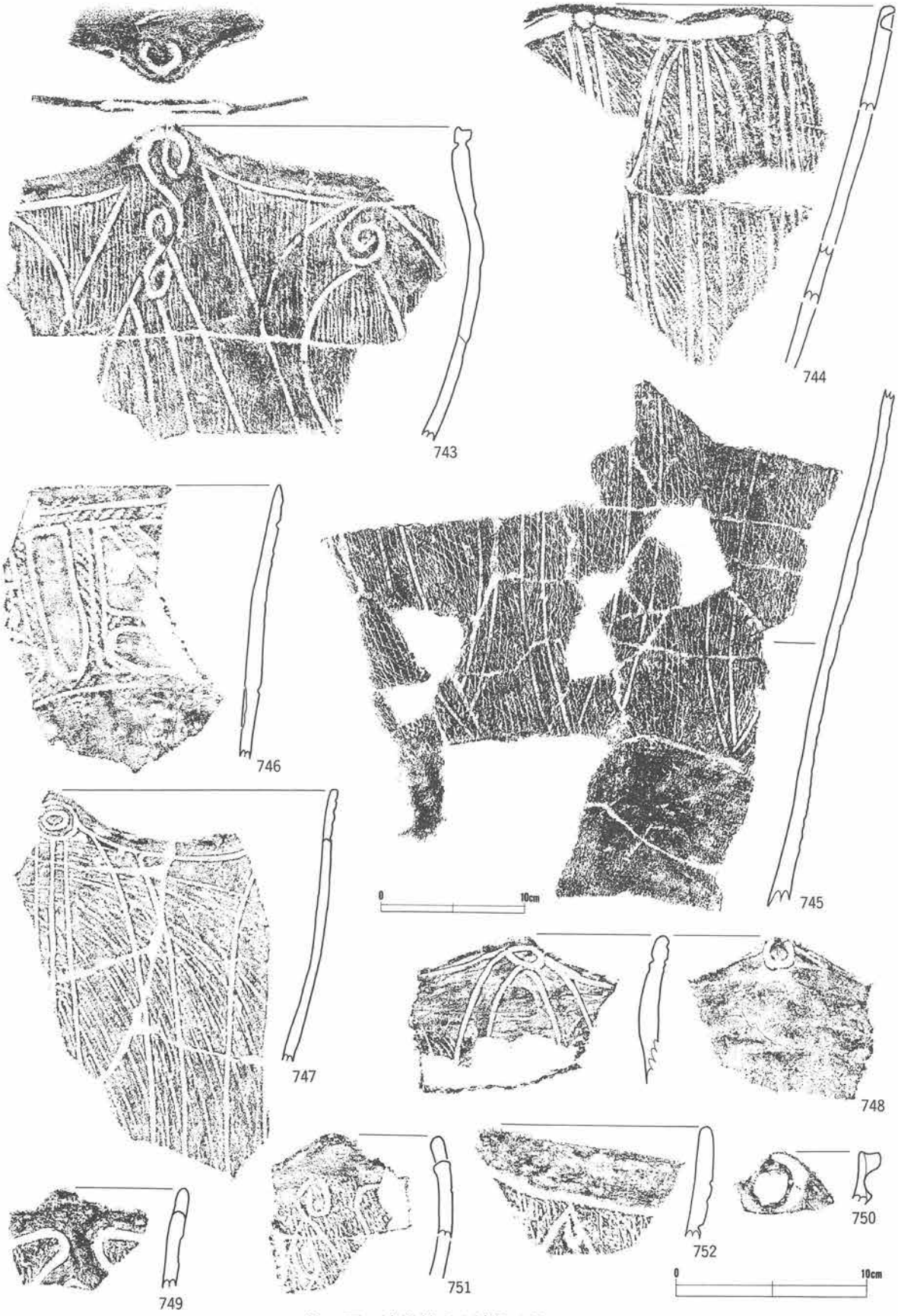
第65図　遺構外出土遺物土器27



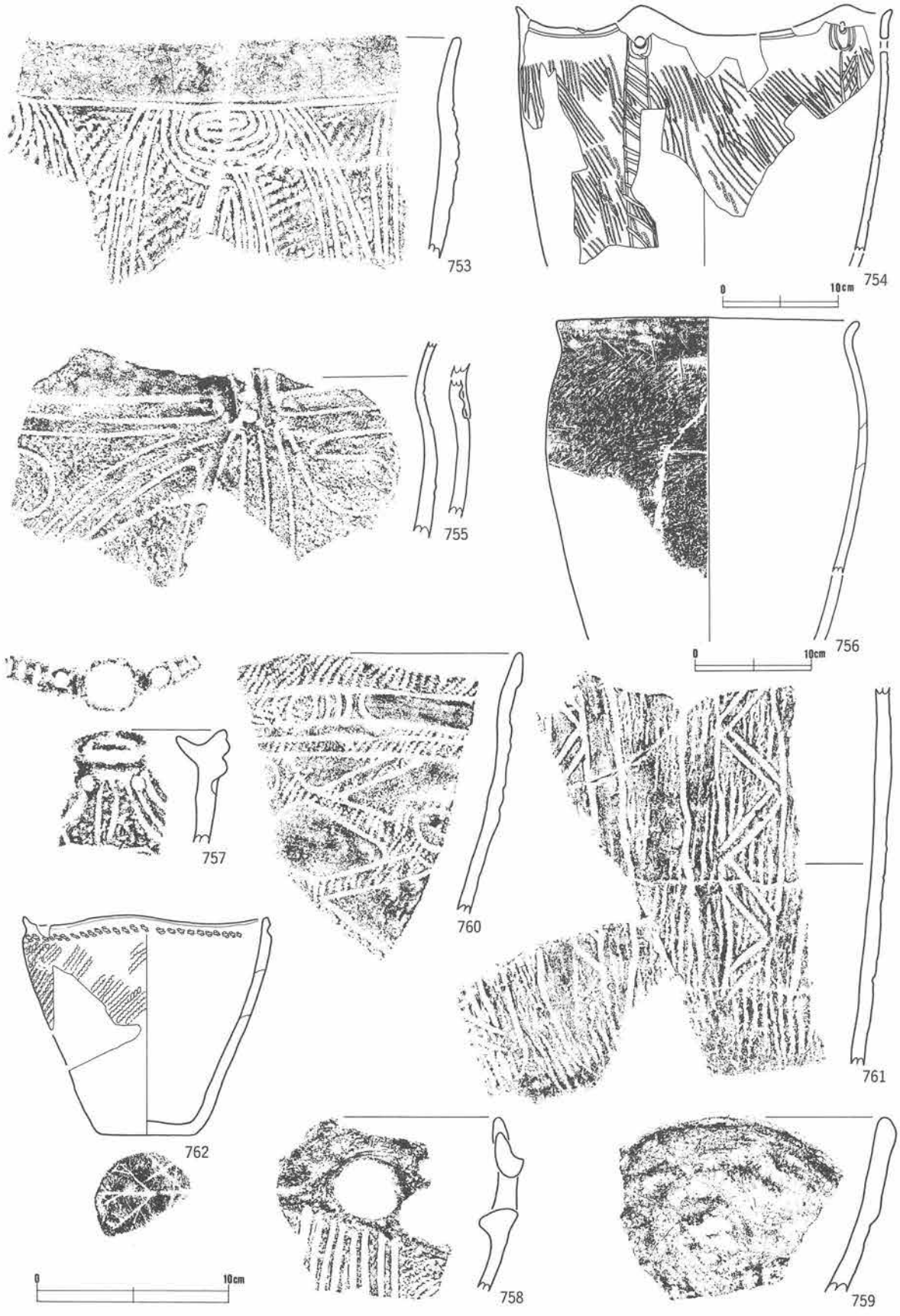
第66図　遺構外出土遺物土器28



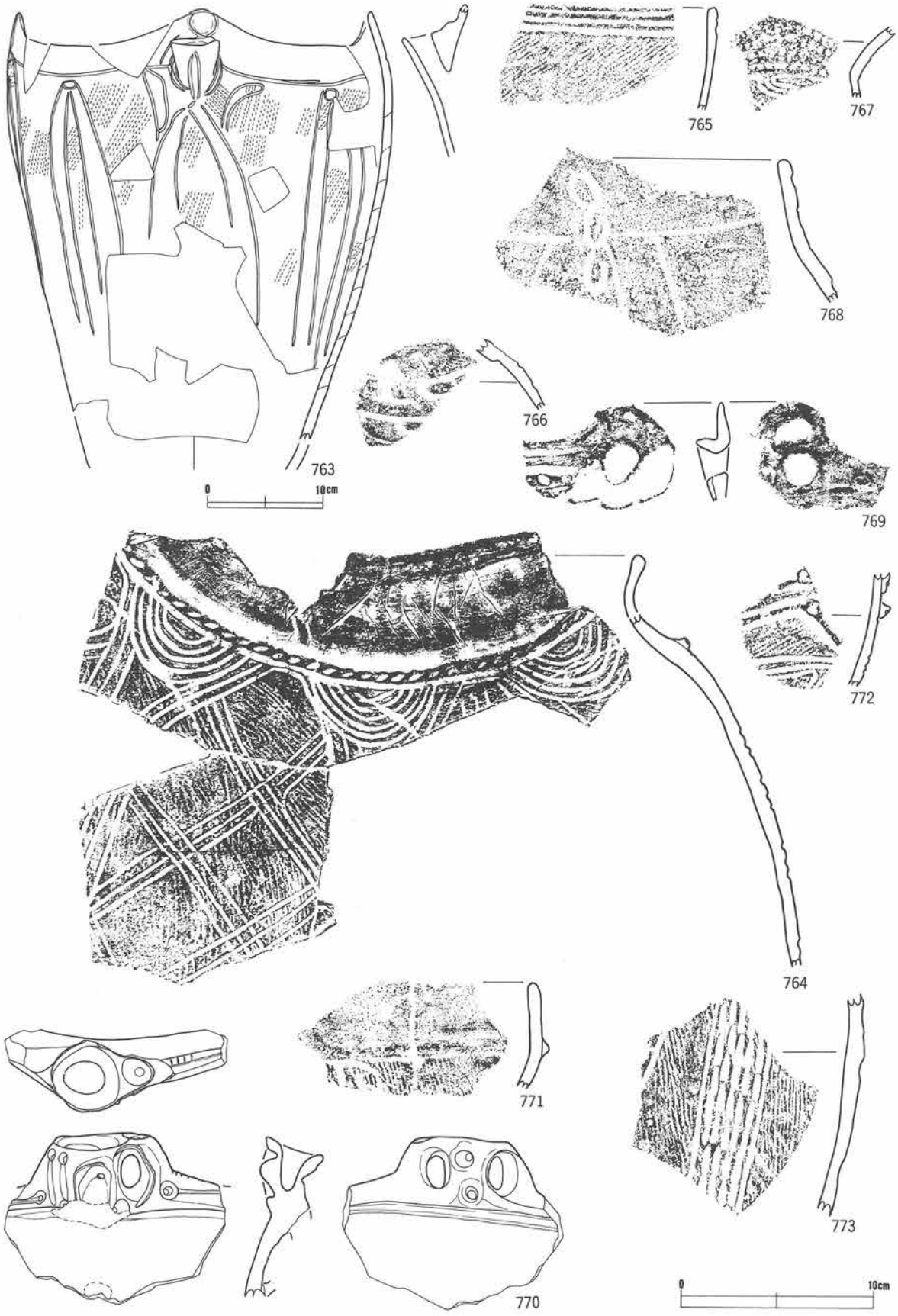
第67図　遺構外出土遺物土器29



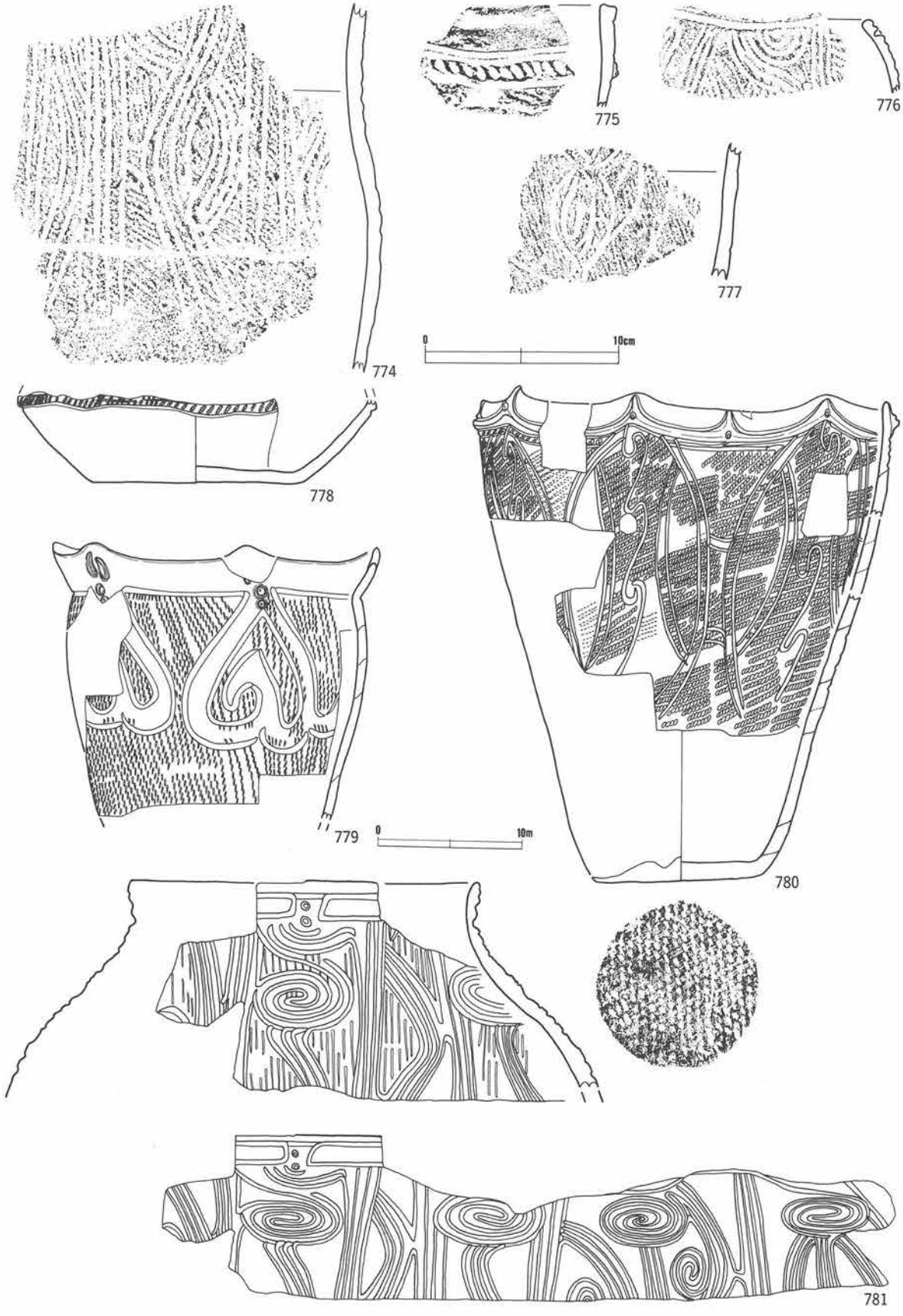
第68図　遺構外出土遺物土器30



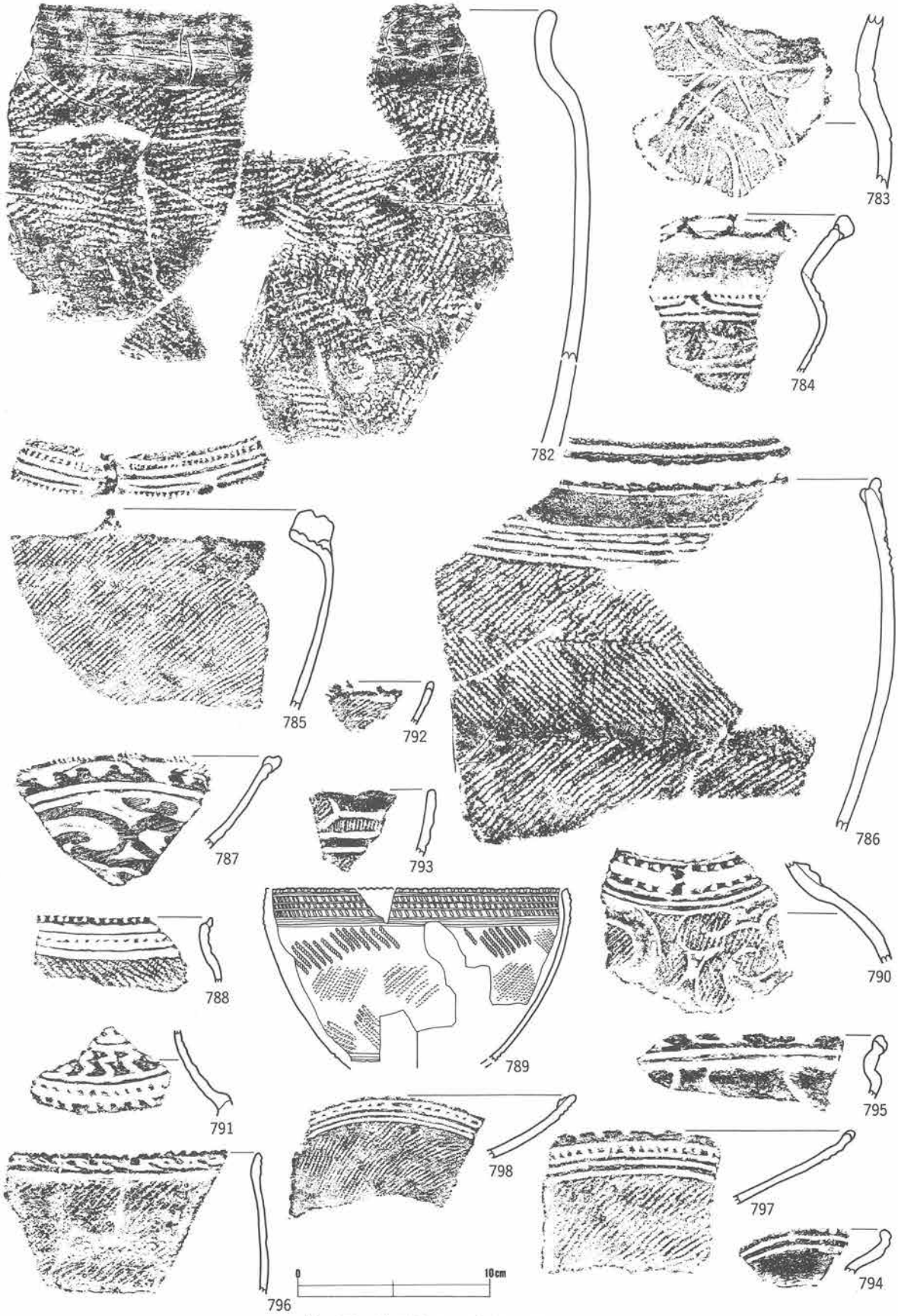
第69図　遺構外出土遺物土器31



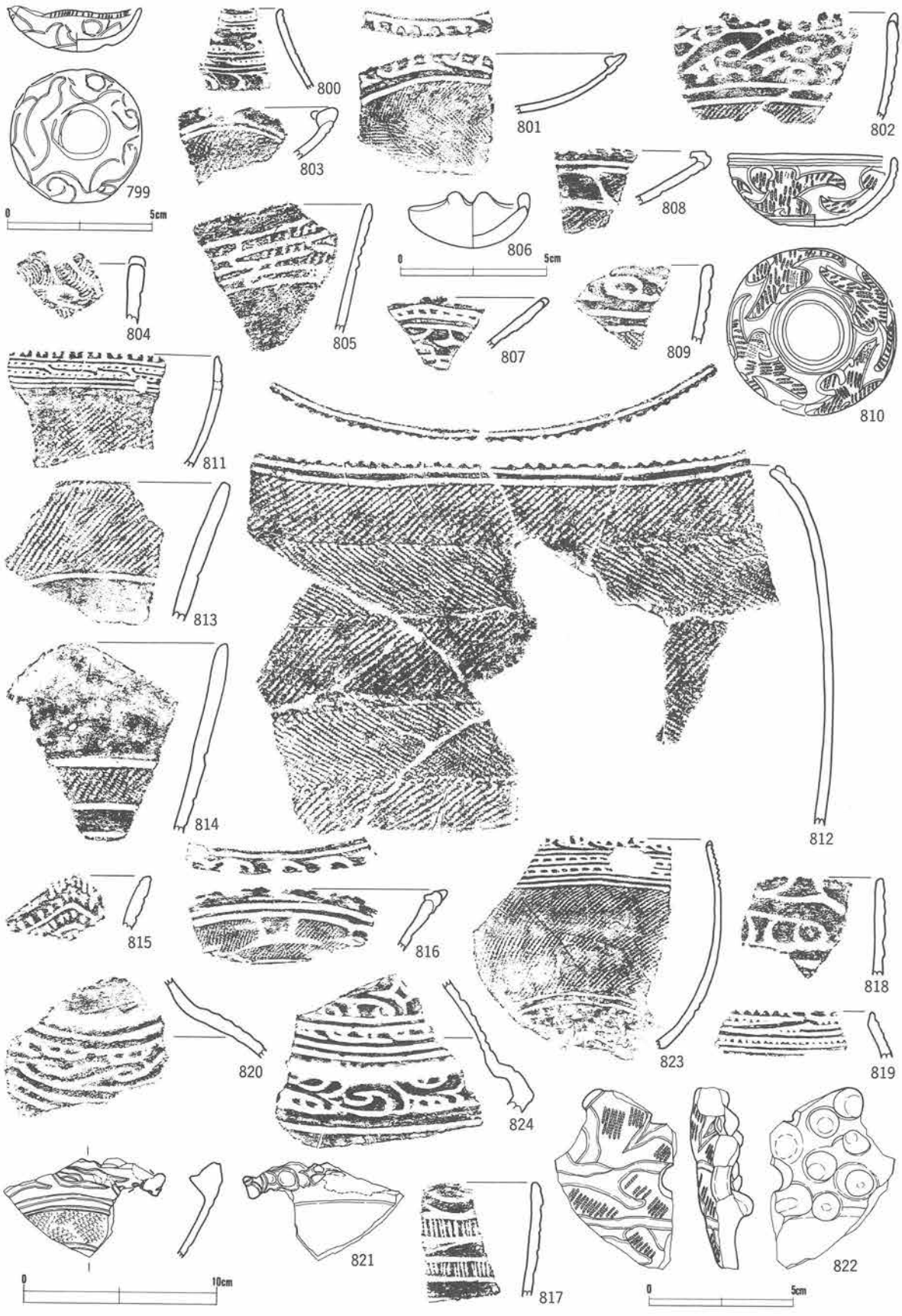
第70図　遺構外出土遺物土器32



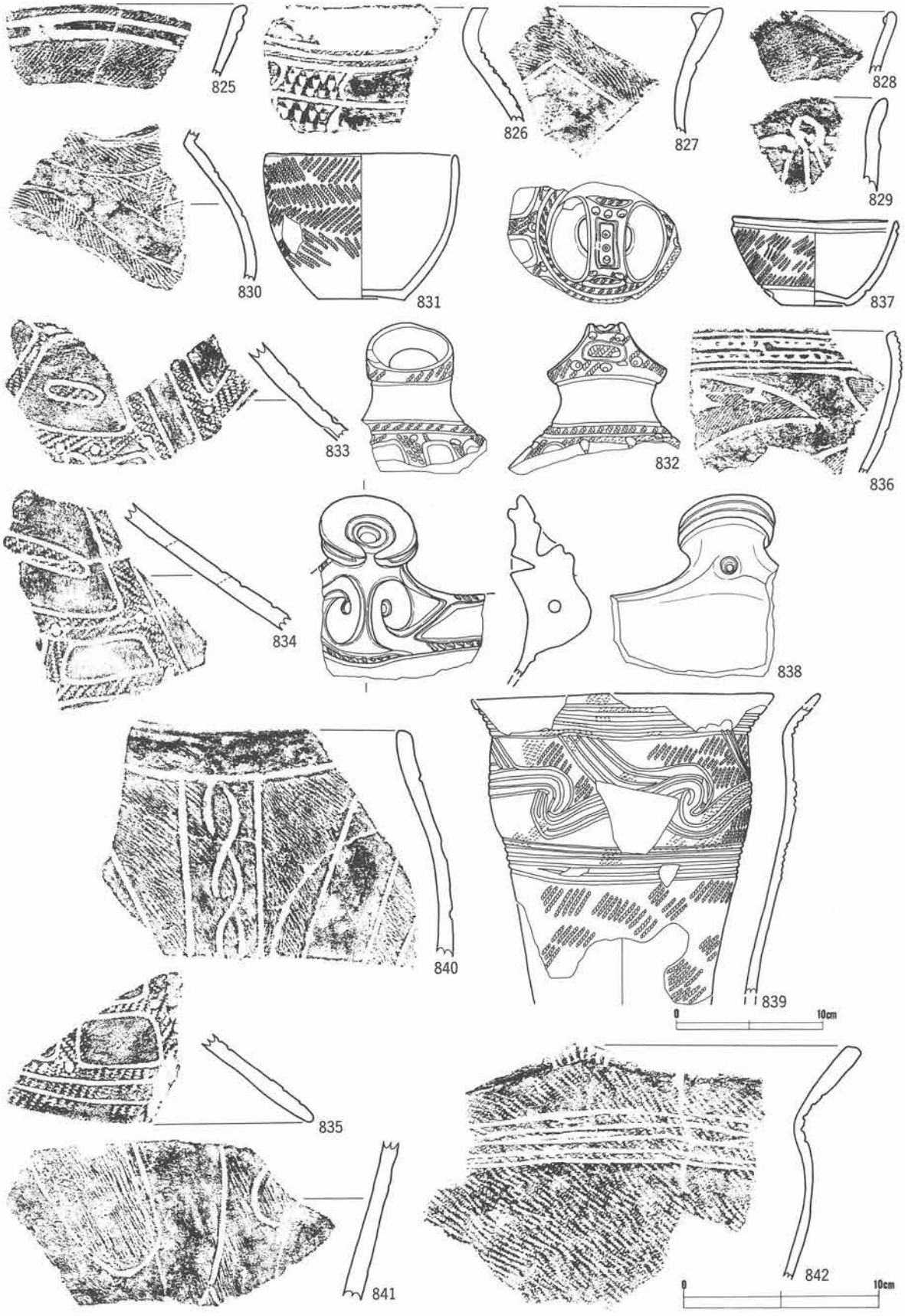
第71図　遺構外出土遺物土器33　　779.780.781　S＝1／4



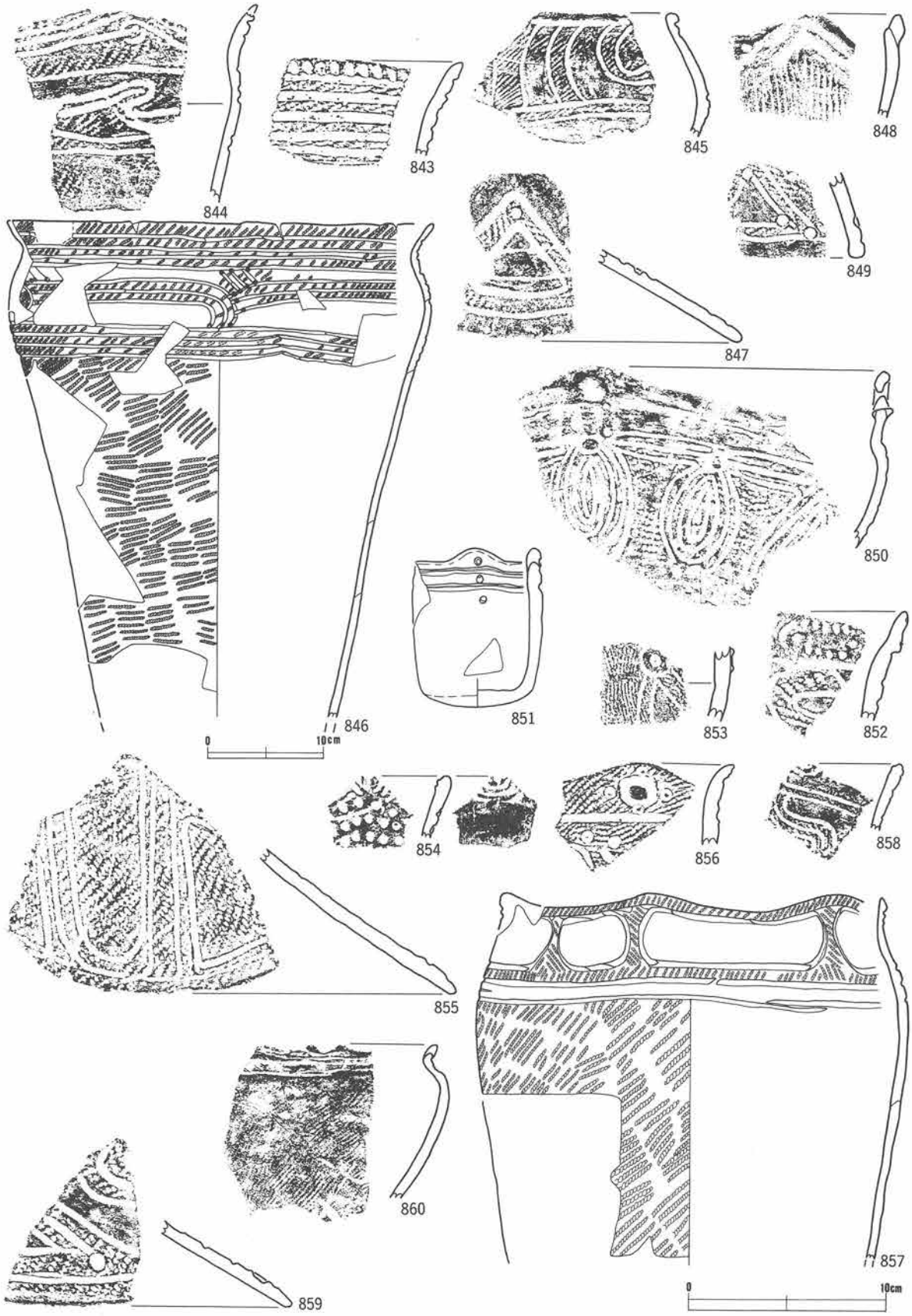
第72図　遺構外出土遺物土器34



第73図　遺構外出土遺物土器35

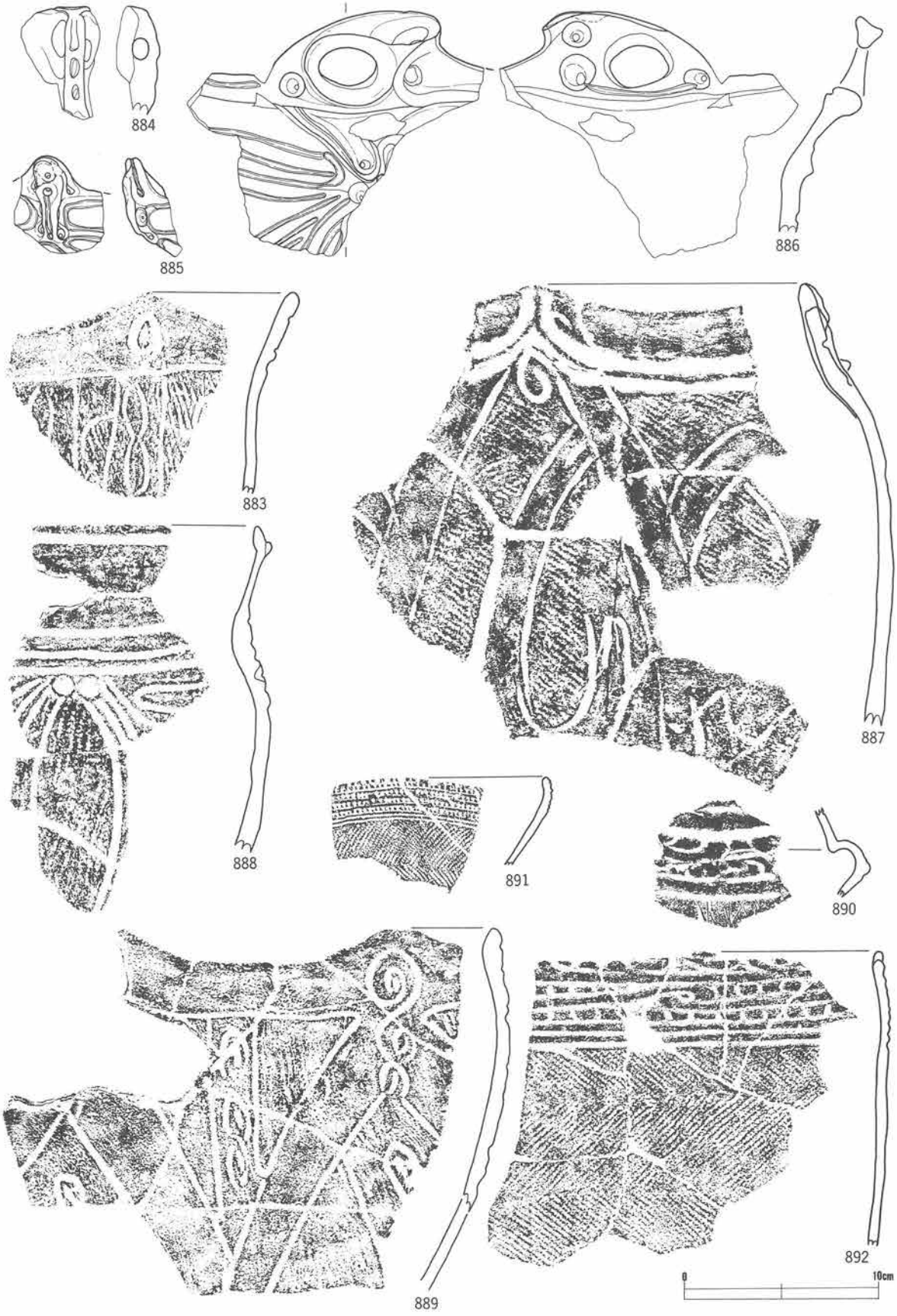


第74図　遺構外出土遺物土器36

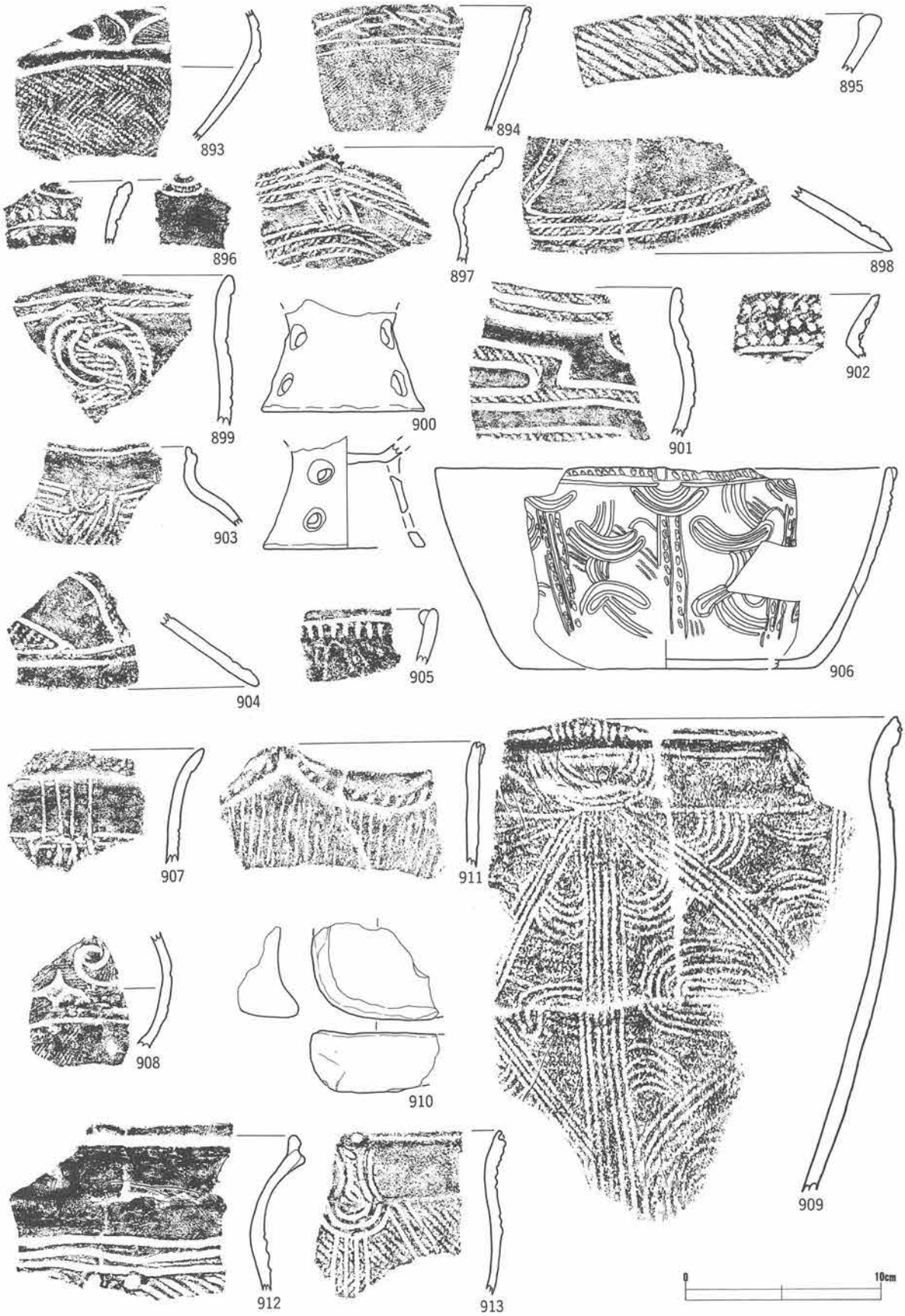


第75図　遺構外出土遺物土器37

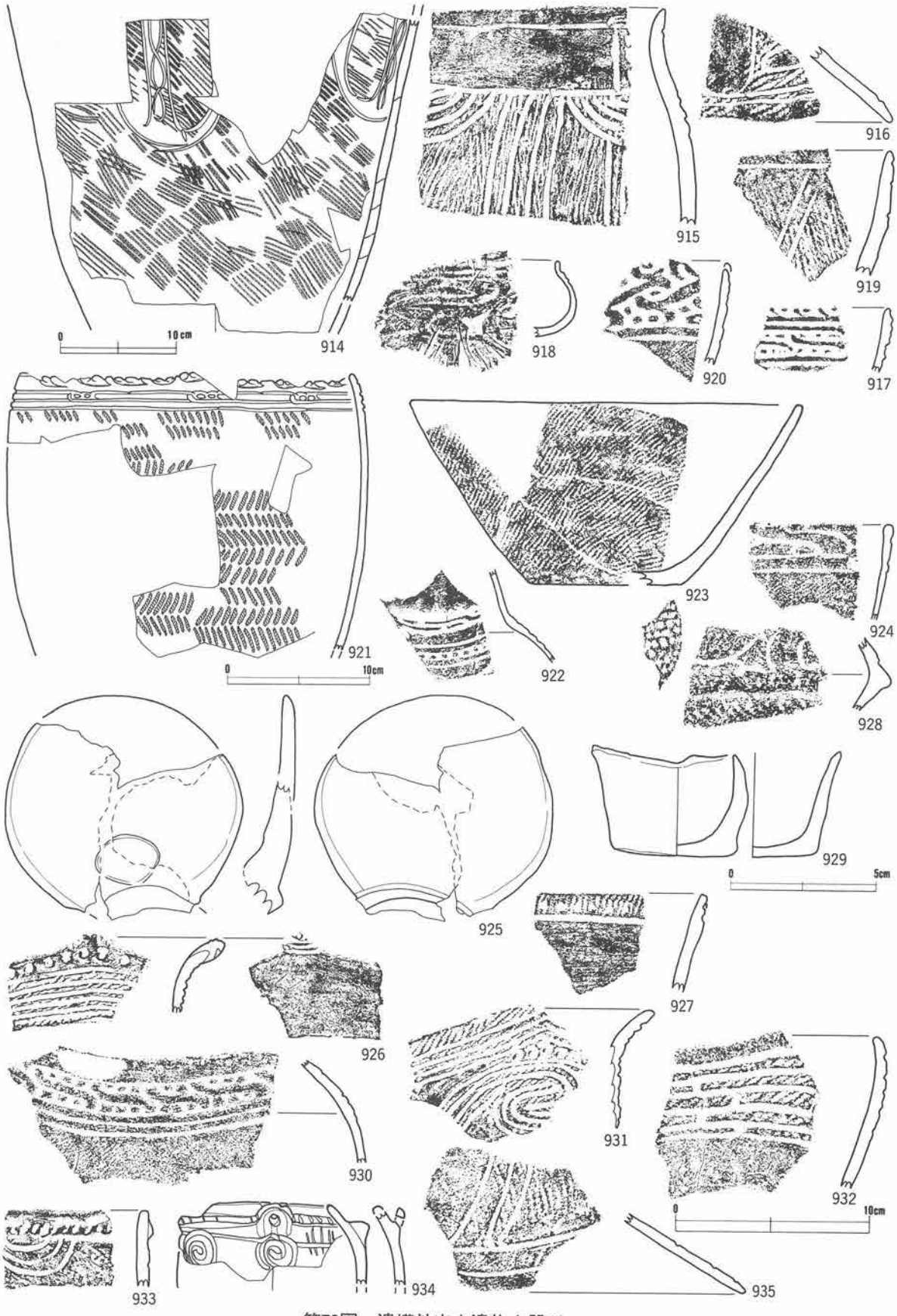
第76図　遺構外出土遺物土器38



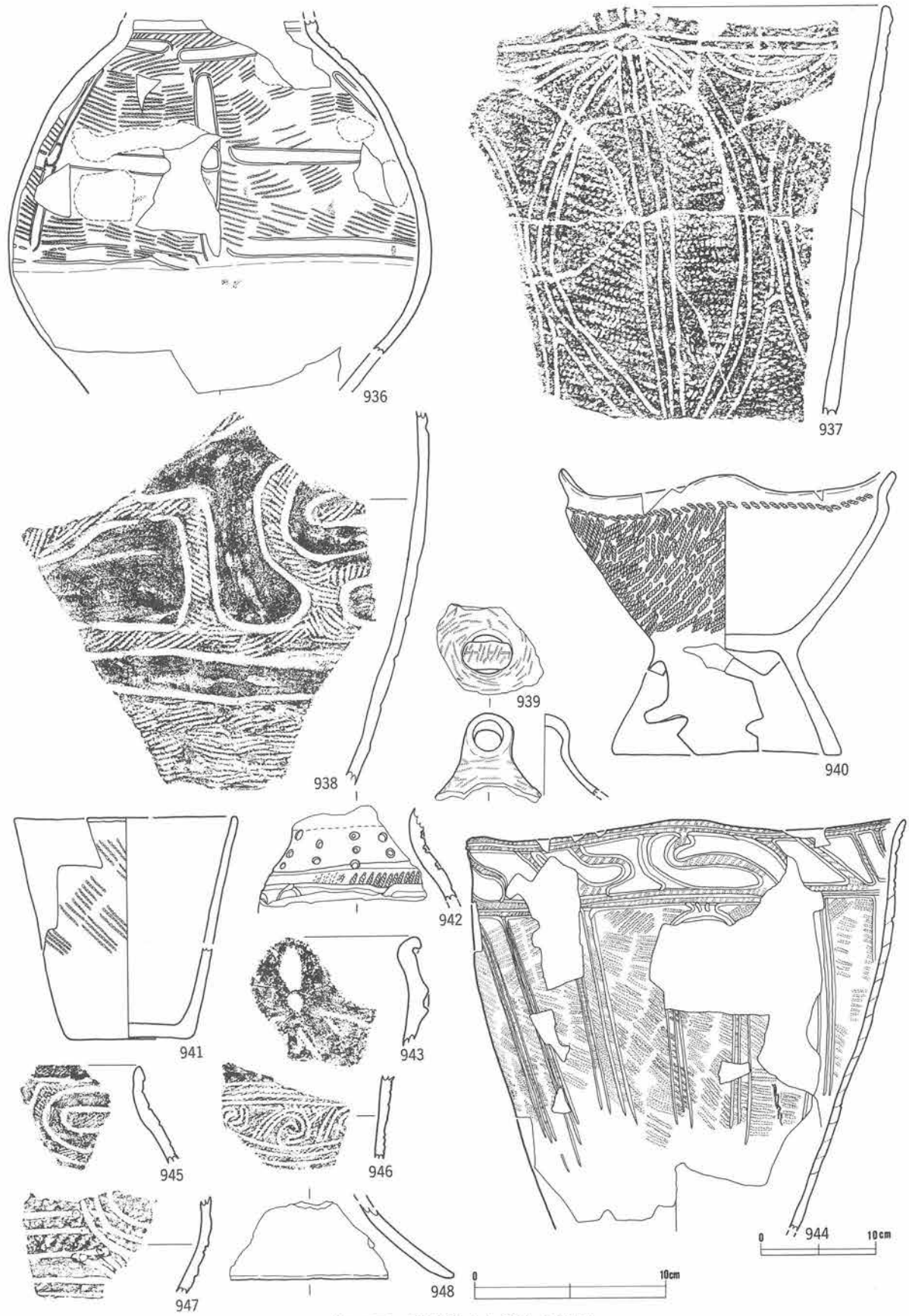
第77図　遺構外出土遺物土器39



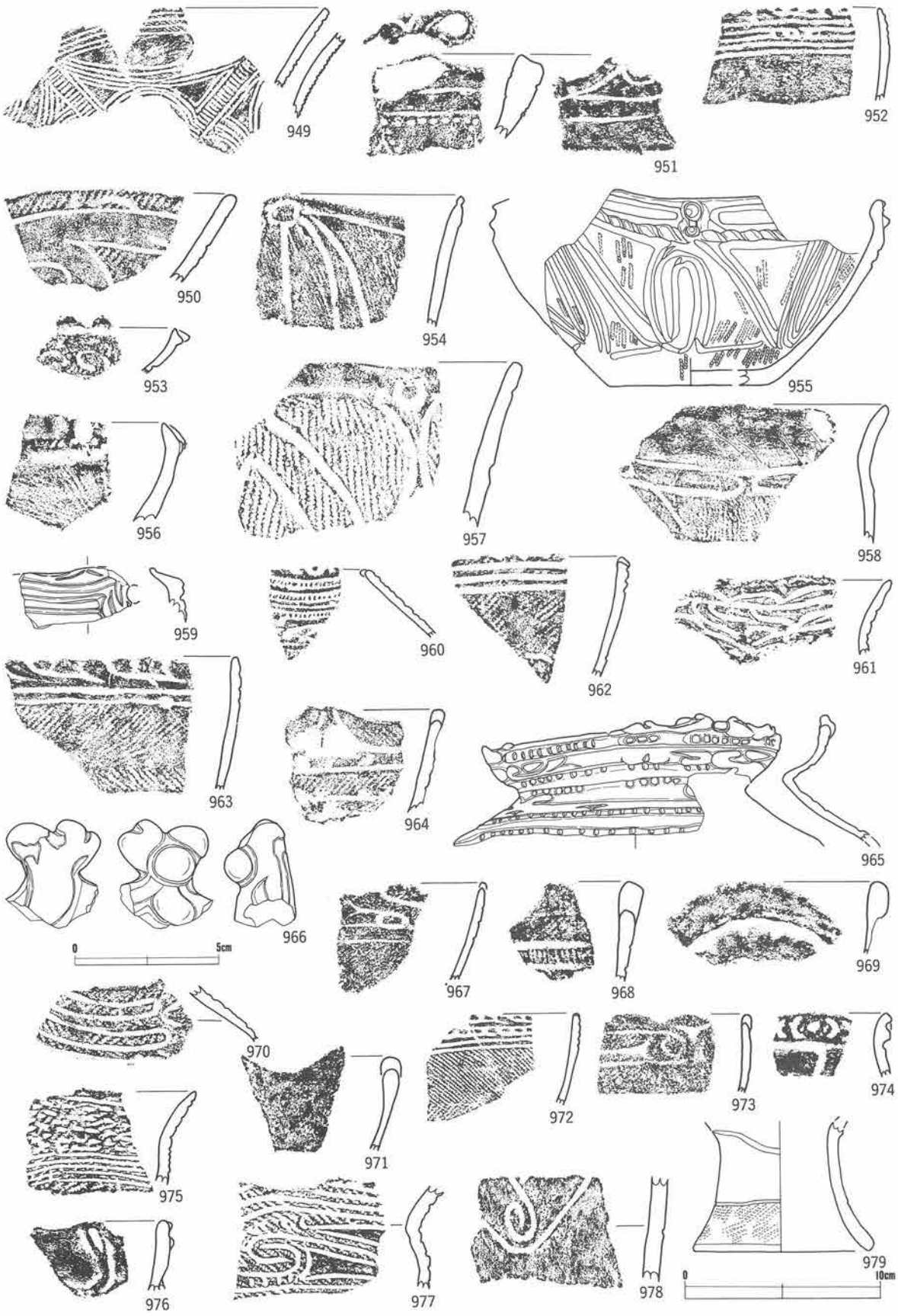
第78図　遺構外出土遺物土器40



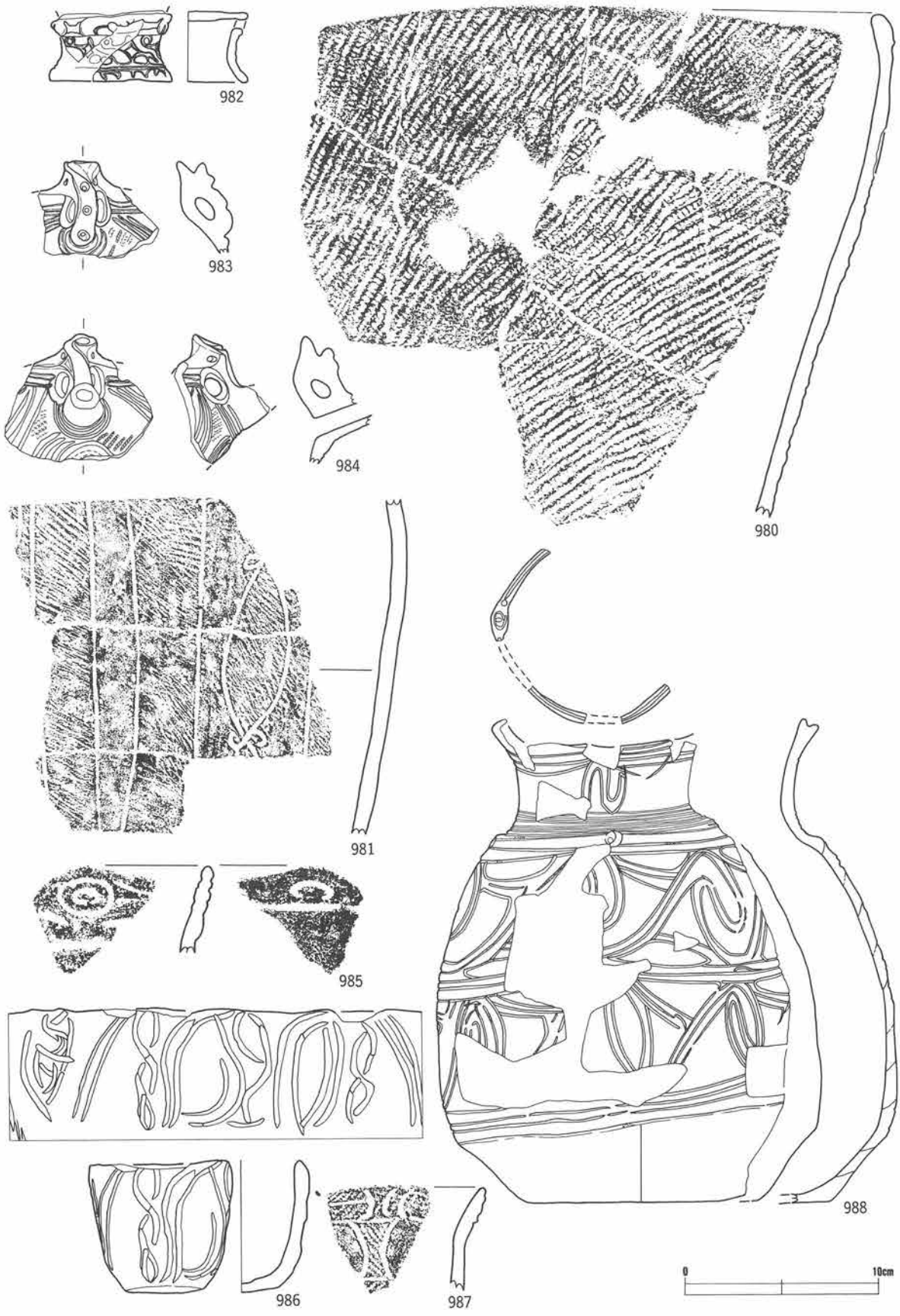
第79図　遺構外出土遺物土器41



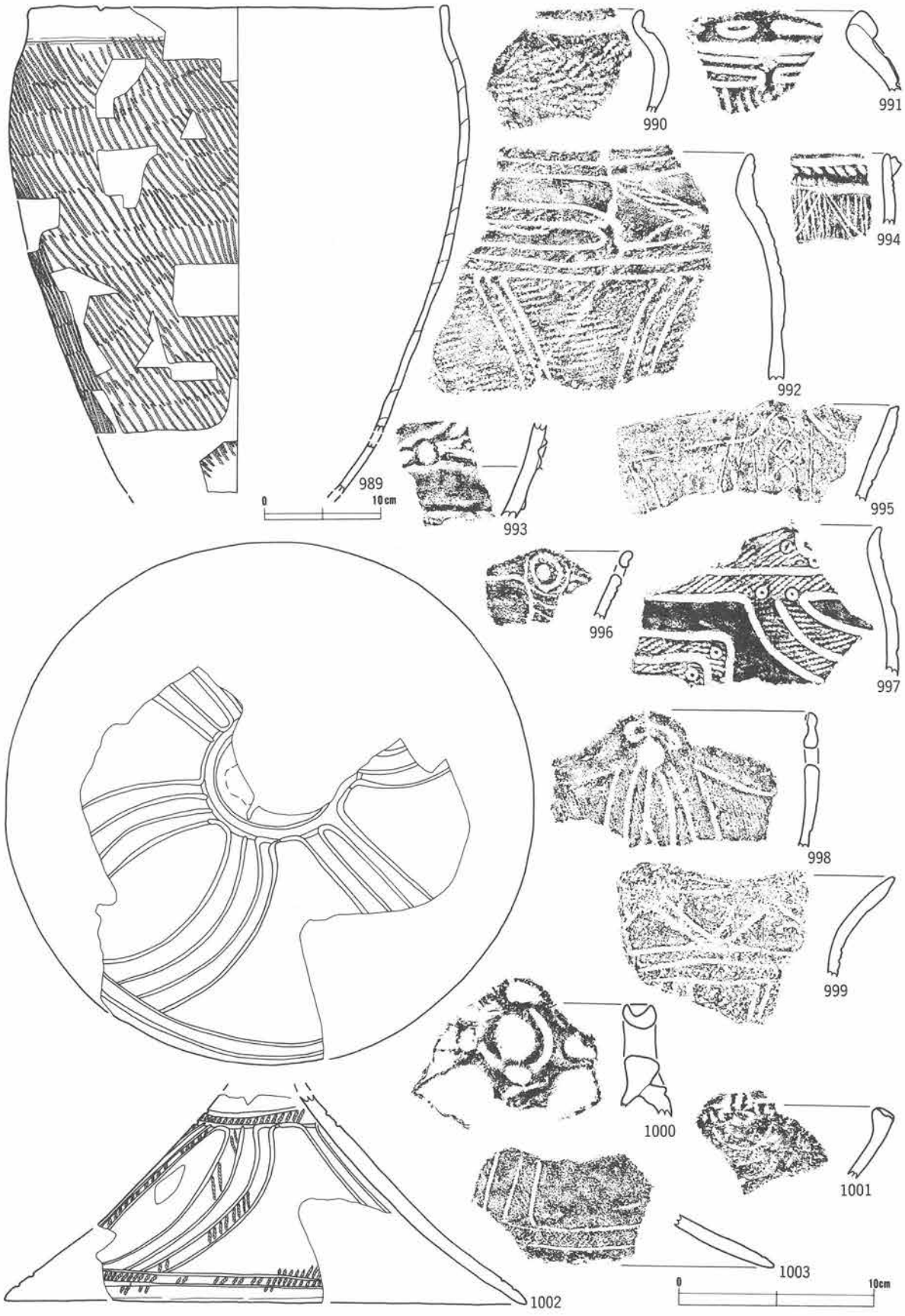
第80図　遺構外出土遺物土器42



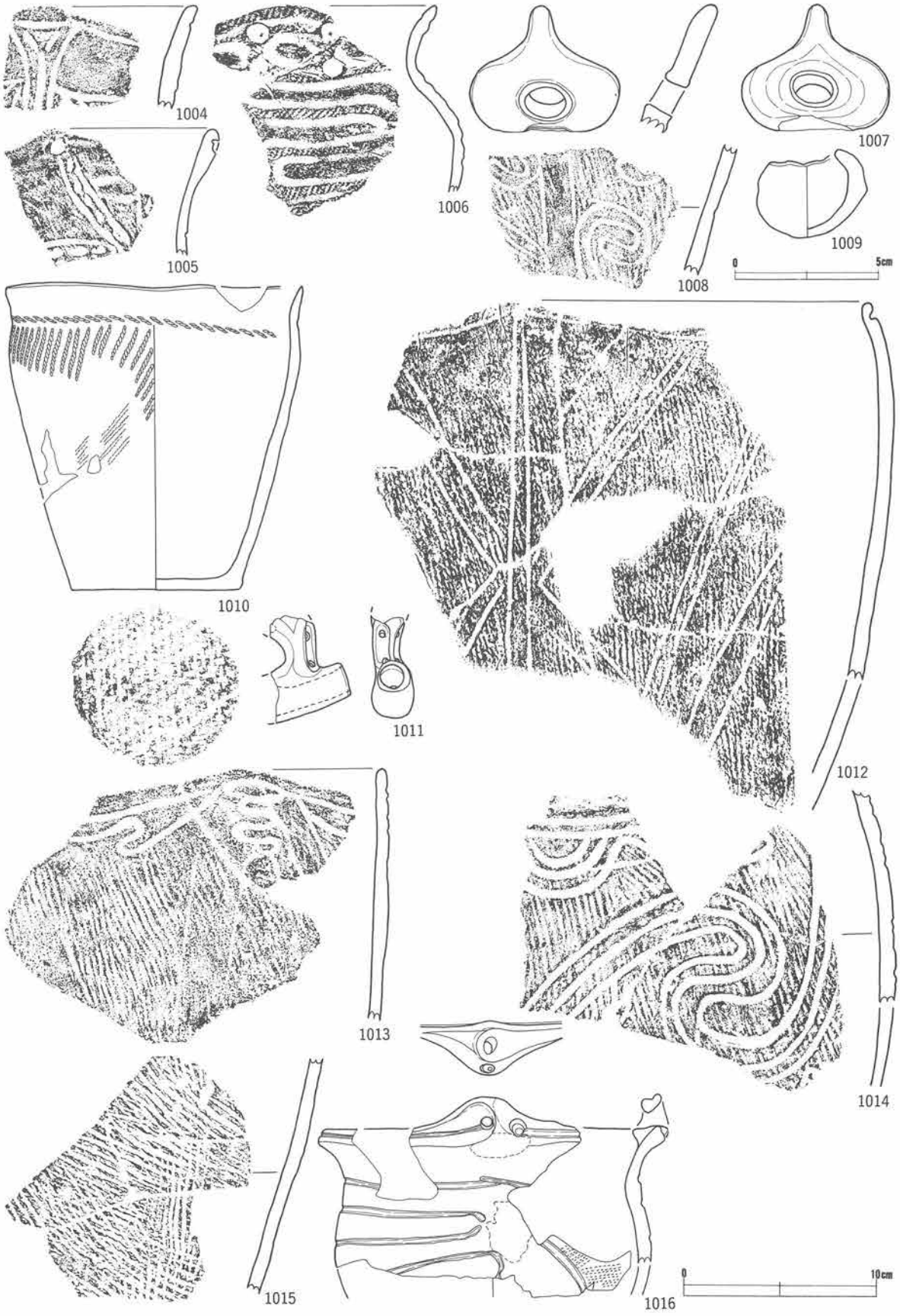
第81図　遺構外出土遺物土器43



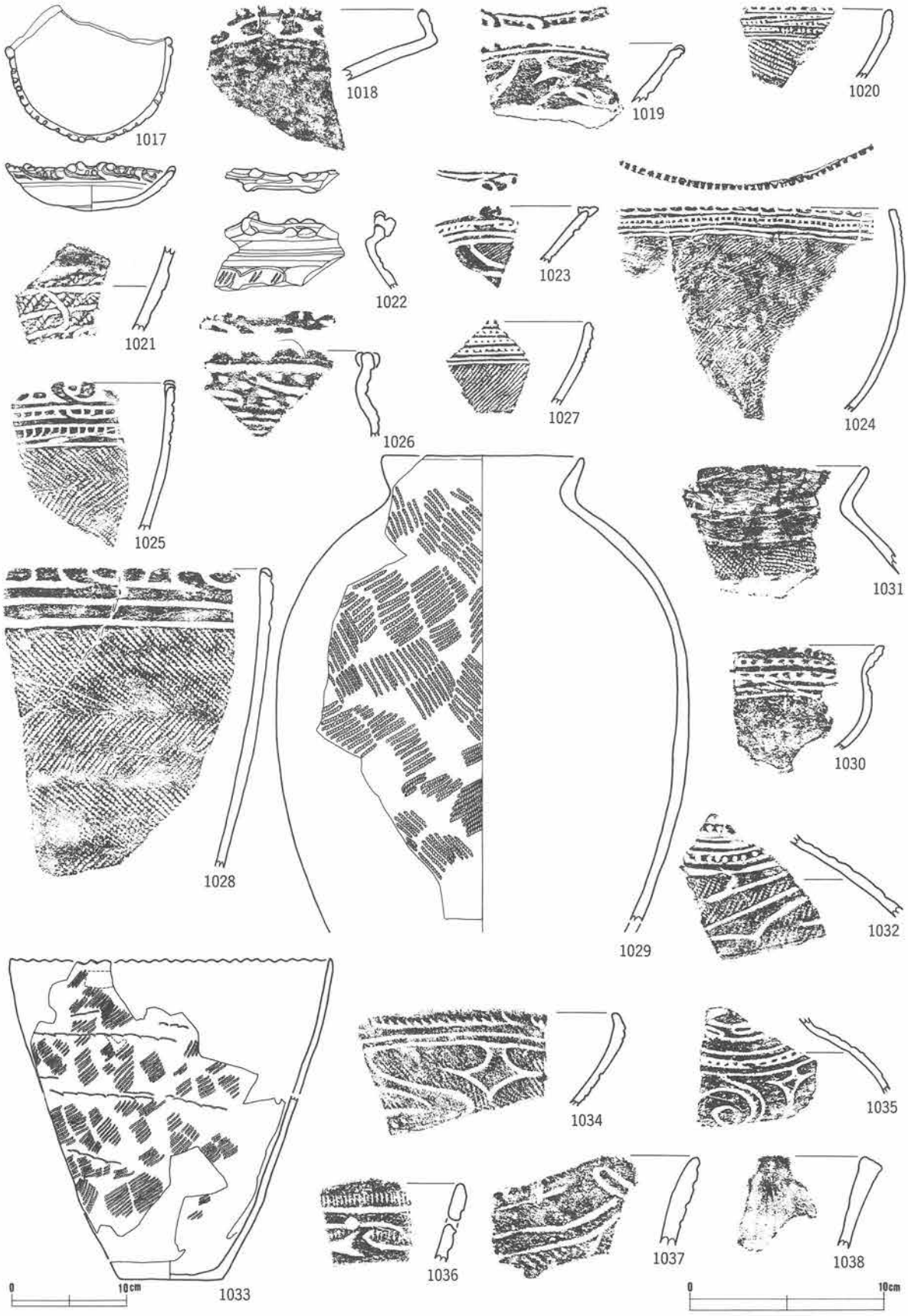
第82図　遺構外出土遺物土器44



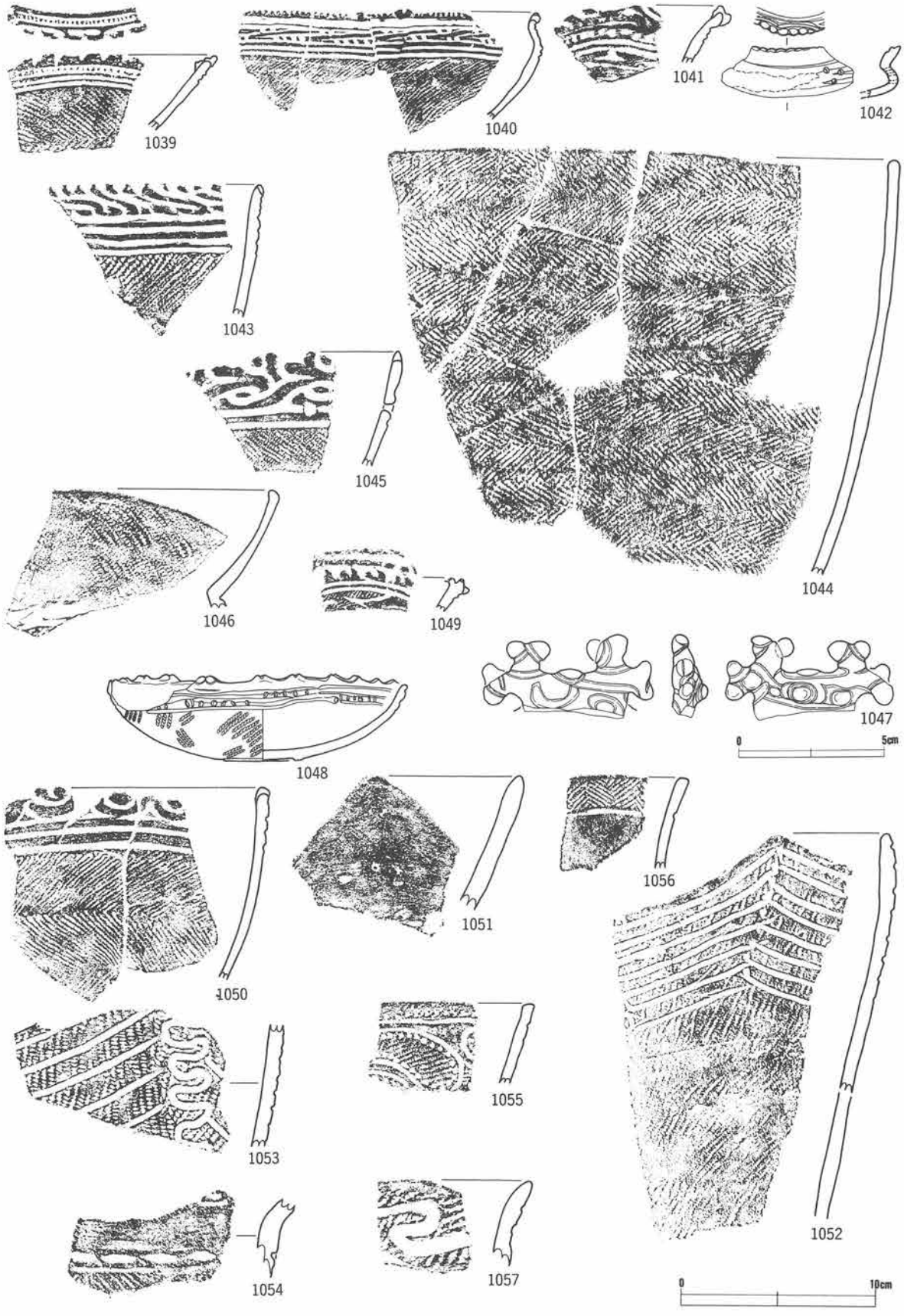
第83図　遺構外出土遺物土器45



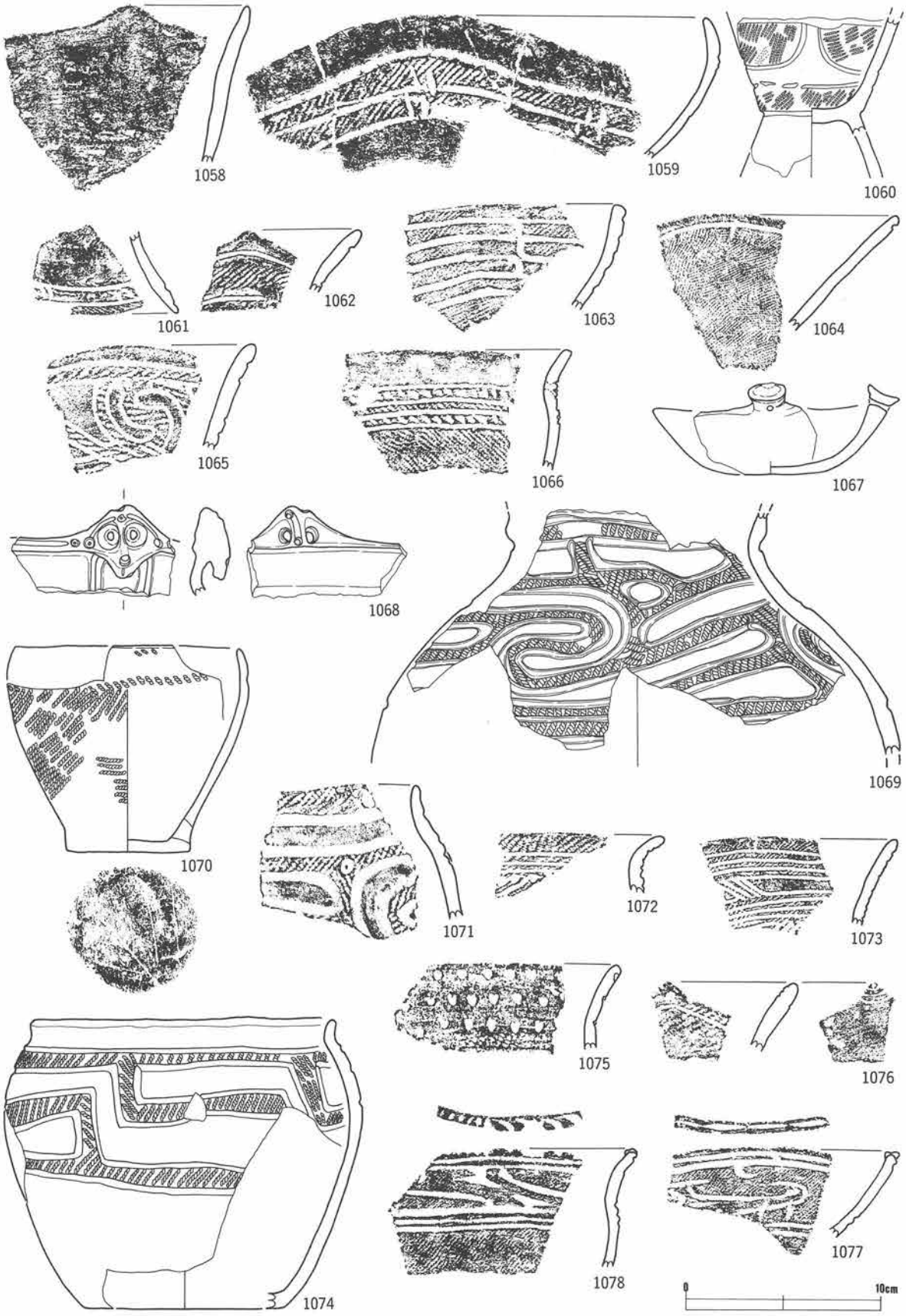
第84図　遺構外出土遺物土器46



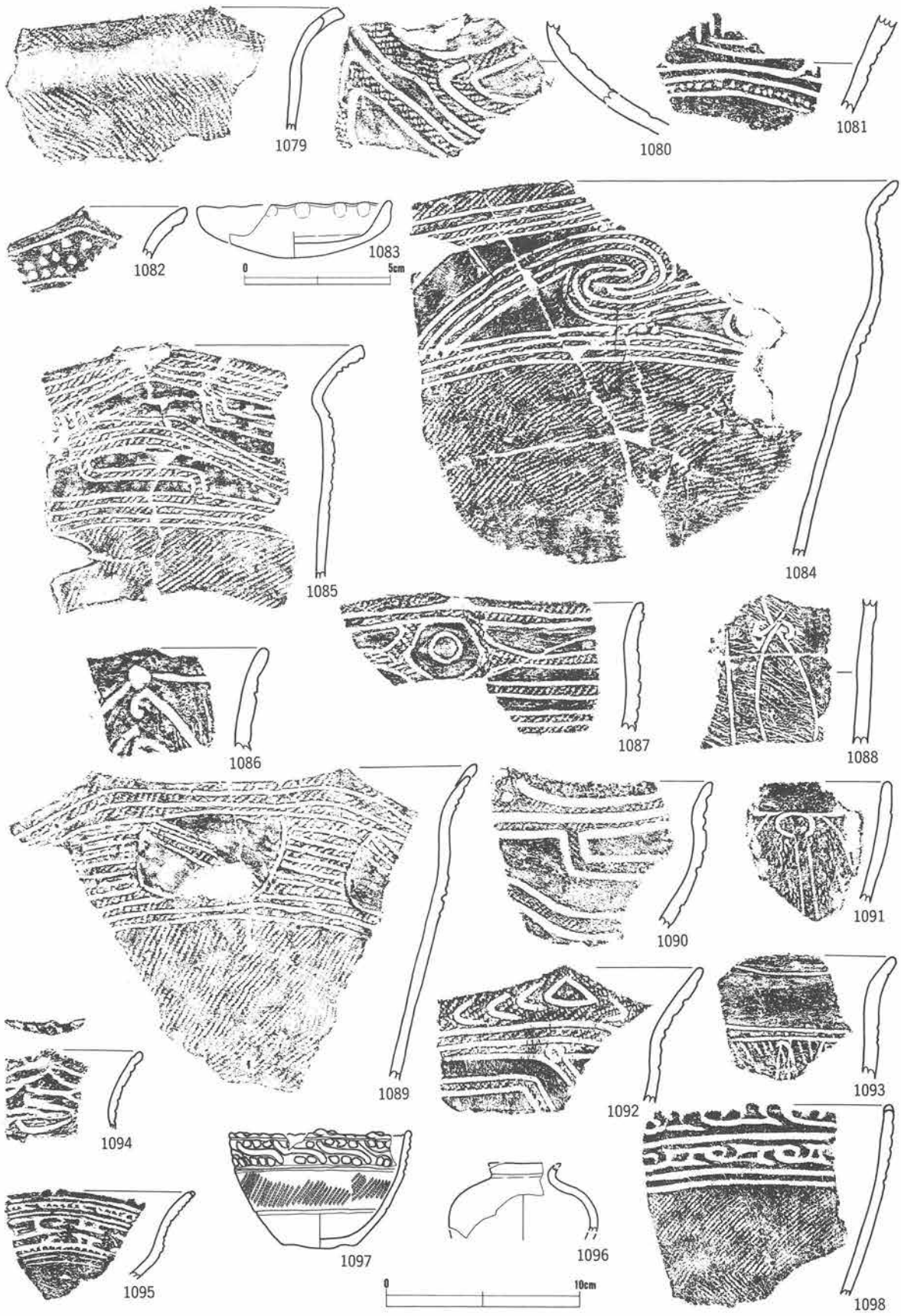
第85図　遺構外出土遺物土器47



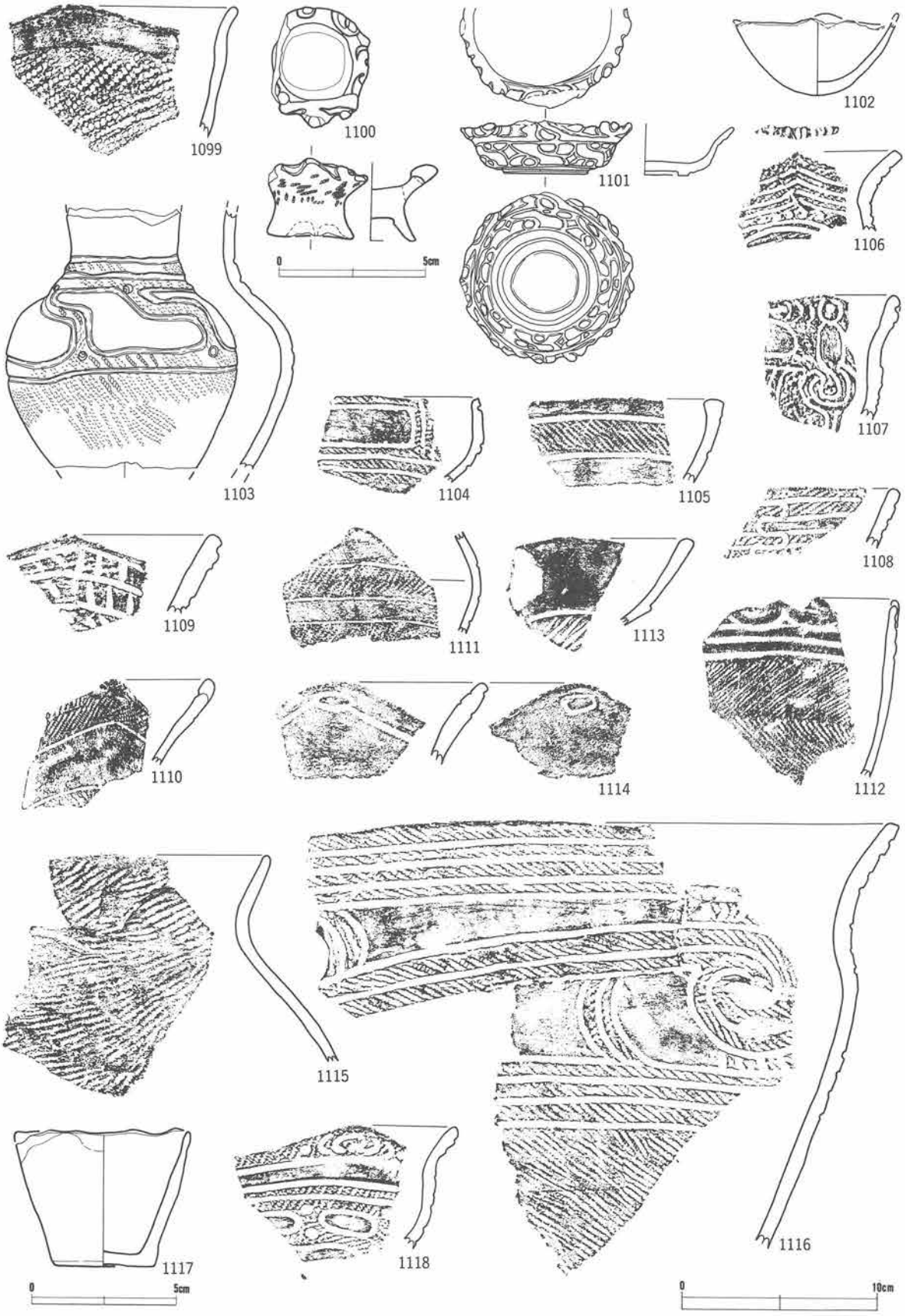
第86図　遺構外出土遺物土器48



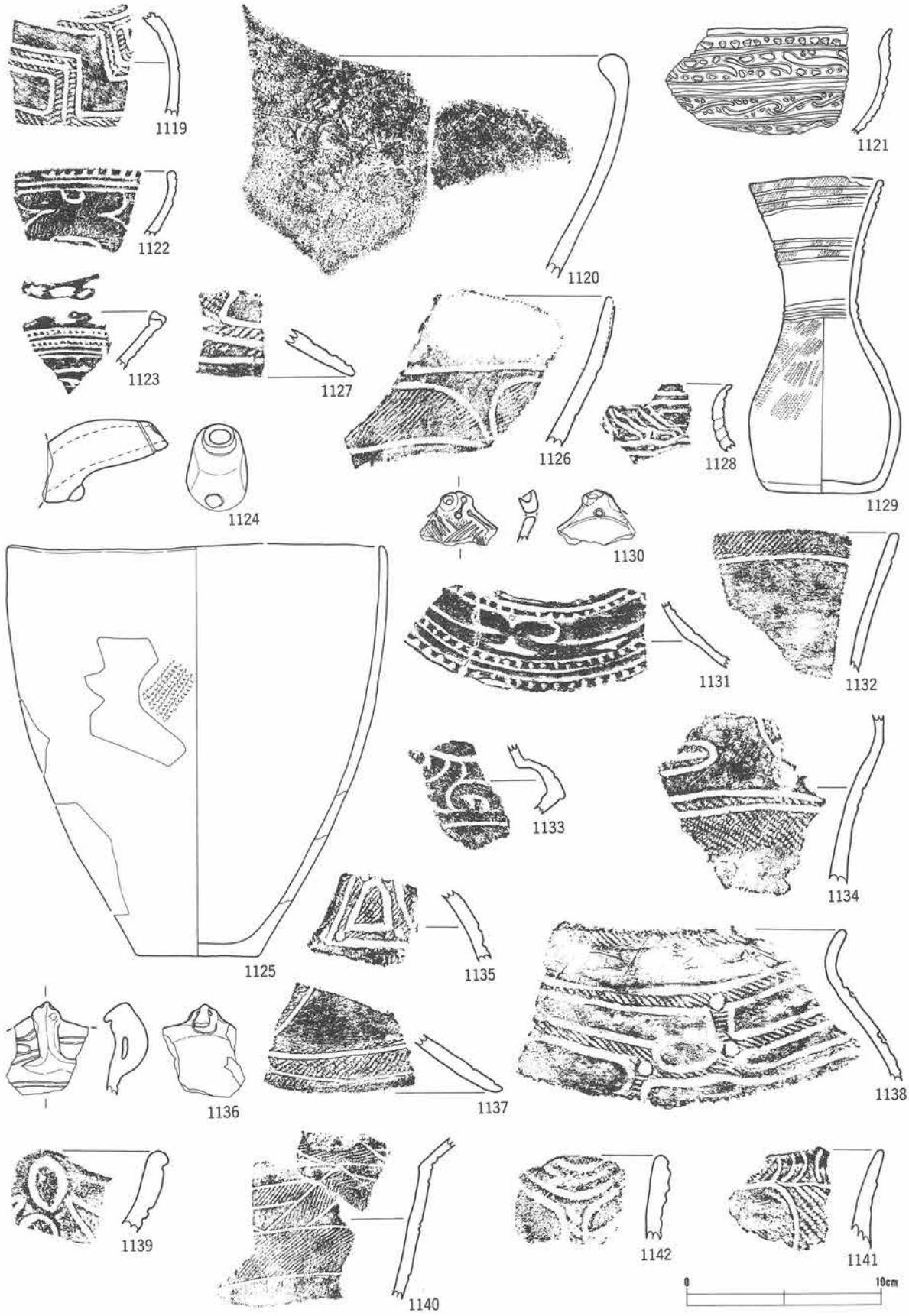
第87図　遺構外出土遺物土器49



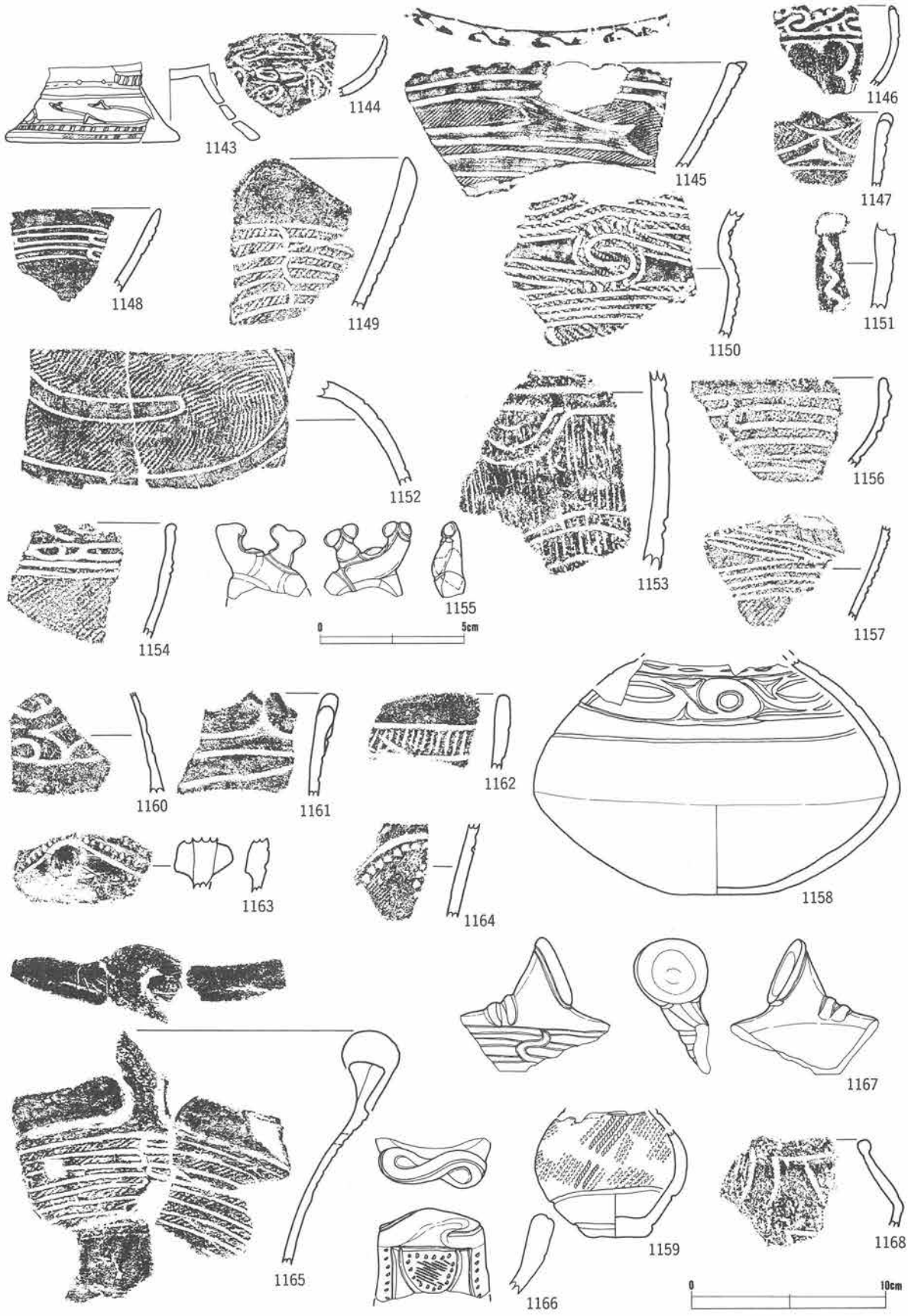
第88図　遺構外出土遺物土器50



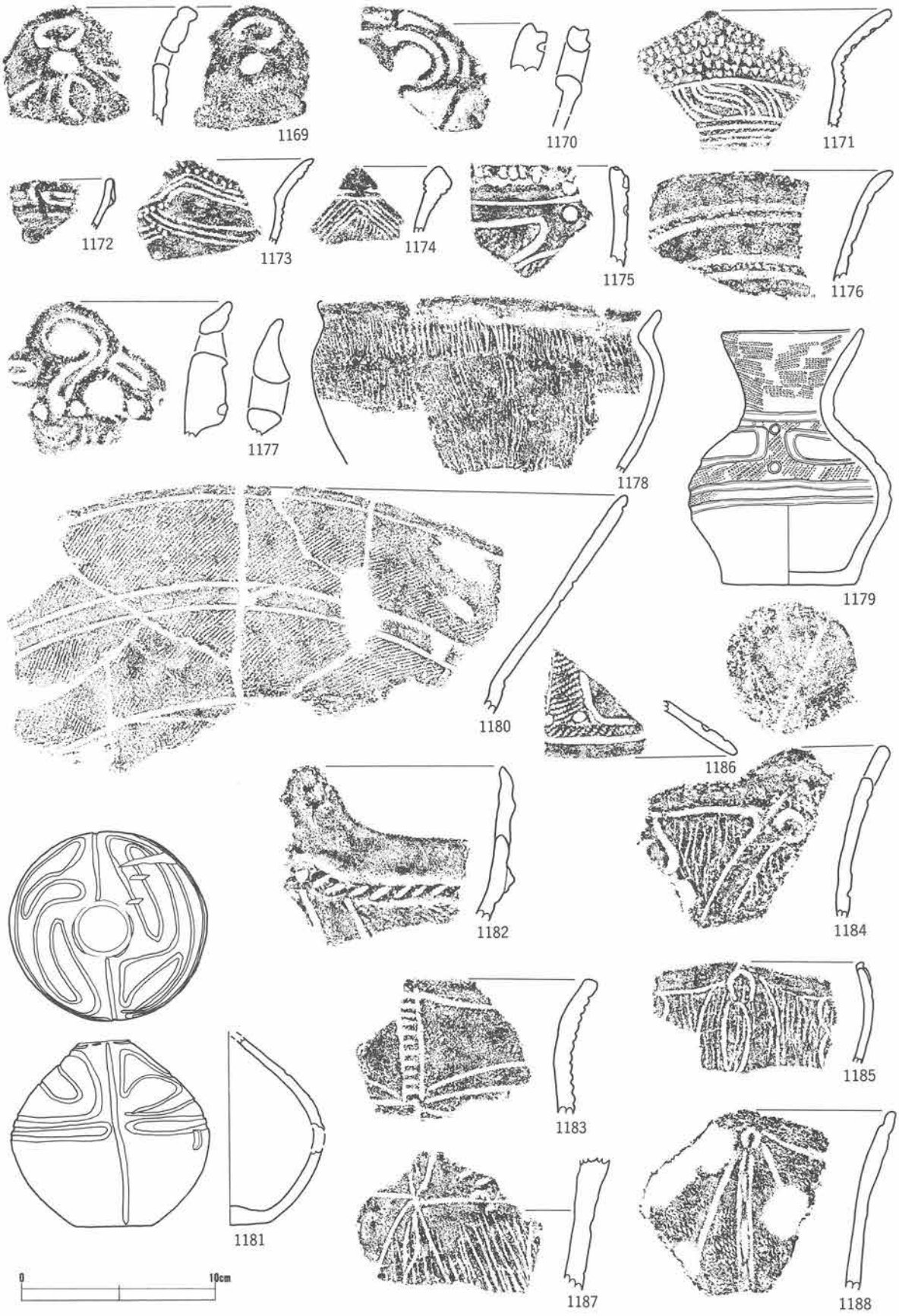
第89図　遺構外出土遺物土器51



第90図　遺構外出土遺物土器52

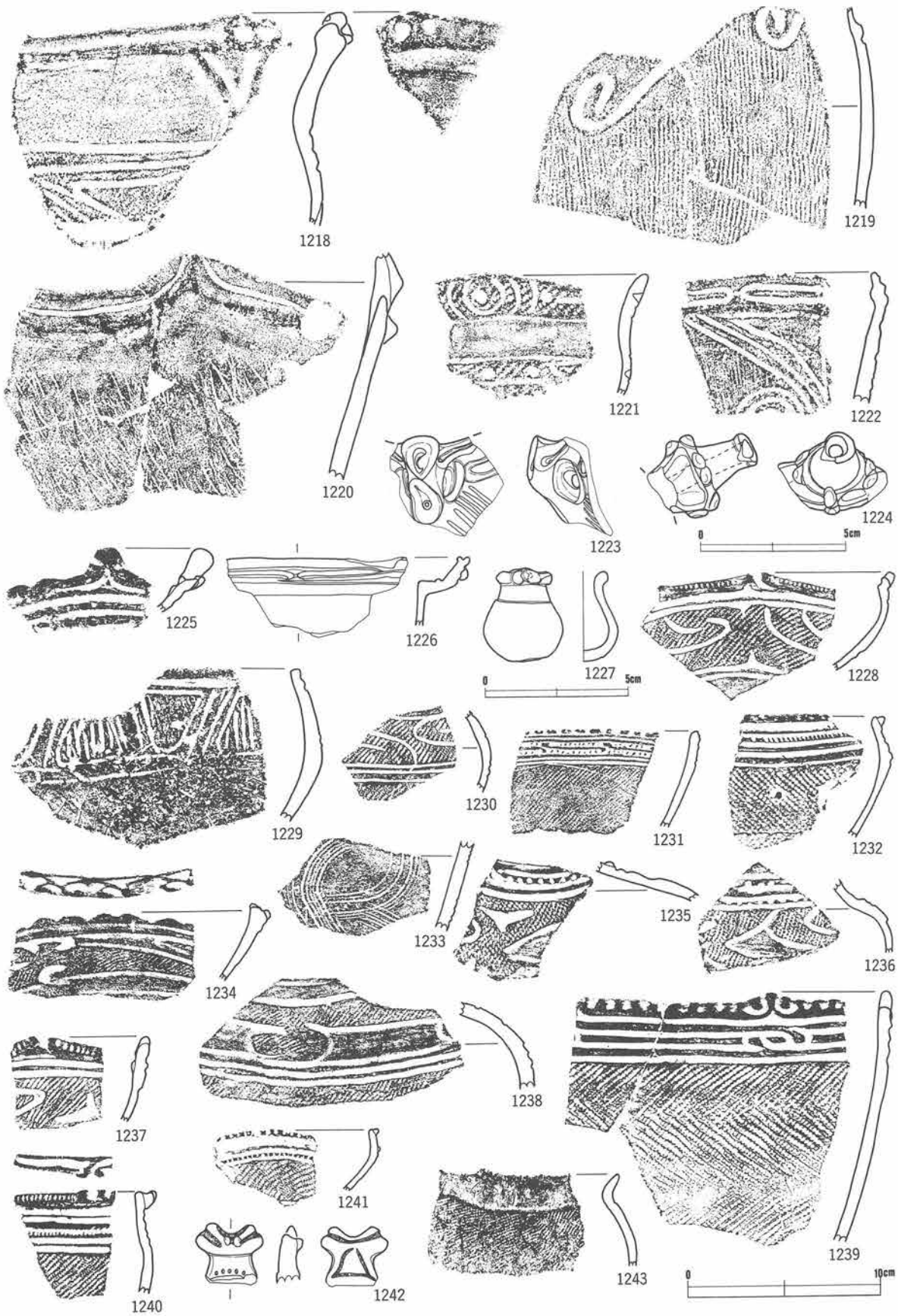


第91図　遺構外出土遺物土器53

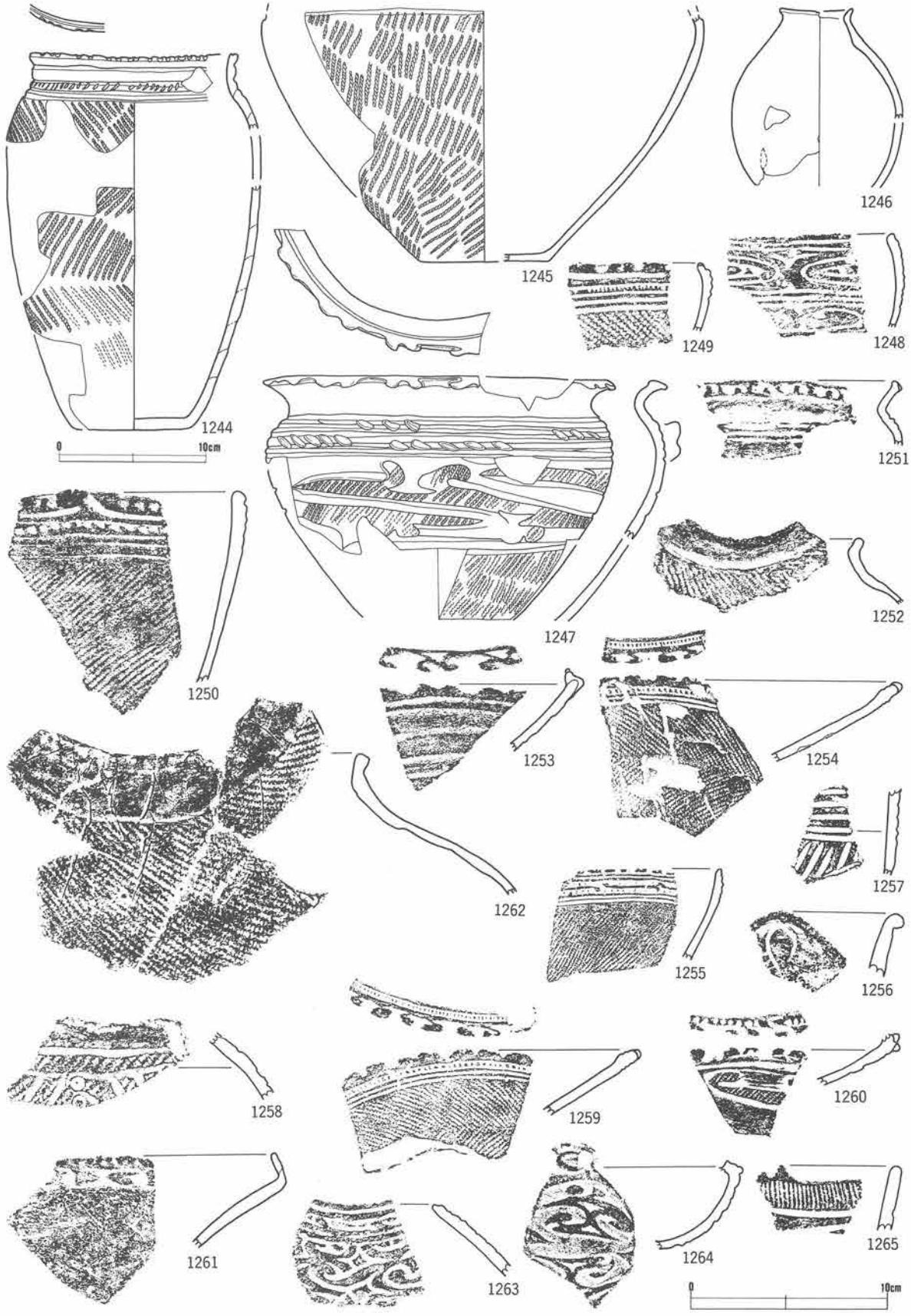


第92図　遺構外出土遺物土器54

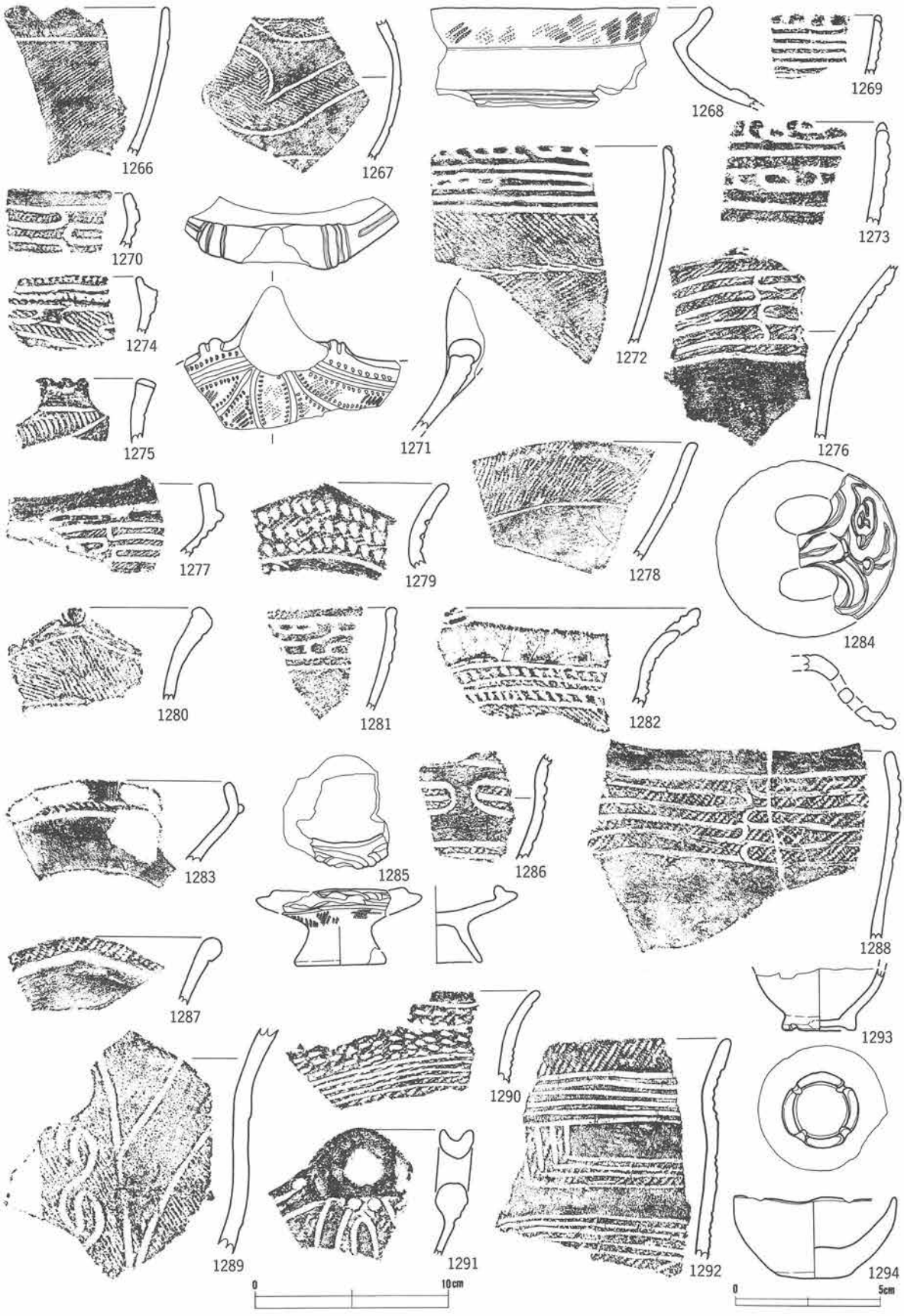
第93図　遺構外出土遺物土器55



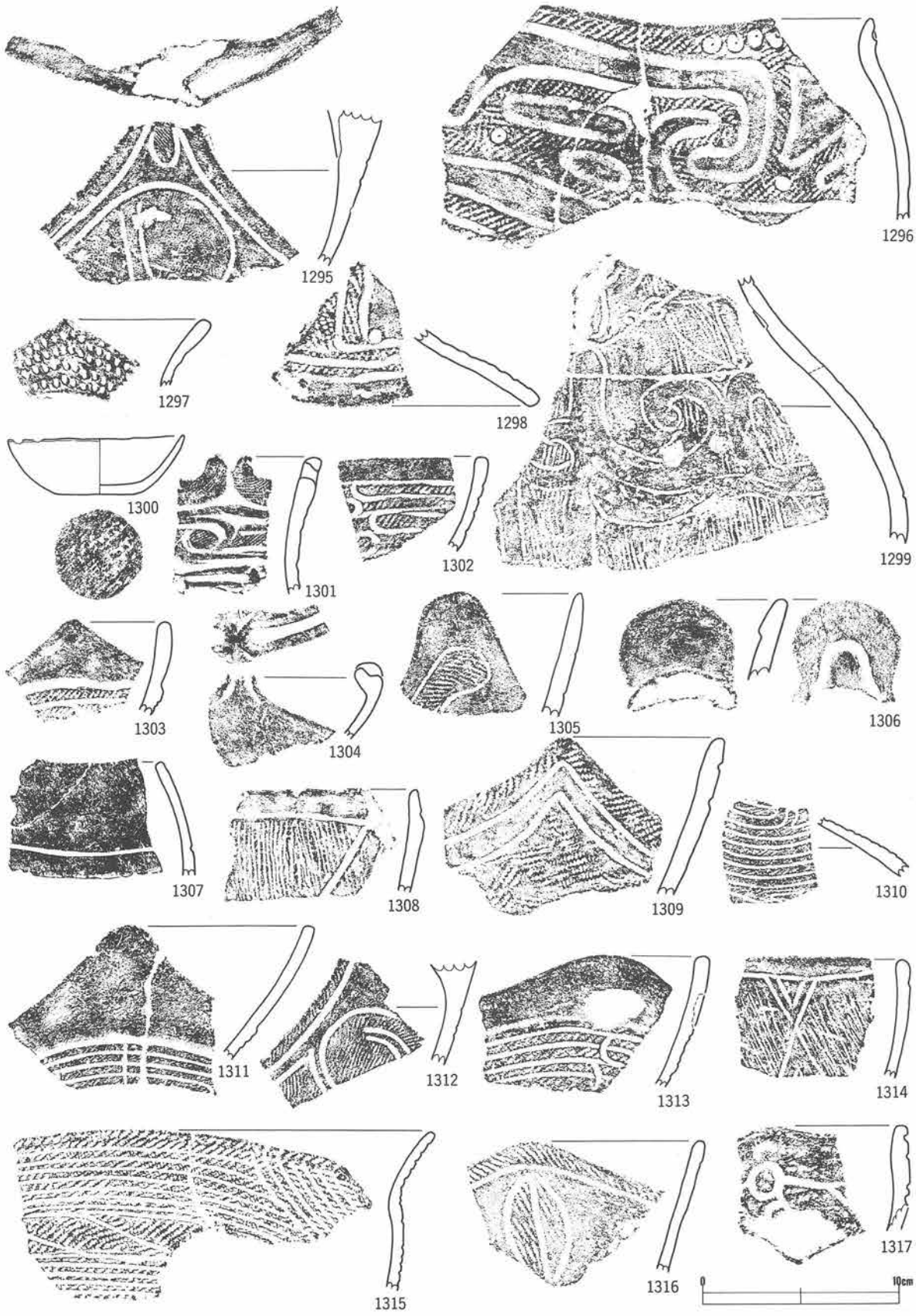
第94図　遺構外出土遺物土器56



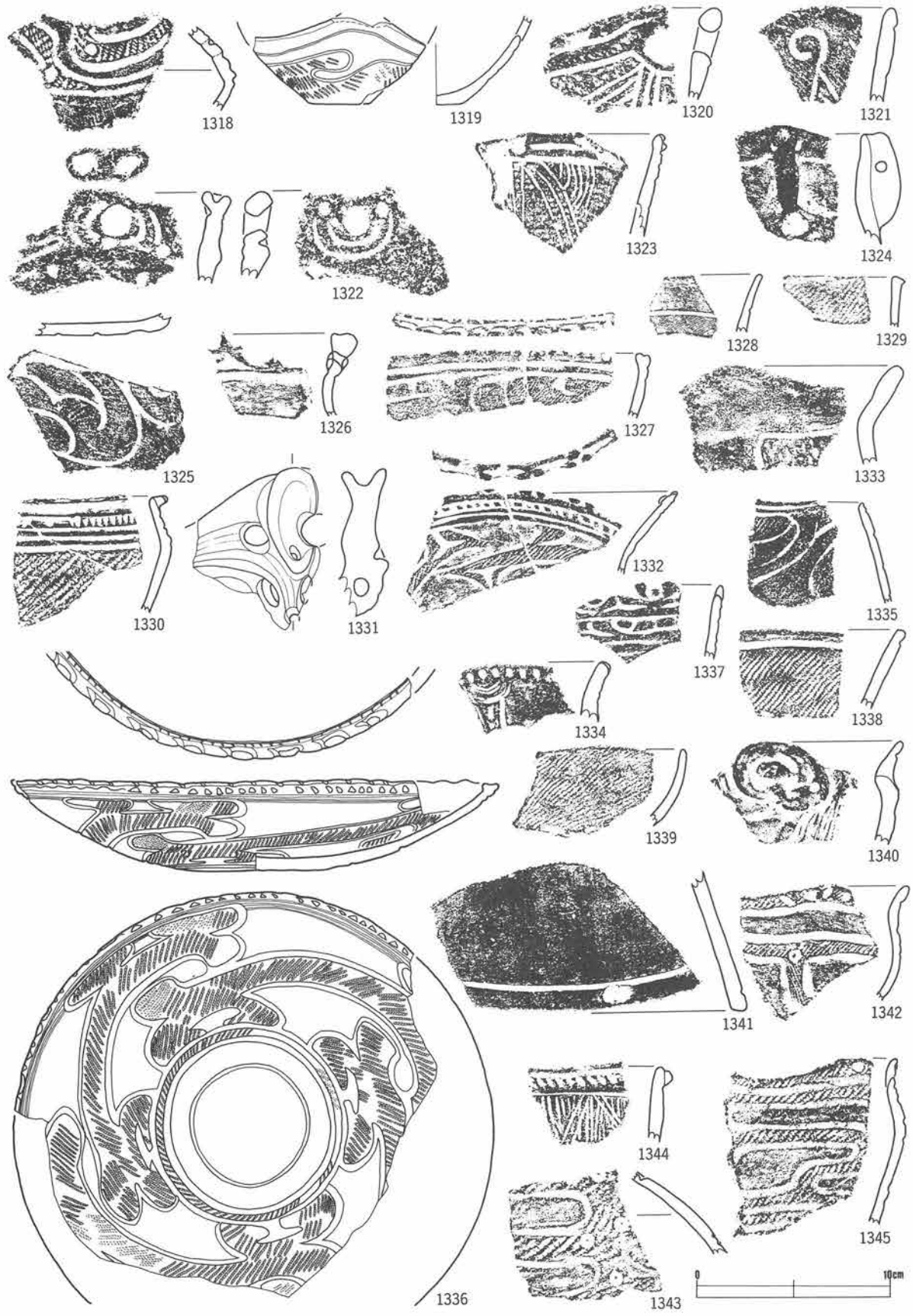
第95図　遺構外出土遺物土器57



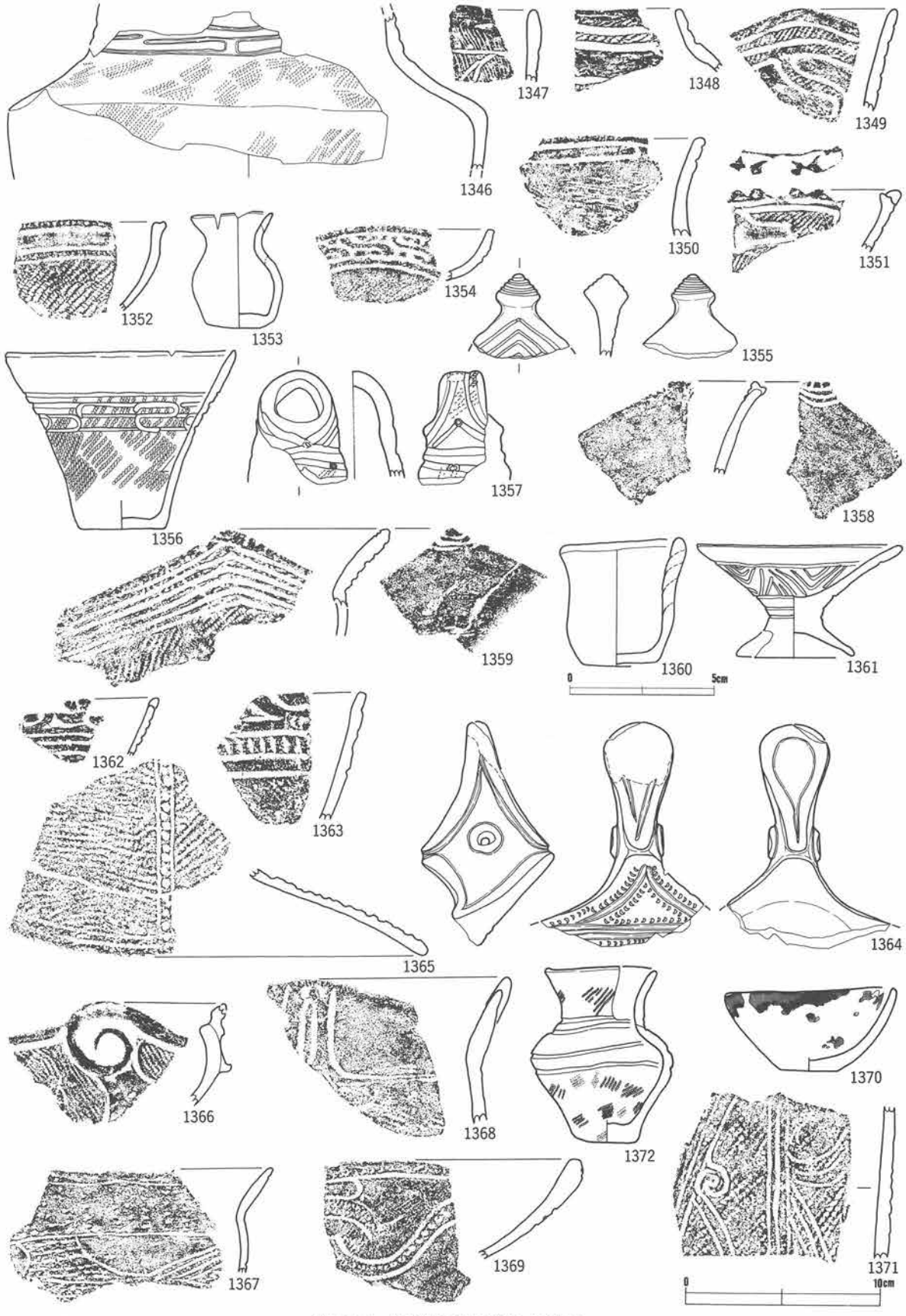
第96図　遺構外出土遺物土器58



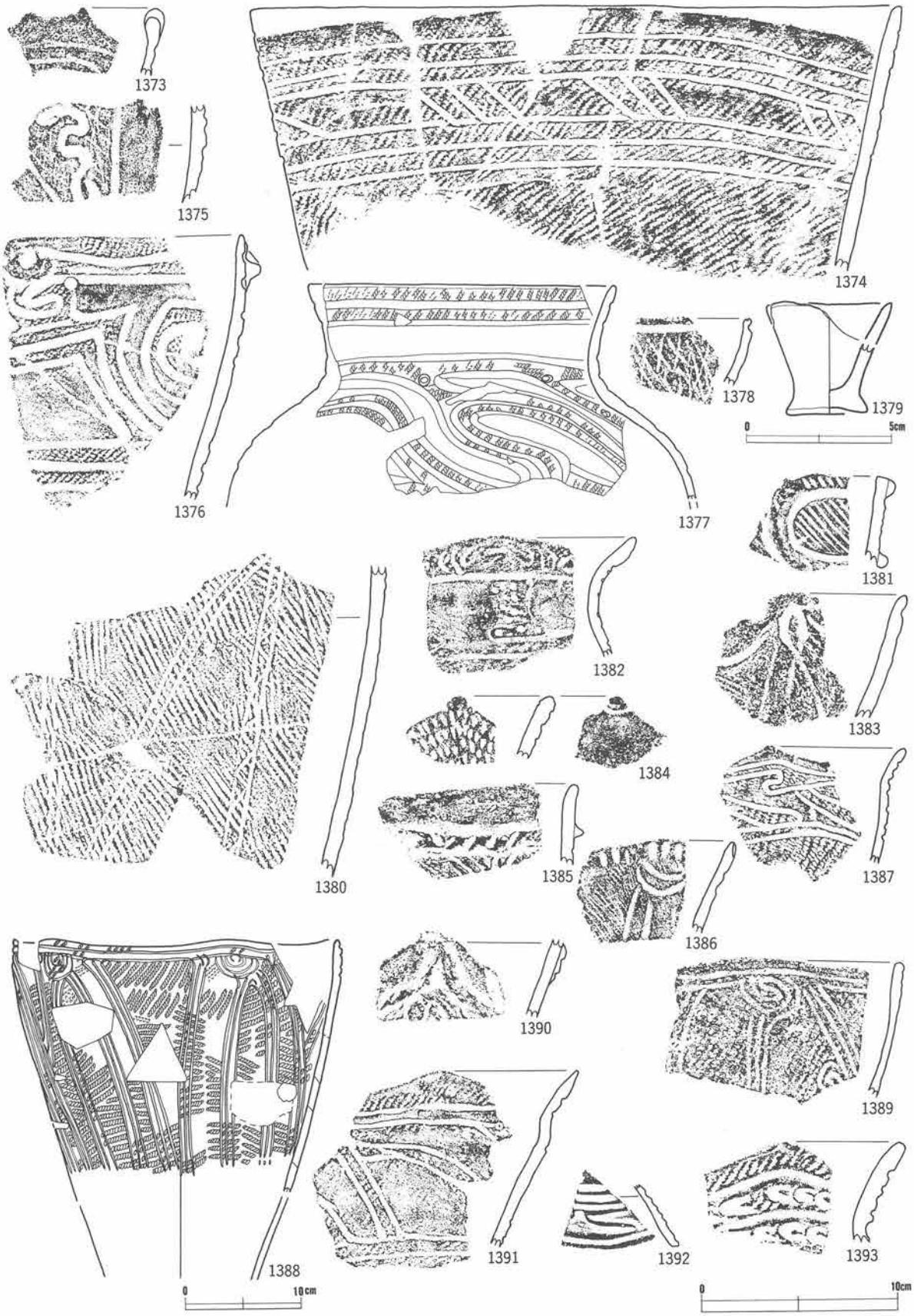
第97図　遺構外出土遺物土器59



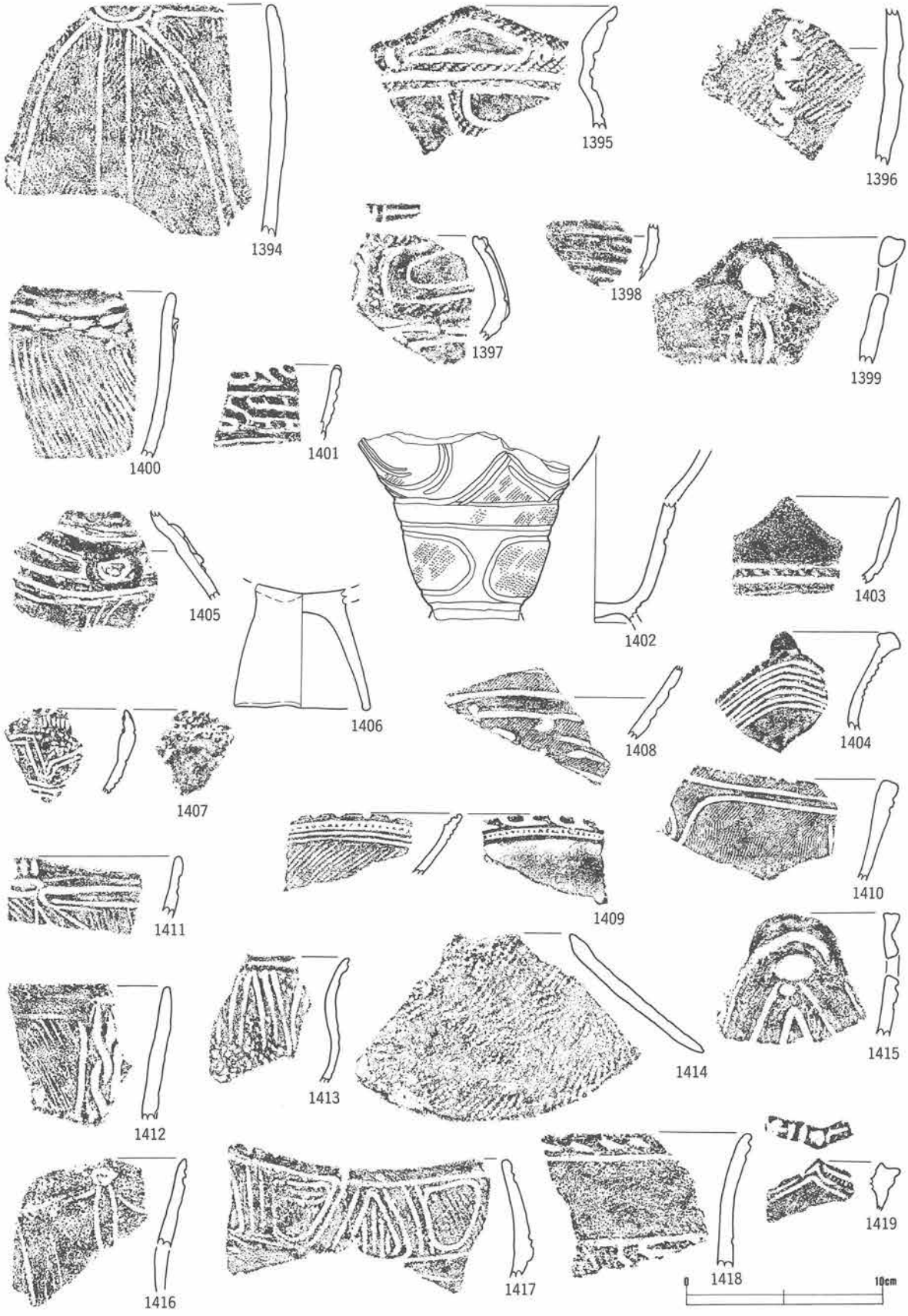
第98図　遺構外出土遺物土器60



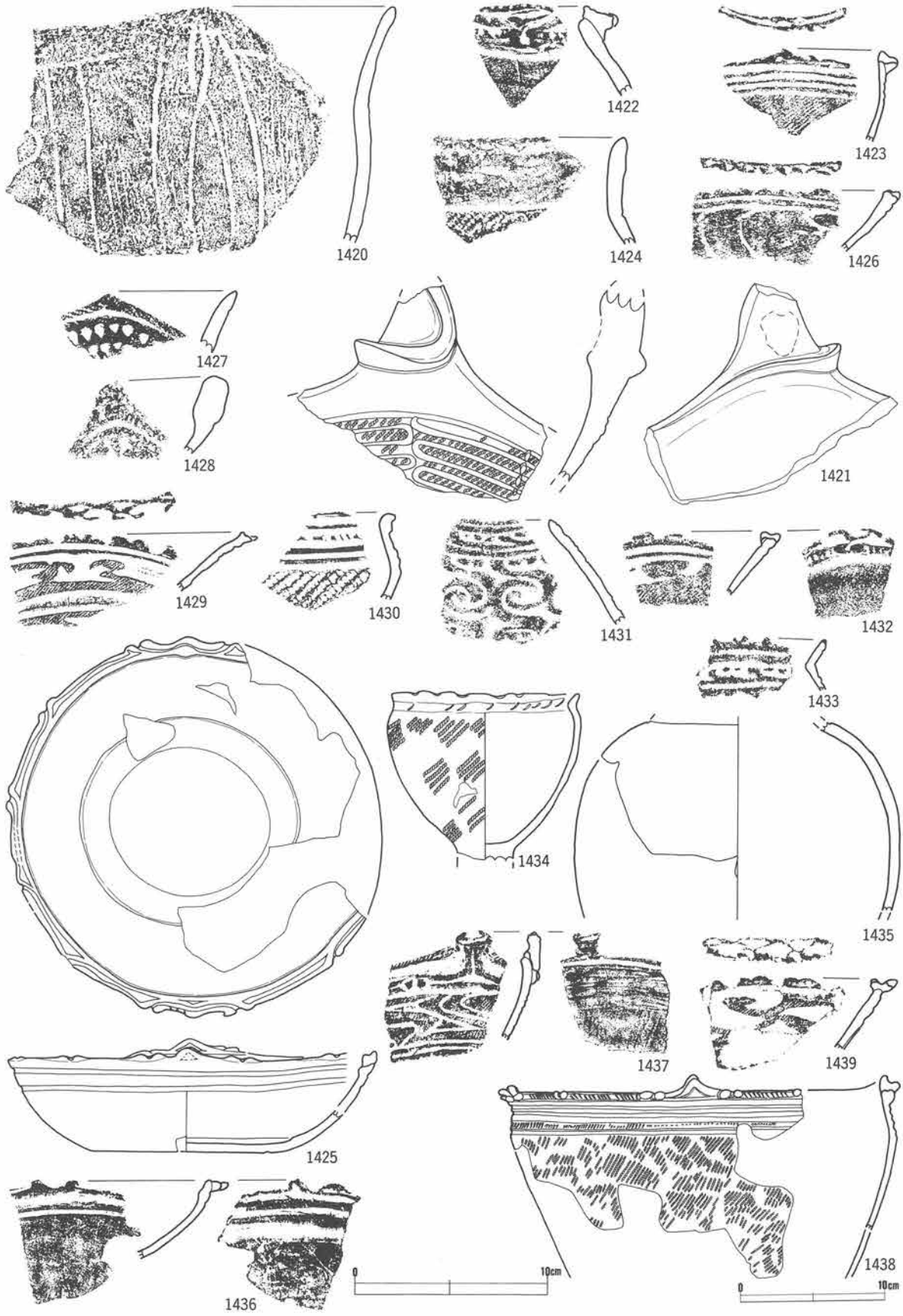
第99図　遺構外出土遺物土器61



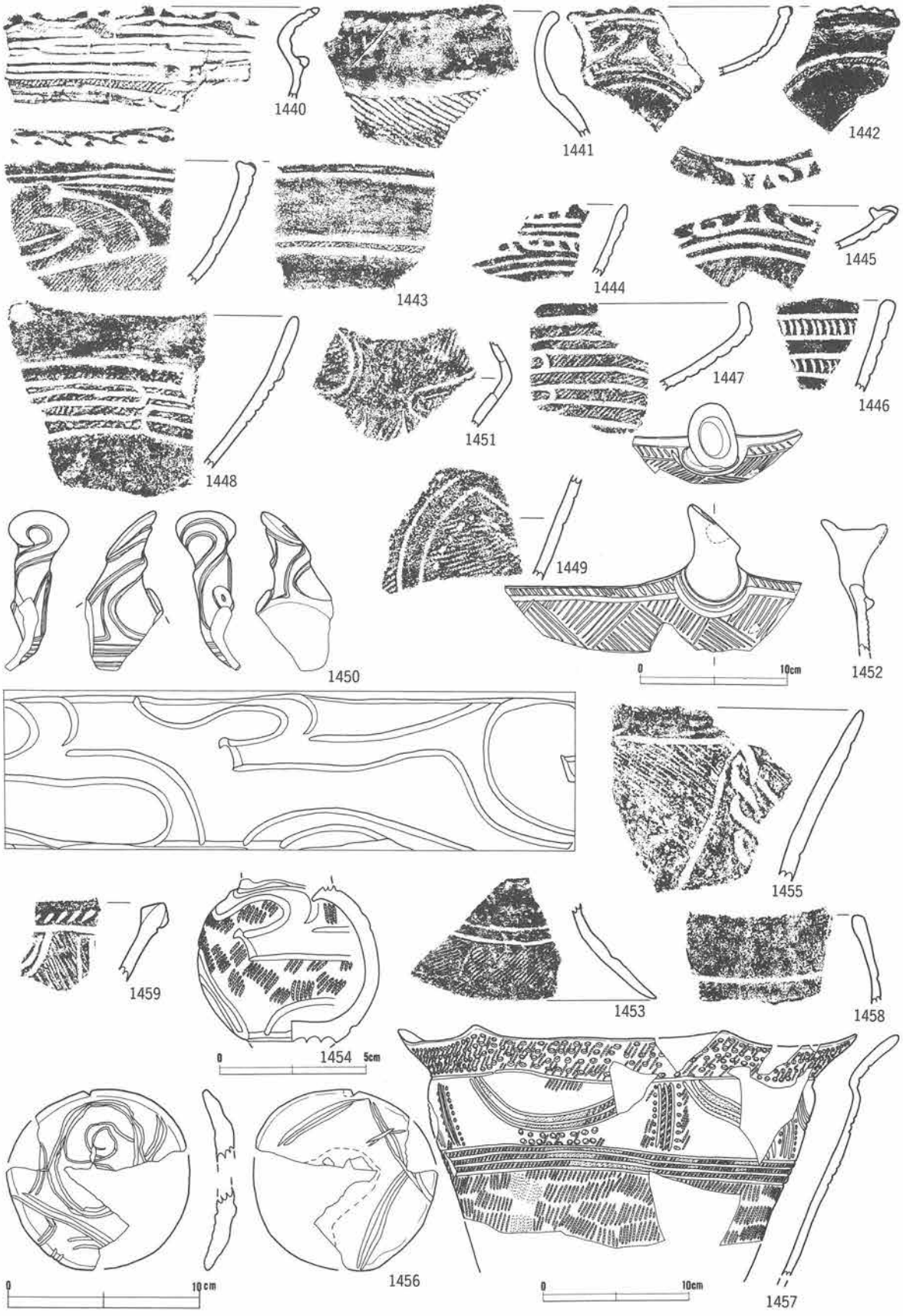
第100図　遺構外出土遺物土器62



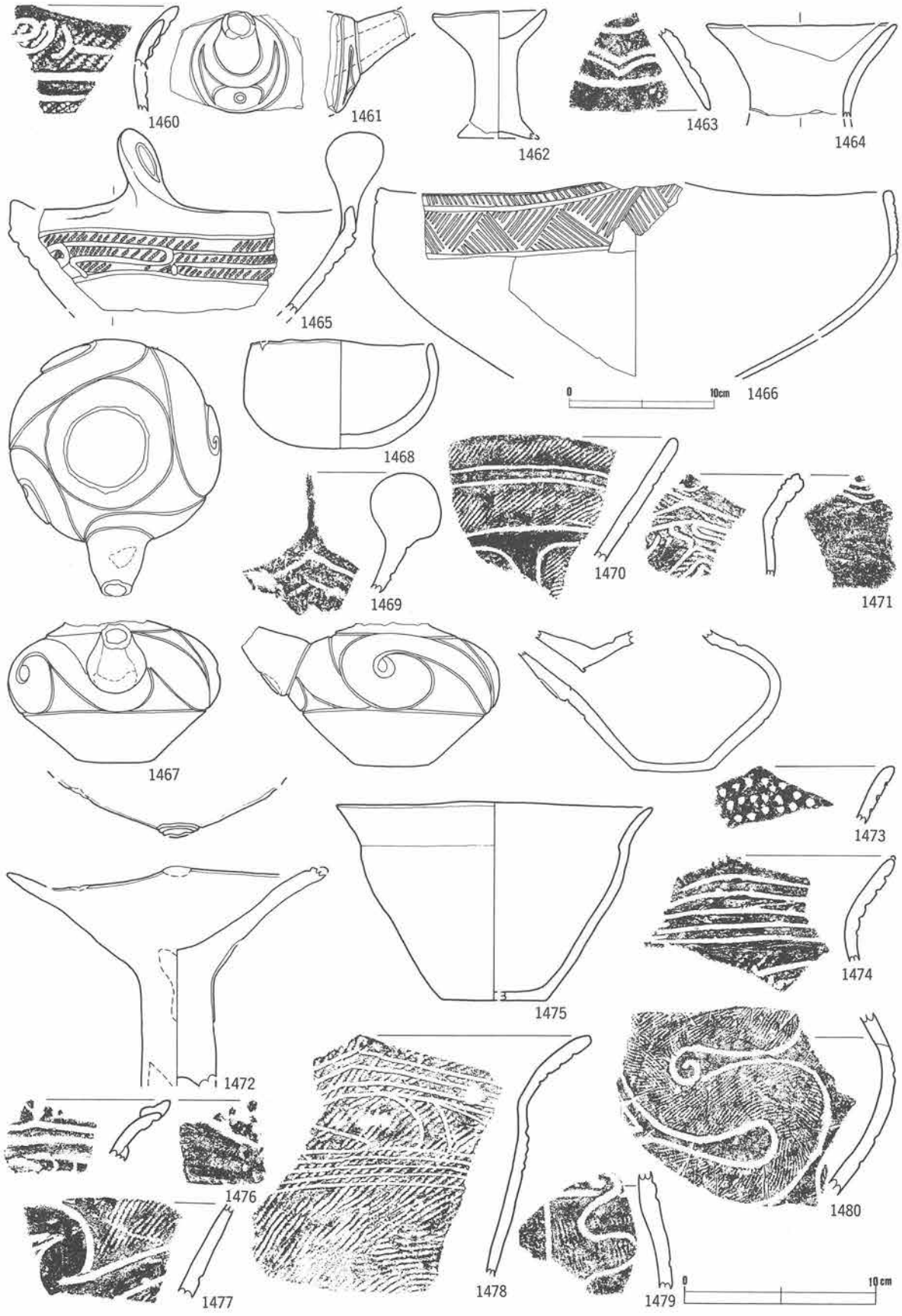
第101図　遺構外出土遺物土器63



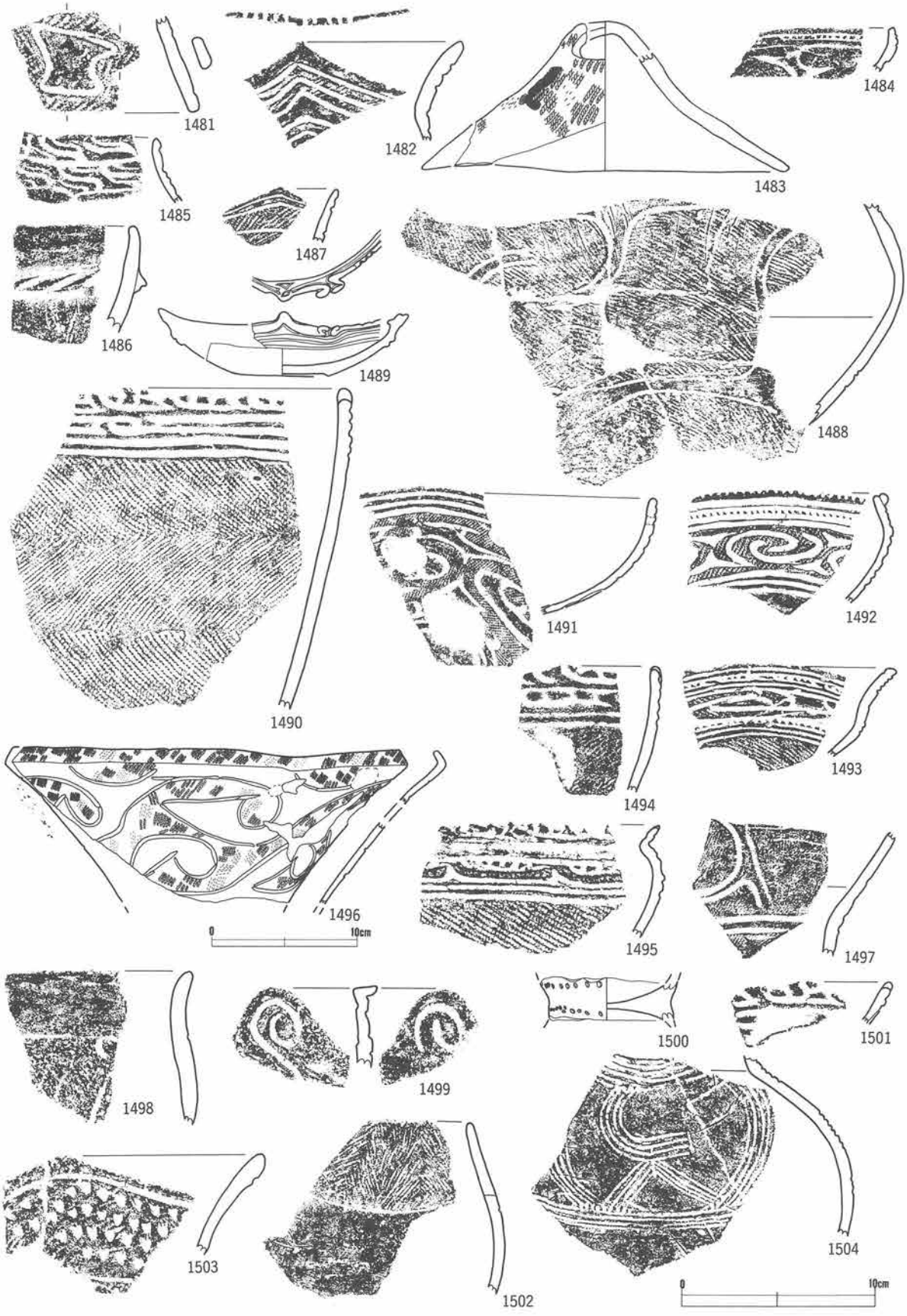
第102図　遺構外出土遺物土器64



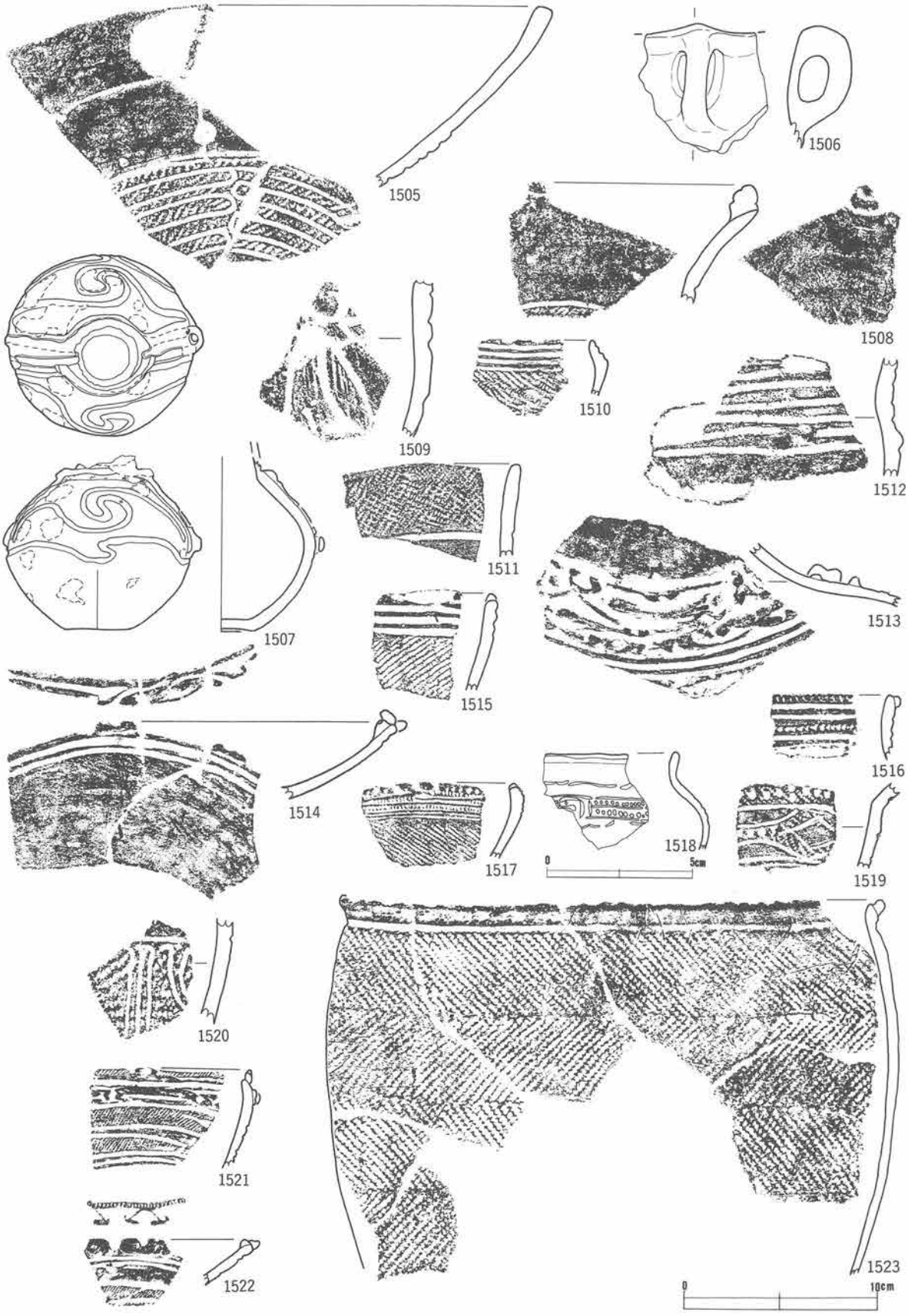
第103図　遺構外出土遺物土器65



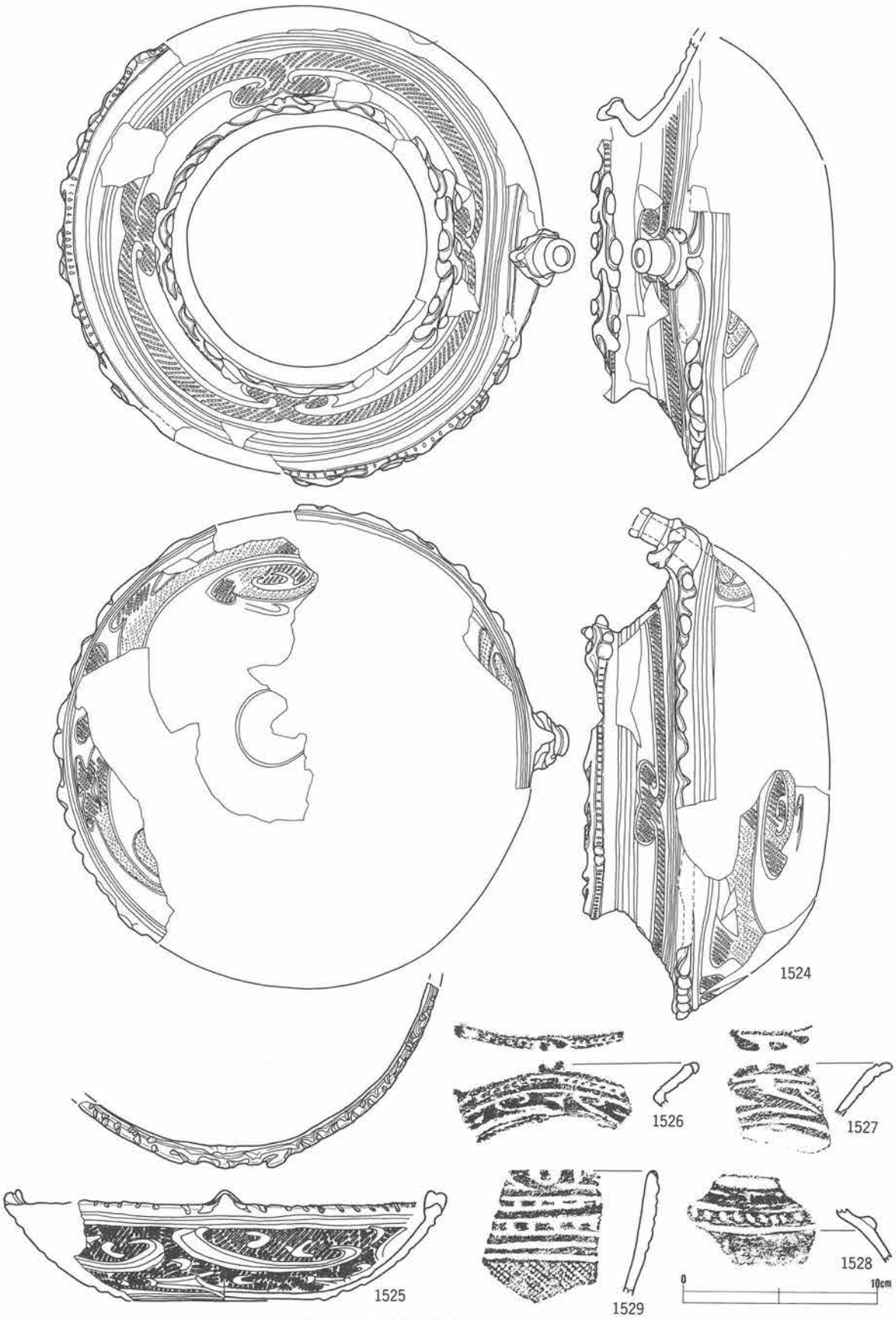
第104図　遺構外出土遺物土器66



第105図　遺構外出土遺物土器67

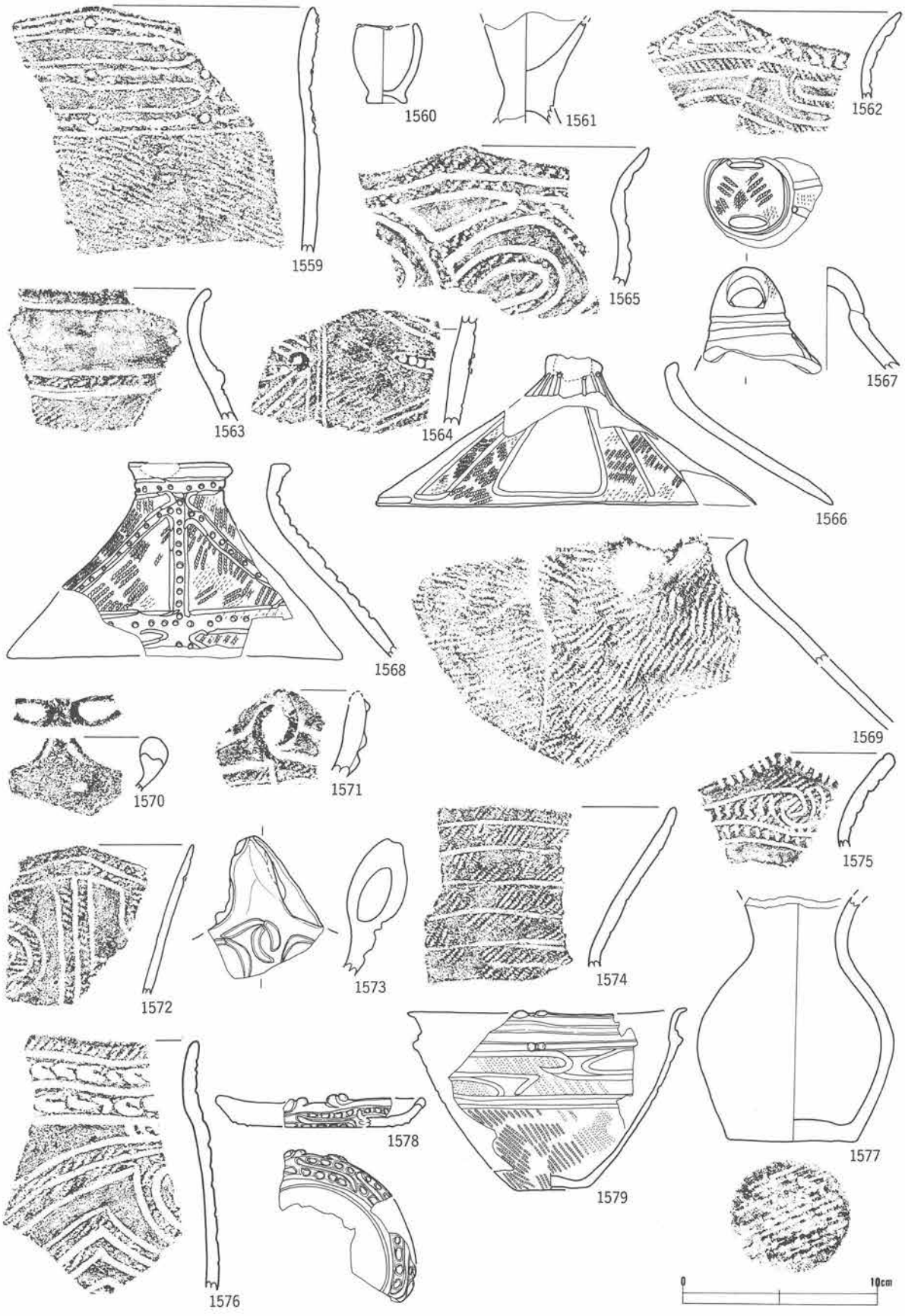


第106図　遺構外出土遺物土器68

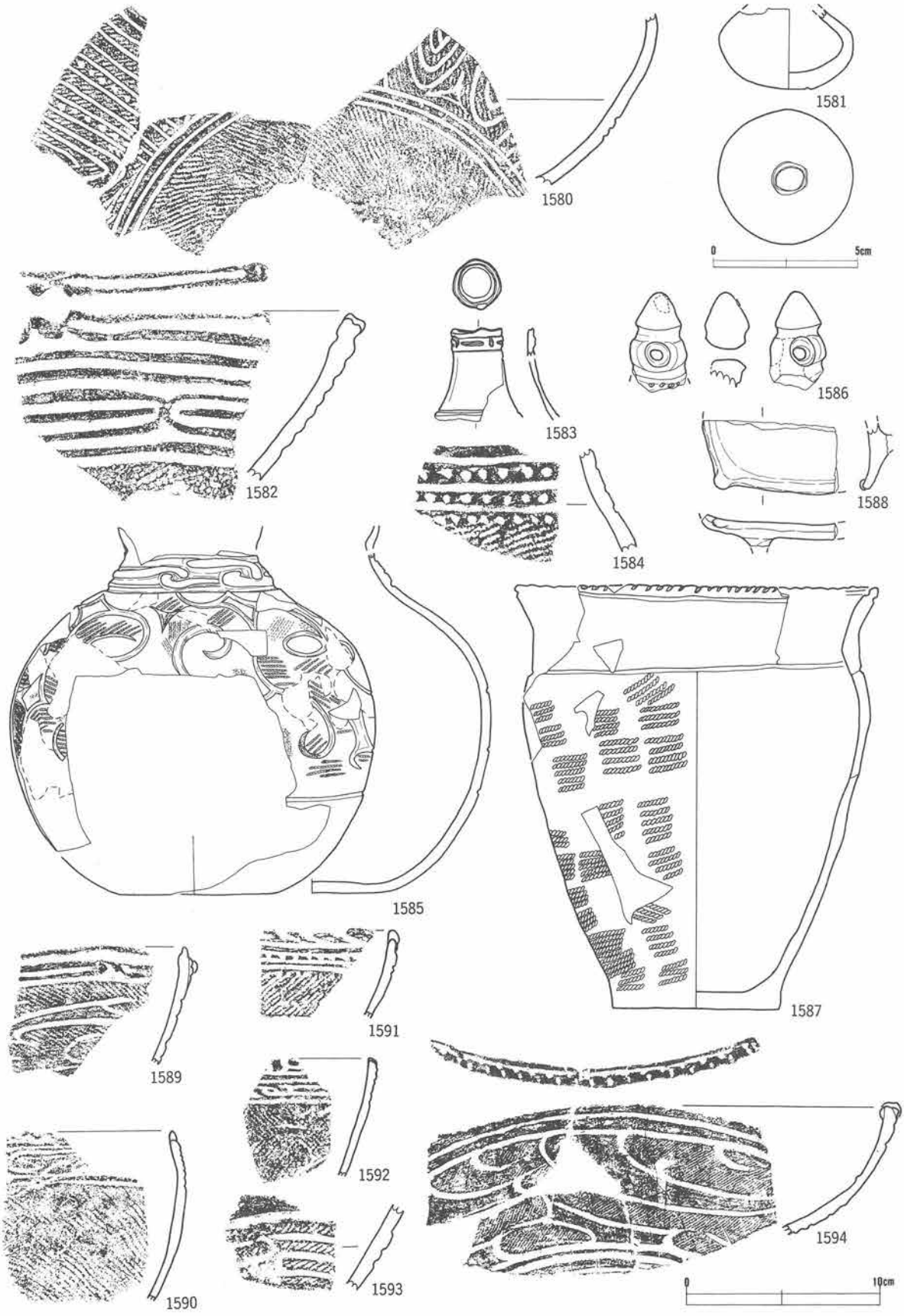


第107図　遺構外出土遺物土器69

第108図　遺構外出土遺物土器70



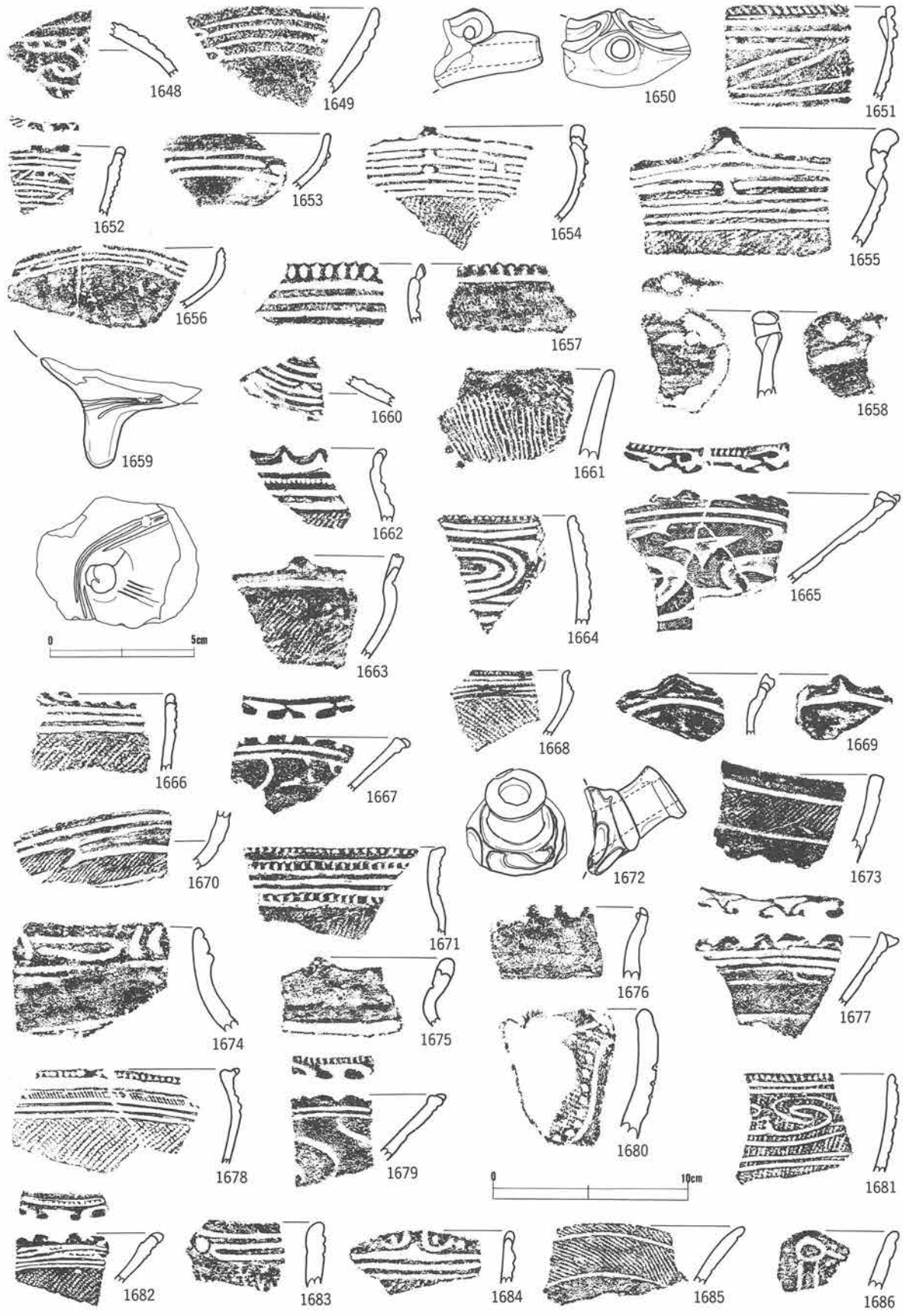
第109図　遺構外出土遺物土器71



第110図　遺構外出土遺物土器72

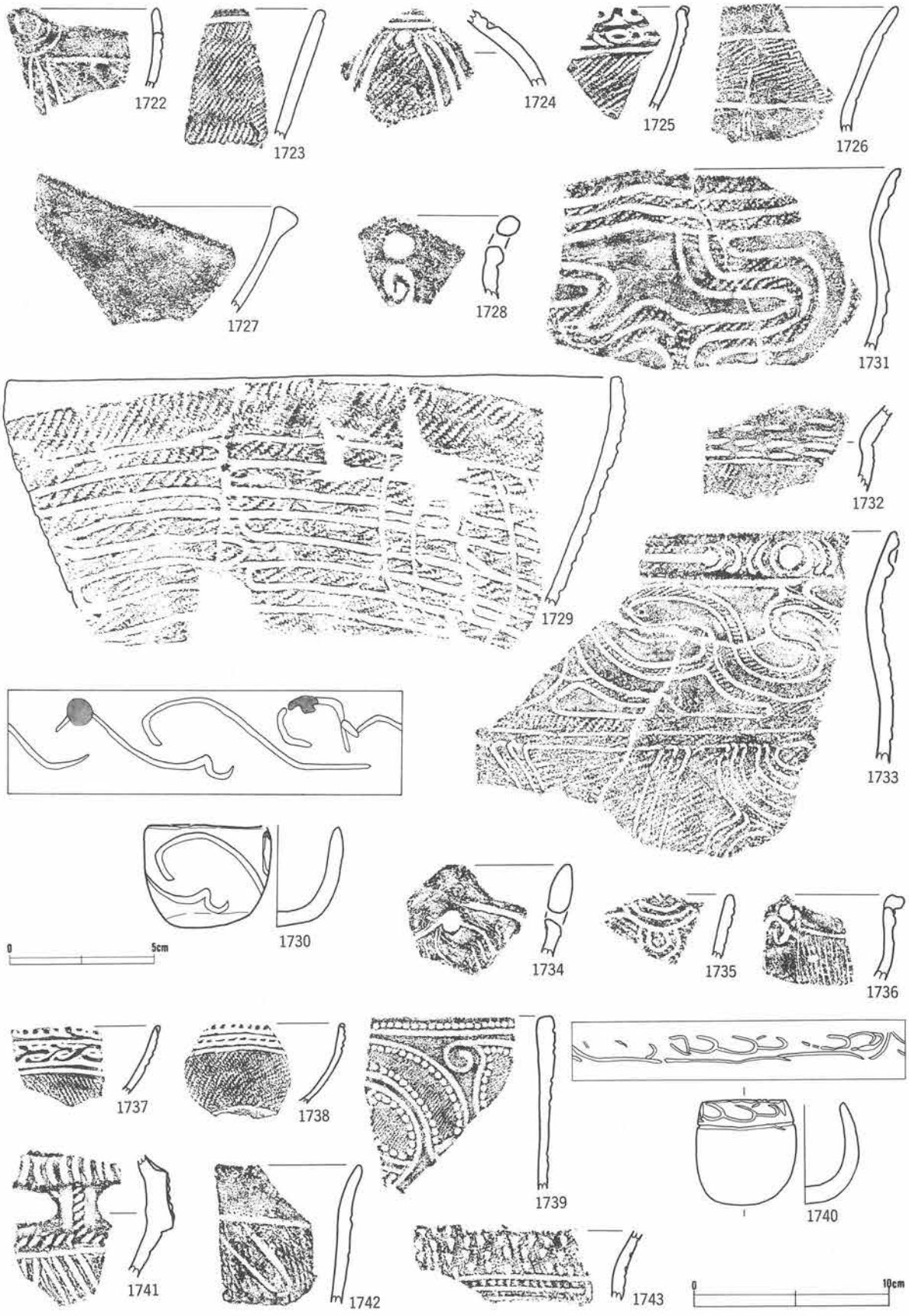
第111図　遺構外出土遺物土器73

第112図　遺構外出土遺物土器74

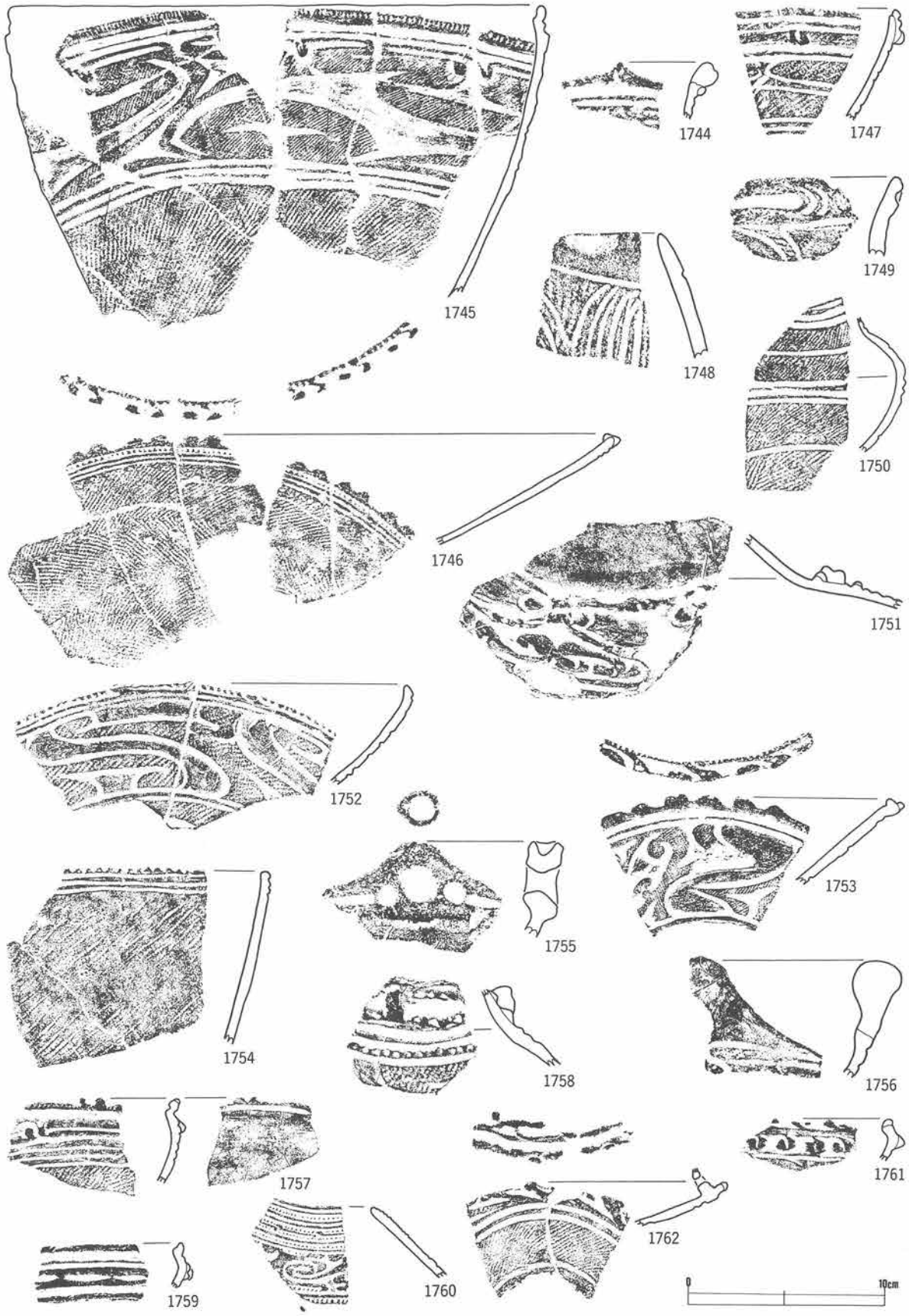


第113図　遺構外出土遺物土器75

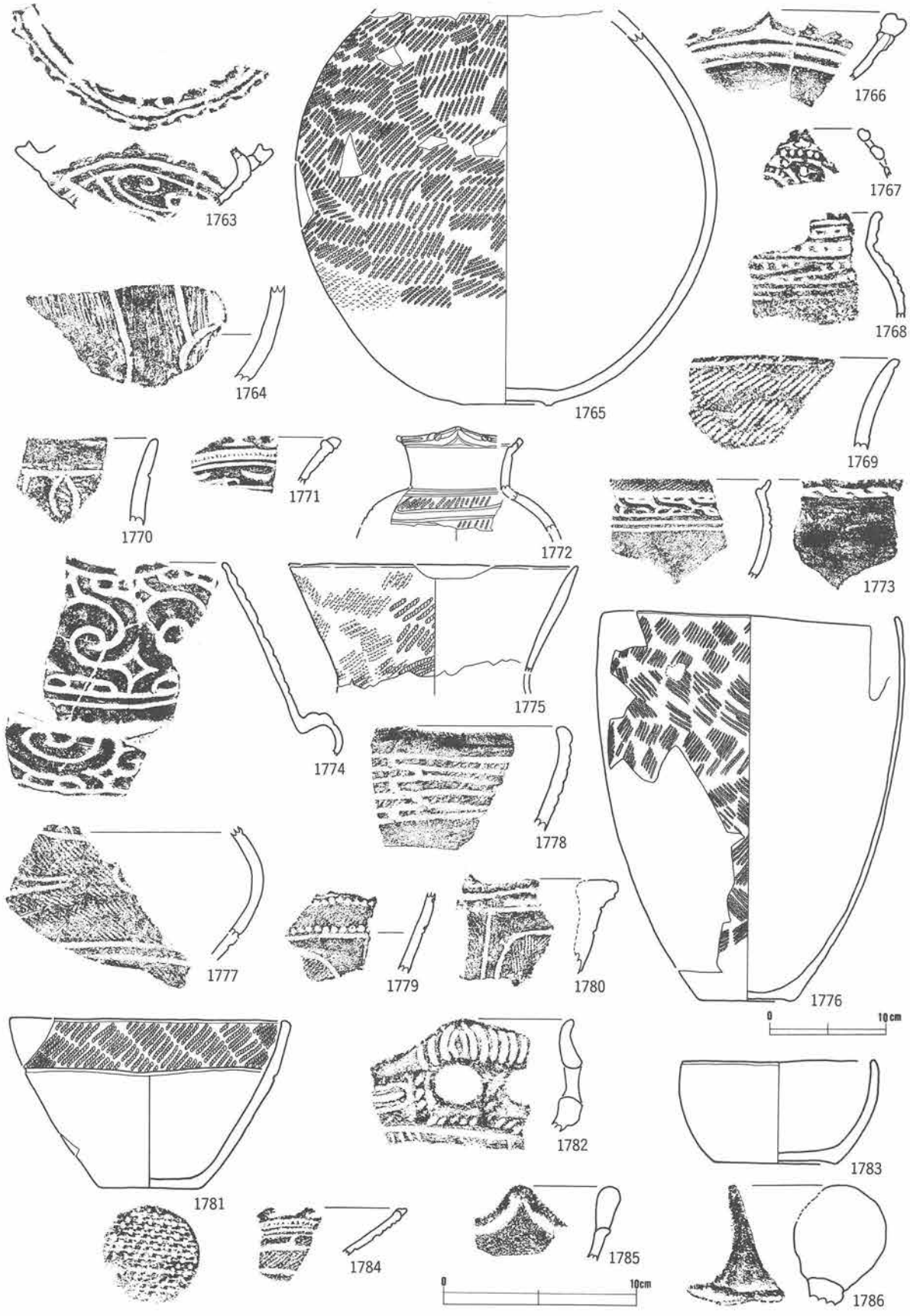
第114図　遺構外出土遺物土器76



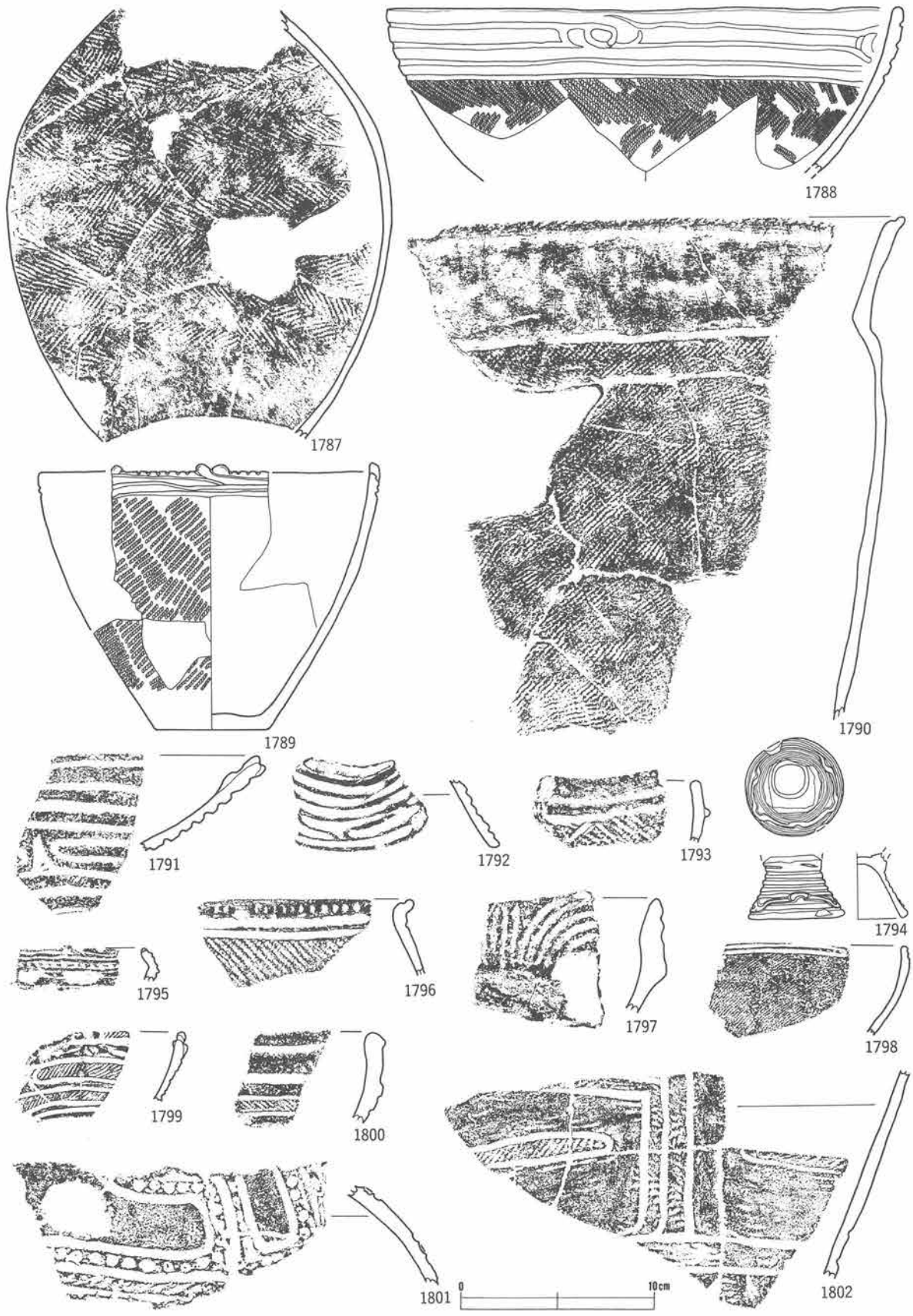
第115図　遺構外出土遺物土器 77



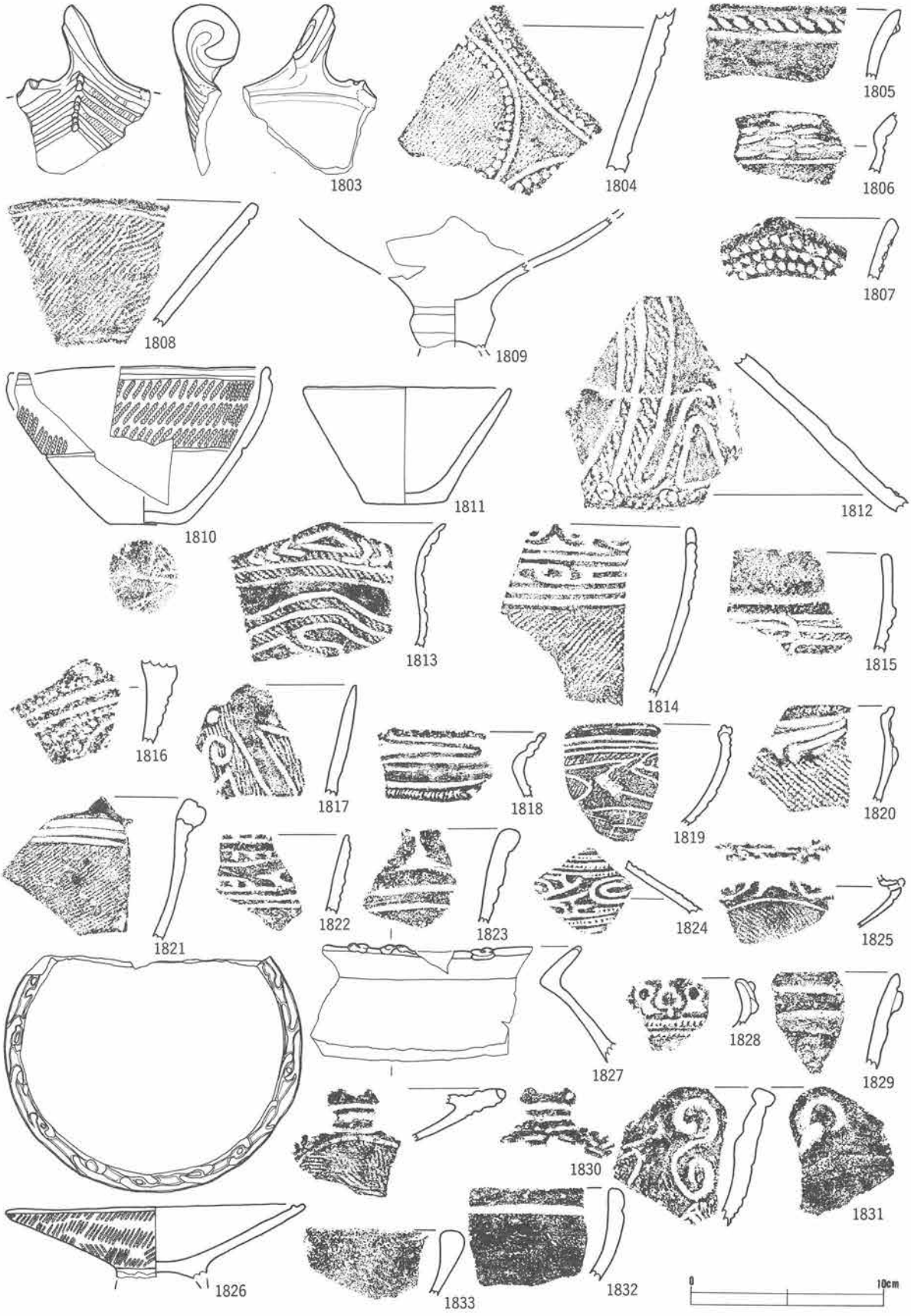
第116図　遺構外出土遺物土器78



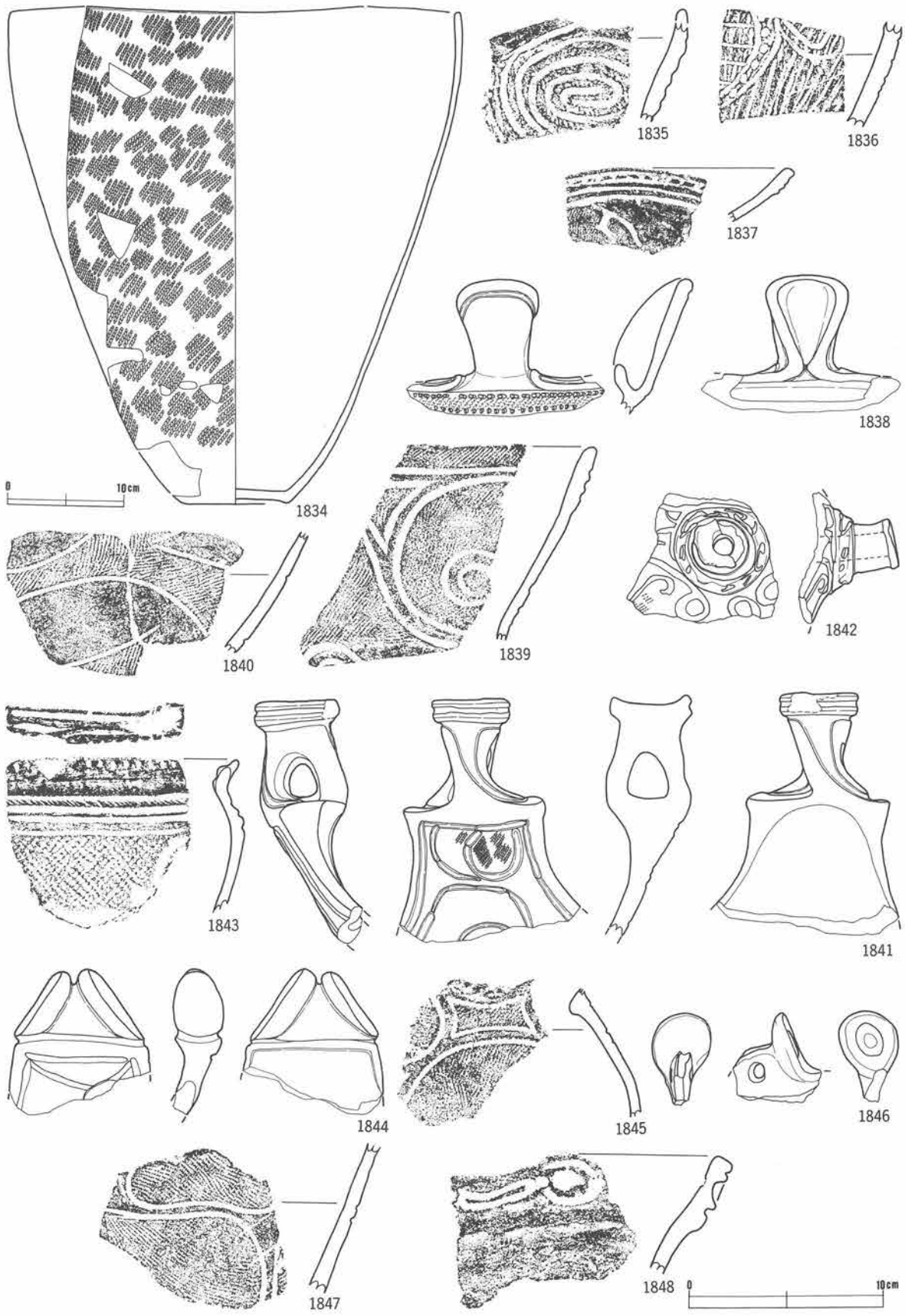
第117図　遺構外出土遺物土器79



第118図　遺構外出土遺物土器80

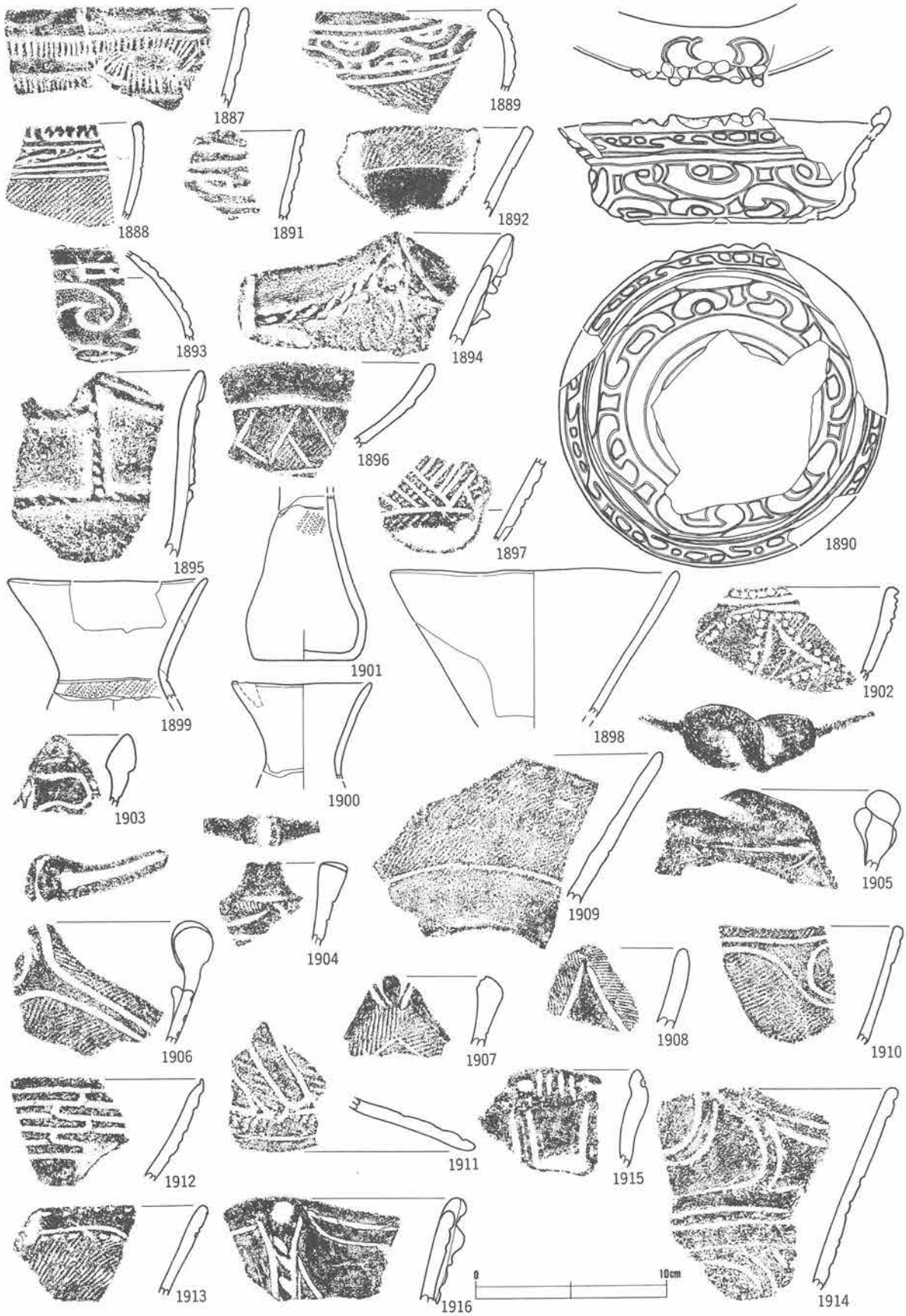


第119図　遺構外出土遺物土器81

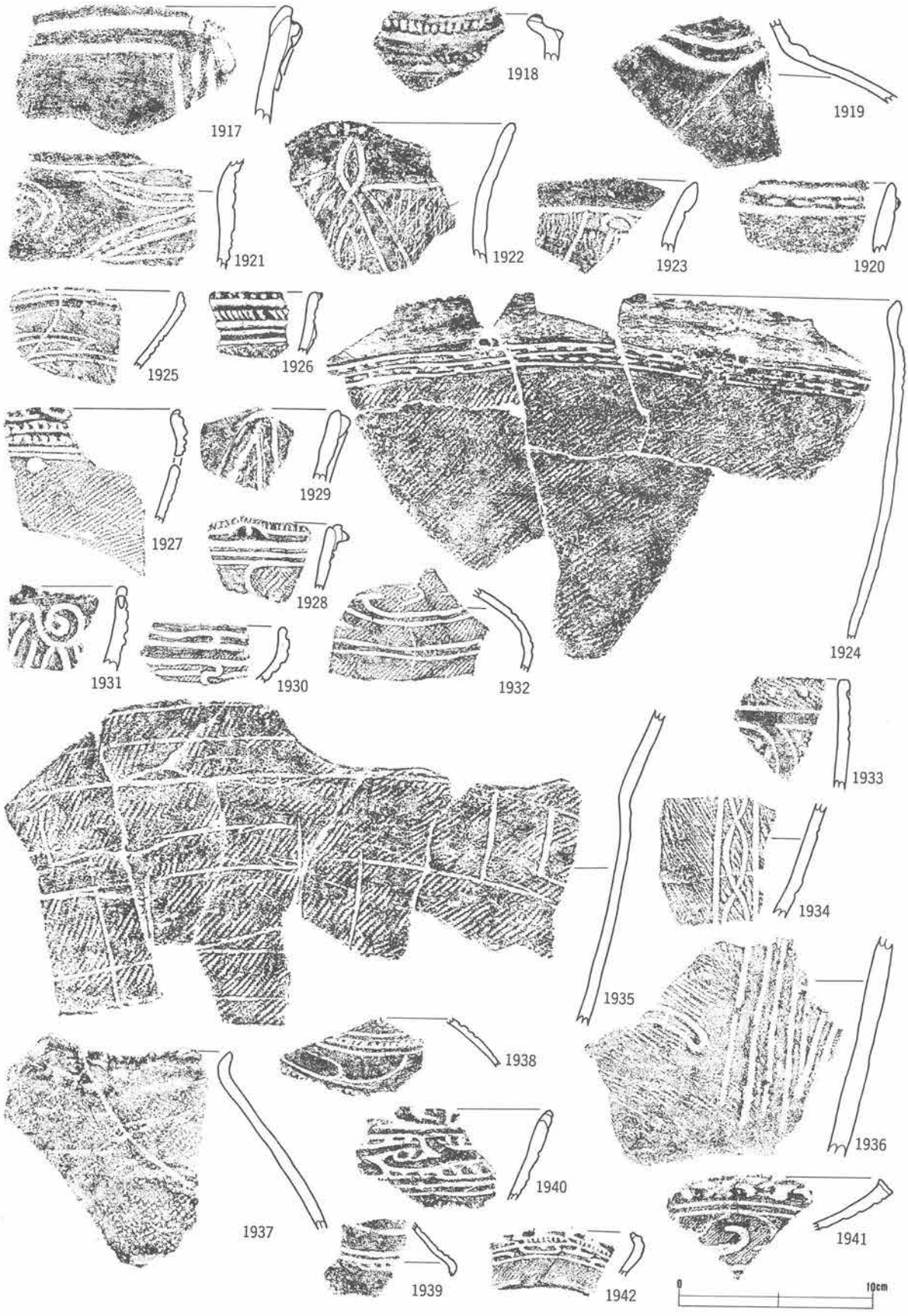


第120図　遺構外出土遺物土器82

第121図　遺構外出土遺物土器 83

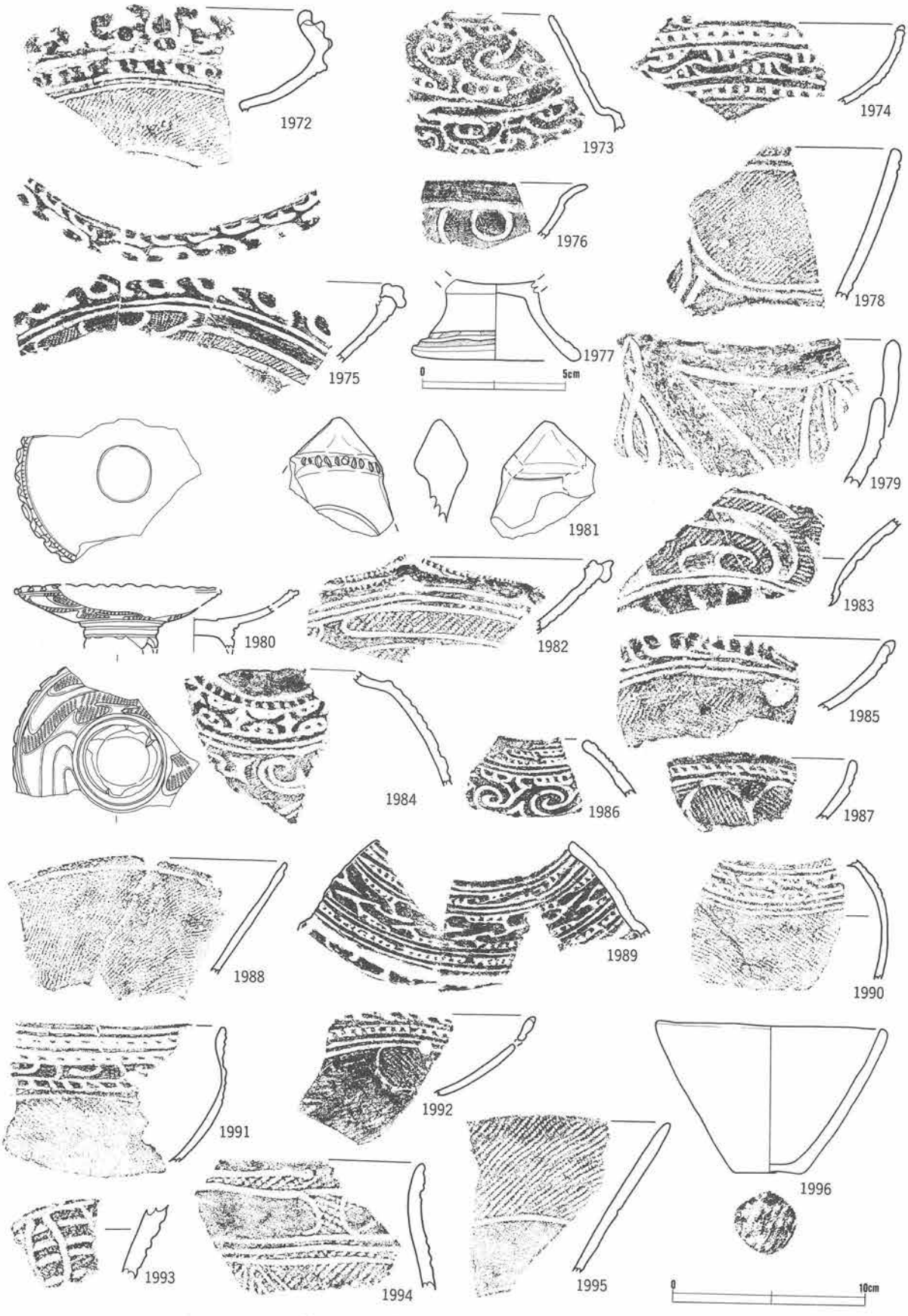


第122図　遺構外出土遺物土器 84



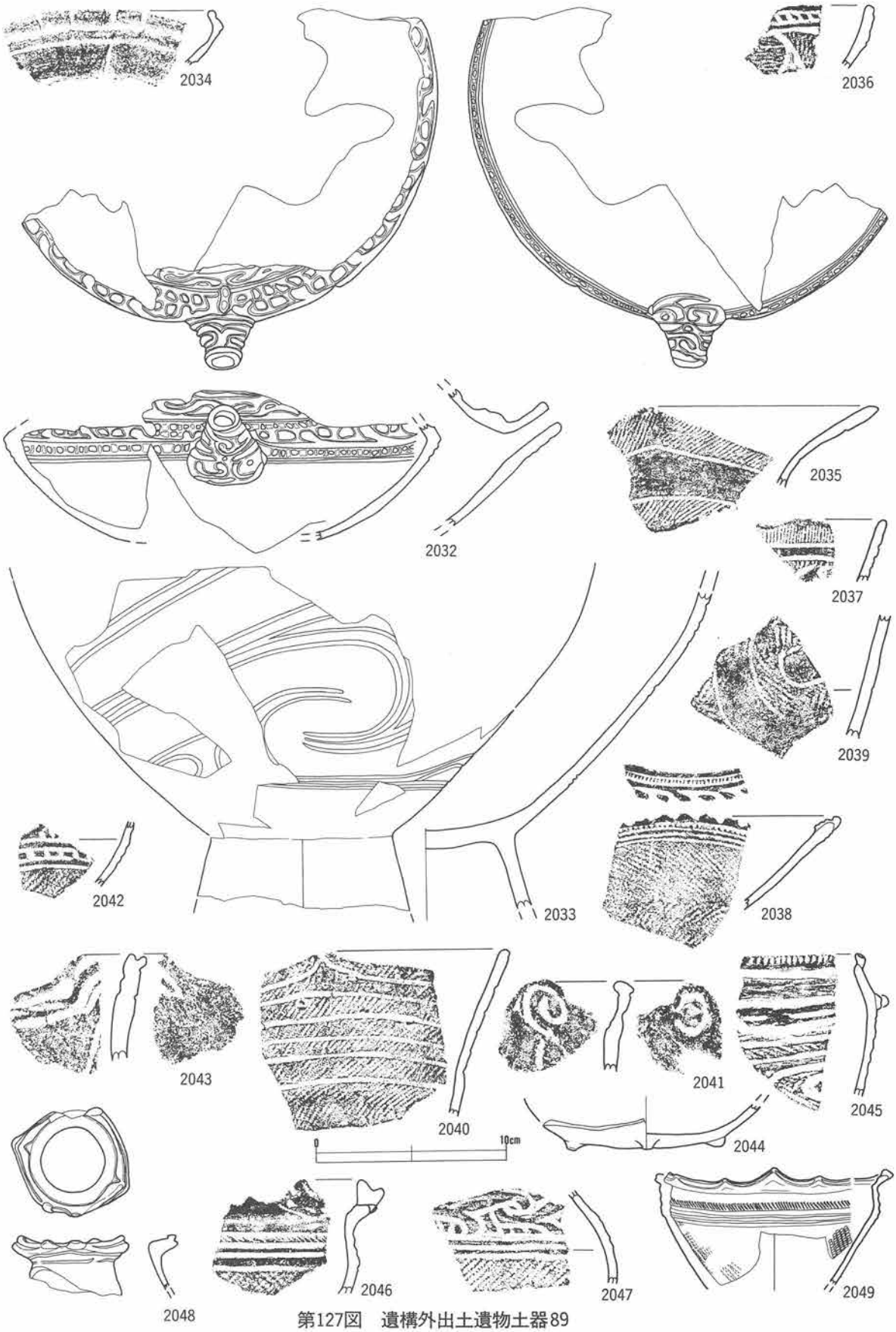
第123図　遺構外出土遺物土器85

第124図　遺構外出土遺物土器86

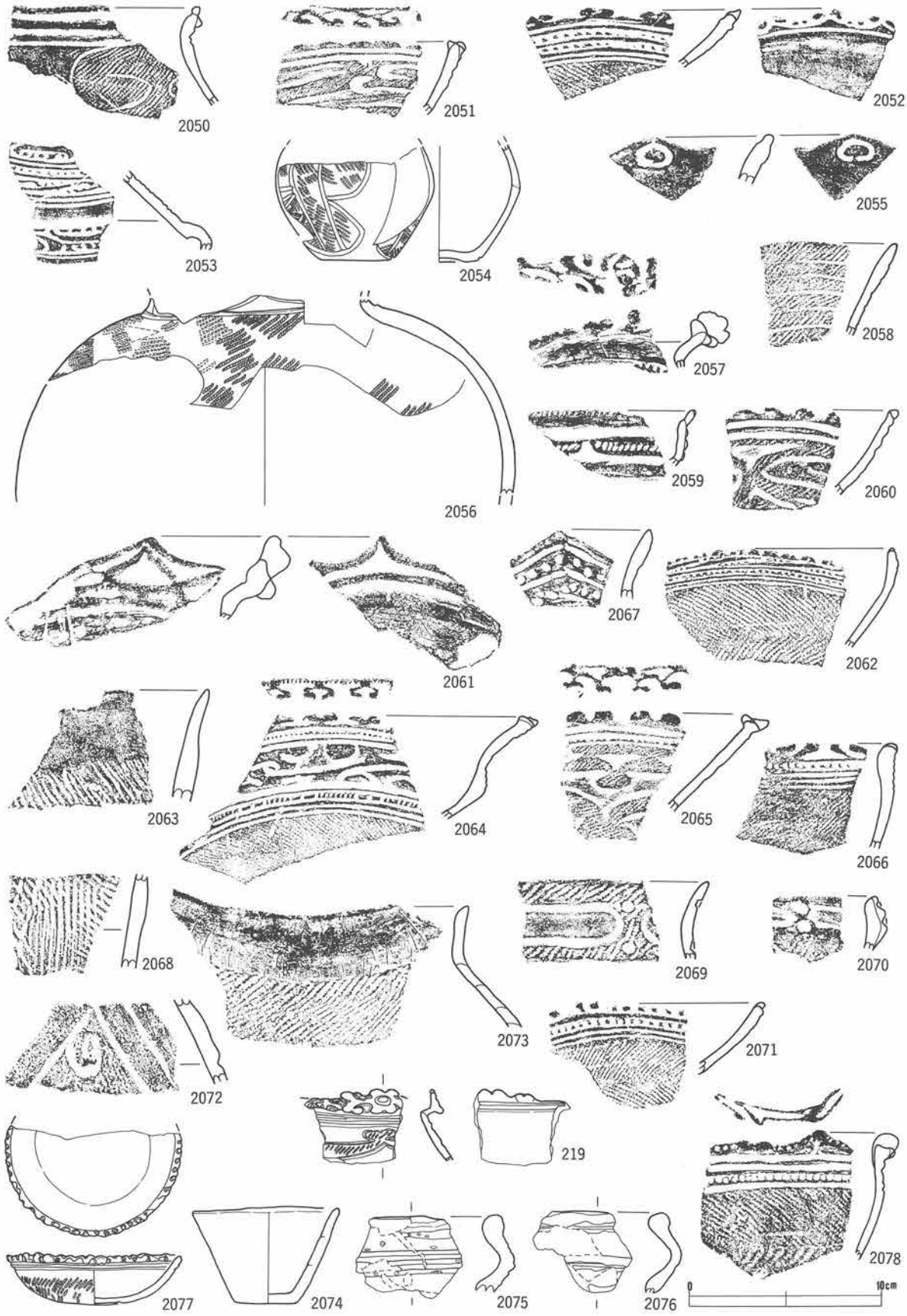


第125図　遺構外出土遺物土器87

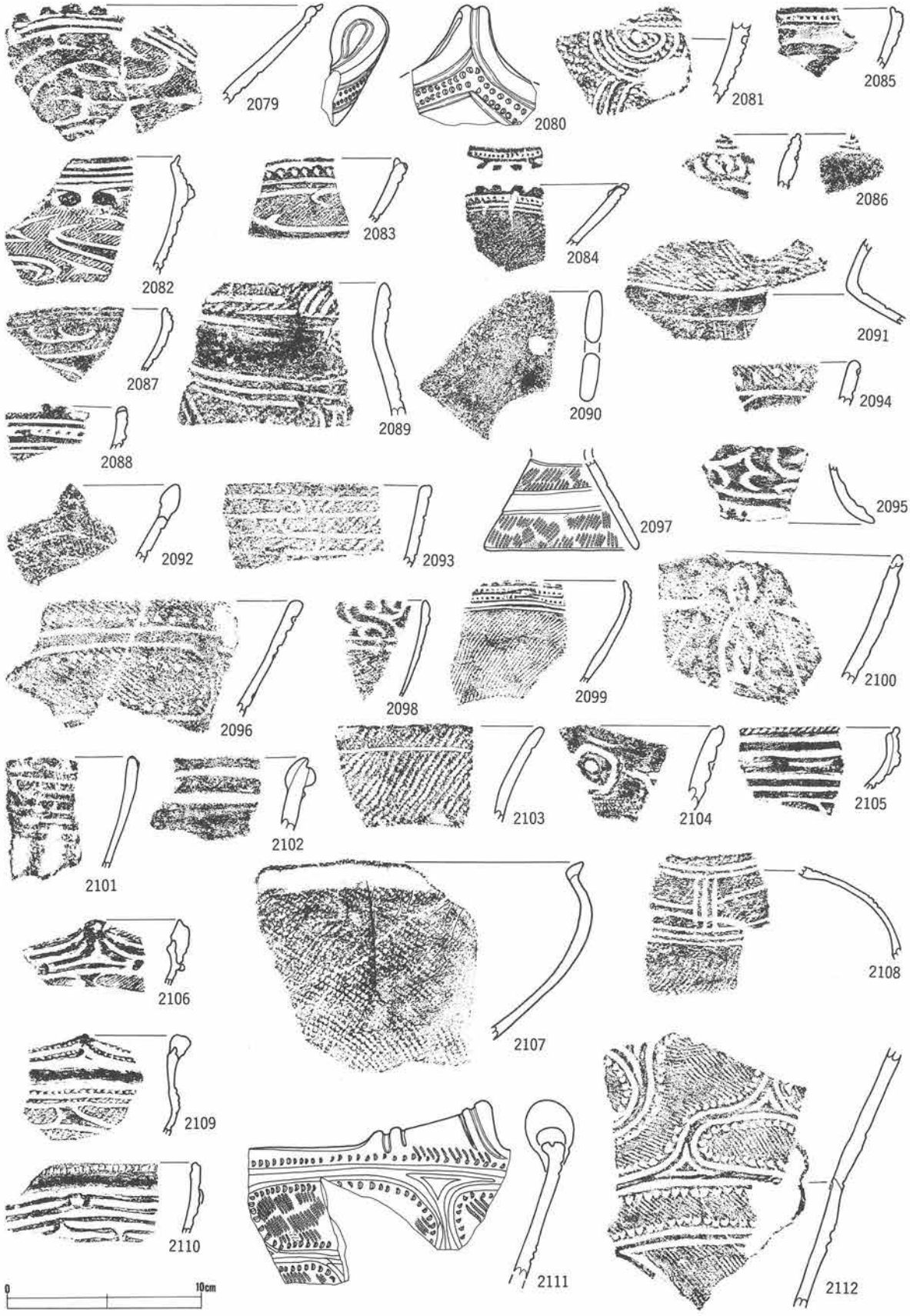
第126図　遺構外出土遺物土器88



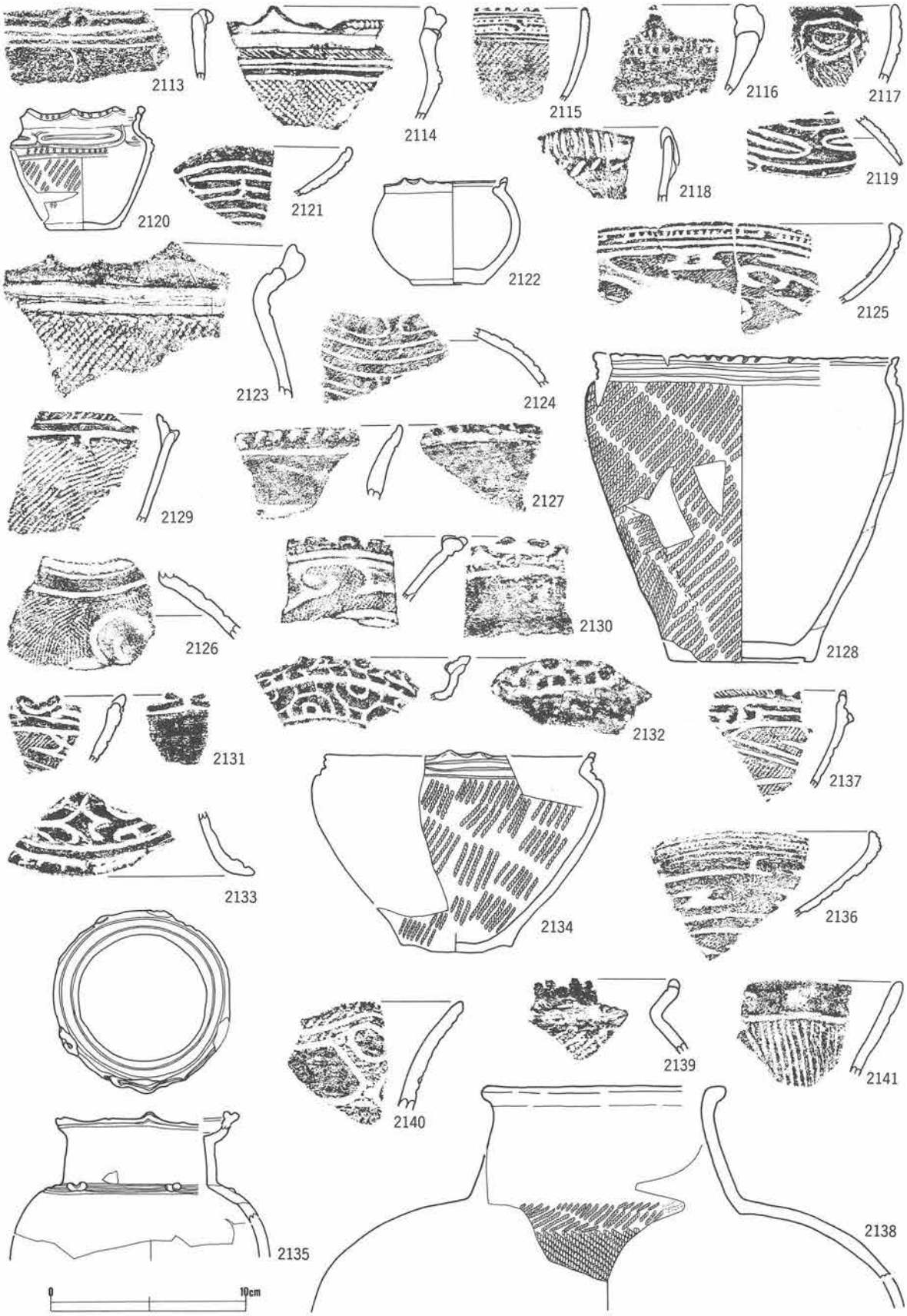
第127図　遺構外出土遺物土器89



第128図　遺構外出土遺物土器90

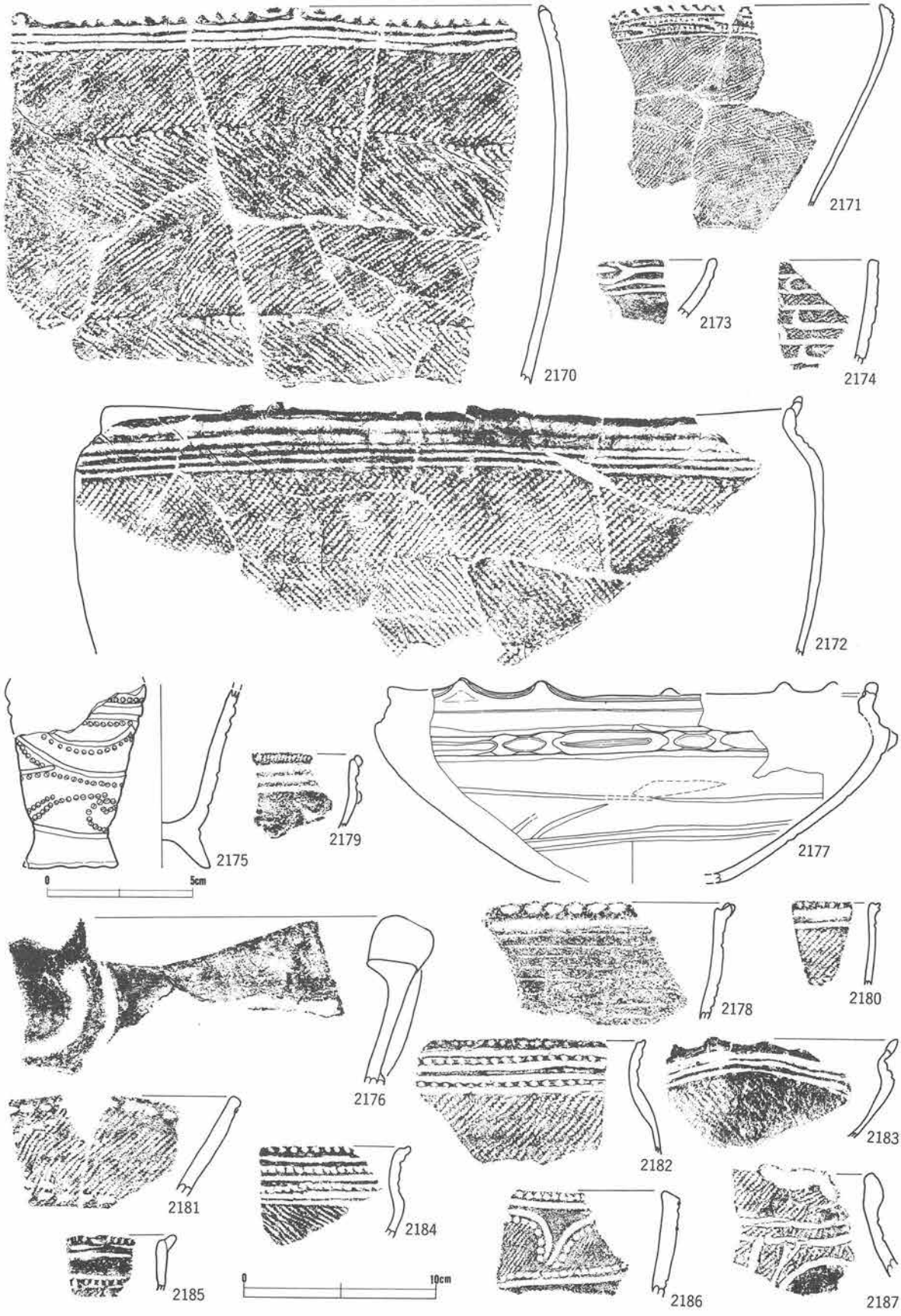


第129図　遺構外出土遺物土器91

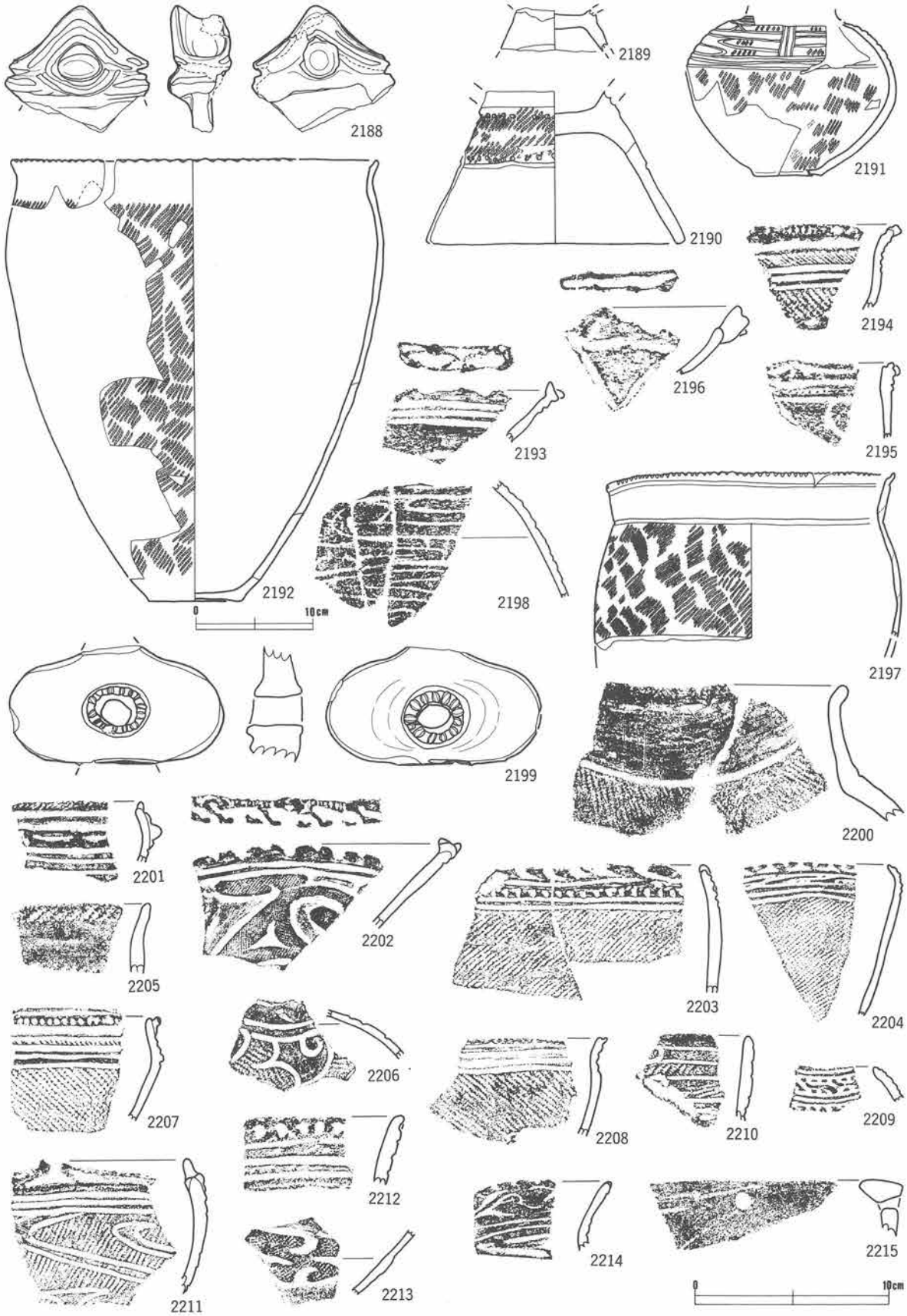


第130図　遺構外出土遺物土器92

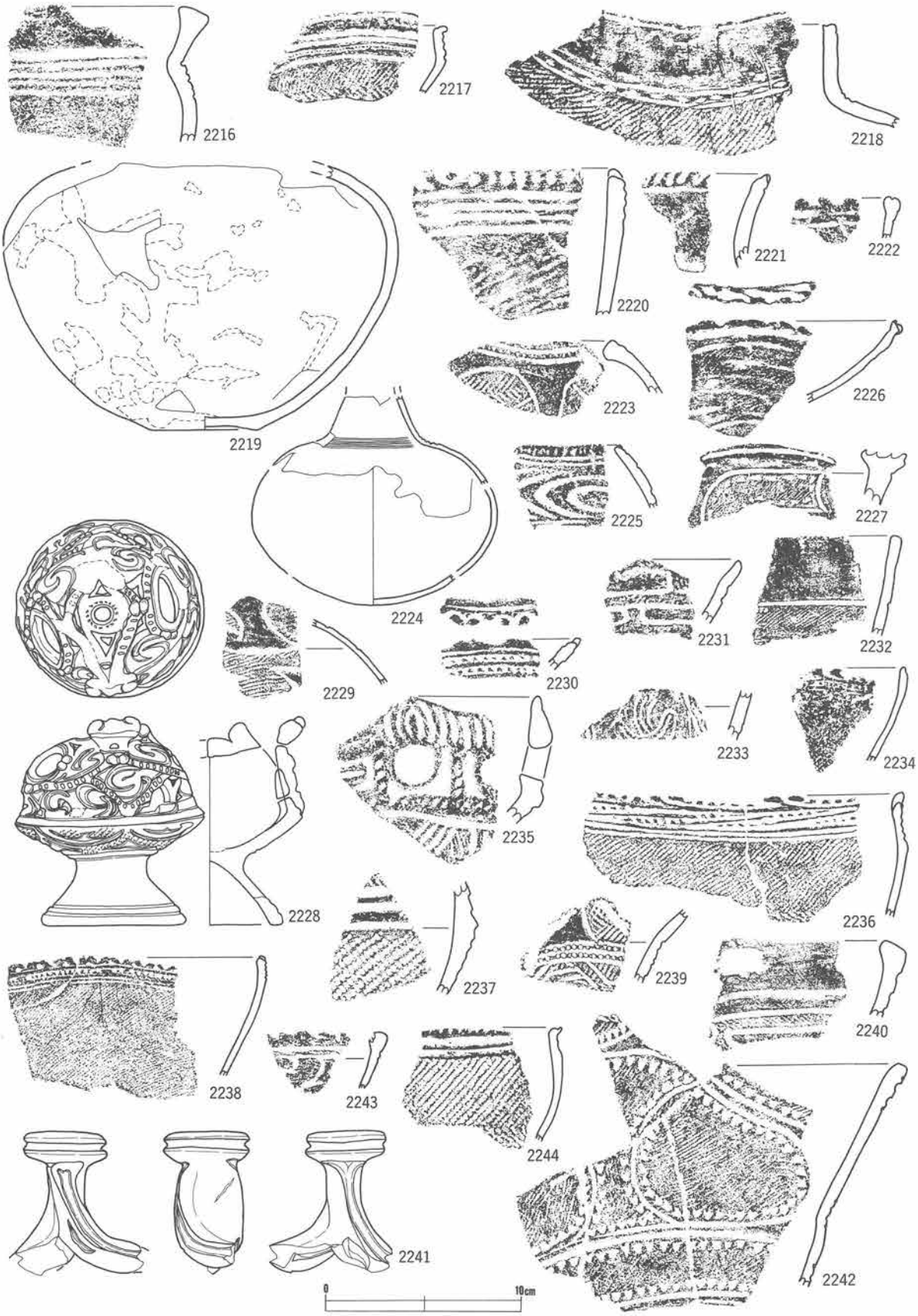
第131図 遺構外出土遺物土器93



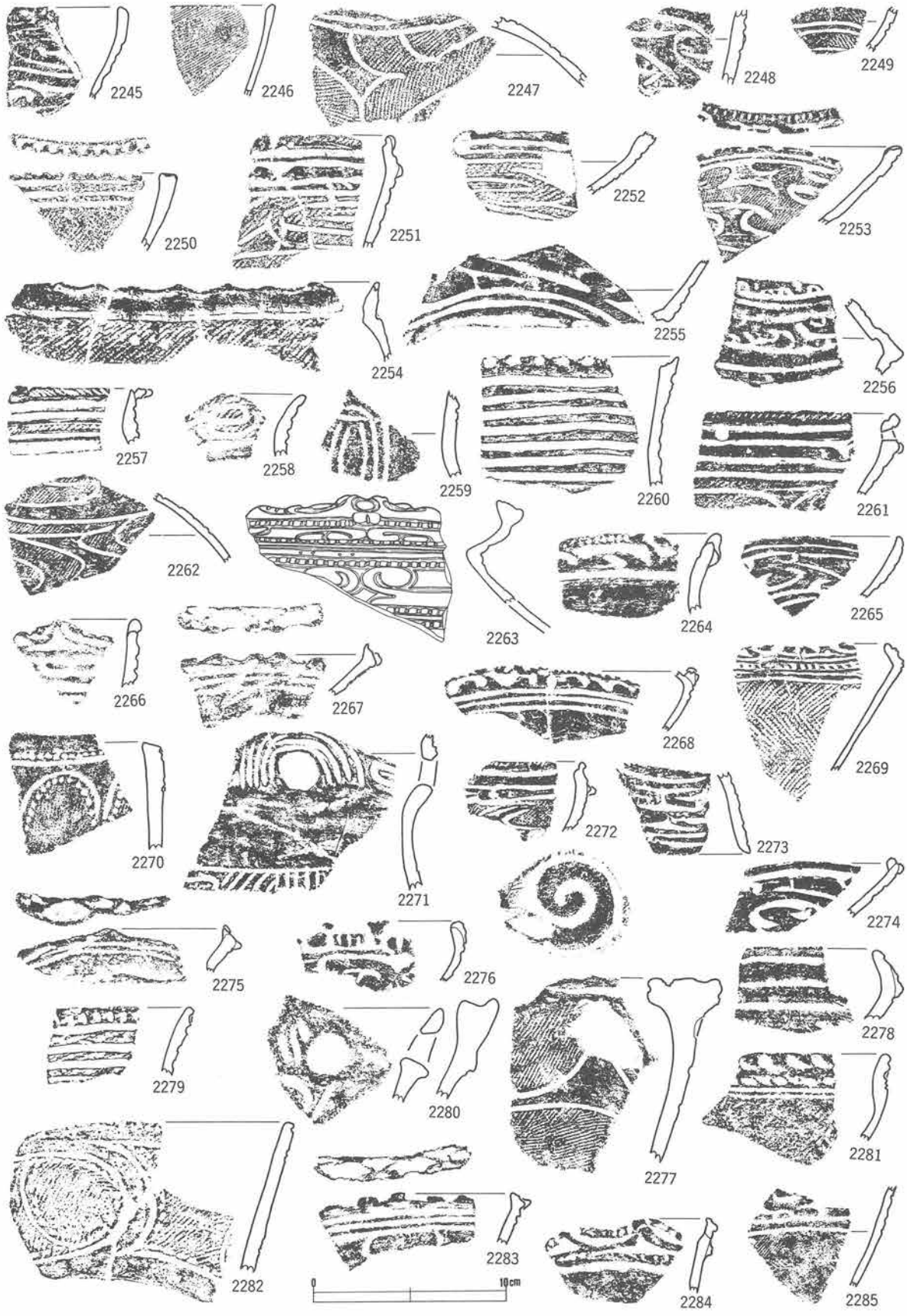
第132図　遺構外出土遺物土器94



第133図　遺構外出土遺物土器95

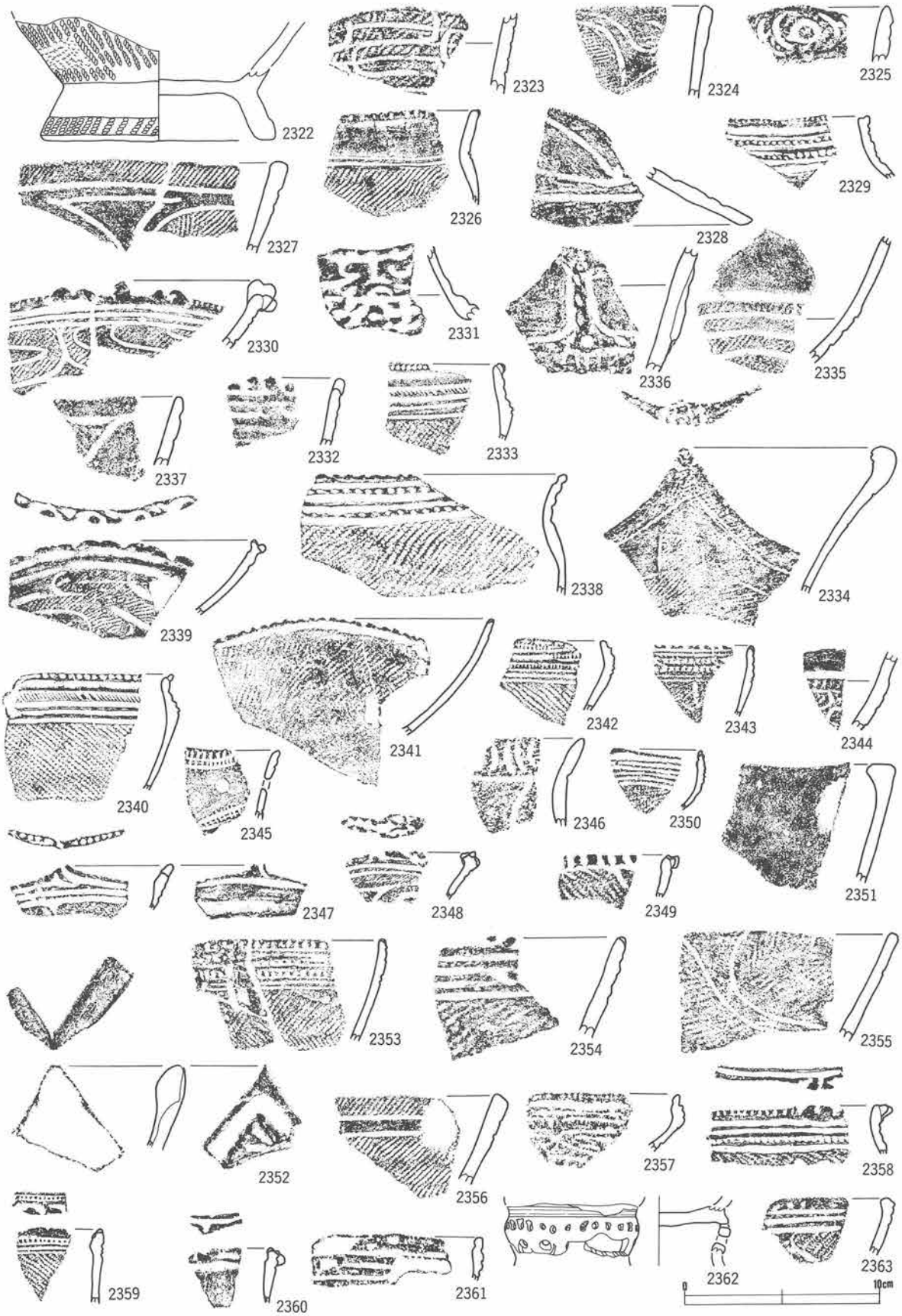


第134図　遺構外出土遺物土器96



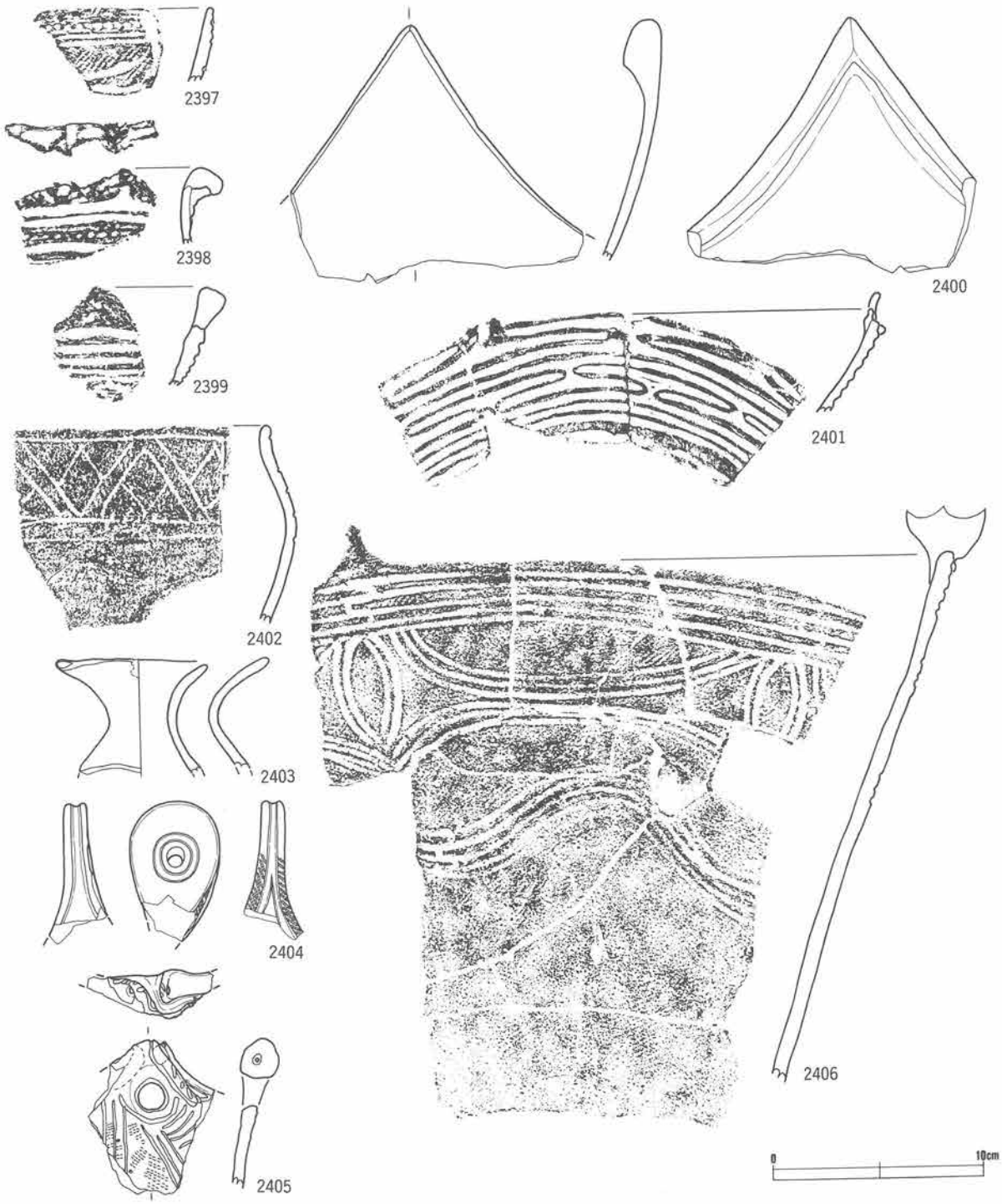
第135図　遺構外出土遺物土器97

第136図　遺構外出土遺物土器98

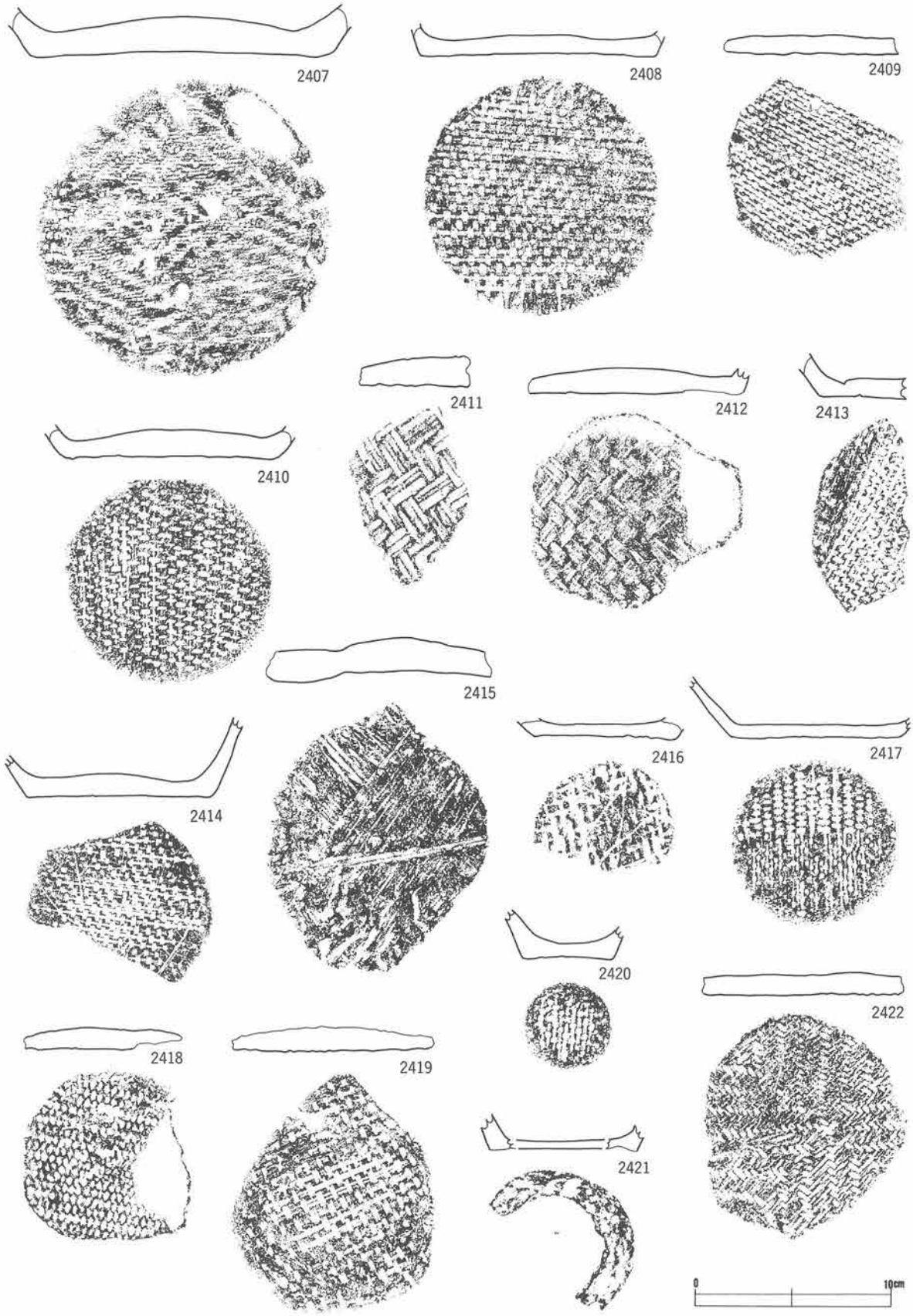


第137図　遺構外出土遺物土器99

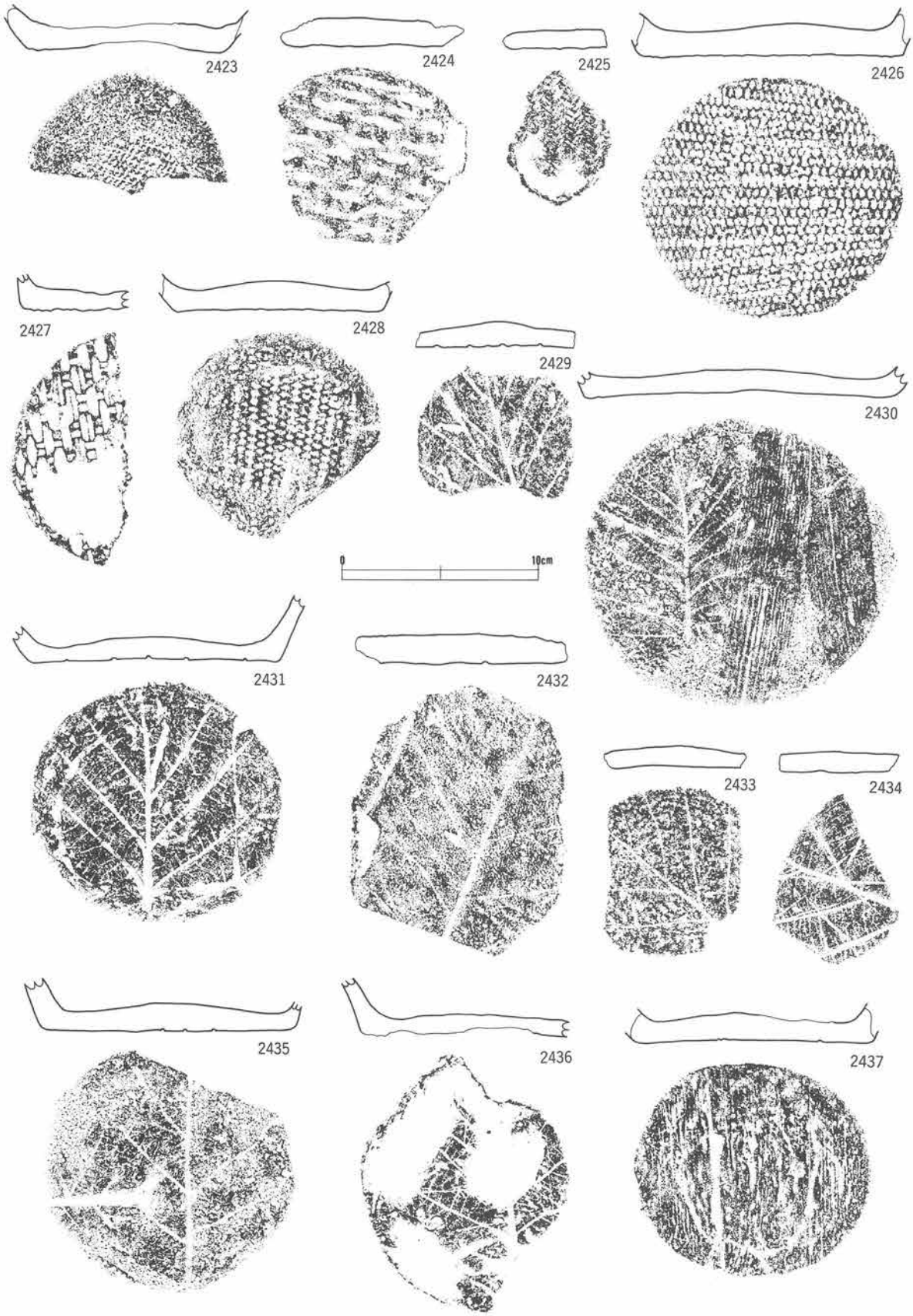
第138図　遺構外出土遺物土器100



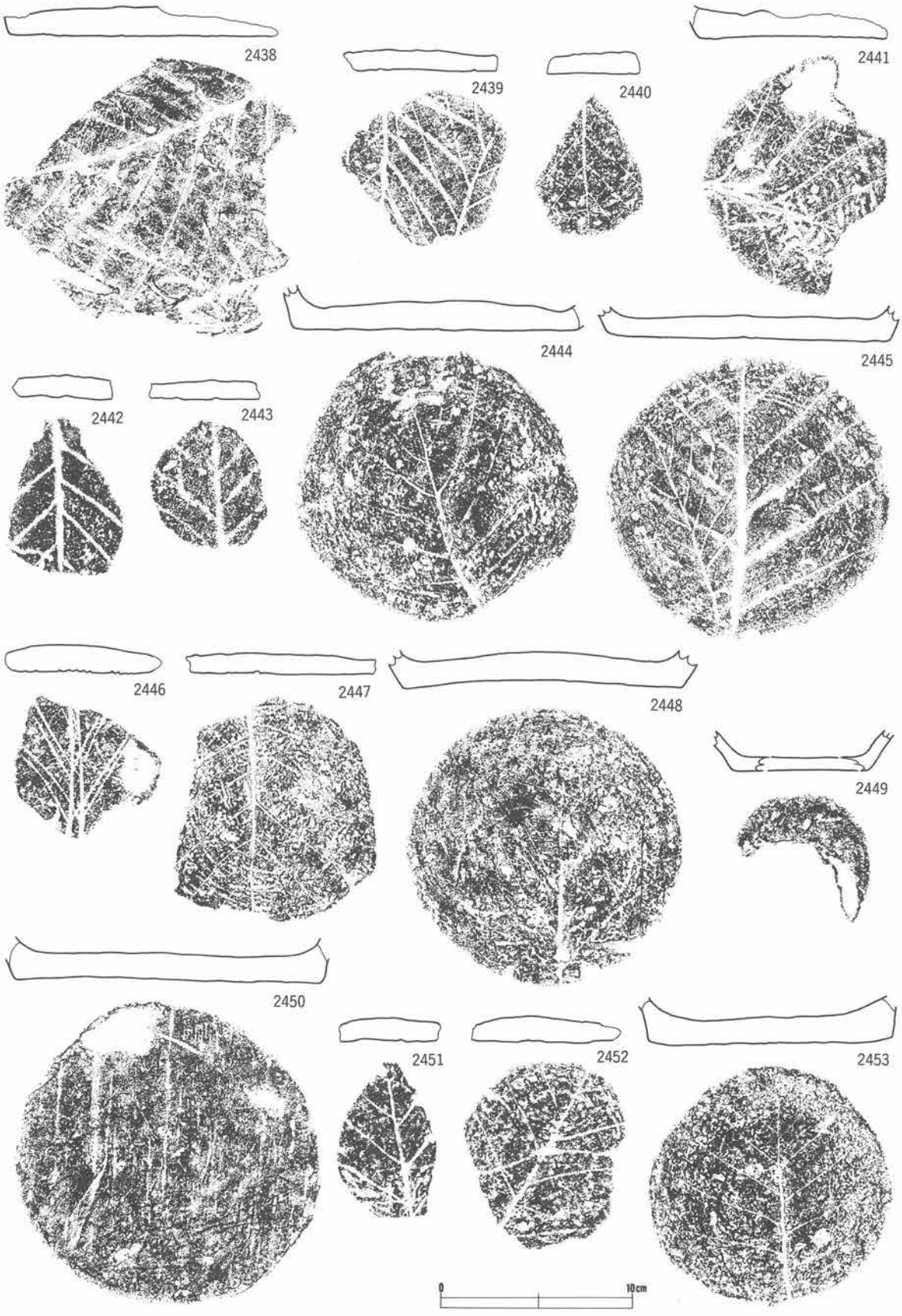
第139図　遺構外出土遺物土器101



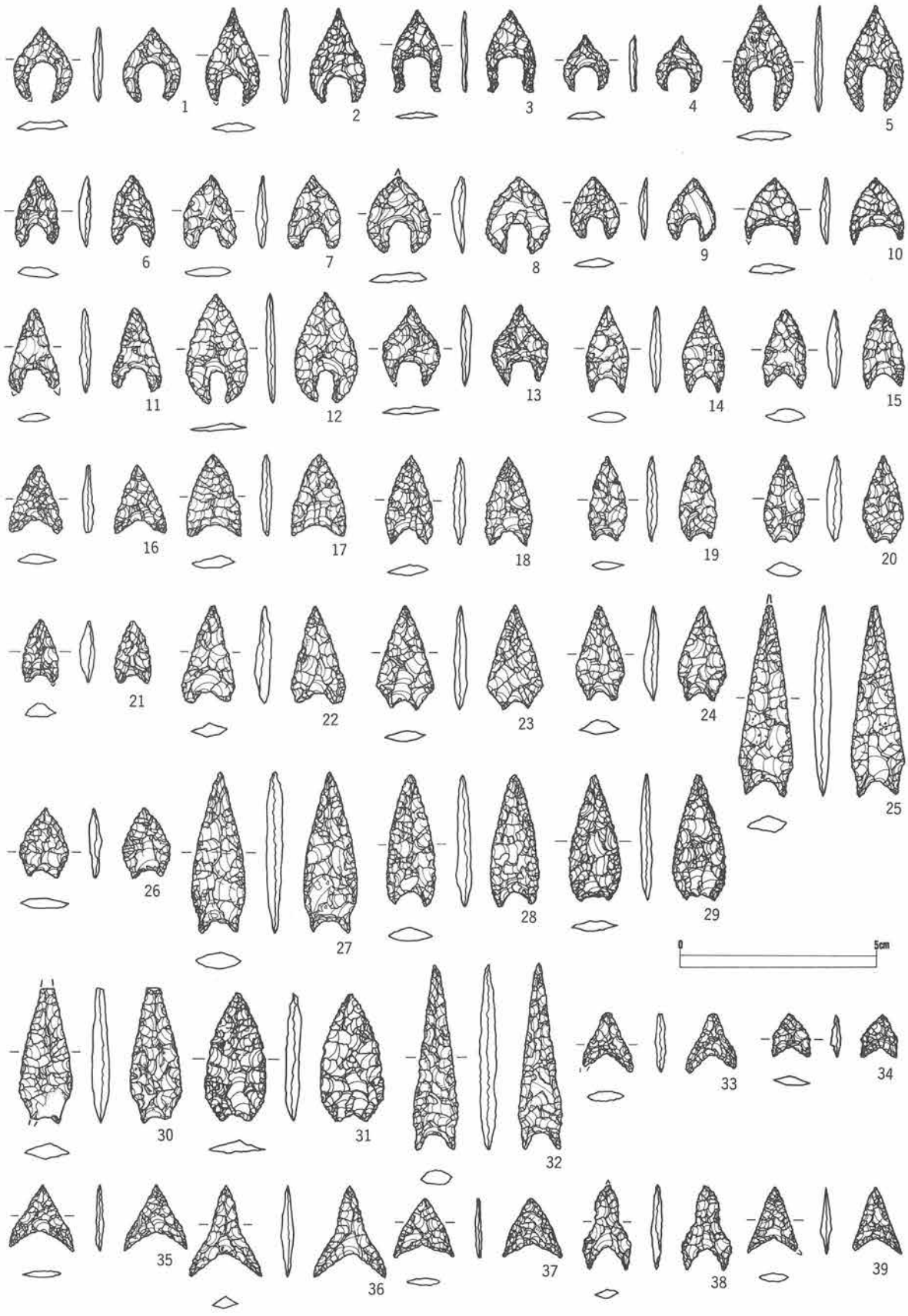
第140図　遺構外出土遺物土器102



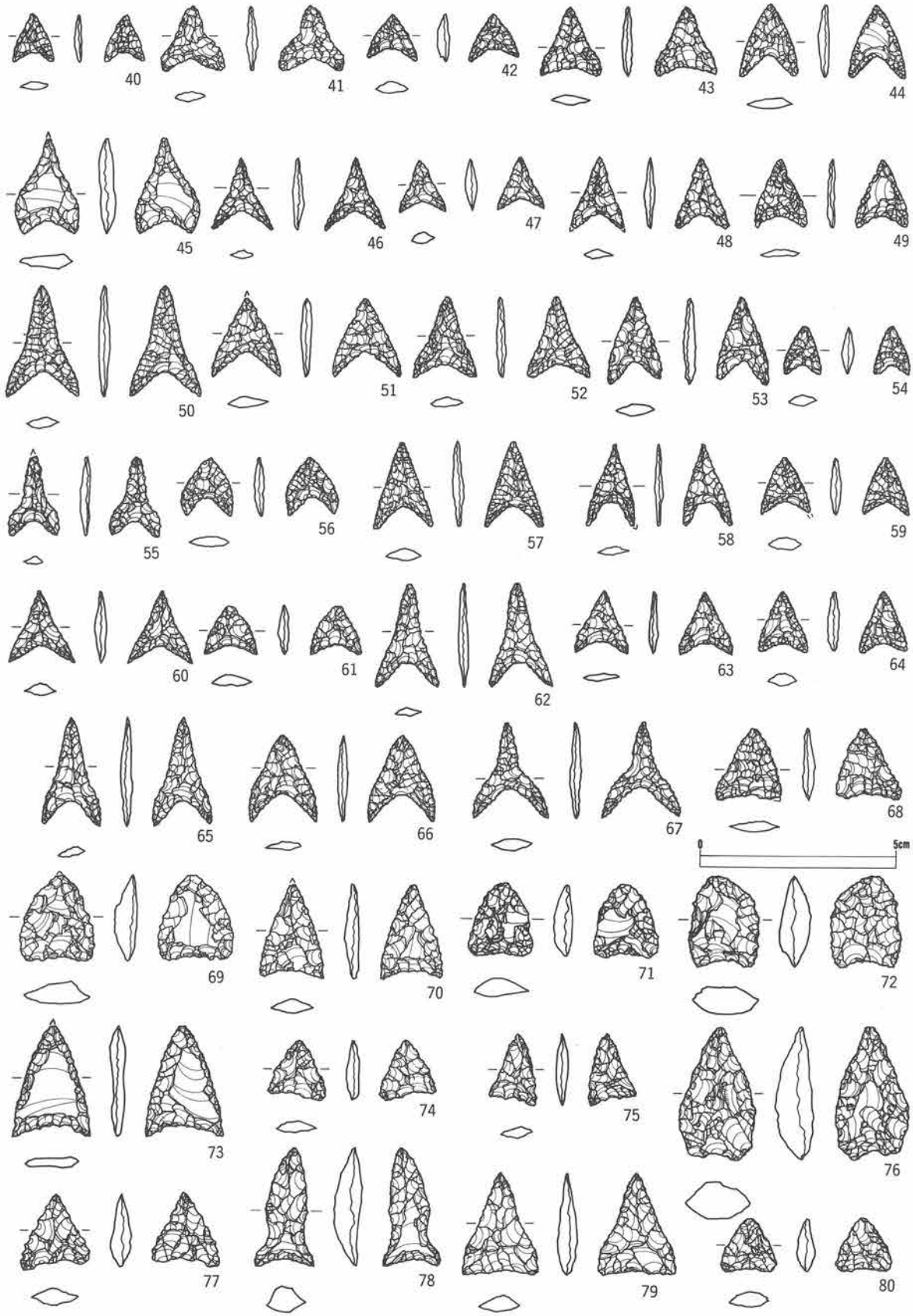
第141図　遺構外出土遺物土器103



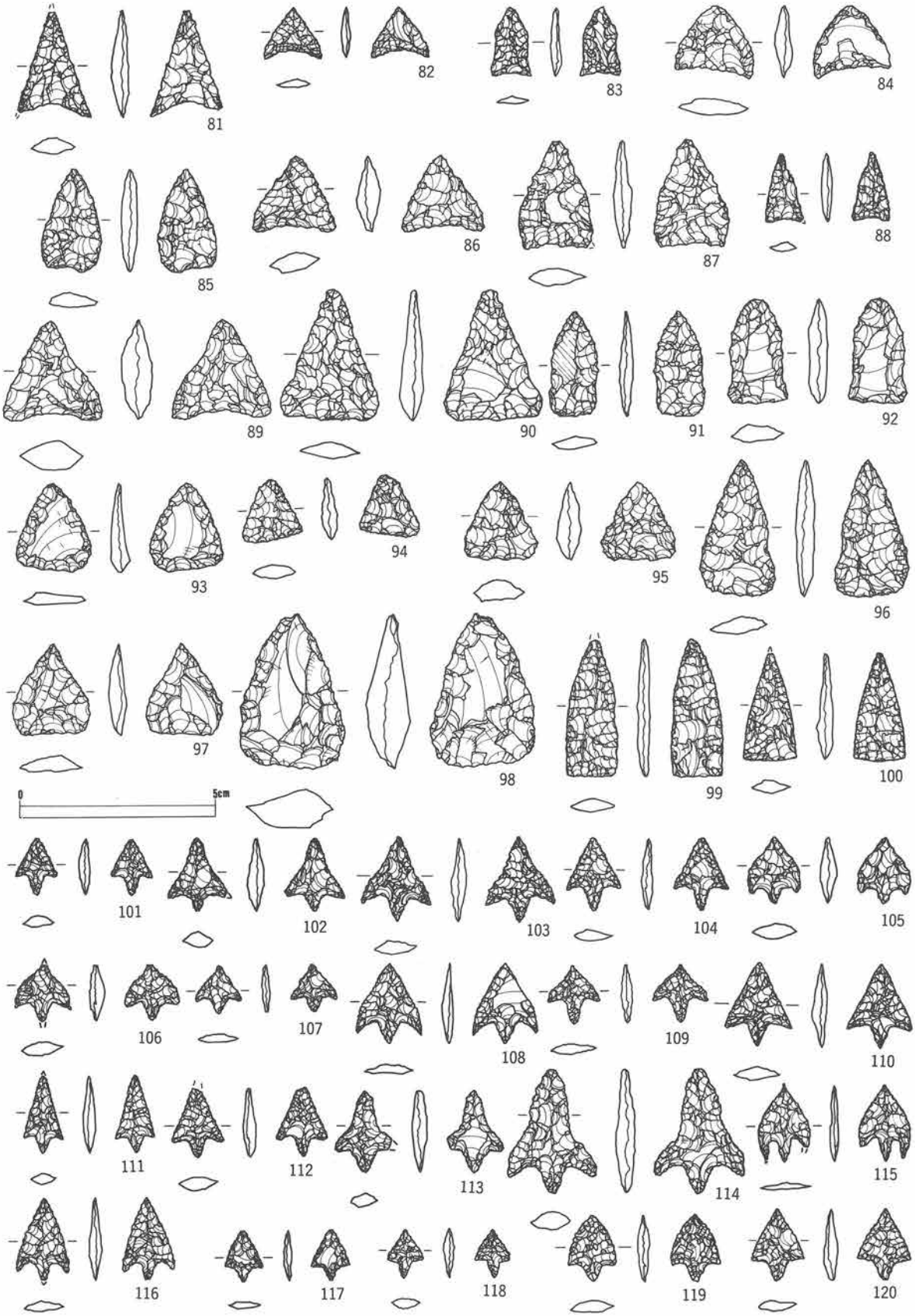
第142図　遺構外出土遺物土器104



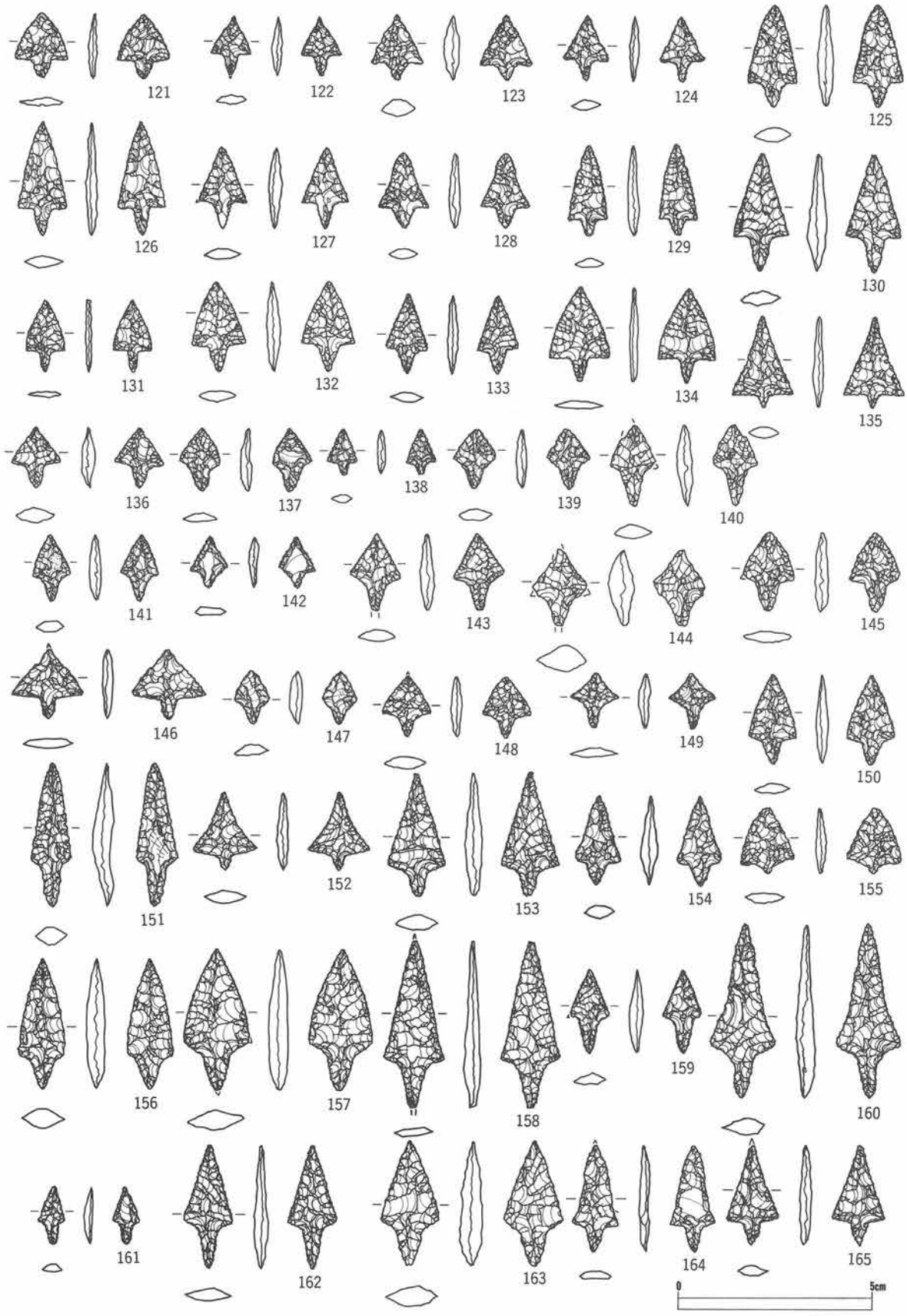
第143図　出土遺物石器 1



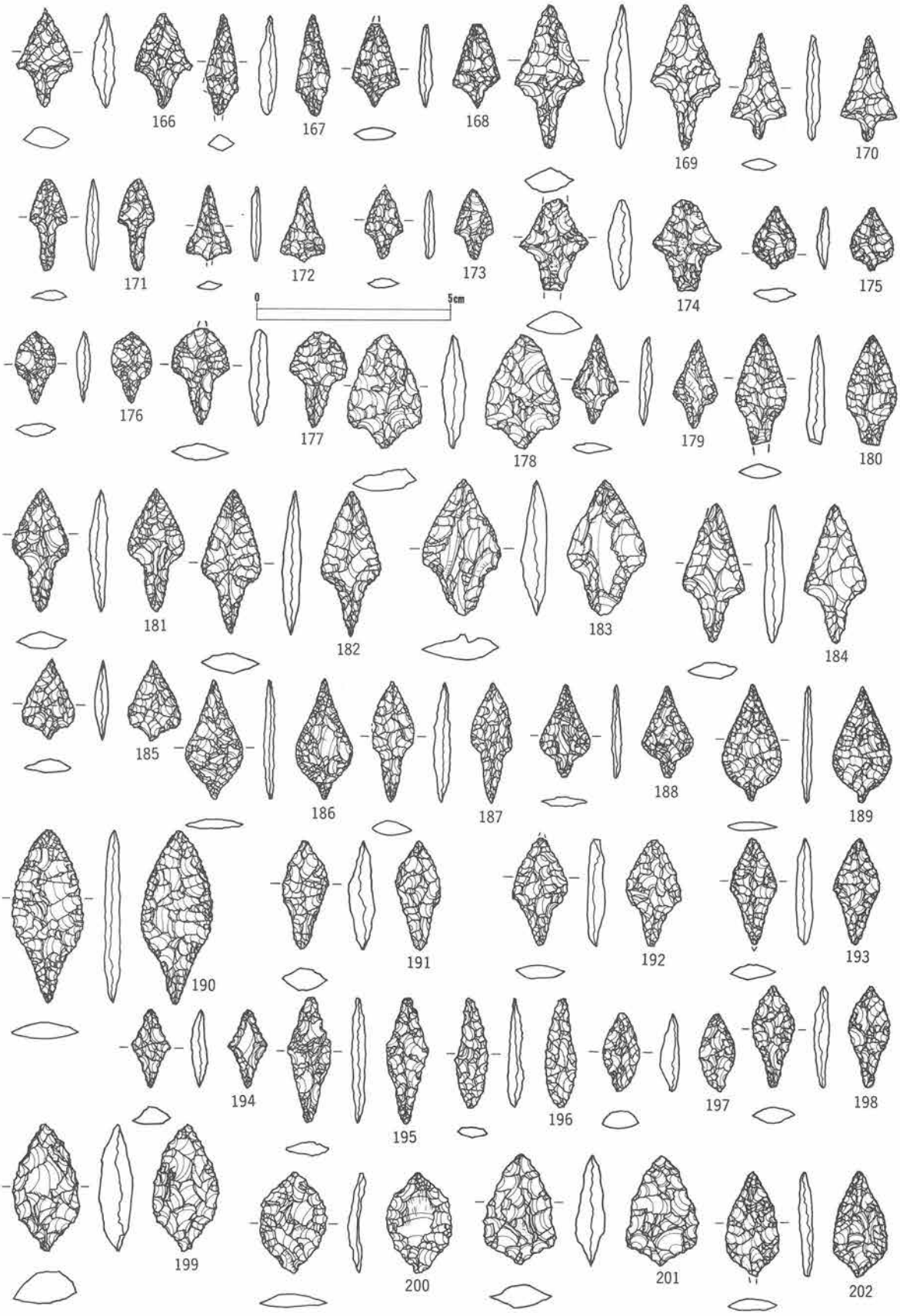
第144図　出土遺物石器 2



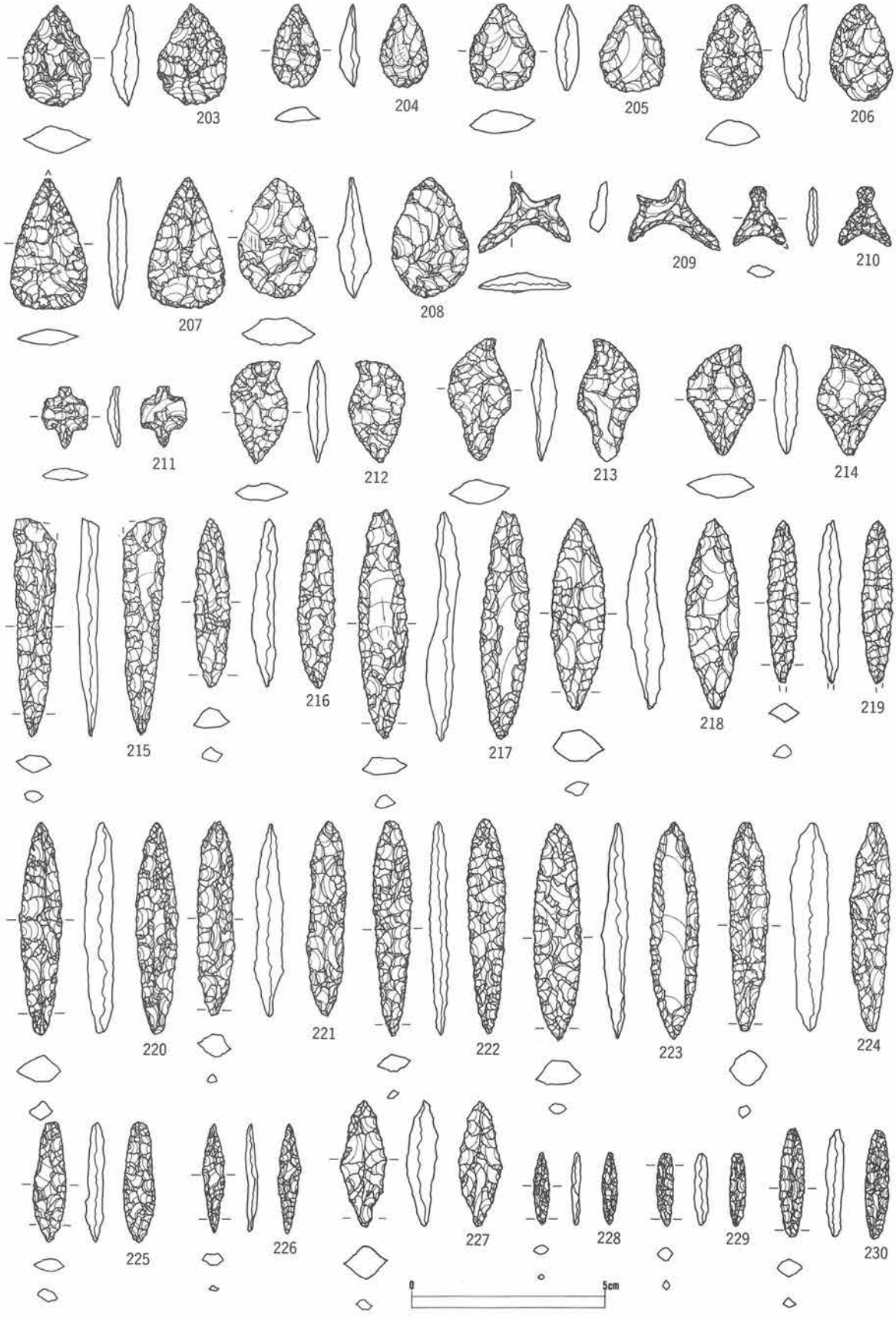
第145図　出土遺物石器 3



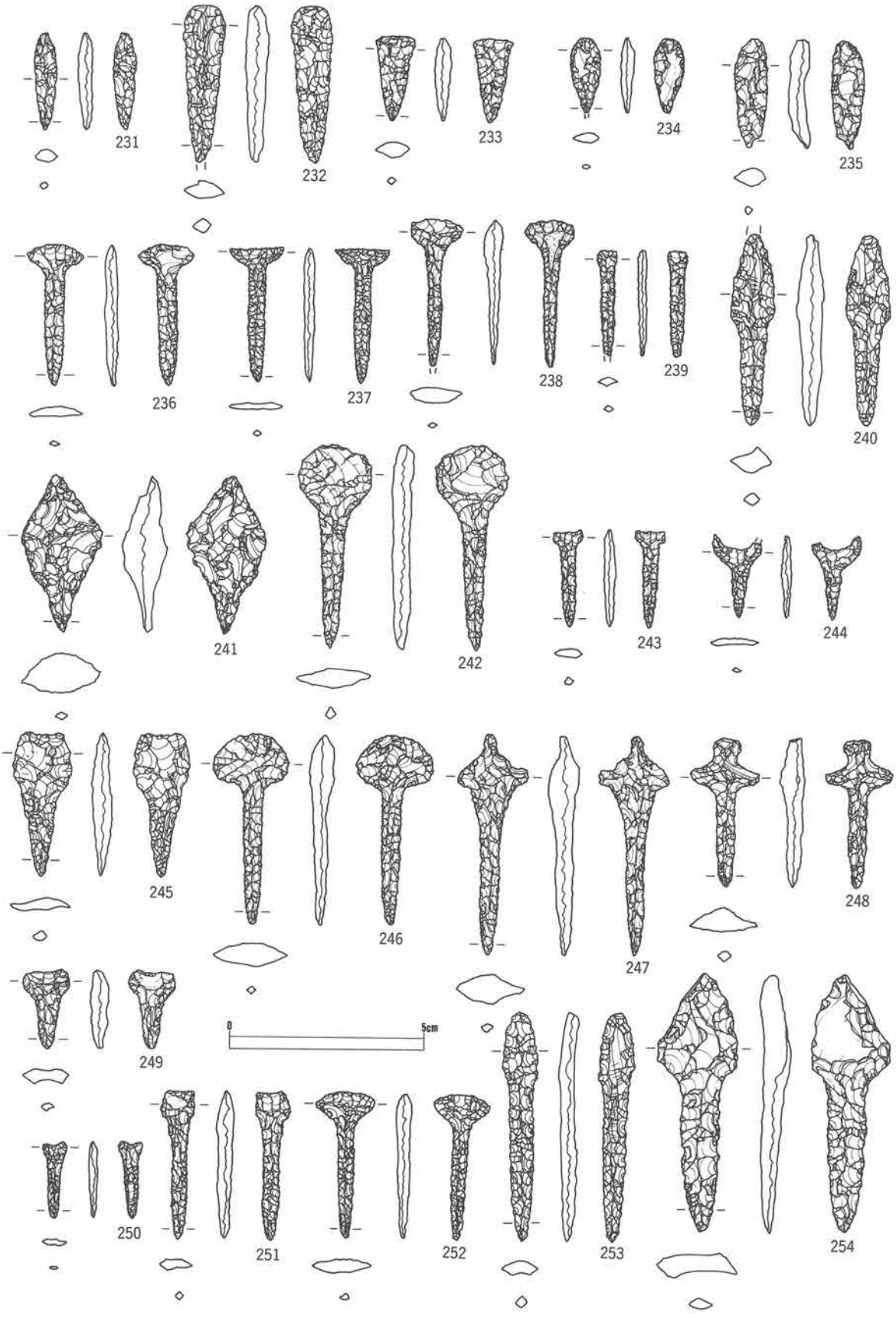
第146図　出土遺物石器 4



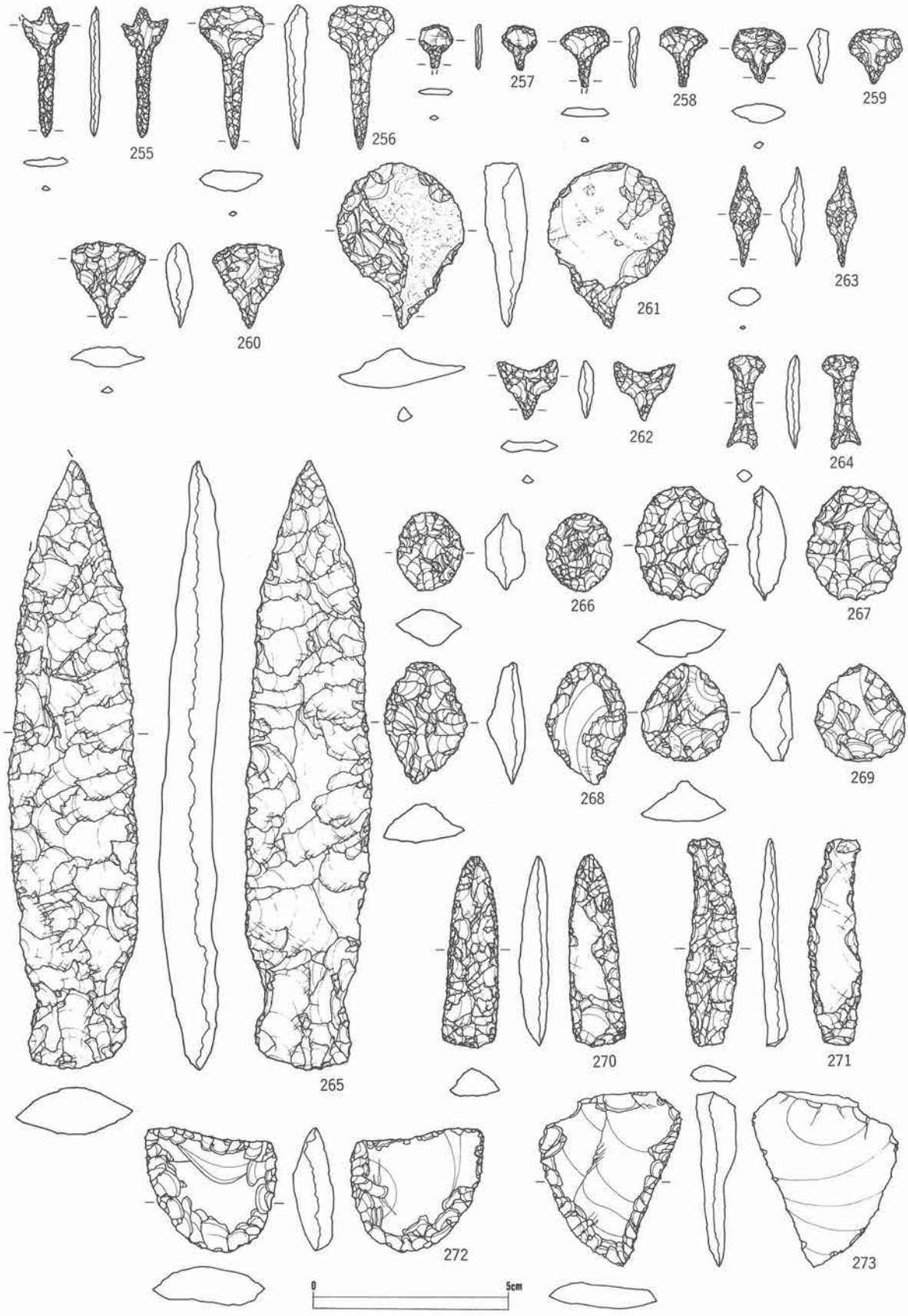
第147図　出土遺物石器5



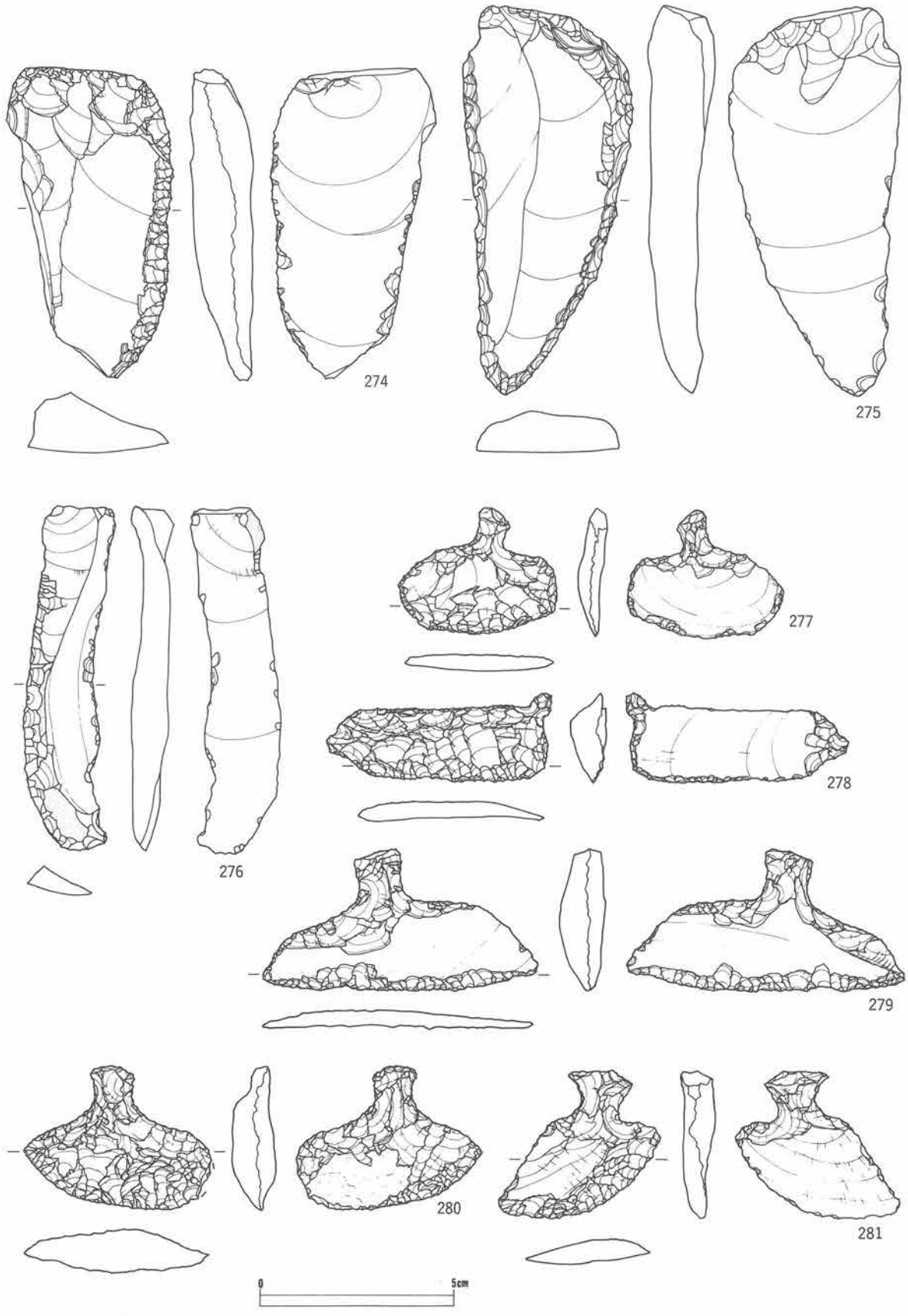
第148図　出土遺物石器6



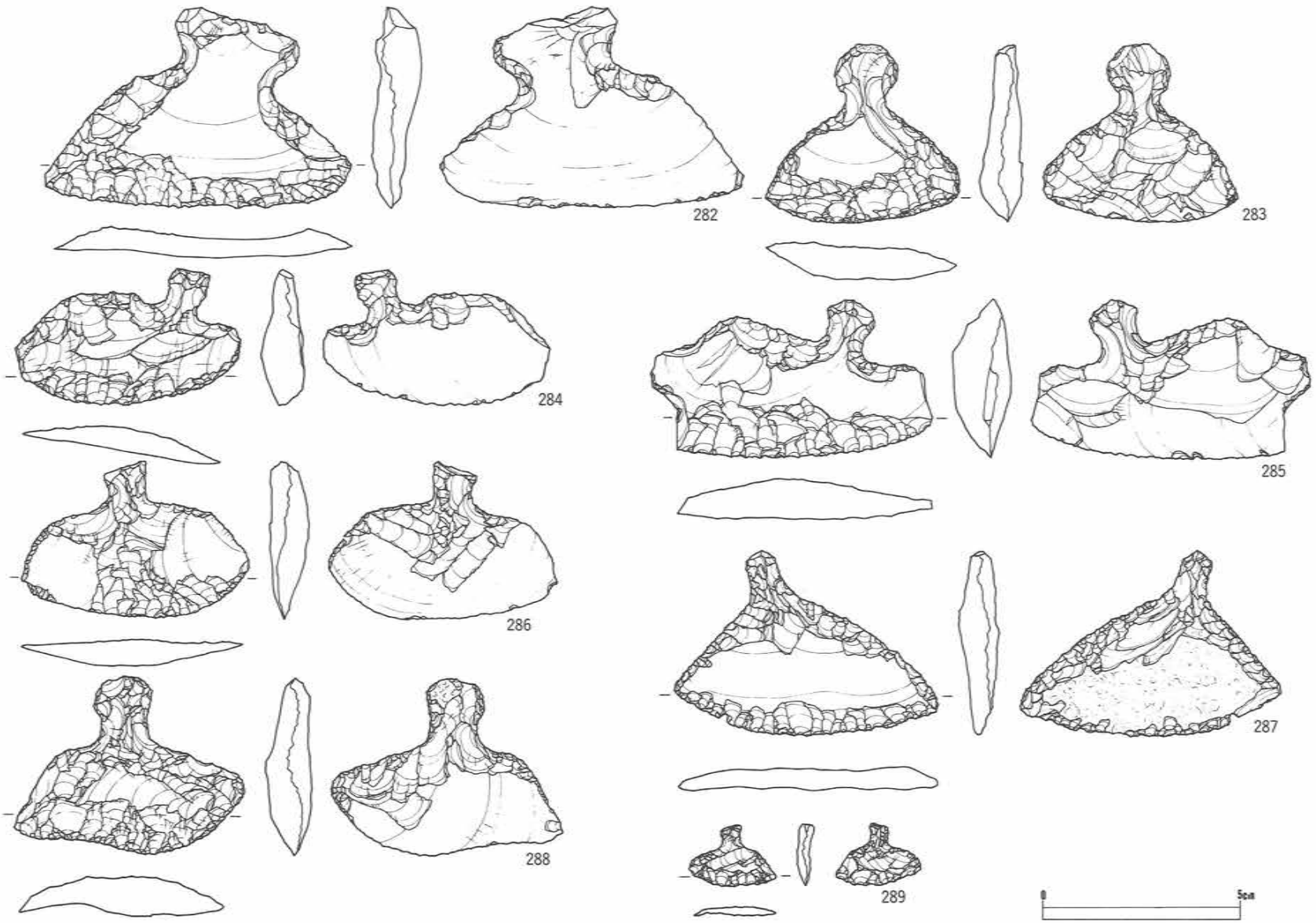
第149図 出土遺物石器7



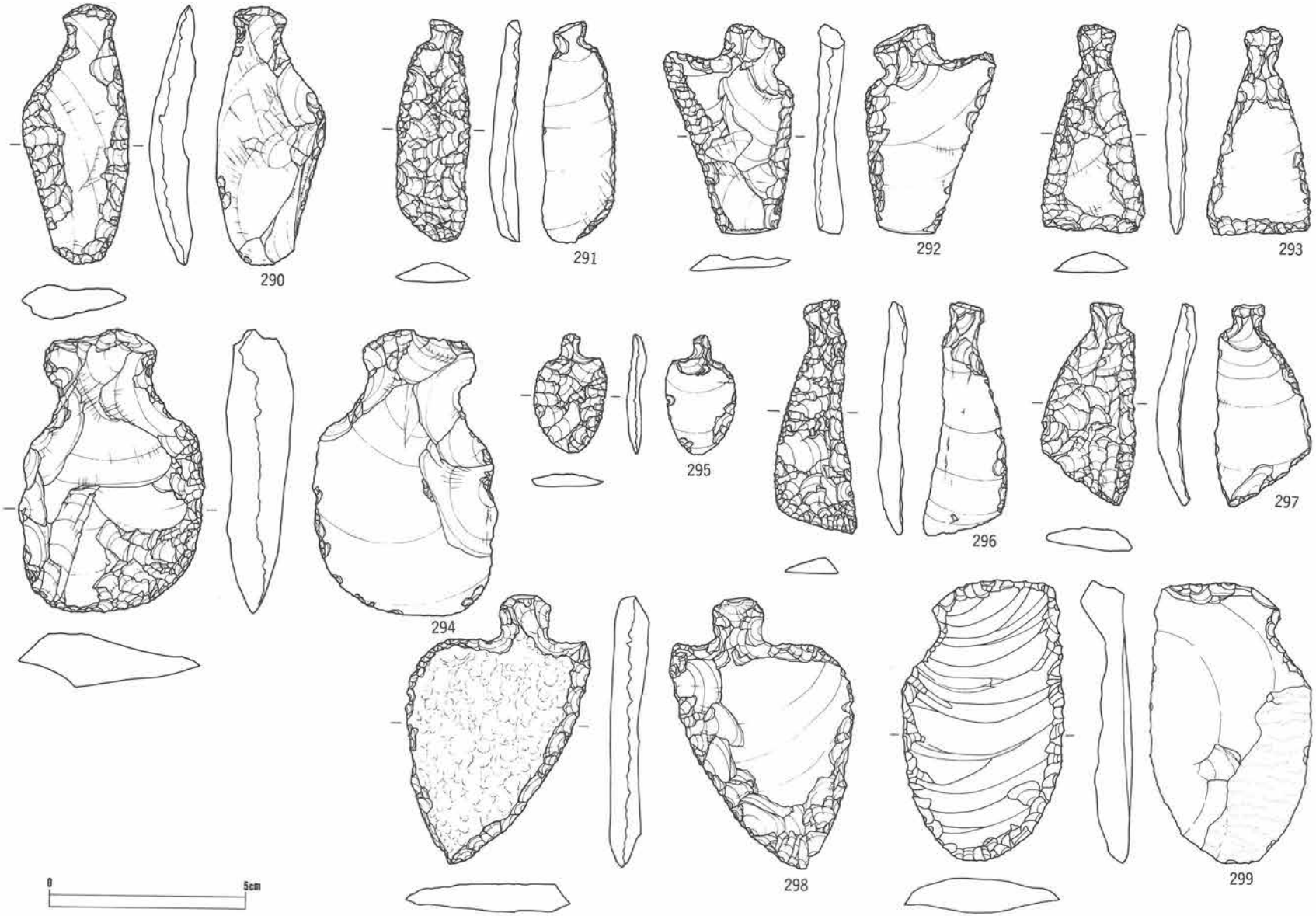
第150図　出土遺物石器 8



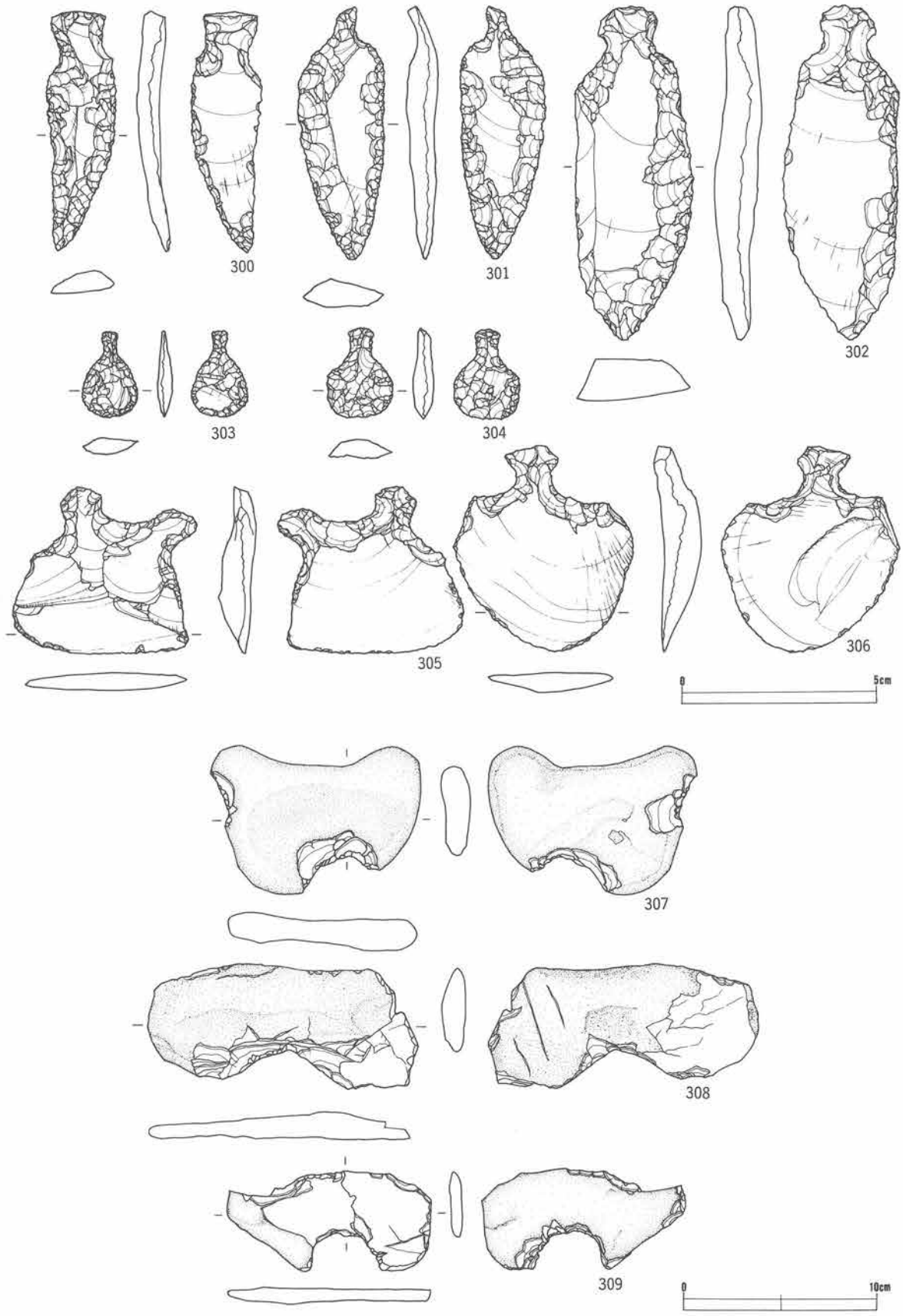
第151図　出土遺物石器 9



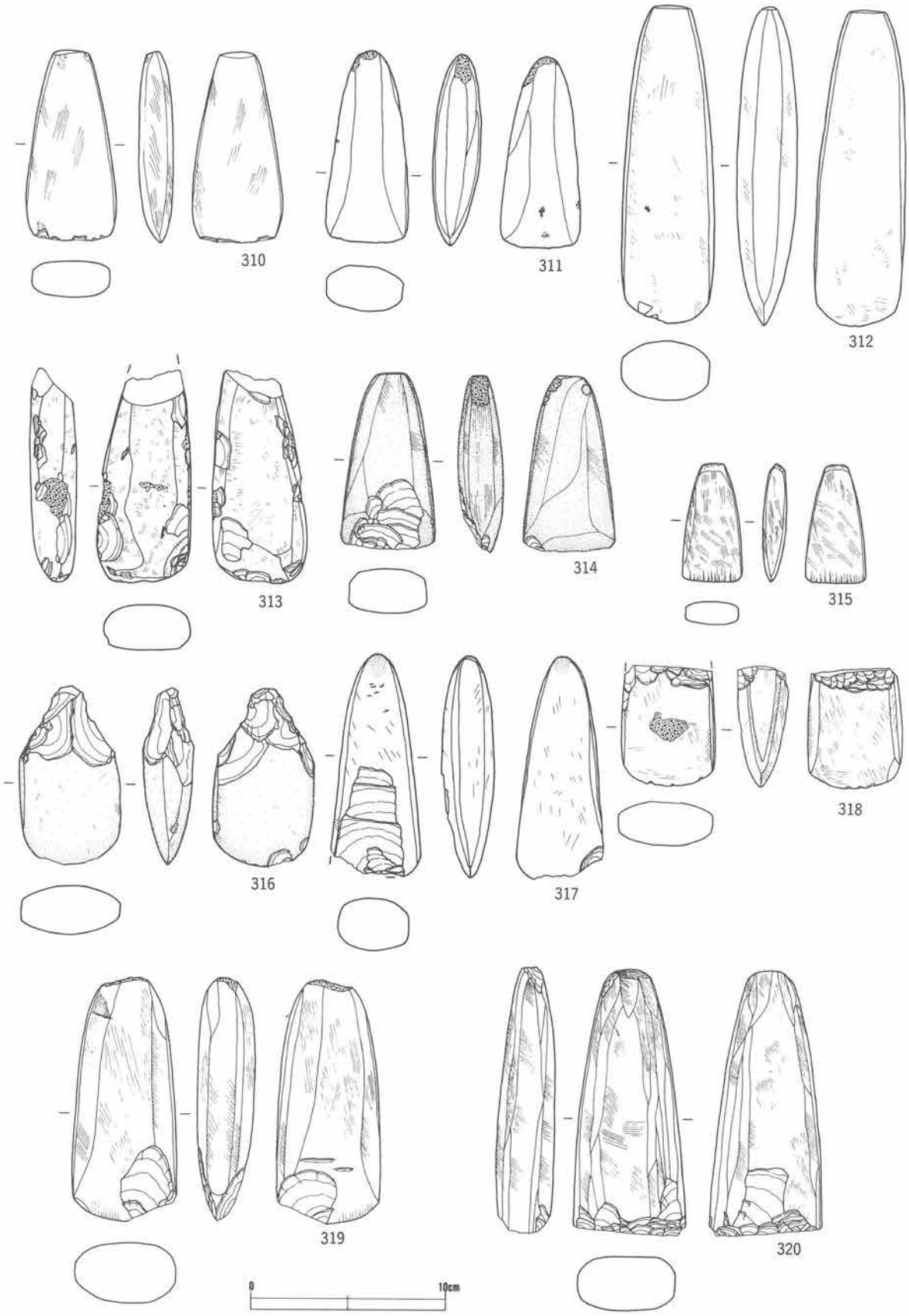
第152図　出土遺物石器10



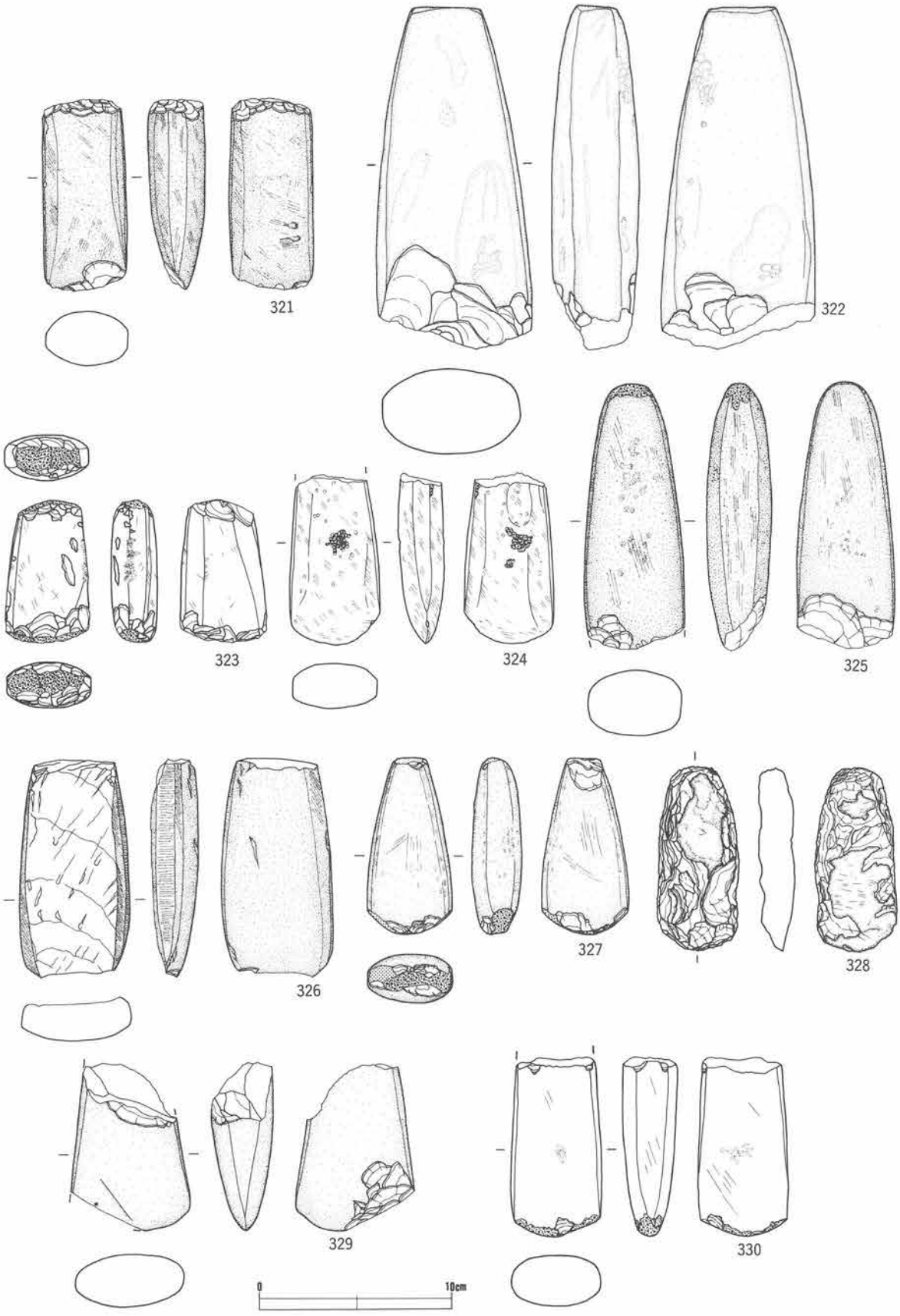
第153図　出土遺物石器11



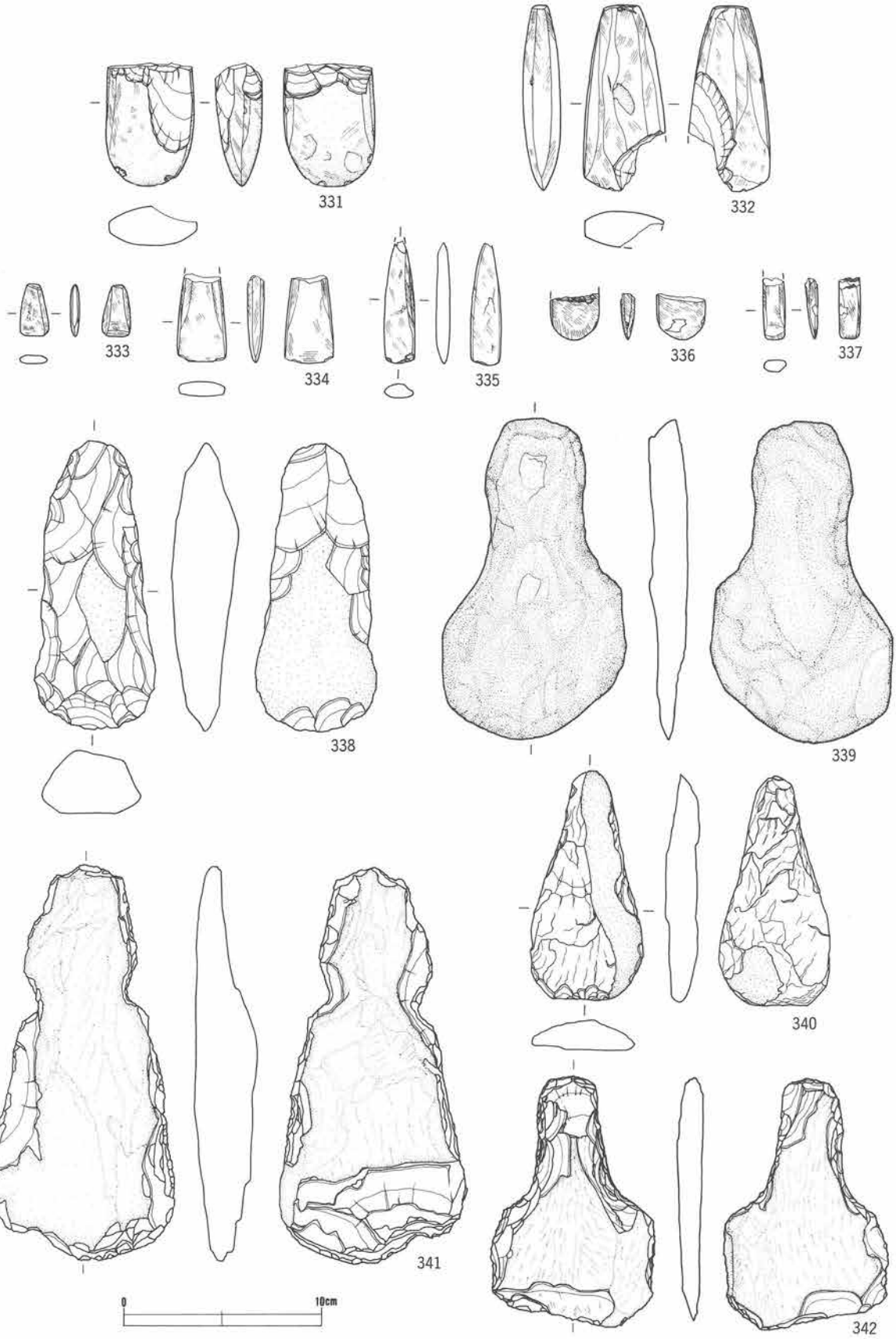
第154図　出土遺物石器12



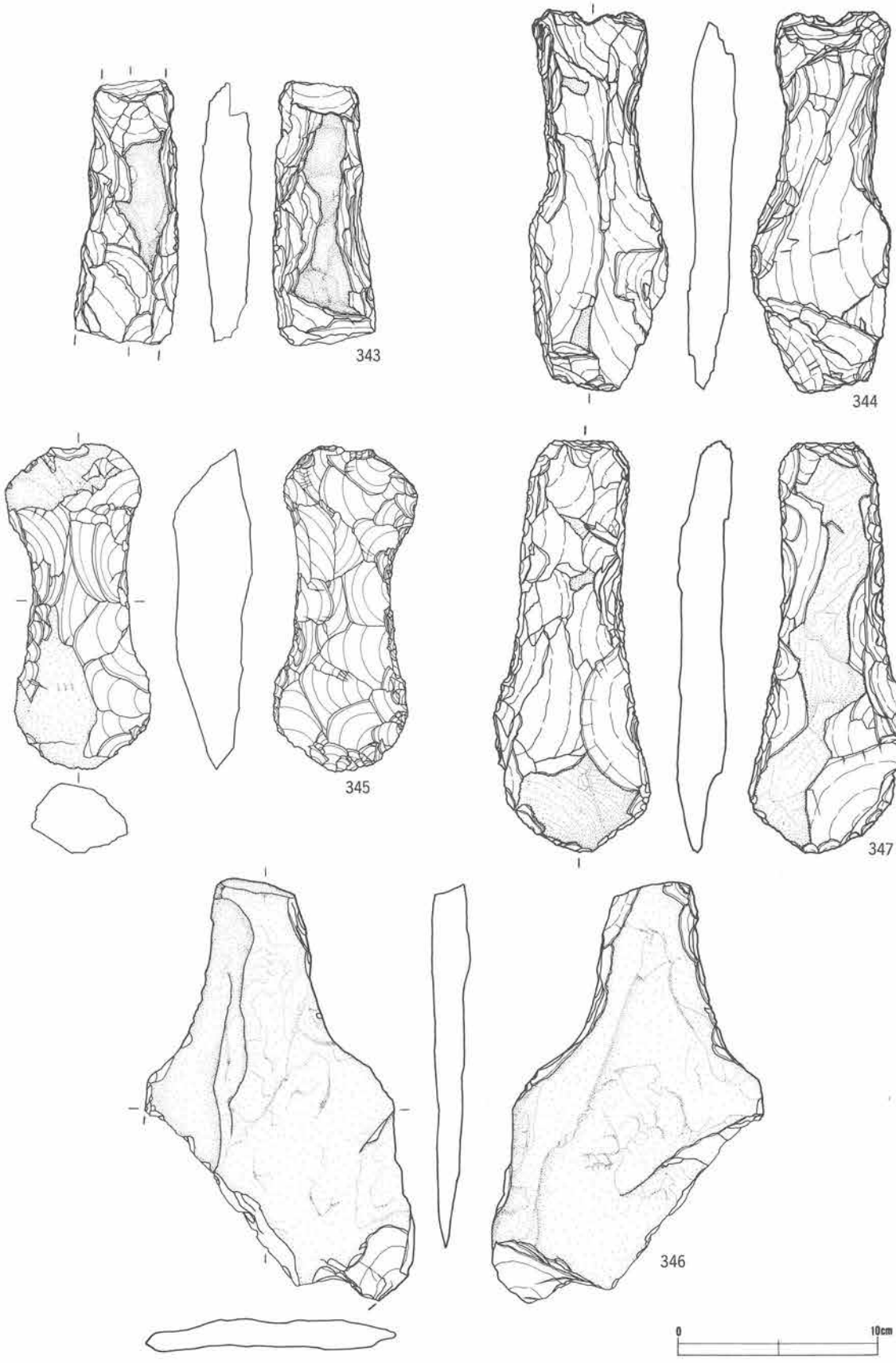
第155図　出土遺物石器13



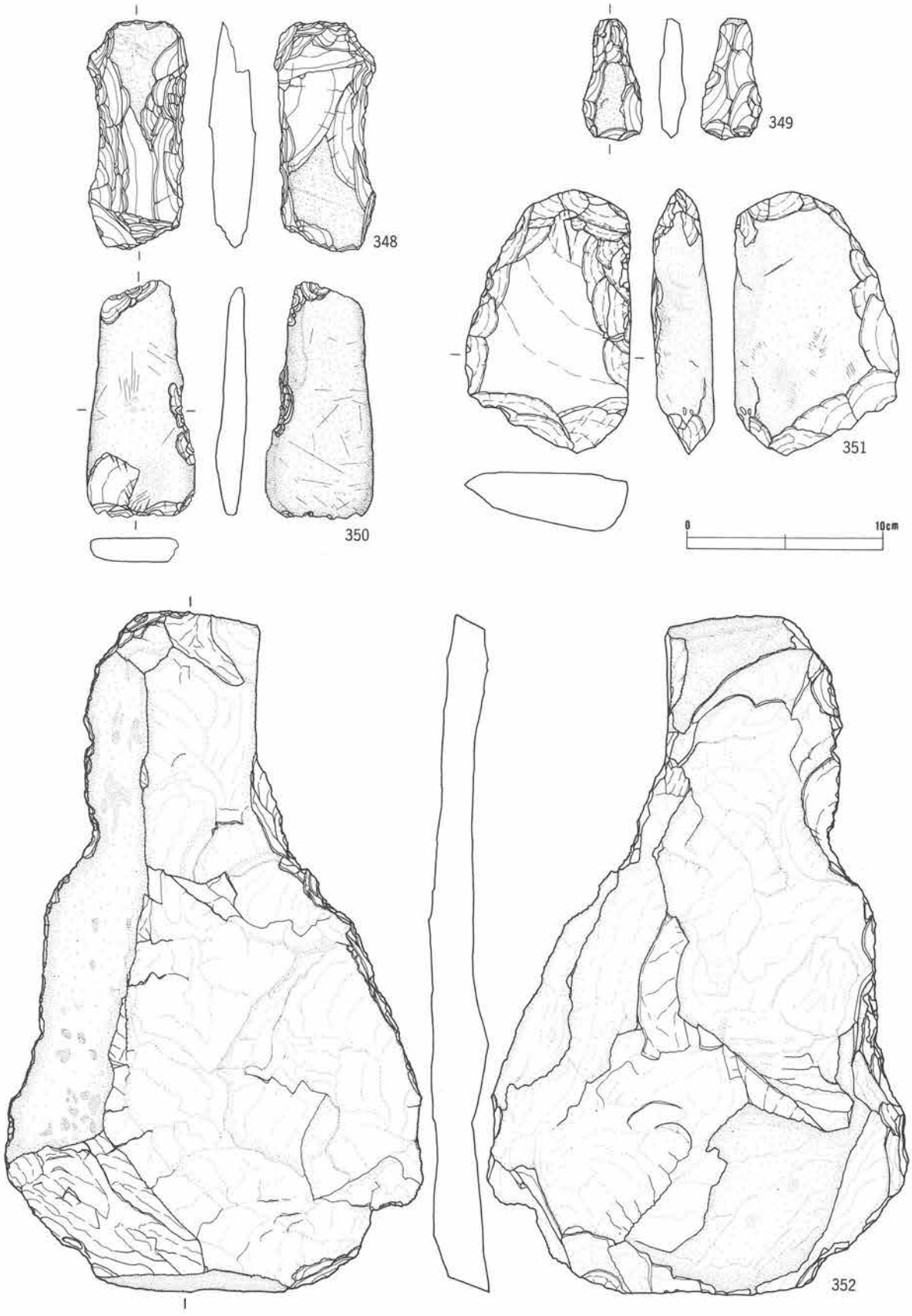
第156図　出土遺物石器 14



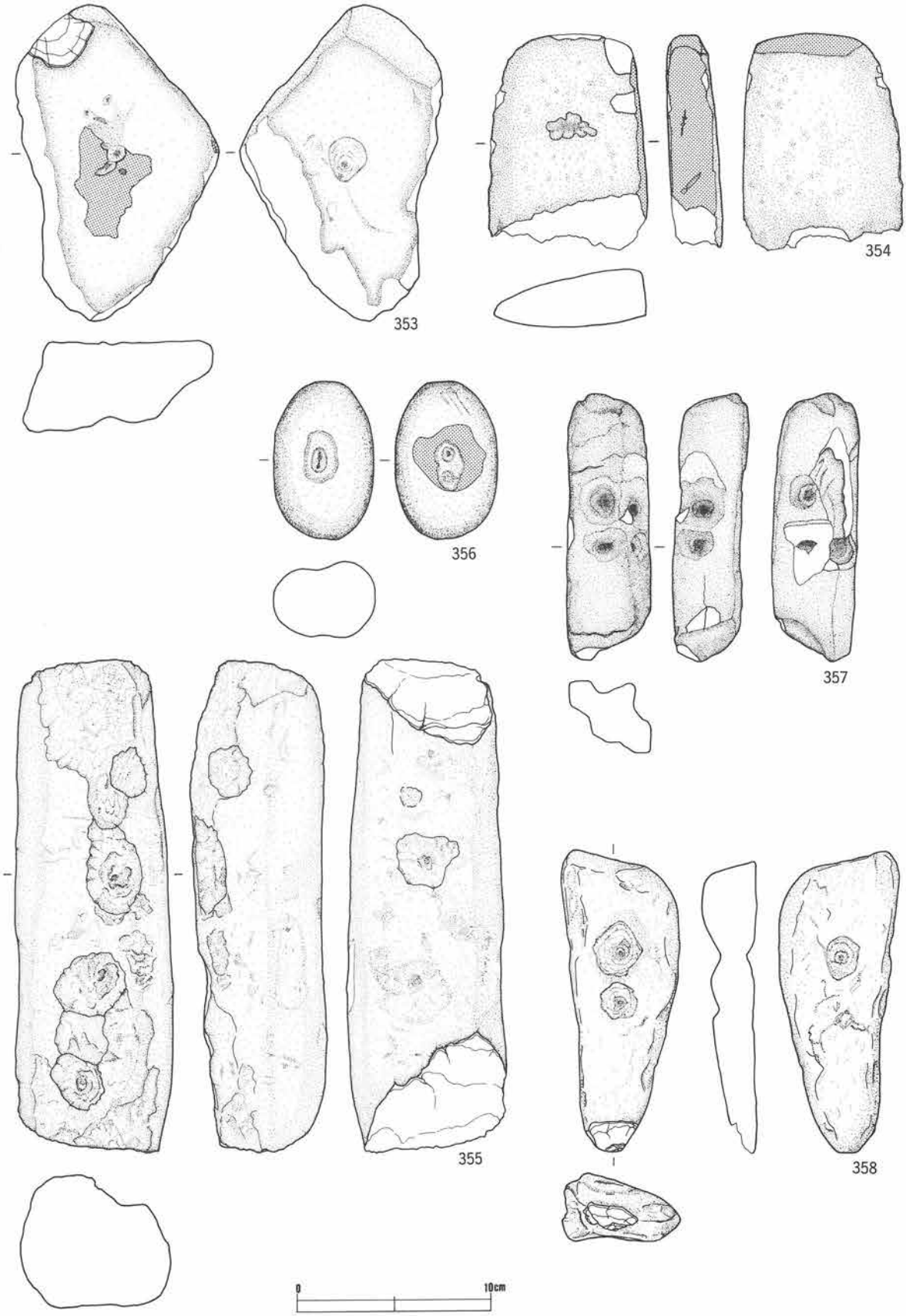
第157図　出土遺物石器15



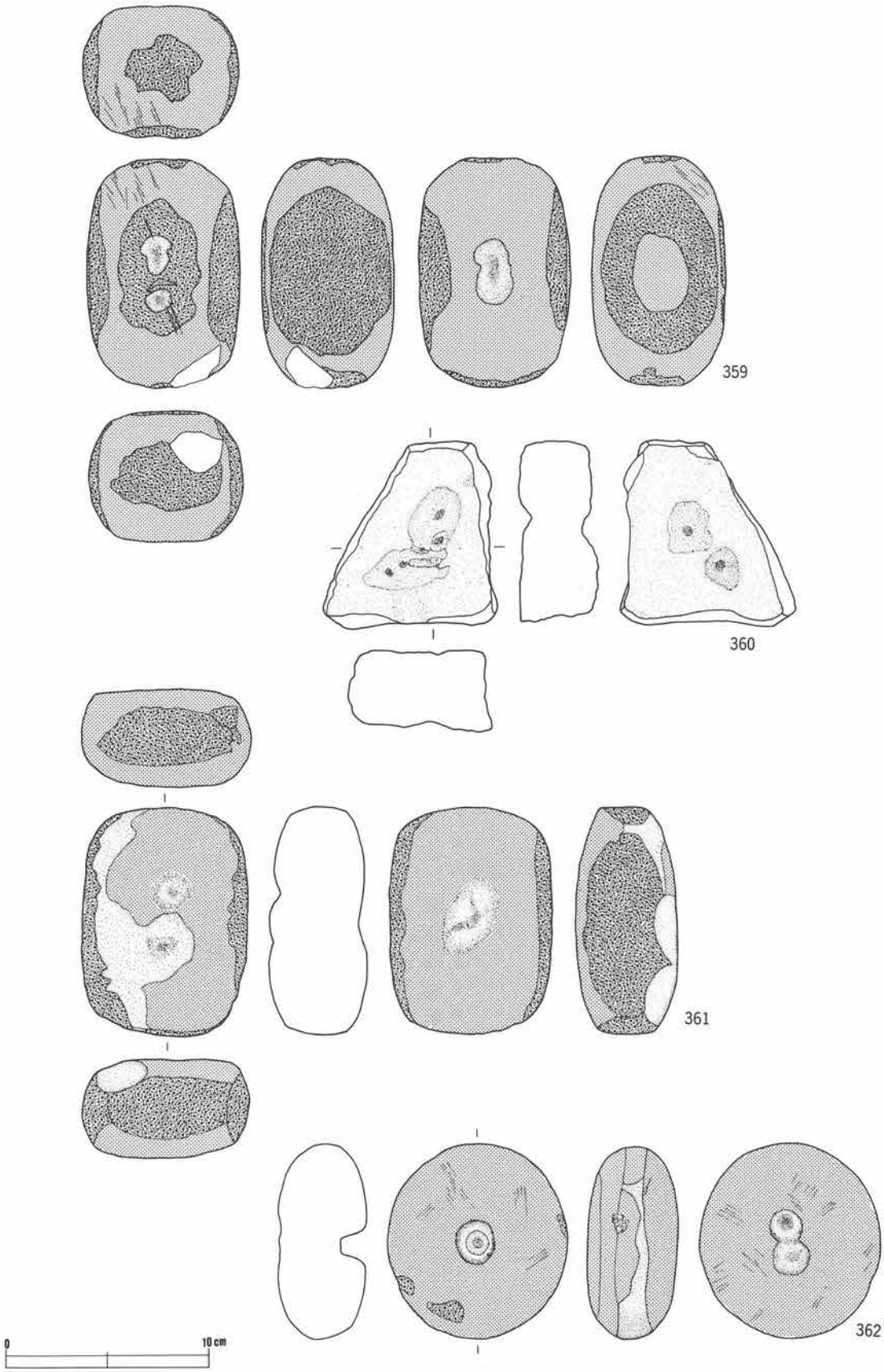
第158図　出土遺物石器16



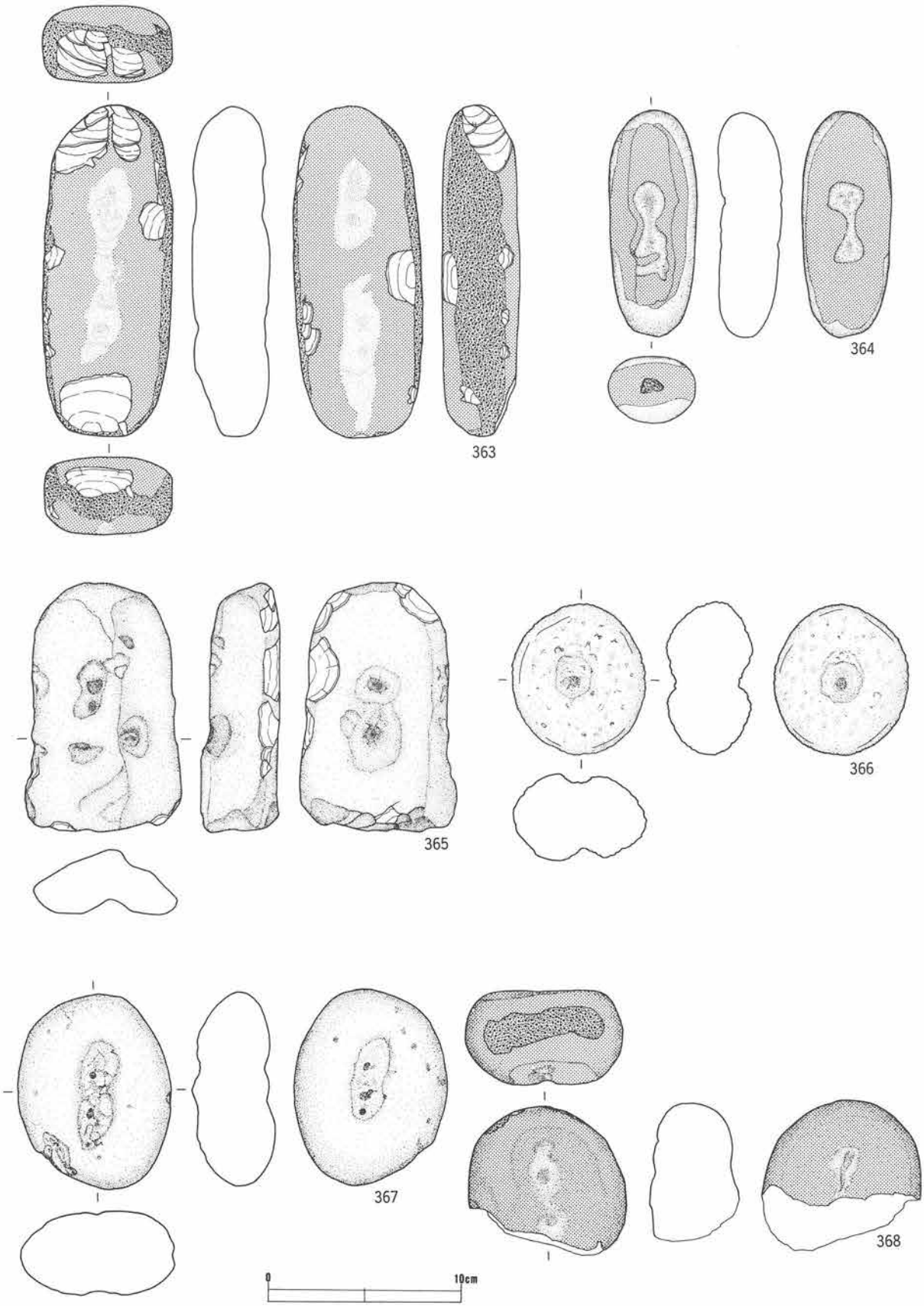
第159図　出土遺物石器17



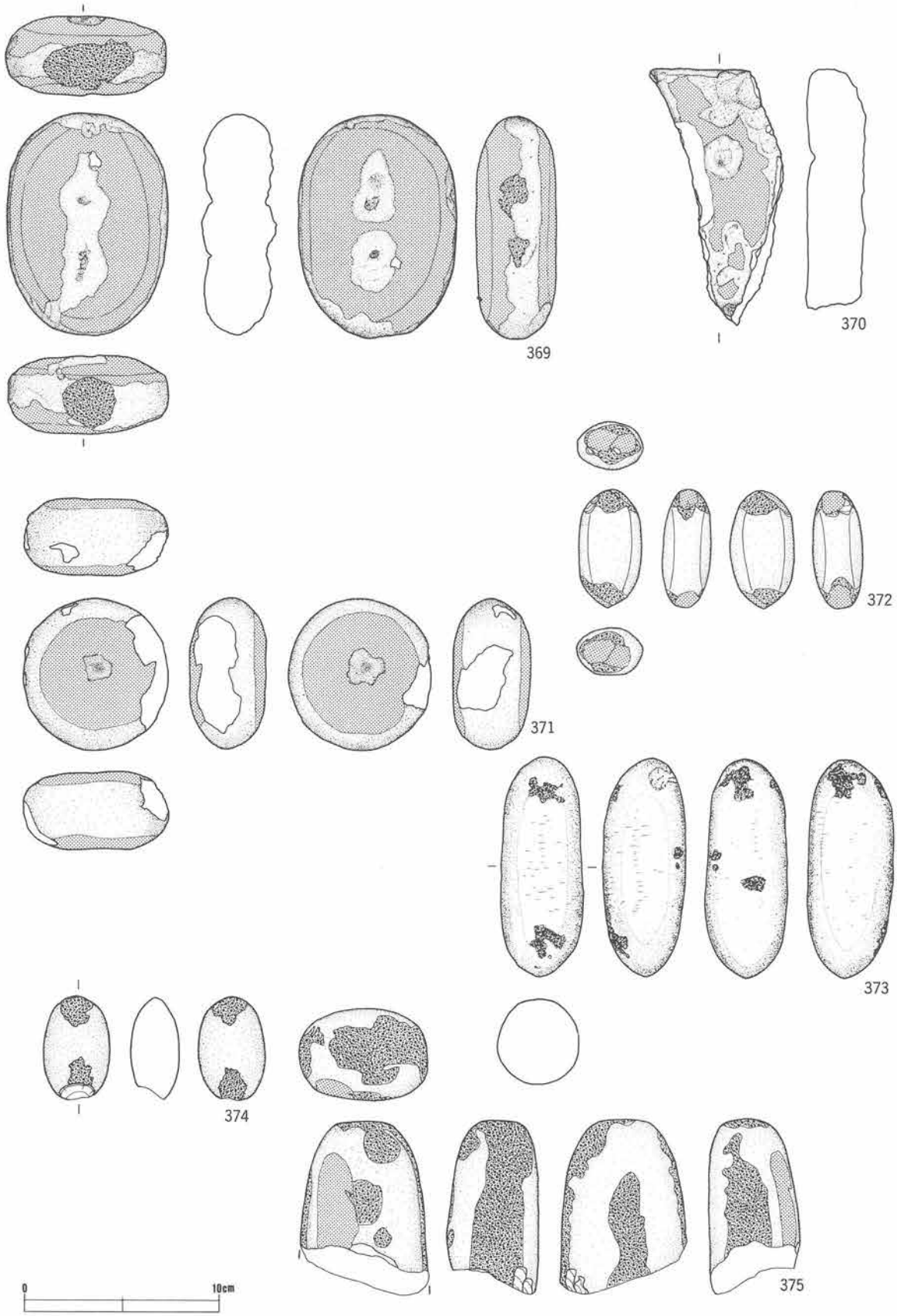
第160図　出土遺物石器18



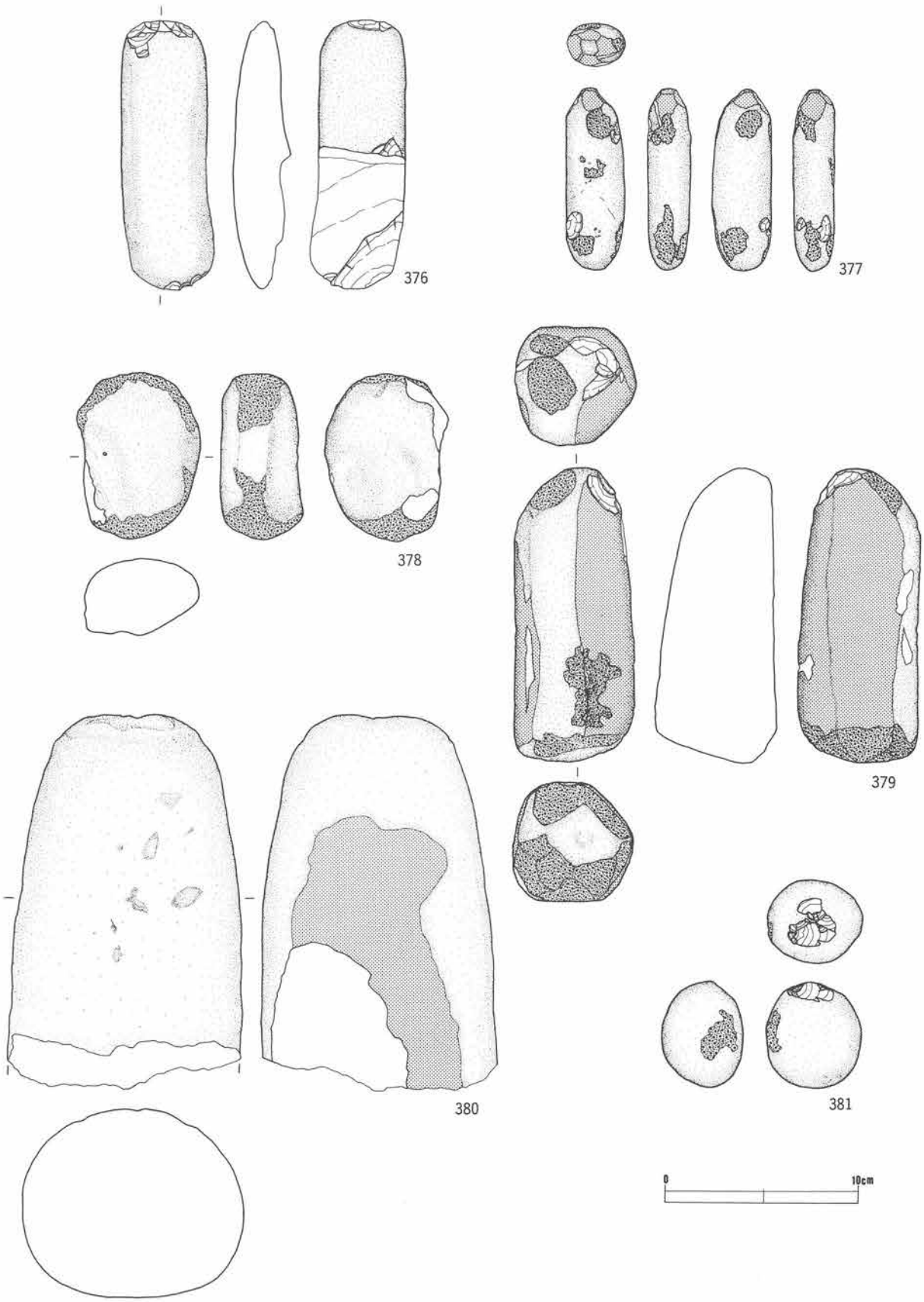
第161図　出土遺物石器19



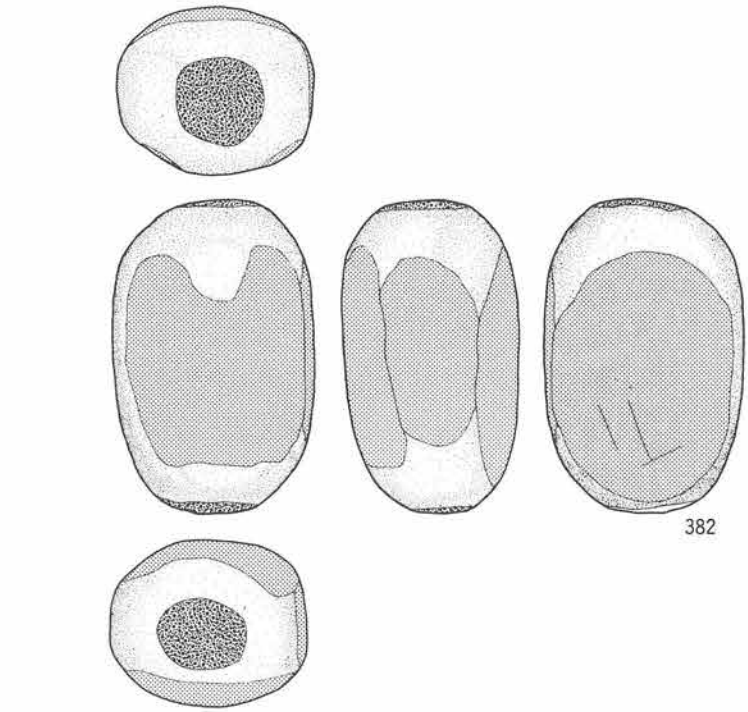
第162図　出土遺物石器20

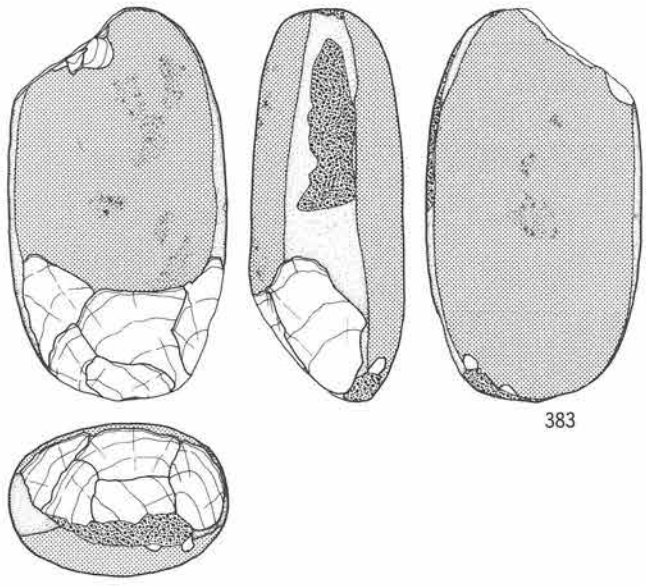


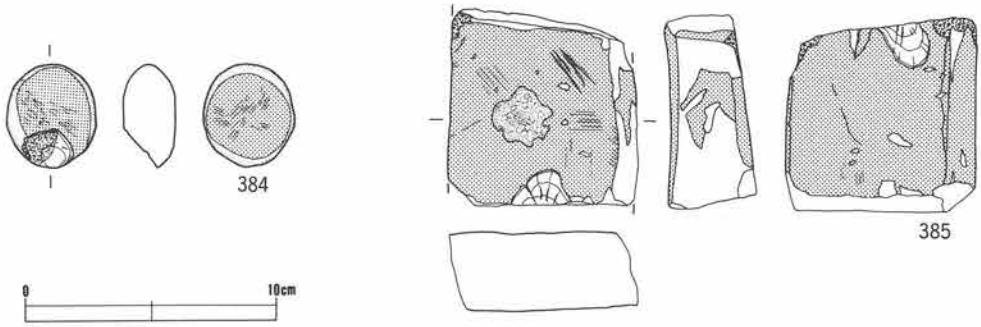
第163図　出土遺物石器21



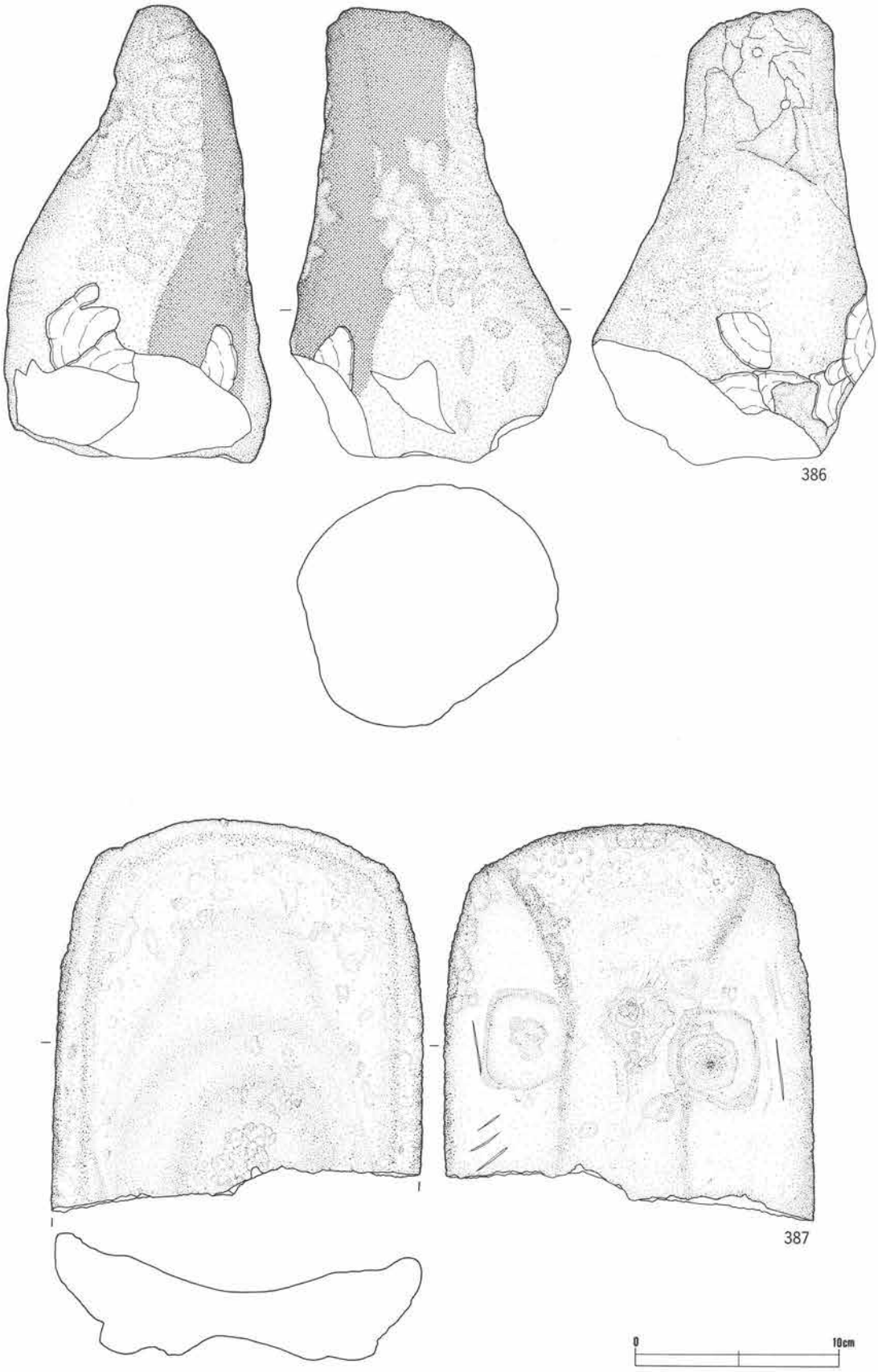
第164図　出土遺物石器22



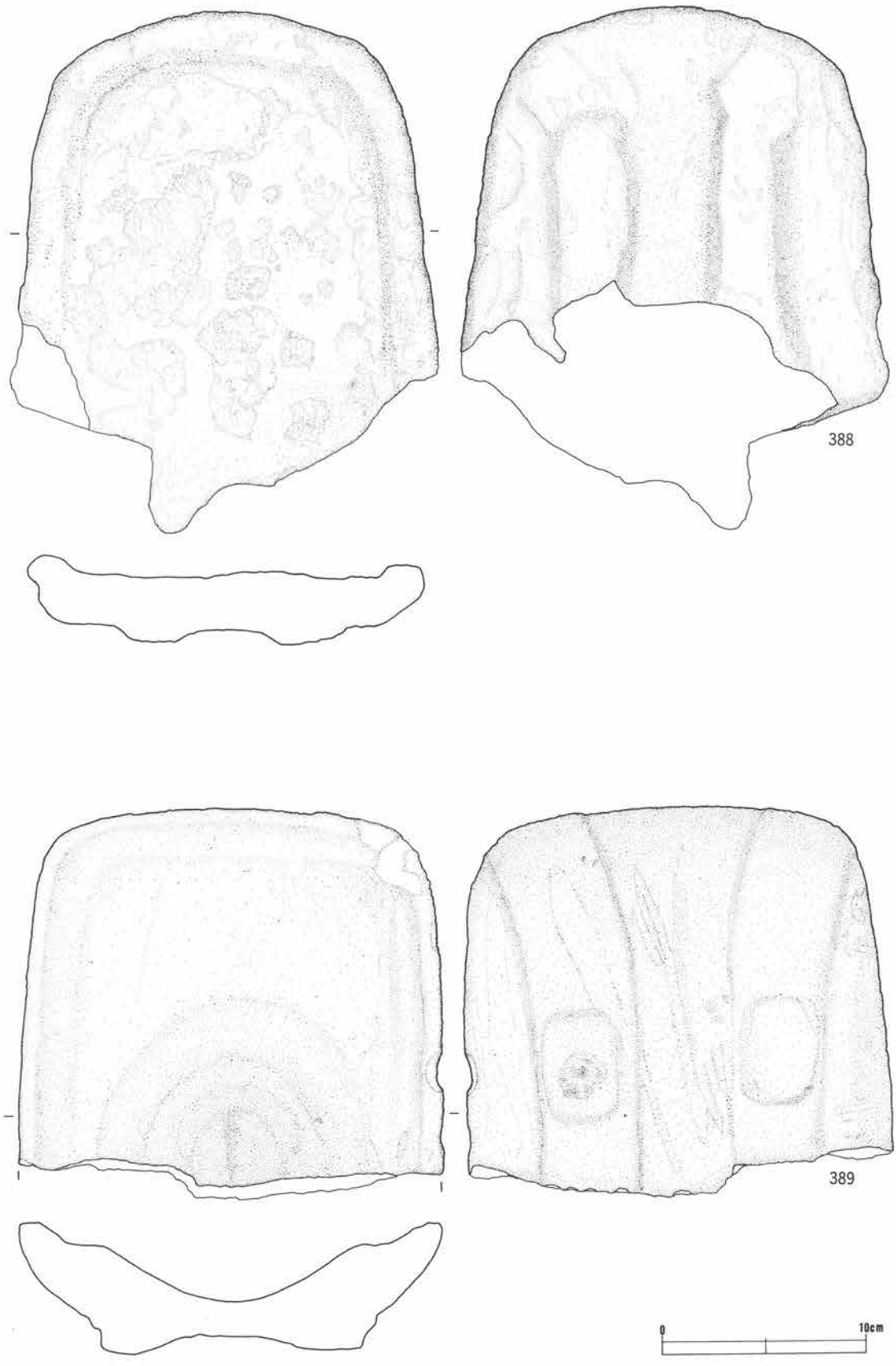




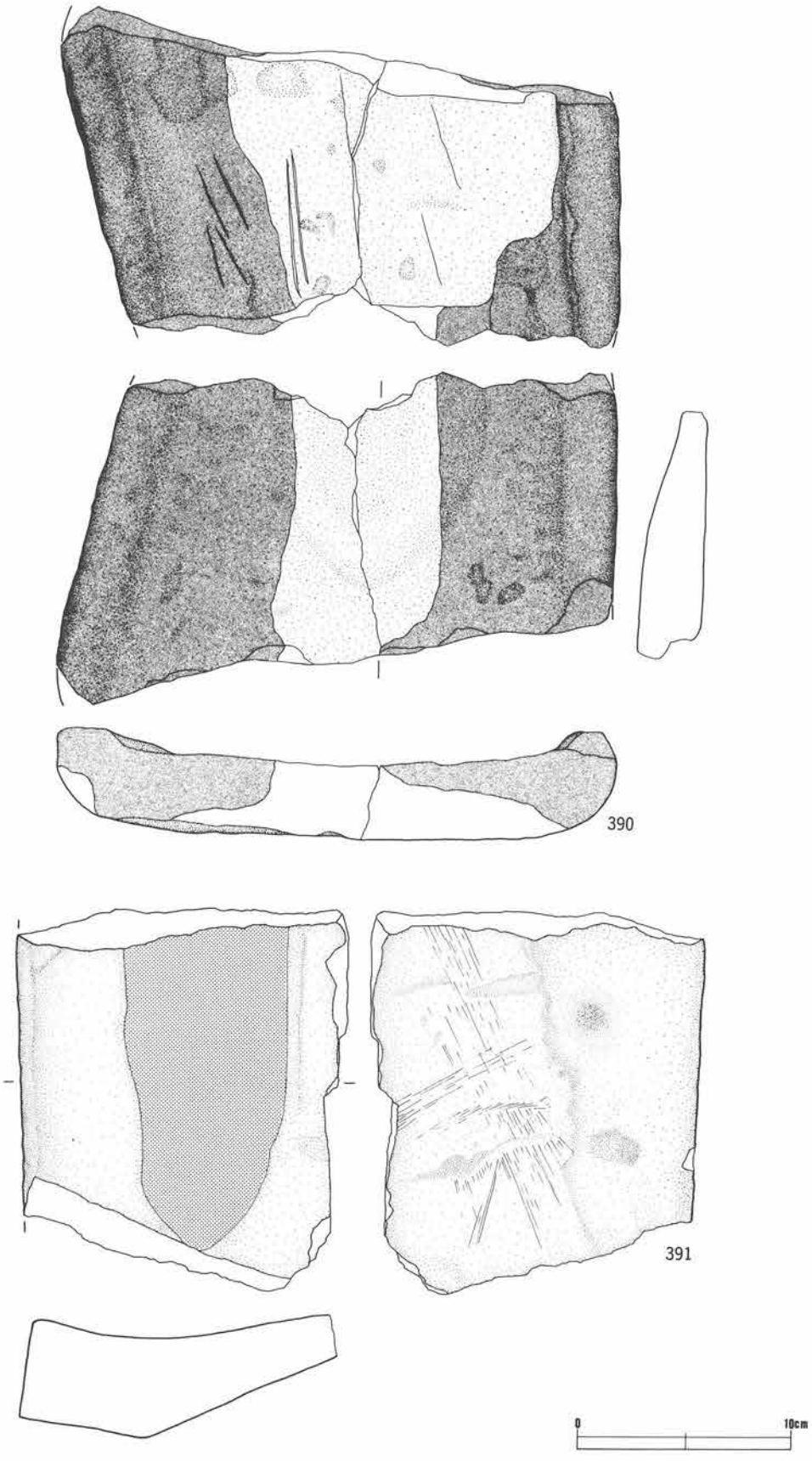
第165図　出土遺物石器23



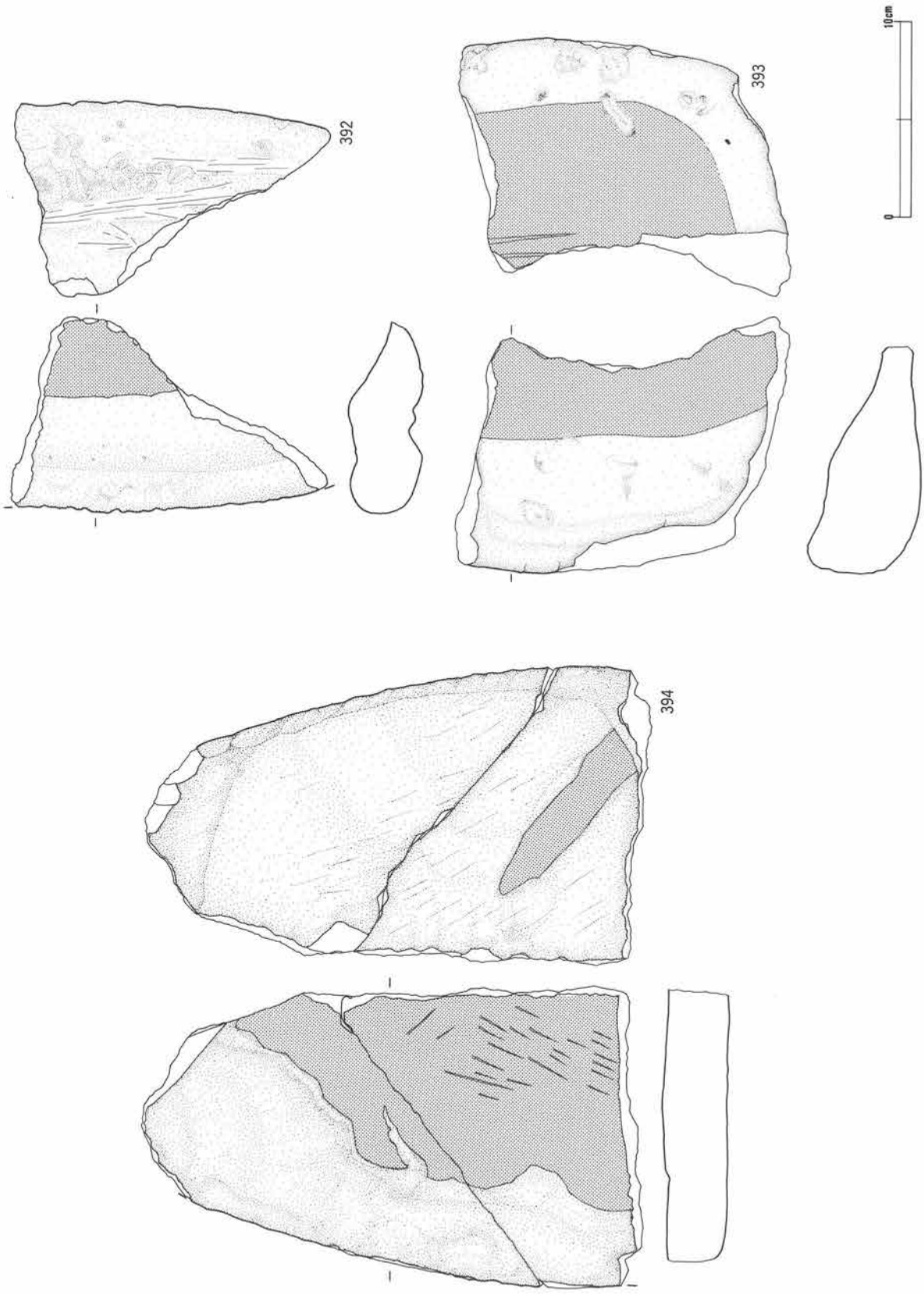
第166図　出土遺物石器 24



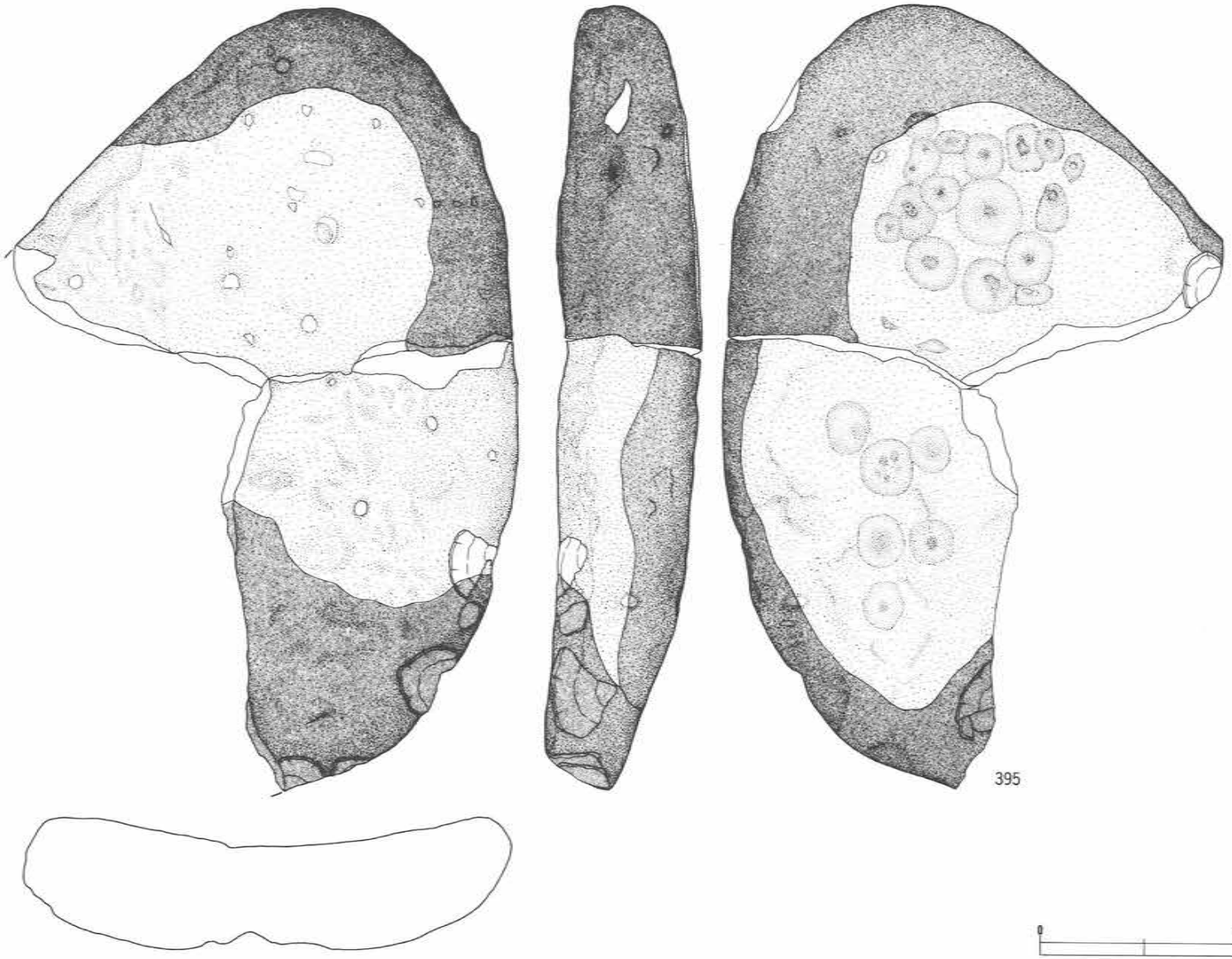
第167図　出土遺物石器25



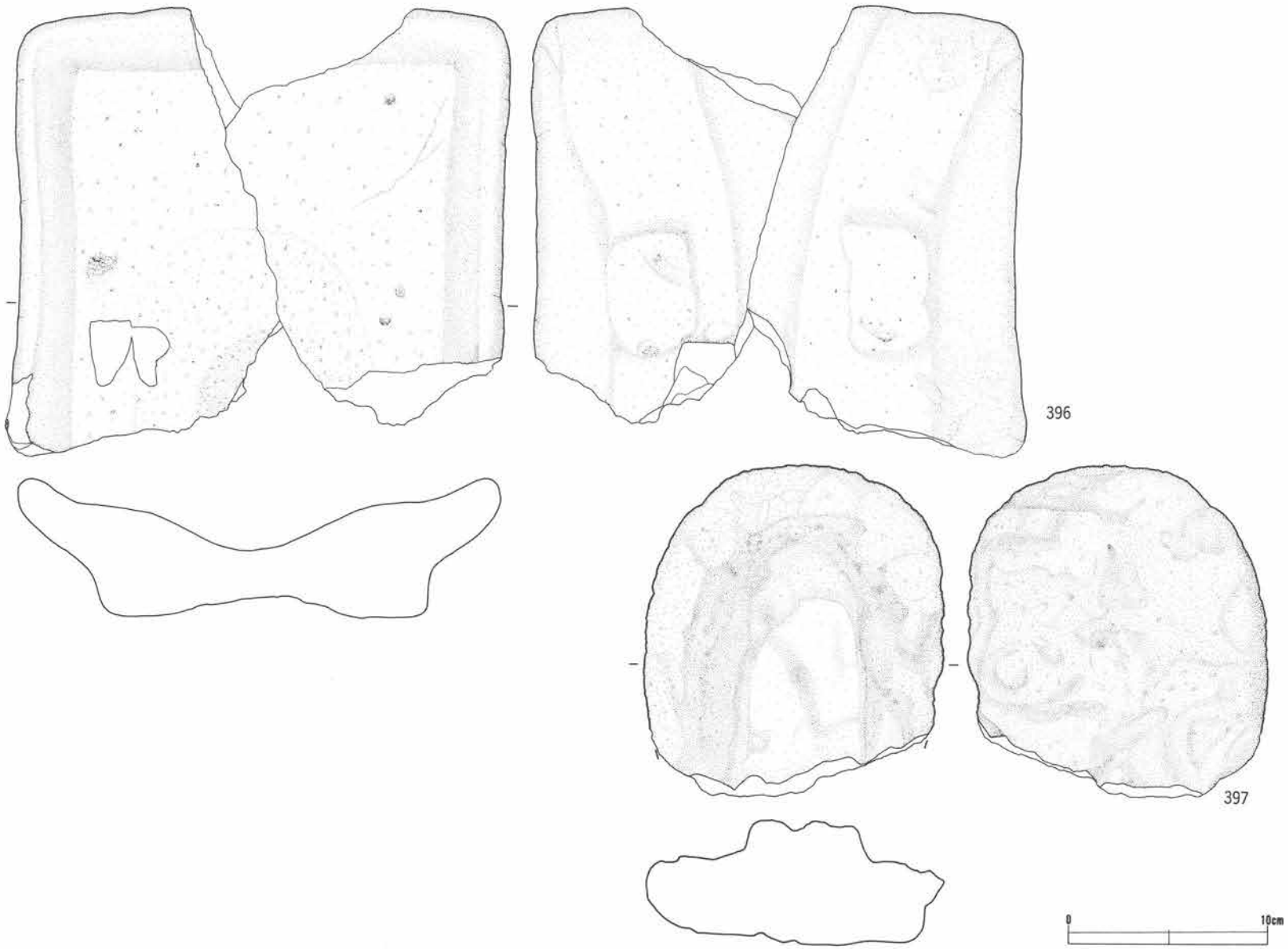
第168図　出土遺物石器26



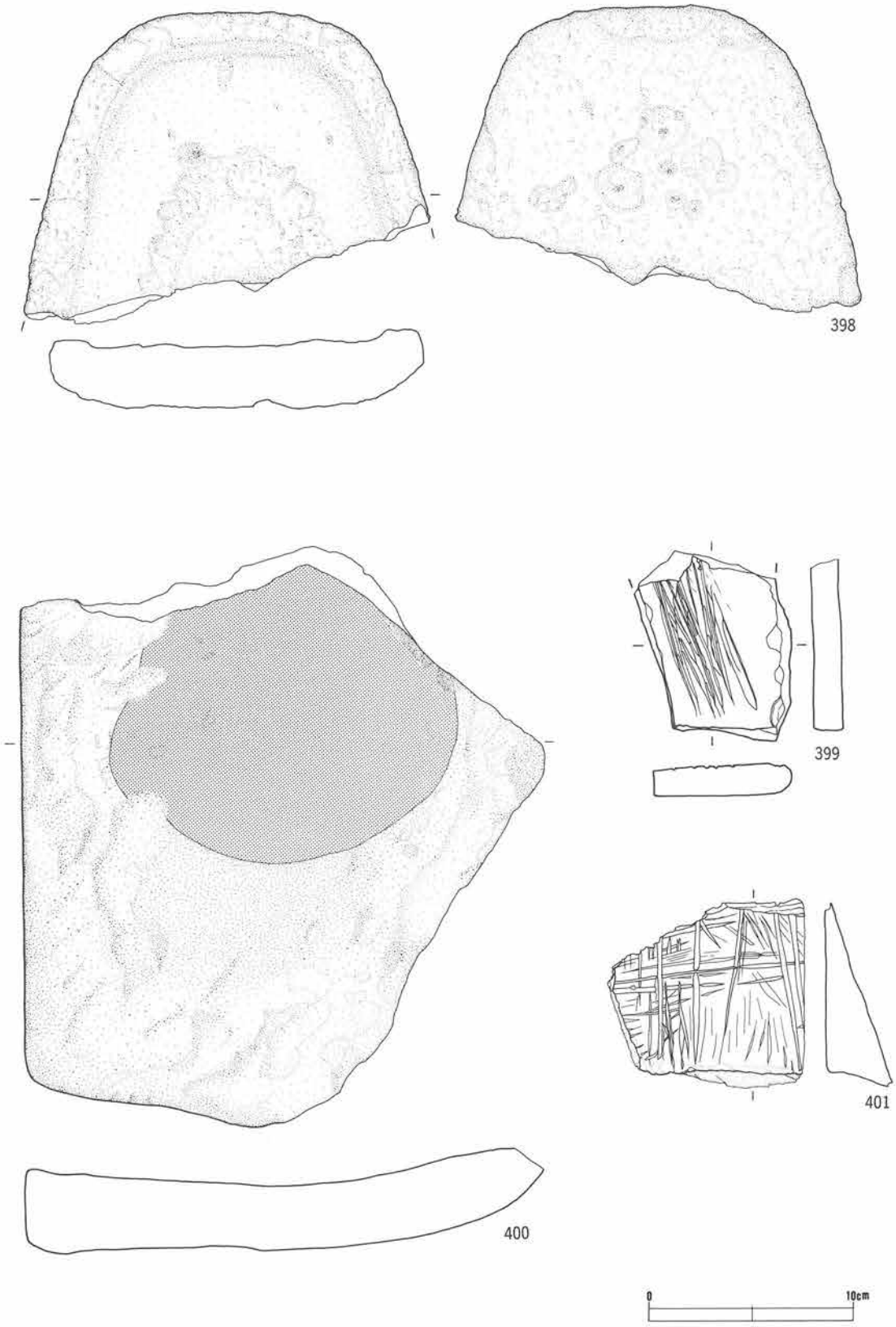
第169図　出土遺物石器 27



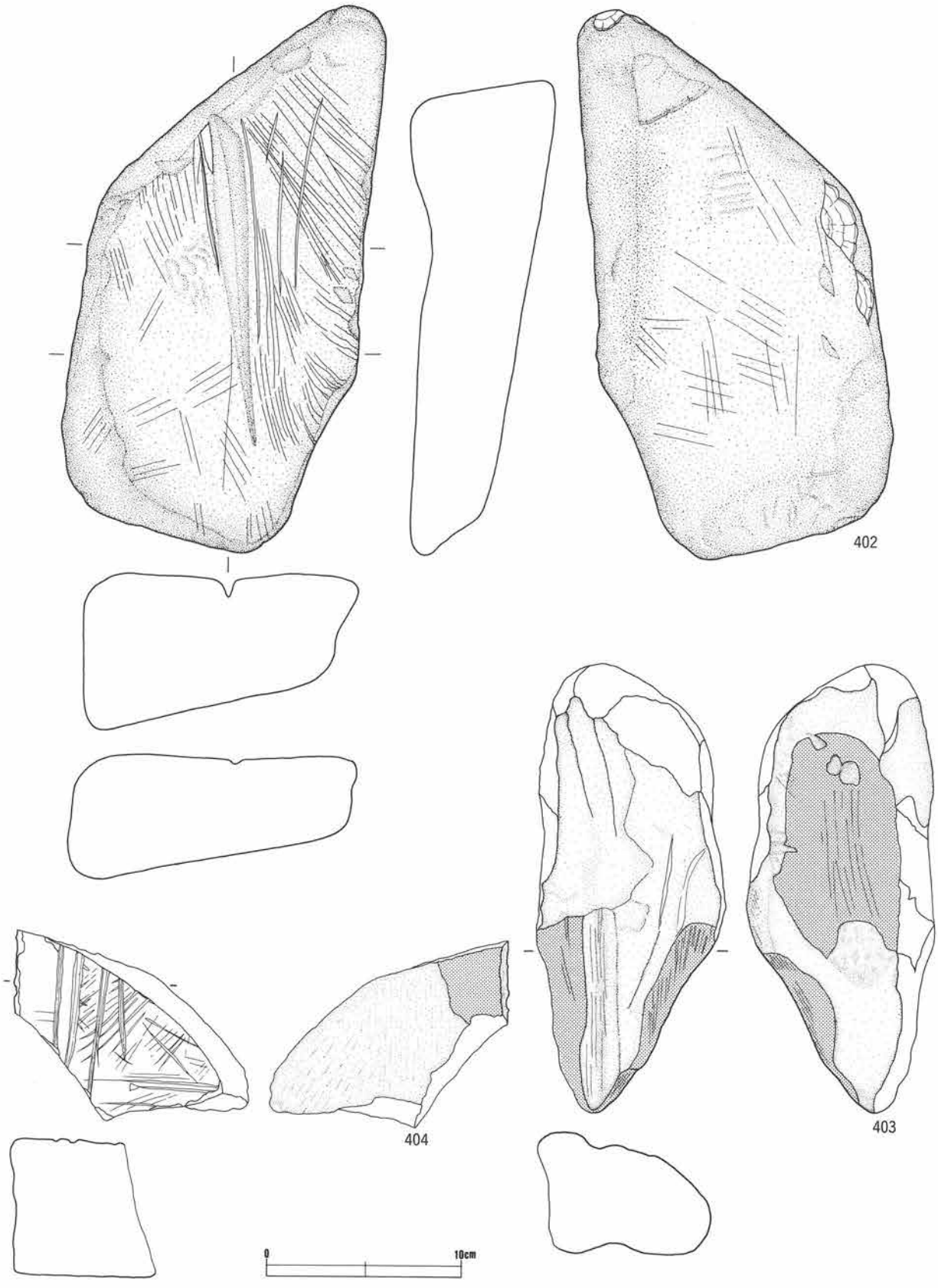
第170図　出土遺物石器28



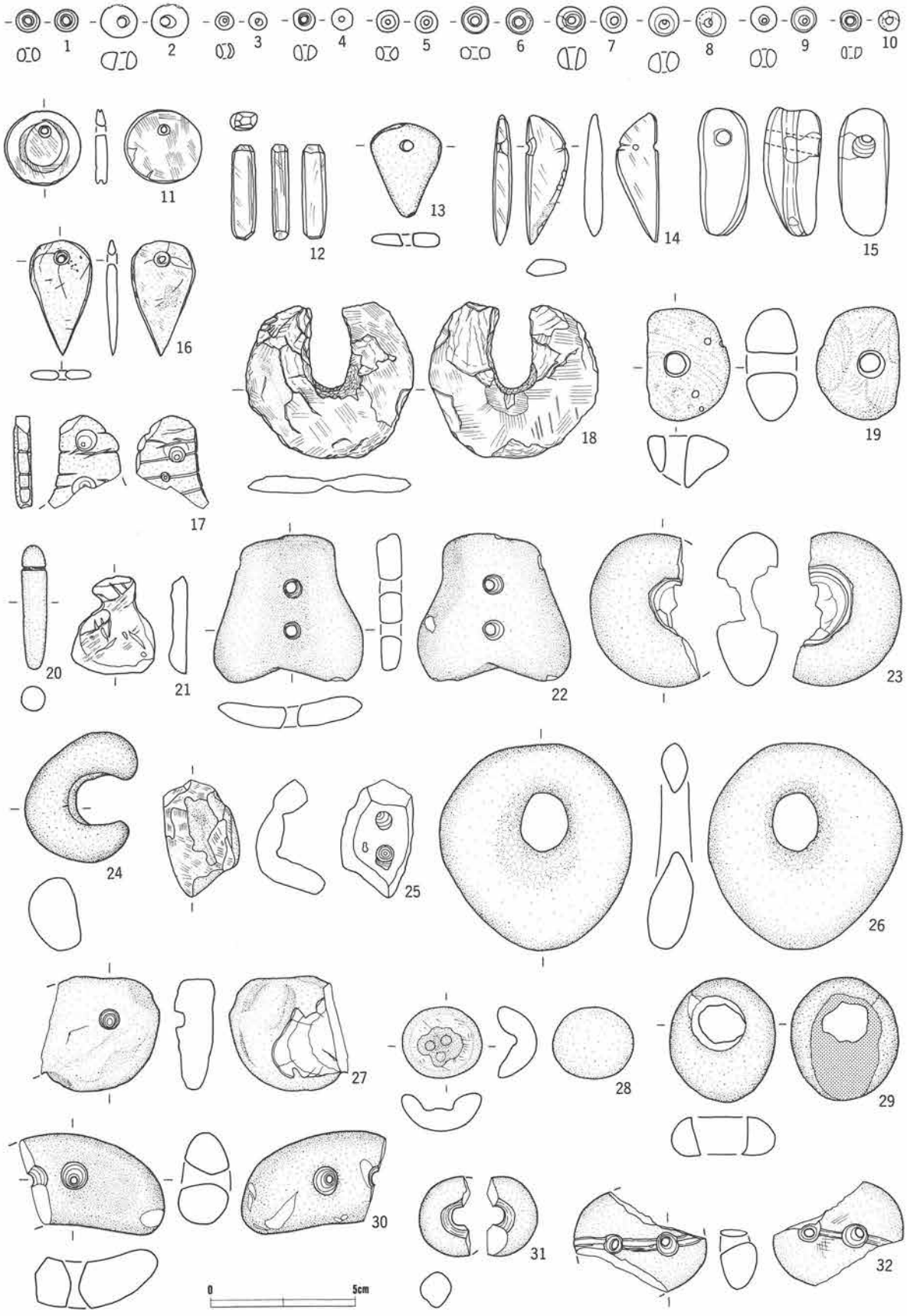
第171図　出土遺物石器29



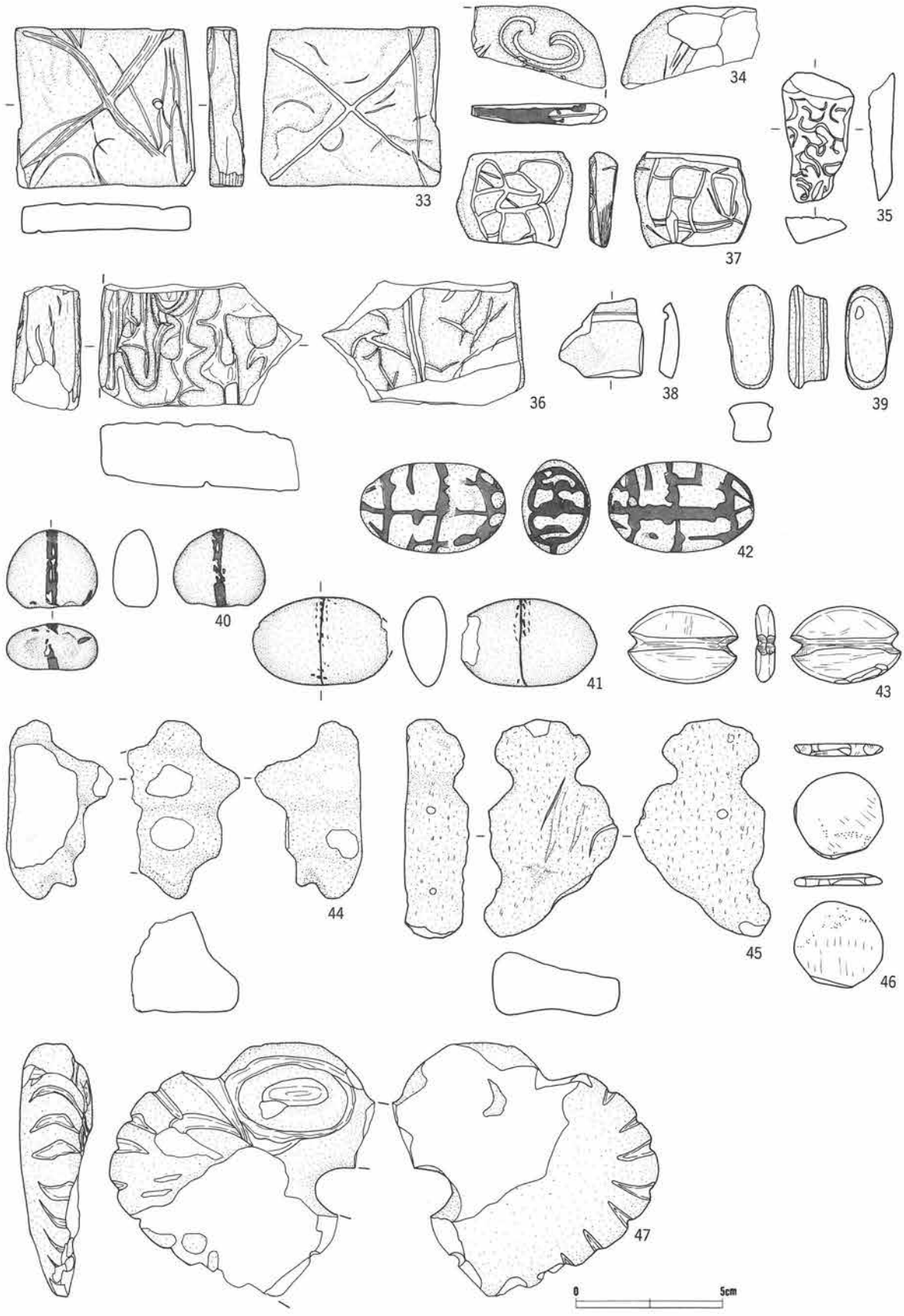
第172図　出土遺物石器30



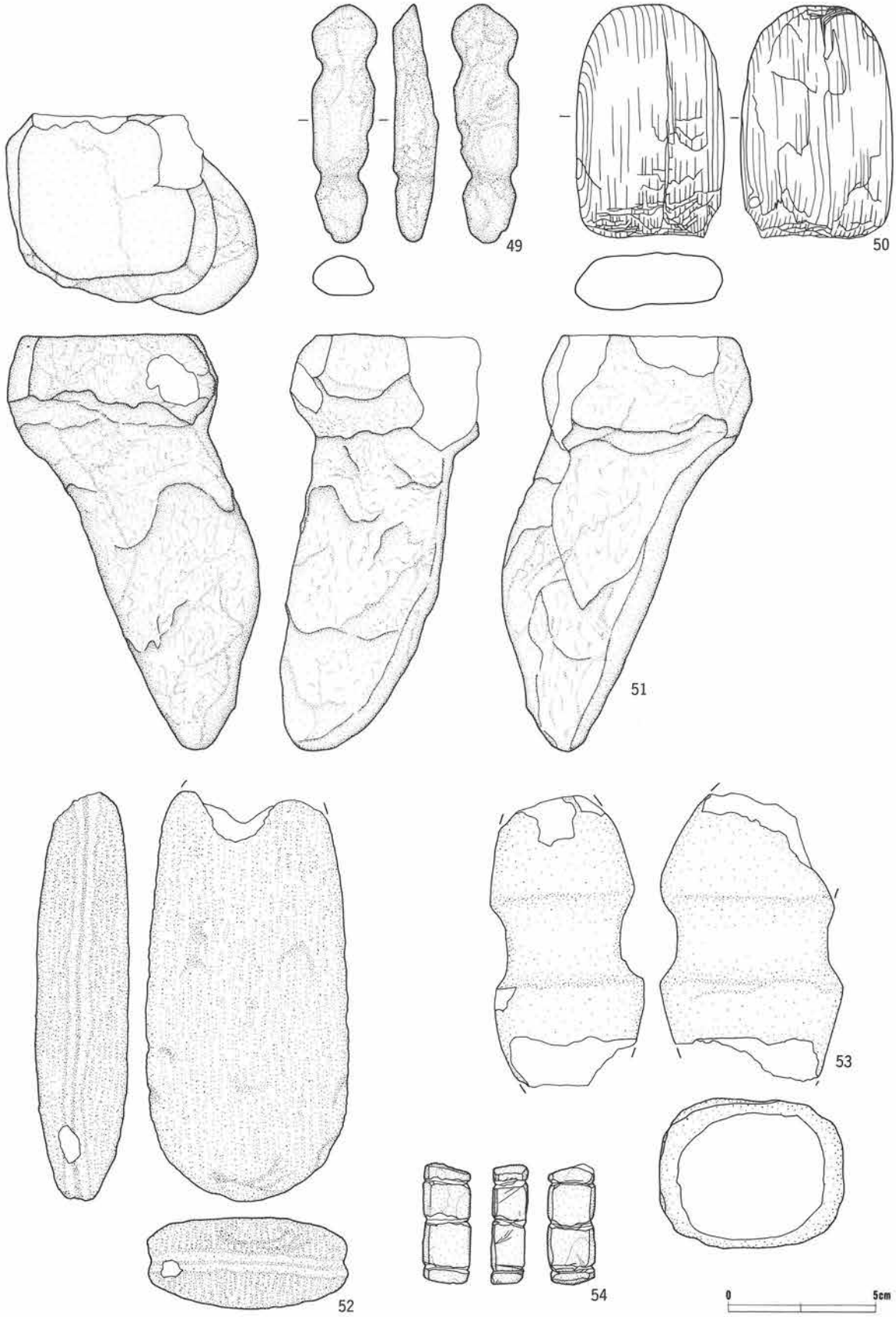
第173図　出土遺物石器 31



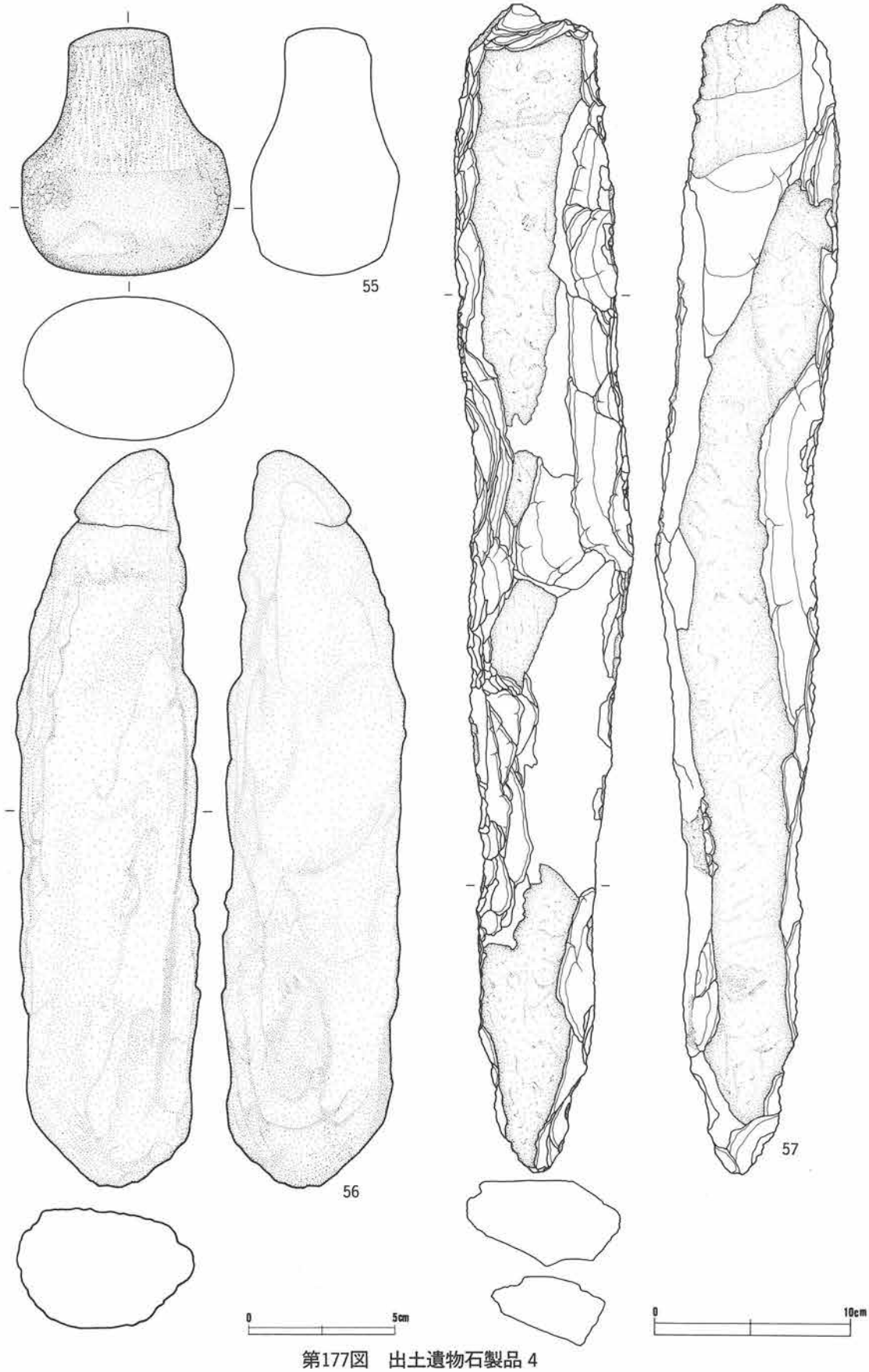
第174図 出土遺物石製品 1



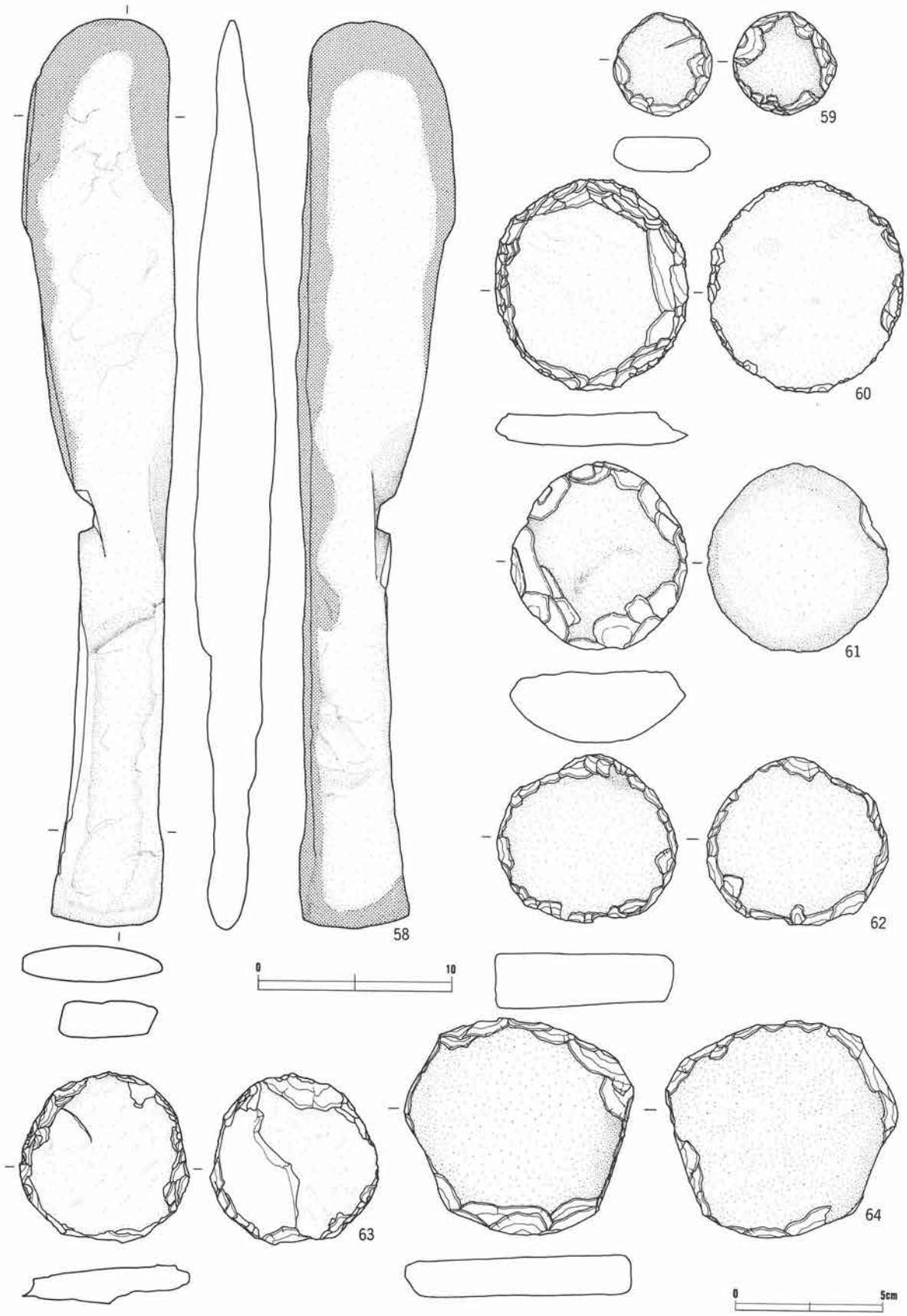
第175図　出土遺物石製品2



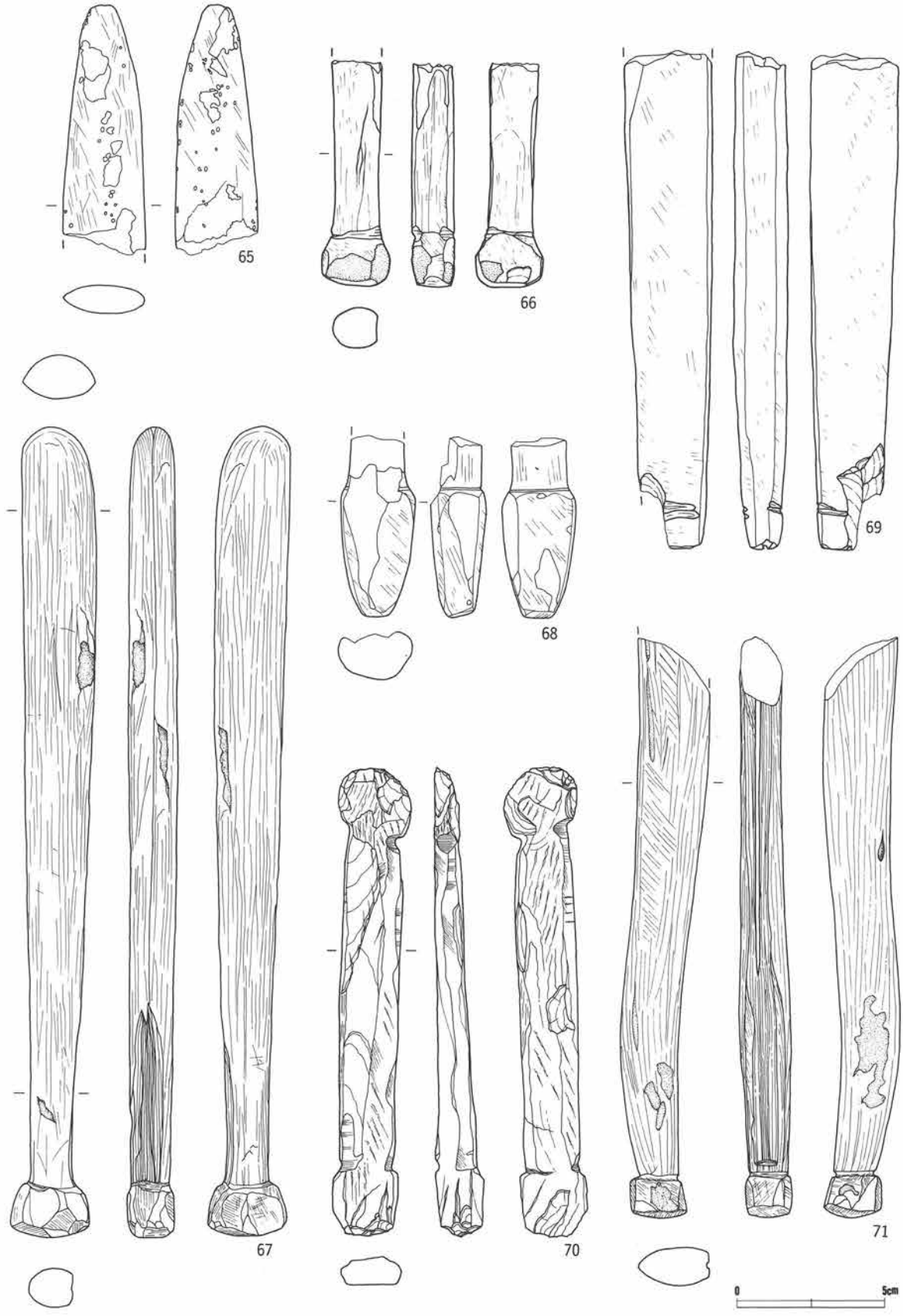
第176図　出土遺物石製品 3



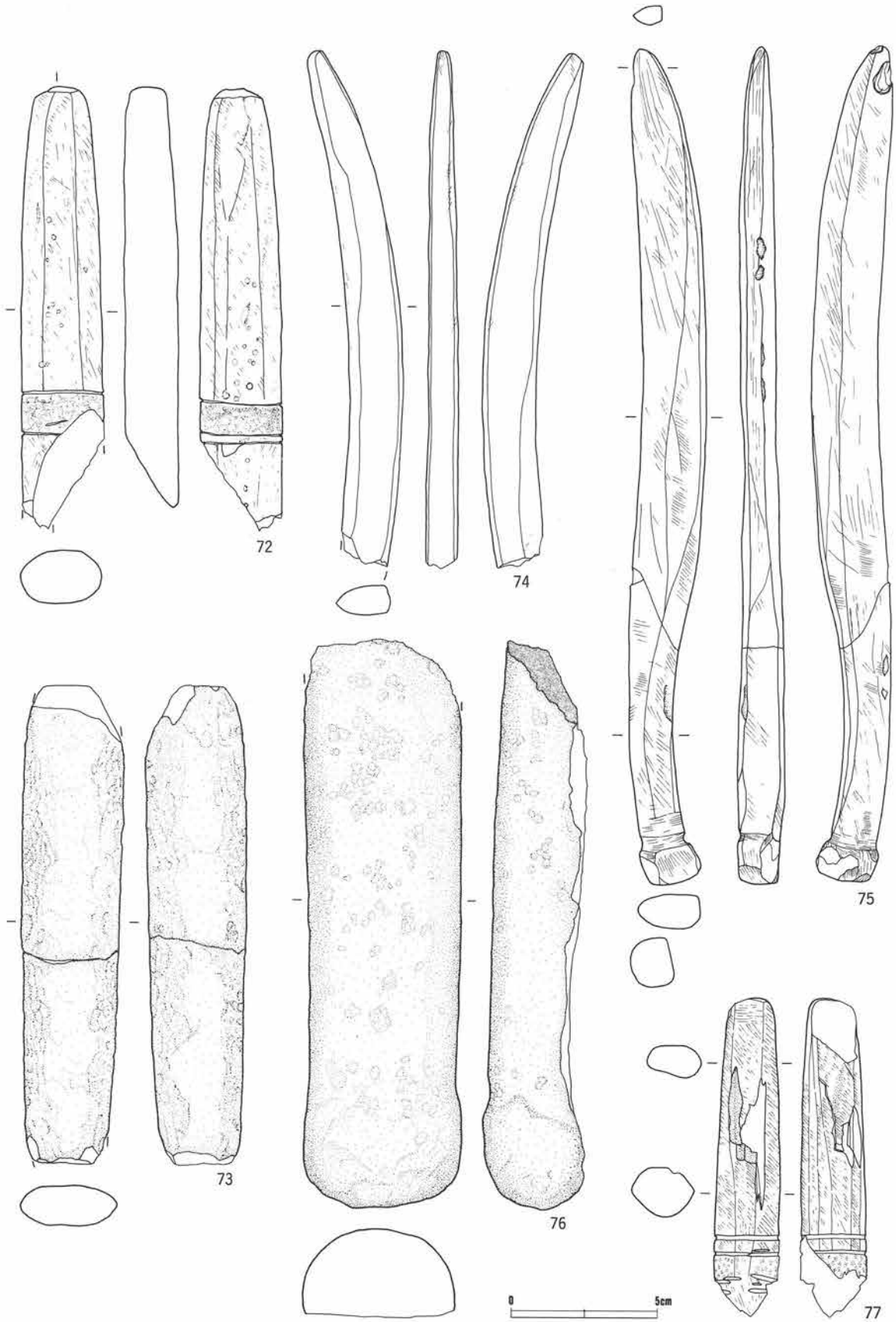
第177図　出土遺物石製品 4



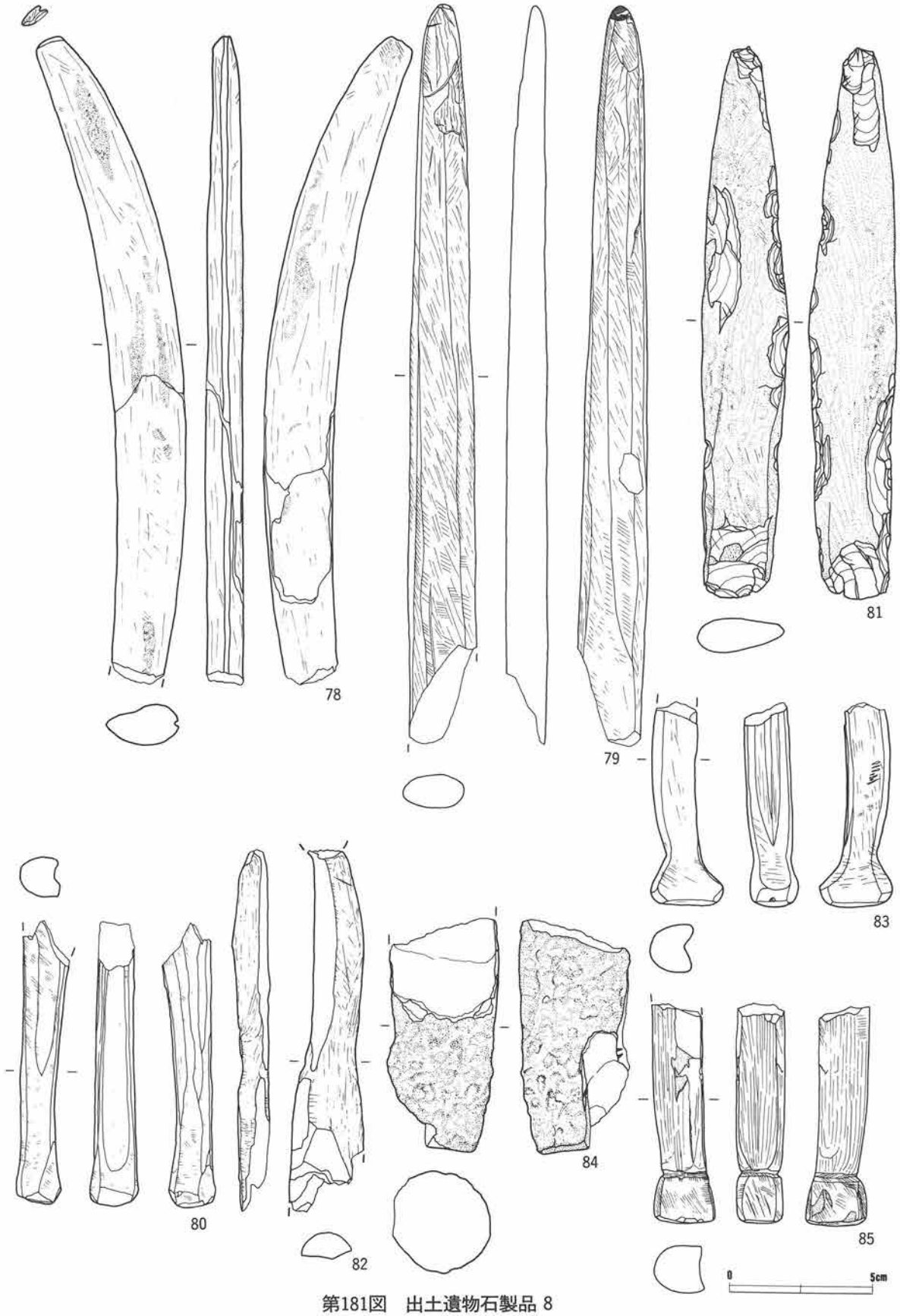
第178図　出土遺物石製品5



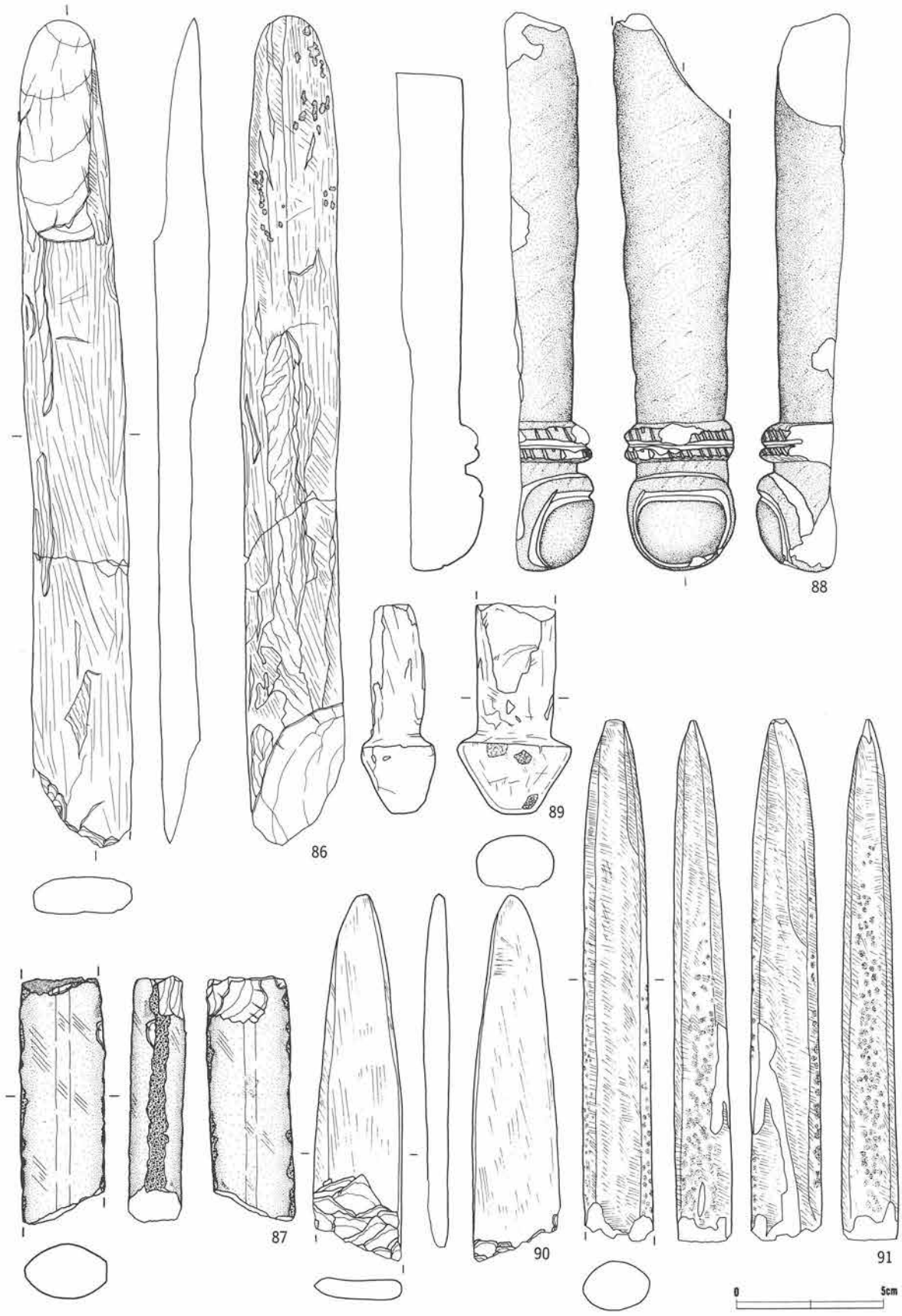
第179図　出土遺物石製品 6



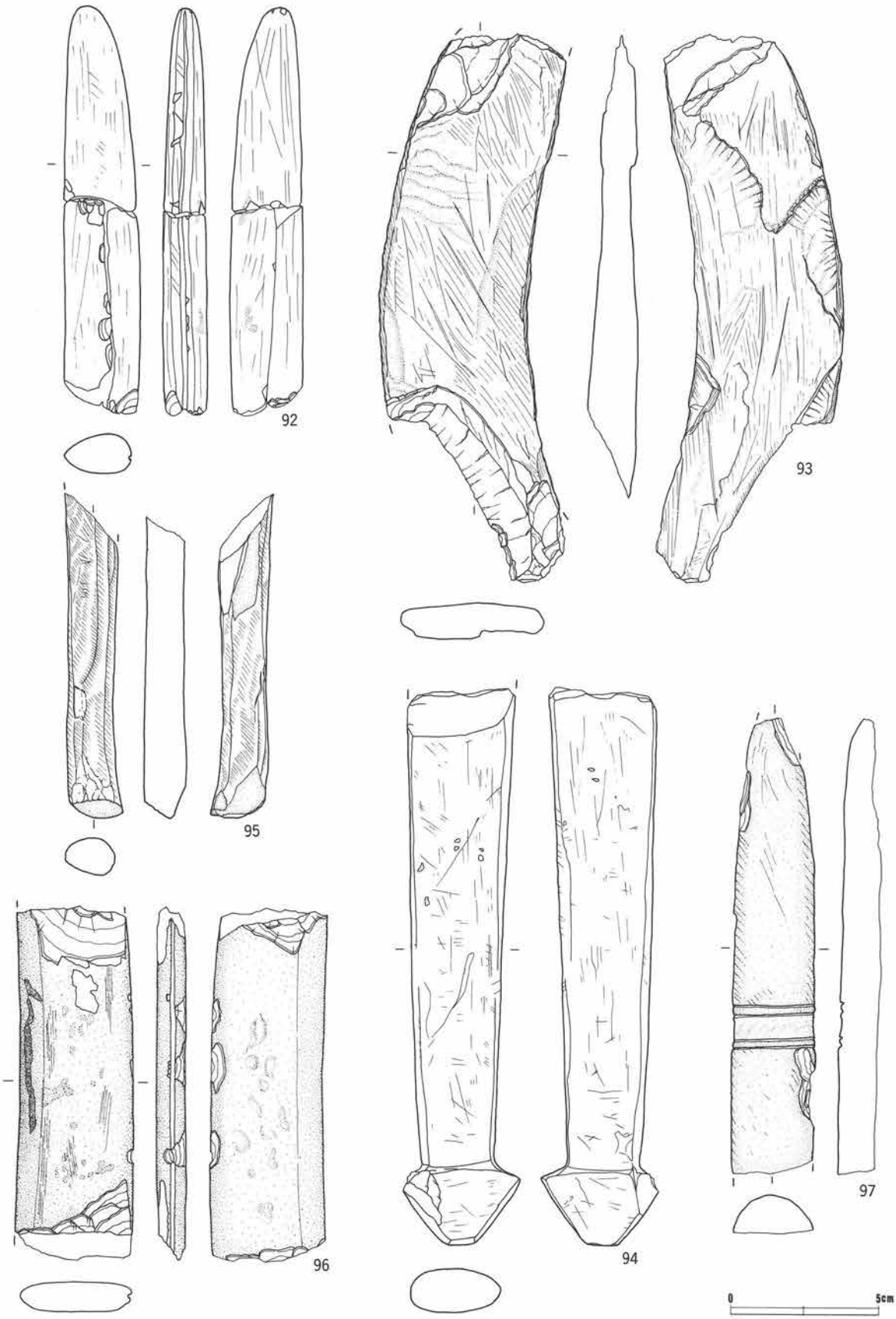
第180図　出土遺物石製品７



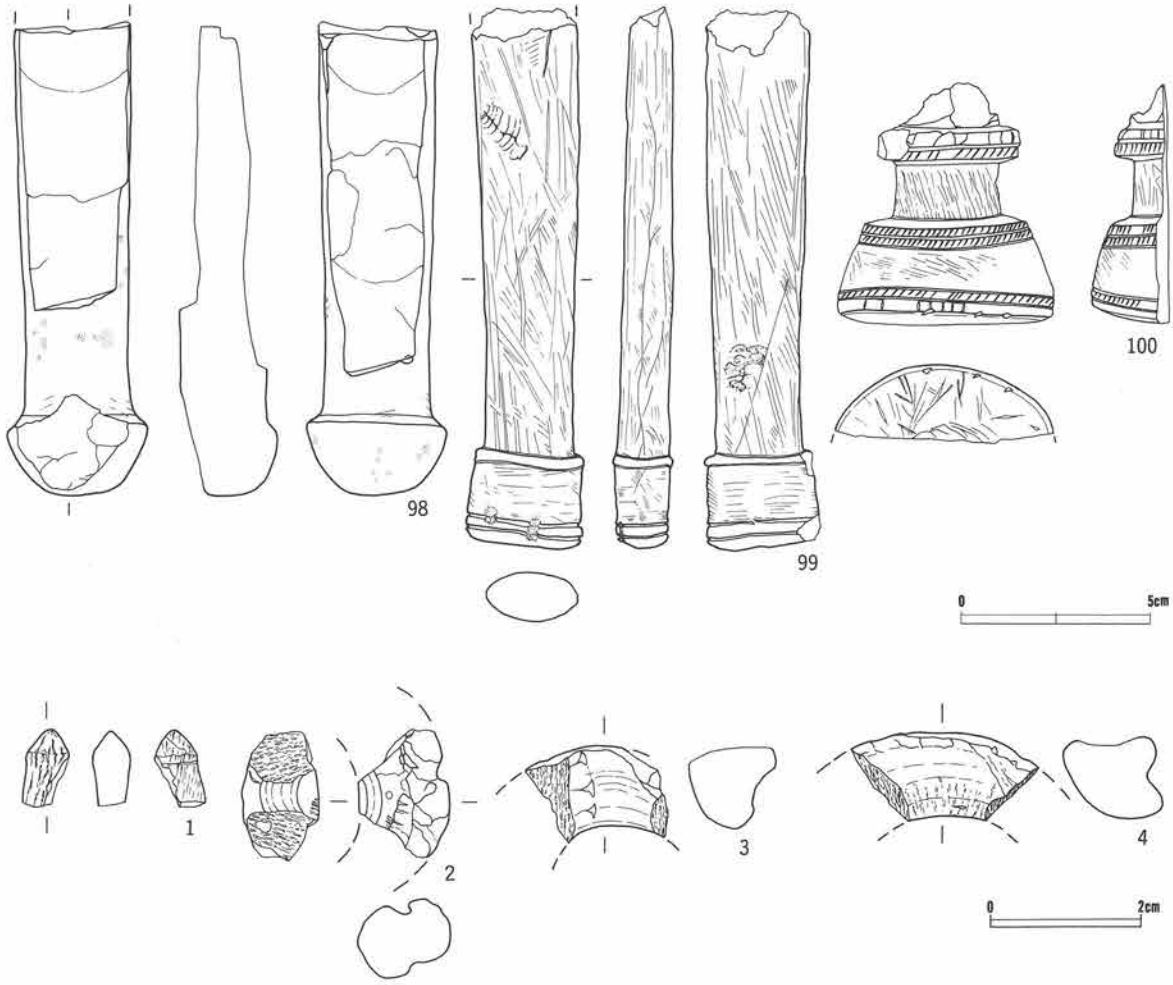
第181図　出土遺物石製品 8



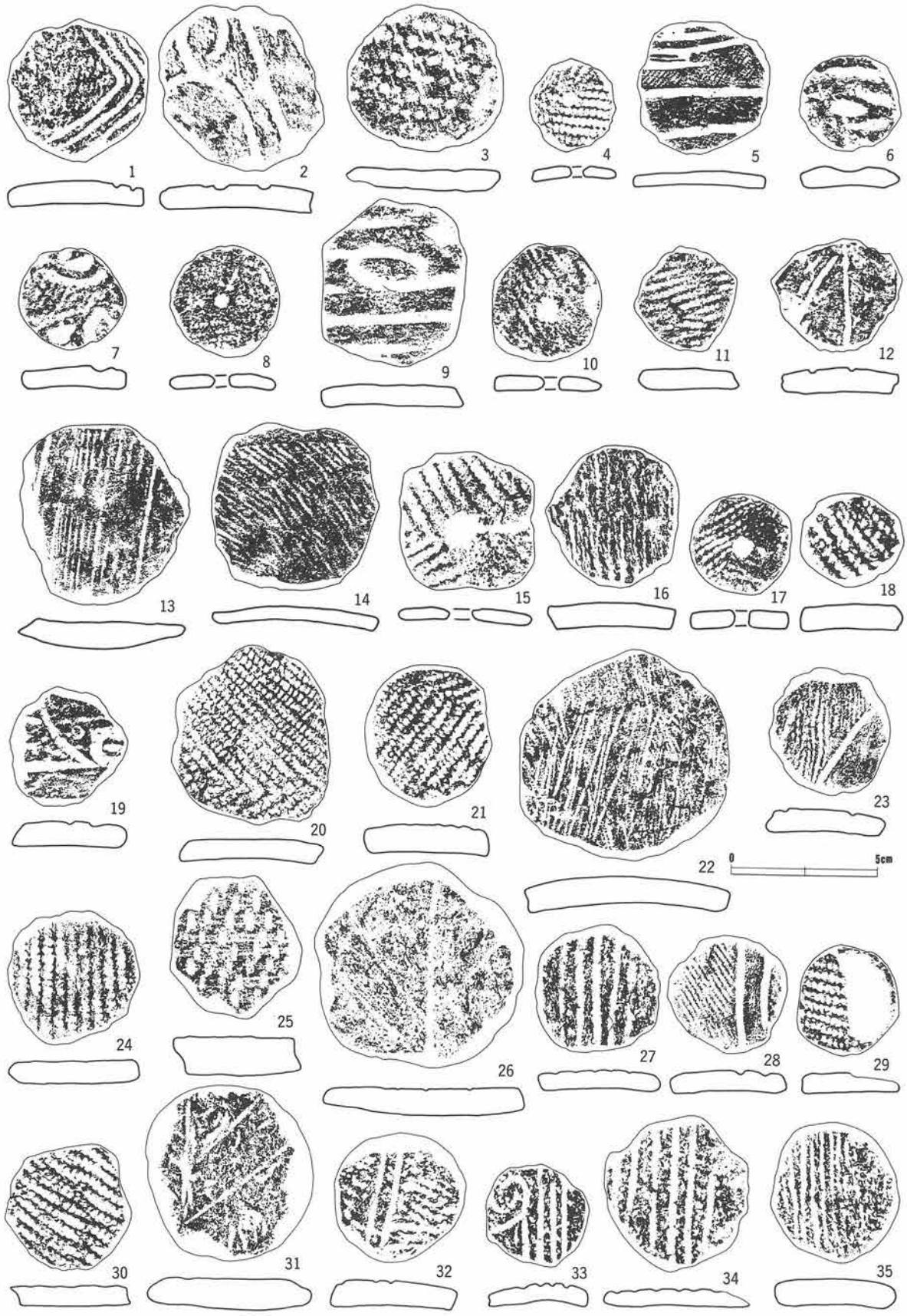
第182図　出土遺物石製品 9



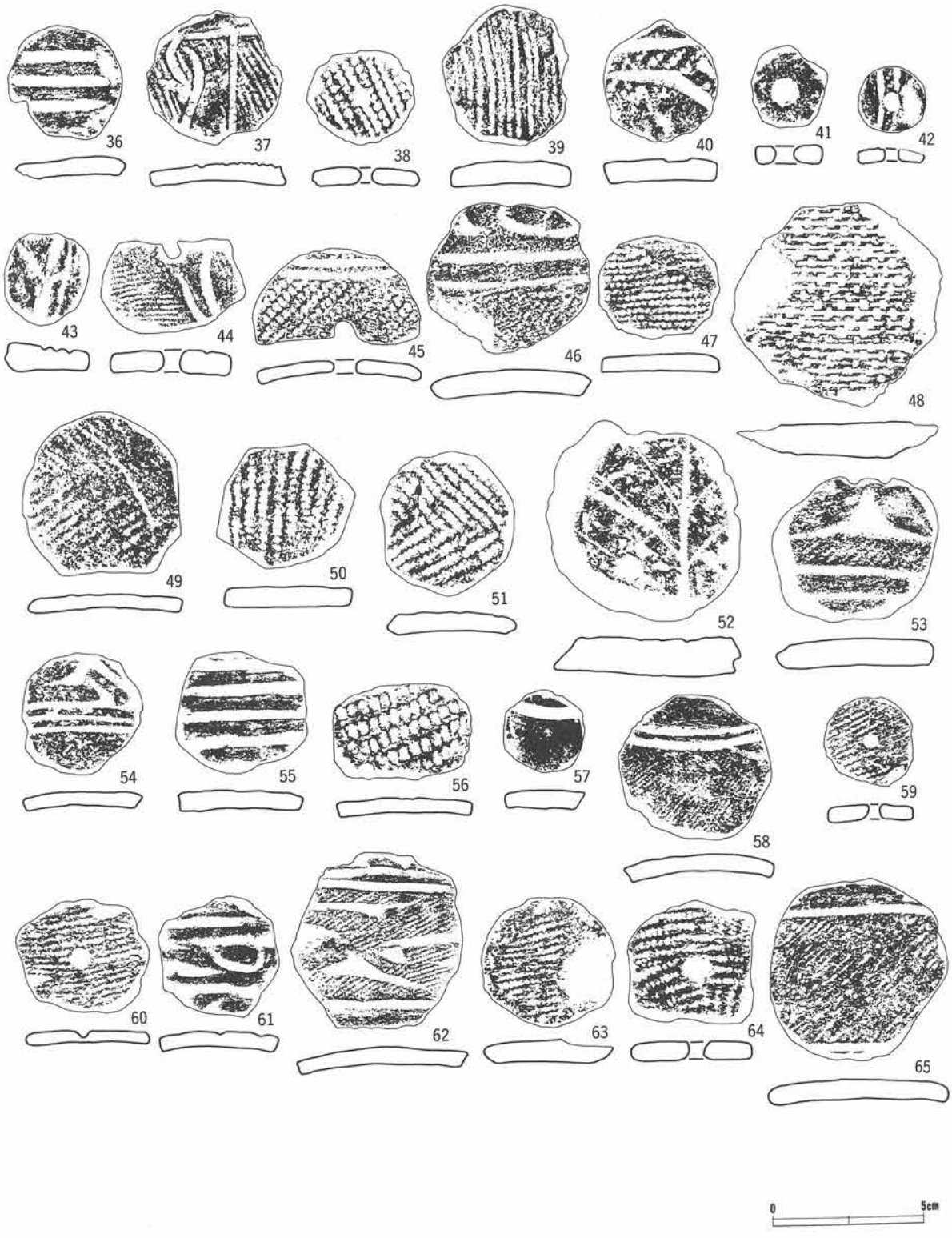
第183図　出土遺物石製品10



第184図　出土遺物石製品11・骨角器

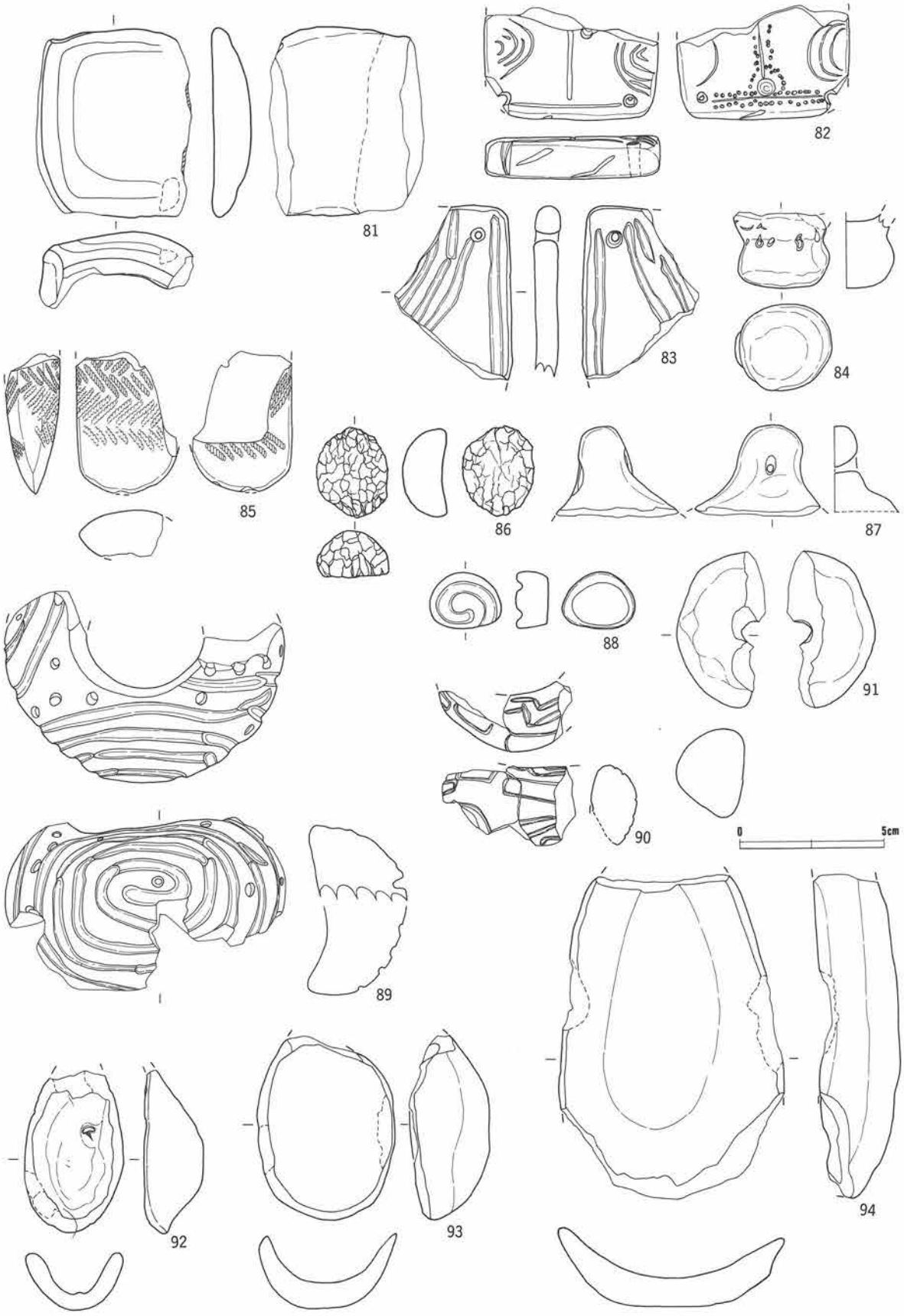


第185図　出土遺物土製品 1

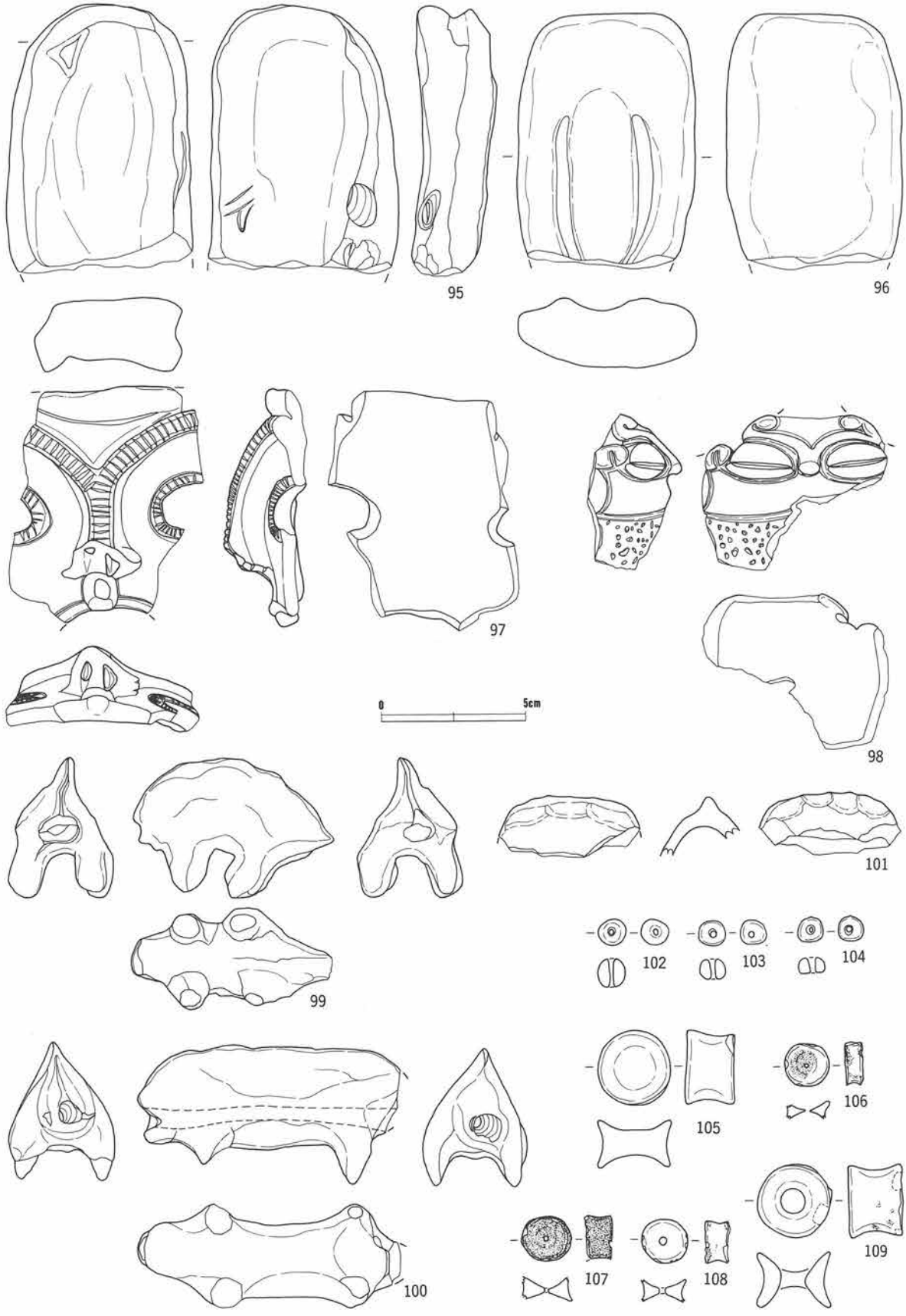


第186図　出土遺物土製品 2

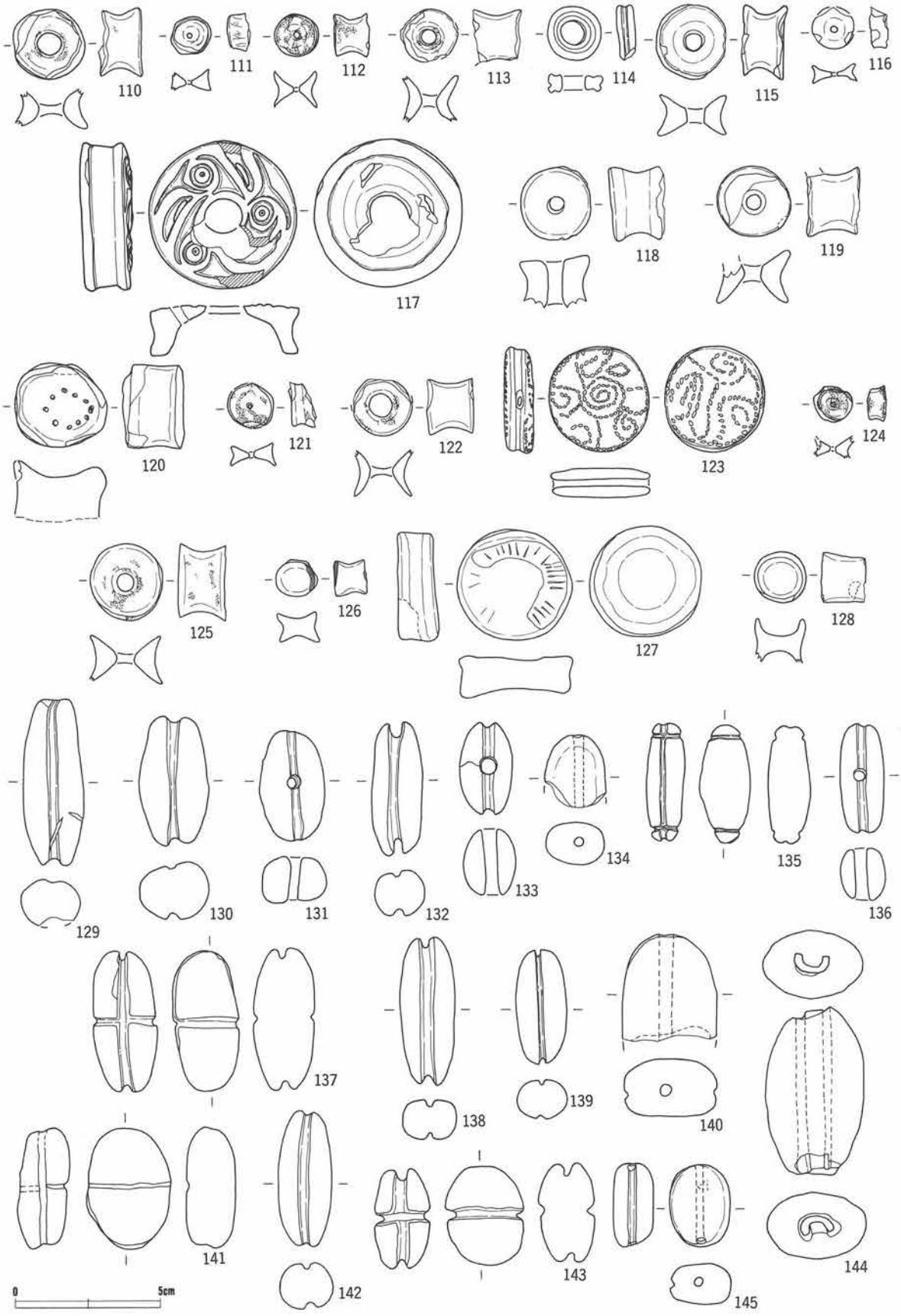
第187図　出土遺物土製品 3



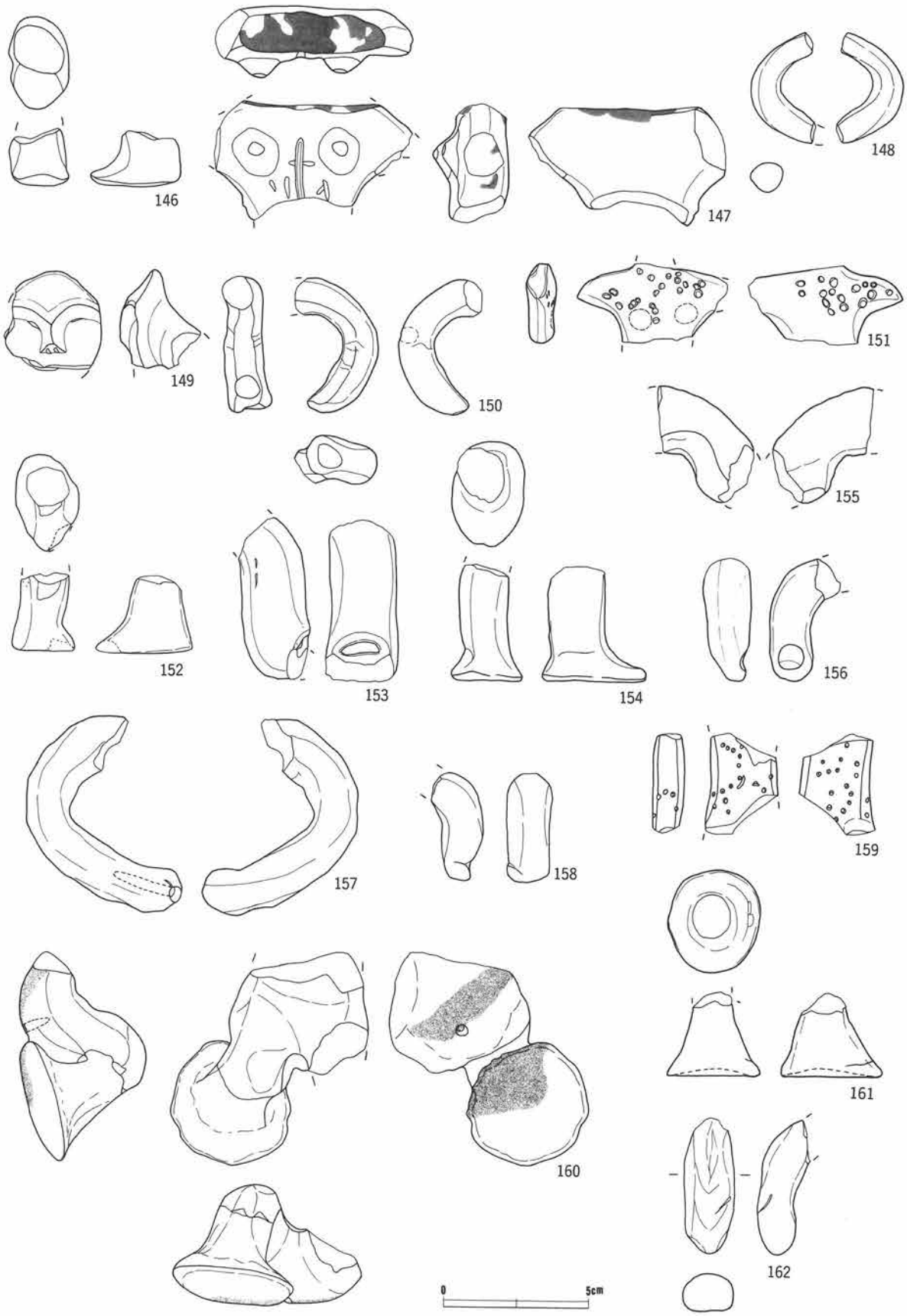
第188図　出土遺物土製品4



第189図　出土遺物土製品5

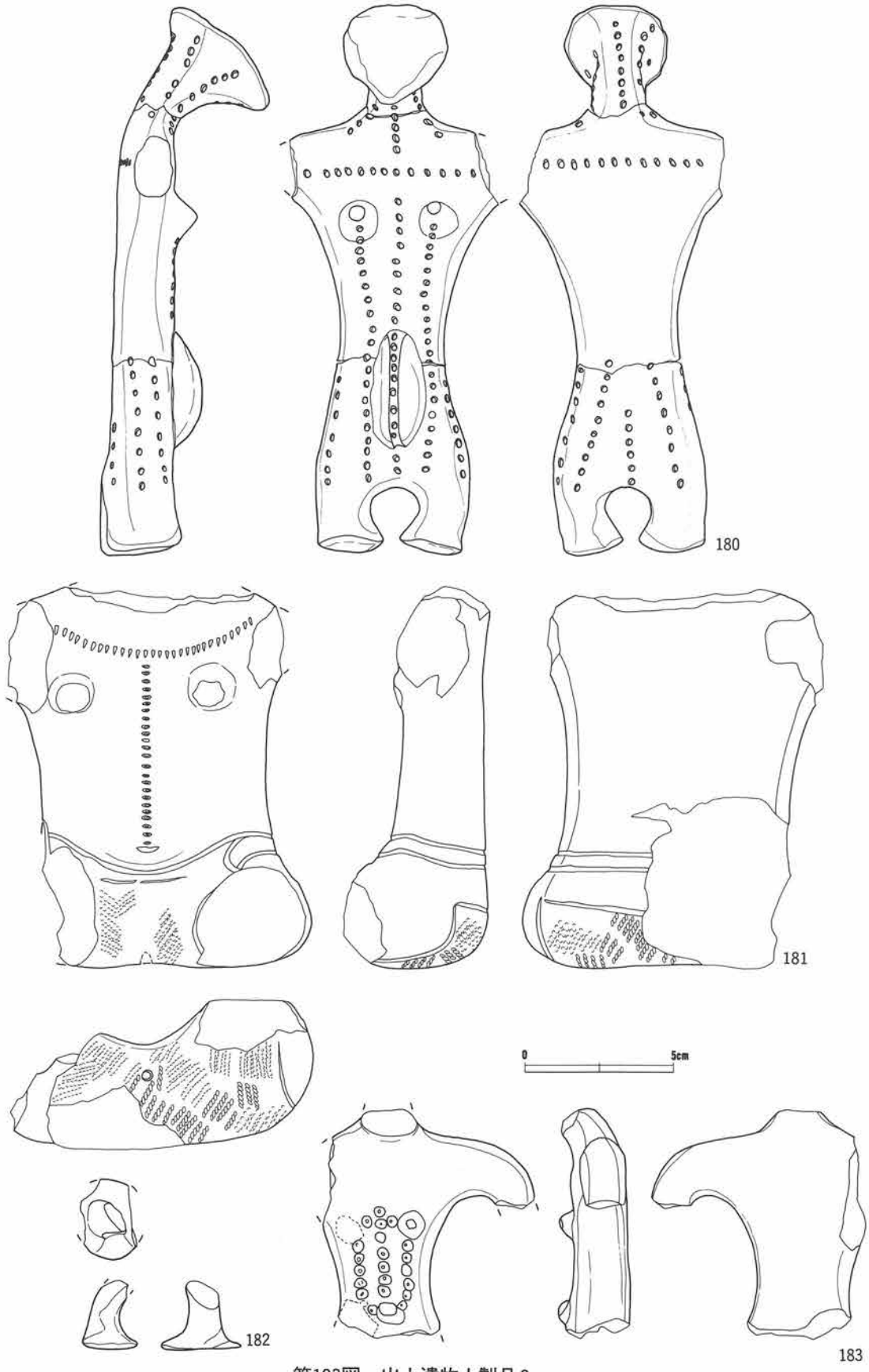


第190図　出土遺物土製品6

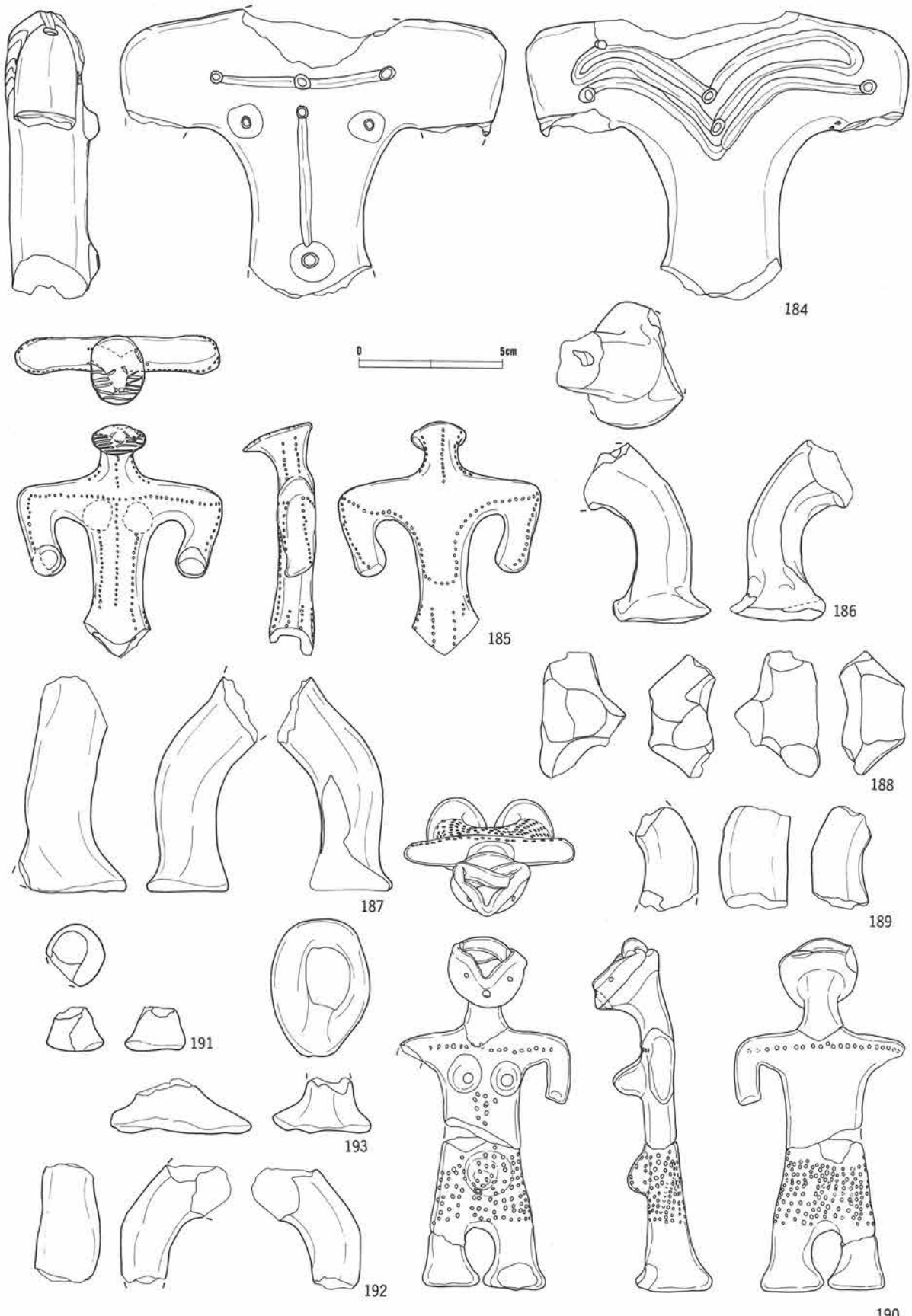


第191図　出土遺物土製品 7

第192図　出土遺物土製品 8

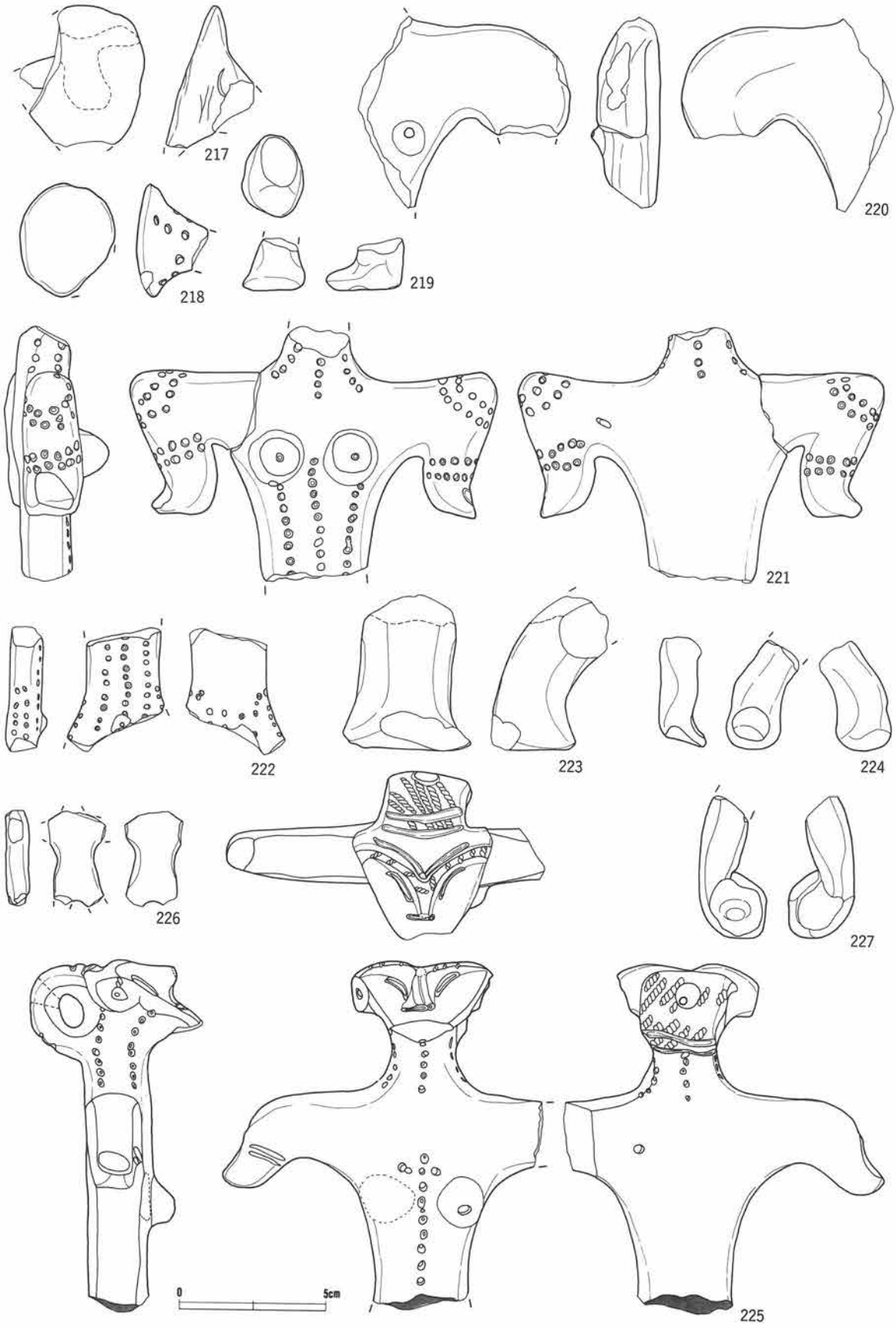


第193図　出土遺物土製品9

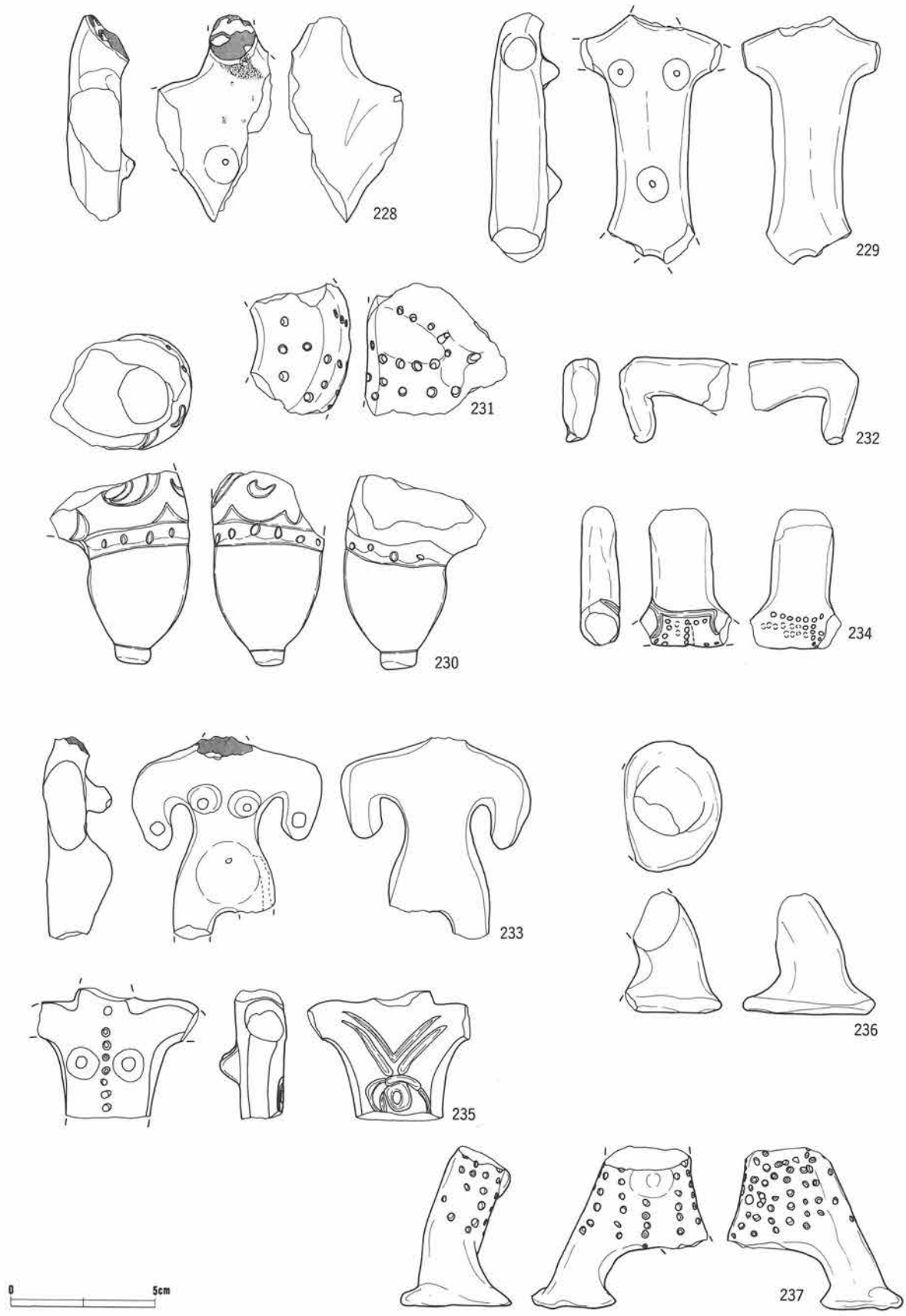


第194図　出土遺物土製品10

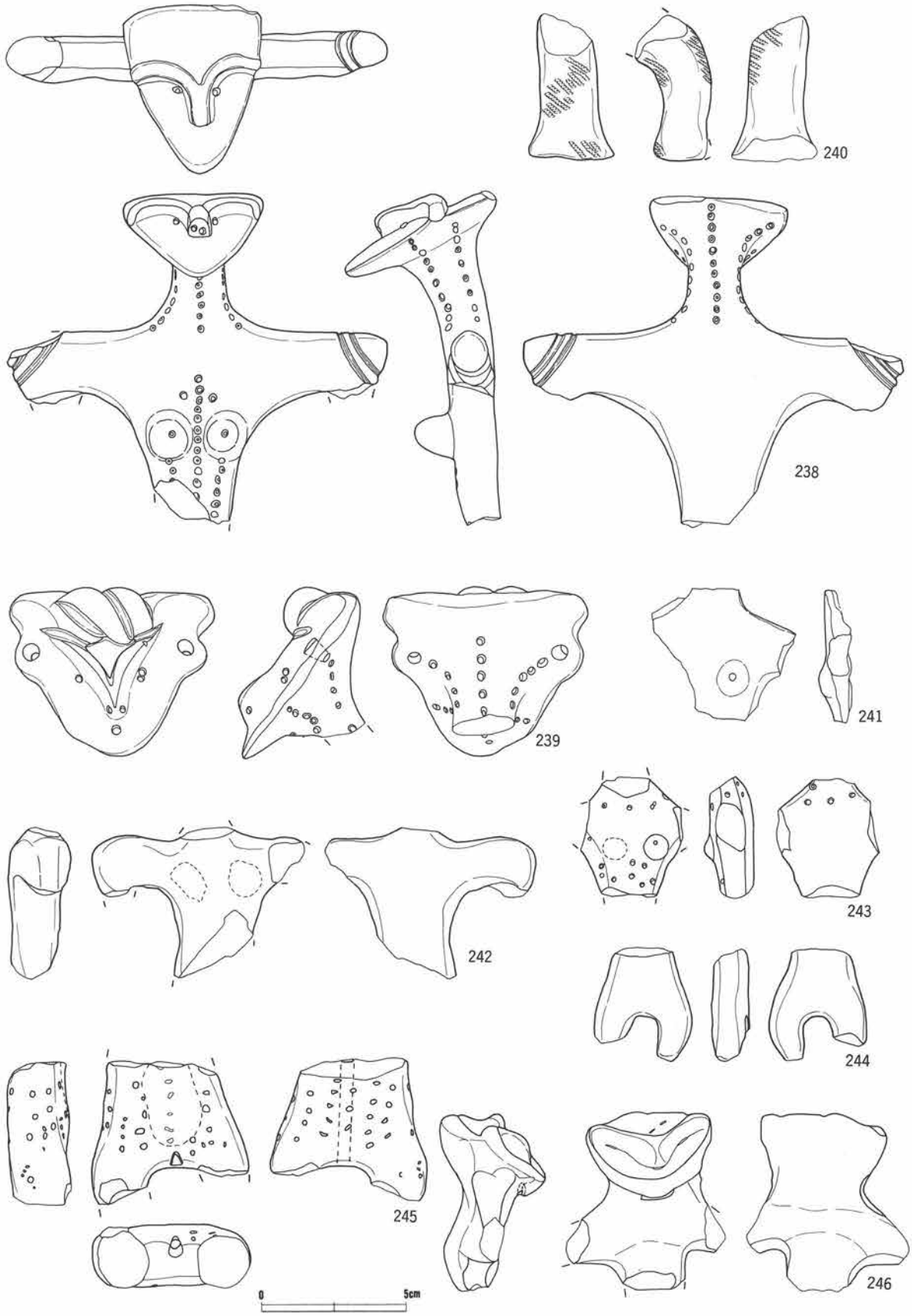
第195図　出土遺物土製品11



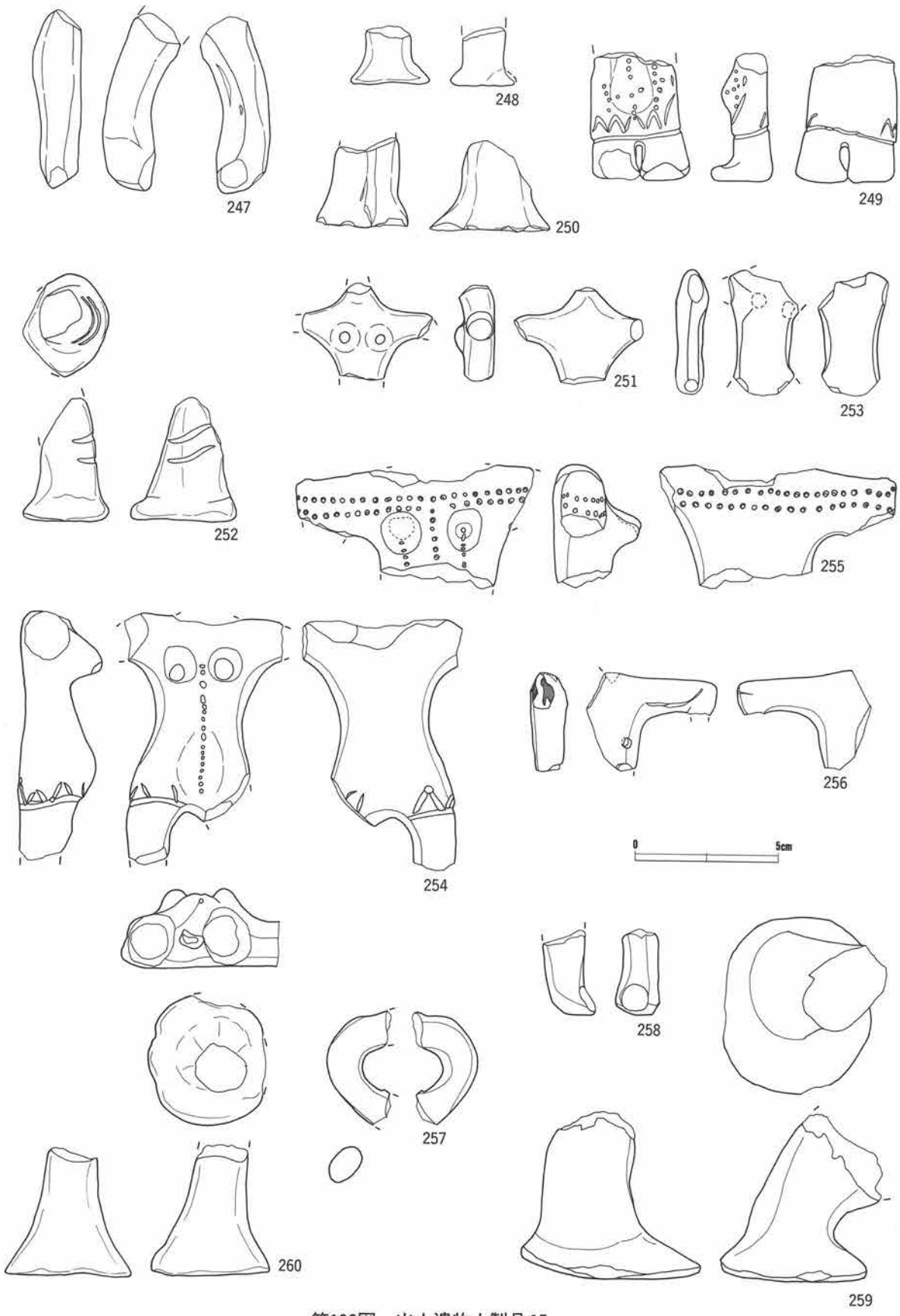
第196図　出土遺物土製品12



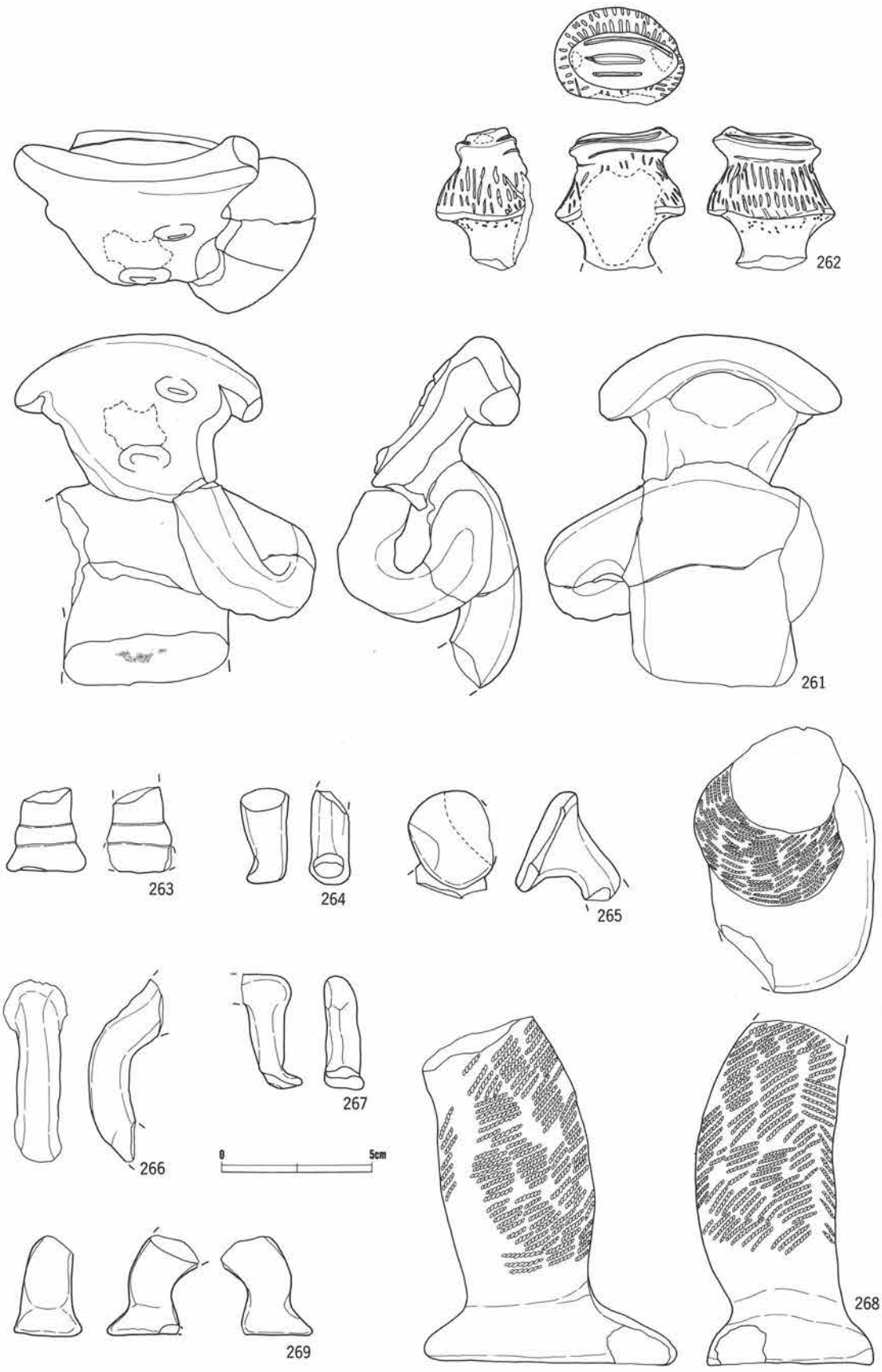
第197図　出土遺物土製品13



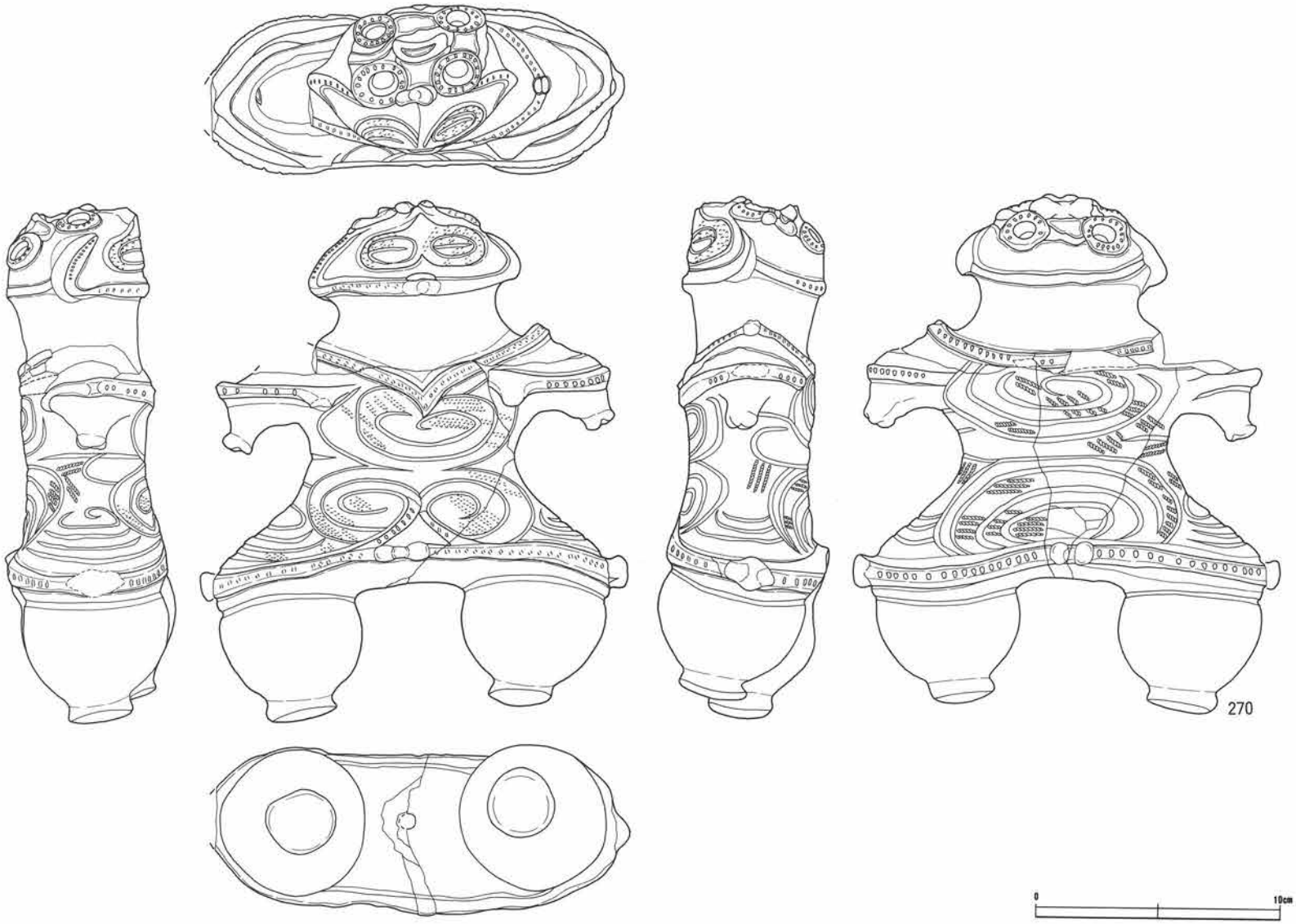
第198図　出土遺物土製品14



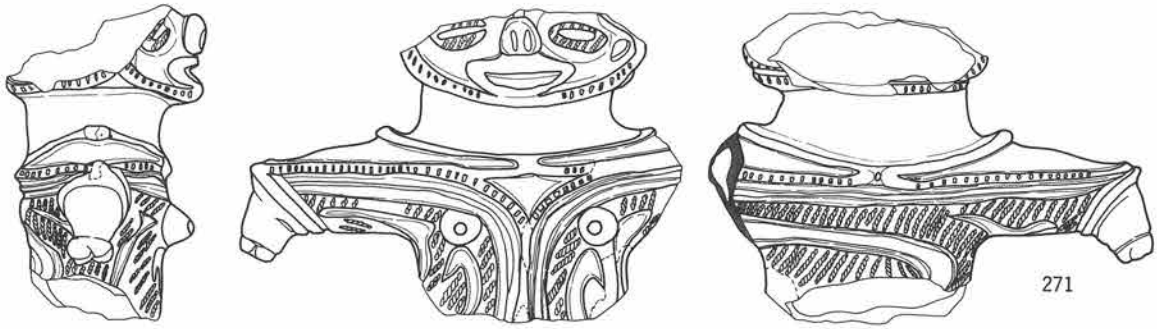
第199図　出土遺物土製品15

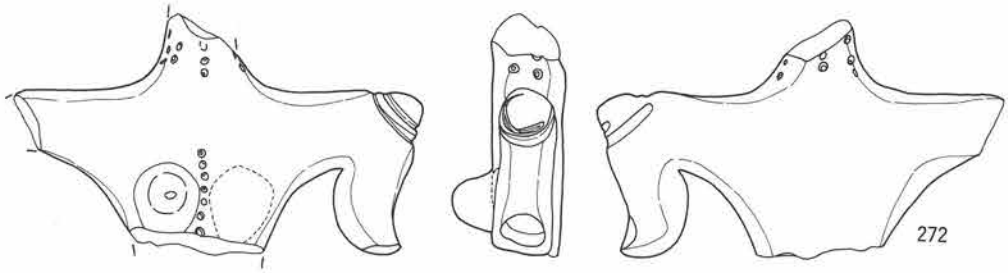


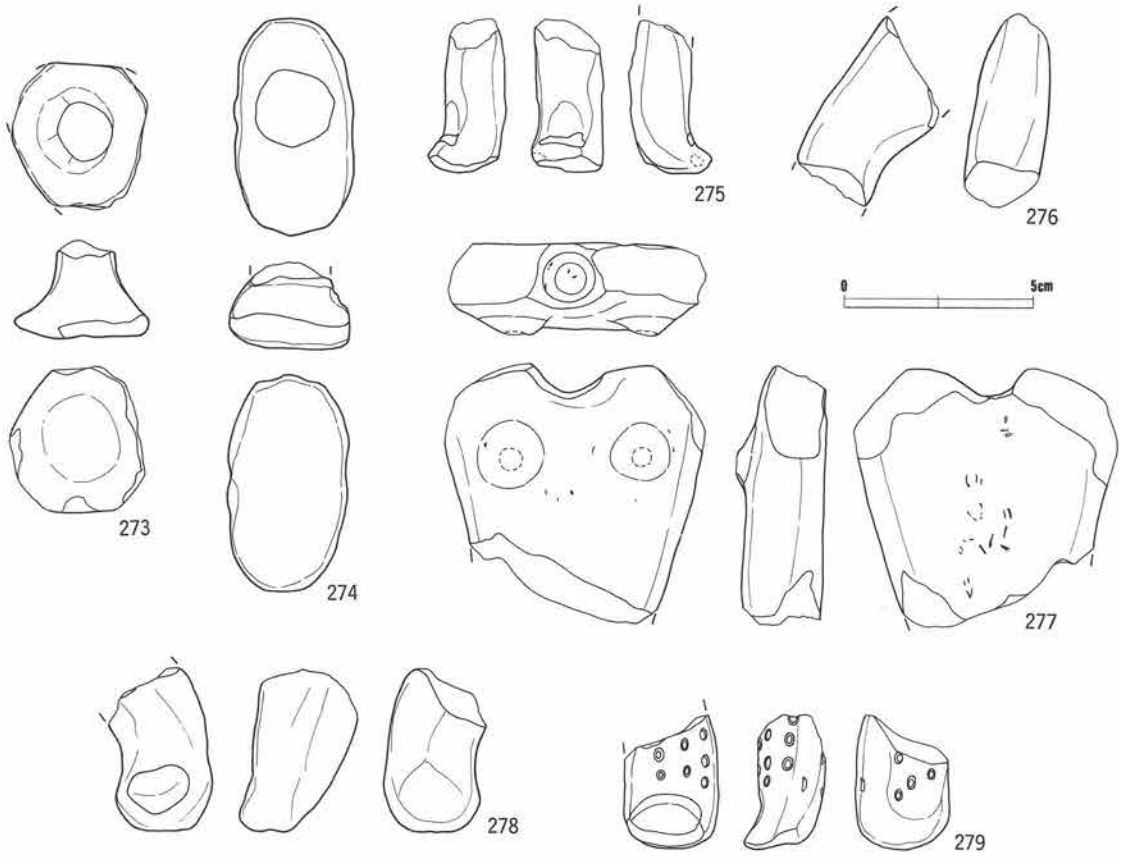
第200図　出土遺物土製品16



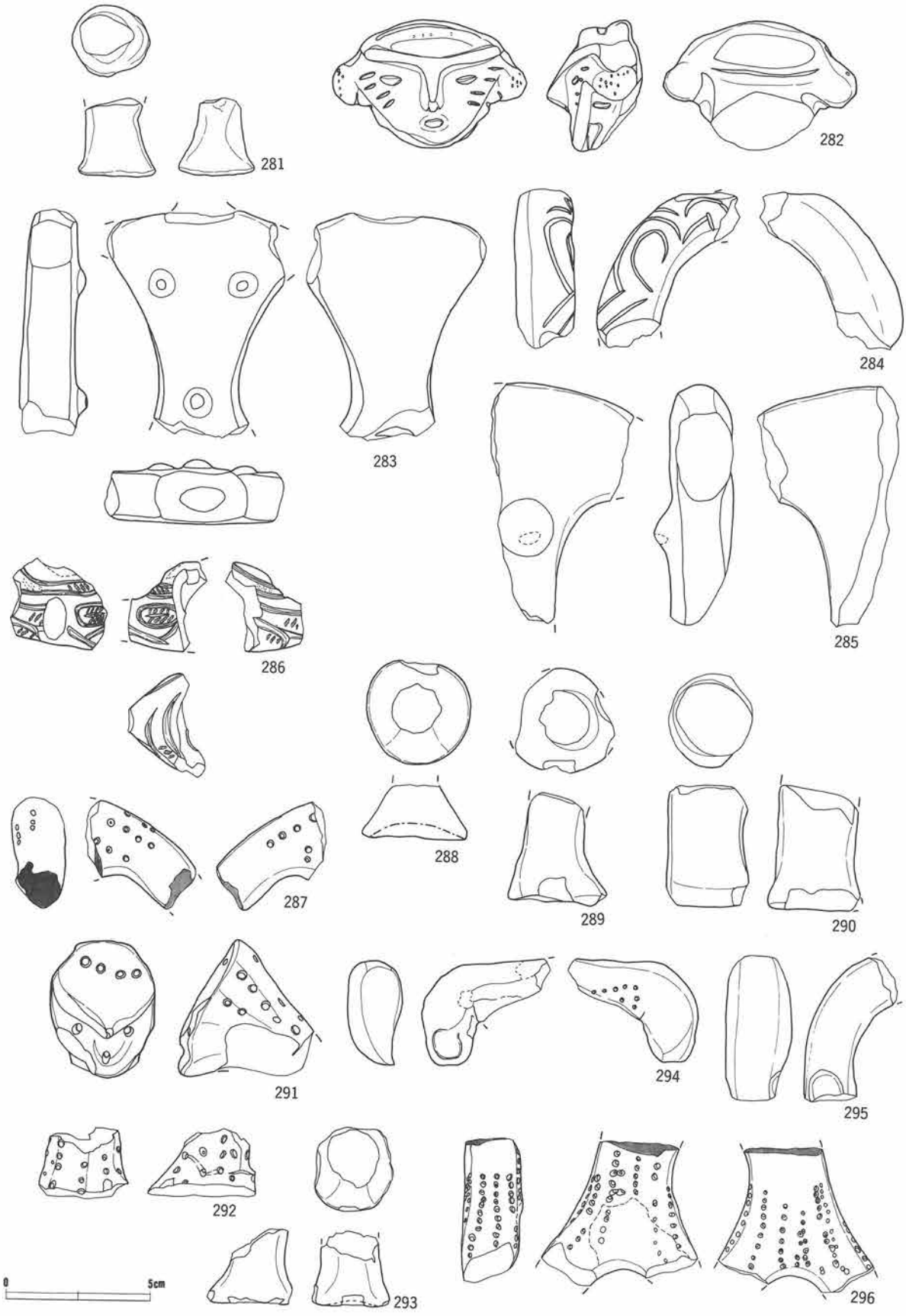
第201図　出土遺物土製品17



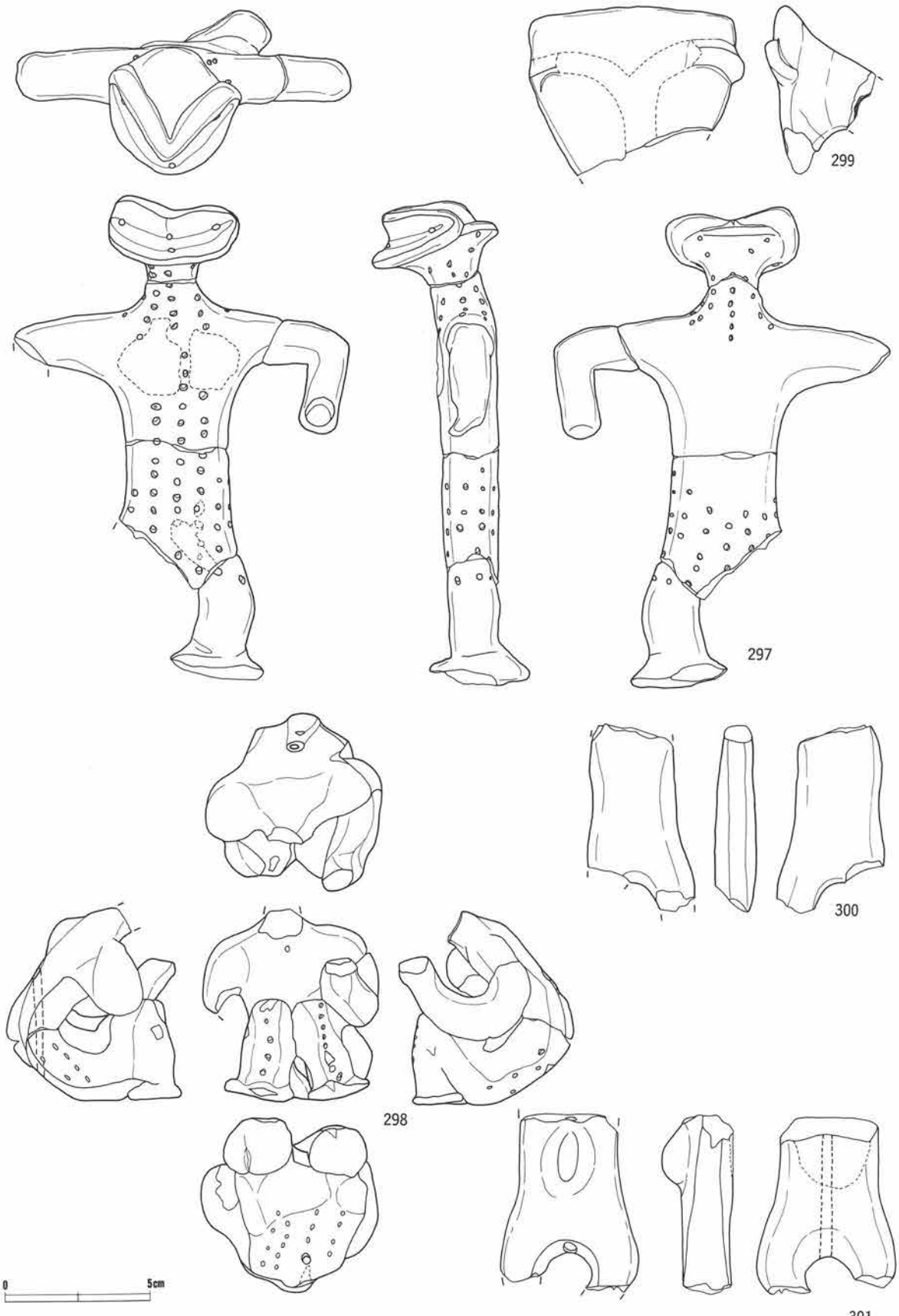




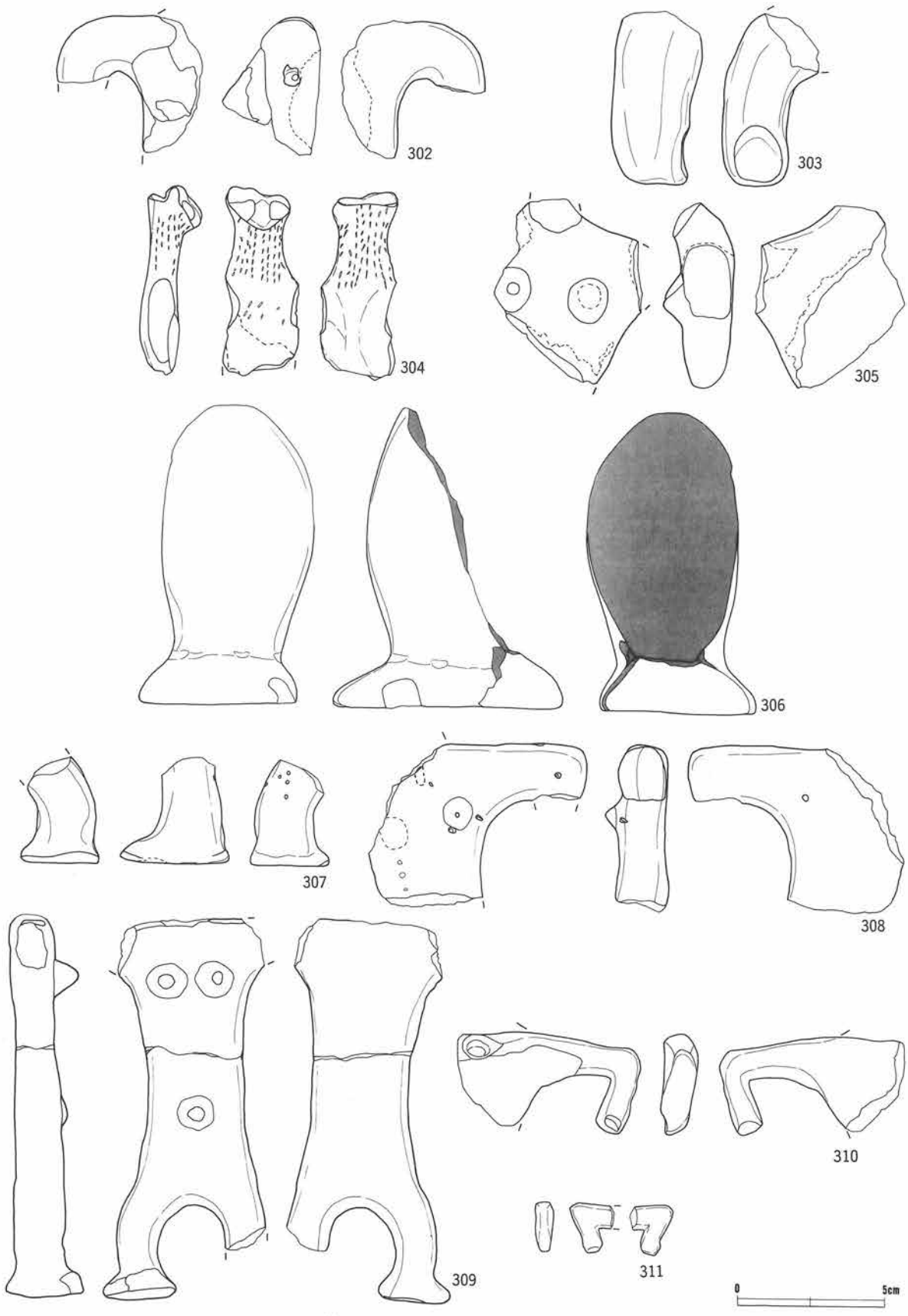
第202図　出土遺物土製品18



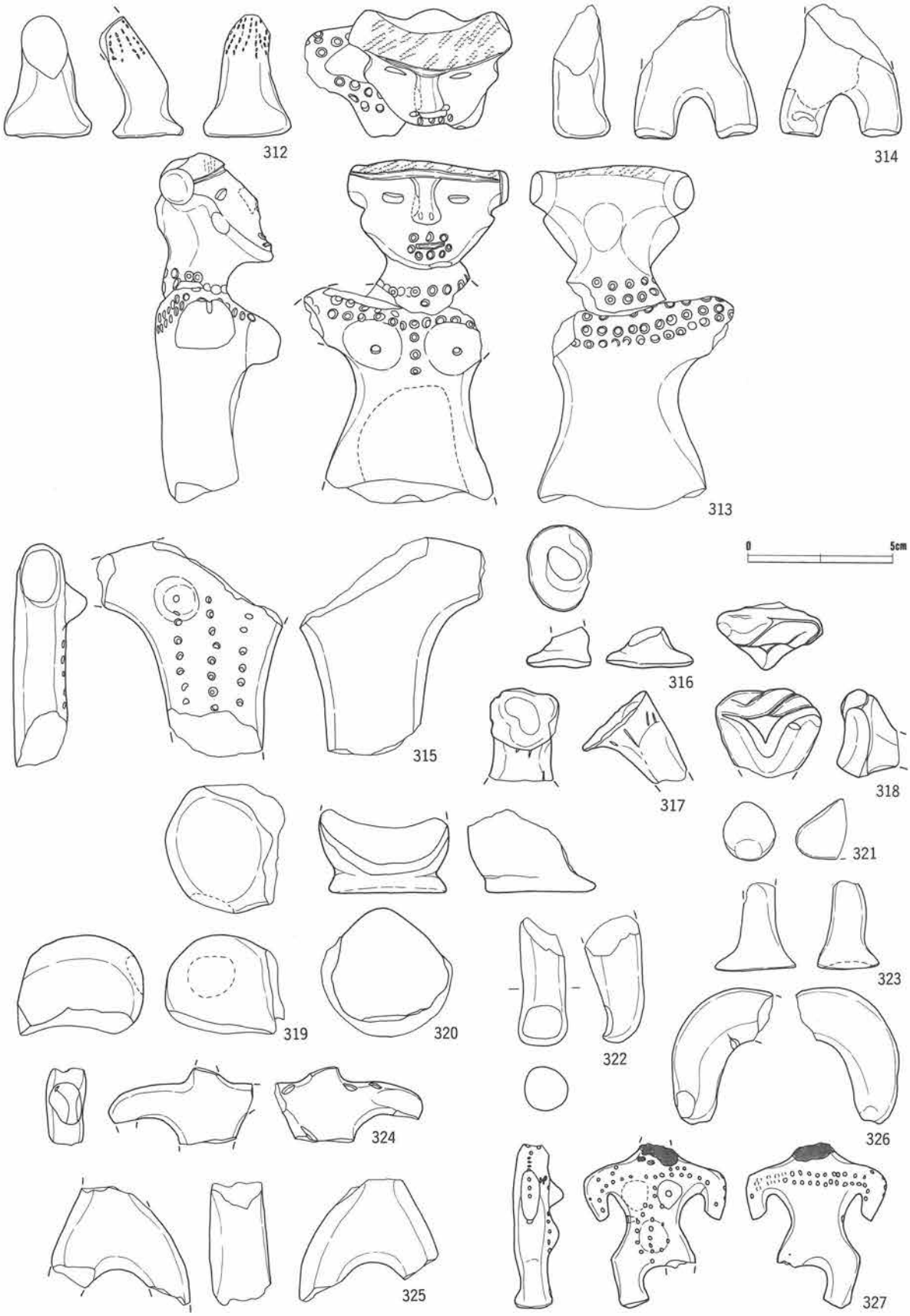
第203図　出土遺物土製品19



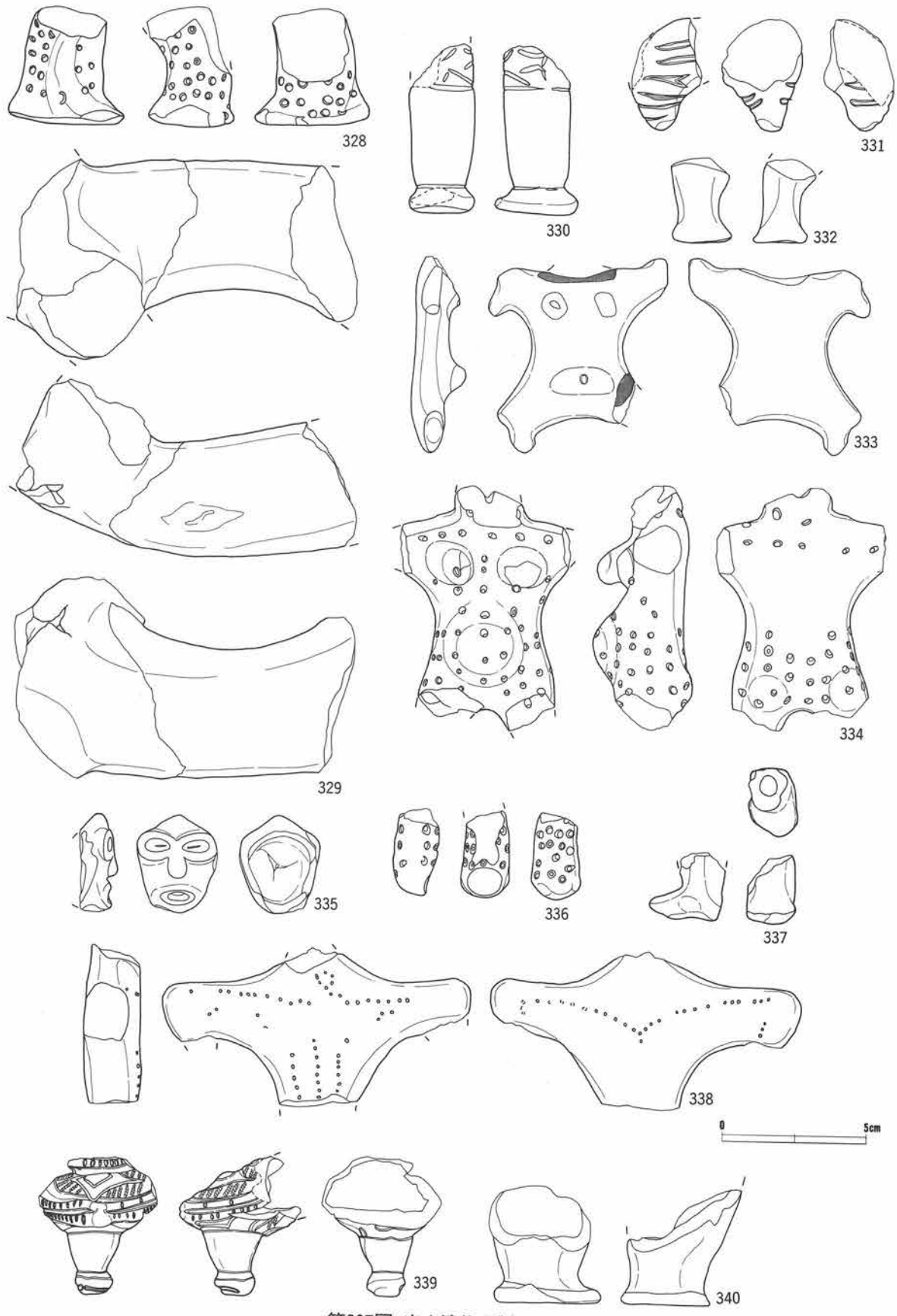
第204図　出土遺物土製品20



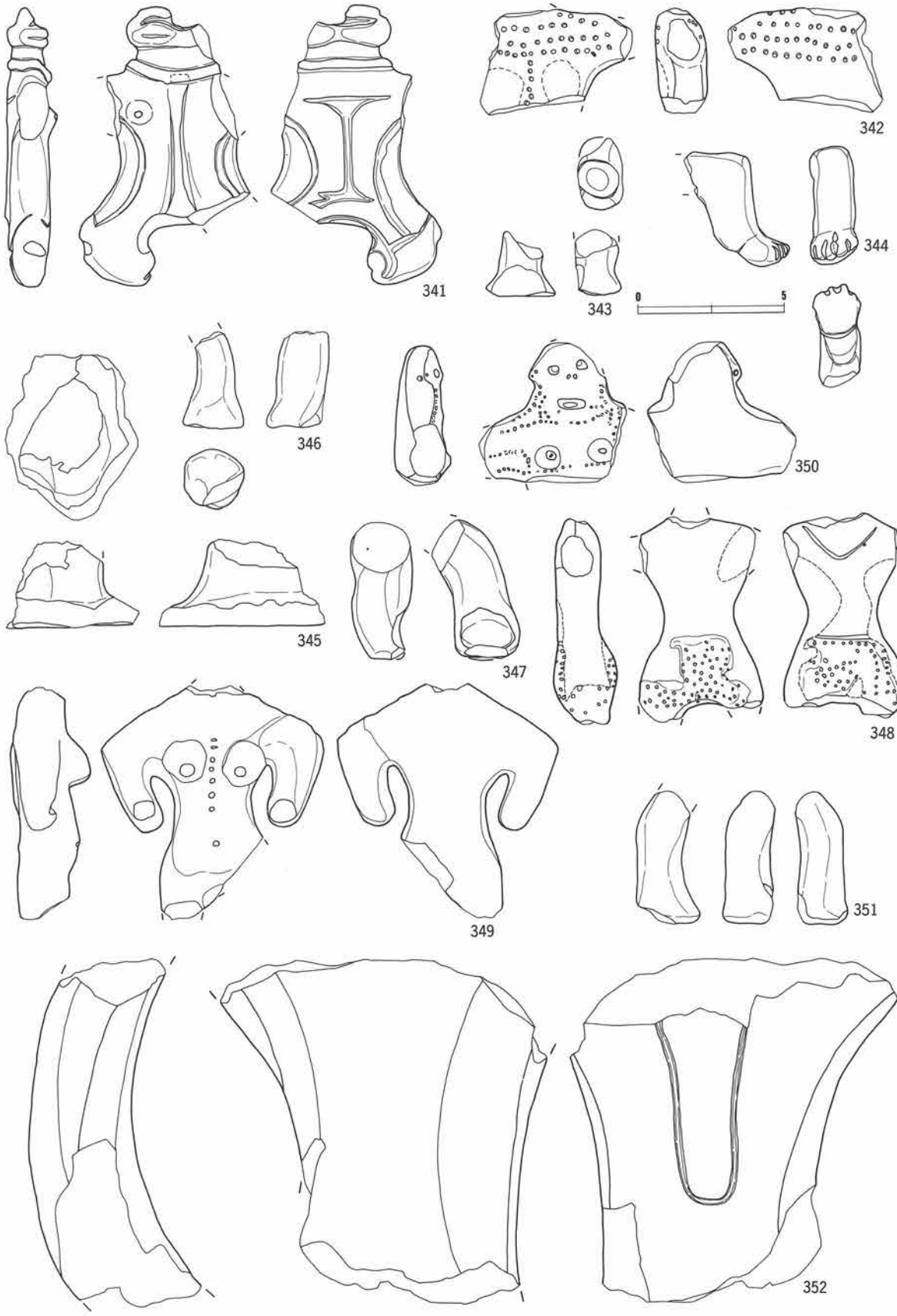
第205図　出土遺物土製品21



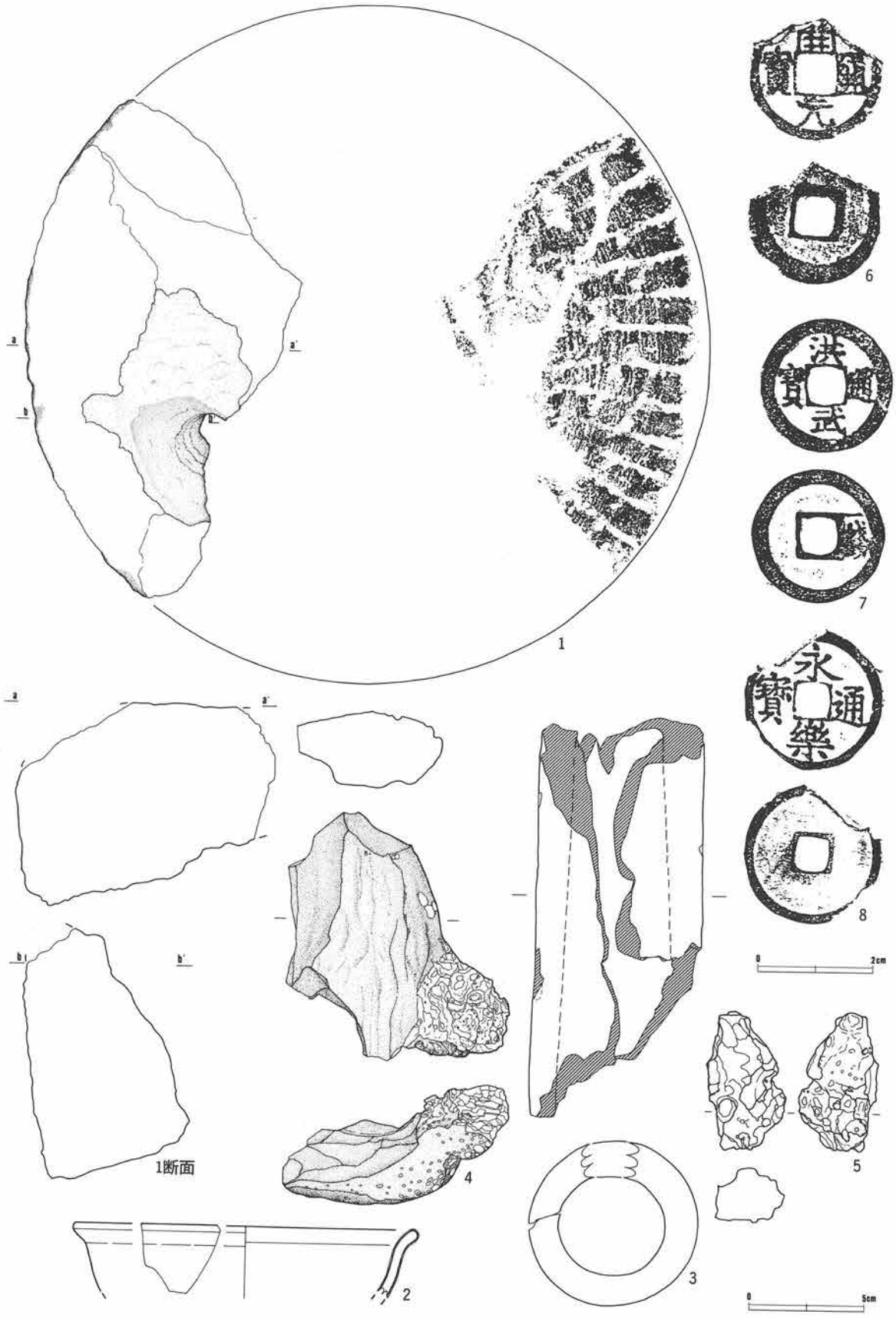
第206図 出土遺物土製品22



第207図 出土遺物土製品23



第208図 出土遺物土製品24



第209図 出土遺物・縄文時代以外の遺物

第3表　遺物観察表　(1)　土　　器

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1	1号住居	深鉢	胴	LR・RL	羽状		
2	1号住居	深鉢	底		無文	輪積痕で剝落	
3	1号住居	深鉢	口縁	LR 横位	横方向に調整	横方向に調整	
4	1号住居	深鉢？	口縁		沈線・刺突　口縁貼付	横方向に調整	
5	2号住居	鉢	口～胴	LR 横位	口縁貼付	横方向に調整	
6	2号住居	壺？	胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
7	2号住居	皿？	口縁		平行沈線文・縦位刻目文　波状口縁		
8	2号住居	鉢	胴	LR 横位	沈線をＳ字で区切る	煤？付着	
9	2号住居	深鉢	頚	LR 横位	沈線　刺突	横方向に調整	
10	2号住居	深鉢	口縁	LR 横位？	山形口縁・平行沈線　縄文磨滅		
11	2号住居	鉢	口縁		直線状羊歯状文	横方向に調整	
12	1号住居状	深鉢	胴	LR 斜位	開端部の圧痕残るか？		
13	1号住居状	深鉢	口縁		平行沈線文・縦位刻目		
14	1号住居状	深鉢	底		木葉痕		
15	2号住居状	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線・短沈線　波状口縁		
16	2号住居状	鉢	口縁	LR 横位	直線状羊歯状文		
17	2号住居状	鉢	口縁	LR 横位？	平行沈線をＳ字状に区切る　磨滅		
18	1号土坑	深鉢	口縁	不明	沈線　磨滅		
19	3号土坑	深鉢	口縁		沈線		
20	1号土坑	深鉢	胴		単軸絡条体第1類・撚糸		
21	3号土坑	深鉢	頸	LR 横位？	沈線		
22	5号土坑	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
23	2号土坑	深鉢	口縁	LR 横位			
24	2号土坑	深鉢	底		木葉痕		
25	4号土坑	深鉢	口縁		沈線		
26	4号土坑	鉢	口縁		沈線		
27	4号土坑	深鉢	口縁		沈線・鎖状隆帯　波状口縁		
28	6号土坑	深鉢	口縁	l・LR 横位	原体圧痕		
29	6号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	頸部磨り消し　胎土に金雲母	横方向に調整	
30	7号土坑	深鉢	口縁	LR 斜位	No.12と同一個体？		
31	7号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	頸部磨り消し		
32	9号土坑	深鉢	口縁		平行沈線・三叉文？　波状口縁		
33	9号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突		
34	9号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	沈線　波状口縁		
35	10号土坑	深鉢	口縁	LR・RL	沈線・刺突		
36	10号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	沈線　波状口縁		
37	2号埋設土器	鉢	口縁		直線状羊歯状文	煤付着	
38	11号土坑	鉢？	口縁	LR	沈線		
39	11号土坑	深鉢	胴		沈線・櫛歯状文		
40	11号土坑	深鉢	胴	不明	沈線・撚糸		
41	12号土坑	深鉢	胴	LRに同方向で1段の縄を巻いた附加条	平行沈線をＳ字状に結ぶ		
42	12号土坑	深鉢	口縁		櫛歯条　地文の縄文残る		
43	12号柱穴	鉢	口縁		平行沈線・縦位刻目		
44	12号柱穴	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類		
45	13号柱穴	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
46	25号柱穴	鉢	口縁		波状口縁　磨滅		

図版No.	出土地点	器種	部位	原体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備考
47	25号柱穴	深鉢	胴	r	単軸絡条体　磨滅		
48	15号土坑	深鉢	口縁	RL 縦位？	沈線		
49	16号土坑	鉢？	口縁		沈線・隆帯　磨滅		
50	16号土坑	深鉢	胴	r	沈線　磨滅		
51	19号土坑	深鉢	頸	LR 横位？	沈線・刺突		
52	19号土坑	深鉢	底		木葉痕		
53	21号土坑	鉢	口縁		工字文		
54	21号土坑	皿？	口～底	LR 横位	雲形文		
55	21号土坑	鉢？	口縁	RL 横位	沈線		
56	22号土坑	壺	胴	LR 横・斜位	沈線		
57	25号土坑	鉢？	口縁	LR 横位	沈線		
58	25号土坑	深鉢	口縁		沈線・刺突		
59	26号土坑	皿	口～胴		雲形文・波状口縁・凹部ミガキ	口唇部縦位刻目・ミガキ	
60	27号土坑	深鉢	口縁	RL?	0段多条　r4?		
61	27号土坑	壺？	胴	LR 横位	沈線		
62	29号土坑	小型台付鉢	胴～脚	LR 横位	口縁部接合面から欠損　細縄文	輪積痕で剝落	
63	29号土坑	皿？	口縁		連鎖状羊歯状文		
64	29号土坑	壺	口～胴	LR 横位	口縁部横方向に調整痕	横方向に調整痕	
65	29号土坑	鉢？	口～胴	LR 横位	沈線		
66	29号土坑	鉢？	胴		沈線		
67	32号土坑	深鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線		
68	32号土坑	深鉢	口縁	r?	沈線・S字文・単軸絡条体・口唇部に刺突・沈線	円文	
69	33号土坑	深鉢	口縁	LR 横位		横方向に調整	
70	33号土坑	鉢	口縁	LR 横位	頸部無文		
71	33号土坑	壺？	口縁	LR 横位	平行沈線文		
72	34号土坑	深鉢	口縁		沈線文・波状口縁		
73	34号土坑	深鉢	胴		沈線		
74	34号土坑	小型深鉢	口縁		無文		
75	34号土坑	深鉢	底		網代痕		
76	36号土坑	鉢？	口縁		平行沈線・煤付着	煤付着	
77	39号土坑	壺	口～頸		工字文		
78	39号土坑	壺	口～胴	LR 横位	口縁の一部に突起　頸部ミガキ	横方向に調整	
79	39号土坑	鉢？	口縁		無文		
80	39号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	頸部無文帯　縄文を横方向に消している	横方向に調整	
81	39号土坑	壺	口～胴	LR 横位	煤付着	横方向に調整	
82	40号土坑	深鉢	胴	r 縦位	地文のみ	太い擦痕	
83	40号土坑	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
84	41号土坑	皿	口～体	LR 横位	雲形文・口唇部に斜位刻目	下部隆帯に LR 横位	
85	41号土坑	鉢	口～体		雲形文		
86	41号土坑	鉢	口～体		雲形文？		
87	41号土坑	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
88	42号土坑	深鉢	口縁		円文	円文	
89	42号土坑	深鉢	口縁	RL 横位	わずかに煤付着		
90	44号土坑	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・縦位刻目	横方向に調整	
91	44号土坑	壺	胴		羊歯状文		
92	44号土坑	深鉢	底		木葉痕		
93	48号土坑	深鉢	口縁		平行沈線に鋭角な工具で刺突	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
94	48号土坑	深鉢	口縁	LR 横位	工字文・口唇部に沈線	横方向に調整　煤付着	
95	49号土坑	深鉢	口縁	RL 横位	粗製　縄文のみ	横方向に調整	
96	49号土坑	深鉢	口縁		平行沈線・縦位刻目・口唇部、口縁部沈線		
97	49号土坑	鉢	口縁		平行沈線・斜位刻目・口唇部に沈線		
98	49号土坑	深鉢	胴～底	LR 横位	底部木葉痕		
99	1号埋設土器	小型深鉢	胴～底		無文(胴・底)　横方向に調整　輪積痕でこわれる		
100	2号埋設土器	深鉢	口～胴	RL・LR 横位	羽状・上から2／3施文　煤付着	下部に煤付着　横方向に調整　磨滅	
101	3号埋設土器	深鉢	胴～底	LR	煤付着		
102	4号埋設土器		口～底		羽状(結束第1種)　一部剝落　煤付着	縦方向に調整　煤付着	
103	5号埋設土器	鉢	口～胴	RL・LR	直線状雲形文・口縁縦位刻目　煤付着	横方向に調整　煤付着　口唇部沈線	
104	1号埋設土器周辺	鉢？	口縁	LR	沈線　口唇部貼付		
105	3号埋設土器周辺	深鉢	口～胴	RL	三叉文・口唇部縦位刻目・波状口縁　補修孔		
106	3号埋設土器周辺	鉢	口～胴		羊歯状文　磨滅		
107	2号配石遺構	深鉢	胴～底		無文		
108	2号配石遺構	深鉢	胴		単軸絡条体第5類・撚糸	横方向に調整	
109	3号配石遺構周辺	深鉢	胴	LR 横・縦位	沈線	横方向に調整	
110	3号配石遺構周辺	深鉢	胴	r?	沈線・		
111	3号配石遺構周辺	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
112	6号配石遺構	深鉢	口～胴		沈線	横方向に調整	
113	6号配石遺構	深鉢	胴		Ｓ字状沈線		
114	6号配石遺構	深鉢	胴～底	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整　底部は一部剝落	
115	6号配石遺構	深鉢	胴～底		木葉痕	横方向に調整	
116	6号配石遺構	深鉢	胴	r?	単軸絡条体第1類		
117	6号配石遺構	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
118	7号配石遺構	深鉢	口縁		沈線・刺突・縦位刻目	口唇部縦位刻目	
119	7号配石遺構	深鉢	口縁		沈線		
120	1号焼土遺構	深鉢	口縁		羊歯状文		
121	1号焼土遺構	深鉢	口縁	LR 横位	沈線		
122	1号焼土遺構	深鉢	胴	LR に同方向で1段の縄を巻いた？附加条	節の緩い原体	ナデ状の調整	
123	3号焼土遺構	深鉢	底		木葉痕		
124	4号焼土遺構	深鉢	口縁		沈線・口唇部に弧状の刻目		
125	4号焼土遺構	深鉢	口縁		沈線・横方向に調整	横方向に調整	
126	4号焼土遺構	深鉢	口縁	r?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類		
127	5号焼土遺構	深鉢	胴	RL 斜位			
128	6号焼土遺構	鉢	口～胴	RL・LR	クランク状羊歯状文・羽状・波状口縁		
129	6号焼土遺構	壺	胴	LR 横位	入組文	横方向に調整	
130	6号焼土遺構	台付鉢	台		入組文　補修孔		
131	6号焼土遺構	深鉢	胴	RL 横位	r 反撚		
132	6号焼土遺構	深鉢	胴	RL 横位・LR に同方向で1段の縄を巻いた？附加条	結束羽状縄文	横方向に調整	
133	6号焼土遺構	深鉢	口縁	LR 横位？	沈線・刺突		
134	7号焼土遺構	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
135	7号焼土遺構	深鉢	胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
136	8号焼土遺構	蓋			無文　取手部分を貼付ている		
137	8号焼土遺構	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突		
138	8号焼土遺構	深鉢	底		木葉痕　周辺打ち欠きか？		
139	8号焼土遺構	蓋		LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
140	8号焼土遺構	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	横方向に消す　口唇部は後ろから施文	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
141	8号焼土遺構	注口	ほぼ完形	LR 横位	鉢巻状雲形文　波状口縁		
142	9号焼土遺構	深鉢	胴	LR 横・斜位			
143	10号焼土遺構	深鉢	口縁	平行沈線			
144	10号焼土遺構	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類・撚糸		
145	10号焼土遺構	深鉢	胴		沈線・地文は磨滅不明		
146	10号焼土遺構	深鉢	胴	RL 横位？(磨滅不明)			
147	12号焼土遺構	深鉢	胴	LR 斜位			
148	16号焼土遺構	深鉢	胴	RL 縦・斜位			
149	16号焼土遺構	深鉢	胴	LR 横位	平行沈線		
150	17号焼土遺構	深鉢	胴	LR 斜位		横方向に調整	
151	18号焼土遺構	鉢	口縁	LR 横位	1条の沈線　口縁にふくらみ		
152	20号焼土遺構	深鉢	胴	RL 横位	沈線・刺突		
153	1号柱穴	鉢	口縁	LR 斜位	沈線		
154	18号柱穴	深鉢	胴	l?	沈線・単軸絡条体第1類・撚糸		
155	25号柱穴	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体・撚糸		
156	25号柱穴	深鉢	口縁		沈線・刺突		
157	26号柱穴	壺？	胴		沈線		
158	26号柱穴	深鉢	胴	r?	単軸絡条体第1類		
159	30号柱穴	壺？	胴	LR 横位	沈線		
160	32号柱穴	蓋	取手		沈線		
161	50号柱穴	深鉢	口縁		無文		
162	55号柱穴	鉢？	口縁		沈線　地文は磨滅不明		
163	55号柱穴	鉢？	口縁		沈線　地文は磨滅不明		
164	78号柱穴	深鉢	底		木葉痕		
165	81号柱穴	深鉢	胴	r?	単軸絡条体第5類		
166	81号柱穴	深鉢	口縁	RL 横位？(磨滅不明)	口縁～頸部無文		
167	83号柱穴	深鉢	口縁	r?	単軸絡条体第1類・口唇部に刻目		
168	87号柱穴	深鉢	底		無文		
169	88号柱穴	鉢？	口縁		無文		
170	89号柱穴	鉢	底		上げ底(無文)		
171	97号柱穴	深鉢	口縁		平行沈線・S字状に区切る		
172	24号土坑	深鉢	口縁		羊歯状文		
173	140号柱穴	壺	胴	RL 横位	沈線		
174	140号柱穴	深鉢	胴	r	単軸絡条体第5類		
175	24号土坑	鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線		
176	115号柱穴	深鉢？	胴	RL 縦位	沈線	横方向に調整	
177	118号柱穴	深鉢？	口縁	LR 横位	波状口縁		
178	119号柱穴	深鉢	底		木葉痕		
179	120号柱穴	深鉢	口縁		沈線		
180	121号柱穴	深鉢	胴	RL 横位	沈線		
181	129号柱穴	深鉢	口縁	RL 横位			
182	129号柱穴	深鉢	口縁	LR 横位	刺突		
183	133号柱穴	深鉢	口縁		波状口縁		
184	133号柱穴	深鉢	口縁	LR 横位	沈線		
185	溝1	深鉢	口縁		鎖状隆帯・刺突・口唇部に沈線		
186	溝1	深鉢	口縁		S字状沈線	円文	
187	溝1	壺？	胴		沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
188	2-0　III層	注口	胴		雲形文		
189	2-0　III層	鉢	口縁	LR 横位	沈線		
190	2-0　III層	深鉢	胴		沈線・縦位刻目	横方向に調整	
191	1-1　III層上部	壺	口縁		工字文・口唇部に沈線		
192	1-1　III層上面	深鉢	胴	RL 横位	沈線		
193	1-1　III層上面	深鉢	口縁		隆帯		
194	1-1　IIIB層	深鉢	口縁		沈線・刺突　磨滅		
195	1-1　IIIB層	鉢	口縁	RL 横位	平行沈線・斜位刻目・口唇部に沈線		
196	1-1　IIIB層	皿	口縁	LR 横位	雲形文	口唇部縦位刻目	
197	1-1　IIIB上層	深鉢	口縁		隆帯・沈線		
198	1-1　IIIB上層	深鉢	口縁		沈線		
199	1-1　IIIB上層	深鉢	口縁		隆帯　波状口縁		
200	1-1　IIIB上層	鉢？	口縁	LR 横位？	沈線・刺突・波状口縁		
201	1-1　IIIB上層	深鉢	口縁		沈線・刺突　原体磨滅不明		
202	1-1　IIIB中層	深鉢	胴	LR 横位	沈線・刺突		
203	1-1　IIIB中層焼土集中部	深鉢	口～胴		沈線		
204	1-1　IIIB下層	鉢？	口縁		沈線		
205	1-1　IIIB下層	深鉢	胴	RL 横位	沈線		
206	2-1　III層	深鉢	口縁		平行沈線・斜位刻目・波状口縁		
207	2-1　III層	深鉢	口縁		沈線		
208	2-1　IIIB上層	深鉢	口縁		沈線・刺突	煤付着	
209	2-1　IIIB上層	壺	頸	LR 横位	沈線		
210	2-1　IIIB上層	深鉢	胴		沈線・縦位刻目		
211	2-1　IIIB中部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線　横方向に調整	横方向に調整	
212	2-1　10YR5／3 にぶい黄褐色土	鉢	胴	LR 横位	沈線区画　磨消縄文	横方向に粗い調整	
213	2-1　10YR5／3 にぶい黄褐色土	皿	口縁		平行沈線・波状口縁		
214	2-1　10YR5／3 にぶい黄褐色土	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・波状口縁		
215	3-1　IIIB中層(地山直上)	皿	口縁	LR 横位	雲形文・波状口縁・口唇部に刻み		
216	3-1　IIIB中層(地山直上)	深鉢	口縁		平行沈線をS字状に区切る		
217	0-2　IIIB中層(炭多層)	深鉢	口縁	l?	波状口縁・単軸絡条体第1類		
218	0-2　IIIB中層(炭多層)	深鉢	口縁	r?	波状口縁・沈線・撚糸1類		
219	1-12　表土～灰黄褐色土(焼土より上層)	注口	口縁		雲形文		
220	1-2　III層	鉢	口縁		平行沈線・縦位刻目・口唇部沈線		
221	1-2　III層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線		
222	1-2　III層上面	深鉢	口縁	LR 横位？	波状口縁・口唇部に沈線		
223	1-2　III層上面	壺？	胴		入組文		
224	1-2　III層下部	鉢	口縁	LR 横位	平行沈線・縦位刻目		
225	1-2　III層下部	深鉢	口縁		沈線		
226	1-2　IIIB上層	壺？	胴		隆帯・ボタン状貼付		
227	1-2　IIIB上層	鉢	口～胴	RL 縦位？	口縁貼付		
228	1-2　IIIB上半	深鉢	口縁		沈線・刺突		
229	1-2　IIIB上層	深鉢	胴	LR 縦位？	沈線		
230	1-2　IIIB層上部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・波状口縁		
231	1-2　IIIB上層下部	皿	口縁		雲形文　表裏の口唇部に黒色付着物		
232	1-2　IIIB上層下部	深鉢	口縁		沈線・刺突		
233	1-2　IIIB上層下部	鉢	口縁		連鎖状羊歯状文		
234	1-2　IIIB中層	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線　煤付着	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
235	1-2　ⅢB中層	皿	口縁	LR横位	雲形文	口唇部縦位刻目	
236	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
237	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
238	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁に刻目・沈線		
239	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線		
240	1-2　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横・斜位	沈線		
241	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁	RL横位	沈線		
242	1-2　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
243	1-2　ⅢB中層	台付鉢	胴～台上半	LR横位	沈線　黒色付着物あり		
244	1-2　ⅢB中層	台付鉢？	台		三単位で円形の孔		
245	1-2　B区　土器集中区一括土器	鉢	口～底	RL斜位	沈線・口唇部に刻目　木葉痕　磨滅	煤付着	
246	1-2　B区　土器集中区一括土器	深鉢	口～胴	LR横位	全体に磨滅	磨滅	
247	1-2　B区　土器集中区一括土器	鉢？	胴～底		沈線・木葉痕　横方向に調整		
248	1-2　B区　土器集中区一括土器	深鉢	胴～底	LR横位	磨滅　網代痕		
249	1-2　C区　土器集中区一括土器	壺	胴		沈線	横方向に調整	
250	1-2　D区　ⅢB下層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線をS字状に区切る		
251	1-2　D区　ⅢB下層	深鉢	口縁	LR・RL横位	沈線　補修孔		
252	1-2　D区　ⅢB下層	鉢	口～底	LR横・斜位	口縁に二股に原体押圧　木葉痕		
253	1-2　D区　ⅢB下層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
254	1-2　ⅢB下層	深鉢	口縁		取手の取れた跡　波状口縁		
255	1-2　最下層	深鉢	口縁		沈線・隆帯		
256	1-2　最下層	鉢？	口縁	LR横位	沈線		
257	1-2　最下層	深鉢	胴	LR斜位？	沈線		
258	2-2　Ⅲ層上部	壺	口～底	LR横位	沈線		
259	2-2　Ⅲ層上部	壺	頸		横方向に調整	横方向に調整	
260	2-2　Ⅲ層上部	深鉢？	胴	LR横位	横方向に調整		
261	2-2　Ⅲ層上部	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
262	2-2　ⅢA・ⅢB	深鉢	口縁		隆帯		
263	2-2　ⅢA・ⅢB	深鉢	突起		沈線		
264	2-2　ⅢBより上層　黒色土落ち込み	鉢	口縁		平行沈線・斜位刻目	口唇部に沈線	
265	2-2　ⅢBより上層　黒色土落ち込み	壺？	胴	LR横位	平行沈線	横方向に調整	
266	2-2　ⅢBより上層	蓋	口～胴	LR横位	胎土に金雲母	炭化物付着	
267	2-2　ⅢB層	深鉢	口縁	RL横位	煤付着	煤付着	
268	2-2　ⅢB上層	ミニチュア	口～底		沈線	黒色物付着	
269	2-2　ⅢB層上層下部	深鉢	口縁		沈線・刺突		
270	2-2　ⅢB層上層下部	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突・波状口縁		
271	2-2　ⅢB中層	注口		LR横位	沈線・黒色付着物		
272	2-2　ⅢB中層	蓋	つまみ	LR横・斜位	4単位で孔いびつ		
273	2-2　B区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	r?	鎖状隆帯に刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
274	2-2　A区　ⅢB中層	鉢？	口～胴		沈線		
275	2-2　A区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
276	2-2　B区　ⅢB下層上部	壺	頸～胴	LR横位	沈線		
277	2-2　D区　ⅢB下層上部(炭多)	深鉢	口縁	RL・LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
278	2-2　D区　ⅢB下層上部(炭多)	深鉢	胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
279	2-2　ⅢB下層	深鉢	口縁		沈線・刺突・波状口縁		
280	2-2　ⅢB下層	深鉢	口縁		鎖状隆帯		
281	2-2　B区　ⅢB下層最下部	壺	胴		沈線・単軸絡条体第1類？　取手が取れた跡	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
282	2-2　B区　2-2東西ベルト1層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・波状口縁		
283	2-2　B区　2-2東西ベルト5層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
284	2-2　B区　2-2東西ベルト7層	壺	頸～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
285	0-3　ⅢB層	深鉢	口縁		沈線・地文は磨滅不明・波状口縁		
286	0-3　D区　ⅢB中層上部	壺	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類・取手		
287	0-3　D区　ⅢB中層上部	壺	口縁		沈線　横方向に調整	横方向に調整	
288	0-3　C区　ⅢB中層上部	深鉢	口縁	LR横位	沈線		
289	0-3　D区　ⅢB中層上部	深鉢	口～底	LR横位	沈線・波状4弁　剝落	横方向に調整	
290	0-3～1-3　C・D区　2a・3層	壺	胴	LR横位	平行沈線	横方向に調整	
291	1-3　D区　1-4C区　表土最下部	壺	口～胴		沈線・単軸絡条体第1類？(磨滅)　横方向に調整	横方向に調整	
292	1-3　D区　1-4C区　表土最下部	鉢？	口～胴		沈線・単軸絡条体第1類？(磨滅)		
293	1-3　D区　1-4C区　表土最下部	蓋		LR横・斜位	刺突	横方向に調整	
294	1-3　D区　1-4C区　表土最下部	壺	頸？		羊歯状文		
295	1-3　D区　1-4C区　表土最下層	小型壺？	口～底		無文		
296	1-3　Ⅲ層	鉢	口縁	LR横位	平行沈線・斜位刻目・口唇部斜位刻目		
297	1-3　Ⅲ層	皿？	胴	LR横位	雲形文	横方向に調整	
298	1-3　Ⅲ層	深鉢	突起		沈線・上面に刺突		
299	1-3～2-3　Ⅲ層下部(ⅢBより上)	鉢	口～胴		工字文	口唇部に沈線	
300	1-3　灰褐色土層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・波状口縁		
301	1-3　灰褐色土層	皿	口～胴		雲形文・口唇部に沈線・斜位刻目	下部に隆帯	
302	1-3　A区　ⅢB層	深鉢	口縁	LR横位	三叉文		
303	1-3　A区　ⅢB層	深鉢	口縁		三叉文？		
304	1-3　A区　ⅢB層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・波状口縁		
305	1-3　A区　ⅢB層	深鉢	口～底	RL横位？磨滅	沈線・刺突　口縁隆帯	口唇部に沈線	
306	1-3　ⅢB層	片口壺	口～頸		沈線・刺突		
307	1-3　B区　ⅢB上層	注口	胴		平行沈線・縦位刻目	横方向に調整	
308	1-3　C区　ⅢB上層	鉢	口縁		クランク状羊歯状文	横方向に調整	
309	1-3　AB区　ⅢB上半	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
310	1-3　AB区　ⅢB上半	壺	口縁		沈線		
311	1-3　C区　ⅢB上層	鉢	口縁	LR横位	羊歯状文　煤付着		
312	1-3　C区　ⅢB上層　10YR5／4部	深鉢	口～胴	LR縦・斜位？	横方向に地文磨り消し	横方向に調整	
313	1-3　C区　ⅢB上層　10YR5／4部	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
314	1-3　C区　ⅢB上層下部　3層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
315	1-3　C区　ⅢB上層下部　3層	鉢	口縁		沈線　地文磨滅不明	横方向に調整	
316	1-3　C区　ⅢB上層下部　3層	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類		
317	1-3　C区　ⅢB上層下部　3層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
318	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)	鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
319	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)	蓋			沈線・刺突・地文磨滅不明		
320	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・刺突	刺突	
321	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)　2-4　C区　1-4東西ベルト	深鉢	胴	l	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
322	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)　2-4　C区　1-4東西ベルト	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
323	1-3　A区　ⅢB中層(炭多)　2-4　C区　1-4東西ベルト	深鉢	口縁	LR横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
324	1-3　B区　ⅢB中層	深鉢	胴	LR横位	太い沈線の三角文・入組文	横方向に調整	
325	1-3　C区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	r	沈線・刺突・単軸絡条体		
326	1-3　ABC区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	l	沈線・口唇部縦位刻目・単軸絡条体	横方向に調整	
327	1-3　ⅢB中層下部(炭少)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・ボタン状貼付？		
328	1-3　ⅢB中層下部(炭少)	深鉢	口縁	RL横位	沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
329	1-3　ⅢB中層下部(炭少)	深鉢	口縁		沈線・隆帯・波状口縁		
330	1-3　ⅢB中層下部(炭少)	深鉢	突起		沈線・刺突		
331	1-3　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	r?	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
332	1-3　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
333	1-3　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁		沈線		
334	1-3　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	r?	単軸絡条体第1類		
335	1-3　D区　ⅢB中層最下部(炭多)	蓋		RL 横位？磨滅	沈線		
336	1-3　C区　ⅢB下層	深鉢	口～胴	r	沈線・波状口縁5単位・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
337	1-3　ⅢB下層	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
338	1-3　ⅢB下層	深鉢	口縁		鎖状隆帯		
339	1-3　ⅢB下層	注口	胴		平行沈線・縦位刻目	横方向に調整	
340	1-3　C区　10YR3／2 黒褐色土	深鉢	口縁	l	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
341	1-3　D区　焼土面を含む灰黄褐色土層下部	深鉢	口縁		三叉文・沈線・上面に刻目		
342	1-3　D区　焼土面を含む灰黄褐色土層下部	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
343	1-3　D区　焼土面を含む灰黄褐色土層下部	深鉢	口縁		S字状沈線・波状口縁		
344	1-3　D区　焼土面を含む灰黄褐色土層下部	壺？	胴		No.6と同一個体　沈線・刺突		
345	1-3　C区　1層	深鉢	口～胴	r	剝落著しい　沈線・口唇部に刺突・縦位刻目・単軸絡条体第1類		
346	1-3～3-3東西ベルト1層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・刺突		
347	1-3～3-3東西ベルト1層	深鉢	突起		沈線・刺突(人面表現？)		
348	1-3～3-3東西ベルト1層	鉢？	口縁		沈線・縦位刻目・口唇部に沈線		
349	1-3　D区　3層	深鉢	取手？		沈線・刺突		
350	1-3　D区　4層	深鉢	口～胴	LR 横位		横方向に調整	
351	1-3　D区　4層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
352	1-3　D区　4層	深鉢	口縁		沈線をS字状に区切る・波状口縁		
353	1-3　AB区　4層	深鉢	胴～底		底部網代痕？　磨滅ひどい		
354	1-3～3-3東西ベルト4層	深鉢	口～胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
355	1-3　A区　4層	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類　口縁部に孔	横方向に調整	
356	1-3　D区　4層　ⅢB中層	深鉢	口～底	LR 横位	木葉痕	煤付着　横方向に調整	
357	1-3　D区　4層　ⅢB中層	壺	口縁	r?	No.287と同一個体　沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
358	1-3　D区　4層　ⅢB中層	深鉢	口～胴	l?	単軸絡条体第1類		
359	1-3　D区　4層　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線		
360	1-3　D区　4層　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
361	1-3　D区　4層　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突		
362	1-3　C区　5層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・刺突・取手	横方向に調整	
363	1-3　C区　5層(炭多)	深鉢	突起		沈線・刺突・隆帯	横方向に調整	
364	1-3　C区　5層(炭多)	深鉢	胴	LR 横位	沈線・刺突		
365	1-3　C区　5層(炭多)	深鉢	口縁		刺突・斜位刻目		
366	1-3　C区　5層(炭多)	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類		
367	1-3　D区　5層(炭多)	深鉢	口縁		縦にブリッジ状把手		
368	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	胴～底	LR 横位？	沈線・木葉痕　磨滅		
369	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口～底	LR 縦・斜位	口縁部地文の磨り消し・木葉痕	横方向に調整	
370	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
371	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・口唇部弧状押圧	横方向に調整	
372	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・単軸絡条体第1類・撚糸(磨滅不明)		
373	1-3　C区　6層(炭多)	壺	口縁	RL 縦・横位	沈線・刺突	横方向に調整	
374	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・波状口縁・貼付		
375	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・刺突・波状口縁		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
376	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線		
377	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・横方向に調整・波状口縁		
378	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
379	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口～胴	r?	沈線・刺突・単軸絡条体	横方向に調整	
380	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口～胴		沈線・刺突・単軸絡条体(磨滅してLR不明)	横方向に調整	
381	1-3　C区　6層(炭多)	壺	胴	LR横・縦位	沈線・ボタン状貼付	横方向に調整	
382	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
383	1-3　C区　6層(炭多)	壺	頸～胴	r	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
384	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁		S字状沈線・右肩に刻目	沈線(円文)	
385	1-3　C区　6層(炭多)	深鉢	口縁	r	沈線・刺突・単軸絡条体第1類　横方向に調整(表裏)		
386	1-3　6層	小型鉢	口～底		無文・底部木葉痕	横方向に調整	
387	1-3　ⅢB中層　6層	小型壺？	胴～底	l?(磨滅不明)	沈線・単軸絡条体　底部木葉痕	口縁の欠け口を磨いている？	
388	1-3　C区　ⅢB中層　6層	深鉢	口～胴	r?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
389	1-3　C区　6層	深鉢	胴	LR横位？(磨滅不明)	沈線		
390	1-3　C区　ⅢB中層　6層	鉢	口～底	r?	単軸絡条体第1類・底部木葉痕	横方向に調整	
391	1-3　B区　7層(黒)	深鉢	口縁	LR横・斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
392	1-3　B区　7層(黒)	深鉢	口縁		沈線・刺突		
393	1-3　B区　7層(黒)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
394	1-3　B区　7層(黒)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
395	1-3　B区　7層(黒)	深鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
396	1-3　D区　7層	鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
397	1-3　D区　7層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
398	1-3　D区　7層	深鉢	口縁		沈線・口唇部中央にくぼみ	沈線(円文)	
399	1-3　D区　7層	深鉢	口縁	LR横位	沈線　補修孔	横方向に調整	
400	1-3　D区　7層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・波状口縁・単軸絡条体		
401	1-3　D区　7層	深鉢	口縁		口縁突起　正面3個の刺突、2個貫通・口唇部上から2個刺突		
402	1-3　D区　7層	壺	頸～胴	LR横位	沈線		
403	1-3　D区　7層	鉢	口～底		4単位で突起　縦方向に調整　木葉痕	横方向に調整	
404	1-3　D区　7層	蓋		LR横位	沈線・刺突		
405	1-3　D区　7層	深鉢	口～胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
406	1-3　B区　7層	深鉢	口～胴	r?	煤付着　単軸絡条体　磨滅ひどい	煤付着	
407	1-3　B区　7層	壺	口～胴	RL・LR	羽状・沈線　煤付着　磨滅	横方向に調整	
408	1-3　B区　7層	深鉢	胴～底	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
409	1-3　D区　ⅢB下層　9層	小型深鉢	口～胴	RL横位(口縁横方向に消している)	4単位波状口縁　底部欠損	横方向に調整　煤付着	
410	1-3　C区　9層	鉢	口～底	LR横位	沈線	横方向に調整	
411	1-3　D区　9層	蓋		r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
412	1-3　D区　9層	深鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
413	1-3　D区　9層	壺？	胴		沈線・ボタン状貼付	横方向に調整	
414	1-3　D区　9層	鉢	胴	RL横位	雲形文・平行沈線・縦位刻目	横方向に調整　煤付着	
415	1-3　D区　9層	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
416	1-3　D区　9層	鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
417	1-3　最下層	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
418	1-3　最下層	壺？	胴～底		無文・煤付着	横方向に調整	
419	2-3　Ⅲ層上部	深鉢	口縁	LR横・斜位	沈線	煤付着	
420	2-3　Ⅲ層上部	鉢	口～胴	RL横位	沈線		
421	2-3　ⅢA層上面	皿	口～胴	RL横位	雲形文	横方向に調整　口唇部に沈線	
422	2-3　A区　ⅢA層相当層灰黄褐色土層	鉢	口縁		雲形文・口唇部に二段縦位刻目	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
423	2-3　A区　ⅢA層相当層灰黄褐色土層	深鉢	口縁	LR横位	平行沈線	煤付着	
424	2-3　A区　ⅢA層相当層灰黄褐色土層	深鉢	胴	l?(磨滅不明)	単軸絡条体第1類		
425	2-3　D区　ⅢA相当層黄褐色ブロック	ミニチュア	四つ足		脚2個欠損		
426	2-3　B区　ⅢA層最下部	注口	口縁		(鉢巻状)雲形文・縦位刻目		
427	2-3　B区　ⅢA層最下部	鉢	口～胴	RL横位	平行沈線・斜位刻目・口唇部沈線		
428	2-3　B区　ⅢA層最下部	深鉢	口縁	RL横位	沈線・先端に横位刻目・波状口縁		
429	2-3　B区　ⅢA層最下部	深鉢	口縁	LR横・縦位	波状口縁		
430	2-3　A区　ⅢA層最下層	深鉢	口～胴	RL斜位?	沈線		
431	2-3　ⅢAなどの混土層	壺?	胴		沈線・刺突	横方向に調整	
432	2-3　ⅢA・ⅢB層	皿?	口～底	LR横位	雲形文	下部に隆帯・LR横位	
433	2-3　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL横位	沈線	横方向に調整	
434	2-3　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁		沈線・竹管文	横方向に調整	
435	2-3　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL横位	沈線	横方向に調整	
436	2-3　B区　ⅢB上層	小型鉢	口～胴		沈線		
437	2-3　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁	LR斜位	沈線		
438	2-3　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁	LR横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
439	2-3　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
440	2-3　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁	LR横位?	沈線・口唇部に縦位刻目		
441	2-3　ⅢB中層	ミニチュア鉢	完形		無文		
442	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
443	2-3　ⅢB中層	蓋	口縁	LR横位	沈線・刺突		
444	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
445	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突・波状口縁	横方向に調整	
446	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
447	2-3　ⅢB中層	深鉢	胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
448	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
449	2-3　ⅢB中層	壺	胴	LR横位?	沈線・刺突		
450	2-3　ⅢB中層	鉢	口縁	LR横位	平行沈線をS字状に区切る	煤付着	
451	2-3　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位?	平行沈線・刺突・波状口縁	横方向に調整	
452	2-3　B区　ⅢB中層	注口			沈線・剝落		
453	2-3　A区　ⅢB中層中部	蓋			無文		
454	2-3　A区　ⅢB中層下部	深鉢	口～胴	LR横位	沈線　横方向に調整	横方向に調整　剝落	
455	2-3　A区　ⅢB中層下部	蓋		LR横位	沈線	横方向に調整	
456	2-3　2-3-P　No.16	台付鉢	胴～底		無文　剝落		
457	2-3　2-3-P　No.52	蓋		LR横位	No.455と同一個体　沈線		
458	2-3　7区　ⅢB中層最下部	ミニチュア台付鉢	口～底		沈線	横方向に調整	
459	2-3　7区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	LR横・斜位	沈線・刺突	横方向に調整	
460	2-3　7区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
461	2-3　7区　ⅢB中層最下部	深鉢	胴	RL縦位	隆帯		
462	2-3　7区　ⅢB中層最下部	深鉢	口～胴	LR	沈線・刺突・口唇部に沈線、刺突　横方向に調整	横方向に調整	
463	2-3　ⅢB下層　一括土器	深鉢	口～胴	l	単軸絡条体　煤付着	丁寧な調整(方向不明)	
464	2-3　ⅢB中層最下層	鉢	口～胴		隆帯・沈線・口唇部に斜位刻目		
465	2-3　ⅢB最下層	鉢	口縁		平行沈線・斜位刻目	煤付着	
466	2-3　ⅢB最下層	鉢	口縁	LR横位?(磨滅不明)	雲形文	煤付着	
467	2-3　ⅢB最下層	壺	胴	LR横・縦位	沈線	横方向に調整	
468	2-3　ⅢB最下層	壺?	口縁		沈線・口唇部に沈線で施文		
469	2-3　ⅢB最下層	深鉢?	口縁	LR横位?	沈線・刺突・口唇部に沈線	横方向に調整	

図版No	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
470	2-3～3-4　道路沿崩落土	鉢	口縁		雲形文・口唇部に斜位沈線	沈線	
471	2-3～3-4　道路沿崩落土	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
472	0-4　ⅢB層上部	壺？	胴	LR 横位	沈線		
473	0-4　ⅢB層上部	鉢	口縁		雲形文・口唇部に沈線　磨滅ひどい		
474	0-4　ⅢB層下部(ⅢB層相当？)	鉢？	口縁		沈線		
475	1-4　Ⅲ層(ⅢB層の上の層)	皿	口縁		雲形文・口唇部に縦位刻目　煤付着	煤付着　沈線	
476	1-4　Ⅲ層(ⅢB層の上の層)	深鉢	口縁	RL 横位？	平行沈線・斜位刻目・口唇部沈線	横方向に調整	
477	1-4　Ⅲ層(ⅢB層の上の層)	蓋	つまみ	LR 斜位	沈線・刺突		
478	1-4　ⅢA層上部	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線		
479	1-4　Ⅲ層(ⅢB層の上の層)	深鉢	突起		沈線　下部は孔か	円文	
480	1-4　ⅢA層上部	鉢	口縁		平行沈線・斜位刻目・口唇部沈線	煤付着	
481	1-4　ⅢA層上部	壺	頸		沈線・口唇部沈線　横方向に調整	横方向に調整	
482	1-4　ⅢA層上部	壺	胴	LR 横・縦位	沈線		
483	1-4　C区　灰黄褐色土層	蓋		LR 横・縦位・RL 横位	沈線	横方向に調整	
484	1-4　D区　ⅢB層上半	壺？	胴	RL 横・斜位	沈線・ボタン状突起		
485	1-4　D区　ⅢB層上半	深鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
486	1-4　ⅢB上層	深鉢	胴～底	LR 横位	沈線		
487	1-4　B区　ⅢB中層	台付鉢	台	LR 横位	沈線・底部木葉痕	横方向に調整	
488	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	鉢？	口縁		沈線・縦位刻目・口唇部沈線		
489	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	皿	口縁	LR 横位？	雲形文・口唇部に沈線・斜位刻目	隆帯に LR 横位	
490	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	深鉢	口縁	LR 横位	隆帯・沈線・口唇部Ｓ字状貼付	横方向に調整	
491	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	深鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線	横方向に調整	
492	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
493	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	深鉢	口縁		沈線・刺突		
494	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	鉢	口縁		平行沈線をＳ字状に区切る・隆帯　磨滅		
495	1-4　A区　ⅢB上層　2層　東西ベルト2	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
496	1-4　A区　ⅢB上層　2層	鉢	口縁	LR 横・縦・斜位	沈線	横方向に調整	
497	1-4　A区　ⅢB上層　2層	蓋		LR 横・縦・斜位	沈線・刺突	横方向に調整	
498	1-4　D区　ⅢB上層　2層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突・波状口縁・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
499	1-4東西ベルト3層　上～中層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	煤付着	
500	1-4　A・C区　1-4東西ベルト4層下層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	横方向に調整	横方向に調整	
501	1-4　C区　1-4東西ベルト5層	鉢	口縁		沈線		
502	1-4　C区　1-4東西ベルト5層	鉢	口縁		沈線・刺突		
503	1-4　C区　1-4東西ベルト5層	深鉢	口縁	LR 横位？(磨滅)	山形口縁下に押圧3個　縦にブリッジ状の貼付		
504	1-4　C区　1-4東西ベルト5層	深鉢	胴	LR 横・縦位	沈線	横方向に調整	
505	1-4　C区　1-4東西ベルト5層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	輪積痕	横方向に調整	
506	1-4　ⅢB中層上部　5層	蓋		LR 横・縦位	沈線・刺突		
507	1-4　D区　ⅢB中層　5層下部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
508	1-4　A区　1-4東西ベルト5～8層漸移層	深鉢	胴～底	RL 縦位	底部網代痕		
509	1-4　B区　5層相当	深鉢	口～胴	RL 横・斜位	口縁二重に原体押圧	横方向に調整	
510	1-4　C区　ⅢB中層上部　6層上部	鉢	口～胴	LR 横位？	沈線		
511	1-4　C区　ⅢB中層上部　6層上部	深鉢	口縁		沈線・刺突	円文	
512	1-4　ⅢB中層上部　6層	ミニチュア？	口～底		破損部分、磨いたか		
513	1-4　C区　ⅢB中層上部　6層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	口縁原体押圧　補修孔　煤付着	横方向に調整	
514	1-4　C区　ⅢB中層上部　6層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
515	1-4　C区　ⅢB中層上部　6層上部	深鉢	口～胴	l?	単軸絡条体第1類		
516	1-4　A区　ⅢB中層(炭多)　6層	深鉢	口縁	LR 横位？・口唇部に LR 横位	沈線・口唇部に沈線、刻目	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
517	1-4　A区　ⅢB中層(炭多)　6層	壺	口縁	RL 縦・斜位？	沈線	横方向に調整	
518	1-4　A区　ⅢB中層(炭多)　6層	壺	口～胴	l	沈線・単軸絡条体	横方向に調整	
519	1-4　D区　ⅢB中層　7層	深鉢	口～底	LR 横位	煤付着　横方向で磨り消し(口縁)	横方向に調整	
520	1-4　C区　1-4東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突		
521	1-4　C区　1-4東西ベルト7層	小型鉢	口縁	l	沈線・口縁原体押圧		
522	1-4　C区　1-4東西ベルト7層	壺	口～胴	LR 横・縦・斜位	沈線	横方向に調整	
523	1-4　C区　1-4東西ベルト7層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁		
524	1-4　C区　1-4東西ベルト7層	深鉢	口～底	l	沈線・刺突・口縁縦位刻目・波状口縁8単位・単軸絡条体　丁寧な調整		
525	1-4　C区　8層上部	鉢	口～胴	LR 横・縦位	沈線　横方向に調整	横方向に調整	
526	1-4　C区　1-4東西ベルト8層	鉢	口～胴	RL 横位	沈線	横方向に調整	
527	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		沈線		
528	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		沈線		
529	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
530	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		沈線・隆帯・口縁貼付		
531	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
532	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		No.531と同一個体　沈線・刺突		
533	1-4　D区　東西ベルト8層	蓋		r?	LR 横位の上から単軸絡条体第1類・沈線	横方向に調整	
534	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
535	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		沈線・単軸絡条体？(磨滅)	横方向に調整	
536	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	胴		沈線		
537	1-4　D区　東西ベルト8層	深鉢	口縁	LR 縦位	沈線・波状口縁		
538	1-4　D区　東西ベルト8層	小型壺？	胴		沈線		
539	1-4　D区　東西ベルト9層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体		
540	1-4　D区　東西ベルト9層	深鉢	口縁	l?(磨滅不明)	沈線・単軸絡条体		
541	1-4　1-4　A・C区　東西ベルト10層	台付鉢	台		3単位で無文		
542	1-4　1-4　A・C区　東西ベルト10層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
543	1-4　1-4東西ベルト96　6層	深鉢	胴	RL 横位	沈線		
544	1-4　1-4東西ベルト96　6層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
545	1-4　1-4東西ベルト96　10層	深鉢	口縁	l・r 不明	沈線・刺突・単軸絡条体第1類		
546	1-4　1-4東西ベルト96　10層	深鉢	口縁	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
547	1-4　土墓　16層	鉢	口縁	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整	
548	1-4　土墓　16層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線		
549	1-4　土墓　16層	鉢	口縁		沈線		
550	1-4　土墓　16層	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体	円文	
551	1-4　土墓　16層	鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
552	1-4　土墓　16層	深鉢	口～胴	l	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
553	1-4　CD区　クリーニング時	深鉢	口～胴		沈線・波状口縁	撚糸状の調整痕？	
554	1-4　AC区　クリーニング時	ミニチュア鉢	口縁		沈線	指紋　黒色物付着	
555	1-4　CD区　クリーニング時　炭化物焼土廃棄面	深鉢	口縁	LR 縦・斜位	沈線	横方向に調整	
556	1-4　CD区　クリーニング時　炭化物焼土廃棄面	深鉢	口～胴	l	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
557	1-4　B区　f.c.5.14 の1層	深鉢	口縁	LR 横位？	沈線・刺突	横方向に調整　煤付着	
558	1-4　B区　f.c.5.14 の1層	深鉢	口縁		No.531と同一個体　沈線・刺突		
559	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁		沈線・刺突　取手が取れた跡		
560	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	LR 縦位	沈線	横方向に調整	
561	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁		S字状沈線・波状口縁		
562	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	LR 斜位？	鎖状隆帯・沈線		
563	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層　C・D区　クリーニング時	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
564	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	l	単軸絡条体第1類　剝落	横方向に調整	
565	1-4　B区　f.c.5.14　2・3 層・最下層	深鉢	口～胴	l	単軸絡条体・波状口縁・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
566	1-4　B区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	胴	l・r 不明	沈線・単軸絡条体　磨滅		
567	1-4　A区　f.c.5.14 の2～4層	小型壺？	口～底		無文		
568	1-4　A区　f.c.5.14 の4層(最下層)	小型壺？	完形		無文・底部木葉痕	横方向に調整	
569	1-4　f.c.5.14 の4層(最下層)	深鉢	口縁	r・l 不明	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
570	1-4　A区　最下層の上(炭多)最下層を含む	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
571	1-4　最下層	深鉢	口縁	l	沈線・単軸絡条体第1類　横方向に調整	横方向に調整	
572	1-4　最下層	深鉢	口縁		S字状沈線・波状口縁		
573	1-4　A区　最下層(一括)	深鉢	口～胴	r・l 不明	沈線・単軸絡条体第1類		
574	2-4　表土Ⅰ層　褐色土	蓋		LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
575	2-4　ⅢA層	注口	胴		雲形文　朱付着	横方向に調整	
576	2-4　ⅢA層上部	浅鉢？	口縁		口縁部突起　隆帯のX字文		
577	2-4　ⅢA層上部	壺？	胴		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
578	2-4　ⅢA層上部	壺？	胴		雲形文		
579	2-4　ⅢA層上部	鉢	口縁	RL 横位	雲形文	煤付着	
580	2-4　ⅢA層上部　地山粘土ブロック多量層	鉢	口縁	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
581	2-4　ⅢA層上部　地山粘土ブロック多量層	鉢	口縁		雲形文・口縁縦位刻目・口唇部沈線	内外面朱付着	
582	2-4　A区　ⅢA層④	皿	口～胴	RL・LR	平行沈線・縦位刻目・羽状	横・縦方向に調整	
583	2-4　A区　ⅢA層④	壺	口縁	LR 横位	平行沈線・列点	横方向に調整	
584	2-4　A区　ⅢA層④	注口	胴		入組文		
585	2-4　ⅢA層⑥	注口	胴	LR 横位	平行沈線	横方向に調整	
586	2-4　ⅢA層⑥	鉢	口～胴	RL 横位	雲形文　煤付着	煤付着	
587	2-4　ⅢA層⑥	皿	口縁	LR 横位	雲形文		
588	2-4　A区　ⅢA層⑦	深鉢	口～胴	LR 横位・r	平行沈線・結節縄文Z字状　煤付着	横方向に調整	
589	2-4　A区　ⅢA層⑦	深鉢	口縁	LR 横位	クランク状羊歯状文　煤付着		
590	2-4　A区　ⅢA層⑦	鉢	口縁		平行沈線・雲形文	横方向に調整	
591	2-4　A区　ⅢA層⑧	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・口唇部縦位刻目・雲形文		
592	2-4　A区　ⅢA層⑧	深鉢	口縁	l・r	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁		
593	2-4　D区　ⅢA灰黄褐色土層	鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線・縦位刻目・羽状　煤付着	横方向に調整　煤付着	
594	2-4　D区　ⅢA灰黄褐色土層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
595	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	深鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
596	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・縦位刻目	煤付着	
597	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	皿	口縁	LR 横位	沈線・雲形文		
598	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・右肩に円文・波状口縁	横方向に調整	
599	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
600	2-4　B区　ⅢA・ⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・竹管文	横方向に調整　煤付着	
601	2-4　A区　ⅢA下部	鉢	口縁	LR 横位	平行沈線　磨滅		
602	2-4　A区　ⅢA下部	皿	口～胴		雲形文・口唇部沈線	沈線　横方向に調整	
603	2-4　A区　ⅢA下部	皿	胴	LR 横位？	雲形文	横方向に調整	
604	2-4　A区　ⅢA下部	壺	口～胴	LR 横位	横方向に調整	横方向に調整	
605	2-4　B区　地山廃棄ブロック　2-4　No.1	深鉢	胴	LR 斜位	S字状沈線		
606	2-4　B区　地山廃棄ブロック　2-4　No.1	深鉢	胴	LR・RL 横位？	沈線		
607	2-4　B区　ⅢB上部	鉢	口～胴	RL・LR	平行沈線・縦位刻目・羽状結束第1種	縦・横方向に調整	
608	2-4　B区　ⅢB上部	深鉢	口～胴	LR 横・縦位	平行沈線・刺突	横方向に調整	
609	2-4　B区　ⅢB上部	脚付鉢？	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
610	2-4　ⅢB上層　2-4　ⅢB中層	鉢	口～底	LR 横位	底部木葉痕・波状口縁4単位	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
611	2-4　ⅢＢ上層	深鉢	胴	LR 横・縦位	沈線・刺突	横方向に調整	
612	2-4　ⅢＢ上層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
613	2-4　ⅢＢ上層	深鉢	口～底	RL 横位	口縁部原体押圧　横方向に調整	横方向に調整	
614	2-4　ⅢＢ上層上部	壺	口～胴	LR 横位	横方向に調整	横方向に調整	
615	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層上部	壺	胴	RL 横位	雲形文		
616	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層上部	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線・Ｓ字状に区切る	横方向に調整	
617	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層上部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
618	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	鉢	口縁	LR 横位		横方向に調整	
619	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	蓋？		LR 斜位	沈線	横方向に調整	
620	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	鉢	口縁	LR 横位		横方向に調整	
621	2-4　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	深鉢？	口縁	LR 斜位	鎖状隆帯	横方向に調整	
622	2-4　ⅢＢ上層下部	小型鉢	完形		無文		
623	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　2-6　ⅢＢ中層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・波状口縁　煤付着	横方向に調整	
624	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
625	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層	蓋			沈線・竹管文		
626	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層	深鉢	胴	LR 斜位	沈線・竹管文	横方向に調整	
627	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層	蓋		LR 横位	つまみ破損・沈線	横方向に調整	
628	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層上部	深鉢	口～胴	RL 縦位	沈線・刺突・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
629	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
630	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層上部	鉢	口縁	r?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類		
631	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層上部	深鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
632	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層上部	深鉢	口縁		沈線・刺突・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
633	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層(炭多ブロック)	深鉢	口縁	l?	沈線・ボタン状貼付・単軸絡条体第1類		
634	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層(炭多ブロック)	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
635	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	蓋		LR 横位	沈線	横方向に調整	
636	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	口縁	l	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
637	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	胴	r 開端部ほどけている？	沈線・単軸絡条体第1類		
638	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
639	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
640	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	口縁	LR 横・斜位	波状口縁		
641	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
642	2-4 ⅢＢ中層下部 1-4 CD区 クリーニング 焼土1面　2-4 ⅢＢ下層最下部　1-5 AB区　最下層上(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突・口縁貼付・波状口縁7単位	横方向に調整	
643	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層最下層	小型鉢	口～底		無文・底部木葉痕	横方向に調整	
644	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
645	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	壺	胴		沈線	横方向に調整	
646	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
647	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	壺	胴	RL 縦・横位	沈線	横方向に調整	
648	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	口～胴	LR 横・縦位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
649	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	口縁		沈線・ボタン状貼付・刺突		
650	2-4　Ｂ区　ⅢＢ中層最下部	蓋		LR 横位？(磨滅不明)	沈線		
651	2-4　Ａ区　ⅢＢ中層最下部(炭多)　1-4　7層・8層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
652	2-4　Ｂ区　10YR5/6 黄褐色粘土層直下のⅢＢ中層類似層	深鉢	口～胴	r 開端部ほどけている？	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
653	2-4　Ａ区　ⅢＢ下層上部	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
654	2-4　Ａ区　ⅢＢ下層上部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	煤付着	
655	2-4　Ａ区　ⅢＢ下層上部	深鉢	胴	LR 横・縦位	沈線		
656	2-4　Ｂ区　ⅢＢ下層最下部	深鉢	口縁	l・r 不明	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁　補修孔	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
657	2-4　B区　ⅢB下層最下部	壺？	胴～底		沈線　朱付着		
658	2-4　B区　ⅢB下層最下部	深鉢	胴	l	沈線・単軸絡条体第1類		
659	2-4　B区　ⅢB下層最下部	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類		
660	2-4　1-4東西ベルト①層	皿？	胴	RL 横位？	沈線・縦位刻目　磨滅	横方向に調整	
661	2-4　1-4東西ベルト2層	蓋			沈線		
662	2-4　AC区　1-4東西ベルト③層	深鉢	口～胴	RL 横位	縦位刻目　横方向に調整	横方向に調整	
663	2-4　AC区　1-4東西ベルト③層	深鉢	口縁	RL 横位	口唇部縦位刻目・波状口縁	沈線	
664	2-4　1-4東西ベルト3層下層	深鉢	口～胴	RL 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
665	2-4　1-4東西ベルト3層下層	台付鉢？	台		雲形文	横方向に調整	
666	2-4　1-4東西ベルト4層	深鉢	胴	RL 斜位	沈線	横方向に調整	
667	2-4　1-4東西ベルト4層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
668	2-4　1-4東西ベルト4層	深鉢	口縁	r?	鎖状隆帯・単軸絡条体第1類		
669	2-4　AC区　1-4東西ベルト5層	深鉢	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
670	2-4　AC区　1-4東西ベルト5層	深鉢	胴	LR 横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
671	2-4　AC区　1-4東西ベルト5層	蓋	胴	LR 横位	口縁部つまみ欠損　つまみと体部別造り	つまみ部分指調整	
672	2-4　1-4東西ベルト5～8層漸移層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	口縁部原体押圧	横方向に調整	
673	2-4　1-4東西ベルト5～8層漸移層	台付鉢	台	LR 斜位	底部木葉痕	横方向に調整	
674	2-4　1-4東西ベルト5～8層漸移層	深鉢	口～胴	LR 横位	横方向に調整	横方向に調整	
675	2-4　AC区　1-4東西ベルト5～8層漸移層	壺	胴		沈線	横方向に調整	
676	2-4　A区　1-4東西ベルト5～8層漸移層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
677	2-4　A区　1-4東西ベルト5～8層漸移層	鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
678	2-4　A区　1-4東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
679	2-4　A区　1-4東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突		
680	2-4　C区　7層(炭多)	鉢	口～胴	r・l 不明	沈線・刺突・単軸絡条体第1類・底部木葉痕	横方向に調整	
681	2-4　A区　1-4東西ベルト8層	深鉢	口縁	r	単軸絡条体第1類　横方向に調整	横方向に調整	
682	2-4　A区　1-4東西ベルト8層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
683	2-4　A区　1-4東西ベルト　1-3　C・D区　最下部	台付鉢	台		3単位で孔　横方向に調整　無文		
684	2-4　1-4東西ベルト　クリーニング時	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
685	0-5　ⅢB層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・刺突・取手・磨滅		
686	0-5　ⅢB層	深鉢	突起		3方向から刺突	ボタン状貼り付け　孔	
687	0-5　C区　ⅢB下層(黒色部含)	深鉢	口～胴	l?	S字状沈線・単軸絡条体第1類・口唇部沈線	横方向に調整	
688	0-5　最下層　1-5　AB区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	小型深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・隆帯・刺突・取手(人面表現？)		
689	1-5　Ⅲ層上面	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
690	1-5　Ⅲ層上面	深鉢	口縁		三叉文		
691	1-5　Ⅲ層上面	深鉢	口縁		鎖状隆帯・ボタン状貼付・波状口縁		
692	1-5　Ⅲ層上面	深鉢	口縁	LR 横位？	磨滅		
693	1-5　ⅢA層最上部	皿	口縁	LR 横位	直線状羊歯状文	沈線	
694	1-5　ⅢA層最上部	深鉢	口縁	LR・RL 横位	三叉文		
695	1-5　ⅢA層最上部	深鉢	突起		沈線　上部に孔　無文		
696	1-5　ⅢA層	深鉢	口縁	RL 横位	クランク状羊歯状文	横方向に調整	
697	1-5　c・d区　ⅢA層下部	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
698	1-5　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL・LR	沈線・羽状	横方向に調整	
699	1-5　D区　ⅢB上層	深鉢	突起		沈線・刺突・側面に沈線		
700	1-5　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		S字状隆帯・沈線・波状口縁		
701	1-5　1-5東西ベルト2層上部	注口	注口		下部にボタン状貼付		
702	1-5　1-5東西ベルト2層上部	深鉢	口縁	LR 横位	隆帯	沈線　横方向に調整	
703	1-5　1-5東西ベルト2層	深鉢	口縁	RL 横位	直線状羊歯状文		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
704	1-5　1-5東西ベルト2層	深鉢	突起		隆帯		
705	1-5　1-5東西ベルト2層	深鉢	口縁		No.702と同一個体　突起は剝落	横方向に調整	
706	1-5　1-5東西ベルト3層中部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
707	1-5　1-5東西ベルト3層中部	深鉢	口縁		沈線　地文は磨滅不明		
708	1-5　1-5東西ベルト3層中部	深鉢	口縁	RL 横位？	沈線　横方向に調整		
709	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	深鉢	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
710	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・口唇部斜位沈線	横方向に調整	
711	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	鉢	口～胴		沈線・刺突	横方向に調整	
712	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層　2-6　1-6東西ベルト　焼土集中区	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突・波状口縁	横方向に調整	
713	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口縁	LR 横方向		横方向に調整	
714	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線　煤付着	横方向に調整	
715	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口縁		波状口縁　横方向に調整	横方向に調整	
716	1-5　1-5東西ベルト5層上部	蓋		LR 横・縦位	沈線・刺突	縦・横方向に調整	
717	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・波状口縁4単位　横方向に調整	横方向に調整	
718	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
719	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	鉢	口～胴		平行沈線・S字状に区切る	横方向に調整	
720	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
721	1-5東西ベルト5層中部	深鉢	口縁	RL 横位	羊歯状文　煤付着	横方向に調整	
722	1-5東西ベルト5層中部	深鉢	口～胴		沈線・刺突　煤付着	横方向に調整	
723	1-5東西ベルト5層中部	壺	口～胴	RL 横・LR 横・r	一部単軸絡条体第1類	横方向に調整	
724	1-5　1-5東西ベルト5層中部	小型深鉢	口～胴	LR 横・斜位	緩やかな山形口縁・無文	横方向に調整	
725	1-5　1-5東西ベルト5層中部	深鉢	口縁	l	鎖状隆帯・単軸絡条体第1類・波状口縁		
726	1-5　1-5東西ベルト5層中部	深鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
727	1-5　1-5東西ベルト5層下部	小型深鉢	口～底	LR 縦・横位	口縁部原体押圧・木葉痕	横方向に調整	
728	1-5　1-5東西ベルト5層下部	深鉢	口～底	LR 縦位	鎖状隆帯・沈線・刺突	横方向に調整	
729	1-5　1-5東西ベルト5層下部	鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
730	1-5　1-5東西ベルト6層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
731	1-5　1-5東西ベルト6層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
732	1-5　1-5東西ベルト6層	蓋		LR 横・斜位	沈線		
733	1-5　1-5東西ベルト6層(炭多)	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
734	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	壺	口～胴	LR 横・斜位	口縁部原体押圧	横方向に調整	
735	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
736	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	口縁	r	隆帯・単軸絡条体第1類		
737	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	胴		隆帯　取手が取れた跡？		
738	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	口縁		沈線		
739	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	口縁		隆帯・刺突		
740	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	口縁		鎖状隆帯・沈線		
741	1-5　A区　1-4南北ベルト96　10層(炭多)	深鉢	口縁		隆帯・刺突・波状口縁	横方向に調整	
742	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
743	1-5　B区　1-4南北ベルト96　10層相当	深鉢	口縁	r	S字状沈線・口唇部沈線・単軸絡条体第1類	円文　横方向に調整	
744	1-5　B区　1-4南北ベルト96　10層相当	深鉢	口～胴	r	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
745	1-5　B区　1-4南北ベルト96　10層相当	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
746	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
747	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴		沈線		
748	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体	円文　横方向に調整	
749	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
750	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁		貼付　外面・上部にくぼみ		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
751	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	r	S字状沈線・右肩に刻目・単軸絡条体第1類		
752	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
753	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
754	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
755	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	胴	RL 横位？	沈線・隆帯・刺突	横方向に調整	
756	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	l 横・斜位	口縁部横方向に磨り消し	横方向に調整	
757	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	突起	LR 縦位？	口唇部に刺突・沈線		
758	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	突起	LR 横位	沈線	横方向に調整	
759	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口縁		外面にくぼみ	横方向に調整	
760	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	口～胴	LR 斜位	沈線	横・斜方向に調整	
761	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	胴	l	沈線・単軸絡条体第1類		
762	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層	小型深鉢	口～底	LR 横位	口縁部原体押圧・底部木葉痕　煤付着		
763	1-5　A区　f.c.5.14 の2・3層　1-4南北ベルト10層(一括)	注口	口～底	LR 横位	沈線・波状口縁4単位	横方向に調整	
764	1-5　D区　f.c.5.14 の2・3層(炭多)	壺	口～胴	l?	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類　横方向に調整	横方向に調整	
765	1-5　B区　1-6東西ベルト1層相当	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線　煤付着		
766	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	壺	胴		入組文		
767	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	口縁		沈線・刺突　ひどく磨滅		
768	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	口～胴	l・r 不明	S字状沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
769	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	突起		沈線　上部にくぼみ	横方向に調整	
770	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	突起		沈線・刺突・取手破損・口唇部刻目	横方向に調整	
771	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類・隆帯	横方向に調整	
772	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・隆帯		
773	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	胴	r	沈線・短沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
774	1-5　B区　1-6東西ベルトA1層相当	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
775	1-5　最下層	深鉢	口縁	RL 横位	鎖状隆帯・沈線・口唇部沈線		
776	1-5　最下層	深鉢	口縁	l	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
777	1-5　最下層(炭化物7～10%散在)	深鉢	胴		沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
778	1-5　最下層(炭化物5%散在)	鉢	胴～底	LR 横位	沈線・底部無文	横方向に調整	
779	1-5　最下層(炭化物5%散在)	深鉢	口～胴	l	沈線・単軸絡条体第1類・刺突	横方向に調整	
780	1-5　最下層(炭多)	深鉢	口～底	LR 横位	隆帯・刺突・沈線・波状口縁6単位・底部網代痕	横方向に調整	
781	1-5　D区　最下層(炭化物5%散在)	壺	口～胴	l・r 不明	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
782	1-5　D区　最下層(炭化物5%散在)	深鉢	口～胴	LR 横・縦・斜位	横方向に調整	横・斜方向に調整	
783	1-5　1-5東西ベルト7層～4号焼土遺構　クリーニング時	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整　剝落	
784	1-5　1-5東西ベルト7層～4号焼土遺構　クリーニング時	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・縦位刻目・口唇部沈線	沈線　横方向に調整	
785	2-5　表土Ⅰ層	鉢？	口～胴	LR 横位	口唇部平行沈線・縦位刻目	横方向に調整	
786	2-5　ⅢA上部	深鉢	口～胴	RL・LR	平行沈線・短沈線・羽状	横方向に調整	
787	2-5　ⅢA上部	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
788	2-5　ⅢA上部	壺	口縁		平行沈線・列点文・口唇部沈線	煤付着	
789	2-5　ⅢA上部	鉢	口～胴	RL・LR	直線状羊歯状文・羽状	縦・横方向に調整	
790	2-5　ⅢA上部	壺	胴		入組文・平行沈線・列点文	横方向に調整	
791	2-5　ⅢA上部	注口	胴		羊歯状文	横方向に調整	
792	2-5　ⅢA上部	皿	口縁	LR 横位	口縁連続B突起		
793	2-5　ⅢA上部	深鉢	口縁		入組帯状文・波状口縁		
794	2-5　ⅢA上部	台付皿	口縁		平行沈線	横方向に調整	
795	2-5　ⅢA上部	鉢	口縁		雲形文	口唇部に縦位刻目	
796	2-5　B区　ⅢA層④	深鉢	口縁	LR 横位	羊歯状文		
797	2-5　B区　ⅢA層④	皿	口～胴		歯列状羊歯状文	縦方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
798	2-5　B区　IIIA層④	皿	口～胴		直線状羊歯状文	口唇部に沈線	
799	2-5　B区　IIIA層④	小型皿	口～底		沈線		
800	2-5　A区　IIIA層⑥	注口？	頸？		羊歯状文	横方向に調整	
801	2-5　A区　IIIA層⑥	皿	口～胴	LR・RL 横位	羊歯状文	丁寧な調整	
802	2-5　A区　IIIA層⑥	鉢	口縁	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
803	2-5　A区　IIIA層⑥	皿	口～胴		沈線		
804	2-5　A区　IIIA層⑥	深鉢	口縁	LR 横位	入組帯状文・口縁部貼付	横方向に調整	
805	2-5　A区　IIIA層⑥	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線をS字状に区切る		
806	2-5　IIIA層⑦	小型皿	口～胴		無文		
807	2-5　A区　IIIA層⑦	皿	口～胴		入組文	口縁部に平行沈線・縦位刻目	
808	2-5　A区　IIIA層⑦	注口？	胴	LR 横位	雲形文？		
809	2-5　A区　IIIA層⑦	深鉢	口縁	RL 横位	羊歯状文		
810	2-5　IIIA層下部焼土周辺	小型鉢	口～底	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
811	2-5　IIIA層⑧	鉢	口縁	LR 横位	クランク状羊歯状文　補修孔	縦・横方向に調整	
812	2-5　IIIB層上部	深鉢	口～胴	LR・RL・1	羽状・結節縄文Z字状	横方向に調整	
813	2-5　1-5東西ベルト2層上部～中部	鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
814	2-5　1-5東西ベルト2層上部～中部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線　横方向に調整	横方向に調整	
815	2-5　1-5東西ベルト2層上部～中部	深鉢	口縁		沈線・刺突	口唇部に沈線	
816	2-5　1-5東西ベルト2層上部～中部	皿	口～胴	LR 横位	雲形文	口縁部に沈線　横方向に調整	
817	2-5　1-5東西ベルト2層中部	深鉢	口縁		平行沈線・縦位刻目・波状口縁	横方向に調整	
818	2-5　1-5東西ベルト2層中部	深鉢	口縁		羊歯状文・波状口縁		
819	2-5　1-5東西ベルト2層中部	鉢	口縁		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
820	2-5　1-5東西ベルト2層中部	壺	胴		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
821	2-5　1-5東西ベルト2層中部	鉢？	口～胴	LR 横位	入組文	横・斜方向に調整	
822	2-5　2層中炭多(東西ベルト2層中)	鉢？	口縁	LR 横位	雲形文		
823	2-5　2層中炭多(東西ベルト2層中)	鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文		
824	2-5　1-5東西ベルト2層中部	注口	胴		羊歯状文	横方向に調整	
825	2-4　1-5東西ベルト2層中部	鉢	口縁	LR 横位	沈線		
826	2-4　1-5東西ベルト2層中部	壺	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
827	2-4　1-5東西ベルト2層中部	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・黒色付着物	黒色付着物　突起	
828	2-4　1-5東西ベルト2層中部	深鉢	口縁	LR 横位	口唇部に突起	口唇部貼り付け	
829	2-4　1-5東西ベルト2層中部	深鉢	口縁		沈線		
830	2-4　1-5東西ベルト2層中部	壺	頸～胴	RL 横・斜位	沈線	横方向に調整	
831	2-4　1-5東西ベルト2層中部	鉢	口～底	RL・LR 横位	羽状	縦方向に調整	
832	2-4　1-5東西ベルト2層中部	蓋		LR 横位	沈線・刺突		
833	2-5　1-5東西ベルト2層(炭多)　2-6　1-6東西ベルトB7層	蓋			No.332と同一個体	横方向に調整	
834	2-5　1-5東西ベルト2層(炭多)　2-6　1-6東西ベルトB7層	蓋			No.332と同一個体	横方向に調整	
835	2-5　1-5東西ベルト2層(炭多)　2-6　1-6東西ベルトB7層	蓋			No.332と同一個体	横方向に調整	
836	2-5　1-5東西ベルト2層(炭多)　2-6　1-6東西ベルトB7層	鉢	口～胴	LR 横・斜位	クランク状羊歯状文・入組文	横方向に調整	
837	2-5　1-5東西ベルト3層下部	小型鉢	口～底	LR 横位	沈線	横方向に調整	
838	2-5　1-5東西ベルト3層下部	深鉢	突起		鎖状隆帯　横方向に調整	刺突　横方向に調整	
839	2-5　1-5東西ベルト3層下部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
840	2-5　1-5東西ベルト3層下部	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
841	2-5　1-5東西ベルト3層下部	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
842	2-5　1-5東西ベルト3層下部	深鉢	口～胴	RL 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
843	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突・黒色付着物	横方向に調整	
844	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
845	1-5～2-5　1-5東西ベルト4層	鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
846	2-5　1-5東西ベルト5層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線・刺突	横方向に調整	
847	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	蓋		RL 横・斜位	沈線・刺突		
848	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	深鉢	口縁	r	隆帯・刺突・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
849	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	台付鉢？	台	LR 横・斜位	沈線・刺突		
850	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	鉢	口～胴	LR 斜位	沈線・隆帯・刺突	横方向に調整	
851	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	小型壺？	口～底		沈線・刺突　縦方向に調整	横方向に調整	
852	2-5　1-5東西ベルト5層(中～下層)	深鉢	口縁	LR 縦位	沈線・刺突	横方向に調整	
853	2-5　1-5東西ベルト5層	壺？	胴	r?	沈線・ボタン状貼付・単軸絡条体第1類		
854	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部(炭多)	深鉢	口縁		竹管文・口唇部沈線	沈線	
855	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部(炭多)	蓋		LR 横位	沈線	横方向に調整	
856	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部(炭多)	深鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線・竹管文	横方向に調整	
857	2-5　Ｄ区　1-5東西ベルト中～下部(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・波状口縁6単位　横方向に調整	横方向に調整	
858	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
859	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部	蓋		LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
860	2-5　ＡＣ区　1-5東西ベルト5層中～下部	蓋	口～胴	LR 横位	沈線	煤付着　横方向に調整	
861	2-5　1-5東西ベルト6層焼土面炭化物集中層	蓋		LR 横位	沈線・刺突　縦方向に調整		
862	2-5　1-5東西ベルト6層焼土面炭化物集中層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線　煤付着	横方向に調整	
863	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁		沈線		
864	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
865	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口～胴	LR 横位	No.864と同一個体　沈線・刺突	横方向に調整	
866	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁	r	沈線・刺突・単軸絡条体第1類・波状口縁	横方向に調整	
867	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
868	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口～底	LR 横位？	沈線・底部網代痕？(磨滅ひどい)		
869	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
870	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口～胴	r	刺突・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
871	2-5　1-5東西ベルト7層	台付鉢	口～台		無文・波状口縁　横方向に調整	横方向に調整	
872	2-5　1-5東西ベルト7層	鉢	胴	LR 横位	沈線	沈線	
873	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
874	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・沈線・刺突	横方向に調整	
875	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
876	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	隆帯・沈線・刺突		
877	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・刺突		
878	2-5　1-5東西ベルト7層	ミニチュア台付鉢	口～台	l?	単軸絡条体第1類		
879	2-5　1-5東西ベルト7層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類　横方向に調整	横方向に調整	
880	2-5　最下層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
881	3-4　灰褐色土	浅鉢？	突起	LR 横・斜位	沈線		
882	3-5　道路沿崩落土	壺	頸～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
883	0-6　表土Ⅰ～Ⅲ層最下部	深鉢	口～胴	l	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
884	0-6　表土Ⅰ～Ⅲ層最下部	深鉢	口縁		取手・沈線		
885	0-6　Ａ区　ⅢＢ層下半	鉢	口縁		隆帯・沈線・刺突		
886	0-6　Ａ区　ⅢＢ層下半	深鉢	口～胴		隆帯・刺突・沈線	沈線・刺突	
887	0-6　ⅢＢ層下半	深鉢	口～胴	RL 横位	隆帯・沈線・波状口縁		
888	0-6　ⅢＢ下半	深鉢	口～胴		No.886と同一個体　隆帯・刺突・沈線		
889	0-6　Ｂ区　ⅢＢ層下半	深鉢	口～胴	l	Ｓ字状沈線・単軸絡条体・波状口縁		
890	1-6　Ｃ区　ⅢＡ層上部	注口	胴		羊歯状文	横方向に調整	
891	1-6　Ｃ区　ⅢＡ層上部	鉢	口～胴	LR・RL	歯列状羊歯状文・羽状	煤付着	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
892	1-6　D区　ⅢA層　地山粘土廃棄ブロックNo.1下	深鉢	口～胴	LR・RL	連鎖状羊歯状文・羽状		
893	1-6　AC区　ⅢB上層	壺？	胴	LR・RL	雲形文？・羽状	横方向に調整	
894	1-6　AC区　ⅢB上層	鉢	口～胴	LR横位	三叉文		
895	1-6　D区　ⅢB層上半	鉢	口縁	RL横位		横方向に調整	
896	1-6　AC区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL横位	沈線・刺突	沈線	
897	1-6　AC区　ⅢB上層	深鉢	口縁		沈線・口唇部に沈線	口縁部に沈線	
898	1-6　C区　ⅢB中層上部	蓋		LR横位	沈線		
899	1-6　C区　ⅢB中層上部	深鉢	口縁	LR縦位	沈線	横方向に調整	
900	1-6　C区　ⅢB中層(炭多)	台付鉢	台		3単位で孔　無文	横方向に調整	
901	1-6　C区　ⅢB下層	深鉢	口～胴	RL横位	沈線	横方向に調整	
902	1-6　C区　ⅢB下層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
903	1-6　ⅢB下層上部A区上半	壺	口縁		沈線・刺突	煤付着	
904	1-6　ⅢB下層上部A区上半	蓋		LR横位？(磨滅)	沈線		
905	1-6　ⅢB下層上部A区上半	鉢	口縁		口縁部に縦位刻目・口唇部に沈線		
906	1-6　C区 ⅢB下層中部 1-6 A区 ⅢB下層上面 C区 ⅢB下層下部	鉢	口～胴	r?	沈線・短沈線・単軸絡条体第1類		
907	1-6　A区　ⅢB下層下部下半中の黄褐色土(炭)	深鉢	口縁	口縁部LR横位？	沈線		
908	1-6　D区　ⅢB下層下部	壺？	胴	LR横・斜位	入組文　朱付着	横方向に調整	
909	1-6　C区　ⅢB下層下部上半	深鉢	口～胴		沈線　原体磨滅不明	横方向に調整	
910	1-6　ⅢB下層上部A区上半	深鉢	口縁		表面剝落	ミガキ	
911	1-6　C区　ⅢB下層下部下半	深鉢	口縁	r	鎖状隆帯・口唇部に刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
912	1-6　C区　ⅢB下層下部下半	深鉢	口～胴		沈線・刺突・横方向に調整	横方向に調整	
913	1-6　C区　ⅢB下層下部下半	深鉢	口～胴	RL横位	沈線・刺突		
914	1-6　A区　ⅢB下層部下半	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
915	1-6　C区　ⅢB下層下部下半	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類　横方向に調整	横方向に調整	
916	1-6　C区　ⅢB下層下部下半	蓋		LR横位	沈線		
917	1-6　1-6東西ベルトA1層	深鉢	口縁		クランク状羊歯状文		
918	1-6　1-6東西ベルトA1層	小型壺？	口～胴	LR横位	雲形文		
919	1-6　1-6東西ベルトA1層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
920	1-6～2-6　1-6東西ベルトA2層	深鉢	口縁		羊歯状文　磨滅不明	丁寧な調整	
921	1-6～2-6　1-6東西ベルトA2層	深鉢	口～胴	RL・LR	羊歯状文・羽状	横方向に調整	
922	1-6～2-6　1-6東西ベルトA2層	壺	頸～胴		羊歯状文　朱付着	朱付着	
923	2-6　道路沿木根　1-6東西ベルトA2層	鉢	口～底	LR横位	底部網代痕	横方向に調整	
924	1-6　AC区　1-6東西ベルト3層上部	深鉢	口縁	LR縦位	羊歯状文		
925	1-6　B　3層上部の3層中～下部	深鉢	突起		最大級のサイズ　全面ミガキ	中央にくぼみ	
926	1-6　AC区　1-6東西ベルト3層上部	深鉢	口縁	LR横位？	沈線・刺突	横方向に調整	
927	1-6　AC区　1-6東西ベルト3層上部	深鉢	口縁	LR斜位	沈線・竹管文	横方向に調整	
928	1-6東西ベルトA3層中部	鉢	胴		沈線		
929	1-6　A区　1-6東西ベルト3層中部	小型片口壺	ほぼ完形		無文	朱付着	
930	1-6　C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	壺	胴	LR横位	クランク状羊歯状文		
931	1-6東西ベルト3層中部	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整　剝落	
932	1-6東西ベルト3層中部	深鉢	口～胴	LR横位	平行沈線をS字状に区切る		
933	1-6　C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルトA3層(炭多)	深鉢	口縁	LR縦・斜位？	沈線	横方向に調整	
934	1-6　C区　1-6東西ベルト3層中(炭多)	壺？	口～胴	r?	隆帯に縦位刻目・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
935	1-6 C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルトA3層(炭多)	蓋		RL横・斜位	沈線		
936	1-6 C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	壺	頸～胴	r	沈線　朱付着	横方向に調整	
937	1-6 C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	深鉢	口～胴	RL横・LR斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
938	1-6 C区 1-5 D区 2-6 A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	深鉢	胴	LR横・斜位・RL横位	沈線	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
939	1-6　C区 1-5　D区 2-6　A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	蓋	つまみ	r	単軸絡条体第1類		
940	1-6　C区 1-5　D区 2-6　A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	台付鉢	口～台	LR 横位	波状口縁4単位・口縁部原体押圧	横方向に調整	
941	1-6　C区 1-5　D区 2-6　A区 1-6東西ベルト3層中(炭多)	小型深鉢	口～底	l?(磨滅)	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
942	1-6　ＢＤ区　3層	蓋		LR 横位	沈線・竹管文		
943	1-6　ＡＣ区　1-6東西ベルト3層下部	深鉢	口縁		沈線・刺突		
944	1-6　Ａ区　1-6東西ベルトＡ3層下部一括	深鉢	口～胴		沈線		
945	1-6　ＡＣ区　1-6東西ベルト3層下部	鉢	口～胴	LR 縦・横位？	沈線	横方向に調整	
946	1-6東西ベルトＡ4層(炭多)	深鉢	胴	LR 横・縦・斜位	沈線	横方向に調整	
947	1-6東西ベルトＡ4層(炭多)	深鉢	胴	r	沈線・竹管文・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
948	1-6東西ベルトＡ(1-6～2-6)4層(炭多)	蓋			無文　横方向に調整		
949	1-6東西ベルトＡ4層(炭多)	片口壺？	頸	RL 横位	沈線	横方向に調整	
950	1-6　Ｄ区　1-6東西ベルトＡ5層下部	台付鉢	台	LR 横位	沈線	横方向に調整	
951	1-6　Ｄ区　1-6東西ベルトＡ5層下部	深鉢	突起		沈線・刺突	沈線	
952	1-6　Ａ区　1-6東西ベルトＡ6層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁		羊歯状文　磨滅して原体不明		
953	1-6　Ａ区　1-6東西ベルトＡ6層(炭化物7～10%散在)	皿？	口縁		雲形文　原体不明		
954	1-6　Ａ区　1-6東西ベルトＡ6層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類	沈線	
955	1-6　Ｂ区　1-6東西ベルト6層(炭化物7～10%散在)	鉢	口～底	LR 斜位	鎖状隆帯・沈線・刺突	横方向に調整	
956	1-6　Ａ区　1-6東西ベルト6層	鉢？	口～胴	r	鎖状隆帯・刺突・単軸絡条体第1類		
957	1-6　Ａ区　1-6東西ベルト6層	深鉢	口～胴	RL 斜位	沈線		
958	1-6　Ａ区　1-6東西ベルト6層	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
959	1-5　1-6東西ベルトＡ6層相当最下層	鉢？	口縁		沈線・孔		
960	1-6東西ベルトＢ1層上部	注口	口縁		羊歯状文・平行沈線・縦位刻目		
961	1-6東西ベルトＢ1層上部層上部	深鉢	口縁		入組文	横方向に調整	
962	1-6東西ベルトＢ1層上部層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	平行地線・口唇部縦位刻目　煤付着		
963	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ2層下部	深鉢	口～胴	RL・LR	羊歯状文・羽状　補修孔		
964	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ2層下部	深鉢	口～胴	LR・RL 横位？	沈線	横方向に調整	
965	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ2層下部	注口	口～胴		羊歯状文・波状口縁	横方向に調整	
966	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ3層中～下部	鉢？	突起		正面小突起2個、裏面クローバー状に3個		
967	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ3層中～下部	深鉢	口縁		羊歯状文　原体磨滅不明		
968	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ3層中～下部	深鉢	口縁	LR 横・斜位？	沈線		
969	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ3層中～下部	深鉢	口縁		無文・波状口縁　剝落		
970	1-6　1-6東西ベルトＢ5層上部	壺？	胴	RL 横・縦位？	平行沈線	横方向に調整	
971	1-6　1-6東西ベルトＢ5層上部	深鉢	口縁		無文・波状口縁	横方向に調整	
972	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁	RL・LR	羊歯状文・羽状		
973	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁		魚眼状三叉文		
974	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁		沈線・刺突		
975	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
976	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁		隆帯・波状口縁		
977	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
978	1-6　Ｄ区　2-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層	深鉢	口縁		Ｓ字状沈線		
979	1-6　Ｂ区　1-6東西ベルトＢ5層下部	台付鉢	台	LR 横位？(磨滅不明)	沈線		
980	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ5層　2-6　Ｄ区　ⅢＢ上層	深鉢	口～胴	LR 横位	剝落	横方向に調整	
981	1-6　Ｄ区　1-6東西ベルトＢ6層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
982	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ7層一括	台付鉢	台		羊歯状文		
983	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ7層	注口	口～胴		取手・沈線・刺突	横方向に調整	
984	1-6　ＢＤ区　1-6東西ベルトＢ7層	注口	口～胴		取手・沈線・刺突　No.983と同一個体	横方向に調整	
985	1-6　1-6東西ベルトＢ7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口縁		沈線	円文	

図版No	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
986	1-6　BD区　1-6東西ベルトB7層	小型鉢	口～底		沈線	横方向に調整	
987	1-6　BD区　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口縁	RL・LR横位	沈線		
988	1-6　BD区　1-6東西ベルトB7層	片口壺	口～底		隆帯・沈線・ボタン状貼付・朱付着・口唇部に沈線・刺突	横方向に調整	
989	1-6　BD区　1-6東西ベルトB7層最下層	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
990	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	広口壺	口～胴	LR横・斜位	頸部に太い沈線	横方向に調整	
991	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口縁		隆帯・沈線・刺突・口縁部貼付		
992	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口～胴	LR斜位	沈線		
993	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	胴		隆帯・ボタン状貼付		
994	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	口縁	r?	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類		
995	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口縁		沈線(下書き状)	煤付着	
996	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
997	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口～胴	LR横・斜位	沈線・竹管文		
998	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口～胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類	口縁部にくぼみ	
999	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口～胴	LR横位？(磨滅不明)	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1000	1-6　1-6東西ベルトB7層(6層下部を含む可能性有)	深鉢	口縁		隆帯・沈線・刺突・口唇部にくぼみ・取手破損		
1001	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	鉢	口縁		沈線・口縁部に縦位刻目・口唇部に沈線・貼付		
1002	1-7　AC区　1-6東西ベルト7層相当　2-7　C区　IIIB下層	蓋		LR・RL横位	沈線	横方向に調整	
1003	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	蓋		LR・RL横位	沈線　No.1002と同一個体		
1004	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	口縁		沈線		
1005	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	口縁	r	沈線・短沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1006	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	壺	口～胴	LR横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
1007	1-6　B区　1-6東西ベルトB7層	深鉢？	突起		無文		
1008	1-6東西ベルトB7層(炭化物7%散在)	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1009	1-6　1-6東西ベルト7層(炭化物7%散在)	ミニチュア壺	完形		無文		
1010	1-6　BD区　1-6東西ベルトB7層最下層一括	小型深鉢	口～底	LR横位	口縁部原体押圧・底部網代痕	横方向に調整　煤付着	
1011	1-6　A区　最下層	注口			刺突		
1012	1-6　A区　最下層　1-6東西ベルト　クリーニング時	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1013	1-6　A区　最下層	深鉢	口～胴	r	S字状沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1014	1-6　A区　最下層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1015	1-6　A区　最下層	深鉢	胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1016	1-6　層位不明	深鉢	口～胴		沈線・口唇部に刺突	横方向に調整	
1017	1-6東西ベルト　クリーニング時	小型皿	口～底		羊歯状文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1018	1-6～3-6東西ベルトB　クリーニング時	台付鉢？	口～胴		入組文・口唇部に縦位刻目　朱付着	横方向に調整	
1019	2-6　III層上面	鉢	口縁	LR斜位？	雲形文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1020	2-6　III層上面	鉢	口縁	RL横位	連鎖状羊歯状文		
1021	2-6　III層上面	深鉢	胴	LR横位	平行沈線	横方向に調整	
1022	2-6　IIIA層	注口	口～胴	LR横位	雲形文	横方向に調整	
1023	2-6　IIIA層	皿	口縁	LR横位	羊歯状文	横方向に調整	
1024	2-6　IIIA層	鉢	口～胴		歯列状羊歯状文		
1025	2-6　IIIA層	深鉢	口～胴	LR・RL	羊歯状文・羽状	横方向に調整	
1026	2-6　IIIA層	鉢	口縁		平行沈線・刺突	煤付着	
1027	2-6　IIIA層	鉢	口縁	LR横位・1	直線状羊歯状文・結節縄文Z字状　剝落	横方向に調整	
1028	2-6　B区　黒褐色土層	深鉢	口～胴	LR・RL	羽状・羊歯状文　煤付着　補修孔	横方向に調整	
1029	2-6　B区　黒褐色土層	壺	口～胴	LR・RL横位	横方向に調整	横方向に調整	
1030	2-6　B区　黒褐色土層	鉢	口～胴		羊歯状文・朱付着	口縁部に沈線　横方向に調整	
1031	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1	鉢	口～胴	RL横・斜位	横方向に調整	横方向に調整	
1032	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1	壺	胴	LR横位	雲形文	横方向に調整	

図版No	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1033	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 表土一括土器	深鉢	口～底	LR 横位	結節縄文（Z字状）　磨滅		
1034	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 直下灰黄褐色土層	鉢	口～胴	RL 横・斜位	雲形文・口縁部斜位刻目	横方向に調整	
1035	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 直下灰黄褐色土層	壺	胴		入組文・羊歯状文　朱付着		
1036	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 直下灰黄褐色土層	深鉢	口縁		入組帯状文（縦位刻目文）　補修孔		
1037	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 直下灰黄褐色土層	深鉢	口縁	LR 縦位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1038	2-6　D区　地山粘土廃棄ブロック No.1 直下灰黄褐色土層	深鉢	口縁		無文		
1039	2-6　地山粘土廃棄ブロック No.1 下の焼土層下の黒	皿	口～胴		歯列状羊歯状文	口唇部歯列状羊歯状文	
1040	2-6　地山粘土廃棄ブロック No.1 下の焼土層下の黒	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文	煤付着	
1041	2-6　地山粘土廃棄ブロック No.1 下の焼土層下の黒	皿？	口縁	LR 横位？（磨滅不明）	雲形文		
1042	2-6　地山粘土廃棄ブロック No.1 下の焼土層下の黒	注口		LR 横位？（下半）	口唇部羊歯状文	横方向に調整	
1043	2-6　地山粘土廃棄ブロック No.1 下の焼土層下の黒	深鉢	口縁	LR 横位	クランク状羊歯状文　煤付着	横方向に調整	
1044	2-6　B区　地山粘土廃棄ブロック No.1 より下の黒色土層	深鉢	口～胴	RL・LR	羽状	横方向に調整	
1045	2-6　B区　灰黄褐色土（炭化物層）	鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文　補修孔	横方向に調整	
1046	2-6　B区　灰黄褐色土（炭化物層）	壺	口～頸	RL 横位	頸部に沈線・ミガキ	横方向にミガキ	
1047	2-6　B区　灰黄褐色土（炭化物層）	浅鉢？	突起		沈線・羊歯状文		
1048	2-6　B区　ⅢA層②　焼土周辺	皿	口～底	LR 横・斜位	歯列状羊歯状文　歪	横方向に調整	
1049	2-6　B区　Ⅲ Ac 層上部10cm	注口	胴	LR 横位	雲形文		
1050	2-6　A区　灰黄褐色土層	鉢	口～胴	LR・RL 横位	羊歯状文	縦方向に調整	
1051	2-6　B区　灰黄褐色土	深鉢	口縁		無文	横方向に調整	
1052	2-6　B区　灰黄褐色土　2-6-⑤（ⅢB層上層相当）	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1053	2-6　C区　ⅢA～ⅢB	深鉢	胴	LR 横・斜位	S字状沈線	横方向に調整	
1054	2-6　D区　ⅢB上層上部	深鉢	口縁	RL 横位	短沈線		
1055	2-6　A区　ⅢB層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・刺突　煤付着		
1056	2-6　A区　ⅢB層	台付鉢？	台		沈線		
1057	2-6　ⅢB層上半	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1058	2-6　ⅢB層上半	深鉢	口～胴		横方向に調整	横方向に調整	
1059	2-6　D区　ⅢB上層上部	鉢	口～胴	LR 横位	沈線・横方向に調整	横方向に調整	
1060	2-6　C区　ⅢB上層上部	台付鉢	胴～台	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1061	2-6　A区　ⅢB上層最下部	台付鉢？	台？	RL 横位	沈線	横方向に調整	
1062	2-6　A区　ⅢB上層最下部	深鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
1063	2-6　ⅢB中層	鉢	口縁	LR 横位	平行沈線をS字状に区切る	横方向に調整	
1064	2-6　ⅢB中層	鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線	横方向に調整	
1065	2-6　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR 横	太い沈線の入組文	横方向に調整	
1066	2-6　ⅢB中層	深鉢	口～胴	RL 横位	沈線・刺突　補修孔	横方向に調整	
1067	2-6　A区　ⅢB中層	皿	口～底		孔　突起・無文		
1068	2-6　ⅢB中層	深鉢	口縁		隆帯・刺突・沈線（人面表現？）		
1069	2-6　A区　ⅢB中層　焼土 No.1 周辺	壺	頸～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1070	2-6　A区　ⅢB中層　焼土 No.1 周辺	深鉢	口～底	LR 横・斜位	口縁部原体押圧・底部木葉痕		
1071	2-6　C区　ⅢB中層上部	壺	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1072	2-6　C区　ⅢB中層上部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1073	2-6　ⅢB中層中部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1074	2-6　D区　ⅢB中層下部　D区　ⅢB下層	鉢	口～底	LR 横・斜位	沈線　横方向に調整	横方向に調整	
1075	2-6　D区　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	LR 横位	刺突	横方向に調整	
1076	2-6　D区　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	LR 横位	沈線		
1077	2-6　ⅢB下層部	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部短沈線	横方向に調整	
1078	2-6　ⅢB下層部	深鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
1079	2-6　ⅢB下層部	深鉢	口～胴	RL 横位	横方向に磨り消し　波状口縁	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1080	2-6　ⅢB下層部	蓋		LR横位	沈線	横方向に調整	
1081	2-6　ⅢB下層部	深鉢	胴	l?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1082	2-6　ⅢB下層部	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
1083	2-6　ⅢB下層部	小型皿	口～底		無文		
1084	2-6　ⅢB層下半	深鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1085	2-6　ⅢB層下半　2-5　A区　1-6東西ベルト3層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1086	2-6　C区　ⅢB下層	深鉢	口縁	l・r(磨滅不明)	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1087	2-6　C区　ⅢB下層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線　煤付着	横方向に調整	
1088	2-6　C区　ⅢB下層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1089	2-6　ⅢB下層上部	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1090	2-6　D区　ⅢB下層上部	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・刺突		
1091	2-6　A区　ⅢB最下層	深鉢	口縁	l・r(磨滅不明)	沈線・単軸絡条体第1類		
1092	2-6　B区　ⅢB下層下部	深鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整　煤付着	
1093	2-6　B区　ⅢB下層下部	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体		
1094	2-6　A区　1-6東西ベルトA1層	深鉢	口縁		入組文・口唇部横位刻目		
1095	2-6　A区　1-6東西ベルトA1層	浅鉢	口～胴		羊歯状文・原体磨滅不明	横方向に調整	
1096	2-6　A区　1-6東西ベルトA1層	小型壺	頸～胴		無文		
1097	2-6東西ベルトA区2	小型鉢	口～底	LR横位	クランク状羊歯状文	横方向に調整	
1098	2-6　1-6東西ベルトA2層	深鉢	口～胴	LR横位	羊歯状文　煤付着	縦・横方向に調整	
1099	2-6　1-6東西ベルトA2層	深鉢	口～胴	LR横位	横方向に磨り消し	横方向に調整	
1100	2-6　AC区　1-6東西ベルトA2層下部～3層上部	ミニチュア高坏	ほぼ完形	LR横位	羊歯状文		
1101	2-6　1-6東西ベルトA2層下部	小型皿	完形		羊歯状文	横方向に調整	
1102	2-6　1-6東西ベルト3層中部(炭多)	小型鉢	口～底		隅丸方形・4単位から波状か・無文	横方向に調整	
1103	2-6　A区　1-6東西ベルトA3層中部	壺	頸～胴	RL横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1104	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層中部(炭多)	鉢	口～胴	RL横位	沈線	横方向に調整	
1105	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層中部(炭多)	鉢	口～胴	RL横位	沈線	横方向に調整	
1106	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層中部(炭多)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
1107	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層中部(炭多)	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1108	2-6　BD区　1-6東西ベルトA3層中～下部	深鉢	口縁	LR横位	平行沈線をS字状に区切る		
1109	2-6　BD区　1-6東西ベルトA3層中～下部	深鉢	口縁	r?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類		
1110	2-6　BD区　1-6東西ベルトA3層中～下部	深鉢	口縁	LR横位	沈線	突起口唇部に沈線	
1111	2-6　BD区　1-6東西ベルトA3層中～下部	壺？	胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1112	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層B(炭化物7~10%散在)	深鉢	口～胴	LR横位	平行沈線・波状口縁	縦方向に調整	
1113	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層B(炭化物7~10%散在)	鉢	口～胴	LR横位	沈線		
1114	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層B(炭化物7~10%散在)	深鉢	口縁		沈線	円文	
1115	2-6　AC区　1-6東西ベルトA3層下部(炭多)	壺	口～胴	LR横位		横方向に調整	
1116	2-6　AC区　1-6東西ベルトA3層下部(炭多)	深鉢	口～胴	RL・LR横位？	沈線	横方向に調整	
1117	2-6　ⅢD層　1-6東西ベルト3層下部	小型鉢	口～底		無文・底部無文		
1118	2-6　AC区　1-6東西ベルトA6層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整　煤付着	
1119	2-6　AC区　1-6東西ベルトA6層	壺？	胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1120	2-6　1-6東西ベルト6層焼土集中区	深鉢？	口～胴		無文	横方向に調整	
1121	2-6　1-6東西ベルト6層中～下部	鉢	口～胴		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1122	2-6　1-6東西ベルトB1層(炭多)	鉢	口～胴	LR横・斜位	入組文	横方向に調整	
1123	2-6　1-6東西ベルトB1層(炭多)	皿	口縁		直線状羊歯状文		
1124	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層上部	注口			沈線・下部に突起		
1125	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層上部	深鉢	口～底	LR横位？(磨滅不明)	底部無文	横方向に調整	
1126	2-6　D区　1-6東西ベルトB3層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線　剝落	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1127	2-6　D区　1-6東西ベルトB3層	蓋		RL縦・横位	沈線・刺落		
1128	2-6　D区　1-6東西ベルトB3層	壺？	頸		沈線	口縁部に沈線	
1129	2-6　D区　1-6東西ベルトB3層	壺	口～底	LR横位	沈線・底部無文	横方向に調整	
1130	2-6　D区　1-6東西ベルトB3層	深鉢	口縁	r?	沈線・刺突・口唇部刺突・単軸絡条体第1類		
1131	2-6　1-6東西ベルトB3層上～中部	注口	胴		雲形文・縦位刻目		
1132	2-6　1-6東西ベルトB3層上～中部	台付鉢？	台	LR縦位	横方向に調整		
1133	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層中～下部	注口	胴		入組文		
1134	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層下部	深鉢	胴	RL横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1135	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層下部	蓋	つまみ？	LR横位	沈線・刺突		
1136	2-6　BD区　1-6東西ベルトB3層下部	深鉢	口縁		取手・沈線(動物表現？)	刺突・沈線	
1137	2-6　BD区　1-6東西ベルト4層(焼土)	蓋		LR横位	沈線	横方向に調整	
1138	2-6　BD区　1-6東西ベルト4層(焼土)	壺	口～胴	RL横位	沈線・刺突　横方向に調整	横方向に調整	
1139	2-6　BD区　1-6東西ベルト4層(焼土)	深鉢	口縁	r	沈線　単軸絡条体第1類		
1140	2-6　BD区　1-6東西ベルトB7層最下層(炭多)	深鉢	胴	LR横位	沈線		
1141	2-6　BD区　1-6東西ベルトB7層最下層(炭多)	深鉢	口縁	LR横・縦位	沈線	横方向に調整	
1142	2-6　BD区　1-6東西ベルトB7層最下層(炭多)	深鉢	口縁		沈線		
1143	3-6　表土Ⅰ	台付鉢	台	LR横位	入組文？		
1144	3-6　表土Ⅰ	小型鉢	口～胴		沈線		
1145	3-6　ⅢB層	皿	口～胴	LR横位	雲形文？　剝落　横方向に調整	口縁部に沈線　横方向に調整	
1146	3-6　ⅢB層	鉢	口縁	LR斜位	連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1147	3-6　ⅢB層	深鉢	口縁	LR横位	三叉文	横方向に調整	
1148	3-6　崩落土	鉢	口縁		平行沈線をS字状に区切る		
1149	3-6　ⅢB層	深鉢	口縁	LR横位	平行沈線をS字状に区切る　波状口縁		
1150	3-6　崩落土	深鉢	口～胴	RL横位	沈線・刺突　横方向に調整	横方向に調整	
1151	3-6　ⅢB層	深鉢？	取手？		S字状沈線		
1152	3-6　ⅢB層	壺	胴	LR横・斜位	沈線	横方向に調整	
1153	0-7　D区　ⅢB上層	深鉢	胴	l?	単軸絡条体第1類・沈線	縦方向に調整	
1154	1-7　D区　ⅢAC層	深鉢	口縁	LR横位	平行沈線・羊歯状文	横方向に調整	
1155	1-7　ⅢAC相当	浅鉢？	突起		沈線		
1156	1-7　D区　ⅢAC層	鉢	口縁	LR横位？	平行沈線を区切る		
1157	1-7　D区　ⅢAC層	深鉢	胴	LR横位	平行沈線・刺突		
1158	1-7　AC区　1-7東西ベルト2層相当　1-7　C区　ⅢB上層	壺	胴～底		三叉状入組文		
1159	1-7　D区　ⅢB上層	小型壺	胴～底	LR横位	胴下部に1条の沈線、その下無文	横方向に調整　輪積痕	
1160	1-7　D区　ⅢB上層	注口？	頸		入組文		
1161	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		口唇部小山状突起・沈線		
1162	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		波状口縁・縦位刻目文		
1163	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		波状口縁・瘤状突起・沈線・縦位刻目		
1164	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	胴	LR横位	沈線・刺突		
1165	1-7　B区　ⅢB上層	鉢？	口～胴	LR横位	平行沈線を区切る　補修孔	横方向に調整	
1166	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	突起	r?	沈線・刺突・単軸絡条体第1類		
1167	1-7　D区　ⅢB上層	鉢？	突起		沈線をS字状に区切る・口唇部隆帯貼付		
1168	1-7　D区　ⅢB上層	壺？	口～胴		沈線・地文磨滅不明		
1169	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		波状口縁・円文・沈線	円文	
1170	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		沈線・刺突・口唇部に刺突・沈線		
1171	1-7　D区　ⅢB上層	深鉢	口～胴		沈線・竹管文・波状口縁		
1172	1-7　D区　ⅢB上層	鉢	口縁		隆帯		
1173	1-7　B区　ⅢB下層上部	深鉢	口縁		沈線・竹管文・波状口縁		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1174	1-7　B区　ⅢB下層上部	深鉢	口縁		沈線・口唇部円錐状貼付		
1175	1-7　B区　ⅢB下層上部	深鉢	口縁		沈線・刺突・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
1176	1-7　AC区　Ⅰ層	壺？	頸	RL 横位？	沈線		
1177	1-7　AC区　Ⅰ層	深鉢	突起		沈線・竹管文		
1178	1-7　AC区　Ⅰ層	鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1179	1-7　①層	壺	完形	LR 横・斜位？	沈線・刺突・底部木葉痕	横方向に調整	
1180	2-6　ⅢB下層部	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1181	1-7　C区　①層	壺	頸～底		沈線　破損した頸部を研磨し再利用？		
1182	1-7　AC区　Ⅰ層	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・沈線		
1183	1-7　AC区　Ⅰ層	深鉢	口～胴		沈線・縦位刻目		
1184	1-7　A・C区　①層上部	深鉢	口～胴	r	沈線・円文・単軸絡条体第1類		
1185	1-7　A・C区　①層上部	深鉢	口～胴	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
1186	1-7　A・C区　①層上部	蓋		LR 横位	沈線・竹管文		
1187	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口～胴	r	波状口縁・口唇部に鎖状隆帯・単軸絡条体第1類		
1188	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口～胴	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類・円文		
1189	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口～胴	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1190	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1191	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口～胴	RL 横位	波状口縁・沈線・竹管文	横方向に調整	
1192	1-7　B区　炭多	注口	口縁		沈線		
1193	1-7　D区　Ⅰ層下部(炭多)	深鉢	口縁		羊歯状文	横方向に調整	
1194	1-7　1-7東西ベルト2層相当	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文		
1195	1-7　1-7東西ベルト2層相当	深鉢	突起		沈線・斜位刻目		
1196	1-7　1-7東西ベルト2層相当	鉢	口縁	LR 横位	平行沈線をS字状に区切る		
1197	1-7　1-7東西ベルトA3層相当(炭多)	小型鉢	口～底		無文　胴部に孔をあけようとしたか？	横方向に調整	
1198	1-7　1-7東西ベルトA3層相当	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・ボタン状貼付		
1199	1-7　1-7東西ベルトA3層相当	深鉢	口～胴	LR 横位？	沈線		
1200	1-7　1-7東西ベルトA3層相当	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線	横方向に調整	
1201	1-7　AC区　1-7東西ベルトA⑤層	深鉢	口縁	LR 横・斜位	隆帯・刺突・口唇部にS字状隆帯		
1202	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	注口	胴	LR 横位？	三叉文	横方向に調整	
1203	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	深鉢	口縁		No.1201と同一個体　隆帯・竹管文・波状口縁		
1204	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	蓋		LR 横位	沈線	横方向に調整	
1205	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	深鉢	口縁		波状口縁・取手		
1206	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	小型台付鉢	口～底		沈線		
1207	1-7　AC区　1-6東西ベルトA6層	深鉢	口縁	LR 横位・RL 斜位？	沈線		
1208	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁		隆帯に刺突・沈線・波状口縁		
1209	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁		口縁部に突起・波状口縁		
1210	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1211	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	香炉？	台		入組文		
1212	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	深鉢	胴	r?	鎖状隆帯・刺突・沈線・単軸絡条体第1類		
1213	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	深鉢	口縁		鎖状隆帯・刺突・波状口縁		
1214	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	壺	口～胴	LR 横位？	沈線		
1215	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	鉢？	口縁		沈線・竹管文・口唇部に沈線・刺突		
1216	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	鉢	口縁(取手)	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1217	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	鉢	口縁(取手)		沈線・刺突		
1218	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	深鉢	口～胴		隆帯・沈線・刺突	口唇部に刺突　横方向に調整	
1219	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1220	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類・波状口縁・隆帯・沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1221	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
1222	1-7　AC区　1-6東西ベルトB7層(最下層)	深鉢	口～胴		沈線	横方向に調整	
1223	1-7　AC区　最下層	鉢	口(取手)		沈線・刺突・隆帯・地文不明		
1224	2-7　表土Ⅰ層	注口	注口		4方向に小突起		
1225	2-7　表土Ⅰ層	鉢	口縁		口縁部に突起・平行沈線	口唇部に沈線	
1226	2-7　表土～Ⅲ層上面　検出時	注口	口～頸		工字文？　黒色付着物	平行沈線　横方向に調整	
1227	2-7　表土～Ⅲ層上部	小型壺	完形		無文・口縁部に小突起		
1228	2-7　ⅢA層上面焼土付近	鉢	口～胴	LR横位	入組文・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
1229	2-7　表土～Ⅲ層上面　検出時	鉢	口～胴		沈線・地文不明	横方向に調整	
1230	2-7　A区　ⅢA層上部	壺？	胴	LR横位	入組文	横方向に調整	
1231	2-7　A区　ⅢA層上部	鉢	口～胴	LR横位	クランク状羊歯状文		
1232	2-7　A区　ⅢA層上部	鉢	口～胴	RL・LR横位	平行沈線に縦位刻目・羽状	縦・横方向に調整	
1233	2-7　A区　ⅢA層上部	深鉢	胴		櫛歯状沈線		
1234	2-7　ⅢAa層	皿	口～胴		雲形文・口唇部レース状	横方向に調整	
1235	2-7　ⅢAa層	注口	胴	LR横位	雲形文	横方向に調整	
1236	2-7　ⅢAa層	壺	胴	LR横位	入組文	横方向に調整	
1237	2-7　ⅢAa層	鉢	口縁		平行沈線・入組文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整　沈線	
1238	2-7　ⅢAa層	壺	胴	LR横位	平行沈線・入組文	横方向に調整	
1239	2-7　ⅢAa層	深鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線・入組文・羽状	縦・横方向に調整	
1240	2-7　ⅢAa層	深鉢	口～胴		平行沈線・縦位刻目・口唇部沈線	横方向に調整	
1241	2-7　ⅢAa層	小型鉢	口～胴		沈線・縦位刻目	横方向に調整	
1242	2-7　D区　3-7　A区　ⅢAa層	浅鉢	突起		沈線・朱付着	沈線・縦位刻目　朱付着	
1243	2-7　ⅢAa層	壺	口～胴	LR横位	横方向に調整	横方向に調整	
1244	2-7　D区　ⅢAa層　一括土器	深鉢	口～底	RL・LR	平行沈線・縦位刻目・口唇部沈線・羽状		
1245	2-7　ⅢAa層	深鉢	胴～底	LR横・斜位		横方向に調整	
1246	2-7　C区　ⅢAa層	小型壺	口～胴		無文	横方向に調整	
1247	2-7　ⅢAa・b層	台付鉢？	口～胴	LR横位？	直線状羊歯状文・小山形口縁・直線状雲形文・1カ所に突起	煤？付着	
1248	2-7　C区　ⅢAb層	鉢	口～胴		雲形文		
1249	2-7　C区　ⅢAb層	鉢	口～胴	RL横位	平行沈線・縦位刻目	煤付着	
1250	2-7　C区　ⅢAb層	深鉢	口～胴	LR横位？	平行沈線・刺突	横方向に調整	
1251	2-7　C区　ⅢAb層	壺	口～胴		平行沈線・口唇部小突起	煤付着	
1252	2-7　C区　ⅢAb層	壺	口～胴	RL横位	横方向に調整	横方向に調整	
1253	2-7　A区　地山粘土廃棄ブロックNo.1	皿	口～胴		口唇部レース状・地文不明	横方向に調整	
1254	2-7　A区　地山粘土廃棄ブロックNo.1	皿	口～胴	RL・LR	平行沈線・縦位刻目・羽状　剝落	口唇部沈線・縦位刻目	
1255	2-7　廃棄ブロックNo.2埋土	鉢	口～胴	LR横位	クランク状羊歯状文	横方向に調整	
1256	2-7　A区　地山粘土廃棄ブロックNo.1	深鉢	口縁		波状口縁・沈線		
1257	2-7　A区　地山粘土廃棄ブロックNo.1	深鉢	胴		沈線	横方向に調整	
1258	2-7　A区　地山粘土廃棄ブロックNo.1	壺？	胴	LR横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
1259	2-7　地山粘土廃棄ブロックNo.1直下の灰黄褐色土層	皿	口～胴	LR・RL	平行沈線・縦位刻目・羽状	口唇部沈線・縦位刻目	
1260	2-7　地山粘土廃棄ブロックNo.1直下の灰黄褐色土層	注口	胴下半	LR横位	雲形文・縦位刻目		
1261	2-7　地山粘土廃棄ブロックNo.1直下の灰黄褐色土層	浅鉢？	口～胴		磨滅により文様不明		
1262	2-7　D区　ⅢAb層下部　2-7　ⅢAa層　D区　ⅢAb層相当層	壺	口～胴	RL横位	横方向に調整	横方向に調整	
1263	2-7　B区　ⅢAc層	注口	口縁		入組文	横方向に調整	
1264	2-7　B区　ⅢAc層	台付鉢？	胴		雲形文		
1265	2-7　B区　ⅢAc層	深鉢	口縁		口縁部突起・縦位刻目文		
1266	2-7　B区　ⅢAc層	鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1267	2-7　B区　ⅢAc層	壺？	胴	LR・RL横位	沈線	横方向に調整	

図版No	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1268	2-7　D区　ⅢAc層直下層	壺	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1269	2-7　D区　ⅢAc層直下層	深鉢	口縁		平行沈線		
1270	2-7　D区　ⅢAc層直下層	鉢	口縁	LR横位？	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1271	2-7　D区　ⅢA・ⅢB層	鉢	突起～胴	LR横位	沈線・刺突・口唇部に隆帯、沈線	煤？付着	
1272	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	LR・RL	羊歯状文・羽状・開端部末端処理？	横方向に調整	
1273	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1274	2-7　B区　ⅢB上層	台付鉢？	口縁	RL横位	雲形文	横方向に調整	
1275	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁		富士山状突起・沈線・縦位刻目文		
1276	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	胴	LR横位	平行沈線をS字状に区切る		
1277	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁		No.1276と同一個体　波状口縁		
1278	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	台	LR横位	沈線		
1279	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・竹管文・波状口縁		
1280	2-7　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL横位	沈線・口唇部に小突起と沈線		
1281	2-7　D区　ⅢB上層上部	鉢	口縁		羊歯状文・地文不明		
1282	2-7　D区　ⅢB上層上部	深鉢	口～胴	RL横位	沈線・竹管文・口唇部小突起に沈線	横方向に調整	
1283	2-7　D区　ⅢB上層上部	台付鉢？	口～胴		鎖状隆帯・表面剝落	横方向に調整	
1284	2-7　B区　ⅢB上層	香炉	上部？		上部ブリッジ半分残る	無調整	
1285	2-7　D区　ⅢB中層	小型台付皿	口～底	LR横・斜位？	羊歯状文		
1286	2-7　D区　ⅢB中層	深鉢	胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1287	2-7　D区　ⅢB中層	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁・口唇部貼付	横方向に調整	
1288	2-7　D区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1289	2-7　D区　ⅢB中層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1290	2-7　D区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横位？	波状口縁・沈線・竹管文	横方向に調整	
1291	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口縁	LR横位	沈線・刺突		
1292	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1293	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	小型台付鉢	胴～底		台に4カ所刻み・無文		
1294	2-7　ⅢB中層(炭多)	小型鉢	口～底		無文		
1295	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口縁	RL縦・横位	沈線・口唇部沈線	縦方向に調整	
1296	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口～胴	LR横・縦位	波状口縁・沈線・竹管文	横方向に調整	
1297	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	口縁		竹管文・波状口縁		
1298	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	蓋		LR横・斜位	沈線・刺突		
1299	2-7　B区　ⅢB中層(炭多)	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類　表面剝落	横方向に調整	
1300	2-7　ⅢB中層上部	小型鉢	口～底		底部網代痕		
1301	2-7　ⅢB中層下部	深鉢	口～胴	LR横・縦位	三叉文	横方向に調整	
1302	2-7　ⅢB中層下部	鉢	口縁	LR横位	平行沈線を区切る		
1303	2-7　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁・平行沈線を区切る		
1304	2-7　ⅢB中層下部	鉢	口縁		口唇部に沈線		
1305	2-7　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	RL横・斜位？	波状口縁		
1306	2-7　ⅢB中層下部	深鉢？	突起		内側に耳たぶ状のくぼみ		
1307	2-7　ⅢB中層下部	注口	口縁		沈線		
1308	2-7　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1309	2-7　ⅢB中層下部	深鉢	口～胴	LR横・斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
1310	2-7　D区　ⅢB中層最下部	壺？	胴	LR横位？	沈線		
1311	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口～胴		波状口縁・平行沈線	横方向に調整	
1312	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	LR横・斜位	波状口縁・沈線		
1313	2-7　ⅢB下層	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁・平行沈線を区切る	横方向に調整	
1314	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1315	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1316	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁	RL 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1317	2-7　D区　ⅢB中層最下部	深鉢	口縁		波状口縁・沈線(円文)　地文不明		
1318	2-7　D区　ⅢB中層最下部	壺？	胴	LR 横位	沈線・刺突	輪積痕　横方向に調整	
1319	2-7　D区　ⅢB中層最下部	小型鉢	口～底	RL 横位	波状口縁4単位	縦・横方向に調整	
1320	2-7　ⅢB下層	深鉢	口縁		沈線・単軸絡条体第1類？	横方向に調整	
1321	2-7　ⅢB下層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線		
1322	2-7　ⅢB下層	深鉢	口縁		沈線・刺突・口唇部に刺突	刺突・沈線	
1323	2-7　ⅢB下層	深鉢	口縁	LR 斜位？	沈線・刺突・隆帯	横方向に調整	
1324	2-7　ⅢB下層	深鉢	口(取手)		波状口縁・沈線・刺突		
1325	2-7　ⅢB最下層	皿	底	RL?	雲形文		
1326	2-7　C区　東西ベルト1層	深鉢	口縁		山形突起	沈線	
1327	2-7　C区　東西ベルト1層	鉢？	口縁		雲形文　口唇部と内面に黒色付着物(漆？)		
1328	2-7　C区　東西ベルト2層	鉢	台	LR 横位	沈線		
1329	2-7　C区　東西ベルト2層	深鉢	口縁	LR 横位			
1330	2-7　C区　東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線に縦位刻目		
1331	2-7　C区　東西ベルト3層	深鉢	口縁(取手)		人面表現？		
1332	2-7　C区　東西ベルト4層	皿	口～胴		羊歯状文・入組文		
1333	2-7　C区　東西ベルト4層	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
1334	2-7　C区　東西ベルト6層	深鉢	口縁		沈線・口唇部に縦位刻目		
1335	2-7　C区　東西ベルト6層	注口？	口縁	LR 横位？	入組文？		
1336	2-7　A区　東西ベルト6層下部	皿	口～底	LR 横位	平行沈線・雲形文・口唇部内側に縦位刻目	横方向に調整	
1337	2-7　C区　東西ベルト7層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1338	2-7　C区　東西ベルト7層	小型鉢	台	LR 横位	沈線		
1339	2-7　C区　東西ベルト7層	鉢	口～胴	LR 横位			
1340	2-7　A区　東西ベルト8層	深鉢	口縁		櫛歯状沈線・刺突		
1341	2-7　A区　東西ベルト8層	台付鉢	台		沈線		
1342	2-7　A区　東西ベルト8層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・竹管文		
1343	2-7　A区　東西ベルト9層	壺	胴	LR 横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
1344	2-7　A区　東西ベルト11層	深鉢	口縁	l	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類		
1345	2-7　A区　東西ベルト16層	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1346	2-7　A区 東西ベルト8層 C区 10YR4/3にぶい黄褐色土層	壺	頸～胴	LR 横位	平行沈線を区切る(工字文？)	横方向に調整	
1347	2-7　C区　東西ベルト14層	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1348	2-7　C区　東西ベルト14層	壺	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1349	2-7　最下層	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線		
1350	2-7　最下層	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
1351	3-7　道路沿崩落土	皿	口縁	LR 横位	雲形文・口唇部小突起	横方向に調整	
1352	3-7　道路沿崩落土	鉢	口～胴	LR 横位	沈線・縦位刻目・口唇部に沈線		
1353	1-8　Ⅲ層上部	小型壺	口～底		無文　磨滅著しい		
1354	1-8　C区　ⅢB上層	皿	口～胴		羊歯状文　地文不明		
1355	1-8　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁		突起上面、外面に沈線		
1356	1-8　A区　ⅢB上層	小型深鉢	口～底	LR 横位	平行沈線を区切る		
1357	1-8　B区　ⅢB上層	蓋	取手	LR 横位？	沈線・刺突		
1358	1-8　C区　ⅢB上層	深鉢	口縁		波状口縁	突起内側に沈線	
1359	1-8　C区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整　突起内側に沈線	
1360	1-8　C・D区　ⅢB上層	小型深鉢	完形		無文	輪積痕	
1361	1-8　B区　ⅢB上層　一括土器	台付鉢	口～底		沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1362	1-8　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁		羊歯状文・平行沈線		
1363	1-8　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口縁		羊歯状文・平行沈線・縦位刻目		
1364	1-8　D区　ⅢB上層下部	深鉢	突起		沈線・半竹管文		
1365	1-8　B区　ⅢB上層下部	蓋		LR横・斜位	沈線・竹管文		
1366	1-8　B区　ⅢB上層下部	鉢	口～胴	RL横位	隆帯・沈線	横方向に調整	
1367	1-8　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口～胴		沈線・半竹管文・波状口縁		
1368	1-8　B区　ⅢB上層下部	深鉢	口～胴		波状口縁・沈線(円文)　地文不明		
1369	1-8　B区　ⅢB上層下部	鉢	口～胴		沈線・竹管文		
1370	1-8　No.2　ⅢB上層下部	浅鉢(アスファルト入り)	完形		無文		
1371	1-8　B区　ⅢB上層下部	深鉢	胴	LR横位	沈線		
1372	1-8　2-8　No.6　ⅢB上層最下部	小型壺	口～底	LR横位	沈線		
1373	1-8　B区　ⅢB上層下部	鉢	口縁		沈線・山形突起		
1374	1-8　C区　ⅢB中層上部	深鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1375	1-8　C区　ⅢB中層上部	深鉢	胴		沈線・単軸絡条体第5類？		
1376	1-8　C区　ⅢB中層上部	深鉢	口～胴	LR横位	隆帯・沈線・刺突		
1377	1-8　D区　ⅢB中層	壺	口～胴	LR横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1378	1-8　C区　ⅢB中層	深鉢	口縁	r?	沈線・単軸絡条体第5類	横方向に調整	
1379	1-8　C区　ⅢB中層(炭多)	小型台付鉢	口～底		無文		
1380	1-8　C区　ⅢB中層	深鉢	胴	r	沈線・短沈線・単軸絡条体第1類		
1381	1-8　C区　ⅢB中層	深鉢	口縁		隆帯・櫛歯状沈線	横方向に調整	
1382	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口縁		沈線・刺突	横方向に調整	
1383	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類・口唇部に丸い抉り		
1384	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口縁		竹管文・波状口縁		
1385	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口縁	r	波状口縁・鎖状隆帯・単軸絡条体第1類		
1386	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・縦位刻目・単軸絡条体第1類		
1387	1-8　D区　ⅢB中層上部(炭多)	深鉢	口～胴	LR横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1388	2-8　P1埋土　1-8　C区　ⅢB中層下部(炭多)　1-8　C区　ⅢB中層　2-8　A区　ⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横・縦位	沈線	横方向に調整	
1389	1-8　D区　ⅢB中層下部	深鉢	口～胴	LR横位？	沈線		
1390	1-8　D区　ⅢB中層下部	深鉢	口縁	r	波状口縁・鎖状隆帯・単軸絡条体第1類		
1391	1-8　C区　ⅢB中層下部(炭多)	深鉢	口～胴	LR横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
1392	1-8　C区　ⅢB層下半上部	台付鉢	台		変形工字文		
1393	1-8　C区　ⅢB層下半上部	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
1394	1-8　B区　ⅢB下層上部	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1395	1-8　B区　ⅢB下層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線		
1396	1-8　B区　ⅢB下層	深鉢	胴	LR横位？	沈線		
1397	1-8　B区　ⅢB下層	鉢	口～胴		鎖状隆帯・沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
1398	1-8南北ベルト　1-8南北ベルト1層	鉢？	胴		工字文		
1399	1-8南北ベルト　1-8南北ベルト1層	深鉢	口縁		沈線　地文不明		
1400	1-8南北ベルト　1-8南北ベルト1層	深鉢	口～胴	r	波状口縁・単軸絡条体第1類・右方向から刺突	横方向に調整	
1401	1-8　A区　1-8東西ベルト3層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1402	1-8　C区　1-8東西ベルト3層上部	台付深鉢	胴	LR横位	沈線		
1403	1-8　A区　1-8東西ベルト3層	深鉢	口縁		波状口縁・地文不明	横方向に調整	
1404	1-8　A区　1-8東西ベルト3層	深鉢	口縁		波状口縁・突起上面にLR?の地文・沈線	突起に沈線	
1405	1-8　A区　1-8東西ベルト3層	壺	胴		隆帯・沈線・朱付着	横方向に調整	
1406	1-8　1-8東西ベルト3層中部	台付鉢？	台		無文		
1407	1-8　A区　1-8東西ベルト3層	鉢？	胴		沈線・刺突	刺突	
1408	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	皿？	胴	LR横位	雲形文		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1409	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	皿	口～胴	LR 横位	平行沈線・直線状羊歯状文	横方向に調整	
1410	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口縁	LR 横・斜位	波状口縁・沈線		
1411	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
1412	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1413	1-8　C区　2-8　A区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口～胴	l?	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1414	1-8　C区　1-8東西ベルト4層	蓋		LR 横位		横方向に調整	
1415	1-8　C区　1-8東西ベルト5層	深鉢	口縁	r	沈線・刺突・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1416	1-8　C区　1-8東西ベルト5層	深鉢	口～胴		沈線・地文不明		
1417	1-8　C区　1-8東西ベルト5層	鉢	口～胴		沈線	横方向に調整	
1418	1-8　A区　1-8東西ベルト6層	深鉢	口縁		沈線		
1419	1-8　A区　1-8東西ベルト6層	注口？	下半		沈線・縦位刻目		
1420	1-8　A区　1-8東西ベルト7層	深鉢	口～胴	l・r 不明	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1421	1-8東西ベルト　2-8　クリーニング時	鉢	口～胴	LR 横位	突起に隆帯・平行沈線を区切る	横方向に調整	
1422	2-8　IIIA層	壺？	口縁		隆帯に縦位刻目・口唇部に沈線		
1423	2-8　IIIA層	鉢	口～胴	LR 横位？	平行沈線に縦位刻目・口唇部に沈線		
1424	2-8　IIIA層	壺	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1425	2-8　IIIA層最下部	皿	口～底		沈線・口唇部に小突起、沈線		
1426	2-8　III Aa 層	皿	口～胴		雲形文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1427	2-8　III Aa 層	深鉢	口縁	RL 横位？	沈線・刺突・波状口縁		
1428	2-8　III Aa 層	深鉢	口縁(突起)		沈線　磨滅ひどい		
1429	2-8　D区　灰黄褐色土層(III Ac の1段上の層)	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に突起		
1430	2-8　D区　灰黄褐色土層(III Ac の1段上の層)	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線に縦位刻目	横方向に調整	
1431	2-8　A区　灰黄褐色土　III Ac 層	注口	口縁		入組文・羊歯状文		
1432	2-8　A区　灰黄褐色土　III Ac 層	皿	口縁		雲形文・口唇部に突起・縦位刻目		
1433	2-8　A区　灰黄褐色土　III Ac 層	深鉢？	口縁		羊歯状文・口唇部に突起		
1434	2-8　2-8　No.2	台付鉢	口～胴	LR 横位	煤？付着	煤付着	
1435	2-8　A区　III Ac 層	壺	胴		無文		
1436	2-8　III Ac 層	鉢	口～胴		沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
1437	2-8　III Ac 層	鉢	口～胴	LR 横位	直線状雲形文・隆帯・口唇部に沈線	横方向に調整	
1438	2-8　C区　III Ac 層	深鉢	口～胴		口唇部に小突起・沈線・平行沈線に斜位刻目	横方向に調整	
1439	2-8　III Ac 層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に突起(レース状)	横方向に調整	
1440	2-8　III Ac 層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・口唇部に突起・縦位刻目	沈線　横方向に調整	
1441	2-8　III Ac 層	壺	口～胴	RL 横位	口縁～頸部無文　肩に段	横方向にミガキ	
1442	2-8　AB区　IIIB上層	皿	口～底		雲形文・口唇部に縦位刻目	隆帯に LR 横位	
1443	2-8　AB区　IIIB上層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に刻み	隆帯に LR 横位　横方向に調整	
1444	2-8　AB区　IIIB上層	鉢	口縁		羊歯状文		
1445	2-8　AB区　IIIB上層	台付皿？	口～胴		羊歯状文・平行沈線		
1446	2-8　AB区　IIIB上層	深鉢	口縁		平行沈線に縦位刻目	横方向に調整	
1447	2-8　AB区　IIIB上層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1448	2-8　AB区　IIIB上層	鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・平行沈線を区切る	横方向に調整	
1449	2-8　AB区　IIIB上層	深鉢	胴	LR 横・斜位	沈線・刺突		
1450	2-8　C区　IIIB上層　1-8　C区　IIIB上層	鉢	突起		隆帯	横方向に調整	
1451	2-8　AB区　IIIB上層	壺？	胴	LR 横位？	沈線	輪積痕	
1452	2-8　A区　IIIB上層	深鉢	口縁		隆帯・沈線	横方向に調整	
1453	2-8　AB区　IIIB上層	蓋		LR 横位	沈線	横方向に調整	
1454	2-8　A区　2-8　No.5　IIIB上層	小型壺	胴～底	LR 横位	沈線・底部は台付か？		
1455	2-8　AB区　IIIB上層	深鉢	口～胴	l?	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1456	2-8　B区　ⅢB上層　3-8　B区　10YR3／2黒褐色土層	皿	口～底		沈線		
1457	1-8　C区　ⅢB中層上部　A区　ⅢB中層下面　C区　ⅢB中位～下層　C区　ⅢB区中位	深鉢	口～胴	LR横位	波状口縁6単位・沈線・竹管文	横方向に調整	
1458	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	注口？	口縁		沈線	横方向に調整	
1459	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	深鉢	口縁	r?	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類・波状口縁		
1460	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	深鉢	口縁	LR横位	沈線	横方向に調整	
1461	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	注口	口縁		三叉文	下部に黒色付着物	
1462	2-8　ⅢＢ上層	小型台付鉢	口～台		無文		
1463	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	台付鉢？	台		沈線　弥生時代？		
1464	2-8　Ａ区　ⅢＢ上層上部	壺	口～頸		無文	横方向に調整	
1465	2-8　ⅢＢ上層上部	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1466	2-8　Ｃ区　ⅢＢ上層上部　2-8　Ａ区　ⅢＢ上層上部	鉢	口～胴		波状口縁・櫛歯状沈線　横方向に調整	横方向に調整	
1467	2-8　Ｄ区　ⅢＢ上層中部　2-8	注口	胴～底		隆帯・沈線・注口部分突起破損		
1468	2-8　ⅢＢ上層下部(2-8　No.4)	鉢	完形		無文	横方向に調整	
1469	2-8　Ｃ区　ⅢＢ上層上部	深鉢	口縁(突起)		沈線　地文不明		
1470	2-8　Ｃ区　ⅢＢ上層上部	鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1471	2-8　Ｃ区　ⅢＢ上層上部	深鉢	口縁	LR縦・斜位	沈線	突起に沈線	
1472	2-8　Ａ区　ⅢＢ上層下部	台付皿	口～台		方形　角に突起？と沈線　表面剝落		
1473	2-8　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	深鉢	口縁		波状口縁・竹管文		
1474	2-8　Ｂ区　ⅢＢ上層下部	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・竹管文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1475	2-8　Ｄ区　ⅢＢ上層最下部	鉢	口～底		無文	横方向に調整	
1476	2-8　ⅢＢ中層	浅鉢	口縁		沈線	羊歯状の突起	
1477	2-8　ⅢＢ中層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
1478	2-8　ⅢＢ中層	深鉢	口～胴	LR横・斜位	沈線　補修孔	横方向に調整	
1479	2-8　ⅢＢ中層	深鉢	胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
1480	2-8　ⅢＢ中層	壺	胴	LR横・斜位	沈線	横方向に調整	
1481	2-8　ⅢＢ中層	台付鉢？	台	LR横位	沈線		
1482	2-8　ⅢＢ中層	深鉢	口縁	LR横位	沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1483	1-8　Ｃ区　ⅢＢ中層　2-8　Ａ区　ⅢＢ中層	蓋		LR横位	黒色付着物		
1484	2-8　Ａ区　ⅢＢ下層	鉢	口縁		直線状羊歯状文・入組文	横方向に調整	
1485	2-8　Ａ区　ⅢＢ下層	壺？	口～頸		沈線		
1486	2-8　Ａ区　ⅢＢ下層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・波状口縁		
1487	2-8　Ａ区　ⅢＢ下層	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁		
1488	2-8　Ｃ区　ⅢＢ下層	壺	胴	LR横位	沈線		
1489	2-8　1-8東西ベルト2層	皿	口～底		口唇部に小突起・沈線・地文なし		
1490	2-8　ＡＣ区　1-8東西ベルト2層	深鉢	口～胴	RL・LR	羽状・結節縄文Ｓ字状　開端部処理か？	縦・横方向に調整	
1491	2-8　ＡＣ区　1-8東西ベルト2層	皿	口～胴	LR横位	雲形文・平行沈線　補修孔	横方向に調整	
1492	2-8　1-8東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線に縦位刻目・雲形文	横方向に調整	
1493	2-8　1-8東西ベルト3層	台付鉢	口～胴		羊歯状文・入組文・口唇部に小突起	沈線・横方向に調整	
1494	2-8　1-8東西ベルト3層	深鉢	口～胴	LR横位	羊歯状文		
1495	2-8　1-8東西ベルト3層	鉢	口～胴	RL横位	羊歯状文	煤？付着	
1496	2-8　Ａ区　1-8東西ベルト3層	深鉢	口～胴	LR横位	沈線	横方向に調整	
1497	2-8　1-8東西ベルト3層	深鉢	胴	LR横位	沈線		
1498	2-8　1-8東西ベルト3層	深鉢	口～胴		波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類？	横方向に調整	
1499	2-8　1-8東西ベルト3層	深鉢	口縁(突起)		沈線(円文)	沈線(円文)	
1500	2-8　1-8東西ベルト3層　中～下部	台付鉢？	台		刺突		
1501	2-8　Ｃ区　1-8東西ベルト4層	鉢？	口縁		羊歯状文		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1502	2-8　C区　1-8東西ベルト4層	壺	口～胴	LR・RL 横位	洋梨状の器形　下半部ミガキ	輪積痕	
1503	2-8　C区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口縁		竹管文・沈線		
1504	2-8　C区　1-8東西ベルト4層	壺	胴		平行沈線・竹管文	横方向に調整	
1505	2-8　C区　1-8東西ベルト4層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1506	2-8　1-8東西ベルト4層	深鉢	口縁(取手)		横方向に調整	横方向に調整	
1507	2-8　A区　1-8東西ベルト4層下部	小型壺	胴～底		沈線　朱付着　小把手に孔(ひも通し)　隆帯		
1508	2-8　C区　1-8東西ベルト4層	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線・突起に渦巻き状沈線		
1509	2-8　1-8東西ベルト5層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1510	3-8　ⅢA上部	台付鉢？	台	LR・RL 横位？	沈線	横方向に調整	
1511	3-8　ⅢA上部	深鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線	横方向に調整	
1512	3-8　A区　黒褐色土　地山ブロック	深鉢	口～胴		平行沈線・小突起	横方向に調整	
1513	3-8　A区　黒褐色土　地山ブロック	壺	頸～胴		隆帯・小突起・雲形文	横方向に調整	
1514	3-8　A区　黒褐色土　地山ブロック	皿	口～胴		平行沈線・口唇部に小突起・沈線	横方向に調整	
1515	3-8　ⅢAa層	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・口唇部に小突起	横方向に調整	
1516	3-8　ⅢAa層	深鉢	口縁		平行沈線に縦位刻目・口唇部に沈線	横方向に調整	
1517	3-8　B区　灰黄褐色土層(ⅢAcより上)	鉢	口縁	RL 横位	連鎖状羊歯状文	縦方向に調整	
1518	3-8　B区　灰黄褐色土層(ⅢAcより上)	小型壺	口～胴		沈線・縦位刻目		
1519	3-8　B区　灰黄褐色土層(ⅢAcより上)	深鉢	胴	RL 横位	沈線・竹管文		
1520	3-8　B区　灰黄褐色土層(ⅢAcより上)	深鉢	胴	RL 横・LR 斜位？	沈線		
1521	3-8　B区　灰黄褐色土上半	鉢	口～胴		直線状雲形文・隆帯に小突起・口唇部に斜位刻目	横方向に調整	
1522	3-8　B区　灰黄褐色土上半	皿	口縁		口唇部に小突起・縦位刻目		
1523	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	LR・RL	羽状・沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
1524	3-8　B区　10YR3/2黒褐色土層　地山小ブロック(崩落土有)	注口	口～底	LR 横位	雲形文・口唇部と注口部分に小突起		
1525	3-8　B区　ⅢAc層最下部	皿	底	LR 横位	雲形文・口唇部に小突起・縦位刻目		
1526	3-8　A区　ⅢB上層	台付鉢？	口～胴		羊歯状文・入組文・口唇部に突起・縦位刻目	沈線	
1527	3-8　A区　ⅢB上層	皿	口～胴		直線状雲形文・口唇部に(羊歯状)浮き彫り		
1528	3-8　A区　ⅢB上層	壺？	胴		鎖状隆帯		
1529	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文		
1530	3-8　B区　ⅢB上層	鉢？	口縁(突起)		沈線・刺突・突起に円錐状の孔	横方向に調整	
1531	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線を区切る・波状口縁	横方向に調整	
1532	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口～胴		沈線・竹管文・波状口縁	横方向に調整	
1533	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁		口唇部に縦位刻目・貼付口縁・波状口縁		
1534	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	胴	RL 横・斜位	沈線	横方向に調整	
1535	3-8　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 横・斜位	波状口縁・沈線		
1536	3-8　A区　1-8東西ベルト2層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線・縦位刻目・口唇部に沈線、縦位刻目　横方向に調整		
1537	3-8　A区　1-8東西ベルト2層	深鉢	口縁		波状口縁・三叉文・縦位刻目文		
1538	0-9　D区　ⅢB中～下層	深鉢	口縁(突起)		沈線・口唇部に隆帯貼付	円文	
1539	1-9　D区　表土最下部	深鉢	胴		隆帯にボタン状・瘤状突起		
1540	1-9　B区　ⅢB上層	鉢	口～胴	LR 横位？	平行沈線を区切る		
1541	1-9　C区　ⅢB上層	深鉢	口縁(突起)	LR 横位	平行沈線を区切る　突起に半円状の孔		
1542	1-9　B区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 横・斜位	沈線・半竹管文		
1543	1-9　ⅢB層上部	深鉢	口縁		沈線		
1544	1-9　ⅢB層上部	深鉢	口縁	RL 横位	沈線	横方向に調整	
1545	1-9　ⅢB中層	台付鉢？	台		沈線　朱付着	朱付着	
1546	1-9　ⅢB中層	深鉢	口縁		平行沈線・半竹管文？・口唇部レース状の刻み		
1547	1-9　ⅢB中層	深鉢	口～胴	RL 縦・斜位	沈線・波状口縁・表面剝落	円文	
1548	1-9　C区　2-9　A区　1-9東西ベルト4層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1549	1-9　C区　2-9　A区　1-9東西ベルト4層	深鉢	口縁		沈線・竹管文・単軸絡条体第1類？		
1550	1-9　C区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口縁	RL 横位	波状口縁・竹管文・口唇部に刻目	横方向に調整	
1551	1-9　C区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線・竹管文		
1552	1-9　C区　1-9東西ベルト5層	小型深鉢	口～底		無文　黒色付着物	横方向に調整	
1553	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	鉢	口縁	RL 横位	連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1554	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	壺？	胴		沈線・把手		
1555	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・竹管文・波状口縁	横方向に調整	
1556	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・竹管文・波状口縁	沈線・LR横位　横方向に調整	
1557	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	深鉢	口～胴		口唇部に隆帯貼付・沈線	口唇部に刺突	
1558	1-9　B区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	深鉢	口～胴		隆帯・刺突	口唇部に刺突　横方向に調整	
1559	1-9　AB区　1-9東西ベルト6層	深鉢	口～胴	RL 横位？	波状口縁・沈線・刺突	横方向に調整	
1560	1-9　1-9東西ベルト6層	台付深鉢	口～底		無文		
1561	1-9　D区　1-10　C区　1-9東西ベルト4・6層相当	台付鉢	胴～台		無文		
1562	1-9　B区　1-9東西ベルト6層(炭多)	深鉢	口～胴	RL 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1563	1-9　B区　1-9東西ベルト6層(炭多)	壺	口～胴	LR 横位	隆帯・沈線		
1564	1-9　B区　1-9東西ベルト6層(炭多)	深鉢	胴	LR 横位	沈線・竹管文・ボタン状貼付		
1565	1-9　B区　1-9東西ベルト6層(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1566	1-9　C区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	蓋		LR 横位	把手破損・沈線		
1567	1-9　C区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	蓋	把手	LR 横位	沈線・竹管文		
1568	1-9　B区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	蓋		LR 横位	沈線・竹管文		
1569	1-9　B区　1-9東西ベルト6層相当(炭化物7～10%散在)	蓋		LR 横位			
1570	1-9　C区　1-9東西ベルト7層	注口	口～胴		口唇部隆帯貼付・沈線		
1571	1-9　C区　1-9東西ベルト7層	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線・隆帯		
1572	1-9　C区　1-9東西ベルト7層	深鉢	口～胴	RL 横・斜位	波状口縁	横方向に調整	
1573	1-9　BD区　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口縁(突起)		沈線	横方向に調整	
1574	1-9～2-9　ベルトクリーニング時(各層混)	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線		
1575	1-9～2-9　ベルトクリーニング時(各層混)	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線・口唇部に刻目		
1576	1-9～2-9　ベルトクリーニング時(各層混)	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1577	1-9　C区～1-10　層位不明	壺	頸～底		無文・底部網代痕　横方向に調整		
1578	1-9～2-9　ベルトクリーニング時	Ⅲ	口～底		クランク状羊歯状文・口唇部に小突起		
1579	2-9～3-9　表土～ⅢB上面	鉢	口～底	RL 横位	雲形文・隆帯・沈線・口唇部に突起		
1580	2-9　表土　2-9　灰黄褐色土(地山粘土多)(Ⅲ Ac 層)	壺	胴	RL 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1581	2-9　表土Ⅰ層	小型壺	胴～底		無文　底部に4カ所黒色付着物(支脚？)	外面全体に細かいひび	
1582	2-9　C区　黒褐色土層	鉢	口～胴		工字文・口唇部に小突起と沈線	沈線	
1583	2-9　C区　黒褐色土層	壺？	口～頸		隆帯・沈線・工字文？		
1584	2-9　C区　黒褐色土層　2-11　D区　3-11　Ⅱ層下半上部	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・刺突	横方向に調整	
1585	2-9　A区　大焼土面を含む　2-11　D区　3-11　Ⅱ層上半上部	壺	頸～胴	RL 縦・斜位	入組文　朱付着		
1586	2-9　C区　灰黄褐色土層漸移層	深鉢	口縁(突起)		刺突・貫通孔		
1587	2-9　C区　灰黄褐色土層漸移層一括土器　2-9　黒褐色土層	深鉢	口～底	LR 横・斜位	沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
1588	2-9　灰黄褐色土層(地山粘土多)	Ⅲ	口～底		無文・四脚？・角に小突起		
1589	2-9　D区　Ⅲ Ac 層	鉢	口～胴	RL 横位	雲形文・隆帯に小突起	口唇部に沈線	
1590	2-9　D区　Ⅲ Ac 層	鉢	口～胴	RL 横位	雲形文？・口唇部に小突起	横方向に調整	
1591	2-9　灰黄褐色土層(地山粘土多)(Ⅲ Ac 層)	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文		
1592	2-9　灰黄褐色土層(地山粘土多)(Ⅲ Ac 層)	深鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文		
1593	2-9　灰黄褐色土層(地山粘土多)(Ⅲ Ac 層)	深鉢	胴	LR 横位	平行沈線を区切る	煤？付着	
1594	2-9　D区　灰黄褐色土下部(Ⅲ Ac 層相当層2)	Ⅲ	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に縦位刻目	隆帯に LR 横位	
1595	2-9　D区　灰黄褐色土層上部	小型壺	完形		片口・無文・口唇部に沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1596	2-9　ＢＤ区　灰黄褐色土層中部	小型鉢	完形		無文		
1597	2-9　Ａ区　灰黄褐色土層	皿	口～底		雲形文・地文不明	下部に平行沈線	
1598	2-9　灰黄褐色土下部(地山ブロック少散在)	壺？	胴		工字文に刺突	横方向に調整	
1599	2-9　灰黄褐色土下部(地山ブロック少散在)	皿？	胴	RL 横・斜位？	雲形文		
1600	2-9　灰黄褐色土下部(地山ブロック少散在)	鉢	口縁		沈線・単軸絡条体第1類？		
1601	2-9～3-9　ⅢＡ層	台付鉢	台		工字文		
1602	3-9　Ａ区　道路沿崩落土	注口	口～胴		口縁に貼付・沈線・No.1650と同一個体	横方向に調整	
1603	2-9　ⅢＢ上層	浅鉢？	口縁(突起)		羊歯状文		
1604	2-9　ⅢＢ上層	深鉢	口縁		波状口縁		
1605	2-9　ⅢＢ上層	深鉢	口～胴	r	鎖状隆帯・波状口縁・単軸絡条体第1類　貫通孔		
1606	2-9　ⅢＢ上層	鉢？	口縁	RL 横位？	平行沈線を区切る・口唇部に縦位刻目		
1607	2-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト1層	壺？	胴		変形工字文？		
1608	2-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト1層	鉢？	口縁		平行沈線・口唇部に沈線	沈線	
1609	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト2層上部一括土器	鉢	口～底	LR 横位	工字文・口唇部に小突起	口唇部に沈線　横方向に調整	
1610	2-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト2層	皿	口～底	LR 横位	雲形文・口唇部に刻み(レース状)		
1611	2-9　Ａ区　1-9東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に沈線・縦位刻目	横方向に調整	
1612	2-9　Ａ区　1-9東西ベルト3層	深鉢	胴		沈線・縦位刻目		
1613	2-9　Ａ区　1-9東西ベルト3層	深鉢	口縁		沈線・竹管文		
1614	2-9　Ａ区　1-9東西ベルト3層	浅鉢	口縁	LR 横位	口唇部に突起		
1615	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	壺	胴	RL 横位	羊歯状文	横方向に調整	
1616	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	鉢	口～胴		隆帯・平行沈線	横方向に調整	
1617	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口縁	LR 横位？	沈線・半竹管文・波状口縁		
1618	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	深鉢	突起		四方に貫通孔　刺突		
1619	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線・刺突	横方向に調整	
1620	2-9　Ａ区　1-9東西ベルト5層	蓋		RL 横位	把手破損		
1621	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	小型鉢	胴		沈線		
1622	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	鉢？	胴		隆帯・沈線・口唇部に沈線		
1623	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層	鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1624	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層　下層	深鉢	口縁(突起)		沈線・半竹管文		
1625	2-9　1-9東西ベルト5層相当	皿	口～胴	LR 横位？	雲形文・口唇部レース状	口唇部に縦位刻目	
1626	2-9　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口縁		羊歯状文		
1627	2-9　1-9東西ベルト5層相当	鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文	口唇部に沈線	
1628	2-9　1-9東西ベルト5層相当	注口	口～胴		入組文		
1629	2-9　1-9東西ベルト5層相当	皿	口～胴	LR・RL	平行沈線に縦位刻目・羽状・口唇部レース、縦位刻目		
1630	2-9　1-9東西ベルト5層相当	鉢	口～底	LR 横位	平行沈線を区切る		
1631	2-9　1-9東西ベルト5層相当	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1632	2-9　1-9東西ベルト5層相当	鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1633	2-9　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1634	2-9　1-9東西ベルト5層相当	鉢？	口～胴	LR 横位？	沈線		
1635	2-9　1-9東西ベルト5層相当	台付鉢？	台	LR 横位	沈線		
1636	2-9　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口縁	r?	沈線・口縁に抉り・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1637	2-9　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口～胴	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
1638	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層相当	蓋？		LR 横位	沈線		
1639	2-9　Ｃ区　1-9東西ベルト5層相当	注口	注口		無文・下部に突起		
1640	2-9　1-9東西ベルト　層位不明	台付皿	口～台		無文		
1641	2-9南北ベルト2層	香炉？	把手		羊歯状文　貫通孔		
1642	2-9南北ベルト2層	壺	胴	LR 横・斜位	羊歯状文		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1643	2-9南北ベルト2層	深鉢	胴		沈線・単軸絡条体第1類？		
1644	2-9南北ベルト2層	鉢	口～胴		雲形文	横方向に調整	
1645	2-9南北ベルト3層(明)	皿	口～胴	LR・RL	平行沈線・縦位刻目・羽状	口唇部に平行沈線・縦位刻目	
1646	2-9南北ベルト3層(明)	深鉢	胴	LR 横回転	半竹管文・沈線		
1647	2-9　D区　2-10東西ベルト2層	鉢	口～胴	LR 横位	隆帯に小突起・雲形文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1648	2-9　D区　2-10東西ベルト2層	壺	胴		羊歯状文		
1649	2-9　D区　2-10東西ベルト2層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1650	3-9　表土Ⅰ層	注口	注口		No.1602と同一個体？		
1651	3-9　10YR3／2 黒褐色土	鉢	口縁		直線状雲形文・口唇部に斜位刻目	隆帯・沈線	
1652	3-9　10YR3／2 黒褐色土	深鉢	口縁		平行沈線・小突起・口唇部に斜位刻目	沈線	
1653	3-9　10YR3／2 黒褐色土	鉢	口～胴		工字文	横方向に工字文	
1654	3-9　10YR3／2 黒褐色土	鉢	口～胴	LR 横位	工字文・口唇部に短沈線	沈線	
1655	3-9　10YR3／2 黒褐色土	鉢	口～胴	LR 横位	工字文・口唇部に沈線　煤付着	沈線	
1656	3-9　10YR3／2 黒褐色土	鉢	口～胴		工字文	沈線	
1657	3-9　10YR3／2 黒褐色土	深鉢	口縁		平行沈線・口唇部に縦位刻目	沈線	
1658	3-9　10YR3／2 黒褐色土	深鉢	口縁		貫通孔　口唇部に刺突	刺突	
1659	3-9　B区　黒褐色土層	足付皿？	胴		平行沈線		
1660	3-9　ⅢA相当層(黒褐色土層より下の黒色土層)	壺	胴		工字文		
1661	3-9　ⅢA相当層(黒褐色土層より下の黒色土層)	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1662	3-9　A区　灰黄褐色土漸移層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線に縦位刻目	沈線	
1663	3-9　A区　灰黄褐色土漸移層	鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1664	3-9　A区　灰黄褐色土漸移層	深鉢	口～胴		沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1665	3-9　A区　灰黄褐色土漸移層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に小突起・縦位刻目		
1666	3-9　A区　灰黄褐色土漸移層	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・口唇部に縦位刻目		
1667	3-9　D区　灰黄褐色土上部	皿	口～胴		雲形文・口唇部レース状		
1668	3-9　D区　灰黄褐色土上部	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線・縦位刻目		
1669	3-9　D区　灰黄褐色土上部	壺	頸		沈線・口唇部に沈線	沈線	
1670	3-9　D区　灰黄褐色土上部	鉢	胴	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
1671	3-9　D区　灰黄褐色土上部	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・縦位刻目・口唇部に沈線		
1672	3-9　A区　灰黄褐色土上半	注口	注口		羊歯状文　接合面にアスファルト？付着		
1673	3-9　ⅢB層　灰黄褐色土上半	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁		
1674	3-9　ⅢB層　灰黄褐色土上半	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・口縁部貼付		
1675	3-9　灰黄褐色土層下半	鉢？	口縁		口唇部に沈線	沈線	
1676	3-9　灰黄褐色土層下半	深鉢？	口縁		口唇部に隆帯貼付		
1677	3-9　灰黄褐色土層下半	皿	口～胴	LR 横位	雲形文？・口唇部レース状		
1678	3-9　灰黄褐色土層下半	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・縦位刻目・口唇部に沈線	煤？付着	
1679	3-9　A区　灰黄褐色土下部層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文？・口唇部縦位刻目		
1680	3-9　A区　灰黄褐色土下部層	深鉢	口～胴	RL 横位？	沈線・刺突・口唇部に沈線		
1681	3-9　A区　ⅢAc層	深鉢	口縁	LR 横位	雲形文・口唇部に縦位刻目	煤？付着	
1682	3-9　A区　ⅢAc層	皿	口縁	LR 横位	連鎖状羊歯状文	沈線・縦位刻目	
1683	3-9　A区　ⅢAc層	深鉢	口縁		沈線・刺突・波状口縁		
1684	3-9　A区　ⅢAc層	深鉢	口縁		平行沈線・羊歯状文		
1685	3-9　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線		
1686	3-9　A区　ⅢB上層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・円文		
1687	3-9　C区　ⅢB上層	小型鉢	口～底		No.1621と同一個体　沈線		
1688	3-9　C区　ⅢB上層	台付鉢	口～底		無文		
1689	3-9　C区　ⅢB下層　灰黄褐色土層混	鉢	口～胴	RL 横位	隆帯・平行沈線	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1690	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト1層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線	煤付着	
1691	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト1層	深鉢	口縁	r?	波状口縁・単軸絡条体第1類？	煤？付着	
1692	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト2層	深鉢	口縁		工字文	沈線　横方向に調整	
1693	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト2層	台付鉢？	口～胴		No.1463と同一個体？　口唇部に沈線	沈線　横方向に調整	
1694	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト3層	深鉢	口縁		沈線　横方向に調整	沈線	
1695	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト3層	鉢	胴	LR 横位	平行沈線を区切る		
1696	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト3層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・刺突		
1697	3-9　ＡＣ区　1-9東西ベルト3層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線		
1698	3-9　Ａ区　1-9東西ベルト5層	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文	縦方向に調整	
1699	3-9　Ｂ区　1-9東西ベルト5層	壺	口～頸		隆帯・沈線	口唇部に沈線	
1700	3-9　Ａ区　1-9東西ベルト5層	注口	注口		下部に突起あり		
1701	3-9　Ａ区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口縁		波状口縁・竹管文	突起部に沈線	
1702	3-9　Ａ区　1-9東西ベルト5層	深鉢	口～胴	LR 斜位	平行沈線を区切る		
1703	3-9　Ｄ区　2-10東西ベルト3層相当層上部	鉢	口～胴		雲形文・隆帯・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
1704	3-9　Ｄ区　2-10東西ベルト3層相当層上部	注口	口縁		羊歯状文		
1705	3-9　Ｄ区　2-10東西ベルト3層相当層上部	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・列点文・口縁部に小突起	口唇部に沈線	
1706	0-10　ⅢＢ層下部(Ⅲ層)	深鉢	胴		沈線		
1707	0-10　ⅢＡ層	深鉢	口縁	LR 横位	羊歯状文		
1708	0-10　ⅢＡ層	深鉢	口縁		波状口縁・刺突	突起に沈線	
1709	1-10　ⅢＢ上層	鉢	口縁		羊歯状文		
1710	1-10　ⅢＢ上層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線に縦位刻目	横方向に調整	
1711	1-10　ⅢＢ上層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・半竹管文・口縁貼付		
1712	1-10　ⅢＢ上層	壺	胴	LR 横位？	羊歯状文・隆帯	横方向に調整	
1713	1-10　ⅢＢ上層	深鉢	口～胴	LR 横位？	沈線		
1714	1-10　ⅢＢ上層	深鉢	胴		隆帯・沈線		
1715	1-10　ⅢＢ上層	壺	口～胴	LR 斜位？	隆帯・沈線・刺突		
1716	1-10　ⅢＢ上層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・竹管文		
1717	1-10　ⅢＢ中層	深鉢	口～胴		竹管文・沈線・波状口縁		
1718	1-10　ⅢＢ中層	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・沈線		
1719	1-10　ⅢＢ中層	深鉢	胴		平行沈線を区切る		
1720	1-10　ⅢＢ中層	深鉢	口縁		沈線・刺突　貫通孔		
1721	1-10　ⅢＢ中層	小型鉢	口～底		無文　輪積痕？		
1722	1-10　Ｄ区　灰黄褐色土上部(地山ブロック少散在)	深鉢	口縁		波状口縁・沈線　地文不明		
1723	1-10　Ｄ区　灰黄褐色土上部(地山ブロック少散在)焼土面より下	鉢？	口～胴	LR 横位	沈線		
1724	1-10　Ｄ区　灰黄褐色土上部(地山ブロック少散在)焼土面より下	壺？	胴	LR 横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1725	1-10　地山ブロック多　廃棄ブロック埋土	鉢	口縁	LR 横位	羊歯状文		
1726	1-10　地山ブロック多　廃棄ブロック埋土	深鉢？	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1727	1-10　地山ブロック多　廃棄ブロック埋土	深鉢	口縁		波状口縁・口縁貼付		
1728	1-10　地山ブロック多　廃棄ブロック埋土	深鉢	口縁		波状口縁・沈線　貫通孔		
1729	1-10　1-9東西ベルト4層相当　一括土器	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線を区切る		
1730	1-10　ＡＣ区　1-9東西ベルト6層相当	小型鉢	口～底		2カ所に黒色付着物		
1731	1-10　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1732	1-10　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	深鉢	胴		沈線・短沈線		
1733	1-10　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線		
1734	1-10　Ａ区　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口縁		波状口縁・沈線　貫通孔		
1735	1-10　Ａ区　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口縁		波状口縁・沈線		
1736	1-10　Ａ区　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・竹管文・単軸絡条体第1類	口唇部に沈線	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1737	1-10　D区　1-9東西ベルト8層相当(最下層)	鉢	口縁	RL 横位	連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1738	1-10　D区　1-9東西ベルト8層相当(最下層)	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整	
1739	1-10　D区　1-9東西ベルト8層相当(最下層)	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・竹管文		
1740	1-10　C区　1-9東西ベルト7層相当	小型壺	口～底		沈線		
1741	1-10　D区　1-9東西ベルト8層相当(最下層)	鉢	口～胴	r?	鎖状隆帯・沈線・単軸絡条体第1類　貫通孔		
1742	1-10　Bd区　2-11東西ベルト6層	深鉢	口～胴	r?	沈線・単軸絡条体第1類		
1743	1-10　Bd区　2-11東西ベルト6層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・竹管文		
1744	2-10　ⅢA層	深鉢	口縁		沈線・口唇部に突起、沈線		
1745	2-10　C区　1-10YR5／4 の下層	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　黒色付着物	
1746	2-10　C区　1-10YR5／4 の下層	皿	口～胴	LR・RL	平行沈線に縦位刻目・羽状	横方向に調整	
1747	2-10　10YR5／4層地山ブロック7%　ⅢAc層下半あるいはⅢAc層より下層	鉢	口～胴	LR 横位	隆帯・沈線		
1748	2-10　10YR5／4層地山ブロック7%　ⅢAc層下半あるいはⅢAc層より下層	深鉢	口～胴	LR 斜位？	沈線		
1749	2-10　10YR5／4層地山ブロック7%　ⅢAc層下半あるいはⅢAc層より下層	深鉢	口縁	RL 横位？	沈線		
1750	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	壺	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1751	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	壺	胴		隆帯に小突起・雲形文	横方向に調整	
1752	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・羊歯状文	縦方向に調整	
1753	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	皿	口～胴	LR 縦・斜位	雲形文・口縁レース状	口唇部に縦位刻目	
1754	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類・平行沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1755	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	深鉢	口縁		沈線・竹管文・口唇部に刺突　貫通孔		
1756	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	深鉢	口縁(突起)	LR 横位？	平行沈線を区切る		
1757	2-10　C区　灰黄褐色土新位層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線に突起	口唇部に沈線　横方向に調整	
1758	2-10　C区　灰黄褐色土新位層	壺	胴		隆帯に小突起・縦位刻目		
1759	2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多)	鉢	口縁		平行沈線に隆帯・短沈線	口唇部に沈線	
1760	2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多)	注口	口縁		クランク状羊歯状文		
1761	2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多)	鉢？	口縁		口唇部隆帯に突起		
1762	2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多)	香炉？	胴下半	LR 横位	平行沈線・羊歯状文・一部透かし		
1763	2-10　C区　灰黄褐色土新位層	香炉？	胴下半		雲形文・一部透かし		
1764	2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多)	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1765	2-10　B区　灰黄褐色土層　地山小ブロック3%　1-10 C区　灰黄褐色地山ブロック　焼土面より下層　2-10　A区　灰黄褐色土上半(地山粘土ブロック多量)　2-10　C区　ⅢB上層	壺	胴～底	LR 横位	上げ底	横方向に調整	
1766	2-10　D区　地山粘土ブロック10%焼土面より上層	皿	口～胴		沈線・口唇部に小突起　朱付着	沈線　朱付着	
1767	2-10　D区　地山粘土ブロック10%焼土面より上層	香炉？			羊歯状文？		
1768	2-10　D区　地山粘土ブロック10%焼土面より上層	深鉢	口～胴		連鎖状羊歯状文		
1769	2-10　D区　地山粘土ブロック10%焼土面より上層	鉢？	口縁	LR 横位	沈線	横方向に調整	
1770	2-10　D区　地山粘土ブロック10%焼土面より上層	深鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
1771	2-10　D区　ⅢB上層	皿	口～胴		雲形文・平行沈線に縦位刻目・口唇部に小突起		
1772	2-10　D区　ⅢB上層	壺	口～胴	LR 横位	沈線・口唇部に沈線	口唇部に沈線	
1773	2-10　D区　ⅢB上層	鉢	口～胴	LR 横位	クランク状羊歯状文	口唇部に羊歯状文	
1774	2-10　B区　ⅢB上層	注口	口～胴		羊歯状文	横方向に調整	
1775	2-10　B区　ⅢB上層	壺	口～頸	LR 横位			
1776	2-10　ⅢB	深鉢	口～底	LR・RL	羽状　黒色付着物　上げ底	縦・横方向に調整	
1777	2-10　D区　ⅢB上層	壺	胴	RL 横位	沈線		
1778	2-10　D区　ⅢB上層	鉢	口～胴		平行沈線を区切るS字状に区切る	横方向に調整	
1779	2-10　D区　ⅢB上層	深鉢	胴		沈線・半竹管文		
1780	2-10　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁(突起)	LR 斜位	沈線		
1781	2-10　D区　ⅢB上層	鉢	口～底	LR 横位	沈線・底部網代痕		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1782	2-10　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		鎖状隆帯・沈線・波状口縁　貫通孔		
1783	2-10　D区　ⅢB上層	小型鉢	口～底		無文　縦方向に調整	横方向に調整	
1784	2-10　C区　ⅢB中層	皿	口縁	LR横位	雲形文・平行沈線に縦位刻目	口唇部に縦位刻目	
1785	2-10　C区　ⅢB中層	深鉢	口縁		波状口縁・口唇部貼付		
1786	2-10　C区　ⅢB中層	深鉢	口縁(突起)		側面靴篭状　全面ミガキ		
1787	2-10　D区　ⅢB上層　2-10　C区　灰黄褐色土・黒色土	壺	胴	LR・RL	羽状　黒色付着物	横方向に調整	
1788	2-10　B区　ⅢB上層　2-10　C区　灰黄褐色土　地山小ブロック焼土より上	鉢	口～胴	LR・RL	羊歯状文・平行沈線・羽状		
1789	2-10　D区　10YR4/3地山直上層　3-10　灰黄褐色土下半	深鉢	口～底	LR横位	平行沈線・黒色付着物	煤付着	
1790	2-10　C区　ⅢB中層　黄褐色粘土層下のⅢB中層	深鉢	口～胴	LR横位	口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線　縦・横方向に調整	
1791	2-10東西ベルト1層	鉢	口～胴		工字文・口唇部に沈線	沈線	
1792	2-10東西ベルト1層	台付鉢？	台		工字文		
1793	2-10東西ベルト1層	深鉢	口縁	LR縦位	隆帯・沈線		
1794	2-10　2-10東西ベルト2層	台付鉢	台		工字文		
1795	2-10東西ベルト3層	鉢	口縁		羊歯状文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1796	2-10東西ベルト3層	深鉢	口縁	RL横位	口唇部に縦位刻目・沈線	横方向に調整	
1797	2-10東西ベルト3層	深鉢	口縁		口縁貼付		
1798	2-10東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線		
1799	2-10東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR横位	雲形文？・口唇部に突起・斜位刻目	横方向に調整	
1800	2-10東西ベルト3層	深鉢	口縁	RL横位	波状口縁・隆帯・沈線		
1801	2-10　A区　1-9東西ベルト5層相当	壺	胴		沈線・竹管文		
1802	2-10　A区　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	胴	LR横・斜位	沈線		
1803	2-10　B区　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口縁(突起)	LR横位	沈線・刺突・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1804	2-10　A区　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口～胴	LR横位	波状口縁・沈線・竹管文		
1805	2-10　A区　1-9東西ベルト5層相当	深鉢	口縁		鎖状隆帯		
1806	2-10　1-9東西ベルト5層中層相当(炭多)	深鉢	口縁		沈線・短沈線		
1807	2-10　1-9東西ベルト5層中層相当(炭多)	深鉢	口縁		波状口縁・竹管文		
1808	2-10　1-9東西ベルト5層中層相当(炭多)	鉢？	口～胴	r	沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1809	2-10　B区　1-9東西ベルト5層中層相当	台付皿？	胴		無文		
1810	2-10　B区　5/29　1-9東西ベルト5層中層相当(炭多)	鉢	口～底	LR横位	沈線・底部木葉痕	横方向に調整	
1811	2-10　B区　1-9東西ベルト5層下層相当(最下層)	小型鉢	口～底		無文・底部網代痕？	横方向に調整	
1812	2-10　杭　1-9東西ベルト7層相当	蓋		RL横位	沈線・刺突	横方向に調整	
1813	2-10　杭　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口～胴	RL横位	波状口縁・沈線	横方向に調整	
1814	2-10　杭　1-9東西ベルト7層相当	深鉢	口～胴	LR横位	羊歯状文		
1815	2-10　最下層	深鉢	口～胴	LR横位	波状口縁・平行沈線を区切る		
1816	2-10　最下層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・半竹管文		
1817	2-10　最下層	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類		
1818	2-10南北ベルト2層	深鉢	口縁		工字文・縦位刻目	口唇部に平行沈線	
1819	2-10南北ベルト2層	鉢	口～胴		直線状雲形文・口唇部に沈線	横方向に調整	
1820	2-10南北ベルト3層	深鉢	口～胴	RL横位	沈線・小突起	口唇部に沈線	
1821	2-10南北ベルト3層	深鉢	口～胴	LR横位	平行沈線	横方向に調整	
1822	2-10南北ベルト3層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1823	2-10南北ベルト3層	深鉢	口縁		山形口縁・平行沈線		
1824	2-10南北ベルト4層	注口	口縁		羊歯状文		
1825	2-10南北ベルト4層	香炉？	胴下半	RL横位	一部透かし		
1826	2-10南北ベルト4層	台付皿	胴	LR横位	口唇部に羊歯状文	横方向に調整	
1827	2-10南北ベルト4層	壺	口～頸		口唇部に小突起　横方向に調整	横方向に調整	
1828	2-10南北ベルト4層	鉢？	口縁		口縁部にボタン状貼付		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1829	2-10南北ベルト4層	深鉢	口縁		隆帯・沈線・波状口縁		
1830	2-10南北ベルト4層	浅鉢	口縁	RL横位	口縁部に突起		
1831	2-10南北ベルト4層	深鉢	口縁		沈線・単軸絡条体第1類？	円文	
1832	2-10南北ベルト4層	鉢	口～胴		沈線	横方向に調整	
1833	2-10南北ベルト4層	鉢	口縁		無文		
1834	2-10　B区　灰黄褐色土層地山ブロック3%散在	深鉢	口～底	LR横位	黒色付着物	縦・横方向に調整	
1835	2-10南北ベルト5層(焼土)	深鉢	口～胴		波状口縁・沈線	横方向に調整	
1836	2-10南北ベルト5層(焼土)	深鉢	胴	r	沈線・竹管文・単軸絡条体第1類		
1837	2-10南北ベルト6層	皿	口～胴	LR斜位？	羊歯状文		
1838	2-10南北ベルト6層	深鉢	口縁(突起)		沈線・半竹管文・口唇部に沈線		
1839	2-10南北ベルト6層	深鉢	口～胴	LR横・斜位	波状口縁		
1840	2-10南北ベルト6層	壺	胴	LR横・斜位	沈線	横方向に調整	
1841	2-10南北ベルト6層	深鉢	突起	LR横位	沈線		
1842	2-10南北ベルト　2-11南北ベルト6層	注口	注口		羊歯状文		
1843	2-10南北ベルト　2-11南北ベルト6層	鉢	口～胴		平行沈線・縦位刻目・口唇部縦位刻目	縦・横方向に調整	
1844	2-10南北ベルト　2-11南北ベルト6層	深鉢	突起	LR横位？	沈線		
1845	2-10南北ベルト　2-11南北ベルト6層	壺？	口～胴	LR横・斜位	沈線	横方向に調整	
1846	2-10南北ベルト　2-11東西ベルト6層(地山廃棄ブロック検出時)	深鉢	突起		貫通孔　口唇部に沈線		
1847	2-10南北ベルト　2-11東西ベルト6層	深鉢	胴	RL横位	沈線		
1848	2-10南北ベルト　2-11東西ベルト6層	深鉢	口～胴		隆帯・沈線・刺突・波状口縁		
1849	3-11　表土Ⅰ層	台付鉢？	台		工字文	横方向に調整	
1850	3-10　表土Ⅰ層	足付皿	底		4脚　無文		
1851	3-10　表土最下部	鉢？	胴～底	LR横位	変形工字文	横方向に調整	
1852	3-10　表土最下部	壺	胴		工字文		
1853	3-10　表土最下部	深鉢	口縁		平行沈線・波状口縁・口唇部に縦位刻目		
1854	3-10　表土最下部	鉢	口縁	LR横位	沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
1855	3-10　3-11　黒褐色土下層	鉢	口～胴	LR横位	羊歯状文・突起	口唇部に沈線	
1856	3-10　B区　黒色土層	鉢	口～胴		工字文・口唇部に斜位刻目	横方向に調整	
1857	3-10　B区　黒色土層	皿	口～胴	LR横位	雲形文	口唇部に縦位刻目	
1858	3-10　B区　黒色土層	深鉢	口縁		平行沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
1859	3-10　B区　灰黄褐色土漸移層	皿	口～胴		工字文・口唇部に小突起・沈線	口唇部に沈線	
1860	3-10　B区　灰黄褐色土漸移層	鉢	口～胴		平行沈線・隆帯・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
1861	3-10　B区　灰黄褐色土漸移層	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁・沈線		
1862	3-10　B区　灰黄褐色土漸移層	皿	口～胴	LR横位	雲形文・口唇部(レース状)	横方向に調整	
1863	3-10　B区　灰黄褐色土層	鉢	口～胴	RL横位	連鎖状羊歯状文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1864	3-10　B区　灰黄褐色土層	壺	胴	LR横位？	直線状雲形文		
1865	3-10　A区　灰黄褐色土上半(地山小ブロック散在)	鉢	口～胴	LR横位	雲形文・隆帯に小突起	口唇部に沈線	
1866	3-10　A区　灰黄褐色土上半(地山小ブロック散在)	壺？	胴	LR横位	羊歯状文	横方向に調整	
1867	3-10　A区　灰黄褐色土上半(地山小ブロック散在)	壺	胴	RL横位	沈線		
1868	3-10　A区　灰黄褐色土上半(地山小ブロック散在)	深鉢	胴		隆帯・刺突・沈線		
1869	3-10　A区　灰黄褐色土上半(地山小ブロック散在)	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線・斜位刻目	口唇部に沈線	
1870	3-10　B区　灰黄褐色土下半	鉢	口～底	LR横位	平行沈線に半竹管文・口唇部に縦位刻目	口唇部に平行沈線　縦・横方向に調整	
1871	3-10　灰黄褐色土下層	鉢	口～胴		隆帯		
1872	3-10　灰黄褐色土下層	深鉢	口縁	LR横位・l	沈線・原体押圧		
1873	3-10　2-10東西ベルト1層	壺？	胴		工字文・一部沈線に刺突		
1874	3-10　AB区　ⅢB上層	浅鉢？	胴	LR横位	羊歯状文		
1875	3-10　AB区　ⅢB上層	鉢	口～胴	RL横位	連鎖状羊歯状文	縦・横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1876	0-11　C区　表土樹木根周辺	小型壺	胴	RL 横位	胴中央の隆帯　4ヶ所穿孔	指調整？	
1877	0-11　D区　表土樹木根周辺	台付鉢	脚部		透かし4～5個	粗いケズリ	
1878	0-11　地山廃棄ブロック下の灰黄褐色土　地山ブロック1%	深鉢	口～胴	LR 横位？	沈線・竹管文・波状口縁		
1879	1-11　表土Ⅰ層	鉢	口縁		羊歯状文・口縁と胴に小突起	横方向に調整	
1880	1-11　ⅢA層	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1881	1-11　ⅢA層	深鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文		
1882	1-11　ⅢA層	注口	胴		羊歯状文		
1883	1-11　ⅢA層	深鉢	口～胴	LR 横位	三叉文・波状口縁	横方向に調整	
1884	1-11　ⅢA層相当層	台付鉢	胴～脚	LR 横位	平行沈線文に沿って列点文		
1885	1-11　2-11　ⅢA層焼土集中部付近	注口	胴		隆帯　横方向に調整	横方向に調整	
1886	1-11　2-11　ⅢA層焼土集中部付近	鉢	口～胴		沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
1887	1-11　C区　灰黄褐色土下半　地山ブロック散在　焼土面含む層	深鉢	口縁		縦位刻目文		
1888	1-11　C区　灰黄褐色土下半　地山ブロック散在　焼土面含む層	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文・口縁部に縦位刻目	横方向に調整	
1889	1-11　大焼土面下の地山廃棄ブロック	鉢？	口～胴	RL 横位	羊歯状文		
1890	1-11　灰黄褐色土下半　地山ブロック散在　焼土面含む層	浅鉢	ほぼ完形		底部欠損　口縁の一部(正面)に突起	横方向に調整	
1891	1-11　C区　灰黄褐色土　焼土面より下層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1892	1-11　C区　灰黄褐色土　焼土面より下層	台付鉢	台	LR 横位	沈線		
1893	1-11　D区　大焼土面・地山廃棄ブロック層のすぐ下層	注口？	胴		入組文	横方向に調整	
1894	1-11　D区　大焼土面・地山廃棄ブロック層のすぐ下層	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・ボタン状貼付		
1895	1-11　D区　大焼土面・地山廃棄ブロック層のすぐ下層	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・刺突　貫通孔		
1896	1-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック1%　地山廃棄ブロックの下層	鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1897	1-11　D区　大焼土面・地山廃棄ブロック層のすぐ下層	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
1898	1-11　ⅢB上層　2-11　大焼土面下の地山小ブロック廃棄ブロック	鉢	口～胴		無文		
1899	1-11　D区　地山廃棄ブロックより下の灰黄褐色土　地山ブロック1%	壺	口縁	LR 横位	頸部無文・1条の沈線	横方向に調整　輪積痕	
1900	1-11　D区　地山廃棄ブロックより下の灰黄褐色土　地山ブロック1%	壺	口縁		無文　表裏とも磨滅		
1901	1-11　D区　地山粘土ブロック廃棄ブロックより下層	異形壺	ほぼ完形	LR 横位？	口縁部欠損　無文　縄文磨滅		
1902	1-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック1%　地山廃棄ブロックの下層	深鉢	口縁	LR 横位？	波状口縁・沈線・刺突		
1903	1-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック1%　地山廃棄ブロックの下層	深鉢	突起		沈線・刺突		
1904	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁		沈線・縦位刻目・山形口縁		
1905	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	突起		沈線		
1906	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 横・斜位	波状口縁・沈線・口唇部に沈線		
1907	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 斜位	波状口縁・沈線	沈線	
1908	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	口縁	LR 斜位	波状口縁・沈線		
1909	1-11　D区　ⅢB上層	台付鉢？	胴	LR 横位	沈線		
1910	1-11　D区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線		
1911	1-11　D区　ⅢB上層	蓋		RL 横位	沈線		
1912	1-11　ⅢB上～中層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線をS字状に区切る		
1913	1-11　ⅢB上～中層	鉢	口～胴	LR 横位	沈線・半竹管文	横方向に調整	
1914	1-11　ⅢB上～中層	深鉢	口～胴		波状口縁・沈線　地文不明		
1915	1-11　ⅢB上～中層	深鉢	口～胴		沈線・刺突・口縁部貼付		
1916	1-11　ⅢB上～中層	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・沈線・刺突		
1917	1-11　B区　ⅢB下層	深鉢	口～胴		隆帯・刺突・短沈線・口縁部貼付		
1918	1-11　AB区　2-11東西ベルト6層	壺	胴		隆帯に斜位刻目		
1919	1-11　AB区　2-11東西ベルト6層	壺	頸～胴		隆帯		
1920	1-11　AB区　2-11東西ベルト6層	深鉢	口縁		隆帯に短沈線		
1921	1-11　AB区　2-11東西ベルト6層	深鉢	胴		沈線	横方向に調整	
1922	1-11　AB区　2-11東西ベルト6層	深鉢	口～胴	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1923	1-11　灰黄褐色土(埋土？)最下層	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類		
1924	2-11　3-11　II層上半　2-11　3-11　1層　2-11　C区　II層上部	深鉢	口～胴	LR 横位	口縁部刻目・肩部沈線間に2段の列点文	表裏とも炭化物多い	
1925	2-11　III層　地山粘土廃棄ブロック集中部	鉢	口～胴	RL 横位	雲形文		
1926	2-11　III層　地山粘土廃棄ブロック集中部	鉢	口縁		平行沈線に斜位刻目・口唇部に沈線	煤？付着	
1927	2-11　IIIA層	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文　補修孔	横方向に調整	
1928	2-11　IIIA層	深鉢	口縁	LR 横位	隆帯に突起・沈線・刺突・口唇部に沈線		
1929	2-11　IIIA層	深鉢	口縁		波状口縁・隆帯		
1930	2-11　B区　IIIB上層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
1931	2-11　B区　IIIB上層	深鉢	口縁		沈線・口唇部に刺突		
1932	2-11　C区　IIIB中層	壺	胴	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
1933	2-11　C区　IIIB中層	深鉢	口縁	RL 横位	沈線・刺突		
1934	2-11　C区　IIIB中層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類		
1935	2-11　D区　IIIB中層　1-11　D区　IIIB上層	深鉢	胴	LR 横位	方形区画文	横方向に調整	
1936	2-11　C区　IIIB中層	深鉢	胴		沈線・単軸絡条体第1類		
1937	2-11　C区　IIIB中層	壺	口～胴	LR 横位	全面縄文　体部に擦痕	指痕	
1938	2-11　IIIB下層(3-11　III層)	壺	胴		入組文		
1939	2-11　IIIB下層(3-11　III層)	注口	胴		羊歯状文		
1940	2-11　C区　3-11　II層	深鉢	口縁		羊歯状文		
1941	2-11　C区　3-11　II層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部(レース状)	横方向に調整	
1942	2-11　C区　3-11　II層	台付鉢	口～胴	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
1943	2-11　D区　3-11　II層上半　3-11　II層下半	注口	胴	LR 横位	クランク状羊歯状文		
1944	2-11　C区　3-11　II層	壺？	胴	LR 横位	雲形文　朱付着		
1945	2-11　C区　3-11　II層	蓋		LR・RL 横位？	沈線・竹管文		
1946	2-11　C区　3-11　II層	深鉢	口縁	r	波状口縁・単軸絡条体第1類		
1947	2-11　3-11　II層下半	深鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線・斜位刻目・口唇部に沈線	横方向に調整	
1948	2-11　3-11　II層下半	皿	口～胴		平行沈線	横方向に調整	
1949	2-11　3-11　II層下半	鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文・口唇部縦位刻目	横方向に調整	
1950	2-11　3-11　II層下半	鉢	口～胴		口縁部貼付・羊歯状文	横方向に調整	
1951	2-11　3-11　II層下半	壺	口～胴	LR 横位	口縁～頸部ミガキ	横方向に調整	
1952	2-11　3-11　II層下半	深鉢	口縁	r・l 不明	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類		
1953	2-11　3-11　II層下半	深鉢	突起	LR 横・斜位	山形突起、段付き		
1954	2-11　3-11　II層下半	深鉢	口縁	r?	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類		
1955	2-11　3-11　II層下半	深鉢	口～胴	LR 横位？	波状口縁・沈線		
1956	2-11　3-11　II層下半	鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1957	2-11　D区　3-11　III層	深鉢	突起	LR 横位	沈線・口唇部にS字状隆帯	縦・横方向に調整	
1958	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	台付鉢	口～胴	LR 横位	クランク状羊歯状文		
1959	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	浅鉢	台		入組文？		
1960	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文		
1961	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	注口	胴		羊歯状文		
1962	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	壺	頸		隆帯に小突起　横方向に調整		
1963	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	深鉢	口～胴	LR 斜位？	波状口縁		
1964	2-11　B区　10YR3／2黒褐色土(地山ブロック少散在)	深鉢	口縁		沈線・口唇部貼付		
1965	2-11　D区　灰黄褐色土漸移層	香炉	台		羊歯状文		
1966	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	深鉢	口縁		隆帯と口唇部に縦位刻目	平行沈線	
1967	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	鉢	口～胴	LR 横・斜位	平行沈線・雲形文・突起		
1968	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	浅鉢	口～胴	LR 横位	口唇部レース状(浮き彫り)	横方向に調整	
1969	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部レース状(浮き彫り)	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
1970	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部レース状(浮き彫り)・突起	横方向に調整	
1971	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・突起・斜位刻目		
1972	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	台付鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文・口縁部、胴部に突起	横方向に調整	
1973	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	注口	口～胴		羊歯状文	横方向に調整	
1974	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	鉢	口～胴		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1975	2-11　A区　灰黄褐色土　地山小ブロック多　焼土より上	注口	胴下半	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
1976	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	鉢	口～胴	LR 横・斜位	入組文	横方向に調整	
1977	2-11　B区　灰黄褐色土　地山ブロック多　焼土より上	台付鉢	脚部		沈線にタール状付着物		
1978	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1979	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土より上	深鉢	口～胴	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
1980	2-11　灰黄褐色土　地山小ブロック散在	台付浅鉢	胴	LR 横位	雲形文・充填縄文	底面円形のケズリ	
1981	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック散在	深鉢	口縁(突起)		沈線・縦位刻目		
1982	2-11　D区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%　焼土より上下混合	注口	胴下半	LR 横位	雲形文　朱付着	横方向に調整	
1983	2-11　D区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%　焼土より上下混合	浅鉢	胴	LR 横位	雲形文　朱付着	横方向に調整	
1984	2-11　灰黄褐色土(大焼土面含む層)	壺	頸～胴	LR 横位	羊歯状文		
1985	2-11　灰黄褐色土(大焼土面含む層)	鉢	口～胴	LR・RL	羊歯状文・羽状	横方向に調整	
1986	2-11　灰黄褐色土(大焼土面含む層)	注口	口縁		クランク状羊歯状文	横方向に調整	
1987	2-11　灰黄褐色土(大焼土面含む層)	皿	口～胴	RL 横・斜位	羊歯状文		
1988	2-11　灰黄褐色土(大焼土面含む層)	鉢？	口～胴	LR 横位	沈線		
1989	2-11　B区　灰黄褐色土　焼土より下　3-11　ⅢA層最上部	注口	口縁		連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
1990	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	壺	胴	RL 横位	クランク状羊歯状文	横方向に調整	
1991	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文	横方向に調整	
1992	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	皿	口～胴	RL 横位	羊歯状文　補修孔		
1993	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	深鉢	胴	LR 横位	沈線		
1994	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突		
1995	2-11　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　大焼土面より下	鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
1996	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在　焼土面より下　一括土器	鉢	完形		無文　横方向にハケメ状		
1997	2-11　B区　灰黄褐色土　地山小ブロック7%散在 焼土面より下　一括土器　2-11　ⅢB上層　B層	壺	口縁	LR 横位	平行沈線による文様区画　胎土に粗い粒子	横方向に調整　輪積痕	
1998	2-11　大焼土面地山廃棄ブロック	台付鉢	脚		無文　ナデ状の調整		
1999	2-11　No.1 大焼土面下地山廃棄ブロック	注口	胴～底		上半部欠損　全面ミガキ　胎土に金雲母		
2000	2-11　C区　大焼土面下層上面10cm	小型足付皿	口～底		2脚　無文		
2001	2-11　C区　大焼土面下層上面10cm	鉢？	口～胴		沈線・刺突		
2002	2-11　C区　大焼土面下層上面10cm	鉢	口～胴	LR 横位	1条の沈線	横方向に調整	
2003	2-11　B区　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土　地山小ブロック1%	壺？	頸～胴		隆帯・沈線・ボタン状貼付・刺突		
2004	2-11　B区　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土　地山小ブロック1%	鉢	口～胴	LR 横位	隆帯に小突起・雲形文？	横方向に調整	
2005	2-11　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土層　地山1%	小型蓋？	完形	LR 横位	沈線　土製品？		
2006	2-11　B区　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土　地山小ブロック1%	蓋？		LR 横位	沈線・半竹管文		
2007	2-11　B区　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土　地山小ブロック1%	深鉢	口縁	RL 横位	波状口縁・沈線	突起に平行沈線	
2008	2-11　B区　地山廃棄ブロック下灰黄褐色土　地山小ブロック1%	深鉢	口縁		沈線	横方向に調整	
2009	2-11東西ベルト1層	壺	口～頸		貼付口縁に突起	沈線　横方向に調整	
2010	2-11東西ベルト1層	深鉢	胴		沈線		
2011	2-11東西ベルト2層	深鉢	口縁		羊歯状文	横方向に調整	
2012	2-11東西ベルト3層	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文・貼付口縁に沈線・縦位刻目	横方向に調整	
2013	2-11東西ベルト4層	注口	口縁		羊歯状文・縦位刻目		
2014	2-11東西ベルト4層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線に縦位刻目・雲形文？	横方向に調整	
2015	2-11東西ベルト4層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2016	2-11東西ベルト4層	壺	口～頸		沈線		
2017	2-11東西ベルト4層	深鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整	
2018	2-11東西ベルト4層	深鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整	
2019	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	壺	口～胴	LR 横位	クランク状羊歯状文	横方向に調整	
2020	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	壺	頸～胴	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2021	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	深鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2022	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	深鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2023	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2024	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	浅鉢	突起		香炉突起の可能性有り	ミガキ	
2025	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	浅鉢	口～胴		口縁突起	羊歯状文に突起	
2026	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	浅鉢	口～胴		無文・口唇部に小突起　横方向に調整	横方向に調整	
2027	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	深鉢	胴	RL 横位	沈線・竹管文		
2028	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	深鉢	突起		沈線・突起・小突起	小突起に沈線	
2029	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	蓋		LR 左回転	沈線		
2030	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・沈線		
2031	2-11東西・南北ベルト5層(焼土)(D)	深鉢	口縁(把手)	LR 横位	隆帯・刺突	横方向に調整	
2032	2-11　5層上部	注口	注口～胴		羊歯状文	ヘラ調整	
2033	2-11東西ベルト6層	台付鉢	胴～脚		全面ミガキ・曲沈線文	横方向に調整	
2034	2-11東西ベルト7層	鉢	口～底		隆帯　地文不明	横方向に調整	
2035	2-11東西ベルト7層	深鉢	口～胴	LR 横・斜位	沈線・波状口縁	横方向に調整	
2036	2-11東西ベルト8層	鉢？	口～胴	RL 斜位	羊歯状文		
2037	2-11東西ベルト8層	深鉢	口縁		縦位刻目文・入組文		
2038	2-11東西ベルト6層	皿	口～胴		平行沈線に縦位刻目・口縁レース状	平行沈線に縦位刻目　横方向に調整	
2039	2-11東西ベルト6層	深鉢	胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
2040	2-11　A区　南北ベルト10層	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁	横方向に調整	
2041	2-11　A区　南北ベルト10層	深鉢	口縁(突起)		沈線・口唇部右肩に丸い抉り	円文	
2042	2-11　AC区　最下層	鉢？	胴	LR 横位	羊歯状文		
2043	2-11　AC区　最下層	深鉢	口縁		沈線・口唇部に沈線と刺突	沈線	
2044	3-11　黒褐色土層(地山粘土混入層)	脚付壺	底		4個の突起による脚　ミガキ	無調整	
2045	3-11　A区　黒色土層・黒褐色土層	深鉢	口～胴	RL 横位	隆帯に短沈線・雲形文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
2046	3-11　A区　黒色土層・黒褐色土層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線に斜位刻目・口唇部に突起	横方向に調整	
2047	3-11　A区　黒色土層・黒褐色土層	壺？	胴	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2048	3-11　A区　黒色土層・黒褐色土層	壺	口～頸		口縁部貼付・口唇部に沈線		
2049	3-11　B区　10YR3／2 黒褐色土　地山小ブロック少	鉢	口～胴	RL 横位	山形口縁1個のみ大	横方向に調整　1条の沈線	
2050	3-11　黒褐色土層(地山小ブロック2～3%混在)	壺	口～頸	LR 横位	隆帯に突起・雲形文・沈線	口唇部に沈線　横方向に調整	
2051	3-11　黒褐色土層(地山小ブロック2～3%混在)	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部レース状(浮き彫り)	横方向に調整	
2052	3-11　黒褐色土層(地山小ブロック2～3%混在)	皿	口～胴	RL 横位	羊歯状文・口唇部に突起	口唇部に浮き彫り　横方向に調整	
2053	3-11　黒褐色土層(地山小ブロック2～3%混在)	注口	胴		連鎖状羊歯状文	横方向に羊歯状文	
2054	3-11　黒褐色土	小型壺	胴～底	RL 横位	磨消縄文　底部上底	横方向に調整　表面円形状に剝落	
2055	3-11　黒褐色土(地山小ブロック2～3%混在)	深鉢	口縁		波状口縁・沈線(円文)	円文	
2056	3-11　IIIA層最上部　黒褐色土下部	壺	胴	LR 横位	頸部1条の沈線	輪積痕	
2057	3-11　IIIA層最上部　黒褐色土下部	浅鉢	口縁		口唇部に羊歯状文の突起(レース状)	横方向に調整	
2058	3-11　IIIA層最上部　黒褐色土下部	鉢	口～胴	LR 横位	沈線		
2059	3-11　灰黄褐色土漸移層	鉢	口～胴		工字文・斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2060	3-11　灰黄褐色土漸移層	皿	口～胴	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
2061	3-11　黒褐色土(灰黄褐色土に近い)	壺？	口～頸		山形口縁(貼付)	口唇部に隆帯　横方向に調整	
2062	3-11　灰黄褐色土漸移層	鉢	口～胴	LR・RL	連鎖状羊歯状文・羽状	縦・横方向に調整　煤？付着	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2063	3-11　灰黄褐色土漸移層	深鉢	口～胴	r	単軸絡条体第1類		
2064	3-11　A区　灰黄褐色土上半	浅鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文・口唇部に突起・縦位刻目	横方向に調整	
2065	3-11　A区　灰黄褐色土層	Ⅲ	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に突起（レース状）		
2066	3-11　A区　灰黄褐色土層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・羊歯状文	横方向に調整	
2067	3-11　A区　灰黄褐色土層	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・刺突	横方向に調整	
2068	3-11　A区　灰黄褐色土層	深鉢	胴	r	短沈線・単軸絡条体第1類		
2069	3-11　A区　灰黄褐色土層	深鉢	口縁	LR 横位	沈線・竹管文	横方向に調整	
2070	3-11　A区　灰黄褐色土層	深鉢	口縁		隆帯・沈線・ボタン状貼付	横方向に調整	
2071	3-11　A区 灰黄褐色土上半・灰黄褐色土下半混合(ⅢB上層)	Ⅲ	口～胴	LR・RL	直線状羊歯状文・羽状	横方向に調整	
2072	3-11　A区 灰黄褐色土上半・灰黄褐色土下半混合(ⅢB上層)	深鉢	胴	r・l不明	沈線・竹管文単軸絡条体第1類		
2073	3-11　A区　灰黄褐色土最下部	壺	口～胴	LR 横位	口縁部ミガキ　胎土に金雲母	輪積痕　横方向に調整	
2074	3-11　A区　灰黄褐色土最下部	深鉢	口縁		口縁突起　口唇部の間貫通		
2075	焼土面を含む灰黄褐色土層下半	深鉢？	突起		隆帯に短沈線・朱付着		
2076	焼土面を含む灰黄褐色土層下半	深鉢	突起		No.2075と同一個体　朱は付いていない		
2077	1-12　Ⅲ層	Ⅲ	口～底	LR 横位	沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
2078	1-12　Ⅲ層	深鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線に列点文・口唇部に突起、沈線・羽状	横方向に調整	
2079	1-12　Ⅲ層	Ⅲ	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部に突起	横方向に調整	
2080	1-12　Ⅲ層	深鉢	突起		沈線・竹管文・口唇部に沈線		
2081	1-12　Ⅲ層	深鉢	胴	r	沈線・単軸絡条体第1類・刺突		
2082	1-12　ⅢA層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・雲形文・突起	横方向に調整	
2083	1-12　ⅢA層	Ⅲ	口～胴		雲形文・口唇部に縦位刻目、沈線	沈線	
2084	1-12　D区　灰黄褐色土　焼土面より上	Ⅲ	口～胴	LR 横位	平行沈線に縦位刻目	口唇部に隆帯・縦位刻目	
2085	1-12　D区　灰黄褐色土　焼土面より上	鉢	口～胴		雲形文・口唇部に沈線、縦位刻目		
2086	1-12　D区　灰黄褐色土　焼土面より上	深鉢	口縁		波状口縁・沈線	突起に沈線	
2087	1-12　D区　灰黄褐色土　地山ブロック7%散在(ⅢB上層?)　焼土面含む層	鉢	口～胴		平行沈線・雲形文		
2088	1-12　D区　灰黄褐色土　地山ブロック7%散在(ⅢB上層?)　焼土面含む層	鉢	口縁		羊歯状文・口縁部に突起		
2089	1-12　CD区　灰黄褐色土　焼土面含む層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・刺突・波状口縁	横方向に調整	
2090	1-12　C区　灰黄褐色土　焼土面含む層の下部	深鉢？	口縁		波状口縁？　補修孔		
2091	1-12　C区　灰黄褐色土　焼土面含む層の下部	壺	頸	RL 横・斜位	沈線		
2092	1-12　C区　灰黄褐色土　焼土面含む層の下部	深鉢	口縁	RL 横位？	波状口縁・沈線	突起に沈線	
2093	1-12　C区　灰黄褐色土　地山ブロック1%散在	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線をS字状に区切る	横方向に調整	
2094	1-12　C区　灰黄褐色土　地山ブロック1%散在	鉢？	口縁	RL 横位？	沈線・刺突		
2095	1-12　C区 灰黄褐色土下半　地山小ブロック3%(ⅢB中層)	台付鉢	台		入組文		
2096	1-12　C区 灰黄褐色土下半　地山小ブロック3%(ⅢB中層)	深鉢	口～胴	RL 横位	沈線・刺突		
2097	1-12　C区 灰黄褐色土下半　地山小ブロック3%(ⅢB中層)	台付鉢	台	LR 横位	沈線	横方向に調整	
2098	1-12南北ベルト9層	鉢	口縁		羊歯状文　原体不明	横方向に調整	
2099	1-12南北ベルト9層	鉢	口～胴		直線状羊歯状文・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
2100	1-12南北ベルト9層	深鉢	口～胴		沈線・波状口縁		
2101	1-12南北ベルト10層	鉢？	口～胴		平行沈線・羊歯状文？		
2102	1-12南北ベルト10層	深鉢	口縁		隆帯・沈線	横方向に調整	
2103	1-12南北ベルト10層	鉢？	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
2104	1-12南北ベルト10層	深鉢	口縁	LR 斜位？	波状口縁・沈線・刺突	横方向に調整	
2105	2-12　ⅢA層より上～ⅢA層	鉢	口～胴		平行沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2106	2-12　ⅢA層より上～ⅢA層	鉢	口縁	LR 横位	隆帯・沈線	口唇部に沈線	
2107	2-12　ⅢA層より上～ⅢA層	鉢	口～胴	RL 横位	口縁部に貼付痕あり		
2108	2-12　ⅢA層より上～ⅢA層	壺	胴	LR 横位	沈線		
2109	2-12　ⅢA層より上～ⅢA層	壺？	口～胴	LR 横位	平行沈線・列点文	口唇部に沈線　横方向に調整	

図版No	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2110	2-12　ⅢA層上部	鉢	口～胴		工字文・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2111	2-12　A区　Ⅲ層上層相当層	深鉢	口～胴		口縁部貼付・沈線・半竹管文	横方向に調整	
2112	2-12　A区　Ⅲ層上層相当層	深鉢	胴	RL横位	No.2112と同一個体	横方向に調整	
2113	2-12　ⅢA層相当層	壺？	口～胴		平行沈線・刺突・口縁部貼付	口唇部に沈線	
2114	2-12　ⅢA層相当層	鉢	口～胴	RL横位	平行沈線に斜位刻目・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
2115	2-12　ⅢA層相当層	鉢	口～胴	RL横位	クランク状羊歯状文	縦方向に調整	
2116	2-12　ⅢA層相当層	鉢	口縁		平行沈線に縦位刻目？・突起に横位刻目		
2117	2-12　ⅢA層相当層	深鉢	口縁	r	波状口縁・沈線・単軸絡条体第1類	横方向に調整	
2118	2-12　ⅢA層相当層	深鉢	口縁	l?	沈線・単軸絡条体第1類		
2119	2-12　黒色土	壺？	胴		工字文		
2120	2-12　C区　黒色土	小型鉢	口～底	LR横位	平行沈線・口唇部に縦位刻目	横方向に調整	
2121	2-12　黒色土	皿	口縁		工字文	口唇部に沈線	
2122	2-12　黒色土	小型壺	完形		無文・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線	
2123	2-12　黒色土	深鉢	口～胴	LR横位	口縁部磨消し・口唇部沈線	口唇部に沈線	
2124	2-12　黒色土	壺	胴		工字文		
2125	2-12　A区　Ⅲ層上層相当層	皿	口～胴	LR横位	雲形文・平行沈線に縦位刻目	横方向に調整	
2126	2-12　黒色土	壺	胴	LR横・斜位	沈線		
2127	2-12　黒色土	深鉢	口縁		沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2128	2-12　黒色土①層	深鉢	口～底	LR横位	平行沈線・口唇部に縦位刻目		
2129	2-12　黒色土	鉢	口～胴	LR横位	口唇部に斜位刻目	黒色付着物	
2130	2-12　黒色土	皿	口～胴	LR横位	雲形文・口唇部レース状突起	隆帯に縦位刻目	
2131	2-11　黒色土	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線・入組文	口唇部に沈線	
2132	2-11　黒色土	皿	口～胴		羊歯状文・口唇部にレース状突起		
2133	2-11　黒色土	台付鉢	台		羊歯状文		
2134	2-12　A区　黒色土①区	台付鉢	口～胴	LR横位	平行沈線　台破損後再利用	縦方向に調整	
2135	2-12　A区　黒色土層下の黒褐色土層下の黒褐色土　2-12　No.1	壺	口～胴		平行沈線・小突起・口唇部に平行沈線	輪積痕	
2136	2-12　A区　黒褐色土～灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)	皿	口～胴	LR横位？	雲形文・直線状羊歯状文	横方向に調整	
2137	2-12　A区　黒褐色土～灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)	鉢	口～胴	LR横位	直線雲形文・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2138	2-12　黒褐色土～灰黄褐色土層	壺	口～胴	LR・RL横位	体部羽状縄文	横方向に調整	
2139	2-12　A区　黒褐色土～灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)	壺	口縁	LR横位	口唇部に小突起		
2140	2-12　A区　黒褐色土～灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)	深鉢	口縁	LR横位	波状口縁・沈線・刺突		
2141	2-12　A区　黒褐色土～灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)	鉢	口縁	r	沈線・単軸絡条体第1類		
2142	2-12　灰黄褐色土(地山小ブロック7%散在)	鉢	口縁	LR横位	隆帯・沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2143	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	鉢？	口縁		平行沈線・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線	
2144	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	鉢	口～胴	LR横位	平行沈線に斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2145	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	注口	胴下半		直線状羊歯状文	横方向に調整	
2146	2-12　A区　灰黄褐色土　大焼土面より上層　地山小ブロック多	鉢	口縁		入組文・平行沈線に縦位刻目	横方向に調整	
2147	2-12　A区　灰黄褐色土　大焼土面より上層　地山小ブロック多	壺	胴～底	RL横・斜位	入組文・沈線		
2148	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	皿	口～胴	LR横位	直線状羊歯状文・直線状雲形文		
2149	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	皿	口～胴	LR横位	雲形文・口唇部レース状	横方向に調整	
2150	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	深鉢	口～胴	LR横位	平行沈線・口唇部に縦位刻目・Z字状結節(開端部処理)	横方向に調整	
2151	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	鉢	口～胴	LR横位	直線状羊歯状文	口唇部に沈線　横方向に調整	
2152	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	鉢？	口縁		口縁部貼付		
2153	2-12　灰黄褐色土　地山小ブロック多　大焼土面より上	深鉢	口縁		波状口縁・沈線・刺突		
2154	2-12　灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)　焼土面より下層	壺	口～胴	RL横位	平行沈線・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2155	2-12　A区　地山ブロック7%散在　焼土より下層	台付鉢？	台		羊歯状文		
2156	2-12　灰黄褐色土(地山小ブロック7%散在)　焼土面より下層	深鉢	口～胴	LR・RL	連鎖羊歯状文	横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2157	2-12　灰黄褐色土(地山小ブロック7%散在)　焼土面より下層	注口	口～胴		羊歯状文		
2158	2-12　灰黄褐色土(地山小ブロック7%散在)　焼土面より下層	壺	胴	RL 横位	羊歯状文・平行沈線	横方向に調整	
2159	2-12　灰黄褐色土　地山ブロック1%散在	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・短沈線		
2160	2-12　B区　灰黄褐色土・黒色土少混在　地山小ブロック3%	注口	胴	LR 横位	入組文		
2161	2-12　A区　灰黄褐色土(地山ブロック7%散在)　焼土面より下	注口	注口		羊歯状文		
2162	2-12　A区　灰黄褐色土下半	壺？	胴	LR 横位	平行沈線・縦位刻目	横方向に調整	
2163	2-12　A区　灰黄褐色土下半	鉢？	口縁	LR 横位	沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
2164	2-12　A区　灰黄褐色土下半	蓋	取手	RL 縦・横位	接合面欠損		
2165	2-12　C区　3-11　II層	注口	口～胴	LR 横位	羊歯状文	横方向に調整	
2166	2-12　C区　3-11　II層	鉢	口～底	LR 横位	沈線・隆帯・小突起	口唇部に沈線　横方向に調整	
2167	2-12　C区　3-11　II層	皿	口～胴	LR・RL	平行沈線に縦位刻目　補修孔・羽状・口唇部レース状、縦位刻目	横方向に調整	
2168	2-12　C区　3-11　II層	鉢	口～胴		平行沈線・小突起・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2169	2-12　C区　3-11　II層	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文	横方向に調整	
2170	2-12　A区　2-12　A区　南北ベルト1層	深鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線・口唇部に縦位刻目・羽状	横方向に調整	
2171	2-12　C区　3-11　II層	鉢	口～胴	LR 横位	クランク状羊歯状文・Z字状結節(開端部処理)	横方向に調整　煤付着	
2172	2-12　C区　3-11　II層	深鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線に斜位刻目・口唇部に縦位刻目・羽状	口唇部に沈線　縦・横方向に調整	
2173	2-12　C区　3-11　II層	鉢？	口縁		三叉文		
2174	2-12　C区　3-11　II層	深鉢	口縁	LR 横位	平行沈線を区切る		
2175	2-12　C区　3-11　II層	小型台付鉢	胴～底		沈線・刺突		
2176	2-12　C区　3-11　II層	鉢？	口縁		波状口縁・口縁部貼付	横方向に調整	
2177	2-12東西ベルト0層　一括土器　2-12　B区　3層　2-12南北ベルト3層	鉢	口～胴		隆帯・沈線・口唇部に沈線	口唇部に沈線	
2178	2-12東西ベルト1層	壺？	口～胴		平行沈線・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2179	2-12東西ベルト2層	鉢	口～胴		平行沈線・突起・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線	
2180	2-12東西ベルト2層	深鉢	口～胴	LR 横位	沈線・口唇部に縦位刻目、沈線	横方向に調整	
2181	2-12東西ベルト6層　2-12南北ベルト8層	鉢？	口～胴	LR 横位	半竹管文		
2182	2-12東西ベルト9層	壺	口～胴	LR 横位	平行沈線・列点文	口唇部に沈線　横方向に調整	
2183	2-12東西ベルト10層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線	口唇部に沈線　横方向に調整	
2184	2-12東西ベルト10層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線・半竹管文・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2185	2-12東西ベルト10層	深鉢	口縁	LR 横位	隆帯・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線	
2186	2-12東西ベルト10層	深鉢	口～胴	LR 横位	波状口縁・沈線・刺突	横方向に調整	
2187	2-12東西ベルト10層	蓋	上部	LR 横位	沈線・竹管文		
2188	2-12南北ベルトB1層　1-12南北ベルト11層	深鉢？	突起		隆帯・沈線・表裏口唇部に深いくぼみ		
2189	2-12南北ベルトB1層　1-12南北ベルト11層	台付鉢	台		無文　上面に黒色付着物		
2190	2-12南北ベルト1層　1-11　D区　地山廃棄ブロックより下灰黄褐色土　地山小ブロック1%　1-11　IIIB上～中層	台付鉢	台	LR 横位	沈線・竹管文		
2191	2-12南北ベルトB0層　2-12東西ベルト0層　2-12南北ベルト3層	壺	胴～底	LR 横位	沈線		
2192	2-12東西ベルト	深鉢	口～底	LR 横位	口唇部に縦位刻目・黒色付着物	横方向に調整	
2193	2-12東西ベルト1層　2-12南北ベルト5層	皿	口～胴		平行沈線・口縁レース状		
2194	2-12東西ベルト6層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線に斜位刻目・口唇部に縦位刻目	口唇部に平行沈線	
2195	2-12東西ベルト6層	壺？	口～胴		沈線・短沈線・隆帯・口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線	
2196	2-12東西ベルト6層	皿	口縁		口唇部に沈線	口唇部に沈線	
2197	2-13南北ベルト黒色土　一括土器7層　2-13南北ベルト7層　2-13　IIIA相当層	深鉢	口～胴	LR 横位	口唇部に縦位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2198	2-12東西ベルト7層　2-12南北ベルト5層	注口	頸		沈線		
2199	2-12　最下層	深鉢？	突起		隆帯に刻目　貫通孔	隆帯に刻目	
2200	3-12　黒色土	壺	口～胴	RL 横位	横方向に調整	横方向に調整	
2201	3-12　黒色土	鉢	口～胴		平行沈線・隆帯・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2202	3-12　黒色土	皿	口～胴	LR 横・斜位	雲形文・口唇部レース状	口唇部に縦位刻目　横方向に調整	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2203	3-12　黒色土	深鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整	
2204	3-12　A区　10YR 黒色土　地山小ブロック2～3%散在	鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文	縦・横方向に調整	
2205	3-12　A区　10YR 黒色土　地山小ブロック2～3%散在	深鉢	口縁	LR 横位	波状口縁		
2206	3-12　A区　10YR 黒色土　地山小ブロック2～3%散在	壺	胴	RL 横位	入組文	縦方向に調整	
2207	3-12　A区　10YR 黒色土　地山小ブロック2～3%散在	鉢	口～胴		平行沈線に斜位刻目・口唇部に縦位刻目、沈線	横方向に調整	
2208	3-12　A区　灰黄褐色土　地山小ブロック7～10%散在(3-11-Ⅱ層)	深鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線	煤付着	
2209	3-12　A区　灰黄褐色土　地山小ブロック7～10%散在(3-11-Ⅱ層)	注口	口縁		羊歯状文		
2210	3-12　A区　灰黄褐色土　地山小ブロック7～10%散在(3-11-Ⅱ層)	鉢	口縁	LR 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
2211	3-12　最下層　10YR5／4	鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・平行沈線		
2212	3-12　最下層　10YR5／4	鉢？	口縁		平行沈線・半竹管文		
2213	3-12　最下層　10YR5／4	皿？	胴	LR 横位	雲形文		
2214	3-12　最下層　10YR5／4	鉢	口縁		三叉文		
2215	1-13　B区　表土最下部	深鉢？	口縁		波状口縁・口縁部貼付　補修孔		
2216	1-13　B区　表土最下部	深鉢	口～胴		平行沈線		
2217	1-13　2-13　ⅢA相当層	鉢	口～胴	LR・RL	平行沈線に縦位刻目・羽状・Z字状結節縄文(開端部処理)	横方向に調整	
2218	1-13　2-13　ⅢA相当層	壺	口～胴	LR 横位	沈線・短沈線・口唇部に沈線	横方向に調整	
2219	1-13　ⅢA相当層	壺	胴～底		全面ミガキ　化粧土多く剝落　上底	炭化物付着	
2220	1-13　2-13　ⅢA相当層	深鉢	口～胴	LR 横位？	羊歯状文	横方向に調整	
2221	1-13　D区　10YR3／2 黒褐色土	深鉢	口縁		口唇部に斜位刻目		
2222	1-13　D区　10YR3／2 黒褐色土	皿？	口縁		沈線・口唇部レース状		
2223	1-13　D区　10YR3／2 黒褐色土	壺	口～胴	LR・RL 横位	沈線・口唇部に隆帯、縦位刻目	横方向に調整	
2224	1-13　C区　灰黄褐色土　焼土面より上　一括土器	壺	ほぼ完形		口縁部欠損　胴部ミガキ・底部円形沈線		
2225	1-13　BD区　灰黄褐色土　地山粘土ブロック7%散在　焼土面直上	壺？	口～胴		沈線・口唇部に縦位刻目		
2226	1-13　BD区　灰黄褐色土　地山粘土ブロック7%散在　焼土面直上	皿	口～胴	LR 横位	雲形文・口唇部レース状	口唇部に沈線　横方向に調整	
2227	1-13　BD区　灰黄褐色土　地山粘土ブロック7%散在　焼土面直上	深鉢？	突起	LR 横位	沈線・半竹管文		
2228	1-13　BD区　灰黄褐色土　地山粘土ブロック7%散在　焼土面直上	香炉形	ほぼ完形		頂部一対の突起、1本欠損　体部文様4単位で2対となる	粗いケズリ	
2229	1-13　焼土　No.1 周辺　焼土面含む灰黄褐色土	壺？	胴	LR 横位	雲形文		
2230	1-13　焼土　No.1 周辺　焼土面含む灰黄褐色土	皿	口縁		直線状羊歯状文・口唇部レース状	口唇部に沈線	
2231	1-13　焼土　No.1 周辺　焼土面含む灰黄褐色土	深鉢	胴		沈線		
2232	1-13　焼土　No.1 周辺　焼土面含む灰黄褐色土	鉢？	口～胴	LR 横位	沈線	横方向に調整	
2233	1-13　焼土　No.1 周辺　焼土面含む灰黄褐色土	深鉢	胴		沈線		
2234	1-13　D区　焼土面含む灰黄褐色土層下半部より下	鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文		
2235	1-13　D区　焼土面含む灰黄褐色土層下半部より下	深鉢	口～胴		波状口縁・鎖状隆帯・沈線　貫通孔		
2236	1-13　B区　ⅢB上層	深鉢	口～胴	LR 横位	連鎖状羊歯状文	横方向に調整　煤付着	
2237	1-13　B区　ⅢB上層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線	横方向に調整	
2238	1-13　B区　ⅢB上層	鉢	口～胴	LR 横位	直線状羊歯状文	横方向に調整　煤付着	
2239	1-13　B区　ⅢB上層	深鉢	胴	LR・RL 横位	沈線・列点文		
2240	1-13　B区　ⅢB上層	鉢	口～胴	RL 横位	平行沈線を区切る	横方向に調整	
2241	1-13　A区　ⅢB上層 or 中層	深鉢	突起		沈線		
2242	1-13　A区　ⅢB上層又は中層	深鉢	口～胴	RL 横位	波状口縁・沈線・半竹管文	横方向に調整	
2243	1-13　2-13東西ベルト(南東面)2層(4層少量混合)	皿	口縁		雲形文・口唇部レース状・縦位刻目		
2244	1-13　2-13東西ベルト(南東面)2層(4層少量混合)	鉢	口～胴	LR・RL 横位	沈線・口唇部に沈線	煤付着	
2245	1-13　2-13東西ベルト(南東面)2層(4層少量混合)	皿？	口～胴		入組文	横方向に調整	
2246	1-13　2-13東西ベルト(南東面)2層(4層少量混合)	鉢	口～胴	LR 横位	細縄文	横方向の調整	
2247	1-13　2-13東西ベルト北西面3層	壺？	胴	LR 横・斜位	入組文		
2248	1-13　2-13東西ベルト北西面3層	深鉢？	胴		沈線・瘤状突起		
2249	1-13　2-13東西ベルト北西面3層	鉢？	胴	RL 横位	沈線		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2250	1-13　2-13東西ベルト北西面3層	皿	口～胴	LR横位	平行沈線・口唇部レース状		
2251	1-3　A区　2-13東西ベルト南東面4層　2-13東西ベルト(南東面)6層	鉢	口～胴	LR横位	隆帯・突起・入組文・口唇部に斜位刻目	口唇部に沈線　横方向に調整	
2252	1-3　A区　2-13東西ベルト南東面4層　2-13東西ベルト(南東面)6層	皿	口～胴	LR横位	直線状雲形文・口唇部に沈線	横方向に調整	
2253	1-3　A区　2-13東西ベルト南東面4層　2-13東西ベルト(南東面)6層	皿	口～胴	LR横位	雲形文・口唇部レース状	口唇部に縦位刻目　横方向に調整	
2254	2-13　ⅢA層	深鉢	口縁	LR横位	頸部沈線	横方向に調整	
2255	2-13　ⅢA層	深鉢	胴～底	LR横位	雲形文	横方向に調整	
2256	2-13　ⅢA層	注口	胴		羊歯状文		
2257	2-13　ⅢA層	深鉢	口縁		B型突起・平行沈線・斜め刻目文	横方向にミガキ	
2258	2-13　ⅢA層	小型鉢	口縁	LR横位	S字状沈線・波状口縁		
2259	2-13　ⅢA層	深鉢	胴		縦方向の沈線		
2260	2-13　黒色土	深鉢	口～胴		小波状口縁・押引状平行沈線	横方向に調整　1条の沈線	
2261	2-13　黒色土	浅鉢	口～胴	LR横位	口唇部刻目文　補修孔	横方向にミガキ　1条の沈線	
2262	2-13　黒色土	壺	胴	LR横位	球形胴部　磨消縄文		
2263	2-13　黒色土	注口	口～胴		羊歯状文・X字状文	横方向にミガキ	
2264	2-13　黒色土	深鉢	口縁		口唇部刻み・B形突起	横方向にミガキ　1条の沈線	
2265	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	浅鉢(椀)	口～胴		雲形文	ミガキ	
2266	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	浅鉢	口縁		小波状口縁に刻み・波頂部に三角文		
2267	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	浅鉢(皿)	口～胴	不明(磨滅)	B型突起・雲形文	1条の沈線	
2268	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	浅鉢(椀)	口縁		口縁部B型突起・平行沈線・口唇部沈線	丁寧なミガキ	
2269	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	鉢	口～胴	LR縦・横位	羊歯状文・原体の方向を違えた羽状縄文	煤付着	
2270	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	深鉢	口縁	LR横位	口縁部磨消部分に円形の刺突文　磨滅	横方向に調整	
2271	2-13　10YR黒褐色土　地山小ブロック少散在	深鉢	口～胴		波状部に円形孔・多重の沈線	粗いヘラ整形	
2272	2-13　黒褐色土～灰黄褐色土層	小型鉢	口～胴	LR横位	口唇部刻目文・頸部B型突起	1条の沈線　ミガキ	
2273	2-13　黒褐色土～灰黄褐色土層	台付鉢	脚		工字文	ミガキ	
2274	2-13　黒褐色土～灰黄褐色土層	浅鉢	口～胴		雲形文	ミガキ	
2275	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	注口	口縁		口唇部4単位のB型突起文	ミガキ	
2276	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	注口	口縁		羊歯状文		
2277	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	深鉢	口～胴	LR横位	口縁突起に渦巻沈線・一部剝落		
2278	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	浅鉢	口～胴	LR横位	口縁と肩部に縄文・平行沈線	横方向に調整	
2279	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	深鉢	口縁	r	単軸絡条体第1類の上から平行沈線・口縁部刺突	横方向に調整	
2280	2-13　B区　灰黄褐色土　地山粘土小ブロック7%散在	深鉢	口縁		口縁突起に円孔	S字状突起	
2281	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より上	浅鉢	口～胴	LR横位	口縁部列点文・平行沈線　縄文磨滅	横方向に調整	
2282	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より上	深鉢	口～胴	LR横位	口縁部区画沈線文に列点文	ミガキ	
2283	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック3%　焼土面より下層	浅鉢	口縁		連結B型突起・丹塗りの痕跡	1条の沈線	
2284	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック3%　焼土面より下層	深鉢	口縁		山形突起・刻目文	横方向に調整　1条の沈線	
2285	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック3%　焼土面より下層	鉢	胴	LR横位	羊歯状文	ミガキ	
2286	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック3%　焼土面より下層	深鉢	口縁		口縁突起の下に小判状の沈線文		
2287	2-13　A区　灰黄褐色土　地山ブロック3%　焼土面より下層	深鉢	口縁	LR横位	磨消縄文	横方向に調整	
2288	2-13　A区　灰黄褐色土最下部(ⅢB中層)	深鉢	胴	LR横位	沈線渦巻文の下に竹管の刺突文		
2289	2-13　A区　灰黄褐色土最下部(ⅢB中層)	壺？	口縁	LR横位	1条の隆帯に縄文・ミガキ	ミガキ	
2290	2-13　ⅢB下層(ⅢA層も一部混入)	深鉢	胴		太い平行曲線文		
2291	2-13　ⅢB下層(ⅢA層も一部混入)	深鉢	口縁		突起の両側に凹み　沈線文	剝落	
2292	2-13　ⅢB下層(ⅢA層も一部混入)	深鉢	口縁		口縁下に太い刺突文	横方向に調整	
2293	2-13　3-11　Ⅱ層	小型鉢	口縁		山形突起・頸部刻目文		
2294	2-13　3-11　Ⅱ層	注口	頚	LR横位	充填縄文	横方向にヘラミガキ	
2295	2-13　3-11　Ⅱ層	浅鉢	口～胴	LR横位	B型突起・平行沈線	隆帯剝落	
2296	2-13　3-11　Ⅱ層	小型鉢	口縁		波頂部に山形・深い沈線文　胎土に粗い粒子、金雲母	山形に沈線が巡る	

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2297	2-13　3-11　II層	壺	肩	LR 横位	大型壺の肩部・平行沈線	横方向にヘラ痕	
2298	2-13　2-13東西ベルト南東面4・6層	深鉢	口縁	LR 横位	磨消縄文		
2299	2-13　2-13東西ベルト南東面8層	小型鉢	口縁		山形突起・口唇部、頸部刻目文	ミガキ	
2300	2-13　2-13東西ベルト南東面8層	深鉢	口縁		口唇部刻目・頸部ミガキ	横方向にミガキ	
2301	2-13　2-13東西ベルト南東面7・8層	台付鉢	脚		太い沈線・ミガキ		
2302	2-13　2-13東西ベルト南東面7・8層	浅鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・丹塗りの痕跡		
2303	2-13　2-13東西ベルト南東面7・8層	深鉢	口縁	LR 横位？	口縁刻目・平行沈線間に横U字状の沈線		
2304	2-13　2-13東西ベルト北西部4層	注口	胴	LR 横位	充填縄文	横方向に調整	
2305	2-13東西ベルト8層　2-13東西ベルト（南東部）8層	深鉢	口縁突起		無文・円形に3ヶ所の突起		
2306	2-13　2-13東西ベルト北西部4層	深鉢	口～胴	LR・RL	小波状口縁・結節羽状縄文	ヘラ痕	
2307	2-13　2-13東西ベルト北西部6層　一括土器	深鉢	口～底	LR 横位	頸部平行沈線・底部無文	1条の沈線	
2308	2-13　2-13東西ベルト北西部6層　一括土器	深鉢	口～底	LR 横位	小波状口縁・底部無文	1条の沈線　横方向に調整	
2309	2-13　2-13東西ベルト北西部6層　一括土器6層	注口？	口縁		A字突起の両側にB型突起	1条の沈線	
2310	2-13　2-13東西ベルト北西部6層　一括土器6層	深鉢	口縁		小形口縁・頂部に2本一対の刻目		
2311	2-13　2-13東西ベルト北西部6層　一括土器6層	深鉢	口縁		口唇部羊歯状文・平行沈線		
2312	3-13　黒褐色土（灰黄褐色土に近い）	鉢	口縁		口縁部B型突起	1条の沈線	
2313	3-13　黒褐色土（灰黄褐色土に近い）	鉢	口縁	RL 横位	口唇部刻目・頸部平行沈線		
2314	1-14　C区　3-11　II	壺	胴		入組三叉文・黒色研磨・肩部		
2315	1-14　C区　3-11　II	鉢	口縁		羊歯状文崩れの縄文		
2316	1-14　C区　3-11　II	鉢	胴		沈線・文様単位不明		
2317	2-13　3-14北東・南北ベルト　クリーニング時	浅鉢	口～胴	LR 横位	山形突起1ヶ所・X字文・充填縄文	1条の沈線　ミガキ	
2318	1-14　表土（木の根元）	浅鉢	略完形	LR 横位	文様4単位・三叉文基点	ミガキ	
2319	1-14　III層	深鉢	口縁		平行沈線・刻目文	1条の沈線　横方向に調整	
2320	1-14　III層	鉢	口縁	RL 横位	口唇部沈線・平行沈線間に刻目1条		
2321	1-14　III層	鉢	口～胴		口縁「の字文」・羊歯状文		
2322	1-14　III層	台付鉢	胴～脚	RL 縦・横位	胴部と脚部原体方向異なる	胴と脚の接点面粗い刻目有	
2323	1-14　III層	深鉢	胴	LR 横位	平行沈線S字状に区切る	ミガキ	
2324	1-14　III層	深鉢	口縁	LR 斜位	三叉状磨消縄文		
2325	1-14　III層	鉢	口縁		円形の沈線・緩やかな波状口縁		
2326	1-14　B区　IIIB上層	深鉢	口～胴	LR 横位	口唇部刻み・頸部ミガキ	横方向に調整	
2327	1-14　B区　IIIB上層	深鉢	口縁	LR 横位	充填縄文　胎土に金雲母少量	横方向に調整	
2328	1-14　B区　IIIB上層	蓋	口縁		深い竹管刺突を起点に沈線文	粗い調整　一部輪積み痕	
2329	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック1%以下　焼土面より上	鉢	口縁		口唇部～頸部平行沈線と刻目文交互	1条の沈線	
2330	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック1%以下　焼土面より上	浅鉢	口～胴	LR 横位	A型突起の両側にB型突起・充填縄文	1条の沈線　横方向に調整	
2331	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック1%以下　焼土面より上	注口	胴		崩れた三叉文・羊歯状文	縦に擦痕	
2332	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック1%以下　焼土面より上	鉢	口縁		三叉文？・文様磨滅		
2333	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック7%　焼土面より下層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線間に縦の刻目	横方向に調整	
2334	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック7%　焼土面より下層	深鉢	口～胴	LR 横位	4単位？の山形口縁・方向区画の磨消縄文	波状部に沈線2段	
2335	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック7%　焼土面より下層	浅鉢	胴下半	LR 横位	下半部平行沈線S字状に区画		
2336	1-14　C区　灰黄褐色土層　地山小ブロック7%　焼土面より下層	深鉢	口縁下半		鎖状隆線・竹管刺突　胎土に金雲母少量	粗い調整	
2337	1-14　灰黄褐色土（地山小ブロック7%散在）	鉢	口縁		三叉状文		
2338	1-14　灰黄褐色土（地山小ブロック7%散在）	深鉢	口～胴	LR 横位	頸部平行沈線間に刻目文交互	1条の沈線　横にミガキ	
2339	1-14　灰黄褐色土（地山小ブロック7%散在）	浅鉢	口～胴	LR 横位	雲形文・充填縄文	ミガキ	
2340	1-14　灰黄褐色土（地山小ブロック7%散在）	鉢	口～胴	RL 横位	頸に1段斜め刻目文	体部縦にミガキ	
2341	1-14　AB区　地山直上　10YR4/2灰黄褐色土（地山ブロック7%散在）	浅鉢	口～胴	LR 横位	タール状炭化物付着	上半部にやや厚めの炭化物	
2342	1-14　AB区　地山直上　10YR4/2灰黄褐色土（地山ブロック7%散在）	小型鉢	口～胴	RL 横位	沈線間縦の刻目	横方向に調整	
2343	1-14　C区　10YR5／3　最下層	小型鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2344	1-14　C区　10YR5／3　最下層	浅鉢	胴		文様意匠不明		晩期？
2345	1-14　C区　10YR5／3　最下層	鉢	口縁		頸部ミガキ・口縁・肩刻目文・山形口縁　補修孔	横方向に調整	
2346	1-14　C区　10YR5／3　最下層	深鉢	口縁		口縁部縦の太いスリット		
2347	1-14～2-14東西ベルト3層	鉢	口縁	LR 横位	波状口縁・口唇部刻目・雲形文？	1条の沈線　横方向に調整	
2348	1-14～2-14東西ベルト3層	皿(浅鉢)	口縁	LR 横位	雲形文・充填縄文		
2349	1-14～2-14東西ベルト3層	浅鉢	口縁	RL 横位	口唇部貼付・縦のスリット	横方向に調整	
2350	1-14～2-14東西ベルト3層	浅鉢	口～胴	LR 横位	細い平行沈線	1条の沈線	
2351	1-14～2-14東西ベルト3層	深鉢	口縁		山形口縁・口唇部貼付肥大・ミガキ	炭化物少量付着	
2352	1-14～2-14東西ベルト3層	深鉢	口縁		No.2351と同一個体		
2353	1-14～2-14東西ベルト5層	鉢	口～胴	LR 縦・横位	羊歯状文・同一原体羽状縄文	胴部縦のミガキ	
2354	1-14～2-14東西ベルト5層	鉢	口～胴	LR 横位	口唇部羊歯状文・口縁沈線と三叉文	ミガキ	
2355	1-14～2-14東西ベルト5層	深鉢	口～胴	LR 横位	入組沈線・胎土に粗い粒子		
2356	1-14～2-14東西ベルト6層	深鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線	横方向に調整	
2357	1-14～2-14東西ベルト7層	浅鉢	口～胴		変形工字文？・文様磨滅	1条の沈線	
2358	1-14～2-14東西ベルト7層	深鉢	口縁	RL 横位	口唇部、頸部に縦の刻目・口縁にB型突起	頸部に1条の沈線	
2359	1-14～2-14東西ベルト7層	小型鉢	口～胴	RL 横位	羊歯状文	口縁部に縦の刻目文	
2360	1-14～2-14東西ベルト8層	壺	口縁		細口の壺	1条の沈線	
2361	1-14～2-14東西ベルト9層	浅鉢	口縁		工字文・一部剝落	1条の沈線	
2362	1-14～2-14東西ベルト9層	台付鉢	脚		透かし入り・上段の円形刺突・一部貫通		
2363	1-14～2-14東西ベルト9層	浅鉢	口縁	LR 横位	雲形文	横方向に調整	
2364	1-14～2-14東西ベルト9層	小型鉢	口～胴	RL 横位	頸部に斜めの刻目		
2365	1-14～2-14東西ベルト10層	小型鉢	口縁	LR 縦・横位	同一原体の羽状縄文		
2366	1-14～2-14東西ベルト10層	深鉢	口縁	LR 横位？	縄文磨滅・胎土に粗い粒子	横方向に調整	
2367	2-14　III層(IIIB層上層)	鉢	口縁		口縁直下に長い刻目・加熱で表面ボロボロ		
2368	2-14　III層(IIIB層上層)	深鉢	口縁		口唇部押圧・頸部ミガキ	横方向に調整	
2369	2-14　IIIA層相当層	注口	胴		注口部にタール状の付着物・アスファルト？		
2370	2-14　IIIA層相当層	深鉢	口～胴	LR 横位	口縁部山形突起　充填縄文　文様帯体部上半	1条の沈線　ミガキ	
2371	2-14　IIIA層相当層	浅鉢	口～底	LR 横位	口縁部1ヶ所装飾文様欠落	口縁部にタール状付着物	
2372	2-14　IIIB層(IIIA層相当層少し混入)	鉢	口縁	RL 横位	口唇部、頸部に刻目	横方向に調整	
2373	2-14　IIIB層(IIIA層相当層少し混入)	深鉢	口縁		口縁部小突起・頸部に流体の連鎖文		
2374	2-14　IIIB層(IIIA層相当層少し混入)	深鉢	口縁	LR 横位	口縁突起欠落・入組文　胎土に雲母少量		
2375	2-14　D区　灰黄褐色土層	浅鉢	口縁		工字文・ミガキ	1条の沈線	
2376	2-14　D区　灰黄褐色土層	浅鉢	口縁	LR 横位	π字状文	1条の沈線　隆帯貼付	
2377	2-14　C区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より下層	鉢	口～胴	LR 横位	口唇部斜め刻目・頸部沈線	1条の沈線　内面黒色、外面褐色	
2378	2-14　C区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より下層	鉢	口～胴	LR 横位	小波状口縁・頸部B型状突起	ミガキ	
2379	2-14　C区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より下層	深鉢	口縁	LR 横位	No.2334と同一個体		
2380	2-14　C区　灰黄褐色土　地山ブロック7%　焼土面より下層	深鉢	口縁		山形突起の下に円形文・中に縦の刺突・隆帯文様		
2381	1-15　III層	浅鉢	口縁		口縁部A型、B型突起一周　頸部ミガキ	2条の沈線　横方向の調整	
2382	1-15　III層	浅鉢	胴	LR 横位	雲形文		
2383	1-15　III層	小型鉢	口～胴	LR 横位	羊歯状文		
2384	1-15　III層	深鉢	口～胴	RL 横位	口唇部刻目・頸部3本沈線	1条の沈線	
2385	2-15　A区　表土	壺	肩部		多重の工字文	輪積み痕	
2386	2-15　IIIA層相当層	深鉢	口～胴	LR 横位	口唇部欠落・頸部沈線	横方向に調整	
2387	2-15　B区　地山直上	小型鉢	口～胴	磨滅	頸部工字文	2条の沈線	
2388	2-15　B区　地山直上　10YR3/2黒褐色土　地山ブロック(5mm)3%散在	鉢	口～胴	LR 横位	口唇部部分的に刻目・頸部に1条斜めの刻目	口唇部に1条の沈線	
2389	2-15　B区　地山直上　10YR3/2黒褐色土　地山ブロック(5mm)3%散在	無頸壺	口縁		三叉文・変形羊歯状文　口縁部文様剝落	横方向に調整	
2390	2-15　B区　地山直上　10YR3/2黒褐色土　地山ブロック(5mm)3%散在	皿(浅鉢)	口縁	LR 横位？	口縁部B型突起		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2391	2-15　B区　地山直上　10YR3/2黒褐色土　地山ブロック(5mm)3%散在	深鉢	口縁		入組沈線に沿って刺突文　胎土に粗い粒子		
2392	1-16　1-17　1-18　III層	鉢	口～胴	LR 横位	平行沈線・口唇部刻目		
2393	1-16　1-17　1-18　III層	浅鉢	胴	LR 横位	沈線間の文様不明	ミガキ	
2394	1-17　III層上部	深鉢	口縁		スペード状の突起片面に円形の抉り・胎土に金雲母		
2395	1-16　1-17　1-18　III層	鉢	口～胴	LR 横位	口唇部刻目・頸部に突起	横方向に調整	
2396	1-16　1-17　1-18　III層	深鉢	口～胴	LR 横位	口唇部刻目・平行沈線	ミガキ	
2397	2-17　III層	浅鉢	口～胴	LR 横位	口縁部に列点文・体部の沈線はキズ		
2398	2-18　III層類似層	鉢	口縁		山形口縁・頸部に1条刻目文	ミガキ	
2399	2-18　III層類似層	鉢	口縁		山形口縁・頸部に工字文	1条の沈線	
2400	トレンチ No.3　III層上面	深鉢	口縁		大きな山形口縁・ミガキ	肥厚部分隆帯貼付	
2401	グリッド不明　10YR3／2 黒褐色土層	浅鉢	口～胴		胴に一段の変形工字文	横方向に調整	
2402	グリッド不明　10YR3／2 黒褐色土層	鉢	口～胴	磨滅	2本沈線の連続山形文と1本沈線の山形文重複	横方向に調整	
2403	グリッド不明　10YR3／2 黒褐色土層	壺	口縁		口縁片口状に伸びる　全面研磨	口縁部横方向にミガキ	
2404	廃土	深鉢	口縁突起	LR 横位	中央部に円文・穿孔(表裏とも)		
2405	廃土	深鉢	口縁	LR?磨滅	山形口縁・正面円形の穿孔・側面も穿孔	突起貼付	
2406	トレンチ No.3　III層上面	深鉢	口～胴	RL 横位	口縁部突起の上半部欠落・弧文と波状沈線		
2407	1-2　IIIB中層	深鉢	底		網代痕の上から調整を加える・やや上底		
2408	1-3　IIIB最下層	深鉢	底		網代痕・やや上底		
2409	2-3　IIIB中層	深鉢	底		網代痕・やや上底		
2410	1-4　1-4南北ベルト96⑩層	深鉢	底		網代痕・やや上底		
2411	2-14　1-4東西ベルト4層(炭化物7～10%散在)	深鉢	底		網代痕3本単位		
2412	2-4　IIIB中層　10YR5／4 にぶい黄褐色土	深鉢	底		網代痕・やや上底		
2413	2-4　クリーニング時	深鉢	底		左側網代痕の上からナデ		
2414	1-5　1-5東西ベルト3層	深鉢	底		網代痕の上に木葉痕		
2415	1-5　f.c.5.14 の2・3層	深鉢	底		束ねた植物繊維痕・凹凸激しい		
2416	2-6　IIIB上層	浅鉢？	底		網代痕の上に木葉痕		
2417	2-6　A区　IIIB上層下部	浅鉢	底		網代痕2種類	ミガキ	
2418	2-6　IIIB層下半	浅鉢	底		網代痕・やや上底		
2419	2-6　2-6焼土 No.1 周辺	深鉢	底		網代痕・やや上底	ミガキ	
2420	1-6～2-6　1-6東西ベルトA2層下部～3層上部	小型鉢	胴～底		網代痕・やや上底		
2421	2-6　C区　1-6東西ベルトA3層B(炭化物7～10%散在)	鉢	胴～底		底部欠落	横方向のミガキ	
2422	2-6　D区　1-6東西ベルトB7層	浅鉢	底		網代痕・やや上底		
2423	1-7　AC区　1-7東西ベルトA2層	深鉢	底		中央部の凹みのみに網代痕・上底		
2424	2-7　B区　IIIB中層(炭多)	深鉢	底		網代痕		
2425	1-8　IIIB下層	鉢	底		網代痕磨滅		
2426	2-11　灰黄褐色土　地山ブロック1%散在　焼土より下	深鉢	底		網代痕		
2427	2-12　C区　3-11　II層	深鉢	底		網代痕一部剝落	ヘラ調整痕	
2428	2-12南北ベルト1層　1-12南北ベルト9層	深鉢	底		外側を網代痕の上から調整		
2429	2-2　IIIB中層	深鉢	底		木葉痕・やや上底		
2430	1-3　1-3東西ベルト7層(炭多)　IIIB中層	浅鉢	底		木葉痕と繊維束		
2431	2-3　IIIB中層中部	深鉢	底		木葉痕・上底		
2432	1-4　D区　IIIB上層　2層	深鉢	底		木葉痕・やや上底		
2433	1-5～2-5　1-5東西ベルト5層上部	鉢？	底		木葉痕・やや上底		
2434	1-5　B区　最下層	鉢	底		2枚の木葉痕		
2435	1-6　C区 2-6 A区 1-5 D区 1-6東西ベルト3層(炭多)	深鉢	胴～底		2枚の木葉痕		
2436	2-6　1-6東西ベルトB3層中～下部	深鉢	胴～底		数枚の木葉痕・胴部ミガキ	横方向に調整	
2437	1-6　BD区　1-6東西ベルトB5層	深鉢	底		植物繊維？		

図版No.	出　土　地　点	器　種	部　位	原　体	外面（文様・地文・原体）	内面（調整）	備　考
2438	2-6　ⅢＢ下層下部	深鉢	底		木葉痕		
2439	2-6　Ｃ区　1-6東西ベルト3層中部(炭多)	鉢	底		2枚の木葉痕		
2440	1-7　Ⅰ層(炭多)	鉢	底		木葉痕		
2441	2-7　Ｄ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	底		木葉痕		
2442	2-7　Ｄ区　ⅢＢ中層最下部	深鉢	底		木葉痕		
2443	2-7　Ｂ区　ⅢＢ中層(炭多)	鉢	底		木葉痕		
2444	1-8　ＣＤ区　ⅢＢ上層	深鉢	底		木葉痕		
2445	1-8　Ｃ区　ⅢＢ中層下部(炭多)	深鉢	底		大小2枚の木葉痕		
2446	1-8　Ｃ区　ⅢＢ中層下部(炭多)	鉢	底		2本沈線の木葉状の文様？・上底		
2447	1-8　ＡＣ区　1-8東西ベルト6層	浅鉢	底		木葉痕		
2448	1-8　Ｃ区　2-8　Ａ区　1-8東西ベルト4層	深鉢	底		数枚の小型の木葉痕		
2449	2-8　ＡＢ区　ⅢＢ上層	浅鉢	胴～底		網代痕・木葉痕の痕跡なし		
2450	1-9　Ｄ区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	深鉢	底		植物繊維束？		
2451	1-9　Ｄ区　1-9東西ベルト6層相当(炭多)	鉢	底		木葉痕		
2452	2-10南北ベルト6層	深鉢	底		木葉痕・やや上底		
2453	2-12　Ｄ区　2層	深鉢	底		木葉痕		

アスファルト付き土器

図版No.	出 土 地 点	層　位	器　種	部位	文　様	内 面（調 整）	備　考
18	1-9	ⅢＢ層上～下部	台付鉢	脚	体部と脚の境目に沈線	脚部内側にアスファルト皮膜状	
19	2-4東西ベルトＢ	クリーニング時	深鉢	胴	沈線	アスファルト楕円形状に付着	
20	1-8　Ｃ区	ⅢＢ中層(炭多)	鉢	胴	平行沈線	アスファルト篦状工具でなすり付けている	
21	1-8　No.2	ⅢＢ上層下部	土器 No.1370 のアスファルト				

(2)石　　器

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
1	2-4　ＡＣ区　1-4東西ベルト	③層上～中層		石鏃	(1.85)	1.50	0.25	0.39	チャート質粘板岩	北上山地	
2	1-4　ＡＣ区	ⅢＢ層上半		石鏃	(2.40)	1.40	0.25	0.60	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
3	1-8　ＡＢ区	ⅢＢ層上半		石鏃	2.10	1.25	0.15	0.26	チャート質粘板岩	北上山地	
4	2-8　Ｄ区	ⅢＢ中層下部		石鏃	1.40	1.20	0.20	0.22	チャート質	東磐井・気仙	
5	2-9　Ａ区	ⅢＢ上層		石鏃	2.70	1.55	0.20	0.62	チャート質凝灰岩	北上山地(東磐井)	
6	2-5　1-5東西ベルト	3層下部		石鏃	1.80	1.10	0.30	0.45			
7	2-6　Ｄ区	ⅢＢ層上層上部		石鏃	1.90	1.35	0.30	0.60	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
8	2-6　Ａ区	ⅢＢ層上層上部		石鏃	(1.95)	1.60	0.35	0.90	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
9	1-7　ＡＣ区　東西ベルトＡ	②層相当？		石鏃	1.60	1.25	0.25	0.36	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
10	2-8　Ｄ区	Ⅲ Ac 最下部		石鏃	(1.75)	1.40	0.25	0.33	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
11	1-10　Ｄ区　1-9東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	(2.20)	(1.30)	0.35	0.44	黒曜石	不詳	
12	2-10　Ｄ区	ⅢＢ上層		石鏃	2.80	1.60	0.20	0.83	チャート質凝灰岩	北上山地(東磐井)	
13	2-12　Ａ区	ⅢＢ上層		石鏃	(2.10)	1.45	0.30	0.63	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
14	0-5	ⅢＢ層	1b	石鏃	2.20	1.10	0.30	0.58	凝灰質粘板岩	北上山地	
15	2-11　Ｂ区	地山廃棄ブロック下の地山1%灰黄褐色土		石鏃	2.05	1.10	0.40	0.72	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
16	2号住居跡　ＤＥ区	埋土		石鏃	1.70	1.40	0.30	0.40	チャート質赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
17	1-3　Ｃ区	ⅢＢ上層　10YR5／4		石鏃	2.10	1.40	0.30	0.62	黒曜石	不詳	
18	2-7　Ｂ区　1-7東西ベルト	Ａ３層(炭多)		石鏃	2.25	1.20	0.30	0.72	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
19	2-5	6号焼土遺構		石鏃	2.15	1.00	0.30	0.59	凝灰質粘板岩	北上山地	
20	2-5	6号焼土遺構		石鏃	2.20	1.00	0.40	0.83	泥質細粒粘板岩	奥羽山地(一関西部)	
21	2-4　Ｂ区	ⅢＢ上層		石鏃	(1.60)	0.90	0.35	0.41	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
22	1-5　Ｂ区　1-6東西ベルトＡ	1層		石鏃	2.50	1.40	0.45	0.98	チャート質凝灰岩	東磐井・気仙	
23	1-6	一括土器周辺		石鏃	2.65	1.45	0.35	1.00	粘板岩	北上山地	
24	2-6～3-6　1-6東西ベルトＡ	1層		石鏃	2.40	1.25	0.40	0.90	凝灰質粘板岩	北上山地	
25	2-6　Ａ区	地山廃棄ブロック No.1 より下の黒色土		石鏃	(4.90)	1.35	0.45	2.27	凝灰質粘板岩	北上山地	
26	2-7	ⅢＡ～ⅢＢ層		石鏃	1.90	1.20	0.30	0.59	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
27	2-7　Ｂ区	Ⅲ Ac 層		石鏃	4.10	1.40	0.50	2.25	凝灰質粘板岩	北上山地	
28	2-7　Ａ区　東西ベルト	7層		石鏃	3.35	1.25	0.40	1.40	粘板岩	北上山地	
29	2-10　Ｃ区	Ⅲ Ac 相当層　10YR5／4		石鏃	3.20	1.30	0.30	1.18	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
30	3-10　Ｂ区	灰黄褐色土漸移層		石鏃	(3.45)	1.35	0.45	1.77	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
31	2-11　Ｄ区	3-11-Ⅱ層		石鏃	3.25	1.60	0.35	1.76	チャート	東磐井・気仙	
32	2-11　Ｄ区	灰黄褐色土地山小ブロック7%焼土面より上下混合		石鏃	4.70	1.15	0.45	2.12	凝灰質粘板岩	北上山地	
33	0-4-P1	溝埋土	4a	石鏃	1.20	1.00	0.30	0.34	黒曜石	不詳	
34	1-2　Ｄ区	ⅢＢ中層上部		石鏃	1.10	0.95	0.25	0.18	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
35	0-3　Ｃ区	ⅢＢ中層上部	1d	石鏃	1.70	1.70	0.20	0.33	黒曜石	不詳	
36	1-3　Ａ区	ⅢＢ下層上部		石鏃	2.30	1.90	0.35	0.52	凝灰質粘板岩	北上山地	
37	1-4　Ｂ区	4層焼土遺構2・3層		石鏃	1.50	1.55	0.20	0.31	黒曜石	不詳	
38	1-4　Ａ区	f.c.5.14 の2・3層(４層も含む)	4a	石鏃	2.15	1.30	0.25	0.46	チャート質粘板岩	北上山地	
39	1-4　Ｂ区　南北ベルト96	⑩層		石鏃	1.70	(1.25)	0.30	0.35	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	

図版No	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
40	1-4　A区 東西ベルト	⑥層		石鏃	1.20	1.00	0.20	0.18	黒曜石	不詳	
41	2-4　B区	ⅢB中層		石鏃	1.60	1.60	0.30	0.43	黒曜石	不詳	
42	1-5東西ベルト	5層下部		石鏃	1.20	1.30	0.30	0.23	黒曜石	不詳	
43	1-5　B区　1-6東西ベルトA	6層相当		石鏃	1.75	1.50	0.25	0.45	チャート質赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
44	1-5　B区 1-6東西ベルトA	6層相当		石鏃	1.80	1.50	0.30	0.50	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
45	2-5　1-5東西ベルト	7層		石鏃	(2.40)	1.60	0.40	1.20	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
46	0-6　A区	ⅢB下半	1d	石鏃	1.80	1.55	0.30	0.32	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
47	1-6　BD区　東西ベルトB	7層(炭化物7%散在)		石鏃	1.30	1.20	0.30	0.25	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
48	1-6　D区　1-7　C区	最下層		石鏃	(1.80)	(1.35)	0.25	0.28	凝灰質粘板岩	北上山地	
49	2-6　1-6東西ベルトA	2層		石鏃	1.70	1.35	0.20	0.30	黒曜石	不詳	
50	1-6　A区	最下層		石鏃	2.80	1.80	0.30	0.65	黒曜石	不詳	
51	0-7　D区	ⅢB上層	1d	石鏃	(2.00)	1.75	0.30	0.58	凝灰質粘板岩	北上山地	
52	1-7　B区　東西ベルトB	7層に相当(炭化物7～10%散在)		石鏃	2.05	1.60	0.25	0.52	黒曜石	不詳	
53	1-7　A区　東西ベルト	7層相当(最下層)		石鏃	2.20	1.35	0.30	0.56	チャート質赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
54	2-7　D区	ⅢAa層		石鏃	1.20	0.95	0.30	0.22	黒曜石	不詳	
55	1-8　B区	ⅢB上層		石鏃	(2.00)	1.30	0.25	0.36	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
56	1-8南北ベルト	2層(東西ベルト3層相当)		石鏃	1.50	1.30	0.30	0.36	黒曜石	不詳	
57	1-10　A区　1-9東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	2.15	1.50	0.30	0.51	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
58	1-10　C区　1-9東西ベルト	6層相当？(炭多)		石鏃	(2.05)	(1.25)	0.20	0.29	チャート質粘板岩	北上山地	
59	1-10　A区　1-9東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	(1.40)	(1.20)	0.30	0.38	黒曜石	不詳	
60	1-10　B区	ⅢB上層　配石より上		石鏃	1.80	1.70	0.30	0.45	チャート質粘板岩	北上山地	
61	2-11　D区	灰黄褐色土地山小ブロック7%焼土面より上下混含		石鏃	1.20	1.30	0.30	0.32	チャート質赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
62	2-11　B区	地山廃棄ブロック下の地山1%灰黄褐色土		石鏃	2.60	1.60	0.25	0.49	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
63	2-11東西・南北ベルト	5層(焼土)		石鏃	1.60	1.35	0.25	0.23	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
64	2-12　D区	黒色土～灰黄褐色土(地山小ブロック7%)		石鏃	1.50	1.25	0.30	0.38	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
65	2-12　C区	3-11-II層		石鏃	2.75	1.50	0.30	0.63	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
66	2-12南北ベルトA	1・9層		石鏃	2.20	1.70	0.25	0.58	黒曜石	不詳	
67	廃土			石鏃	2.40	1.90	0.30	0.50	チャート質粘板岩	北上山地	
68	2号住居跡　F区	埋土		石鏃	1.80	1.70	0.30	0.67	チャート質赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
69	17号土坑	埋土		石鏃	2.15	1.95	0.60	2.19	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
70	23号土坑	埋土		石鏃	(2.40)	1.60	0.40	0.93	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
71	2-6	8号焼土遺構		石鏃	1.85	1.70	0.50	1.34	チャート質粘板岩	北上山地	
72	0-3　0-4	III層(IIIB層上層)	1c	石鏃	2.30	1.80	0.80	3.41	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
73	2-4　B区	ⅢB中層		石鏃	(2.80)	2.00	0.40	1.62	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
74	0-5	III層下部	1e	石鏃	1.50	1.50	0.40	0.49	黒曜石	不詳	
75	1-5　A区	4号焼土遺構2・3層　f.c.5.14の2・3層		石鏃	1.80	1.20	0.30	0.45	凝灰質粘板岩	北上山地	
76	1-6東西ベルトB	1層上部		石鏃	3.35	1.90	1.00	5.38	チャート質粘板岩	北上山地	
77	1-6　A区	最下層		石鏃	1.90	1.70	0.55	1.06	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
78	2-6　C区　1-6東西ベルト	3層中部		石鏃	3.00	1.50	0.70	2.07	チャート質粘板岩	北上山地	
79	1-7　D区	III層上層最上部		石鏃	2.60	2.00	0.50	1.66	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	

図版No	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
80	1-7　BD区	①層上部		石鏃	1.30	1.40	0.45	0.65	黒曜石	不詳	
81	2-7　C区	IIIB中層下部		石鏃	(2.70)	(1.90)	0.45	1.26	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
82	2-7　A区　東西ベルト	8層		石鏃	1.30	1.45	0.25	0.25	チャート質粘板岩	東磐井・気仙	
83	3-8　A区	黒褐色土層　地山小ブロック含		石鏃	1.75	1.00	0.25	0.40	黒曜石	不詳	
84	1-9　C区　東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	1.85	2.00	0.40	1.23	凝灰質粘板岩	北上山地	
85	2-11　D区	灰黄褐色地山7%大焼土面直上層		石鏃	2.60	1.50	0.40	1.42	黒曜石	不詳	
86	2-9　A区　1-9東西ベルト	3層中～下層		石鏃	1.90	2.10	0.60	1.45	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
87	1-10　B区	IIIB中層		石鏃	2.70	(1.90)	0.50	1.85			
88	2-13　A区	灰黄褐色土地山ブロック7%散在		石鏃	1.70	1.05	0.30	0.34	黒曜石	不詳	
89	廃土			石鏃	2.60	2.50	0.80	3.28	チャート質凝灰岩	東磐井・気仙	
90	5号土坑	埋土	2b	石鏃	3.30	2.50	0.60	3.42	粘板岩	北上山地	
91	2-5	6号焼土遺構	不明	石鏃	2.65	1.20	0.35	0.96	チャート質凝灰岩	北上山地(東磐井)	
92	1-2　A区	焼土下層		石鏃	2.65	1.50	0.50	2.24	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
93	1-5東西ベルト	6層		石鏃	2.25	1.90	0.50	1.65	凝灰質粘板岩	北上山地	
94	1-5　B区　1-6東西ベルト	6層相当		石鏃	1.60	1.50	0.40	0.69	黒曜石	不詳	
95	2-6　B区	地山粘土廃棄ブロックNo.1下層下の黒色土		石鏃	2.00	1.85	0.65	1.77	チャート	北上山地	
96	1-7　D区	III Ac 層相当層		石鏃	3.40	1.90	0.50	2.77	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
97	1-8東西・南北ベルト	1層		石鏃	2.30	1.95	0.45	1.42	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
98	3-12	最下層　10YR5／4		石鏃	3.90	2.70	1.15	9.34	粘板岩	東磐井・気仙	
99	1-9　BD区　東西ベルト	7層相当		石鏃	(3.50)	1.40	0.40	1.52	チャート質凝灰岩	北上山地(東磐井)	
100	1-11	最下層		石鏃	(2.70)	1.35	0.45	1.07	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
101	1-3	IIIB層		石鏃	1.45	1.05	0.30	0.29	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
102	1-3　A区	III層上部		石鏃	1.85	1.50	0.45	0.56	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
103	1-4　C区	IIIB層上部		石鏃	2.10	1.75	0.40	0.63	チャート質粘板岩	北上山地	
104	1-7　AC区　東西ベルト	⑤層相当層		石鏃	1.80	1.40	0.30	0.41			
105	2-9　C区	灰黄褐色土下部		石鏃	1.65	1.35	0.45	0.62	チャート質粘板岩	北上山地	
106	1-10　A区　1-9東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	(1.40)	(1.40)	0.40	0.47	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
107	2-10　A区　東西ベルト	5層相当		石鏃	1.20	1.20	0.20	0.18	黒曜石	不詳	
108	1-10　A区	地山ブロック多量廃棄ブロック埋土		石鏃	2.00	1.70	0.30	0.56	チャート質凝灰岩	北上山地(東磐井)	
109	1-11	表土最下部		石鏃	1.50	1.35	0.30	0.26	黒曜石	不詳	
110	トレンチNo.3	III層　SNo.2		石鏃	2.10	1.65	0.40	0.65	黒曜石	不詳	
111	0-3　C区	IIIB中層上部	3b	石鏃	(1.95)	1.00	0.30	0.40	チャート	北上山地	
112	1-5　B区　1-6東西ベルトA	6層相当		石鏃	(1.75)	1.35	0.30	0.41	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
113	1-5　東西ベルト	6層		石鏃	2.05	(1.40)	0.40	0.67	粘板岩	北上山地	
114	1-6　BD区　東西ベルトB	7層(最下層)		石鏃	3.10	2.25	0.50	1.91	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
115	2-9　C区	灰黄褐色土下部		石鏃	(1.90)	1.30	0.20	0.35	チャート質粘板岩	北上山地	
116	1-11　B区	IIIB上層		石鏃	(2.10)	1.30	0.35	0.56	チャート質粘板岩	北上山地	
117	1-3　B区	IIIB上層		石鏃	1.30	1.00	0.20	0.16	粘板岩質チャート	東磐井・気仙	
118	0-7	表土　III層上面	4a	石鏃	1.20	0.95	0.30	0.19	黒曜石	不詳	
119	1-4　C区　東西ベルト	⑤層	不明	石鏃	1.65	1.20	0.30	0.46	黒曜石	不詳	

図版№	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
120	1-6　C区	ⅢA上層		石鏃	1.80	1.30	0.35	0.48	黒曜石	不詳	
121	1-7　AC区　東西ベルトA	⑥層相当		石鏃	1.65	1.30	0.25	0.29	黒曜石	不詳	
122	1-7　AC区　東西ベルトA	⑥層相当		石鏃	1.50	1.00	0.30	0.21	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
123	1-9　D区　東西ベルト	6層相当(炭多)		石鏃	1.65	1.30	0.40	0.50	黒曜石	不詳	
124	3-8　A区	ⅢB上層		石鏃	1.70	1.65	0.30	0.23	粘板岩	東磐井・気仙	
125	1-2	Ⅲ層		石鏃	2.60	1.25	0.40	1.06	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
126	1-2　D区	ⅢB中層上部		石鏃	2.90	1.25	0.30	0.60	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
127	2-2	ⅢB層		石鏃	2.05	1.20	0.35	0.49	粘板岩質チャート	東磐井・気仙	
128	0-3	ⅢB層上部	3b	石鏃	1.90	1.30	0.30	0.42	黒曜石	不詳	
129	2-3	ⅢB中層		石鏃	2.30	1.00	0.30	0.49	粘板岩	北上山地	
130	1-4　AC区	東西ベルト⑤層	4a	石鏃	3.00	1.40	0.50	1.13	チャート質粘板岩	北上山地	
131	2-6　B区	ⅢA層②		石鏃	1.80	1.00	0.20	0.24	黒曜石	不詳	
132	2-7　A区	ⅢB下層上部		石鏃	2.30	1.35	0.35	0.71	黒曜石	不詳	
133	1-9	ⅢB中層		石鏃	2.05	1.05	0.30	0.36	チャート	東磐井・気仙	
134	1-9　C区　東西ベルト	6層(炭化物7～10%散在)		石鏃	2.40	1.50	0.20	0.54	粘板岩	北上山地	
135	1-11　B区	灰黄褐色土焼土面より下層		石鏃	2.35	1.55	0.40	0.57	粘板岩	北上山地	
136	0-3　1-3　CD区	2a・3層		石鏃	1.50	1.30	0.40	0.34	黒曜石	不詳	
137	1-5東西ベルト	5層下部		石鏃	1.60	1.00	0.30	0.32	黒曜石	不詳	
138	1-5東西ベルト	5層下部		石鏃	1.20	0.70	0.20	0.13	黒曜石	不詳	
139	2-5　B区	ⅢA層④		石鏃	1.50	1.10	0.30	0.33	粘板岩質チャート	東磐井・気仙	
140	2-8	Ⅲ Aa 層		石鏃	(2.00)	(1.20)	0.40	0.62	黒曜石	不詳	
141	2-8　D区	Ⅲ Ac 中部		石鏃	1.70	0.90	0.30	0.36	チャート	東磐井・気仙	
142	2-8　B区	Ⅲ Ac 層		石鏃	1.30	0.95	0.30	0.25	赤褐色粘板岩	東磐井・気仙	
143	2-8　C区	Ⅲ Ac 層		石鏃	(2.00)	1.30	0.40	0.54	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
144	2-8	Ⅲ Aa 層		石鏃	(1.95)	1.40	0.70	0.93	黒曜石	不詳	
145	2-8　C区	Ⅲ Ac 層		石鏃	2.00	(1.30)	0.40	0.68	黒曜石	不詳	
146	2-8　B区	ⅢB上層		石鏃	(1.80)	1.85	0.30	0.56	黒曜石	不詳	
147	2-11	ⅢA層相当層		石鏃	1.35	0.90	0.30	0.28	黒曜石	不詳	
148	1-9	ⅢB層上部		石鏃	(1.55)	1.30	0.30	0.37	黒曜石	不詳	
149	2-13東西ベルト北西面	6層		石鏃	1.45	1.20	0.35	0.26	黒曜石	不詳	
150	1-1	Ⅲ層下部		石鏃	2.25	1.20	0.30	0.51	黒曜石	不詳	
151	2-1	ⅢB中層　下層		石鏃	3.75	1.00	0.60	1.38	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
152	1-2	Ⅲ層下部		石鏃	2.00	1.60	0.30	0.53	チャート	東磐井・気仙	
153	1-3	ⅢB層		石鏃	3.10	1.50	0.45	1.14	チャート質凝灰岩	東磐井・気仙	
154	1-4　A区	ⅢB上層		石鏃	2.30	1.10	0.45	0.56	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
155	1-4	ⅢB上層		石鏃	1.70	1.40	0.30	0.48	黒曜石	不詳	
156	2-4　B区	ⅢAとⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)		石鏃	3.30	1.20	0.50	1.54	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
157	2-4　B区	ⅢAとⅢBの崩壊土層(ⅢA層相当)		石鏃	(3.60)	1.65	0.50	2.13	黒曜石	不詳	
158	2-4　A区	ⅢA下部		石鏃	(4.25)	1.55	0.45	1.51	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
159	2-4　A区	ⅢB中層下部(炭多)		石鏃	2.10	1.00	0.40	0.37	黒曜石	不詳	

図版No.	出土地点	層位	形式	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	産地	備考
160	1-6～3-6東西ベルトB	クリーニング時		石鏃	4.45	1.20	0.50	1.72	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
161	1-5　AB区	クリーニング時		石鏃	1.45	1.15	0.20	0.16	黒曜石	不詳	
162	2-7　D区	III Aa 層		石鏃	3.15	1.20	0.35	0.76	黒曜石	不詳	
163	2-7　C区	III Ab 層		石鏃	3.25	1.50	0.60	1.89	硬質泥岩	奥羽山脈(一関市)	
164	1-8　C区	IIIB中層		石鏃	(2.70)	(1.20)	0.30	0.57	流紋岩	北上山地	
165	2-8　D区	IIIB中層下部		石鏃	(2.50)	1.85	0.30	0.70	チャート	東磐井・気仙	
166	2-9　C区　3-9　A区	5層相当		石鏃	(2.50)	1.40	0.60	1.36	粘板岩質チャート	東磐井・気仙	
167	3-9　A区	10YR3／2　黒褐色土		石鏃	(2.55)	(0.85)	0.50	0.74	黒曜石	不詳	
168	1-10　B区	IIIB上層		石鏃	(2.10)	1.25	0.35	0.64	チャート質凝灰岩	東磐井・気仙	
169	2-10	III層		石鏃	3.65	1.80	0.70	2.26	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地	
170	2-10　B区　東西ベルト	5層相当		石鏃	2.80	1.40	0.40	0.71	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
171	2-12南北ベルト	2・5層		石鏃	2.35	1.00	0.40	0.46	黒曜石	不詳	
172	3-12　A区	10YR3/2黒褐色土地山小ブロック2・3%散在		石鏃	(1.90)	1.15	0.25	0.34	黒曜石	不詳	
173	1-13　2-13東西ベルト北西面	3層		石鏃	(1.70)	1.00	0.30	0.37	粘板岩質チャート	東磐井・気仙	
174	2-13　A区	灰黄褐色土地山小ブロック7%焼土面上		石鏃	(2.35)	(1.75)	0.60	1.57	黒曜石	不詳	
175	1-4	IIIB上層		石鏃	(1.60)	1.10	0.30	0.43	チャート	東磐井・気仙	
176	1-7	IIIB層上面		石鏃	1.80	1.00	0.35	0.48	黒曜石	不詳	
177	3-9　B区	黒褐色土層		石鏃	(2.45)	1.50	0.50	1.39	チャート質粘板岩	北上山地	
178	1-1　B区	IIIB上層		石鏃	2.90	1.95	0.60	0.39	黒曜石	不詳	
179	1-1	IIIB層		石鏃	2.20	1.20	0.30	0.59	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
180	1-2　C区	IIIB層上部		石鏃	(2.85)	1.30	0.50	1.27	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
181	2-6	IIIA層		石鏃	3.15	1.45	0.50	1.40	粘板岩	東磐井・気仙	
182	2-6　AC区	IIIA層 ①		石鏃	3.70	1.50	0.50	1.73	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
183	2-6　B区	IIIA層 ②		石鏃	3.50	2.05	0.70	3.14	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
184	2-7	表土Ⅰ層		石鏃	(3.50)	1.60	0.50	1.87	チャート	北上山地	
185	1-8　D区	IIIB中層上部(炭少)		石鏃	2.00	1.35	0.35	0.70	チャート質粘板岩	北上山地	
186	1-9　C区	IIIB上層		石鏃	3.05	1.50	0.30	0.92	黒曜石	不詳	
187	2-10　A区　東西ベルト	5層相当		石鏃	3.20	0.60	0.45	1.03	凝灰岩	東磐井・気仙	
188	1-11　A区	地山廃棄ブロックの下灰黄褐色土地山ブロック1%		石鏃	2.35	1.30	0.30	0.53	黒曜石	不詳	
189	2-11　D区	大焼土面を含む層		石鏃	3.00	1.50	0.30	0.97	チャート	北上山地(東磐井・気仙)	
190	2-12南北ベルトA	1・9層		石鏃	4.40	1.80	0.80	2.99	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
191	2-6　AC区	IIIA層 ①		石鏃	2.85	1.20	0.70	1.71	硬質泥岩	奥羽山地	
192	2-13東西ベルト北西面	6層		石鏃	(2.80)	1.40	0.45	1.35	チャート	東磐井・気仙	
193	2-11　D区	灰黄褐色土地山ブロック7%焼土面より上下混合		石鏃	2.70	1.20	1.50	1.00	黒曜石	不詳	
194	2-8　D区	III Ac 最下部		石鏃	2.00	1.00	0.45	0.50	粘板岩	東磐井・気仙	
195	1-10　D区	木根　IIIA～IIIB層		石鏃	3.30	1.15	0.40	0.88	黒曜石	不詳	
196	1-7　B区	①層		石錐	2.85	0.85	0.40	0.80	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
197	2-10　C区	IIIB中層　上層の可能性有		石鏃	2.00	0.95	0.50	0.67	流紋岩	北上山地	
198	2-10　D区	灰黄褐色土・黒色土		石鏃	2.60	1.10	0.40	0.57	凝灰岩質チャート	東磐井・気仙	
199	2-7　C区	III Ab 層		石鏃	3.25	1.75	0.85	4.27	チャート質粘板岩	北上山地	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
200	2-8　A区	ⅢAa層		石鏃	2.60	1.70	0.50	1.16	黒曜石	不詳	
201	1-4　D区	ⅢB層上半	6	石鏃	2.85	1.90	0.75	2.88	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
202	2-10　A区	灰黄褐色土層上半		石鏃	(2.65)	1.40	0.40	1.20	黒曜石	不詳	
203	2-1　B区	ⅢB中層		石鏃	2.60	1.80	0.70	2.40	チャート質粘板岩	北上山地	
204	2-4　AC区　1-4東西ベルト	③層上～中層		石鏃	2.10	1.25	0.50	1.05	チャート質粘板岩	北上山地	
205	1-6　A区　東西ベルト	3層上部		石鏃	2.20	1.70	0.60	2.05	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
206	2-6　A区	ⅢA層 ③		石鏃	2.45	1.60	0.70	2.35	黒曜石	不詳	
207	1-7　D区	ⅢAc層相当層		石鏃	(3.30)	2.00	0.50	2.81	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
208	2-8　D区	ⅢB中層	不明	石鏃	3.05	2.05	0.90	3.84	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
209	2-5	ⅢA層上部		石鏃	1.80	2.40	0.50	0.79	凝灰質粘板岩	北上山地	
210	1-8　AB区	ⅢB層上面		異形石器	(1.50)	(1.45)	0.30	0.36			
211	1-3　C区	3層		石鏃	1.60	1.20	0.30	0.39	黒曜石	不詳	
212	1-7　BD区	①層		石鏃	2.60	1.50	0.55	1.97	チャート	東磐井・気仙	
213	1-7　AC区　東西ベルトB	7層相当		石鏃	3.10	1.15	0.70	2.21	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
214	2-8	不明	不明	石鏃	3.80	1.80	0.60	2.37	チャート	東磐井・気仙	
215	2-3	ⅢB中層		石錐	5.70	(1.05)	0.65	3.48	粘板岩	北上山地	
216	2-3	ⅢB中層		石錐	4.40	0.90	0.65	2.47	粘板岩	北上山地	
217	1-5　A区　1-4南北ベルト96	⑩層(炭多)		大型石錐	(5.90)	1.30	0.80	4.87	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
218	1-5　B区	ⅢB下層上部		石錐	5.00	1.40	1.00	5.08	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
219	2-5	ⅢA層上面		石錐	(4.20)	(0.80)	0.60	1.67	粘板岩質チャート	北上山地	
220	1-6～2-6　東西ベルトA	2層		大型石錐	5.50	1.15	0.80	4.49	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
221	1-7　BD区　東西ベルトA	②層		大型石錐	5.00	0.95	0.80	3.65	粘板岩	北上山地	
222	2-7　C区	ⅢB中層下半		石錐	5.60	1.00	0.50	2.57	粘板岩質チャート	北上山地	
223	2-8　B区	ⅢB中層		石錐	5.70	1.20	0.70	4.11	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
224	2-9　C区　3-9　A区　1-9東西ベルト	5層相当		石錐	5.30	1.10	1.00	5.46	流紋岩	北上山地	
225	2-9　D区　1-9東西ベルト	5層相当		石錐	3.10	0.85	0.50	1.06	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
226	2-9南北ベルト	2層		石錐	2.80	0.60	0.40	0.43	チャート	北上山地・東磐井	
227	2-11　B区	3-11-II層上部		石鏃	3.30	1.20	0.80	2.33	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
228	3-11　B区	黒色土層		石錐	1.85	0.40	0.25	0.22	チャート	北上山地(東磐井)	
229	3-11　B区	黒褐色土10YR3／2		石錐	1.90	0.40	0.35	0.36	粘板岩質チャート	北上山地	
230	2-12	黒色土層		石錐	2.80	0.65	0.45	0.89	粘板岩質チャート	北上山地	
231	2-13東西ベルト北西面	6層		石錐	2.50	0.60	0.40	0.57	粘板岩	北上山地	
232	1-2　C区	ⅢB層上層		石錐	4.00	1.10	0.60	2.44	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
233	1-2	最下層		石鏃	2.20	1.00	0.45	0.81	チャート質凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
234	1-8　C区	ⅢB中層(炭多)		石錐	(1.90)	0.75	0.40	0.49	黒曜石	不詳	
235	2-9　2-10東西ベルト	3層		石錐	2.80	0.90	0.55	1.29	黒曜石	不詳	
236	1-2　C区	ⅢB層上層		石錐	3.65	1.50	0.40	0.95	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
237	2-3　D区	ⅢB下層上部		石錐	3.45	1.46	0.30	0.62	チャート	北上山地(東磐井)	
238	1-4　A区　東西ベルト	⑧層		石錐	(3.80)	0.80	0.50	1.01	粘板岩質チャート	北上山地	
239	2-4　AC区　1-4東西ベルト	④層(炭化物7～10%散在)		石錐	(2.75)	0.50	0.20	0.30	粘板岩質チャート	北上山地	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
240	2-4	ⅢA層上部		石錐	(5.90)	1.15	0.70	2.66	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
241	2-4　A区	ⅢA下部		石錐	4.00	2.10	1.15	5.47	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
242	2-5	ⅢA層上部		石錐	5.30	1.85	0.60	3.40	粘板岩質チャート	北上山地	
243	1-6　A区　東西ベルト	3層上部		石錐	2.50	0.80	0.30	0.35	チャート	北上山地(東磐井)	
244	1-6　BD区　東西ベルトB	5層上部		石錐	(2.20)	(1.20)	0.30	0.30	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
245	2-6　1-6東西ベルトB	1層下部(炭多)		石錐	3.70	1.50	0.70	2.05	チャート	北上山地(東磐井)	
246	2-6　D区　1-6東西ベルトB	5層		石錐	4.90	1.95	0.65	2.69	粘板岩質チャート	北上山地	
247	2-7　D区	ⅢB中層最下部		石錐	5.70	1.80	0.80	3.19	粘板岩質チャート	北上山地	
248	2-7　B区	ⅢB上層		石錐	3.80	1.75	0.75	1.54	流紋岩	北上山地	
249	2-7　A区	ⅢAa層		石錐	2.10	1.20	0.50	0.76	チャート	北上山地(東磐井)	
250	1-8　D区	ⅢB上層		石錐	1.95	0.60	0.20	0.21	粘板岩質チャート	北上山地	
251	1-8　D区	ⅢB中層下部(炭多)		石錐	3.41	0.90	0.50	1.00	粘板岩質チャート	北上山地	
252	2-8　A区	ⅢAc層		石錐	3.75	1.50	0.40	1.05	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
253	2-8　D区	ⅢAc直下の灰黄褐色土層上部		石錐	5.90	0.95	0.50	2.21	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
254	1-11　B区	大焼土面の下層		石錐	6.60	2.05	0.90	6.54	粘板岩質チャート	北上山地	
255	1-9　BD区　東西ベルト	7層相当？(炭多)		石錐	(3.35)	(1.20)	0.30	0.52	粘板岩質チャート	北上山地	
256	2-13　C区	10YR3/2黒褐色土(地山ブロック少量散在)		石錐	3.65	1.65	0.60	1.88	粘板岩	北上山地	
257	0-3　C区	ⅢB中層上部		石錐	(1.10)	0.90	0.20	0.17	黒曜石	不詳	
258	2-3　A区	ⅢB中層		石錐	(1.60)	1.20	0.30	0.41	チャート質赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
259	2-3　B区	ⅢB層最上部		石錐	1.40	1.35	0.55	0.79	粘板岩	北上山地	
260	1-8　C区	ⅢB層上部		石錐	2.20	1.85	0.70	1.81	チャート質赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
261	2-12	黒色土		石錐	4.25	3.25	1.15	12.08	チャート質赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
262	不明	表採		石鏃	1.50	1.60	0.40	0.58	チャート質凝灰岩	東磐井・気仙	
263	2-7　AC区	ⅢAa層		石錐	2.55	0.85	0.70	0.73	粘板岩	北上山地	
264	1-8	ⅢB上層		石錐	2.40	0.95	0.40	0.56	粘板岩質チャート	北上山地	
265	3-9	黒褐色土層		石鏃	(15.85)	3.25	1.65	75.83	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	
266	1-7　B区　東西ベルトA	②層下部		石鏃	2.00	1.70	1.00	3.05	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
267	2-8　1-8東西ベルト	4層		石鏃	2.90	2.40	1.00	5.50	チャート質粘板岩	北上山地	
268	1-9　AB区　東西ベルト	6層		石鏃	3.10	2.10	1.00	4.28	赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
269	2-10南北 2-11東西ベルト	6層(地山廃棄ブロック検出時)		石鏃	2.50	2.20	1.10	5.28	赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
270	1-6　AC区　東西ベルトA	3層下部		石錐	4.90	1.50	0.80	5.25	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
271	2-15　B区	地山直上10YR3/2黒褐色土地山ブロック3%散在		石匙	5.30	1.40	0.75	4.01	粘板岩	北上山地	
272	2-8　A区	ⅢAc層		削掻器	3.20	3.40	1.10	9.95	－	－	
273	1-11　AC区　1-6東西ベルトB	7層相当		削掻器	4.50	3.70	1.00	12.12	－	－	
274	1-3～3-3東西ベルト	最下層		削掻器	8.00	4.10	1.50	51.00	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
275	1-4　A区　東西ベルト	⑤層		不定形(匙？)	10.00	4.30	1.70	65.91	硬質泥岩	奥羽山地(一関西部)	
276	1-9　C区　東西ベルト	6層相当		ナイフ型？	8.90	2.00	1.20	12.37	泥質細粒凝灰岩	奥羽山地(一関西部)	
277	1-2　D区	ⅢB中層上部		石匙	3.20	4.10	0.80	6.24	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
278	4号焼土遺構	2・3層		石匙	2.30	5.75	0.90	10.10	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
279	2-4	ⅢA層上部		石匙	3.60	7.00	1.20	17.10	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
280	2-5	ⅢA層上部		石匙	3.60	(4.90)	1.10	14.50	チャート質赤褐色凝灰岩	東磐井・気仙	
281	1-6　BD区　東西ベルトB	3層下部		石匙	3.80	4.20	0.90	8.62	流紋岩	北上山地	
282	2-6　B区	ⅢA黒褐色土④地山粘土廃棄ブロックNo.1より下層		石匙	5.00	7.70	1.25	28.90	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
283	2-6　B区	地山廃棄ブロック No.1 直下の黒色土		石匙	4.45	4.90	1.10	15.81	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
284	2-6　AE区　1-6東西ベルトA	1層		石匙	3.40	5.70	1.10	14.04	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
285	3-6	表土Ⅰ層		石匙	3.90	7.10	1.50	31.78	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
286	2-7　1-7東西ベルトA	②層		石匙	3.90	5.80	1.00	14.61	粘板岩	北上山地	
288	2-9	灰黄褐色土層中部-25cmまで		石匙	4.60	6.70	1.00	17.64	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
288	2-8　A区	Ⅲ Ac 層		石匙	4.40	5.80	1.20	20.27	珪質粘板岩	北上山地	
289	3-9　A区	Ⅲ Ac 層		石匙	1.60	2.20	0.45	0.76	黒曜石	不詳	
290	1-2	ⅢB層上部		石匙	6.55	2.80	1.20	15.79	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
291	1-4　A区	7層		石匙	5.55	1.90	0.80	7.57	珪質粘板岩	北上山地	
292	2-4　AC区　1-4東西ベルト	⑤層		石匙	5.40	3.30	0.75	9.51	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
293	1-5～2-5　東西ベルト	4層		石匙	5.30	2.60	0.60	6.93	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
294	2-5	表土Ⅰ層		石匙	7.15	4.80	1.70	55.28	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
295	1-6　C区	ⅢB上層		石匙	3.00	1.85	0.50	2.00	粘板岩	北上山地	
296	2-6　B区	灰黄褐色土・炭化物層		石匙	5.85	2.15	0.70	6.51	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
297	2-6　B区	ⅢB上層下部		石匙	5.05	2.45	1.00	7.81	極細粒珪質凝灰岩	奥羽山地	
298	2-6～3-6	地山粘土廃棄ブロック No.1 直下層		石匙	6.75	5.70	1.00	27.71	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
299	2-7	ⅢB中層中部炭化物多量部北区		石匙	7.10	4.10	0.80	28.10	白色細粒凝灰岩	奥羽山地	
300	2-8　D区	Ⅲ Ac 層中部		石匙	6.20	1.75	0.90	6.76	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
301	3-9　B区	灰黄褐色土上部崩壊層		石匙	6.60	2.20	0.80	9.77	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
302	2-10　南北ベルト	4層		石匙	8.70	3.00	1.10	28.84	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
303	17号土坑	埋土		石錐	2.20	1.40	0.40	0.95	粘板岩	北上山地	
304	2-9　C区　3-9　A区　1-9東西ベルト	5層相当		石錐	2.30	1.70	0.55	1.70	チャート質粘板岩	北上山地	
305	1-6～2-6東西ベルトA	2層		石匙	4.30	4.60	1.00	15.10	硬質泥岩	奥羽山地(栗駒)	
306	2-14　A区	ⅢA層相当層		石匙	5.25	4.65	1.20	19.47	珪質粘板岩	北上山地	
307	2-6　D区　1-6東西ベルトB	3層上部		石製品	7.70	10.70	2.00	161.00	極細粒流紋岩質凝灰岩	本吉	
308	2-8　B区	ⅢB上層下部		抉入石器	6.50	13.90	1.50	120.00	凝灰岩質粘板岩	藤沢	
309	1-11　D区	ⅢB上層(一部中層混合？)		抉入石器	5.20	10.50	0.90	40.00	細粒砂岩	藤沢	
310	2-11	石斧埋納 No.1		石斧	9.85	4.70	1.80	150.00	凝灰岩	東磐井	
311	2-11	石斧埋納 No.2		石斧	9.85	4.20	2.40	150.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
312	2-11	石斧埋納 No.3		石斧	16.30	4.70	3.00	380.00	凝灰岩	東磐井	
313	2-2　B区	ⅢB中層		磨製石斧	(10.90)	4.80	7.40	210.00	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
314	2-3	ⅢB中層		磨製石斧	9.10	4.75	2.40	160.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
315	0-4	ⅢB層一括土器 No.1 と伴う		磨製石斧	6.15	3.05	1.20	40.00	凝灰岩	東磐井	
316	1-4	表土		磨製石斧	(9.15)	5.25	2.65	150.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
317	2-4　A区	ⅢB中層		石斧	(11.40)	(4.50)	2.75	190.00	凝灰岩	東磐井	
318	0-5	ⅢB層		磨製石斧	6.10	4.90	2.60	130.40	凝灰岩	東磐井	
319	1-5　D区	最下層		磨製石斧	10.40	5.40	3.00	320.00	凝灰岩	東磐井・気仙	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
320	2-7　D区	ⅢB中層		石斧	(13.65)	5.75	3.15	405.00	凝灰岩	東磐井	
321	2-7	ⅢB中層下部		石斧	(9.90)	4.30	2.90	234.30	凝灰岩	東磐井	
322	2-8　D区	ⅢB上層下部		石斧	(17.65)	(8.00)	4.40	980.00	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
323	2-8	表土Ⅰ層		石斧	7.40	4.40	2.40	143.90			
324	2-8　B区	ⅢB中層下半(炭多)		石斧	(8.75)	4.65	2.35	175.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
325	2-9　B区　1-9東西ベルト	5層中～下層相当(炭多)		磨製石斧	13.70	5.20	3.30	346.40	凝灰岩	東磐井	
326	2-10南北ベルト	6層		磨製石斧	11.40	5.70	2.50	257.00			
327	3-11　A区	黒褐色土層		磨製石斧	9.15	4.50	2.60	164.50	凝灰岩	東磐井	
328	3-11　A区	灰黄褐色土上半とⅢB上層の混合		磨製石斧	9.50	4.20	1.90	120.00	凝灰質千枚岩	東磐井	
329	1-13　C区　2-13東西ベルト南東面	4・6層		磨製石斧	8.70	6.20	2.90	187.70	凝灰岩	東磐井	
330	2-15　B区	地山直上10YR3／2黒褐色土地山ブロック(5mm)3%散在		磨製石斧	9.30	4.60	2.90	207.30	凝灰岩	東磐井	
331	2-16　A区	木根		磨製石斧	(6.20)	4.50	2.30	83.40			
332	不明	ⅢB中層		磨製石斧	9.40	(4.10)	2.00	110.00	凝灰岩	東磐井	
333	2-6　A区	ⅢB上層下部		小型石斧	2.60	1.50	0.50	3.50	蛇紋岩	水沢東部(羽田地区)	
334	1-8　D区	ⅢB下層		磨製石斧	(4.45)	2.45	0.90	20.00	粘板岩	北上山地	
335	2-9南北ベルト	2層		小型石斧	6.20	1.60	0.70	10.20	凝灰岩	東磐井	
336	2-9　D区　1-9東西ベルト	5層相当		小型石斧	2.35	2.45	0.65	9.00	濃緑色凝灰岩	東磐井・気仙	
337	1-10	ⅢB層上部		小型石斧	3.20	1.10	0.60	5.00	流紋岩質凝灰岩	東磐井	
338	1-3　D区	ベルト3層		打製石斧	14.50	6.20	3.40	315.40	硬砂岩	北上山地	
339	2-3　B区	ⅢA層最下部		打製石斧	16.30	9.30	2.00	310.00	砂質粘板岩	東磐井・気仙	
340	1-4　D区	ⅢB層上半		打製石斧	11.70	5.70	1.80	130.00	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
341	2-6	表土Ⅰ層		打製石斧	20.00	9.50	3.20	630.00	粘板岩	東磐井・気仙	
342	1-11	灰黄褐色土地山小ブロック散在焼土面含上層		打製石斧	12.70	8.15	1.30	140.00	粘板岩	東磐井・気仙	
343	1-8　C区～2-8　AC区　1-8東西ベルト	4層		打製石斧	(13.25)	5.10	2.55	200.00	砂質粘板岩	東磐井・気仙	
344	1-9	表土最下部		打製石斧	19.10	6.95	2.40	355.00	砂質粘板岩	東磐井・気仙	
345	2-10	10YR5／4層		打製石斧	16.20	7.20	4.00	410.00	粘板岩	東磐井・気仙	
346	2-12　C区	10YR3／2黒褐色土		打製石斧	(21.00)	(13.45)	1.95	440.00	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
347	トレンチNo.4	表土Ⅰ層		打製石斧	20.60	7.80	2.60	420.00	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
348	2-10　A区	ⅢAc層？		打製石斧	11.85	5.30	2.45	160.00	粘板岩	東磐井・気仙	
349	不明	不明		打製石斧	6.40	3.10	1.30	30.00	凝灰質粘板岩	藤沢	
350	2-7　AC区	不明		土掘具？	12.20	5.60	1.20	130.00	粘板岩	藤沢	
351	1-10	ⅢA層		敲石	13.50	8.50	2.90	460.00	凝灰質粘板岩	藤沢	
352	48号土坑より下の埋土	最下部？		打製石斧	35.10	21.50	3.10	2300.00	粘板岩	東磐井・気仙	
353	49号土坑	埋土下半		凹石	16.20	9.90	4.60	850.60	砂質凝灰岩	東磐井・気仙	
354	25号土坑	埋土南半		敲石	11.20	8.15	3.00	400.00	砂質凝灰岩	藤沢	
355	1-2	最下層		凹石	25.30	8.15	6.95	2080.00	凝灰質粘板岩	藤沢	
356	1-3	Ⅲ層		凹石	8.10	5.25	3.90	160.00	流紋岩質細粒凝灰岩	一関西部	
357	1-3　D区	ベルト3層		凹石	(14.00)	4.20	4.35	260.00	砂粒凝灰岩	東磐井	
358	1-4　C区　東西ベルト	7層		凹石	15.45	6.00	3.45	340.00	凝灰岩	東磐井	
359	1-3	灰黄褐色土層		凹石	11.40	7.50	6.60	900.00			

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
360	2-3	ⅢB中層		凹石	9.20	8.60	4.10	315.00	デイサイト	平泉～一ノ関～石越	
361	2-3　A区	ⅢA層相当層		凹石	11.30	8.20	4.90	750.00	凝灰質細粒砂岩	藤沢	
362	1-5　AB区	f.c.5.14　2・3層		凹石	9.60	8.90	4.50	440.00	アルコース砂岩	藤沢～千厩	
363	1-5　B区　1-6東西ベルトA	1層		凹石	17.30	6.60	4.10	755.00	凝灰質細粒砂岩	藤沢	
364	1-7　C区	ⅢAc相当層		凹石	11.75	4.60	3.50	300.00	輝石安山岩	東磐井	
365	3-6	表土Ⅰ層		凹石	13.00	7.50	7.00	565.00	砂粒凝灰岩	東磐井	
366	1-7　D区	ⅢB中層		凹石	7.80	6.90	4.50	245.00	普通輝石紫蘇輝石安山岩(溶岩)	須川岳	
367	1-10	ⅢB中～下層配石上部		凹石	10.20	8.00	4.13	460.00	輝石安山岩	一関西部	
368	1-8　C区	ⅢB中層下部(炭多)		凹石	(7.80)	8.20	4.90	430.00	輝石安山岩	一関西部	
369	2-10　B区　1-9東西ベルト	5層相当(炭多)		凹石	11.40	8.20	4.10	560.00	輝石安山岩	一関西部	
370	3-12	黒褐色土		凹石	13.30	6.90	2.95	310.00	砂粒凝灰岩	東磐井	
371	2-14	表土～Ⅲ層　ⅢB層上層		凹石	7.80	7.40	4.10	350.00	凝灰岩	東磐井	
372	1-4　C区	ⅢB上層　2層		敲石	6.00	3.30	2.50	71.60	デイサイト質極細粒凝灰岩	一関西部	
373	1-4	不明		敲石	11.30	4.20	4.30	273.30	砂質凝灰岩	藤沢	
374	1-8　D区	ⅢB上層		敲石	5.40	3.45	2.50	70.00	砂質凝灰岩	藤沢	
375	1-12	灰黄褐色土上面		敲石	8.90	6.60	4.80	370.00	砂質凝灰岩	藤沢	
376	2-12	黒褐色土		敲石	14.00	4.90	2.90	290.00	ホルンフェルス	千厩周辺	
377	1-3　B区	7層(明)		敲石	9.50	3.00	2.20	100.00	凝灰岩	東磐井	
378	2-14　A区	ⅢA層相当層		敲石	8.70	6.40	4.30	330.00	砂質凝灰岩	藤沢	
379	3-9・10　2-11・12	表土		磨石(特殊)	15.40	6.30	6.25	900.00	凝灰質砂岩	東磐井	
380	2-2　B区	ⅢB上層		敲石	19.55	12.20	9.80	3620.00	輝石安山岩	東磐井	
381	1-6　BD区　東西ベルトB	5層上部		敲石	5.50	5.00	4.40	80.00	極細粒凝灰岩	本吉	
382	2-11　A区	大焼土面内		磨石	12.40	8.00	6.80	1110.00		本吉	
383	2-11　C区	3-11-Ⅱ層		磨石	15.55	8.65	6.05	1224.50		本吉	
384	1-14　D区	ⅢA相当層10YR3／2黒褐色土層		敲石	4.10	3.65	2.10	30.00	安山岩	本吉	
385	2-15	木根		凹石	7.80	7.60	3.90	320.00	凝灰質細粒砂岩	東磐井・藤沢	
386	トレンチNo.3	斜面部表土Ⅰ層		磨石	(22.20)	(14.50)	13.60	3140.00	アルコース砂岩	本吉	
387	1-4	5号配石遺構		石皿	(19.50)	18.30	6.10	1640.00	デイサイト質凝灰岩	石越	
388	1-3　D区	ⅢB中層最下部　7層		石皿	26.00	21.10	4.50	1420.00	細粒デイサイト質凝灰岩	石越方面	
389	2-3	ⅢA層と表土の混合土		石皿	(19.30)	(20.90)	6.60	2200.00	デイサイト	石越	
390	1-4　A区	6層		石皿	(26.50)	(15.00)	3.10	1710.00	デイサイト	石越	
391	1-6　D区　東西ベルトB　1-7　B区	5層		石皿	(17.85)	(15.50)	5.80	2190.00	凝灰質砂岩	本吉	
392	1-6　A区　東西ベルト	3層上部		石皿	(16.00)	(9.80)	3.90	510.00	軽石質凝灰岩	石越	
393	2-7　A区　東西ベルト	9層		石皿	(16.75)	(13.10)	5.70	1450.00	凝灰質砂岩	本吉	
394	1-6 C区　BD区　東西ベルトB　1-7　A	7層(最下層)		石皿	(25.40)	(15.30)	3.40	1990.00	凝灰岩	本吉	
395	2-10　B区　1-9東西ベルト	5層相当		石皿	(36.80)	(25.60)	5.50	4600.00	デイサイト軽石凝灰岩	石越	
396	1-15	ⅢB層相当層？　地山直上層		石皿	(22.40)	(24.70)	6.90	2770.00	デイサイト	石越	
397	2-9	表土Ⅰ層		石皿	(16.40)	(15.00)	6.20	1550.00	安山岩(溶岩)	須川岳(北上川流石)	
398	2-9　A区　1-9東西ベルト	5層		石皿	(15.05)	19.80	3.40	1200.00	デイサイト	石越	
399	1-15	Ⅲ層		砥石	9.30	7.60	1.40	149.70	極細粒凝灰岩	本吉	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	形式	器　種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	産　　地	備考
400		表採		石皿	(28.40)	25.50	5.00	4500.00	凝灰岩	本吉	
401	表採			砥石	9.50	9.00	3.30	266.60			
402		1-11-配石 No.不明		砥石	28.50	16.60	8.20	3680.50	細粒凝灰岩	本吉	
403		1-11-配石 No.14		砥石	(23.20)	(9.70)	6.30	1870.20	細粒凝灰岩	本吉	
404	2-0	Ⅲ層		石皿	(15.00)	(6.40)	6.70	1050.00	凝灰質細粒砂岩	石越	

(3) 石 製 品

図版No.	出 土 地 点	層 位	器 種	形式	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 質	産 地	備 考
1	1-1 A区	Ⅲ層下部	平玉		0.80	0.80	0.45	0.50	流紋岩質極細粒凝灰岩	北上山地	
2	1-1 A区	ⅢB層上層	平玉		1.15	1.30	0.60	0.60	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
3	2-1	Ⅲ層下部(遺構内？)	平玉		0.65	0.65	0.50	0.30	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
4	2-1	Ⅲ層下部	平玉		0.75	0.75	0.50	0.50	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
5	2-1	Ⅲ層下部	平玉		0.80	0.80	0.45	0.40	流紋岩質極細粒凝灰岩	北上山地	
6	1-2	表採	平玉		0.95	0.95	0.40	0.50	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
7	1-2 D区	ⅢB層上部	平玉		0.95	0.95	0.80	1.30	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
8	1-2 D区	ⅢB層上部	平玉		1.05	1.09	0.70	1.10	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
9	1-2 C区	ⅢB層上部	平玉		0.90	0.90	0.60	1.00	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
10	2-11 C区	大焼土面を含む層	平玉		0.70	0.75	0.40	0.10			
11	1-3 B区	ⅢB中層上部	装飾品		3.20	2.65	0.40	4.96	粘板岩	北上山地	
12	1-3 B区	ⅢA層④	石製品		3.30	0.90	0.60	2.80			
13	1-6 BD区 東西ベルト	3層中～下部	装飾品		3.20	2.40	0.50	4.09	－	－	
14	1-6 BD区 東西ベルトB	5層上部	抉状耳飾		4.50	1.50	0.60	6.16			再加工品
15	2-6	ⅢB下層上部	装飾品		2.60	1.70	2.00	30.30	蛍石	北上山地	
16	1-8 B区	ⅢB上層	三角状		4.00	2.15	0.35	3.75			
17	2-8	ⅢA層上面	装飾品(未製品)		3.20	2.50	0.60	4.57	－	－	
18	1-14～2-14東西ベルト	3層	抉状耳飾		5.40	5.95	0.65	24.03	粘板岩	東磐井・気仙	
19	2-4 B区	Ⅲ Aa 層相当	垂飾品		3.90	2.90	1.80	18.40	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	
20	3-6	表土Ⅰ層	垂飾品(棒状)		4.30	0.90	0.90	4.60			
21	2-7 B区	ⅢA a 層	石製品		3.40	2.90	0.70	8.75	－	－	
22	1-7	表土Ⅰ層	有孔石製品		5.10	5.20	0.85	28.90			
23	1-8 C区	ⅢB中層	耳飾？		5.25	3.70	2.10	42.47	－	－	
24	2-9 C区 1-9東西ベルト	5層	有孔環状石製品		4.50	3.90	2.50	37.47	－	－	
25	1-9 AC区 東西ベルト	4層上層	装飾品(未製品)		2.60	4.10	2.40	15.92	－	－	
26	2-9 D区	Ⅲ Ac 層	有孔環状石製品		7.10	6.65	1.60	80.80	安山岩	北上山地	
27	2-11 D区	3-11-Ⅱ層上半部	有孔石製品		4.00	4.10	1.40	27.34			孔未通
28	1-12	Ⅲ層上部	ボタン状石製品		2.50	2.80	1.30	9.02	淡緑石極細粒凝灰岩	北上山地	孔未通
29	2号住居跡 F区	埋土	有孔環状石製品		4.20	3.70	1.30	19.36	－	－	
30	1-14 C区	表土下層	有孔石製品		3.55	5.05	1.70	28.69			半欠け
31	2-12	ⅢA層上部	有孔環状石製品		2.80	1.70	1.20	2.91	－	－	
32	トレンチ No.3 拡張	表土Ⅰ層	石鏃		(2.50)	4.50	1.20	13.87	凝灰質粘板岩	東磐井・気仙	
33	2-4	Ⅲ層④	岩版		5.50	6.20	1.10	69.40			
34	2-4 A区	ⅢA層⑥	岩版		2.90	4.60	0.70	9.80			
35	2-5	焼土面	岩版？		4.50	2.50	0.90	7.75	－	－	
36	2-7	表土Ⅰ層	岩版		4.30	7.00	2.40	64.40			
37	3-9	黒褐色土層	岩版		3.30	4.00	1.00	12.10			
38	1-3 D区	7層	石製品		2.80	2.90	0.70	4.96	－	－	

図版No.	出　土　地　点	層　位	器　種	形式	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	産　地	備　考
39	1-5東西ベルト	5層下部	不明		3.60	1.60	1.35	9.34	－	－	
40	1-1　B区	ⅢB上層	石錘		2.70	3.20	1.55	18.78			
41	1-3　C区	9層	石錘		3.05	4.65	1.50	35.02			
42	1-6　A区	最下層	石錘		3.20	5.00	2.35	50.53	細粒凝灰岩	本吉(海岸)	
43	2-4　A区	ⅢB上層上部	石鐘		3.80	2.65	0.65	11.39	粘板岩	東磐井・気仙	
44	2-4	表土Ⅱ層	岩偶？		6.20	3.80	3.50	69.70			
45	1-8　C区	ⅢB中層	岩偶状石製品		7.60	4.70	2.20	5.75			
46	1-5　C区	表土最上部	円盤状		3.05	3.00	0.40	4.60			
47	1-11　C区	大焼土面や地山廃棄ブロックより下層	とさか状		8.70	9.20	2.50	152.50	細砂質凝灰岩	奥羽山地	
49	2-14	ⅢA層相当層	抉入石製品		8.20	2.30	1.40	30.70			
50	2-10　D区	ⅢB上層	岩版状未製品		8.10	5.15	2.00	63.25	珪化木	奥羽山地	
51	3-9　C区	黒褐色土層	石製品		14.30	8.60	7.00	660.00	安山岩質凝灰岩	奥羽山地	
52	2-11　D区	3-11-Ⅱ層下半上部	軽石製浮子		(14.10)	7.10	3.20	151.50	溶岩	奥羽山地	
53	トレンチ No. 4	表土Ⅰ層	独鈷石		10.00	6.30	5.20	427.10			
54	1-6　BD区　東西ベルトB	5層	石製品		4.20	1.70	1.20	15.00	凝灰岩	東磐井	
55	2-14	木根(地山直上10YR4／2灰黄褐色土)	石製品		8.50	7.10	5.00	397.84	輝石安山岩	本吉	
56	2-5　1-5東西ベルト	5層下部	石棒		25.30	6.20	4.10	820.00	流紋岩質凝灰岩	東磐井・気仙	
57	2-8　No. 9	ⅢB上層上部	石棒？		59.70	9.20	4.35	2700.00			
58	表採		石剣？(大)		47.15	8.10	4.20	1730.00	ホルンフェルス	東磐井	
59	2-9　2-9南北ベルト	2層	円盤		3.55	3.45	1.20	20.00	凝灰質砂岩	本吉	
60	2-10	Ⅲ層地山粘土廃棄ブロック集中部	円盤状		7.30	6.70	1.20	78.20	ホルンフェルス	東磐井・気仙	
61	3-10　B区	灰黄褐色土漸移層	円盤状		6.50	6.15	(2.50)	110.00	安山岩	千厩付近	
62	1-11　C区	灰黄褐色土焼土面より下層	円盤状		5.80	6.20	1.90	114.20	凝灰質砂岩	東磐井・気仙	
63	2-8	ⅢB上層	円盤状		5.90	5.85	1.35	53.10	ホルンフェルス	千厩付近	
64	2-13	最下層	円盤状		7.60	7.90	1.50	141.10	凝灰質砂岩	東磐井・気仙	
65	2-1	Ⅲ層	石棒		(8.55)	2.85	0.95	29.70	粘板岩	東磐井・気仙	
66	2-1	Ⅲ層	石棒		(7.70)	2.30	1.40	35.10	粘板岩	東磐井・気仙	
67	2-1　B区	ⅢB中層2-1-1995.0609-No.1	石棒		27.90	2.70	1.60	180.00	粘板岩	東磐井・気仙	
68	1-3　A区	4層(明)	石棒		(6.20)	2.60	1.90	34.50	粘板岩	東磐井・気仙	
69	1-3　A区	4層(明)	石棒		17.10	3.00	1.80	140.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
70	2-3	ⅢB層より上層　ⅢA層などが混じった層	石棒		16.00	2.75	2.25	60.00	粘板岩	東磐井・気仙	
71	2-4　B区	ⅢB中層下部	石棒		(20.00)	3.10	1.80	130.00	粘板岩	東磐井・気仙	
72	1-5　B区	ⅢB上層	石棒		(15.20)	(2.80)	(1.85)	140.00	粘板岩	東磐井・気仙	
73	2-5焼土周辺	黒色土	石剣		16.50	3.50	1.40	170.30	砂質粘板岩	東磐井	
74	1-5東西ベルト	5層上部	石剣(刀？)		(17.85)	3.30	1.00	57.70	ホルンフェルス	東磐井	
75	2-5　1-5東西ベルト	7層	石刀		28.80	2.20	1.60	157.60	粘板岩	東磐井・気仙	
76	1-6　C区　東西ベルト	3層中層	石棒		(19.45)	5.45	3.50	582.30	凝灰岩	東磐井・気仙	
77	2-7	ⅢAa層	石剣		(11.00)	2.20	1.70	60.00	粘板岩	東磐井・気仙	

図版No.	出　土　地　点	層　位	器　種	形式	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	産　地	備　考
78	1-7・9　D区　東西ベルト	ⅢB上層　6層相当(炭多)	石刀		(22.75)	2.50	1.35	126.10	凝灰岩	東磐井・気仙	
79	2-7	ⅢA層上部	石棒		25.90	2.50	1.45	125.00	凝灰岩	東磐井・気仙	
80	1-8　C区	ⅢB中層	石棒.剣？		(10.00)	1.60	1.65	35.30	粘板岩	東磐井・気仙	
81	2-8　B区	灰黄褐色土層地山多量層	石棒		19.40	3.00	1.20	98.00	粘板岩	東磐井・気仙	
82	2-8　AB区	ⅢB上層	石棒？		(12.60)	2.50	1.10	41.30	粘板岩	東磐井・気仙	
83	3-8　A区	灰黄褐色土下半～ⅢB上層？混合	石棒		(7.10)	2.50	1.60	34.20	粘板岩	東磐井	
84	1-9	表土最下部	石棒		(8.20)	3.90	3.60	130.70	ホルンフェルス	東磐井	
85	2-9　A区　1-9東西ベルト	5層中層相当	石刀？		(7.70)	2.20	1.70	43.10	粘板岩	東磐井・気仙	
86	2-9　AC区　1-9東西ベルト	2層	石剣		(28.90)	3.40	1.90	247.10	粘板岩	東磐井	
87	2-9　B区　1-9東西ベルト	5層中層相当	石剣		(8.50)	2.90	1.90	85.00	粘板岩	東磐井	
88	1-10	表土Ⅰ層	石棒		(19.30)	(4.10)	(2.60)	255.00	ホルンフェルス	東磐井	
89	2-10	Ⅲ層地山粘土廃棄ブロック集中部	石棒		(7.30)	4.00	2.50	60.30	粘板岩	北上山地	
90	2-10　C区	10YR5／4	石棒		(12.60)	3.00	0.90	42.20	粘板岩	東磐井・気仙	
91	2-11　B区	灰黄褐色土層地山小ブロック多量散在	石棒		(18.05)	2.50	1.95	140.00	粘板岩	東磐井・気仙	
92	2-12　3-12　A区	表土Ⅰ層　3-11-Ⅰ層	石棒		(14.10)	(2.60)	1.35	80.30	粘板岩	東磐井	
93	1-12	Ⅲ層上部	石刀		(18.90)	6.40	1.65	180.00	粘板岩	藤沢	
94	2-12	黒褐色土	石棒		(19.30)	4.00	1.55	180.00	粘板岩	東磐井・気仙	
95	2-12	焼土面を含む灰黄褐色土地山小ブロック3%	石棒		(11.20)	1.80	1.40	45.60			
96	2-12東西・南北ベルト	1層	石刀？		(12.20)	4.00	1.00	110.90	粘板岩	東磐井・気仙	
97	3-12	表土	石棒		(15.70)	2.85	1.30	99.90	ホルンフェルス	東磐井	
98	2-13	灰黄褐色土	石棒		(12.50)	3.70	(2.30)	121.10	凝灰質粘板岩		
99	2-15	木根	石剣		(14.35)	3.00	1.60	90.80	粘板岩	東磐井・気仙	
100	トレンチ No.4	表土Ⅰ層	石棒		(6.40)	5.70	(2.05)	70.00	粘板岩	東磐井・気仙	

(4) 土 製 品

図版No.	写真No.	出 土 地 点	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	周辺加工	残存部位	利用土器	有孔	文 様
1	373	7号配石遺構 埋土	5.0	4.7	0.9	21.72	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・沈線
2	389	34号土坑 埋土	6.3	5.4	0.9	31.19	打欠	完形	深鉢		撚糸文・沈線
3	384	6号焼土遺構 埋土	5.3	5.1	0.8	22.41	打欠	完形	深鉢(底)		網代痕
4	382	6号焼土遺構 埋土	3.1	3.0	0.5	4.31	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
5	374	1-2 D区 Ⅲ層中層	4.6	4.5	0.5	11.13	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・沈線
6	330	1-2 D区 ⅢB下層	3.5	3.4	0.7	9.05	打欠	完形	深鉢		隆帯
7	338	2-2 Ⅲ層	3.6	3.5	1.0	11.23	打欠	完形	深鉢		隆帯
8	334	1-3 表土	3.8	3.8	0.6	7.59	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
9	375	1-3 表土～Ⅲ層上面	5.6	5.0	0.7	26.11	打欠	完形	深鉢(口縁)		沈線
10	331	1-3 ⅢB層上面	4.1	3.8	0.6	8.74	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
11	332	1-3 B区 ⅢB中層	3.7	3.2	0.8	9.37	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
12	333	1-3 C区 9層	4.5	4.0	0.9	14.81	打欠	完形	深鉢		沈線
13	392	2-3 ⅢB中層	6.2	5.8	0.9	33.62	打欠	完形			
14	335	1-4 ⅢA層上部	6.3	5.8	0.6	20.79	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
15	381	2-4 ⅢA層上部	5.4	4.7	0.5	12.05	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
16	376	1-5 1-5東西ベルト6層	4.9	4.5	0.8	22.50	打欠	完形	深鉢		撚糸文
17	367	2-5 東西ベルト3層下部	3.6	3.4	0.7	9.35	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
18	368	2-5 1-5東西ベルト6層 焼土面の炭化物集中層	3.5	3.2	0.9	12.32	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
19	383	2-5 C区 最終検出時	4.1	3.6	0.9	15.85	打欠	完形	深鉢		沈線
20	364	3-5 道路沿崩落土	6.2	5.0	0.8	31.61	打欠	完形	深鉢		羽状
21	365	3-5 道路沿崩落土	4.8	4.2	1.0	27.28	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
22	345	1-6 AC区 1-6東西ベルトA6層	7.3	7.0	0.9	60.81	打欠	完形	深鉢		撚糸文
23	346	1-6 BD区 1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%)	4.2	4.1	0.8	17.87	打欠	完形	深鉢		撚糸文・沈線
24	347	1-6 BD区 1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%)	4.7	4.4	0.8	20.36	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
25	377	1-6 BD区 1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	5.0	4.6	1.4	34.65	打欠	完形	深鉢(底)		網代痕
26	385	2-6 ⅢA層	7.3	6.9	1.0	49.86	打欠	完形	深鉢(底)		木葉痕
27	342	2-6 A区 ⅢA層③	4.7	4.3	0.8	15.08	打欠	完形	深鉢		沈線
28	339	2-6 B区 地山粘土廃棄ブロック No.1より下の黒色土層	4.1	4.1	0.8	13.67	打欠	完形	深鉢		磨消縄文・沈線
29	340	2-6 B区 地山粘土廃棄ブロック No.1より下の黒色土層	3.9	3.4	0.8	10.33	打欠	完形	深鉢		斜行縄文(半分摩滅)
30	341	2-6 B区 地山粘土廃棄ブロック No.1より下の黒色土層	4.5	4.3	0.8	15.72	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
31	394	2-6 地山粘土廃棄ブロック No.1より下の黒色土層	6.1	5.9	1.1	45.03	打欠	完形			
32	369	2-6 AC区 1-6東西ベルトA6層	4.5	4.2	1.0	20.86	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・沈線
33	336	1-7 D区 ⅢB上層	3.6	3.5	0.8	9.11	打欠	完形	深鉢		磨消縄文・沈線
34	378	1-7 D区 ⅢB上層	5.4	5.2	0.7	18.08	打欠	完形	深鉢		沈線
35	348	1-7 B区 1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%散在)	4.8	4.3	1.0	21.80	打欠	完形	深鉢		撚糸文
36	343	2-7 C区 地山粘土廃棄ブロック No.1	3.9	3.7	0.8	10.12	打欠	完形	深鉢		沈線
37	386	2-7 D区 ⅢB中層最下部	4.3	4.1	0.7	15.30	打欠	完形	深鉢		撚糸文・沈線
38	366	3-8 B区 10YR3／2黒褐色土層	3.5	3.1	0.6	6.94	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
39	353	1-9 C区 ⅢB上層	4.7	4.2	0.8	20.23	打欠	完形	深鉢		摩滅不明

図版No.	写真No.	出　土　地　点	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	周辺加工	残存部位	利用土器	有孔	文　様
40	349	1-9　D区　1-10　C区　1-9東西ベルト4・6層相当？	4.1	3.8	0.7	12.65	打欠	完形	深鉢		磨消縄文・沈線
41	344	2-9　D区　ⅢAc層(灰黄褐色土層)	2.7	2.4	0.7	4.27	打欠	完形	深鉢	○	摩滅不明
42	351	2-9　A区　1-9東西ベルト5層	2.2	2.2	0.7	2.29	打欠	完形	深鉢	○	摩滅・斜行縄文？・沈線
43	350	2-9　B区　1-9東西ベルト5層相当	3.2	2.7	0.7	8.74	打欠	完形	深鉢(底)		木葉痕？
44	379	1-9東西ベルト　クリーニング時	(4.7)	(3.0)	(0.8)	13.27	打欠	1／2完形	深鉢	○	斜行縄文・沈線
45	352	2-9　2-9南北ベルト2層	(5.4)	(3.0)	(0.7)	12.03	打欠	1／2完形	深鉢	○	斜行縄文・沈線・沈線
46	354	1-10　D区　灰黄褐色土　地山ブロック少　焼土面より下層	5.5	4.7	0.8	23.78	打欠	完形	深鉢(口縁)		斜行縄文・沈線
47	387	2-10　D区　灰黄褐色土・黒色土	3.7	3.3	0.6	9.86	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
48	393	2-10南北ベルト6層	6.9	6.8	1.2	44.86	打欠	完形			
49	357	1-11　ⅢA～ⅢB層	5.5	5.3	0.5	15.42	打欠	完形	深鉢		羽状
50	355	1-11　ⅢB上層	4.6	4.1	0.7	15.72	打欠	完形	深鉢		斜行縄文
51	356	1-11　ⅢB上層	4.8	4.4	0.7	15.66	打欠	完形	深鉢		羽状
52	391	1-11　B区　大焼土面	6.6	6.45	1.3	61.54	打欠	完形			
53	380	1-11　B区　大焼土面や地山小ブロック廃棄層のすぐ下層	5.4	4.8	1.0	28.33	打欠	完形	深鉢(口縁)		沈線
54	358	2-11　Ⅲ層　地山粘土廃棄ブロック集中部	4.2	3.9	0.6	9.48	打欠	完形	深鉢(口縁)		沈線
55	360	2-11　灰黄褐色土　地山小ブロック多(焼土より上層)	4.4	4.0	0.6	13.03	打欠	完形	深鉢(口縁)		斜行縄文
56	361	2-11　灰黄褐色土　地山小ブロック多(焼土より上層)	4.7	3.2	0.5	8.49	打欠	完形	深鉢		斜行縄文、長円形
57	370	2-11東西・南北ベルト　5層(焼土)	2.7	2.6	0.6	4.95	打欠	完形	深鉢		沈線
58	362	2-11　灰黄褐色土　地山小ブロック多(焼土より上層)	4.8	4.7	0.7	14.08	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・沈線
59	371	2-11東西・南北ベルト　5層(焼土)	3.0	2.9	0.6	5.42	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文
60	359	2-11　D区　3-11-Ⅱ層上半部	4.2	3.7	0.5	8.52	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文、途中まで穿孔
61	388	2-11　B区　ⅢB下層(3-11-Ⅱ層)	4.1	4.0	0.5	10.72	打欠	完形	深鉢(口縁)		沈線
62	390	3-11　A区　10YR3／2黒褐色土	6.1	5.4	0.6	24.00	打欠	完形	深鉢(口縁)		斜行縄文・沈線
63	337	1-13　焼土面を含む層　灰黄褐色土　地山ブロック7%	4.5	4.4	0.8	15.25	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・打欠？
64	363	1-14　B区　ⅢA相当層	5.0	4.1	0.7	14.17	打欠	完形	深鉢	○	斜行縄文、方形に近い
65	372	1-14　灰黄褐色土(地山小ブロック7%散在)	6.1	6.0	0.7	27.18	打欠	完形	深鉢		斜行縄文・沈線

図版No.	出　土　地　点	層　位	種　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備　考
66	1-1	ⅢB層	鐸形土製品	(2.5)	(3.3)	0.6	
67	1-2　C区	ⅢB中層	鐸形土製品	(3.2)	(3.4)	0.35	
68	2-2　B区	ⅢB中層	鐸形土製品	(6.0)	4.8	0.4～0.7	
69	1-4　C区	ⅢB層上半	鐸形土製品	4.5	2.6	0.4	
70	1-4　AC区	1-4東西ベルト⑦層	鐸形土製品	(2.4)	(3.1)	0.6	
71	2-5	1-5東西ベルト7層	鐸形土製品	4.6	3.3	0.3～0.5	
72	1-6　BD区	1-6東西ベルトB7層	鐸形土製品	4.1	(3.5)	0.3～0.8	
73	1-6　BD区	1-6東西ベルトB3層中～下部	鐸形土製品	(3.7)	(3.3)	0.4～0.9	
74	2-13	ⅢB下層　ⅢA層一部混じる	鐸形土製品	(2.5)	(2.8)	0.5～0.7	
75	1-4　C区	ⅢB中層上部6層	腕輪形土製品	(3.8)	(7.0)	1.9	
76	2-6	1-6東西ベルト3層B(炭多)	腕輪形土製品	6.4	(5.3)	1.0～1.4	
77	1-7　BD区	①層下部(炭多)	腕輪形土製品	8.4	10.3	1.0～1.9	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	種　　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備　　考
78	2-7	表土～III層上面検出面	腕輪形土製品	6.5	(4.9)	1.3	
79	1-7　BD区	①層上部	腕輪形土製品	4.7	(5.3)	0.9～1.3	
80	1-9	1-9東西ベルト4層	腕輪形土製品	6.15	3.3	0.9～1.6	
81	1-2　D区	IIIB中層	?	6.6	5.3	0.8～(1.2)	
82	3-9　A区	灰黄褐色土漸移層	土版	6.0	3.9	1.5	
83	1-10	表土黒色土層	土版	(6.1)	(4.1)	0.7～0.9	
84	1-7　BD区	①層上部	巾着状	(2.6)	3.3	2.6	
85	2-6	1-6東西ベルトA2層	土製斧	(4.9)	(3.9)	1.9	
86	2-7	表土～IIIA上部	クルミ状	2.5	3.1	1.6	
87	1-4　C区	7層	スタンプ状?	(3.15)	4.35	4.2	
88	1-4　D区	IIIB中層上部5層	ボタン状	2.0	2.5	1.1	
89	2-5	1-5東西ベルト7層	環状土製品	(9.7)	(6.0)	3.0	
90	2-4　B区	IIIB中層下部	不明	(2.7)	(4.7)	2.0	
91	2-6　D区	地山粘土廃棄ブロック	環状土製品	5.4	(3.05)	3.1	
92	1-9	IIIB層上部	スプーン状	(5.7)	3.5	0.5～0.6	
93	1-9	IIIB層上部	スプーン状	(6.4)	(4.7)	0.5～0.9	
94	1-9　A区	IIIB中層	スプーン状	(11.3)	7.8	0.5～1.2	
95	1-3　B区	7層(明)	石皿状	(9.3)	6.5	2.5	
96	1-9	IIIB中層	女性器?	8.9	6.2	2.45	
101	1-5	1-5東西ベルト5層下部	動物形土偶	(4.9)	(2.1)	0.3～1.1	動物形土偶の背中?(中空)
102	0-2	IIIB層上部	土玉	0.9	1.0	1.0	
103	1-2	IIIB層上部	土玉	0.8	1.0	0.7	
104	2-13	灰黄褐色土　10YR5／4 にぶい黄褐色土層	土玉	0.8	0.9	0.6	
105	2-2	IIIB層上部	耳飾	2.6	2.5	1.7	
106	0-3	IIIB層	耳飾	(1.5)	(1.6)	0.7	
107	0-3　C区	IIIB中層	耳飾	1.5	1.7	1.0	
108	1-3　CD区	最下層	耳飾	(1.55)	(1.6)	0.9	
109	2-3　2区	IIIB中層最下部	耳飾	2.6	2.6	1.9	
110	1-4	IIIB上層	耳飾	(2.45)	(2.5)	1.5	
111	1-4　A区	1-4南北ベルト96　⑤・⑥層相当	耳飾	(1.3)	(1.2)	0.8	
112	1-4　C区	8層	耳飾	1.5	1.55	1.3	
113	1-5　A区	f.c.5.14 の4層	耳飾	(1.85)	(2.1)	1.2	
114	2-5　D区	最終検出時	耳飾	1.9	1.9	0.7	
115	0-6　B区	IIIB層下半	耳飾	2.6	2.4	1.55	
116	1-6　BD区	1-6東西ベルトB7層(炭化物7～10%)	耳飾	(1.5)	(1.5)	0.8	
117	6号焼土遺構	検出時	耳飾	5.2	5.1	1.8	
118	1-6　BD区	1-6東西ベルトB7層	耳飾	2.55	2.5	2.0	
119	2-6　D区	IIIB中層	耳飾	(2.4)	(2.5)	1.8	
120	2-6　BD区	1-6東西ベルトB3層中部	耳飾	(2.9)	(3.2)	2.2	
121	1-6　BD区　1-7　AC区	1-6東西ベルトB7層(炭多)	耳飾	1.6	1.6	1.0	

図版No.	出　土　地　点	層　　位	種　　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備　　考
122	1-8	ⅢB層	耳飾	2.0	2.0	1.6	
123	1-8　D区	ⅢB中層	耳飾	3.7	3.5	1.05	
124	1-8　D区	ⅢB中層炭多	耳飾	(1.25)	(1.5)	0.7	
125	1-8　A区	ⅢB中層下面	耳飾	(2.7)	(2.5)	1.7	
126	2-8　D区	ⅢB中層	耳飾	1.3	1.5	1.2	
127	2-10	2-10南北ベルト3層	耳飾	3.9	4.0	1.5	
128	1-9東西ベルト	クリーニング時	耳飾	1.75	1.8	1.6	
129	19号土坑	埋土	土錘	5.8	2.15	1.6	
130	0-3	ⅢB上面	土錘	4.55	2.45	2.0	
131	1-3　A区	ⅢB中層炭多(黒)	土錘	3.9	2.3	1.65	
132	1-3　D区	3層	土錘	4.65	1.8	1.6	
133	2-3　A区	ⅢB上層	土錘	3.2	1.9	2.3	
134	2-13	2-13東西ベルト南東面7層	土錘	(2.5)	2.1	1.5	
135	1-4　B区	f.c.5.14 の1層	土錘	4.1	1.8	1.4	
136	1-5	1-5東西ベルト5層下部	土錘	3.8	1.6	1.85	
137	2-5	1-5東西ベルト7層	土錘	4.9	2.3	2.2	
138	1-5　A区	f.c.5.14 の2・3層	土錘	5.2	1.9	1.4	
139	1-5　A区	1-4南北ベルト96　⑩層相当	土錘	4.0	1.8	1.4	
140	1-6　C区	ⅢA上部	土錘	3.7	3.3	2.0	
141	1-7　AC区	1-7東西ベルトA⑤層相当	土錘	4.2	3.0	1.7	
142	1-7　AC区	最下層	土錘	4.8	1.9	1.65	
143	2-7　D区	ⅢAc最下部	土錘	3.45	2.8	1.8	
144	2-7　B区	ⅢB中層炭多	土錘	5.8	3.4	2.3	
145	1-10	検出時	土錘	2.9	2.2	1.45	

(5) 土　　偶

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
97	1-7	Ⅲ Ac 層下部	不明				土製仮面
98	2-10　D区	灰黄褐色土・黒色土	不明				口縁部突起？(人面付)
99	2-8	No.6　ⅢB上層	不明	イノシシ			細砂混入多
100	1-8	1-8-No.1	不明	イノシシ			細砂混入多、貫通孔
146	11号土坑	埋土北半	脚部下半				
147	2-1　B区	ⅢB中層	胸・肩部	○		○	首・腕割口アスファルト？付着・摩滅
148	1-2　C区	ⅢB層上部	肩・腕部				首・胸に刺突
149	1-2	ⅢB上半	頭部				全体に摩滅
150	1-2　A区	ⅢB上層	肩・腕部				表裏に手指凹状
151	1-2	ⅢB上層	胸部・腹部上半・肩部			○	全体に摩滅、表裏に刺突文
152	1-2　D区	ⅢB中層	脚部下半				
153	1-2	炭化物集中区	肩・腕部				手指凹状、割口摩滅
154	1-2	炭化物集中区	脚部上・下半				割口摩滅
155	2-2　B区	ⅢB上層	肩部				
156	2-2	ⅢB層上部	肩・腕部				手指凹状・割口摩滅
157	2-2　B区	ⅢB中層	肩・腕部				手の先に深さ2cm の孔、左右不詳
158	0-3	ⅢB層	肩・腕部				
159	0-3	Ⅲ～ⅢB層上面	腹部上・下半				全体に摩滅、刺突文
160	2-2　B区	ⅢB中層	腹部下半・脚部上・下半				
161	1-3　A区	4層(炭多)	脚部下半				割口破損後磨いた？
162	1-3	7層(炭多)	肩・腕部部				左右不詳
163	2-3　A区	ⅢB上層	頭部				
164	2-3　B区	ⅢB上層	脚部上・下半				
165	2-3　B区	ⅢB上層	脚部下半				
166	2-3　A区	ⅢB上層	脚部上・下半				
167	2-3　D区	ⅢB中層(灰黄褐色土層)	脚部上・下半				
168	2-3　C区	ⅢB中層	腕部				手指凹表現
169	2-3	ⅢB中層	胸部				175と接合、刺突文
170	2-3　B区	ⅢB中層下部	肩・腕部				手指凹状、ＬＲ・沈線
171	2-3　B区	ⅢB中層下部(炭多)	肩・腕部				肘？左右不詳
172	2-3　4区	ⅢB中層最下部	頭～腹部下半・肩・腕部		○	○	割口新しい、顔面黒斑
173	2-3　1区	ⅢB中層最下部	脚部上・下半				
174	1-4	ⅢB上半	脚部下半				左右不詳、全体に摩滅、刺突文
175	1-4　C区	8層	脚部下半				
176	1-4　D区	8層	胸～腹部下半・脚部上半			○	割口摩滅、股に孔
177	2-4　A区	ⅢB中層	脚部上・下半				
178	2-4　A区	ⅢB中の炭多ブロック	胸～腹部下半・脚部上半	○		○	割口新しい、正中線上下と左右に刺突文(計4)
179	2-4　B区	ⅢB中層最下部	肩・腕部				左右不詳
180	2-14　B区	ⅢB層(ⅢA層相当層少し混)	頭部				92・54・198と接合、顔面剝落、刺突文、割口新しい

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
181	2-4	ⅢB上層	胸～腹部下半	○		○	肩割口アスファルト？付着、刺突文、パンツ状表現
182	2-4	1-4東西ベルト4層(炭化物7～10%散在)	脚部下半				
183	2-4　A区	ⅢB下層上部	胸～腹部下半・肩部				刺突文、胴割口に製作時の空洞？
184	2-4　A区	1-4東西ベルト5～8層漸移層	胸～肩部	○	○	○	首・腕の割口凹状・新しい、沈線、刺突文
185	2-4	1-4東西ベルト7層	頭～腕部	○		○	胴割口にアスファルト？、製作時の空洞？、手指凹状、刺突文、顔面上半剝落、ひげor入れ墨？
186	3-4	表土Ⅰ～ⅢB層　道路沿崩落土	脚部上・下半				割口摩滅
187	3-4	道路沿崩落土	脚部上・下半				
188	0-5　C区	ⅢB下層(黒色部含)	不明				土製品？
189	1-5	f.c.5.14 の2・3層(炭多)	不明	○			
190	1-5　C区　2-5	ⅢB層上部　1-5東西ベルト2層中部	頭～脚部下半		○	○	12・122と接合、割口摩滅、首の割口凸状、胴凹状、手指凹状
191	1-5	1-5東西ベルト2層下部(3層含？)	脚部下半				全体に摩滅
192	1-5	1-5東西ベルト5層上部	腕・脚部上半				
193	1-5	1-5東西ベルト5層上部	脚部下半				
194	1-5～2-5	1-5東西ベルト5層上部	肩・腕部				腕？
195	1-5	1-5東西ベルト5層下部層下部	腹部上・下半				屈折像姿態
196	1-5～2-5	1-5東西ベルト5層上部	胸～腹部下半		○	○	刺突文
197	2-5　A区	ⅢA層⑥	肩部				
198	2-3　AB区	ⅢAなどの混土層	肩・腕部				
199	2-5	1-5東西ベルト2層中部	肩・腕部				手指凹表現
200	2-5	1-5東西ベルト2層(炭多)	腹部上半				刺突文
201	2-5	1-5東西ベルト5層下部	肩部				
202	2-5	1-5東西ベルト7層	脚部上半				
203	2-5	1-5東西ベルト6層　焼土周辺炭多層	腹部下半・脚部上半				腰掛けた姿勢？、胴割口に製作時の孔？
204	3-5	道路沿崩落土	肩・腕部				手指凹状
205	1-6	表土最下部	胸～肩部・脚部上・下半		○	○	細砂混入多、首にアスファルト？付着、全体に摩滅
206	1-6	表土最下部	脚部上・下半				
207	1-6　AC区	ⅢB上層	腕部				手指凹状
208	1-6	ⅢB上層	肩・腕部				手指凹状
209	1-6　A区	ⅢB下層上部下半	脚部下半				割口摩滅
210	1-6　A区	ⅢB下層上部下半	肩・腕部				手指凹状、割口摩滅
211	1-6　A区	ⅢB下層上面	脚部上・下半				
212	1-6　A区	ⅢB下層上面	脚部下半				細砂混入多
213	1-6 C区 1-5 D区 2-6 A区	1-6東西ベルト3層中炭多層	頭部				
214	1-6　BD区	1-6東西ベルトB3層中～下部	肩・腕部				割口摩滅、手指4本(刻み)
215	1-6　BD区	1-6東西ベルトB5層	脚部上・下半				
216	1-6　BD区	1-6東西ベルトB7層(最下層)	頭部				顔面剝落、裏面刺突
217	1-6　BD区 1-7　AC区	1-6東西ベルトB7層(炭多)	頭部				顔面剝落？
218	2-6　D区	ⅢB中層	頭部				顔面剝落？、裏面刺突文
219	2-6　B区	灰黄褐色土層　2-6-②	脚部下半				全体に摩滅
220	2-6	ⅢB下層	胸・肩部			○	割口新しい

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
221	2-6	ⅢB下層上部	胸部・腹部上半・肩～腕部			○	刺突文、手指凹状、割口新しい
222	2-6	ⅢB下層上部	腹部上・下半		○		刺突文
223	2-6　B区	ⅢB下層(黒色部含炭多)	脚部上・下半				
224	2-6	1-6東西ベルト3層中部	肩・腕部				手指凹状
225	2-6	1-6東西ベルトA3層(炭多)	頭～肩部	○		○	胴割口新しい・アスファルト？、結髪表現、刺突、沈線、ＬＲ斜行
226	2-6　BD区	1-6東西ベルトB3層上～中部	胸～肩部・脚部上半				割口摩滅
227	2-6　BD区	1-6東西ベルトB3層下部	肩・腕部				
228	2-6　BD区	1-6東西ベルトB4層(焼土)	胸・腹部上半			○	首割口アスファルト、胸に酸化鉄付着
229	2-6　BD区	1-6東西ベルトB4層(焼土)	胸～肩部		○	○	首・脚割口凹状
230	1-7　C区	ⅢAc層下部	脚部上・下半				全体に摩滅、沈線、刺突、中空
231	1-7　C区	ⅢB上層	腹部下半				屈折像姿態？、刺突文
232	3-6　1-7　D区	表採　ⅢB上層	肩～腹部下半		○	○	54・87・198と接合、割口新しい、手指凹状、割口にアスファルト？
233	1-7　B区	ⅢB上層	胸～脚部上半		○	○	首にアスファルト？付着、左脚割口凹状で、手指凹状
234	1-7	地山粘土ブロック層	胸～腹部下半				パンツ状表現、肩割口磨いてある？、股に刺突
235	1-7　BD区	①層	胸部・腹部上半・脚部上・下半	○		○	刺突・沈線文
236	1-7　AC区	①層	脚部上・下半				
237	1-7　C区	①層上部(炭多)	腹部下半・脚部上・下半	○	○		刺突、割口摩滅
238	1-7　BD区	1-7東西ベルトA③層	頭～肩部	○		○	割口摩滅、刺突、沈線文
239	1-7　BD区	1-7東西ベルトA③層	頭部				結髪表現、耳に孔、首に刺突文
240	1-7	1-6東西ベルト　クリーニング時	脚部上・下半				
241	2-7　D区	ⅢAc層最下部	胸部・腹部上半・肩部				
242	2-7　B区	ⅢB上層	胸～肩部			○	
243	2-7　A区	ⅢB上層	胸・腹部上半			○	全体に摩滅、背上部・首・腹部に刺突文
244	2-7　B区	ⅢB上層下部	腹部上・下半・脚部上・下半				全体に摩滅
245	2-7　D区	ⅢB中層	腹部上・下半・脚部上半				刺突文、陰部表現(貫通)
246	2-7　C区	ⅢB中層(炭多)	頭～腹部上半・腕部				腕？
247	2-7　C区	ⅢB中層(炭多)	不明				
248	2-7　C区	ⅢB中層下半	脚部下半				
249	2-7　C区	ⅢB中層下半	腹部下半・脚部上～下半	○	○		刺突、沈線文、割口新しい
250	2-7　D区	ⅢB中層最下部	脚部下上半				
251	2-7　AC区	1-7東西ベルト2層	胸部・腹部上半・肩部			○	全体に摩滅
252	2-7　BD区	1-7東西ベルト2層	脚部上・下半				割口摩滅、沈線文
253	2-7　A区	東西ベルト8層	胸～腹部下半			○	首割口凹状、全体に摩滅
254	1-8	ⅢB上部	胸～腹部下半・脚部上半	○刺突	○	○	首・左脚割口凹状で摩滅、陰部表現？胎土良
255	1-8　D区	ⅢB上層	胸・肩部			○	首の割口凹状・アスファルト？
256	1-8　D区	ⅢB上層	腹部上半・肩部				首の割口凹状・アスファルト？割口凹状・アスファルト？付着
257	1-8　D区	ⅢB中層下部(炭多)	肩・腕部				
258	1-8　C区	ⅢB中層下部(炭多)	肩・腕部				手指凹状
259	1-8　A区	ⅢB下層上部下半	脚部上・下半				脚の割口凸状、細砂混入多
260	1-8	1-8東西ベルト3層中部	脚部上・下半				土製品の可能性有り

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
261	1-8　A区	ⅢB上層下部	頭部・胸部・腹部上半・肩・腕部				23と接合、顔面剝落、結髪表現、割口新しい、屈折像姿態、胴部の割口にアスファルト？
262	2-8	表土Ⅰ層	頭部				顔面剝落
263	2-8　B区	ⅢAa層相当(炭黄褐色土層　地山粘土)	脚部下半				土偶の足？、左右不詳
264	2-8　D区	ⅢB上層	腕部				手指凹状、割口摩滅
265	2-8　C区	ⅢB上層	頭部				顔面剝落
266	2-8　B区	ⅢB上層下部	肩・腕部				土偶の腕？、左右不詳
267	2-8　C区	ⅢB上層下部	肩・腕部				手指凹状
268	2-8-No.8	ⅢB上層下部	脚部上・下半				割口新しい
269	2-8	1-8東西ベルト4層	脚部上・下半				
270	2-8	ⅢAc層　2-8-No.1	頭～脚部下半				朱付着、完形、中空
271	3-8　B区	ⅢACより一段上の層　3-8-No.1	頭～腹部上半・肩・腕部				
272	2-8　A区	1-8東西ベルト4層	胸部・腹部上半・肩・腕部	○		○	手指凹状、沈線、刺突
273	2-8	1-8東西ベルト4層	脚部下半				左右不詳
274	2-8　A区	最終検出時(地山直上)	脚部下半				細砂混入多
275	3-8　A区	ⅢB上層	肩・腕部				手指凹状
276	1-9　A区	1-9東西ベルト4層中～下層	脚部上半				左右不詳
277	1-9　A区	1-9東西ベルト6層	胸・腹部上半			○	首割口凹状、割口摩滅、朱わずかに残る
278	1-9　AB区	1-9東西ベルト6層	腕部				手指凹状
279	1-9　BD区	1-9東西ベルト6層(炭多)	腕部				手指凹状、刺突文
281	1-9　BD区	1-9東西ベルト6層相当(炭化物7～10%散在)	脚部下半				
282	1-9　BD区	1-9東西ベルト7層相当？(炭多)	頭部				首割口凹状、結髪表現、ひげ・入れ墨表現
283	1-9　B区	ⅢB上層～中層(樹木混周辺)	不明				首の割口アスファルト付着、服に製作時？の孔？
284	1-9	クリーニング時	肩・腕部				沈線文
285	1-9～2-9	ベルトクリーニング時	胸・腹部上半			○	
286	2-9　D区	灰黄褐色土漸移層	頭部				頭頂部に孔、ＲＬ・ＬＲ、中空
287	2-9　A区	1-9東西ベルト5層	肩部				刺突文、アスファルト付着
288	2-9　C区	1-9東西ベルト5層	脚部下半				左右不詳、土製品？
289	2-9	1-9東西ベルト5層	脚部下半				左右不詳
290	2-9	1-9東西ベルト5層	脚部下半				左右不詳、土製品？
291	2-9　A区	1-9東西ベルト5層	頭部				割口摩滅、表裏刺突文
292	2-9　C区	1-9東西ベルト5層	脚部下半				
293	2-9　C区	1-9東西ベルト5層	脚部下半				
294	2-9　C区	1-9東西ベルト5層相当	肩・腕部				腕の裏に刺突文
295	2-9　B区	1-9東西ベルト5層相当	肩・腕部				
296	2-9　C区　3-9　A区	1-9東西ベルト5層相当	腹部上・下半・脚部上半				胴割口にアスファルト？、刺突文、脚割口摩滅
297	1-7～2-7　2-6　2-9　AC区	ⅢB層上部　1-9東西ベルト5層・中～下層相当　クリーニング時	頭～脚部下半			○	106・137・138・144と接合・割口新しい、手指凹状表現
298	2-9　A区	ⅢB上層上部　1-9東西ベルト5層・中層相当	肩～脚部下半				139・143と接合、屈折像姿態、刺突文、背面に貫通孔
299	2-9　A区	1-9東西ベルト5層最下層	頭部				顔面一部剝落
300	2-9　C区	1-9東西ベルト(5層と地山に中間)地山直上層	腹部上・下半・脚部上半				
301	3-9　A区	崩落土	腹部上・下半・脚部上半		○		貫通孔、胴割口摩滅

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
302	3-9　A区	ⅢB上層	胸部・腹部上半・肩部			○	割口摩滅、割口に製作時の首を差し込んだ孔？
303	3-9　A区	ⅢB上層	肩・腕部				手指凹状、割口新しい、細砂混入多
304	0-10　B区	ⅢB中層相当層	頭～腹部下半				腕の割口凹状、割口摩滅
305	1-10	ⅢB上層	胸部・腹部上半			○	全体に摩滅
306	1-10　B区	ⅢB上～中層上部	脚部上・下半				203と接合、アスファルト付着
307	1-10　AC区	1-9東西ベルト7層上層に相当	脚部上・下半				刺突文
308	1-10　D区	1-9東西ベルト7層中層相当(炭多)	胸部・腹部上半・肩部			○	刺突文、首割口に孔
309	1-10　AC区	1-9東西ベルト7層上層に相当	胸・腹部上半			○	首割口凹状、135と接合
310	1-10　D区	1-9東西ベルト7層相当(最下層)	胸・肩・腕部				手指凹状、首割口凹状
311	1-10　C区	1-9東西ベルト7層下部相当	肩・腕部				手指凹状
312	2-10　B区	ⅢB上層	脚部上・下半				刺突文
313	2-10　C区　3-10　A区	ⅢB上～中層	頭部～胸部			○	91と接合、細砂混入多、左肩・脚の割口凹状、割口新しい、刺突文
314	2-10　A区	1-9東西ベルト5層	腹部下半・脚部上～下半				
315	2-10　B区	1-9東西ベルト5層中層相当(炭多)	胸～腹部下半	○		○	割口摩滅、刺突文
316	2-10	2-10南北ベルト3層	脚部下半				
317	2-10	南北ベルト3層	頭部				顔面剝落？、引っかき沈線
318	2-10	南北ベルト　2-11東西ベルト6層	頭部				結髪表現、割口摩滅
319	3-10　B区	灰黄褐色土上半	肩部				80・157と155はよく似た胎土
320	3-10　B区	灰黄褐色土層	脚部下半				左右不詳
321	1-11　B区	表土最下部	不明			○	乳房のみ
322	1-11	ⅢA層上部	肩・腕部				手指凹状
323	1-11　B区	木根	脚部上半・脚部下半				
324	2-11　D区	3-11-Ⅱ層下半上部	胸部・腹部上半・肩・腕部				割口摩滅
325	2-11　B区	焼土より下面	腹部下半・脚部上半				胴割口凹状・割口新しい
326	2-11	大焼土面含む層	肩・腕部				手指凹状
327	2-11　B区	ⅢB層上層・中層	胸～脚部下半		○	○	刺突文、首割口にアスファルト？付着、右脇胸囲腹に刺突、細砂混入多
328	2-11　B区	ⅢB下層(3-11-Ⅲ層)	脚部上・下半				割口摩滅、刺突文
329	2-11　B区	地山廃棄ブロック下の灰黄褐色土(地山1%)	肩部				157と接合、左右不詳
330	2-11　A区	南北ベルト6層	脚部上・下半				
331	3-11　B区	黒色土層	肩・腕部				全体に摩滅、三叉文
332	1-12	表土～Ⅲ層	脚部上・下半				割口凸状、破損後磨いたか？
333	1-12　CD区	灰黄褐色土焼土面を含む層	胸～肩部・脚部上・下半				首・脚割口にアスファルト？付着
334	1-12　C区	灰黄褐色土下半　地山ブロック3%	胸～腹部下半		○	○	細砂混入多
335	2-12　C区	3-11-Ⅱ層	頭部				裏面剝落
336	2-12　A区	最下層	腕部				刺突文、手指凹状
337	1-13　B区	ⅢB上層	脚部下半				割口に製作時の空洞？
338	1-13　A区	ⅢB上層・中層	胸部・腹部上半・肩部				胴割口アスファルト？付着、細砂混入
339	2-13　C区	ⅢAより上層　表土最下部か？	腹部下半・脚部上・下半				割口摩滅、朱付着、LR斜行、沈線、三叉文、中空
340	2-13　A区	灰黄褐色土　地山小ブロック2%	脚部上・下半				土偶の足？
341	2-13　C区	灰黄褐色土　地山ブロック7%散在 廃土より上	頭～腹部下半・脚部上・下半	○		○	首部隆帯、その他の部位沈線文

図版No.	出　土　地　点	層　　位	部　　位	正中線	下腹部	乳　房	文様・彩色・付着物・割口
342	2-13	2-13東西ベルト南東面7層	胸・肩部	○		○	全体に摩滅、正中線と肩の表裏に刺突文
343	1-14	III層	脚部下半				土偶の足？
344	1-14　C区	樹木混周辺表土下部	脚部上・下半				足指・踵表現
345	1-14　B区	III層相当層	脚部下半				左右不詳、細砂混入多
346	2-14	III～IIIA層相当層	脚部上・下半				
347	1-15	III層	肩・腕部				手指凹状
348	2-14　A区	IIIA層相当	胸～腹部下半				表面剝落多、パンツ状、刺突文、股に刺突
349	1-15	IIIB層相当層	胸～脚部上半	○	○	○	手指凹状、細砂混入多、全体に摩滅
350	1-18	表土I層	頭・胸・肩部			○	全体に摩滅
351	トレンチNo.4	表土I層	脚部上・下半				全体に摩滅
352	不明	道路沿崩落土	胸～腹部下半				屈折像姿態、沈線文

(6) 骨角器・獣骨

図版No.	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	重さ(g)	備考
1	0-4	III層(IIIB層上層)	シカ			5.32	
2	0-5	III層	シカ			0.10	
3	1-1	III層下部	シカ			0.74	
4	1-2	III層上部	シカ			0.73	
5	2-4 B区	IIIB中層(炭散在部)	イノシシ・不明	環椎・肩甲骨	1・1(左右不明)	38.50	大型哺乳類
6	2-11	III層 地山粘土廃棄ブロック？	アオザメ？	歯	1	1.81	
	0-4	III層(IIIB層上層)	イノシシ	第二中足骨	1	2.01	遠位端
	2-8 B区	III Ac層上部	シカ	頸骨	左1	10.92	遠位端
	2-9 D区	III Ac層	シカ	角	2	2.41	
	2-4 B区	IIIA・IIIB崩壊土層 IIIA層相当	狸？	焼骨	1	2.04	
	1-4	灰黄褐色土	イノシシ	第三中足骨	右1	6.47	近位端切痕有
	1-12	灰黄褐色土 地山小ブロック7%散在 焼土面より下	シカ	基節骨	1	4.30	近位端
	2-8 B区	灰黄褐色土上部10cm IIIAc層相当	シカ	末節骨	1	0.35	
	2-10 D区	灰黄褐色土 地山小ブロック多 焼土より上	イノシシ	下顎骨	右1	12.42	関節部
	2-10 D区	灰黄褐色土 地山多量層 焼土より上	シカ	中手 or 中足骨	1	34.09	遠位端
	2-10 D区	灰黄褐色土・黒色土	イノシシ	焼骨	1	2.20	遠位端・骨端未ゆ合
	2-10 D区	灰黄褐色土 地山小ブロック10%焼土面より上	イノシシ？	下顎骨	1	0.71	
	2-11 D区	灰黄褐色土漸移層	骨角器		1	0.23	
	2-11 A区	灰黄褐色土 地山小ブロック7%散在焼土より下	不明			1.48	骨端未ゆ合
	2-12 A区	灰黄褐色土 地山小ブロック7%散在焼土面より下	シカ	角		4.70	
	3-10 A区	灰黄褐色土下部 地山小ブロック散在	シカ	角？	1	4.04	No.415・416と同様
	3-10 B区	灰黄褐色土漸移層	シカ	中手骨	左1	2.42	近位端
	1-2 D区	IIIB中層	魚類	尾椎	1	0.97	種不明
	1-2 D区	IIIB中層	イノシシ	後頭骨	1	6.94	
	1-4 C区	IIIB層上半	イノシシ	頭頂骨	左1	17.19	
	1-4 D区	IIIB層上半	イノシシ	頭頂骨	右1	6.40	
	1-4	IIIB上層	イノシシ	頭頂骨	3	48.25	同一個体？
	1-4 A区	IIIB上層	イノシシ	後頭骨	1	4.68	後頭顆
	1-4 C区	IIIB上層2層	シカ	頸骨	右1	10.93	遠位端
	1-4 D区	IIIB中層上部5層	イノシシ	後頭骨	1	8.02	後頭顆
	1-4 C区	IIIB中層6層	イノシシ	側頭骨	右1	18.36	
	1-4 C区	IIIB中層下部(炭多)7層	イノシシ	側頭骨	右1	8.19	
	1-4 A区	IIIB中層(炭多)6層	イノシシ	肩甲骨	左1	20.25	関節部
	1-4 A区	IIIB中層	イノシシ	下顎骨	左1	3.53	
	1-4 D区	IIIB層下最下部	イノシシ	第4中足骨	1	2.82	
	1-7 C区	IIIB上層	不明	手 or 足根骨	1	1.52	
	1-7 C区	IIIB上層	イノシシ	頭頂骨	1	7.76	
	1-7 D区	IIIB中層上部	イノシシ	中手骨？	1	5.82	
	1-8 C区	IIIB中層上部	シカ	頸骨	右1	12.04	遠位端

図版No.	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	重さ(g)	備考
	1-8　C区	ⅢB中層(炭多)	不明	椎体	1	3.72	
	1-9　B区	ⅢB上層	イノシシ	頭頂骨	左1	7.37	
	2-4　B区	ⅢB上層下部	狸？	後頭骨	左2	20.50	1つ切痕有
	2-4　A区	ⅢB上～中層	イノシシ	上顎骨	右1	8.48	I 3
	2-4　B区	ⅢB中層	イノシシ	中手 or 中足骨・後頭骨	1・右1	18.57	遠位端・項稜部
	2-4　B区	ⅢB中層炭散在	イノシシ	頬骨	右1	17.66	
	2-4　A区	ⅢB中層中10YR5／4	イノシシ	後頭骨・下顎骨	右1・左1	30.30	項稜部・関節部切痕有
	2-4　A区	ⅢB中層	イノシシ	前頭骨頬骨突起・上顎骨・中節骨	左1・1	93.18	未ゆ合
	2-7　B区　南北ベルト	ⅢB上層	イノシシ	中節骨	1	7.36	
	2-7　B区	ⅢB中層(炭多)	イノシシ	上顎骨	右1	12.01	
	2-7　D区	ⅢB中層最下部	シカ	軸椎	1	30.39	
	1-3　A区	4層(炭多層)	イノシシ	後頭骨	1	12.46	後頭顆
	1-3　D区	7層(炭多層)	シカ	中節骨	1	11.43	未ゆ合
	1-4　C区	6層	イノシシ	上顎・下顎骨	右1	56.27	
	2-10　C区	10YR5／4下層	シカ・イノシシ	角？・大腿骨	1・右1	21.10	加工品・遠位端
	2-10　C区	10YR5／4下層(10YR5／4　地山ブロック7%)	シカ	角？	2	2.01	No.415と同様
	2-12　C区	樹木根周辺の焼土	不明	頸骨	右1	11.08	近位端
	2-10	灰黄褐色土上半	イノシシ	環椎	2	12.56	
	1-5　C区	f.c.5.14の2・3層	イノシシ	下顎骨	1	16.35	
	1-5　1-5東西ベルト	5層中部	イノシシ	第4中手骨	右1	14.62	近位端
	1-5　1-5東西ベルト	5層中～下部	シカ・イノシシ	中手 or 中足骨・肩甲骨	1・右1	45.13	未ゆ合・遠位端・関節部
	1-5　1-5東西ベルト	5層下部	イノシシ	下顎骨	右1	31.77	
	1-6　BD区	3層	イノシシ	後頭顆	右1	3.03	
	1-6　BD区	7層(炭化物7%散在)	シカ	中手 or 足骨	1	58.09	遠位端・未ゆ合
	1-9　C区　1-9東西ベルト	6層相当(炭化物7～10%散在)	イノシシ	側頭骨	左1	8.25	幼体
	2-4　A区1-4東西ベルト	⑦層	イノシシ	上顎骨	左1	14.96	
	2-5　1-5東西ベルト	5層中部～下部(炭多)	イノシシ	側頭骨	左1	68.63	
	2-6　D区　1-6東西ベルトB	3層上部	シカ	中手 or 足骨	1	5.53	関節部遠位端
	2-9　A区　1-9東西ベルト	5層	シカ	末節骨	1	4.65	
	3-9　D区　2-10東西ベルト	3層相当	シカ	角	1	4.10	
	2-10南北ベルト	3層	イノシシ	下顎骨	右1	18.85	
	2-10南北ベルト	3層	イノシシ	下顎骨	右1	17.69	
	2-10南北ベルト	4層	イノシシ	下顎骨	左1	20.02	
	2-11東西ベルト	7層最下層	イノシシ	下顎骨	右1	4.33	関節部
	8号焼土遺構(No.3)	埋土(焼土)	コイ科魚類	尾部棒状骨	1	2.73	
	2-7　A区	地山粘土廃棄ブロックNo.1直下の地山多量層下の灰黄	シカ	角	破片5	1.87	

(7) 焼粘土塊

図版No.	出土地点	層位	重さ(g)
1	1-3 C区	ⅢB上層	69.66
2	1-4 D区	ⅢB上層2層	185.25
3	1-6 C区 南北ベルト	10YR4／2 ⅢA層最下部	83.61
4	1-8 B区	ⅢB中層	160.36
5	1-8 C区	ⅢB中層	63.68
6	1-10 D区	灰黄褐色土 地山小ブロック 焼土含層 焼土部	819.62
7	1-10 D区	灰黄褐色土 地山小ブロック 焼土含層 焼土部	
8	1-11 A区	灰黄褐色土 焼土面より上	100.75
9	1-12	灰黄褐色土 焼土面含む層	33.39
10	2-4 B区	ⅢB上層下部	234.27
11	2-4 B区	ⅢB上層下部	
12	2-6 A区	ⅢB中層	108.93
13	3-10 B区	ⅢB上層	67.28
14	0-5 D区	ⅢB下半	72.70
15	1-8 C区 1-8東西ベルト	4層	183.80
16	1-8 AC区 1-8東西ベルト	6層	23.40
17	1-9 A区 1-9東西ベルト	4・6層	44.10

(8) 縄文時代以外の遺物観察表

石臼

図版No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
1	2-13	表土	石臼	(21.9)	(11.30)	(10.80)	2090.50

古銭

図版No.	出土地点	層位	器種	名称	縦(cm)	横(cm)	重さ(g)
6	1-4	表土上面	古銭	開元通寶		2.20	(1.80)
7	3-12	表土	古銭	洪武通寶	2.25	2.20	2.90
8	2-14	木根 地山直上 10YR4／2灰黄褐色土	古銭	永楽通寶	2.40	2.40	(2.00)

鉄滓

図版No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
5	3-12	表土最下部	鉄滓	6.00	3.10	1.70	56.70

鋳型

図版No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
4	2-11 D区	3-11-II層下半	鋳型	10.80	10.30	2.95	172.80

羽口

図版No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)
3	1-4 2-14 2-15	表土 ⅢA相当層	羽口	(17.20)	7.10	1.60

青磁

図版No.	出土地点	層位	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)
2	1-9	表土 樹木根周囲	碗	口縁	(15.00)	(3.00)

水晶

図版No.	出土地点	層位	器種	形式	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	産地
7	2-4 A区	ⅢA下部	水晶		2.2	0.95	0.8	2.2	水晶	不詳
7	2-7	ⅢA層上部黒色土層より上の褐色	水晶		2.9	0.9	0.7	3.1	水晶	不詳
7	1-9 A区	1-9東西ベルト6層	水晶		4	1.4	1	8.1	水晶	不詳
7	1-5 C区	f.c.5.14の2・3層	水晶		1.9	1.1	0.7	3.1	水晶	不詳
7	1-8	クリーニング時	水晶		2.6	0.9	0.7	2.2	水晶	不詳

Ⅵ　考察

Ⅶのまとめと重複するが、相ノ沢遺跡の集落は、①居住域　②石器・土器の生産に関わる場　③墓域・「捨て場」=「物送りの場」等祭祀に関わる場の、3要素を持ち、周辺集落の中心的存在ではないかと推定される。今回の調査では、調査区の大部分を「捨て場」であり、①居住域　②生産に関わる場について多く述べることはできないが、廃棄されたものの器種・組成・量は母村的集落機能を、十分に示すものではないだろうか。

廃棄の様相は、破損品が90％以上を占め、完形品はごくわずかである。残念なことは、土器や石器の破損が、故意に（廃棄に際して）行われたものか、日常生活の中で破損したものかの区別が、難しいことである。土器片の欠け口の磨滅等から、ある程度の推定は可能だが、多くの遺物では不可能に近い。

各層に、土器・石器・土製品・石製品・焼土粒・炭化物・廃土が混在するのだが、どのような行為によってこの「捨て場」が形成されたのか非常に興味深い。

焼土では、“投げ捨て焼土”である21号焼土が最大量を示しているが、1度に廃棄されたと仮定した場合、日常の炉の清掃等でこれだけの量になるものか疑問を感じる。（他の“投げ捨て焼土”とは体積が桁違いである）晩期の遺構と考えられるが、類例をご教示いただければ幸いである。

この報告書中、埋納と解釈されたものに磨製石斧と中空土偶がある。同時期の遺跡でも、同種の石器を何点かまとめて埋める、あるいは副葬品とする例は見られる。おそらく皮袋等に入れ、埋めたものと考えられるが、石斧にはそのような状態を窺わせる付着物は見られなかった。ほぼ完形品であるが、1度使用し、未だ使用に耐えるものを埋めた行為の背景が興味深い。

中空土偶は石斧と異なり、実用の道具ではないとされているので、同様に考えるのは無謀であるが、埋納された時点で破損していたのは、右肩のごく一部で、残りの破損は埋納以後の土圧によるものと考えられる。いくつかの土偶（特に図版番号306は顕著）はアスファルトを使用し、修理・再度使用した跡が見られるが、この土偶は修理されずに埋納されたと考えられる。

両者に“埋納”という解釈を与えてきたが、その根拠は斜面に水平な状態で検出されたこと、周囲に比較的土器片等が少なかったことのみで、明確な掘り方を伴うものではないので、当然反論も予想されよう。

最後に筆者の勉強不足から、調査時の観察・記録・室内調査の方針決定等の不備が多々あり、豊富な要素を持つ遺跡の内容を、十分に報告できなかったことを深くお詫び申し上げます。

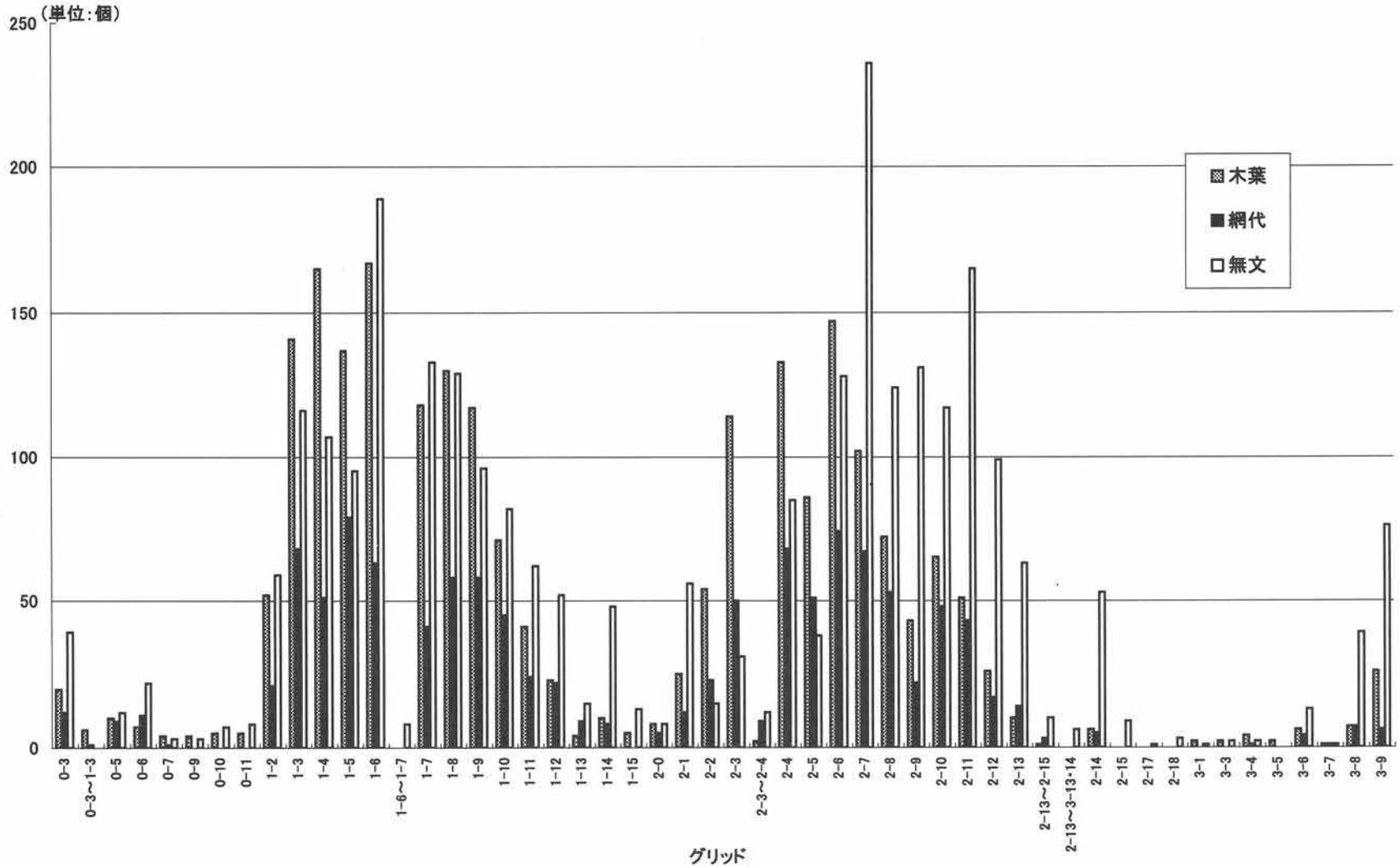
黒曜石・翡翠をはじめとする石材・アスファルト・北と南の要素を持つ大量の土器等を、当時の交易ルートから考察する、石鏃の後期～晩期の推移（形態・石材の選択・法量の変化等）を考察する等、さまざまな材料を提供してくれる遺跡のひとつではないかと思います。

相ノ沢遺跡への新たな視点を、また御批判をぜひいただきたいと思っております。

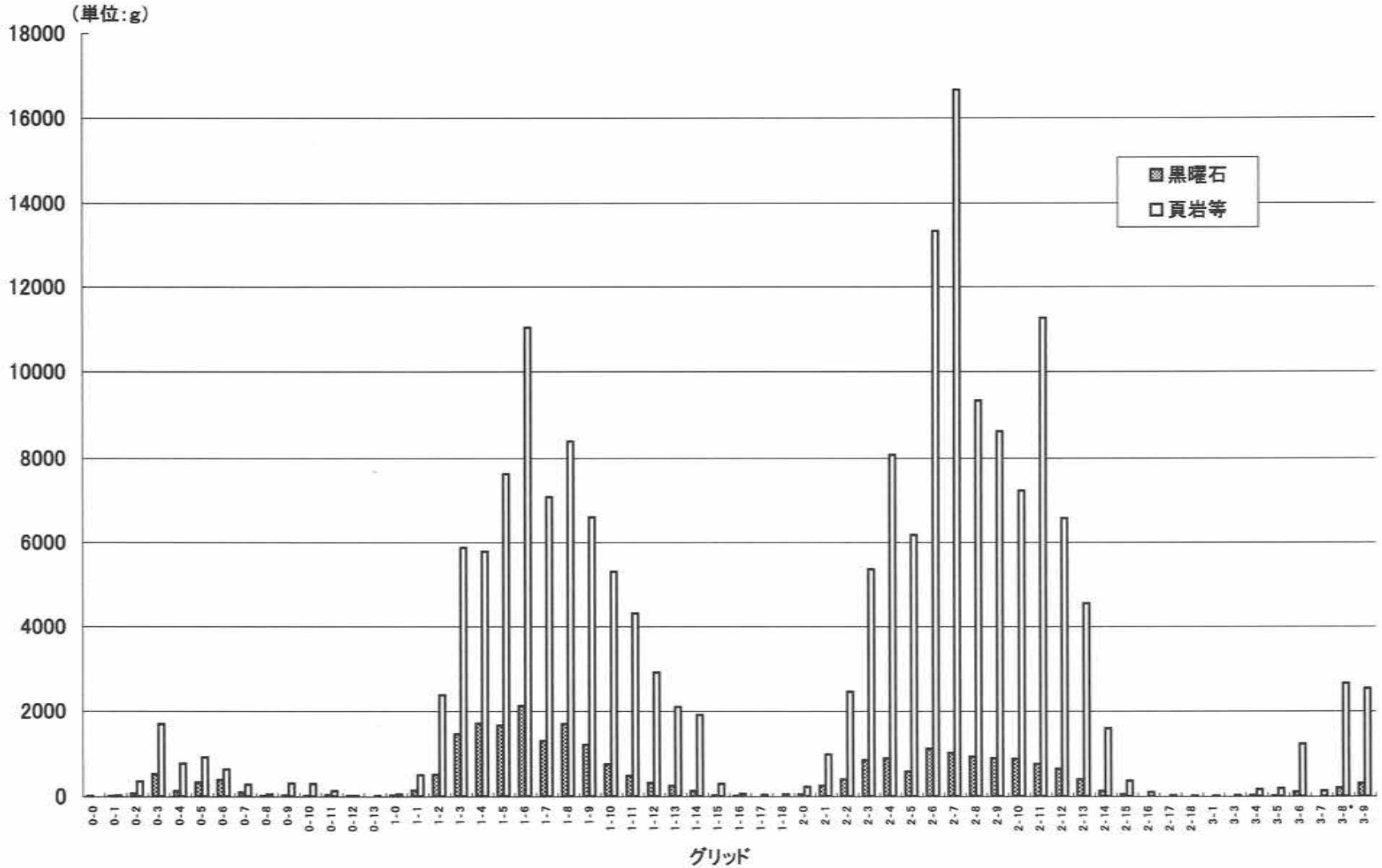
本報告書の発行以前に略報・各遺跡発表会のレジメ等が、作成されましたが、本書を以って正式な報告書といたします。

なお、この場を借りて報告書作成に際し、多大なご協力・ご理解をいただいた、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会、千葉忠氏はじめ藤沢町黄海地区の野外作業員の方々、4年間、膨大な遺物の整理に携わった埋蔵文化財センター・大久保文子氏はじめ多くの室内作業員の方々にあらためて感謝いたします。本当にありがとうございました。

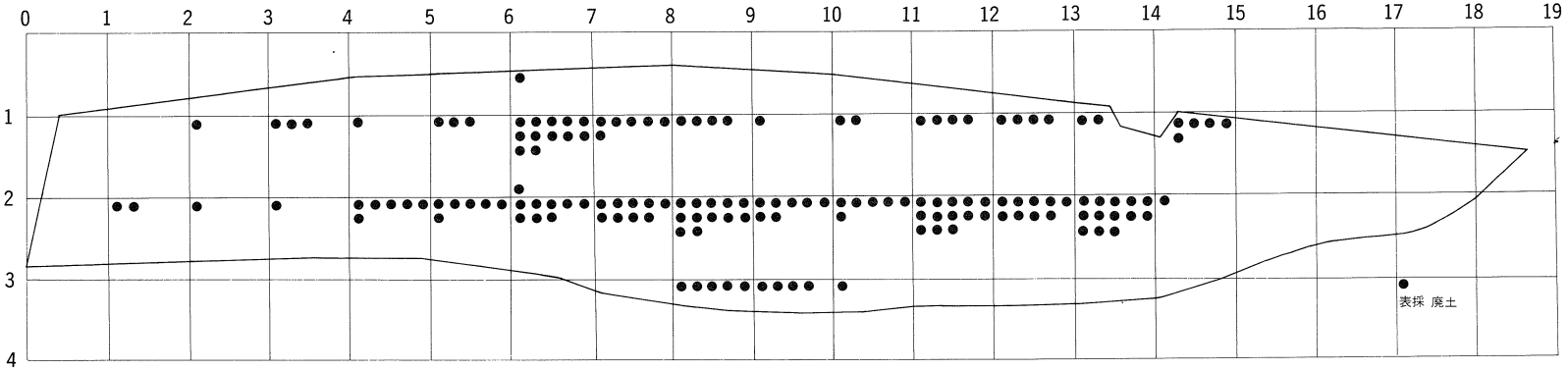
第４表　後期縄文土器底部資料　グリッド別文様比較



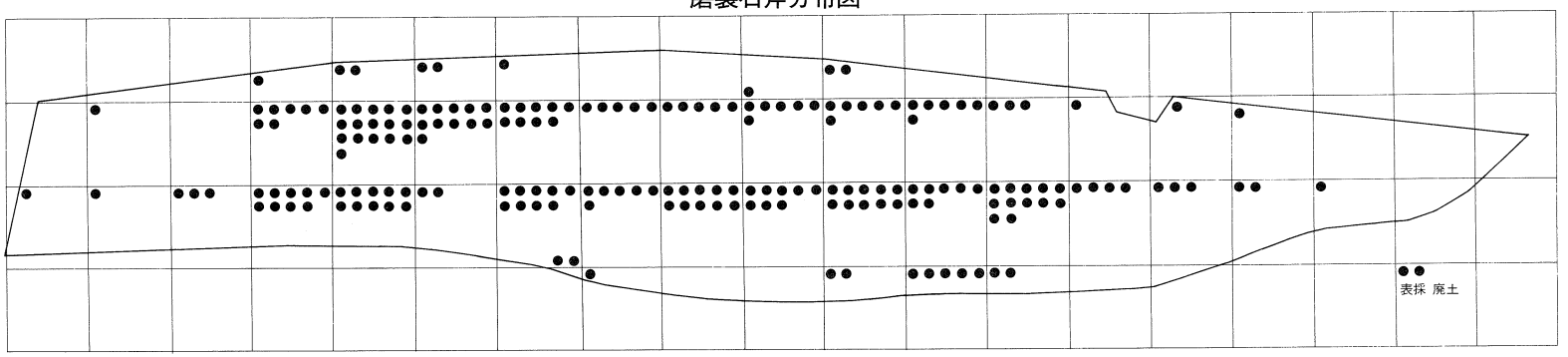
第５表　グリッド別剥片出土量



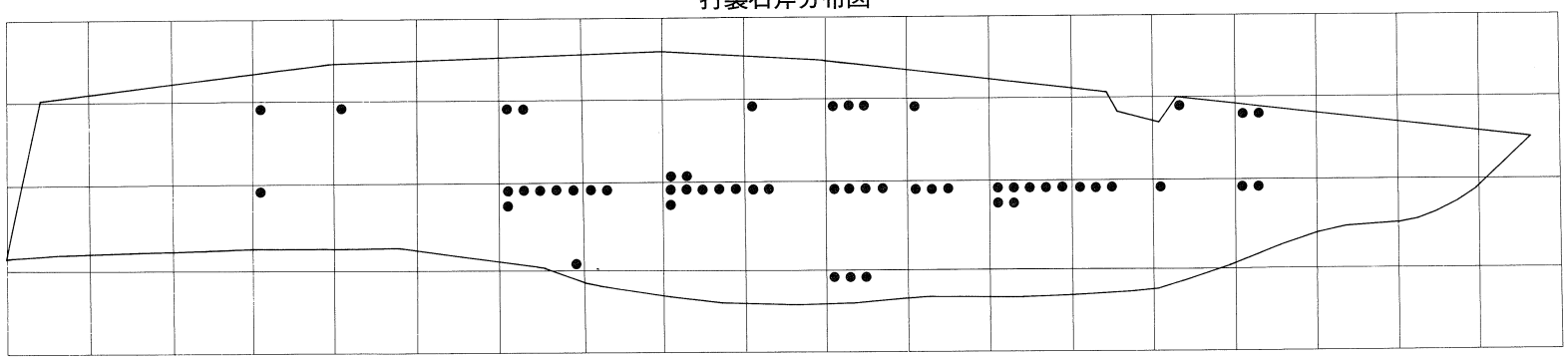
注口土器分布図



磨製石斧分布図

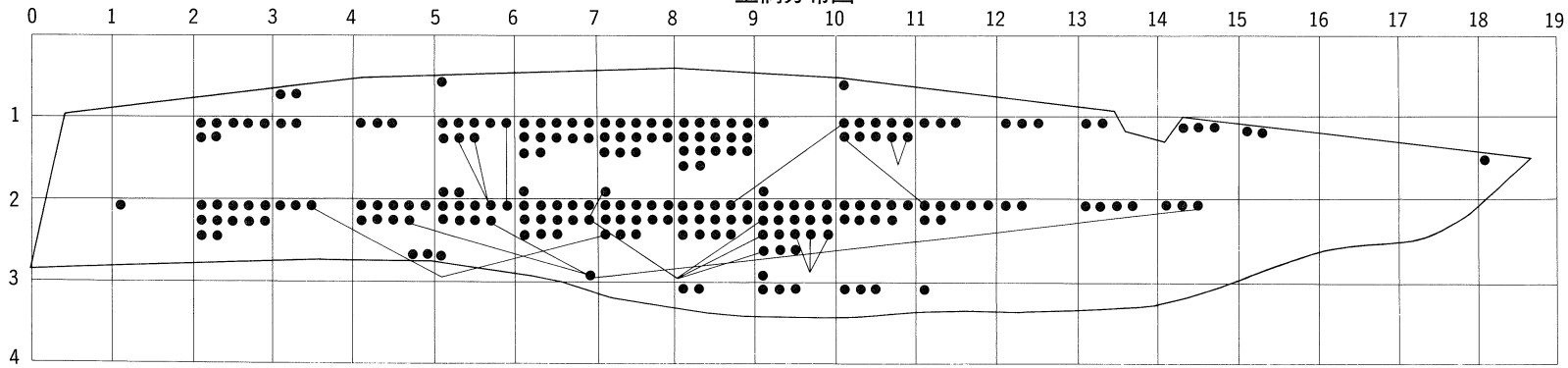


打製石斧分布図

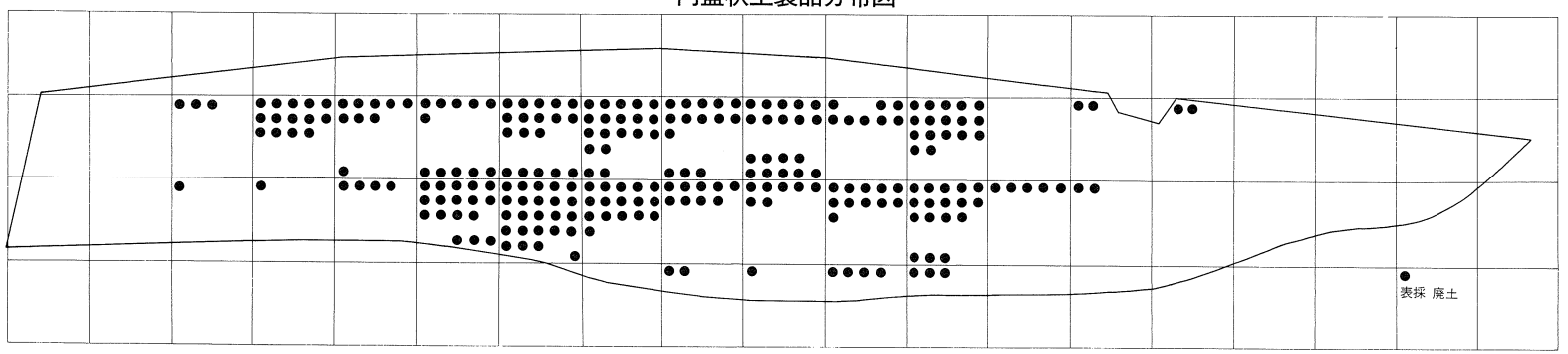


第6表　グリッド別土器・石器出土分布図

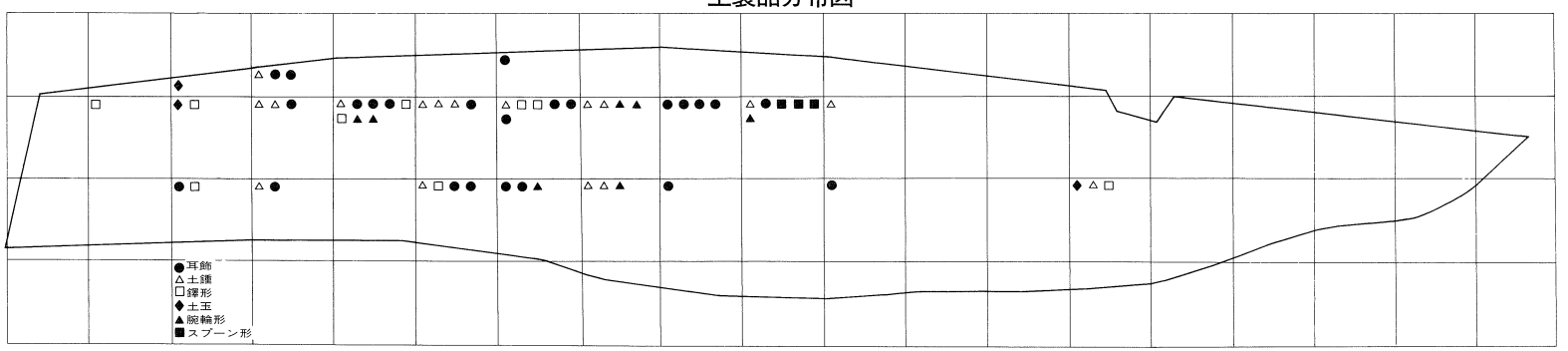
土偶分布図



円盤状土製品分布図

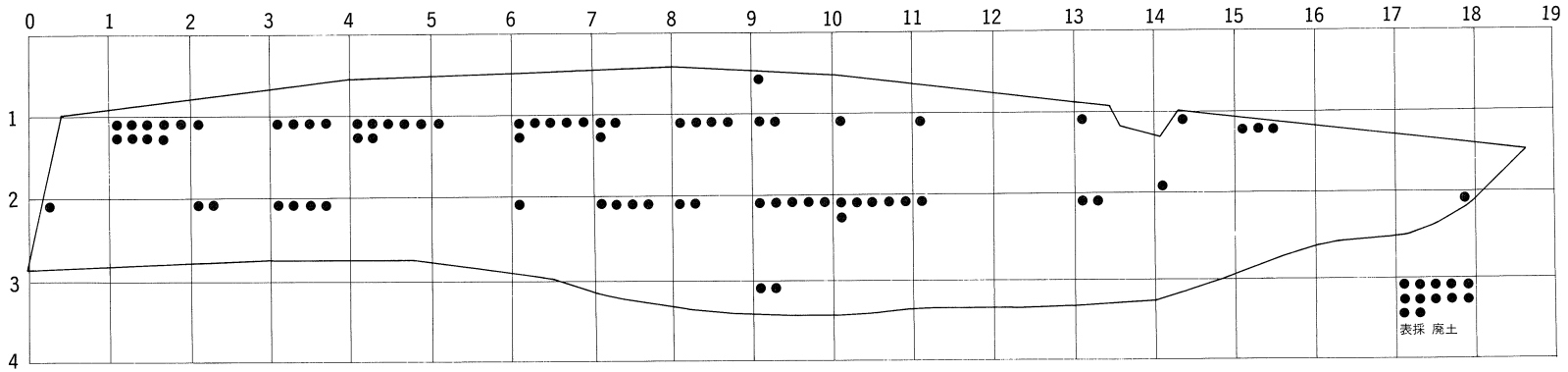


土製品分布図

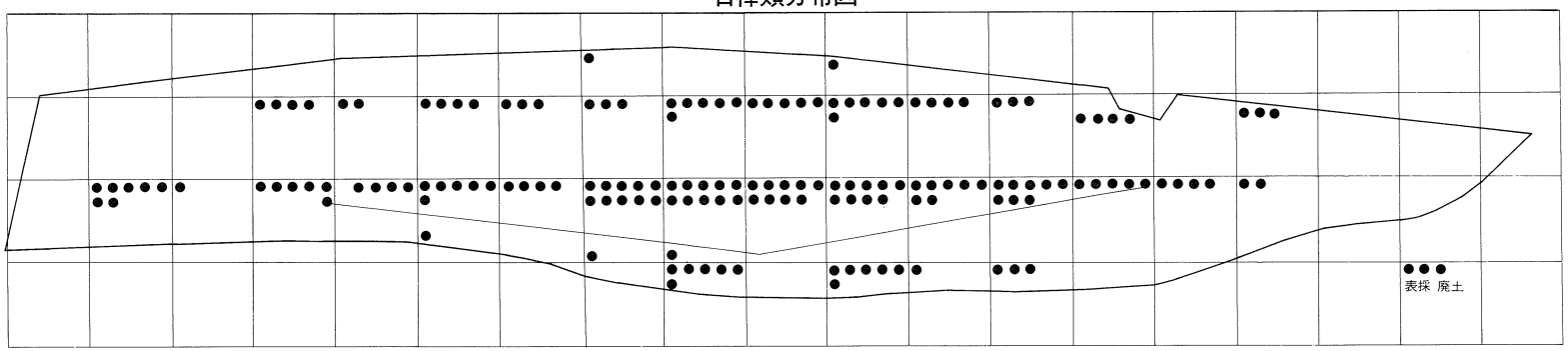


第7表　グリッド別土製品出土分布図

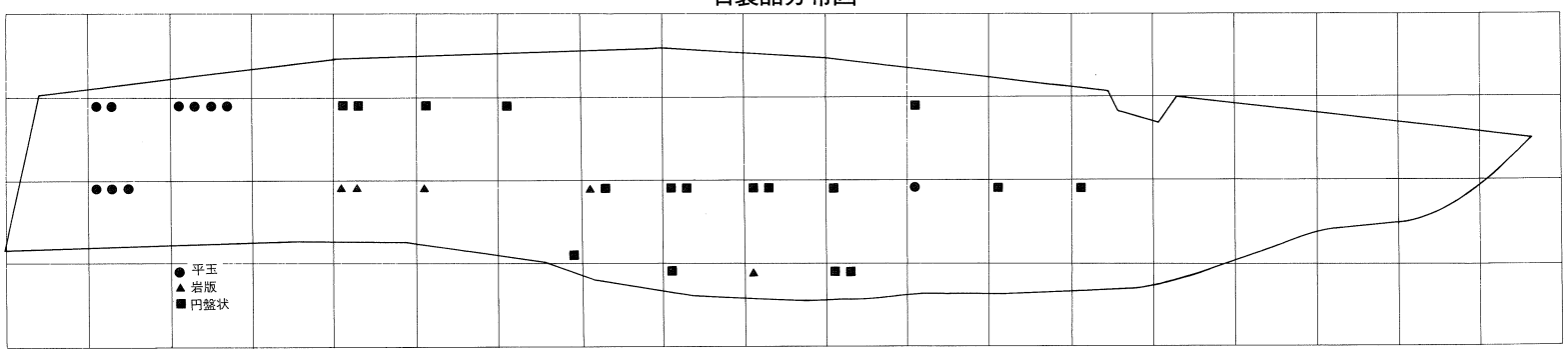
石皿分布図



石棒類分布図



石製品分布図



第8表　グリッド別石器・石製品出土分布図

Ⅶ　まとめ

（1）遺構

今回の調査で検出された主な遺構は、縄文時代の竪穴住居跡（以下、住居跡と略す）２棟、及び住居状遺構２棟、土坑50基、配石遺構７基、焼土遺構21基、埋設土器５基、地山廃棄ブロック３基、柱穴状小ピット（以下柱穴と略す）、「捨て場」、その他の時代では中世の土塁１基、溝１条、道路状遺構１基、近代の炭窯１基が検出されている。なお土坑・配石遺構は形態・規模から考えて、墓壙である可能性が高い。

これらの検出遺構から相ノ沢遺跡の性格は、縄文時代の集落跡として位置づけることができよう。さらに集落跡の構成要素面からは、住居跡群＝居住域と墓壙・埋設土器＝墓域としての２つの側面を持っているということができよう。ここでは遺構と「捨て場」から出土した遺物の関係から、集落の性格を考察してみたい。

居住域を構成する住居跡は後期中葉以降が１棟、晩期中葉以降が１棟、住居状遺構は、後期前葉以降が１棟、晩期中葉以降が１棟に細分される。分布状況を見ると、いずれも調査区中央（11グリッド）より南東側の、平坦部から緩斜面にかけて集中している。住居間での切り合いは見られない。居住域は調査区外の平坦部にも広がっていることが推定されるが、人口に対して十分な面積を有していたためか、あるいは１度住居として使用した区域は、一定期間は住居としない等の規制があったためか。

後期の住居跡・住居状遺構２棟は硬い地山層（Ⅳ層）を掘り込んで構築されるが、晩期の住居跡・住居状２棟は、包含層を掘り込み構築されている。調査員の不注意による、遺構の見落としの可能性（特に晩期に関して）があり反省と同時に、ご指摘をいただきたいと思う。

住居跡は２棟ともほぼ円形の石囲い炉を持ち、後期中葉以降のものは巨礫で覆われている。著者は、大日向Ⅱ遺跡１例しか類例を探せなかったため、この点もご教示いただければ幸いである。また今回の調査では、明確に住居跡に付随する柱穴を検出することはできなかった。晩期中葉以降のものは、出土状況から焼失住居と考えられるが、住居に付随する土坑に土器が埋設されていた以外に、床面等からの遺物の出土は少なく、住居使用中の火災と考えるよりも、使用後（あるいは廃棄時）の焼失の可能性が高いのではないだろうか。

墓域（土坑・配石遺構）は、急斜面の中位から平坦部にかけて、ほぼ調査区全域に分布している。また埋設土器については、すべて晩期の土器が使用、１－６、１－８グリッドに集中している。後期～晩期の包含層を掘り込んで構築されているが、胎土分析等は行っていないため詳細は不明である。

土坑は開口部の形状からは、ほぼ円形・楕円形に二分される。埋土は大部分が単層で、人為的に埋め戻されたと考えられるが、25号、34号の２基には巨礫が埋められ、他の土坑とは構築目的が異なるかもしれない。土坑の構築時期は、後期前葉～晩期前葉以降の長期に渡り、途中で集落の衰退はあったと考えられるが、出土遺物の時期と一致している。

配石遺構の分布状況に特定の傾向は見られない。形状からは、土坑の周辺に礫を配したもの（２号、また６号土坑もここに分類されるべきか？）、立石状の礫を伴うもの（１号・４号・５号・６号）、斜面に階段状に、粘板岩を配したもの（３号・８号）に三分される。いずれも構築目的は不明だが、形態から墓壙であった可能性も高い。構築時期については、後期前葉～中葉が大部分を占めると考えられる。これらが構築された後、同じ場所が「捨て場」として長期間使用されていくのである。

焼土遺構の分布状況は、１－８、２－９グリッドに集中しており、他のグリッドの焼土が“投げ捨て焼土”が大部分なのに対し、地床炉等とも考えられる現地性のものが集中している。調査では検出できなかったが

住居の存在、あるいは長期にわたる焚き火跡と考えられる。“投げ捨て焼土”については南小梨蛇王遺跡、樺山遺跡、九年橋遺跡、天神ヶ丘遺跡、煤孫遺跡（以上、岩手県）　里浜貝塚、田柄貝塚（以上、宮城県）を参照されたい。

（2）遺物

遺構内および包含層内からの出土遺物は、コンテナ260箱である。このうち9割以上を土器が占める。筆者の勉強不足から、土器を分類し従来のように、群別に掲載することができず反省している次第である。土器については前述したが、掲載土器選択時に、各グリッド・層位からの時期別の出土数に比例するよう4回の抽出を行ったので、主体を形成しているのは、後期前葉～中葉、晩期前葉～中葉として差し支えないだろう。全体では後期初頭～後葉、晩期初頭～末葉が出土しており、土製品（特に土偶）等の時期とも一致している。今回の室内整理では着手できなかったが、土器の個体数・容量等の計量を行えば、集落の規模、生活が営まれた時期についての考察が可能だったかも知れない。

相ノ沢遺跡の特徴は、調査区の面積・土量に対して、多量かつ多様なことだといえるだろう。同時期の通常の集落遺跡では出土しない、あるいは出土しても少量である遺物が、100～1000単位の数で出土している。土製品（土偶・円盤状土製品・装飾品）、石製品（石棒・石剣・石刀類・円盤状石製品・装飾品）等、祭祀に関わるとされている出土品が非常に多いことに注目したい。

また8,000点を超える石鏃が注目されるが、その生産地（あるいは周辺の集落への供給地）としての性格について考えてみたい。完成品の他に、多数の未製品、多量の剝片が出土している（第4表グリッド別剝片出土量を参照されたい）。すべての石器・石製品の産地同定の結果から、礫石器の石材は、黄海川・千厩川・砂鉄川の下流域、北上川の下流域で採取、剝片石器の石材は、一関から登米地域（千厩・大東の低位丘陵を形成する真滝層）からチャート・頁岩を採取し、遺跡に搬入している可能性が高い。搬入の後、剝片石器は直接打法で、第1次素材（ブランク）を生産、間接打法で細部加工し、押圧剝離等で仕上げている。

剝片石器（特に石鏃）の石材として、黒曜石が多用様されていることも相ノ沢遺跡の大きな特徴といえるだろう。黒曜石・翡翠の産地同定について詳細は340～352ページを参照されたい。

遺跡に近い黒曜石の産地として、隣接する花泉町、県南部では前沢町、県北では雫石町があげられる。

また、同時期の遺跡から出土した黒曜石の産地としては、秋田県の男鹿、宮城県の中新井田等があげられる。

産地同定を依頼した石器以外にも、黒曜石製の石器は多数出土しており、産地不詳と判定されたものも多数あるが、上記の産地から搬入された可能性が高いのではないだろうか。

「捨て場」という遺跡の性格上、正確なことは述べられないが、石鏃総数の中で、黒曜石の占める割合は後期が20～30％、晩期が10～20％前後ではないだろうか。

石鏃の接着、土偶の修復に使用されているアスファルトの産地同定について、詳細は353ページ～355ページを参照されたい。

相ノ沢遺跡発掘報告書　参考・引用文献

鈴木道之助（1980）「石器の基礎知識III　縄文」 柏書房

青森県埋蔵文化財調査センター（1992）「青い森の縄文人とその社会　縄文時代中期・後期編」

青森県埋蔵文化財調査センター（1990）「北の誇り・亀ヶ岡文化　縄文時代晩期編」

工藤雅樹（1984）「日本の古代遺跡15　宮城」 保育社

高橋信雄・昆野靖（1996）「日本の古代遺跡51　岩手」 保育社

小田野哲憲・熊谷常正・高橋信雄（1982）「岩手の土器」 岩手県立博物館

小林達雄・小川忠博（1989）「縄文土器大観　後期・晩期・続縄文」 小学館

野口義麿（1981）「縄文土器大成　後期」 講談社

鈴木公雄・林謙作（1981）「縄文土器大成　晩期」 講談社

山之内清男（1979）「日本先史土器の縄文」 先史考古学会

加藤晋平・小林達雄・藤本強（1982）「縄文文化の研究　1縄文人とその環境」 雄山閣出版

加藤晋平・小林達雄・藤本強（1994）「縄文文化の研究　4縄文土器II」 雄山閣出版

加藤晋平・小林達雄・藤本強（1983）「縄文文化の研究　5縄文土器III」 雄山閣出版

加藤晋平・小林達雄・藤本強（1982）「縄文文化の研究　8社会・文化」 雄山閣出版

加藤晋平・小林達雄・藤本強（1983）「縄文文化の研究　9縄文人の精神文化」 雄山閣出版

戸沢充則（1989）「縄文人と貝塚」 六興出版

鈴木公雄（1989）「貝塚の考古学」 東京大学出版会

宇田川洋（1989）「イオマンテの考古学」 東京大学出版会

江坂輝爾（1990）「日本の土偶」 六興出版

永峰光一・水野正好（1977）「日本原始美術体系　土偶・埴輪」 講談社

三輪茂雄（1978）「ものと人間の文化史25　臼」 法政大学出版局

林謙作　他（1984）「縄文人のムラとくらし　季刊考古学第7号」 雄山閣出版

金子弘昌・丹羽百合子　他（1986）「動物の骨が語る世界　季刊考古学第11号」 雄山閣出版

戸沢充則　他（1985）「縄文時代のものと文化の交流　季刊考古学第12号」 雄山閣出版

小林達雄　他（1990）「縄文土偶の世界　季刊考古学第30号」 雄山閣出版

藤沢町史編纂委員会（1979）「藤沢町史　本編　上」

岩手県一戸町教育委員会（1993）「御所野遺跡Ⅰ」 一戸町文化財調査報告書第32集

岩手県一戸町教育委員会（1986）「蒔前」 一戸町文化財調査報告書第17集

岩手県大槌町教育委員会・草間俊一（1974）「崎山弁天遺跡」

岩手県陸前高田市教育委員会（1992）「門前貝塚」 陸前高田市文化財調査報告第16集

岩手県大迫町教育委員会（1979）「立石遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第3集

岩手県大迫町教育委員会（1986）「観音堂遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第11集

岩手県大迫町教育委員会（1979）「小田遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第4集

岩手県花泉町教育委員会・草間俊一・金子浩昌（1971）「貝鳥貝塚」

岩手県千厩町教育委員会（1977）「南小梨蛇王遺跡」 千厩町文化財報告書第1集

岩手県滝沢村教育委員会（1988）「外久保遺跡」 滝沢村文化財調査報告書第8集

岩手県盛岡市教育委員会（1990）「上平遺跡群　第4次発掘調査概報（遺構・土器）」
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1993）「新山権現社遺跡発掘報告書」第188集
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1997）「上鷹生遺跡発掘報告書」第253集
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1984）「安堵屋敷遺跡発掘報告書」第74集
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1991）「上村貝塚発掘報告書」第158集
宮城県教育委員会（1986）「田柄貝塚Ⅰ　遺構・土器編」宮城県文化財調査報告書第111集
「田柄貝塚Ⅲ　骨角牙貝製品・自然遺物」
宮城県教育委員会（1984）「東北自動車道遺跡調査報告書Ⅸ　二屋敷遺跡」宮城県文化財調査報告書第99集
宮城県教育委員会（1990）「摺萩遺跡」宮城県文化財調査報告書第132集
岩木山刊行会・村越潔（1968）「岩木山」岩木山麓遺跡調査報告書
青森県教育委員会（1988）「上尾鮫(2)遺跡（B・C地区）発掘調査報告書」青森県埋蔵文化財調査報告書115集
青森県教育委員会（1987）「大石平遺跡発掘調査報告書Ⅲ　第1・第2分冊」青森県埋蔵文化財調査報告書第103集
秋田県埋蔵文化財センター（1989）「八木遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第181集

附編１．岩手県相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析

藁科哲男
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている[1,2,3]。

黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさら有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田和263番地他に位置する相ノ沢遺跡の縄文時代後期～晩期の黒曜石製石器、剝片の合計36個について産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素はK、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比量をそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図１に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成によってこれら原石を分類し表１に示す。この原石群に原石産地は不明の遺物で作った遺物群を加えると166個の原石群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方２ kmの採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約２ kmの幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の大産地の黒曜石は色に関係無く赤石山群（旧白滝第１群）にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい群を作った（旧白滝第２群）、また、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は梨肌の黒曜石で組成はあじさい滝群に似るが石肌で区別できる。幌加沢よりの転礫の中で70％は幌加沢群になりあじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30％は赤石山群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取される

が現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三の沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならならい。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2個の美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88％は名寄第一群に、また12％は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20％が近文台第一群、69％が近文台第二群、11％が近文台第三群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79％が滝川群にまとまり、21％が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第1群を、また、球果の非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第2群を作った。これら第1、2群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、組成によって豊泉第1、2群の2群に区別され、豊泉第2群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯵ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市の鶴ケ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森市西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群をまた、八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町県民の森地区より産出の大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第1、2群と弁別は可能であるが原石の組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石鏃が作れる大きさがみられる程度であるが、鷹森群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には5 cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。男鹿群は秋田県男鹿市の男鹿半島の金ヶ崎温泉のあった海岸より採取された原石で作られ、男鹿半島の脇本地区で採取された原石の組成は男鹿群と相互に近似していることから、この両産地の原石の起源は同じと考えられる。岩手県の黒曜石現産地は北上川に沿った範囲に点々と見られ、雫石群は岩手郡雫石町の小赤沢地区の礫層から採取された原石で作られ、折居群は水沢市真城の折居地区の礫層より採取された円礫で作られ、花泉群は西磐井郡花泉町の払田および金沢の両地区の礫層より採取された小円礫の原石で作られた原石群である。これら岩手県の原石群の組成は相互に似ていて、これら原産地を元素組成で明確に区別できなく、遺物を分析してたとえこ

れら岩手県下の原石群の中の一地点に同定されても、この遺物の原石産地はこれら岩手県内の複数の原産地を考えなければならない。月山群は羽黒山から月山にかけての西麓付近に点々と分布する黒曜石産出地点より採取した原石で作った群である。湯倉群は宮城県加美郡宮崎町柳瀞の湯倉真珠岩層の露頭付近で採取された原石で作られた群である。新潟県内の原産地では、佐渡島は大佐渡山地の南部に位置し、所在地は佐渡郡金井町堂林、二ツ坂地域から佐和田町との境にかかる地帯である。今回分析した黒曜石は林道工事のときに産出した円礫状の原石で、1 cm から 3 cm の大きさのものが大部分で、大きな原石は長径約 10 cm のものが確認できた。現在、林道での採取は困難で、僅かに同地域の沢で少量採取できるにすぎない。この沢で採取した最大の原石は長径が約 5 cm の円礫で、小型の石鏃を作るには十分の大きさである。元素比の組成の似たもので群を作ると、佐渡第一群と佐渡第二群の 2 つの群にまとまる。これら佐渡第一、二群は佐渡固有の群で他の産地の原石群と区別することができる。新発田市の板山原石は牧場内に露頭があり、小粒の黒曜石は無数に採取され、牧場整備で土木工事で露出した露頭からは握り拳大の原石を採取することができた。板山産地から北方約 5 km に上石川黒曜石産地があり良質の黒曜石を産出している。また、新津市の秋葉山地区から小粒の黒曜石が産出することが知られていた。また、秋葉山南方約 3 km の金津地区から新たに黒曜石が産出している地点が明らかになり金津産原石で金津群を作った。この他新潟県では入広瀬村の大白川地区から採取できる黒曜石は大半が親指大で肉眼的には良質であるが石器原材として使用された例はない。中信高原地域の黒曜石産地の中で、霧ヶ峰群は、長野県下諏訪町金明水、星ヶ塔、星ヶ台の地点より採取した原石でもって作られた群で、同町観音沢の露頭の原石も、霧ヶ峰群に一致する元素組成を示した。和田峠地域原産の原石は、星ヶ塔の西方の山に位置する旧和田峠トンネルを中心にした数百メートルの範囲より採取され、これらを元素組成で分類すると、和田峠第一、第二、第三、第四、第五、第六の各群に分かたれる。和田峠第一、第三群に分類された原石は旧トンネル付近より北側の地点より採取され、和田峠第二群のものは、トンネルの南側の原石に多くみられる。和田峠第四群は男女倉側の新トンネルの入り口、また、和田峠第五、第六群は男女倉側新トンネル入り口左側で、和田峠第一、第三の両群の産地とは逆の方向である。男女倉原産地の原石は男女倉群にまとまり組成は和田峠第五群に似る。鷹山、星糞峠の黒曜石の中に和田峠第一群に属する物が多数みられる。麦草峠群は大石川の上流および麦草峠より採取された原石で作られた。これら中信高原の原産地は、元素組成で和田峠、霧ヶ峰、男女倉、麦草峠の各地域に区別される。伊豆箱根地方の原産地は笛塚、畑宿、鍛冶屋、上多賀、柏峠西の各地にあり、良質の石材は、畑宿、柏峠西で斑晶の多いやや石質の悪いものは鍛冶屋、上多賀の両原産地でみられる。笛塚産のものはピッチストーン様で、石器原材としては良くないであろう。伊豆諸島の神津島原産地は砂糖崎、長浜、沢尻湾、恩馳島の各地点から黒曜石が採取され、これら原石から神津島第一群および第二群の原石群にまとめられる。浅間山の大窪沢の黒曜石は貝殻状剝離せず石器の原材料としては不適当ではあるが、考古学者の間でしばしば話題に上るため大窪沢群として遺物と比較した。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/k、Ti/K の両軽元素比重を除いて産地分析を行った場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比重についても風化の影響が完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の分析結果を表2に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするため Rb/Zr の一変量だけを考えると、表2の試料番号 50777 番の遺物では Rb/Zr の値は 1.405 で、男鹿・金ケ崎群の[平均値]±[標準偏差値]は、1.493±0.081 である。遺物と原石群の差を標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は原石群から1 σ 離れている。ところで男鹿・金ケ崎原産地から 100 ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から±1 σ のずれより大きいものが 31 個ある。すなわち、この遺物が、男鹿・金ケ崎群の原石から作られていたと仮定しても、1 σ 以上離れる確率は 31 %であると言える。だから、男鹿・金ケ崎群の平均値から1 σ しか離れていないときには、この遺物が男鹿・金ケ崎群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を月山群に比較すると、月山群の平均値からの隔たりは、約7 σ である。これを確率の言葉で表現すると、月山群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から7 σ 以上離れている確率は、千万分の一であると言える。このように、千万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、月山群の原石からつくられたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は男鹿・金ケ崎群に 31 %の確率で帰属され、信頼限界の 0.1 %を満たしていることから男鹿・金ケ崎産原石が使用されていると同定され、さらに月山群に十万分の一%の低い確率で帰属され、信頼限界の 0.1 %に満たないことから月山産原石でないと同定される」。遺物が一ケ所の産地（男鹿・金ケ崎産地）と一致したからと言って、例え男鹿・金ケ崎群と月山群の原石は成分が異なっていても、分析している試料は原石でなく遺物で、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地にも一致しないとは言えない、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（男鹿・金ケ崎産地）に一致したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表1の 166 個すべての原石群について行い、低い確率で帰属された原石群を消していくことにより、はじめて男鹿・金ケ崎産地の石材のみが使用されていると判定される。実際は Rb/Zr といった唯1ヶの変量だけでなく、前述した8ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca 元素と Rb 元素との間に相関があり、Ca の量を計れば Rb の量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca 量が一致すれば当然 Rb 量も一致するはずである。したがって、もし Rb 量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行うホテリングの T^2 検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する[4,5]。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石製では 166 個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可

能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる、すなわち、男鹿・金ケ崎産原石と判定された遺物について、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考える必要がない結果で、高い確率で同定された産地のみの結果を表3に記入した。原石群を作った原石試料は直径3 cm以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さい遺物の産地推定を行ったときに、判定の信頼限度としている0.1％に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D^2の値を記した。この遺物については、記入されたD^2の値が原石群の中で最も小さなD^2値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほぼ間違いないと判断されたものである。今回分析した相ノ沢遺跡出土の36個の遺物の各産地別使用頻度の中で最も多く使用された原石は地元、北上川に沿った範囲に点々と見られる、雫石町・小赤沢地区の礫層、水沢市真城の折居地区、花泉町の払田、金沢の各産地の礫層より採取される原石が64％（23個）使用され、遺跡から近い花泉町産の原石が多用されたと推測した。次に男鹿産原石で8％（3個）が、月山産が6％（2個）使用されている。また、原石産地が特定できなかった遺物は22％（8個）で、産地が特定できなかった遺物については、遺物試料が小さい、または被熱などにより風化層が異常に厚くなっている。試料が薄すぎる小さすぎるなど遺物試料に起因する理由で本来の原石産地に同定されなかった場合、また未発見の原石産地の原石が使用されているなどが考えられる。不明の8個の中の分析番号50792番の遺物は風化層が厚く産地が特定できなかったと推測されたが、他の7個は未発見の産地の原石が使用されていると考えられ、これら不明の遺物の分析箇所を変えて数十回分析して遺物群をつくった。遺物群は、分析番号50800でＡＩ1群、58789でＡＩ2群、58790でＡＩ3群、58781と58791でＡＩ4群、58793と58794でＡＩ5群をそれぞれ作り、これら遺物群の使用圏から他の不明群を使用した遺跡と本遺跡との関係を考察できるようにした。遺物が無作為に遺跡から抽出されたものであれば、本遺跡と交流が活発であった産地の原材がより多く遺跡に伝播すると仮定すると、本遺跡では地元交流に加えて男鹿、月山との交流をもっていたと推測しても産地分析の結果と矛盾しない結果が得られた。

参考文献

1）藁科哲男・東村武信（1975），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（II）。考古学と自然科学，8：61－69

2）藁科哲男・東村武信・鈴木義昌(1977)，(1978)，蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(III)。(IV)。考古学と自然科学，10,11：53－81：33－47

3）藁科哲男・東村武信（1983），石器原材の産地分析。考古学と自然科学，16：59－89

4）東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学，9：77－90

5）東村武信（1990），考古学と物理化学。学生社

表１－１　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
	名寄第二	35	0.309±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	1.774±0.055	0.696±0.044	0.265±0.011	0.301±0.022	0.026±0.020	0.028±0.007	0.394±0.010
	白滝赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
	白滝八号沢	30	0.138±0.010	0.022±0.002	0.105±0.017	3.123±0.127	1.846±0.065	0.105±0.019	0.475±0.045	0.076±0.046	0.027±0.008	0.359±0.042
	白滝幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
	白滝あじさい滝	29	0.142±0.010	0.023±0.001	0.101±0.014	3.038±0.125	1.787±0.076	0.115±0.015	0.457±0.035	0.076±0.044	0.027±0.005	0.365±0.011
	近文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	近文台第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	近文台第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
	秩父別第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
	滝川第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
	美蔓第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	美蔓第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川第一	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
	赤井川第二	30	0.258±0.065	0.072±0.002	0.080±0.010	2.207±0.083	0.970±0.045	0.436±0.026	0.245±0.021	0.021±0.029	0.025±0.007	0.371±0.007
	豊泉第一	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
	豊泉第二	40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.005	0.431±0.010
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
	出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦六角沢	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
	深浦八森山	41	0.077±0.005	0.098±0.003	0.013±0.002	0.701±0.018	0.134±0.005	0.002±0.002	0.070±0.005	0.034±0.006	0.027±0.005	0.384±0.009
	青森市戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
	青森市戸門第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	青森市鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
	青森市鷹森山	47	0.252±0.017	0.068±0.009	0.079±0.033	2.548±0.131	1.149±0.069	0.568±0.108	0.288±0.037	0.049±0.036	0.028±0.005	0.383±0.018
	青森市下湯川	36	9.673±0.479	2.703±0.149	3.267±0.217	21.648±1.500	0.090±0.021	1.708±0.102	0.155±0.015	0.169±0.031	0.053±0.042	0.858±0.088
	大釈迦	67	0.253±0.016	0.067±0.008	0.077±0.029	2.519±0.148	1.147±0.065	0.558±0.087	0.286±0.035	0.047±0.040	0.028±0.003	0.385±0.018
秋田県	男鹿金ケ崎	43	0.294±0.009	0.087±0.004	0.220±0.018	1.644±0.081	1.493±0.081	0.930±0.043	0.287±0.039	0.098±0.040	0.029±0.002	0.368±0.008
	男鹿脇本	45	0.295±0.008	0.087±0.004	0.219±0.017	1.671±0.077	1.503±0.072	0.939±0.054	0.286±0.045	0.108±0.034	0.028±0.006	0.367±0.009
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014

表１－２　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
岩手県	雫石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
	折居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055
	花泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030
宮城県	湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
	塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
	佐渡第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	上石川	45	0.321±0.007	0.070±0.003	0.069±0.011	2.051±0.070	0.981±0.042	0.773±0.034	0.182±0.023	0.038±0.027	0.026±0.007	0.359±0.009
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014
	金津	46	0.331±0.011	0.097±0.037	0.030±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.181±0.016	0.035±0.018	0.027±0.009	0.402±0.012
栃木県	高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都	神津島第一	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
	神津島第二	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
	長根	40	0.318±0.020	0.120±0.005	0.118±0.014	1.805±0.096	0.614±0.036	0.664±0.045	0.291±0.029	0.093±0.039	0.034±0.006	0.476±0.012
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
	箱根・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
	小豆峠	40	0.110±0.008	0.052±0.004	0.297±0.038	3.211±0.319	0.829±0.089	0.154±0.030	0.547±0.054	0.087±0.057	0.025±0.014	0.429±0.016
富山県	魚津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009
	高二上山第一	36	0.319±0.017	0.113±0.006	0.040±0.008	1.720±0.080	0.740±0.052	0.665±0.029	0.121±0.026	0.047±0.031	0.015±0.014	0.392±0.018
	岡二上山第二	40	0.710±0.017	0.202±0.008	0.054±0.011	1.994±0.152	0.413±0.028	0.840±0.050	0.118±0.025	0.051±0.031	0.020±0.020	0.599±0.024
	市二上山第三	45	0.441±0.052	0.108±0.014	0.079±0.021	2.251±0.138	0.794±0.155	1.222±0.088	0.127±0.041	0.067±0.053	0.015±0.014	0.412±0.025
長野県	霧ヶ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
	和田峠第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007
	和田峠第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017
	和田峠第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	和田峠第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	和田峠第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017
	双子池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.059±0.010	1.630±0.179	0.669±0.052	0.802±0.058	0.111±0.024	0.037±0.032	0.027±0.007	0.401±0.011
	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012

表１－３　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
石川県	比那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008
島根県	加茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.144±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017
	津井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.033	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006
	久見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261±0.010	0.211±0.007	0.033±0.003	0.798±0.027	0.326±0.013	0.283±0.015	0.071±0.009	0.034±0.008	0.024±0.006	0.279±0.009
佐賀県	中野第一群	39	0.267±0.007	0.087±0.003	0.027±0.005	1.619±0.083	0.628±0.028	0.348±0.015	0.103±0.018	0.075±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011
	中野第二群	40	0.345±0.007	0.104±0.003	0.027±0.005	1.535±0.039	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.016	0.059±0.014	0.026±0.008	0.328±0.008
	梅野	39	0.657±0.014	0.202±0.006	0.071±0.013	4.239±0.205	1.046±0.065	1.269±0.058	0.104±0.032	0.380±0.047	0.028±0.005	0.345±0.009
	腰岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
	椎葉川	59	0.414±0.009	0.071±0.003	0.101±0.017	2.947±0.142	1.253±0.081	2.015±0.099	0.147±0.035	0.255±0.040	0.030±0.007	0.388±0.009
	松尾第一群	40	0.600±0.067	0.153±0.029	0.125±0.018	4.692±0.369	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.032	0.255±0.037	0.032±0.003	0.376±0.008
	松尾第二群	40	0.953±0.027	0.307±0.010	0.126±0.013	6.666±0.342	0.856±0.070	1.907±0.119	0.147±0.029	0.194±0.028	0.033±0.008	0.383±0.010
長崎県	壱岐島 久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.024±0.002	0.294±0.008
	壱岐島 君ケ浦	28	0.161±0.011	0.064±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	壱岐島 角川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.652±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	壱岐島 貝畑	49	0.135±0.010	0.037±0.002	0.056±0.009	1.746±0.073	1.834±0.064	0.022±0.013	0.334±0.046	0.714±0.040	0.021±0.009	0.339±0.015
	松浦第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	松浦第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	松浦第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	松浦第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	淀姫	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
	中町第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	古里第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	古里第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	松岳	43	0.941±0.009	0.054±0.005	0.040±0.008	1.686±0.114	0.833±0.058	0.251±0.025	0.192±0.032	0.124±0.039	0.018±0.011	0.331±0.017
	大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006

表１－４　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
大分県	観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
姫島地域	両瀬第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
姫島地域	＊両瀬第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
姫島地域	＊両瀬第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
姫島地域	＊オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
姫島地域	＊稲積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009
	荻台地	50	1.615±0.042	0.670±0.013	0.096±0.008	5.509±0.269	0.284±0.031	1.526±0.053	0.097±0.016	0.032±0.018	0.032±0.005	0.310±0.011
	緒方下尾平	64	0.482±0.036	0.286±0.015	0.051±0.008	1.361±0.095	0.303±0.019	0.712±0.043	0.089±0.018	0.055±0.021	0.012±0.010	0.288±0.016
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.043	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	轟	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	一ノ宮滝室	32	1.381±0.013	0.641±0.009	0.100±0.006	6.845±0.178	0.316±0.022	1.319±0.039	0.099±0.013	0.038±0.014	0.021±0.008	0.227±0.006
	一ノ宮坂梨	63	1.597±0.098	0.732±0.046	0.097±0.008	6.690±0.314	0.282±0.022	1.316±0.051	0.102±0.013	0.037±0.015	0.024±0.011	0.257±0.021
	箱石峠	84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.045±0.005	1.208±0.023	0.279±0.018	0.811±0.046	0.046±0.012	0.029±0.014	0.031±0.009	0.366±0.033
	大柿	53	1.542±0.125	0.670±0.033	0.089±0.010	4.894±0.474	0.279±0.028	1.432±0.089	0.094±0.013	0.027±0.016	0.031±0.008	0.312±0.011
	白浜	78	0.208±0.021	0.101±0.009	0.024±0.006	1.382±0.086	1.021±0.099	0.351±0.037	0.162±0.027	0.027±0.022	0.022±0.007	0.317±0.009
宮崎県	桑ノ木津留第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	桑ノ木津留第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
	霧島	36	35.158±1.118	5.001±0.175	0.041±0.002	0.038±0.002	0.009±0.004	0.155±0.005	0.035±0.019	0.000±0.000	0.035±0.019	0.446±0.022
鹿児島県	間根ケ平第一群	45	0.186±0.010	0.083±0.005	0.047±0.008	1.611±0.079	0.948±0.055	0.340±0.032	0.281±0.031	0.041±0.032	0.022±0.008	0.358±0.014
	間根ケ平第二群	45	0.247±0.018	0.106±0.006	0.047±0.008	1.488±0.074	0.768±0.034	0.428±0.049	0.235±0.020	0.039±0.027	0.024±0.008	0.378±0.013
	間根ケ平第三群	42	0.584±0.012	0.176±0.005	0.037±0.007	1.484±0.097	0.449±0.031	0.675±0.049	0.143±0.023	0.036±0.022	0.023±0.014	0.390±0.019
	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.084±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
台湾	台東山脈	37	0.510±0.010	0.198±0.007	0.038±0.007	1.862±0.079	0.353±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.024±0.017	0.029±0.007	0.407±0.010
ロシア	カムチャツカ	72	0.473±0.012	0.166±0.007	0.046±0.007	1.572±0.059	0.199±0.011	0.497±0.016	0.126±0.011	0.009±0.014	0.039±0.010	0.460±0.030

表１－５　各黒耀石の原産地における黒耀石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
北海道	HS 1 遺物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.018±0.006	1.296±0.077	0.430±0.016	0.153±0.009	0.140±0.015	0.008±0.013	0.018±0.012	0.325±0.042
	HS 2 遺物群	60	0.453±0.011	0.135±0.008	0.041±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.015±0.019	0.034±0.010	0.500±0.015
	FR 1 遺物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.052±0.007	2.547±0.143	0.530±0.032	0.689±0.032	0.156±0.015	0.004±0.008	0.029±0.011	0.407±0.047
	FR 2 遺物群	59	0.535±0.061	0.106±0.012	0.053±0.009	2.545±0.138	0.557±0.051	0.685±0.029	0.165±0.021	0.016±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043
	FR 3 遺物群	37	0.380±0.037	0.084±0.007	0.052±0.009	2.548±0.145	0.586±0.056	0.681±0.033	0.164±0.021	0.017±0.023	0.023±0.006	0.292±0.037
	FR 4 遺物群	44	0.261±0.043	0.074±0.010	0.051±0.008	2.500±0.117	0.639±0.057	0.679±0.032	0.155±0.021	0.009±0.017	0.018±0.008	0.258±0.036
	FH 1 遺物群	32	0.898±0.032	0.221±0.007	0.054±0.006	2.540±0.101	0.426±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.017±0.021	0.037±0.003	0.447±0.011
	KT 1 遺物群	56	1.103±0.050	0.146±0.007	0.081±0.008	2.942±0.133	0.314±0.053	0.775±0.082	0.133±0.016	0.019±0.021	0.043±0.007	0.516±0.015
	KT 2 遺物群	38	0.959±0.027	0.154±0.005	0.085±0.010	2.882±0.092	0.542±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.012±0.016	0.042±0.008	0.519±0.010
	KS 1 遺物群	32	0.275±0.007	0.107±0.005	0.047±0.010	1.751±0.051	0.836±0.038	0.468±0.021	0.180±0.019	0.023±0.028	0.025±0.007	0.345±0.010
	KS 2 遺物群	62	0.244±0.011	0.070±0.004	0.056±0.013	1.749±0.168	1.080±0.108	0.424±0.036	0.327±0.042	0.037±0.031	0.023±0.011	0.379±0.011
秋田県	KN 遺物群	107	0.351±0.011	0.121±0.006	0.053±0.007	1.581±0.071	0.347±0.020	0.219±0.014	0.216±0.015	0.054±0.017	0.029±0.011	0.475±0.040
岩手県	AI 1 遺物群	41	1.519±0.026	0.277±0.010	0.078±0.006	2.849±0.073	0.167±0.010	0.526±0.017	0.251±0.013	0.009±0.012	0.058±0.017	0.929±0.024
	AI 2 遺物群	61	3.141±0.074	0.552±0.021	0.080±0.008	2.752±0.062	0.094±0.009	0.716±0.019	0.242±0.011	0.008±0.014	0.083±0.029	1.353±0.049
	AI 3 遺物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.306±0.100	0.114±0.008	0.909±0.028	0.248±0.012	0.014±0.016	0.028±0.006	0.360±0.009
	AI 4 遺物群	122	1.850±0.059	0.474±0.025	0.067±0.007	2.055±0.077	0.083±0.006	0.531±0.030	0.177±0.010	0.011±0.013	0.064±0.025	1.061±0.105
	AI 5 遺物群	122	3.167±0.092	0.696±0.027	0.101±0.009	3.787±0.108	0.114±0.010	0.892±0.026	0.241±0.012	0.006±0.012	0.091±0.020	1.234±0.052
	FS 遺物群	45	2.727±0.090	0.097±0.029	0.053±0.007	1.791±0.083	0.327±0.019	0.453±0.024	0.207±0.018	0.029±0.027	0.017±0.011	0.339±0.011
	SD 遺物群	48	2.900±0.050	0.0741 0.016	0.118±0.010	3.922±0.077	0.117±0.012	0.906±0.026	0.246±0.013	0.008±0.017	0.083±0.013	1.195±0.029
長野県	NK 遺物群	57	0.566±0.019	0.163±0.007	0.086±0.011	1.822±0.084	0.467±0.031	1.691±0.064	0.102±0.021	0.041±0.028	0.038±0.003	0.500±0.014
青森県	HY 遺物群	31	0.238±0.011	0.131±0.006	0.048±0.008	1.636±0.066	0.418±0.028	1.441±0.015	0.482±0.024	0.029±0.028	0.020±0.015	0.481±0.068
	SN 1 遺物群	33	0.287±0.006	0.087±0.004	0.033±0.005	1.597±0.037	0.244±0.011	0.258±0.011	0.281±0.012	0.009±0.012	0.021±0.006	0.329±0.006
	SN 2 遺物群	29	0.209±0.006	0.116±0.006	0.076±0.008	1.571±0.082	0.716±0.035	0.292±0.017	0.264±0.029	0.028±0.030	0.023±0.009	0.383±0.015
鹿児島県	KI 遺物群	40	0.363±0.010	0.098±0.004	0.056±0.011	1.937±0.060	1.028±0.041	0.538±0.026	0.189±0.025	0.032±0.032	0.029±0.010	0.451±0.010
	UT 遺物群	46	0.297±0.013	0.107±0.005	0.053±0.010	1.638±0.104	1.012±0.056	0.736±0.039	0.168±0.027	0.034±0.028	0.024±0.011	0.390±0.014
	SG 遺物群	48	1.688±0.034	0.778±0.038	0.082±0.010	4.106±0.222	0.202±0.014	0.699±0.025	0.133±0.013	0.015±0.019	0.027±0.021	0.553±0.033
北朝鮮	会寧城外遺跡遺物群	70	0.135±0.012	0.062±0.006	0.017±0.003	1.118±0.051	0.585±0.036	0.068±0.019	0.150±0.022	0.372±0.035	0.025±0.004	0.319±0.012
ロシア	イリスタヤ遺跡遺物群	26	18.888±2.100	6.088±0.868	0.293±0.032	27.963±2.608	0.055±0.017	2.716±0.162	0.163±0.019	0.036±0.030	0.173±0.029	1.674±0.240
標準試料	JG － 1[a)]	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

平均値±標準偏差値、　＊：ガラス質安山岩　NK 遺物群：中ツ原遺跡、HY 遺物群：日和山遺跡、SN 遺物群：三内丸山遺跡出土、KN 遺物群：此掛沢遺跡、HS 遺物群：北進遺跡、KI 遺物群：桐木遺跡、UT 遺物群：内屋敷遺跡、AI 遺物群：相ノ沢遺跡、FS 遺物群：房ノ沢遺跡、SD 遺物群：下舘銅屋遺跡、FR 遺物群：東麓郷１，２遺跡、FH 遺物群：東Ｈ９線８遺跡、KT 遺物群：北区１遺跡、KS 遺物群：キウス４遺跡Ａ地区、SG 遺物群：志風頭遺跡出土などの産地不明の原石群

a)：Ando,A.,Kurasawa,H.,Ohmori.T.&Takeda,E.（1974）．1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol.8, 175-192.

表2　相ノ沢遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

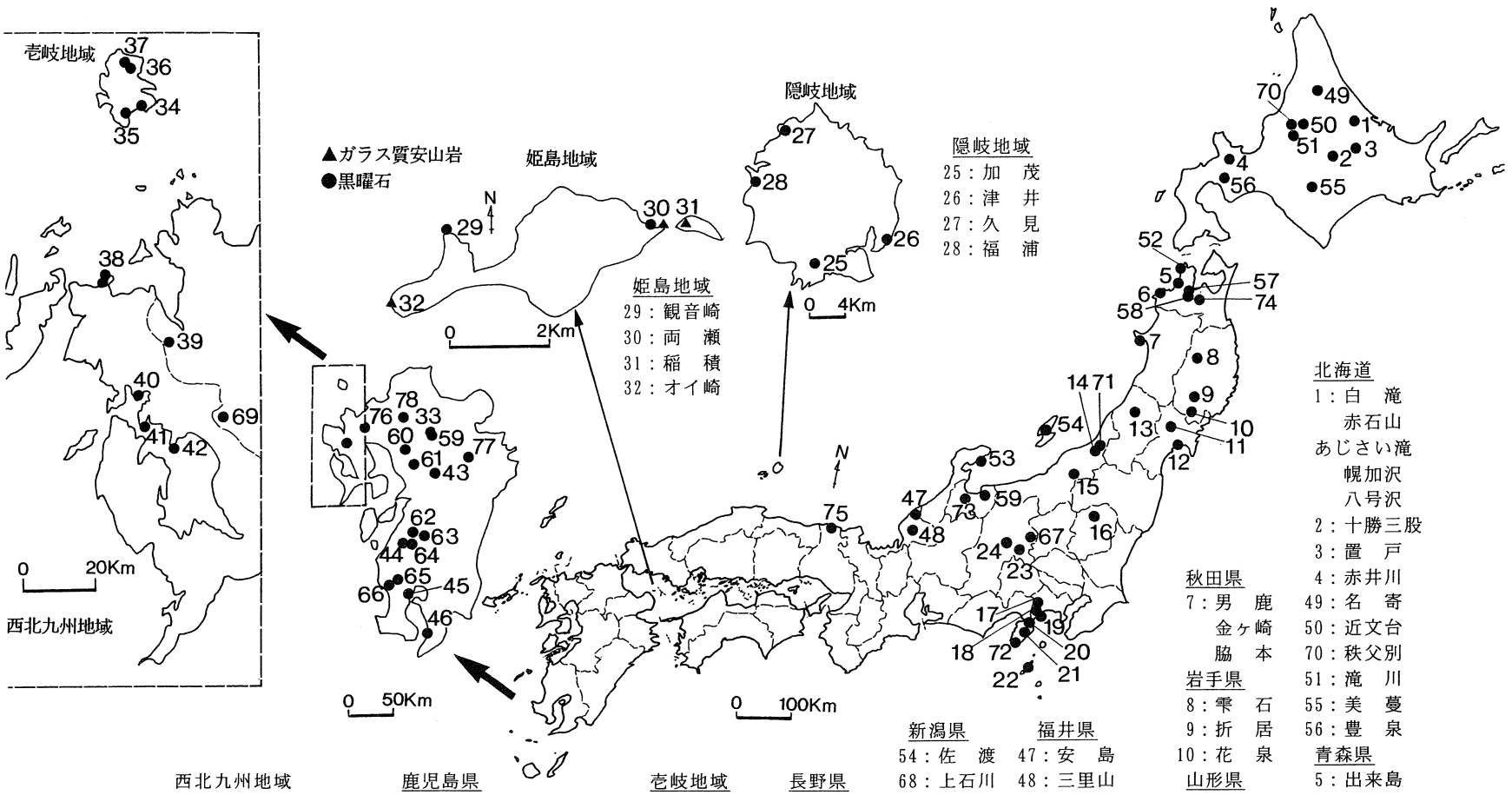
分析番号	元素比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
50777	0.296	0.082	0.232	1.571	1.405	0.889	0.319	0.119	0.027	0.382
50778	0.283	0.080	0.226	1.792	1.623	1.036	0.320	0.099	0.000	0.358
50779	0.300	0.122	0.178	1.622	0.781	0.842	0.246	0.112	0.029	0.432
50780	0.540	0.165	0.052	1.718	0.326	0.348	0.228	0.037	0.041	0.616
50781	1.720	0.398	0.065	2.195	0.075	0.511	0.165	0.006	0.080	1.152
50782	0.302	0.115	0.152	1.798	0.894	1.003	0.258	0.079	0.030	0.431
50783	0.681	0.191	0.061	1.826	0.307	0.451	0.217	0.010	0.040	0.577
50784	0.651	0.185	0.077	2.009	0.330	0.494	0.186	0.073	0.037	0.624
50785	0.671	0.203	0.061	1.823	0.295	0.454	0.203	0.000	0.043	0.607
50786	0.672	0.202	0.053	1.965	0.277	0.468	0.195	0.026	0.038	0.596
50787	0.685	0.194	0.067	2.065	0.306	0.441	0.213	0.052	0.037	0.606
50788	0.670	0.201	0.055	1.827	0.323	0.460	0.219	0.000	0.044	0.616
50789	0.699	0.154	0.052	1.895	0.189	0.232	0.544	0.033	0.063	0.865
50790	0.664	0.203	0.053	1.806	0.335	0.471	0.207	0.054	0.035	0.639
50791	0.617	0.191	0.059	1.946	0.342	0.420	0.194	0.039	0.036	0.601
50792	0.243	0.117	0.063	1.830	0.328	0.384	0.237	0.000	0.028	0.483
50793	0.542	0.162	0.069	2.009	0.318	0.393	0.240	0.021	0.000	0.590
50794	0.619	0.172	0.052	1.841	0.278	0.429	0.211	0.036	0.047	0.567
20795	0.602	0.160	0.061	2.040	0.353	0.421	0.260	0.056	0.038	0.591
50796	0.653	0.190	0.070	2.082	0.301	0.445	0.235	0.000	0.006	0.630
50797	0.542	0.156	0.069	1.926	0.326	0.444	0.254	0.032	0.040	0.621
50798	0.562	0.159	0.061	1.894	0.326	0.412	0.244	0.026	0.000	0.588
50799	0.683	0.202	0.064	1.877	0.291	0.464	0.219	0.000	0.043	0.622
50800	1.515	0.293	0.073	2.865	0.148	0.494	0.262	0.000	0.064	0.945
50801	0.606	0.163	0.048	1.837	0.358	0.451	0.245	0.014	0.000	0.595
50802	0.302	0.088	0.256	1.801	1.483	0.928	0.288	0.056	0.030	0.366
50803	0.535	0.162	0.059	1.774	0.314	0.372	0.232	0.100	0.044	0.592
50804	0.589	0.164	0.067	1.990	0.376	0.447	0.258	0.063	0.039	0.614
50805	0.560	0.165	0.055	1.674	0.309	0.409	0.224	0.012	0.040	0.547
50806	0.578	0.173	0.052	1.996	0.344	0.412	0.214	0.042	0.038	0.608
58789	3.008	0.512	0.068	2.718	0.087	0.727	0.252	0.000	0.000	1.319
58790	0.951	0.218	0.130	4.379	0.110	0.962	0.266	0.030	0.028	0.370
58791	1.886	0.468	0.066	2.157	0.082	0.545	0.160	0.021	0.071	1.140
58792	0.564	0.167	0.059	1.652	0.344	0.428	0.221	0.054	0.042	0.565
58793	2.918	0.636	0.119	4.135	0.106	0.914	0.239	0.039	0.094	1.253
58794	3.072	0.671	0.113	3.794	0.123	0.909	0.230	0.038	0.102	1.264
JG-1	0.793	0.216	0.066	4.010	0.928	1.348	0.282	0.039	0.000	0.296

JG-1：標準試料-Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T.& Takeda, E. 1974 compilation of date on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192 (1974)

表３　相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の黒曜石製石器、剝片製遺物の原材産地分析結果

分析番号	整理番号　遺物グリッド	原石産地（確率）	判定	遺物品名
50777	1-12	金ヶ崎(77％)，脇本(45％)	男鹿	剝片
50778	2-13	脇本(34％)，金ヶ崎(11％)	男鹿	剝片
50779	3-14	月山(14％)	月山	剝片
50780	4-15	折居(40％)，花泉(28％)，雫石(5％)	花泉	剝片
50781	5-16	ＡＩ４群(27％)		剝片
50782	6-17	月山(59％)	月山	剝片
50783	7-18	雫石(23％)，花泉(8％)，折居(12％)	花泉	剝片
50784	8-19	花泉(3％)，折居(6％)	花泉	石鏃
50785	9-20	雫石(25％)，花泉(5％)，折居(5％)	花泉	石鏃
50786	10-21	雫石(22％)，花泉(7％)，折居(3％)	花泉	石鏃
50787	11-22	花泉(5％)，雫石(3％)，折居(3％)	花泉	石鏃
50788	12-23	花泉(10％)，雫石(11％)，高原山(4％)	花泉	石鏃
50789	13-24	折居(1％)	花泉	石鏃
50790	14-25	花泉(54％)，折居(29％)，雫石(9％)	花泉	石鏃
50791	15-26	雫石(9％)，花泉(5％)，折居(10％)	花泉	石鏃
50792	16-27	風化層厚い（焼け、表面発泡？）		石鏃
50793	17-28	花泉(1％)	花泉	石鏃
50794	18-29	花泉(33％)，雫石(12％)，折居(9％)	花泉	石鏃
50795	19-30	花泉(1％)，折居(2％)	花泉	石鏃
50796	20-31	花泉(0.2％)，折居(0.4％)	花泉	石鏃
50797	21-32	花泉(12％)，雫石(2％)	花泉	石鏃
50798	22-33	花泉(36％)，雫石(7％)，折居(7％)	花泉	石鏃
50799	23-34	雫石(13％)，花泉(5％)，折居(1％)	花泉	石鏃
50800	24-35	ＡＩ１群(15％)		石鏃
50801	25-36	花泉(4％)，雫石(3％)	花泉	石鏃
50802	26-37	金ヶ崎(47％)，脇本(8％)	男鹿	石鏃
50803	27-38	花泉(3％)，雫石(3％)	花泉	石鏃
50804	28-39	花泉(2％)，雫石(1％)，折居(1％)	花泉	石鏃
50805	29-40	花泉(62％)，折居(26％)，雫石(9％)	花泉	石鏃
50806	30-41	花泉(5％)，雫石(1％)，折居(2％)	花泉	石鏃
58789	31-42	ＡＩ２群(35％)		剝片
58790	32-43	ＡＩ３群(56％)		剝片
58791	33-44	ＡＩ４群(45％)		剝片
58792	34-45	花泉(60％)，折居(48％)，雫石(21％)	花泉	剝片
58793	35-46	ＡＩ５群(2％)		剝片
58794	36-47	ＡＩ５群(11％)		剝片

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告させる場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。



西北九州地域

宮崎県
63：桑ノ木津留
長崎県
38：松　浦
40：淀　姫
41：中町、古里
42：大　崎
松　岳

佐賀県
39：腰　岳
69：椎葉川
松　尾
77：梅　野
中　野

福岡県
78：八女昭和池

鹿児島県
63：間根平
44：出　水
（日　東）
64：五女木
65：上牛鼻
66：平木場
45：竜ケ水
46：長　谷

熊本県
59：小　国
60：南　関
61：　轟
43：冠ケ岳
62：白　浜

壱岐地域
34：久喜ノ辻
35：君ケ浦
36：角　川
37：貝　畑

大分県
33：塚　瀬
77：荻台地
緒方下尾平

長野県
23：麦草峠
双子池
24：霧ケ峰
男女倉
和田峠
67：大窪沢

兵庫県
75：香　住

新潟県
54：佐　渡
68：上石川
14：板　山
15：大白川
71：金　津

富山県
59：魚　津
73：二上山

石川県
53：比　那

福井県
47：安　島
48：三里山

神奈川県
17：箱根・笛塚
18：〃・畑宿
19：鍛冶屋

静岡県
20：上多賀
21：柏峠西
72：小豆峠

秋田県
7：男　鹿
金ヶ崎
脇　本

岩手県
8：雫　石
9：折　居
10：花　泉

山形県
13：月　山

宮城県
11：湯　倉
12：塩　釜

栃木県
16：高原山

東京都
22：神津島

北海道
1：白　滝
赤石山
あじさい滝
幌加沢
八号沢
2：十勝三股
3：置　戸
4：赤井川
49：名　寄
50：近文台
70：秩父別
51：滝　川
55：美　蔓
56：豊　泉

青森県
5：出来島
6：深　浦
八森山
52：折腰内
57：戸　門
58：鶴ケ坂
鷹森山
大釈迦
74：下湯川

図1　　黒曜石原産地

附編２．岩手県相ノ沢遺跡から出土したアスファルトの成分分析

北海道大学高等教育機能開発総合センター　小笠原　正　明

最近、遺跡出土アスファルトの成分分析からその原産地を推定する方法について研究が進んでいる（小笠原 1994,1998,1999)。ここでは、岩手県南部の藤沢町相ノ沢遺跡から出土したアスファルトからパラフィン成分を分離してその質量（マス）スペクトルを測定して解析を行った。また、他の遺跡から出土した試料から得られたものと比較して検討した。

実　験

試料の一部をとって元素分析を行った。他の一部をベンゼン－メタノール混合溶媒で抽出し、可溶分の溶媒部分を減圧蒸留で除いて乾燥したあと、n-ヘキサンで抽出した。ヘキサン可溶分をオイル分、不溶分をアスファルテンと呼ぶ。オイル分に含まれている溶媒を減圧蒸留で除いたあと、高速液体クロマトグラフィー（PLC）にかけて、飽和炭化水素（パラフィン）成分、１環芳香族成分、２環芳香族成分、極性成分などに分割した。このように分離したパラフィン成分について、FI-マススペクトルを測定した。

HPLC 測定には、島津製作所製の高速液体クロマトグラフ装置(LC-8A、RID-10A、SPD-10A、C-R6A)に ZOBAX-BP-NH2 カラム（内径 10 mm、長さ 250 mm）を装着したものを用いた。移動層溶媒としては、主としてクロマトグラフィー用 n-ヘキサン（和光純薬製）を超音波脱気したものを用いた。

元素分析は、北海道大学機器分析センターに依頼して行った。

FI-マススペクトルの測定は、北海道大学農学部共同利用 GC-MS・NMR 室設置の日本電子製 JMS-01SG-2 型質量分析計を用いて測定した。

結果と考察

溶媒分割の結果、ベンゼン－メタノール不溶分が 39 %、アスファルテンが 31 %、またオイル分が 30 %含まれていることがわかった。

元素分析の結果を表１に示した。主成分は炭素と水素で、H/C＝1.16 と典型的なアスファルトよりも低い値を示した(小笠原 1994)。硫黄含有量は１%以下であり、国産のアスファルトとしては硫黄分の少ない部類に属する。

図１にパラフィン成分の FI-マススペクトルを示した。m/z＝400 付近にホパンまたはステランなどのバイオマーカーのピークが現れている。アスファルトのパラフィン成分のマススペクトルの 300＜m/e＜600 の領域は、ｚ数が-6 と-8 の２種類の成分スペクトルに分割して解析できることが最近の研究からわかっている。（注１）この２種類の成分スペクトルの強度比Ｒは、パラフィン成分の性質をあらわす１つの指標として利用することができる。

これまでに、秋田県の米代川流域の二ツ井で産出するアスファルトのＲ値について詳細な研究が行われており、0.632±0.036 という平均値が得られている。これに対して、本試料のＲ値は 0.930 と非常に大きい。出土した試料が参照試料と似ているかどうかを比較するためには、測定値と参照試料の平均値からのずれを標準試料の標準偏差で割って相対偏差を求めてみればよい。１つの目安として、スペクトル解析の精度も考

慮すれば、相対偏差が約2よりも小さければ参照試料と明確には区別できない。表2に示すように、本試料の相対偏差は8以上とこの基準をはるかに越えており、参照試料の二ツ井産のアスファルトと同じ系統のものとはとうてい言えない。一方、同じ岩手県でも三陸沿岸の山田町の沢田Ⅰ遺跡から出土したアスファルト試料の相対偏差は0.399であり、かなりの正確さで二ツ井産のものということができる。

結　論

本試料は、米代川・馬渕川流域および三陸海岸の山田町などの遺跡から出土する秋田県二ツ井産と推定される系統のアスファルトとは別の系統に属するものである。その起源は、現時点では不明である。

謝　辞

本報告をまとめるにあたり、北海道大学大学院工学研究科修士課程の浅野克彦氏、同工学部の伊東潤氏の協力をいただきました。ここに記して感謝いたします。

注

1．Z数の定義などは、文献（小笠原1999）に説明してある。

文　献

小笠原正明、阿部千春、前川靖明、横山晋「豊崎N遺跡出土の天然アスファルト魂」『考古学ジャーナル』373号、25-29頁、1994

小笠原正明、浅野克彦「北日本の縄文遺跡出土アスファルトの質量スペクトル分析による産地の同定」『文化財科学会第15回大会研究発表要旨』30-31頁、1998

小笠原正明「伊勢堂岱遺跡出土アスファルトの産地同定」『伊勢堂岱遺跡発掘調査報告書』、秋田県埋蔵文化財センター、印刷中、1999

図の説明

図1　相ノ沢遺跡出土アスファルトのパラフィン成分のFI-マススペクトル

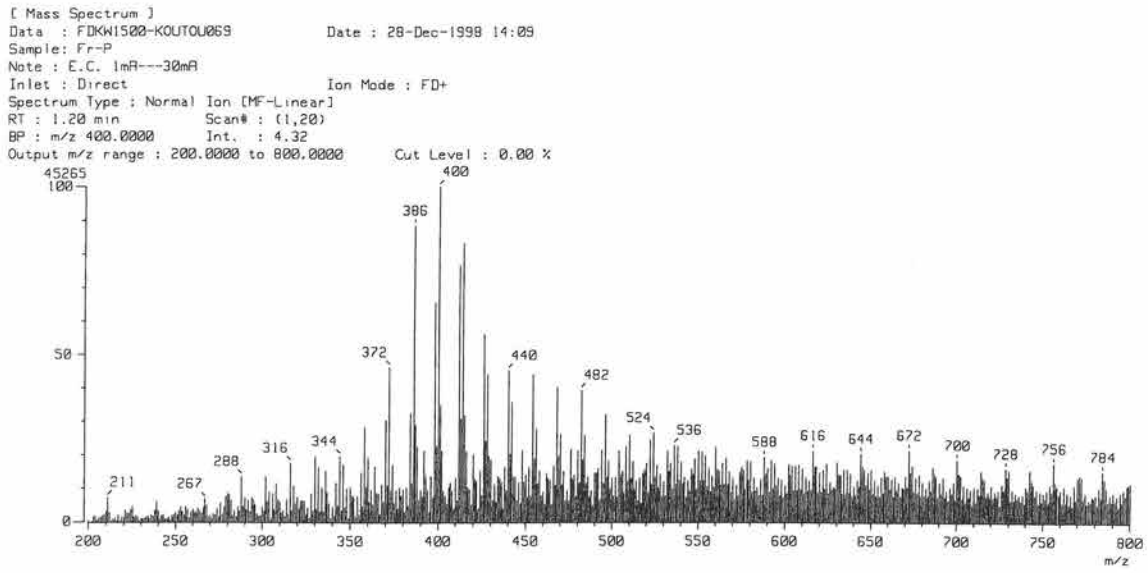


表1　相ノ沢遺跡出土アスファルトの元素分析の結果

元素	重量%
C	83.24
H	8.06
N	1.72
S	0.80
残	6.18

表2　アスファルト資料のパラフィン成分のR値

遺跡名・原産地	R値	相対偏差
秋田県二ツ井	0.632±0.036	−
岩手県沢田Ⅰ	0.646	0.399
岩手県相ノ沢	0.930	8.192

R値：パラフィン成分の 300＜m/e＜600 のマススペクトルにおいて、Z＝-6 の成分スペクトルの強度を Z＝-8 の成分スペクトルの強度で割ったもの。

附編３．岩手県相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の産地分析

藁科哲男
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

玉類の観察は、一般的に肉眼観察で岩石の種類を決定し、それが真実のよう思われているのが実態である。岩石製では玉類の原材料として硬玉、滑石、軟玉(角閃石)、蛇紋岩、結晶片岩、碧玉などが推測される。それぞれの岩石の命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覚悟して硬度、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどで、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこの産地の原石が使用されているかの産地分析が行われて初めて、考古学に寄与できる資料となる。遺跡から出土する勾玉、管玉など玉類の産地分析というのは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ケ所かあるヒスイ（硬玉、軟玉）とか碧玉の原産地うち、どこの原産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学的方法[1]および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光Ｘ線分析で行う元素比法[2,3),4)]が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は蛍光Ｘ線分析法と電子スピン共鳴法を併用し産地分析より正確に行った例[5)]が報告されている。石鏃など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析が得られた結果の意味も異なる。

（１）石器の原材産地推定で明かになる、遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。

（２）玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリーとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになるヒスイ製玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圏を現しているかもしれない。お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏が考えられる。石器の原材産地分析の得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。

今回分析を行った玉類は岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田和263番地他に位置する相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の小玉、垂飾玉の合計11個で、産地分析結果が得られたので報告する。

非破壊での産地分析の方法と手段

原産地推定の第一歩は、原産地間を区別する人間で言えば指紋のような、その原産地だけにしかないという指標を見つけなければならない。その区別するための指紋は鉱物組成の組合わせ、比重の違い、原石に含有されている元素組成の違いなどにより、原産地同士を区別できなければ産地分析はできない。成功するかどうかは、とにかく行ってみなければわからない。原産地同士が指紋でもって区別できたならば、次に遺跡から出土する遺物の指紋と原産地の指紋を比較して、一致しない原産地を消去して一致する原産地の原石が使用されていると判定する。

ヒスイ、碧玉製勾玉、大珠、珠などは、国宝、重要文化財級のものが多くて、非破壊で産地分析が行える方法でなければ発展しない。石器の原材産地分析で成功している[4]非破壊で分析を行う蛍光X線法を用いて玉類に含有されている元素を分析する。

遺跡から出土した大珠、勾珠、管珠などを水洗いして、試料ホルダーに置くだけの、完全な非破壊で産地分析を行った。ヒスイ製玉類は蛍光X線分析法で元素の種類と含有量を求め、試料の形や大きさの違いの影響を打ち消すために分析された元素同士で含有量の比を測り、この元素比の値を原産地を区別する指紋とした。碧玉製玉類はＥＳＲ法を併用するが試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した[5]。

ヒスイの原産地

分析したヒスイ原石は、日本国内産では（1）新潟県糸魚川市と、それに隣接する同県西頸城郡青海町から産出する糸魚川産、（2）軟玉ヒスイと言われる北海道沙流郡日高町千栄の日高産[6]（3）鳥取県八頭郡若桜町角谷の若桜産、（4）岡山県阿哲郡大佐町の大佐産、（5）長崎県長崎市三重町の長崎産であり、さらに（6）西黒田ヒスイと呼ばれている静岡県引佐郡引佐町の引佐産の原石、（7）兵庫県養父郡大屋町からの原石、（8）北海道旭川市神居町の神居コタン産、（9）岐阜県大野郡丹生川村の飛騨産原石、また、肉眼的にヒスイに類似した原石で玉類等の原材になったのではないかと考えられる。(10)長崎県西彼杵郡大瀬戸町雪浦からの原石である。国内産のヒスイ原産地は、これでほぼつくされていると思われる。これら原石の原産地を図１に示す。これに加えて外国産として、ミャンマー産の硬玉と台湾産軟玉および韓国、春川産軟玉などのヒスイの分析も行われている。

ヒスイ試料の蛍光X線分析

ヒスイの主成分元素はナトリュウム（Na）、アルミニウム（Al）、珪素（Si）などの軽元素[7]で、次いで比較的含有量の多いカルシウム（Ca）、鉄（Fe）、ストロンチウム（Sr）である。また、ヒスイに微量含有されている、カリウム（K）、チタニウム（Ti）、クロム（Cr）、マンガン（Ma）、ルビジウム（Rb）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）、ニオビウム（Nb）、バリウム（Ba）、ランタニウム（La）、セリウム（Ce）の各元素を分析した。主成分の珪素など軽元素の分析を行わないときには、励起線源のX線が試料によって散乱されたピークを観測し、そのピークの大きさが主に試料の分析面積に比例することに注目し、そのピークを含有元素と同じく産地分析の指標として利用できる。ナトリュウム元素はヒスイ岩を構成するヒスイ輝石に含有される重要な元素で、出土した遺物が硬玉か否かを判定するには直接ヒスイ輝石を観測すればよい、しかし、ヒスイ輝石を非破壊で検出できる方法が確立されるまでは、蛍光X線分析でNa元素を分析し間接的にヒスイ輝石の存在を推測する方法にたよる他ないのではなかろうか。各原産地の原石のなかで、確実にNa元素の含有が確認されるヒスイ産地は糸魚川、大屋、若桜、大佐、神居コタン、長崎の各原産地の原石でこれらは硬玉に属すると思われる。Na元素の含有量が析誤差範囲の産地は日高、引佐、飛騨の各産地の原石である。糸魚川産原石のうち緑色系の硬玉に、肉眼的に最も似た原石を産出する産地は、他の硬玉産地よりも後述した日高、飛騨、引佐の原石に見られる。各原産地の原石の他の特徴を以下に記述する。若桜産のヒスイ原石はSrのピークがFeのピークに比べて相当大きく、またZrの隣に非常に小さなNbのピークが見られ、Baのピークも大きく、糸魚川産では見られないLa、Ceのピークが観測されている。このCeのピークは大佐産と長崎産ヒスイ原石のスペクトルにも見られ、これをCeを含有する原石の産地は、糸魚川の産地と区別

するときに有効な判定基準になる。長崎産ヒスイは、Tiの含有量が多く、Yのピークが見られるのが特徴的である。日高産、引佐産、飛騨産ヒスイ原石は、Caピークに比べて TiとかK、またはFeピークに比べて Srなどのピークが小さいのが特徴で糸魚川産のものと区別するときの判断基準になる。

春川軟玉原石は、優白色の工芸加工性に優れた原石で、軟玉であるが、古代では勾玉などの原材料となった可能性も考えられることから分析を行った。この原石には、Sr、Zrのピークが全く見られないため、糸魚川産などのSr、Zrを含有する原石と容易に区別できる。また、長崎県雪浦のヒスイ類似岩をヒスイの代替品として勾玉、大珠などの原材料に使用している可能性が考えられ、分析を行った。この岩石は比重が2.91と小さく、比重でもって他の産地のものと区別できる。また、砒素（As）のピークが見られる個体が多いのも特徴である。

これら各原産地の原石は同じ産地の原石であっても、原石ごとに元素の含有量には異同がある。したがって、一つの原産地について多数の原石を分析し、各元素の含有量の変動の範囲を求めて、その産地の原石の特徴としなければならない。

糸魚川産のヒスイは、白色系が多いが、緑色系の半透明の良質のもの、青色系、コバルト系、およびこれらの色が白地に縞となって入っているものなど様々である。分析した糸魚川産原石の比重を調べると、硬玉の3.2～3.4の範囲のものと、3.2に達しない軟玉に分類される原石もある。若桜産、大佐産の分析した原石には、半透明の緑色のものはないが、全体が淡青緑かかった乳白色のような原石、また大屋産は乳白色が多い。このうち大佐産、大屋産の原石では比重が3.20に達したものはなく、これらの原石は比重からは軟玉に分類される。しかし、ヒスイ輝石の含有量が少ない硬玉とも考えられる。長崎産のヒスイ原石は3個しか分析できなかったが良質である。このうち1個は濃い緑色で、他の2個は淡い緑色で、少しガラス質である。日高産ヒスイの原石は肉眼観察では比較的糸魚川産のヒスイに似ている。ミャンマー産のヒスイ原石は、質、種類とも糸魚川産のヒスイ原石と同じものが見られ肉眼で両産地の原石を区別することは不可能と考えられる。分析した台湾産のヒスイは軟玉に属するもので、暗緑色のガラス質な原石である。これら各原産地の原石の分析結果から各産地を区別する判断基準を引き出し産地分析の指標とする。

ヒスイ原産地の判別基準

原石産地の判定を行うときの判断基準を原石の分析データーから引き出すが、分析個数が少ないため、必ずしもその原産地の特徴を十分に反映したと言えない産地もある。表1－1、2に各原産地ごとの原石の比重と元素比重をまとめた。元素比重の数値は、その原産地の分析した原石の中での最小値と最大値の範囲を示し、判定基準(1)とした。ヒスイで比重が3.19未満の軽い原石は、硬玉ヒスイではない可能性があるが、糸魚川産の原石で比重が3.19未満のものも分析を行った。大佐産のヒスイは比重が3.17未満であった。したがって、遺物の比重が3.3以上を示す場合は判定基準（1）により大佐産のヒスイでないと言える。日高産、引佐産の両ヒスイではSr/Feの比の値が小さくて、糸魚川産と区別する判定基準（1）になる。表1の判定基準（2）にはCr、Mn、Rb、Y、Nb、Ba、La、Ceの各元素の蛍光X線ピークが観測できた個体数を%で示した表である。例えば遺物を分析しBaのピークが観測されれなかったとき、その遺物は、若桜、大佐、長崎産のヒスイでないといえる。

図2はヒスイ原石のSr/Feの比の値とSr/Zrの比の値の分布を各原産地ごとにまとめて分布範囲を示したものである。●は糸魚川産のヒスイで、分布の範囲を実線で囲み、この枠内に遺物の測定点が入れば糸魚川産の原石である可能性が高いと判断する。□はミャンマー産のヒスイの分布で、その範囲を短い破線で囲む。

糸魚川の実線の範囲とミャンマーの破線の範囲の大部分は重なり両者は区別できないが、ミャンマーと糸魚川が区別される部分がSr/Feの値（横軸）2.5以上の範囲で見られる。この範囲の中に、遺物の測定点が入ればミャンマー産と考えるより、糸魚川産である可能性の方が高いと考えられる。▲は大佐産の、△は若桜産の、▽は大屋産のヒスイの分布を示している。

糸魚川と大佐、若桜、大屋のヒスイが重なる部分に遺物の測定点が入った場合、これら複数の原産地を考えなければならない。しかし、この遺物にBaの蛍光X線スペクトルのピークが見られなかった場合、表1－2の判定基準（2）に従えば糸魚川産または大屋産のヒスイであると判定でき、その遺物の比重が3.2以上あれば大屋産でなくて、糸魚川産と推定される。■は長崎産ヒスイの分布で、独立した分布の範囲を持っていて他の産地のヒスイと容易に区別できる。台湾産の軟玉はグラフの左下に外れる。★印の日高産および＊印の引佐産ヒスイの分布の一部分が、糸魚川産と重なり区別されない範囲がみられる。しかし、Ca/Si比とSr/Fe比を指標とすることにより（図3）、糸魚川産ヒスイは日高産および引佐産の両ヒスイと区別することができる。Na/Si比とMg/Si比を各原産地の原石について分布を示すことにより（図4）、遺物がどこの原産地の分布内に帰属するかにより、硬玉か軟玉かの判別の手段の一つになると考えられる。

相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾珠の分析結果

これら小玉、垂飾珠の中で比重が3.2以上（アルキメデス法）を示すNo.3（50766）、6（50769）、7（50770）、8（50771）、11（50774）は硬玉の可能性の範囲に入り、蛍光X線スペクトル（図10、13、14、15、18）には硬玉の主成分の一つのNa元素が観測されることから、これら玉類を硬玉と推測しても矛盾しない。No.1（50764）、10（50773）はグリーンタフで吸水のため比重は測定できなかった。また、蛍光X線スペクトルも1、10が相互に似ているたる同質の石材の可能性が推測される。No.5（50768）、9（50772）は比重が2.5～2.6で、蛍光X線スペクトルも珪素が主体で着色元素と思われるCr元素が比較的大きく観測されていることから着色石英質岩石と推測される。No.2、4は比重が2.7～2.8で蛇紋岩系、滑石系、軟玉などが考えられるが、Mg/Siの比重が小さく日高、飛騨、引佐の軟玉には一致しない。蛍光X線分析でこれら玉類の原石産地を明らかするために、K/Ca、Ti/Ca、Sr/Fe、Zr/Sr、Ca/Si、Na/Si、Mg/Siなどの各比値を求め表2に示した。これら分析値を各原産地の原石の元素比重Sr/Fe対Zr/Srの分布範囲と比較すると、No.9（50772）はどこの原石の範囲からも外れるが、他の玉類は糸魚川産の範囲に入り、糸魚川産以外にも神居コタン、引佐、日高、大佐、若桜、大屋の重なる範囲に入る玉類が見られ、これら入った原石産地のヒスイの可能性を示し結果を図5に示す。また、Sr/Fe対Ca/Siでも糸魚川産の範囲に入る玉類は50764、50766、50769、50770、50771、50773、50774で、また大佐、若桜、大屋の重なる範囲に入る玉類が見られるが、神居コタン、引佐、日高の重なる範囲に入る玉類は見られない（図6）。Na/Si対Mg/Siで糸魚川産原石の範囲に入る玉類は50766、50769、50770、50771、50774で若桜、神居コタン産の原石範囲に入っている玉類が見られた（図7）。これら玉類の蛍光X線スペクトルではBa元素が観測されない玉類の原石産地を若桜、大佐、長崎産の原石の可能性を考える必要はなく、また、比重などヒスイ製遺物の判定基準（1）、（2）を参考に玉類の原石産地を推測すると、判定の全ての条件を満たす原石産地が玉類の玉材産地であると推測し結果を表4に示す。

結　論

今回分析した相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の小玉10個及び垂飾玉1個の中でNo.3（50766）、No.6（50769）、No.7（50770）、No.8（50771）の小玉とNo.11（50774）の垂飾玉は糸魚川産硬玉が使用されていると判定され、No.1（50764）、10（50773）はグリーンタフ系の玉材が使用されていると推定した。このグリーンタフ系の玉材の原石産地は不明であるが、また、No.5（50768）、9（5077"）はメノウ系の玉材が使用されているようで、メノウの原産地も非常に多くこれら産地同士が区別できなければ産地同定ができない。No.2（50765）、4（50767）は蛇紋石系、滑石系、軟玉系などが考えられるが、日高、飛騨、引佐の軟玉には一致しない。これら産地の特定できなかった玉類の蛍光X線分析結果は、他の遺物から出土する玉の分析の結果と相互に似た組成を示す場合がみられ、原材産地が特定できなかった玉類についても組成が一致する玉類を相互に遺跡間で結ぶことにより、玉の分布圏に関する情報がえられる。

糸魚川産ヒスイが縄文時代後期に使用されている遺跡は、本遺跡以外に抜粋して示すと例えば北海道千歳市美々遺跡から青森県大石平遺跡、岩手県大日向II遺跡、山梨県石堂遺跡、岐阜県西田遺跡、愛知県白石遺跡、三重県森添遺跡、大分県二反田遺跡、熊本県ワクド石遺跡、宮崎県学頭遺跡まで日本全国におよび、これら遺跡では糸魚川産ヒスイが尊重される共通の基盤を持っていたと思われ、糸魚川産地から遠くなるにしたがって、希少価値が増すと推測され本遺跡がヒスイの玉類を入手できる力（経済力）が大きかったことが推測される（図1）。

参考文献

1）茅原一也（1964）、長者ケ原遺跡産のヒスイ（翡翠）について（概報）。長者ケ原、新潟県糸魚川市教育委員会：63-73

2）藁科哲男・東村武信（1987）、ヒスイの産地分析。　富山市考古資料館紀要　6：1-18

3）藁科哲男・東村武信（1990）、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。
橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』、14：95-109

4）藁科哲男・東村武信（1983）、石器原材の産地分析。考古学と自然科学、16：59-89

5）Tetsuo Warashian（1992）、Alloction of Jasper Archeological
Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19:357-373

6）番場猛夫（1967）、北海道日高産軟玉ヒスイ。調査研究報告会講演要旨録　No.18:11-15

7）河野義礼（1937）、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質。
岩石礦物鉱床学雑誌22：195-201

表１－１　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)

原産地名	分析個数	蛍光X線法による元素比の範囲 比重	K／Ca	Ti／Ca	Sr／Fe	Zr／Sr	Ca／Si
糸魚川産	41	3.00～3.35	0.01～0.17	0.01～0.56	0.15～30	0.00～2.94	0.72～27.6
若桜産	12	3.12～3.29	0.01～0.91	0.03～0.59	3.45～47	0.00～0.25	4.33～48.4
大佐産	20	2.85～3.17	0.01～0.07	0.00～1.01	3.18～61	0.00～12.4	3.47～28.6
長崎産	3	3.16～3.23	0.01～0.14	0.17～0.33	0.02～0.06	4.30～16.0	
日高産	22	2.98～3.29	0.00～0.01	0.00～0.02	0.00～0.37	0.00～0.063	5.92～51.6
引佐産	8	3.15～3.36	0.04～0.04	0.00～0.03	0.03～0.33	0.00～0.018	36.3～65.9
大屋産	18	2.96～3.19	0.03～0.08	0.04～0.16	1.08～79	0.02～0.48	0.95～4.81
神居コタン産	9	2.95～3.19	0.02～0.49	0.09～0.17	0.04～0.22	0.12～0.85	2.22～17.3
飛騨産	40	2.85～3.15	0.01～0.04	0.00～0.00	0.02～0.10	0.00～1.24	12.7～28.5
ミャンマ産	26	3.15～3.36	0.02～0.14	0.01～0.26	0.09～2.5	0.01～23	
台湾産	1	3.00	0.003	ND	ND	ND	

ND：検出限界以下の濃度

表１－２　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)

原産地名	蛍光X線法による分析元素（各元素が確認できた個体数の百分率） Cr	Mn	Rb	Y	Nb	Ba	La	Ce
糸魚川産	26％	6％	20％	ND	13％	33％	ND	ND
若桜産	ND	ND	16％	ND	100％	100％	67％	67％
大佐産	ND	ND	44％	ND	33％	100％	67％	67％
長崎産	ND	ND	ND	100％	100％	100％	100％	100％
日高産	tr	tr	ND	ND	ND	tr	ND	ND
引佐産	88％	75％	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大屋産	tr	ND	31％	ND	6％	90％	100％	100％
神居コタン産	ND	100％	22％	100％	ND	55％	ND	ND
飛騨産	100％	100％	ND	ND	ND	ND	ND	ND
ミャンマ産	13％	4％	ND	ND	ND	35％	ND	ND
台湾産	tr	tr	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND：検出限界以下　　tr：検出確認

表２－１　相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の元素分析値の比重と比重

遺物番号	分析番号	元素分析値の比重 Na/Si	Mg/Si	Al/Si	K/Ca	Ca/Si	Ti/Ca	Cr/Fe	Mn/Fe	Ni/Fe	Sr/Fe
1	50764	0.000	0.299	0.09	2.23	3.356	1.37	0.000	0.011	0.000	1.563
2	50765	0.009	0.157	0.14	556.7	0.011	30.13	0.039	0.004	0.016	0.371
3	50766	0.170	0.318	0.13	0.00	4.910	0.02	0.007	0.010	0.012	0.900
4	50767	0.027	0.257	0.12	3.34	0.463	7.92	0.000	0.003	0.000	0.197
5	50768	0.001	0.046	0.00	19.61	0.002	5.29	0.793	0.043	0.388	0.258
6	50769	0.122	0.429	0.12	0.01	4.572	0.03	0.009	0.004	0.018	0.458
7	50770	0.160	0.701	0.11	0.00	10.271	0.00	0.029	0.010	0.039	1.559
8	50771	0.087	0.912	0.10	0.01	15.024	0.01	0.013	0.011	0.050	3.048
9	50772	0.000	0.038	0.00	－	0.000	－	4.147	0.012	0.063	0.118
10	50773	0.000	0.250	0.07	0.44	5.267	1.49	0.000	0.015	0.001	5.951
11	50774	0.190	0.552	0.14	0.01	4.821	0.02	0.001	0.010	0.009	1.191
	JG-1	0.001	0.041	0.06	1.29	4.484	0.30	0.001	0.023	0.000	0.370

表２－２　相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の元素分析値の比重と比重

遺物番号	分析番号	元素分析値の比重 Zr/Sr	Nb/Sr	Ba/Sr	Rb/Sr	Y/Sr	試料比重	試料重量(gr)	遺物種類
1	50764	0.039	0.00	10.39	0.05	0.00	吸水	0.59432	小　玉
2	50765	0.020	0.00	7.27	0.72	0.00	2.723	0.47290	小　玉
3	50766	0.053	0.01	0.00	0.01	0.00	3.300	1.16784	小　玉
4	50767	0.558	0.01	0.68	0.02	0.11	2.757	0.52644	小　玉
5	50768	0.000	3.53	38.51	1.88	0.26	2.547	1.04841	小　玉
6	50769	0.444	0.01	0.20	0.01	0.01	3.317	0.97273	小　玉
7	50770	0.110	0.02	0.15	0.00	0.00	3.233	0.32372	小　玉
8	50771	0.327	0.00	0.38	0.01	0.00	3.285	0.51611	小　玉
9	50772	6.646	0.00	－	17.22	2.29	2.620	0.42741	小　玉
10	50773	0.035	0.00	7.58	0.03	0.00	吸水	0.13719	小　玉
11	50774	0.061	0.00	0.63	0.02	0.00	3.282	30.39116	垂飾玉
	JG-1	0.799	0.05	5.31	0.75	0.16			

JG-1：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974).
1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geocemical Journal, Vol.8 175-192.

表3　相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の原石産地分析結果

遺物番号	分析番号	各分類基準による判定 図5判定	図6判定	図7判定	比重&基準(2)	Ni/Fe判定[a)]	原材産地総合判定	遺物種類
1	50764	IT	IT,OY					小　玉
2	50765	IT,HK,IN						小　玉
3	50766	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小　玉
4	50767	IT,KM		WK				小　玉
5	50768	IT,HK,IN						小　玉
6	50769	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小　玉
7	50770	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小　玉
8	50771	IT,OY,OS	IT,WK	IT,WK	IT,IN,WK,HK,NG		糸魚川産	小　玉
9	50772							小　玉
10	50773	IT,OY,OS,WK	IT,OY,OS					小　玉
11	50774	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	垂飾玉

IT：糸魚川　WK：若桜　OS：大佐　NG：長崎　HK：日高　IN：引佐　OY：大屋　KM：神居コタン
HD：飛騨

a)：日高、飛騨ヒスイの区別用元素比

（飛騨産原石、42個の平均値±標準偏差）Ni／Fe＝0.091±0.030

（日高産原石、14個の平均値±標準偏差）Ni／Fe＝0.065±0.028

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェック）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察する必要があります。

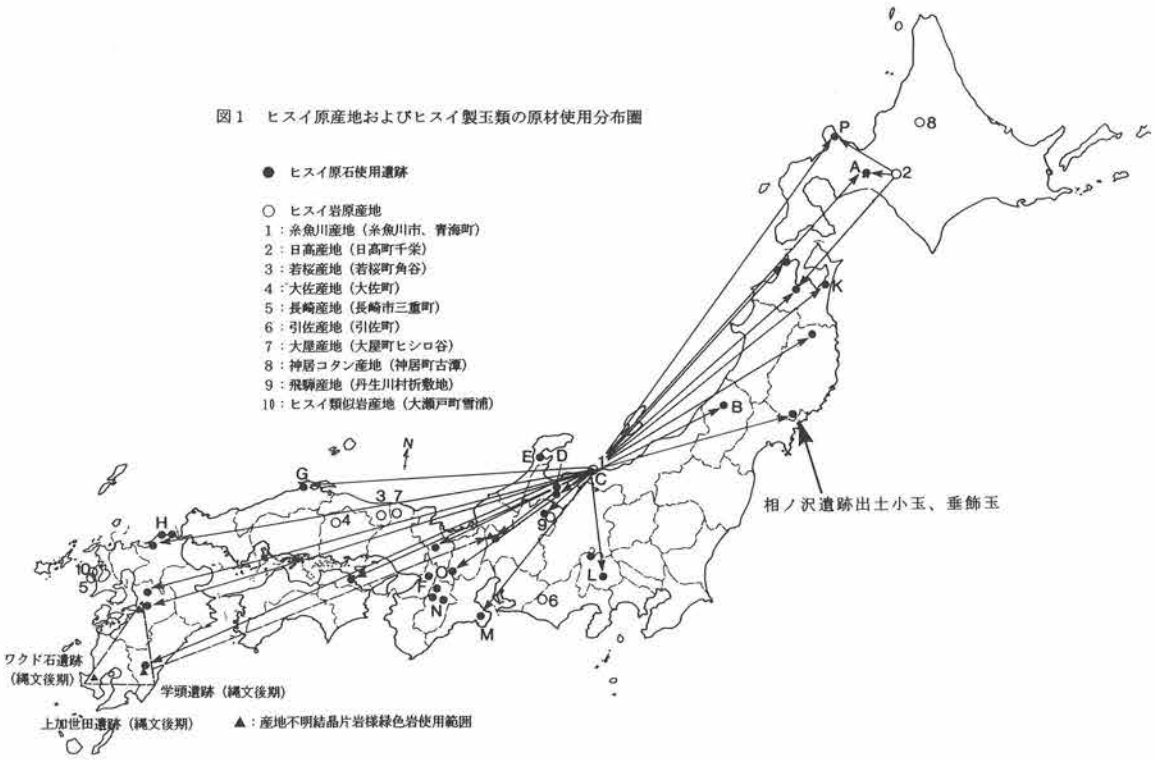


図1　ヒスイ原産地およびヒスイ製玉類の原材使用分布圏

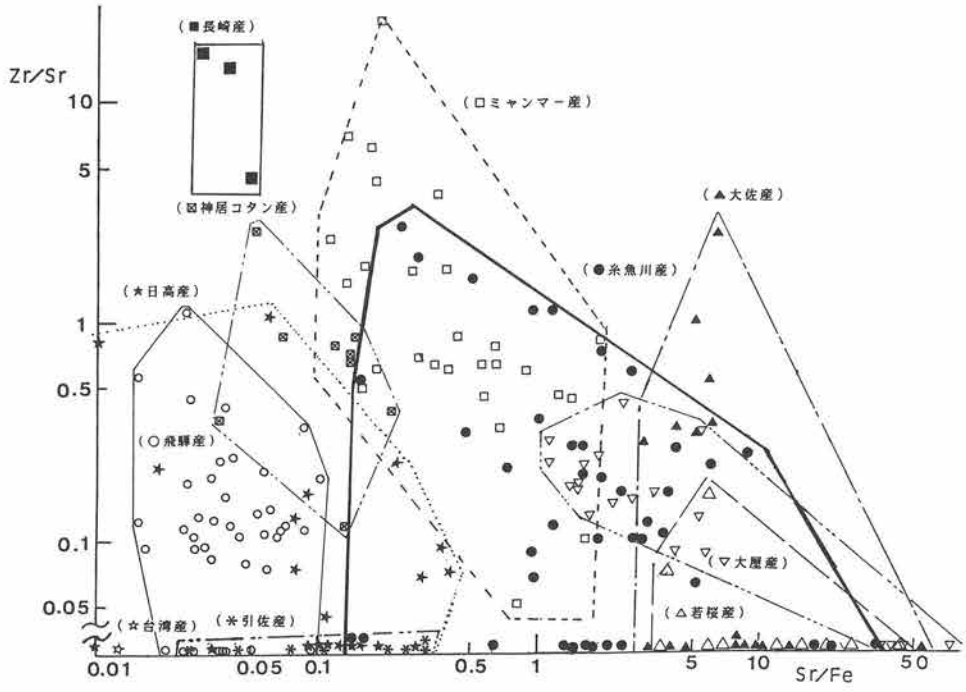


図2　ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布および分布圏

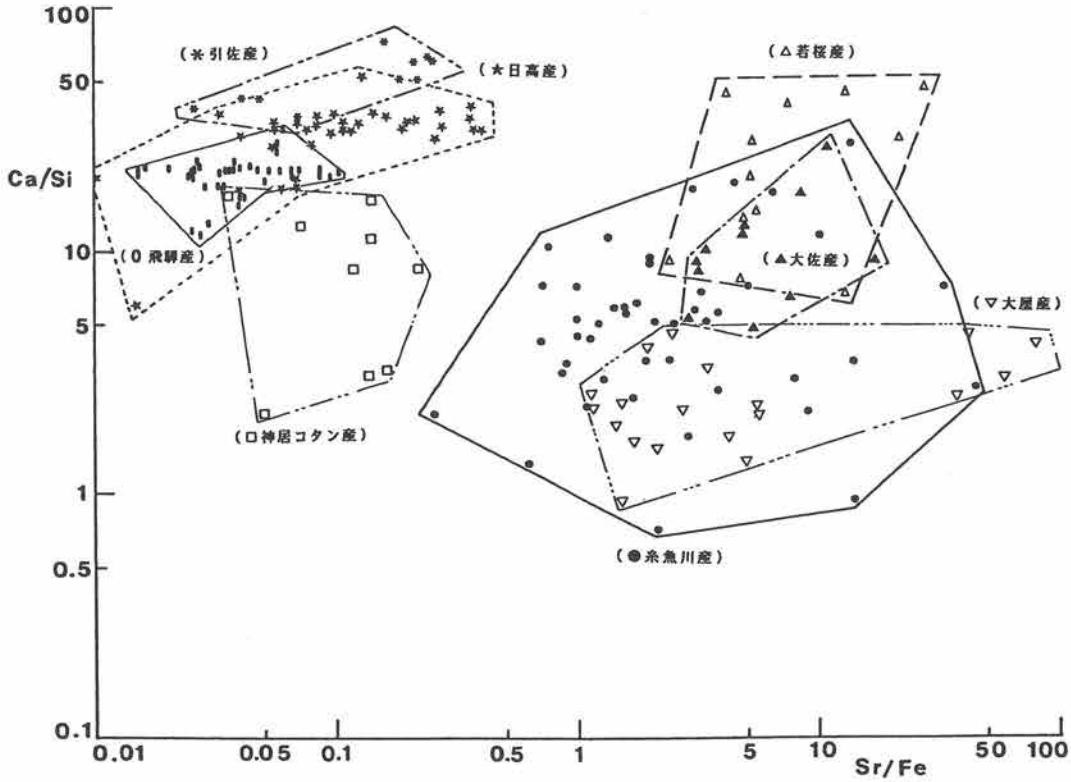


図３　ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布および分布圏

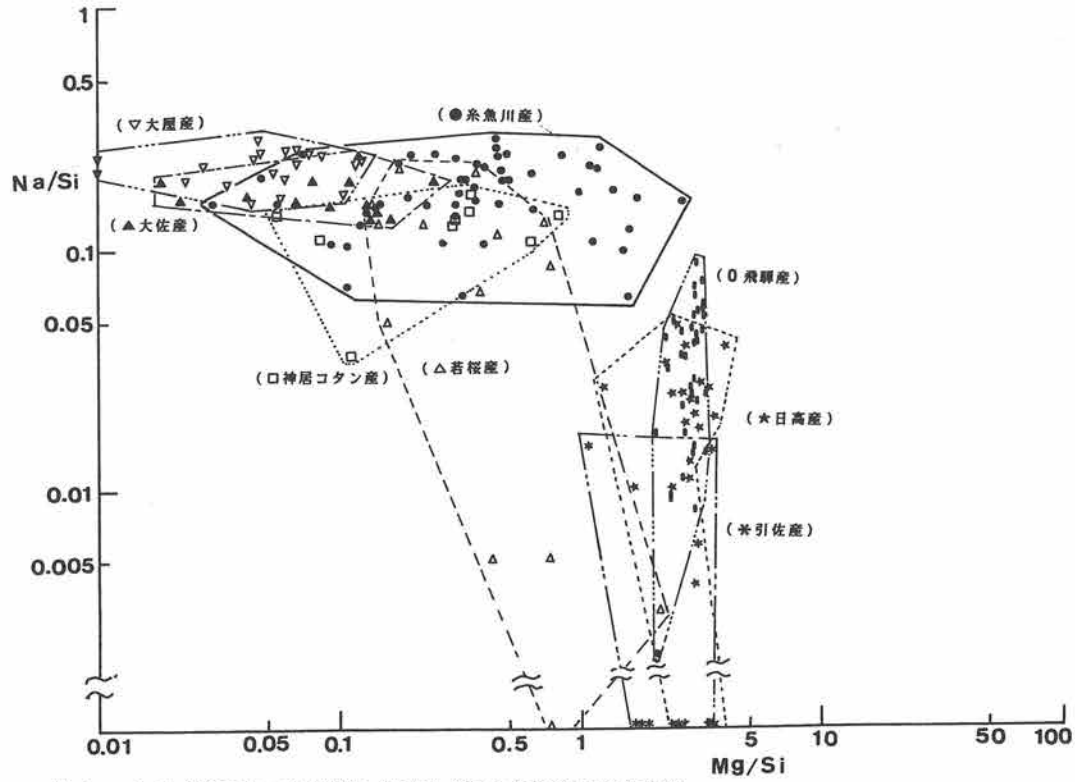


図４　ヒスイ原石の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布および分布圏

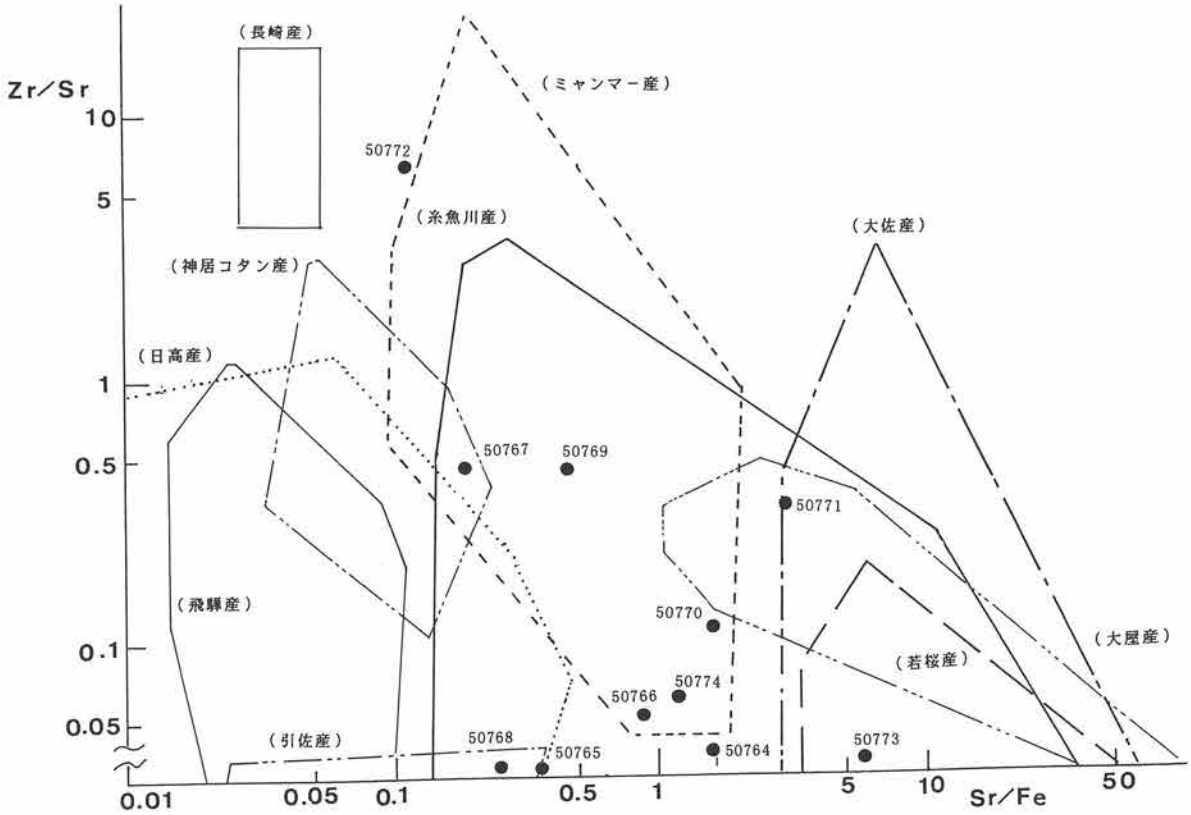


図５　　相ノ沢遺跡出土小玉、垂飾玉のZr/Sr対Sr/Feの分布

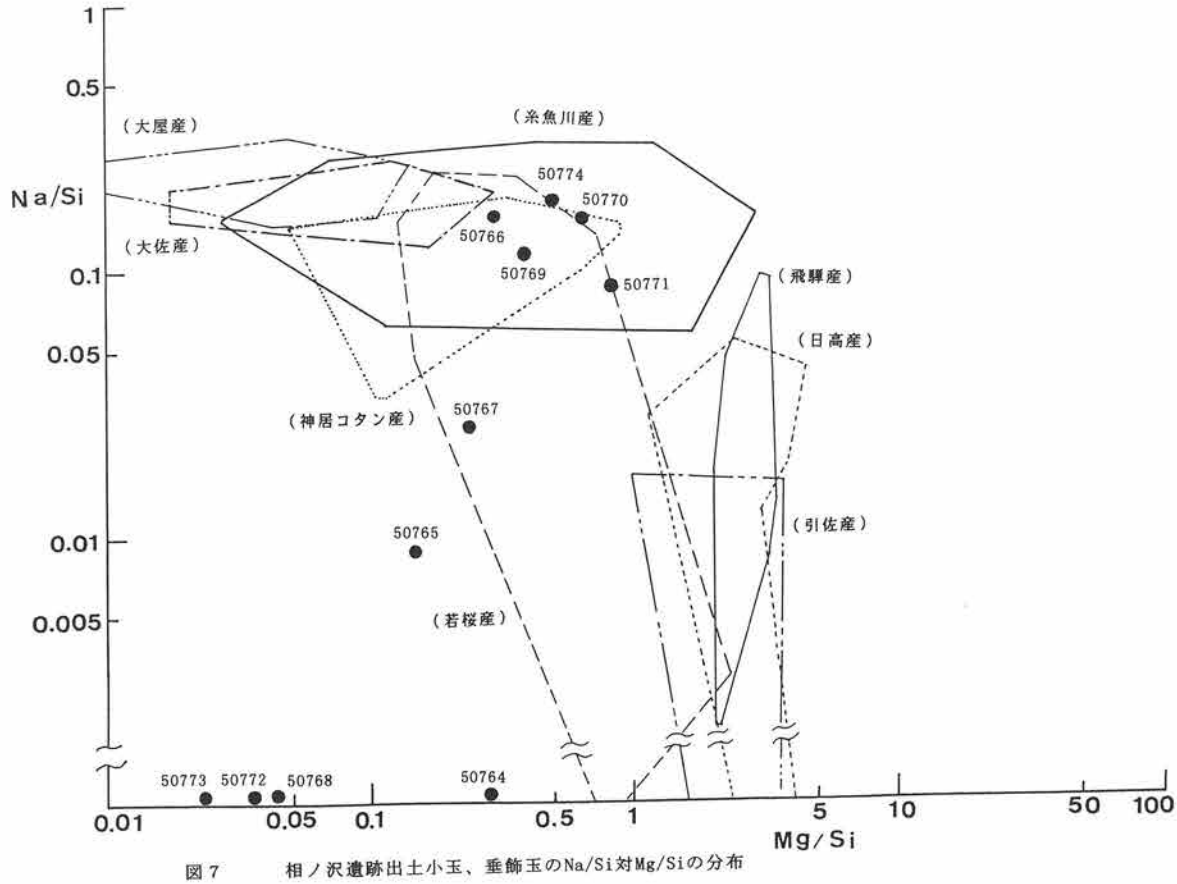


図７　　相ノ沢遺跡出土小玉、垂飾玉のNa/Si対Mg/Siの分布

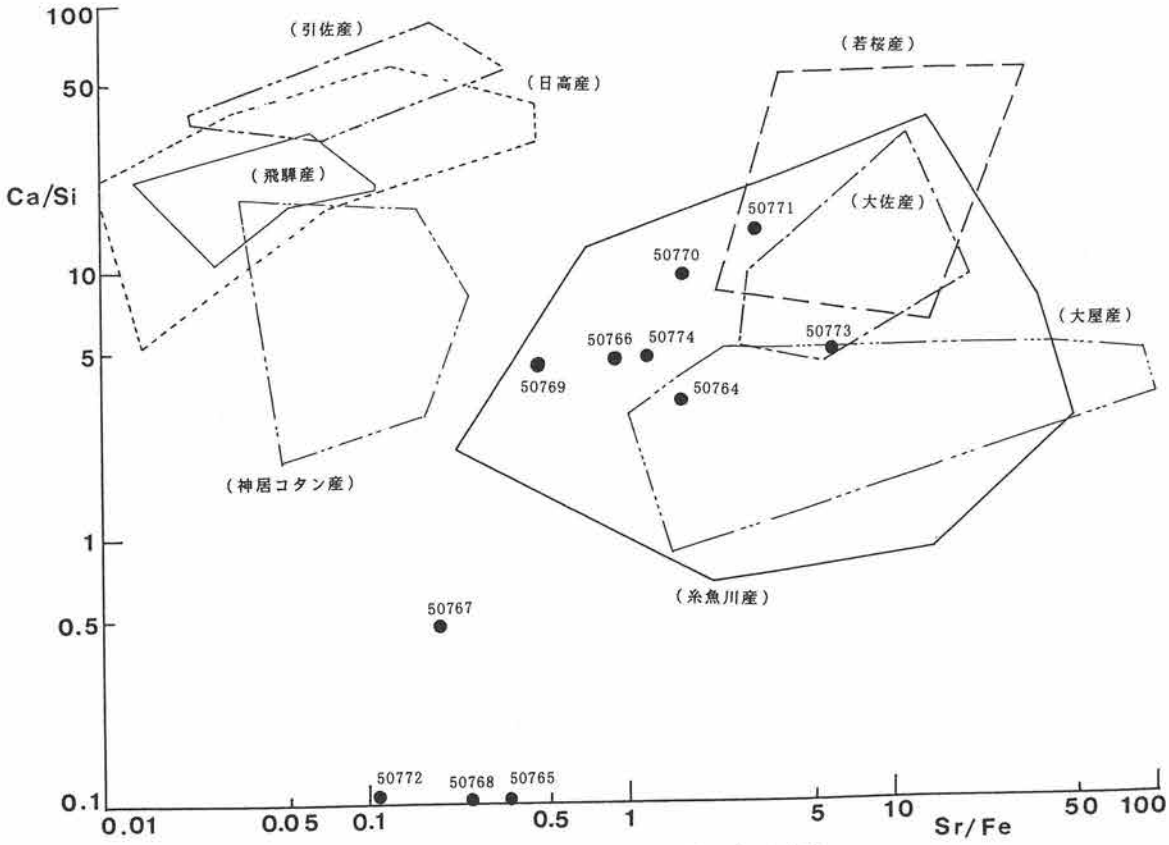


図6　　相ノ沢遺跡出土小玉、垂飾玉のCa/Si対Sr/Feの分布

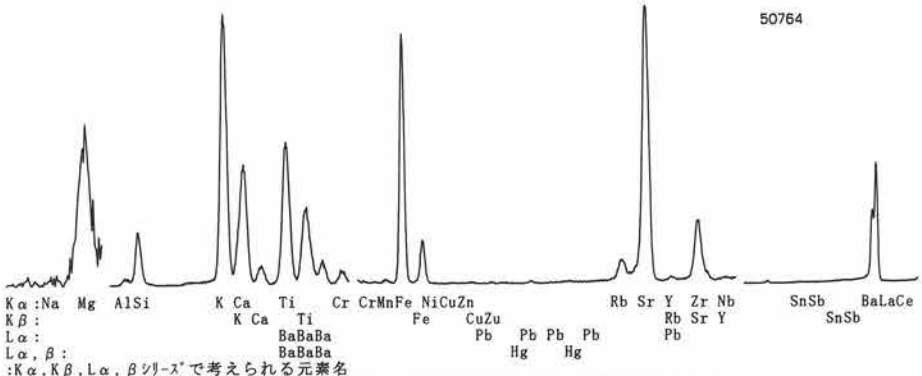


図8　　相ノ沢遺跡出土小玉、1(50764)の蛍光X線スペクトル

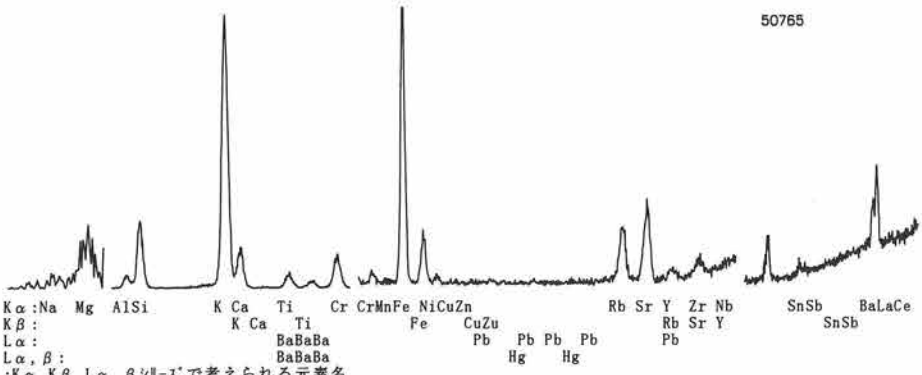


図9　　相ノ沢遺跡出土小玉、2(50765)の蛍光X線スペクトル

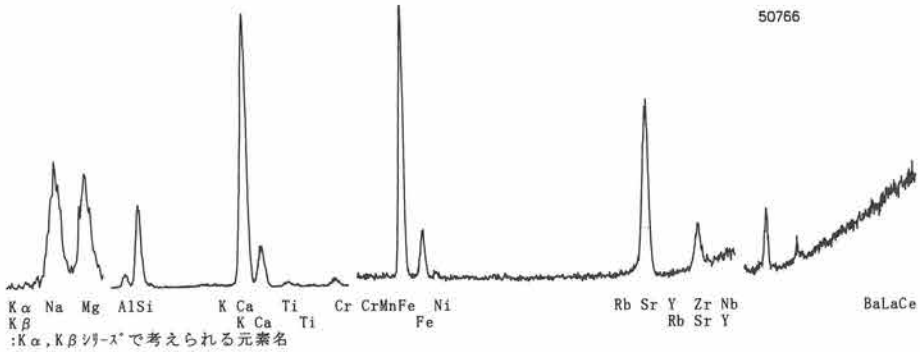


図10　相ノ沢遺跡出土小玉、3(50766)の蛍光X線スペクトル

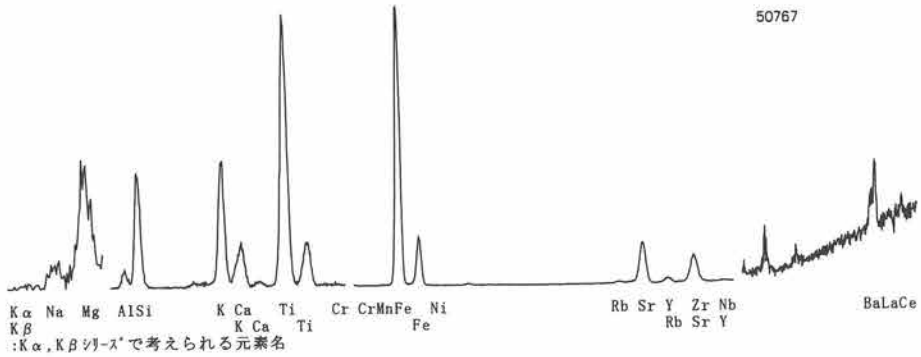


図11　相ノ沢遺跡出土小玉、4(50767)の蛍光X線スペクトル

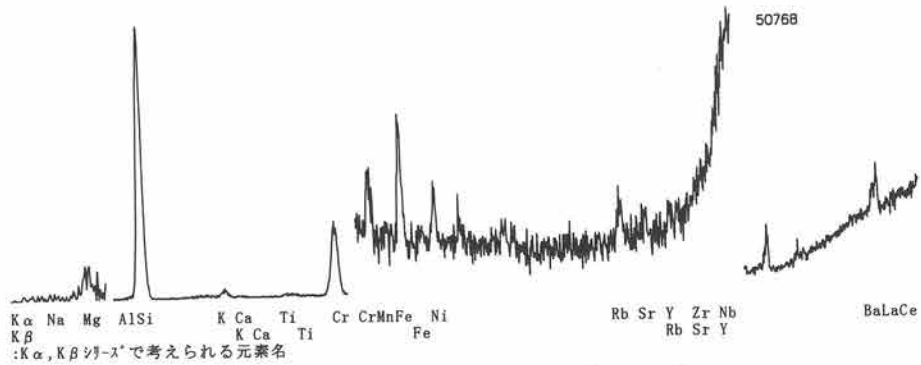


図12　相ノ沢遺跡出土小玉、5(50768)の蛍光X線スペクトル

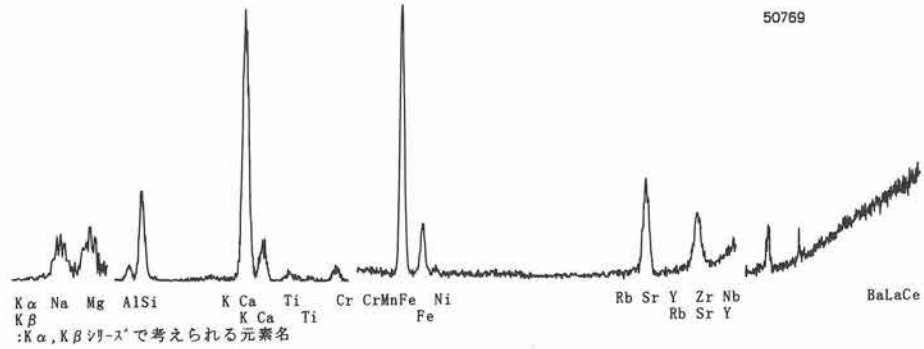


図13　相ノ沢遺跡出土小玉、6(50769)の蛍光X線スペクトル

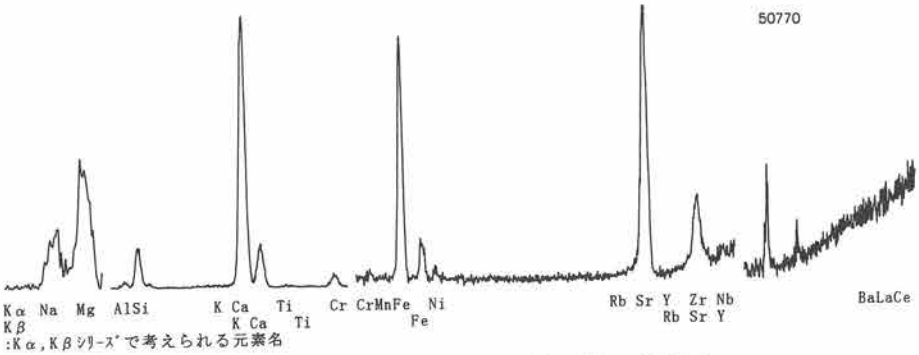


図14　相ノ沢遺跡出土小玉、7(50770)の蛍光X線スペクトル

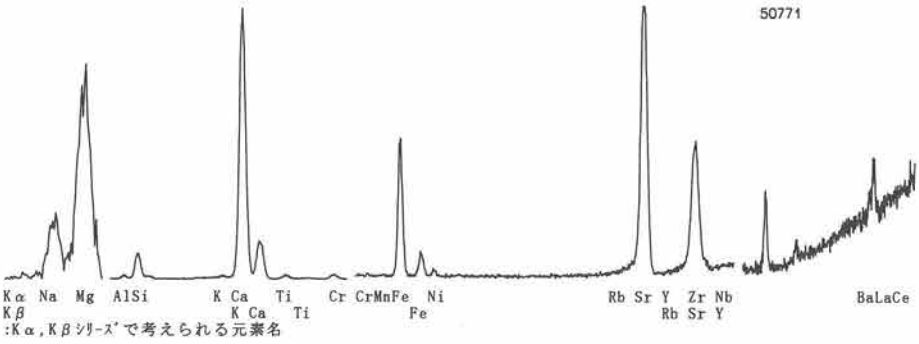


図15　相ノ沢遺跡出土小玉、8(50771)の蛍光X線スペクトル

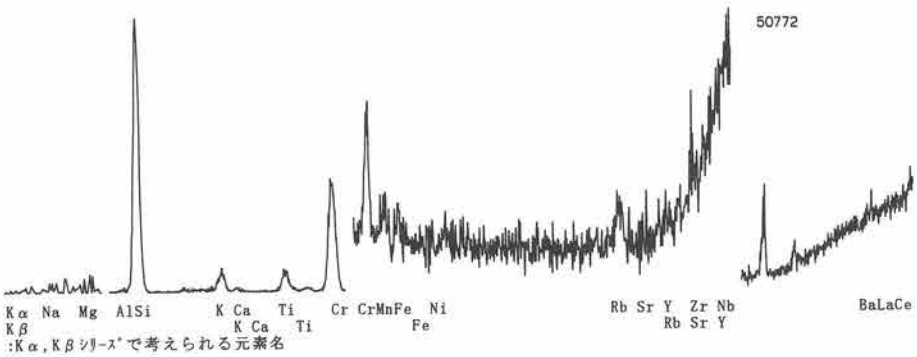


図16　相ノ沢遺跡出土小玉、9(50772)の蛍光X線スペクトル

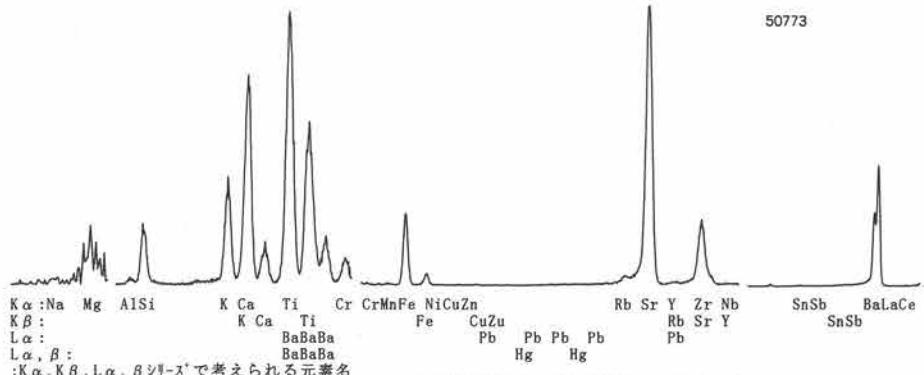


図17　相ノ沢遺跡出土小玉、10(50773)の蛍光X線スペクトル

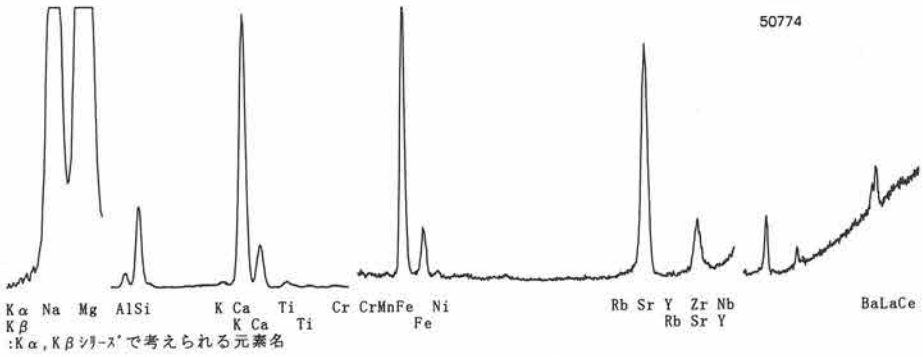
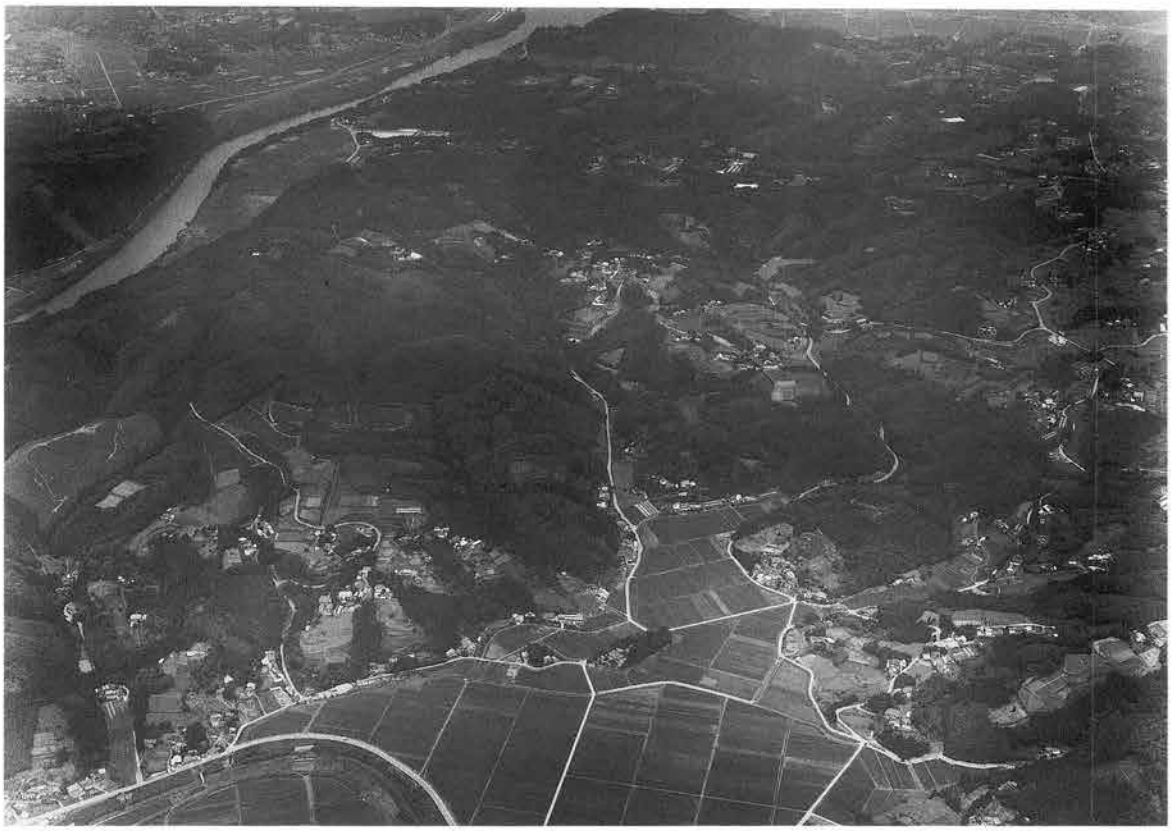
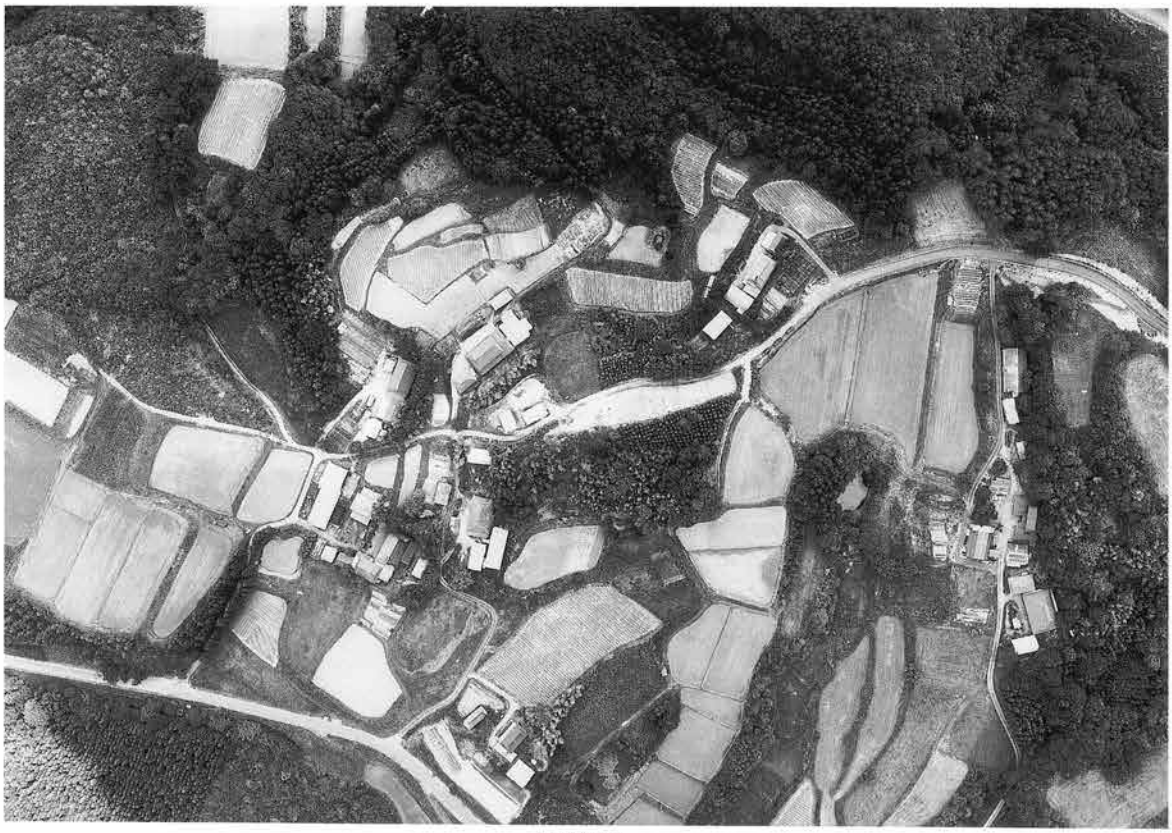


図18　相ノ沢遺跡出土垂飾玉、11(50774)の蛍光X線スペクトル

写　真　図　版



遺跡遠景（南から）



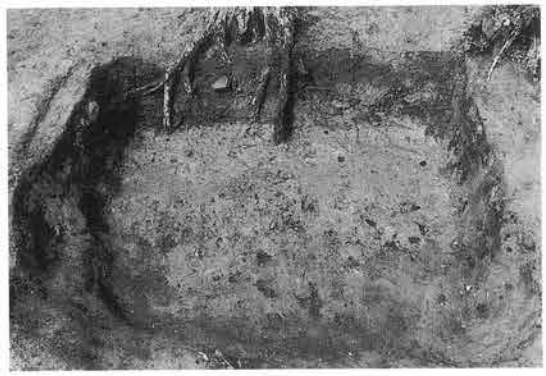
遺跡近景

写真図版 1　遺跡遠景（空中写真）

調査区近景（西北西から）

2—13グリッド切り出された段（東南東から）

炭窯・炭化材検出状況

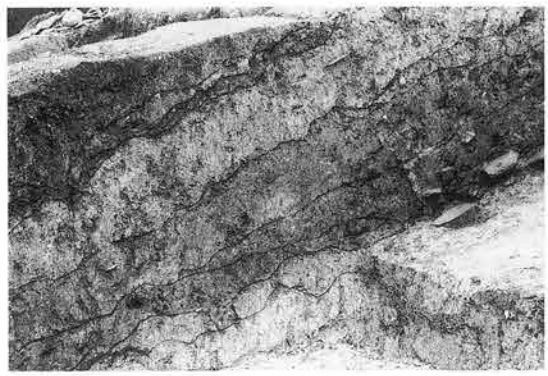


炭窯

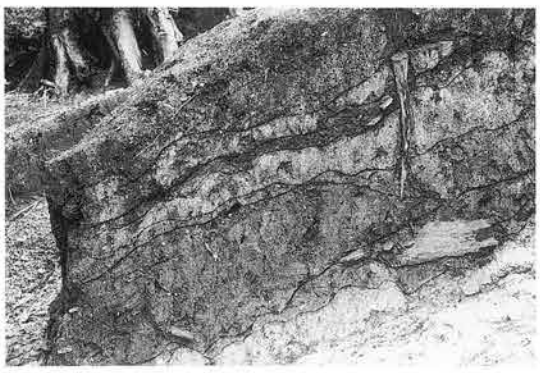
写真図版２　調査区近景　炭窯

2—6グリッド 2—6南北ベルト土層断面

2—6グリッド 1—6東西ベルト土層断面



（拡大）

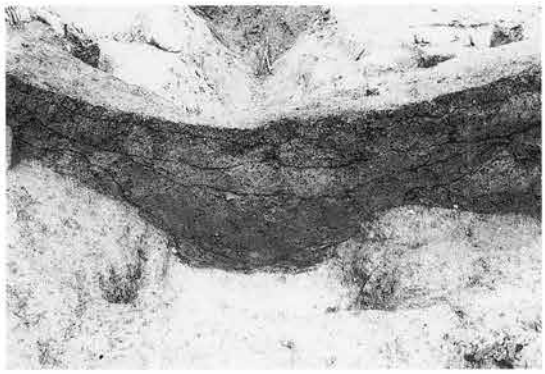


（拡大）

2—2東西ベルト・6号土坑土層断面

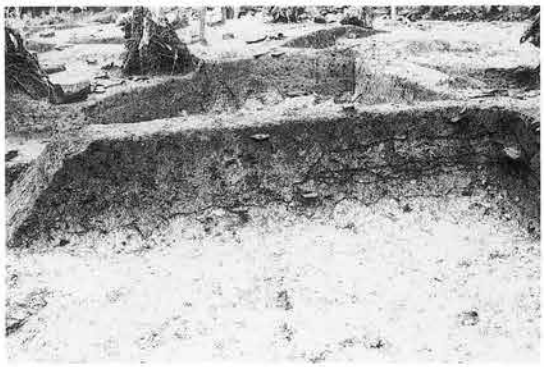
写真図版3　土層断面

1—4南北ベルト95 土塁土層断面



1—4南北ベルト95 溝土層断面

2—13 東西ベルト 土層断面



2—12南北ベルト土層断面

2—12東西ベルト土層断面

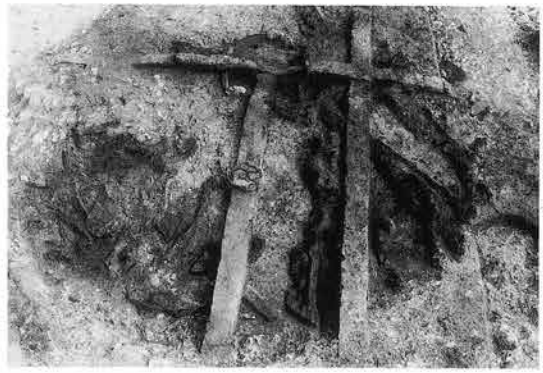
1号住居跡石囲炉検出状況

写真図版 4　溝、土塁、土層断面、1号住居跡

1号住居 石囲炉 石をはずした状況

1号住居 土層断面

1号住居 土層断面



2号住居 炭化材検出状況

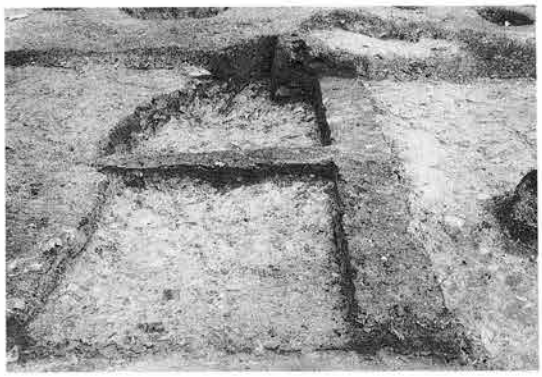
2号住居 土層断面

2号住居、39号土坑

2号住居 石囲炉 (平面)

(断面)

写真図版5　1・2号住居跡

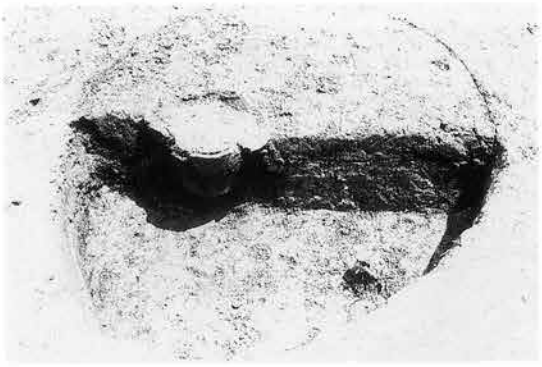


1号住居状遺構

1号住居状遺構

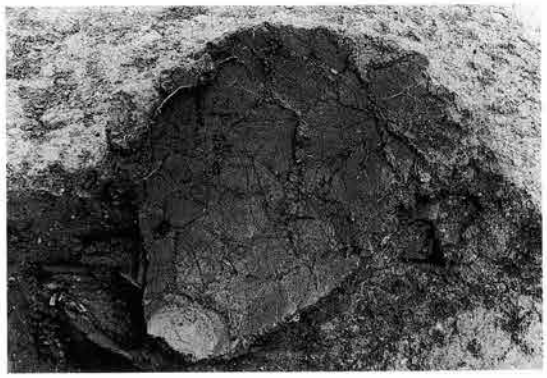
1号住居状 完掘

2号住居状 完掘



1号埋設土器 断面

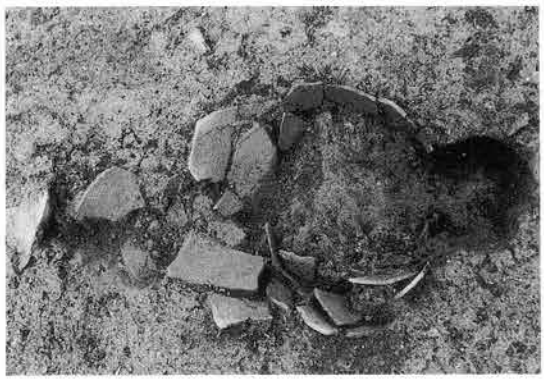
2号埋設土器 断面



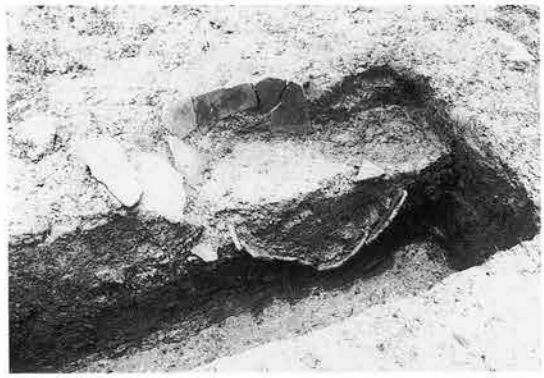
2号埋設土器 完掘

3号埋設土器 断面

写真図版 6　1・2 号住居状遺構、1～3 号埋設土器

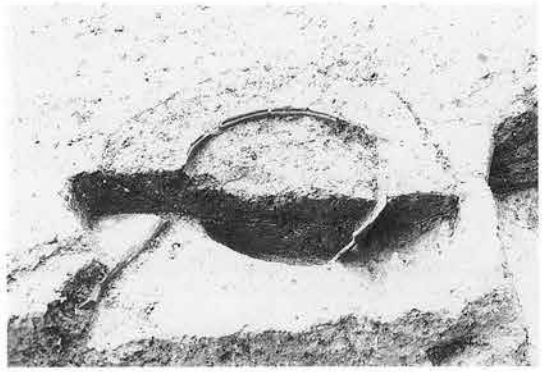


4号埋設土器 平面



4号埋設土器 断面

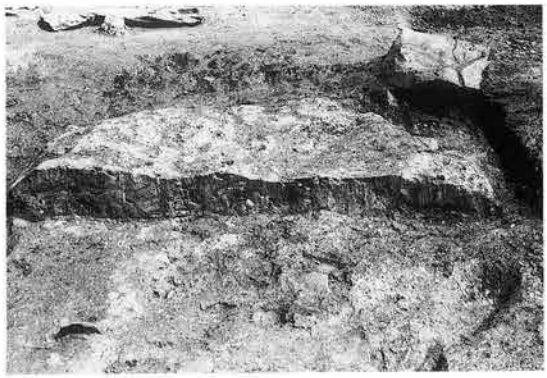
5号埋設土器 平面



5号埋設土器 断面

地山ハイキブロック1 断面

地山ハイキブロック2 平面



地山ハイキブロック2 断面

地山ハイキブロック3 断面

写真図版7　4・5号埋設土器、1～3号地山ハイキブロック

1号土坑 平面

2号土坑（中央） 平面

3号土坑 断面

3号土坑 平面

4号土坑 平面

5号土坑 平面

6号土坑 平面

8号土坑（大）、5号土坑（小） 平面

写真図版８　１～８号土坑

9号土坑 平面

10号土坑 平面

11号土坑 検出時

11号土坑 平面

12号土坑 断面

13号土坑 断面

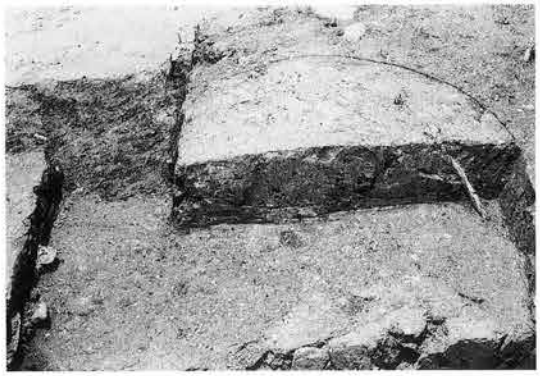
13号土坑 平面

14号土坑 平面

写真図版9　9～14号土坑

15号土坑 平面

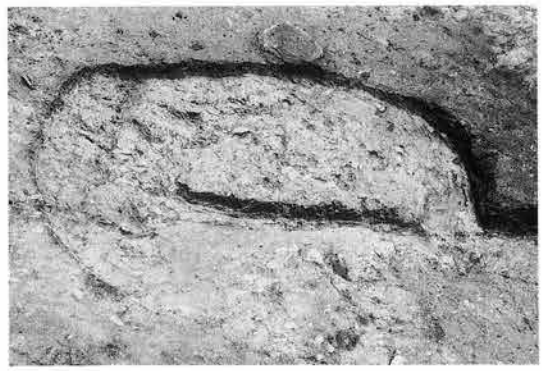
16号土坑 平面



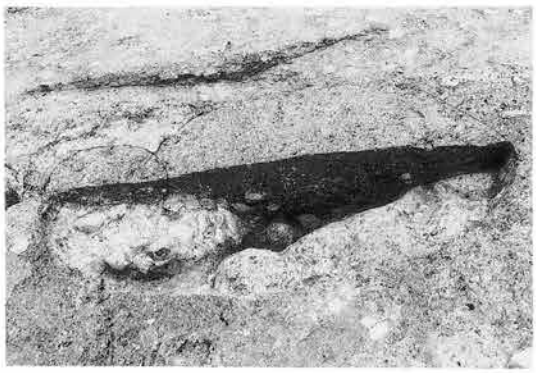
18号土坑 断面

18号土坑 平面

19号土坑 断面



19号土坑 平面



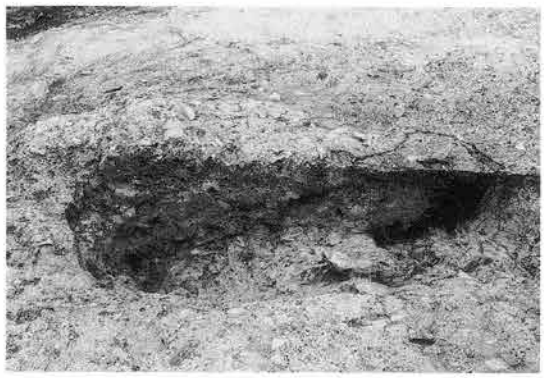
21号土坑(右)、 49号柱穴(左) 断面

21号土坑(右)、49号柱穴(左) 断面

写真図版10 15～21号土坑

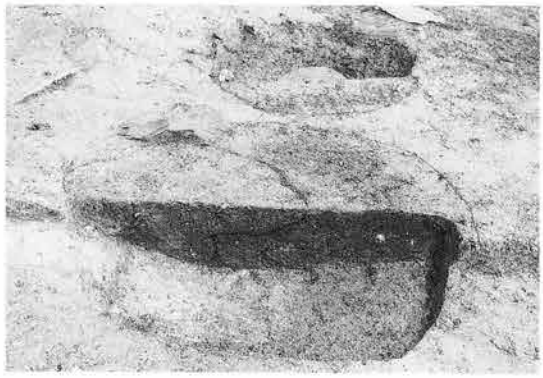
22号土坑　（断面）

22号土坑　（平面）



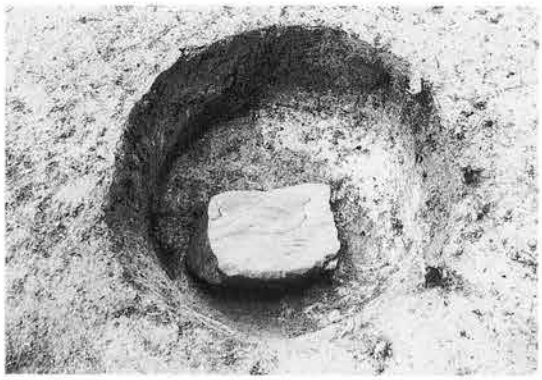
23号土坑　（断面）

23号土坑　（平面）



24号土坑　（断面）

24号土坑　（平面）



25号土坑　（平面）

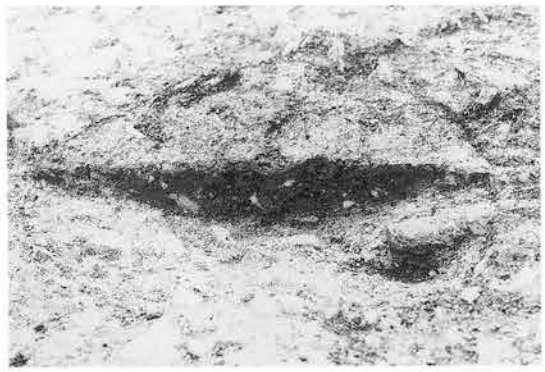
26号土坑　（平面）

写真図版11　22～26号土坑

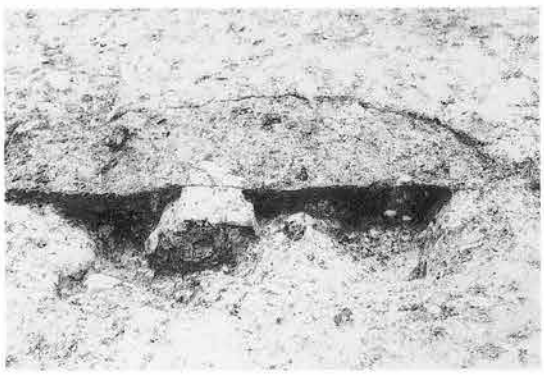
27号土坑　（平面）

28号土坑　（平面）

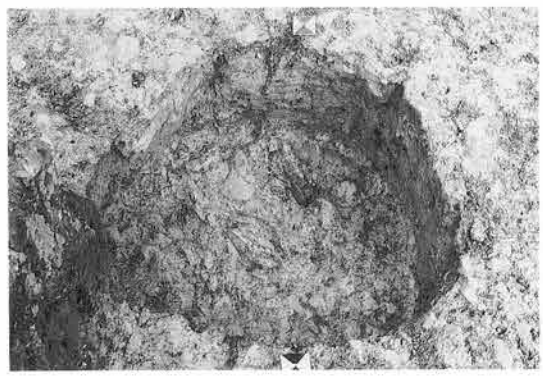
29号土坑　（平面）



31号土坑　（平面）

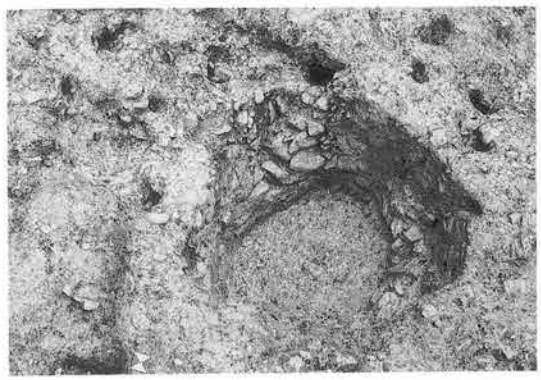


32号土坑　（平面）



33号土坑　（平面）

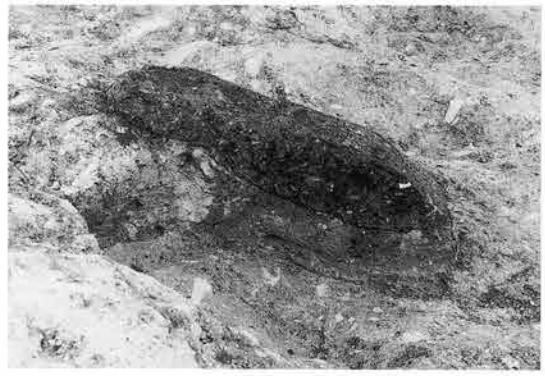
34号土坑　（断面）



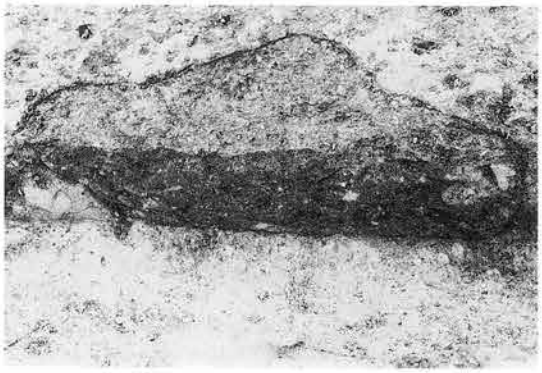
34号土坑（平面）

写真図版12　27～34号土坑

35号土坑 検出時



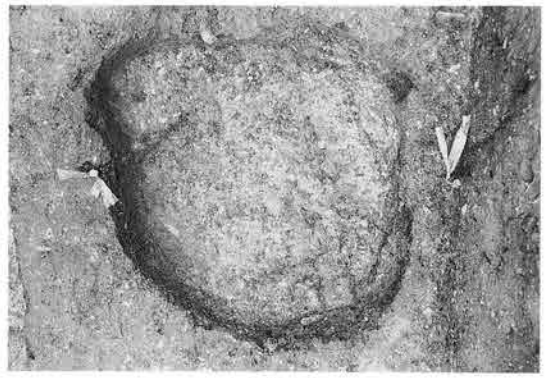
35号土坑 断面



36号土坑 断面

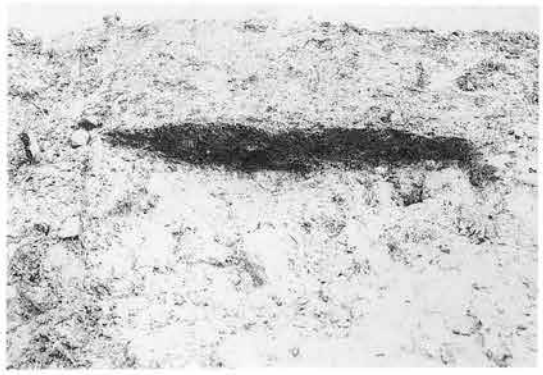
38号土坑 平面

40号土坑 平面



41号土坑 平面

42号土坑 平面



43号土坑 平面

写真図版13 35～43号土坑

46号土坑 平面

47号土坑 平面

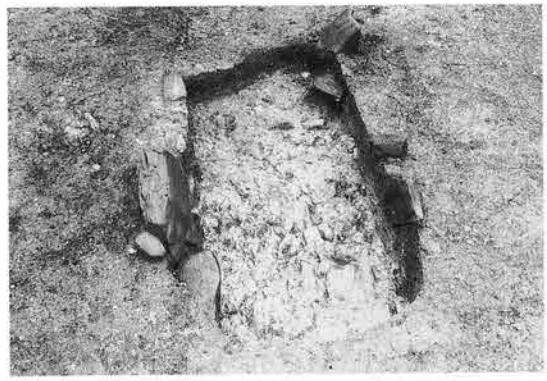
48号土坑 平面

作業風景

1号配石遺構 検出時

1号配石遺構 断面

2号配石遺構 断面



2号配石遺構 平面

写真図版14 46～48号土坑、1・2号配石遺構

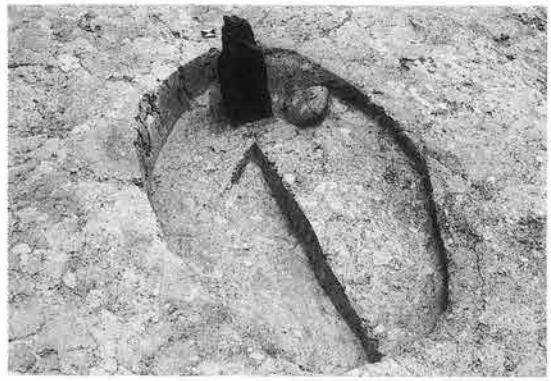
3号配石遺構 平面

3号配石遺構 断面

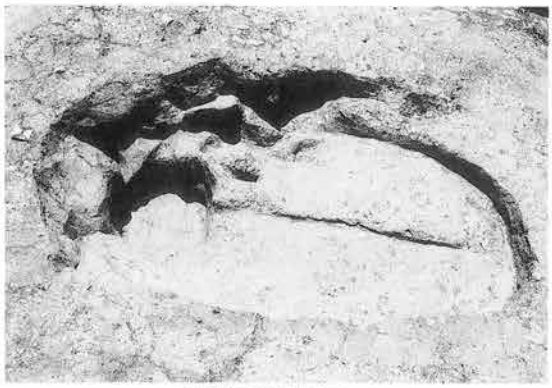
4号配石遺構 検出時

4号配石遺構 断面

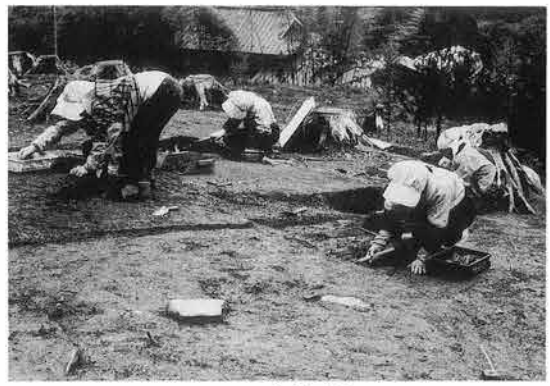
5号配石遺構 検出時



5号配石遺構 断面

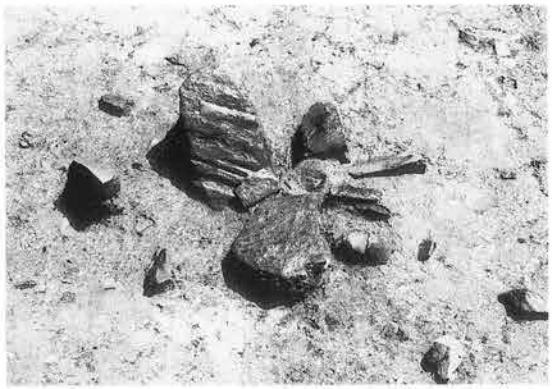


5号配石遺構 平面



作業風景

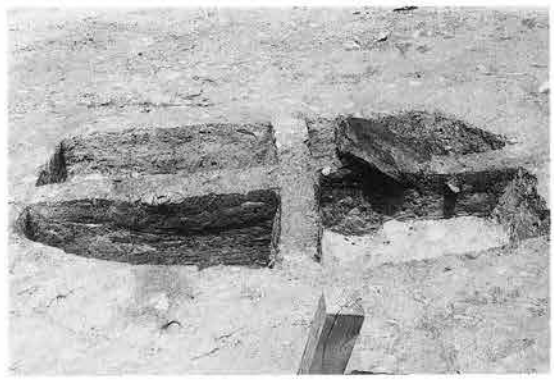
写真図版15　3～5配石遺構



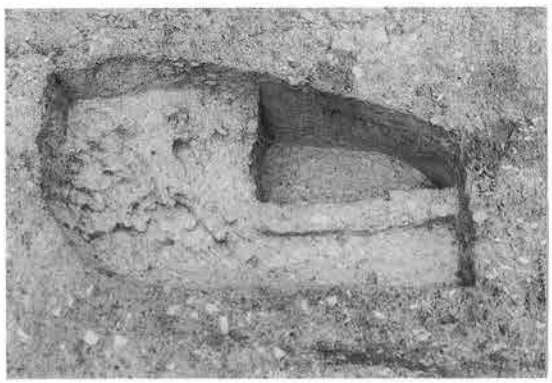
6号配石遺構 検出時

6号配石遺構

6号配石遺構 平面



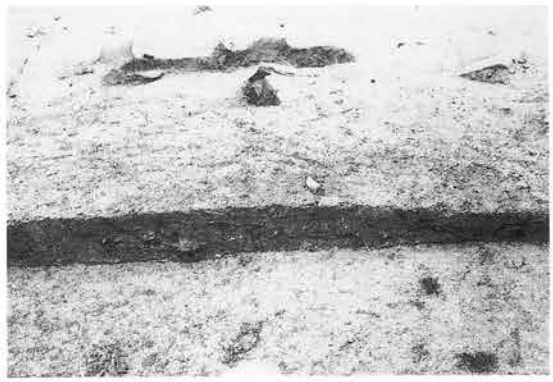
7号配石遺構 断面



7号配石遺構 平面

8号配石遺構 平面

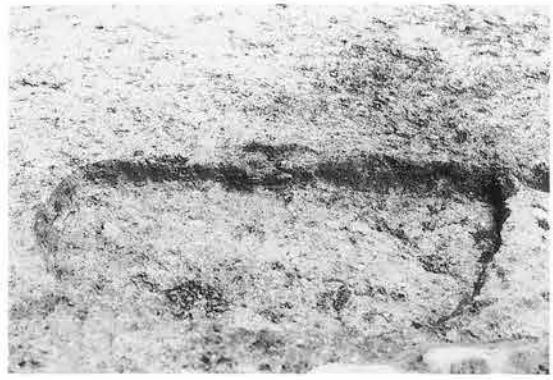
1号焼土遺構 平面



1号焼土遺構 断面

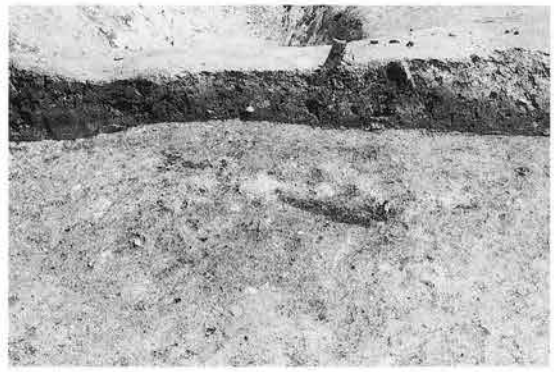
写真図版16　6～8配石遺構、1号焼土遺構

2号(左)、3号(右) 焼土遺構 平面



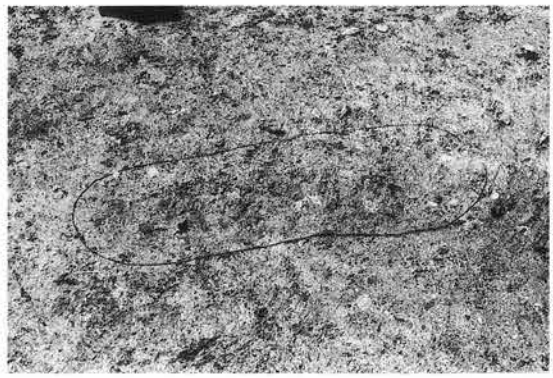
3号焼土遺構 断面

3号焼土遺構 炭化物検出状況

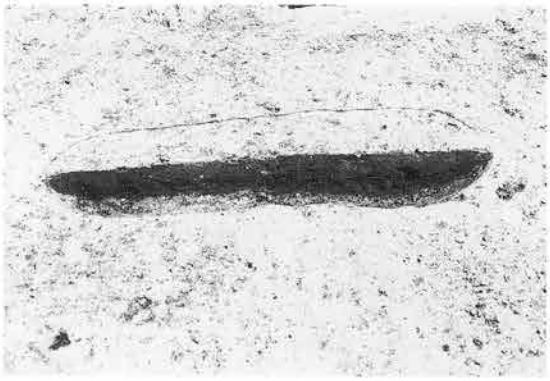


4号焼土遺構 平面

4号焼土遺構 炭化物検出



5号焼土遺構 平面



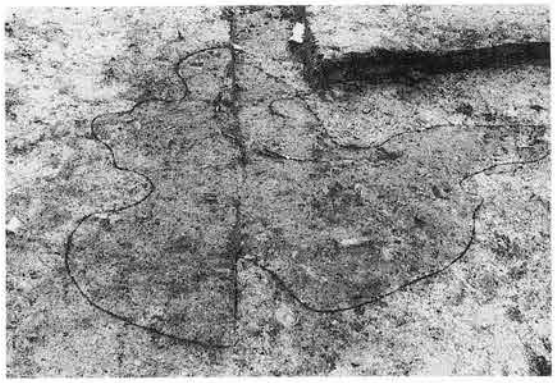
5号焼土遺構 断面

6号焼土遺構 断面

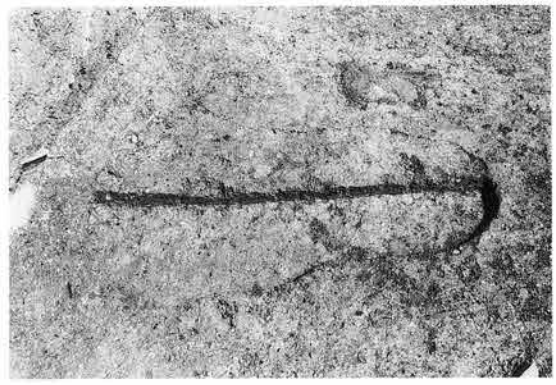
写真図版17　2～6号焼土遺構

7号焼土遺構 平面

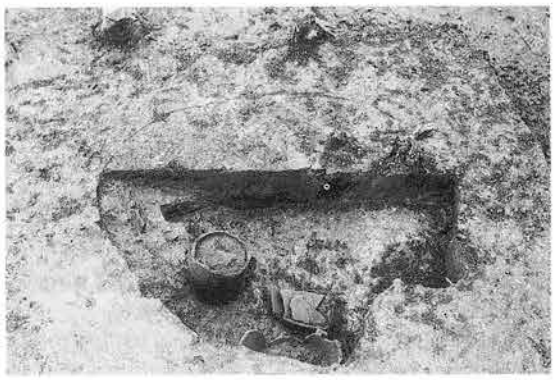
7号焼土遺構 断面



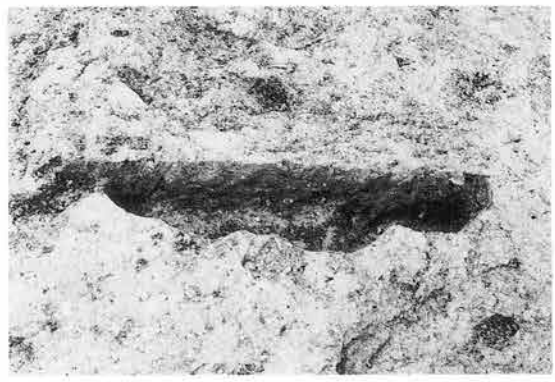
8号焼土遺構 平面



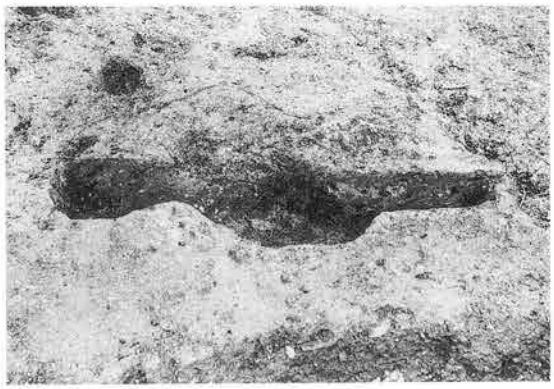
9号焼土遺構 断面



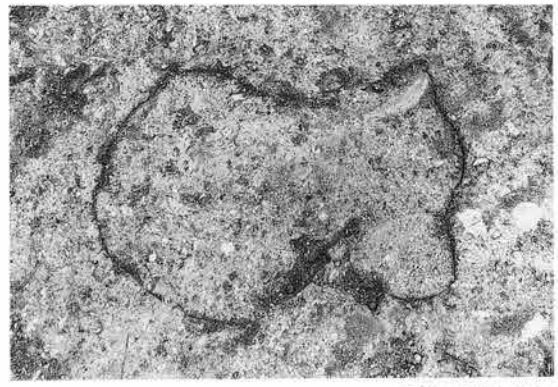
10号焼土遺構 断面



11号焼土遺構 断面



12号焼土遺構 断面



14号焼土遺構 平面

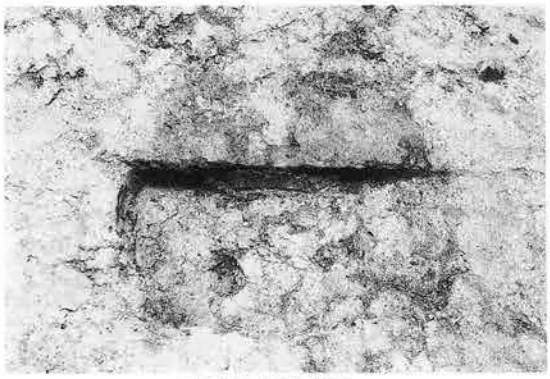
写真図版18 7～14号焼土遺構

15号焼土遺構 平面

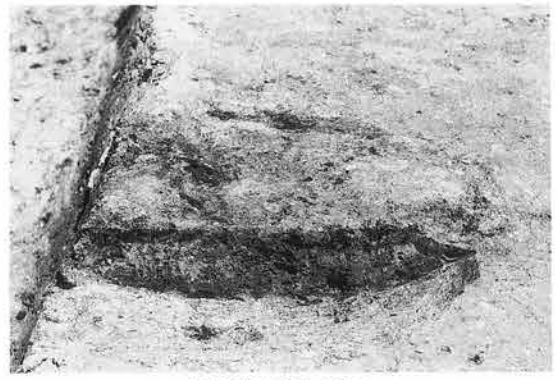
15号焼土遺構 断面

16号(左)、17号、18号(右) 焼土遺構 平面

16号 焼土遺構 断面



17号焼土遺構 断面



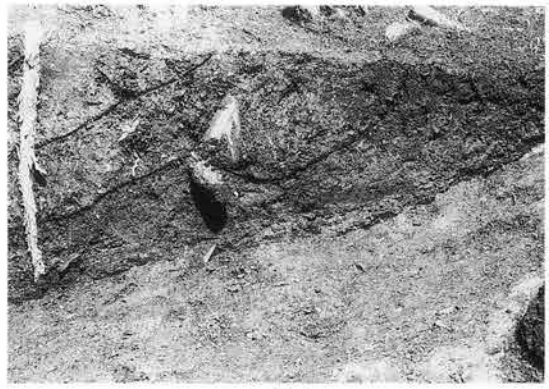
18号焼土遺構 断面

19号(上)、20号(下) 焼土遺構 平面

20号(左)、19号(右) 焼土遺構 断面

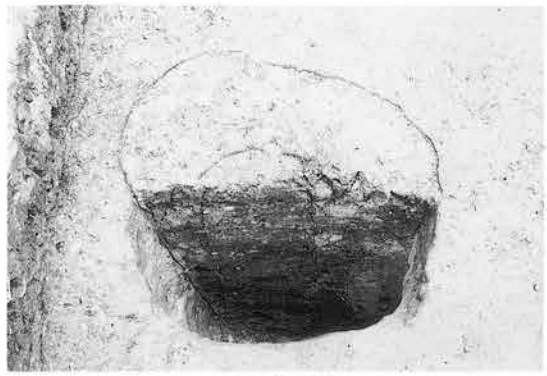
写真図版19 15～20号焼土遺構

21号焼土遺構 断面

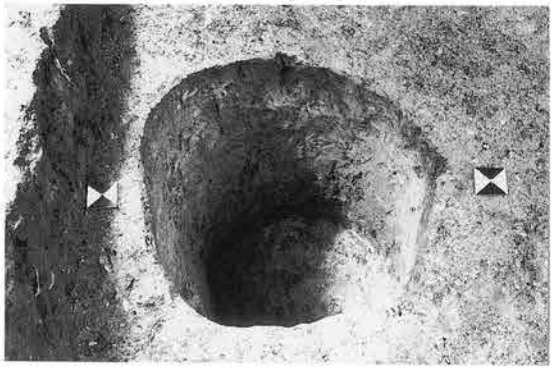


拡大

2号柱穴 検出時



2号柱穴 断面



2 号柱穴 平面

10号柱穴 検出時

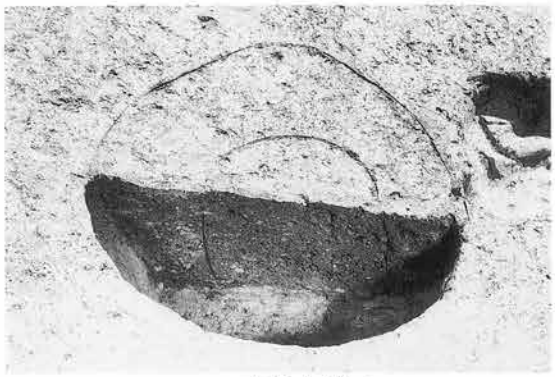
27号(左)、28号(右) 柱穴 検出時

27号(左)、28号(右)柱穴 断面

写真図版20 21号焼土遺構 2 ・10・27・28号柱穴

25号柱穴 断面

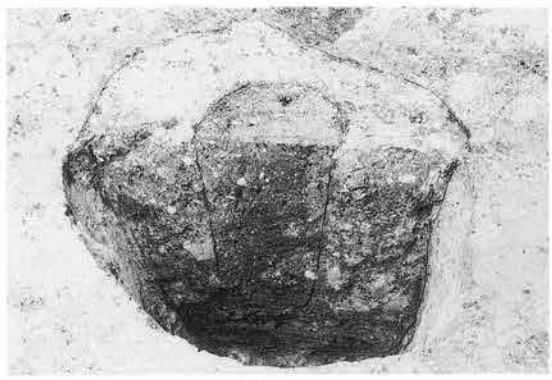
36号(左)、37号(右) 柱穴 平面



57号柱穴 断面

57号柱穴 平面

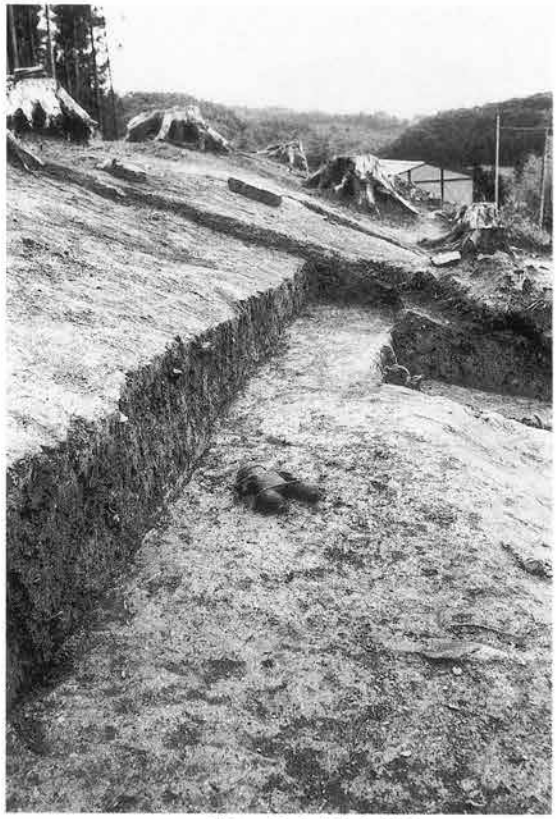
140号柱穴 検出時



140号柱穴 断面

140号柱穴 平面

写真図版21 25・36・37・140号柱穴



2−8グリッド 土偶出土状況

2−8グリッド 土偶出土状況

3−8グリッド 土偶出土状況

2−11グリッド 石斧埋納状況

2−4グリッド土偶出土状況 ⅢＢ土層

1−8グリッド ⅢＢ中層土器出土状況

2−3グリッド 中層下部土器出土状況

写真図版22 遺物出土状況1

皿出土状況

注口土器出土状況

耳飾出土状況

香炉型土器出土状況

アスファルト入り土器出土状況

皿出土状況

注口土器出土状況

石棒出土状況

写真図版23 遺物出土状況2

特殊石器出土状況

石皿出土状況

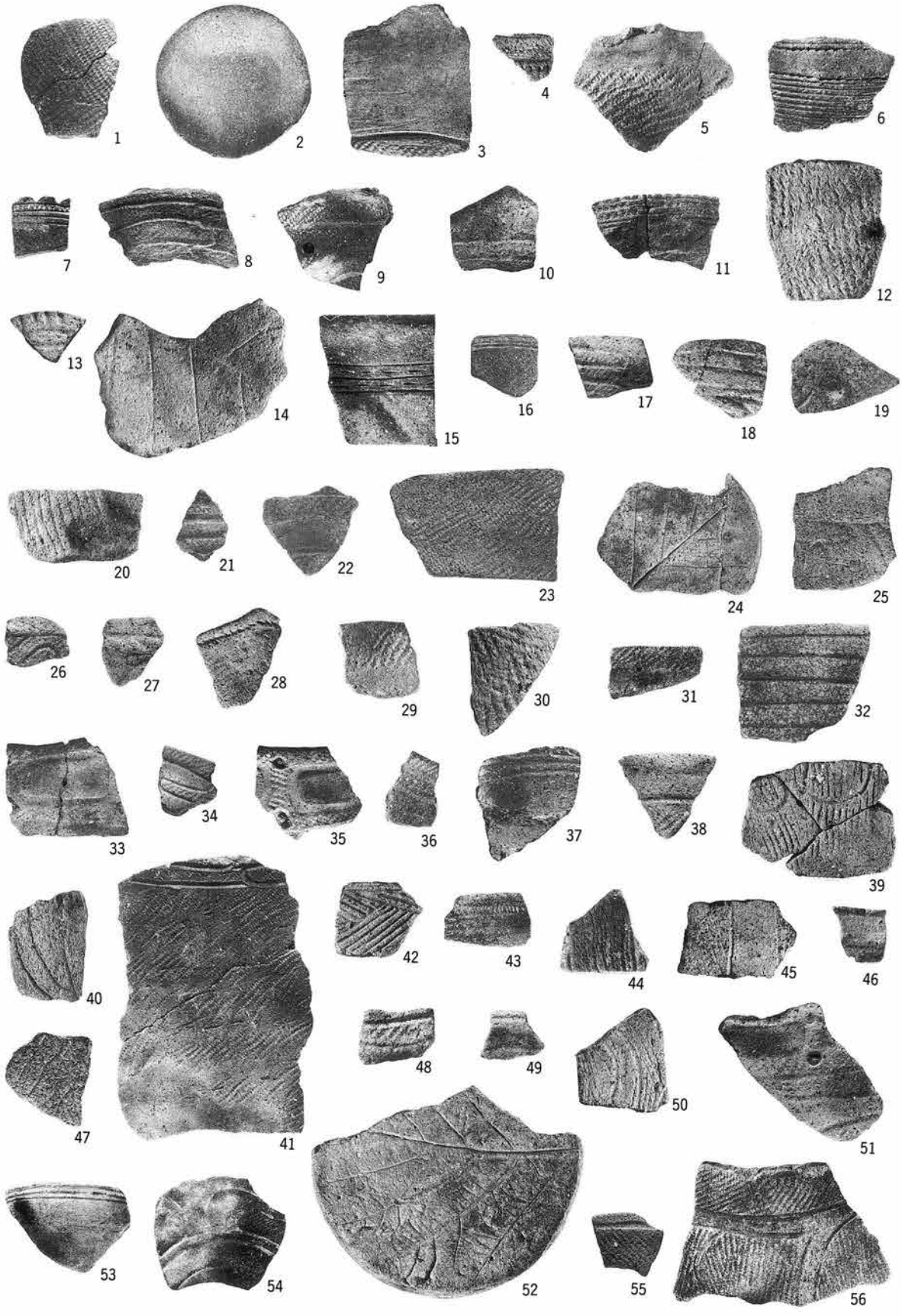
壺出土状況

壺出土状況

獣骨出土状況

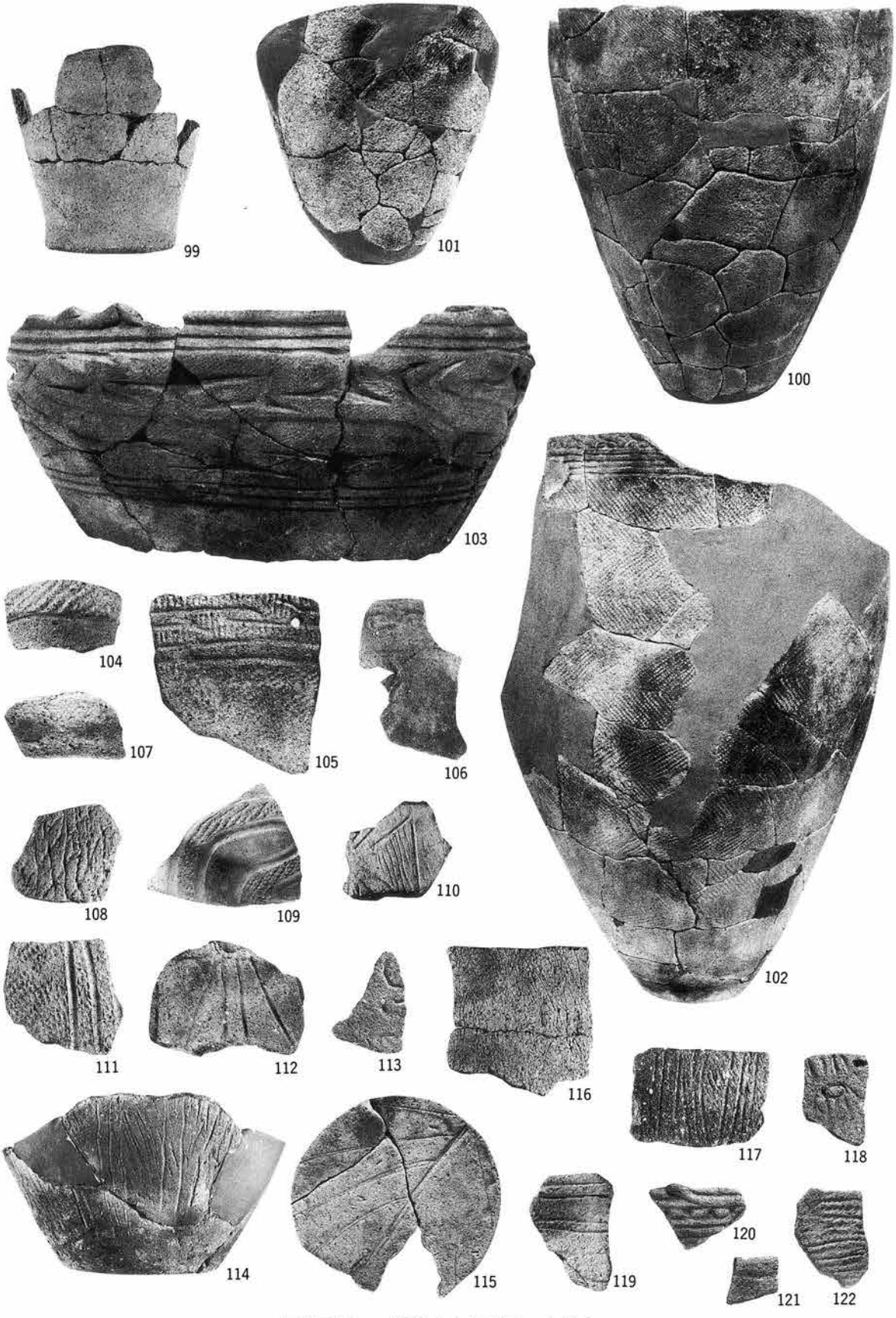
作業風景

写真図版24 遺物出土状況3

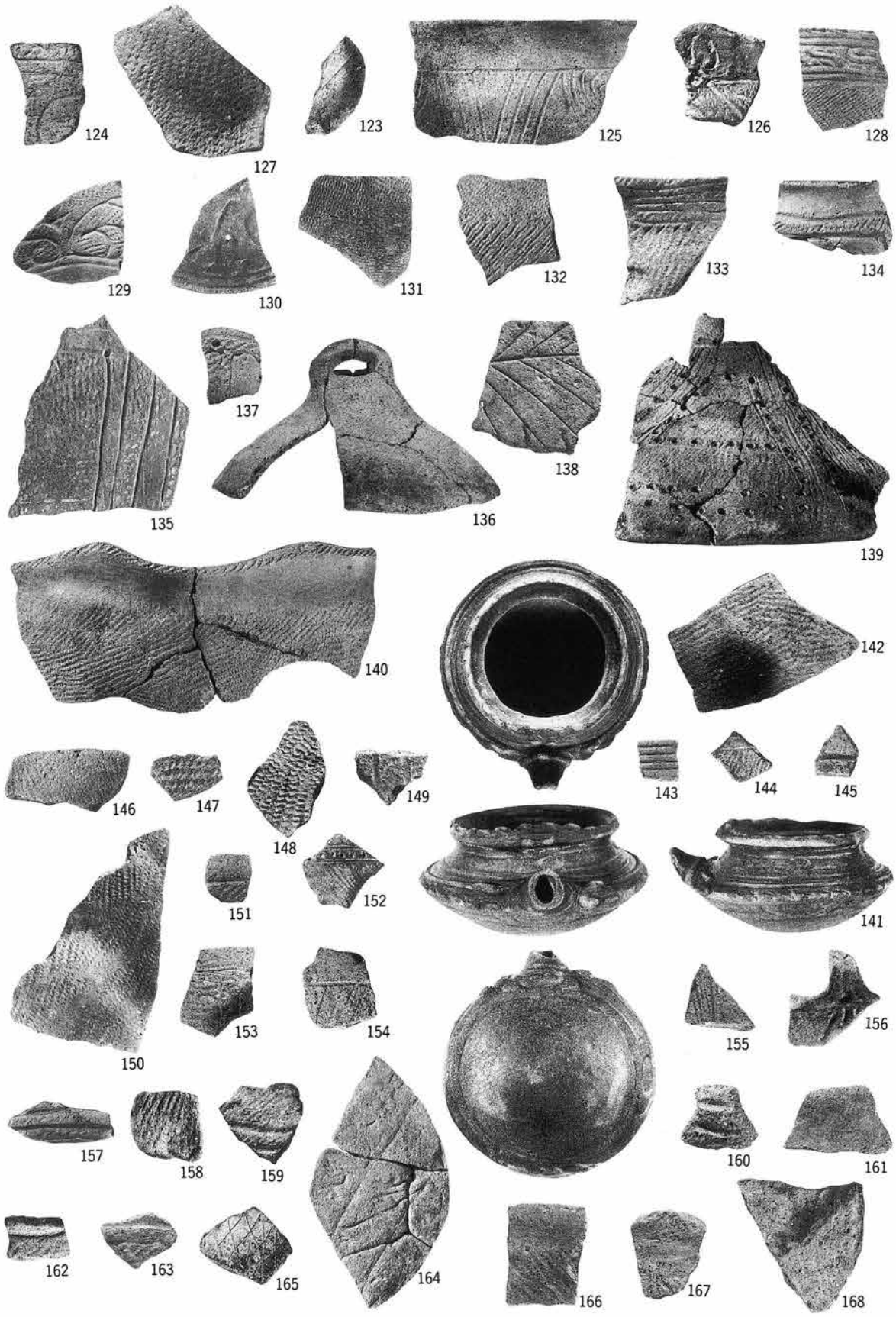


写真図版25 遺構内出土遺物・土器1

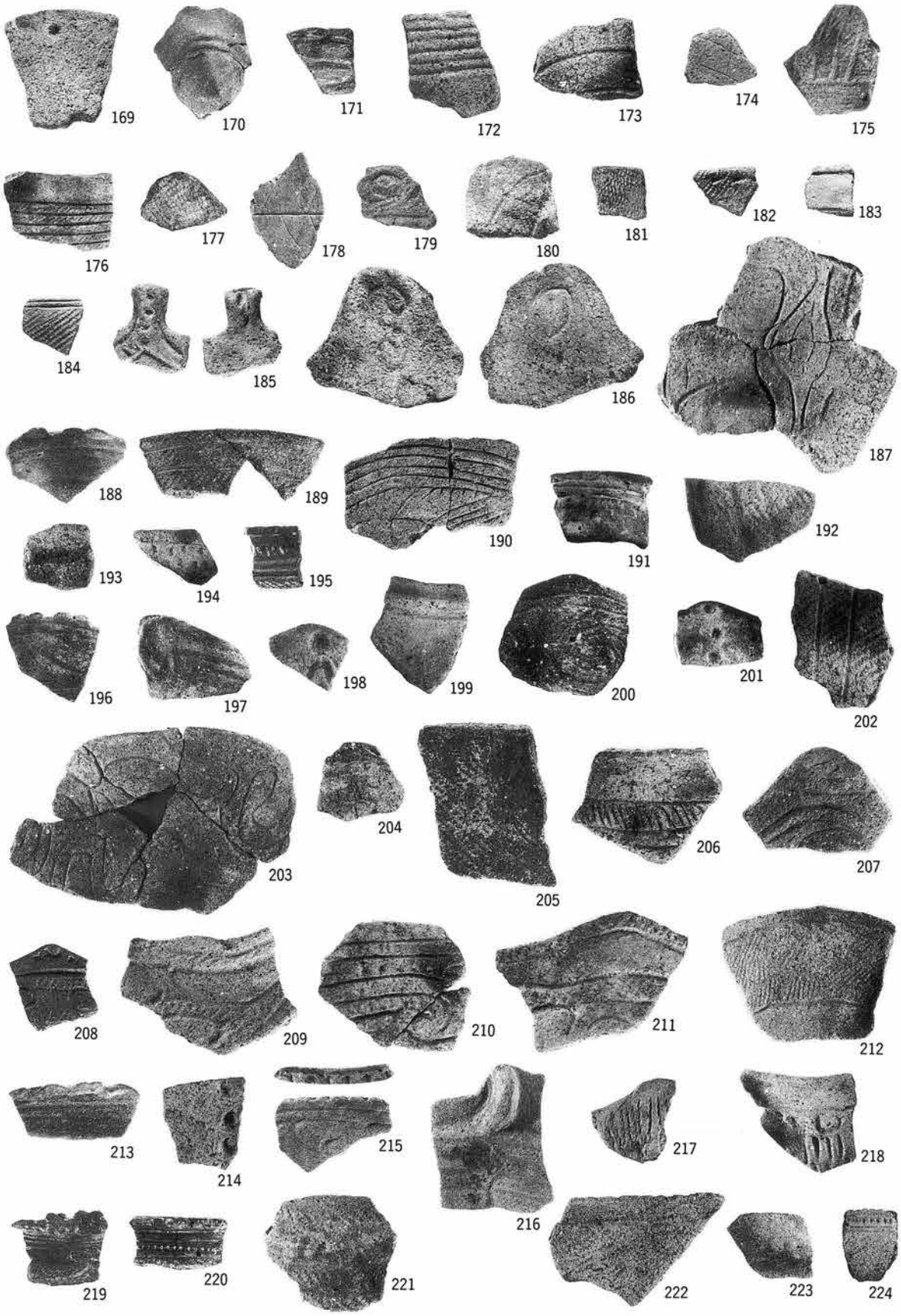
写真図版26　遺構内出土遺物・土器 2



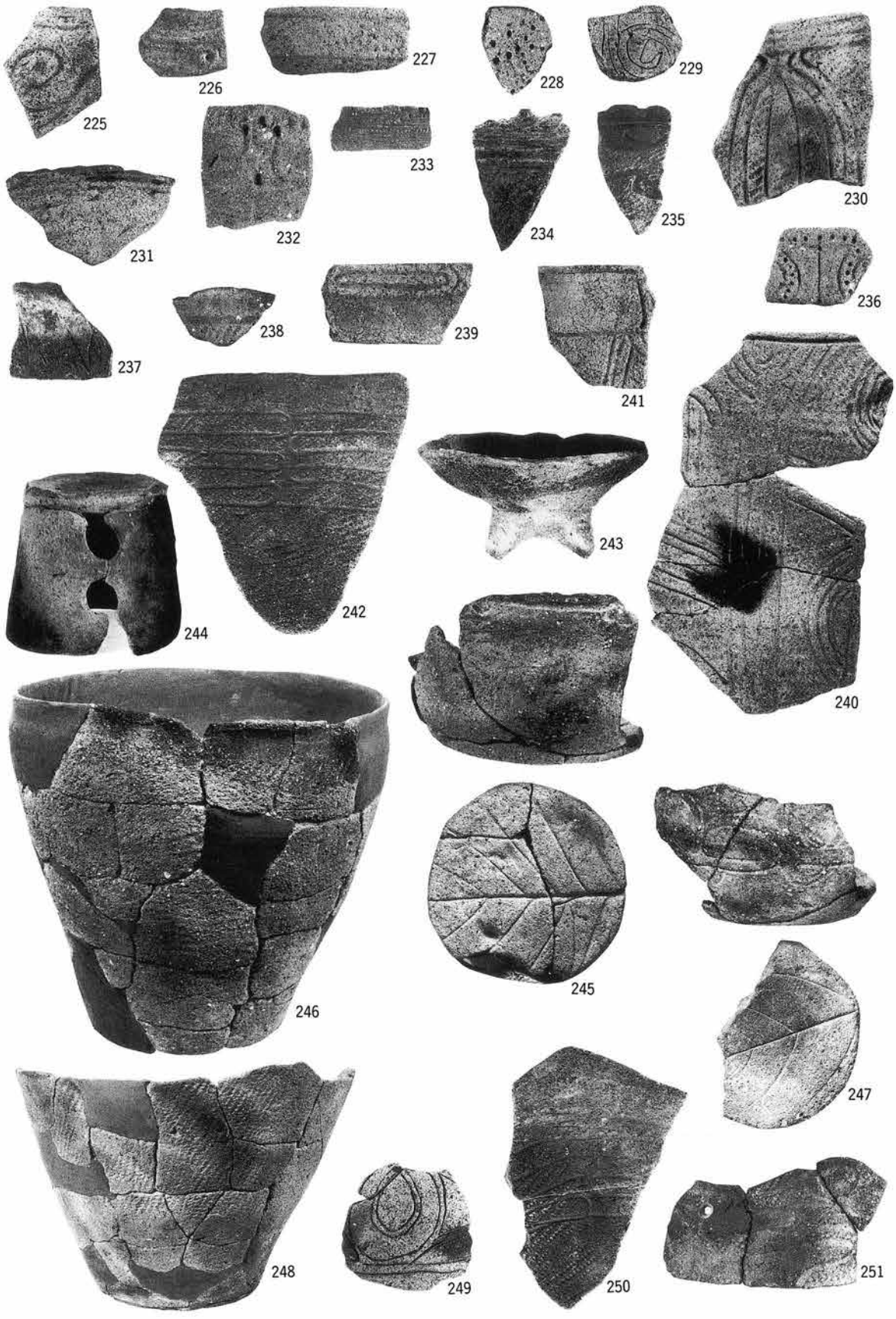
写真図版27　遺構内出土遺物・土器 3



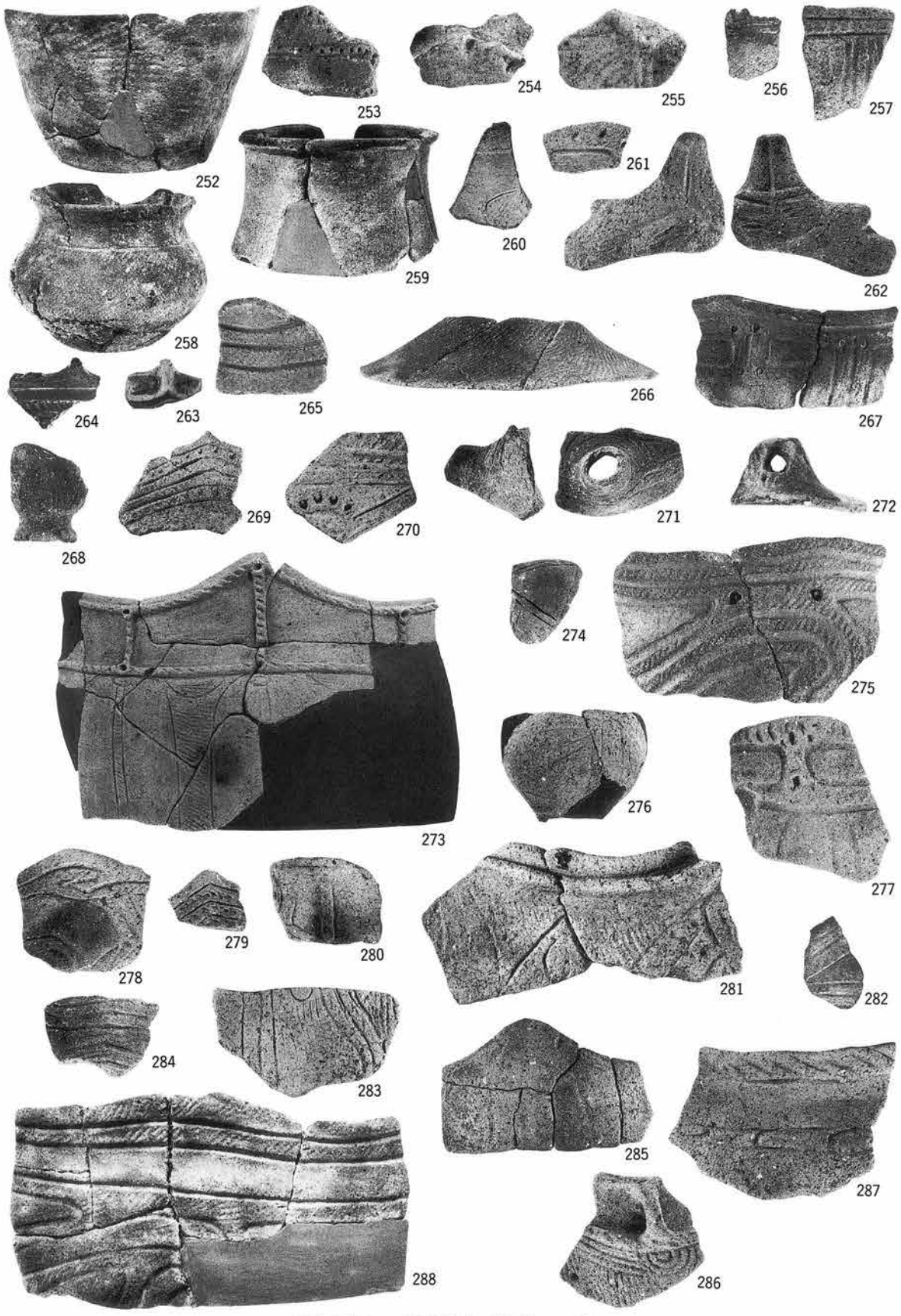
写真図版28　遺構内出土遺物・土器 4



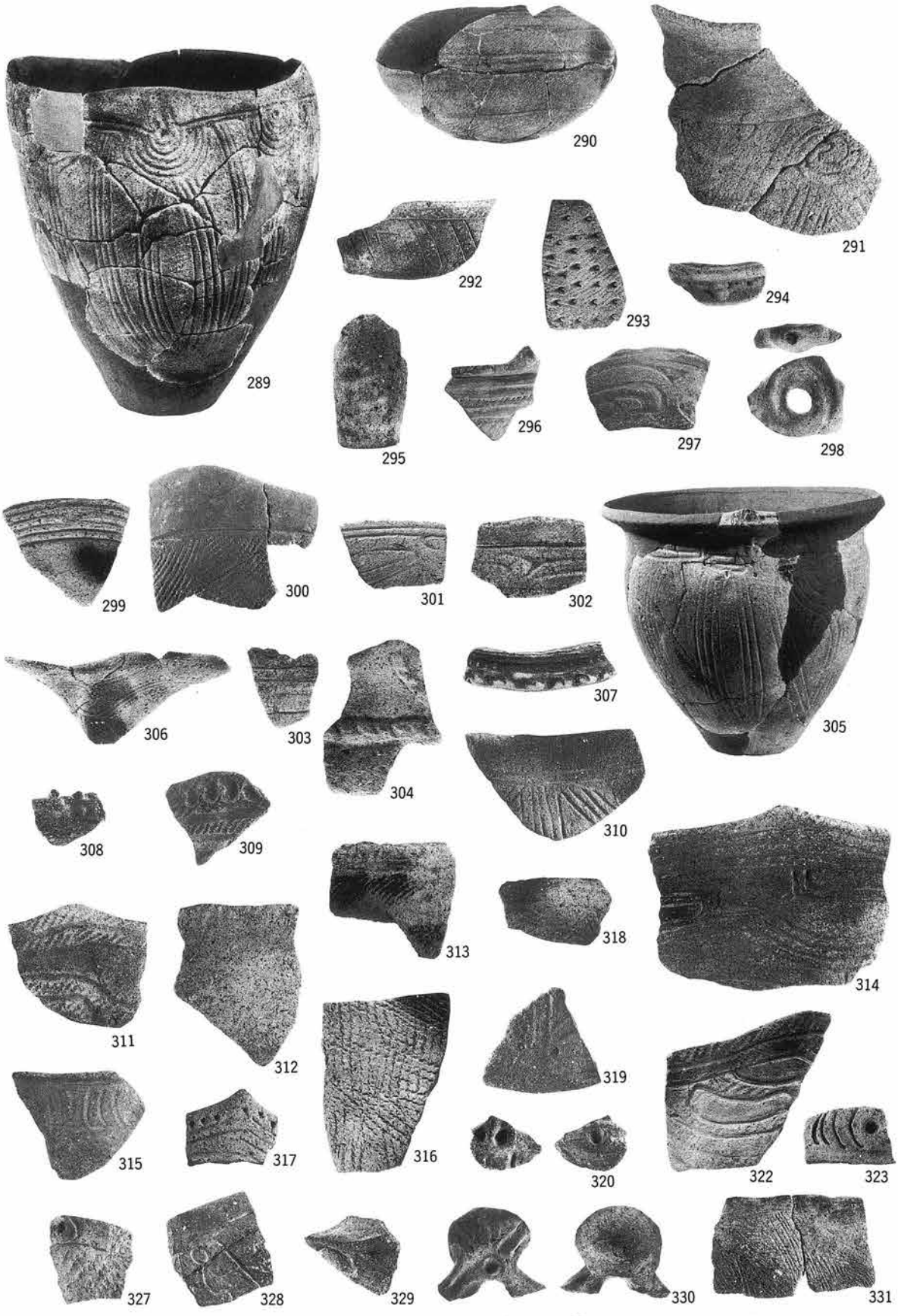
写真図版29　遺構内出土遺物・土器5、遺構外出土遺物・土器1



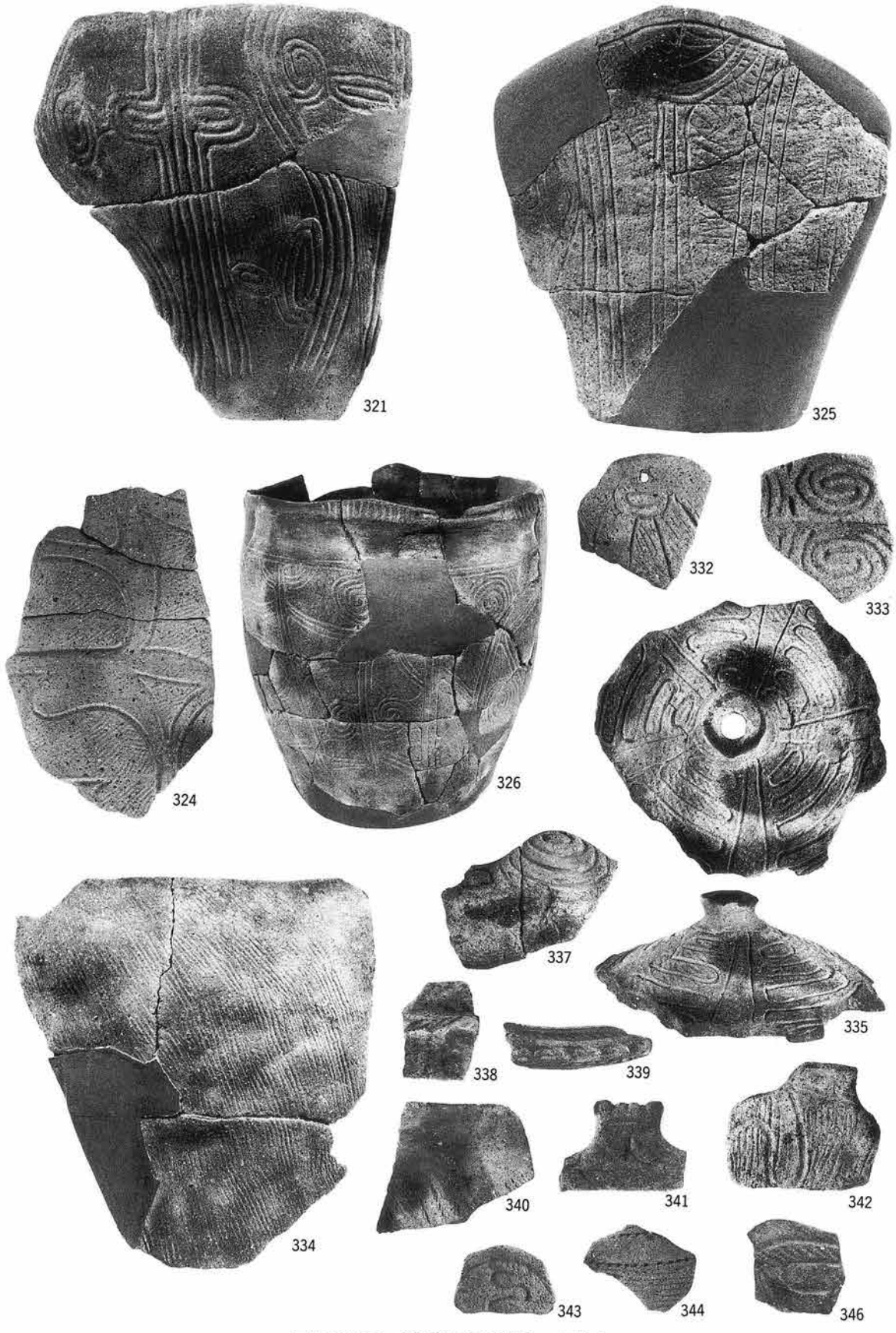
写真図版30　遺構外出土遺物・土器 2



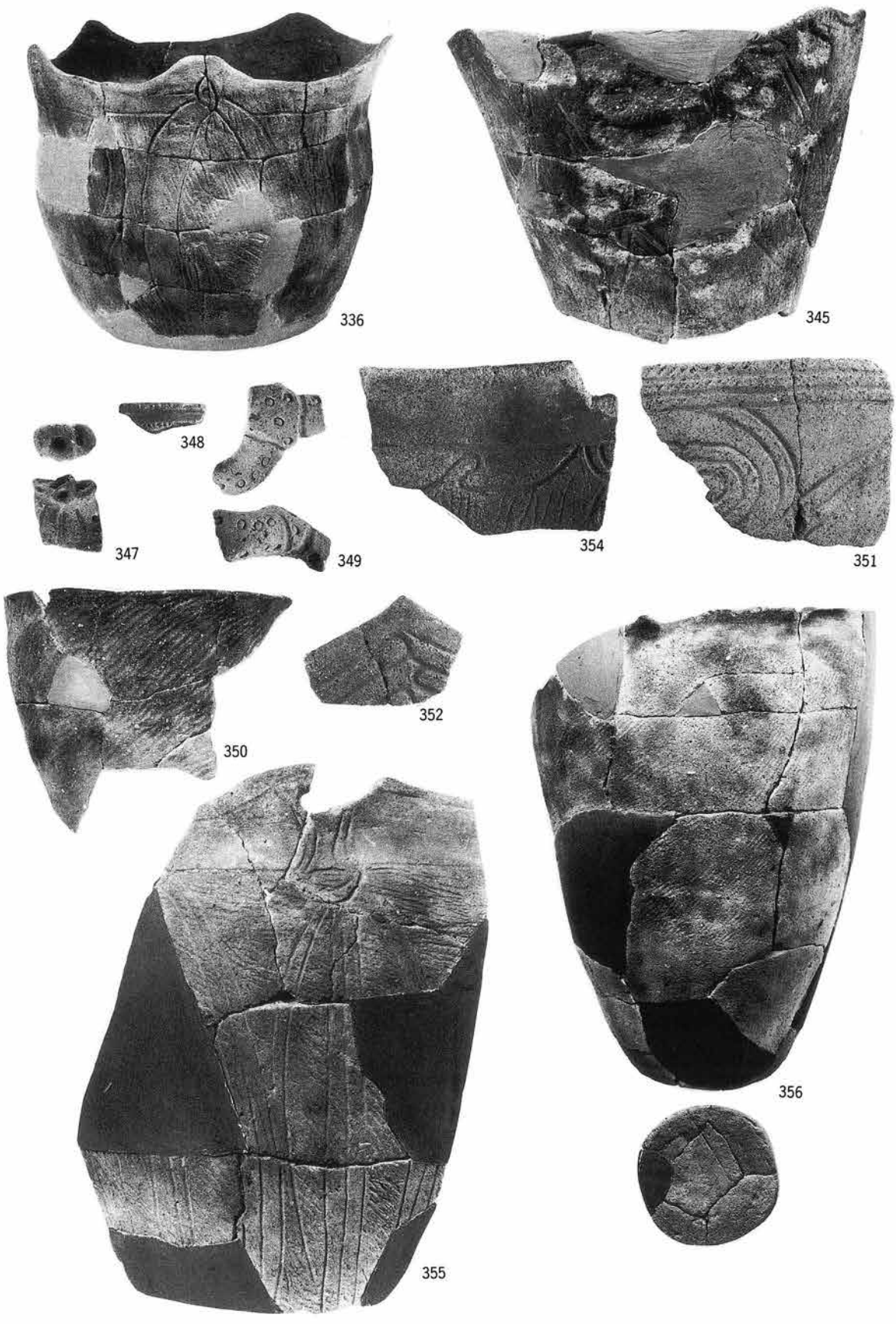
写真図版31　遺構外出土遺物・土器 3



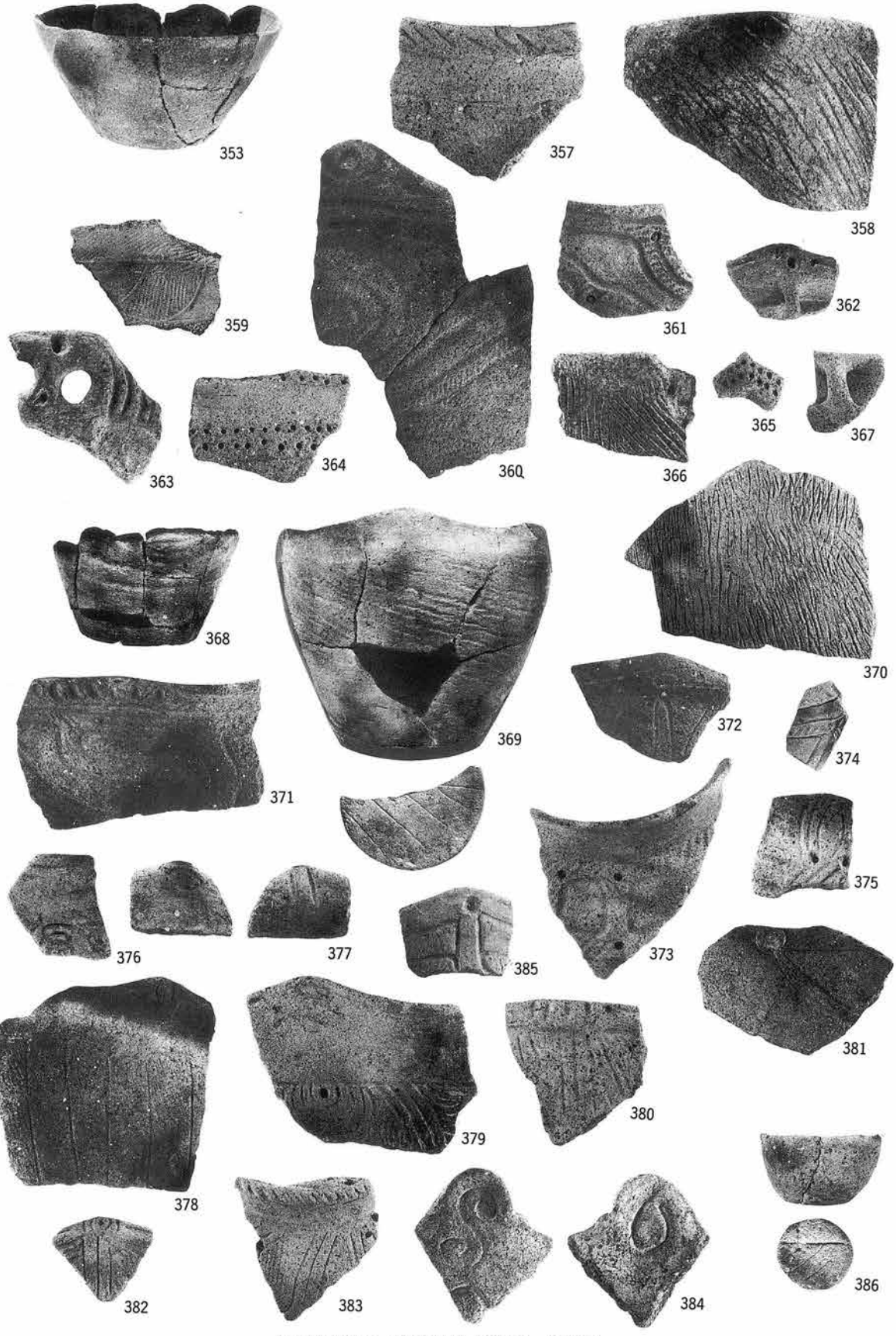
写真図版32　遺構外出土遺物・土器 4



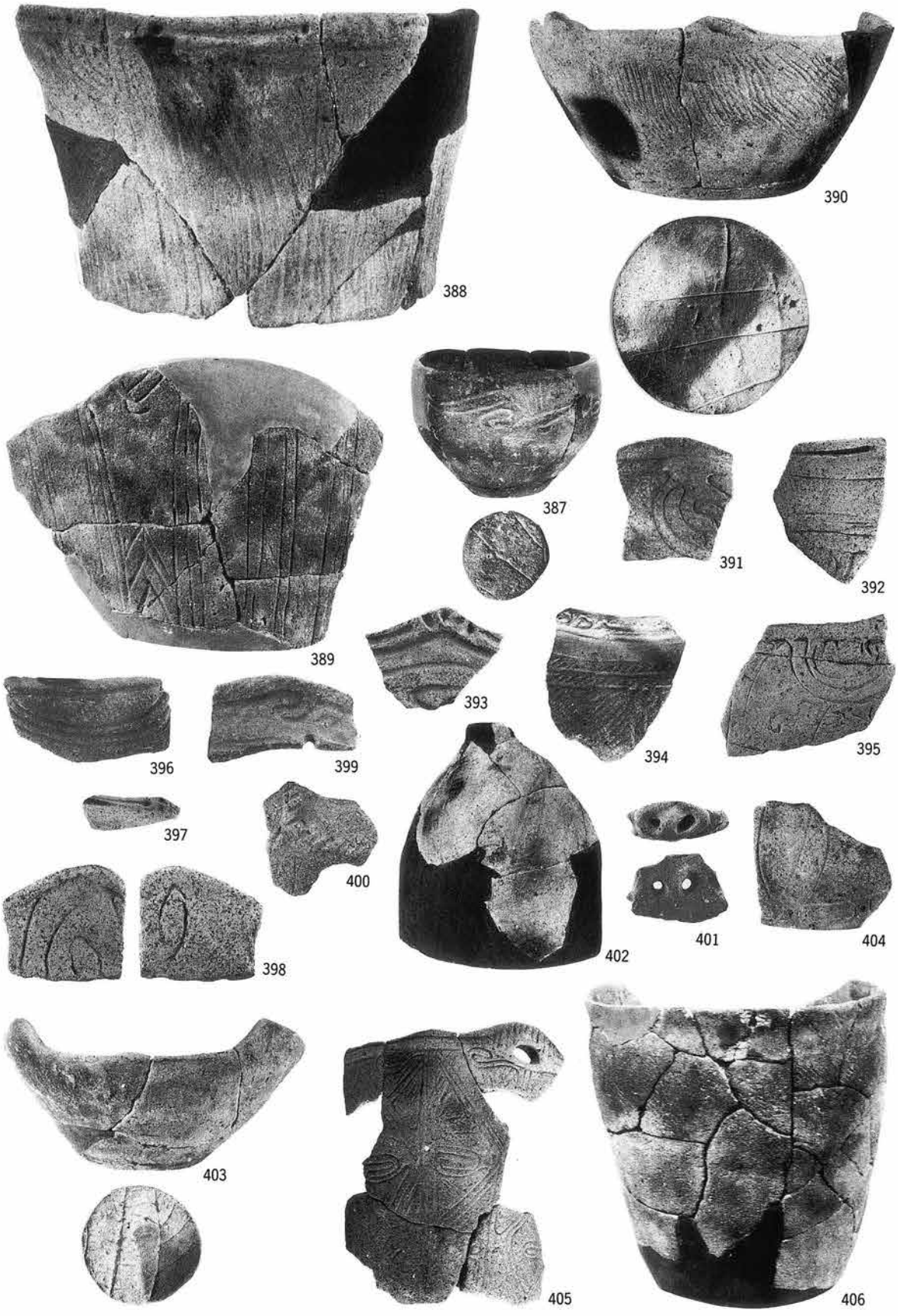
写真図版33　遺構外出土遺物・土器 5



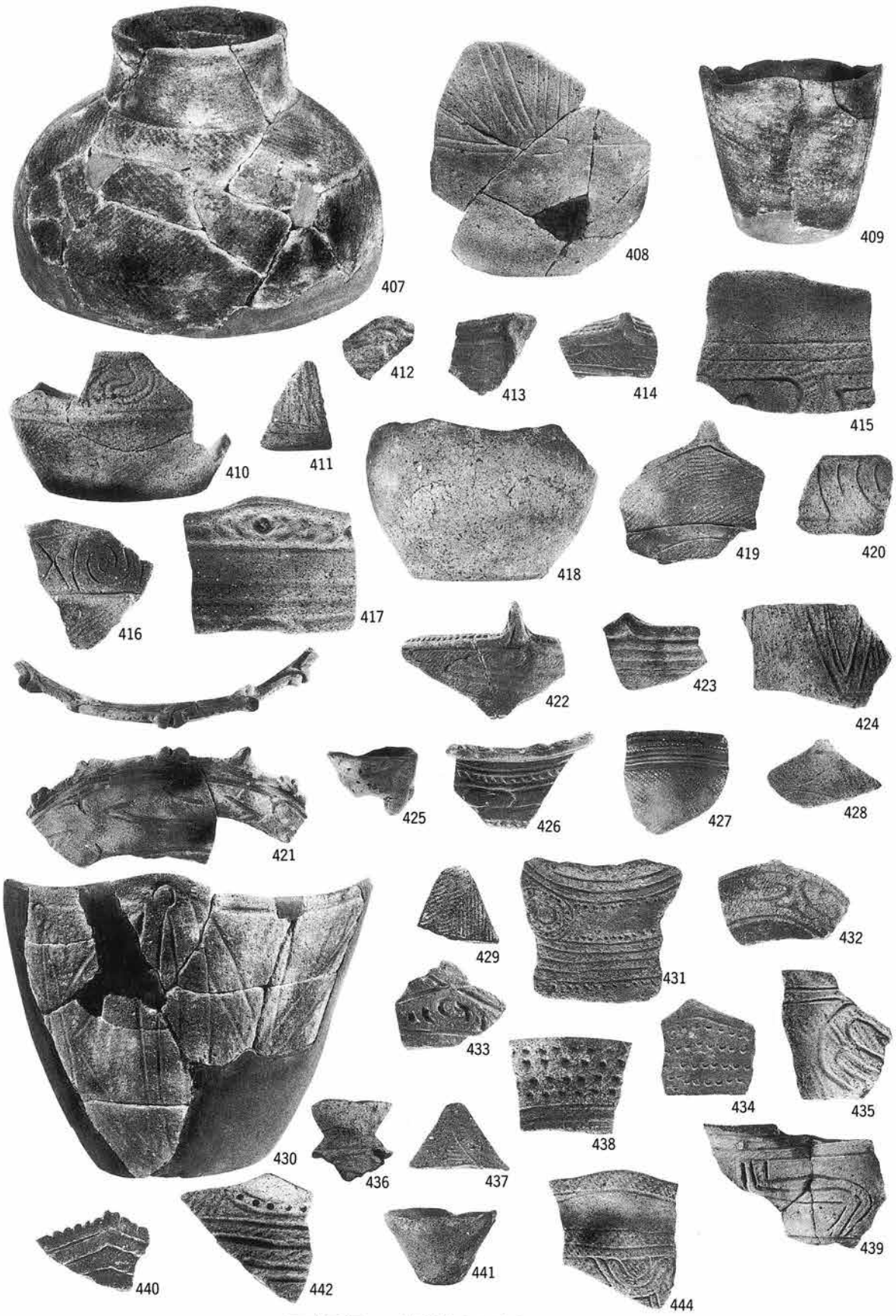
写真図版34　遺構外出土遺物・土器 6



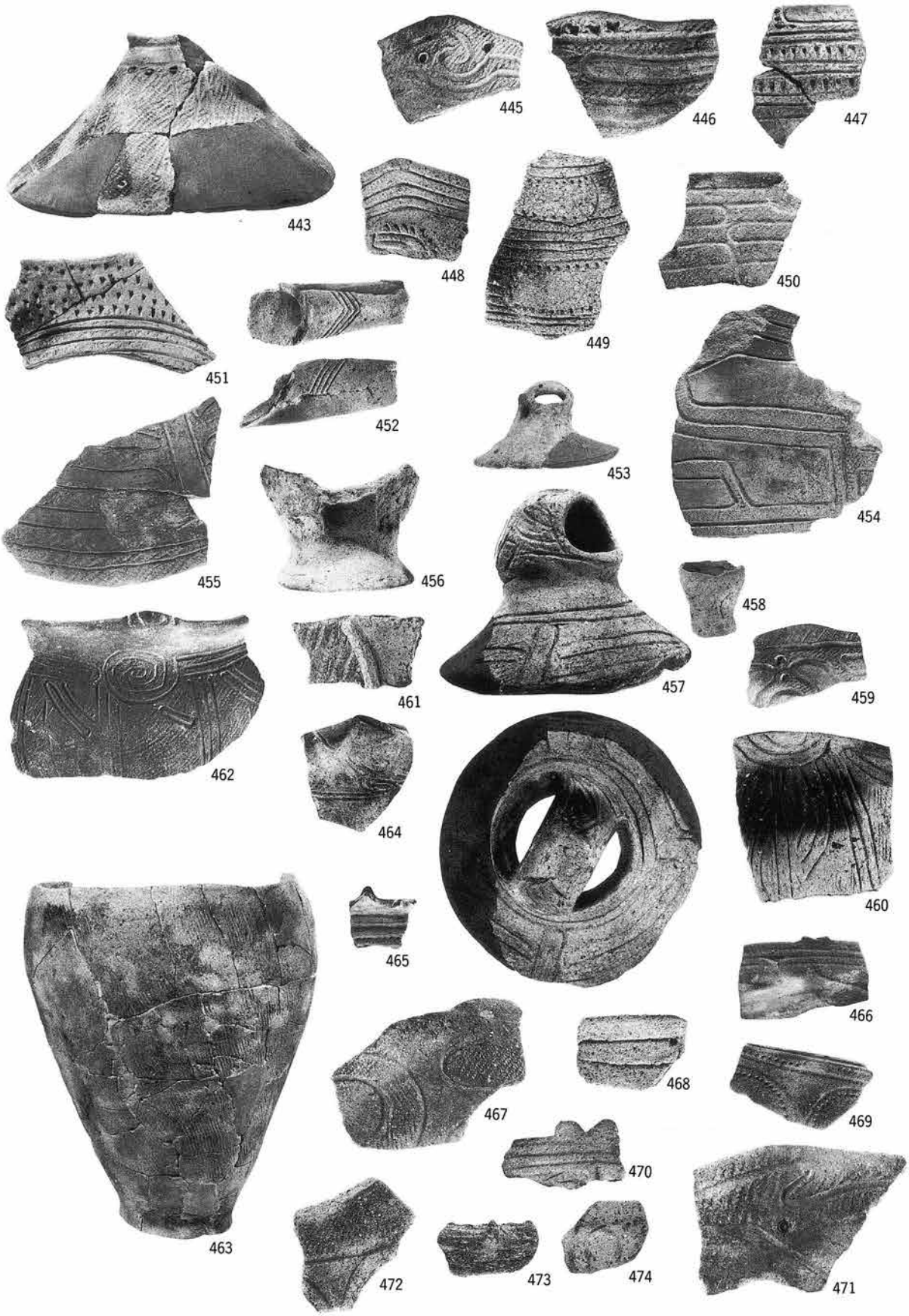
写真図版35　遺構外出土遺物・土器 7



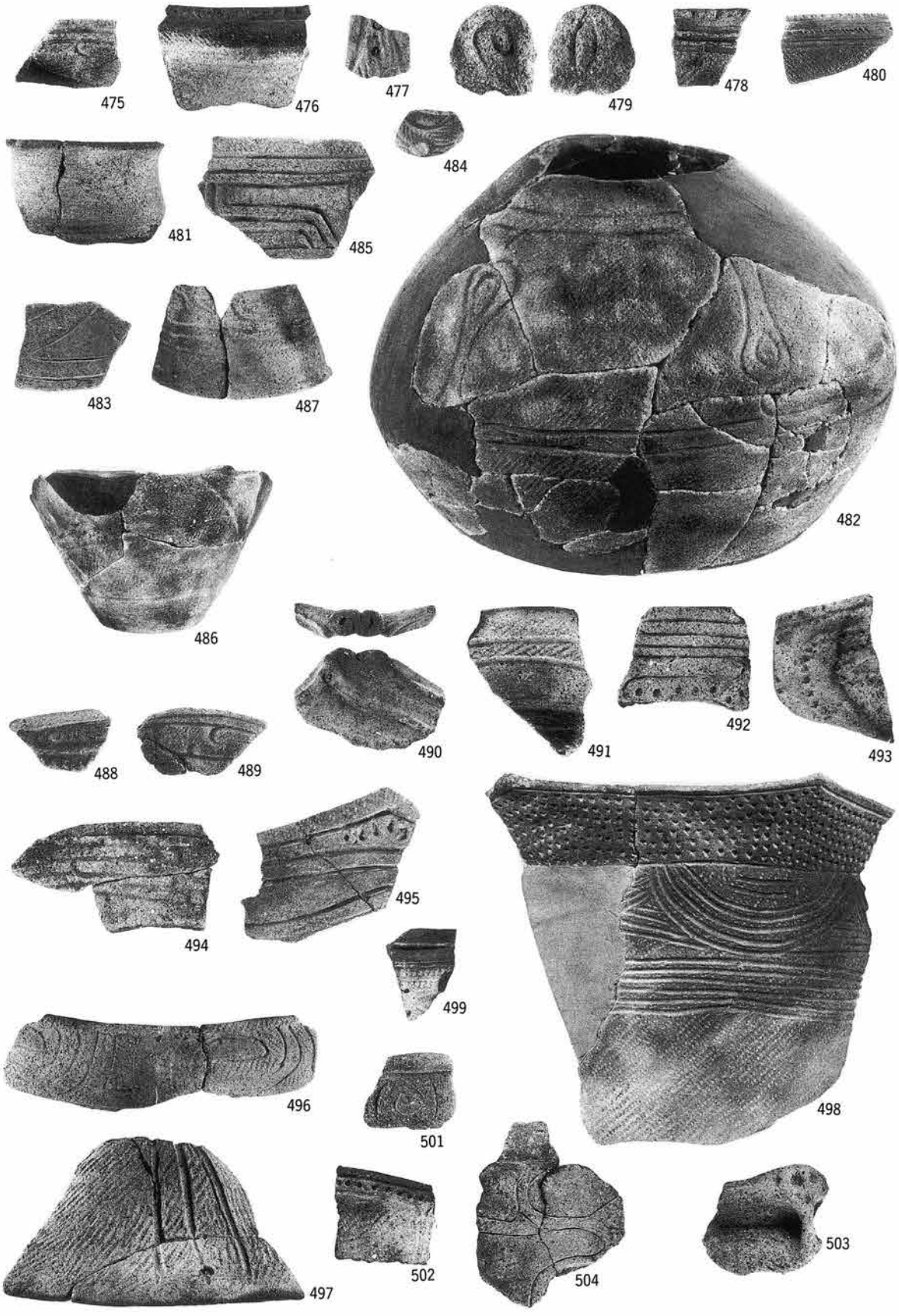
写真図版36　遺構外出土遺物・土器 8



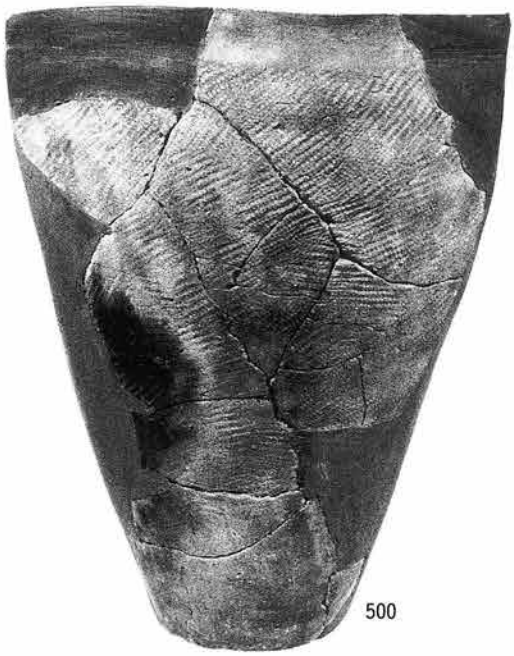
写真図版37　遺構外出土遺物・土器 9



写真図版38　遺構外出土遺物・土器10



写真図版39　遺構外出土遺物・土器11

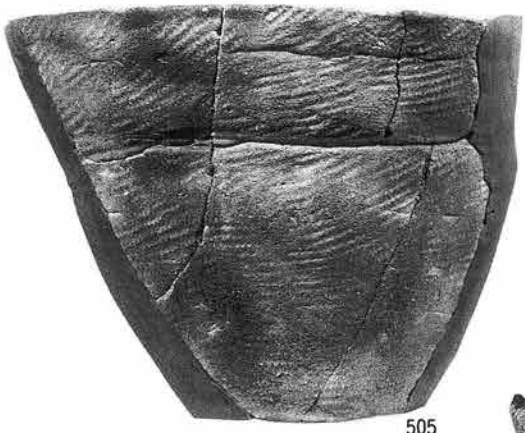

500

507

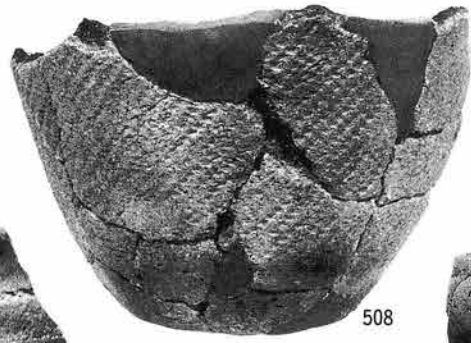
506

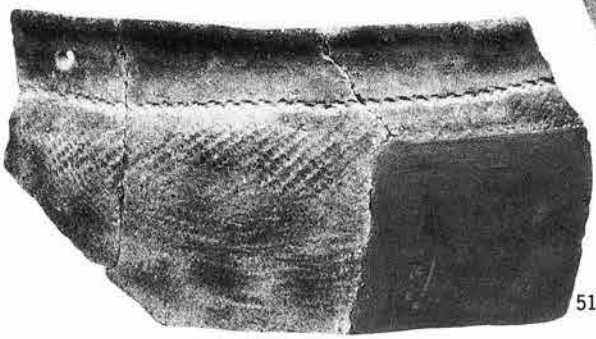
512

510


505

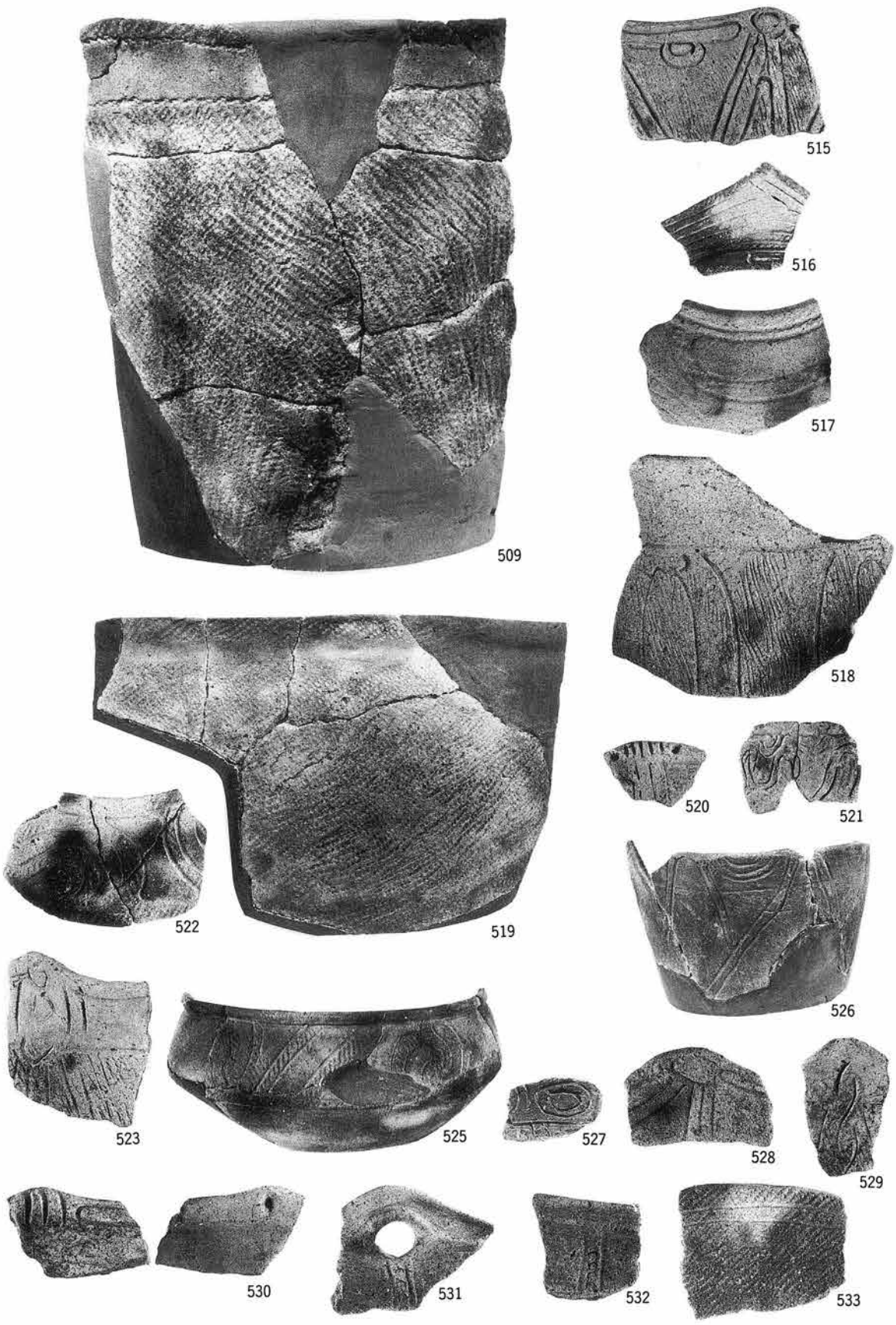
511


508

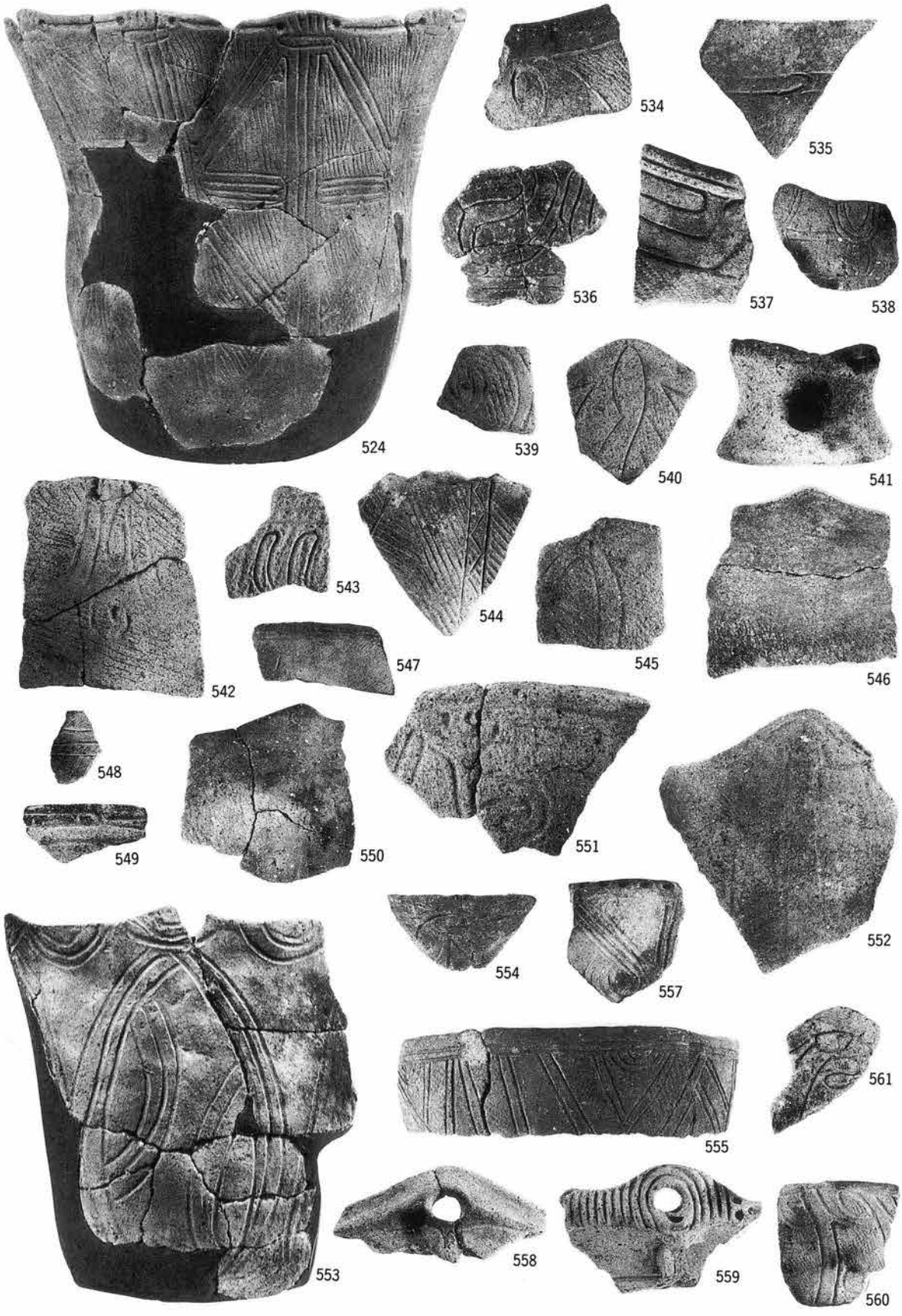

513

514

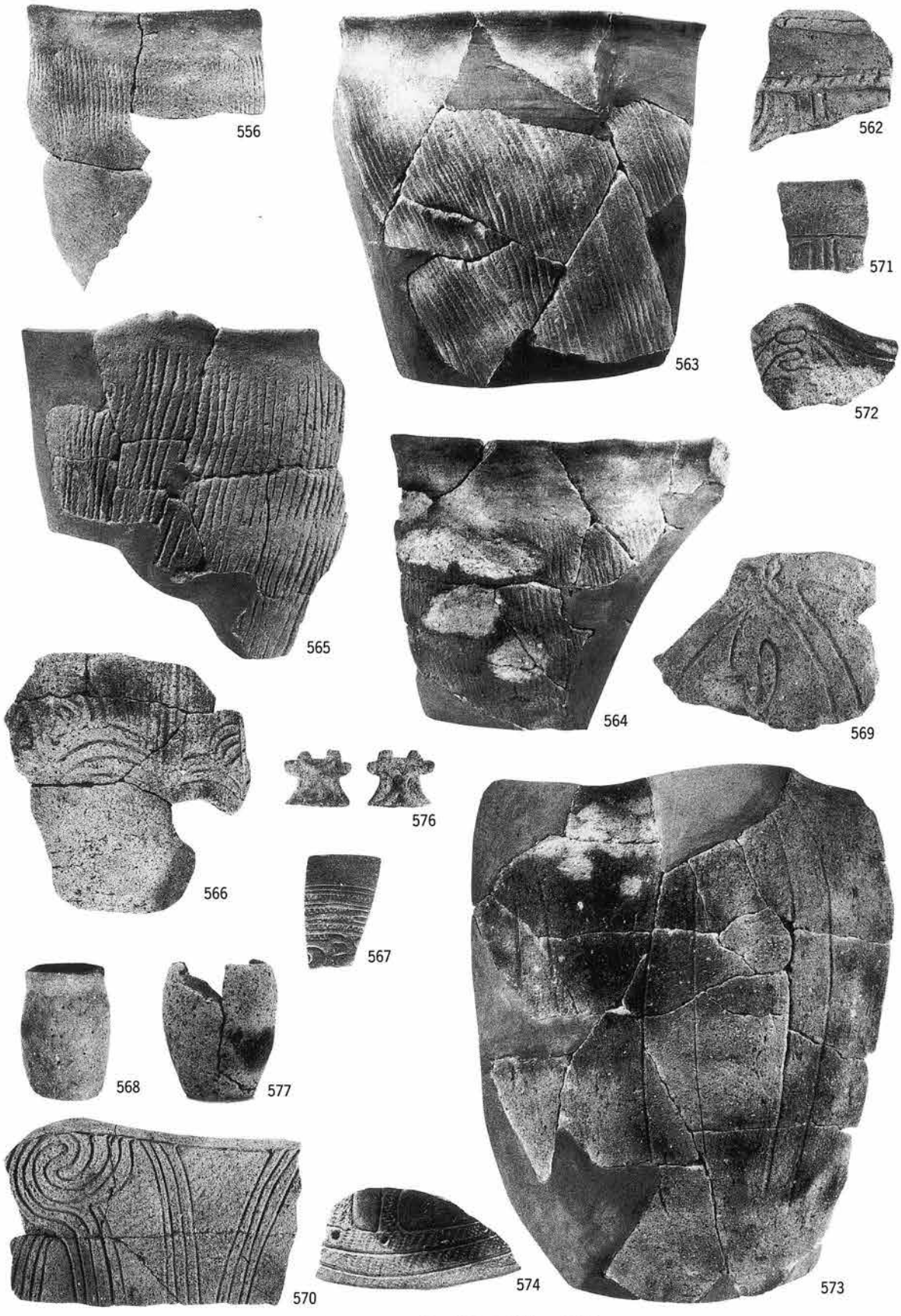
写真図版40　遺構外出土遺物・土器12



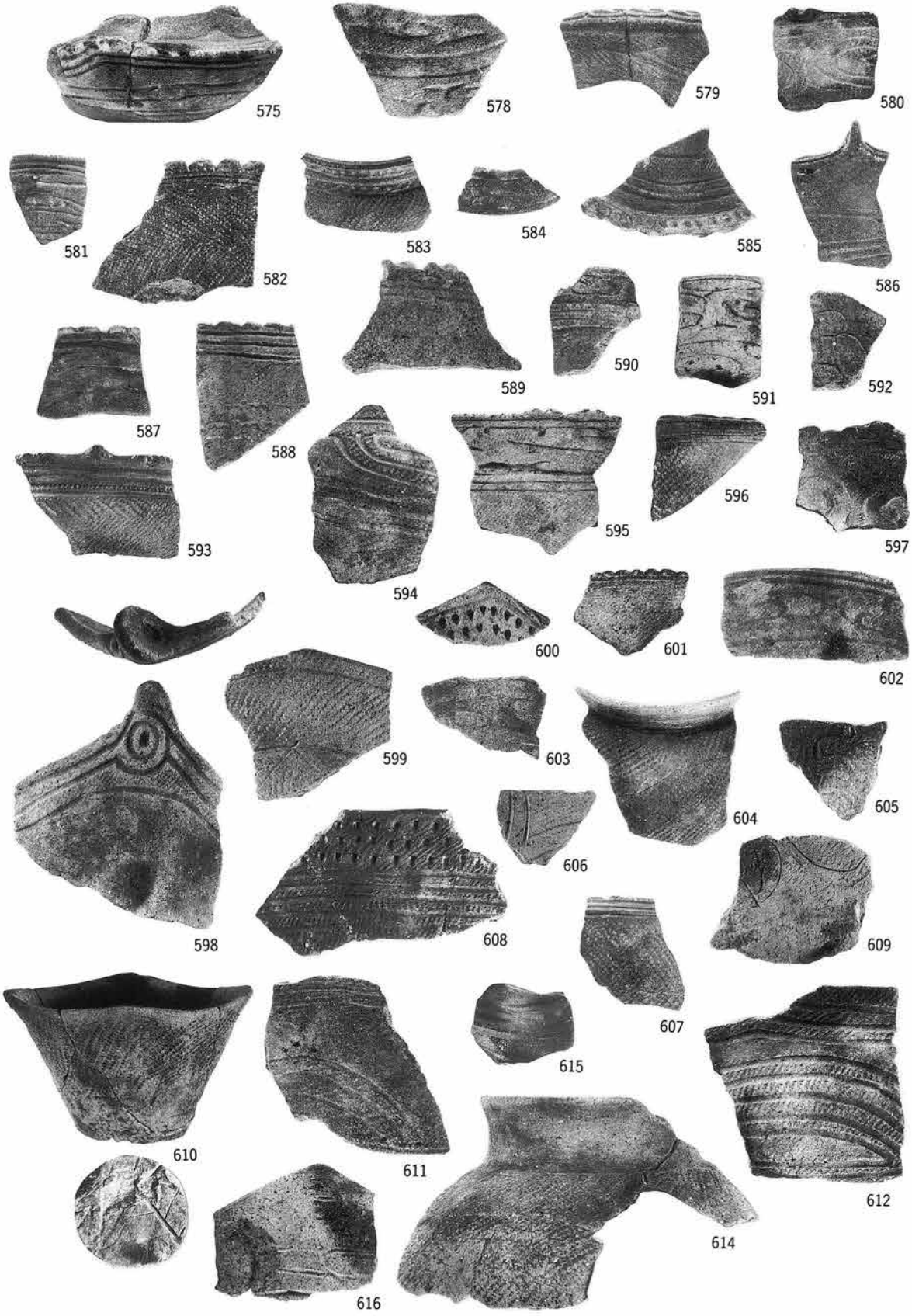
写真図版41　遺構外出土遺物・土器13



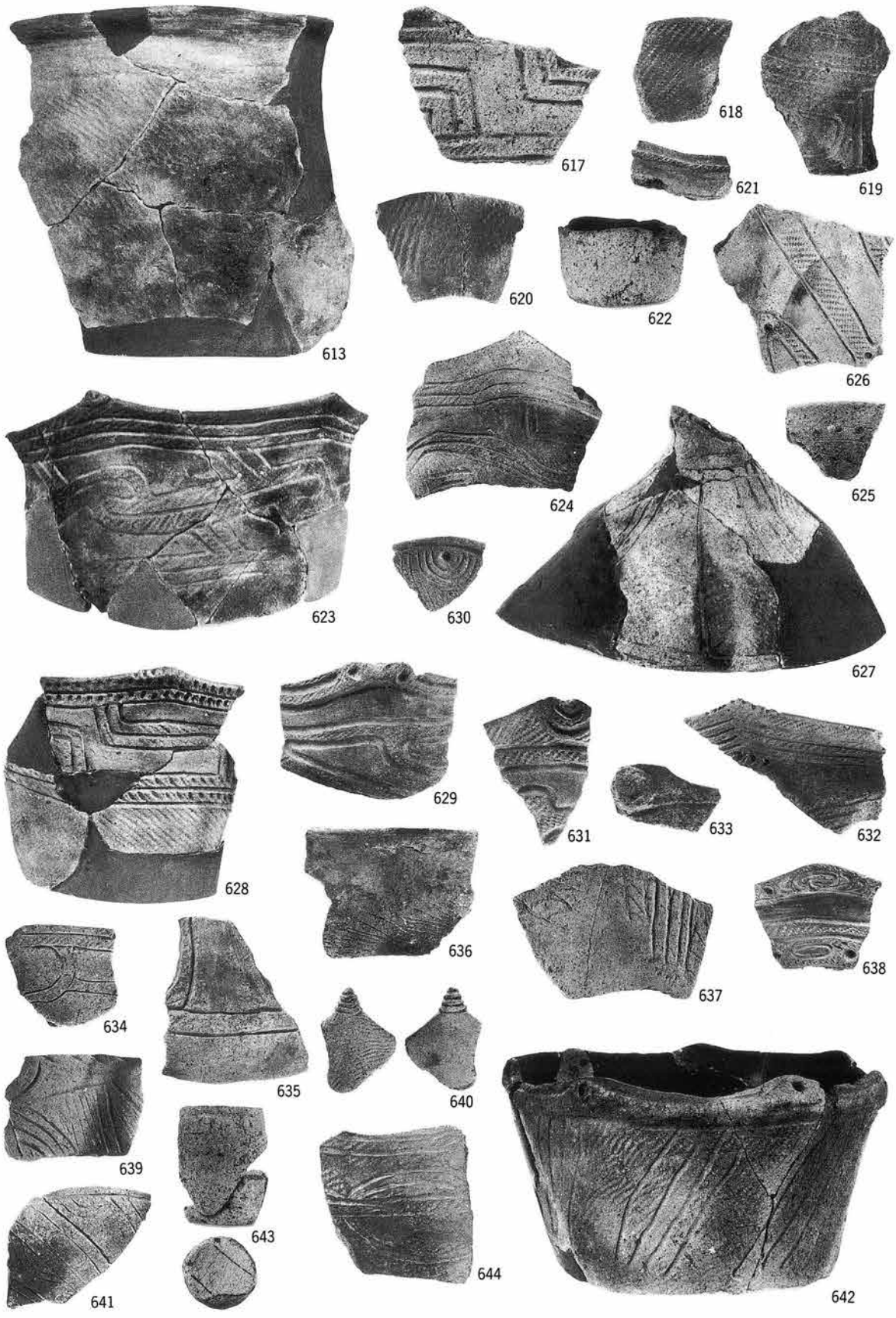
写真図版42　遺構外出土遺物・土器14



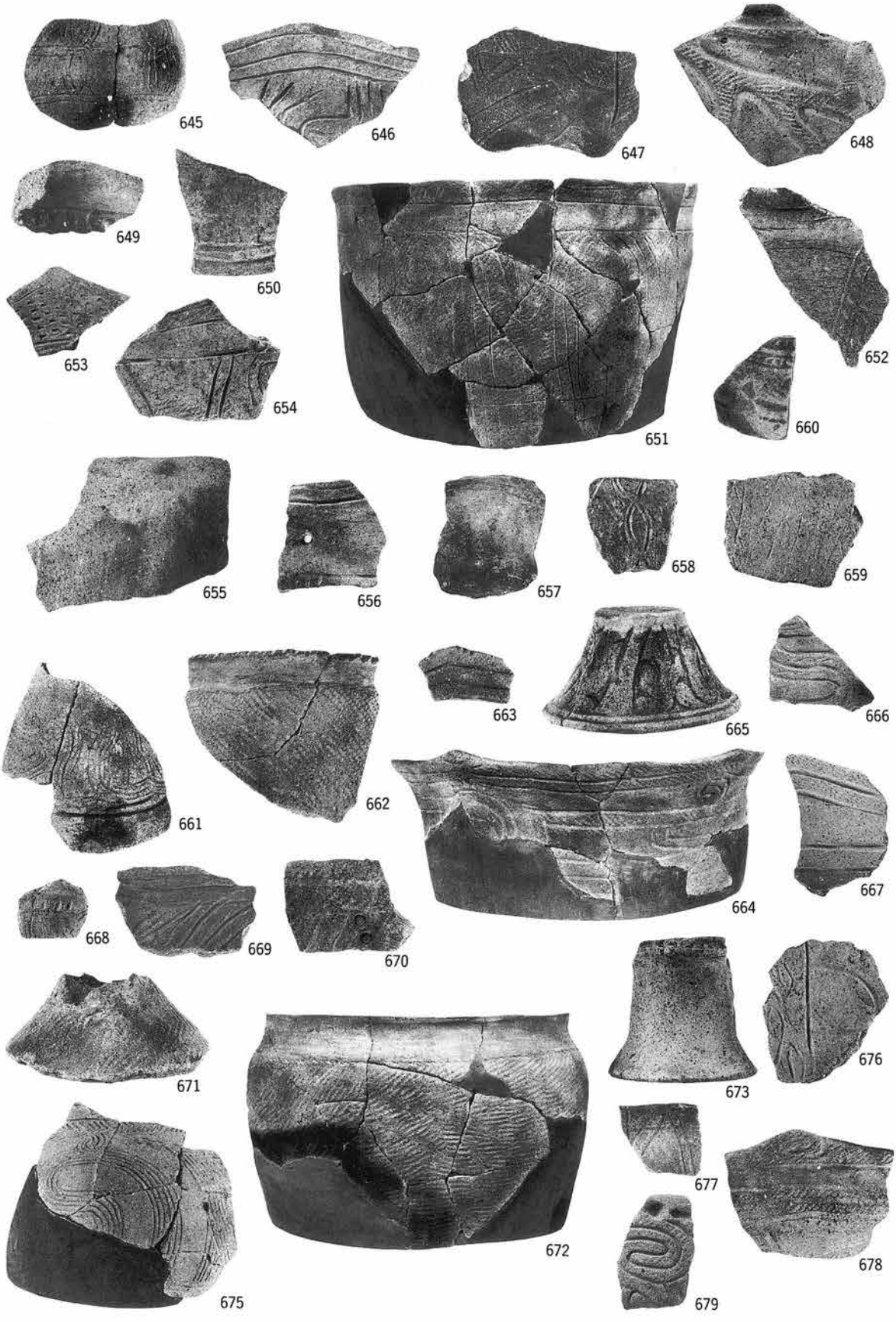
写真図版43　遺構外出土遺物・土器15



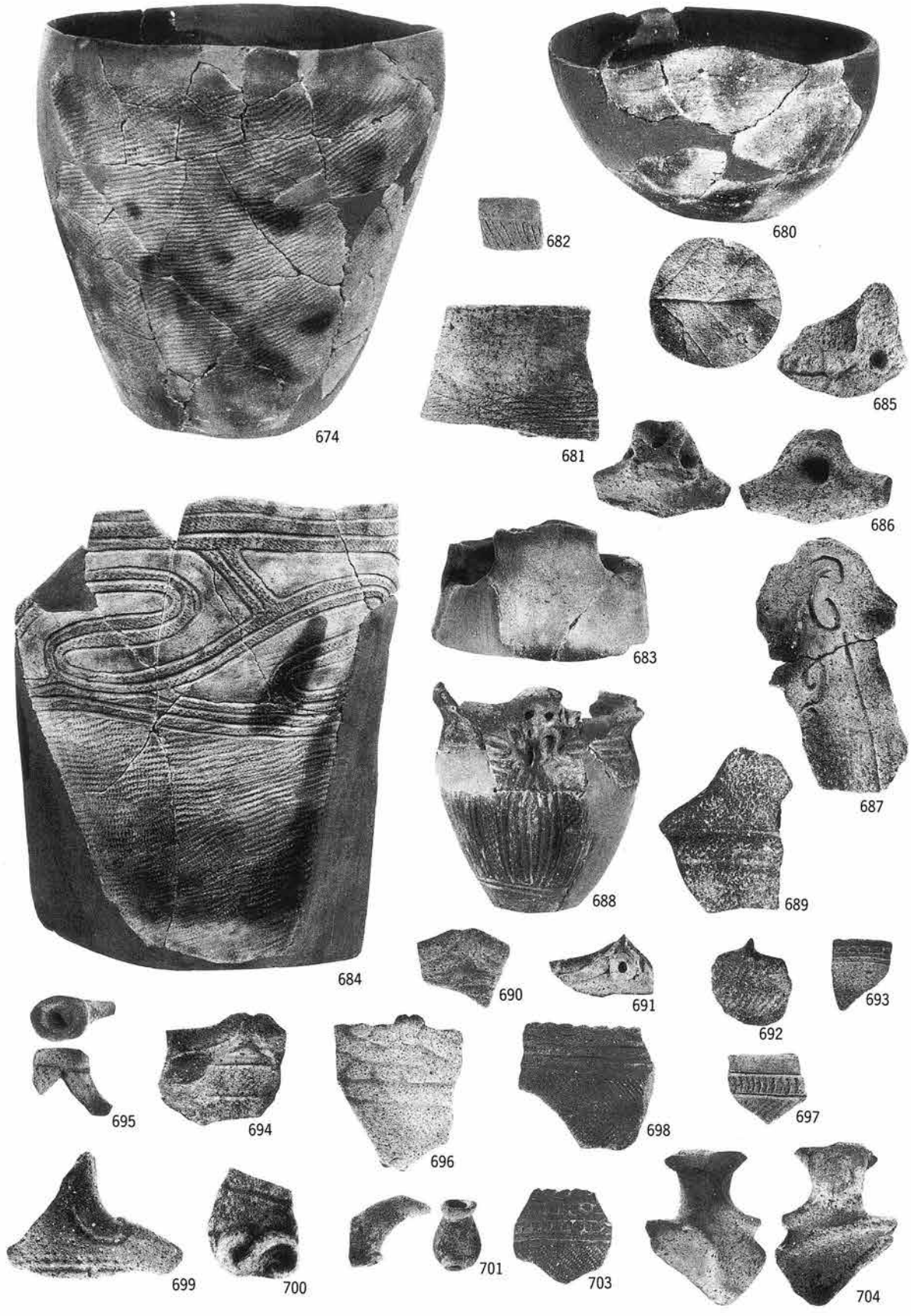
写真図版44　遺構外出土遺物・土器16



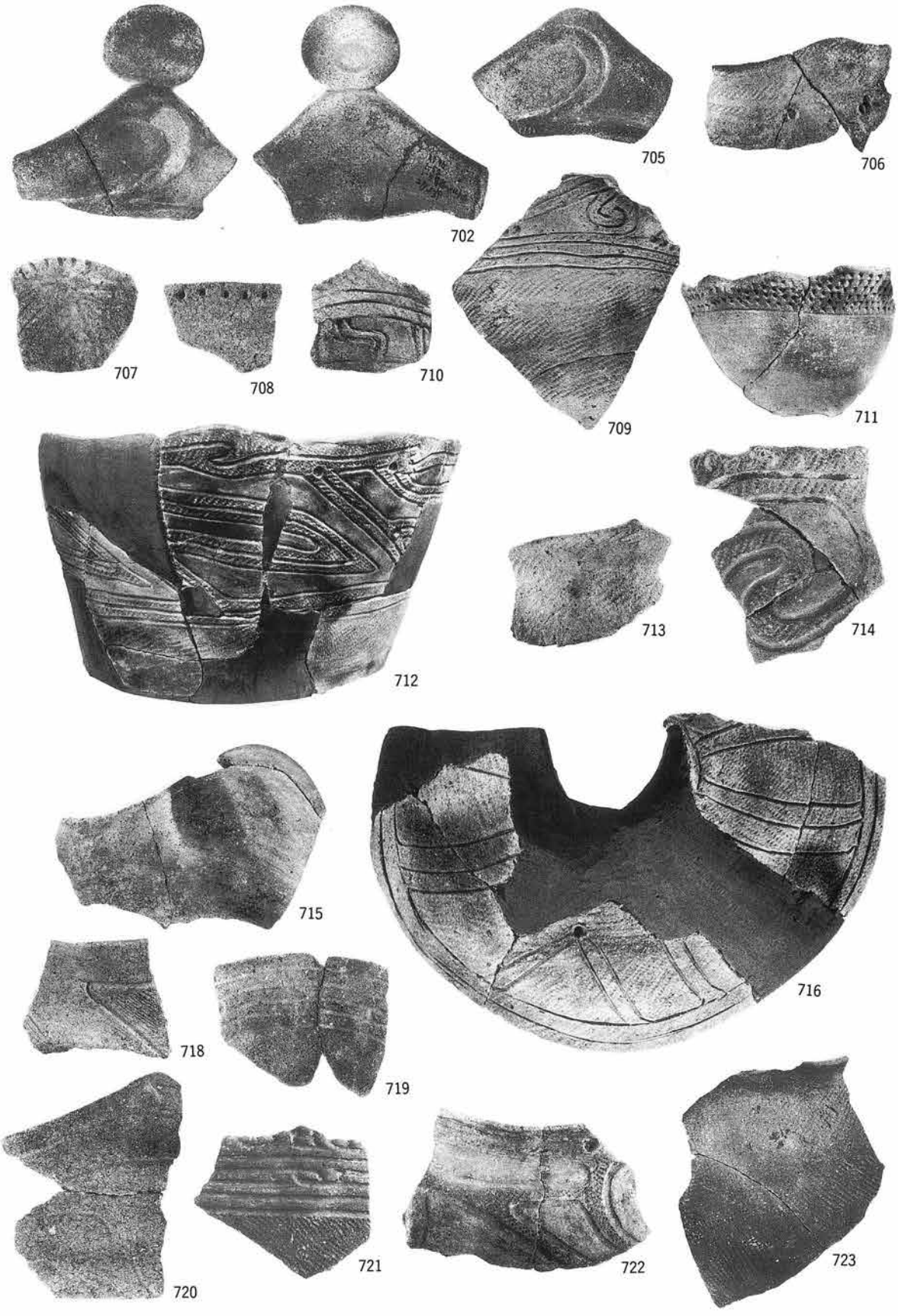
写真図版45　遺構外出土遺物・土器17



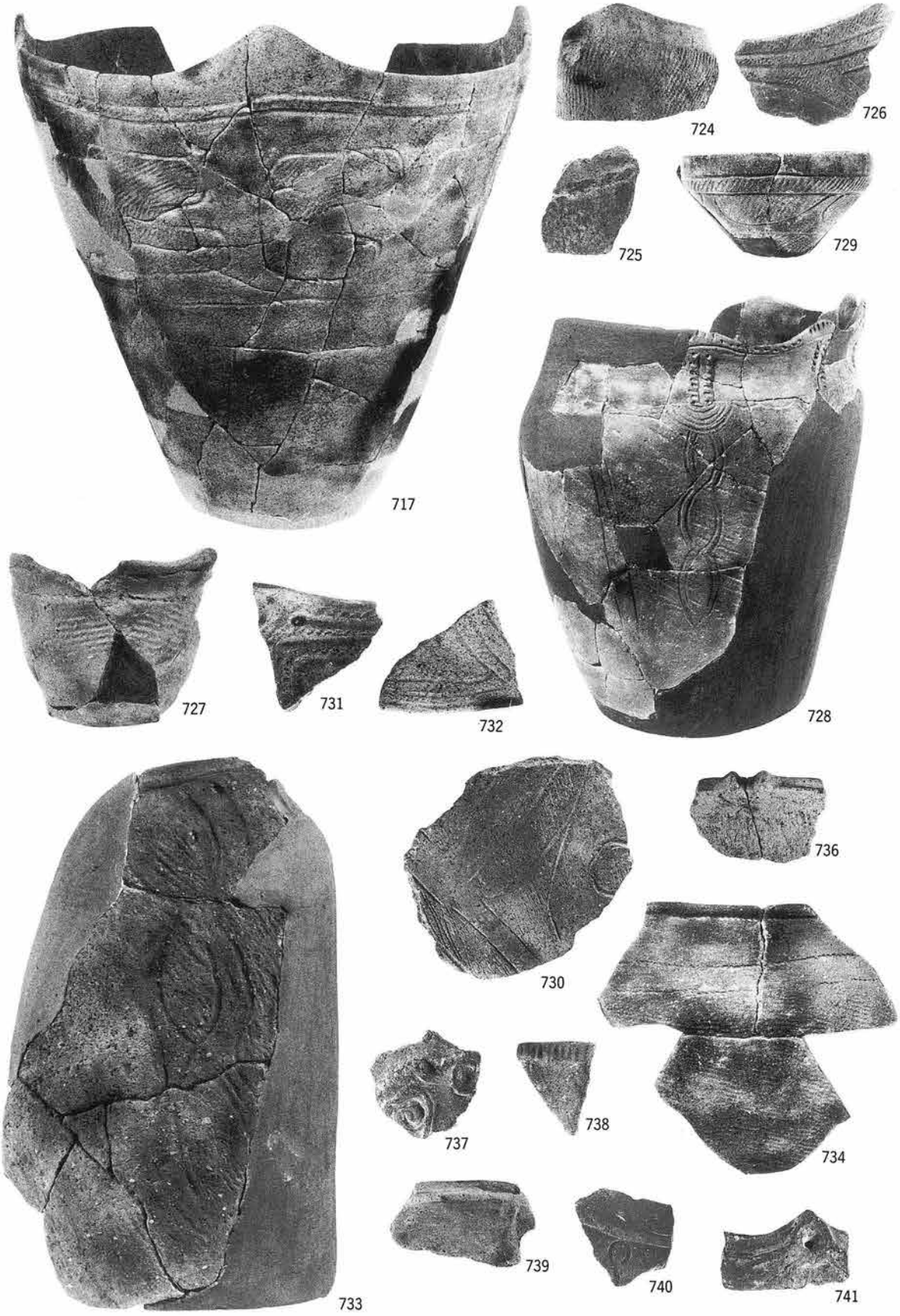
写真図版46　遺構外出土遺物・土器18



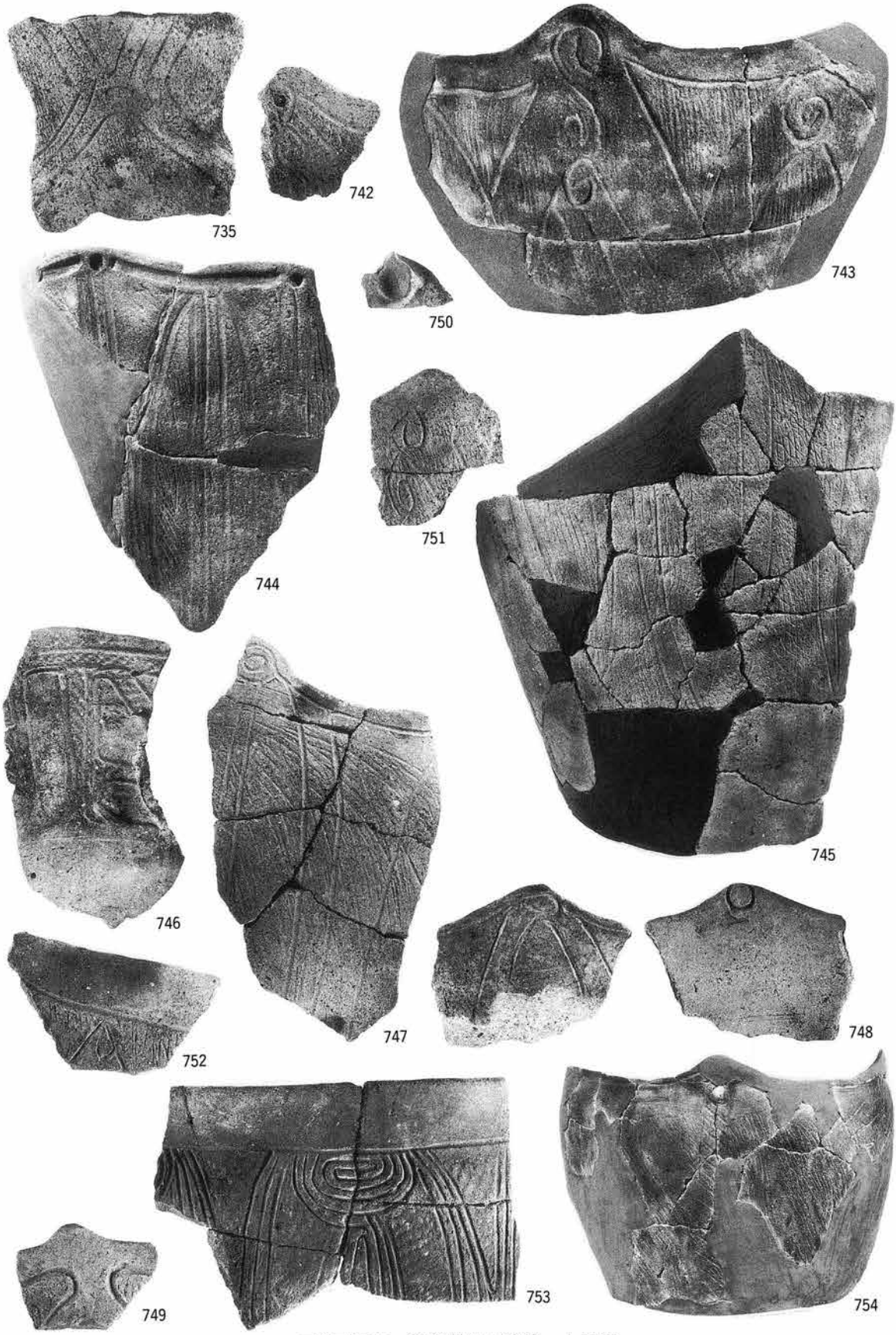
写真図版47　遺構外出土遺物・土器19



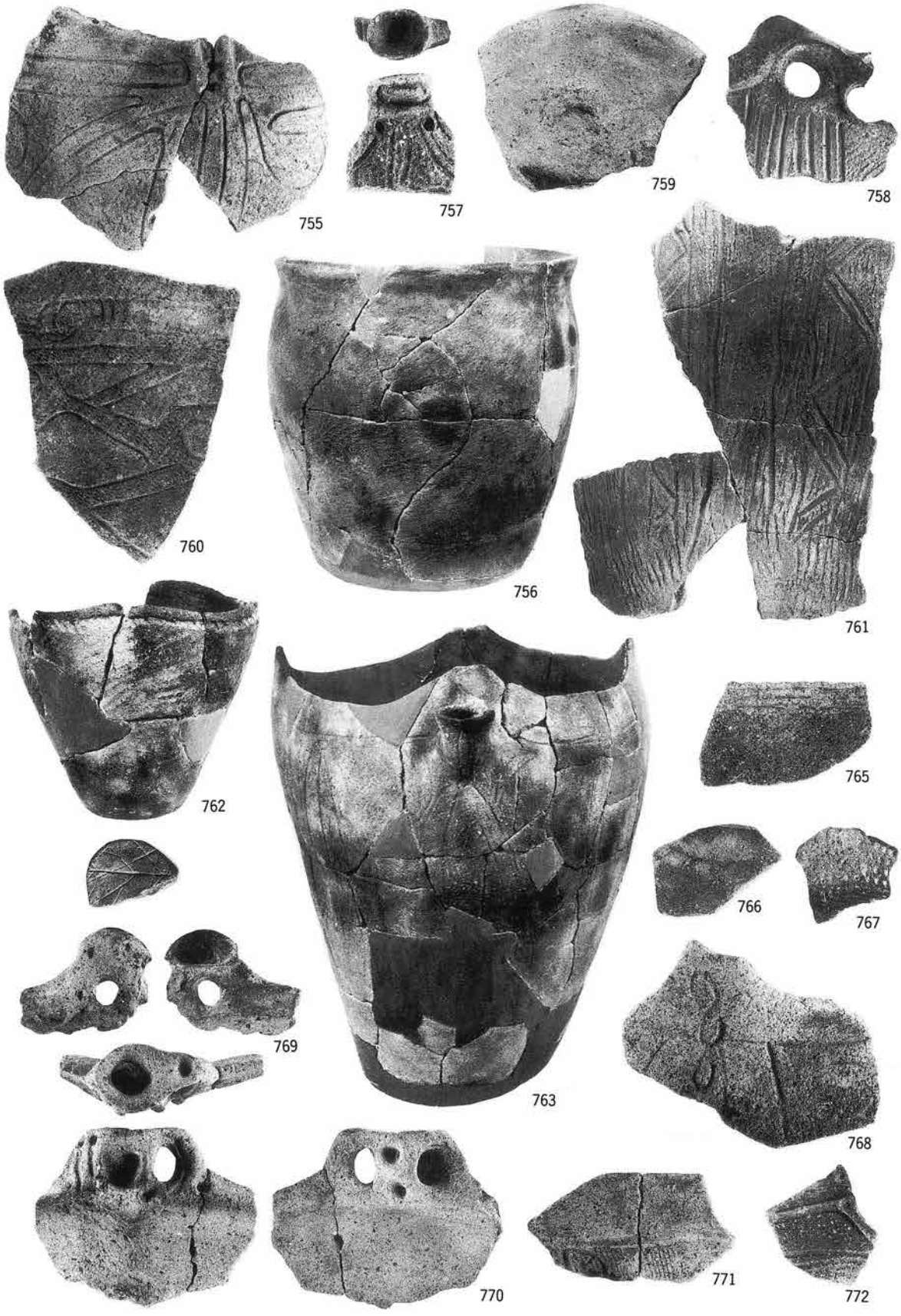
写真図版48　遺構外出土遺物・土器20



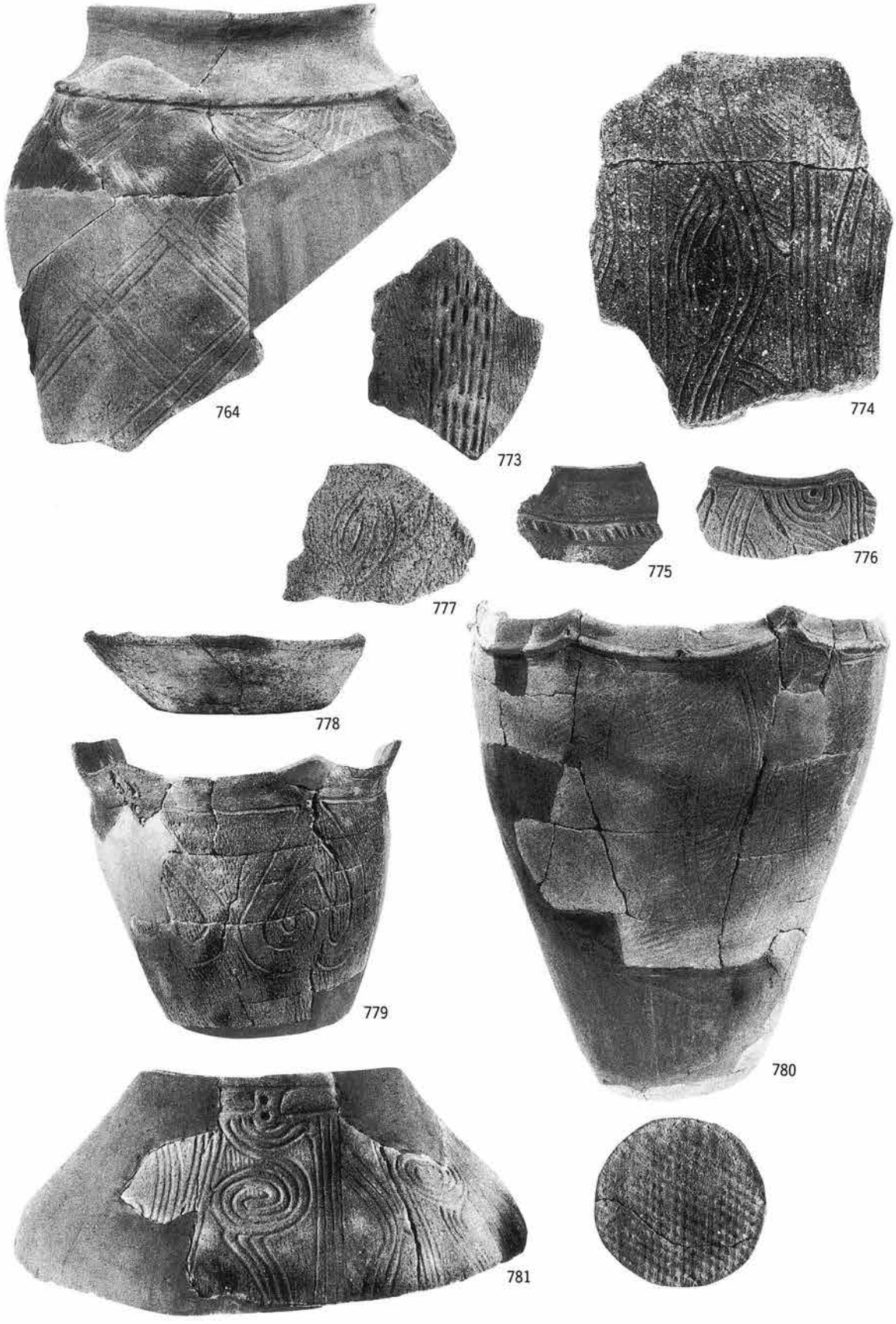
写真図版49　遺構外出土遺物・土器21



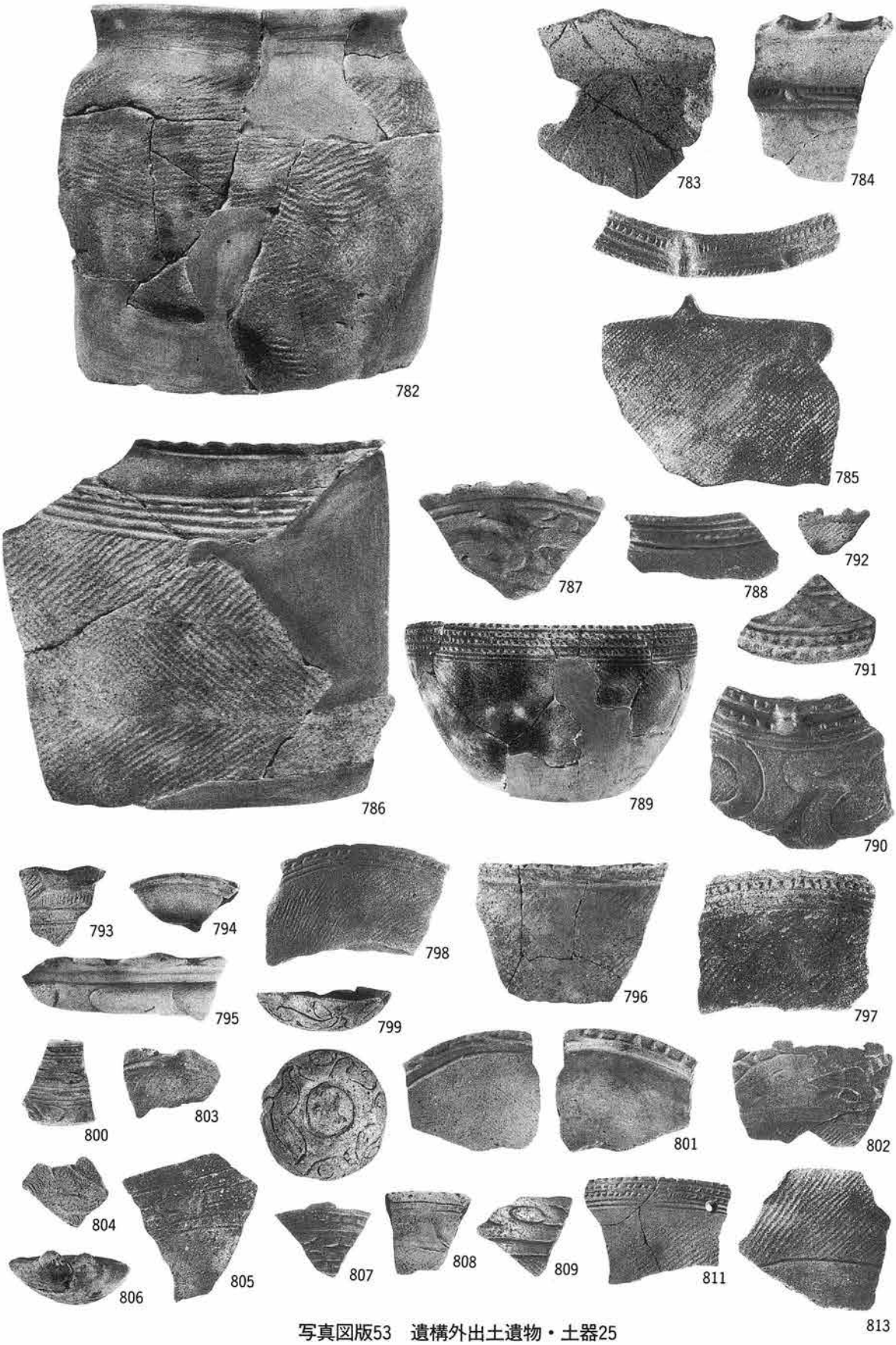
写真図版50　遺構外出土遺物・土器22



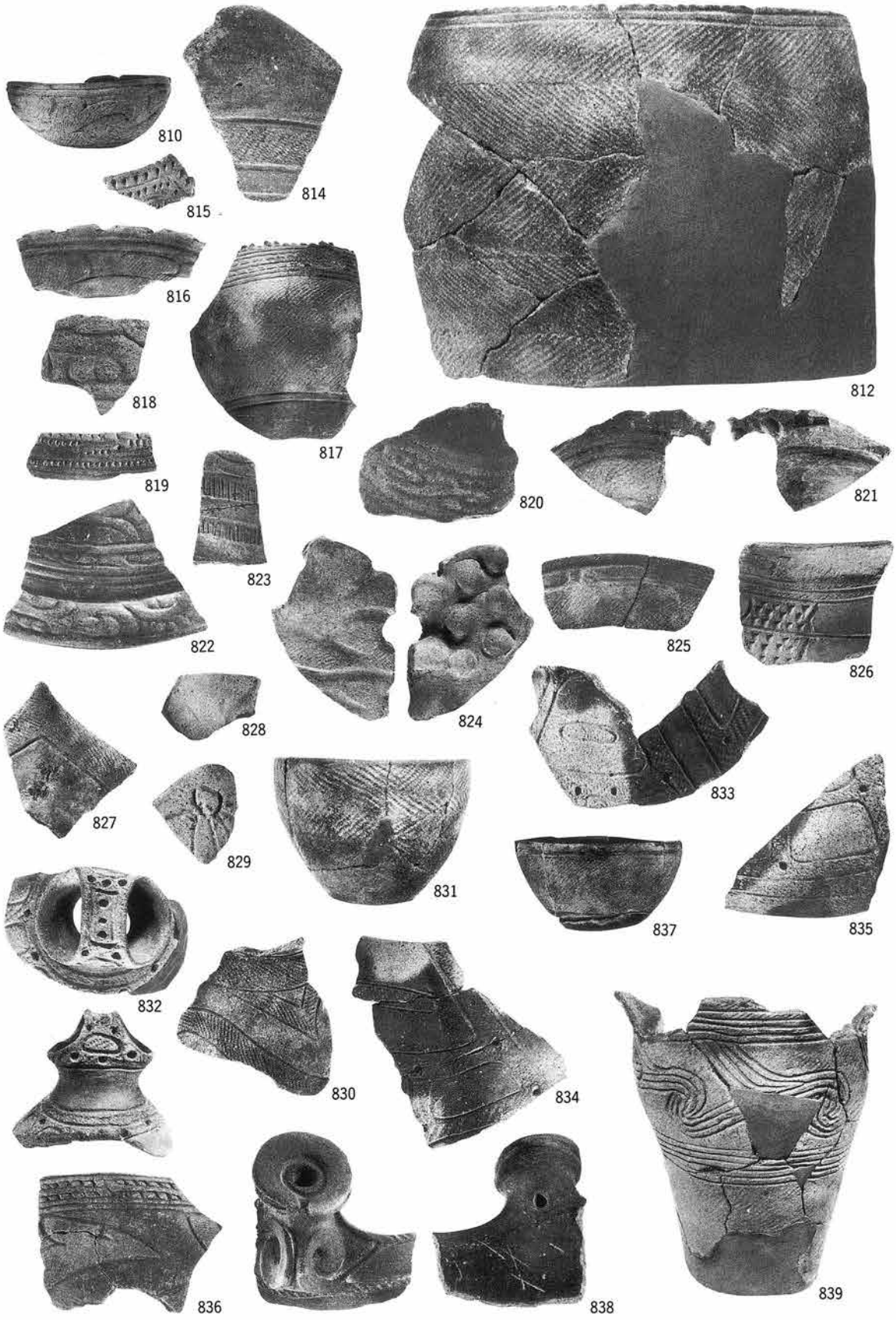
写真図版51　遺構外出土遺物・土器23



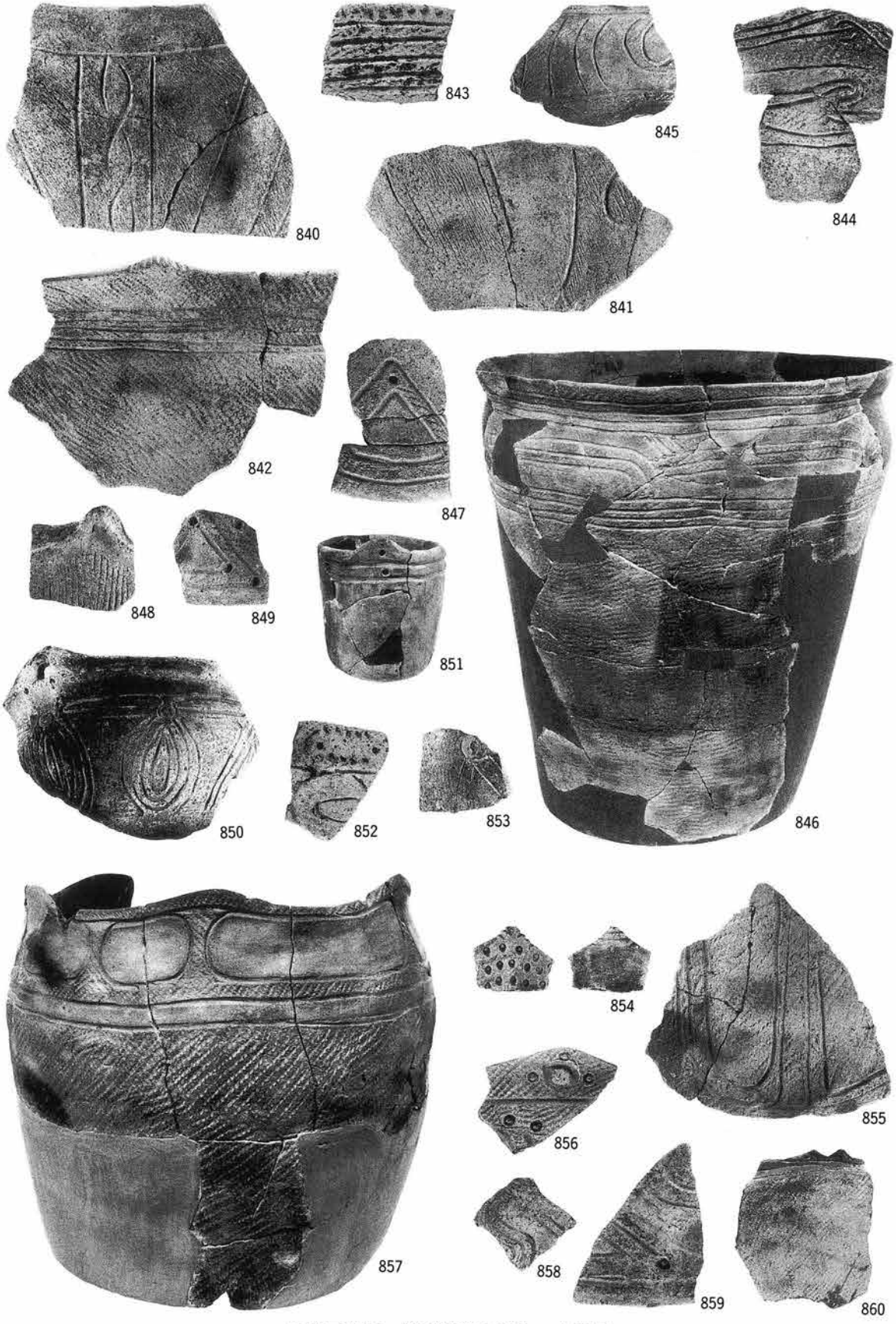
写真図版52　遺構外出土遺物・土器24



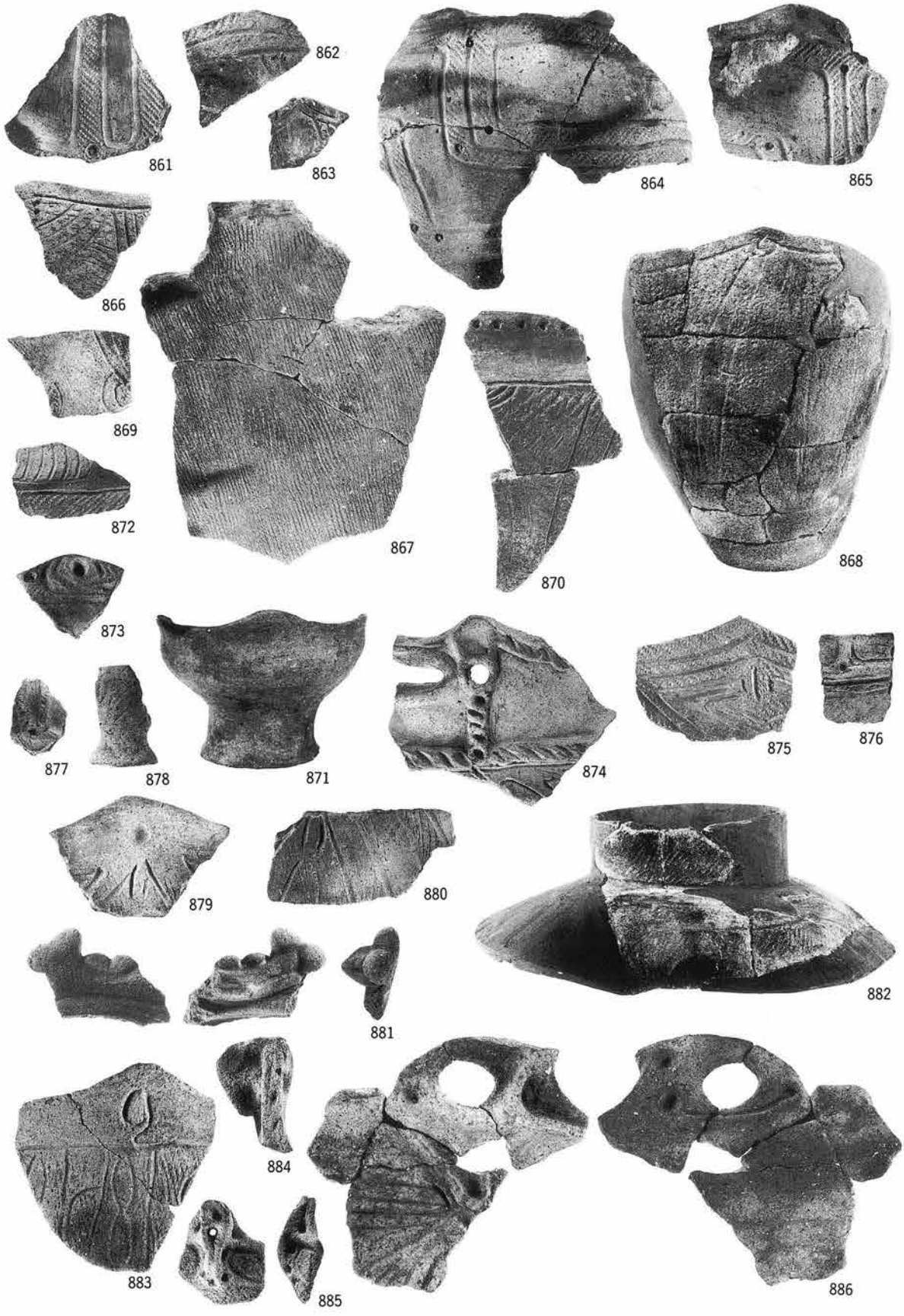
写真図版53　遺構外出土遺物・土器25



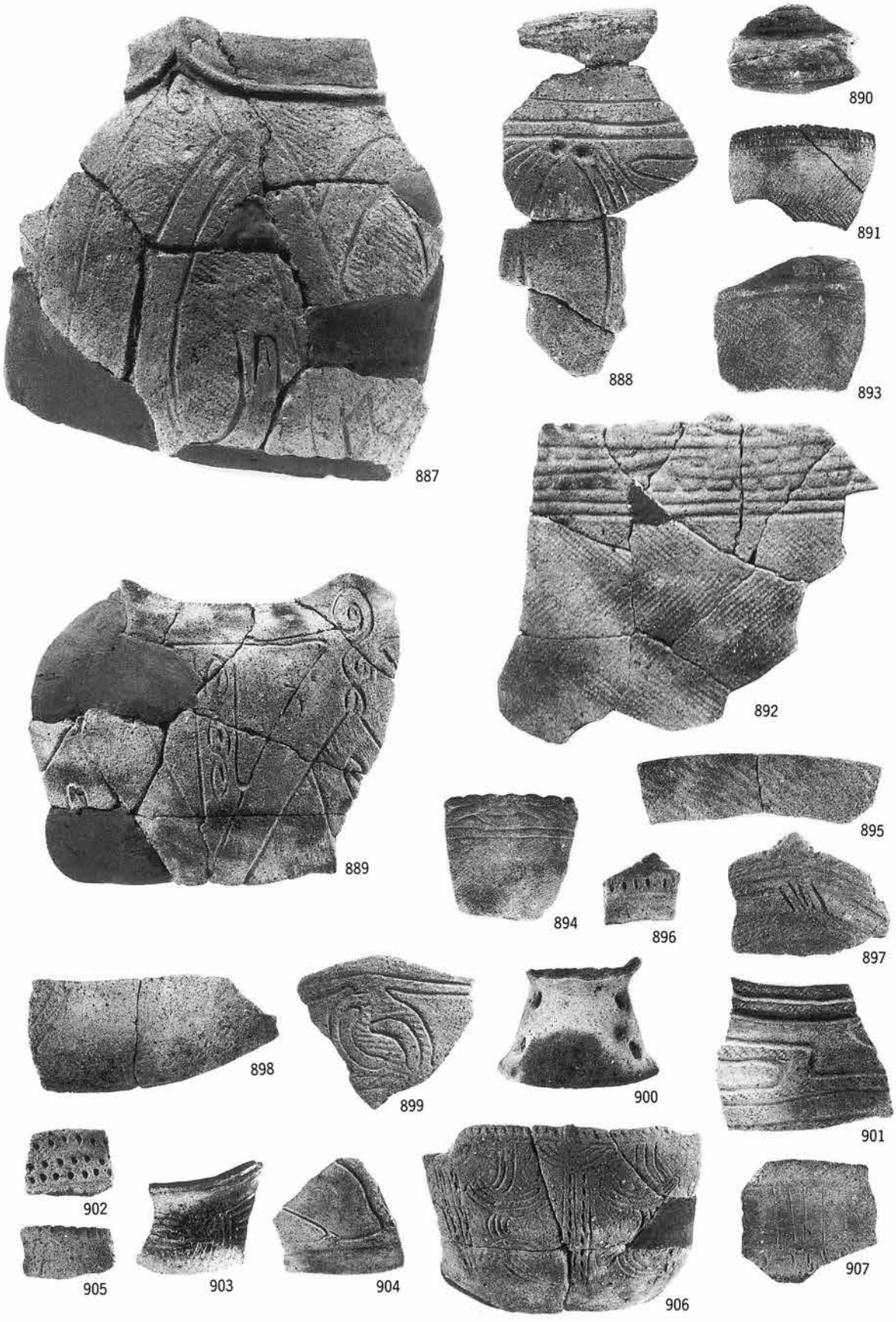
写真図版54　遺構外出土遺物・土器26



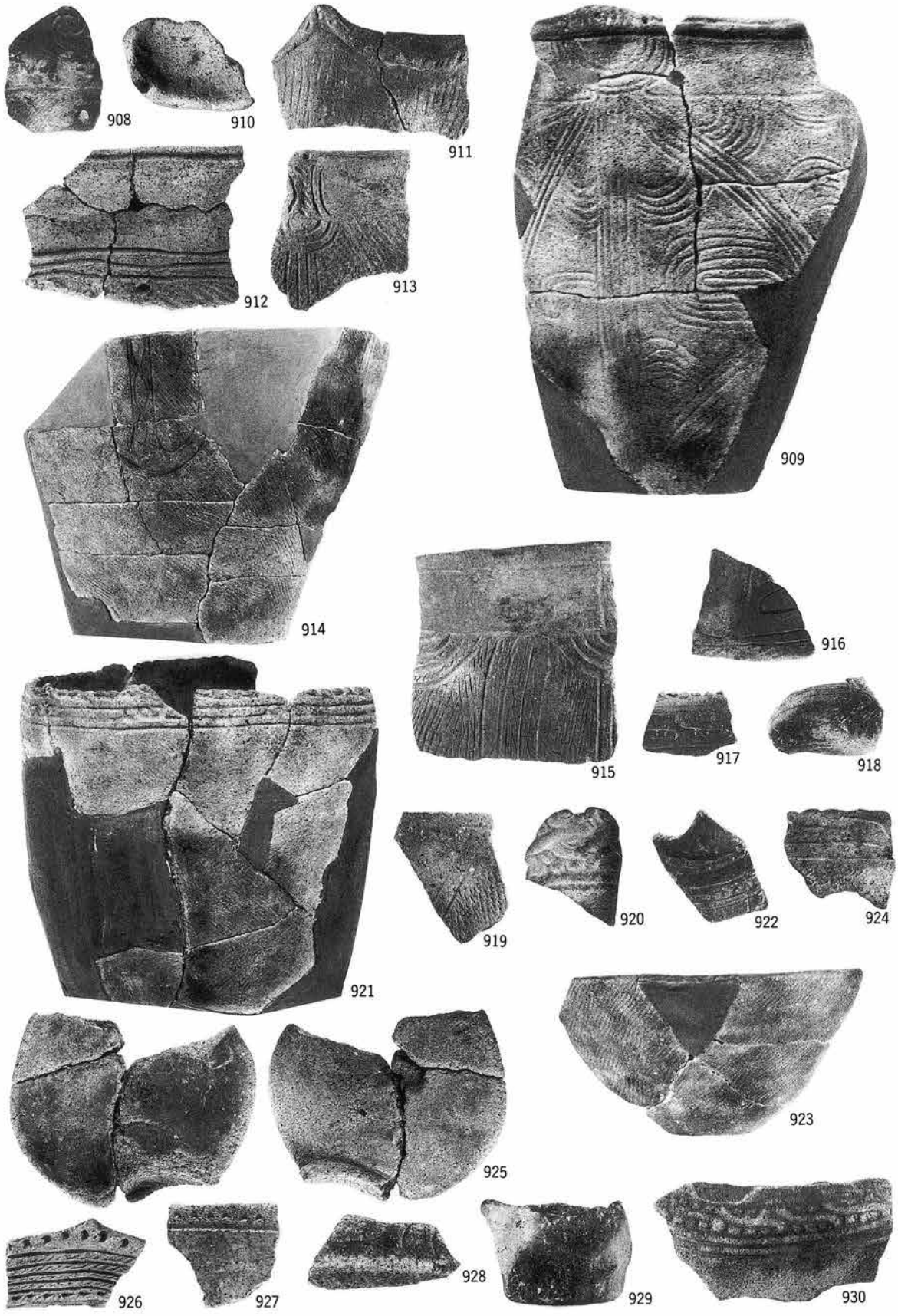
写真図版55　遺構外出土遺物・土器27



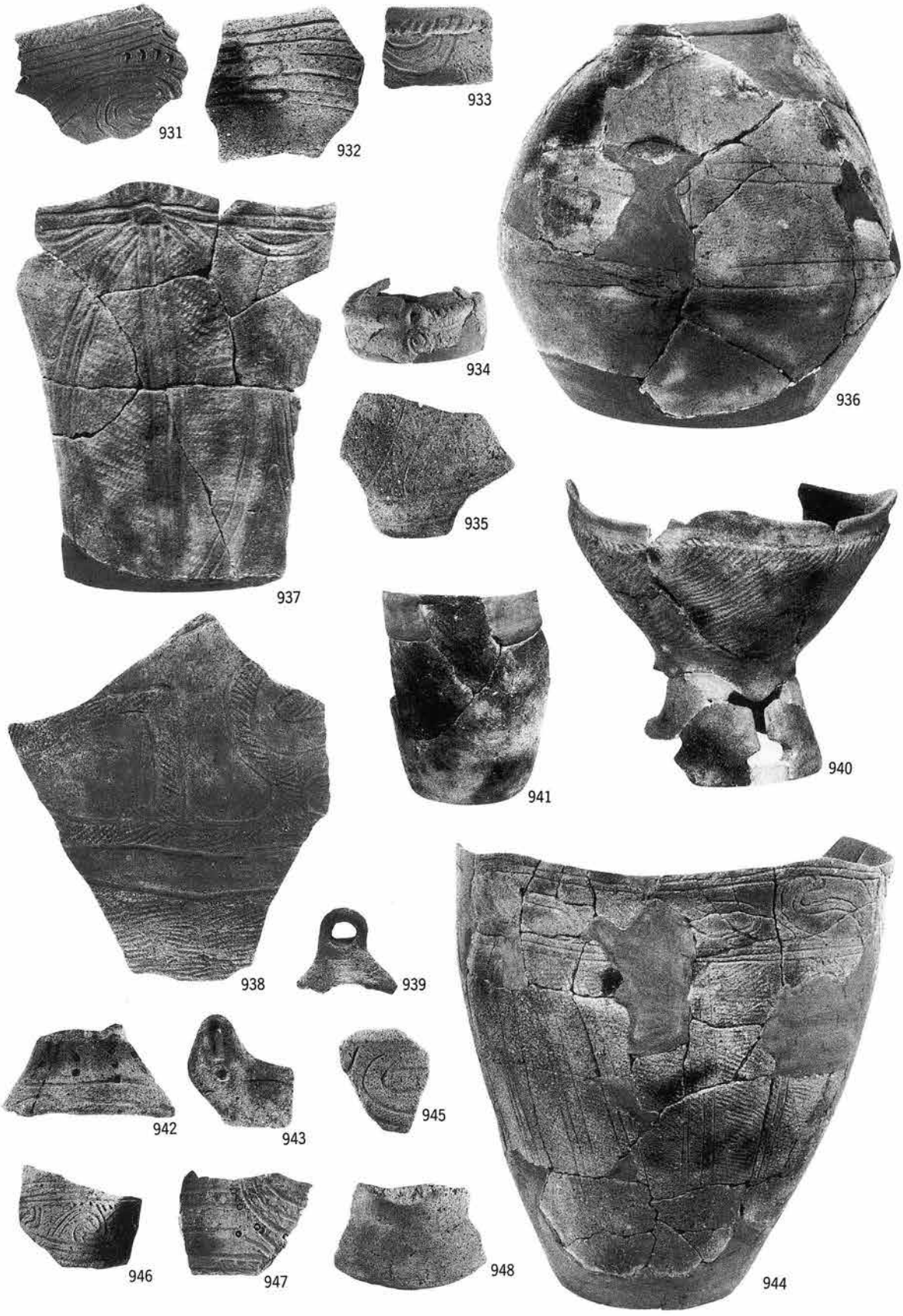
写真図版56　遺構外出土遺物・土器28



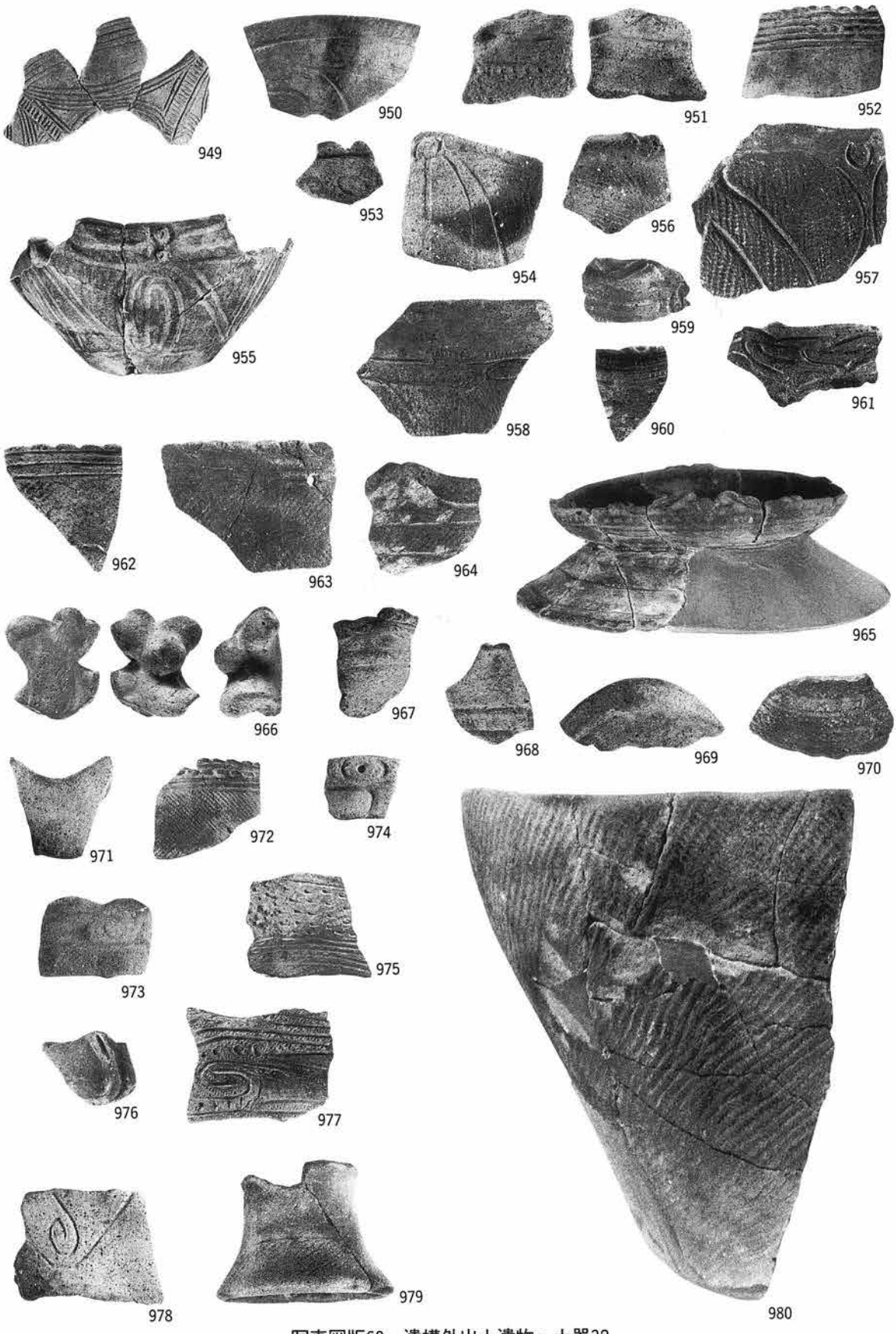
写真図版57　遺構外出土遺物・土器29



写真図版58　遺構外出土遺物・土器30

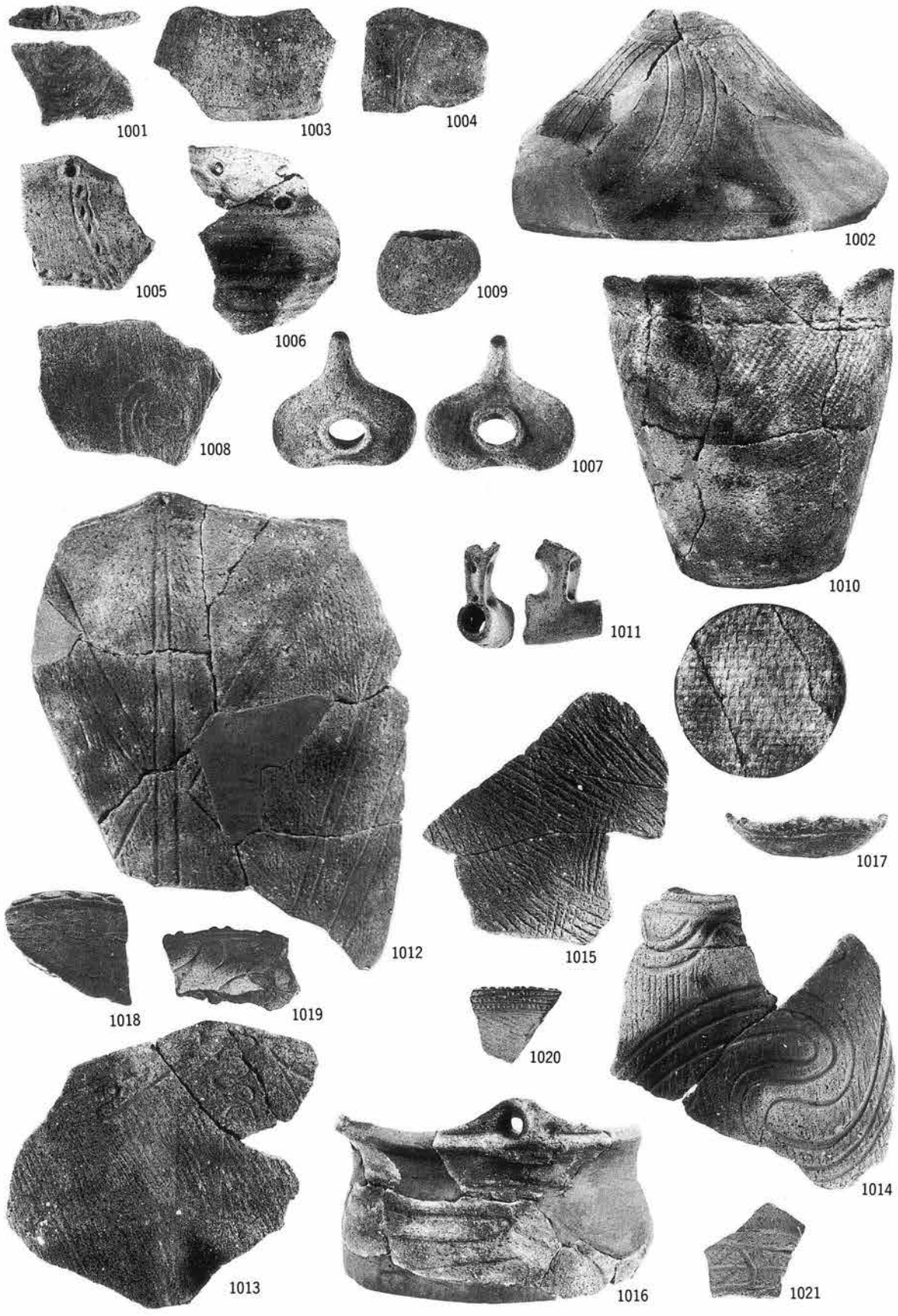


写真図版59　遺構外出土遺物・土器31

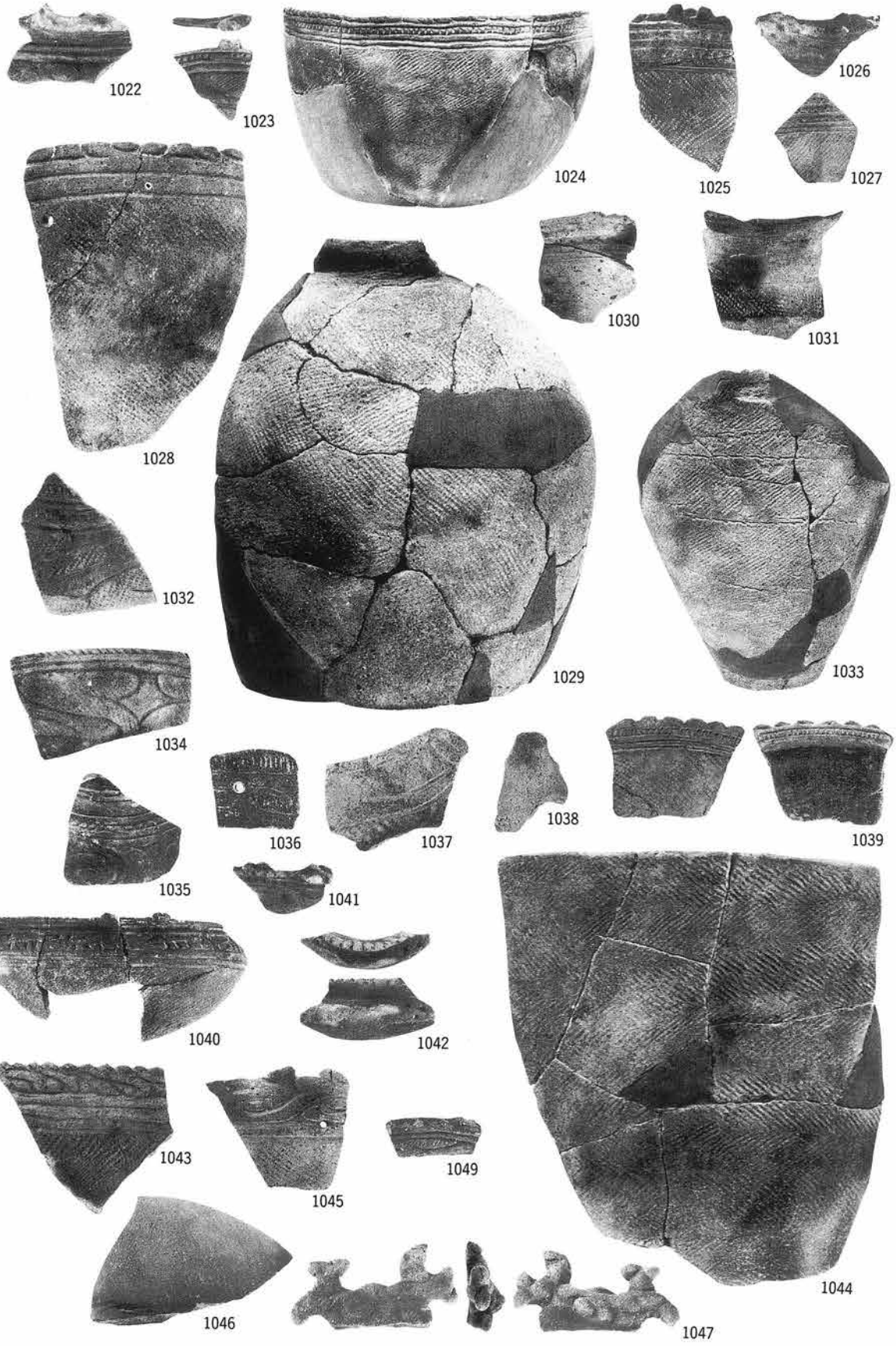


写真図版60　遺構外出土遺物・土器32

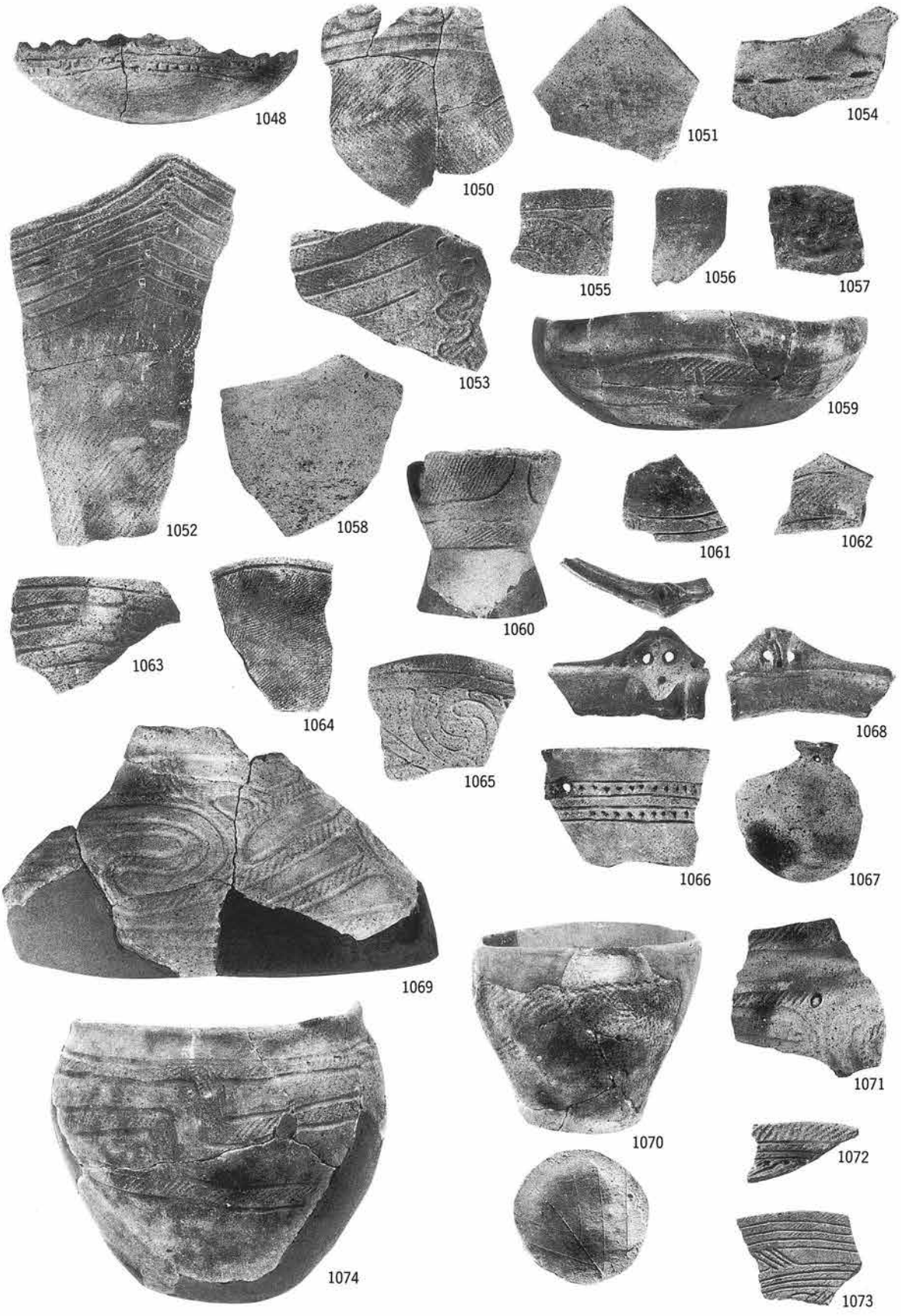
写真図版61　遺構外出土遺物・土器33



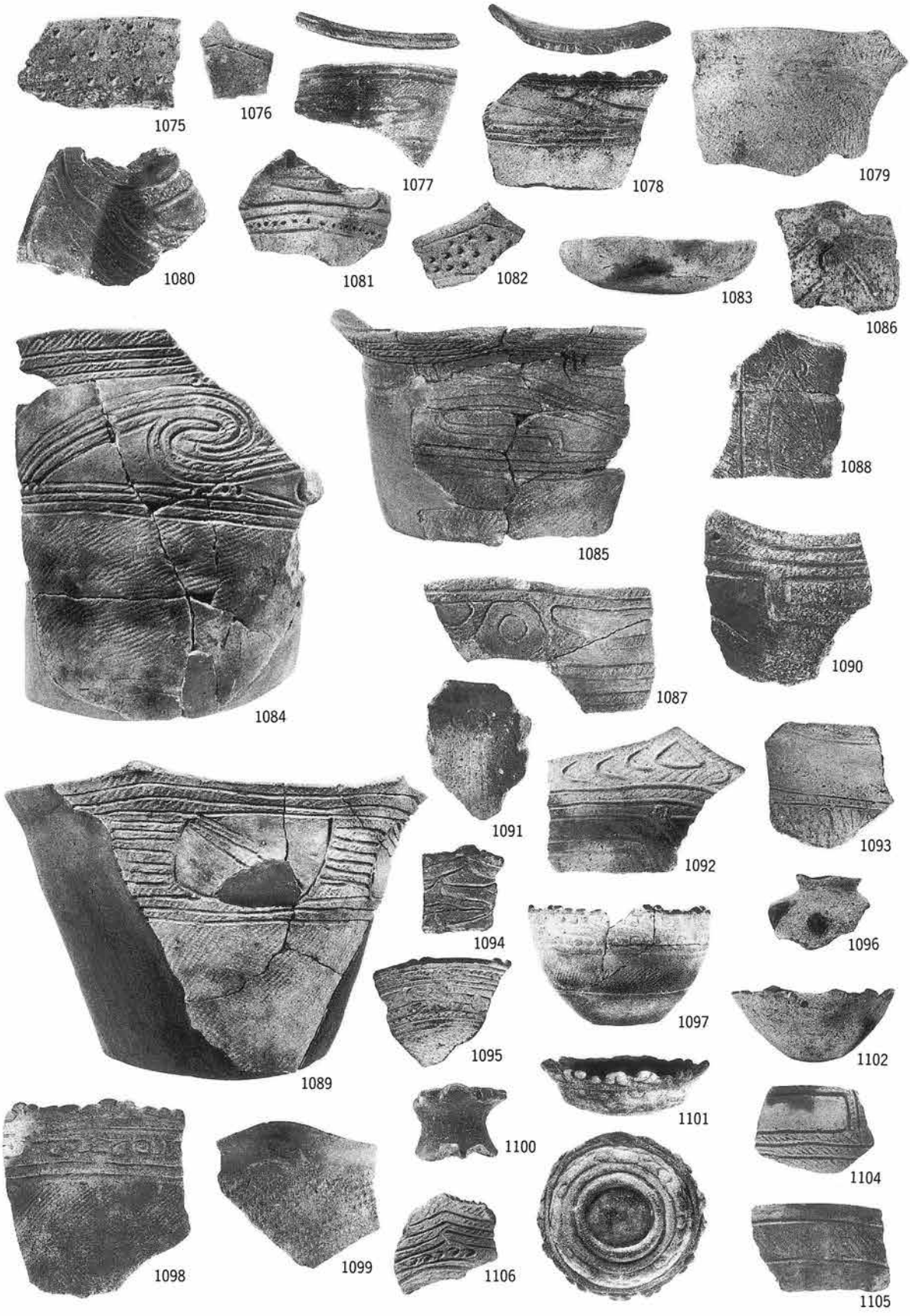
写真図版62　遺構外出土遺物・土器34



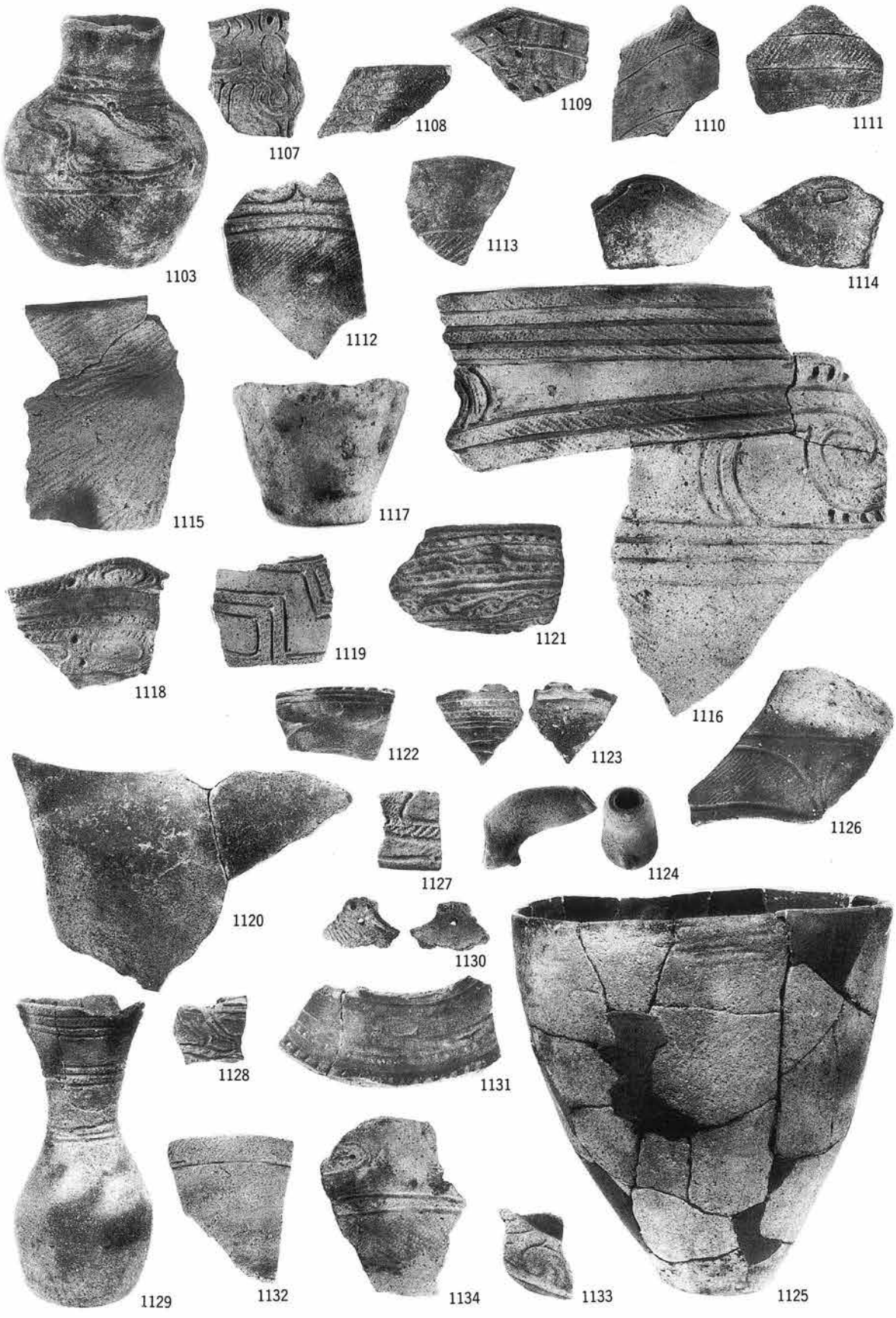
写真図版63　遺構外出土遺物・土器35



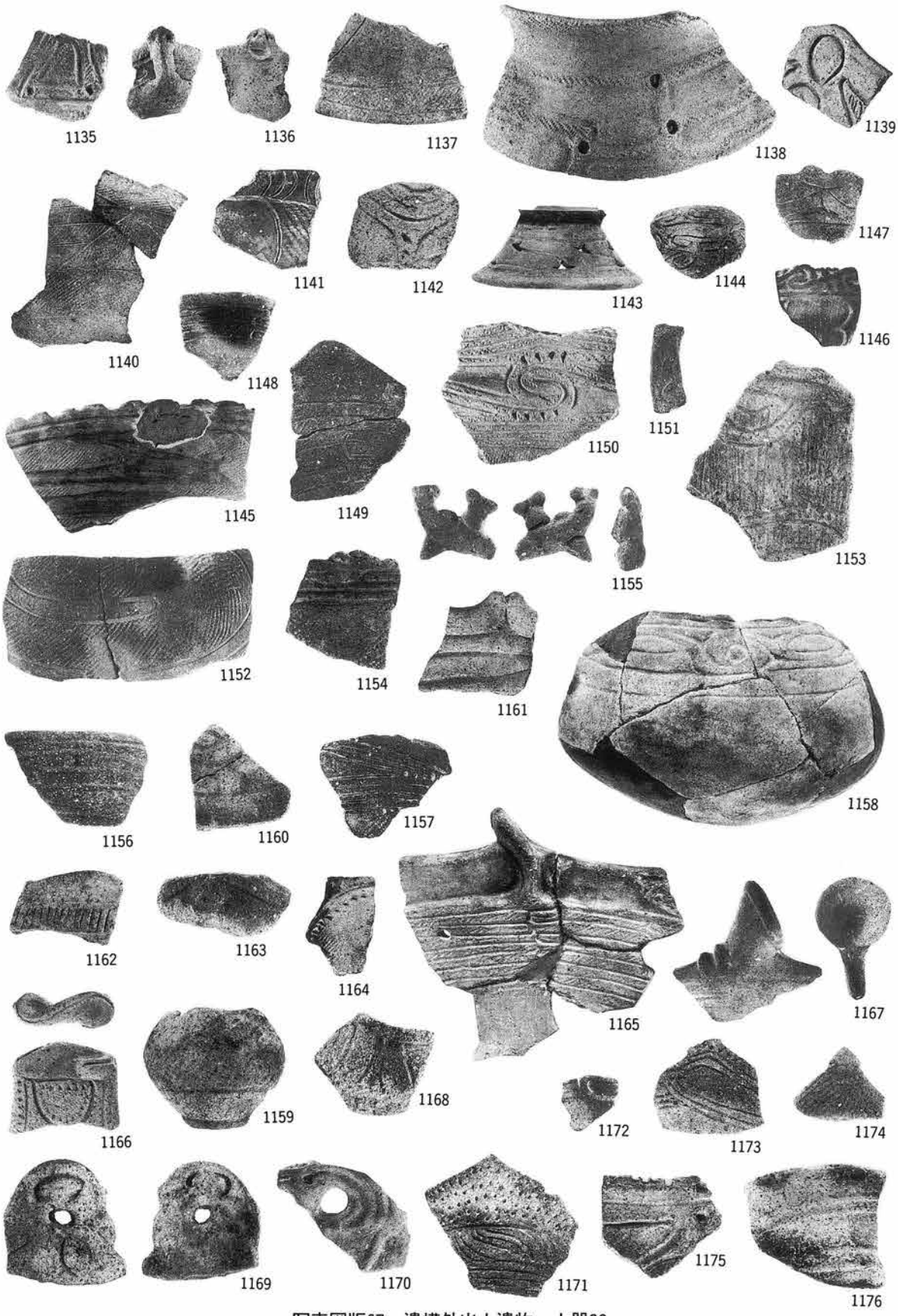
写真図版64　遺構外出土遺物・土器36



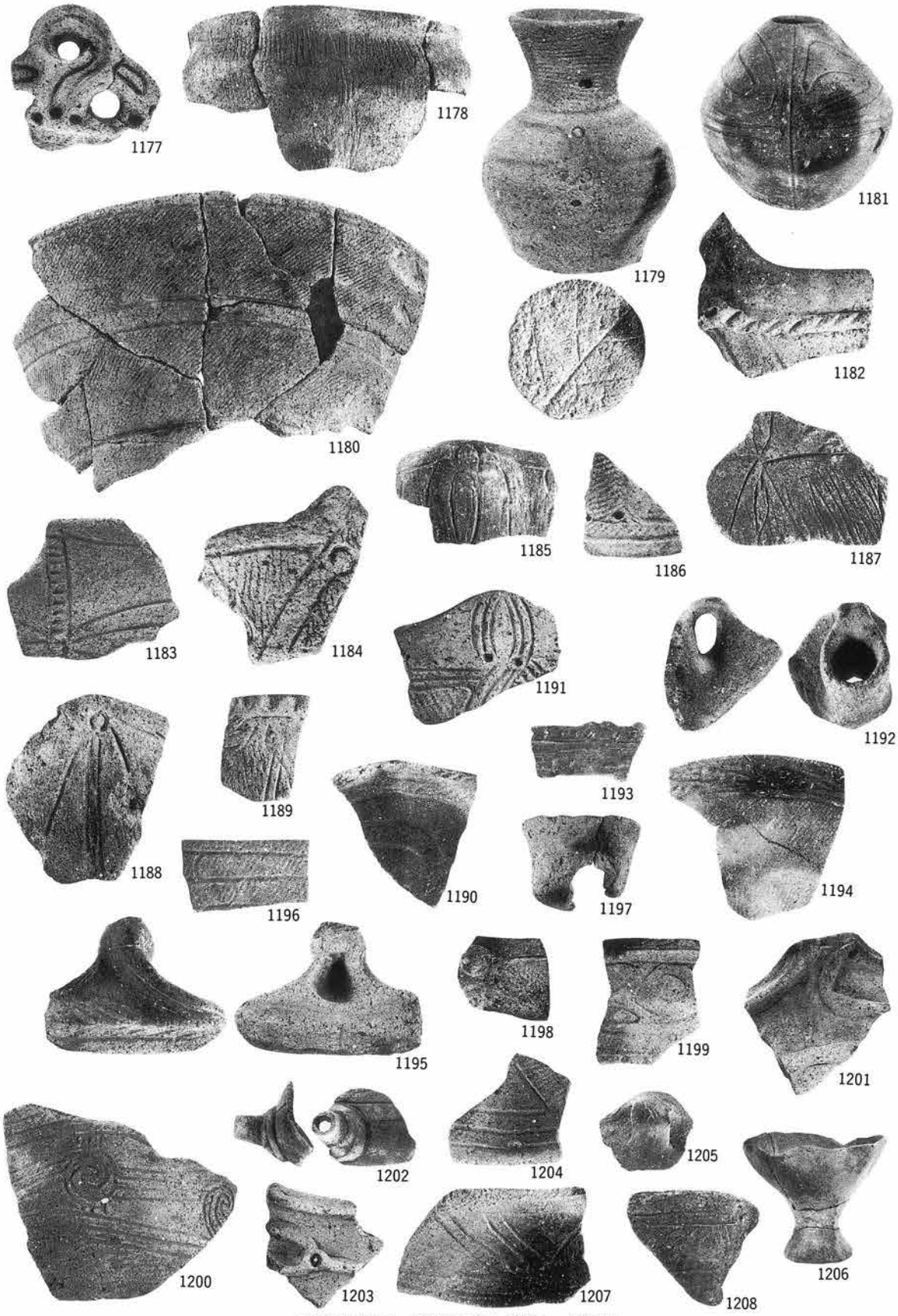
写真図版65　遺構外出土遺物・土器37



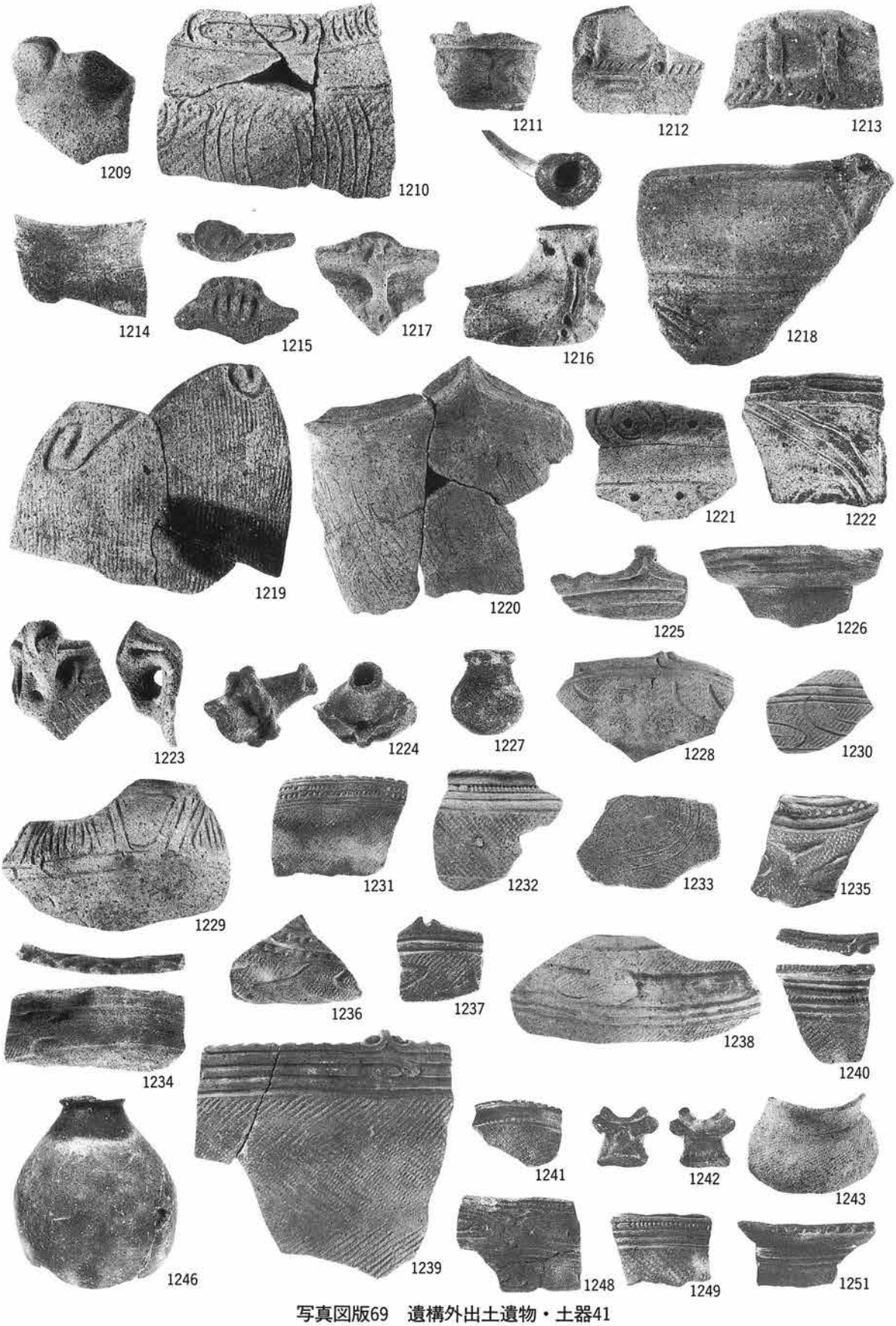
写真図版66　遺構外出土遺物・土器38



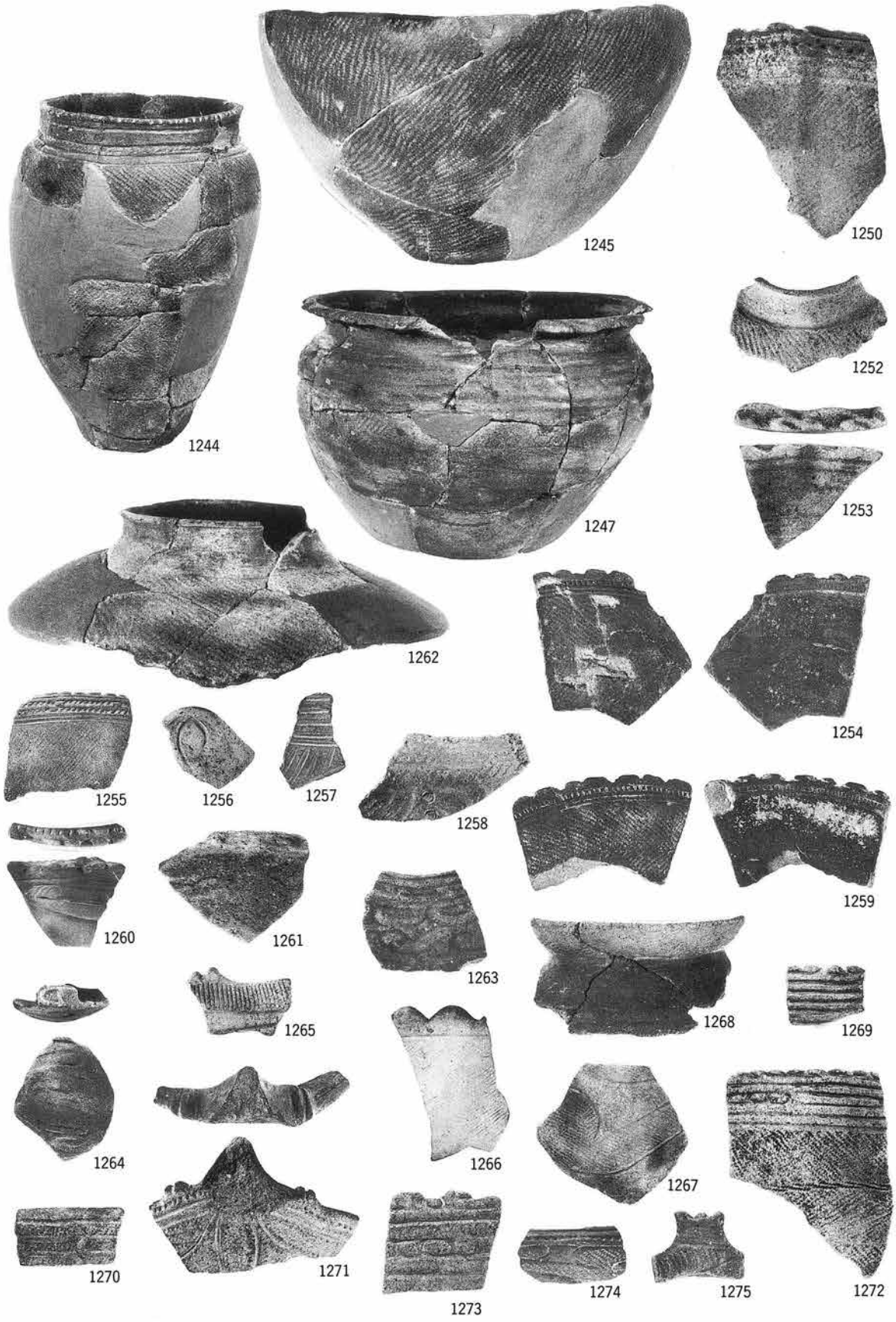
写真図版67　遺構外出土遺物・土器39



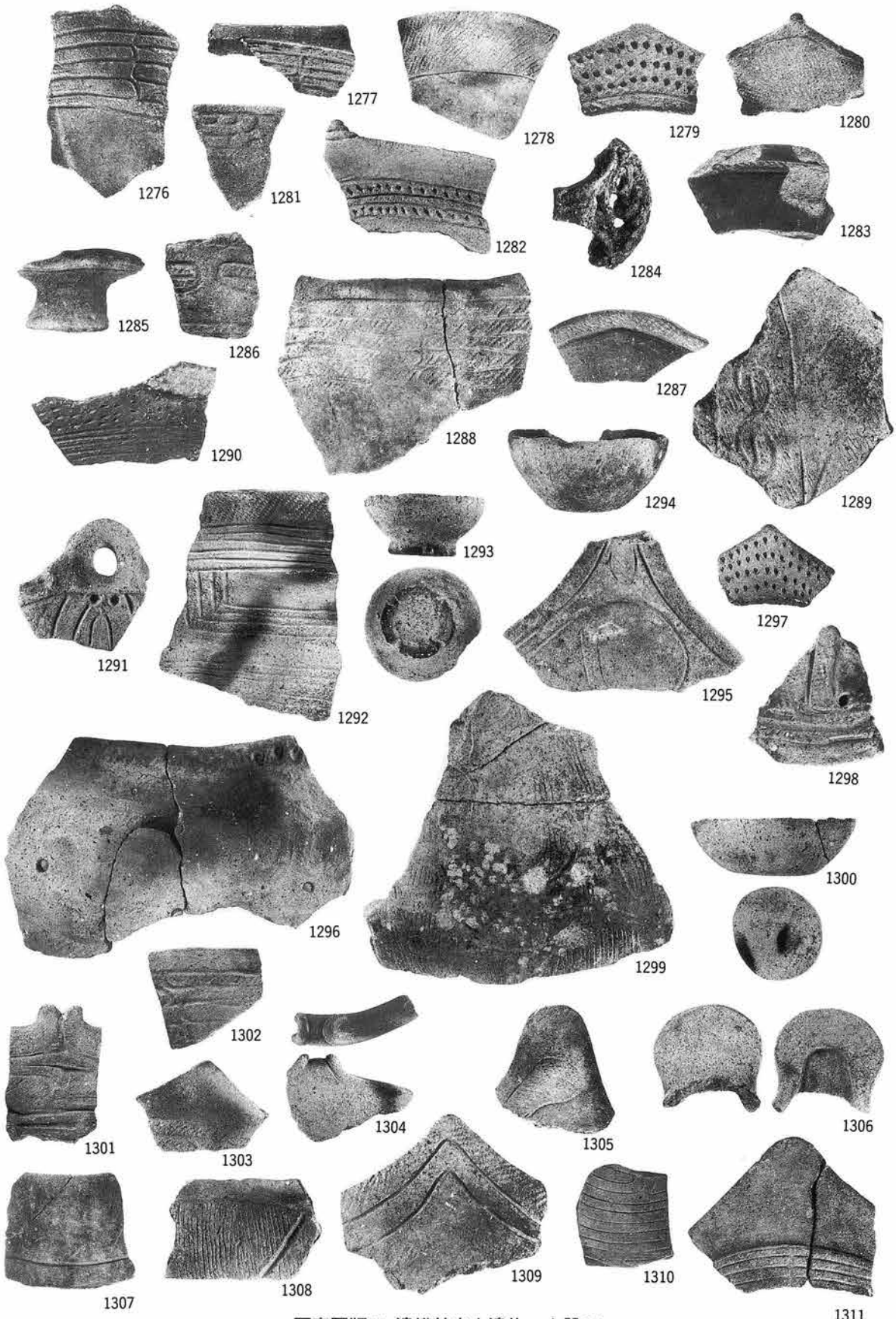
写真図版68　遺構外出土遺物・土器40



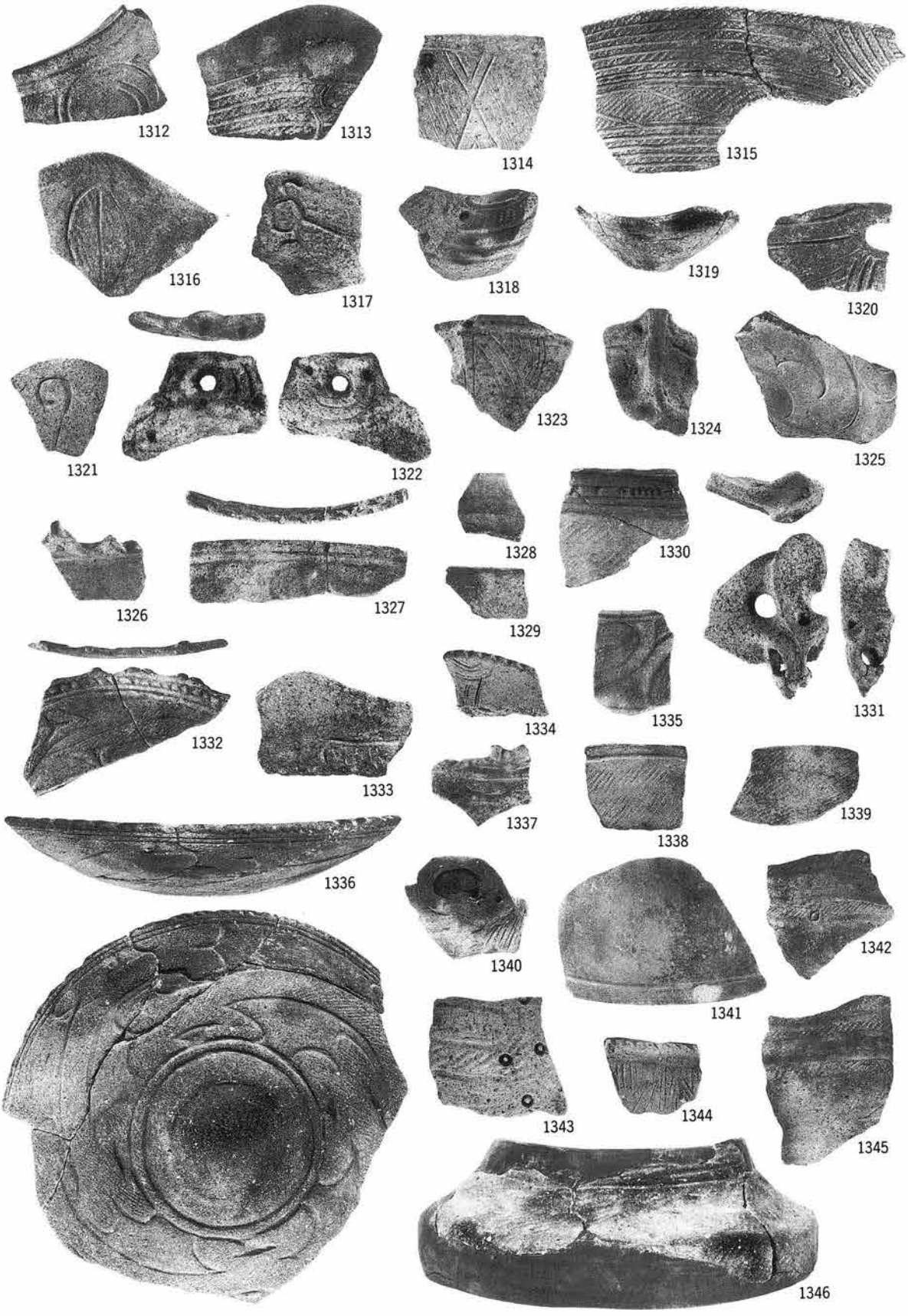
写真図版69　遺構外出土遺物・土器41



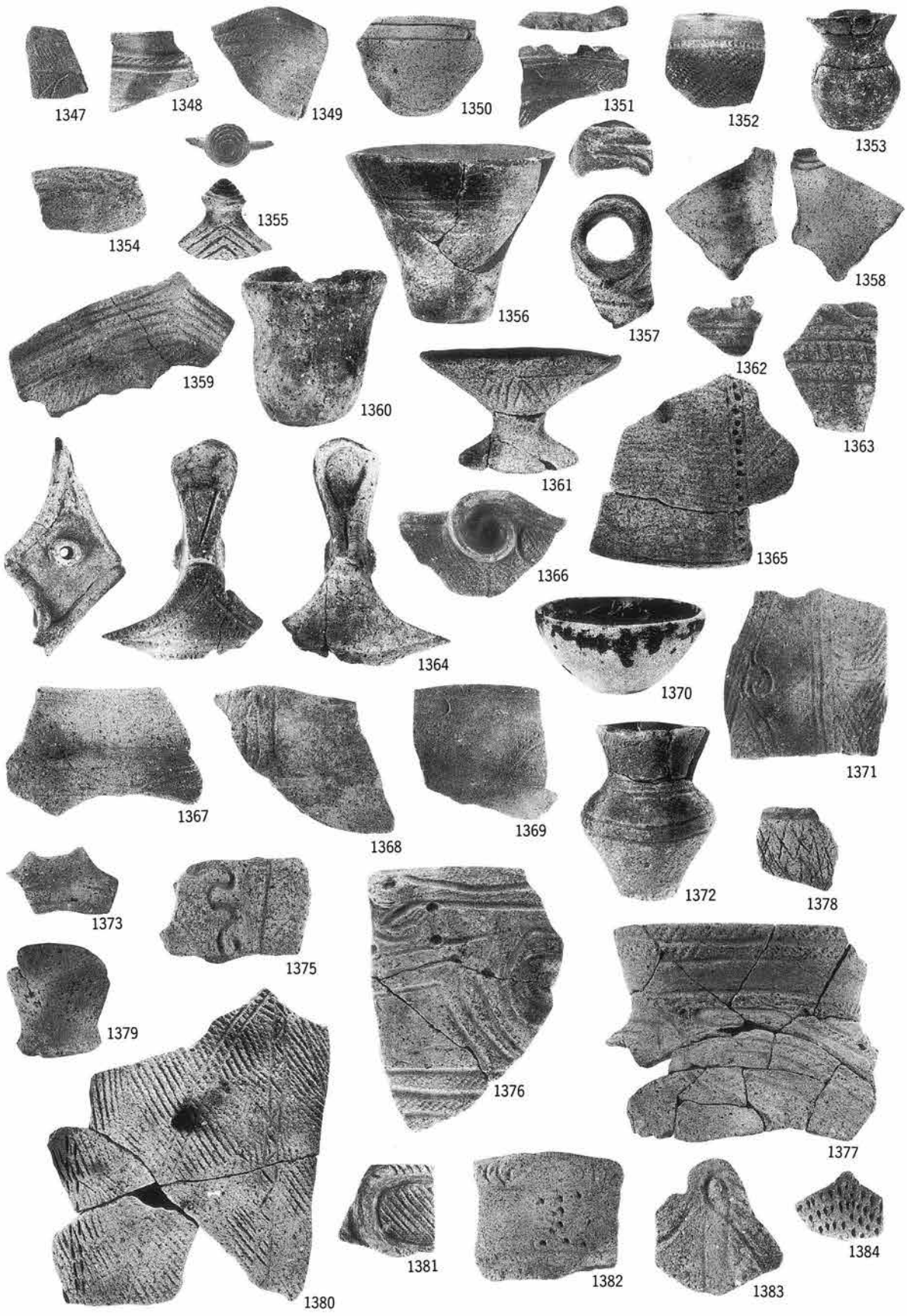
写真図版70　遺構外出土遺物・土器42



写真図版71 遺構外出土遺物・土器43

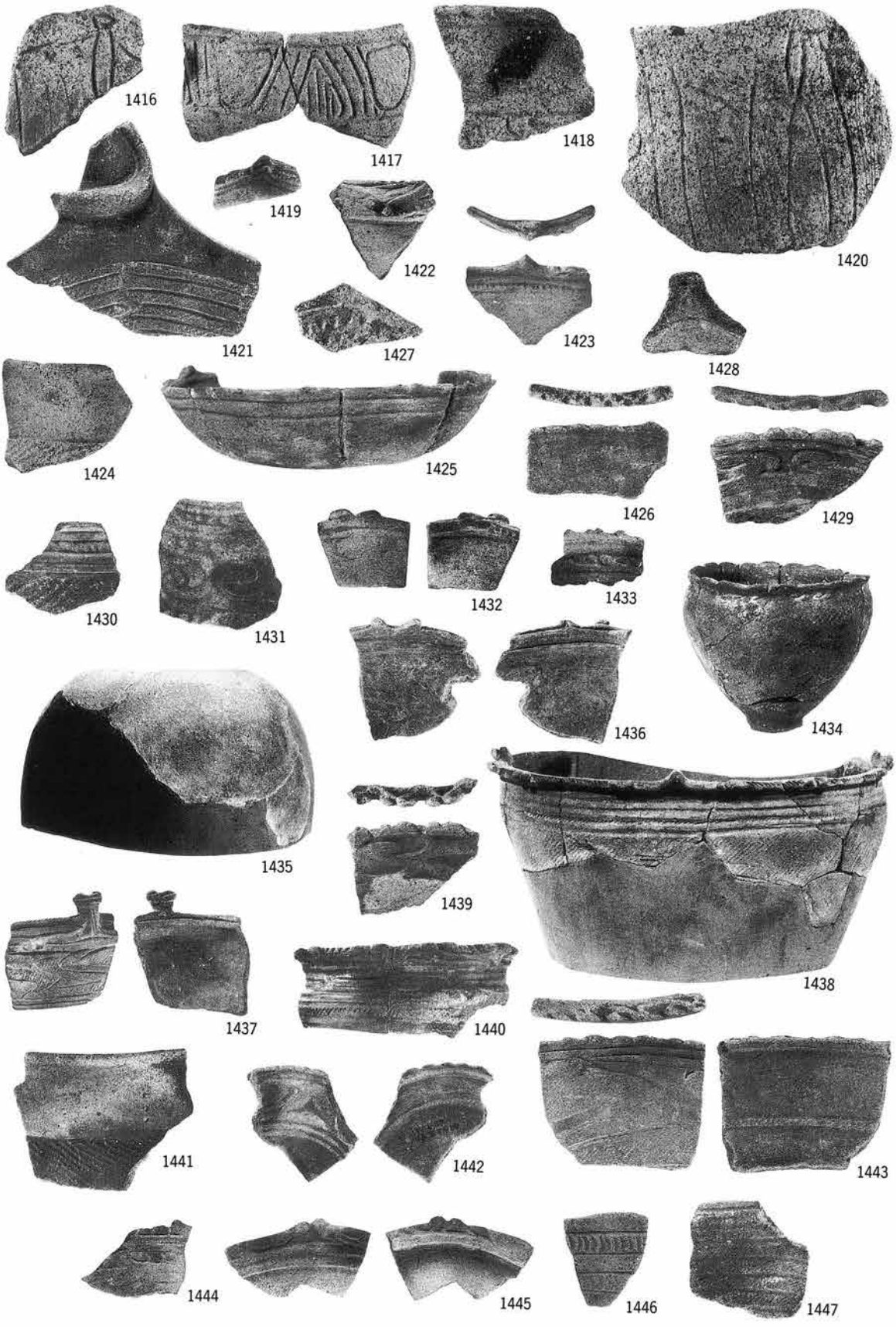


写真図版72 遺構外出土遺物・土器44

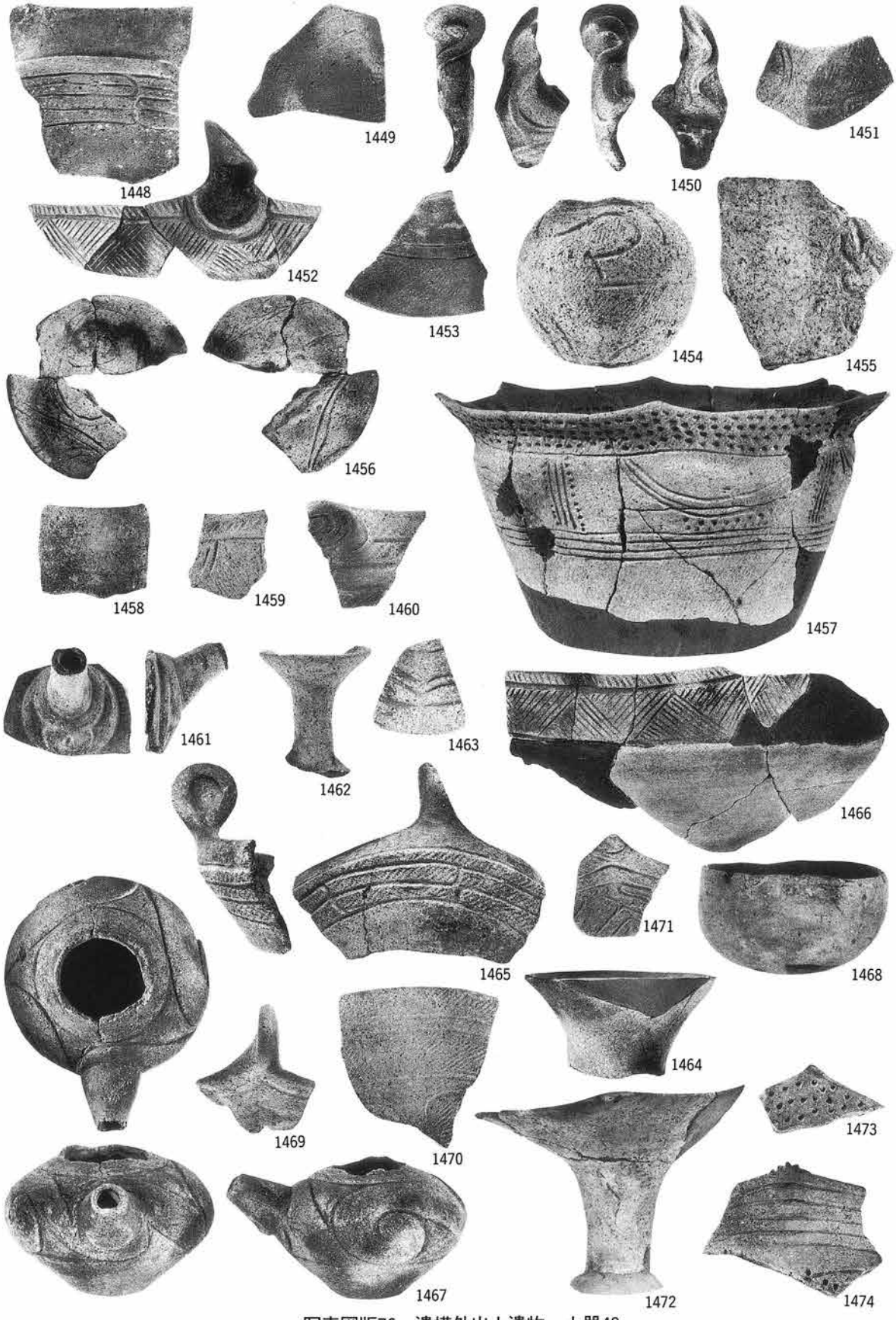


写真図版73　遺構外出土遺物・土器45

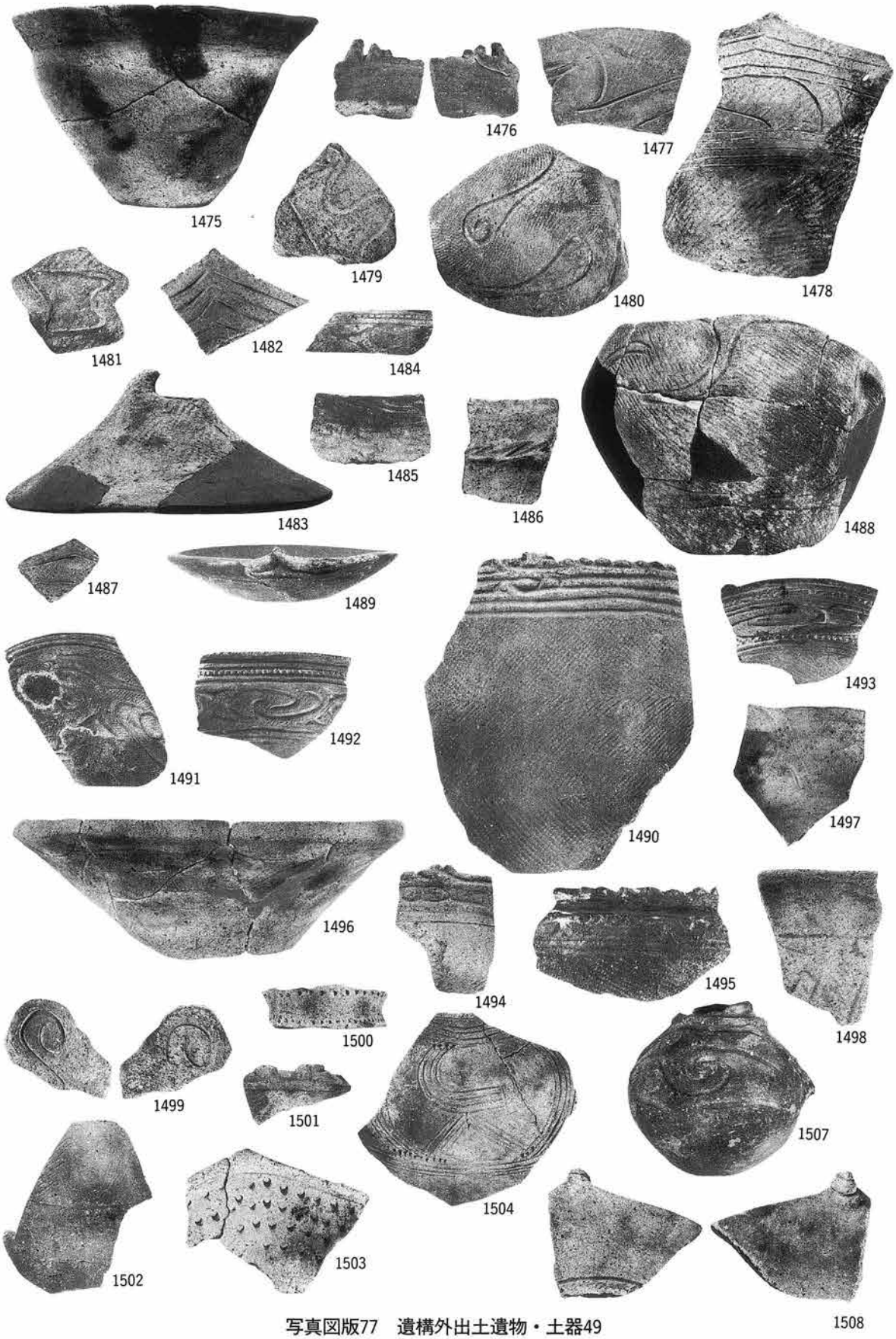
写真図版74　遺構外出土遺物・土器46



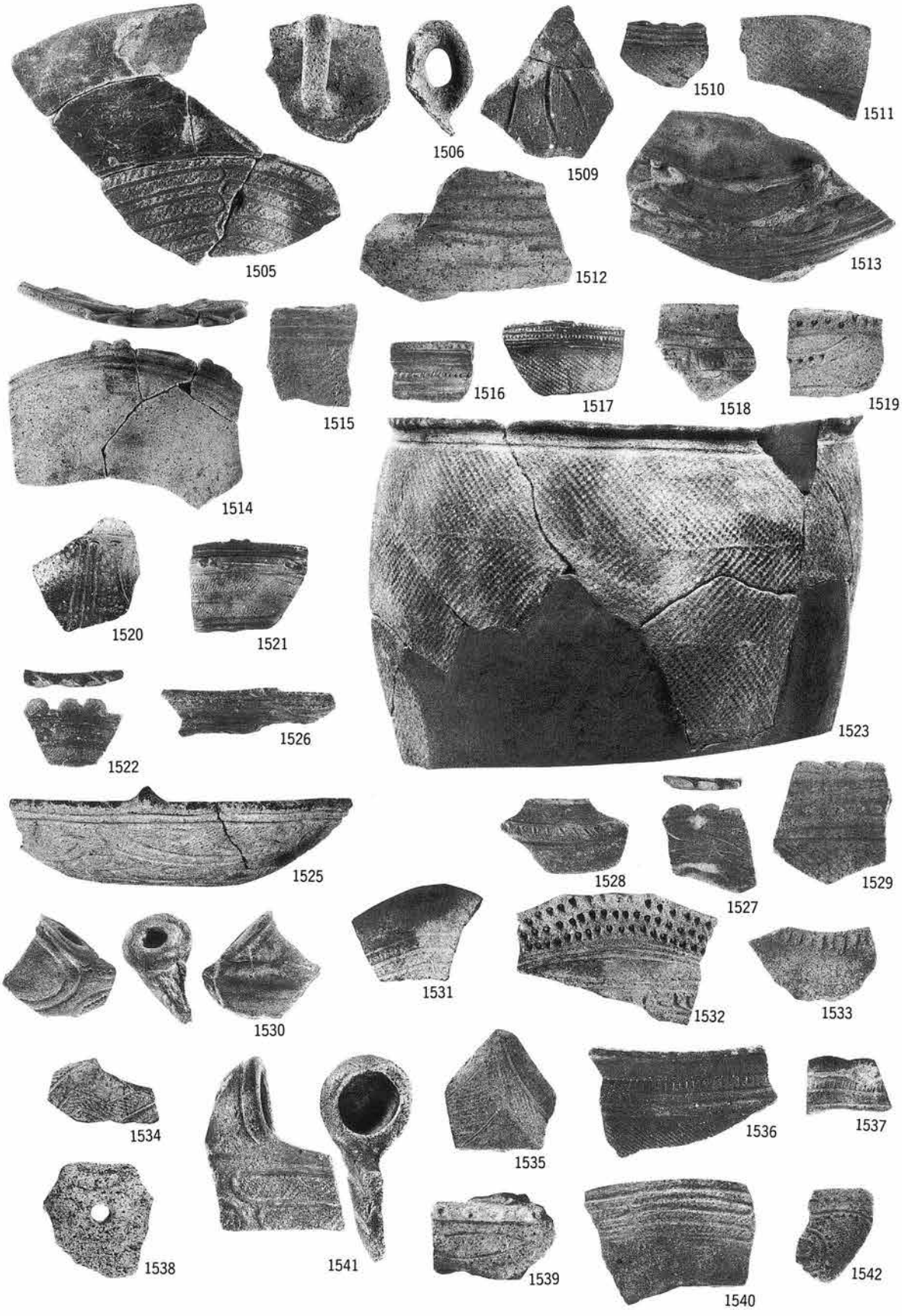
写真図版75　遺構外出土遺物・土器47



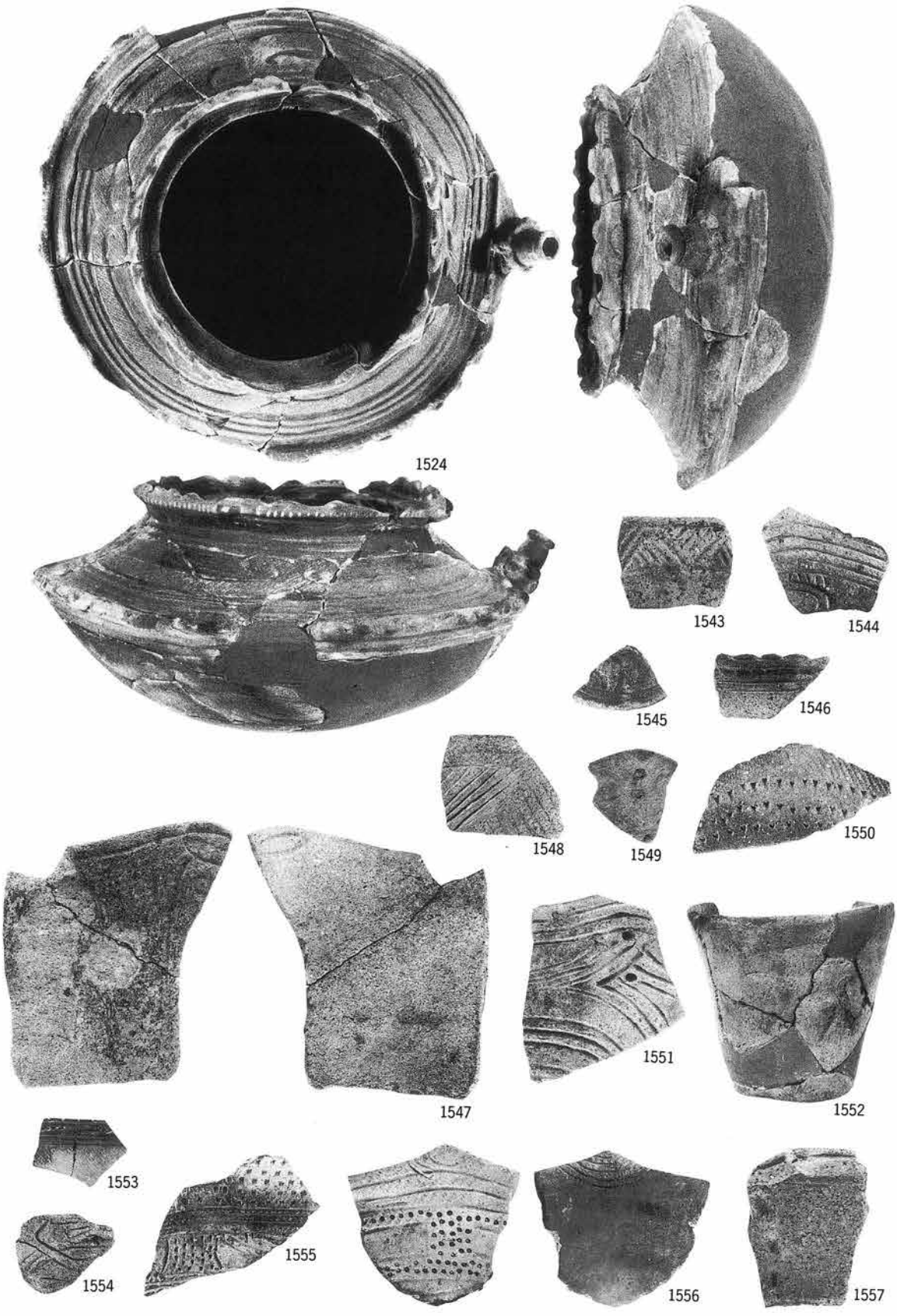
写真図版76　遺構外出土遺物・土器48



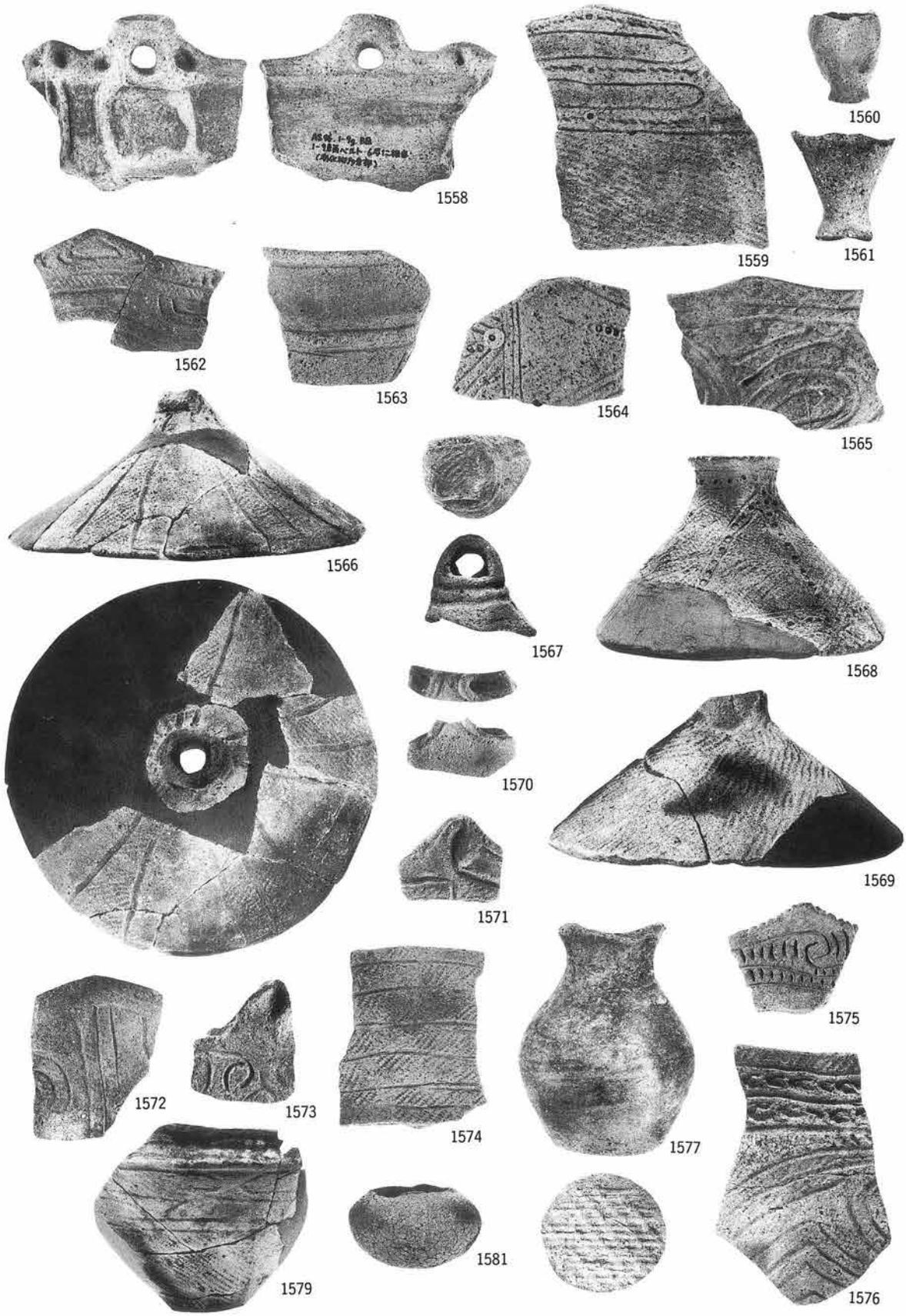
写真図版77　遺構外出土遺物・土器49



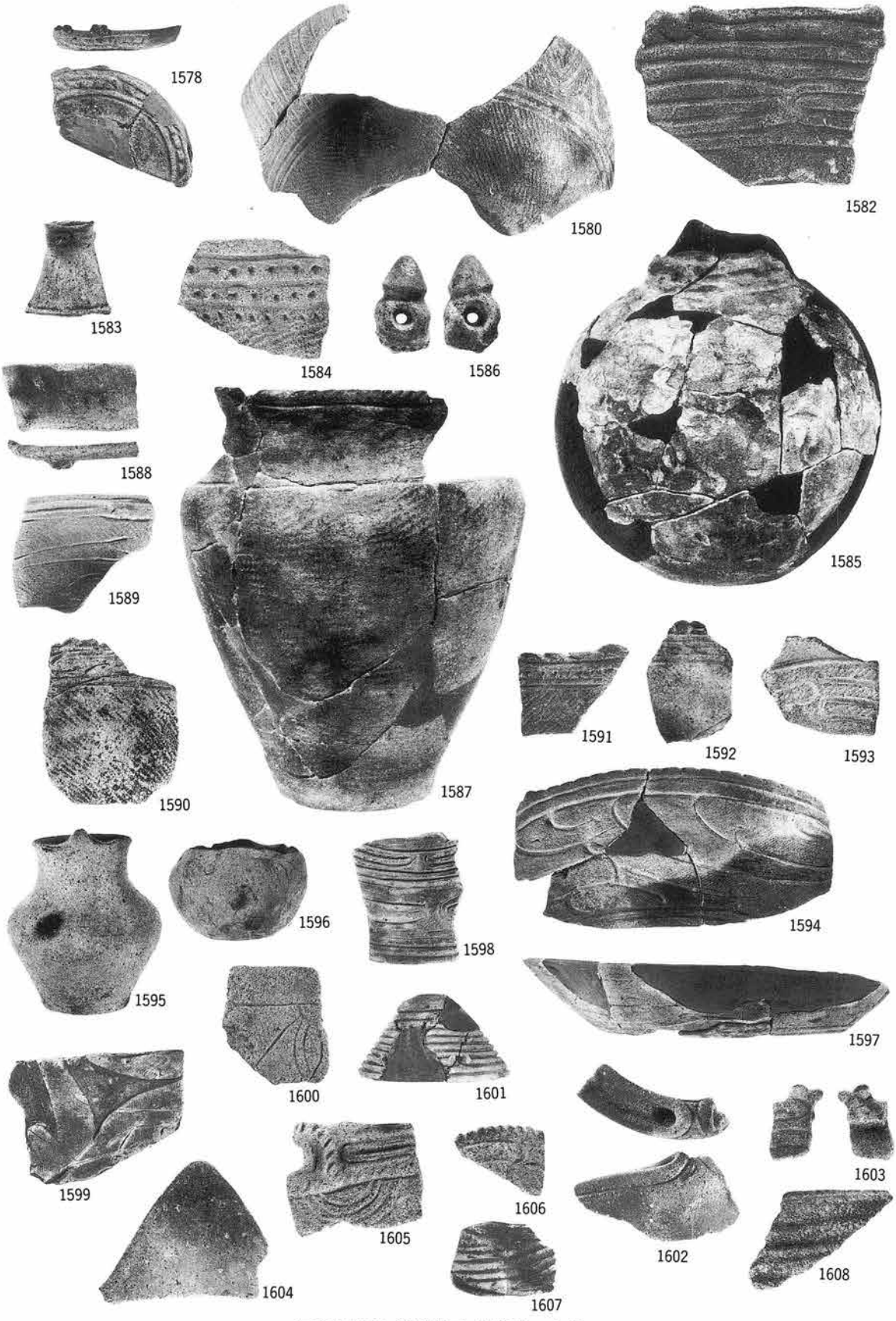
写真図版78　遺構外出土遺物・土器50



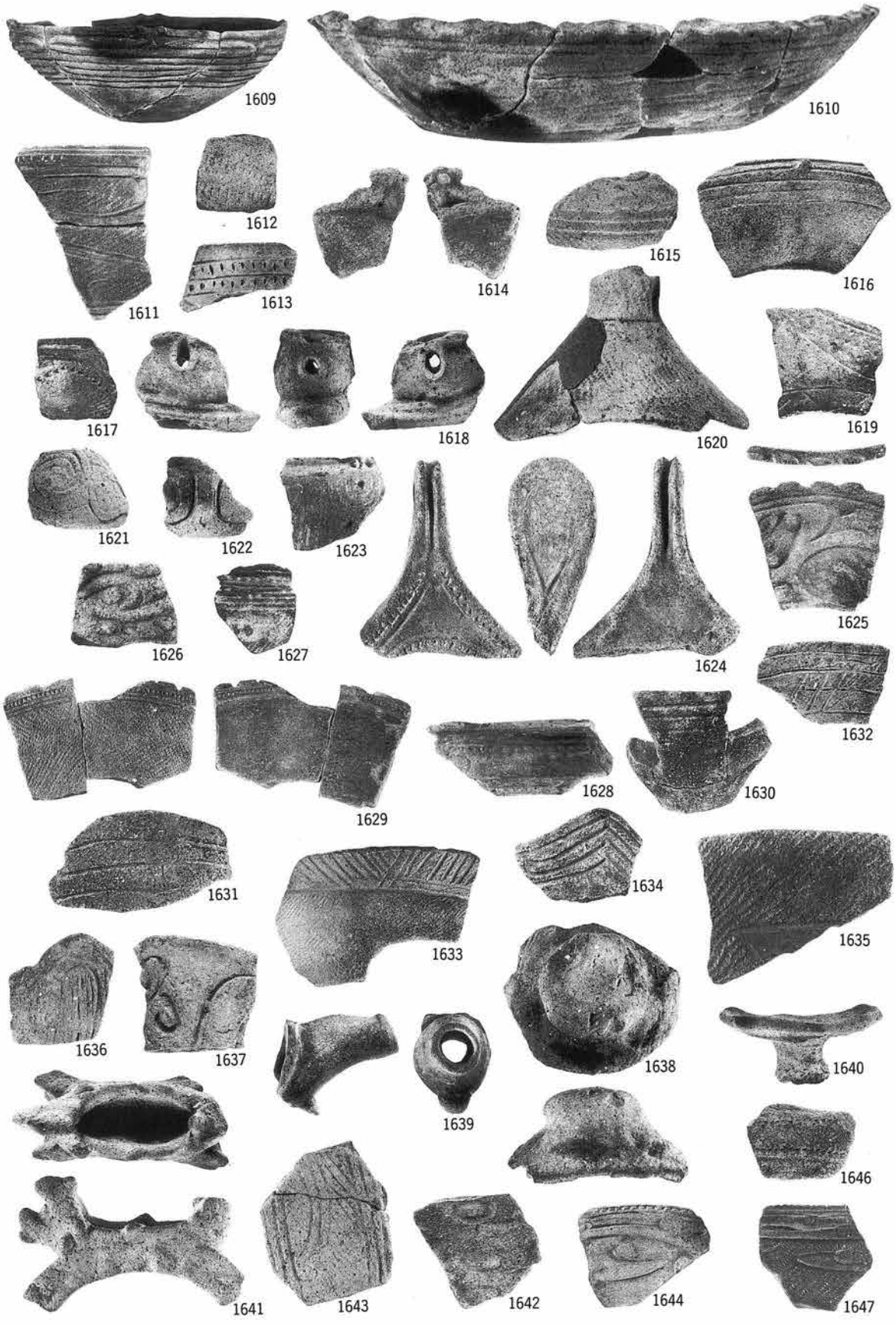
写真図版79　遺構外出土遺物・土器51



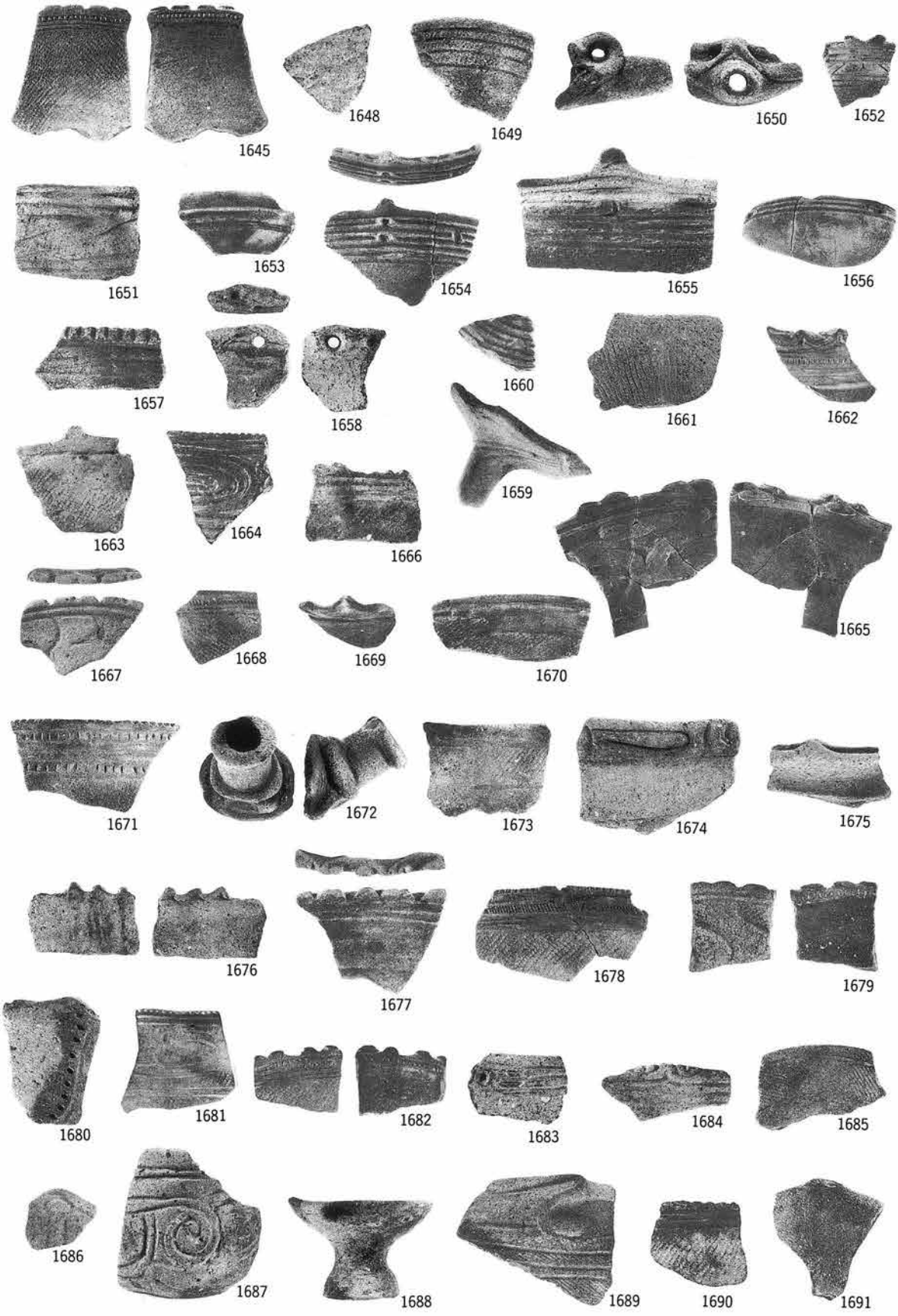
写真図版80　遺構外出土遺物・土器52



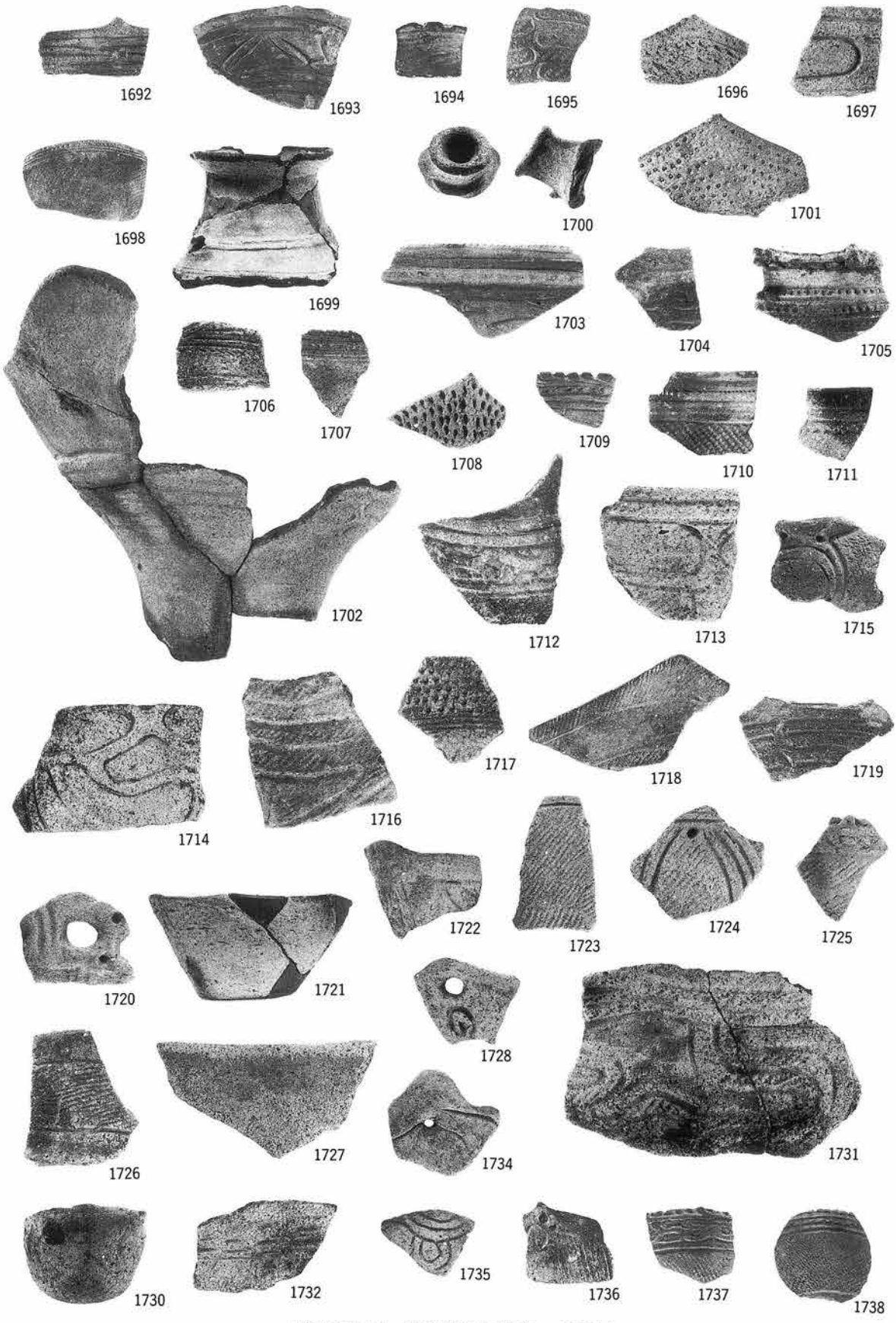
写真図版81 遺構外出土遺物・土器53



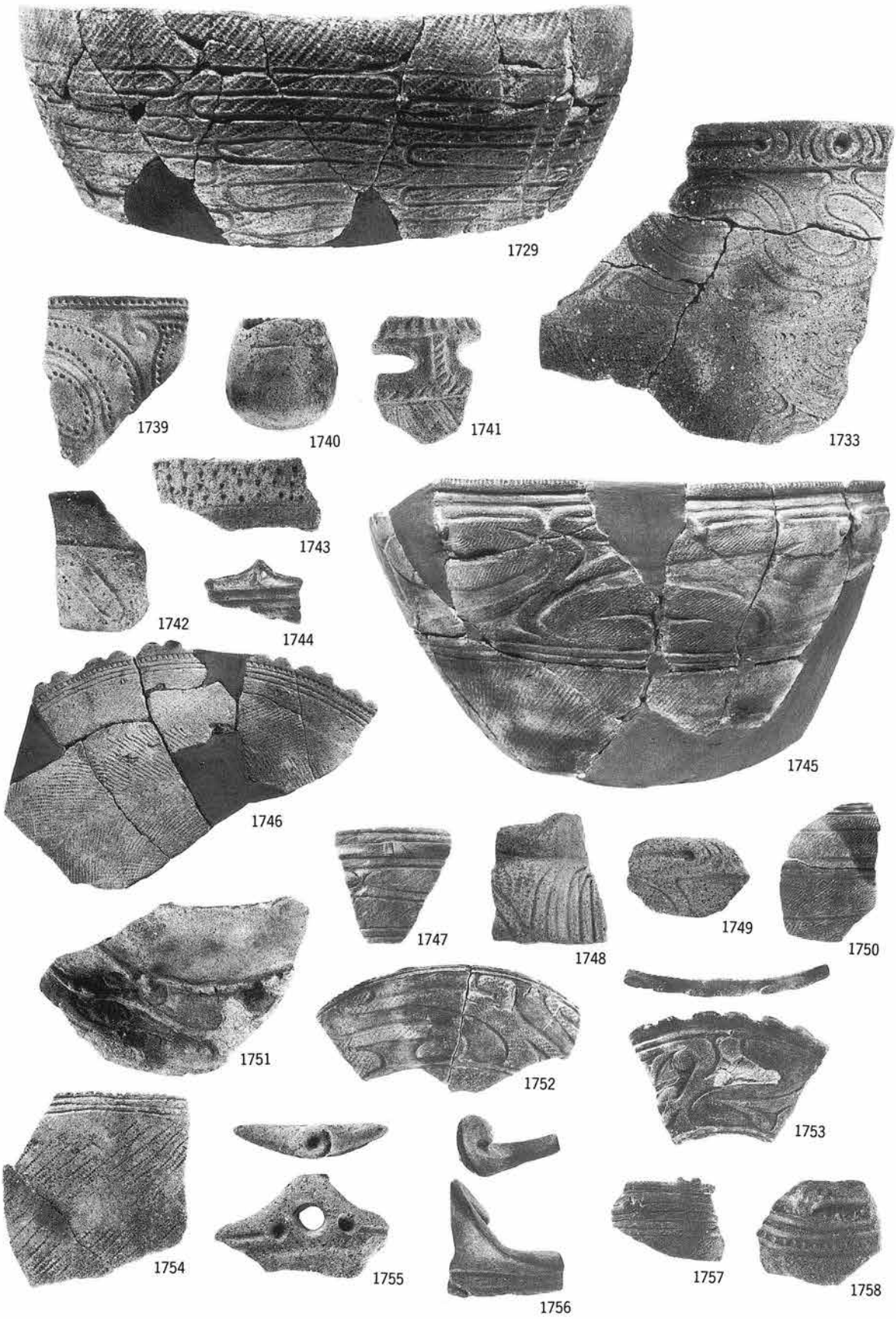
写真図版82　遺構外出土遺物・土器54



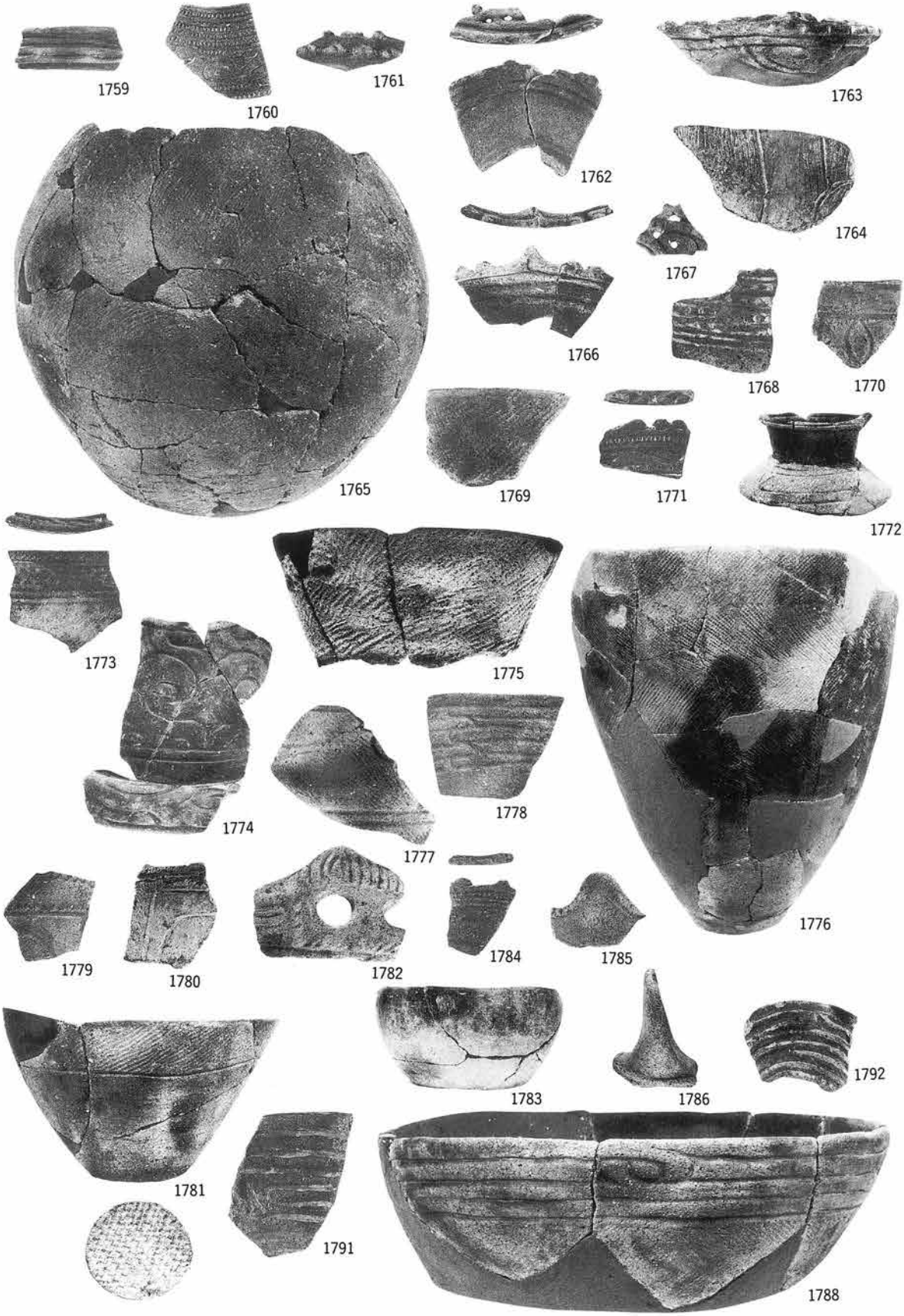
写真図版83　遺構外出土遺物・土器55



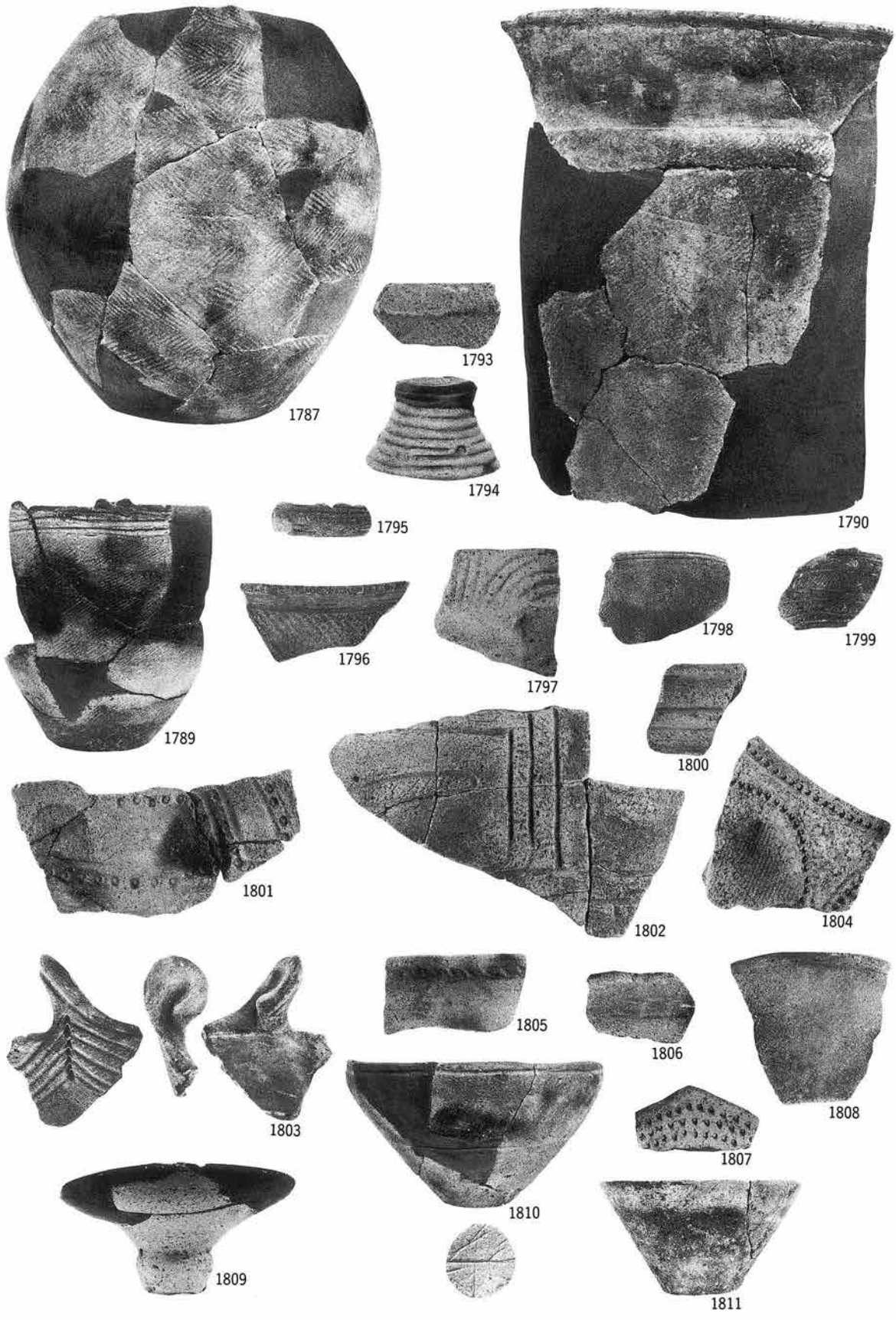
写真図版84　遺構外出土遺物・土器56



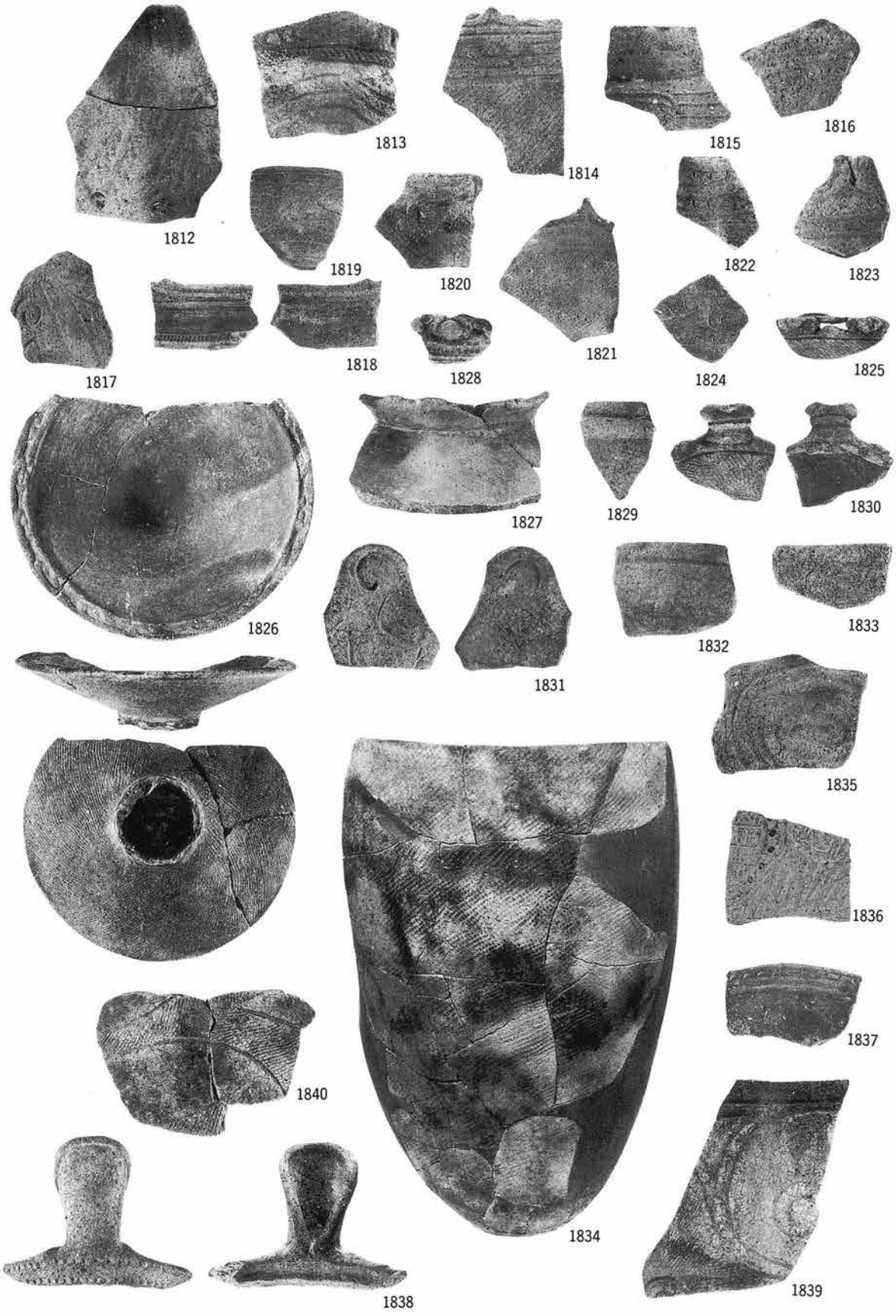
写真図版85　遺構外出土遺物・土器57



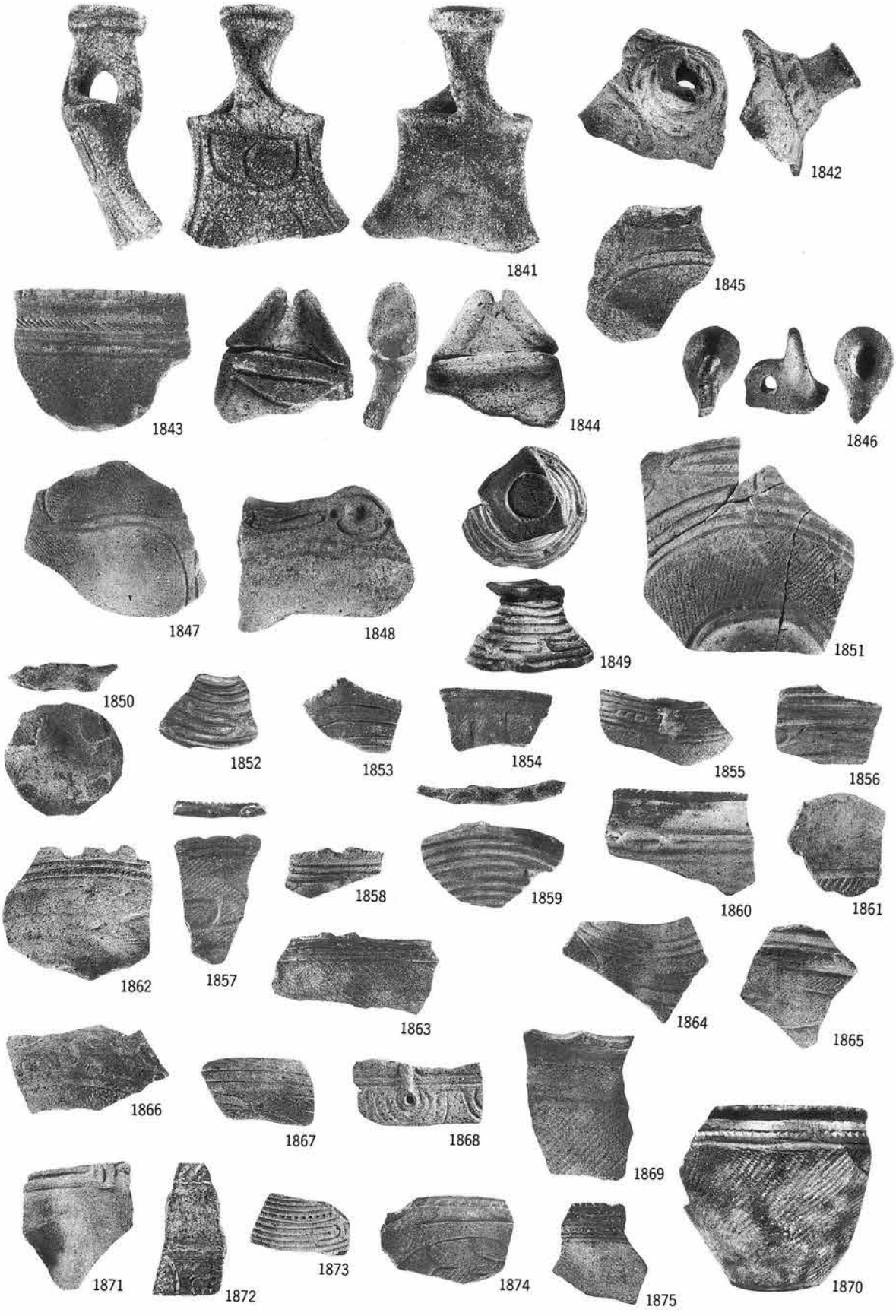
写真図版86　遺構外出土遺物・土器58



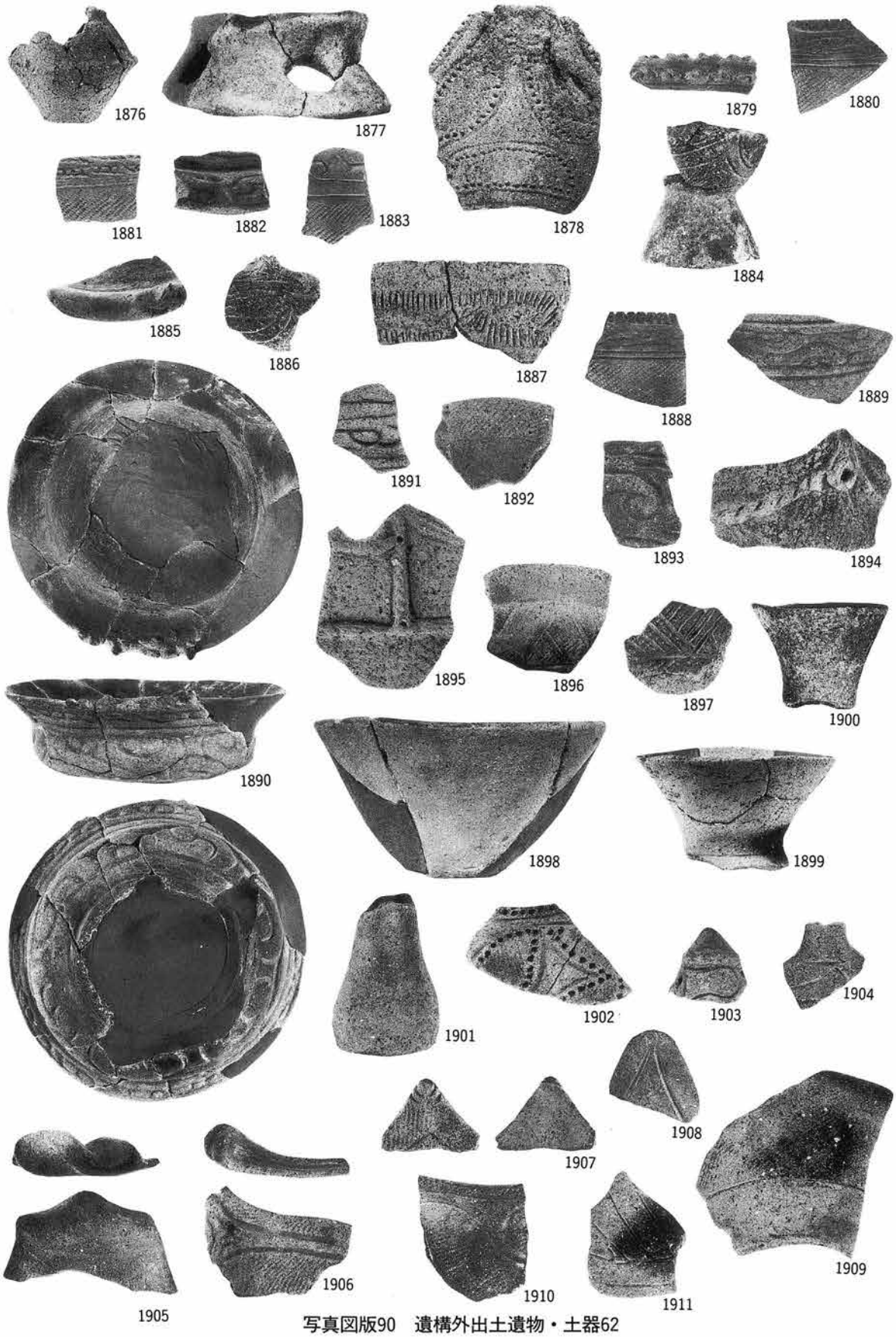
写真図版87　遺構外出土遺物・土器59



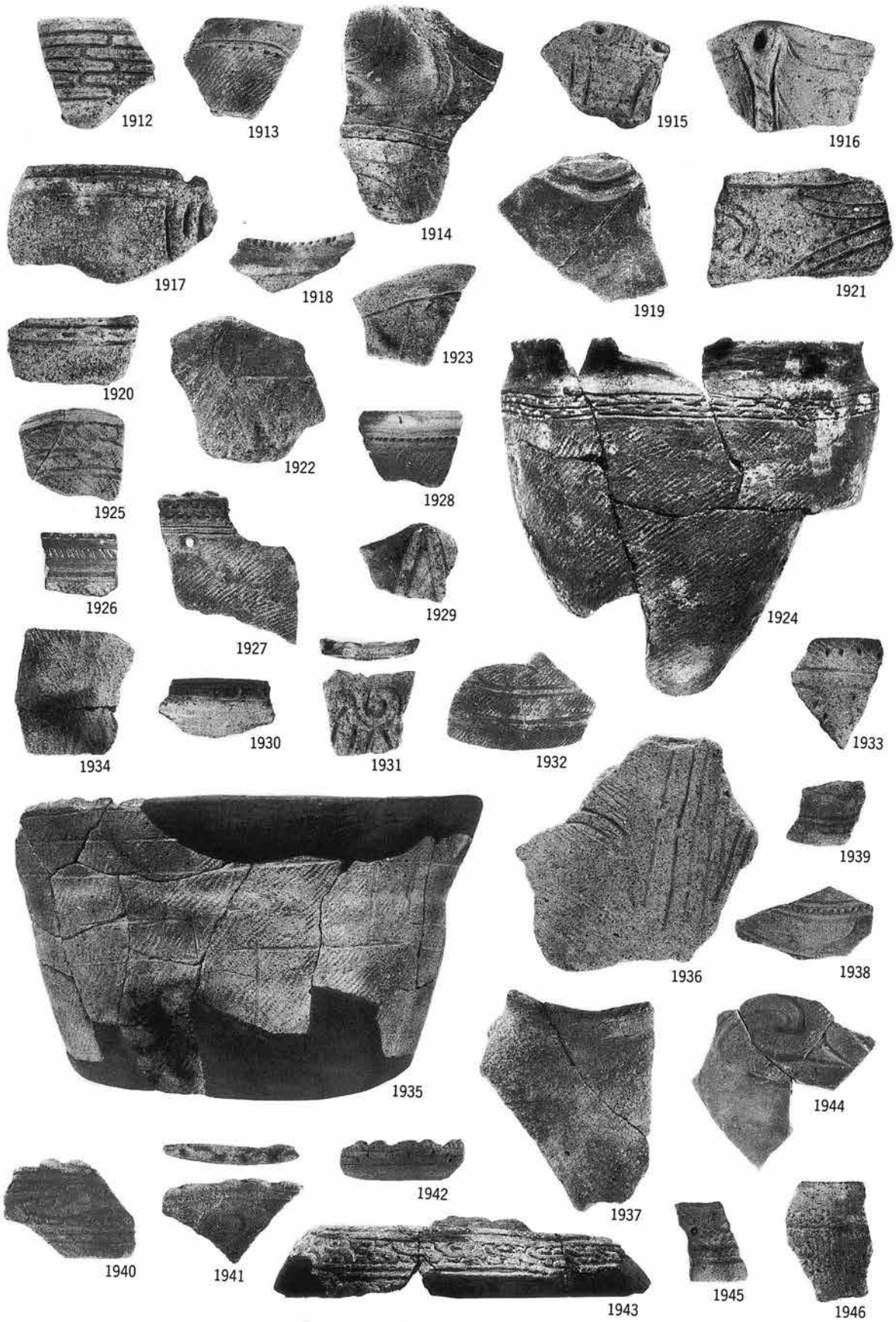
写真図版88　遺構外出土遺物・土器60



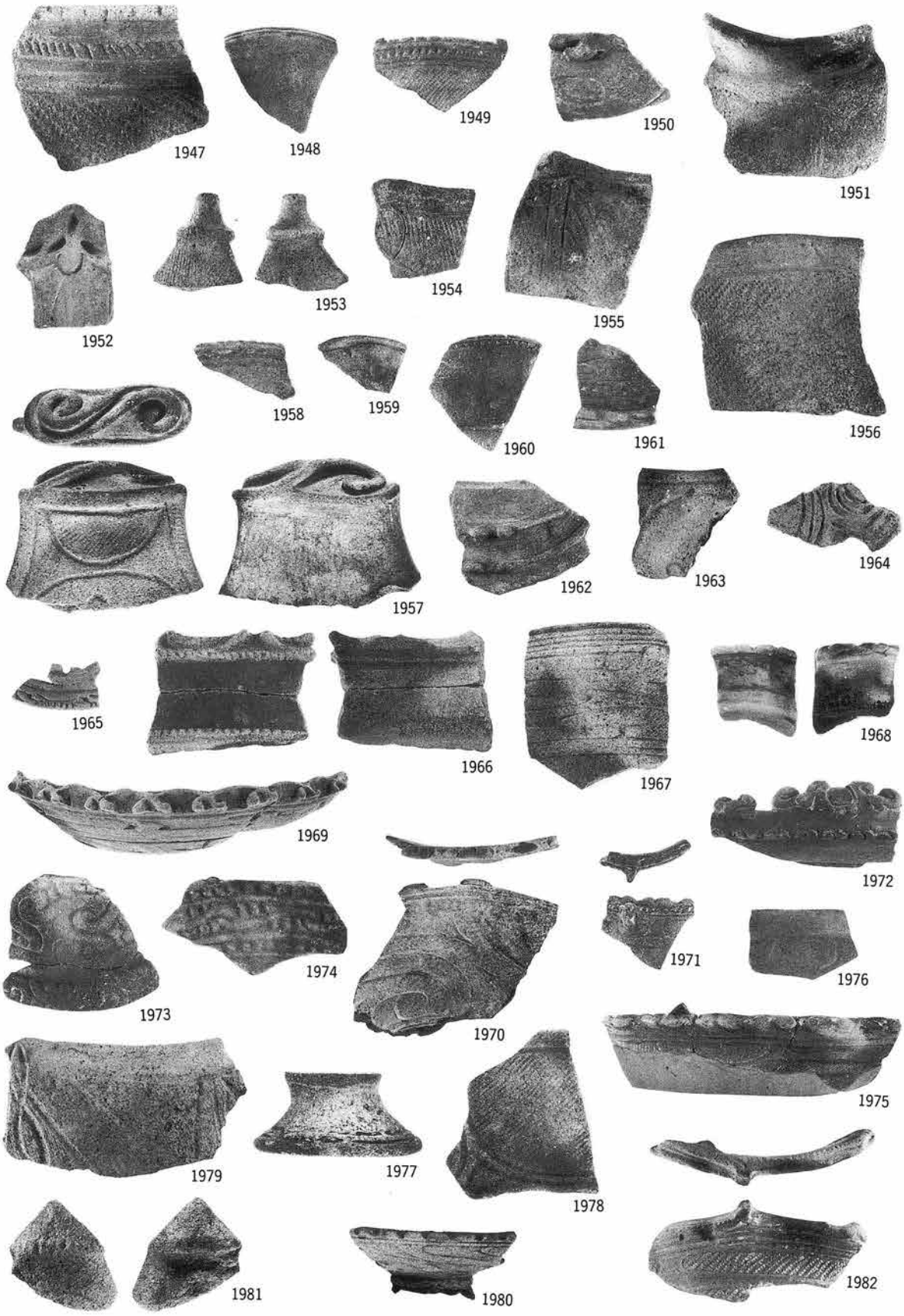
写真図版89　遺構外出土遺物・土器61



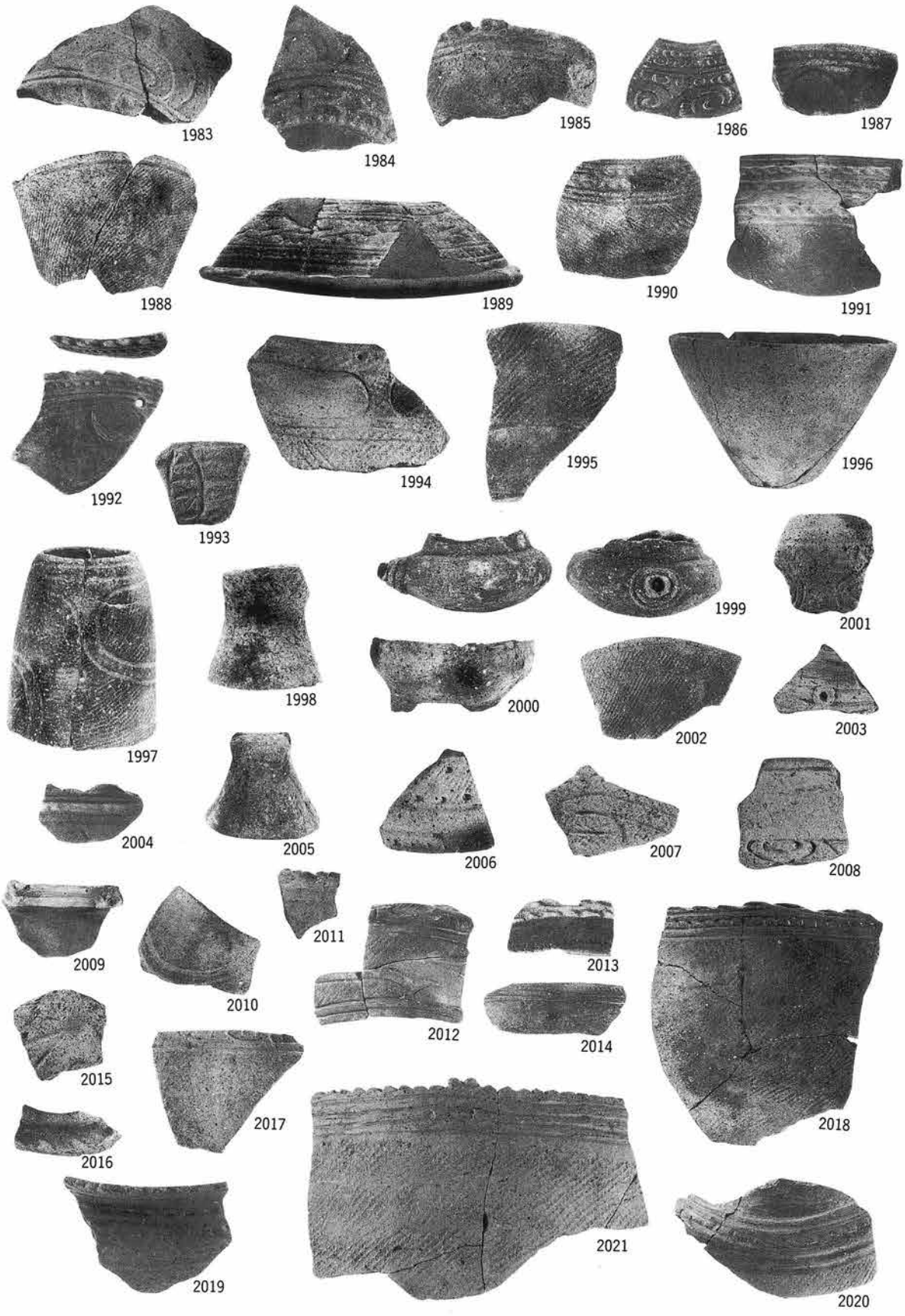
写真図版90　遺構外出土遺物・土器62



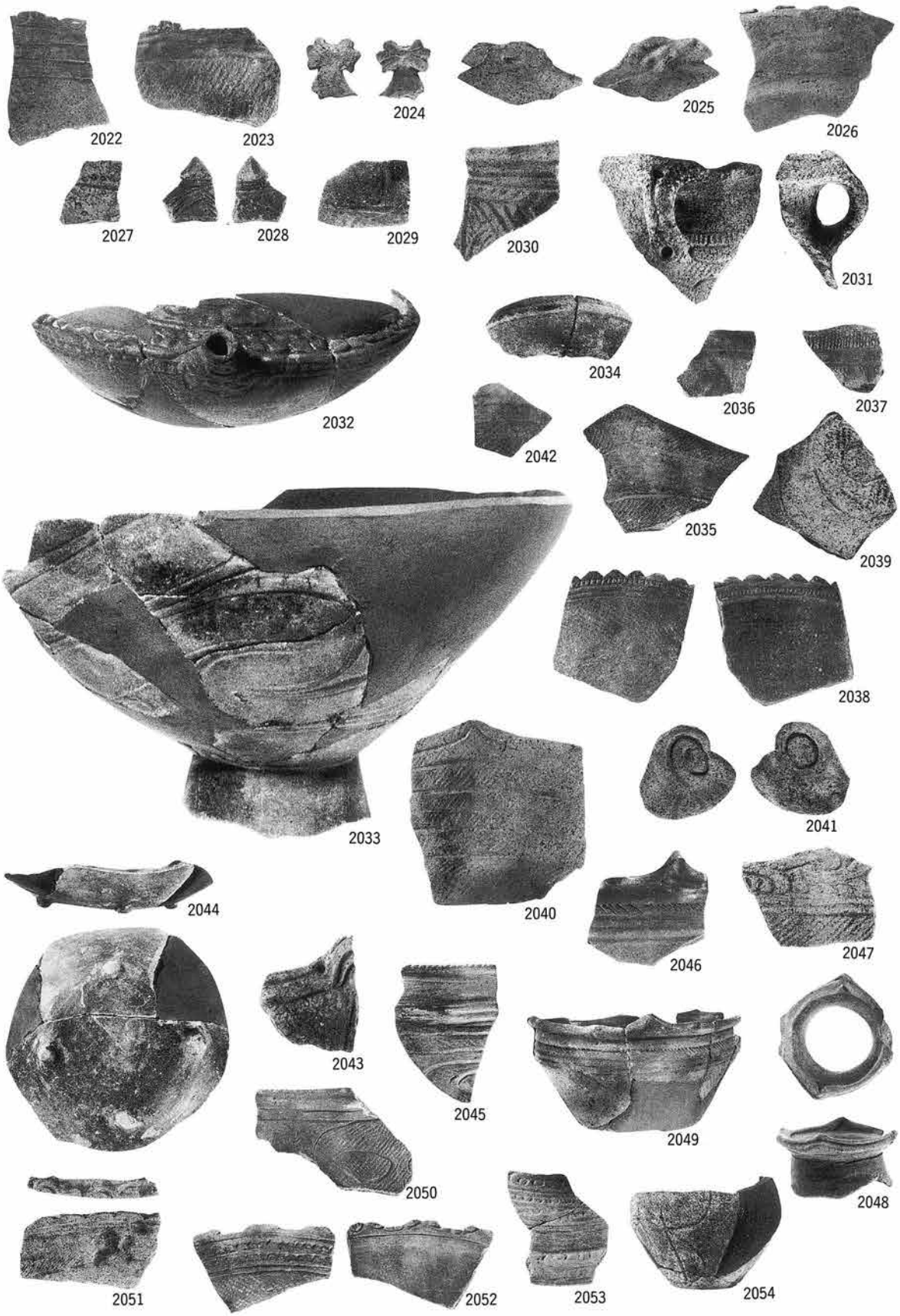
写真図版91　遺構外出土遺物・土器63



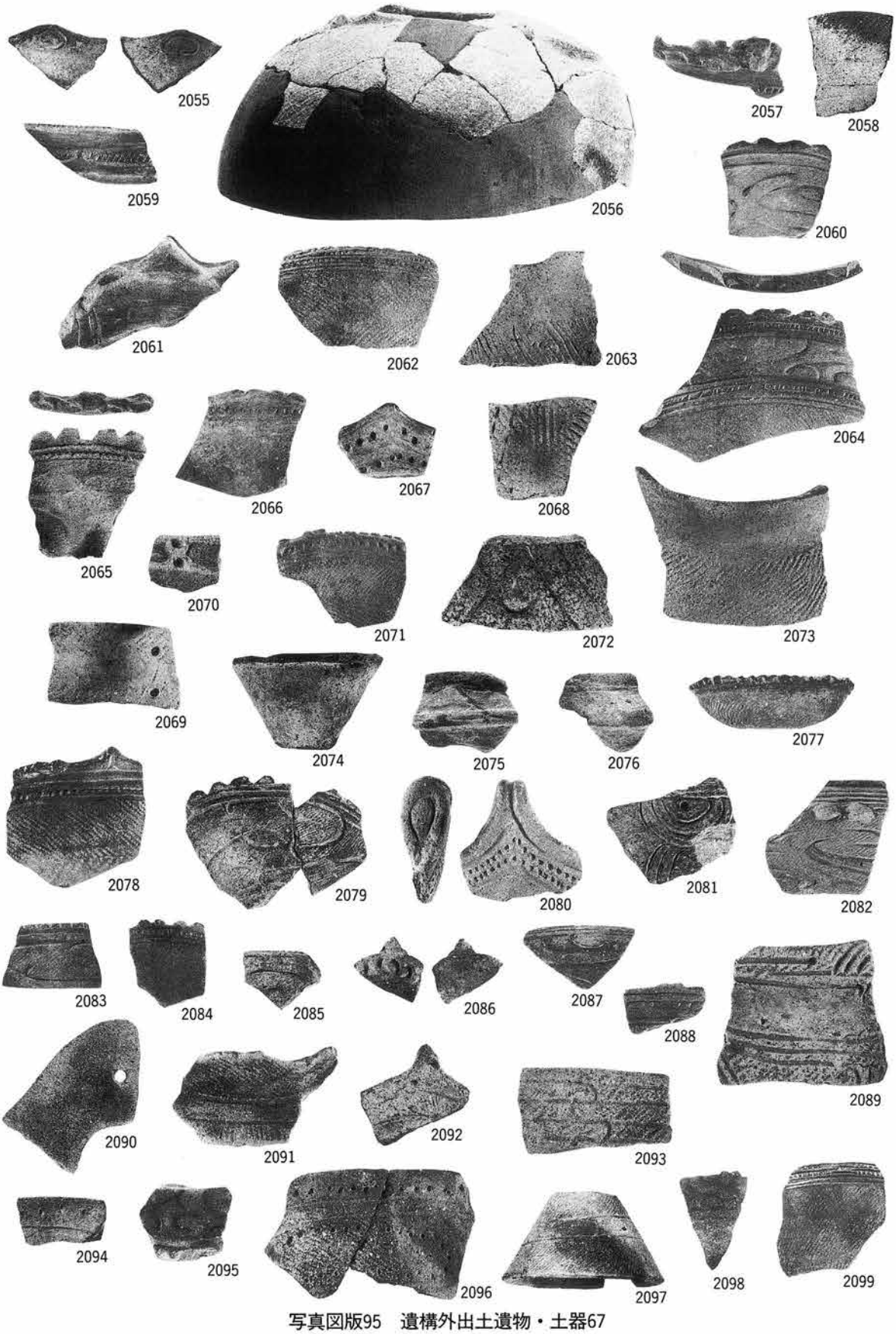
写真図版92　遺構外出土遺物・土器64



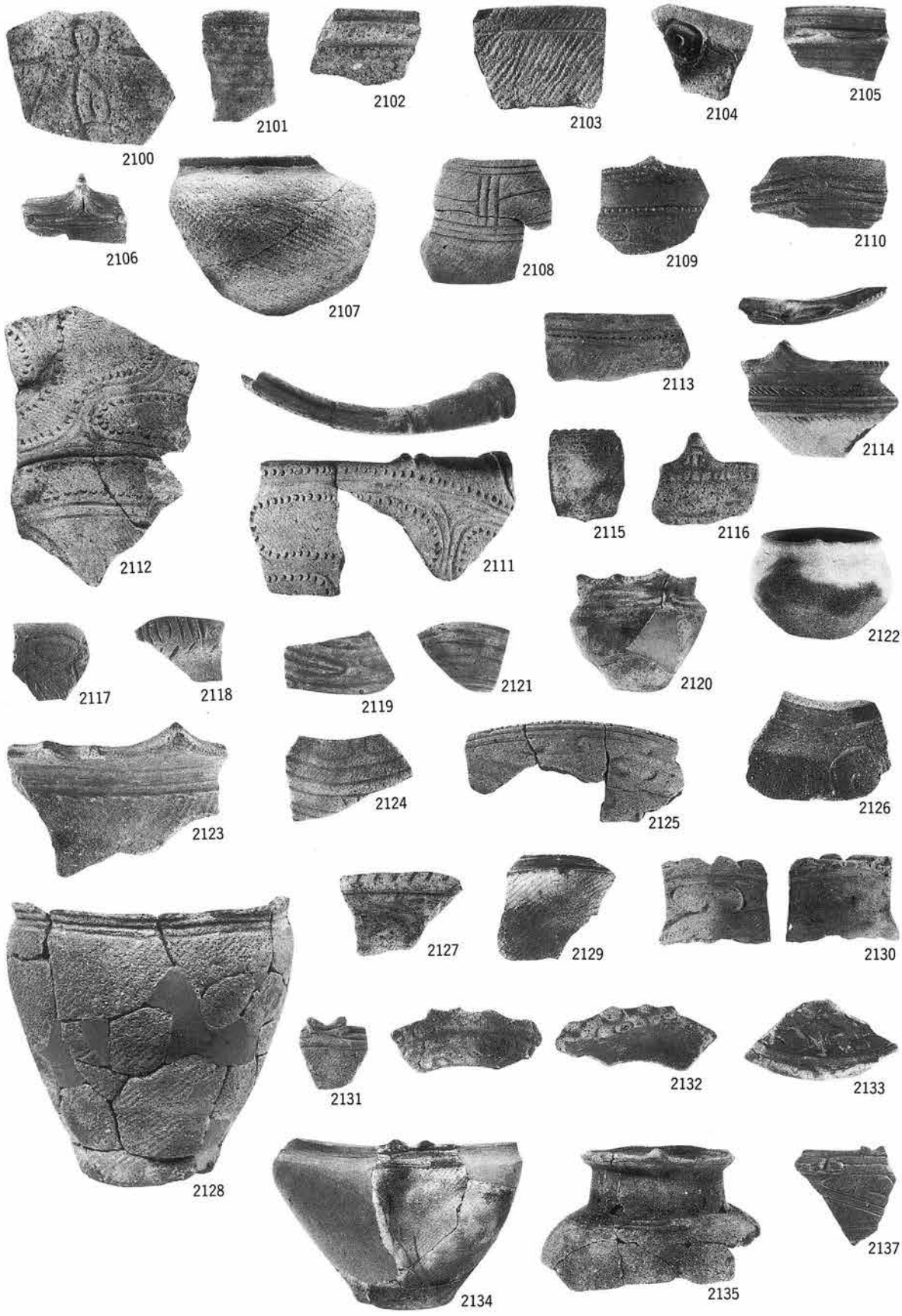
写真図版93　遺構外出土遺物・土器65



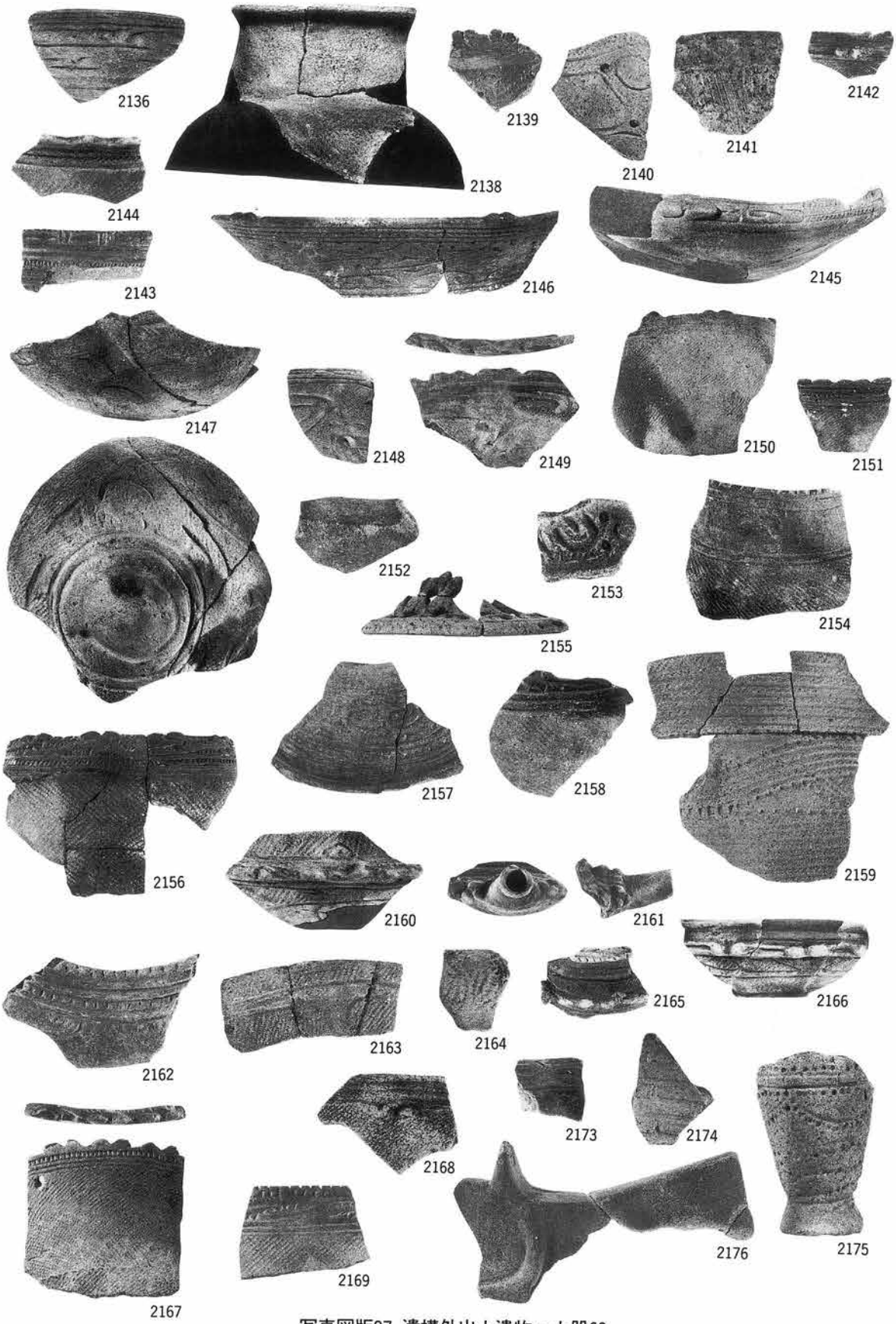
写真図版94　遺構外出土遺物・土器66



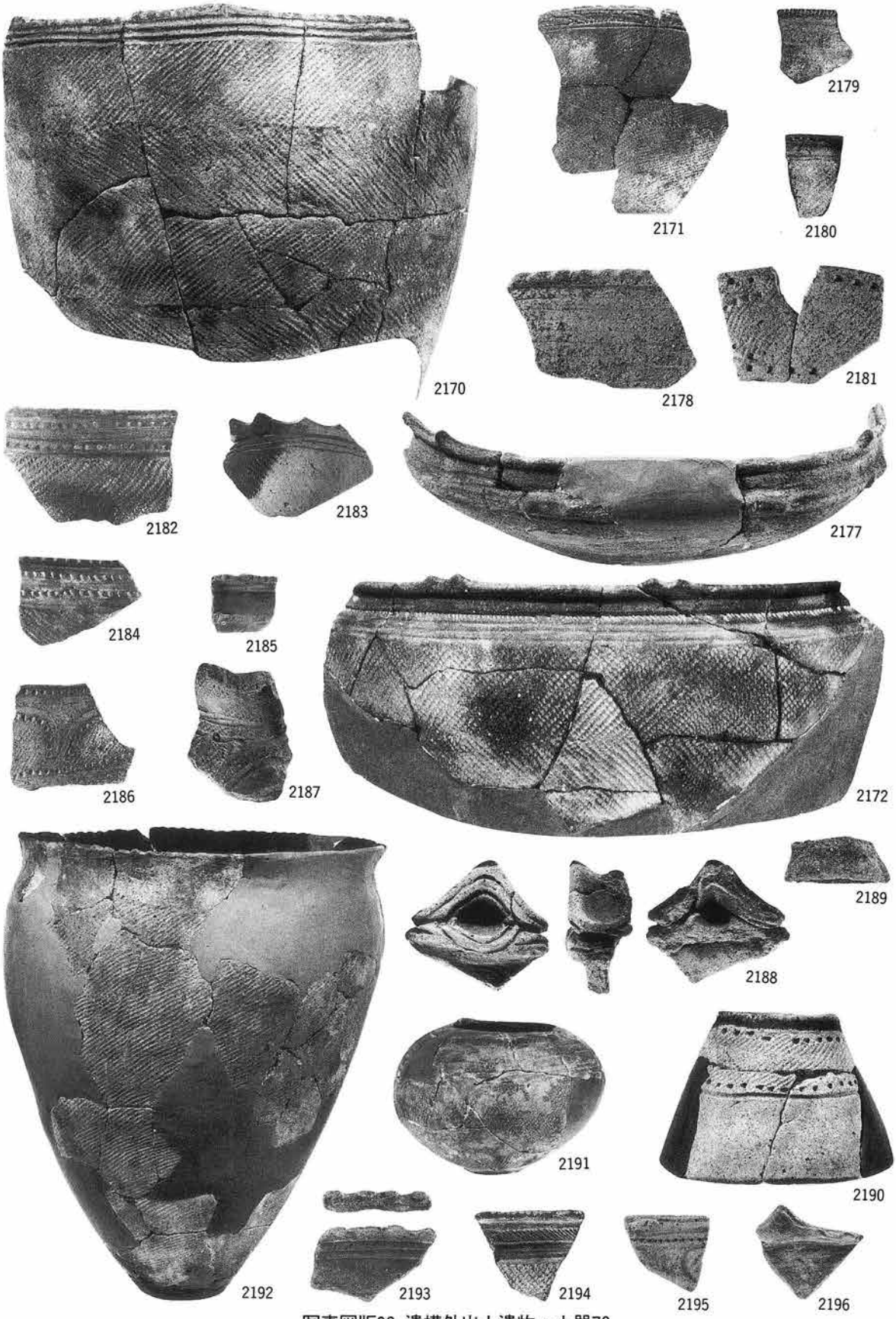
写真図版95　遺構外出土遺物・土器67



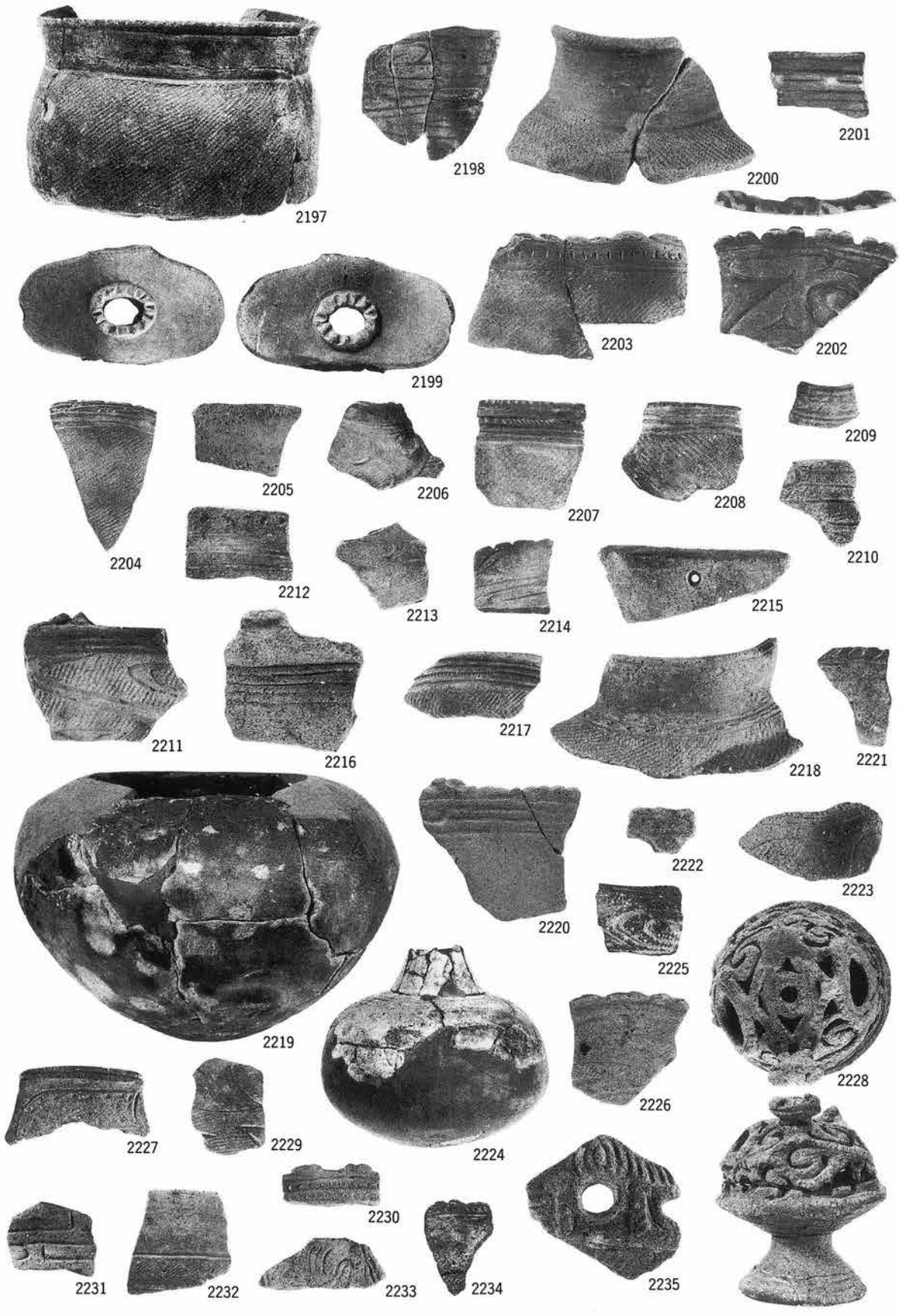
写真図版96　遺構外出土遺物・土器68



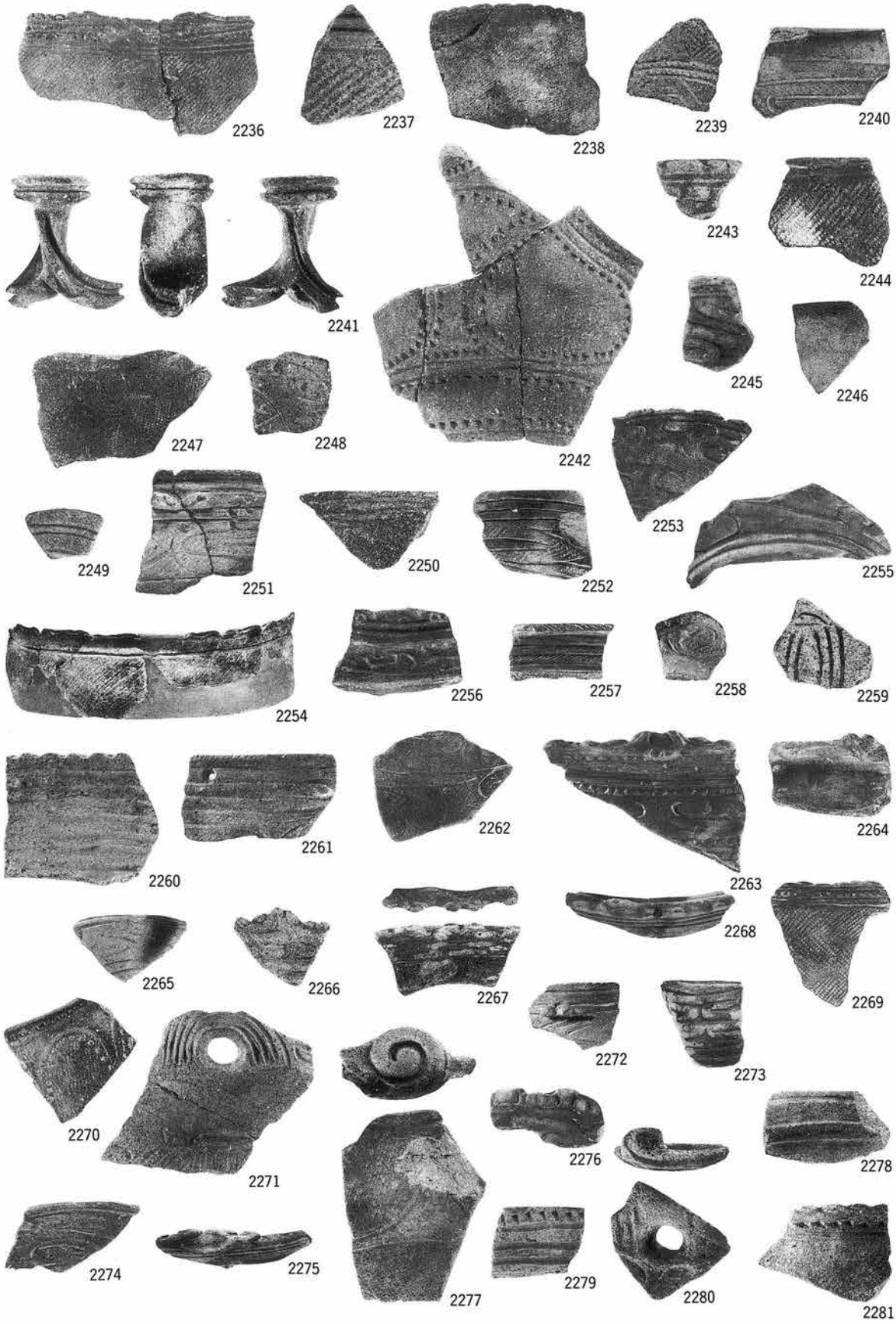
写真図版97 遺構外出土遺物・土器69



写真図版98 遺構外出土遺物・土器70

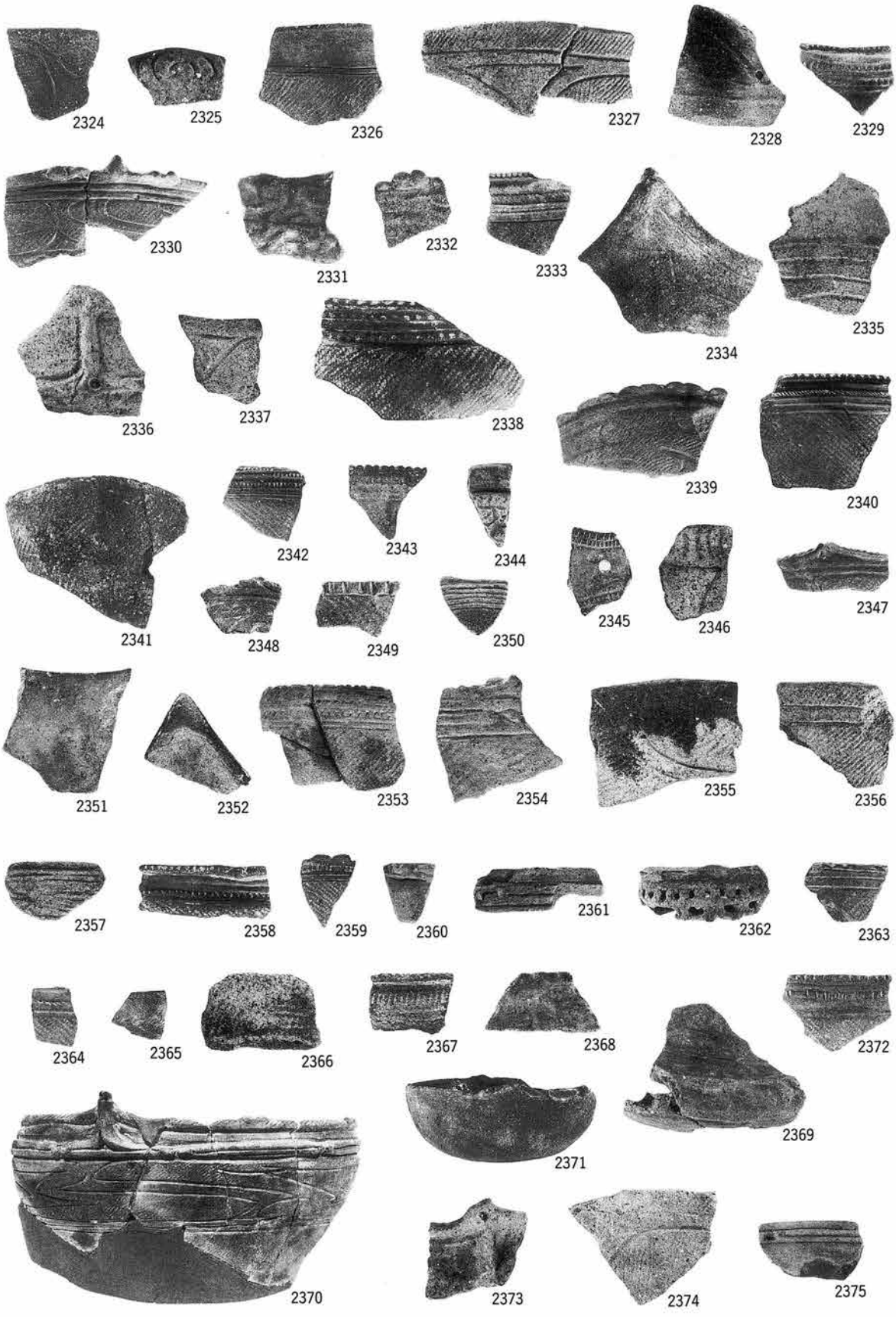


写真図版99 遺構外出土遺物・土器71

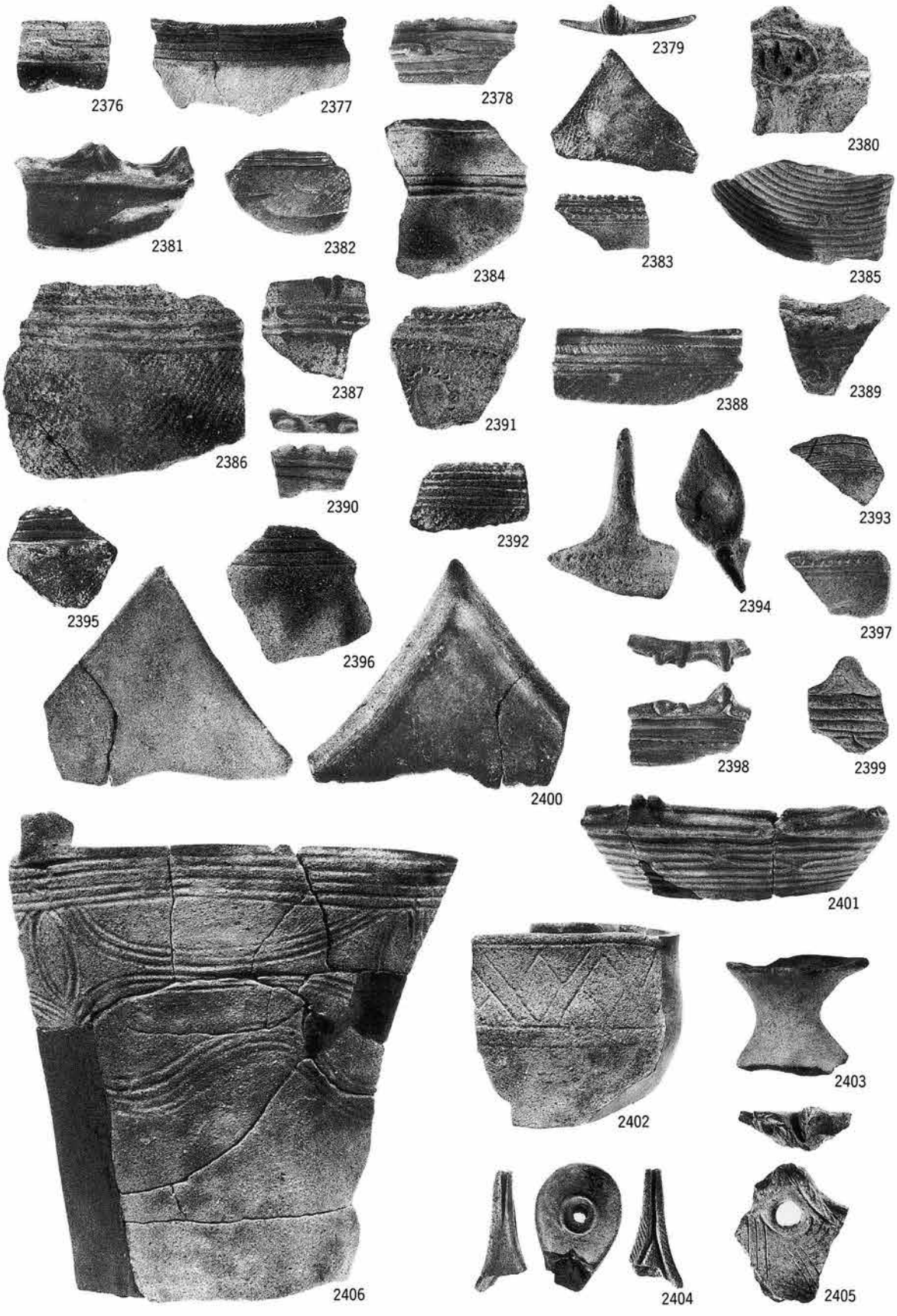


写真図版100 遺構外出土遺物・土器72

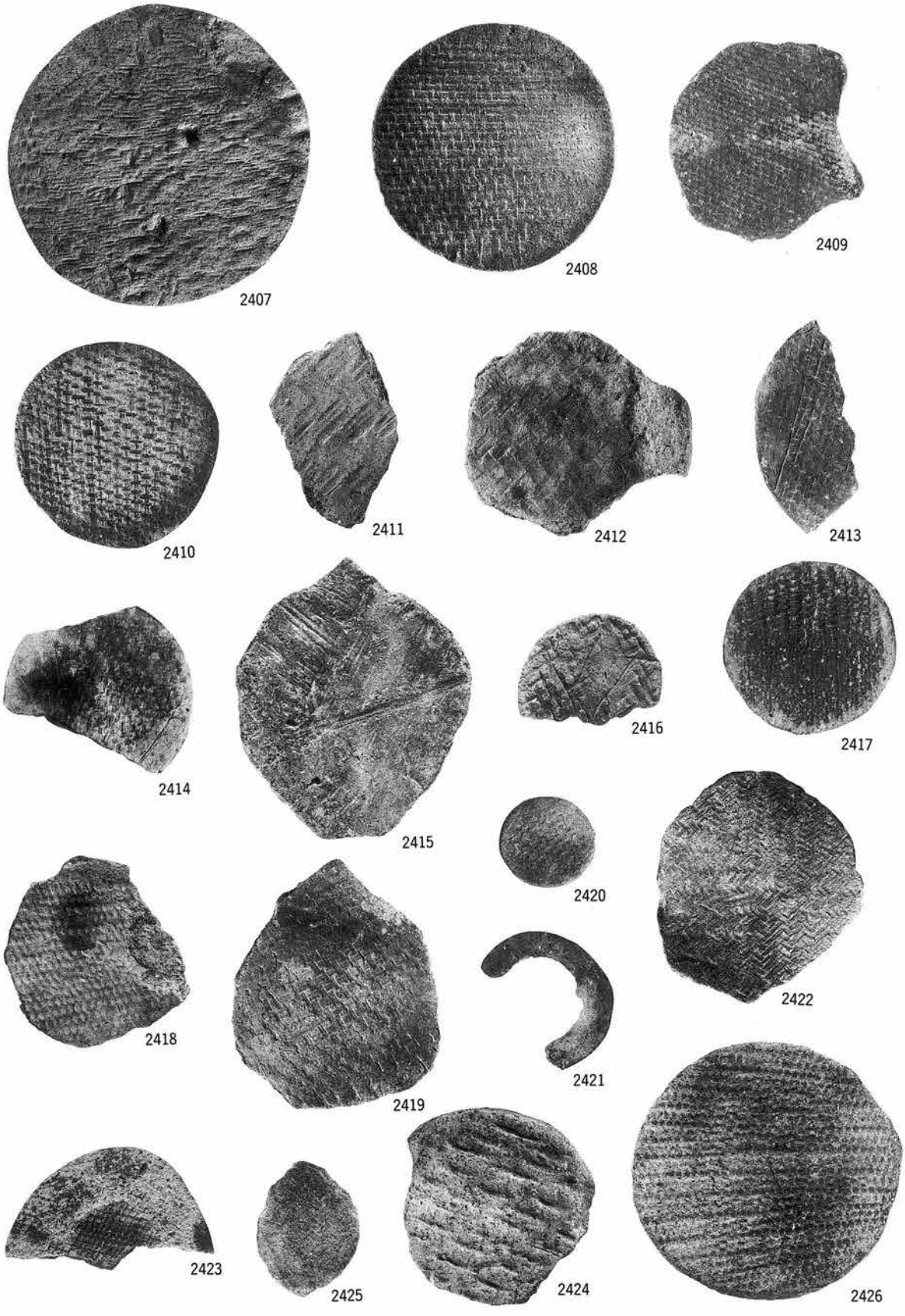
写真図版101 遺構外出土遺物・土器73



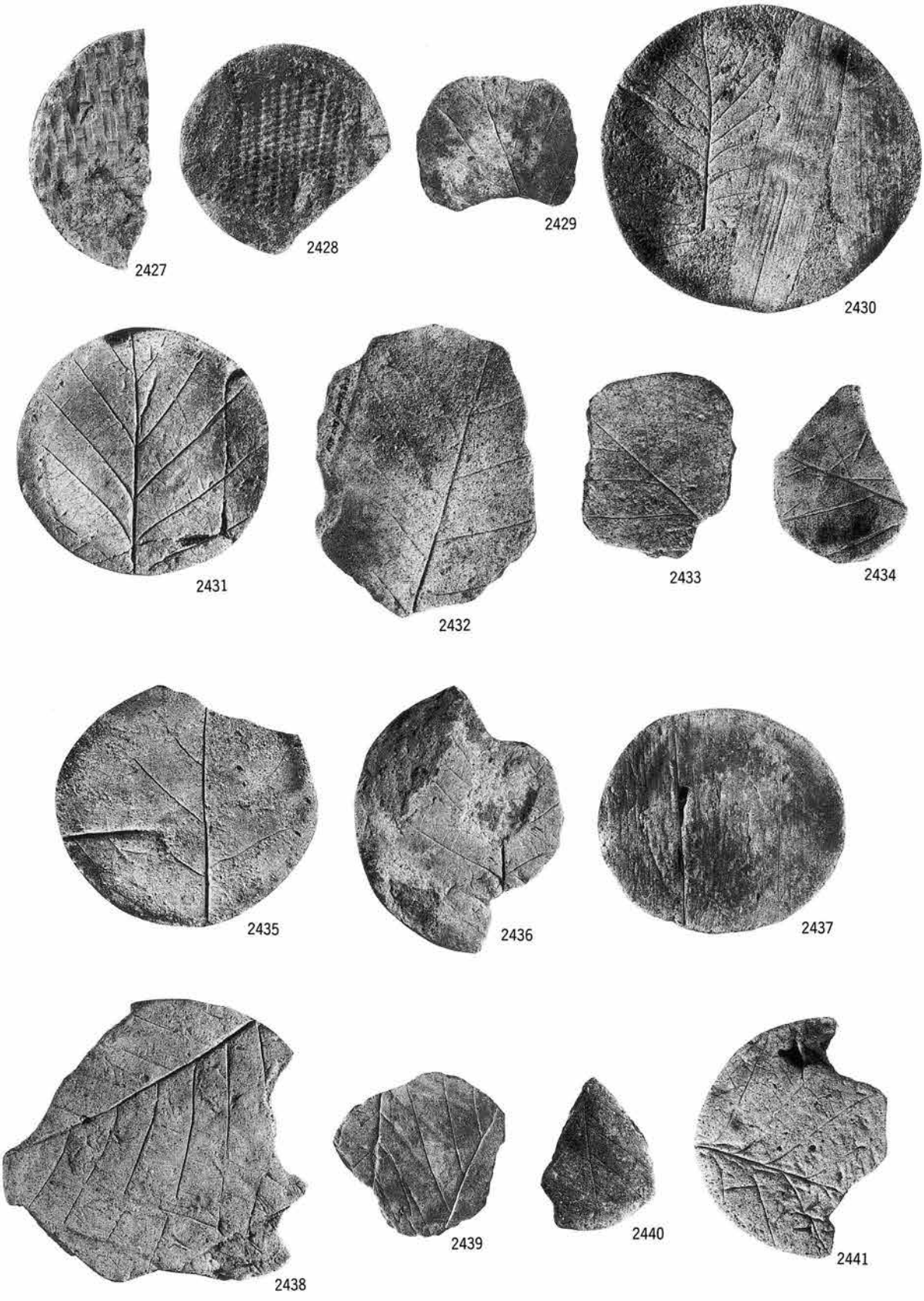
写真図版102 遺構外出土遺物・土器74



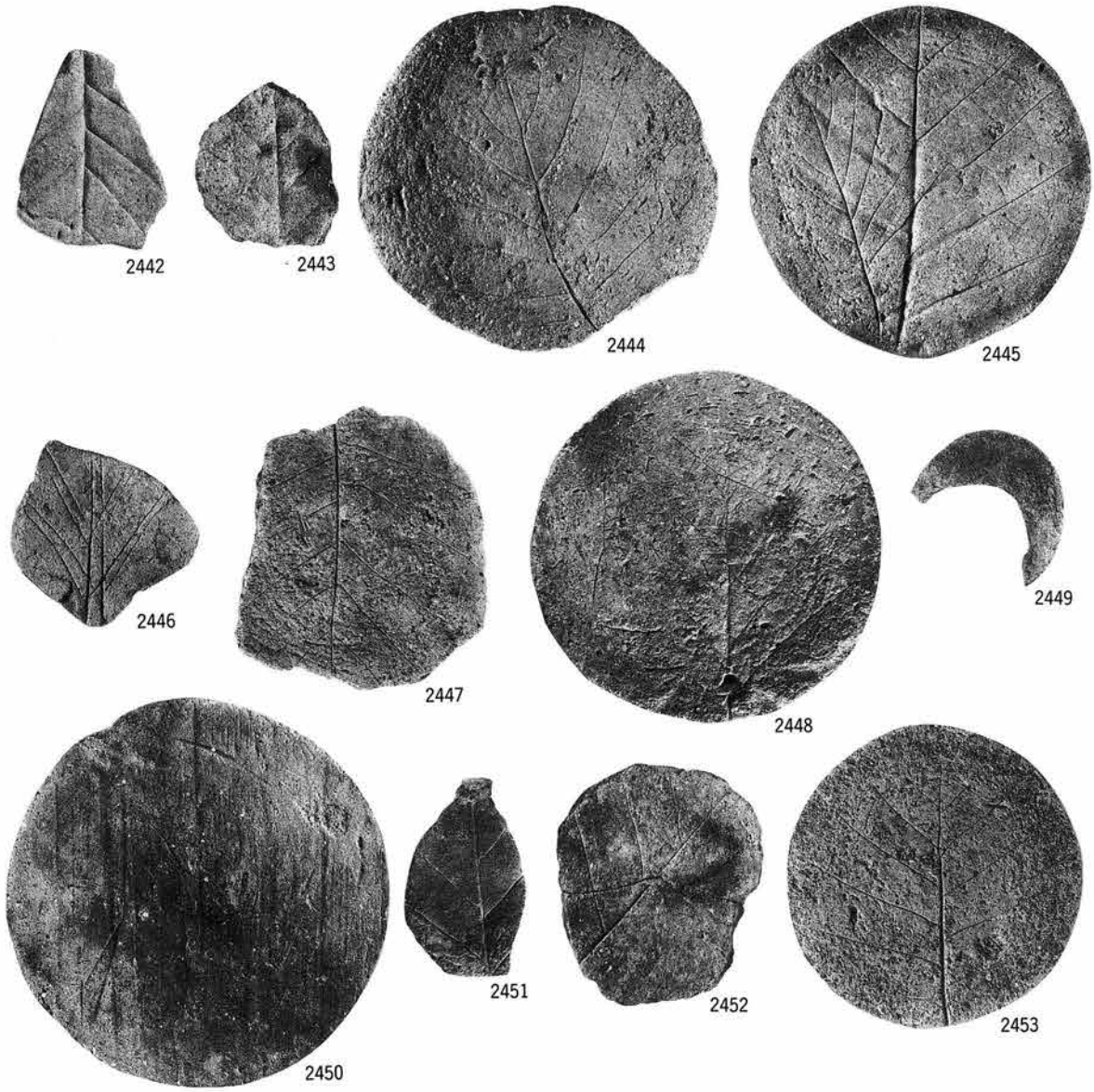
写真図版103 遺構外出土遺物・土器75



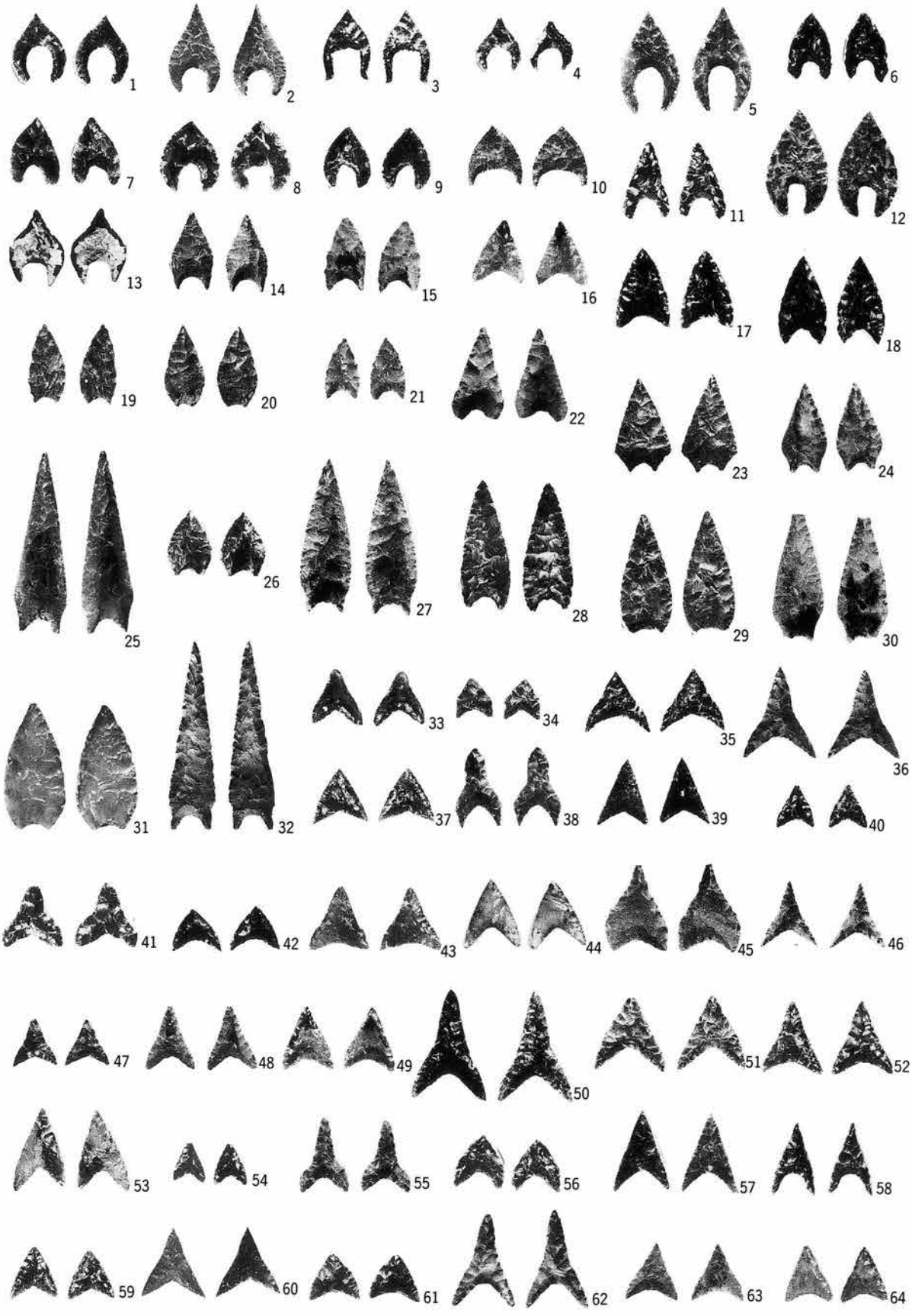
写真図版104 遺構外出土遺物・底部1



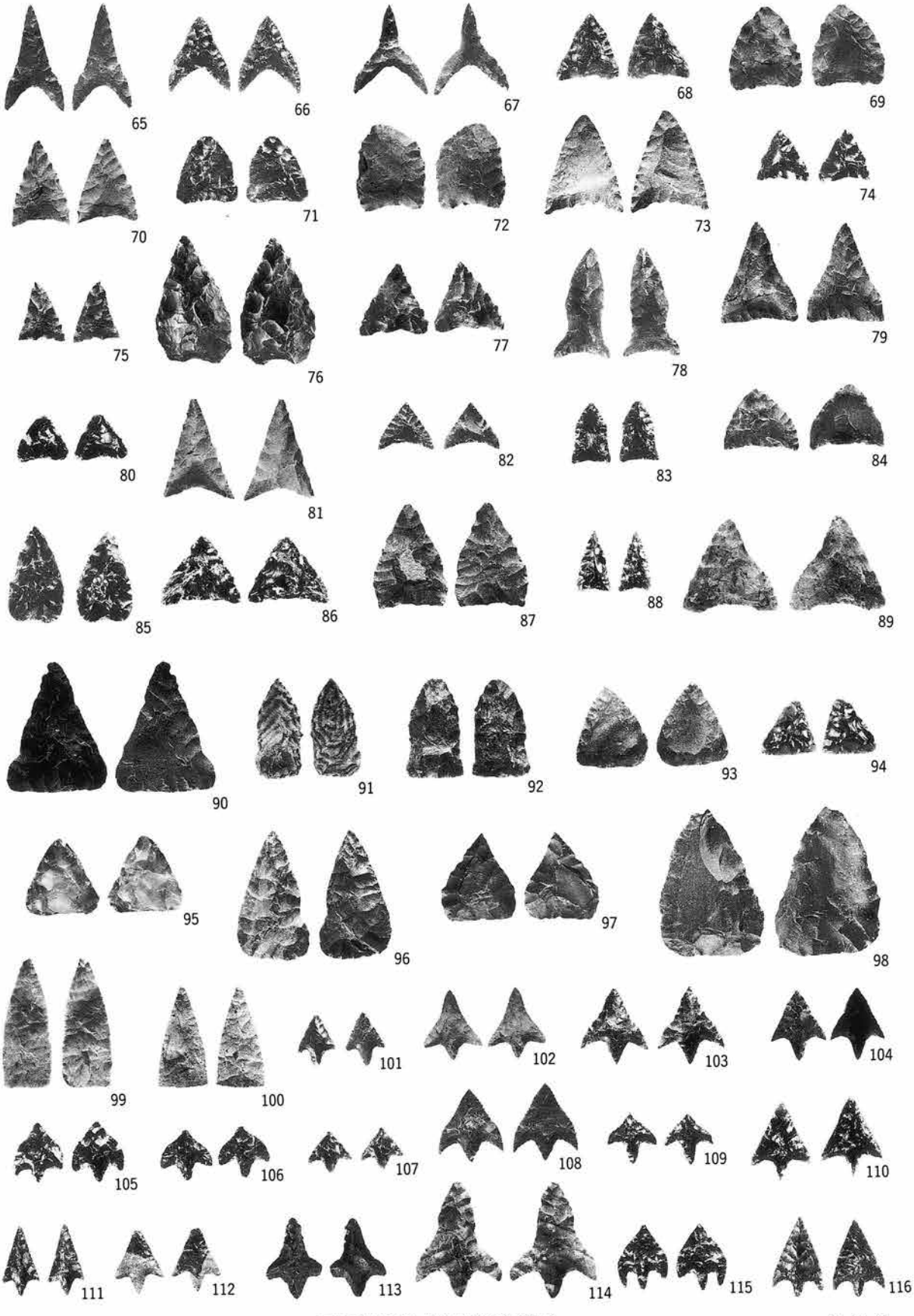
写真図版105 遺構外出土遺物・底部2



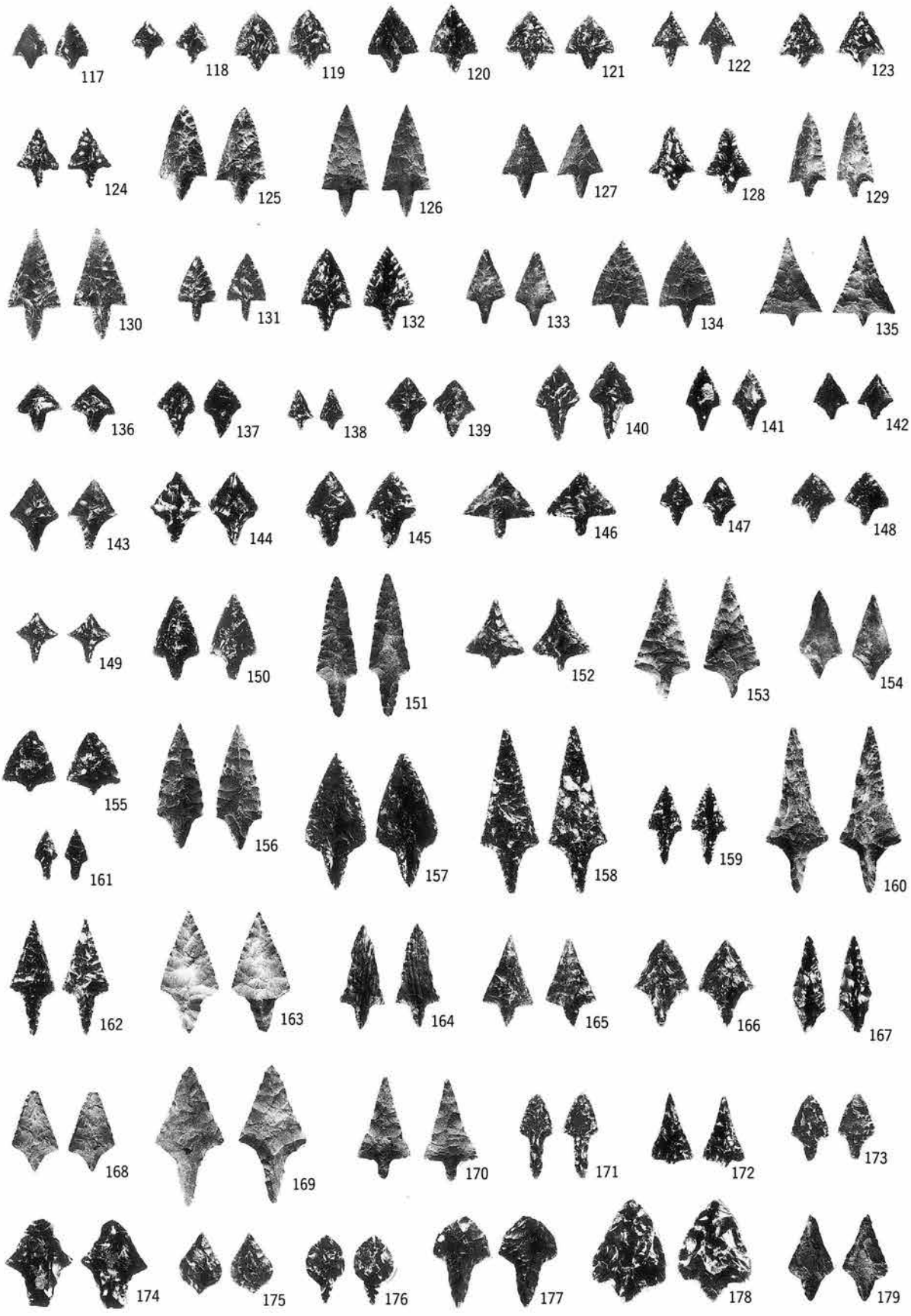
写真図版106 遺構外出土遺物・底部 3



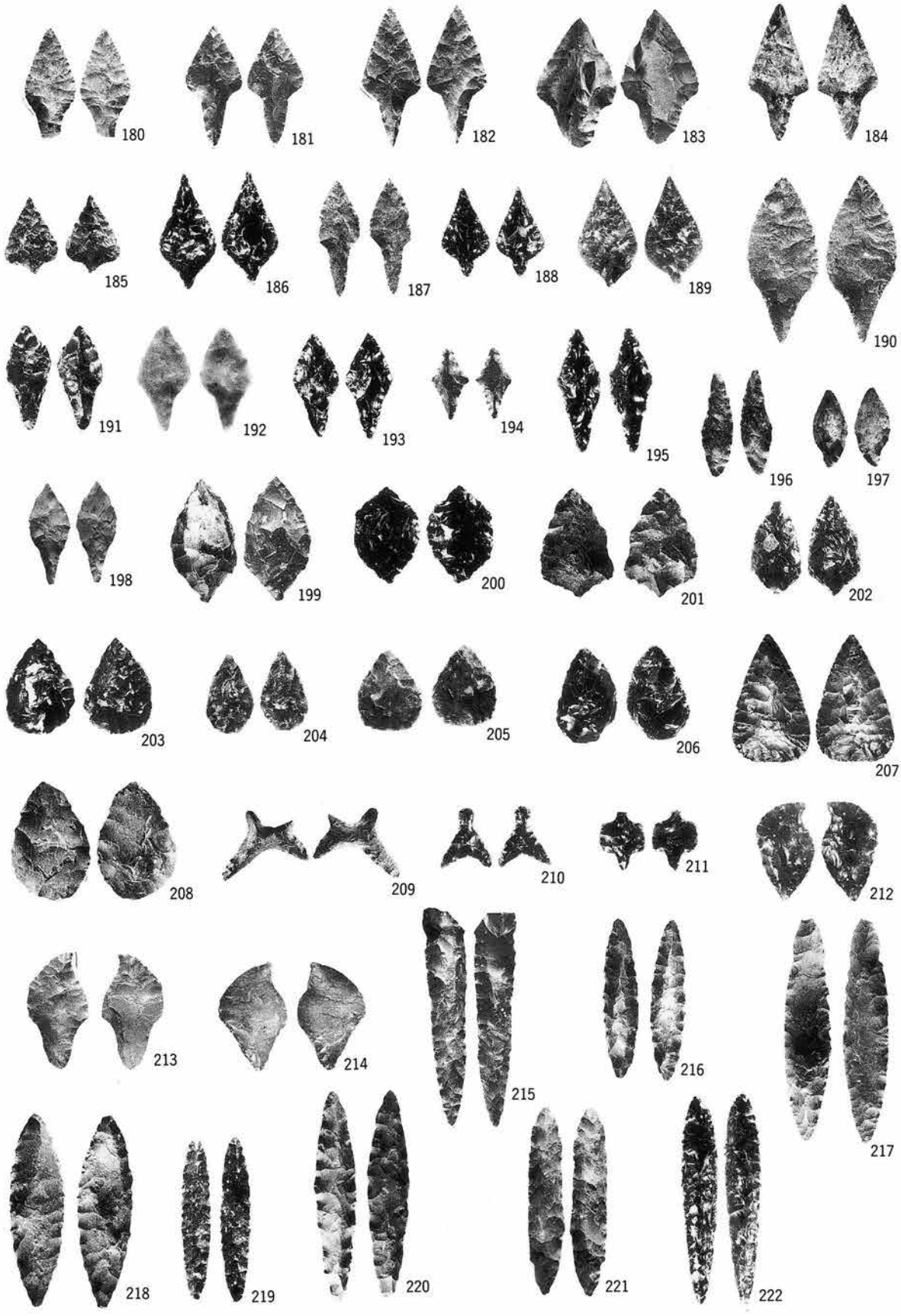
写真図版107 出土遺物石器 1　　S＝2／3



写真図版108 出土遺物石器 2　　S＝2／3

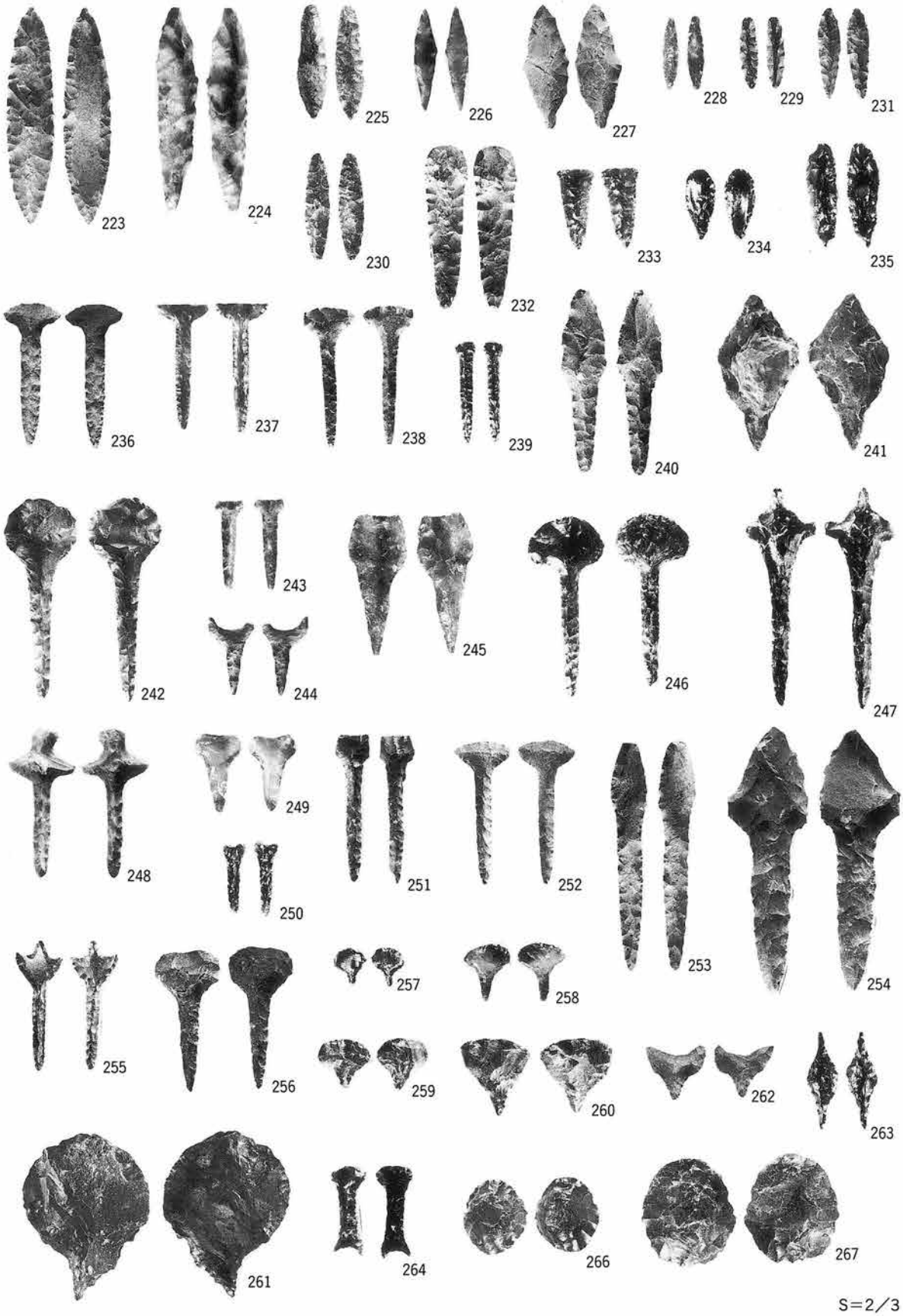


写真図版109 出土遺物石器 3　　S＝2／3



写真図版110 出土遺物石器 4

S=2／3

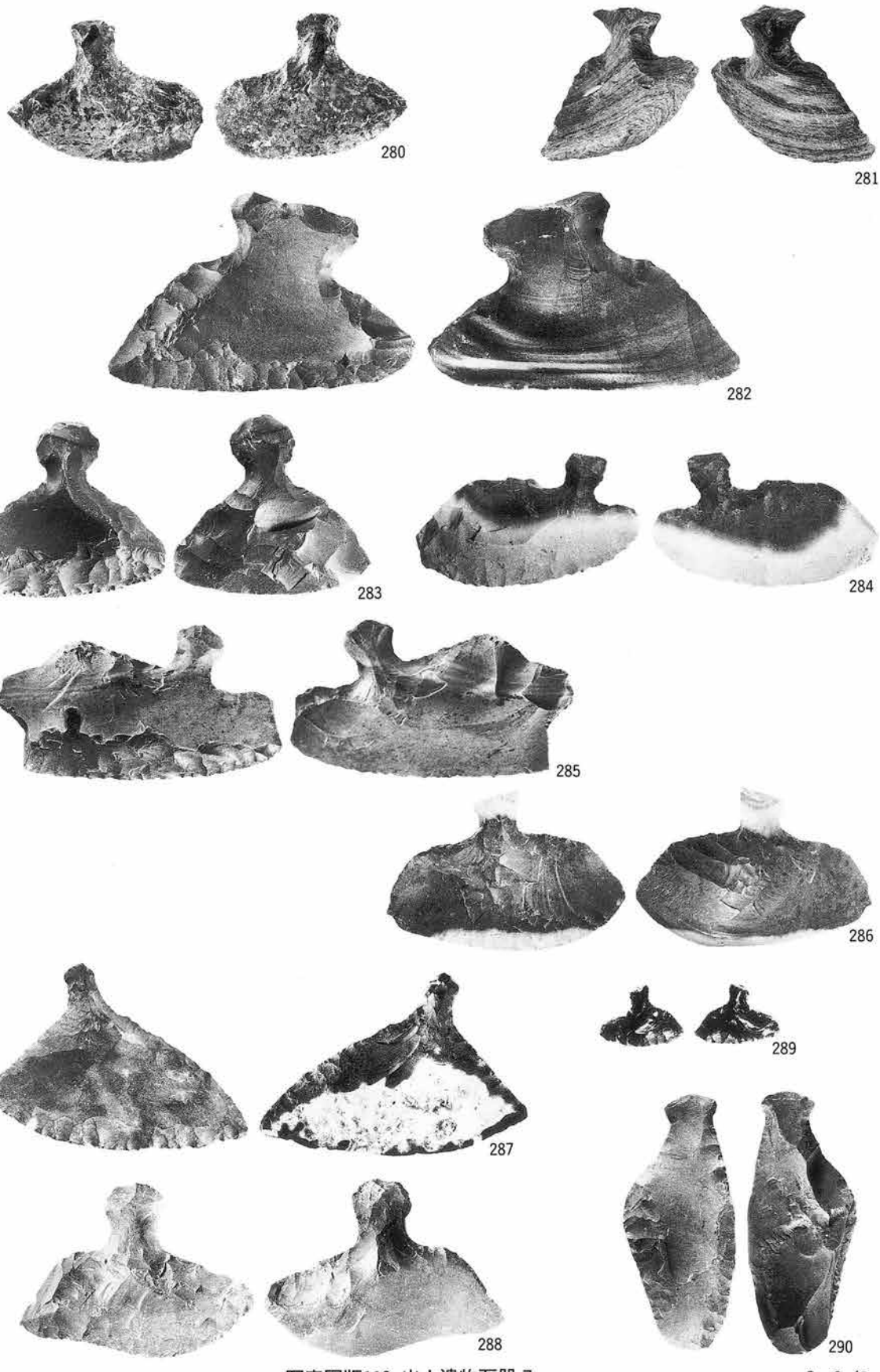


S＝2／3

写真図版111 出土遺物石器 5

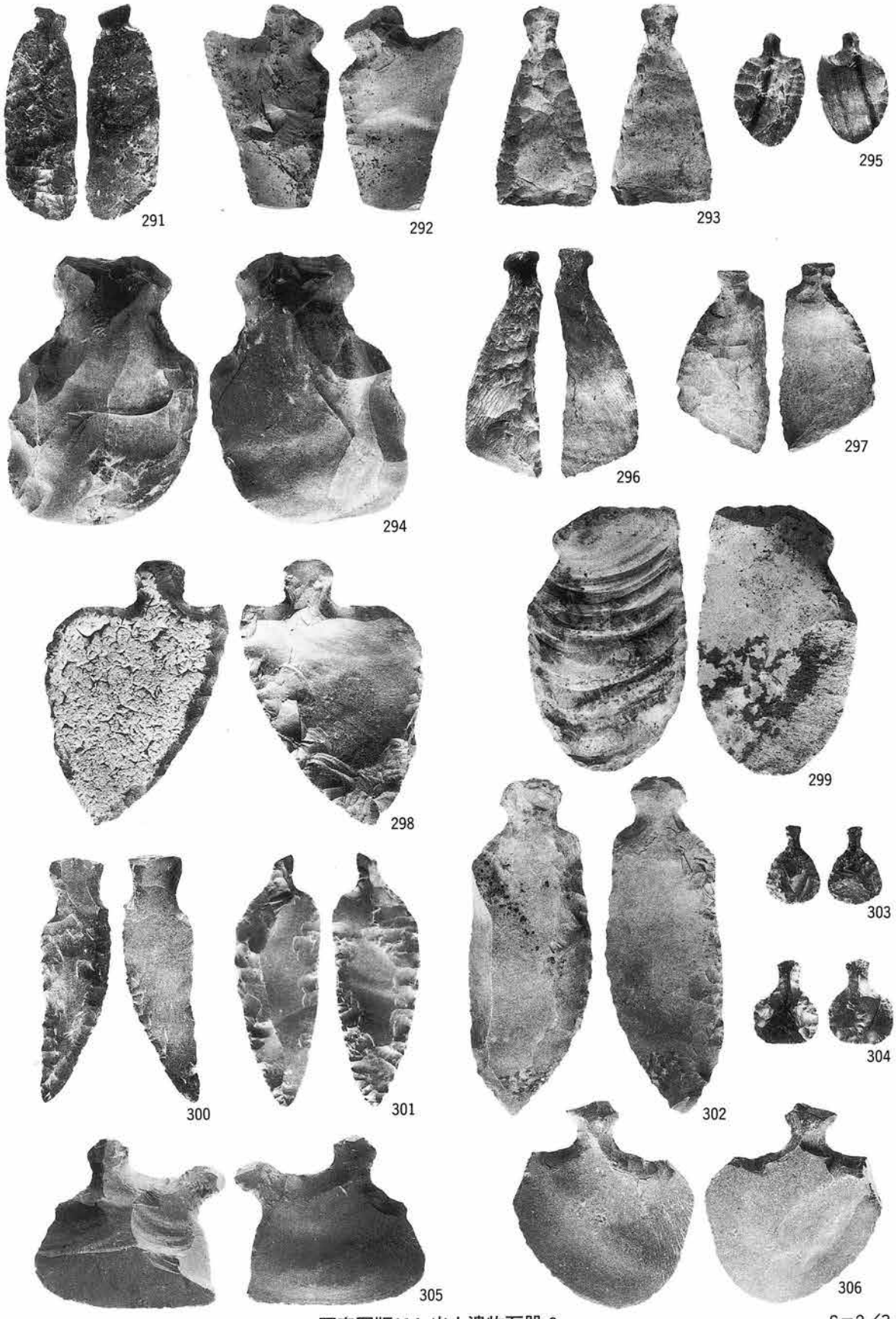
写真図版112 出土遺物石器 6

S＝2／3



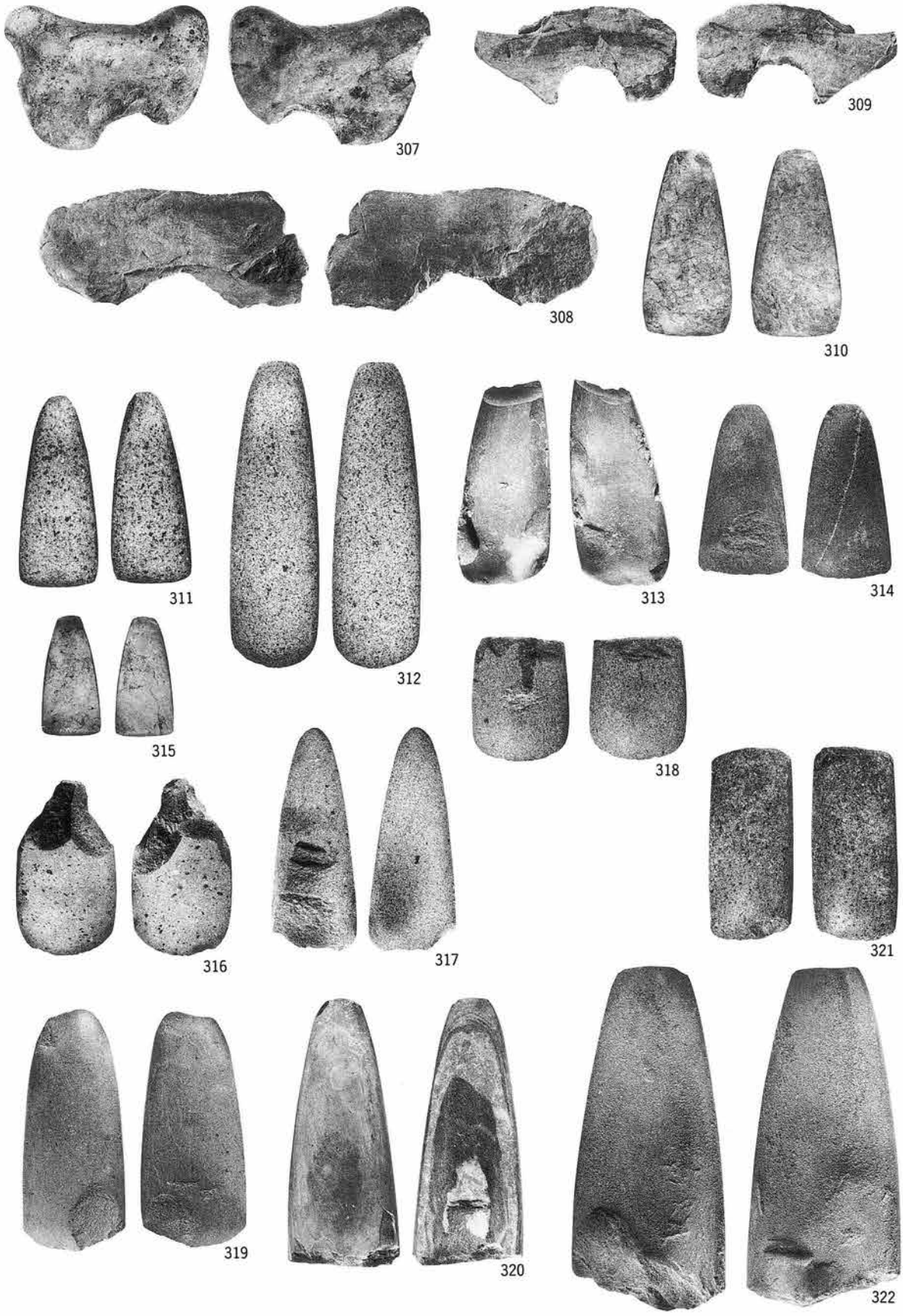
写真図版113 出土遺物石器 7

S＝2／3



写真図版114 出土遺物石器 8

S＝2／3

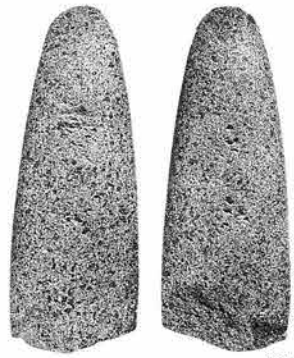


写真図版115 出土遺物石器 9

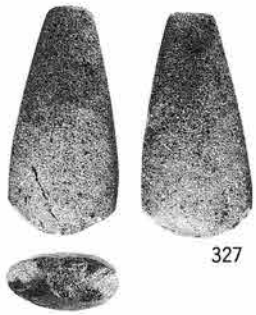
S＝1／3

323

324


325

326


327

328

329

330

331

332

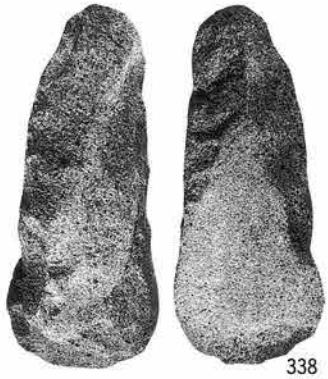
334

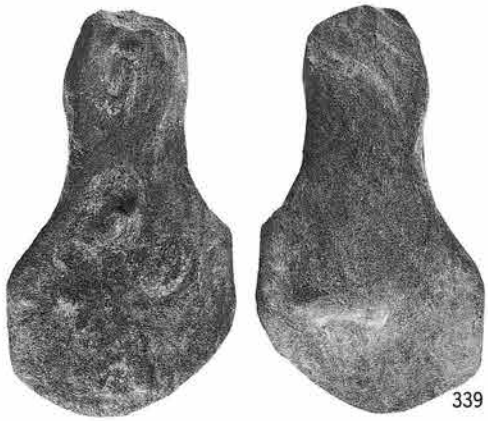
335

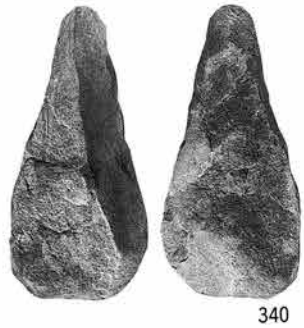
336

333

337

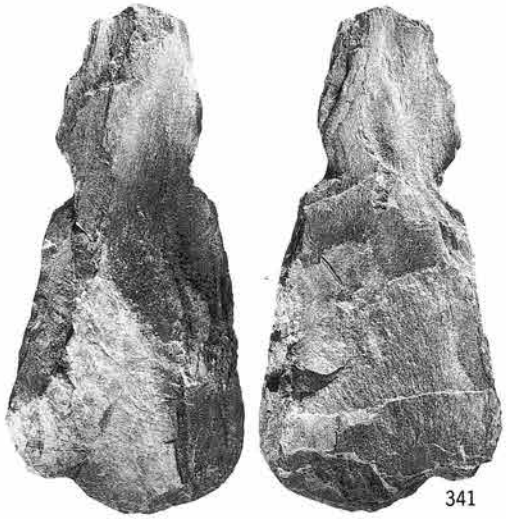

338

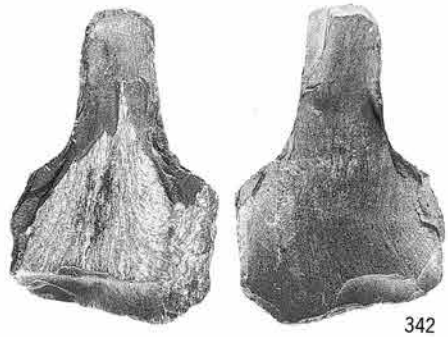

339


340

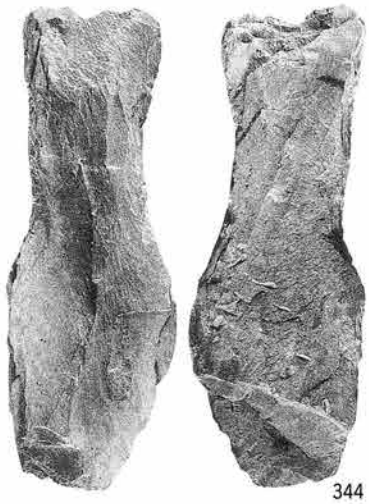
S＝1／3 、333・337S＝2／3

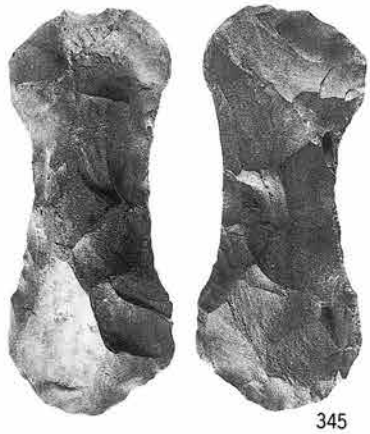
写真図版116 出土遺物石器10

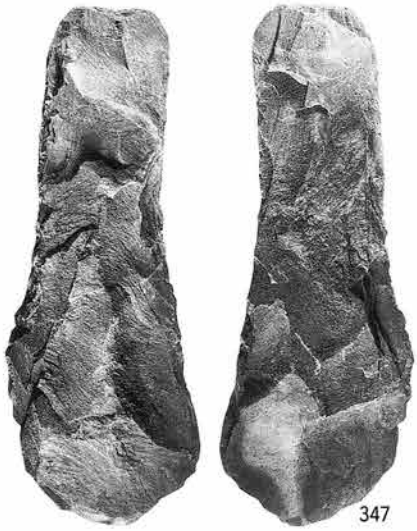

341


342

343


344


345


347

346

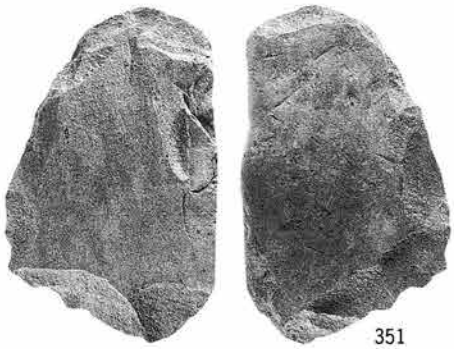
S＝1／3

写真図版117 出土遺物石器11

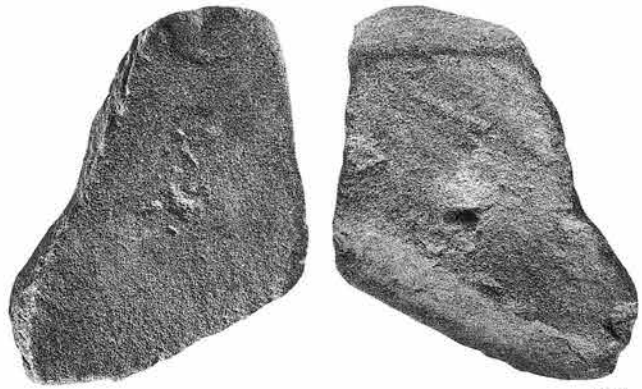
348

349

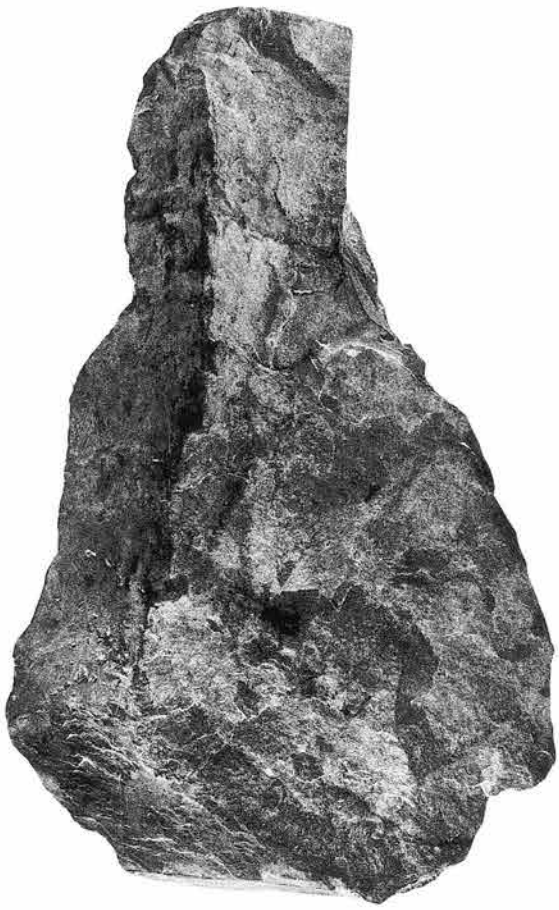
350



351



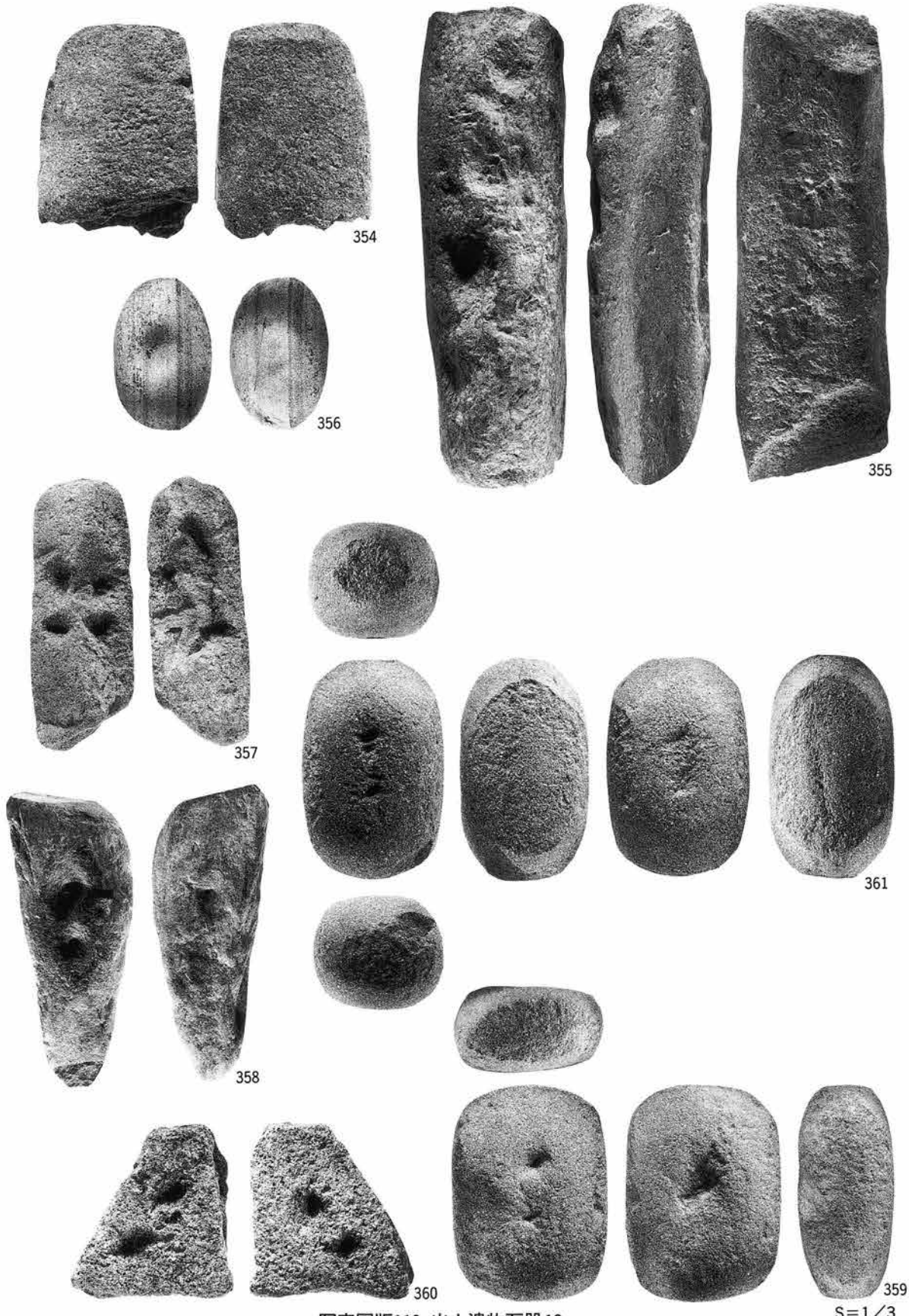
353



352

写真図版118 出土遺物石器12

S＝1／3

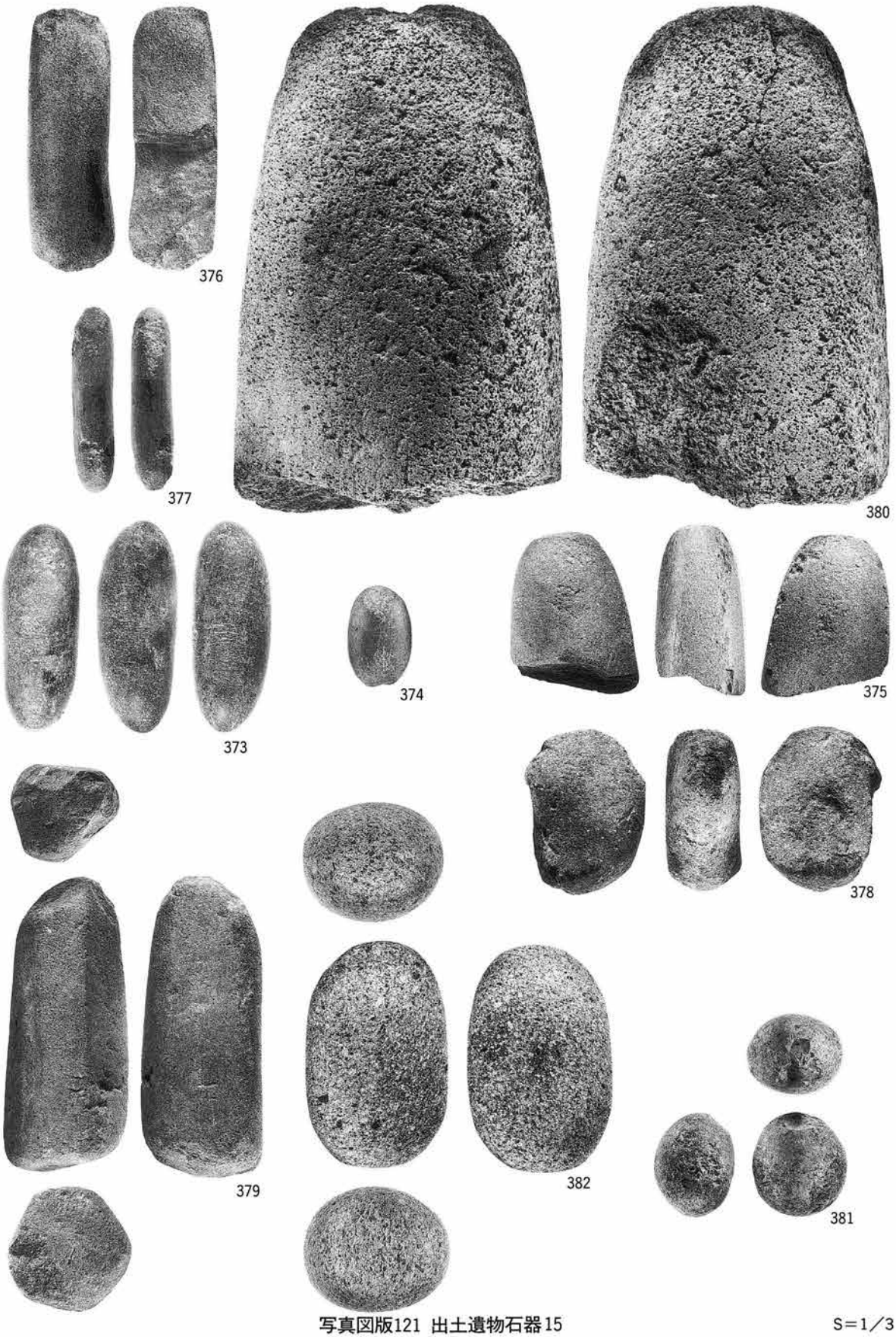


写真図版119 出土遺物石器13

S＝1／3

S＝1／3

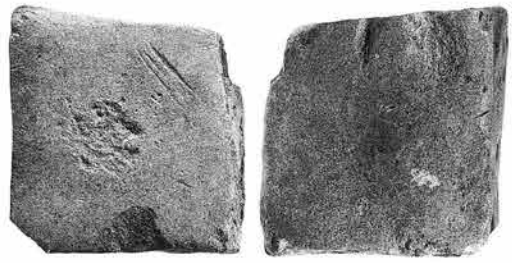
写真図版120 出土遺物石器14



写真図版121　出土遺物石器15　　S＝1／3

383

384



385

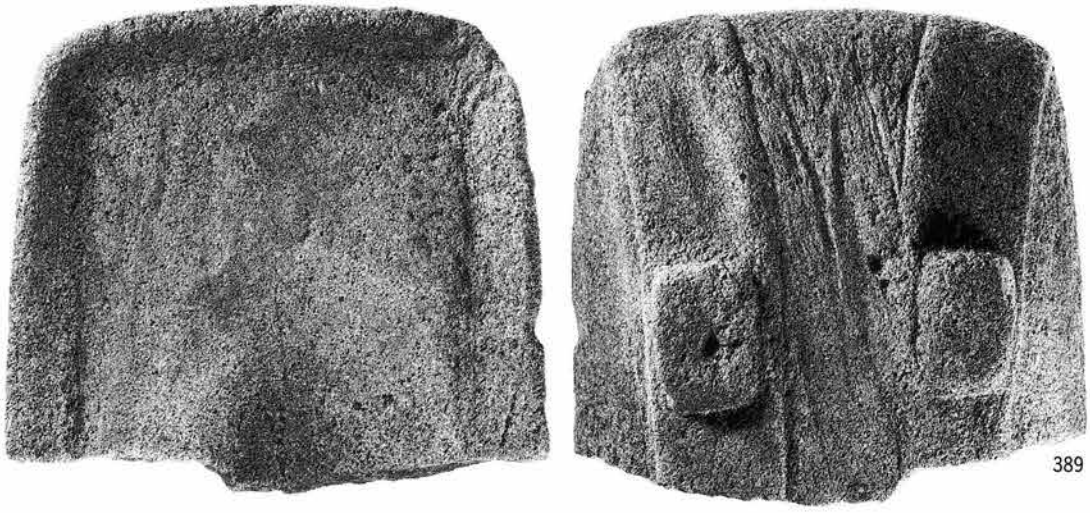
386

387

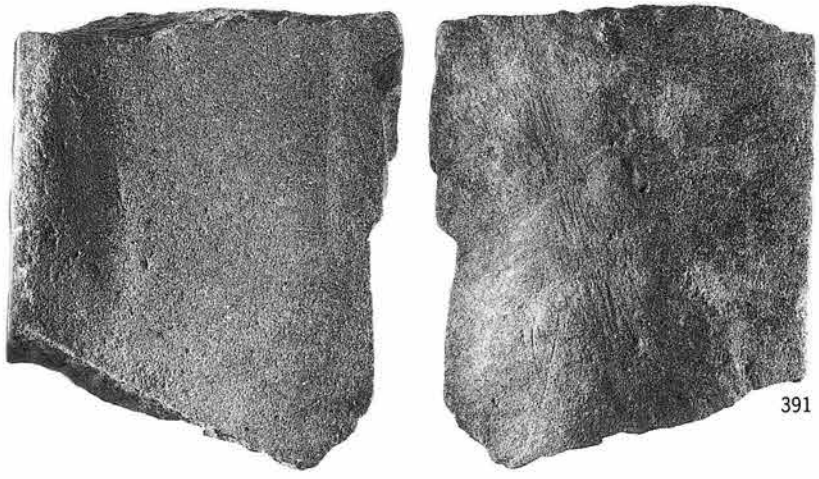
S＝1／3

写真図版122 出土遺物石器16

388



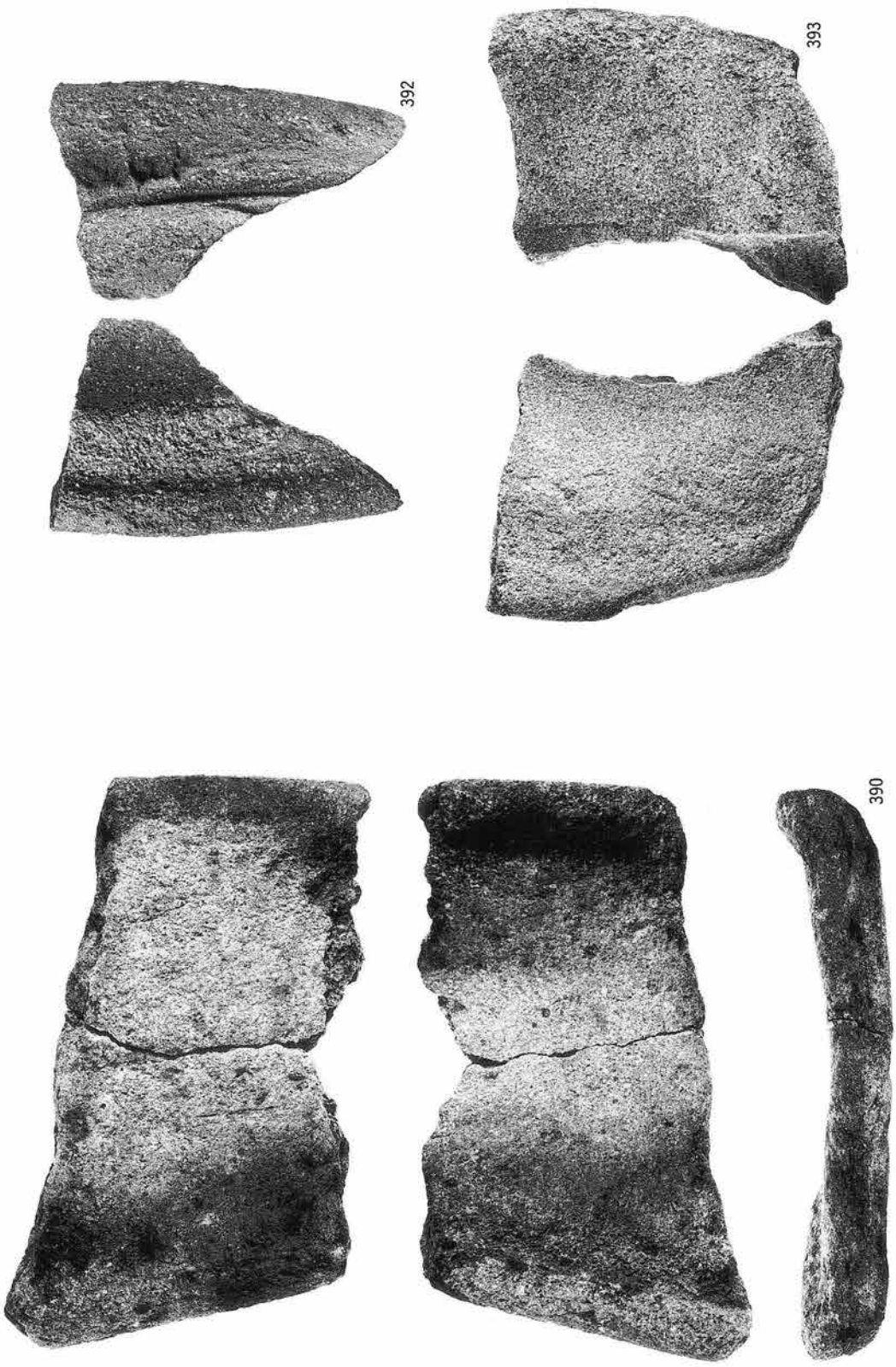
389



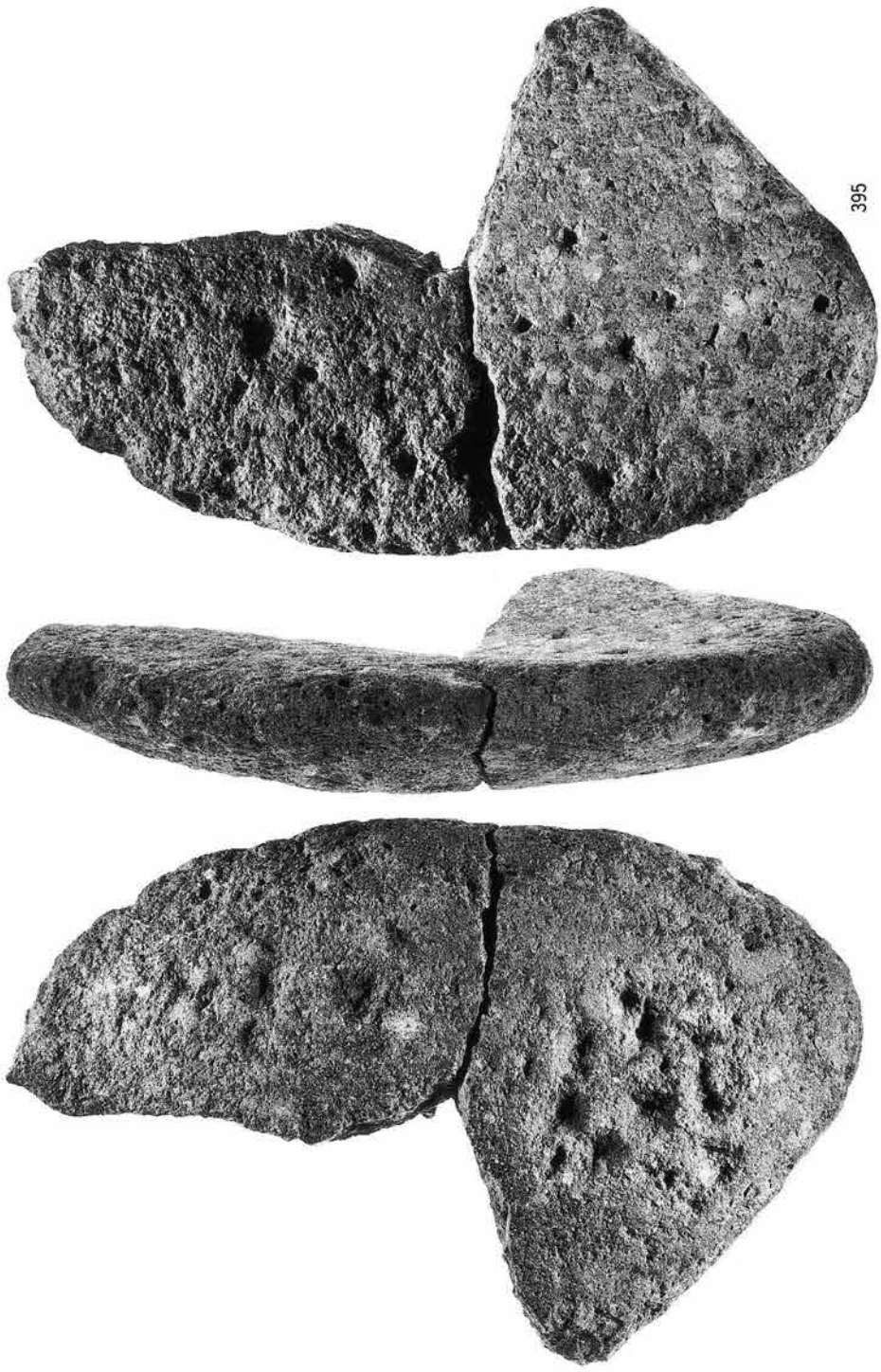
391

写真図版123 出土遺物石器17

S＝1／3

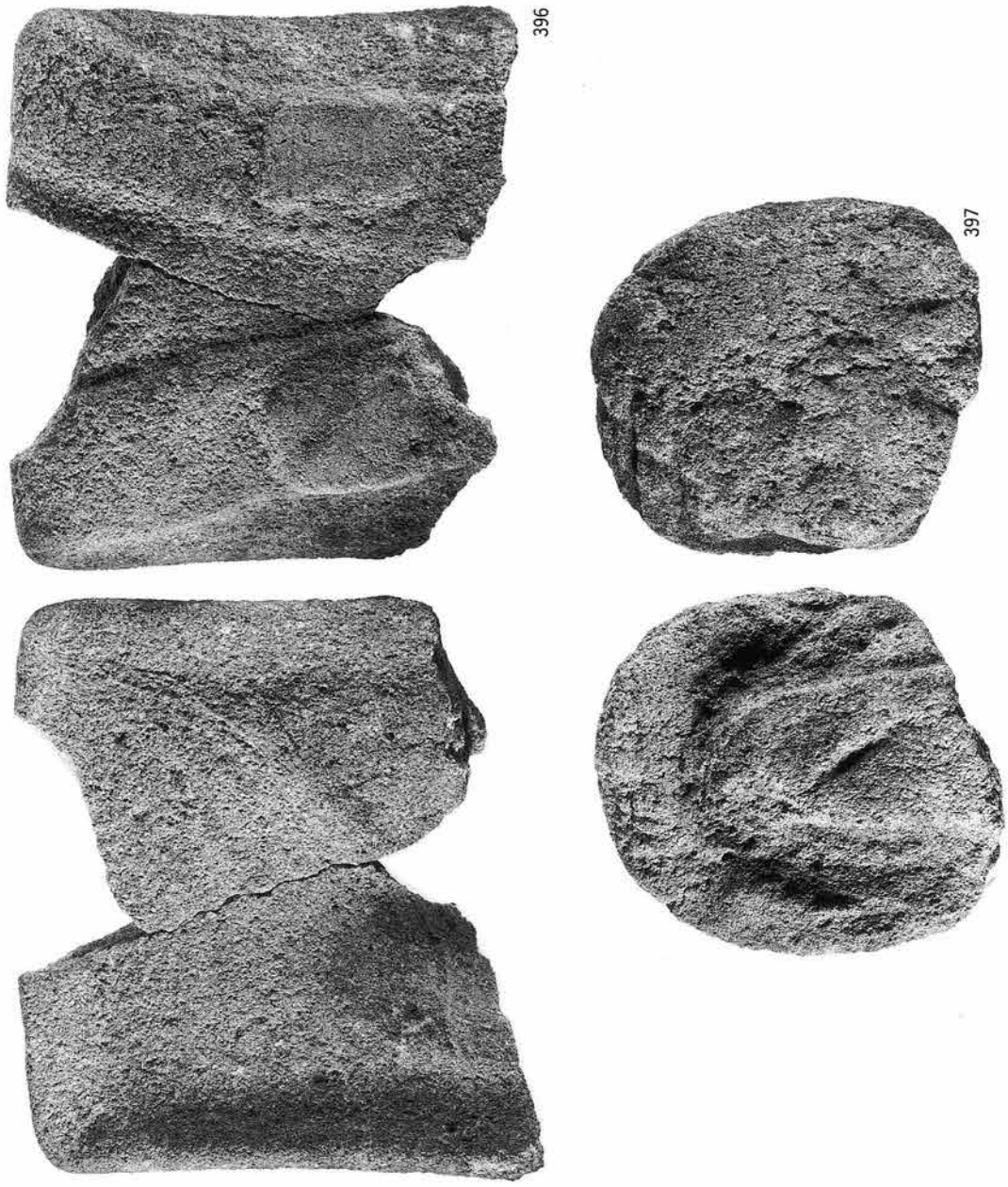


写真図版124 出土遺物石器18



S=1/3

写真図版125 出土遺物石器 19

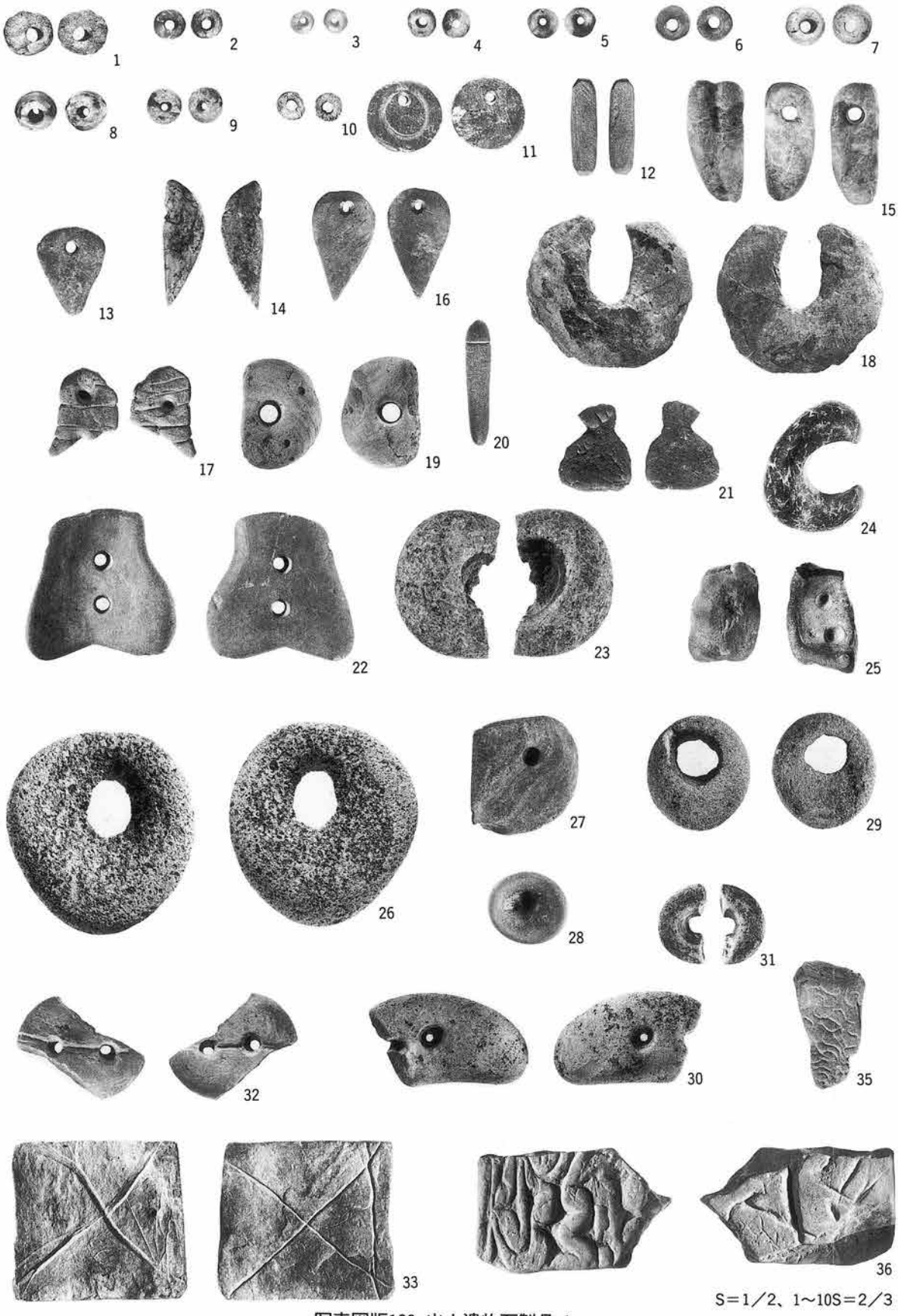


写真図版126 出土遺物石器 20

写真図版127 出土遺物石器21

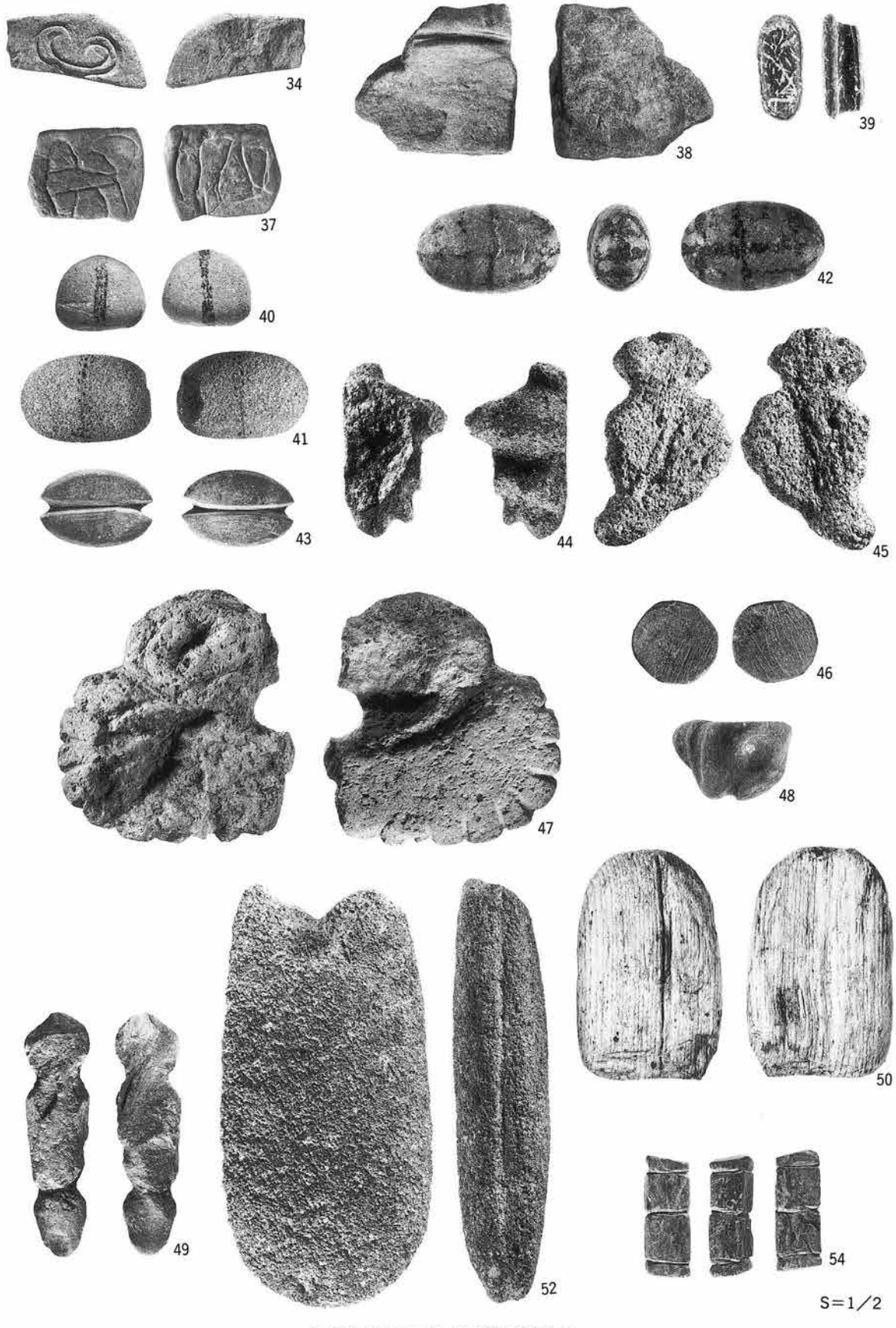
S＝1／3

写真図版128 出土遺物石器22

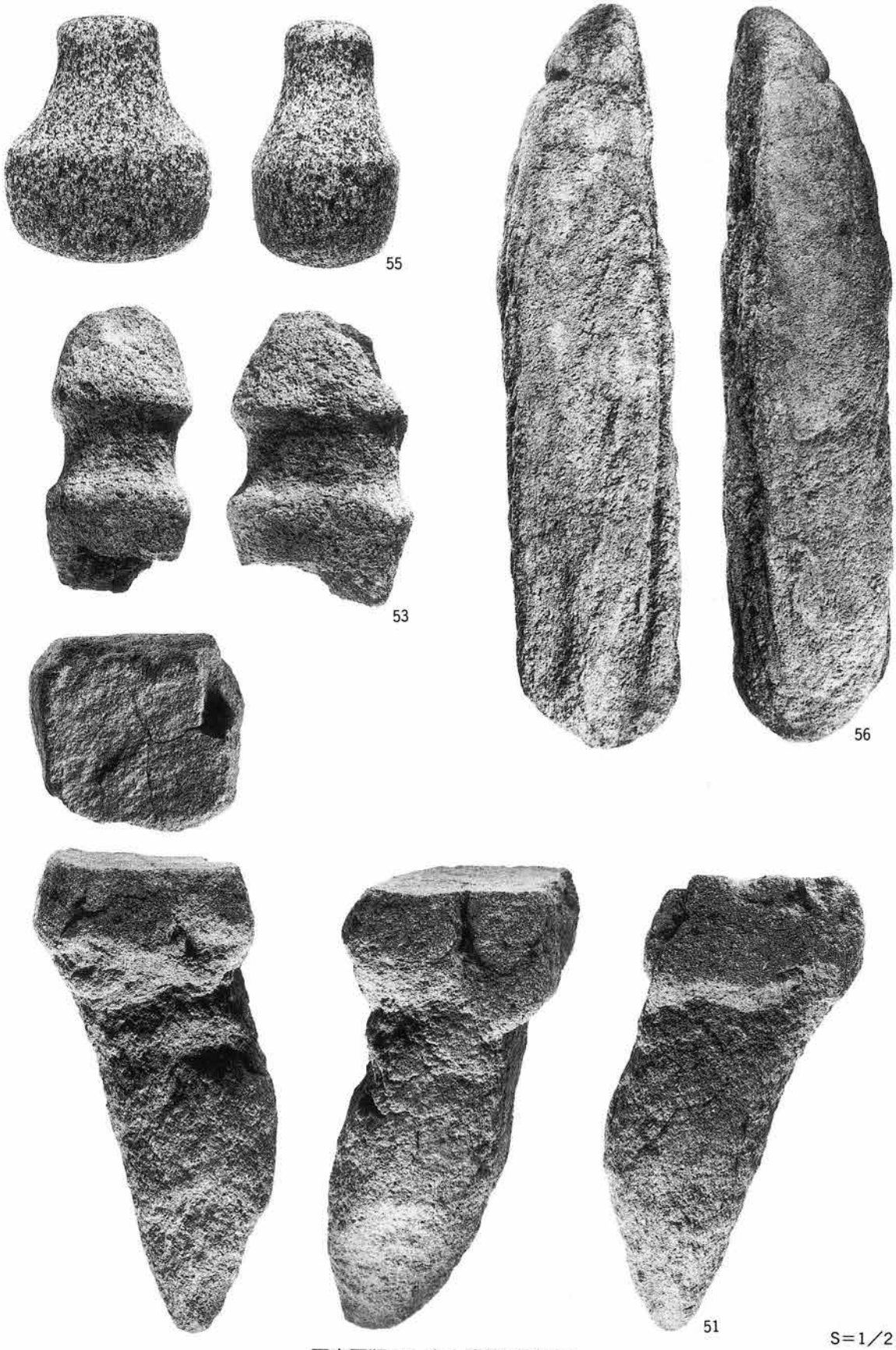


S＝1／2、1～10S＝2／3

写真図版129 出土遺物石製品 1



写真図版130 出土遺物石製品 2

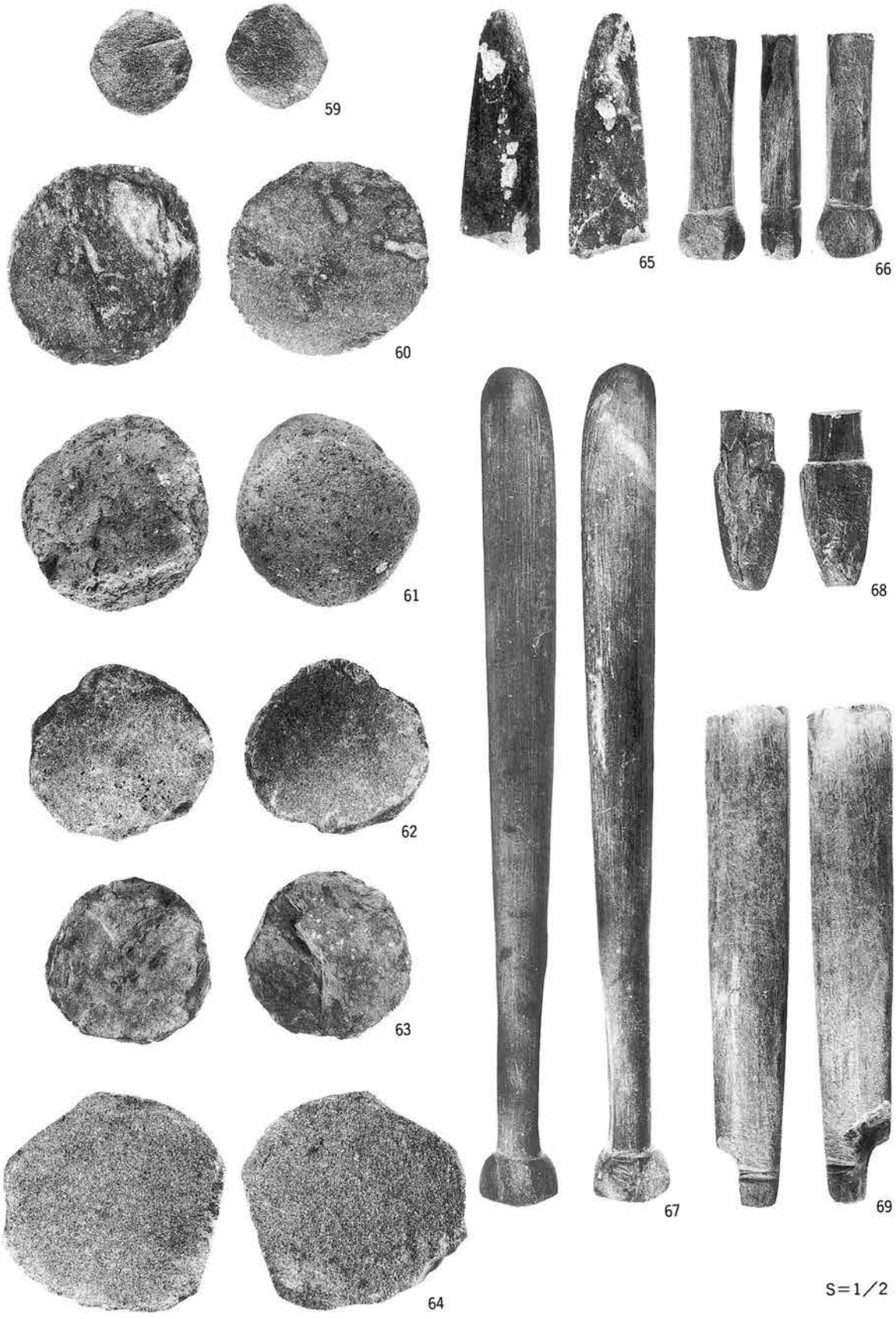


S＝1／2

写真図版131 出土遺物石製品 3

S＝1／3

写真図版132 出土遺物石製品 4



写真図版133 出土遺物石製品 5

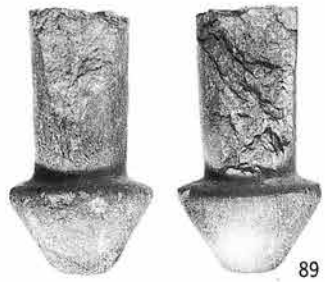
写真図版134 出土遺物石製品 6

S＝1／2

写真図版135 出土遺物石製品 7　　S＝1／2

86

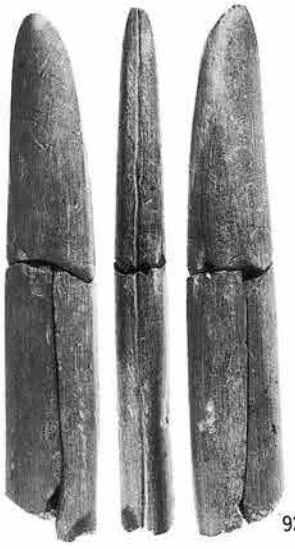
91


89

90

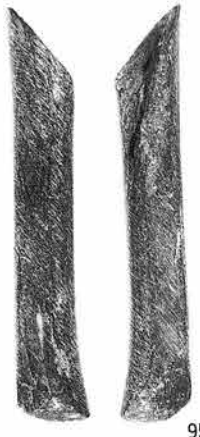
88

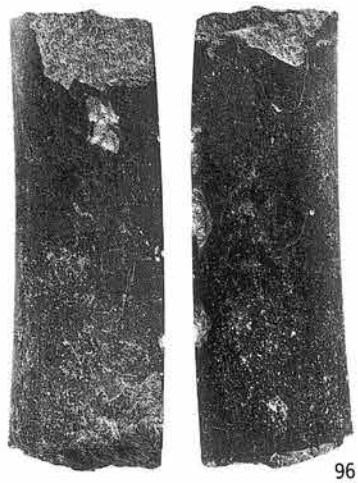
93


92

写真図版136 出土遺物石製品 8　　S＝1／2

94


95


96

97

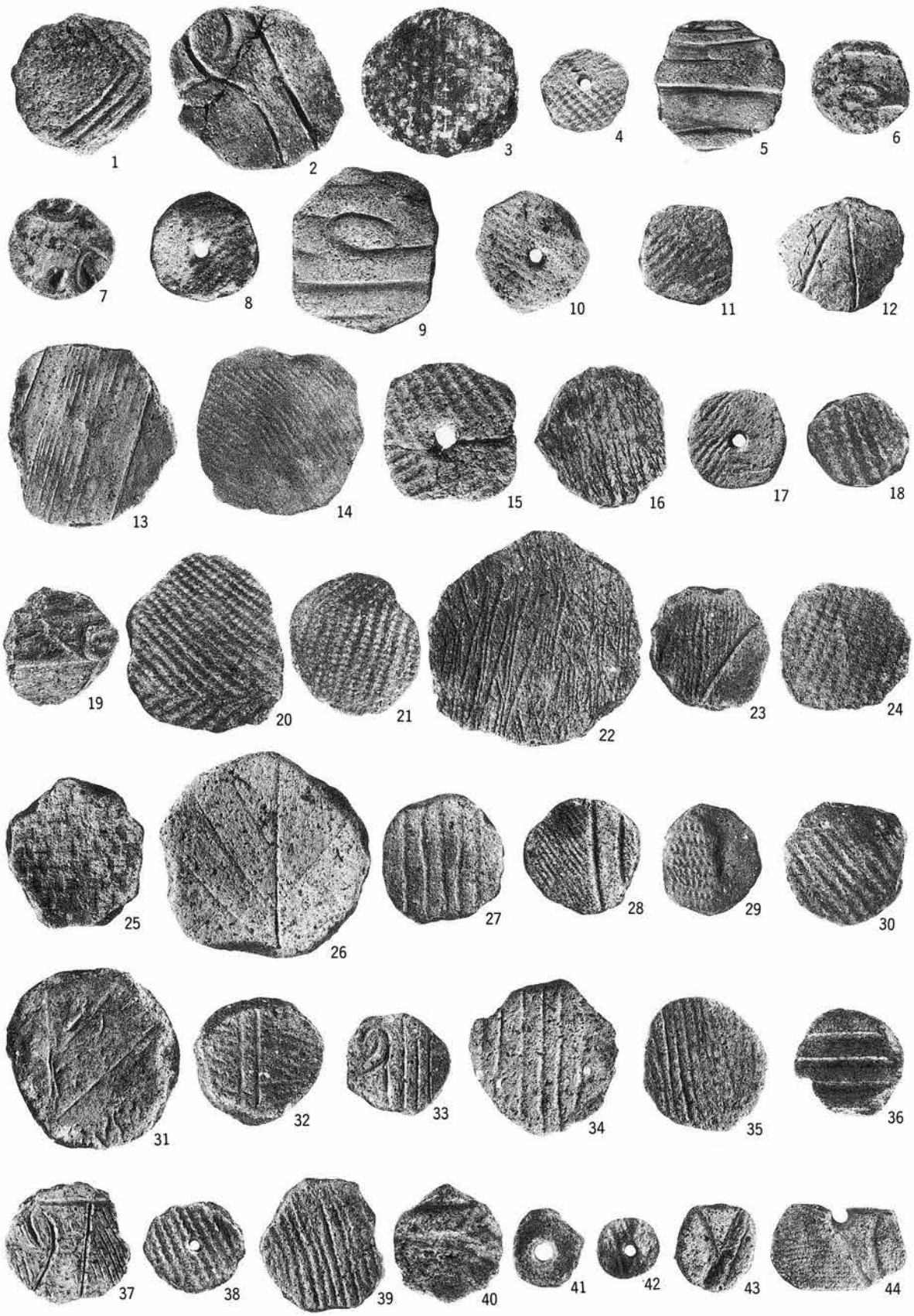
98

99

100

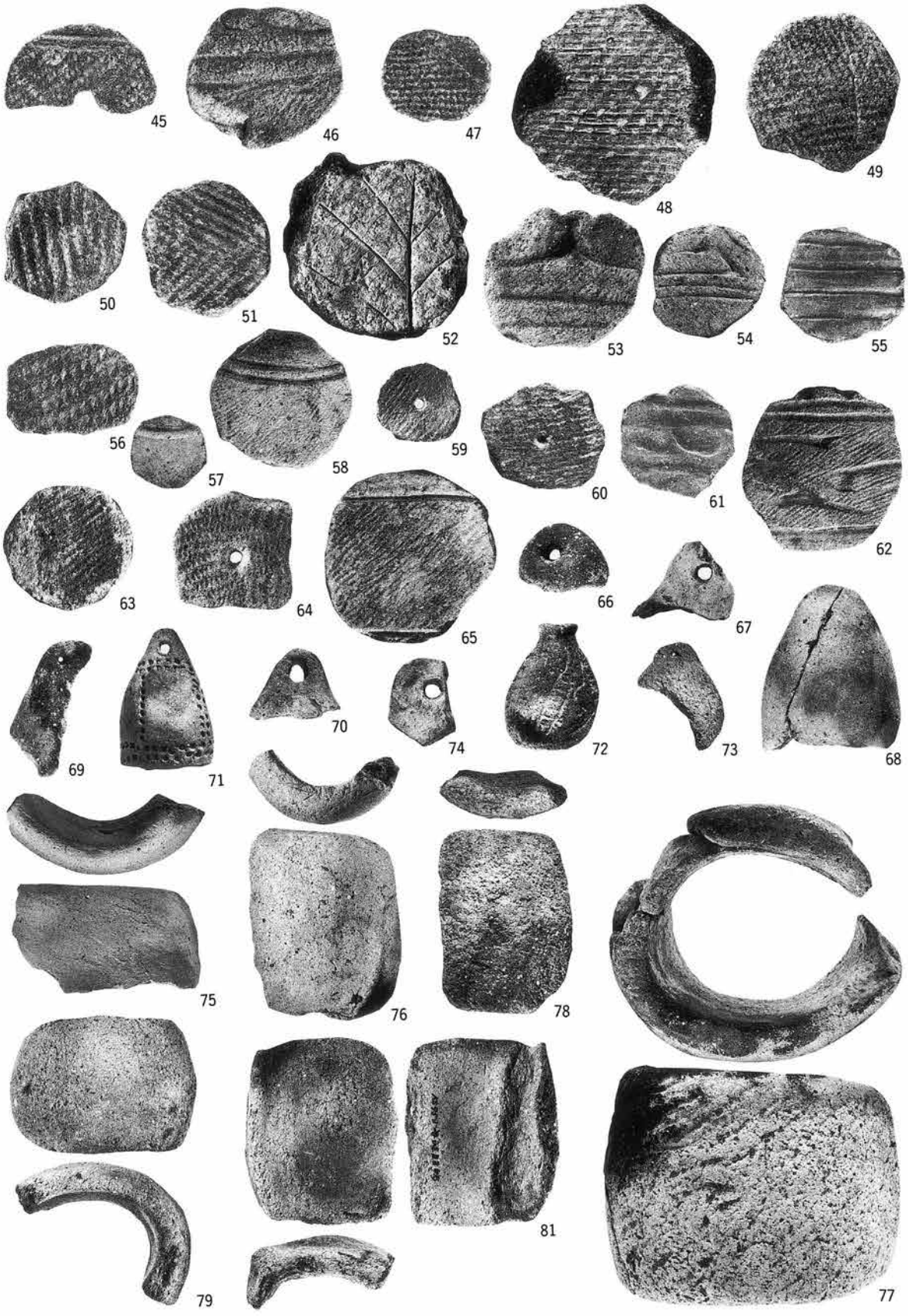
S＝1／2

写真図版137 出土遺物石製品 9



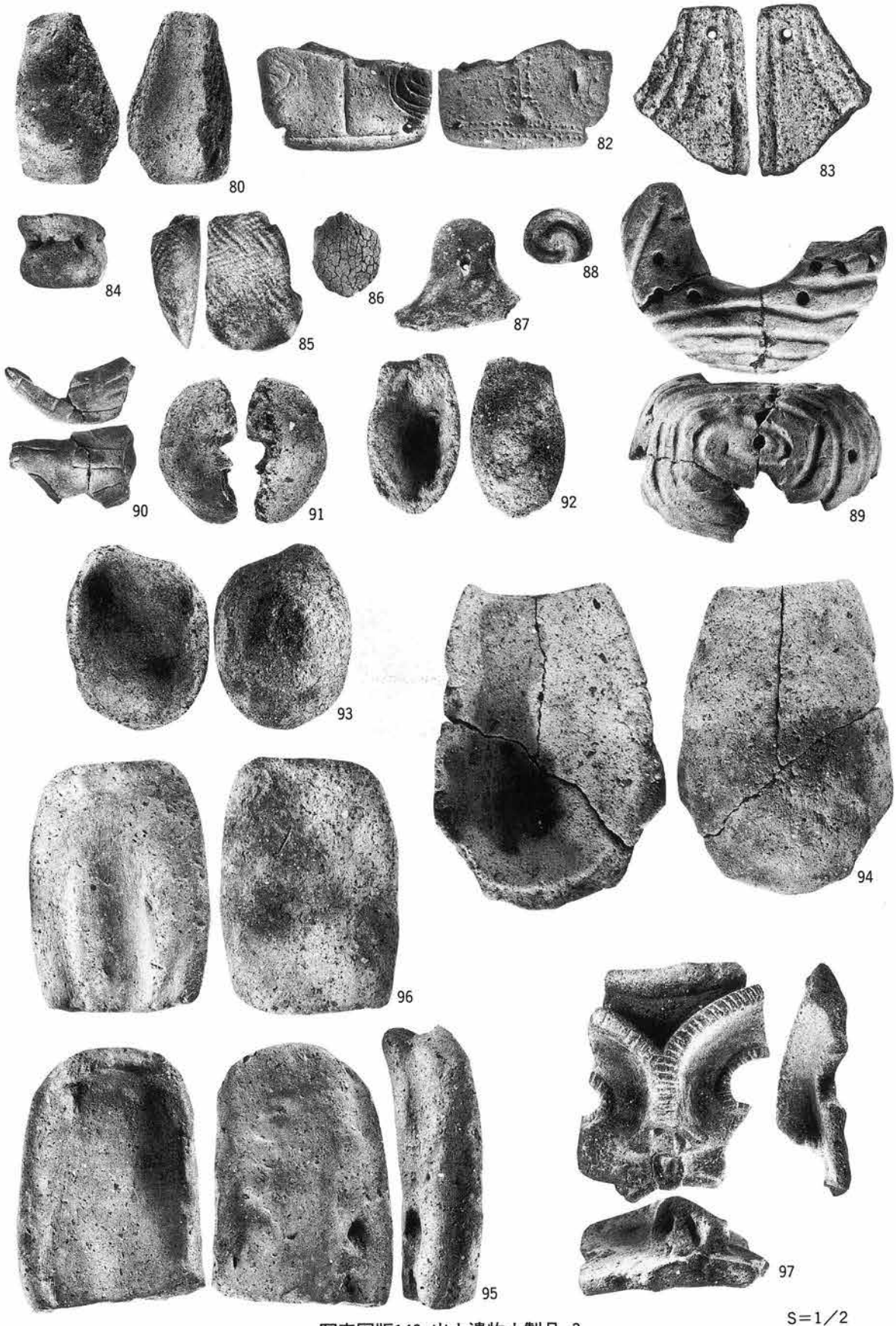
S＝1／2

写真図版138 出土遺物土製品 1



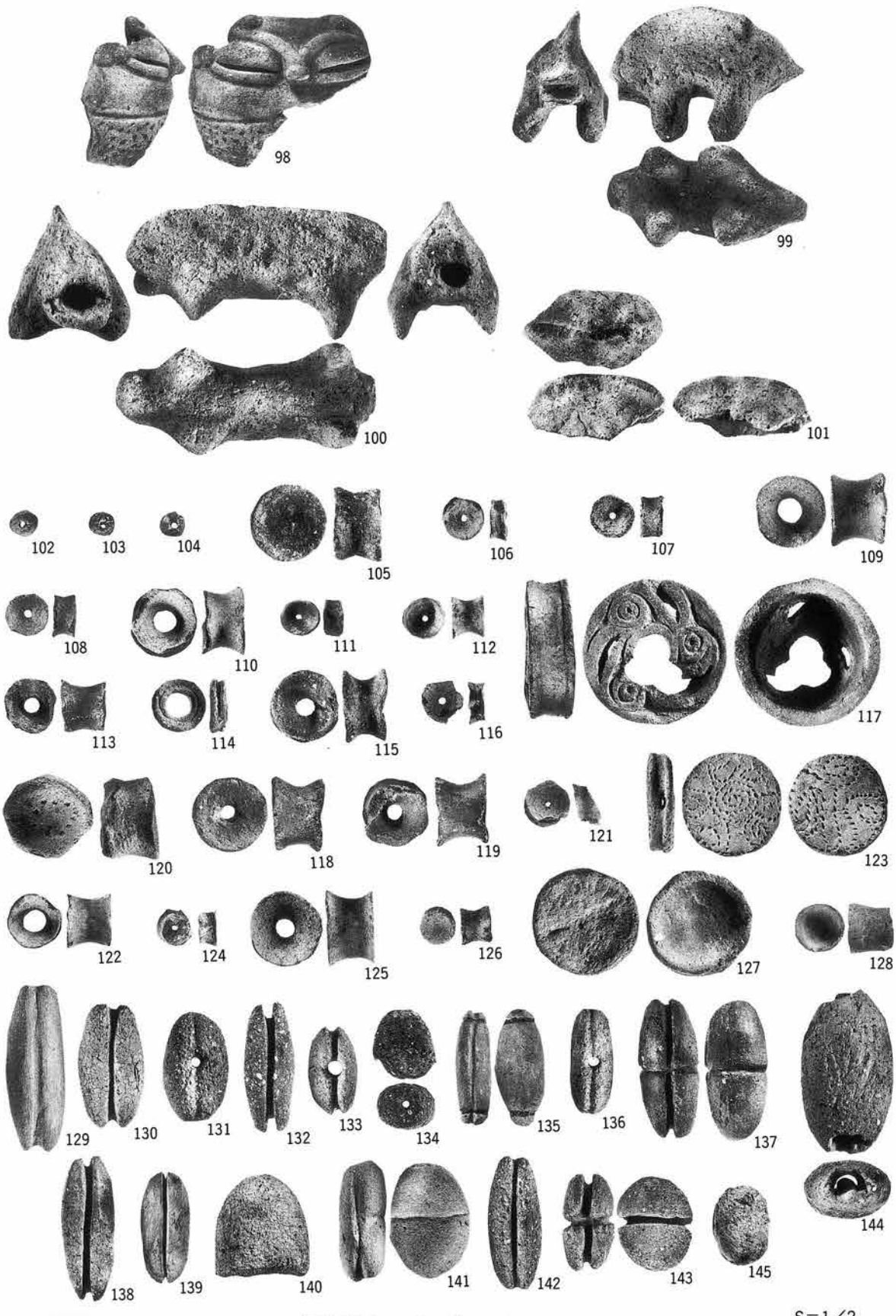
S＝1／2

写真図版139 出土遺物土製品 2



S=1／2

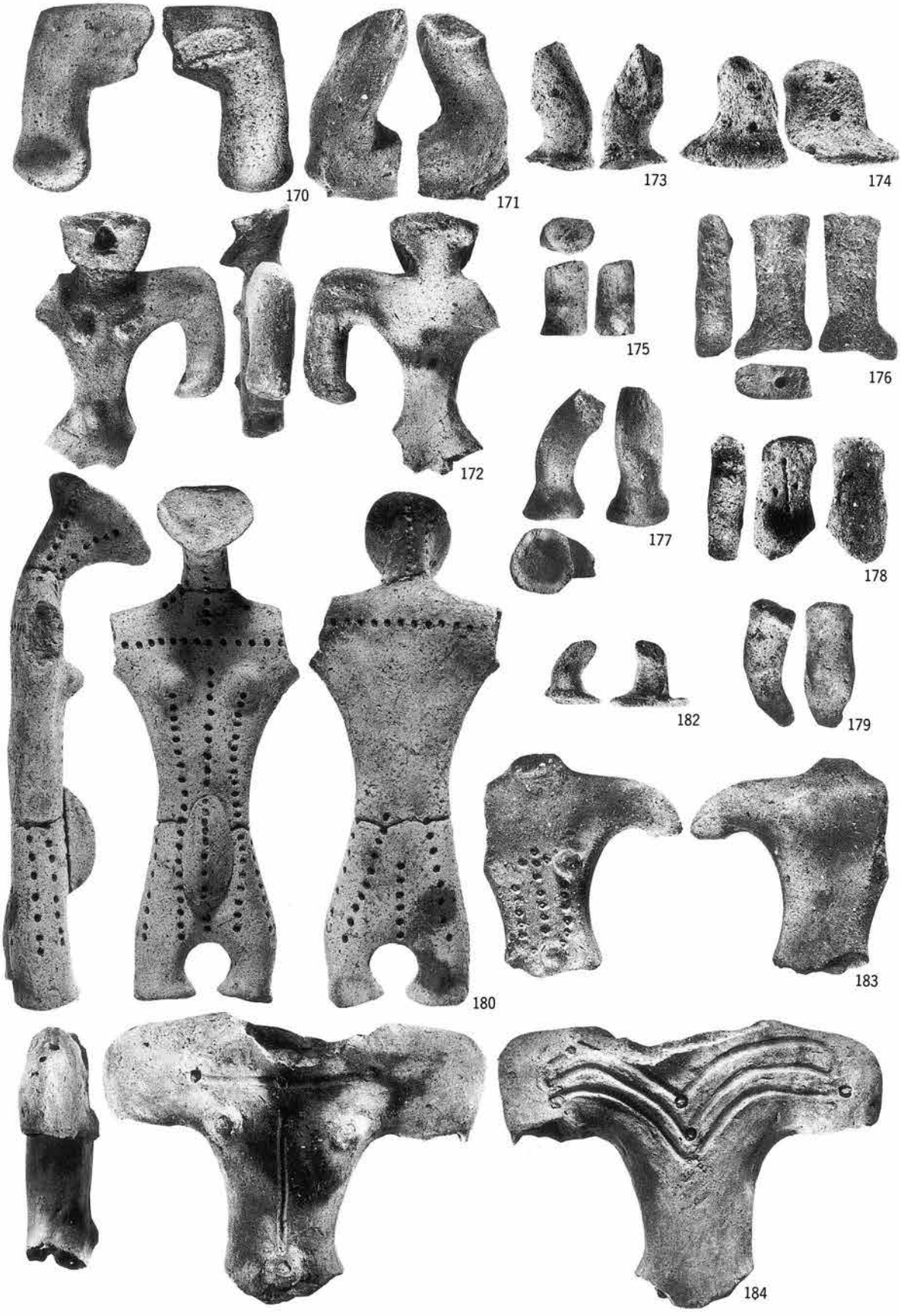
写真図版140 出土遺物土製品 3



S＝1／2

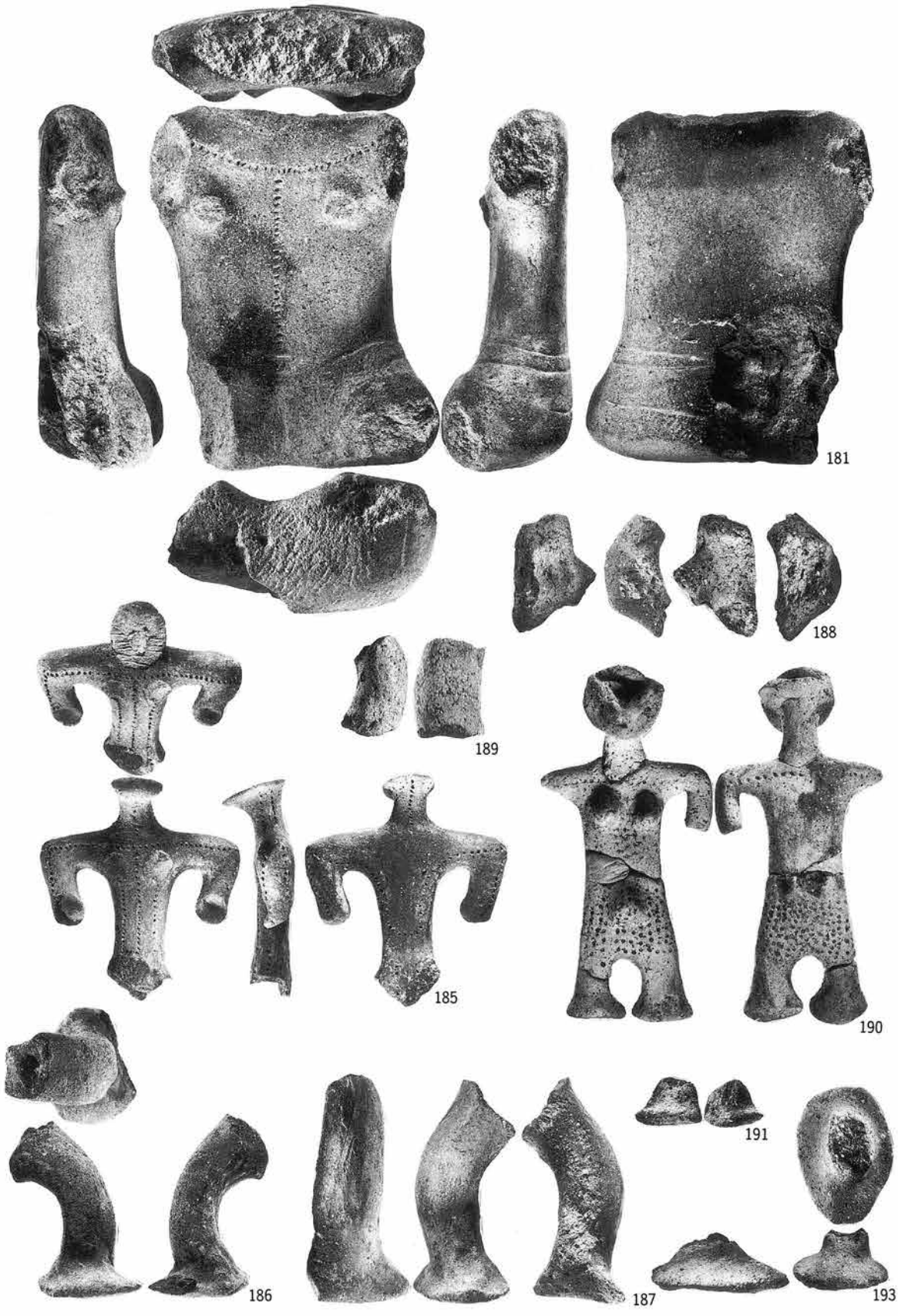
写真図版141 出土遺物土製品 4

写真図版142 出土遺物土製品 5　　S＝1／2



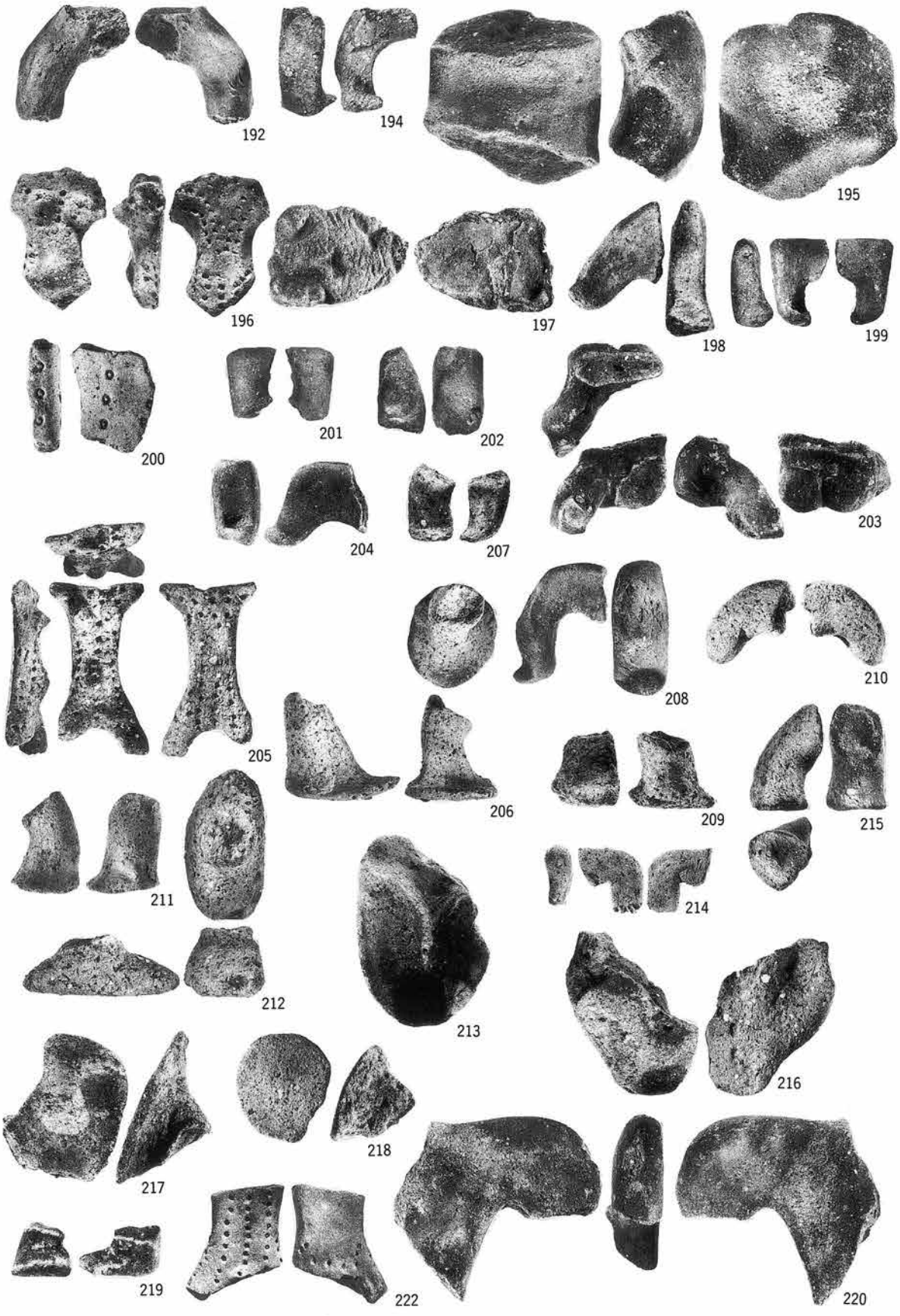
写真図版143 出土遺物土製品 6

S＝1／2

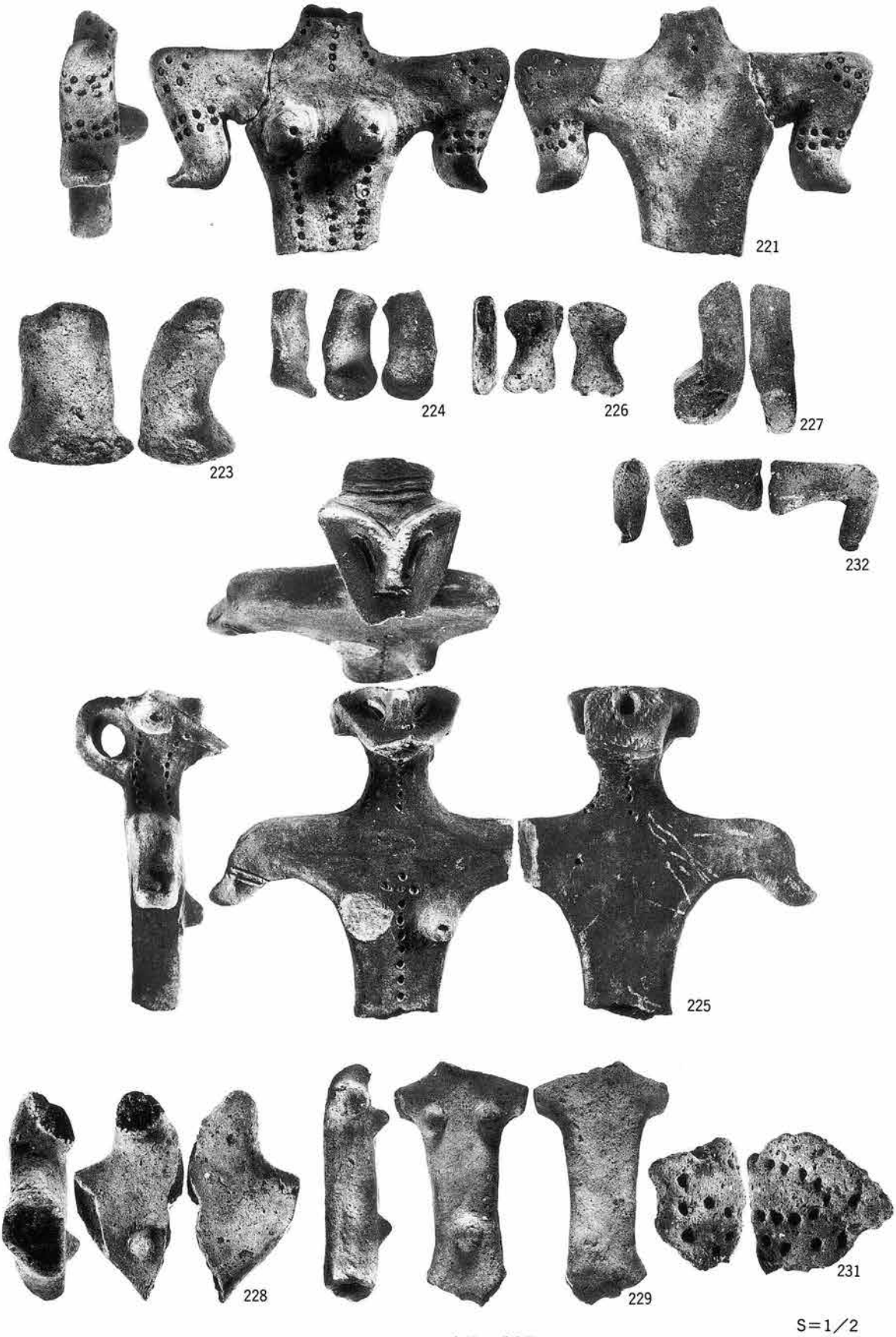


S＝1／2

写真図版144 出土遺物土製品 7

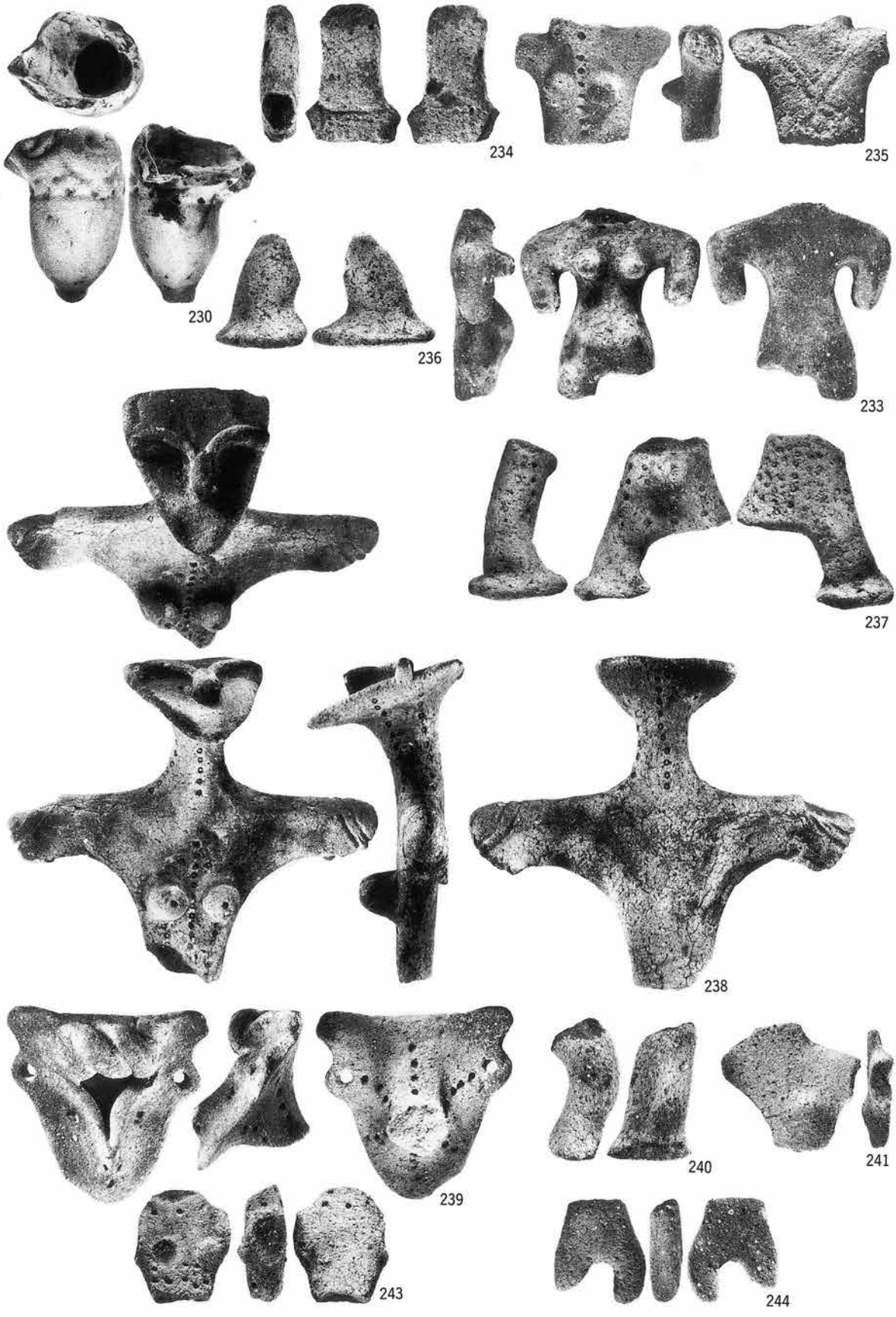


写真図版145 出土遺物土製品 8　　S＝1／2

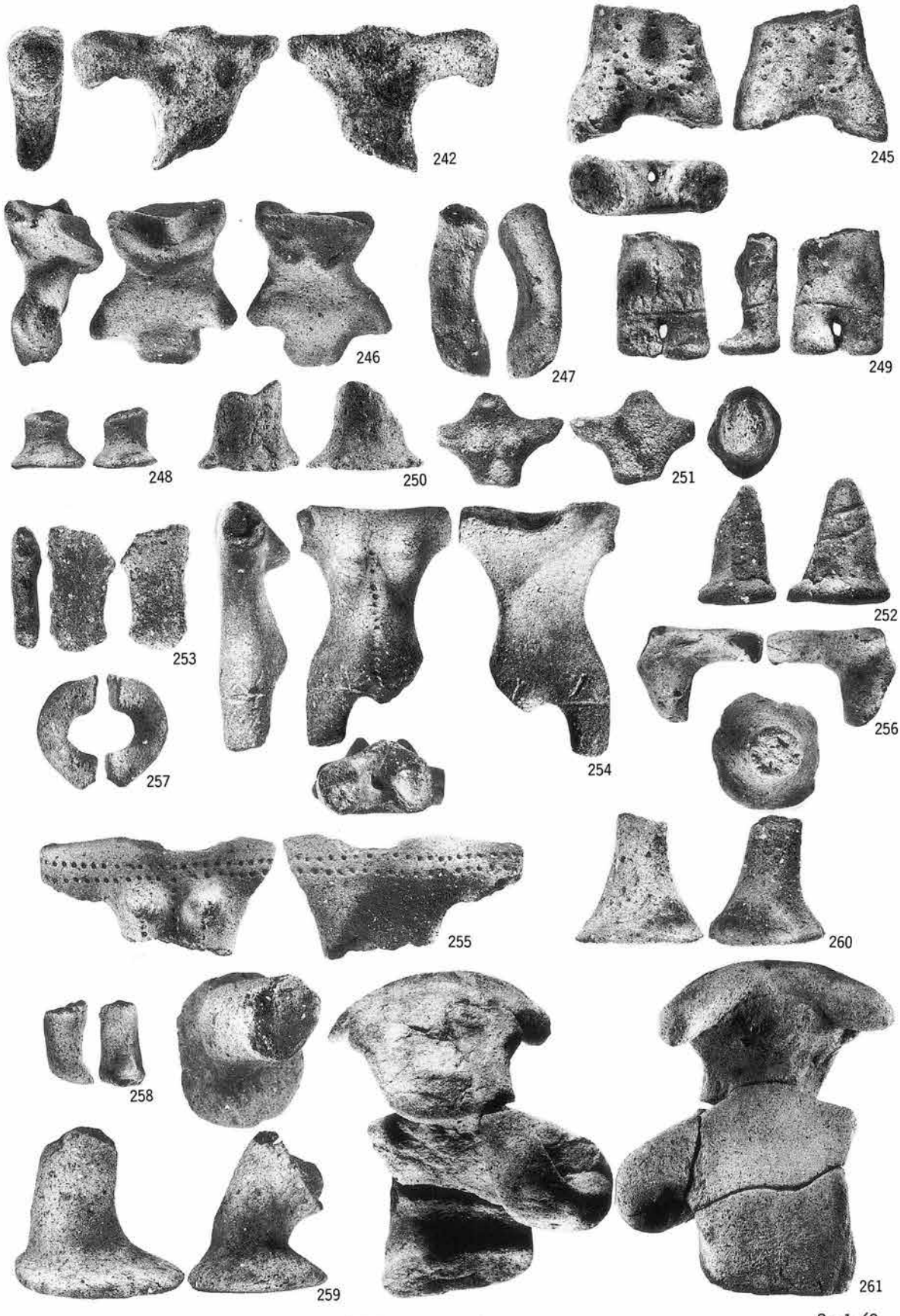


S＝1／2

写真図版146 出土遺物土製品 9



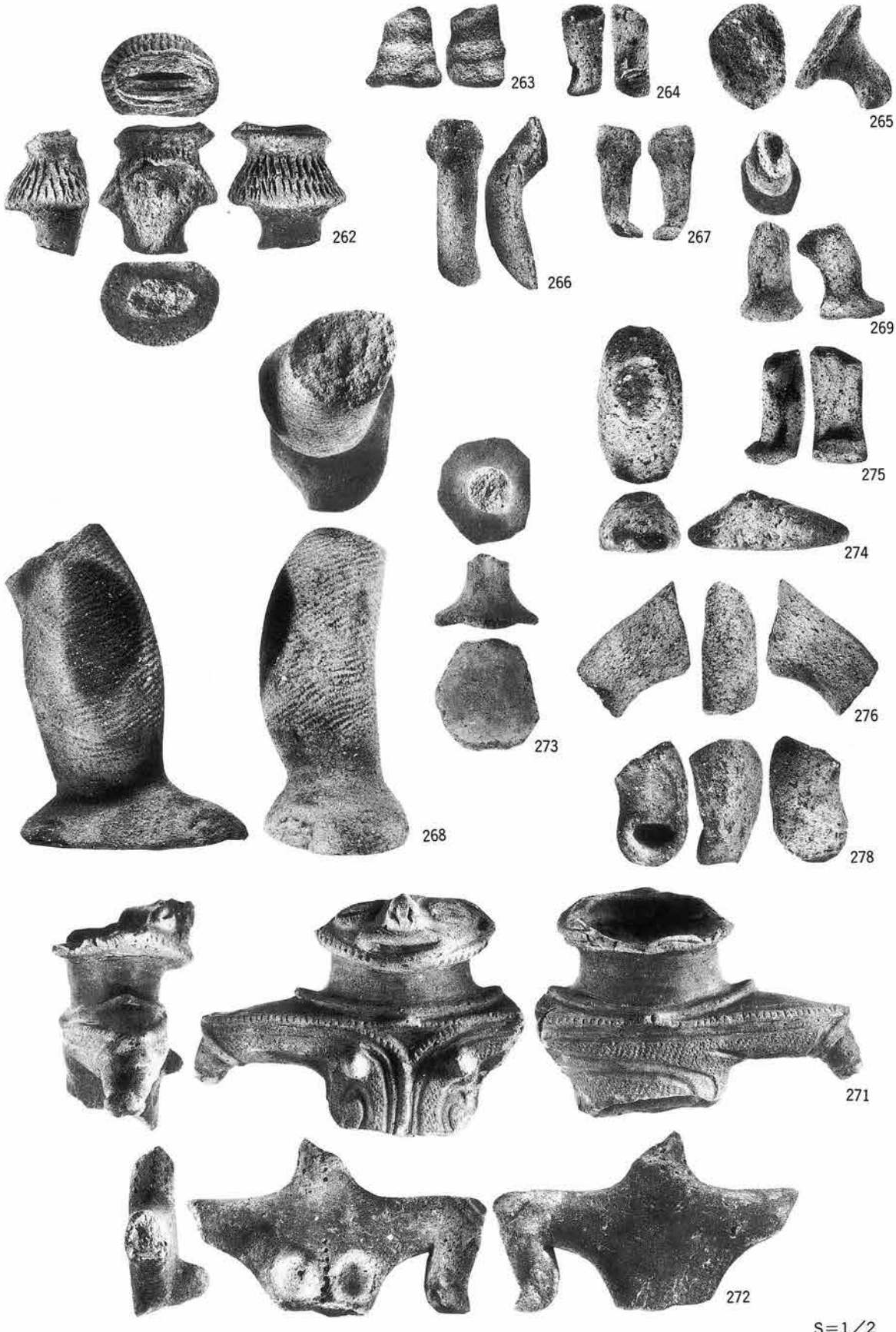
写真図版147 出土遺物土製品10　　S＝1／2



S＝1／2

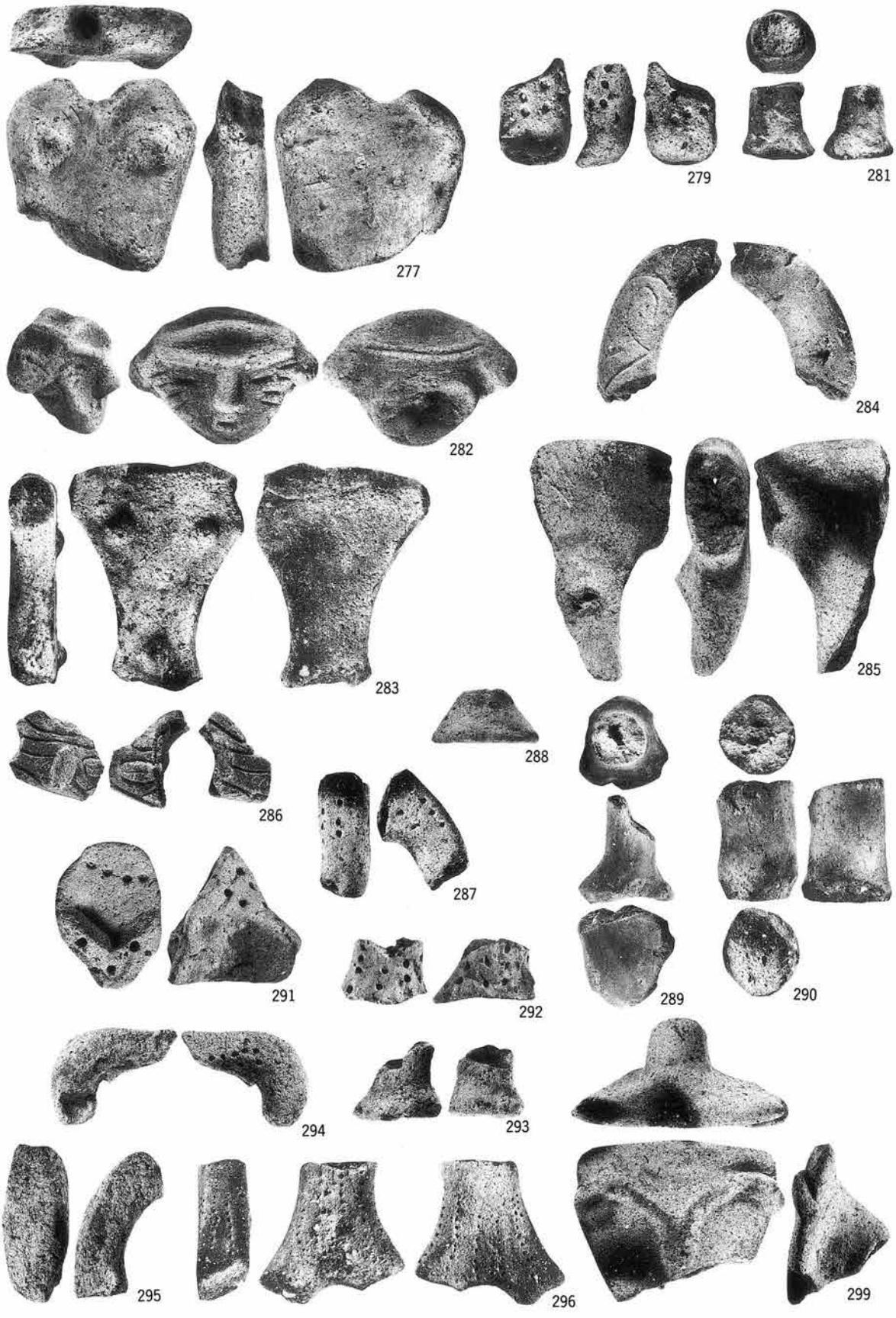
写真図版148 出土遺物土製品 11

写真図版149 出土遺物土製品12



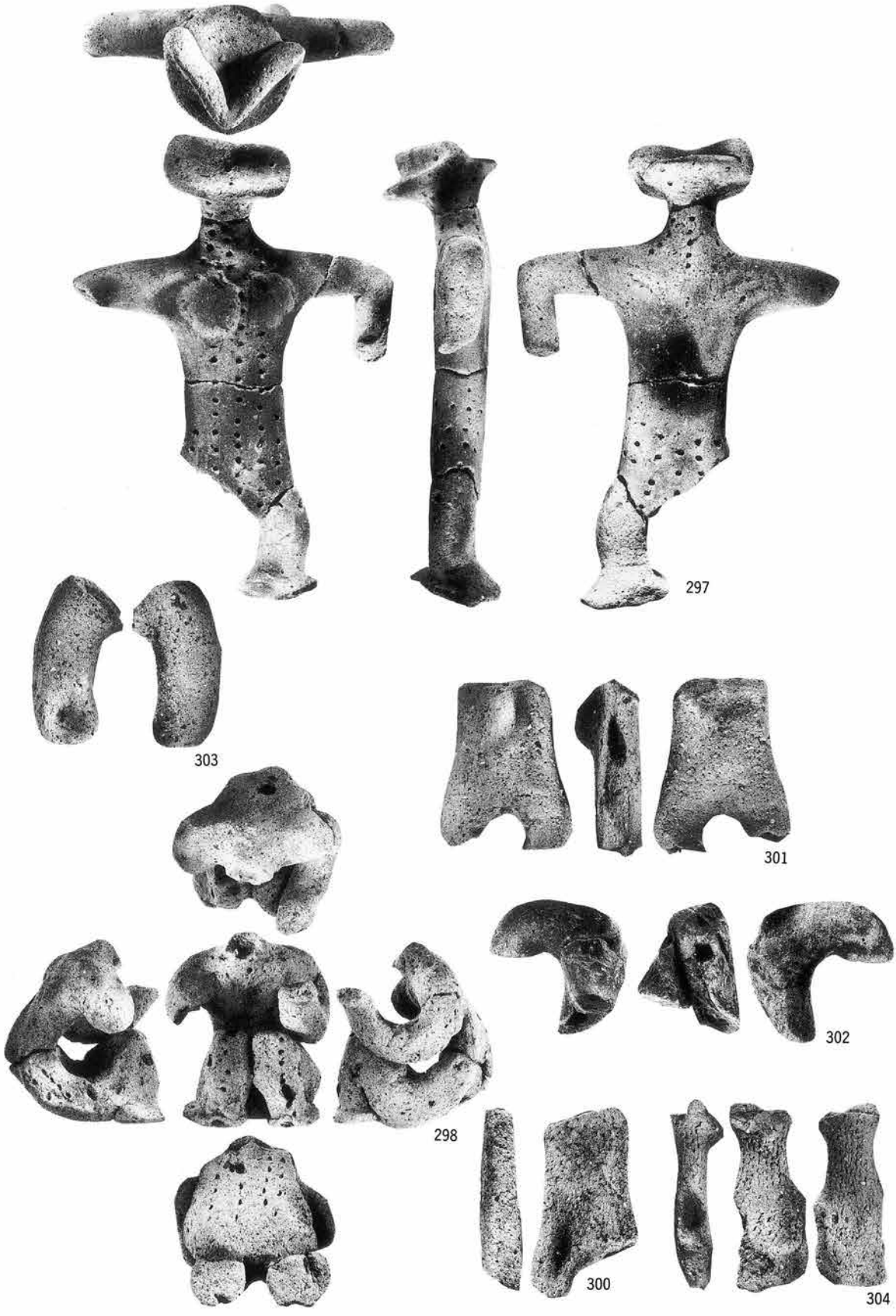
S=1／2

写真図版150 出土遺物土製品 13



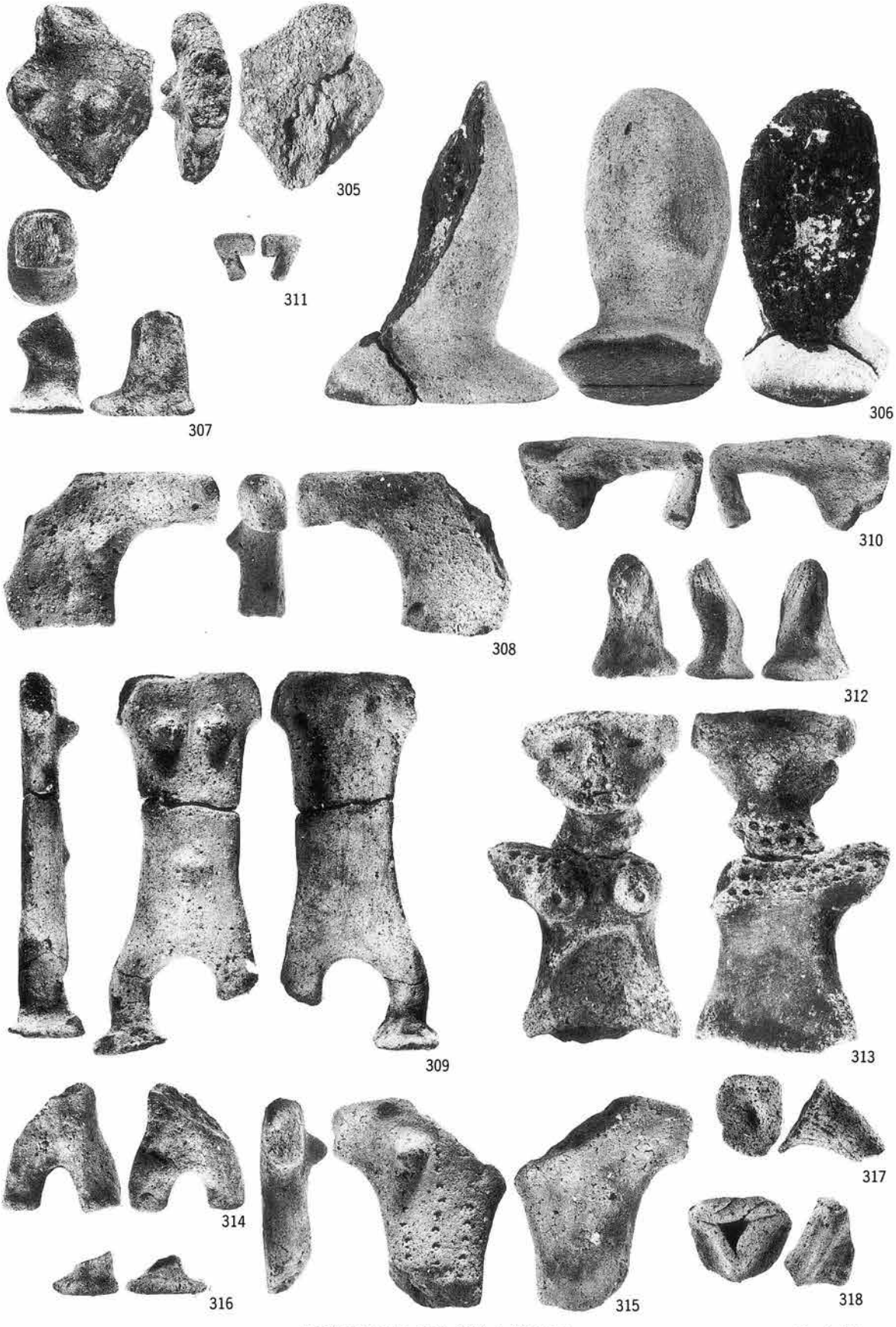
写真図版151 出土遺物土製品14

S＝1／2



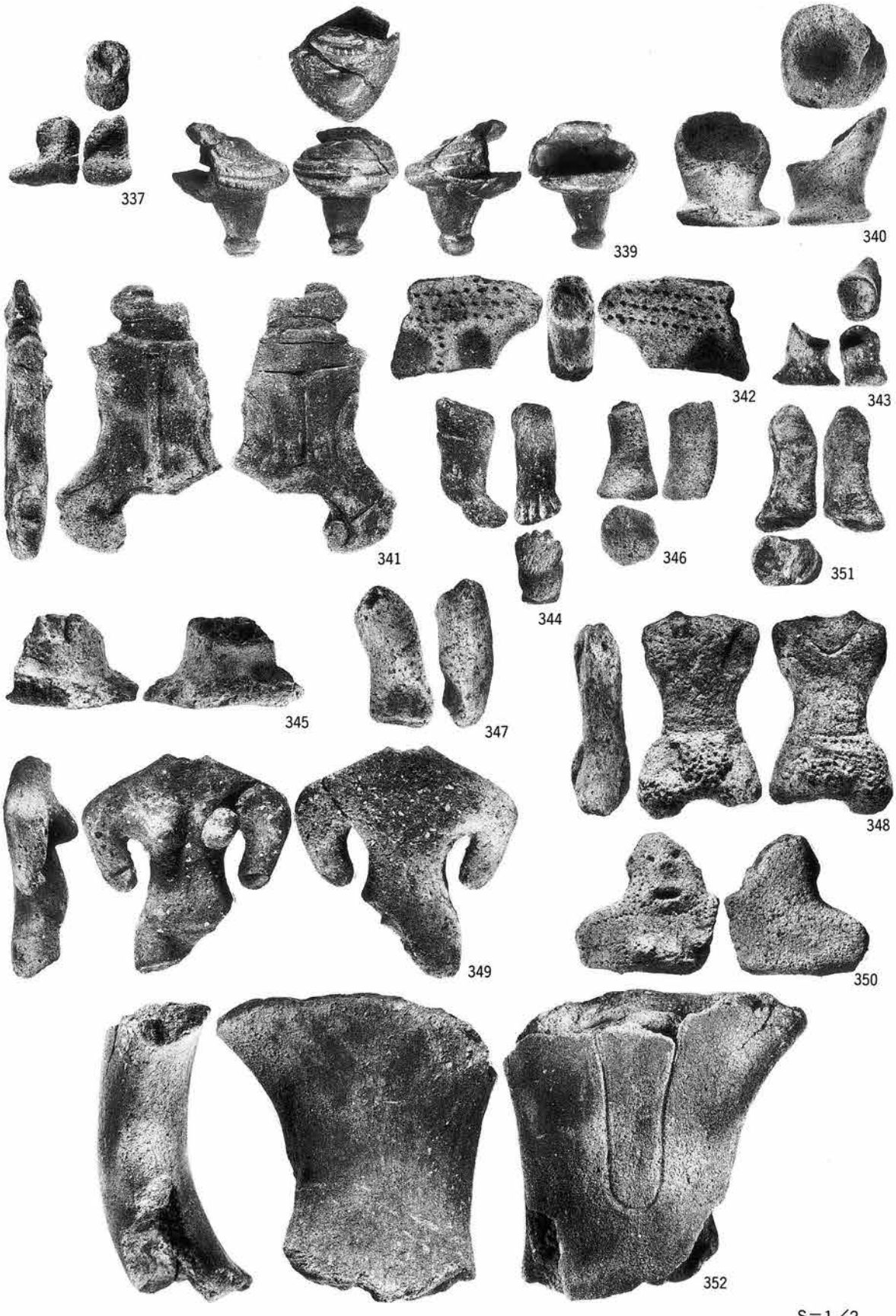
S＝1／2

写真図版152　出土遺物土製品 15



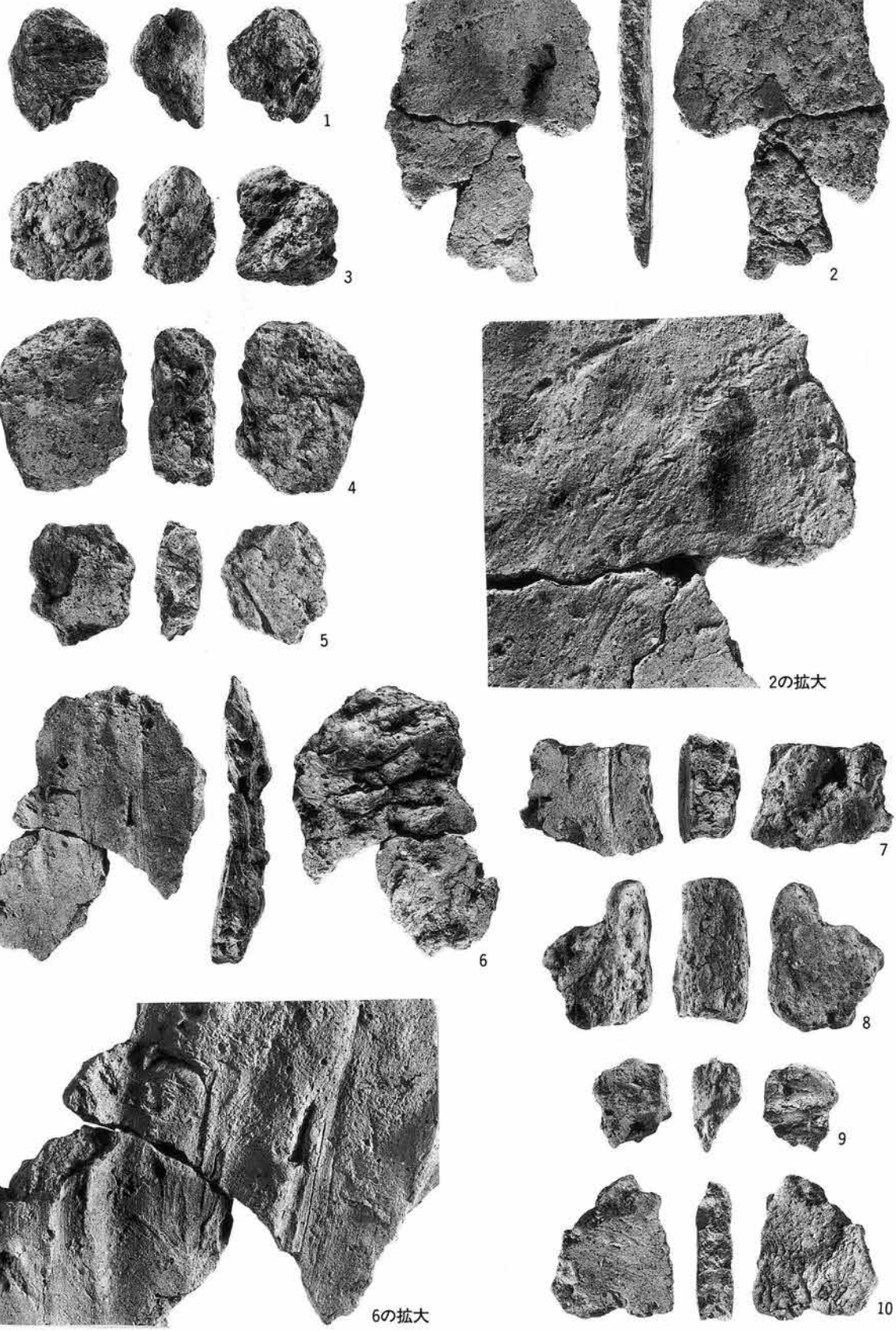
写真図版153 出土遺物土製品 16　　S＝1／2

写真図版154 出土遺物土製品 17　　S ＝1／2



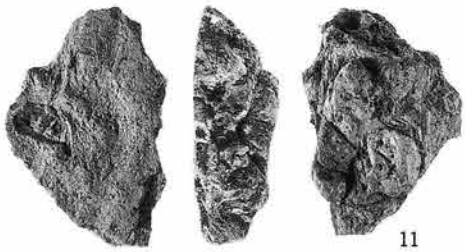
S＝1／2

写真図版155 出土遺物土製品 18



写真図版156 出土遺物焼粘土塊

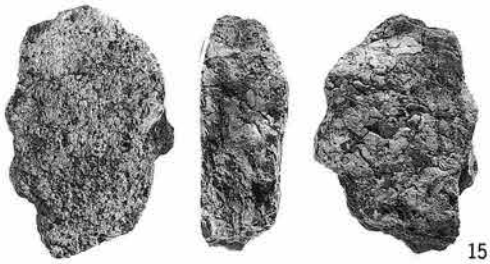
S＝1／3


11

13

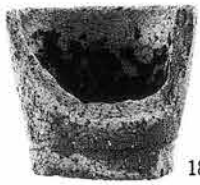
12

14

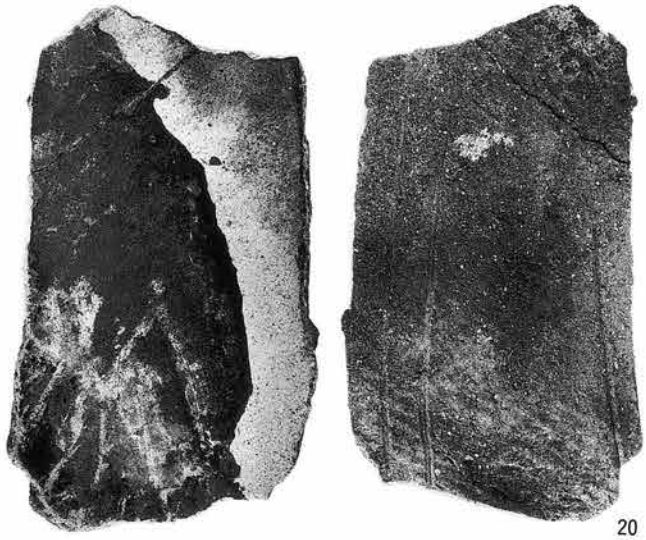

15

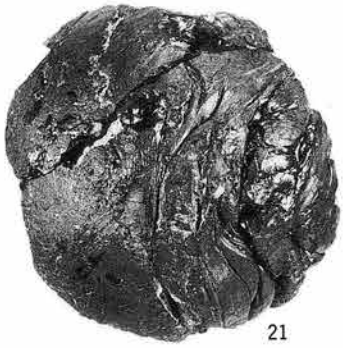
17

16

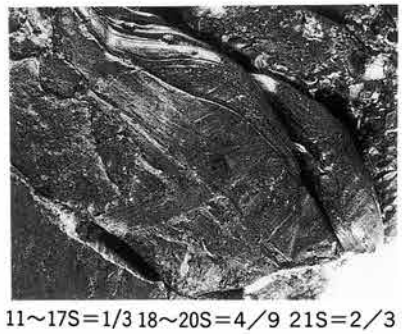

18

19

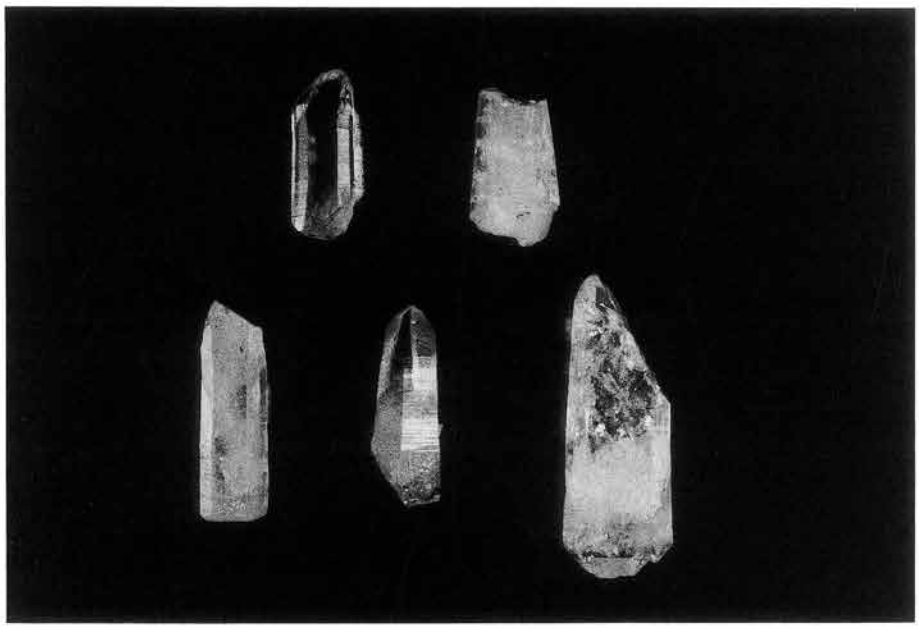

20


21

21の拡大

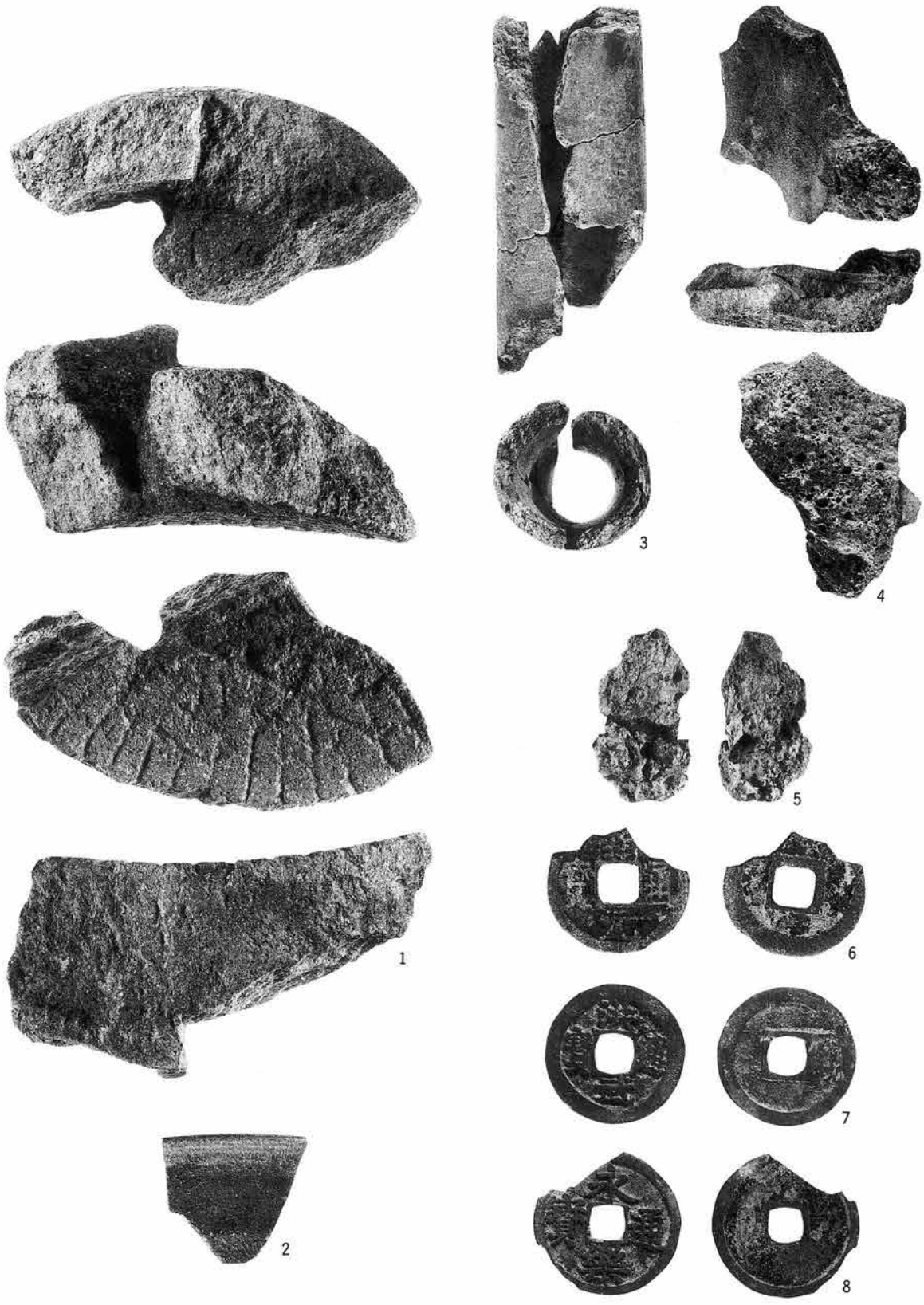

11～17S＝1/3 18～20S＝4／9 21S＝2／3

写真図版157 出土遺物焼粘土塊、アスファルト付着土器



S＝1／1

写真図版158 出土遺物骨角器、獣骨、水晶



1・3・4S＝2／9、2S＝2／3、5S＝1／2、6～8S＝1／1

写真図版159 出土遺物（縄文時代以外）

報告書抄録

ふりがな	あいのさわいせき　はっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	相ノ沢遺跡発掘調査報告書
副 書 名	畑地帯総合土地改良事業
巻　　次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第332集
編 著 者 名	宮本節子
編 集 機 関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所 在 地	〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11-185　　TEL　019—638—9001
発行年月日	西暦　2000年3月21日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 m²	調査原因
相ノ沢遺跡 (あいのさわいせき)	岩手県東磐井郡藤沢町黄海深田和(いわてけんひがしいわいぐんふじさわまちきのみふかだわ)263	03422	OE29-0315	38°51′46″	141°17′8″	19950401～19957031 19960408～19960628	760m²	畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
相ノ沢遺跡	集落跡	縄文時代(後期・晩期)	竪穴住居跡　2棟 住居状遺構　2棟 土坑　50基 配石遺構　7基 焼土遺構　21基 埋設土器　5基 溝　1基 道路状遺構　1基 近代炭窯跡　1基	縄文土器・石器260箱 土偶・土製品・石製品 アスファルト塊	住居域・土器・石器の生産に関わる場・墓域・捨て場の3要素をもつ、石器の中では石鏃が8000点以上出土し、黒曜石が多用されている。

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所　　長　佐藤　　基
副 所 長　伊藤直司

〔管理課〕

管理課長　川浪清徳
主　　任　立花多加志
主　　事　日影睦夫
嘱　　託　藤島恵子
〃　　新田トヨ
〃　　佐々木光重

〔調査第一課〕

課　　長　小田野哲憲
課長補佐　佐々木清文
主任文化財専門調査員　酒井宗孝
〃　　小山内透
文化財専門調査員　中田迪
〃　　吉田充
〃　　鎌田勉
〃　　小笠原健一郎
〃　　鳥居達人
〃　　濱田宏
〃　　佐々木進悦
〃　　安藤由紀夫
〃　　木戸口俊子
〃　　小野寺正之
〃　　阿部勝則
〃　　千葉正彦
〃　　羽柴直人
〃　　高木晃
〃　　佐藤淳一
〃　　菅原靖男
〃　　半澤武彦
〃　　朝倉雄大
〃　　菊池貴広
〃　　村上拓
〃　　本多準一郎
〃　　中村直美
〃　　丸山浩治
期限付専門職員　佐藤綾子
〃　　平めぐみ
〃　　藤原賢徳
〃　　江藤敦
〃　　小林弘卓
〃　　小原広幸

〔調査第二課〕

課　　長　高橋與右衛門
課長補佐　中川重紀
主任文化財専門調査員　高橋義介
文化財専門調査員　古舘貞身
〃　　阿部眞澄
〃　　松尾芳幸
〃　　小原眞一
〃　　工藤徹
〃　　前田稔
〃　　金子佐知子
〃　　岩渕計
〃　　早坂悟
〃　　佐々木務
〃　　晴山雅光
〃　　星雅之
〃　　佐々木琢
〃　　杉沢昭太郎
〃　　溜浩二郎
〃　　北村忠昭
〃　　金子昭彦
期限付専門職員　鈴木聡
〃　　平澤里香
〃　　布谷義彦
〃　　山口俊規
〃　　熊谷佳恵
〃　　吉田里和
〃　　北田勲
〃　　吉川徹

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第332集

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業

印刷　平成12年3月14日
発行　平成12年3月21日

発行　財団法人　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11－185
TEL（019）638－9001
FAX（019）638－8563

印刷　川口印刷工業株式会社
〒020-0841　盛岡市羽場10－1－2
TEL（019）632－2211

©(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2000